

フランス語 異邦人



2016/02/13 ~
2020/07/04

三浦 高志

ALBERT CAMUS

L'ÉTRANGER



nrf

参考文献等

参考文献等

フランス語原書 L'ÉTRANGER 1967 年 9 月 ガリマール社 出版番号 : 12784.

対訳 フランス語で読もう「異邦人」

2012 年 10 月 20 日初版発行 著者 アルベール・カミュ

訳注者 柳沢文昭 発行所 (有)第三書房

しっかり学ぶフランス語文法

2011 年 6 月 8 日 第 10 刷発行 著者 佐藤 康、発行 ベレ出版

カシオ電子辞書 EX-word XD-B7400

ロワイヤル仏和中辞典、プチ・ロワイヤル和仏辞典 第 2 版

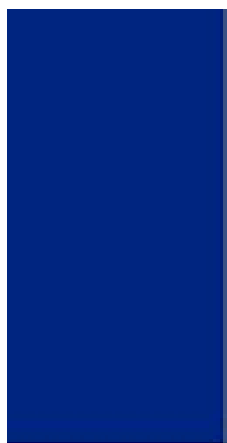
クラウン仏和辞典 第 5 版、コンサイス和仏辞典 第 3 版

翻訳と構文解析 2016/02/13 ~2020/07/04

注意：この文書は構文解析を用いて、外国語の文章を日本語に翻訳する方法を示して、外国語学習者の文法理解を多少なりとも支援するために作成した参考資料です。

翻訳は辞書に載っている単語や熟語などの意味と構文解析に基づいて、文章の意味を日本語に訳したものであり、文学作品の文章として翻訳している訳ではありません。

三浦 高志 Takashi Miura



文の構成要素と構文解析の書式

文の構成要素と構文解析の書式

文法書によると、日・伊・西・仏・独・英などの言語では異なる文法用語が使用されているが、この文書では英語の文法用語を基本として、独自解釈も交えて構文解析を行う。

「文」は「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」及び「形容詞」で構成される。

また「接続詞」や「関係代名詞」などは「文」と「文」を接続してより複雑な文を構成するために使用される。

文の構成要素と単語の品詞についておおまかに説明する。

「名詞」は事物の名称・状態・性質・存在などの概念を表す単語である。

「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。

「句」は2つ以上の単語が集まって「名詞」、「形容詞」、「副詞」あるいは「動詞」の役目をするもの。それぞれ「名詞句」、「形容詞句」...などと表す。例えば、
「名詞句」は「形容詞+名詞」、「名詞+名詞」などによって作られ、
「形容詞句」は「副詞+形容詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「副詞句」は「副詞+副詞」、「前置詞+名詞」などによって作られ、
「動詞句」は「動詞+前置詞」、「動詞+副詞」、「助動詞+動詞」によって作られる。

「節」は2つ以上の単語が集まって「主語」と「動詞」を含む文を構成して、全体の中で「名詞」、「形容詞」または「副詞」の役割をする。従属節と呼ばれる。それぞれ「名詞節」、「形容詞節」および「副詞節」と表す。

2つの節が対等に結合される場合は等位節と呼ぶ。(英語で **and** や **but** で結合)

「主語」は「動詞」の動作・作用の主体を表す「名詞・句・節」または「代名詞・句」。

「動詞」は事物の動作・作用・状態・存在などを表す。

「直接目的語」は動詞の表す動作の対象となる人・物を表す「名詞・句・節」。

「間接目的語」は動詞の表す動作によって動作主または「直接目的語」が移動または状態変化する場所または動作の目的・結果を表す「名詞・句・節」または「副詞・句・節」。

注意：英語の文法書では、「間接目的語」は「直接目的語」と共に用いられることになっているが、この文書では「間接目的語」が単独で用いられる場合がある。すなわち、「主語」「動詞」「直接目的語」と「主語」「動詞」「間接目的語」の構文がある。

「補語」は「主語」または「目的語」の性質・状態を表す「名詞」・「形容詞」・「副詞」。

文の構成要素と構文解析の書式

名詞・性と数

「名詞」は人または事物の名称を表す語であり、文中で「主語」、「直接目的語」、「間接目的語」または「補語」として用いられる。時には、他の「名詞」を修飾する「形容詞」として利用されたり、「時」や「場所」に関する「副詞」として利用されることがある。

「名詞」が「動詞」のように利用されて「前進！」のような命令文が作られることもある。

さらに、「名詞」として辞書に載っている単語だけでなく、「動詞」や「形容詞」または「副詞」が「名詞」的に利用されることもあるので、「名詞」の出現頻度は高い。

「代名詞」は「名詞」の代わりをする語である。代名詞を利用することで、文中に同じ単語が何度も現れるのを防いで、文を明確化することができる。

「名詞句」や「名詞節」も文中で「名詞」と同様の機能として使われる。

「名詞」は数えられる名詞「可算名詞」と数えられない名詞「不可算名詞」に分けられ、可算名詞は「普通名詞」と「集合名詞」に、不可算名詞は「固有名詞」、「物質名詞」と「抽象名詞」に分けられる。

「普通名詞」は「本」、「猫」、「机」など同じ種類の個体を多数持っているものに与えられる名称で、単数か複数かという区別を必要とする。単数の場合は「不定冠詞」か「定冠詞」を付けるのが原則である。

「集合名詞」は「委員会」、「家族」、「警察」のように人・動物・物などの集合体を指す名詞である。

「固有名詞」は「富士山」、「パリ」、「ニュートン」などのように、人・場所・事物などに固有の名称である。本来一つしかないものなので不定冠詞をつけたり、複数形にすることは原則としてない。定冠詞を付ける場合と付けない場合がある。

「物質名詞」は「空気」、「水」、「ワイン」のように物質を表す名称で、一定の形を持たず、また特別な容器を用いない限り、個々には独立して存在しない。不可算名詞なので、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

「抽象名詞」は「親切」、「愛」、「悲しみ」、「真理」のように、具体的な形を持たない抽象的な概念を示す名称である。抽象名詞も数えられないから、不定冠詞は付かないし、複数形にもならない。

イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語などでは、「名詞」に付属する冠詞・形容詞は名詞と性・数の一致が必要となり、「名詞」に関係する「動詞」は名詞と数の一致が必要になる。

文の構成要素と構文解析の書式

「直接目的語」と「間接目的語」

「僕は君にこの本をあげる」という文は、「主語：僕（は）」、「間接目的語：君に」、「直接目的語：この本（を）」、「動詞：あげる」という構成要素から作られている。そして、「動詞：あげる」の動作において動作の主体が操作・加工する対象となるものが「直接目的語：この本（を）」である。「間接目的語：君に」は「直接目的語」（または「主語」）の移動先（抽象的な概念の場所も含む）を表しており、動作の主体が操作・加工する対象ではない。

「直接目的語」は動作の主体が操作・加工する対象を示すと考えると、「人」や「物」を表す「名詞」類が使用されることが分かる。

「間接目的語」は「直接目的語」または「話者自身」の移動先を示す場所であると考え、場所を表す「人」や「物」または「場所を表す空間」を表す「名詞」類または「副詞」類が使用されることが分かる。参考：「私は両親に従う。」の「両親」は「両親の希望・意見などの抽象的な概念の場所」を表す「間接目的語」である。「間接目的語」が名詞・代名詞ならこれを「主語」として受動文を作れるが、副詞類なら受動文を作れない。

注意：一般の文法書では、「自動詞+前置詞+名詞」の「名詞」を前置詞の「目的語」と説明しているが、この文書では「前置詞+名詞」または「前置詞+副詞」を「間接目的語」と解釈して構文解析を進める。この方が文章を理解しやすいと判断したからである。

この方法によると、「私は学校へ行く」は自動詞の「行く」と前置詞が付いた「学校へ」が使われており、「学校へ」が「間接目的語」と構文解析されることになる。

しかし、一般の文法書の解説とは異なるので、学校の試験などでは間違いとされる恐れがあることを注意する必要がある。しかし、フランス語の文法はこの解釈に近い。

まとめ：「直接目的語」は「名詞」類が使われる。「～を」

「間接目的語」は「名詞・副詞」類が使われる。「～の所へ、～のために、～にとって」

形容詞

「名詞」、「代名詞」を修飾・限定するものを「形容詞」という。「形容詞」は事物の性質・状態、人間の感覚・感情などを表す語で「名詞」を修飾する。

「形容詞」類の例示：

代名詞：「私の本」、「この本」、「数冊の本」、「どんな本」の下線を付けた語句。

冠詞：「一冊の本」、「その本」の下線を付けた語句。

分詞：「眠っている赤ん坊」、「失われた時間」の下線を付けた語句。

名詞：「空軍」、「石橋」のように「名詞」+「名詞」の語句。

形容詞句：「籠の中の鳥」の下線を付けた語句（前置詞で導かれる）。

形容詞節：「これはパリで買った指輪です」の下線を付けた語句（関係代名詞で導かれる）。

まとめ：「形容詞節」を含む「形容詞」類は「名詞」類の前後に使用される。

文の構成要素と構文解析の書式

不定冠詞

「形容詞」類の一つである。様々な意味に使われる。

1. どれでもよい、不定の人や物の一つを指す。
2. ある具体的な一つの物（人）を指す。
3. 一つの～という意味をはっきり示す。
4. ～につきの意味を示す。
5. 或る～の意味で用いる。

話の中で初めて述べる「名詞」には不定冠詞を付けて内容を説明して、二度目以降では定冠詞を付けて使う。

定冠詞

「形容詞」類の一つである。加算名詞・不加算名詞を問わず、全ての名詞の前に付けることができ、その名詞が何らかの意味で特定されたものであることを示す。

1. 先に出た「不定冠詞+名詞」を指す場合。
2. すでに述べられた事柄に関連して特定される場合。
3. 周囲の状況からそれと分かる場合。
4. ただ一つしかないものを指す場合。
5. 最上級や唯一的な意味で限定された名詞に付ける。
6. 修飾語句によって限定される場合。
7. 楽器を代表的に指す場合

副詞

「副詞」は事物の状態・性質・程度や時刻・場所などを表し、「動詞」を修飾したり、他の「副詞」や「形容詞」を修飾する。しかし、名詞・代名詞、句や節または文全体を修飾・限定することもある。

まとめ：「副詞」類は修飾する語句の近くに置かれるので、「文頭」、「主語」の前後、「動詞」の前後、「補語」の前後、「文末」のように、文中いたる所に使われる。

比較

「形容詞」や「副詞」は性質・様態・数量などの程度を表すが、他の物との間の程度の違いを比較・表現する場合は語形を変えてそれを示す。この語形変化を比較といい、原級、比較級、最上級の語形と慣用句がある。

文の構成要素と構文解析の書式

補語

「補語」は文中で「主語」や「目的語」の性質・状態・動作を補足説明する語句である。

「彼は親切だ」、「私は学生だ」など「主語+動詞+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」といって、「補語」は「主語」の性質・状態を補足説明している。

また、「私は彼が親切だと分かった」のように「主語+動詞+目的語+補語」の形式で表される文では、下線部分の事を「補語」というが、こちらは「主語」ではなく「目的語」（二重下線部分）を補足説明している。「補語」は主に「名詞」類または「形容詞」類が使われる。しかし「彼はパリ出身だ」、「この本はカルロスのもんだ」、「このテーブルは木製だ」などの文を「～である」を表す「動詞」を使って表現すると、下線部分は「副詞句」となる。この「副詞句」も「主語」の性質・状態を補足説明しているので「補語」である。

参考：「私は彼が全力を尽くすことを期待している。」は「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語」の構文によって「補語」が「目的語」の動作を補足説明している。

「補語」が必要な「動詞」は「～である」、「～になる」、「～とを感じる」、「～と思われる」などの意味の「動詞」である。

まとめ：「補語」は「動詞・名詞・形容詞・副詞」が使用され性質・状態・動作を補足する。

動詞

「動詞」は人や様々な事物の動きや状態を述べる語である。

「主語」は「動詞」の動きを実行する主体である。

「動詞」の種類について：

完全自動詞：「主語」が「動詞」の動作を実行する。

不完全自動詞：「動詞」と「補語」によって「主語」の性質・状態を補足説明する。

完全他動詞：「主語」が「直接目的語」に対して「動詞」の動作を実行する。

間接他動詞：「動詞」と「間接目的語」で「主語」の移動先を示す。（フランス語文法）

授与動詞：「主語」が「間接目的語」に対して「直接目的語」を与える。

不完全他動詞：「目的語」の性質・状態を「補語」によって「動詞」で表現したり、「補語」で示される動作を「目的語」に対して「動詞」で表現する。

助動詞

「助動詞」は「動詞」と結びついて可能「～する事が出来る」、推量「～するかもしれない」、義務「～しなければならない」など、話し手の判断や心理を表す表現を追加する「法助動詞」とそれ自身は特に意味を持たず現在分詞・過去分詞と結びついて進行形・受動態・完了形などの時制・態を形成する助動詞がある。

文の構成要素と構文解析の書式

疑問詞

「誰」、「何」、「どこ（場所）」、「いつ（時）」、「どちら（選択）」など文を形成する要素の一部分を話し相手に質問する時に、質問の種類を知らせるための語を「疑問詞」という。

「疑問詞」は文の中で、「主語」、「目的語」、「補語」または「副詞」類として機能するが、どの場合でも文頭におかれて、最初に質問の種類を明らかにする役目を果たす。

「疑問代名詞」、「疑問形容詞」および「疑問副詞」の3種類がある。

接続詞

「接続詞」は文中の語・句・節を接続する。

「等位接続詞」は文法上の働きが対等の関係にある語・句・節を結び付ける。

「従属接続詞」主節の一部として、全体で一つの名詞または副詞の働きをする節を導く接続詞を従属接続詞と呼ぶ。

「従属接続詞」＋「節」→「従属節」となり、「従属節」が「名詞節」または「副詞節」として働くことになる。

まとめ：「語・句・節」＋「等位接続詞」＋「語・句・節」の形式で使用される。

「主語」＋「動詞」＋「従属接続詞」＋「節」の形式で使用される。

関係詞

文中の「主語」、「目的語」または「補語」に対して説明を加える場合に、それを「先行詞」として、説明に適当な「関係詞」に続いて説明の「節」を置くことで、説明の行き届いた文を作ることができる。「先行詞」は「節」の中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

まとめ：「関係代名詞」は「名詞」類を修飾する「形容詞節」を導く。

「関係副詞」は「時」や「場所」を修飾する「副詞節」を導く。

前置詞

「名詞」・「代名詞」の前に置いて、それらと共に全体として一つの品詞の働きをする語。前置詞と結びついた語句の品詞によって、「形容詞句」または「副詞句」として機能する。

「形容詞句」は「名詞」と結びついて「名詞句」を構成して、文中で「主語」、「目的語」または「補語」として機能する。

「副詞句」は文全体や「動詞」・「形容詞」を修飾したり、「間接目的語」として機能する。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の書式

構文解析は文を構成要素ごとに区切りを付けて、「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」および「形容詞節」に分類して、文がどのように構成されているかを分かり易く示すことが目的である。

しかし「形容詞節」は「主語」、「目的語」などと一体化されて、「主語」または「目的語」として分類することが多い。（「形容詞節」は名詞句の一部になる）

「目的語」は必要に応じて「間接目的語」と「直接目的語」を明示する。

本文書では、日本語の文を最初に示してから、次の行に外国語の文を示す。そして、外国語の文の後ろまたは次の行に文全体の構成要素を示す。さらに、その次の行からは、各構成要素の語句ごとにその読み、語句の品詞（「動詞」の場合はその活用も表記）、日本語の意味、構成要素名を1行から3行程度のスペースを使用して表示する。

複数の語が集まって「主語」、「動詞」、「目的語」または「補語」が作られる場合には、それぞれの単語の読み、品詞、意味を表示する場合がある。この場合には、次の書式に従って表示する。

「語句」「読み」「品詞の記号」「意味」（「構成要素名」）

「品詞の記号」

名詞：男性名詞 n.m、女性名詞 n.f

代名詞：pron、pron.f.のように性別を追加することがある。

形容詞：男性形容詞 adj.m 女性形容詞 adj.f

複数：pl.（名詞、代名詞と形容詞の品詞記号の前または後ろに置く）

副詞：adv、「構成要素名：修飾する語句」の形式で説明を加える。

動詞：接続法・1人称単数現在なら接・1単現のように表記、自動詞 v.i、他動詞 v.t

動詞句：否定詞+動詞、助動詞+動詞、助動詞+過去分詞、動詞+不定詞など複数の動詞関連語句は、動詞としての機能と自動詞／他動詞の区別などを示す

注意：動詞の未来、過去または完了形の場合、<「原形」の形式で示すときは原形の意味を表示するが、「原形」を示さない場合は未来、過去または完了形の意味を表示する。

接続詞：conj. 接続詞は単語そのものを表示する

前置詞：prep

複数の単語によって名詞句などが作られる場合には、複数の単語の品詞を表示してから、→「複数単語の語句」、品詞記号、意味、構成要素名の形式で表示する。

数字は読みのスペルをカッコ内に表記した。

構成要素には「主語」、「動詞」、「目的語」、「補語」、「副詞」、「形容詞」のように下線を追加した。「補語」、「副詞」および「形容詞」は同じ下線である。また、「間接目的語」と「直接目的語」も同じ下線である。「動詞句」は「動詞」と同じ下線である。

文の構成要素と構文解析の書式

構文解析の例

2 週間の間、風邪のために喉が痛い。

J'ai mal à la gorge par le rhume pendant deux semaines.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

ai エ 1 単現 < avoir v.t (痛みなどが) ある

「動詞」

mal à la gorge マラ・ラ・ゴルジュ n.m 喉の辺りに痛みを

「目的語」

par le rhume パール・ル・リュム adv. 風邪のために

pendant deux semaines ポントゥン・トゥ・スメヌ adv. 2 週間

→ par le rhume pendant deux semaines 風邪で 2 週間

「副詞句：ai」

今日はイタリア語とスペイン語で日記を書くために参考書を 2 冊買った。

Aujourd'hui j'ai acheté 2 (deux) livres à consulter pour tenir un journal en italien et en espagnol.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Aujourd'hui オジユルトゥイ adv. 今日

「副詞」

ai acheté エ・アシュテ 1 単現・完了形 v.t 買った

「動詞句」

2 livres à consulter トゥ・リーヴァル・ザ・コンシルテ n.m pl. 2 冊の参考書

「目的語」

pour tenir un journal en italien et en espagnol

プール・トゥニール・アン・ジユルナル・オニタリアン・エ・オネスパキョール

adv. イタリア語とスペイン語で日記をつけるために

「副詞句：acheté」

山栗が 430g とナスが 2 本採れた。

Je ramassais 430 (quatre cents trente) gramme de châtaigne sauvage et récoltais 2 (deux) aubergines.

「主語」「動詞」「目的語」et「動詞」「目的語」

ramassais ラマセ 1 単半 < ramasser v.t 拾い集める

「動詞」

430 gramme de châtaigne sauvage クアトル・ソン・トロント・グラム・トゥ・シャテーニユ・ソヴァージュ

n.f 山栗を 430g

「目的語」

et エ conj. それから

récoltais レコルテ 1 単半 < récolter v.t 収穫する

「動詞」

2 aubergines トゥ・ゾベルジヌ n.f pl. 茄子を 2 個

「目的語」

文の構成要素と構文解析の書式－終わり

目次

目次

| | |
|--------------------------------|-----|
| 参考文献等..... | 2 |
| 文の構成要素と構文解析の書式..... | 3 |
| 名詞・性と数 | 4 |
| 「直接目的語」と「間接目的語」 | 5 |
| 形容詞 | 5 |
| 不定冠詞 | 6 |
| 定冠詞..... | 6 |
| 副詞 | 6 |
| 比較 | 6 |
| 補語 | 7 |
| 動詞 | 7 |
| 助動詞 | 7 |
| 疑問詞 | 8 |
| 接続詞 | 8 |
| 関係詞 | 8 |
| 前置詞 | 8 |
| 構文解析の書式..... | 9 |
| 構文解析の例..... | 10 |
| 文の構成要素と構文解析の書式ー終わり | 10 |
| 目次..... | 11 |
| PREMIÈRE PARTIE 第1部 | 16 |
| I..... | 17 |
| マランゴ Marengo : | 18 |
| 単純未来・前未来（未来完了） : | 19 |
| 接続法（現在・半過去・過去・大過去）: | 24 |
| 強調構文 : | 26 |
| 受動態と能動態 : | 42 |
| 現在分詞・ジェロンディフ・過去分詞 : | 55 |
| 命令法 : | 59 |
| 読み始めの印象 : | 60 |
| pas「主語」ne+「動詞」: 否定を強調する構文..... | 74 |
| 使役・放任・知覚動詞 : | 111 |
| 単純過去・前過去 : | 115 |
| 長い情景描写 1..... | 138 |

目次

| | |
|--|-----|
| II | 139 |
| フェルナンデル : | 149 |
| バルコニー他 | 160 |
| 日曜日 : | 168 |
| 疑問 : | 181 |
| III | 184 |
| 船荷証券 (ふなにしょうけん) <i>connaissements</i> : | 186 |
| 昼食と昼休み : | 196 |
| 疥癬 <i>かいせん</i> : | 199 |
| 絶対分詞構文 : | 204 |
| オイル・ランプとその芯 : | 238 |
| 蠟引き (ロウびき) : | 250 |
| ムーア人 : | 251 |
| IV | 262 |
| レース : | 267 |
| <i>manquer</i> モンケ : 自動詞 | 276 |
| ギニョール <i>guignol</i> : | 283 |
| 半過去・大過去 : | 284 |
| 条件法 現在・過去 : 主な用法 | 287 |
| V | 317 |
| 条件法 過去 : 語調緩和 | 320 |
| VI | 371 |
| ビーチバッグ : | 376 |
| かんかん帽 : | 378 |
| アスフォデル <i>Asphodel</i> : | 390 |
| タマリス <i>tamaris</i> : 学名 <i>Tamarix tetrandra</i> ギョリュウ属 | 391 |
| トロール船 <i>chalutier</i> シャルチエ : | 393 |
| 浮き身 : | 404 |
| 寝そべる : | 407 |
| 一番波 : | 411 |
| 間接話法における条件法 : | 419 |
| ズック靴 : 麻布で作った運動靴 | 423 |
| 菜っ葉服、青の作業服 : <i>bleu de chauffe</i> | 425 |
| 注意: 動詞が <i>se ralentir</i> (再帰動詞) ならば、 <i>nous sommes ralenti</i> になるはず .. | 429 |
| 使役・受動のような構文 : | 433 |
| 注意 : | 440 |

目次

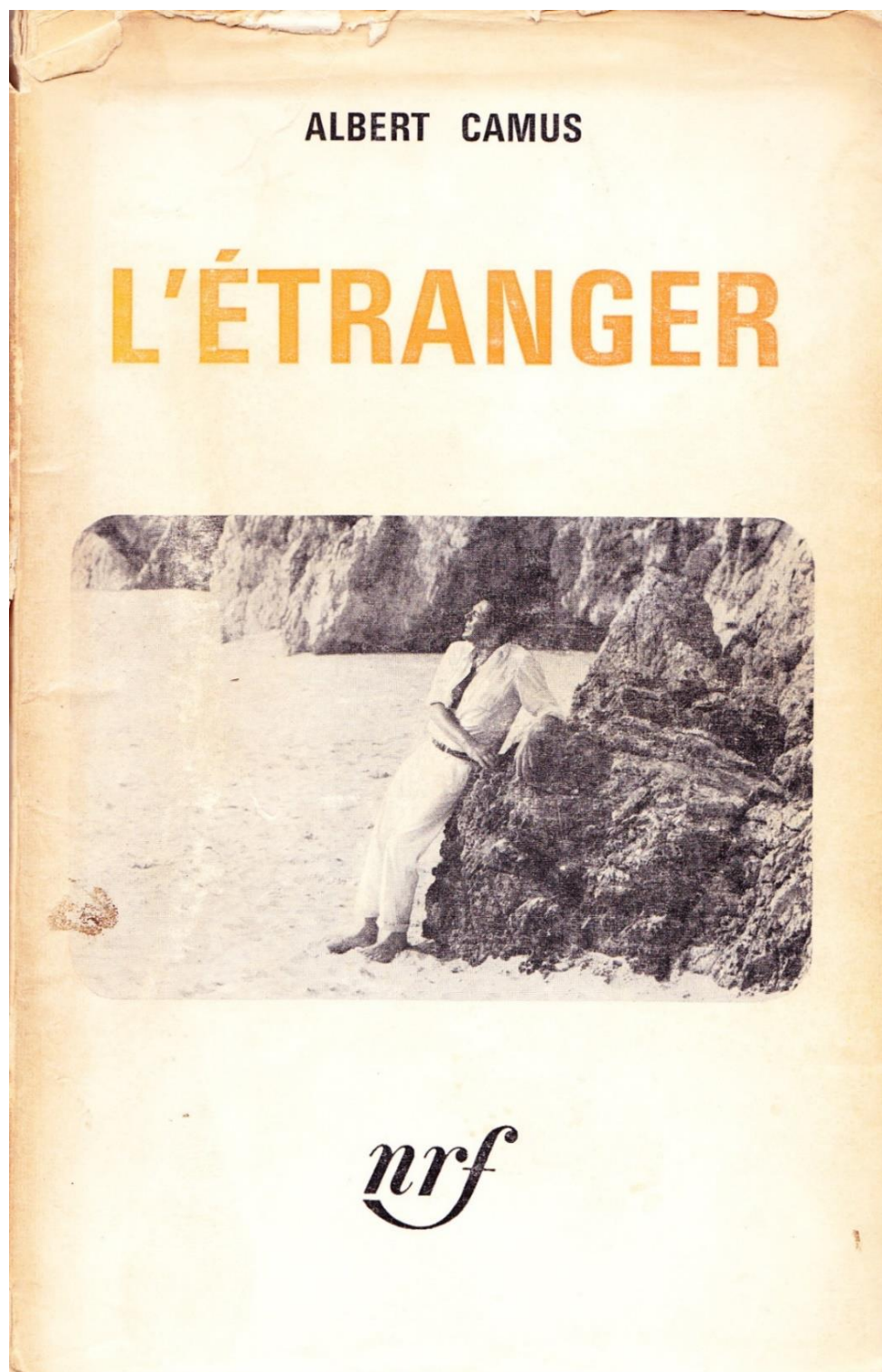
| | |
|---|-----|
| ～すべき | 442 |
| 結局、ついに | 443 |
| 緊張する <i>me tendais</i> : <i>tout entier</i> の役割 | 458 |
| ひしめく | 467 |
| 不穏な | 467 |
| 苛む (さいなむ) | 473 |
| (銃の撃鉄の) 歯止め | 476 |
| 耳を聳する | 476 |
| DEUXIÈME PARTIE 第2部 | 479 |
| I | 481 |
| じつくりと | 488 |
| ウィングカラー | 491 |
| 気が引ける : 決心が付かない様を表す | 494 |
| <i>de sorte que</i> (<i>de telle sorte que</i> , <i>en sorte que</i>) +直説法 : (結果) それで、従って | 499 |
| <i>de sorte que</i> (<i>de telle sorte que</i> , <i>en sorte que</i>) +接続法 : (目的) ～するように | 499 |
| 条件法過去・願望 : ～したかったのだが (出来なかった) | 504 |
| キリストの十字架像 | 523 |
| II | 548 |
| ジェロンディフ : <i>en</i> +現在分詞 | 551 |
| 南京虫 | 554 |
| 単複同形の名詞 | 560 |
| <i>ainsi que</i> | 562 |
| あしもと : 足下、足元、足許の違い | 575 |
| 強調構文 翻訳の仕方 | 582 |
| <i>à</i> +不定詞 | 585 |
| 配膳、賄い (まかない) | 593 |
| <i>à part qch / qn</i> : 条件を示す副詞句 | 601 |
| <i>Il reste...</i> : (非人称) ～が残る、残されている | 609 |
| III | 623 |
| 廷吏 (ていり) | 648 |
| 参考 : 日本の法廷内の配置例 | 649 |
| 否定文の <i>de</i> | 668 |
| ～するまで... しない : <i>ne...que</i> | 675 |
| 不十分 : <i>neuf</i> の訳し方 | 699 |
| 間接話法における条件法現在 | 717 |
| 複複合過去 : <i>avoir</i> の現在形+ (<i>eu</i> または <i>été</i>) +過去分詞 | 718 |

目次

| | |
|-------------------------------------|-----|
| (C'est) à peine si+直説法 | 722 |
| Si 事実の提示 | 722 |
| de sorte que +直説法 conj. (結果) それで～する | 736 |
| de sorte que +接続法 conj. (目的) ～するように | 736 |
| pour+不定詞 | 738 |
| pour ne pas+不定詞 : 例文 | 738 |
| 長い情景描写 2 | 743 |
| IV | 746 |
| entendre | 746 |
| l'on : 文頭や発音の都合 | 762 |
| rendre compte de... | 784 |
| 予謀 よぼう | 806 |
| 禁固刑 | 808 |
| 徒刑 | 808 |
| 英語の構文では | 815 |
| 第5文型で、「補語」が「目的語」の動作を表すその他の文型 | 815 |
| V | 818 |
| Ce qui compte, c'est... 「大事なことは～だ」 | 826 |
| collaborer 歩み寄る | 843 |
| フランス革命 | 845 |
| 過去分詞と直接目的語の性・数一致 | 878 |
| 法服 | 887 |
| 身支度 みじたく | 887 |
| 複複合過去 : 主節の直前に完了した行為を表す | 887 |
| apprendre | 898 |
| 「フランス語で読もう 異邦人」では | 921 |
| FIN | 937 |

Albert Camus
L'ÉTRANGER

PREMIÈRE PARTIE 第1部



PREMIÈRE PARTIE 第1部

I

きょう母さんが死んだ。あるいは昨日だったかもしれないが、よく分からない。

Aujourd'hui, maman est morte. Ou peut-être hier, je ne sais pas.

「副詞」「主語」「動詞句」 | Ou 「副詞句」「主語」「動詞句」

Aujourd'hui, オージュールトウイ adv. 今日

「副詞」

maman マモン n.f 母さんが

「主語」

est morte. エ・モルトウ 3 単現・完了形.f(mourir)v.i 死んだ

「動詞句」

mort+e 「主語」が女性なので過去分詞に e が追加されている

Ou conj. あるいは

peut-être hier, プ・テートル・イエール adv. もしかしたら昨日

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sais pas. ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t よくわからない

「動詞句」

養老院からの電報を受け取ったのだ。

J'ai reçu un télégramme de l'asile:

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai reçu エ・ルシュ 1 単現・完了形(recevoir)v.t 受け取った

「動詞句」

un télégramme アン・テレグラム n.m 電報を

「目的語」

de l'asile: トゥ・ラシル adv. 養老院から

「副詞句」

asile アシル n.m 収容所、養老院

「ハハウエゴセイキョ ソウギアス オクヤミモウシアゲル」

«Mère décédée. Enterrement demain. Sentiments distingués.»

《「主語」「動詞」 | 「主語」「副詞」 | 「副詞句」》

Mère メール n.f 母上、ハハウエ

「主語」

décédée. デセテ 過去分詞.f・受動(décéder)v.i 逝去された、セイキョ

「動詞」

Enterrement アンテールモン n.m 葬儀は、ソウギ

「主語」

demain. トゥマン adv. 明日、アス

「副詞」

Sentiments ソンチモン pl.n.m 思いやり、感情

「副詞句」

distingués.» デイスタンゲ adj.pl. 気品のある、卓越した

「形容詞」

日本語的には「お悔み申し上げます」という感じ

PREMIÈRE PARTIE 第1部

これでは意味が分からない。たぶん昨日だったんだろう。

Cela ne veut rien dire. C'était peut-être hier.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Cela スラ pron これは

「主語」

ne veut ...dire. ヌ・ヴ ・・・ディール 3 単現・願望・否定(vouloir dire)

v.t 意味しない

「動詞句」

rien リヤン pron 何も

「目的語」

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

peut-être hier. プ・テトル・イエール adv. たぶん昨日

「補語」

養老院はアルジェから 80 キロメートル離れたマランゴにある。

L'asile de vieillards est à Marengo, à quatre-vingts kilomètres d'Alger.

「主語」「動詞」「副詞句」

L'asile de vieillards ラジル・ドゥ・ウ・イエヤール n.m 養老院は

「主語」

asile アジール n.m 収容所、養老院 vieillard ウ・イエヤール n.m 老人

est エ 3 単現(être)v.i (存在) 〜にある

「動詞」

à Marengo, ア・マランゴ adv. マランゴに

「副詞句」

à quatre-vingts kilomètres ア・クワトル・ヴァン・キロメートル adv. 80 キロメートルの

「副詞句」

d'Alger. ダルジェ adv. アルジェから

「副詞句」

マランゴ Marengo :

北アフリカのアルジェリアの町(「異邦人」が出版された頃はフランス領)。一方、イタリア北部ピエモンテ州アレッサンドリア近郊の町マレンゴ Marengo において、ナポレオンは1800年にオーストリア軍とのマレンゴの戦いで勝利を収めた。同名だが全く異なる町。

2時のバスに乗ろうと思う。そうすれば午後のうちに着くだろう。

Je prendrai l'autobus à deux heures et j'arriverai dans l'après-midi.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

prendrai プ ロントレ 1 単末(prendre)v.t (乗物に) 乗ろうと思う

「動詞」

l'autobus ロトビュス n.m バスに

「目的語」

à deux heures ア・ドゥ・セール adj. 2時の

「形容詞句」

et エ conj. そうすれば

j' ジュ pron 僕は

「主語」

arriverai アリグレ 1 単末(arriver)v.i 着くだろう

「動詞」

dans l'après-midi. ドン・ラプレ・ミディ adv. 午後のうちに

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

単純未来・前未来（未来完了）：

- 星の全体と人間たちのすべてが一目で見渡せるだろうな...（未来の行為・状態を表す）

J'**apercevrai** d'un coup toute la planète et tous les hommes...

- 僕は君から離れないよ。（話者の意志）

Je ne te **quitterai** pas.

- もし君がおれを手なずけてくれたら、おれたちはお互いが必要になるんだよ。

Si tu m'apprivoises, nous **aurons** besoin l'un de l'autre. （未来の仮定を表す）

- 今晚、私に電話してください。（依頼・命令を表す）

Vous me **téléphonerez** ce soir.

- 直説法前未来（avoir／être の単純未来+過去分詞）の用法・例文

未来のある時点までに前もって完了している行為（未来完了）を表します。

J'**aurai fini** ce travail avant midi. 正午までにはこの仕事を終えているだろう。

Alors ce sera merveilleux quand tu m'**auras apprivoisé**!

だから、君がおれを手なずけてくれれば、それは素晴らしいものになるんだ！

すると通夜の番も出来るし、明日の晩には戻ってこられるだろう。

Ainsi, je pourrai veiller et je rentrerai demain soir.

「副詞」「主語」「動詞句」et「主語」「動詞」「副詞句」

Ainsi, アソ adv. そうすれば

「副詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

pourrai veiller プレ・ヴェイエ 1 単未・可能(pouvoir+不定詞)

v.i 通夜の番をすることが出来るだろう

「動詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

rentrerai ロントル 1 単未(rentre)v.i 戻って来るだろう

「動詞」

demain soir. トゥマン・スワール adv. 明日の晩に

「副詞句」

僕は雇い主に 2 日間の休暇を願い出たが、このような理由では彼も断れなかつただろう。

J'ai demandé deux jours de congé à mon patron et il ne pouvait pas me les refuser avec une excuse pareille.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」et「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai demandé エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 求めた

「動詞句」

deux jours de congé トゥ・ジュール・トゥ・コンジエ pl.n.m 2 日間の休暇を

「直接目的語」

à mon patron ア・モン・パトロン adv. 雇い主に

「間接目的語」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

il イル pron 彼は 「主語」
 ne pouvait pas ...refuser ヌ・プウゑ・パ ...ルフェゼ 3 単半・推測・否定(pouvoir+不定詞)
 v.t 拒否することはできなかつたろう 「動詞句」
 me les ム・レ pron 僕の要求を 「目的語」
 me は「間接目的語」、les は「直接目的語」(2 日間の休暇)
 avec une excuse pareille. アウヅッキ・ユンヌ・エクスキューズ・パレイユ
 adv. このような理由があるなら 「副詞句」
 excuse エクスキューズ n.f 理由 pareil パレイユ adj. (adj.f pareille) このような

しかし彼は納得した様子ではなかつた。

Mais il n'avait pas l'air content. Mais 「主語」「動詞句」「目的語」
 Mais メ conj. しかし
 il イル pron 彼は 「主語」
 n'avait pas ナゑ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t (心身の状態) ~していなかつた 「動詞句」
 l'air content. レール・コント n.m 納得した様子を 「目的語」
 air エール n.m 様子 content コント adj. 気に入った、納得した

僕は彼に、「ぼくのせいじゃありません」とまで言ってしまった。

Je lui ai même dit : «Ce n'est pas de ma faute.»
 「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「主語」「動詞」「補語」》
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai même dit : エ・メム・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t ~とさえ言った 「動詞句」
 Ce ス pron これは 「主語」
 n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ~ではない 「動詞」
 de ma faute.» トゥ・マ・フォート n.f 僕の責任、僕のせい 「補語」
 de は否定冠詞

彼は答えなかつた。それで、僕は彼にそんなことを言うべきではなかつたと思った。

Il n'a pas répondu. J'ai pensé alors que je n'aurais pas dû lui dire cela.
 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 n'a pas répondu. ナ・パ・レポンドュ 3 単現・完了形・否定(répondre)
 v.i 答えなかつた 「動詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t ~と思った 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| alors アール adv. それで | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'aurais pas dû ...dire ノーレ・パ・ジュ...デール 条・1 単現・完了形・否定(devoir+不定詞) | |
| v.t 言うべきではなかった | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| cela. スラ pron そんなことを | 「直接目的語」 |

要するに、僕が言い訳をする必要はなかった。

| | |
|---|-------------------|
| <u>En somme, je n'avais pas à m'excuser.</u> | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 |
| En somme, オン・ソム adv. 要するに、結局 | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'avais pas à +不定詞 ナヴ・パ・サ 1 単半・必要・否定(avoir à+不定詞) | |
| v. ～する必要はなかった | 「動詞句」 |
| avoir à+不定詞 「～しなければならない」 | |
| m'excuser. メ・クスキュゼ 不定詞 v.pr あやまる、言い訳をする | 「動詞句」 |

むしろ彼の方が僕にお悔みを示すべきだった。

| | |
|---|----------------|
| <u>C'était plutôt à lui de me présenter ses condoléances.</u> | 「動詞」 「副詞」 「主語」 |
| C' ス pron それは (仮の主語) | |
| était エ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| plutôt プリュト adv. むしろ | 「副詞」 |
| à lui ア・リュイ adv. 彼が (不定詞の意味上の主語) ～することが | 「主語」 |
| de +不定詞 ドゥ v. ～することが | 「動詞句」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| présenter プレザンテ 不定詞 v.t 示す | 「動詞」 |
| ses condoléances. セ・コンドレオンス pl.n.f お悔みを | 「直接目的語」 |

しかし、おそらく明後日に、喪服を着た僕を見たらお悔みを言ってくるだろう。

| | |
|---|-------|
| <u>Mais il le fera sans doute après-demain, quand il me verra en deuil.</u> | |
| Mais 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」, 「副詞節」 | |
| Mais メ conj. しかし | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| le ル pron そのことを | 「目的語」 |
| fera フラ 3 単末(faire)v.t するだろう | 「動詞」 |
| sans doute ソン・トゥット adv. おそらく、多分 | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|------------------------------------|-------|
| après-demain, アプ・レ・ドゥ・マシ adv. あさって | 「副詞」 |
| quand コン conj. ～する時 | 「副詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| verra ヴェラ 3 単未(voir)v.t 見る | 「動詞」 |
| en deuil. オン・ドゥエイユ adv. 喪服を着た | 「副詞句」 |

さしあたって、母さんはまだ死んでいなかったかのような状態である。

Pour le moment, c'est un peu comme si maman n'était pas morte.

| | |
|--|-----------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 |
| Pour le moment, プール・ル・モメン adv. さしあたって | 「副詞句」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| un peu comme si アン・プ・コム・シ adv. あたかも～のような | 「補語」 |
| maman マモン n.f 母さんは | 「主語」 |
| n'était pas morte. ネ・パ・モルトゥ 仮定法・3 単半・完了形(mourir) | |
| v.i 死んでいなかった | 「動詞句」 |

葬儀の後には反対に、それは処理済みの一件になって、全てがもっと公式な様子に見えるようになっていだろう。

Après l'enterrement, au contraire, ce sera une affaire classée et tout aura revêtu une allure plus officielle.

| | |
|--|---|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| Après l'enterrement, アプ・レ・ロンテルモン adv. 葬儀の後には | 「副詞句」 |
| au contraire, オ・コントレール adv. 逆に、反対に | 「副詞句」 |
| ce ス pron このことは(母の死、葬儀) | 「主語」 |
| sera スラ 3 単未(être)v.i ～になるだろう | 「動詞」 |
| une affaire classée ウヌ・アフエル・クラッセ n.f 処理済みの一件 | 「補語」 |
| affaire アフェール n.f 事、問題 classé クラッセ 過去分詞(classer)adj. 分類された | |
| et エ conj. そして | |
| tout トゥット 全てが | 「主語」 |
| aura revêtu オー・ラ・ルベ・チュ 3 単半・完了形(revêtir) | |
| v.t (～の風に) 見えるようになっていだろう | 「動詞句」 |
| une allure ユヌ・アリュール n.f 様子 | 「目的語」 |
| plus officielle. プリュ・オフィシエル adj. もっと公式な | 「形容詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は2時のバスに乗った。とても暑かった。

J'ai pris l'autobus à deux heures. II faisait très chaud.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞」「補語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t (乗物に) 乗った

「動詞句」

l'autobus オトビュス n.m バスに

「目的語」

à deux heures. ア・トゥ・セール adj. 2 時の

「形容詞句」

II イル pron 形式主語 (天気・気候)

faisait フェ 3 単半(faire)v.h ~だった

「動詞」

très chaud. トレ・ショ adj. とても暑い

「補語」

僕はいつものようにセレストのレストランで食事をした。

J'ai mangé au restaurant, chez Céleste, comme d'habitude. 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai mangé エ・モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた

「動詞句」

au restaurant, オ・レストラン adv. レストランで

「副詞句」

chez Céleste, シェ・セレスト adv. セレストのところで

「副詞句」

comme d'habitude. コム・ダビチュート adv. いつものように

「副詞句」

habitude アビチュート n.f 習慣

レストランの皆はぼくのことをとても気遣ってくれた。そしてセレストは僕に言った。「おふくろっていうのは一人しかいないからな。」

Ils avaient tous beaucoup de peine pour moi et Céleste m'a dit: «On n'a qu'une mère.»

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」

《「主語」「動詞句」「目的語」》

Ils イル pron レストランの皆は

「主語」

avaient アヴェ 3 複半(avoir)v.t ~をした

「動詞」

tous beaucoup de peine トゥ・ボク・トゥ・ペーヌ n.f とても気遣いを

「目的語」

pour moi プール・ムワ adv. 僕に対して

「副詞句」

et エ conj. そして

Céleste セレスト n. セレストは

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

On オン pron 人は

「主語」

n'a qu' ナ・ク 3 単現・否定(avoir, ne..que)v.t ~しかいない

「動詞句」

une mère. ユヌ・メル n.f 一人の母親

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

店を出る時には、皆が僕を戸口まで送ってくれた。

Quand je suis parti, ils m'ont accompagné à la porte.

「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Quand コン conj. ～した時

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

suis parti, シュイ・パルティ 1 単現・完了形(partir)v.i 店を出た

「動詞句」

ils イル pron 皆は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

ont accompagné オン・アコンパニエ 3 複現・完了形(accompagner)v.t 送ってくれた

「動詞句」

à la porte. ア・ラ・ポルト adv. 戸口まで

「副詞句」

僕はもう少しで忘れるところだった。というのは、エマニュエルのところに立ち寄って、黒のネクタイと喪章を借りなければならなかったのだ。

J'étais un peu étourdi parce qu'il a fallu que je monte chez Emmanuel pour lui emprunter une cravate noire et un brassard.

「主語」 「動詞」 「補語」 parce qu' 「動詞句」 「主語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

un peu étourdi アン・フ・エトルディ adj. 少しそそっかしい

「補語」

もう少しで忘れるところだった

parce qu' パルス・ク conj. ～なので

「副詞節」

il a fallu que +接続法 イ・ラ・ファリュ・ク 3 単現・完了形(falloir que+接続法)

v.i ～しなければならなかった

「動詞句」

je ジュ pron 僕は～

「主語」

monte モントゥ 接・1 単現(monter)v.i (人の家に) 立ち寄る

「動詞」

chez Emmanuel シェ・エマニュエル adv. エマニュエルのところに

「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

emprunter オンプリュンテ 不定詞 v.t 借りる

「動詞」

une cravate noire et un brassard. エヌ・クラヴァット・ヌワール・エ・アン・ブラサー

n.pl. 黒のネクタイと喪章を

「直接目的語」

接続法 (現在・半過去・過去・大過去) :

主節に接続された従属節で用いられ、話者の頭の中で考えられたことを述べる叙法です。

● 主節に願望・感情・疑いなどの動詞がある場合

Je désire que l'on prenne mes malheurs au sérieux.

僕の災難をもっと真剣に受け止めてほしいものだ。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

● 非人称主語の場合

Il est possible qu'il se **trompe**. 彼が間違っているかもしれない。

● 先行詞が最上級またはそれに準ずる表現の場合

Il est le meilleur médecin que je **connaisse**. 彼はわたしが知っている最上の医者だ。

● 譲歩節 : bien que ... (であるのに)、quoique ... (であるのに)、などの後で

Bien qu'il **fasse** mauvais, nous sortons. 天気は悪いけれど出かけます。

● 目的節 : pour que (～のために)、afin que (～のために)、などの後で

J'ai alors dessiné l'intérieur du serpent boa, afin que les grandes personnes **puissent** comprendre. そこで僕は、おとなにもわかるように、大蛇の体のなかの絵を描いたんだ。

● 条件節 : à condition que (～という条件で)、pourvu que (～しさえすれば)、à moins que (～でない限り)、などの後で

J'accepte ce travail à condition que vous m'**aidiez**.

あなたが手伝ってくれるなら、この仕事を引き受けます。

● 時間節 : avant que (～より前に)、jusqu'à ce que (～まで)、などの後で

Rentrons avant qu'il ne **pluve**. 雨が降るまでに戻りましょう。

● sans que (～することなく) の後で

Elle est sortie sans que son mari s'en **aperçoive**. 彼女は夫に気付かれずに外出した。

● 接続法半過去・大過去の用法・例文

Je ne compris pas pourquoi il était si important que les moutons **mangeassent** les arbustes.

ヒツジが小さな木を食べることがどうしてそんなに大事なのか、僕には分からなかった。

● 接続法過去・大過去の例文

Il eut un soupir de regret et se dit encore :

《Celui-là est le seul dont j'**eusse pu** faire mon ami. Mais sa planète est vraiment trop petite. Il n'y a pas de place pour deux ...》

王子様は哀惜の溜息をつき、また心の中で思った：

《この人は僕が友達にできたかもしれない唯一の人だ。だけど、彼の星は本当に小さすぎる。二人分の場所がない...》

Et le géographe, ayant ouvert son registre, tailla son crayon. On note d'abord au crayon les récits des explorateur. On attend, pour noter à l'encre, que l'explorateur **ait fourni** des preuves.

そして探検家は、台帳を開きながら、鉛筆を削った。最初に探検家の話を鉛筆で書く。探検家が証拠を提出したのを待ってインクで書く。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は数か月前に伯父さんを失くしていたのだ。僕はバスの出発に遅れないように走った。

Il a perdu son oncle, il y a quelques mois. J'ai couru pour ne pas manquer le départ.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il *il* pron 彼は

「主語」

a perdu *ア・ペルデュ* 3 単現・完了形(*perdre*)v.t 失くしていた

「動詞句」

son oncle, *ソン・オンクル* n.m 伯父さんを

「目的語」

il y a quelques mois. *イ・リ・ア・ケルク・ム* adv. 数か月前に

「副詞句」

J' *ジュ* pron 僕は

「主語」

ai couru *エ・クリュ* 1 単現・完了形(*courir*)v.i 走った

「動詞句」

pour +不定詞 *プール* adv. ～するために

「副詞句」

ne pas manquer *ヌ・パ・モンケ* 不定詞・否定形 v.t 逃がさない

「動詞句」

le départ. *ル・デパール* n.m バスの出発を

「目的語」

このように急いだり走ったために、多分それに加えて車の揺れやガソリンのにおいや道路や空からの照り返しなどすべてのせいで、僕はうとうとしてしまった。

Cette hâte, cette course, c'est à cause de tout cela sans doute, ajouté aux cahots, à l'odeur d'essence, à la réverbération de la route et du ciel, que je me suis assoupi.

「副詞句」, 「動詞」「副詞句」「主語」

Cette hâte, *セット・アート* n.f (原因) このように急いだことで

「副詞句」

cette course, *セット・クルス* n.f (原因) このように走ったことで

「副詞句」

c' *ス* pron 仮の主語 (真の主語は que 節: 強調構文)

est *エ* 3 単現(*être*)v.i ～である

「動詞」

à cause de tout cela *ア・コース・ドゥ・トゥット・スラ* adv. これらすべてのせいで

「副詞句」

sans doute, *ソン・ドゥット* adv. 多分、おそらく

「副詞句」

ajouté *アジュテ* 過去分詞・受動(*ajouter*)v.t (à) ～に加えて

「副詞句」

aux cahots, *オ・カ* adv. 車の揺れ

「目的語」

à l'odeur d'essence, *ア・ロテール・デ・ソンス* adv. ガソリンのにおい

「目的語」

à la réverbération de la route et du ciel, *ア・ラ・レヴァン・エルベラシオン・ドゥ・ラ・ルート・エ・ジュ・シエル*

adv. 道路や空からの照り返し

「目的語」

que *ク* conj. ～ということは

「主語」

je *ジュ* pron 僕は

「主語」

me suis assoupi. *ム・シュイ・アスビ* 1 単現・完了形(*s'assoupir*)v.pr うとうとした 「動詞句」

「僕が～したのは... のせいだ」という強調構文だが、「～のせいで、僕は～した」

強調構文 :

強調構文 : C'est ... qui 「主語の強調」

C'est moi qui ai cassé le vase. 花瓶を割ったのは私です。「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

強調構文：C'est ... que 「主語以外の強調」

C'est **Jean** qu'elle aime. 彼女が愛しているのはジャンなのだ。「直接目的語」

C'est **à lui** qu'elle a téléphoné hier soir.

彼女がゆうべ電話していたのは彼になのです。「間接目的語」

C'est **pour vous voir** que je suis venu ici.

私がここへ来たのはあなたにお会いするためです。「目的を表す副詞句」

目的だけでなく、原因や理由などを表す「副詞句」も使われる

強調構文：C'est ... que+名詞 「補語の強調」

C'est **un trésor** que la santé. 健康は宝だ。「補語」

僕は到着するまでほとんどの時間は眠っていた。

J'ai dormi pendant presque tout le trajet.

「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠っていた

「動詞句」

pendant ポントソ prep ～の間

「副詞句」

presque tout le trajet. プレスキ・トゥ・ル・トラジエ n.m ほとんどの道のり

「目的語」

presque プレスキ adv. ほとんど trajet トラジエ n.m 道のり

それから目を覚ますと、僕は一人の軍人にもたれかかっていた。彼は僕に微笑んで、遠くから来たのかと尋ねた。

Et quand je me suis réveillé, j'étais tassé contre un militaire qui m'a souri et qui m'a demandé si je venais de loin.

Et 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」「間接目的語」, 「形容詞節」

Et エ conj. そして

quand コソ conj. ～した時

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

me suis réveillé, ム・シュイ・レヴァイエ 1 単現・完了形(se réveiller)

v.pr 目を覚ました

「動詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

tassé タッセ 過去分詞(tasser)adj. 詰め寄った

「補語」

contre un militaire コントル・アン・ミテール adv. 一人の軍人に

「間接目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a souri ア・スリ 3 単現・完了形(sourire)v.i 微笑んだ

「動詞句」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥ・マンドゥ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| venais ヴネ 1 単半(venir)v.i 来た | 「動詞」 |
| de loin. ドゥ・ル・ワ ン adv. 遠くから | 「副詞句」 |

僕はそれ以上話さなくても良いように「ええ」とだけ答えた。

| | |
|---|----------------------|
| <u>J'ai dit «oui» pour n'avoir plus à parler.</u> | 「主語」「動詞句」《「応答」》「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «oui» ウィ adv. ええ、はい | 「応答」 |
| pour +不定詞 プール adv. ～するように | 「副詞句」 |
| n'avoir plus à parler. ナヴ・ワ・プル・ア・パル 不定詞・否定(avoir à+不定詞) | |
| v.i それ以上話す必要がない | 「動詞句」 |
| avoir à+不定詞 ～しなければならない n'avoir à+不定詞 ～する必要がない | |

養老院は村から 2 キロメートル離れた所にある。僕はそこまで歩いて行った。

| | |
|--|-------------------------------------|
| <u>L'asile est à deux kilomètres du village. J'ai fait le chemin à pied.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| L'asile ラジル n.m 養老院は | 「主語」 |
| est エ (être)v.i (存在) ～にある | 「動詞」 |
| à deux kilomètres du village. ア・ドゥ・キ・ロメートル・ジュ・ヴィラージュ | |
| adv. 村から 2 キロメートルのところに | 「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t ～した | 「動詞句」 |
| le chemin ル・シュマン n.m その道のりを | 「目的語」 |
| à pied. ア・ピエ adv. (手段) 徒歩で | 「副詞句」 |

僕は母さんにすぐ会いたかった。

| | |
|--|---------------------|
| <u>J'ai voulu voir maman tout de suite.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai voulu voir エ・グリュ・ヴ・ワール 1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.t ～に会いたかった | 「動詞句」 |
| maman マモン n.f 母さんに | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

tout de suite. トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに

「副詞句」

しかし門番は、僕が院長に会うように強く勧めた。

Mais le concierge m'a dit qu'il fallait que je rencontre le directeur.

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番が

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il fallait イル・ファレ 3 単半(falloir que+接続法)

v.h ～しなければならない

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

rencontre ロンコントル 接・1 単現(rencontrer)v.t 会う

「動詞」

le directeur. ル・ディレクター n.m 院長に

「目的語」

彼は手がふさがっていたので、僕は少し待った。

Comme il était occupé, j'ai attendu un peu. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Comme コム conj. ～なので

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

occupé, オキュペ adj. 忙しい、手がふさがった

「補語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai attendu エ・アトンデ 1 単現・完了形(attendre)v.i 待った

「動詞句」

un peu. アン・プ adv. 少し

「副詞句」

待っている間ずっと、門番はしゃべり続けていた。それから院長に会った。彼は僕を院長室に迎え入れた。

Pendant tout ce temps, le concierge a parlé et ensuite, j'ai vu le directeur : il m'a reçu dans son bureau. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」:

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Pendant tout ce temps, ポントゥ・トゥ・ストゥ adv. 待っている間じゅう

「副詞句」

le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は

「主語」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i しゃべっていた

「動詞句」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| ensuite, オンシュヰット adv. それから | 「副詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴ 1 単現・完了形(voir)v.t 会った | 「動詞句」 |
| le directeur: ル・ディレクトール n.m 院長に | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| a reçu ア・ルシュ 3 単現・完了形(recevoir)v.t 迎えた | 「動詞句」 |
| dans son bureau. トン・ソン・ビュロー adv. 院長室で | 「副詞句」 |
| bureau ビュロー n.m 勤務先、会社、事務室、所長室、事務局 | |

院長は、レジョン・ドヌール勲章をつけた小柄な老人だった。彼は淡い色の目で僕を見つめた。

C'était un petit vieux, avec la Légion d'honneur. Il m'a regardé de ses yeux clairs.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

| | |
|---|--------|
| C' ス pron 院長は | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| un petit vieux, アン・プティ・ヴィユー n.m 小さな老人 | 「補語」 |
| avec la Légion d'honneur. アヴ・エッキ・ラ・レジョン・ドヌール | |
| adj. レジョン・ドヌール勲章をつけた | 「形容詞句」 |
| la Légion d'honneur ラ・レジョン・ドヌール n.f レジョン・ドヌール勲章 | |
| (ナポレオンが制定した勲章。国家に功績のあった者に与えられる。) | |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた | 「動詞句」 |
| de ses yeux clairs. デ・セ・ジユ・クレール adv. (手段) 淡い色の目によって | 「副詞句」 |
| yeux イユ pl.nm 両目 clair クレール adj. 明るい、淡い色の | |

それから彼は僕の手を握りしめたが、その手をいつまでも話さなかったので、僕はようやく手を引っ込めたら良いかが全く分からなかった。

Puis il m'a serré la main qu'il a gardée si longtemps que je ne savais trop comment la retirer.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「目的語」「主語」「動詞句」「副詞句」 que 「主語」「動詞句」「目的語」

| | |
|--|---------|
| Puis ピュイ adv. それから | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕の | 「間接目的語」 |
| a serré ア・セ 3 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた、つかんだ | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| la main ラ・マン n.f 手を | 「直接目的語」 |
| qu' ク pron その手を | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a gardée ア・ギャレ 3 単現・完了形(garder)v.t 離さなかった | 「動詞句」 |
| si longtemps シ・ロントソ adv. あまりにも長く | 「副詞句」 |
| que ク conj.(si...que) その結果～できない | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne savais trop ヌ・サヴェ・トロ 1 単半(savoir)v.t 全く分からなかった | 「動詞句」 |
| ne...trop は否定の強調 | |
| comment+不定詞 コモン n.m どのように～するかという方法が | 「目的語」 |
| la ラ pron 手を | 「目的語」 |
| retirer. ルレ 不定詞 v.t 引っ込める | 「動詞」 |

彼は書類に目を通してから、僕に言った。

Il a consulté un dossier et m'a dit:

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「間接目的語」「動詞句」

| | |
|--|---------|
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a consulté ア・コンシルテ 3 単現・完了形(consulter)v.t 調べた、参照した | 「動詞句」 |
| un dossier アン・ドッシェ n.m 書類を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |

「ムルソーさんは3年前にここにお入りになりました。あなたはたった一人の身内です」

«Mme Meursault est entrée ici il y a trois ans. Vous étiez son seul soutien.»

《「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

| | |
|--|-------|
| Mme Meursault マダム・ムルソー n.f ムルソーさんは | 「主語」 |
| est entrée エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入られました | 「動詞句」 |
| ici イシ adv. ここに | 「副詞」 |
| il y a trois ans. イ・リ・ヤ・トルワ・サン adv. 3 年前に | 「副詞句」 |
| Vous ヴァ pron あなたは | 「主語」 |
| étiez エシェ 2 複半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| son seul soutien. ソン・スル・スファン n.m たった一人の身内 | 「補語」 |
| soutien スファン n.m 支え、支持者、支援 | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、彼が僕に何かを咎めだてしているように思われたので、彼に説明を始めた。

J'ai cru qu'il me reprochait quelque chose et j'ai commencé à lui expliquer.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai cru エ・クリュ 1 単現・完了形(croire)v.t (que) ～だと思った

「動詞句」

qu' ク conj. ～だということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

reprochait ルプ°ロシェ 3 単半・過去の現在(reprocher)v.t 咎めている

「動詞」

quelque chose ケルク・ショズ° n.f 何かを

「直接目的語」

et エ conj. それで

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai commencé +à+不定詞 エ・コモンセ 1 単現・完了形・開始(commencer+à+不定詞)

v. ～をし始めた

「動詞句」

à lui expliquer. ア・リュイ・エクスプ°リケ 不定詞(+lui)v. 彼に説明を

「動詞句」

しかし彼は僕をさえぎって言った：「弁解などしなくてもいいのですよ。あなたは」

Mais il m'a interrompu: «Vous n'avez pas à vous justifier, mon cher enfant.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」: «「主語」「動詞句」, 「呼びかけ」»

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a interrompu: ア・アンテロンピ° ュ 3 単現・完了形(interrompre)v.t さえぎって言った 「動詞句」

Vous ヴ° pron あなたは

「主語」

n'avez pas à vous justifier, ナヴ°エ・パ°・ア・ヴ°・ジュスティフィエ 2 複現・必要・否定

(avoir +à+不定詞 se justifier)v.pr 弁解しなくても良い

「動詞句」

avoir +à+不定詞 は「～しなければならない」、否定形は「～する必要はない」

se justifier ス・ジュスティフィエ v.pr 弁明する

mon cher enfant. モン・シェール・オンフ°ン n.m あなたは

「呼びかけ」

「お母さまの書類は読みました。お母さまの面倒を見るゆとりはなかったのですね」

J'ai lu le dossier de votre mère. Vous ne pouviez subvenir à ses besoins.

«「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」»

J' ジュ pron 私は

「主語」

ai lu エ・リュ 1 単現・完了形(lire)v.t 読んだ

「動詞句」

le dossier ル°ト°ッシェ n.m 書類を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

de votre mère. トゥ・ヴ・ォトル・メル adj. お母さまについての 「形容詞句」
 Vous ヴ pron あなたは 「主語」
 ne pouviez subvenir ヌ・プ・ヴィエ・シュヴ・ヴィニール 2 複半・可能・否定(pouvoir+不定詞)
 v.i (à に) 援助を与えることはできなかった 「動詞句」
 à ses besoins. ア・セ・ブ・ズワ 2 彼女の生活費に 「間接目的語」
 → お母さまの面倒を見るゆとりはなかった

「彼女には看護人が必要でしたが、あなたの収入はそれほどではない」

Il lui fallait une garde. Vos salaires sont modestes.

《「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Il lui fallait イル・リュイ・ファレ 3 単半(falloir+名詞)v.t 彼女には～が必要だった 「動詞句」
 lui は「間接目的語」彼女にとって
 une garde. ユヌ・ギャルト n.f 看護人が 「目的語」
 Vos salaires ヴォ・サレール pl.n.m あなたの給与は 「主語」
 sont ソ 3 複現(être)v.i ～である 「動詞」
 modestes. モデスト adj. 控えめの、慎ましい 「補語」

「そして全てを考えると、彼女はここに来たのが一番幸せだったのです」

Et tout compte fait, elle était plus heureuse ici.»

《Et 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」「副詞」》

Et エ conj. そして
 tout compte トゥ・コント n.m 全ての計算が 「目的語」
 fait, フェ 過去分詞・受動(faire)v.t なされたら 「副詞句」
 → 全てを考えると
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 plus heureuse プリュ・ズールズ adj. 一番幸せな 「補語」
 ici.» イシ adv. ここにきて 「副詞」

僕は言った：「はい、その通りです。院長さん」

J'ai dit: «Oui, monsieur le Directeur.» 「主語」「動詞句」: 《「応答」「呼びかけ」》
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 Oui, ウイ adv. はい、その通りです 「応答」
 monsieur le Directeur.» ムシユー・ル・テイレクトゥール n.m 院長さん 「呼びかけ」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は付け加えて言った。「ご存じの通り、お母さまには同年代の仲間がいました」

Il a ajouté: «Vous savez, elle avait des amis, des gens de son âge.

「主語」「動詞句」:《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》

Il イル pron 彼は

「主語」

a ajouté: ア・アジ ュテ 3 単現・完了形(*ajouter*)v.t 付け加えて言った

「動詞句」

Vous savez, ヴ・サヴ ェ adv. ご存知の通り

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

avait アヴ ェ 3 単半(*avoir*)v.t いた

「動詞」

des amis, デ・サミ pl.n. 仲間が

「目的語」

des gens de son âge. デ・ジ ョン・ド ャ・ソン・ナジ ュ pl.n. 同年代の人々が

「目的語」

「彼女は彼らと一緒に一昔前の趣味を楽しむことが出来たのです」

Elle pouvait partager avec eux des intérêts qui sont d'un autre temps.

《「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」》

Elle エル pron 彼女は

「主語」

pouvait partager プヴ ェ・パ ルタジ ャ 3 単半・可能(*pouvoir*+不定詞)

v.t 共有することが出来た、共にすることが出来た

「動詞句」

avec eux アヴ ェッキ・ウ adv. 彼らと一緒に

「副詞句」

des intérêts デ・サンテレ pl.n.m 趣味を

「目的語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

sont ソン 3 複現(*être*)v.i ~である

「動詞」

d'un autre temps. ダン・オートル・トン adj. 一昔前の

「補語」

「あなたはまだお若いから、あなたと一緒にだとお母さまは退屈なさったでしょう。」

Vous êtes jeune et elle devait s'ennuyer avec vous.»

《「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」》

Vous ヴ pron あなたは

「主語」

êtes エット 2 複現(*être*)v.i ~である

「動詞」

jeune ジ ュヌ adj. 若い

「補語」

et エ conj. だから

elle エル pron 彼女は

「主語」

devait s'ennuyer トヴ ァヴ ェ・ソニユイ 3 単半・可能性(*devoir*+不定詞)

v.pr 退屈したに違いない

「動詞句」

avec vous.» アヴ ェッキ・ヴ adv. あなたと一緒にだと

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それは本当だった。

C'était vrai.

「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

vrai. ヴレ adj. 本当の

「補語」

母さんが家にいた時、彼女は黙って目で僕を追いながら時間を過ごしていた。

Quand elle était à la maison, maman passait son temps à me suivre des yeux en silence.

「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Quand コン conj. ～した時

「副詞節」

elle エル pron 彼女が

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～にいた

「動詞」

à la maison, ア・ラ・メゾン adv. 家に

「副詞句」

maman マモン n.f 母さんは

「主語」

passait パセ 3 単半(passer)v.t (時を) 過ごしていた

「動詞」

son temps ソン・トン n.m 自分の時間を

「目的語」

à me suivre ア・ム・シュイーヴル adv. (継続: à+不定詞) 僕を追いながら

「副詞句」

des yeux デ・ジュ adv. 目で

「副詞句」

en silence. オン・シロンス adv. 黙って

「副詞句」

母が養老院に来た最初の頃は、よく泣いていたものだった。

Dans les premiers jours où elle était à l'asile, elle pleurait souvent.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」

Dans les premiers jours トン・レ・フルミエ・ジュール adv. 最初の頃は

「副詞句」

où ウ pron ～した

「形容詞節」

elle エル pron 彼女が

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～に来た

「動詞」

à l'asile, ア・ラジール adv. 養老院に

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

pleurait プル 3 単半(pleurer)v.i 泣いていたものだ

「動詞」

souvent. スヴオン adv. よく

「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかしそれは習慣のせいだ。何ヶ月かたってから、もし彼女を養老院から出したとしても、
きっと泣いただろう。

Mais c'était à cause de l'habitude. Au bout de quelques mois, elle aurait pleuré si on l'avait retirée de l'asile.

Mais 「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」

Mais メ conj. しかし

c' ス pron それは 「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

à cause de l'habitude. ア・コース・ド・ラ・ビチュート adj. 習慣のせい 「補語」

Au bout de オ・ブー・トゥ adv. ~の後に 「副詞句」

quelques mois, ケルク・ムワ pl.n.m 数ヶ月 「目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

aurait pleuré オレ・フル 条・3 単現・完了形(pleurer)v.i きっと泣いただろう 「動詞句」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

on オン pron 人が 「主語」

l' ラ pron 彼女を 「目的語」

avait retirée アヴェ・ルティレ 3 単現・完了形(retirer)v.t 引き出した 「動詞句」

de l'asile. ド・ラ・ジール adv. 養老院から 「副詞句」

やはり習慣のせいで。最近1年の間、僕がほとんど養老院に行かなくなっていたのは、少し
はそのせいといえる。

Toujours à cause de l'habitude. C'est un peu pour cela que dans la dernière année je n'y suis presque plus allé.

「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」

Toujours トウジュール adv. やはり 「副詞」

à cause de l'habitude. ア・コース・ド・ラ・ビチュート adv. 習慣のせい 「副詞句」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 節）強調構文

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

un peu pour cela アン・プ・プール・スラ adv. 少しはこのための 「補語」

que ク conj. ~することは 「主語」

dans la dernière année ドン・ラ・デルニエル・アネ adv. 最近1年の間 「副詞句」

je ジュ pron 僕が 「主語」

n'y suis presque plus allé. ニ・シュイ・プレス・プリュ・サレ 1 単現・完了形(aller)

v.i 養老院にほとんど行かなくなっていた 「動詞句」

y は à l'asile を表す

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それにここに来ると、僕の日曜日がつぶれてしまうからでもあった。——バス停に行き、切符を買って、2時間バスに乗るという手間は別にしてもである。

Et aussi parce que cela me prenait mon dimanche --- sans compter l'effort pour aller à l'autobus, prendre des tickets et faire deux heures de route.

Et 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

Et ɛ conj. そして

aussi parce que オ・パ・ルス・ク adv. また〜だからでもある 「副詞句」

cela スラ pron ここへ来ることは 「主語」

me ム pron 僕から 「間接目的語」

prenait プレ 3 単半(prendre)v.t 奪い取った 「動詞」

mon dimanche モン・デ・イモンシュ n.m 日曜日を 「直接目的語」

sans +不定詞 ソン adv. 〜しなくても 「副詞句」

compter コンテ 不定詞 v.t 計算に入れる 「動詞」

l'effort レフォル n.m 手間、骨折り 「目的語」

pour +不定詞 プール adj. 〜するための 「形容詞句」

aller à l'autobus, ア・ア・ラウトバス v.i バス停に行く 「動詞句」

prendre des tickets プロントル・デ・チケ v.t 切符を買う 「動詞句」

et ɛ conj. そして

faire deux heures de route. フェール・トゥ・セール・トゥールト

v.t 2時間バスに乗る 「動詞句」

院長は僕にさらに話し続けていた。しかし僕は彼の話をもうほとんど聞いていなかった。それから彼は僕に言った：「お母さまに会いたいでしょう？」

Le directeur m'a encore parlé. Mais je ne l'écoutais presque plus. Puis il m'a dit: «Je suppose que vous voulez voir votre mère.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」 | Mais 「主語」「動詞句」

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」: «「主語」「動詞」「目的語」»

Le directeur ル・デイレクトゥール n.m 院長は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a encore parlé. ア・オンコール・パルレ 3 単現・完了形(parler+encore)

v.i さらに話し続けていた 「動詞句」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne l'écoutais presque plus. ネ・レクテ・プレスキ・ブリュ 1 単半・否定(écouter)

v.t 彼の話をもうほとんど聞いていなかった 「動詞句」

l' ル pron 彼の話を presque プレスキ adv. ほとんど plus プリュ adv. (ne) もう〜ない

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| Puis ^{ピ ュイ} adv. それから | 「副詞」 |
| il ^{イル} pron 彼は | 「主語」 |
| m' ^ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ^{ア・ディ} 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| Je ^{ジ ュ} pron 私は | 「主語」 |
| suppose ^{シュポズ} 1 単現(supposer)v.t (que) ～と思う | 「動詞」 |
| que ^ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| vous ^ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| voulez voir ^{ヴレ・ヴ} わル 2 複現・願望(vouloir+不定詞) v.t 会いたい | 「動詞句」 |
| votre mère. ^{ヴォトル・メル} n.f お母さまに | 「目的語」 |

僕が何も言わずに立ち上がると、彼は僕を先導してドアの方へ進んで行った。

Je me suis levé sans rien dire et il m'a précédé vers la porte.

| | |
|---|---------|
| 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 | |
| Je ^{ジ ュ} pron 僕は | 「主語」 |
| me suis levé ^{ム・シュイ・ルヴェ} 1 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった | 「動詞句」 |
| sans +不定詞 ^ソ adv. ～せずに | 「副詞句」 |
| rien ^{リヤン} pron 何も～ない | 「目的語」 |
| dire ^{ディール} 不定詞 v.t 言う | 「動詞」 |
| et ^エ conj. すると | |
| il ^{イル} pron 彼は | 「主語」 |
| m' ^ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a précédé ^{ア・プレテデ} 3 単現・完了形(précéder)v.t (～より) 先に行った | 「動詞句」 |
| vers la porte. ^{ヴェール・ラ・ポルト} adv. ドアの方へ | 「副詞句」 |

階段を歩いている時、彼は僕に説明した。「お母さまは、私どものちょっとした霊安室へ移してあります。他の人たちを動揺させないためです。」

Dans l'escalier, il m'a expliqué: 《Nous l'avons transportée dans notre petite morgue. Pour ne pas impressionner les autres.

| | |
|---|---------|
| 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」: | |
| 《「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 「副詞句」》 | |
| Dans l'escalier, ^{ドン・レスカリエ} adv. 階段を歩いている時 | 「副詞句」 |
| il ^{イル} pron 彼は | 「主語」 |
| m' ^ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a expliqué: ^{ア・エクスプリケ} 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| Nous ヌ pron 私たちは | 「主語」 |
| l'ラ pron お母さまを | 「目的語」 |
| avons transportée アヴ・オン・トランスポ・ルテ 1 複現・完了形.f(transporter) | |
| v.t 移した、移動した | 「動詞句」 |
| dans notre petite morgue. トン・ノトル・プティット・モルク | |
| adv. 私どものちょっとした霊安室へ | 「副詞句」 |
| petite プティット adj.f 小さい、ささやかな、ちょっとした morgue モルク n.f 霊安室 | |
| Pour +不定詞 プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| ne pas impressionner ヌ・パ・サンプレシヨネ 不定詞・否定形 | |
| v.t 動揺させない | 「動詞句」 |
| les autres. レ・ゾートル pl.n. 他の人たちを | 「目的語」 |

「入寮者が亡くなるたびに、他の者たちは2～3日の間神経質になります。するとそれが業務に支障を与えてしまうからです」

Chaque fois qu'un pensionnaire meurt, les autres sont nerveux pendant deux ou trois jours. Et ça rend le service difficile.»

| | |
|---|--------|
| 《「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 Et 「主語」「動詞」「目的語」「補語」》 | |
| Chaque fois シャッキ・フワ n.f 毎回 | 「副詞句」 |
| qu'ク pron ～する | 「形容詞節」 |
| un pensionnaire アン・ポンシヨネール n. 入寮者が | 「主語」 |
| meurt, ムール 3 単現(mourir)v.i 亡くなる | 「動詞」 |
| les autres レ・ゾートル pl.pron 他の者たちは | 「主語」 |
| sont ソン 3 複現(être)v.i ～になる | 「動詞」 |
| nerveux ネルク adj. 神経質な | 「補語」 |
| pendant deux ou trois jours. ポントン・トゥ・ウ・トルワ・ジュール adv. 2～3日の間 | 「副詞句」 |
| Et エ conj. すると | |
| ça サ pron それが | 「主語」 |
| rend ロン 3 単現(rendre)v.t (SVOC) O を C にする | 「動詞」 |
| le service ル・セルヴィス n.m 業務を | 「目的語」 |
| difficile.》 ディフィシル adj. 困難な | 「補語」 |
| → それが業務に支障を与えてしまう | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

ぼくたちは中庭を横切った。そこには大勢の老人たちがいて、小さなグループごとにおしゃべりしていた。僕たちが通りかかると、彼らは黙り込んだ。

Nous avons traversé une cour où il y avait beaucoup de vieillards, bavardant par petits groupes. Ils se taisaient quand nous passions.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Nous ヌ pron 私たちは 「主語」
 avons traversé アヴ'オン・トラヴ'ェルセ 1 複現・完了形(traverser)v.t 横切った 「動詞句」
 une cour エヌ・クール n.f 中庭を 「目的語」
 où ウ adv. そこで～する 「副詞」
 il y avait イ・リ・ヤヴ'ェ 3 単半(avoir)v.t ～がいた 「動詞句」
 beaucoup de vieillards, ボク・ド'ウ・ヴィエイヤール pl.n. 多くの老人が 「目的語」
 bavardant バヴァルト'ン 現在分詞(bavarder)v.i おしゃべりしている 「形容詞句」
 par petits groupes. パール・プ'ティ・グルプ
 adv. 小さなグループごとに 「副詞句」
 Ils イル pron 彼らは 「主語」
 se taisaient ス・テーセ' 3 複半(se taire)v.pr 黙り込んだ 「動詞句」
 quand コン conj. ～する時 「副詞句」
 nous ヌ pron 私たちが 「主語」
 passions. パ'シオン 1 複現(passer)v.i 通る 「動詞」

そして僕たちの後ろで、それぞれのお喋りがまた始まった。まるで声をひそめたインコのお喋りのようだった。

Et derrière nous, les conversations reprenaient. On aurait dit d'un jacassement assourdi de perruches.

Et エ conj. そして
 derrière nous, デ'リエール・ヌ adv. 僕たちの後ろで 「副詞句」
 les conversations レ・コンヴァ'エルサシオン pl.n.f それぞれのお喋りが 「主語」
 reprenaient. ルプ'ルネ 3 複半(reprendre)v.i また始まった 「動詞」
 On aurait dit オ・ル・ディ 条・3 単現(dire)v.i まるで～のようだった 「動詞句」
 d'un jacassement assourdi de perruches. ダン・シ'ヤカスモン・アシュルテ'イ・ド'ウ・ペ'リュシュ
 n.m 声をひそめたインコのお喋り 「間接目的語」
 jacassement シ'ヤカスモン n.m 鳴き声 assourdi アシュルテ'イ 過去分詞 adj. 音を弱めた
 perruche ペ'リュシュ n.f インコ

PREMIÈRE PARTIE 第1部

小さな建物の戸口で院長は僕と別れた。「ムルソーさん、あなたを残していきますが、私は院長室におりますので、何なりとお申し付けください。」

A la porte d'un petit bâtiment, le directeur m'a quitté: «Je vous laisse, monsieur Meursault. Je suis à votre disposition dans mon bureau.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」:

《「主語」「目的語」「動詞」「呼びかけ」 | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》

A la porte ア・ラ・ポ°ルトゥ adv. 戸口で 「副詞句」

d'un petit bâtiment, タン・プ°ティ・バチモン adj. 小さな建物の 「形容詞句」

bâtiment バチモン n.m 建物、ビル

le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長は 「主語」

m' ム pron 私と 「目的語」

a quitté: ア・キテ 3 単現・完了形(quitter)v.t (人と) 別れた 「動詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

vous ヴ° pron あなたを 「目的語」

laisse, レス 3 単現(laisser)v.t 別れる、置いていく、残す 「動詞」

monsieur Meursault. ムシユ・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」

Je ジュ pron 私は 「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」

à votre disposition ア・ヴ°ォトル・ディスポ°ジション adv. (状態) あなたの意のままに 「補語」

→ 何なりとお申し付けください

dans mon bureau. トン・モン・ビュロー adv. 院長室で 「副詞句」

「一応、葬儀は明日の 10 時ということにいたしました。そうすれば、お通夜をなさることが出来ると考えまして」

En principe, l'enterrement est fixé à dix heures du matin. Nous avons pensé que vous pourrez ainsi veiller la disparue.

《「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」》

En principe, オン・プ°ランシプ° adv. 原則として、一応 「副詞句」

l'enterrement ロンテールモン n.m 葬儀は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

fixé フィケ adj. 定められた 「補語」

à dix heures du matin. ア・ディ・ゼール・ジユ・マタン adv. 明日の 10 時に 「副詞句」

Nous ヌ pron 私たちは 「主語」

avons pensé アヴ°オン・ポンセ 1 複現・完了形(penser)v.t (que) と考えた 「動詞句」

que ク conj. ~ということ を 「目的語」

vous ヴ° pron あなたが 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

pourrez プレ 2 複未(pouvoir+不定詞)v.i 〜することが出来るだろう 「動詞句」

ainsi アンシ adv. そうすると 「副詞」

veiller ヴェイェ 不定詞 v.t お通夜をする 「動詞句」

la disparue. ラ・ディスパリュ n.f 亡くなった方を 「目的語」

「最後に一言だけ：お母さまはよくお仲間に、宗教にのっとって葬儀をして欲しいという希望をおっしゃっていたようです」

Un dernier mot: votre mère a, paraît-il, exprimé souvent à ses compagnons le désir d'être enterrée religieusement.

《「目的語」：「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」「直接目的語」》

Un dernier mot: アン・デルニエ・モ n.m 最後に一言 「目的語」

votre mère ヴォトル・メル n.f お母さまは 「主語」

a, paraît-il, exprimé ア・パレ・ティル・エクスプリメ 3 単現・完了形(exprimer)

v.t おっしゃっていたようです 「動詞句」

paraît-il パレ・ティル adv. (挿入用の副詞句として) どうやら〜のようだ

souvent スヴオン adv. よく、しばしば 「副詞」

à ses compagnons ア・セ・コンパニオン adv. お仲間に 「間接目的語」

le désir ル・デジール n.m 希望を 「直接目的語」

d'+不定詞 トゥ adj. (同格) 〜するという 「形容詞句」

être enterrée エートル・オンテレ 不定詞・受動(enterrer)v.t 葬式が行われる 「動詞句」

religieusement. ルジユーズモン adv. 宗教的に 「副詞」

受動態と能動態：

- 能動態は「主語」が「動詞」の動作を行うのに対して、受動態は「主語」が何かによって「動詞」の動作を受けることを表します。その文の構造は以下になります。

| | 主語 | 動詞 | 目的語 | 副詞句 動作主 |
|-----|------|-------------|------|------------|
| 能動態 | Paul | invite | Anne | |
| 受動態 | Anne | est invitée | | par Paul |

動作主は par や de に続いて「副詞句」の形で示されます。

- 受動態の例文

Ma fleur **est menacé** de disparition prochaine?

僕の花が、近いうちに消えてなくなる恐れがあるの？

Cet astéroïde n'a été aperçu qu'une fois au télescope, en 1909, par un astronome turc.

この小惑星は、ただ一度だけ、1909 年に、望遠鏡をのぞいていたトルコの天文学者によって観察された。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

Quand tu **seras consolé** tu seras content de m'avoir connu.

君が慰めを得る時、僕と知り合ったことをうれしく思うだろう。

「私の判断で、必要なことはさせていただきましたが、念のために、そのことをあなたにお知らせしておきたかったのです。」

J'ai pris sur moi de faire le nécessaire. Mais je voulais vous en informer.»

《「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Mais 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」》

| | |
|---|---------|
| J' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t (行動を) とった | 「動詞句」 |
| sur moi シュール・ムわ adv. 私の判断で、私の責任で | 「副詞句」 |
| de faire トゥ・フェール 不定詞 v.t ~することを | 「目的語」 |
| le nécessaire. ル・ネセール n.m 必要なことを | 「目的語」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| voulais ヴレ 1 単半(vouloir+不定詞)v.t ~したかった | 「動詞句」 |
| vous ヴ pron あなたに | 「間接目的語」 |
| en オン pron そのことを | 「直接目的語」 |
| informer. アンフォルメ 不定詞 v.t 知らせる | 「動詞句」 |

僕は彼に礼を言った。母さんは、無神論者ではなかったが、生前は宗教について考えたことはなかった (と思った)。

Je l'ai remercié. Maman, sans être athée, n'avait jamais pensé de son vivant à la religion.

「主語」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

| | |
|---|---------|
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| l' ル pron 彼に | 「目的語」 |
| ai remercié. エ・ルメルエ 1 単現・完了形(remercier)v.t 例を言った | 「動詞句」 |
| Maman, マモン n.f 母さんは | 「主語」 |
| sans +不定詞 ソン adv. (譲歩) ~でないが | 「副詞句」 |
| être エートル 不定詞 v.i ~である | 「動詞」 |
| athée, アテ adj. 無神論者 | 「補語」 |
| n'avait jamais pensé ナヴェ・ジャメ・ボンセ 3 単半・完了形(penser) | |
| v.i 一度も考えなかった | 「動詞句」 |
| de son vivant トゥ・ソ・ヴ・イヴオン adv. 存命中に、生きている間は | 「副詞句」 |
| à la religion. ア・ラ・ルジヨン adv. 宗教について | 「間接目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は中に入った。そこは石灰で白く塗られ、ガラス張りの屋根で覆われた、やけに明るい部屋だった。

Je suis entré. C'était une salle très claire, blanchie à la chaux et recouverte d'une verrière.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

suis entré. シュイ・アントレ 1 単現・完了形(entrer)v.i 中に入った

「動詞句」

C' ス pron そこは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

une salle très claire, ユンス・サル・トレ・クレール n.f とても明るい部屋

「補語」

blanchie ブロンシ 過去分詞・受動(blanchir)adj.f 白く塗られた

「形容詞句」

à la chaux ア・ラ・ショ adv. (手段) 石灰で

「副詞句」

et エ conj. そして

recouverte ルクワ・ェルト 過去分詞・受動(recouvrir)adj.f(de で) 覆われた

「形容詞句」

d'une verrière. ト・ユンス・ウ・ェリエール adj. ガラス張りの屋根で

「副詞句」

verrière ウ・ェリエール n.f ガラス張りの屋根、大きなステンドグラス

(やけに明るい) という表現から、(明り取りのガラス窓) と考える

その部屋は椅子と X 字形の架台がいくつか備え付けられていた。

Elle était meublée de chaises et de chevalets en forme de X. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Elle エル pron その部屋は

「主語」

était meublée エテ・ムブレ 3 単半・受動.f(meubler)v.t 備え付けられていた

「動詞句」

de chaises ト・ウ・シェーズ adv. 椅子が

「副詞句」

et エ conj. そして

de chevalets ト・ウ・シュヴァレ adv. 架台が

「副詞句」

en forme de X. オン・フォルム・ト・ウ・イクス adv. X 字形の

「形容詞句」

それらのうち中央の 2 つの架台が、蓋で覆われた柩を支えていた。

Deux d'entre eux, au centre, supportaient une bière recouverte de son couvercle.

「主語」「動詞」「目的語」

Deux d'entre eux, au centre, ト・ウ・トントル・イ・オ・ソントル

pl.n.m それらのうち中央の 2 つの架台が

「主語」

supportaient ショ・ルテ 3 複半(supporter)v.t 支えていた

「動詞」

une bière ユンス・ビエール n.f 柩を

「目的語」

recouverte ルクワ・ェルト adj. 覆われた

「形容詞」

de son couvercle. ト・ウ・ソン・クーヴァ・ェルク adv. 柩の蓋によって

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

光るねじ釘が少しだけ締め付けられて、クルミ染料を塗られた柩の板の上に浮かび上がっているのだけが目を引いた。

On voyait seulement des vis brillantes. à peine enfoncées, se détacher sur les planches passées au brou de noix. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「補語」

On オン pron 人は 「主語」

受動態などに翻訳するほうがわかりやすい

voyait ヴェワイ 3 単半(voir)v.t 見た 「動詞」

seulement スルモン adv.(de) 〜だけ 「副詞」

des vis brillantes, デ・ヴィ・ブリヨント pl.n.f 光っているねじ釘 「目的語」

vis ヴィ n.f ねじ釘、ボルト brillant(e) ブリヨント adj. 光る

à peine enfoncées, ア・ペーヌ・オンフォンセ adv. 少しだけ締め付けた 「形容詞句」

à peine ア・ペーヌ adv. ほとんど〜ない enfoncé(e) オンフォンセ adj. 打込まれた

se détacher ス・デタッシュェ 不定詞 v.pr 浮かび出る 「補語」

sur les planches シュール・レ・プランシュ adv. 板の上に 「副詞句」

passées パッセ 過去分詞(passer)v.t.adj.f.pl 塗られた 「形容詞句」

passer パセ v.t 塗る

au brou de noix. オ・ブル・ドゥ・ヌワ adv. クルミ染料を「間接目的語」

この文の「補語」は「目的語」の動作を表している

柩のそばにはアラブ人の看護婦がいて、白い上っ張りを着て、頭に色鮮やかなスカーフを被っていた。

Près de la bière, il y avait une infirmière arabe en sarrau blanc, un foulard de couleur vive sur la tête. 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Près de +名詞 プレ・ドゥ adv. 〜のそばに 「副詞句」

la bière, ラ・ビエール n.f 柩、ビール 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t 〜がいた、あった 「動詞句」

une infirmière エヌ・アンフィルミエール n.f 看護婦 「目的語」

arabe アラブ adj. アラブ人の 「形容詞」

en sarrau blanc, オン・サロ・ブラン adv. 白い上っ張りを着て 「副詞句」

un foulard アン・フラー n.m スカーフ 「目的語」

de couleur vive トゥ・クレール・ヴィヴ adj. 色鮮やかな 「形容詞句」

vif ヴィフ adj.m, vive ヴィヴ adj.f 生き生きした、鮮やかな

sur la tête. シュール・ラ・テット adv. 頭の上に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

その時、門番が僕の背後に入ってきた。彼は走って来たに違いない。

A ce moment, le concierge est entré derrière mon dos. Il avait dû courir.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」

A ce moment, ア・ス・モン adv. その時、その頃、当時 「副詞句」

le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番 「主語」

est entré エ・アントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

derrière mon dos. テリェール・モン・ト adv. 僕の背後に 「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

avait dû courir. アヴ・ェ・ジュ・クリール 3 単半・完了形・推定(devoir + 不定詞)

v.i 走って来たに違いない 「動詞句」

彼は少しどもりながら言った：「柩に蓋をしてしまいました。お母さまにご対面できるようにするために、ねじ釘を外さなければなりません」

Il a bégayé un peu: «On l'a couverte, mais je dois dévisser la bière pour que vous puissiez la voir.» 「主語」「動詞句」「副詞句」:

《「主語」「目的語」「動詞句」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」》

Il イル pron 彼は 「主語」

a bégayé ア・ベゲイエ 3 単現・完了形(bégayer)v.i どもりながら言った 「動詞句」

un peu: アン・プ adv. 少し 「副詞句」

On オン pron 私は 「主語」

l' ラ pron(la bière の代用) それを 「目的語」

a couverte, ア・クヴェルト 3 単現・完了形.f(couvrir)v.t 蓋をした 「動詞句」

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 私は 「主語」

dois dévisser ト・わ・テウイッセ 1 単現・義務(devoir+不定詞)

v.t (ねじ釘を) 外さなければならない 「動詞句」

la bière ラ・ビェール n.f 柩 「目的語」

pour que +接続法 プール・ク conj. ～するために 「副詞節」

vous ヴ pron あなたが 「主語」

puissiez +不定詞 ビュイシエ 接・2 複現(pouvoir+不定詞)v. ～できる 「動詞句」

la ラ pron お母さまに 「目的語」

voir.» ヴワール 不定詞 v.t 対面する 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は柩に近づいて行ったが、その時僕は彼を制止した。

Il s'approchait de la bière quand je l'ai arrêté.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 quand 「主語」「目的語」「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

s'approchait サプ°ロシェ 3 単半(s'approcher)v.pr (de に) 近づいて行った

「動詞句」

de la bière トゥ・ラ・ビエール adv. 柩に

「間接目的語」

quand コン conj. その時～する

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼を

「目的語」

ai arrêté. エ・アレテ 1 単現・完了形(arrêter)v.t (動きを) 制止した

「動詞句」

彼は僕に言った：「ご対面なさりたくないのですか？」

Il m'a dit : « Vous ne voulez pas? » 「主語」「間接目的語」「動詞句」 : « 「主語」「動詞句」 »

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit : ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

Vous ウェ pron あなたは

「主語」

ne voulez pas? » ヌ・ヴェレ・パ° 2 複現・否定(vouloir+不定詞) (voir が省略されている)

v.t ご対面なさりたくないのですか？

「動詞句」

僕は答えた：「ええ、まあ」

J'ai répondu : « Non. »

「主語」「動詞句」 : « 「応答」 »

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai répondu : エ・レポ°ンデュ 1 単現・完了形(répondre)v.i 答えた

「動詞句」

Non. » ノン adv. ええ、まあ

「応答」

否定の「応答」で、少しぼかしている感じ

彼は動作を中断した。一方僕は、そんなことを言うべきではなかったという気がして気づまりを感じた。

Il s'est interrompu et j'étais gêné parce que je sentais que je n'aurais pas dû dire cela.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

s'est interrompu セ・アンテロンビ°ュ 3 単現・完了形(s'interrompre)v.pr 動作を中断した「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais gêné エ・ジェネ 1 単半・受動(gêner)v.t 気づまりを感じた

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|----------------------|-----------------------------------|------------------|-------|
| parce que | パルス・ク conj. | ～だから | 「副詞節」 |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| sentais | ソテ 1 単半(sentir)v.t | 感じた | 「動詞」 |
| que | ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'aurais pas dû dire | ル・パ・ジュ・テール 条・1 単現・完了形(devoir+不定詞) | | |
| v.t | | 言うべきではなかったかもしれない | 「動詞句」 |
| cela. | スラ pron | そんなことを | 「目的語」 |

ちょっと時間をおいて、彼は僕をじっと見つめて、僕に尋ねた。「どうしてですか？」しかし、それは非難めいたことはなくて、単に問い合わせたという感じだった。
僕は言った。「よく分からない」

Au bout d'un moment, il m'a regardé et il m'a demandé : « Pourquoi ? » mais sans reproche, comme s'il s'informait. J'ai dit : « Je ne sais pas. »

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 et 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」:

《「問いかけ」》 mais 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」: 《「主語」 「動詞句」》

Au bout d'un moment, オ・ブ・ダン・モン adv. 少し後に、ちょっと時間をおいて 「副詞句」

au bout de... 「～の後に、～の終わりに、～の端に、果てに」

| | | | |
|----------------|-------------------------------|-------------|---------|
| il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' | ム pron | 僕を | 「目的語」 |
| a regardé | ア・ルギャレテ 3 単現・完了形(regarder)v.t | じっと見た | 「動詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' | ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé: | ア・ドゥマンテ 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| Pourquoi? | プルワ adv. | どうしてですか | 「問いかけ」 |
| mais | メ conj. | しかし | |
| sans reproche, | ソ・ルプ ロッシュ adv. | 非難めいたことはなくて | 「副詞句」 |
| comme s' | コム・シ conj. | あたかも～のような | 「副詞節」 |
| il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| s'informait. | サンフォルメ 3 単半(s'informer)v.pr | 問い合わせた | 「動詞句」 |
| J' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai dit: | エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| Je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ne sais pas. | ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t | よく分からない | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

すると、彼は白い口髭をよじりながら、僕を見ないで、はっきりと言った。「分かります」

Alors, tortillant sa moustache blanche, il a déclaré sans me regarder : « Je comprends. »

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」: 《「主語」「動詞」》

Alors, アー adv. すると

「副詞」

tortillant トルティヨン 現在分詞(tortiller)v.t よじりながら

「副詞句」

sa moustache blanche, サ・ムスタシュ・ブロンシュ n.f 白い口髭を

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った

「動詞句」

sans +不定詞 ソン adv. ~しないで

「副詞句」

me ム pron 僕を

「目的語」

regarder: ルギャルテ 不定詞 v.t 見つめる

「動詞」

Je ジュ pron 私は

「主語」

comprends. コンプロン 1 単現(comprendre)v.t 分かる

「動詞」

彼は淡い青色の美しい目をしていて、顔色は少し赤みがかっていた。彼は僕に椅子を勧めてくれて、彼自身は僕の少し後ろに座った。

Il avait de beaux yeux, bleu clair, et un teint un peu rouge. Il m'a donné une chaise et lui-même s'est assis un peu en arrière de moi.

「主語」「動詞」「目的語」et「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」et「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴエ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態) ~をしていた

「動詞」

de beaux yeux, トゥ・ボ・ジウ pl.n.m 美しい目を

「目的語」

bleu clair, ブル・クレール adj. 淡い青色の

「形容詞句」

et エ conj. そして

un teint アン・タン n.m 顔色

「目的語」

un peu rouge. アン・プ・ルージュ adj. 少し赤みがかった

「形容詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a donné ア・ドネ 3 単現・完了形(donner)v.t くれた

「動詞句」

une chaise ユヌ・シェーズ n.f 椅子を

「直接目的語」

et エ conj. そして

lui-même リュイ・メーム pron 彼自身は

「主語」

s'est assis セ・シ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った

「動詞句」

un peu en arrière de moi. アン・プ・オン・アリエール・トゥ・ムわ

adv. 少し僕の後ろに

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

看護婦は立ち上がって、出口に向かって歩いて行った。

La garde s'est levée et s'est dirigée vers la sortie. 「主語」「動詞句」et「動詞句」「副詞句」
 La garde ラ・ギャルト n.f 看護婦は 「主語」
 s'est levée セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 et エ conj. そして
 s'est dirigée セ・テ・リジエ 3 単現・完了形.f(se diriger)v.pr (ver に) 向かった 「動詞句」
 s'が「直接目的語」なので、dirigéeのように女性形になっている
 vers la sortie. ヴェール・ラ・ソルティエ adv. 出口のほうに 「副詞句」

その時、門番が僕に言った：「彼女は皮膚がただれているんですよ」

À ce moment, le concierge m'a dit: «C'est un chancre qu'elle a.»
 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》
 À ce moment, ア・ス・モン adv. その時 「副詞句」
 le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番が 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit: ア・テ・イ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 C' ス pron 仮の主語(真の主語は qu'以降) 強調構文
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 un chancre アン・ショングル n.m 皮膚のただれ 「補語」
 qu' ク conj. (目的語) ~ということは 「主語」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 a. ア 3 単現(avoir)v.t (心身の状態) 持っている 「動詞」

僕は意味が分からなかったので、看護婦を見た。すると彼女が目の下に包帯をしていて、それが頭を一巻きしていることに気がついた。

Comme je ne comprenais pas, j'ai regardé l'infirmière et j'ai vu qu'elle portait sous les yeux un bandeau qui faisait le tour de la tête.
 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」et「主語」「動詞句」「目的語」
 Comme コム conj. (原因) ~なので 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne comprenais pas, ヌ・コンプレネ・パ 1 単半・否定(comprendre)
 v.t 分からなかった 「動詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai regardé エ・ルギャレ 1 単現・完了形(regarder)v.t 見た 「動詞句」
 l'infirmière ランフィルミエール n.f 看護婦を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|------------------------------|----------|--------|
| et エ conj. | そして | |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t | 見た | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| portait ポルテ 3 単半(porter)v.t | 身に着けていた | 「動詞」 |
| sous les yeux ス・レ・ジユ adv. | 目の下に | 「副詞句」 |
| un bandeau アン・ボントウ n.m | 包帯 | 「目的語」 |
| bandage ボンダージュ n.m | 包帯 | |
| pansement ホンセン n.m | 包帯 | |
| qui キ pron | (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| faisait フェ 3 単半(faire)v.t | ～していた | 「動詞」 |
| le tour ル・トゥール n.m | 一回り、一周 | 「目的語」 |
| de la tête. トゥ・ラ・テット adv. | 頭を | 「副詞句」 |

鼻のあたりを見ると、包帯が平らだった。

| | |
|---|---------------------|
| À la hauteur du nez, le bandeau était plat. | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 |
| À la hauteur du ア・ラ・オトゥール・ジユ adv. | ～の所は、～と同じ高さに |
| nez, ネ n.m | 鼻 |
| le bandeau ル・ボント n.m | 包帯は |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった |
| plat. プラ adj. | 平らな |
| 鼻は通常なら突き出ている (saillant サイオン adj. 突き出た) | |

彼女の顔の中で、包帯の白だけが目についた。

| | |
|---|---------------------|
| On ne voyait que la blancheur du bandeau dans son visage. | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| On オン pron | 人は |
| ne voyait que ヌ・ヴァー・ワエ・ク 3 単半・否定(voir) | |
| v.t | ～しか見えなかった、～だけが見えた |
| la blancheur ラ・ブロンシェール n.f | 白さ |
| du bandeau ジュ・ボント adj. | 包帯の |
| dans son visage. トン・ソンの・ヴァー・ジユ adv. | 彼女の顔の中で |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

看護婦が出て行くと、門番が言った：「あなたをお一人にしてさしあげましょう」

Quand elle est partie, le concierge a parlé: « Je vais vous laisser seul. »

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」: 《「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「補語」》

Quand コン conj. ～する時

「副詞節」

elle エル pron 彼女が

「主語」

est partie, エ・パルティ 3 単現・完了形(f partir)v.i 出て行った、立ち去った 「動詞句」

le concierge ル・コンシエルジュ n.m 門番が

「主語」

a parlé: ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 言った

「動詞句」

Je ジュ pron 私は

「主語」

vais +不定詞 ヴェ 1 単現・近接未来(aller+不定詞)v. ～します

「動詞句」

vous ヴ pron あなたを

「目的語」

laisser レッセ 不定詞 v.t (人) を～のままにする

「動詞句」

seul. スル adj. 一人きりの

「補語」

僕がどんな仕草をしたのか覚えていないが、彼はその場に残って僕の後ろに立っていた。

Je ne sais pas quel geste j'ai fait, mais il est resté, debout derrière moi.

「主語」 「動詞句」 「目的語」, mais 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない、覚えていない

「動詞句」

quel geste ケル・ジェスト n.m どんな仕草

「目的語」

j'ai fait, ジェ・フェ 1 単現・完了形(faire)adj. 僕がした

「形容詞節」

mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

est resté, エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i その場に残った

「動詞句」

debout ドゥッパ adv. 立って

「副詞」

derrière moi. デリエール・ムわ adv. 僕の後ろに

「副詞句」

僕の背後に彼が居ると、少し窮屈な感じがした。

Cette présence dans mon dos me gênait.

「主語」 「目的語」 「動詞」

Cette présence セット・プレザンス n.f 彼がいることは

「主語」

dans mon dos トン・モン・ドゥ adv. 僕の背後に

「副詞句」

dos ト n.m 背中

me ム pron 僕を

「目的語」

gênait. ジェネ 3 単半(gêner)v.t 不快にした、気づまりを感じさせた

「動詞」

「主語」 を原因・理由として翻訳する

PREMIÈRE PARTIE 第1部

部屋は午後の終わりの美しい光に満ちていた。

La pièce était pleine d'une belle lumière de fin d'après-midi. 「主語」「動詞」「補語」

La pièce ラ・ピエス n.f 部屋は 「主語」

était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

pleine d' プレヌ・ドゥ adj.f 〜で一杯の、〜に満ちた 「補語」

plein プラン adj.m, pleine プレヌ adj.f いっぱいの、満ちた

une belle lumière ユンウ・ベル・リュミエール n.f 美しい光 「目的語」

de fin d'après-midi. トゥ・ファン・ダブレ・ミティ adj. 午後の終わりの「形容詞句」

2匹のスズメバチがガラス張りの屋根に接触しながらぶんぶんいていた。

Deux frelons bourdonnaient contre la verrière. 「主語」「動詞」「副詞句」

Deux frelons トゥ・フルン pl.n.m 2匹のスズメバチが 「主語」

bourdonnaient ブルトネ 3 複半(bourdonner)v.i ぶんぶんいていた 「動詞」

contre la verrière. コントル・ラ・ヴェリエール adv. ガラス張りの屋根に接触しながら 「副詞句」

そして僕は眠気が襲い掛かって来るのを感じた。

Et je sentais le sommeil me gagner. Et 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

sentais ソテ 1 単半(sentir+O+不定詞)v.t O が〜するのを感じた 「動詞」

le sommeil ル・ソメイユ n.m 眠気が 「目的語」

me ム pron 僕を 「目的語」

gagner. ガニエ 不定詞 v.t (感情・眠気が) 襲う 「補語」

僕は、彼の方に振り返らずに、門番に言った：「ここに来てもう長いのですか？」

J'ai dit au concierge, sans me retourner vers lui: «Il y a longtemps que vous êtes là?»

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」：《「動詞句」「目的語」「副詞節」》

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

au concierge, オ・コンジェルジュ adv. 門番に 「間接目的語」

sans +不定詞 ソ adv. 〜せずに 「副詞句」

me retourner ム・ルトゥルネ 不定詞(se retourner)v.pr 振り返る 「動詞句」

vers lui: ヴェール・リュイ adv. 彼の方に 「副詞句」

Il y a イ・リア 3 単現(avoir)v.t ある、なる 「動詞句」

longtemps ロントン n.m 長い時間 「目的語」

que ク conj. 〜してから 「副詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

vous ヴ pron あなたが 「主語」
 êtes エツ 2 複現(être)v.i 〜にいる、来た 「動詞」
 là? ラ ここに 「副詞」

即座に彼は答えた。「5年になります」—ずっと僕の質問を待っていたかのように。

Immédiatement, il a répondu: «Cinq ans» — comme s'il avait attendu depuis toujours ma demande. 「副詞」, 「主語」 「動詞句」: 《「応答」》 --- 「副詞節」

Immédiatement, インメディアトゥモン adv. 即座に 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a répondu: ア・レポ・ンデュ 3 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」
 Cinq ans シン・コン pl.n.m 5年になります 「応答」
 comme s' コム・シ conj. まるで〜であるかのように 「副詞節」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait attendu アヴ・ェ・アトンデュ 3 単半・完了形(attendre)v.t 待っていた 「動詞句」
 depuis toujours トゥ・カビ・ユイ・トゥジュール adv. ずっと、ずっと前から 「副詞句」
 ma demande. マ・トゥモンテ n.f 僕の質問を 「目的語」

それから、彼はずいぶんお喋りをした。

Ensuite, il a beaucoup bavardé. 「副詞」, 「主語」 「動詞句」
 Ensuite, オンシュユット adv. それから 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a beaucoup bavardé. ア・ボク・バヴァルデ 3 単現・完了形(bavarder+ beaucoup)
 v.i ずいぶんお喋りをした 「動詞句」

ずっと以前に、いつか彼はマランゴの養老院で門番になるだろうと、誰かが万が一にでも言ったとしたら、彼はすごく驚いたかもしれないが。

On l'aurait bien étonné en lui disant qu'il finirait concierge à l'asile de Marengo. 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」
 On オン pron 誰かが 「主語」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 aurait bien étonné オー・レ・ビヤン・エトネ 条・3 単現・完了形(étonner) (条件法・過去未来)
 v.t ひどく驚かせたかもしれない 「動詞句」
 en lui disant オン・リュイ・ディザン ジエロンディフ(現在分詞 dire+lui)
 adv. (条件・仮定) 彼に言ったら 「副詞句」
 qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

finirait フィニレ 条・3 単現(finir)v.i やがて～になるだろう 「動詞」

concierge コンシェルジュ n.m 門番 「補語」

à l'asile de Marengo. ア・ラジブル・トウ・マランゴ

adv. マランゴの養老院で 「副詞句」

現在分詞・ジェロンディフ・過去分詞：

- 現在分詞は動詞を形容詞として扱う機能を持ち、関係する名詞の行為・状態を表す。

J'ai vu Paul **marchant** dans la rue. 私は通りを歩いているポールを見た。

- 文脈によって「同時・条件・対立・譲歩・原因」といったさまざまな意味で主語と論理的につながります。

Lisant ce livre, tu comprendras ce que pense cet écrivain.

この本を読めば、この作家の考えていることがわかるだろう。(条件)

Lisant ce livre, tu ne comprendras pas ce que pense cet écrivain.

この本を読んでも、この作家の考えていることがわからないだろう。(譲歩)

- ジェロンディフは〈en + 現在分詞〉の形式で、基本的には「同時動作」を表します。

J'ai vu Paul **en marchant** dans la rue. 私は道を歩いていたらポールに会った。

- 過去分詞が副詞句を構成している文例

Le premier était habité par un roi. Le roi siégeait, **habillé** de pourpre et d'hermine, sur un trône très simple et cependant majestueux.

最初の小惑星には、一人の王様が住んでいた。その王様は、深紅の服と白貂（しろてん）の毛皮を着て、たいへん簡素だが威厳のある玉座に腰かけていた。

- 絶対分詞構文：現在分詞や過去分詞が独自の主語をとまって用いられる場合
現在分詞は主語の能動的な動作、過去分詞は主語の受動的状態を表します。

Marie **buvant** trop, je l'accompagne à la maison.

マリーは飲みすぎるから僕が家へ送っていくんだよ。(現在分詞は性・数変化しない)

La maison **construite**, on va déménager.

家が建てられたので、引っ越しをします。(過去分詞は性・数変化する)

彼は 64 歳で、パリ生まれということだった。

Il **avait soixante-quatre ans** et il **était Parisien**.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「補語」

Il **il** pron 彼は 「主語」

avait アヴェ 3 単現(avoir)v.t (年齢が) ~歳である 「動詞」

soixante-quatre ans スワント・キョ・ラン pl.n.m 64 歳 「目的語」

et **et** conj. そして

il **il** pron 彼は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

Parisien. パリシヤン n.m パリっ子、パリ生まれの人

「補語」

その時、僕は彼の話に割り込んだ：「ここのご出身ではないのですね？」

À ce moment je l'ai interrompu: «Ah! vous n'êtes pas d'ici?»

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞句」：《「感嘆」 | 「主語」「動詞」「補語」》

À ce moment ア・ス・モメン adv. その時

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼の話を

「目的語」

ai interrompu: エ・アンテロンピュ 1 単現・完了形(interrompre)v.t 遮った、割り込んだ「動詞句」

Ah! アー int. ああ！

「感嘆」

vous ヴ pron あなたは

「主語」

n'êtes pas ネット・パ 2 複現・否定(être)v.i ～でない

「動詞」

d'ici? デイシ adj. ここの出身の

「補語」

それから、彼が僕を院長室へ案内する前に、母さんのことを話していたのを思い出した。

Puis je me suis souvenu qu'avant de me conduire chez le directeur, il m'avait parlé de maman.

Puis 「主語」「動詞句」「目的語」

Puis ビュイ adv. それから、そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis souvenu ム・シュイ・スヴニユ 1 単現・完了形(se souvenir)

v.pr (que ～ということ)を) 思い出した

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

avant de +不定詞 アヴァン・ドゥ adv. ～する前に

「副詞句」

me ム pron 僕を

「目的語」

conduire コンジューイル 不定詞 v.t 案内する

「動詞」

chez le directeur, シェ・ル・ディレクトゥール adv. 院長のところへ

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

avait parlé アヴァン・パル 3 単半・完了形(parler)v.i 話していた

「動詞句」

de maman. トゥ・マモン adv. 母のことを

「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

とくにこの地方では平野部は暑いので、急いで母を埋葬しなければならないと言っていた。

Il m'avait dit qu'il fallait l'enterrer très vite, parce que dans la plaine il faisait chaud, surtout dans ce pays.

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

avait dit アヴ・ェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 話していた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il fallait +不定詞 イル・ファレ 3 単半・時制の一致(falloir+不定詞)

v. ～しなければならない 「動詞句」

l' ラ pron 母を 「目的語」

enterrer オンテレ 不定詞 v.t 埋葬する 「動詞」

très vite, トレ・ヴィット adv. とても早く、急いで 「副詞句」

parce que パルス・ク conj. ～なので 「副詞節」

dans la plaine ドン・ラ・プレーヌ adv. 平野部では 「副詞句」

il イル pron (天候) 非人称 「主語」

faisait フェ 3 単半・時制の一致(faire)v.h ～である 「動詞」

chaud, ショ adj. 暑い 「補語」

surtout dans ce pays. シュルトウ・ドン・ス・ペイ

adv. 特にこの地方では 「副詞句」

surtout シュルトウ adv. 特に pays ペイ n.m 国、地方、故郷

彼はパリで暮らしたことがあり、パリのことは忘れ難いと言ったのはその時だ。

C'est alors qu'il m'avait appris qu'il avait vécu à Paris et qu'il avait du mal à l'oublier.

「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語(真の主語は qu'il 以降) 強調構文

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

alors アール adv. その時 「補語」

qu' ク conj. ～ということは 「主語」

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

avait appris アヴ・ェ・アプリ 3 単半・完了形(apprendre)v.t 教えてくれた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

avait vécu アヴ・ェ・ヴェ 3 単半・完了形(vivre)

v.i 暮らしたことがあった 「動詞句」

à Paris ア・パリ adv. パリで 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった

「動詞」

du mal ジュ・マル n.m 困難

「目的語」

à l'oublier. アルブリエ adv. パリを忘れるのに

「副詞句」

l' は Paris の代用

avoir du mal à+不定詞 「～するのが困難だ、なかなか～できない」

パリでは、(涼しいので) 3 日、時には 4 日間死者とともに霊安室で過ごす。

À Paris, on reste avec le mort trois, quatre jours quelquefois.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

À Paris, ア・パリ adv. パリでは

「副詞句」

on オン pron 人々は

「主語」

reste レスト 3 単現(rester)v.i とどまる

「動詞」

avec le mort アヴェッキ・ル・モール adv. 故人と共に、死者とともに

「副詞句」

trois, quatre jours quelquefois. トル・クワトル・ジュール・ケルクワ

adv. 3 日、時には 4 日間

「副詞句」

(暑い地域の) ここではそんな時間はない。身内の死に対して十分に思いを馳せる時間の余裕もなく、もう霊柩車の後を急いで追わなければならないのだ。

Ici on n'a pas le temps, on ne s'est pas fait à l'idée que déjà il faut courir derrière le corbillard.

Ici イシ adv. ここでは

「副詞」

on オン pron 人は

「主語」

n'a pas ナ・パ 3 単現・否定(avoir)v.t ない

「動詞」

le temps, ル・トン n.m そんな時間は

「目的語」

on オン pron 人は

「主語」

ne s'est pas fait ス・セ・パ・フェ 3 単現・完了形・否定(se faire)

v.pr (à に) 慣れていなかった

「動詞句」

se faire à... 「～に慣れる」

à l'idée ア・リエ adv. 死に対する想念に

「間接目的語」

que ク conj. ～する時に

「副詞節」

déjà デジャ adv. もう

「副詞」

il faut +不定詞 イ・フォ 3 単現(falloir)v. ～しなければならない

「動詞句」

courir クーール 不定詞 v.i 走る、急いで行く

「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

derrière le corbillard. デリエール・ル・コルビヤール adv. 霊柩車の後を 「副詞句」

「～する時に、... しなければならなかった」

身内の死に対して懐かしみ、そして決別する気持ちの整理がつかないうちに、...

その時門番の妻が彼に言った：「あなた、お止めなさい。この方にそんな事を話さなくてもいいでしょうに。」

Sa femme lui avait dit alors: «Tais-toi, ce ne sont pas des choses à raconter à monsieur.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」：《「動詞」「呼びかけ」「主語」「動詞」「補語」》

Sa femme サ・ファム n.f 門番の妻が 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

avait dit アヴェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

alors: アロー adv. その時 「副詞」

Tais テ 命・2 単現(taire)v.t そんな事言うんじゃない 「動詞」

toi, トゥワ pron あなた 「呼びかけ」

ce ス pron それは 「主語」

ne sont pas ス・ソ・パ° 3 複現・否定(être)v.i ～でない 「動詞」

des choses デ・ショーズ pl.n 物事 「補語」

à raconter ア・ラコンテ adj. 話すべき 「形容詞句」

à monsieur. ア・ムシエー adv. この方に 「間接目的語」

命令法：

- 動詞は tu, nous, vous に対する 3 種類の命令形を持っています。
- nous に対する命令形は「～しましょう」という勧誘の意味になります。
- 否定命令は動詞を ne...pas (plus, jamais)ではさみ、動作の禁止を意味します。

Soyez mes amis, je suis seul. 友達になってよ、ぼく、ひとりぼっちなんだ。

Allons voir un coucher de soleil... 夕陽を見に行こうよ...

N'oubliez pas que je me trouvais à mille milles de toute région habitée.

忘れないで欲しい、僕が人が住む土地から千マイル離れた所にいたということ。

当の老人は顔を赤らめて、弁解した。

Le vieux avait rougi et s'était excusé. 「主語」「動詞句」et「動詞句」

Le vieux ル・ヴィエ n.m 当の老人は 「主語」

avait rougi アヴェ・ルジ° 3 単半・完了形(rougir)v.i 顔を赤らめた 「動詞句」

et エ conj. そして

s'était excusé. セ・エキスキセ° 3 単半・完了形(s'excuser)v.pr 弁解した 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は間をとりなして言った：「いえいえ、だいじょうぶですよ」

J'étais intervenu pour dire: «Mais non. Mais non.»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「応答」》

J' ジュ pron 私は

「主語」

étais intervenu エテ・アンテルヴニュ 1 単半・完了形(intervenir)v.i 仲裁した

「動詞句」

pour dire: プール・ディール adv. (結果) そして言った

「副詞句」

Mais non. Mais non. メ・ノン・メ・ノン adv. いえいえ、だいじょうぶですよ

「応答」

僕は彼が言った事が正しくて興味深く思われた。

Je trouvais ce qu'il racontait juste et intéressant.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

trouvais トルヴァエ 1 単半(trouver)v.t (SVOC) O が C だと思った

「動詞」

ce ス pron これ

「目的語」

qu' ク pron ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

racontait ラコンテ 3 単半(raconter)v.t 話した

「動詞」

juste et intéressant. ジュスト・エ・アンテルソ adj. 正しくて興味深い

「補語」

読み始めの印象：

「カミュの『異邦人』は比較的短い文章で書き連ねられているので、テンポ良く読み進められて、小説に引き込まれていく気がする。様々な最小限の説明が散りばめられており、それらから必然的に発生した文章の意味が即座には理解できないことも多い。その時は、前の文章を読み直すことでやっと意味が理解できる。従ってこの小説を読み進めるためには、ちょっとしたキーワードを記憶しておくことが大事である。本当に素晴らしい文章なので、翻訳初心者の自分でも楽しく翻訳できる。」 三浦 高志 2016/03/13

小さな霊安室で、彼は生活困窮者としてこの養老院に収容されたことを僕に話してくれた。

Dans la petite morgue, il m'a appris qu'il était entré à l'asile comme indigent.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Dans la petite morgue, ドン・ラ・プティット・モルク adv. その小さな霊安室で

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a appris ア・アプリ 3 単現・完了形(apprendre)v.t 教えてくれた、話してくれた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

était entré エテ・アントレ 3 単半・受動(entrer)

v.t 入れられた、収容された

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

à l'asile ア・ラジブル adv. この養老院へ 「副詞句」
 comme indigent. コム・アンディージュン adv. 生活困窮者として 「副詞句」

彼は自分はまだ元気だと思っていたので、自分からこの門番の仕事を志願したのだった。

Comme il se sentait valide, il s'était proposé pour cette place de concierge.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」
 Comme コム conj. ～なので 「副詞節」
 il イル pron 彼は 「主語」
 se sentait ス・ツテ 3 単半(se sentir)v.pr 自分は～だと感じた 「動詞句」
 valide, ヴァリット adj. 壮健な、健康な 「補語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'était proposé セ・プ・ロポゼ 3 単半・完了形(se proposer)
 v.pr (pout として) 志願した、申し出た 「動詞句」
 pour cette place de concierge. プール・セツト・プラス・ト・ウ・コンシェルジュ
 adv. この門番の職を 「間接目的語」

僕は、「それは結局、養老院の入寮者ということですね」、と指摘した。

Je lui ai fait remarquer qu'en somme il était un pensionnaire.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai fait remarquer エ・フェルマルケ 1 単現・完了形(faire remarquer v.t 指摘する)
 v.t 指摘した 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 en somme オン・ソム adv. 結局、要するに 「副詞句」
 il イル pron それは (番人として働くことは) 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 un pensionnaire. アン・ポ・ンシヨネル n.m (養老院の) 入寮者 「補語」

彼は僕に、「それは違う」と答えた。

Il m'a dit que non.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形((dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 non. ノン adv. いいや、違う 「応答」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は彼の言葉遣いにもう気づいていた。彼は養老院の入寮者について話す時、「彼ら」とか「他の連中」とか、ごくまれにその中の何人かは彼よりも歳下であっても「年寄りたち」と呼ぶのであった。

J'avais déjà été frappé par la façon qu'il avait de dire: «ils», «les autres», et plus rarement «les vieux», en parlant des pensionnaires dont certains n'étaient pas plus âgés que lui.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

J' ジュ pron 私は

「主語」

avais déjà été frappé アヴェ・デジヤ・エテ・フラヘ 1 単半・完了形・受動(frapper+ déjà)

v.t もう気づいていた

「動詞句」

par la façon パール・ラ・ファソン adv. 仕方に

「間接目的語」

qu' ク pron ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t 持つ動詞

「動詞」

de dire: トゥ・ディール adj. 言うための

「形容詞句」

→ 彼の言い方、呼び方 la façon de dire に qu'il avait が挿入されている

«ils», «les autres», et plus rarement «les vieux», イル・レゾートル・エ・プ リュ・ラルモン・レ・ヴィユ

n. 「彼ら」とか「他の連中」とか、ごくまれに「年寄りたち」

「目的語」

en parlant オン・パルン ジェルンディオ(parler)

v.i ～について話す時に

「副詞句」

des pensionnaires デ・ボンシヨネル pl.n. 入寮者たち

「間接目的語」

dont certains ドン・セルタン pl.n. その中の何人かは

「形容詞節」

n'étaient pas ネ・ハ 3 複半・否定(être)

v.i ～でない

「動詞」

plus âgés que lui. プリュ・アジエ・ク・リュイ

adj. 彼より年上の

「補語」

しかし、この呼び方は同じことではない。

Mais naturellement, ce n'était pas la même chose.

Mais 「副詞」「主語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

naturellement, ナチュレルモン adv. 当然

「副詞」

ce ス pron この呼び方は

「主語」

n'était pas ネ・ハ 3 単半・否定(être)v.i ～でなかった

「動詞」

la même chose. ラ・メム・ショーズ n.f 同じこと

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は門番である、そしてある程度、彼らに対して権限がある。

Lui était concierge, et, dans une certaine mesure, il avait des droits sur eux.

「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Lui リュイ pron 彼は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 concierge, コンシェルジュ n.m 門番 「補語」
 et, エ conj. そして
 dans une certaine mesure, ドン・シユヌ・セルテヌ・ムジユール adv. ある程度は 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t ある 「動詞」
 des droits デ・ドルワ pl.n.m 権限 「目的語」
 sur eux. シュール・ウー adv. 彼らに対して 「副詞句」

この時看護婦が入ってきた。

La garde est entrée à ce moment.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La garde ラ・ギャルトゥ n.f 看護婦が 「主語」
 est entrée エ・アントレ 3 単現・完了形.f(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」
 à ce moment. ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」

あつという間に日が暮れてしまっていた。

Le soir était tombé brusquement.

「主語」「動詞句」「副詞」

Le soir ル・スワール n.m 夕方は 「主語」
 était tombé エテ・トンベ 3 単半・完了形(tomber)v.i 落ちてしまっていた 「動詞句」
 Le soir tombe. 「日が暮れる」
 brusquement. ブリュスクモン adv. 急に、あつという間に 「副詞」

急速に、夜がガラス張りの屋根の上で厚みを増していた。

Très vite, la nuit s'était épaissie au-dessus de la verrière.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Très vite, トレ・ヴィット adv. 急速に 「副詞句」
 la nuit ラ・ニュイ n.f 夜が 「主語」
 s'était épaissie セテ・エペシ 3 単半・完了形.f(s'épaissir)v.pr 濃くなっていた 「動詞句」
 au-dessus de オ・トゥシュ・トゥ adv. 〜の上で 「副詞句」
 la verrière. ラ・ヴェリエール n.f ガラス張りの屋根 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

門番がスイッチをひねって入れた、すると突然ほとばしった光のために、僕は目が眩んだ。

Le concierge a tourné le commutateur et j'ai été aveuglé par l'éclaboussement soudain de la lumière. 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は 「主語」

a tourné ア・トゥルネ 3 単現・完了形(tourner)v.t 回して入れた 「動詞句」

le commutateur ル・コムタテール n.m (電気の) スイッチを 「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai été aveuglé エ・エ・アヴグレ 1 単現・完了形・受動(aveugler)v.t 目が眩んだ 「動詞句」

par l'éclaboussement soudain パール・レクラブスモン・スタン

adv. 突然のほとばしりのために 「副詞句」

de la lumière. ドゥ・ラ・リュミエール adj. 光の 「形容詞句」

彼は僕に、食堂へ行って夕食を食べるように勧めた。

Il m'a invité à me rendre au réfectoire pour dîner. 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron ぼくに 「目的語」

a invité ア・アンヴィテ 3 単現・完了形(inviter)

v.t (qn à+不定詞) (人に) ~するよう勧めた 「動詞句」

à +不定詞 ア 不定詞 v. ~すること 「補語」

me rendre ム・ロントル 不定詞(se rendre)v.pr (à に) 行く 「動詞」

au réfectoire オ・レフェクトワール adv. 食堂へ 「副詞句」

pour dîner. プール・ディネ adv. 夕食を食べるために 「副詞句」

しかし僕は空腹ではなかった。

Mais je n'avais pas faim. Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais pas ナヴエ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ~でなかった 「動詞句」

faim. ファム n.f 空腹 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それで彼は、カフェ・オ・レを一杯持って来ましようと言ってくれた。

Il m'a offert alors d'apporter une tasse de café au lait. 「主語」「間接目的語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a offert alors d'apporter ア・オフェール・アロー・ダボ^ルテ 3 単現・完了形(offrir à qn de+不定詞+alors)

v.t それで (人に) ~を持ってくることを申し出た 「動詞句」

une tasse de café au lait. ユヌ・タス・ドゥ・キャフェ・オ・レ

n.f カフェ・オ・レを一杯 「目的語」

僕はカフェ・オ・レが大好きなので、そうしてもらった。すると少ししてからお盆に乗せて戻ってきた。

Comme j'aime beaucoup le café au lait, j'ai accepté et il est revenu un moment après avec un plateau. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Comme コム conj. ~なので 「副詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aime エム 1 単現(aimer)v.t 好きである 「動詞」

beaucoup ボク adv. とても 「副詞」

le café au lait, ル・キャフェ・オ・レ n.m カフェ・オ・レが 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai accepté エ・アクセプ^テ 1 単現・完了形(accepter)v.t 申し出を受け入れた 「動詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

est revenu エ・ルヴ^{ニュ} 3 単現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた 「動詞句」

un moment après アン・モモン・アプレ adv. 少ししてから 「副詞句」

avec un plateau. アヴ^エッキ・アン・プラト adv. お盆に乗せて 「副詞句」

僕は飲んだ。その時、タバコが吸いたくなかった。

J'ai bu. J'ai eu alors envie de fumer.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai bu. エ・ビュ 1 単現・完了形(boire)v.t 飲んだ 「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ~だった、~になった 「動詞句」

alors アロー adv. その時 「副詞」

envie de fumer. オンヴ^イー・ドゥ・フュメ n.f タバコを吸う欲望 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし、母さんの前で煙草を吸ってよいのかどうか分からなかったので、ためらっていた。

Mais j'ai hésité parce que je ne savais pas si je pouvais le faire devant maman.

Mais 「主語」「動詞句」「副詞節」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai hésité エ・エジテ 1 単現・完了形(hésiter)v.i ためらっていた

「動詞句」

parce que パルス・ク conj. ～なので

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne savais pas ヌ・サヴァ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 分からなかった

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

pouvais +不定詞 プゥヴェ 1 単半・許可・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v. ～してよい

「動詞句」

le ル pron そんなことを(煙草をすうこと)

「目的語」

faire フェール 不定詞 v.t する

「動詞」

devant maman. ドヴァン・マン adv. 母さんの前で

「副詞句」

少し考えて、大した問題ではないと思った。

J'ai réfléchi, cela n'avait aucune importance. 「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai réfléchi, エ・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i よく考えた、考えてみた

「動詞句」

cela スラ pron それは(タバコを吸う事)

「主語」

n'avait ナヴェ 3 単半・否定(avoir)v.t なかった

「動詞」

aucune importance. オキュヌ・アンポルトンス n.f (否定文で) 大したことは～ない

「目的語」

僕はタバコを1本門番に差し出して、一緒に吸った。

J'ai offert une cigarette au concierge et nous avons fumé.

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai offert エ・オフェール 1 単現・完了形(offrir)v.t 差し出した

「動詞句」

une cigarette ヌヌ・シガレット n.f タバコを1本

「直接目的語」

au concierge オ・コンシエルジュ adv. 門番に

「間接目的語」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 二人で

「主語」

avons fumé. アヴ・オン・フュメ 1 複現・完了形(fumer)v.i (タバコを) 吸った

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

ふと、彼が僕に言った。

À un moment, il m'a dit: 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」
 À un moment, ア・ウン・モメン adv. ある時、ふと 「副詞句」
 il イル pron 彼が 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

「ところで、お通夜にはお母さまのお友達も来ることになっています。これはしきたりです。
 わたしは、椅子やブラック・コーヒーを取りに行かなければなりません」

«Vous savez, les amis de madame votre mère vont venir la veiller aussi. C'est la coutume.
 Il faut que j'aille chercher des chaises et du café noir.»

«「呼びかけ」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞」
 「主語」 「動詞」 「補語」 | 「動詞句」 「主語」»
 Vous savez, ヴァ・サヴェ adv. ご存じの通り、ところで 「呼びかけ」
 les amis レ・ザミ pl.n. お友達は 「主語」
 de madame votre mère ド・ウ・マダム・ヴァ・オトル・メル adj. あなたのお母さんの 「形容詞句」
 vont venir ヴァン・ヴァニール 3 複現・近接未来(aller+不定詞)
 v.i 来ることになっています 「動詞句」
 la veiller ラ・ヴェイエ n.f お通夜に 「間接目的語」
 aussi. オシ adv. 同様に、～もまた 「副詞」
 C' ス pron これは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 la coutume. ラ・クチュム n.f しきたり、慣例、慣習 「補語」
 Il faut que イフ・ク 3 単現(Il faut que+接続法)v.h ～しなければならない 「動詞句」
 j' ジュ pron 私は 「主語」
 aille chercher アユ・シェルシェ 接・1 単現・意思(aller+不定詞)
 v.t ～を取りに行きます 「動詞句」
 des chaises デ・シェーズ pl.n.f いくつかの椅子 「目的語」
 et エ conj. そして
 du café noir.» ジュ・キャフェ・ヌワール n.m ブラック・コーヒーを 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は彼に、電灯を1つ消してもらえないか、と尋ねた。

Je lui ai demandé si on pouvait éteindre une des lampes.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai demandé エ・ト・ウモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

on オン pron あなたは、人は

「主語」

pouvait éteindre プ・ウエ・エタントル 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t を消すことができる

「動詞句」

une des lampes. エヌ・デ・ロンプ n.f 電灯を1つ

「目的語」

白い壁から反射する閃光で、僕はうんざりしていたのだ。

L'éclat de la lumière sur les murs blancs me fatiguait.

「主語」「目的語」「動詞」

L'éclat de la lumière レクラ・ト・ウ・ラ・リュミエール n.m 灯りの閃光が

「主語」

éclat エクラ n.m 輝き、閃光 lumière リュミエール n.f 光、明かり

sur les murs blancs シュール・レ・ミユール・ブロン adj. 白い壁から反射する

「形容詞句」

me ム pron 僕を

「目的語」

fatiguait. ファティゲ 3 単半(fatiguer)v.t うんざりさせた

「動詞」

彼は僕に、それは出来ない、と言った

Il m'a dit que ce n'était pas possible.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「直接目的語」

ce ス pron それは

「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない

「動詞」

possible. ホッシーブル adj. (否定文で) 出来ない

「補語」

配線工事がそのようにされていて、全ての明かりを点けるか消すかだった。

L'installation était ainsi faite : c'était tout ou rien.

「主語」「動詞句」:「主語」「動詞」「補語」

L'installation ランスタション n.f 配線工事が

「主語」

était ainsi faite: エテ・アンシ・フェ 3 単半・受動(faire)v.t そのようにされていた

「動詞句」

ainsi アンシ adv. そのように faire フェール v.t する

PREMIÈRE PARTIE 第1部

c' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 tout ou rien. トウ・ウ・リヤン adj. 全ての明かりを点けるか消すか 「補語」

僕はもうあまり彼が気にならなくなっていた。

Je n'ai plus beaucoup fait attention à lui. 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 n'ai plus beaucoup fait ネ・フ・リュ・ボク・フェ 1 単現・完了形・否定(faire)
 v.t もうあまり~しなくなっていた 「動詞句」
 attention アトシヨン n.f 気配りを 「直接目的語」
 à lui. ア・リュイ adv. 彼に対して 「間接目的語」

彼は部屋を出てから、戻って来て、椅子を並べた。

Il est sorti, est revenu, a disposé des chaises.
 「主語」「動詞句」, 「動詞句」, 「動詞句」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 est sorti, エ・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.i 出て行った 「動詞句」
 est revenu, エ・ルヴ・ニュ 3 単現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた 「動詞句」
 a disposé ア・ディスポゼ 3 単現・完了形(disposer)v.t 並べた 「動詞句」
 des chaises. デ・シェズ pl.n.f 椅子を 「目的語」

一つの椅子の上に、コーヒーポットをぐるりと囲んでカップを積み重ねた。

Sur l'une d'elles, il a empilé des tasses autour d'une cafetière.
 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Sur l'une d'elles, シュール・ユヌ・デル adv. 一つの椅子の上に 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a empilé ア・オピレ 3 単現・完了形(empiler)v.t 積み重ねた 「動詞句」
 des tasses テ・タス pl.n.f カップを 「目的語」
 autour d'une cafetière. オトゥール・ド・ユヌ・カフティエール adv. コーヒーポットの周りに 「副詞句」
 autour オトゥール adv. (de) ~の周りに cafetière カフティエール n.f コーヒーポット

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それから、彼は母さんの向こう側の僕の正面に座った。

Puis il s'est assis en face de moi, de l'autre côté de maman.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った

「動詞句」

en face de moi, オン・ファス・トゥ・ムワ adv. 僕の正面に

「副詞句」

de l'autre côté トゥ・オートル・コテ adv. 反対側の

「形容詞句」

de maman. トゥ・マモン adv. 母さんから

「副詞句」

看護婦も部屋の奥でこちらに背を向けて座っていた。彼女が何をしているか見えなかった。

La garde était aussi au fond, le dos tourné. Je ne voyais pas ce qu'elle faisait.

「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」

La garde ラ・ギャルト n.f 看護婦は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~いた、座っていた

「動詞」

aussi オシ adv. もまた

「副詞」

au fond, オ・フォン adv. 部屋の奥に

「副詞句」

le dos ル・ド n.m ~の背中で

「副詞句」

tourné. トゥルネ 過去分詞(tourner)v.t 向けた

「形容詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne voyais pas ヌ・ヴァイ・パ 1 単半・否定(voir)v.t 見えなかった

「動詞句」

ce ス pron ことが

「目的語」

qu' ク pron (目的語) ~する

「形容詞節」

elle エル pron 彼女が

「主語」

faisait. フェ 3 単半(faire)v.t していた

「動詞」

しかし彼女の腕の動きから、どうやら編み物をしているらしいと思った。

Mais au mouvement de ses bras, je pouvais croire qu'elle tricotait.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

au mouvement オ・ム・ヴァモン adv. 動きで

「副詞句」

de ses bras, トゥ・セ・ブラ adj. 彼女の腕の

「形容詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

pouvais croire プヴァイ・クルワ 1 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t ~と推察することができた

「動詞句」

qu' ク conj. ~ということ

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

elle エル pron 彼女は 「主語」
 tricotait. トリコテ 3 単半・時制の一致(tricoter)v.i 編み物をしている 「動詞」

穏やかな夜だった。コーヒーが僕の体を温めてくれた。開いた戸口からは、夜と花のにおいが入ってきた。僕は少しうとうとしたと思う。

Il faisait doux, le café m'avait réchauffé et par la porte ouverte entraient une odeur de nuit et de fleurs. Je crois que j'ai somnolé un peu.

「動詞句」「補語」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「副詞句」「動詞」「主語」
 「主語」「動詞」「目的語」

Il faisait イル・フェ 3 単半(faire)v.h (天候などを示す) ~だった 「動詞句」
 doux, ドゥ adj. (気候が) 穏やかな、温暖な 「補語」
 le café ル・キャフェ n.m コーヒーが 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 avait réchauffé アヴ・ェ・レショフェ 3 単半・完了形(réchauffer)v.t (人の体) を温めた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 par la porte ouverte パール・ラ・ポルト・ウヴェルト adv. 開いた戸口から 「副詞句」
 entraient オントレ 3 単半(entrer)v.i 入ってきた 「動詞」
 une odeur ユンヌ・オデール n.f においが 「主語」
 de nuit et de fleurs. トゥ・ニユイ・エ・トゥ・フレール advj. 夜と花の 「形容詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 crois クルわ 1 単現(croire)v.t (que ~だと) 思う 「動詞」
 que ク conj. ~ということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai somnolé エ・ソムレ 1 単現・完了形(somnoler)v.i うとうとした 「動詞句」
 un peu. アン・プ adv. 少し 「副詞句」

軽く触れる音で、僕は目が覚めた。

C'est un frôlement qui m'a réveillé. 「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 形式主語 (本当の主語は qui 以降) 強調構文
 est エ 3 単現 (être) v.i ~である 「動詞」
 un frôlement アン・フロールモン n.m 軽く触れる音 「補語」
 qui キ pron (主語) ~するのは 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a réveillé. ア・レヴェイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こした 「動詞句」
 僕を起こしたのは、軽く触れる音だ。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

眼を閉じていたせいで、白い部屋が僕にはさらにまぶしく思われた。

D'avoir fermé les yeux, la pièce m'a paru encore plus éclatante de blancheur.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

D'+不定詞・完了形 トゥ adv. (理由) ～していたので

「副詞句」

avoir fermé アヴ わ・ル・フェルメ 不定詞・完了形 v.t を閉じていた

「動詞句」

les yeux, レ・シュ pl.n.m 眼を

「目的語」

la pièce ラ・ピエス n.f 部屋は

「主語」

m' ム pron 僕にとって

「間接目的語」

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(praître)v.i ～のように見えた

「動詞句」

encore plus éclatante オンコール・プリュ・エクラント adj. さらにまばゆい

「補語」

de blancheur. トゥ・ブロンシル adv. 白さのために

「副詞句」

僕の目の前には全く影がなくて、すべての物が、すべての角がそして全ての曲線が、目障りなほど正確に、くっきりと姿を現していた。

Devant moi, il n'y avait pas une ombre et chaque objet, chaque angle, toutes les courbes se dessinaient avec une pureté blessante pour les yeux.

「副詞句」「動詞句」「目的語」et「主語」「動詞句」「副詞句」

Devant moi, トゥヴァン・ム adv. 僕の前には

「副詞句」

il n'y avait pas イル・ニ・アヴ・エ・パ 3 単半・否定・存在(avoir)v.t 無かった

「動詞句」

une ombre ヌヌ・オンブル n.f 影が

「目的語」

et エ conj. そして

chaque objet, シャッキ・オブジェ n.m すべての物が

「主語」

chaque angle, シャッキ・オングル n.m すべての角が

「主語」

toutes les courbes トゥット・レ・クルブ pl.n.f すべての曲線が

「主語」

se dessinaient ス・デシネ 3 複半(se dessiner)v.pr くっきりと姿を現していた

「動詞句」

avec une pureté アヴ・エッキ・ヌヌ・ピュルテ adv. ～の正確さで

「副詞句」

blessante ブレソント 現在分詞(blessser)v.t 不快感を与える程の

「形容詞句」

pour les yeux. プール・レ・シユ adv. 眼に

「間接目的語」

その時、母さんの友人たちが入ってきた。

C'est à ce moment que les amis de maman sont entrés.

「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 節）強調構文

est エ 3 単現 (être) v.i ～である

「動詞」

à ce moment ア・ス・モメン adv. その時

「補語」

「時間」を強調する場合は、「その時間に～する」と翻訳する

que ク conj. ～ということ

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

les amis de maman レ・ザミ・ドゥ・マン pl.n. 母さんの友人たちが 「主語」
sont entrés. ヲン・ントレ 3 複現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

彼らは、合わせて 10 人くらいだった。皆、あまり高く足を上げずに床の上をすべるように、
このまばゆい光の中を進んできた。

Ils étaient en tout une dizaine, et ils glissaient en silence dans cette lumière aveuglante.

「主語」「動詞」「副詞句」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
étaient エ 3 複現 (être) v.i 〜だった 「動詞」
en tout オン・トゥ adv. みんなで、全部合わせて 「副詞句」
une dizaine, ユヌ・ッデ・ゼーヌ n.f 10 人くらい 「補語」
et エ conj. そして
ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
glissaient グリセ 3 複半(glisser)v.i あまり足を上げずに滑るように進んできた 「動詞句」
en silence オン・シロンス adv. 静かに 「副詞句」
dans cette lumière トン・セツ・リュミエール adv. この明かりの中を 「副詞句」
aveuglante. アヴ・グロント adj. 眼をくらませる 「形容詞」

彼らは、どの椅子もきしませることなく静かに着席した。

Ils se sont assis sans qu'aucune chaise grinçât. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
se sont assis ス・ツン・タシ 3 複現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
sans qu'+接続法 ツン・ク adv. 〜することなしに、(その結果) 〜しなかった 「副詞句」
aucune chaise オキュヌ・シェーズ n.f いかなる椅子も〜ない 「主語」
grinçât. グランシャ 接・3 単半(grincer)v.i きしんだ 「動詞」
彼らは座ったが、どの椅子も軋まなかった。

僕はこれまでに人というものを一度も見ることがないというほどに彼らを見つめた、そして
彼らの顔や服のほんの細部までも僕の目ははっきりと捕らえていた。

Je les voyais comme je n'ai jamais vu personne et pas un détail de leurs visages ou de leurs habits ne m'échappait.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞節」 et 「動詞句」「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
les レ pron.pl 彼らを 「目的語」
voyais ヴー・ワヘ 1 単半(voir)v.t 見た 「動詞」
comme コム conj. 〜のように 「副詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai jamais vu ネ・ジヤメ・ウ 1 単現・完了形(voir)
 v.t 一度も見たことがない 「動詞句」
 主節と同じ voir が複合型で使用されている、「一度も見たことがないほどに」となる
 personne ペルソヌ pron 誰も～ない 「目的語」
 et エ conj. そして
 pas パ adv. (主語の否定・強調) いかなる～もない 「動詞句」
 un détail ウン・テタイユ n.m 細部が、詳細 「主語」
 de leurs visages トゥ・レール・ウイザージュ adj. 彼らの顔の 「形容詞句」
 ou ウ conj. または、～も
 de leurs habits トゥ・レール・アビ adj. 彼らの服の 「形容詞句」
 ne m'échappait. ヌ・メシャペ 3 単半(échapper+me)v.i 僕から逃れなかった 「動詞句」
 pas 「主語」 ne+ 「動詞」: 否定を強調する構文

ne m'échappait pas の否定の pas を主語の前に移動することで否定を強調している
 僕を主語として「彼らの顔や衣服のいかなる細部までも、僕にははっきりと見えていた」

けれども彼らの声が聞こえなかったのも、彼らが本当にそこにいるとは信じ難かった。

Pourtant je ne les entendais pas et j'avais peine à croire à leur réalité.

「副詞」「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Pourtant プールタン adv. しかし、けれども 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne les entendais pas ヌ・レ・ザンテ・パ 1 単半・否定(entendre+les)
 v.t 彼らの声は聞こえなかった 「動詞句」
 et エ conj. それで
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais peine à croire アヴィエ・ペーヌ・ア・クルワール 1 単半・可能・否定(avoir peine à+不定詞)
 v.i (à を) 信じ難かった 「動詞句」
 avoir peine à+不定詞 「～し難い、かろうじて～できる」
 à leur réalité. ア・レール・リアリテ adv. 彼らの実在性を 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

女たちはほとんど全員がエプロンをしていた。そして彼らの胴回りを締め付けていたエプロンの紐が、膨れ上がった腹部をさらに目立たせていた。

Presque toutes les femmes portaient un tablier et le cordon qui les serrait à la taille faisait encore ressortir leur ventre bombé.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Presque toutes les femmes プレスキ・トゥット・レ・ファム pl.n.f ほとんど全ての女は 「主語」
 presque プレスキ adv. ほとんど、ほぼ
 portaient ポルテ 3 複半(porter)v.t (衣服を) 着ていた 「動詞」
 un tablier アン・タブリエ n.m エプロンを 「目的語」
 et エ conj. そして
 le cordon ル・コルドン n.m 紐が 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 les レ pron 彼らを 「目的語」
 serrait セレ 3 単半(serrer)v.t 締めていた、縛っていた 「動詞」
 à la taille ア・ラ・タイユ adv. 腰回りを 「副詞句」
 faisait encore ressortir フェ・オンコール・ルソルティール 3 単半・使役(faire+不定詞+encore)
 v.t さらに目立たせていた 「動詞句」
 leur ventre bombé. レール・ウ・アントル・ボンベ n.m 膨れ上がった腹部を 「目的語」
 ventre ウ・アントル n.m 腹、腹部 bombé ボンベ adj. 張り出した、突き出た

歳をとった女の腹がこれほど膨れあがるとは、今まで全く気にしたことがなかった。

Je n'avais encore jamais remarqué à quel point les vieilles femmes pouvaient avoir du ventre.

「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'avais encore jamais remarqué ナヴェ・エ・ゾンコール・ジヤメ・ルマルケ 1 単半・完了形(remarquer)
 v.t 今までに一度も注目したことがなかった 「動詞句」
 à quel point ア・ケル・プ・オン adv. どの程度まで～であるかということを 「間接目的語」
 les vieilles femmes レ・ウ・エイユ・ファム pl.n.f 歳をとった女が 「主語」
 pouvaient avoir プヴァ・エ・アウ・ワール 3 複半・可能(pouvoir+不定詞)
 v.t 持つことが出来る 「動詞句」
 du ventre. ジュ・ウ・アントル n.m 腹を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

男たちはほとんどがひどく痩せていて、両手に杖をついていた。

Les hommes étaient presque tous très maigres et tenaient des cannes.

「主語」「動詞」「補語」 et 「動詞」「目的語」

Les hommes レ・ゾム pl.n.m 男たちは

「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i ~だった

「動詞」

presque tous très maigres プレスキ・トウ・トレ・メーグール adj. ほとんどがひどく痩せた

「補語」

et エ conj. そして

tenaient トゥネ 3 複半(tenir)v.t 持っていた

「動詞」

des cannes. デ・カヌ pl.n.f 杖を

「目的語」

彼らの顔の中で僕の関心を引いたのは、彼らの目が見当たらず、顔のしわが集まったその真ん中にどんよりとしたほのかな光だけが見えたことだ。

Ce qui me frappait dans leurs visages, c'est que je ne voyais pas leurs yeux, mais seulement une lueur sans éclat au milieu d'un nid de rides.

「主語」「動詞」「補語」

Ce ス pron 事は

「主語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

me ム pron 僕を

「目的語」

frappait フラペ 3 単半(frapper)v.t (関心を) 引いた

「動詞」

dans leurs visages, ドン・レール・ガイザージュ adv. 彼らの顔の中で

「副詞句」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

que ク conj. ~ということ

「補語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne voyais pas ヌ・ヴァー・ワエ・パ 1 単半・否定(voir)v.t 見えなかった

「動詞句」

leurs yeux, レール・ジュー pl.n.m 彼らの目

「目的語」

mais メ conj. しかし

seulement スルモン adv. ~だけ

「副詞」

une lueur ユヌ・リュエール n.f ほのかな光

「目的語」

sans éclat ソン・エクラ adv. 地味に、どんよりと

「副詞句」

au milieu オ・ミユー adv. 真ん中に

「副詞句」

d'un nid ダン・ニ adj. たまり場の

「形容詞句」

de rides. トゥ・リッド adj. 顔のしわの

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らが座った時、大部分の老婆たちは僕を見つめて、歯のない口で唇をしっかりと噛みしめて遠慮がちに頭を上下に振った。それが、僕に挨拶しているのかそれとも妙な癖なのか僕には分からなかった。

Lorsqu'ils se sont assis, la plupart m'ont regardé et ont hoché la tête avec gêne, les lèvres toutes mangées par leur bouche sans dents, sans que je puisse savoir s'ils me saluaient ou s'il s'agissait d'un tic.

「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 et 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
「副詞句」, 「副詞節」

Lorsqu' ロルスキ conj. ～した時 「副詞節」
ils イル pron.pl 彼らが 「主語」
se sont assis, ス・ソ・ン・タシ 3 複現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
la plupart ラ・プ・リュ・パ・ール n.f 大部分の老婆たちは 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
ont regardé オン・ルキ・ヤルテ 3 複現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」
et エ conj. そして
ont hoché オン・オシェ 3 複現・完了形(hocher)v.t (首を) 上下に振った 「動詞句」
la tête ラ・テット n.f 頭を 「目的語」
avec gêne, アヴ・ェッキ・ジ・ェヌ adv. 遠慮がちに 「副詞句」
les lèvres レ・レーヴル pl.n.f 唇を、口元を 「目的語」
toutes mangées トゥット・モンジエ 過去分詞.f.pl(manger)v.t しっかりと噛みしめて 「副詞句」
par leur bouche sans dents, パ・ール・レール・ブ・ーシュ・ソ・ドン
adv. 歯のない口によって 「副詞句」
sans que ソン・ク adv. ～なしに 「副詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
puisse savoir ビ・ユイス・サヴ・ワール 接・1 単半・可能(pouvoir+不定詞)
v.t 分かった 「動詞句」
s' シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
ils イル pron 彼らは 「主語」
me ム pron 僕に 「目的語」
saluaient サリュエ 3 複半(saluer)v.t 挨拶していた 「動詞」
ou ウ conj. または
s' シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
il イル pron 非人称
s'agissait d' サジセ・トゥ 3 単半(s'agir de qch)
v.pr ～が問題だった、～に関わることだった 「動詞句」
un tic. アン・チック n.m (無意識の) 妙な癖 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

どちらかという、挨拶だったと思う。

| | |
|---|-------------------|
| <u>Je crois plutôt qu'ils me saluaient.</u> | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| crois クルわ 1 単現(croire)v.t (que+直説法) ～だと思う | 「動詞」 |
| plutôt プリュト adv. どちらかという | 「副詞」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| ils イル pron 彼らは | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | 「目的語」 |
| saluaient. サリュエ 3 複半(saluer)v.t 挨拶していた | 「動詞」 |

この時、僕は気がついた。彼らは皆僕と向き合って、門番を囲んで軽く頭を揺すりながら座っていたのだ。

| | |
|--|--------------|
| <u>C'est à ce moment que je me suis aperçu qu'ils étaient tous assis en face de moi à dodeliner de la tête, autour du concierge.</u> | 「動詞」「補語」「主語」 |
| C' ス pron 仮の主語(真の主語は que 以降) 強調構文 | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| à ce moment ア・ス・モメン adv. この時 | 「補語」 |
| → 「この時～した」と翻訳する | |
| que ク conj. ～したのは | 「主語」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| me suis aperçu ム・シュイ・アヘルシュ 1 単現・完了形(s'apercevoir) | |
| v.pr (que+直説法) ～に気付いた | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| ils イル pron 彼らは | 「主語」 |
| étaient エテ 3 複半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| tous assis トゥ・アシ adj. みな座っていた | 「補語」 |
| en face de moi オン・ファス・ドモイ・ムわ adv. 僕と向き合って | 「副詞句」 |
| à dodeliner ア・ドゥクリネ adv. 軽く揺すりながら | 「副詞句」 |
| de la tête, トゥ・ラ・テット adv. 頭を | 「間接目的語」 |
| autour du concierge. オトゥール・ジュ・コンジエルジュ adv. 門番の周囲に | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は一瞬、彼らは僕を裁くためにそこに居るのだという、奇妙な印象を受けた。

J'ai eu un moment l'impression ridicule qu'ils étaient là pour me juger.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「形容詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 持った 「動詞句」
 un moment アン・モモン adv. 一瞬 「副詞句」
 l'impression ridicule ランプレシヨ・リディキュール n.f 奇妙な印象を 「目的語」
 qu' ク pron (同格) ～という 「形容詞節」
 ils イル pron 彼らは 「主語」
 étaient エテ 3 複半(être)v.i ～にいた 「動詞」
 là ラー adv. そこに 「副詞」
 pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」
 me ム pron 僕を 「目的語」
 juger. ジュジエ 不定詞 v.t 裁く 「動詞」

少しすると、女たちの1人が泣き始めた。

Peu après, une des femmes s'est mise à pleurer.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」

Peu après, プ・アプレ adv. 少しすると、間もなく 「副詞句」
 une des femmes エヌ・デ・ファム n.f 女たちの1人が 「主語」
 s'est mise à pleurer. セ・ミス・ア・フル 3 単現・完了形.f・開始(se mettre à+不定詞)
 v.i 泣き始めた 「動詞句」
 mise は mettre の過去分詞 mis の女性形

彼女は2列目に座っていて、同僚の1人の陰に隠れていたの、僕は彼女の姿がよく見えなかった。

Elle était au second rang, cachée par une de ses compagnes, et je la voyais mal.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞句」, et 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 était エテ 3 単現(être)v.i ～にいた 「動詞」
 au second rang, オ・スコ・ン・ロン adv. 2 列目に 「副詞句」
 cachée カシェ 過去分詞.f(cacher)v.t 隠されて 「副詞句」
 par une de ses compagnes, パール・エヌ・ド・サ・セ・コンパニー
 adv. 同僚の一人によって 「副詞句」
 et エ conj. それで
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 la ラ pron 彼女を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

voyais ヴワヱ 1 単半(voir)v.t 見えた 「動詞」
mal. マル adv. よく～ない 「副詞」

彼女は規則的にしゃくりあげて泣いていた：彼女は泣き止まないように見えた。

Elle pleurait à petits cris, régulièrement : il me semblait qu'elle ne s'arrêterait jamais.

「主語」「動詞」「副詞句」：「間接目的語」「動詞」「主語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

pleurait プル 3 単半(pleurer)v.i 泣いた 「動詞」

à petits cris, ア・プティ・クリ adv. 小さな叫び声をあげて 「副詞句」

régulièrement : レギュリエルモン adv. 規則正しく 「副詞」

il イル pron 仮の主語(真の主語は qu'以降)

me ム pron 僕には 「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ～のように思われた 「動詞」

qu' ク conj. ～ということは 「主語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

ne s'arrêterait jamais. ヌ・サレートル・ジャメ 条・3 単現・否定(s'arrêter)

v.pr (+de pleurer が省略) 泣き止まないだろう 「動詞句」

この条件法現在では過去における未来の推測を表す

他の老人たちは、それが聞こえない様子だった。

Les autres avaient l'air de ne pas l'entendre. 「主語」「動詞」「目的語」

Les autres レ・ゾートル pl.pron 他の老人たちは 「主語」

avaient アヴェ 3 複半(avoir)v.t (状態) ～をしていた 「動詞」

l'air de +不定詞 レール・トゥ n.m ～する様子を 「目的語」

ne pas l'entendre. ヌ・パ・ロントドル 不定詞・否定形 v.t それが聞こえない 「動詞句」

彼らは、無言で陰気にかがみ込んでいた。

Ils étaient affaissés, mornes et silencieux. 「主語」「動詞」「補語」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i ～だった 「動詞」

affaissés, アフェ 過去分詞(affaïsser)adj.pl かがみ込んだ、沈み込んだ 「補語」

mornes et silencieux. モルヌ・エ・シロンシウ adv. 無言で陰気に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らは、柩や自分の杖や他の物をじっと見つめていたが、それしか見ていなかった。

Ils regardaient la bière ou leur canne, ou n'importe quoi, mais ils ne regardaient que cela.

「主語」「動詞」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

regardaient ルギヤルテ 3 複半(regarder)v.t 見つめていた 「動詞」

la bière ou leur canne, ラ・ビエール・ウ・レール・カンヌ n. 柩や自分の杖を 「目的語」

ou ウ conj. そうでなければ

n'importe quoi, ナンポルト・クワ pron なんでも 「目的語」

mais メ conj. しかし

ils イル pron 彼らは 「主語」

ne regardaient que ヌ・ルギヤルテ・ク 3 複半・否定(regarder)

v.t ~しか見ていなかった 「動詞句」

cela. スラ pron それ 「目的語」

女はまだ泣いていた。

La femme pleurait toujours. 「主語」「動詞」「副詞」

La femme ラ・ファム n.f 女は 「主語」

pleurait プル 3 単半(pleurer)v.i 泣いていた 「動詞」

toujours. トゥジュール adv. まだ 「副詞」

彼女とは面識がなかったので、僕はとても意外だった。もう泣き止んでくれたらと思った。

J'étais très étonné parce que je ne la connaissais pas. J'aurais voulu ne plus l'entendre.

「主語」「動詞」「補語」「副詞節」 | 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

très étonné トレ・エネ adj. とても驚いた、意外に思った 「補語」

parce que パルス・ク conj. なので 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne la connaissais pas. ヌ・ラ・コネ・パ 1 単半・否定(connaître+la)

v.t 彼女と知り合いではなかった 「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais voulu +不定詞 オーレ・グリュ 条・1 単現・完了形(vouloir+不定詞)

v.t ~したらよいと思った 「動詞句」

この条件法過去は「過去における未来完了」をあらわす

ne plus l'entendre. ヌ・プリュ・ロントトル 不定詞・否定(entendre+la)

v.t もう泣き声が聞こえない 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

→ 泣き声が止んだらよいと思った

だが敢えてそれを彼女に言う事はしなかった。

Pourtant je n'osais pas le lui dire.

「副詞」「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「動詞句」

Pourtant フルトン adv. それでも、だが 「副詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'osais pas ノゼ・パ 1 単半・意思・否定(oser+不定詞)v.t 敢えて～しなかった 「動詞句」

le ル pron そのことを 「直接目的語」

彼女が泣き止んで欲しいということを

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

dire. ディール 不定詞 v.t 言う 「動詞句」

門番が彼女の方に身をかがめて彼女に話しかけたが、彼女は頭を激しく振って、なにごとか
口ごもり、先程と同じく規則的に泣き続けた。

Le concierge s'est penché vers elle, lui a parlé, mais elle a secoué la tête, a bredouillé
quelque chose, et a continué de pleurer avec la même régularité.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」

mais 「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「副詞句」

Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番が 「主語」

s'est penché セ・ボンシェ 3 単現・完了形(se pencher)v.pr 身をかがめた 「動詞句」

vers elle, ヴェール・エル adv. 彼女の方へ 「副詞句」

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

a parlé, ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話しかけた 「動詞句」

mais メ conj. しかし

elle エル pron 彼女は 「主語」

a secoué ア・スクエ 3 単現・完了形(secouer)v.t (体の部分を) 振った 「動詞句」

la tête, ラ・テット n.f 頭を 「目的語」

a bredouillé ア・ブルトウエイ 3 単現・完了形(bredouiller)v.t 早口で口ごもった 「動詞句」

quelque chose, ケルク・ショーズ pron 何かを 「目的語」

et エ conj. そして

a continué de pleurer ア・コンティヌエ・トウ・プル 3 単現・完了形・継続(continuer de+不定詞)

v.i 泣き続けた 「動詞句」

avec la même régularité. アウ・エッキ・ラ・メム・レギュラリテ

adv. 先程と同じ規則正しさで 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それで門番はこちら側へやって来て、僕のそばに座った。

Le concierge est venu alors de mon côté. Il s'est assis près de moi.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

Le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門番は 「主語」
 est venu エ・ヴァニユ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」
 alors アロー adv. それで 「副詞句」
 de mon côté. トゥ・モン・コテ adv. 僕のいる側へ、こちら側に 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 près de moi. プレ・トゥ・ムわ adv. 僕のそばに 「副詞句」

かなり時間がたってから、彼は僕の顔を見ないで説明してくれた。

Après un assez long moment, il m'a renseigné sans me regarder:

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Après アプレ prep ~の後で 「副詞句」
 un assez long moment, アン・アセ・ロン・トン n.m かなり長い時間 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a renseigné ア・ロンセエ 3 単現・完了形(renseigner)v.t 説明した 「動詞句」
 sans +不定詞 ソン adv. ~せずに 「副詞句」
 me ム pron 僕を 「目的語」
 regarder: ルギャルテ 不定詞 v.t 見る 「動詞」

「彼女は、あなたの母上ととても親交が深かったのです。お母さまが、ここでのたった一人の友達だった、そして今はもう独りぼっちになってしまった、と言っています。」

«Elle était très liée avec madame votre mère. Elle dit que c'était sa seule amie ici et que maintenant elle n'a plus personne.»

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「目的語」et「目的語」》

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 très liée トレ・リエ adj.f とても親交が深かった 「補語」
 avec madame votre mère. アヴ・エッキ・マダム・ヴァ・オル・メル adv. あなたの母上と 「副詞句」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 dit ティ 3 単現(dire)v.t 言っている 「動詞」
 que ク conj. ~ということ を 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|----------------------------------|--------------|-------|
| était エ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| sa seule amie ici サ・スル・アミ・イシ n.f | ここでのたった一人の友達 | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| maintenant マントナソ adv. | 今では | 「副詞」 |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| n'a plus ナ・プリュ 3 単現・否定(avoir)v.t | もういない | 「動詞句」 |
| personne.» ペルソヌ pron | 誰も～ない | 「目的語」 |

僕たちは、長い間このようにしていた。

| | |
|---|----------------|
| <u>Nous sommes restés un long moment ainsi.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| sommes restés ソム・レステ 1 複現・完了形.pl(rester)v.i そのままでいた | 「動詞句」 |
| un long moment アン・ロン・モモン adv. 長い間 | 「副詞句」 |
| ainsi. アンシ adv. このように | 「副詞」 |

女のため息とすすり泣きは、かなり少なくなってきた。

| | |
|---|---------------|
| <u>Les soupirs et les sanglots de la femme se faisaient plus rares.</u> | |
| | 「主語」「動詞句」「補語」 |
| Les soupirs レ・スピール pl.n.m | ため息は |
| et エ conj. | そして |
| les sanglots レ・ソングロ pl.n.m | すすり泣きは |
| de la femme ト・ラ・ファム adj. | その女の |
| se faisaient ス・フェ 3 複半(se faire)v.pr | (+補語) ～になった |
| plus rares. プリュ・ラール adj. | かなり少ない |

彼女はひんぱんに鼻をすすった。そしてついに彼女は泣き止んだ。

| | |
|---|------------------------------|
| <u>Elle reniflait beaucoup. Elle s'est tue enfin.</u> | 「主語」「動詞」「副詞」 「主語」「動詞句」「副詞」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| reniflait ルニフレ 3 単半(renifler)v.i 鼻をすすった | 「動詞」 |
| beaucoup. ボク adv. よく、ひんぱんに | 「副詞」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| s'est tue セ・チュエ 3 単現・完了形.f(se taire)v.pr 泣き止んだ | 「動詞句」 |
| enfin. オンファン adv. ついに | 「副詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はもう眠くなかったが、疲れていて、腰が痛かった。

Je n'avais plus sommeil, mais j'étais fatigué et les reins me faisaient mal.

「主語」「動詞句」「目的語」,mais「主語」「動詞」「補語」et

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais plus ナヴェ・プラス 1 単半(avoir)v.t もうなかった

「動詞句」

sommeil, ソメイ n.m 眠気が

「目的語」

mais

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

fatigué ファティゲ adj. 疲れた

「補語」

et エ conj. そして

les reins レ・ラン pl.n.m 腰が

「主語」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

faisaient フェ 3 複半(faire)v.t 作っていた、おこしていた

「動詞」

mal. マル n.m 痛みを

「直接目的語」

今では、ここにいる人たちの沈黙が僕の苦痛だった。

A présent c'était le silence de tous ces gens qui m'était pénible.

「副詞句」,「動詞」「補語」「主語」

A présent ア・プレゼン adv. 今は

「副詞句」

c' ス pron 仮の主語(真の主語は qui 以降)強調構文

était エ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

le silence ル・シロンス n.m 沈黙

「補語」

de tous ces gens トゥ・トゥ・セ・ジョン adj. ここにいる人たちの

「形容詞句」

qui キ pron ~するのは

「主語」

m' ム pron 僕にとって

「間接目的語」

était エ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

pénible. ペニブル adj. 苦痛な

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

ただ時々、奇妙な物音が聞こえていた。しかしそれが何の音なのか分からなかった。

De temps en temps seulement, j'entendais un bruit singulier et je ne pouvais comprendre ce qu'il était.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 De temps en temps トゥ・タン・ゾン・トン adv. 時々 「副詞句」
 seulement, スルモン adv. ただ〜だけ 「副詞」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 entendais オントンデ 1 単半(entendre)v.t 聞こえていた 「動詞」
 un bruit アン・ブリュイ n.m 物音が 「目的語」
 singulier サンギュリエ adj. 奇妙な 「形容詞」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne pouvais comprendre ヌ・プ・ヴァ・コンプ ロントル 1 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞)
 v.t 分からなかった 「動詞句」
 ce ス pron それを 「目的語」
 qu' ク pron (補語) 何であるという 「形容詞節」
 il イル pron それは 「主語」
 était. エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

ようやく、老人たちの何人かが頬の内側を吸って、この奇妙な舌鼓の音を漏らしていたという
 うことをついに推察することができた。

A la longue, j'ai fini par deviner que quelques-uns d'entre les vieillards suçaient l'intérieur de leurs joues et laissaient échapper ces clappements bizarres.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」
 A la longue, ア・ラ・ロング adv. しまいには、ようやく 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai fini par deviner エ・フィニ・パール・トゥヴァイネ 1 単現・完了形・達成(finir par+不定詞)
 v.t ついに推察することができた 「動詞句」
 finir par+不定詞 「ついに〜する、とうとう〜する」
 que ク conj. 〜ということ 「目的語」
 quelques-uns ケルク・サン pron 何人かの人 「主語」
 d'entre les vieillards ドントル・レ・ヴァイエヤール adj. 老人たちの 「形容詞句」
 suçaient シュセ 3 複半(sucer)v.t 吸っていた 「動詞」
 l'intérieur de leurs joues ランテリエール・トゥ・レール・ジュ n.m 頬の内側を 「目的語」
 et エ conj. そして
 laissaient échapper レ・エシヤヘ 3 複半・使役(laisser+不定詞)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

v.t 外に漏らしていた 「動詞句」
ces clappements セ・クラブ・モン pl.n.m この舌鼓を 「目的語」
bizarres. ビザール adj. 奇妙な 「形容詞」

彼ら自身はそれぞれの思いに浸っていたので、そのことに気づかないでいた。

Ils ne s'en apercevaient pas tant ils étaient absorbés dans leurs pensées.

「主語」「動詞句」「副詞節」
Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
ne s'en apercevaient pas ノ・ソ・ン・アペル・スグ・ェ・パ 3 複半・否定(s'apercevoir+en) 「動詞句」
v.pr それに気づかないでいた 「動詞句」
en は「彼らが舌鼓のような音を出していること」を表す
tant トン adv. (文頭に置かれると原因を示す) ~だから 「副詞節」
ils イル pron 彼らは 「主語」
étaient absorbés エテ・アフ・ソルベ 3 複半・受動(absorber)v.t 吸収されていた 「動詞句」
dans leurs pensées. トン・レール・ボンセ adv. それぞれの思いの中に 「副詞句」

僕は、彼らの真ん中に横たわっているこの死者は、彼らの目には何の意味も無いのではない
かという印象さえ抱いた。

J'avais même l'impression que cette morte, couchée au milieu d'eux, ne signifiait rien à leurs yeux.

「主語」「動詞」「目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 持った 「動詞」
même l'impression メム・ランプレッション n.f 印象さえ 「目的語」
que ク pron (同格) ~であるという 「形容詞節」
cette morte, セット・モルト n.f この死者は 「主語」
couchée クシェ adj.f 横たわった 「形容詞句」
au milieu d'eux, オ・ミユト・ウー adv. 彼らの真ん中に 「副詞句」
ne signifiait ノ・シニフィエ 3 単半・否定(signifier)v.t 意味しない 「動詞句」
rien リャン pron 何も~ない 「直接目的語」
à leurs yeux. エール・シユ adv. 彼らの目に 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし今は、その印象は間違いだったと思う。

Mais je crois maintenant que c'était une impression fausse.

Mais 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

crois クロワ 1 単現(croire)v.t (que+直説法) 〜だと思ふ

「動詞」

maintenant マントナソ adv. 今は

「副詞」

que ク conj. 〜ということ

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

une impression fausse. コンヌ・アンプレシヨソ・フォス n.f 間違えた印象

「補語」

faux フォー adj.m, fausse フォス adj.f 間違った、誤った

僕たちはみな、門番が出してくれたコーヒーを飲んだ。

Nous avons tous pris du café, servi par le concierge.

「主語」「動詞句」「目的語」

Nous ヌ pron 私たちは

「主語」

avons tous pris アヴン・トゥ・プリ 1 複現・完了形(prendre+tous)

v.t みんな飲んだ

「動詞句」

du café, ジュ・キャフェ n.m コーヒーを

「目的語」

servi セルヴィ 過去分詞・受動(servir)v.t 出された

「形容詞句」

par le concierge. パール・ル・コンジェルジュ adv. 門番によって

「副詞句」

それから先は、もう分からない。夜は過ぎて行った。

Ensuite, je ne sais plus. La nuit a passé. 「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」

Ensuite, オンシュイット adv. それから

「副詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sais plus. ヌ・セ・プリュ 1 単現・否定(savoir+plus)v.t もうわからない

「動詞句」

La nuit ラ・ニュイ n.f 夜は

「主語」

a passé. ア・パセ 3 単現・完了形(passer)v.i 過ぎて行った

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、ある時目を開けたのを覚えている。そして老人たちが背中を丸めて眠っているのを見たが、一人だけは例外だった。彼は、しっかり杖をつかんだその手の甲の上にあごを乗せ、僕をじっと見ていた、まるで僕が目覚めだけを待っていたかのように。

Je me souviens qu'à un moment j'ai ouvert les yeux et j'ai vu que les vieillards dormaient tassés sur eux-mêmes, à l'exception d'un seul qui, le menton sur le dos de ses mains agrippées à la canne, me regardait fixement comme s'il n'attendait que mon réveil.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

「副詞句」「目的語」「動詞」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me souviens ム・スヴイヤン 1 単現(se souvenir)v.pr (que を) 思い出す 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

à un moment ア・ウン・モメン adv. ある時 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai ouvert エ・ウヴェール 1 単現・完了形(ouvrir)v.t 開けた 「動詞句」

les yeux レ・ジュー pl.n.m 目を 「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t 見た 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

les vieillards レ・ヴィエイヤール pl.n.m 老人たちが 「主語」

dormaient ドルメ 3 複半(dormir)v.i 眠っている 「動詞」

tassés タセ adv. かがみ込んで 「副詞句」

sur eux-mêmes, シュール・ウーメーム adv. 自分自身の上に 「副詞句」

「背中を丸めて」

à l'exception d'un seul ア・レクセプション・ダン・スル adv. 1 人は例外として 「副詞句」

qui, キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

le menton ル・モンソン n.m あごを～して 「副詞句」

sur le dos de ses mains シュール・ルト・ト・ラ・セ・マン

adv. 手の甲の上に

「副詞句」

agrippées アグリパ° 過去分詞 f.pl(agripper)

v.t (à を) しっかりつかんだ

「形容詞句」

à la canne, ア・ラ・カンヌ adv. 杖を

「間接目的語」

me ム pron 僕を

「目的語」

regardait ルギャルテ° 3 単半(regarder)v.t 見ていた

「動詞」

fixement フィクスモン adv. じっと

「副詞」

comme s' コム・シ conj. あたかも～のように

「副詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

il イル pron 彼は 「主語」
 n'attendait que ナンテ・ク 3 単半・否定・限定(attendre, ne...que)
 v.t ~だけを待っていた 「動詞句」
 mon réveil. モン・レヴェイエ n.m 僕が目覚め 「目的語」

それから僕はまた寝た。腰の痛みが次第に増してきたので、僕は目が覚めた。

Puis j'ai encore dormi. Je me suis réveillé parce que j'avais de plus en plus mal aux reins.

「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞節」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai encore dormi. エ・オンコール・ドルミ 1 単現・完了形(dormir+encore)v.i また寝た 「動詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis réveillé ム・シュイ・レヴェイエ 1 単現・完了形(se réveiller)v.pr 目が覚めた 「動詞句」
 parce que パルス・ク conj. ~なので 「副詞節」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t あった 「動詞」
 de plus en plus トゥ・プリュ・サン・プリュ adv. ますます、次第に 「副詞句」
 mal aux reins. マロ・ラン n.m 腰の痛み 「目的語」

朝の光が、ガラス張りの屋根の上に差し込んでいた。

Le jour glissait sur la verrière.

「主語」「動詞」「副詞句」

Le jour ル・ジュール n.m 日の光、朝の光 「主語」
 glissait グリセ 3 単半(glisser)v.i (光が) 差し込んでいた 「動詞」
 sur la verrière. シュール・ラ・ヴェリエール adv. ガラス張りの屋根の上に 「副詞句」

まもなく老人の1人が目を覚まして、ひどく咳き込んだ。

Peu après, l'un des vieillards s'est réveillé et il a beaucoup toussé.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」

Peu après, プ・アフレ adv. 少し後で、まもなく 「副詞句」
 l'un des vieillards ラン・テ・ヴィエイヤール n.m 老人の1人が 「主語」
 s'est réveillé セ・レヴェイエ 3 単現・完了形(se réler)v.pr 起きた、目を覚ました 「動詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a beaucoup toussé. ア・ボク・トゥセ 3 単現・完了形(tousser+beaucoup)
 v.i ひどく咳をした 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は格子縞の大きいハンカチに痰を吐いていたが、一度痰を吐くたびに生木を裂かれるほど辛らそうに見えた。

Il crachait dans un grand mouchoir à carreaux et chacun de ses crachats était comme un arrachement. 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

crachait クラッシェ 3 単半(cracher)v.i 痰を吐いた 「動詞」

dans un grand mouchoir トン・サン・グロン・ムシュール adv. 大きいハンカチに 「副詞句」

à carreaux ア・キャロ adj. 格子縞の 「形容詞句」

et エ conj. そして

chacun de ses crachats シヤキャン・トゥ・セ・クラシャ pron それぞれの痰は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

comme un arrachement. クム・アン・アラシェモン n.m 生木を裂かれるほどの辛さ 「補語」

彼は他の老人たちを起こしてしまったので、門番は皆にもう帰るように言った。

Il a réveillé les autres et le concierge a dit qu'ils devraient partir.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a réveillé ア・レヴ^ェエイエ 3 単現・完了形(réveiller)v.t 起こしてしまつた 「動詞句」

les autres レ・ゾートル pl.n. 他の老人たちを 「目的語」

et エ conj. それで

le concierge ル・コンシエルジ^ュ n.m 門番は 「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言つた 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということを 「目的語」

ils イル pron 彼らは 「主語」

devraient partir. トゥヴレ・パルティール 条・3 複現・語調緩和(devoir+不定詞)

v.i 帰って行つた方がいいだろう 「動詞句」

彼らは立ち上がった。このように窮屈な姿勢で寝ずの番をしたせいで、彼らの顔はすっかり灰色になっていた。

Ils se sont levés. Cette veille incommode leur avait fait des visages de cendre.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

se sont levés. ス・ソン・ルヴ^ェ 3 複現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

Cette veille セット・ヴェイユ n.f この寝ずの番は 「主語」

incommode アンコモト^ゝ adj. 窮屈な 「形容詞」

leur レール pron 彼らに 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

avait fait アヴ^ェ・フェ 3 単半・完了形(faire)v.t 作ってしまった 「動詞句」
des visages de cendre. テ[・]ヴィザ[・]ージュ[・]ド[・]ツンドル pl.n.m 灰色の顔 「直接目的語」

帰り際、非常に驚いたことに、彼らは皆僕の手を握りしめて行った。——あたかも、一言も言葉を交わさなかったこの一夜が、僕たちの親密感を増加させたとも言うように。

En sortant, et à mon grand étonnement, ils m'ont tous serré la main — comme si cette nuit où nous n'avions pas échangé un mot avait accru notre intimité.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 --- 「副詞節」

En sortant, オン・ソルトン 現在分詞(sortir)v.i 出て行くときに、帰り際に 「副詞句」
et エ conj. そして

à mon grand étonnement, ア[・]モン[・]グ[・]ロン[・]エトヌモン adv. 非常に驚いたことに 「副詞句」

ils イル pron 彼らは 「主語」

m' ム pron 僕の 「間接目的語」

ont tous serré オン[・]トゥ[・]セレ 3 複現・完了形(serrer+tous)v.t 皆握りしめた 「動詞句」

la main — ラ[・]マン n.f 手を 「直接目的語」

comme si コム[・]シ conj. あかも〜であるかのように 「副詞節」

cette nuit セット[・]ニュイ n.f この1夜が 「主語」

où ウ pron ~する 「形容詞節」

nous ヌ pron 私たちは 「主語」

n'avions pas échangé ナヴ[・]イオン[・]パ[・]・エチョンジ[・]エ 1 複半・完了形・否定(échanger)

v.t 交換しなかった、交わさなかった 「動詞句」

un mot アン[・]モ n.m 一言も 「目的語」

avait accru アヴ[・]エ[・]アクリュ 3 単半・完了形(accroître)v.t 増大させた 「動詞句」

notre intimité. ノル[・]アンチミテ n.f 私たちの親密さを 「目的語」

僕は疲れていた。門番が僕を彼の部屋に連れて行ってくれたので、少し顔を洗ったり身づくろいが出来た。

J'étais fatigué. Le concierge m'a conduit chez lui et j'ai pu faire un peu de toilette.

「主語」 「動詞」 「補語」

「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais エテ 1 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

fatigué. ファティグ[・] adj. 疲れた 「補語」

Le concierge ル[・]コンシエルジュ n.m 門番は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a conduit ア[・]コンジユイ 3 単現・完了形(conduire)v.t 連れて行った、案内した 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| chez lui シェ・リュイ adv. (養老院の中にある) 彼の部屋に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pu faire エ・ピュ・フェール 1 単現・完了形・可能(pouvoir+不定詞) | |
| v.t ~することが出来た | 「動詞句」 |
| un peu de toilette. アン・プ・トゥ・トワレット n.f 少し洗顔を、身づくろい | 「目的語」 |

僕はまたカフェオレを呑んだが、とても旨かった。

J'ai encore pris du café au lait qui était très bon.

| | |
|---|----------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」「主語」「動詞」「補語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai encore pris エ・オノール・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t また飲んだ | 「動詞句」 |
| du café au lait ジュ・キャフェ・オ・レ n.m カフェオレを | 「目的語」 |
| qui キ pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| très bon. トレ・ボン adj. とても旨い | 「補語」 |

僕が外に出た時、日はすっかり上がっていた。

Quand je suis sorti, le jour était complètement levé. 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

| | |
|--|-------|
| Quand コン conj. ~した時 | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| suis sorti, シュイ・ソルティ 1 単現・完了形(sortir)v.i 外に出た | 「動詞句」 |
| le jour ル・ジュール n.m 日は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| complètement levé. コンプレットゥモン・ルヴェ adj. すっかり上がった | 「補語」 |

マランゴを海から隔てている丘の上には、空がすっかり赤い色に染まっていた。

Au-dessus des collines qui séparent Marengo de la mer, le ciel était plein de rougeurs.

| | |
|--|---------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 |
| Au-dessus des collines オ・トゥ・シュ・デ・コリーヌ adv. 丘の上には | 「副詞句」 |
| qui キ pron (主語) ~する | 「形容詞節」 |
| séparent セパール 3 複現(séparer)v.t 分離する、隔てる | 「動詞」 |
| Marengo マランゴ n. マランゴを | 「目的語」 |
| de la mer, トゥ・ラ・メール adv. 海から | 「副詞句」 |
| le ciel ル・シエル n.m 空が | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

plein de rougeurs. プラントゥ・ルジエール adj. 赤い色で一杯の 「補語」

そして丘の上を通り抜ける風は、ここに潮の香りを運んで来ていた。

Et le vent qui passait au-dessus d'elles apportait ici une odeur de sel.

E 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Et エ conj. そして

le vent ル・ヴァン n.m 風は 「主語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

passait パセ 3 単半(passer)v.i 通り抜ける 「動詞」

au-dessus d'elles オ・トゥ・シュ・デール adv. 丘の上を 「副詞句」

apportait アポルテ 3 単半(approter)v.t 運んできた 「動詞」

ici イシ adv. ここに 「副詞」

une odeur de sel. エヌ・オデー・ル・トゥ・セル n.f 潮の香りを 「目的語」

潮：(特に朝に) 海水に満ちたり引いたりする現象、夕方の現象は汐(しお、セキ)

天気の良い1日になりそうだった。

C'était une belle journée qui se préparait.

「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron 仮の主語 (une belle journée を強調する) 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

une belle journée エヌ・ベール・ジュールネ n.f 天気の良い1日 「補語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se préparait. ス・プレパレ 3 単半(se preparer)v.pr 起ころうとしていた 「動詞句」

se preparer ス・プレパレ v.pr 準備される、起ころうとしている

僕が田舎に来たのはずっと昔だったので、もし母さんのことがなかったならば、散歩などをすればどれほど楽しいだろうと思ったりした。

Il y avait longtemps que j'étais allé à la campagne et je sentais quel plaisir j'aurais pris à me promener s'il n'y avait pas eu maman.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

Il y avait longtemps que イ・アヴァ・エ・ロン・ソ・ク conj. ～したのはずっと前だった

j' ジュ pron 僕が 「主語」

étais allé エテ・サレ 1 単半・完了形(aller)v.i 来た 「動詞句」

à la campagne ア・ラ・コンパ・ニユ adv. 田舎に 「間接目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

sentais ソテ 1 単半(sentir)v.t 思った 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

quel plaisir ケル・プレジール pron どれほどの喜びを～するかということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 aurais pris オー・プリ 条・1 単現・完了形(prendre)v.t 手に入れるだろう 「動詞句」
 à me promener ア・ム・プロムネ adv. 散歩することによって 「副詞句」
 s'il n'y avait pas eu maman. シル・ニ・アヴ・ェ・パ・ジュ・マモン
 adv. もし母さんのことがなかったならば 「副詞節」

しかし僕は、中庭のプラタナスの木の下で待った。

Mais j'ai attendu dans la cour, sous un platane. Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Mais メ conj. しかし
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai attendu エ・アトンテュ 1 単現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」
 dans la cour, トン・ラ・クール adv. 中庭で 「副詞句」
 sous un platane. ス・ザン・プラタンヌ adv. プラタナスの木の下で 「副詞句」

みずみずしい土の香りを嗅ぐと、もう眠気は消えていた。

Je respirais l'odeur de la terre fraîche et je n'avais plus sommeil.
 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 respirais レスピレ 1 単半(respirer)v.t 嗅いだ 「動詞」
 l'odeur ロデーール n.f 香りを 「目的語」
 de la terre fraîche ト・カ・ラ・テール・フレッシュ adj. みずみずしい土の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'avais plus ナヴ・ェ・フリュ 1 単半・否定(avoir)v.t もうなかった 「動詞句」
 sommeil. ソメイユ n.m 眠気 「目的語」

会社の同僚たちのことを考えた。

J'ai pensé aux collègues du bureau. 「主語」「動詞句」「間接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.i 考えた 「動詞句」
 aux collègues コレーグ pl.n. 同僚たちのことを 「間接目的語」
 du bureau. ジュ・ビュロー adj. 会社の 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

この時間は、彼らは会社に行くのにもう起きている頃だ。僕にとっては一番苦手な時間だ。

A cette heure, ils se levaient pour aller au travail : pour moi c'était toujours l'heure la plus difficile.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」: 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「補語」
 A cette heure, ア・セツ・ウール adv. この時間には 「副詞句」
 ils イル pron 彼らは 「主語」
 se levaient ス・ルヴァ 3 複半(se lever)v.pr 起きた 「動詞句」
 pour +不定詞 プール adv. するために 「副詞句」
 aller au travail: アル・オ・トラヴァイユ 不定詞 v.i 仕事に行く 「動詞句」
 pour moi プール・ムワ adv. 僕にとっては 「副詞句」
 c' ス pron これは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 toujours トウジュール adv. いつも 「副詞」
 l'heure レール n.f 時間 「補語」
 la plus difficile. ラ・プ・リュ・ディフィシル adj. 一番苦手な 「形容詞句」

僕は、また少しそのようなことについて考えていたが、建物の中で鳴った鐘の音に気をそらされてしまった。

J'ai encore réfléchi un peu à ces choses, mais j'ai été distrait par une cloche qui sonnait à l'intérieur des bâtiments.

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai encore réfléchi エ・オンコール・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i また考えた 「動詞句」
 un peu アン・フ° adv. 少し 「副詞」
 à ces choses, ア・セ・ショーズ° adv. そのようなことについて 「間接目的語」
 mais メ conj. しかし
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai été distrait エ・エテ・ディストレ 1 単現・完了形・受動(distraire)v.t 気をそらされた 「動詞句」
 par une cloche パール・アン・クロシュ adv. 鐘の音によって 「副詞句」
 qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 sonnait ソネ 3 単半(sonner)v.i 鳴った 「動詞」
 à l'intérieur des bâtiments. ア・ランテリユール・デ・バチモン adv. 建物の中で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

窓の向こう側で大騒ぎがあったが、それからすべてが静まった。

Il y a eu du remue-ménage derrière les fenêtres, puis tout s'est calmé.

「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」

Il y a eu イ・ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t. ～があった 「動詞句」
 du remue-ménage ジュ・ルミュー・メー・ジェ n.m. 大騒ぎ 「目的語」
 derrière les fenêtres, テリェール・レ・フネートル adv. 窓の向こう側で 「副詞句」
 puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 tout トゥ pron.m. すべてが 「主語」
 s'est calmé. セ・カルメ 3 単現・完了形(se calmer)v.pr. 静まった 「動詞句」

太陽は、さらに高く空に昇っていた。そして日差しが僕の足を暖め始めていた。

Le soleil était monté un peu plus dans le ciel : il commençait à chauffer mes pieds.

「主語」「動詞句」「副詞句」: 「主語」「動詞句」「目的語」

Le soleil ル・ソレイユ n.m. 太陽は 「主語」
 était monté エ・モンテ 3 単現・完了形(monter)v.t. 昇っていた 「動詞句」
 un peu plus アン・プ・フリュ adv. もう少し高く 「副詞句」
 dans le ciel : トン・ル・シエル adv. 空に 「副詞句」
 il イル pron. それは 「主語」
 commençait à chauffer コモンセ・ア・ショフェ 3 単半・開始(commencer a+不定詞)
 v.t. 暖め始めていた 「動詞句」
 mes pieds. メ・ピエ pl.n.m. 僕の足を 「目的語」

門番が、中庭を横切ってやって来て、院長から僕に話があると告げた。

Le concierge a traversé la cour et m'a dit que le directeur me demandait.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le concierge ル・コンシェルジュ n.m. 門番が 「主語」
 a traversé ア・トラヴェルセ 3 単現・完了形(traverser)v.t. 横切ってきた 「動詞句」
 la cour ラ・クール n.f. 中庭を 「目的語」
 et エ conj. そして
 m' ム pron. 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t. 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 le directeur ル・ディレクトゥール n.m. 院長が 「主語」
 me ム pron. 僕と 「目的語」
 demandait. トゥモンテ 3 単半・時制の一致(demander)
 v.t. 話したがっている、話がある 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は院長室へ入った。

Je suis allé dans son bureau.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

suis allé シュイ・ザレ 1 単現・完了形(aller)v.i 行った、入った

「動詞句」

dans son bureau. トン・ソン・ビュロー adv. 院長室の中に

「副詞句」

彼は僕に何枚かの書類にサインをさせた。

Il m'a fait signer un certain nombre de pièces.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t ~させた

「動詞句」

signer シェ 不定詞 v.t ~にサインする

「補語」

un certain nombre de pièces. アン・セルタン・ナンブル・トウ・ピエス

pl.n.f いくらかの書類

「目的語」

僕は、院長が黒の服に縞のズボンを穿いていることに気がついた。

J'ai vu qu'il était habillé de noir avec un pantalon rayé.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた、分かった

「動詞句」

qu' ク conj. ~ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

était habillé エテ・アビエ 3 単半・受動・時制の一致(habiller)

v.t (de を) 着ている

「動詞句」

de noir トウ・ヌワール adv. 黒の服を

「目的語」

avec un pantalon rayé. アヴェッキ・アン・パンタロン・レイエ adv. 縞のズボンを穿き

「副詞句」

彼は手に受話器を取り、離れたままで僕に声をかけた：「少し前から葬儀屋の者たちが来て待っています」

Il a pris le téléphone en main et il m'a interpellé: «Les employés des pompes funèbres sont là depuis un moment.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」：
《「主語」「動詞」「副詞句」》

Il イル pron 彼は

「主語」

a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t を取った

「動詞句」

le téléphone ル・テレフォンヌ n.m 受話器を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

en main オン・マン adv. 手に 「副詞句」
 et エ conj.
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a interpellé: ア・アンテルペレ 3 単現・完了形(interpeller)v.t (遠くから) 声をかけた 「動詞句」
 Les employés レ・ゾンゾ ルワイエ pl.n 従業員たちが 「主語」
 des pompes funèbres テ・ポンゾ・フネブル adj.pl 葬儀屋の 「形容詞句」
 sont ソン 3 複現(être)v.i いる、来ている 「動詞」
 là ラー adv. そこに 「副詞」
 depuis un moment. ドゥウピュイ・ザン・モモン adv. 少し前から 「副詞句」

私は、そろそろ柩の蓋を閉めに来るように彼らに伝えたいと思います。

Je vais leur demander de venir fermer la bière. 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 vais +不定詞 ヴェ 1 単現・近接未来・意思(aller+不定詞)v.i ~しようと思う 「動詞句」
 leur レール pron 彼らに 「目的語」
 demander トゥモンデ 不定詞 v.t(+à qn de+不定詞) ~するように頼む 「動詞句」
 de +不定詞 ドゥ ~することを 「補語」
 venir fermer ヴニール・フェルメ 不定詞(venir+不定詞)v.t 閉めにやって来る 「動詞句」
 la bière. ラ・ビエール n.f 柩を 「目的語」
 demander à qn de+不定詞 「(人に) ~するように頼む」

その前に、最後にお母さまにお会いになりますか？

Voulez-vous auparavant voir votre mère une dernière fois ? »
 「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Voulez... auparavant voir ヴレ...オハ・ラウ・オン・ヴァール 2 複現・勧誘(vouloir+不定詞)
 v.t その前に会いになりますか？ 「動詞句」
 auparavant オハ・ラウ・オン adv. その前に、あらかじめ、まず
 vous ヴ pron あなたは 「主語」
 votre mère ヴォトル・メル n.f お母さまに 「目的語」
 une dernière fois ? » ムヌ・テルニエール・フワ adv. 最後に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、いえ結構ですと答えた。彼は声を落として電話口で命じた：「ジャック、彼らに仕事を始めてよいと言ってくれ！」

J'ai dit non. Il a ordonné dans le téléphone en baissant la voix : « Figeac, dites aux hommes qu'ils peuvent aller. »

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」:

《「呼びかけ」, 「動詞」「間接目的語」「直接目的語」》

| | |
|--|---------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| non. ノン n.m いいえという返事 | 「目的語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a ordonné ア・オルドネ 3 単現・完了形(ordonner)v.t 命じた | 「動詞句」 |
| dans le téléphone トン・ル・テレフォンヌ adv. 電話口で | 「副詞句」 |
| en +現在分詞 オン adv. ～して、～しながら | 「副詞句」 |
| baissant ベッソン 現在分詞(baisser)v.t 低くする、落とす | 「動詞」 |
| la voix : « ラ・ヴァー n.f 声を | 「目的語」 |
| Figeac, フィジャック n. (人名) フィジャック | 「呼びかけ」 |
| dites ディット 命・2 複現(dire)v.t 言ってくれ | 「動詞」 |
| aux hommes オ・ゾム adv. 彼らに | 「間接目的語」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| ils イル pron 彼らは | 「主語」 |
| peuvent aller. » プーヴ・タレ 3 複現・許可(pouvoir+不定詞) | |
| v.i 仕事を始めてよい | 「動詞句」 |

次に、院長が自分も葬儀に参列するつもりだと言ったので、僕は礼を言った。

Ensuite il m'a dit qu'il assisterait à l'enterrement et je l'ai remercié.

| | |
|--|---------|
| 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」 | |
| Ensuite オンシュイット adv. 次に | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| assisterait アンシステル 条・3 単現・意思(assister)v.i 出席するつもりだ | 「動詞」 |
| 主節が過去時制の間接話法は「直説話法での単純未来が時制の一致で条件法現在に変わる」 | |
| à l'enterrement ア・ロンテルモン adv. 葬式に、葬儀に、埋葬に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼に 「目的語」
 ai remercié. エ・ルメルシエ 1 単現・完了形(remercier)v.t 礼を言った 「動詞句」

彼はデスクの向こう側に座り、短い足を組んだ。

Il s'est assis derrière son bureau, il a croisé ses petites jambes.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 derrière son bureau, デリエール・ソンのビュロー adv. デスクの後ろに、向こう側に 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a croisé ア・クルワゼ 3 単現・完了形(croiser)v.t (十字形に) 組んだ 「動詞句」
 ses petites jambes. セ・プティ・ジヨンブ pl.n.f 短い足を 「目的語」

彼は、当番の看護婦を別にすれば、葬儀は僕と彼の二人きりになるだろうと僕に知らせた。

Il m'a averti que moi et lui serions seuls, avec l'infirmière de service.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a averti ア・アヴェルティ 3 単現・完了形(avertir)v.t (que を) 知らせた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 moi et lui ムワ・エリュイ pl.n. 僕と彼が 「主語」
 serions シロン 条・1 複現(être)v.i ～になるだろう 「動詞」
 主節が過去時制では、直接話法の単純未来が間接話法では条件法現在に変わる
 seuls, スル adj.pl 2 人だけ 「補語」
 avec ... アヴェッキ adv. ～を伴って 「副詞句」
 l'infirmière ランフィルミエール n.f 看護婦 「目的語」
 de service. ドゥ・セルヴィス adj. 役割の 「形容詞句」

原則として、入寮者たちは葬儀に参列できなかった。

En principe, les pensionnaires ne devaient pas assister aux enterrements.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

En principe, オン・プランスィプ adv. 原則として 「副詞句」
 les pensionnaires レ・ポンシヨネル pl.n. 入寮者たちは 「主語」
 ne devaient pas assister ス・ドゥヴェ・パ・サシステ 3 単半・禁止(devoir+不定詞)
 v.i (à に) 参列できなかった 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

aux enterrements. オ・ゾンテールモン adv. 葬儀に

「間接目的語」

院長は、彼らにお通夜に出ることだけは許可していた：「人情の問題ですから」と、彼は言った。

Il les laissait seulement veiller: «C'est une question d'humanité», a-t-il remarqué.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」：《「主語」「動詞」「補語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」

Il イル pron 院長は 「主語」

les レ pron 彼らに 「目的語」

laissait レ 3 単半・放任(laisser)v.t (SVO+不定詞) O に～させていた 「動詞」

seulement スルモン adv. ～だけは 「副詞」

veiller: ヴェイエ 不定詞 v.i お通夜をする 「補語」

C' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

une question d'humanité », ユンヌ・クエスチョン・デ・ユマニテ n.f 人情の問題 「補語」

a-t-il remarqué. ア・ティル・ルマルケ 3 単現・完了形(remarquer)

v.t 言った、指摘した 「動詞句」「主語」「動詞句」

しかし院長は、今回は特別に、母さんの親友の「トマ・ペレーズ」に葬列の後ろについて行く許可を与えていた。

Mais en l'espèce, il avait accordé l'autorisation de suivre le convoi à un vieil ami de maman : «Thomas Pérez.»

Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」

Mais メ conj. しかし

en l'espèce, オン・レスペース adv. 今回は特別に 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

avait accordé アヴェ・タコルテ 3 単現・完了形(accorder)v.t 与えた、認めた 「動詞句」

l'autorisation ロトリザション n.f 許可を 「直接目的語」

de +不定詞 トゥ adj. ～する 「形容詞句」

suivre シューガル 不定詞 v.t 後について行く 「動詞」

le convoi ル・コンヴァ わ n.m 葬列に 「目的語」

à un vieil ami de maman : «Thomas Pérez.» ア・アン・ヴェイエ・ヤミ・トゥ・マモン・トマ・ペレ

adv. 母さんの親友の「トマ・ペレーズ」に 「間接目的語」

ここで院長は微笑んだ。

Ici, le directeur a souri. 「副詞」「主語」「動詞句」

Ici, イシ adv. ここで 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長は 「主語」
 a souri. ア・スリ 3 単現・完了形(sourir)v.i 微笑んだ 「動詞句」

彼は僕に言った。「お分りの通り、これは子供じみた感傷なんです」

Il m'a dit: «Vous comprenez, c'est un sentiment un peu puéril.

「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「主語」「動詞」,「主語」「動詞」「補語」》

Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 Vous ウェ pron あなたは 「主語」
 comprenez, コンプレネ 2 複現(comprendre)v.t 分かる 「動詞」
 c' ス pron これは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
 un sentiment アン・サンティモン n.m 思いやり、感傷 「補語」
 un peu puéril. アン・フ・ピュエリル adj. 少し子供っぽい 「形容詞句」

「ですが、彼とお母さまはいつも一緒にいました」

Mais lui et votre mère ne se quittaient guère. 《Mais 「主語」「動詞句」》

Mais メ conj. ですが
 lui et votre mère リュイ・エ・ウヴォトル・メル pl.n. 彼とお母さまは 「主語」
 ne se quittaient guère. ノ・ス・キテ・ゲール 3 複半・否定(se quitter)
 v.pr ほとんど離れることがなかった 「動詞句」
 guère ゲール adv. ほとんど〜ない

「養老院では、みんなで二人をからかって、ペレーズに〈お前のいいなずけか?〉などと言っていました。彼は笑っていましたが、ふたりともそう言われて喜んでいるようでした」

A l'asile, on les plaisantait, on disait à Pérez: «C'est votre fiancée.» Lui riait. Ça leur faisait plaisir.

《「副詞句」,「主語」「目的語」「動詞」,「主語」「動詞」「間接目的語」「直接目的語」

「主語」「動詞」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」》

A l'asile, ア・ラジール adv. 養老院では 「副詞句」
 on オン pron 人は 「主語」
 les レ pron 彼らを 「目的語」
 plaisantait, プレザンテ 3 単半(plaisanter)v.t からかっていた 「動詞」
 on オン pron 人は 「主語」
 disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| à Pérez: ア・ペレ adv. ペレーズに | 「間接目的語」 |
| C'est votre fiancée.» セ・ウ・ォトル・フィオンセ 「お前のいいなずけか？」 | 「直接目的語」 |
| Lui リュイ pron 彼は | 「主語」 |
| riaît. リエ 3 単半(rire)v.i 笑っていた | 「動詞」 |
| Ça サ pron そう言われることが | 「主語」 |
| leur レール pron 彼らを | 「目的語」 |
| faisait フェ 3 単半(faire)v.t ~にしていた | 「動詞」 |
| plaisir. プレジール n.m 喜び | 「補語」 |

そして事実、ムルソーさんが亡くなって、彼は相当悲しんでいるようです。

Et le fait est que la mort de Mme Meursault l'a beaucoup affecté.

Et 「主語」「動詞」「補語」

| | |
|---|-------|
| Et エ conj. そして | |
| le fait ル・フェ n.m 事実は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| que ク conj. ~ということ | 「補語」 |
| → 「事実は~である、事実、~である」 | |
| la mort de Mme Meursault ラ・モール・ド・ウ・マダム・ムルソー n.f ムルソーさんの死は | 「主語」 |
| l' ル pron 彼を | 「目的語」 |
| a beaucoup affecté. ア・ボク・アフエケ 3 単現・完了形(affecter) | |
| v.t 相当辛い思いをさせた、悲しませた | 「動詞句」 |

私は、彼に許可を与えないほうが良いとは思いませんでした。

Je n'ai pas cru devoir lui refuser l'autorisation.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

| | |
|---|---------|
| Je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| n'ai pas cru +不定詞 ネ・パ・クリュ 1 単現・完了形・否定(croire+不定詞) | |
| v.t ~すると思わなかった | 「動詞句」 |
| devoir+不定詞 ド・ウ・ワール 不定詞 v.t ~するべきである | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| refuser ルフェゼ 不定詞 v.t を断る、を与えない | 「動詞句」 |
| l'autorisation. オトリザシオン n.f 許可を | 「直接目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし訪問医師の助言に従って、昨夜の通夜への列席は禁止しました。

Mais sur le conseil du médecin visiteur, je lui ai interdit la veillée d'hier.»

Mais 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

sur le conseil シュール・ル・conseil adv. 助言に従って 「副詞句」

du médecin visiteur, シュ・メトウサン・ヴィジトール adj. 訪問医師の 「形容詞句」

je シュ pron 私は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai interdit エ・アンテルディ 1 単現・完了形(interdire)v.t 禁止した 「動詞句」

la veillée d'hier. ラ・ヴェイエ・ディエール n.f 昨夜の通夜を 「直接目的語」

僕たちはかなり長い間、無言のままでいた。

Nous sommes restés silencieux assez longtemps. 「主語」 「動詞句」 「補語」 「副詞句」

Nous ヌ pron 私たちは 「主語」

sommes restés ソム・レステ 1 複現・完了形(rester)v.i ーのままでいた 「動詞句」

silencieux シロンシェー adj. 無言の 「補語」

assez longtemps. アセ・ロントン adv. かなり長い間 「副詞句」

院長は立ち上がり、部屋の窓から外を眺めた。

Le directeur s'est levé et a regardé par la fenêtre de son bureau.

「主語」 「動詞句」 et 「動詞句」 「副詞句」

Le directeur ル・ディレクトール n.m 院長は 「主語」

s'est levé セ・ルヴエ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

et エ conj. そして

a regardé アルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 眺めた 「動詞句」

par la fenêtre パール・ラ・フネートル adv. 窓から外を 「副詞句」

de son bureau. トゥ・ソン・ビュロー adj. 部屋の 「形容詞句」

その時院長は気付いた：「もう、マランゴの司祭様が着いている。予定より早いな」

A un moment, il a observé: «Voilà déjà le curé de Marengo. Il est en avance.»

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 : 《「動詞句」 「副詞」 「主語」 | 「主語」 「動詞」 「補語」》

A un moment, ア・ウン・モモン adv. その時 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

a observé: ア・オブセルヴエ 3 単現・完了形(observer)v.t 気づいた 「動詞句」

Voilà ヴォー adv., v.i あそこにーいる 「動詞句」

déjà デジャ adv. もう 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-----------------------------------|--------------|------|
| le curé de Marengo. ル・キュレ・ドゥ・マランゴ | n.m マランゴの司祭が | 「主語」 |
| Il イル pron (非人称) 時間が | | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | | 「動詞」 |
| en avance.» オン・アヴァンス adv. 早めの | | 「補語」 |

彼はあらかじめ知らせてくれたが、村の中にある教会まで歩いて行くには少なくとも 45 分はかかるらしい。

| | | |
|---|--|-------------------------|
| <u>Il m'a prévenu qu'il faudrait au moins trois quarts d'heure de marche pour aller à l'église qui est au village même.</u> | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il イル pron 彼は | | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | | 「間接目的語」 |
| a prévenu ア・プレヴァニユ 3 単現・完了形(préir)v.t 前もって知らせてくれた | | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ということを | | 「直接目的語」 |
| il イル pron 非人称 | | |
| faudrait フォドレ 条・3 単現・推測(falloir)v.h 〜が必要だろう | | 「動詞」 |
| au moins trois quarts d'heure オ・ムワントルワ・キヤルト・テール | | |
| adv. 少なくとも 45 分 | | 「主語」 |
| de marche ドゥ・マルシュ adv. 徒歩で | | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. 〜するために | | 「副詞句」 |
| aller アレ 不定詞 v.i 行く | | 「動詞」 |
| à l'église ア・レグリース adv. 教会へ | | 「間接目的語」 |
| qui キ pron (主語) 〜する | | 「形容詞節」 |
| est エ 3 単現(être)v.i (存在) ある | | 「動詞」 |
| au village même. オ・ヴィラージュ・メーム | | |
| adv. 村の中に | | 「副詞句」 |

僕らは下へ降りた。

| | | |
|---|--|-----------|
| <u>Nous sommes descendus.</u> | | 「主語」「動詞句」 |
| Nous ヌ pron 僕たちは | | 「主語」 |
| sommes descendus. ソム・デサンテュ 1 複現・完了形(descendre)v.i 下に降りた | | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

霊安室の建物の前に、司祭と侍者を務める2人の子供が待っていた。

Devant le bâtiment, il y avait le curé et deux enfants de chœur.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」

Devant le bâtiment, トゥヴ'ォン・ル・バチモン adv. 霊安室の建物の前に

「副詞句」

il y avait イ・リ・アヴ'ェ 3 単半(avoir)v.t. ～がいた

「動詞句」

le curé ル・キュレ n.m. 司祭

「目的語」

et エ conj. そして

deux enfants de chœur. トゥ・ゾンフ'ォン・トゥ・ケール pl.n.m. 侍者を務める2人の子供 「目的語」

侍者：ミサの間、司祭の助手を務める子供

侍者の1人はつり香炉を持っていた。そして司祭は彼の方へ身をかがめて、銀の鎖の長さを調節していた。

L'un de ceux-ci tenait un encensoir et le prêtre se baissait vers lui pour régler la longueur de la chaîne d'argent.

「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

L'un de ceux-ci ラン・トゥ・ス・シ n.m. 侍者の1人は

「主語」

tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t. 持っていた

「動詞」

un encensoir アン・オンソンスワ・ル n.m. つり香炉を

「目的語」

つり香炉：ひもでつり下げようにした香炉

et エ conj. そして

le prêtre ル・プレートル n.m. 司祭は

「主語」

se baissait ス・ベセ 3 単半(se baisser)v.pr. 身をかがめていた

「動詞句」

vers lui ヴ'ェール・リュイ adv. 彼の方へ

「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

régler レクレ 不定詞 v.t. 調整する

「動詞」

la longueur ラ・ロンゲール n.f. 長さを

「目的語」

de la chaîne d'argent. トゥ・ラ・シェヌ・ダールゼ'ョン adj. 銀の鎖の 「形容詞句」

僕たちが着くと、司祭は立ち上がった。

Quand nous sommes arrivés, le prêtre s'est relevé.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」

Quand コン conj. ～すると、～した時

「副詞節」

nous ヌ pron. 僕たちが

「主語」

sommes arrivés, ソム・サリガ'ェ 1 複現・完了形(arriver)v.i. 着いた

「動詞句」

le prêtre ル・プレートル n.m. 司祭は

「主語」

s'est relevé. セ・ルル'ェ 3 単現・完了形(se relever)v.pr. 立ち上がった

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は僕のことを「我が子よ」と呼んで、僕に何かを話した。彼が中に入ったので、僕は彼の後ろについて行った。

Il m'a appelé «mon fils» et m'a dit quelques mots. Il est entré ; je l'ai suivi.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「動詞句」；「主語」「目的語」「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a appelé ア・アプレ 3 単現・完了形(appeler)v.t (qn+補語) (人) を～と呼んだ 「動詞句」

mon fils» モン・フィス n.m 「我が子よ」 「補語」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

quelques mots. ケルク・モ pl.n.m 何かを 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

est entré ; エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 中に入った 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼に 「目的語」

ai suivi. エ・シュイヴィ 1 単現・完了形(suivre)v.t 後について行った 「動詞句」

既に柩のねじ釘が締められていることと、部屋の中には黒服の男が 4 人いることが一挙に僕の目に入ってきた。

J'ai vu d'un coup que les vis de la bière étaient enfoncées et qu'il y avait quatre hommes noirs dans la pièce.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 et 「目的語」

J' ジュジュ pron 僕は 「主語」

ai vu エ・ヴィ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」

d'un coup ダン・ク adv. 一目で 「副詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

les vis de la bière レ・ヴィストゥ・ラ・ビエール pl.n.f 柩のねじ釘が 「主語」

étaient enfoncées エ・オンフォンセ 3 複半・受動(enfoncer)

v.t 差し込まれていた

「動詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t ～がいた 「動詞句」

quatre hommes noirs キャトル・オム・ヌワール pl.n.m 黒服の男が 4 人 「目的語」

dans la pièce. トン・ラ・ピエス adv. 室内には 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

院長が僕に、柩車が道で待っていると言う声と、司祭が祈祷を始める声が同時に聞こえた。

J'ai entendu en même temps le directeur me dire que la voiture attendait sur la route et le prêtre commencer ses prières.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「補語」 et 「目的語」「補語」

J' ジュ ジュ pron 僕は

「主語」

ai entendu エ・オントンデュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre)v.t (qn+不定詞)

v.t (人が) ~するのが聞こえた

「動詞句」

en même temps オン・メーム・トン adv. 同時に

「副詞句」

le directeur ル・ディレクテール n.m 院長が

「目的語」

me dire ム・ディール 不定詞 v.t 僕に~と言う

「補語」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

la voiture ラ・ヴワチュール n.f 柩車が

「主語」

attendait アトンデ 3 単半(attendre)v.i 待っている

「動詞」

sur la route シュール・ラ・ルート adv. 道で

「副詞句」

et エ conj. そして

le prêtre ル・プレートル n.m 司祭が

「目的語」

commencer コモンセ 不定詞 v.t 始める

「補語」

ses prières. セ・プリエール pl.n.f 祈祷を

「目的語」

この瞬間から、すべてが非常に慌ただしく進んだ。

A partir de ce moment, tout est allé très vite. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

A partir de ア・パルティール・トウ adv. ~から

「副詞句」

ce moment, ス・モモン n.m この瞬間

「目的語」

tout トウ pron 全てが

「主語」

est allé エ・アレ 3 単現・完了形(aller)v.i (物事が) 運んだ、進んだ

「動詞句」

très vite. トレ・ヴィット adv. 非常に慌ただしく

「副詞句」

4 人の男たちは、掛布を持って柩に歩み寄った。

Les hommes se sont avancés vers la bière avec un drap. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Les hommes レ・ゾム pl.n.m 4 人の男たちは

「主語」

se sont avancés ス・ソン・アヴ・オンセ 3 複現・完了形.pl(s'avancer)v.pr 前に出た

「動詞句」

vers la bière ヴァール・ラ・ビエール adv. 柩の方へ

「副詞句」

avec un drap. アヴ・エッキ・アン・トラ adv. 柩の掛布を持って

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

司祭、侍者、院長そして私自身は外に出た。

Le prêtre, ses suivants, le directeur et moi-même sommes sortis.

「主語」, 「主語」, 「主語」 et 「主語」 「動詞句」

Le prêtre, ル・プ・レートル n.m 司祭は 「主語」

ses suivants, セ・シュヴァン pl.n.m 侍者たち 「主語」

le directeur ル・ディレクター n.m 院長 「主語」

et エ conj. そして

moi-même ムワ・メム pron 私自身 「主語」

sommes sortis. ソム・ソルティ 3 複現・完了形(sortir)v.i 外に出た 「動詞句」

戸口の前に 1 人の女性がいた:「ムルソーさんです」と言って、僕をその女性に紹介した。

Devant la porte, il y avait une dame que je ne connaissais pas: «M. Meursault», a dit le directeur.

「副詞句」, 「動詞句」 「目的語」: 《「紹介」》 「動詞句」 「主語」

Devant la porte, ドゥヴァン・ポ・ル adv. 戸口の前に 「副詞句」

il y avait イ・リ・アヴァ 3 単半(avoir)v.t ~がいた 「動詞句」

une dame ユンヌ・ダム n.f 1 人の女性が 「目的語」

que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

je ジュジュ pron 僕が 「主語」

ne connaissais pas: 1 単半・否定(connaître)v.t 知らなかった 「動詞句」

M. Meursault, ムシュ・ムルソー n. ムルソーさんです 「紹介」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

le directeur. ル・ディレクター n.m 院長は 「主語」

その女性の名前は聞き取れなかったが、彼女が派遣の看護婦だということだけは分かった。

Je n'ai pas entendu le nom de cette dame et j'ai compris seulement qu'elle était infirmière déléguée.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Je ジュジュ pron 僕は 「主語」

n'ai pas entendu ネ・パ・オン・ジュ 1 単現・完・否定(entendre)v.t 聞こえなかった 「動詞句」

le nom de cette dame ル・ノム・ド・オ・セツ・ダム n.m その女性の名前 「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュジュ pron 僕は 「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった 「動詞句」

seulement スルモン adv. ~だけは 「副詞」

qu' ク conj. ~ということ を 「目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

infirmière déléguée. アンフィルミエール・デレグ n.f 派遣の看護婦 「補語」
 délégué デレグ 過去分詞(déléguer)adj. 送られた、派遣された

彼女は、微笑むこともなく骨ばって長いその顔を傾けた。

Elle a incliné sans un sourire son visage osseux et long.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 a incliné ア・インクリネ 3 単現・完了形(incliner)v.t 傾けた 「動詞句」
 sans un sourire ソン・ザン・スリール adv. 微笑むこともなく 「副詞句」
 son visage ソン・ヴァイザージュ n.m その顔を 「目的語」
 osseux et long. オ・エ・ロン adj. 骨ばって長い 「形容詞句」

それから僕たちは、棺を通させるために脇へ寄った。

Puis nous nous sommes rangés pour laisser passer le corps.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Puis ビュイ adv. それから 「副詞」
 nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
 nous sommes rangés ヌ・ソム・ロンジェ 1 複現・完了形(se ranger)v.pr 脇へ寄った 「動詞句」
 pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」
 laisser passer レッセ・パセ 不定詞・使役(laisser+不定詞)v.t 通させる 「動詞句」
 le corps. ル・コール n.m 柩を 「目的語」

使役・放任・知覚動詞：

- 使役・放任動詞は「(人)に自由に～させておく、～させる、～するがままにしておく」意味を表す動詞で、laisser や faire が相当します。
- 知覚動詞は「(人)(何)が～するのが聞こえる(見える...)」意味を表す動詞で、regarder や voir などが相当します。
- 構文は「laisser qn [qch]+不定詞」、「faire+不定詞」、「知覚動詞 qn [qch] +不定詞」です。

qn [qch]は「目的語」、不定詞は「補語」(目的語の動作を説明する)

Je les ai laissé partir. 私は彼らを立ち去るに任せた。

J'ai laissé Marie faire la vaisselle. 私はマリーに食器を洗わせておいた。

Le soleil fait fondre la neige. 太陽が雪を溶かす。

On a fait soigner les blessés. 負傷者の手当てをさせた。

Il regardait la neige tomber. 彼は雪が降るのを眺めていた。

Il sentait le sommeil le gagner. 彼は眠気が襲ってくるのを感じた。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは、柩を担いでいる男たちについて行き、養老院から外に出た。

Nous avons suivi les porteurs et nous sommes sortis de l'asile.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons suivi アヴ・オン・シュイヴィ 1 複現・完了形(suivre)v.t 後について行った

「動詞句」

les porteurs レ・ポルテール pl.n.m 柩を担いでいる男たち

「目的語」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

sommes sortis ソム・ソルティ 1 複現・完了形(sortir)v.i 外に出た

「動詞句」

de l'asile. トゥ・ラジール adv. 養老院から

「副詞句」

門の前には車が止まっていた。ニス塗られ、細長くで光沢のあるその車は、鉛筆入れを思い出させた。

Devant la porte, il y avait la voiture. Vernie, oblongue et brillante, elle faisait penser à un plumier.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Devant la porte, トゥ・ヴ・オン・ラ・ポルト adv. 門の前には

「副詞句」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった

「動詞句」

la voiture. ラ・ヴ・ワチュール n.f 車が

「目的語」

Vernie, ヴェルニ 過去分詞・受動(vernir)adj.f ニスを塗られた

「形容詞」

oblongue オブ・ロング adj.f 細長い

「形容詞」

et エ conj. そして

brillante, ブリヨント adj.f 光沢のある

「形容詞」

elle エル pron その車は

「主語」

faisait penser フェ・ボンセ 3 単半・使役(faire+不定詞)

v.i 思わせた

「動詞句」

à un plumier. ア・ウン・プリュエ adv. 鉛筆入れのことを

「間接目的語」

その横には、おかしい服を着た小男の世話役とぎごちない様子の老人がいた。

A côté d'elle, il y avait l'ordonnateur, petit homme aux habits ridicules, et un vieillard à l'allure empruntée.

「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」

A côté d'elle, ア・コテ・デル adv. その横には

「副詞句」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(avoir)v.t いた

「動詞句」

l'ordonnateur, ロルデナテール n.m 世話役が

「目的語」

世話役：葬儀の進行係

petit homme プティ・トム n.m (同格) 小男の

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

aux habits ridicules, オ・アビ・リデ・イキュル adj. おかしな服を着た 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 un vieillard アン・ヴィエイヤル n.m 老人が 「目的語」
 à l'allure empruntée. ア・アリュル・オンブ・ルンテ adj. ぎごちない様子の 「形容詞句」
 allure アリュル n.f 様子 emprunté オンブ・ルンテ adj. ぎごちない

それがペレーズ氏だと、僕は分かった。

J'ai compris que c'était M. Pérez. 「主語」「動詞句」「目的語」
 J' ジュ・ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった 「動詞句」
 que ク conj. ～ということが 「目的語」
 c' ス pron それが 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 M. Pérez. ムッシュ・ペレ n. ペレーズ氏 「補語」

彼は、丸いお椀形でつばが広いソフト帽をかぶっていた。(柩が門を通り抜ける時、彼はそれを脱いだ) 服装は、ズボンがたるんで短靴の上で渦巻いており、黒い蝶ネクタイは白の大きいカラーのワイシャツに対して小さすぎるという具合だった。

Il avait un feutre mou à la calotte ronde et aux ailes larges (il l'a ôté quand la bière a passé la porte), un costume dont le pantalon tire-bouchonnait sur les souliers et un noeud d'étoffe noire trop petit pour sa chemise à grand col blanc.

「主語」「動詞」「目的語」(「主語」「目的語」「動詞句」「副詞節」)「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (着用)(帽子を)かぶっていた 「動詞」
 un feutre mou アン・フートル・ムー n.m ソフト帽を 「目的語」
 à la calotte ronde ア・ラ・ツキャロット・ロント adj. 丸いお椀形の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 aux ailes larges オ・エレ・ラルジュ adj. つばが広い 「形容詞句」
 (il イル pron 彼は 「主語」
 l' ル pron それを 「目的語」
 a ôté ア・オテ 3 単現・完了形(ôter)v.t (帽子を)脱いだ 「動詞句」
 quand コン conj. ～した時に 「副詞節」
 la bière ラ・ビエール n.f 柩が 「主語」
 a passé ア・パセ 3 単現・完了形(passer)v.t (を)通り抜ける 「動詞句」
 la porte), ラ・ポルト n.f 門を 「目的語」
 un costume アン・コスチューム n.m 服装で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|--------|
| dont トン pron (同格) 〜という | 「形容詞節」 |
| le pantalon ル・パンタロン n.m ズボンは | 「主語」 |
| tire-bouchonnait チル・ブショネ 3 単半(tire-bouchonner)v.i 渦巻いていた | 「動詞」 |
| sur les souliers シュール・レスリエ adv. 短靴の上で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| un noeud d'étoffe noire アン・ヌー・テ・トッフ・ヌワール n.m 黒い蝶ネクタイ | 「主語」 |
| trop petit トロ・プティ adj. 小さすぎる | 「補語」 |
| pour sa chemise プール・サ・シュミーズ adv. ワイシャツに対して | 「副詞句」 |
| à grand col blanc. ア・グロン・コル・ブロン adj. 白の大きいカラーの | 「形容詞句」 |

黒い斑点が散りばめられた鼻の下で、彼の唇は震えていた。

Ses lèvres tremblaient au-dessous d'un nez truffé de points noirs.

| | |
|--|---------------|
| | 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| Ses lèvres セ・レーヴル pl.n.f 彼の唇は | 「主語」 |
| tremblaient トロンブレ 3 複半(trembler)v.i 震えていた | 「動詞」 |
| au-dessous d'un nez オ・トゥス・ダン・ネ 鼻の下で | 「副詞句」 |
| truffé トルフェ 過去分詞・受動(truffer)v.t 詰め込まれた | 「形容詞」 |
| de points noirs. トゥ・プ・オン・ヌワール adv. 黒い点によって | 「副詞句」 |
| 黒い斑点が散りばめられた鼻の下で | |

彼の薄めの白髪の下から、ぶらっと垂れ下がって縁の形が崩れた奇妙な形の耳がはみ出していた。彼の青白い顔の中で、その耳の血のような赤い色が僕に強烈な印象を与えた。

Ses cheveux blancs assez fins laissaient passer de curieuses oreilles ballantes et mal ourlées dont la couleur rouge sang dans ce visage blafard me frappa.

| | |
|---|------------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「副詞句」「目的語」「動詞」 |
| Ses cheveux blancs セ・シュヴ・ブロン pl.n.m 彼の白髪は | 「主語」 |
| assez fins アセ・ファン adj. どちらかというと薄い、薄めの | 「形容詞句」 |
| assez アセ adv. かなり、(次の形容詞を弱めて) まあ、どちらかというと | |
| laissaient passer レ・パセ 3 複半・使役(laisser+不定詞)v.t はみ出させていた | 「動詞句」 |
| de curieuses oreilles トゥ・キュリュース・オレイ pl.n.f 奇妙な耳を | 「目的語」 |
| ballantes バント adj. 垂れ下がった、ぶらぶらしている | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| mal ourlées マル・ウル adj. 縁の形が崩れた | 「形容詞句」 |
| 耳を「主語」にして翻訳する | |
| dont トン adj. その耳の | 「形容詞」 |
| la couleur rouge sang ラ・クレール・ルージュ・ソン n.f 血のような赤い色は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

dans ce visage blafard トン・ス・ヴァイザージュ・ブラファール adv. 青白い顔の中で 「副詞句」
 me ム pron 僕に 「目的語」
 frappa. フラパ 3 単過(frapper)v.t 強烈な印象を与えた 「動詞」

単純過去・前過去：

単純過去は新聞や小説などで過去の出来事を客観的に述べるときに使われます。

Le 14 juillet 1789 le peuple de Paris **attaqua** la Bastille.

1789 年 7 月 14 日、パリの民衆はバスティーユの監獄を襲撃した。

Je **regardai** donc cette apparition avec des yeux tout ronds d'étonnement.

それで僕は、驚いて目を丸くして、この現れ出たまぼろしを見つめた。

● 直説法前過去 (avoir/être の単純過去+過去分詞) の用法

一般に従属節において用いられ、単純過去に示される主節の直前に完了した行為を示す。

Elle rougit aussitôt qu'elle **eut vu** ce jeune homme.

その若者を見てすぐに彼女は顔を赤らめた。

Quand nous **eûmes marché**, des heures, en silence, la nuit tomba, et les étoiles commencèrent de s'éclairer. Je les apercevais comme en rêve, ayant un peu de fièvre, à cause de ma soif. Les mots du petit prince dansaient dans ma mémoire :

何時間も黙って歩いていると、日が暮れて、星が瞬き始めた。ぼくはのどの渇きが原因で少し熱が出て、まるで夢の中でのように、星たちを感知していた。王子様のあの言葉が、ぼくの記憶の中で踊っていた。

葬儀の進行係が、僕たちにそれぞれの座席を示した。

L'ordonnateur nous donna nos places. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

L'ordonnateur ロルトナテル n.m 葬儀の進行係が 「主語」

nous ヌ pron 僕たちに 「間接目的語」

donna トナ 3 単過(donner)v.t 示した、知らせた 「動詞」

nos places. ノス・プラス pl.n.f 座席を 「直接目的語」

司祭が先頭を歩き、次に柩車が続いた。

Le curé marchait en avant, puis la voiture. 「主語」「動詞」「副詞句」、「副詞」「主語」

Le curé ル・キュレ n.m 司祭が 「主語」

marchait マルシェ 3 単半(marcher)v.i 歩いた 「動詞」

en avant, オン・アヴァン adv. 先頭を、前へ 「副詞句」

puis ビュイ adv. 次に 「副詞」

la voiture. ラ・ウゝわチュール n.f 柩車が 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

枢車の周りには、黒服の4人。その後ろに、院長とぼく。しんがりを務めているのは、派遣の看護婦とペレーズ氏である。

Autour d'elle, les quatre hommes. Derrière, le directeur, moi-même et, fermant la marche, l'infirmière déléguée et M. Pérez.

「副詞句」「主語」 | 「副詞」「主語」 et 「副詞句」「主語」

Autour d'elle, オトゥール・デル adv. 枢車の周りには 「副詞句」

elle は la voiture の代用

les quatre hommes. レ・クワトル・オム pl.n.m 黒服の4人 「主語」

Derrière, デリエール adv. その後ろに 「副詞」

le directeur, ル・ディレクテール n.m 院長 「主語」

moi-même ムワ・メーム pron 僕自身 「主語」

et, エ conj. そして

fermant フェルモン 現在分詞(fermer)v.i しんがりを務めているのは 「副詞句」

la marche, ラ・マルシュ n.f 行列の 「目的語」

fermer la marche 「行進のしんがりを務める」

l'infirmière déléguée ランフィルミエール・デレゲ n.f 派遣の看護婦 「主語」

et エ conj. そして

M. Pérez. ムシュ・ペレ n. ペレーズ氏 「主語」

空は、もうすでに太陽でいっぱいだった。

Le ciel était déjà plein de soleil. 「主語」「動詞」「副詞」「補語」

Le ciel ル・シエル n.m 空は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

déjà デジャ adv. もう 「副詞」

plein de soleil. プラン・トゥ・ソレイユ adj. 太陽でいっぱい 「補語」

それが地上に重くのしかかってきて、暑さが急速に増してきた。

Il commençait à peser sur la terre et la chaleur augmentait rapidement.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞」

Il イル pron それが 「主語」

commençait à peser コモンセ・ア・プセ 3 単半・開始(commencer a+不定詞)

v.i (sur に) 重くのしかかってきた 「動詞句」

sur la terre シュール・ラ・テール adv. 地上に 「副詞句」

et エ conj. そして

la chaleur ラ・シャレール n.f 暑さが 「主語」

augmentait オグモンテ 3 単半(augmenter)v.i 増してきた 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

rapidement. ラピッドモン adv. 急速に

「副詞」

なぜか分からないが、僕たちは歩き始めるまでにかかなり長い時間待った。

Je ne sais pas pourquoi nous avons attendu assez longtemps avant de nous mettre en marche.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュジュ pron 僕は

「主語」

ne sais pas ノセパ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない

「動詞句」

pourquoi フルワ n. どうして～なのかということ

「目的語」

nous ノ pron 僕たちは

「主語」

avons attendu アヴォン・サトデジュ 1 複現・完了形(attendre)v.i 待った

「動詞句」

assez longtemps アセ・ロントン adv. かなり長い時間

「副詞句」

avant de +不定詞 アヴァン・ドゥ adv. ～する前に

「副詞句」

nous mettre en +無冠詞名詞 ノ・メトル・オン 不定詞(se mettre en+無冠詞名詞)

v.i ～し始める

「動詞句」

marche. マルシュ n.f 歩み、行進

「間接目的語」

僕の黒っぽい背広の内側が暑くなってきた。

J'avais chaud sous mes vêtements sombres.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

J' ジュジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴァエ 1 単半(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ～だった

「動詞」

chaud ショ n.m 暑さ

「目的語」

sous mes vêtements ス・メ・ヴェトモン adv. 背広の下が

「副詞句」

sombres. ソンブル adj. 黒っぽい

「形容詞」

その小柄な老人は、帽子をかぶりなおしていたが、それをまた脱いだ。

Le petit vieux, qui s'était recouvert, a de nouveau ôté son chapeau.

「主語」「動詞句」「目的語」

Le petit vieux, ル・プチ・ヴィエ n.m その小柄な老人は

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

s'était recouvert, セテ・ルクヴァール 3 単半・完了形(se recouvrir)

v.pr 再びかぶっていた、かぶりなおしていた

「動詞句」

a de nouveau ôté ア・ドゥ・ヌヴェ・オー・テ 3 単現・完了形(oter+ de nouveau)

v.t また脱いだ

「動詞句」

son chapeau. ソン・シャポー n.m 帽子を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は少し彼の方を向いていたので、彼を見ていた。その時、院長が僕に彼の話を話し始めた。

Je m'étais un peu tourné de son côté, et je le regardais lorsque le directeur m'a parlé de lui. 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞」

lorsque 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュジュ pron 僕は 「主語」

m'étais un peu tourné メ・アン・フ・トゥルネ 1 単半・完了形(se tourner+ un peu)

v.pr 少し〜の方を向いていた 「動詞句」

de son côté, トゥ・ツン・コテ adv. 彼の方を 「副詞句」

et エ conj. そして

je ジュジュ pron 僕は 「主語」

le ル pron 彼を 「目的語」

regardais ルギヤルテ 1 単半(regarder)v.t 見ていた 「動詞」

lorsque ロルスキ conj. その時

le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長が 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話した 「動詞句」

de lui. トゥ・リュイ adv. 彼の話を 「間接目的語」

彼の話では、母とペレーズ氏は看護婦に付き添われて、夕方よく村まで散歩に出かけたということだった。

Il m'a dit que souvent ma mère et M. Pérez allaient se promener le soir jusqu'au village, accompagnés d'une infirmière. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 話した 「動詞句」

que ク conj. 〜ということを 「直接目的語」

souvent スゥオン adv. しばしば、よく 「副詞」

ma mère et M. Pérez マ・メル・エ・ムシュ・ペレ pl.n 母とペレーズ氏は 「主語」

allaient +不定詞 3 複半(aller+不定詞)v.i 〜しに行った 「動詞句」

se promener ス・プロムネ 不定詞 v.pr 散歩する 「動詞句」

le soir ル・スワール adv. 夕方 「副詞句」

jusqu'au village, ジュスコ・ヴァージュ adv. 村まで 「副詞句」

accompagnés アコンパニエ 過去分詞・受動.pl(accompagner)

adj. 付き添われて 「副詞句」

d'une infirmière. デュンヌ・アンフィルミエール adv. 看護婦に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は自分の周りの田園風景を眺めた。

Je regardais la campagne autour de moi.

「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

regardais ルガールデ 1 単半(regarder)v.t 眺めた

「動詞」

la campagne ラ・コンパニー n.f 田園を、田園風景を

「目的語」

autour de moi. オトゥール・トゥ・ムワ adv. 僕の周りの

「副詞句」

空に迫る丘へと続く糸杉の列、赤褐色と緑のこの大地、まばらで、輪郭がくっきりしたあれらの家々といったものを通して、僕は母さんを理解した。

A travers les lignes de cyprès qui menaient aux collines près du ciel, cette terre rousse et verte, ces maisons rares et bien dessinées, je comprenais maman.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

A travers ア・トラヴァール adv. ～を通して

「副詞句」

les lignes de cyprès レ・リーニュ・トゥ・シプレ pl.n.f 糸杉の列

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

menaient ムネ 3 複半(mener)v.t (à に) 至る

「動詞」

aux collines オ・コリーヌ adv. 丘へ

「副詞句」

près du ciel, プレ・ジュー・シエル adv. 空に迫る

「副詞句」

cette terre セット・テール n.f この大地

「目的語」

rousse et verte, ルス・エ・ヴェルトゥ adj. 赤褐色と緑の

「形容詞句」

ces maisons セ・メゾン pl.n.f あれらの家々

「目的語」

rares et bien dessinées, ラール・エ・ビヤン・デシネ

adj.f.pl まばらで、輪郭がくっきりした

「形容詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

comprenais コンプレネ 1 単半(comprendre)v.t 理解した

「動詞」

maman. マモン n.f 母さんを

「目的語」

夕暮れは、この田舎町では、物悲しい休戦のような時間だったに違いない。

Le soir, dans ce pays, devait être comme une trêve mélancolique.

「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」

Le soir, ル・スワール n.m 夕方は

「主語」

dans ce pays, ドン・ス・ペイ adv. この田舎町では

「副詞句」

devait être トゥヴァ・エ・テートル 3 単半・推定(devoir+不定詞)

v.i ～であつたに違いない

「動詞句」

comme コム conj. ～のような

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

une trêve mélancolique. ユンヌ・トレウグ・メランコリキ n.f 物悲しい休戦

「目的語」

今日は、陽炎のように風景を震えさせている溢れんばかりの太陽が、その景色を無情で気の滅入るものに変えていた。

Aujourd'hui, le soleil débordant qui faisait tressaillir le paysage le rendait inhumain et déprimant.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Aujourd'hui, オージュルトゥイ adv. 今日は

「副詞」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が

「主語」

débordant デボルトン adj. 溢れんばかりの

「形容詞」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

faisait tressaillir フェ・トサイール 3 単半・使役(faire+不定詞)

v.i (陽炎のように) 震えさせていた

「動詞句」

le paysage ル・ペイザージュ n.m 風景を

「目的語」

le ル pron それを

「目的語」

rendait ロンテ 3 単半(rendre)v.t(SVOC) O を C にしていた

「動詞」

inhumain et déprimant. インユマン・エ・テプリモン adj. 無情で気の滅入る

「補語」

僕たちは歩き始めた。

Nous nous sommes mis en marche.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

nous sommes mis ヌ・スム・ミ 1 複現・完了形(se mettre+en+無冠詞名詞)

v.pr ～し始めた

「動詞句」

en marche. オン・マルシュ adv. 歩みに

「間接目的語」

ペレーズがわずかにびっこを引いているのに気がついたのはその時だった。

C'est à ce moment que je me suis aperçu que Pérez claudiquait légèrement.

「動詞」「副詞句」「主語」

C' ス pron 仮の主語(真の主語は que 以降) 強調構文

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

à ce moment ア・ス・モモン adv. この時

「副詞句」

que ク conj. ～ということは

「主語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis aperçu ム・シュイ・アペルシュ 1 単現・完了形(s'apercevoir que+直説法)

v.pr ～に気付いた

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

Pérez ペレ n. ペレーズが

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

claudiquait クロデイク 3 単半(claudiquer)v.i びっこを引いていた 「動詞」
légèrement. レジェルモン adv. わずかに、軽く 「副詞」

霊柩車がだんだん速度を上げて行くと、老人は遅れ始めた。

La voiture, peu à peu, prenait de la vitesse et le vieillard perdait du terrain.

「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

La voiture, ラ・ヴ・ワチュール n.f 車が、霊柩車が 「主語」
peu à peu, プ・ア・プ adv. 少しずつ、だんだん 「副詞句」
prenait プルネ 3 単半(prendre)v.t (速度を) 上げた 「動詞」
de la vitesse トゥ・ラ・ヴィテス n.f 速度を 「目的語」
et エ conj. すると
le vieillard ル・ビエイヤール n.m 老人は 「主語」
perdait ペルテ 3 単半(perdre)v.t 失った 「動詞」
du terrain. ジュ・テラン n.m 土地 「目的語」
perdre du terrain 「地歩を失う、後退する、遅れる」

馬車を取り囲んでいた男たちの一人も同様について行けなくなって、今は僕と同じ位置を歩いていた。

L'un des hommes qui entouraient la voiture s'était laissé dépasser aussi et marchait maintenant à mon niveau.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「動詞」「副詞」

L'un des hommes ラン・デ・ゾム n.m 男たちの一人が 「主語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
entouraient オントゥアレ 3 複半(entourer)v.t 取り囲んでいた 「動詞」
la voiture ラ・ヴ・ワチュール n.f 霊柩車(馬車)を 「目的語」
s'était laissé dépasser セテ・レ・テパセ 3 単現・完了形・受動(se laisser+不定詞)
v.pr 追い越されるまになった、付いて行けなくなった 「動詞句」
se laisser+不定詞「～される(がままになる)」
aussi オシ adv. もまた、同様に 「副詞」
et エ conj. そして
marchait マルシェ 3 単半(marcher)v.i 歩いていた 「動詞」
maintenant マントラン adv. 今は 「副詞」
à mon niveau. ア・モン・ニヴェオ adv. 僕の位置を 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は太陽が空に昇る速さに驚かされた。

J'étais surpris de la rapidité avec laquelle le soleil montait dans le ciel.

「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

étais surpris エテ・シュルプ リ 1 単半・受動(surprendre)v.t 驚かされた

「動詞句」

de la rapidité トゥ・ラ・ラピデ イテ adv. 速度によって

「副詞句」

avec laquelle アヴェ・ェッキ・ラケル adj. それで～する

「形容詞節」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が

「主語」

montait モンテ 3 単半(monter)v.i 昇る

「動詞」

dans le ciel. トン・ル・シエル adv. 空に

「副詞句」

僕は、もうだいぶ前から田畑が虫の鳴き声や草のこすれる音で騒がしくなっていることに気がついていた。

Je me suis aperçu qu'il y avait déjà longtemps que la campagne bourdonnait du chant des insectes et de crépitements d'herbe.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis aperçu ム・シュイ・アペルシュ 1 単現・完了形(s'apercevoir)

v.pr (que+直説法) ～に気がついていた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

il y avait déjà longtemps que +直説法 イ・リ・アヴェ・テシヤ・ロントン・ク

adv. もうだいぶ前から

「副詞句」

la campagne ラ・コンパニユ n.f 田畑が

「主語」

bourdonnait ブルトネ 3 単半(bourdonner)v.i ぶんぶん音を立てていた

「動詞」

du chant des insectes ジュ・シヨン・テ・アンセクト adv. 虫の鳴き声で

「副詞句」

et エ conj. そして

de crépitements d'herbe. トゥ・クレピトモン・テルブ adv. 草のこすれる音で

crépitement クレピトモン n.m パチパチいう音

汗が左右の頬を伝って流れ落ちた。

La sueur coulait sur mes joues.

「主語」「動詞」「副詞句」

La sueur ラ・シュウール n.f 汗が

「主語」

coulait クレ 3 単半(couler)v.i 流れた

「動詞」

sur mes joues. シュール・メ・ジュー adv. 頬の上を

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、帽子が無かったので、ハンカチで自分の顔をあおいだ。

Comme je n'avais pas de chapeau, je m'éventais avec mon mouchoir.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Comme コム conj. ～なので

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定(avoir)

v.t 無かった、かぶっていなかった

「動詞句」

de chapeau, トゥ・シャポー n.m 帽子を

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

m'éventais ムェ・オンテ 1 単半(s'éventer)v.pr 自分をあおいだ

「動詞句」

avec mon mouchoir. アヴ・エツキ・モン・ムシュワール adv. ハンカチで

「副詞句」

その時、葬儀屋の社員が僕に何か言ったのだが、僕は聞き取れなかった。

L'employé des pompes funèbres m'a dit alors quelque chose que je n'ai pas entendu.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「副詞」 「直接目的語」 「形容詞節」

L'employé ロンプ・ロワイエ n.m 従業員が

「主語」

des pompes funèbres テ・ポンプ・フネブル adj. 葬儀屋の

「形容詞句」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

alors アロー adv. その時

「副詞」

quelque chose ケルク・ショーズ pron 何かを

「直接目的語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai pas entendu. ネ・パ・オントンデュ 1 単現・完了形・否定(entendre)

v.t 聞き取れなかった

「動詞句」

同時に彼は、右手でハンチングのつばを持ち上げて、左手に持っていたハンカチで頭のでっぺんを拭った。

En même temps, il s'essuyait le crâne avec un mouchoir qu'il tenait dans sa main gauche, la main droite soulevant le bord de sa casquette.

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」, 「副詞句」

En même temps, オン・メム・トン adv. 同時に

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

s'essuyait セシュイ 3 単半(s'essuyer)v.pr 拭いた、拭った

「動詞句」

le crâne ル・クラヌ n.m 頭のでっぺんを

「目的語」

avec un mouchoir アヴ・エツキ・アン・ムシュワール adv. ハンカチで

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|--------|
| qu' ク pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t 持っていた | 「動詞」 |
| dans sa main gauche, ドン・サ・マン・ゴージュ adv. 左手に | 「副詞句」 |
| la main droite ラ・マン・トルワット n.f 右手は | 「主語」 |
| soulevant スルヴァン 現在分詞(soulever)v.t 持ち上げながら | 「副詞句」 |
| le bord ル・ボール n.m 縁を | 「目的語」 |
| de sa casquette. トゥ・サ・カスケット adj. ハンチングの | 「形容詞句」 |
| casquette n.f ひさしのある帽子、ハンチング | |

僕は彼に言った：「なんですって？」

| | |
|------------------------------------|-------------------------|
| Je lui ai dit: «Comment?» | 「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「応答」》 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| Comment?» コモン adv. なんですって？ | 「応答」 |

彼は空を指しながら、繰り返して言った。「照りつけるねえ」僕は答えた。「ええ」少し後で、彼は僕に尋ねた。「あのひつぎはおふくろさんかい？」僕はまた答えた。「ええ」「おおふくろさんはかなりのお年だったのかい？」

| | |
|---|--|
| Il a répété en montrant le ciel: «Ça tape.» J'ai dit: «Oui.» Un peu après, il m'a demandé: «C'est votre mère qui est là?» J'ai encore dit: «Oui.» «Elle était vieille?» | |
| 「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」》 「主語」「動詞句」：《「応答」》 | |
| 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞」「補語」「主語」》 | |
| 「主語」「動詞句」：《「応答」》 《「主語」「動詞」「補語」》 | |

| | |
|--|-------|
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a répété ア・レペテ 3 単現・完了形(répéter)v.t 繰り返して言った | 「動詞句」 |
| en montrant オン・モントラン ジェロンディフ(montrer)v.t 指し示しながら | 「副詞句」 |
| le ciel: ル・シエル n.m 空を | 「目的語」 |
| Ça サ pron あれが(太陽が) | 「主語」 |
| tape.» タプ 3 単現(taper)v.i (太陽が) 照りつける | 「動詞」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| Oui.» ウイ adv. ええ | 「応答」 |
| Un peu après, アン・プ・アブレ adv. 少し後で | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé: « ア・ドマンド 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| C' ス pron 仮の主語(真の主語は qui 以降) 強調構文 | |
| est エ 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| votre mère ヴォトル・メル n.f お母さん | 「補語」 |
| qui キ pron (主語) ~する人は | 「主語」 |
| est est エ 3 単現(être)v.i ~にいる | 「動詞」 |
| là? ラー adv. あそこに | 「副詞」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai encore dit: エ・オンコール・ディ 1 単現・完了形(dire+encore)v.t また答えた | 「動詞句」 |
| Oui. ヴイー adv. ええ | 「応答」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| vieille? ヴィエイユ adj. 年老いた | 「補語」 |

僕は、正確な数字を知らなかったので、「ええ、まあ」と答えた。

J'ai répondu: «Comme ça», parce que je ne savais pas le chiffre exact.

| | |
|---|---------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu: エ・レポンド 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| Comme ça, コム・サ adv. ええ、まあ | 「目的語」 |
| parce que パルス・ク conj. ~なので | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne savais pas ヌ・サヴァ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 知らなかった | 「動詞句」 |
| le chiffre exact. ル・シッフ・エグザ n.m 正確な数字を | 「目的語」 |

それから彼は黙った。僕が振り返ると、僕たちのおよそ 50 メートル後ろに年老いたペレーズ
の姿が見えた。

Ensuite, il s'est tu. Je me suis retourné et j'ai vu le vieux Pérez à une cinquantaine de mètres derrière nous.

| | |
|---|--|
| | 「副詞」「主語」「動詞句」 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Ensuite, オンシュイット adv. それから | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| s'est tu. セ・チュ 3 単現・完了形(se taire)v.pr 黙った | 「動詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis retourné ム・シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた

「動詞句」

le vieux Pérez ル・ヴィエ・ペレ n.m 年老いたペレーズが

「目的語」

à une cinquantaine de mètres ア・ユヌ・サンコンテヌ・ド・カ・メートル

adv. およそ 50 メートルの距離に

「副詞句」

derrière nous. デリエール・ヌ adv. 僕らの後ろに

「副詞句」

彼は、腕の先に持ったソフト帽を振りながら、遅れないように速足で歩いていた。僕は院長も観察してみた。

Il se hâtait en balançant son feutre à bout de bras. J'ai regardé aussi le directeur.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

se hâtait ス・アテ 3 単半(se hâter)v.pr 遅れないように速足で歩いていた

「動詞句」

en balançant オン・バロンソン ジェロンディフ(balancer)v.t ～を振りながら

「副詞句」

son feutre ソン・フトル n.m ソフト帽を

「目的語」

à bout de bras. ア・ブ・ド・カ・ブラ adj. 腕の先の

「形容詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai regardé エル・ギャルテ 1 単現・完了形(regarder)v.t 観察した

「動詞句」

aussi オン adv. ～もまた

「副詞」

le directeur. ル・ディレクテール n.m 院長を

「目的語」

院長は、無駄な仕草をせずに、威厳に満ちた様子で歩いていた。

Il marchait avec beaucoup de dignité, sans un geste inutile. 「主語」「動詞」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

marchait マルシェ 3 単半(marcher)v.i 歩いていた

「動詞」

avec beaucoup de dignité, アヴェッキ・ボク・ド・カ・テイグニテ adv. 威厳に満ちた様子で

「副詞句」

sans un geste inutile. ソン・アン・ジェスト・イヌチル adv. 無駄な仕草をせずに

「副詞句」

汗の滴がいくつか、額の上で玉になっていたが、彼はそれを拭わないでいた。

Quelques gouttes de sueur perlaient sur son front, mais il ne les essuyait pas.

「主語」「動詞」「副詞句」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Quelques gouttes ケルク・ゲット pl.n.f いくつかのしずくが

「主語」

de sueur トゥ・シュエール adj. 汗の

「形容詞句」

perlaient ペール 3 複半(perler)v.i (しずくが) 玉になっていた

「動詞」

sur son front, シュール・ソン・フロン adv. 額の上で

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

ne ...essuyait pas. ネ...エシュイエ・パ° 3 単半・否定(essuyer)v.t 拭わないでいた

「動詞句」

les レ pl.pron それを

「目的語」

僕には、葬列の進行が少し速まったように思われた。

Il me semblait que le convoi marchait un peu plus vite. 「間接目的語」「動詞」「主語」

Il イル pron 仮の主語(真の主語は que 以降)

me ム pron 僕には

「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ~のように見えた

「動詞」

que ク conj. ~ということが

「主語」

le convoi ル・コンヴァ° わ n.m 列が

「主語」

marchait マルシェ 3 単半・時制の一致(marcher)v.i 進んでいる

「動詞」

un peu plus vite. アン・フ°・フリュ・ヴァイト adv. 少し早く

「副詞句」

僕の周りには、相変わらず太陽の光に満ちた同じ田園だった。

Autour de moi, c'était toujours la même campagne lumineuse gorgée de soleil.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「補語」

Autour de moi, オトゥール・ド・ウ・ム° わ adv. 僕の周りには

「副詞句」

c' ス rpon そこは

「主語」

était セテ 3 単半(ce être)v.i ~だった

「動詞」

toujours トウジュール adv. 相変わらず

「副詞」

la même campagne ラ・メーム・コンパ°ーニュ n.f 同じ田園

「補語」

lumineuse gorgée de soleil. リュミヌス°・ゴルジ°エ・ド°ウ・ソレイユ

adj. 太陽の光に満ちた

「形容詞句」

空の輝きが強くて、耐え難いほどだった。

L'éclat du ciel était insoutenable.

「主語」「動詞」「補語」

L'éclat du ciel レクラ・ド°ウ・シエル n.m 空の輝きは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

insoutenable. アンストウナーブル adj. 耐えられない

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

ふと気がつくと、僕らは最近修理されたと思われる道路の個所に通りかかった。

A un moment donné, nous sommes passés sur une partie de la route qui avait été récemment refaite. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

A un moment donné, ア・アン・モン・ドネ adv. ふとある時、急に、いつかは 「副詞句」

nous ヌ pron 私たちは 「主語」

sommes passés ソム・パセ 1 複現・完了形(passer)v.i 通りかかった 「動詞句」

sur une partie de la route シュール・ユヌ・パ ルティ・ドゥ・ラ・ルート adv. 道路の部分に 「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

avait été récemment refaite. アヴ・ェ・エテ・レスモン・ルフエット 3 単半・完了形・受動(refaire)

v.t 最近修理された

「動詞句」

récemment レスモン adv. 最近、近頃

灼熱の太陽がアスファルトを破裂させていた。

Le soleil avait fait éclater le goudron. 「主語」 「動詞句」 「補語」 「目的語」

Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が 「主語」

avait fait アヴ・ェ・フェ 3 単半・完了形・使役(faire qn+不定詞)

v.t (人・物に) ～させていた

「動詞句」

éclater エクラテ 不定詞 v.i 破裂する

「補語」

le goudron. ル・グドゥロン n.m アスファルトを

「目的語」

足が、破裂したアスファルトにめり込み、輝く中身を剥きだしにした。

Les pieds y enfonçaient et laissaient ouverte sa pulpe brillante.

「主語」 「副詞」 「動詞」 et 「動詞」 「補語」 「目的語」

Les pieds レ・ピエ pl.n.m 足が 「主語」

y イ adv. アスファルトに 「副詞」

enfonçaient オンフォンセ 3 複半(enfoncer)v.i 入り込む 「動詞」

et エ conj. すると

laissaient レッセ 3 複半・使役(laisser qn+C)v.t (人・物を) C の状態にした 「動詞」

ouverte ウヴェルト 過去分詞(ouvrir)adj.f 剥きだしの 「補語」

sa pulpe brillante. サ・ピュルプ・ブリヨントゥ n.f 輝く中身を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

馬車の上の御者の煮固めた帽子がアスファルトの黒い泥の中でこねられたように見えた。

Au-dessus de la voiture, le chapeau du cocher, en cuir bouilli, semblait avoir été pétri dans cette boue noire. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Au-dessus de la voiture, オトウシユ・トウ・ラ・ウゝ わチュール adv. 馬車の上で 「副詞句」

le chapeau du cocher, ル・シャポ・ー・ジユ・コッシェ n.m 御者の帽子は 「主語」

en cuir bouilli, オン・クイル・ブイ adj. 煮固めた 「形容詞句」

「煮込んだ革」と言う意味。オイルやワックスで煮込んで乾燥して硬度を増した「ハードレザー」。なめし革のままの柔らかいものを「ソフトレザー」と呼ぶ。

semblait +不定詞 ソンブレ 3 単半(sembler+不定詞)v.i ~するように見えた 「動詞句」

avoir été pétri アヴ・ワ・ル・エ・ペトリ 不定詞・完了形・受動(pétrir)

v.t こねられた 「動詞句」

dans cette boue noire. トン・セツ・ブー・ヌワ・ル adv. この黒い泥の中で 「副詞句」

空の青と白に対して、裂けたタールのねばねばした黒色、服のくすんだ黒、柩車の漆黒といった単調な色に囲まれて、僕は自分を見失いそうになった。

J'étais un peu perdu entre le ciel bleu et blanc et la monotonie de ces couleurs, noir gluant du goudron ouvert, noir terne des habits, noir laqué de la voiture.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais un peu perdu エテ・アン・プ・ペルテュ 1 単半・受動(perdre+ un peu)

v.t 自分を見失うところだった 「動詞句」

entre オントル adv. ~の間で 「副詞句」

le ciel bleu et blanc ル・シエル・ブル・エ・フロン n.m 青と白の空 「目的語」

et エ conj. そして

la monotonie de ces couleurs, ラ・モトニー・トゥ・セ・クレール n.f その色の単調さ 「目的語」

noir gluant ヌワ・ル・グリュオン n.m ねばねばした黒色 「目的語」

du goudron ouvert, ジュ・グトロソ・ウヴェール adj. 裂けたタールの 「形容詞句」

noir terne ヌワ・ル・テルヌ n.m くすんだ黒 「目的語」

des habits, デ・ザビ adj. 服の 「形容詞句」

noir laqué ヌワ・ル・ラケ n.m 漆黒 「目的語」

de la voiture. トウ・ラ・ウゝ わチュール adj. 柩車の、馬車の 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

太陽、枢車が発する革と馬糞の臭い、ニスと香の匂い、徹夜の疲労といった、これらすべてが僕の視力と思考力を乱したのだ。

Tout cela, le soleil, l'odeur de cuir et de crottin de la voiture, celle du vernis et celle de l'encens, la fatigue d'une nuit d'insomnie, me troublait le regard et les idées.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Tout cela, トゥ・スラ pron これらすべてが

「主語」

le soleil, ル・ソレイユ n.m 太陽

「主語」

l'odeur オデーール n.f 臭い

「主語」

odeur オデーール n.f 悪い臭い senteur ソンテール n.f よい香り、香気(parfum)

de cuir トゥ・キューール adj. 革の

「形容詞句」

et エ conj. そして

de crottin トゥ・クロタン adj. 馬糞の

「形容詞句」

de la voiture, トゥ・ラ・ヴ ゴキウール

adj. 枢車が発する

「形容詞句」

celle du vernis セル・ジュー・ヴェルニ pron.f ニスの匂い

「主語」

et エ conj. そして

celle de l'encens, セル・トゥ・ロンソン pron.f 香の匂い

「主語」

la fatigue ラ・ファティグ n.f 疲労

「主語」

d'une nuit d'insomnie, テュヌヌ・ニユイ・ダンソムニ adj. 徹夜の

「形容詞句」

me ム pron 僕の

「間接目的語」

troublait トゥルブレ 3 単半(troubler)v.t 邪魔した、乱した

「動詞」

le regard et les idées. ル・ルギヤール・エ・レ・ジデー pl.n 視力と思考力を

「直接目的語」

僕はもう一度すり返ってみた：ペレーズは陽炎の陰にかすんでとても遠くに見えた。それから、彼はもう見えなくなった。

Je me suis retourné une fois de plus : Pérez m'a paru très loin, perdu dans une nuée de chaleur, puis je ne l'ai plus aperçu.

「主語」「動詞句」「副詞句」:

「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」「副詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis retourné ム・シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った

「動詞句」

une fois de plus : ヌヌ・フワ・トゥ・プリュ adv. もう一度

「副詞句」

Pérez ペレ n. ペレーズは

「主語」

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i ~のように見えた

「動詞句」

très loin, トレ・ルワン adj. とても遠くに

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

perdu ペルジュ 過去分詞・受動(perdre)v.t 失われて 「副詞句」
 dans une nuée de chaleur, トン・ジエンヌ・ヌエ・トゥ・シャレル adv. 陽炎の中に 「副詞句」
 nuée ニエ n.f 厚い雲 chaleur シャレル n.f 熱さ、熱 → 夏の熱さでできる陽炎
 puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne l'ai plus aperçu. ヌ・レ・プリュ・アペルシュ 1 単現・完了形・否定(apercevoir+l'+plus)
 v.t もう彼は見えなくなった 「動詞句」

僕は視線を巡らせて彼を探した。すると、彼が道を離れて、野原に入っていくのが見えた。

Je l'ai cherché du regard et j'ai vu qu'il avait quitté la route et pris à travers champs.
 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 ai cherché エ・チェルシェ 1 単現・完了形(chercher)v.t 探した 「動詞句」
 du regard ジュ・ルギヤール adv. 視線で 「副詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai vu エ・ウ ヌ 1 単現・完了形(voir)v.t ~が見えた 「動詞句」
 qu' ク conj. ~ということが 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait quitté アヴィエ・キテ 3 単半・完了形(quitter)v.t を離れていた 「動詞句」
 la route ラ・ルト n.f 道を 「目的語」
 et エ conj. そして
 pris プリ 3 単半・完了形(prendre)v.t 入って行った 「動詞句」
 à travers champs. ア・トラヴァール・ション adv. 野原を通して 「副詞句」

僕はまた、すぐ先で道路が曲がっていることに気がついた。

J'ai constaté aussi que devant moi la route tournait.
 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai constaté エ・コンステ 1 単現・完了形(constater)v.t 確認した 「動詞句」
 aussi オッシ adv. ~も 「副詞」
 que ク conj. ~ということを 「目的語」
 devant moi トゥヴァン・ムワ adv. 目の前で、すぐ先で 「副詞句」
 la route ラ・ルト n.f 道路が 「主語」
 tournait. トゥルネ 3 単半(tourner)v.i 曲がっていた 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、この村をよく知っているペレーズが、僕たちに追いつくために最短距離を横切っていることが分かった。

J'ai compris que Pérez qui connaissait le pays coupait au plus court pour nous rattraper.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した、納得した

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

Pérez ペレ n. ペレーズは

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

connaissait コサ 3 単半(connaître)v.t 知っている

「動詞」

le pays ル・ペイ n.m この村を

「目的語」

coupait クア 3 単半(couper)v.t (道を) 横切っている

「動詞」

au plus court オ・プ・リュ・クール adv. 最短距離を

「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

nous ヌ pron 僕たちに

「目的語」

rattraper. ラトラヘ 不定詞 v.t 追いつく

「動詞」

曲がり角のところで、彼は僕たちに合流した。それからまた彼は見えなくなった。

Au tournant il nous avait rejoints. Puis nous l'avons perdu.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」 | 「副詞」「主語」「目的語」「動詞句」

Au tournant オ・トゥルナン adv. 曲がり角のところで

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

nous ヌ pron 僕たちに

「目的語」

avait rejoints. アヴァ・エ・ルジョワ 3 単半・完了形.pl(rejoindre)v.t 合流した

「動詞句」

rejoindre の過去分詞は rejoint だが、「直接目的語」 nous が複数なので s が付く

Puis ビュイ adv. それから

「副詞」

nous ヌ pron 僕らは

「主語」

l' ル pron 彼を

「目的語」

avons perdu. アヴァ・オン・ペルデュ 1 単現・完了形(perdre)v.t 失った

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼はまた野原を通して近道をして、その後も何度かこのように繰り返した。

Il a repris encore à travers champs et comme cela plusieurs fois.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

a repris ア・ルプ リ 3 単現・完了形(reprendre)v.t 繰り返した

「動詞句」

encore オンコール adv. また

「副詞」

à travers champs ア・トラヴ ェール・シヨン adv. 野原を通して

「副詞句」

et エ conj. そして

comme cela plusieurs fois. コム・スラ・プ リュシ ェール・フワ adv. 何度かこのように

「副詞句」

僕はこめかみ辺りに血が脈打つのが感じた。

Moi, je sentais le sang qui me battait aux tempes.

「主語」「動詞」「目的語」

Moi, je ムア・ジュ 僕は

「主語」

sentais ソンテ 1 単半(sentir)v.t 感じた

「動詞」

le sang ル・ソン n. 血を

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me ム pron 僕を

「目的語」

battait バテ 3 単半(battre)v.t 打った

「動詞」

aux tempes. オ・トン プ adv. こめかみ辺りを

「副詞句」

それから全がとても慌ただしく、確実にそして自然に行われていったので、僕はもう何も覚えていない。

Tout s'est passé ensuite avec tant de précipitation, de certitude et de naturel, que je ne me souviens plus de rien.

Tout トゥ pron すべてが

「主語」

s'est passé セ・パセ 3 単現・完了形(se passer)v.pr 行われていった

「動詞句」

ensuite オンシュイト adv. それから

「副詞」

avec tant de précipitation, アヴ ェッキ・トン・トゥ・プレシピ タシオン adv. とても慌ただしく

「副詞句」

de certitude トゥ・セルチュート adv. 確実に

「副詞句」

et エ conj. そして

de naturel, トゥ・ナチュレル adv. 自然に

「副詞句」

que ク conj.(tant ... que) それで～する

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne me souviens plus ヌ・ム・スヴィヤン・プ リュ 1 単現・否定(se souvenir)

v.pr (de を) もう覚えていない

「動詞句」

de rien. トゥ・リヤン pron 何も～ない

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

1 つだけ覚えているのは、村の入り口で派遣の看護婦が、僕に話しかけて来たことだ。

Une chose seulement : à l'entrée du village, l'infirmière déléguée m'a parlé.

「目的語」「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」

Une chose seulement : ユヌ・ショーズ・スルモン n.f ただひとつだけ (覚えている) 「目的語」

à l'entrée du village, ア・ロントレ・ジュ・ヴィラージュ adv. 村の入り口で 「副詞句」

l'infirmière déléguée アンフィルミエール・デレグ n.f 派遣の看護婦が 「主語」

délégué デレグ 過去分詞(déléguer)adj. 送られた、派遣された

m' マ pron 僕に 「間接目的語」

a parlé. ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話しかけた 「動詞句」

彼女は、その顔つきに似合わない、歌うような震えるような独特な声をしていた。

Elle avait une voix singulière qui n'allait pas avec son visage, une voix mélodieuse et tremblante.

「主語」「動詞」「目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (身体的特徴) ~をしていた 「動詞」

une voix singulière ユヌ・ウ・ワ・サンギユリエール n.f 独特な声を 「目的語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

n'allait pas ナレ・パ 3 単半・否定(aller)v.i (avec に) 似合わない 「動詞句」

avec son visage, アヴェッキ・ソン・ウ・イザージュ adv. 彼女の顔つきに 「副詞句」

une voix ユヌ・ウ・ワ n.f 声を 「目的語」

mélodieuse et tremblante. メロディユーズ・エ・トロンプロン

adj. 歌うような震えるような

「形容詞句」

彼女は僕に言った：「もしゆっくり歩けば、日射病の危険があります」

Elle m'a dit: «Si on va doucement, on risque une insolation.

「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」》

Elle エル pron 彼女は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit: « ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

Si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

on オン pron 人が 「主語」

va ヴァ 3 単現(aller)v.i 歩いて行く 「動詞」

doucement, ドゥーサモン adv. ゆっくり 「副詞」

on オン pron 人は 「主語」

risque リスク 3 単現(risquer)v.t (〜の) 危険がある 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

une insolation. エヌ・アンソラシオン n.f 日射病

「目的語」

「でも、速く歩きすぎると汗だくになって、教会に入ってから悪寒に襲われてしまいます」

Mais si on va trop vite, on est en transpiration et dans l'église on attrape un chaud et froid.》 《Mais 「副詞節」「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》

Mais メ conj. でも

si シ conj. もし～ならば

「副詞節」

on オン pron 人が

「主語」

va ヴァ 3 単現(aller)v.i 歩いて行く

「動詞」

trop vite, トロ・ヴィット adv. あまりにも速く

「副詞句」

on オン pron 人は

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～になる

「動詞」

en transpiration オン・トランスピラシオン adv. 汗だくに

「補語」

et エ conj. そして

dans l'église トン・レグリーズ adv. 教会の中で

「副詞句」

on オン pron 人は

「主語」

attrape アトラプ 3 単現(attraper)v.t (病気に) かかる、こうむる

「動詞」

un chaud et froid.》 アン・ショ・エ・フルワ n.m 悪寒

「目的語」

彼女の言う通り、解決策はなかった。

Elle avait raison. Il n'y avait pas d'issue. 「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

avait アヴィエ 3 単半(avoir)v.t ～があった

「動詞」

raison. レゾン n.f 道理、理屈

「目的語」

Il n'y avait pas イル・ニ・アヴィエ・パ 3 単半・否定(y avoir)v.t ～がなかった

「動詞」

d'issue. ティシュー n.f 出口、解決策

「目的語」

この日の情景がいくつか記憶に残っている：例えば、村の近くで、ペレーズが最後に僕たちに追いついた時の顔だ。

J'ai encore gardé quelques images de cette journée : par exemple, le visage de Pérez quand, pour la dernière fois, il nous a rejoints près du village.

「主語」「動詞句」「目的語」：「副詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai encore gardé エ・オンコール・ギヤルテ 1 単現・完了形(garder+encore)

v.t さらに残しておいた

「動詞句」

quelques images de cette journée : ケルク・イマージ ユ・トロ・セット・ジュールネ

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|------------------------|---------------------------------|--------|
| pl.n.f | この日の情景をいくつか | 「目的語」 |
| par exemple, | パー・レグザンプル adv. 例えば | 「副詞句」 |
| le visage de Pérez | ル・ヴィザージュ・トウ・ペレ n.m ペレーズの顔 | 「目的語」 |
| quand, | コン adj. ～する時の | 「形容詞節」 |
| pour la dernière fois, | プール・ラ・テルニエル・フワ adv. 最後に | 「副詞句」 |
| il | イル pron 彼が | 「主語」 |
| nous | ヌ pron 僕たちに | 「目的語」 |
| a rejoints | ア・ルージュワソ 3 単現・完了形.pl(rejoindre) | |
| v.t | 追いついた | 「動詞句」 |
| près du village. | プレ・ジュ・ヴィラージュ adv. 村の近くで | 「副詞句」 |

苛立ちと苦悶の大粒の涙が、彼の頬をとめどなく流れていた。

De grosses larmes d'énervement et de peine ruisselaient sur ses joues.

「主語」「動詞」「副詞句」

De grosses larmes トウ・グロス・ラルム pl.n.f 大粒の涙が 「主語」

Des larmes に形容詞が挿入されて De...になった

d'énervement et de peine デネルヴモン・エ・トウ・ペーヌ adj. 苛立ちと苦悶の 「形容詞句」

ruisselaient リュイスレ 3 複半(ruisseler)v.i (とめどなく) 流れていた 「動詞」

sur ses joues. シュール・セ・ジュ adv. 彼の頬を 「副詞句」

だが、頬のしわのせいで流れ落ちなかった。

Mais à cause des rides, elles ne s'écoulaient pas.

Mais 「主語」「動詞句」

Mais メ conj. だが

à cause des rides, ア・コース・デ・リット adv. 頬のしわのせいで 「副詞句」

elles エル pron.f.pl (De grosses larmes の代用) それが 「主語」

ne s'écoulaient pas. ヌ・セクレ・パ 3 複半・否定(s'écouler)

v.pr 流れ落ちなかった 「動詞句」

大粒の涙は、皺だらけの顔の上で広がり、互いにつながって1枚の水の膜になった。

Elles s'étaient, se rejoignaient et formaient un vernis d'eau sur ce visage détruit.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」

Elles エル pron.f.pl 大粒の涙は 「主語」

s'étaient, セタレ 3 複半(s'étaler)v.pr 広がった 「動詞句」

se rejoignaient スルージュワニエ 3 複半(se rejoindre)v.pr 互いにつながった 「動詞句」

et エ conj. そして

formaient フォルメ 3 複半(former)v.t 作った 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

un vernis d'eau アン・ヴェルニ・ドゥ・オ n.m 水の膜 「目的語」

verniss ヴェルニ n.m ニス、釉薬（表面を保護する透明の膜になる）

sur ce visage détruit. シュール・ス・ヴィザージュ・デ・トリュイ adv. 壊れた顔の上に 「副詞句」

さらに記憶に残っていることがある。教会と歩道の村人たち、墓地の墓石にそなえられた赤いゼラニウム、ペレーズの失神（まるで糸の切れた操り人形のようなだった）、母さんの柩の上に落下する血の色をした土、土に混ざっている木の根の白い表皮、さらに、人々、人の声、村、カフェの前での待ち時間、絶え間のないエンジンの轟音、そしてバスがアルジェの光の巣の中に入ってきて、もうすぐ僕は横になって12時間眠れると考えた時の喜び。

Il y a eu encore l'église et les villageois sur les trottoirs, les géraniums rouges sur les tombes du cimetière, l'évanouissement de Pérez (on eût dit un pantin disloqué), la terre couleur de sang qui roulait sur la bière de maman, la chair blanche des racines qui s'y mêlaient, encore du monde, des voix, le village, l'attente devant un café, l'incessant ronflement du moteur, et ma joie quand l'autobus est entré dans le nid de lumières d'Alger et que j'ai pensé que j'allais me coucher et dormir pendant douze heures.

「動詞」「目的語」 encore 「目的語」

Il y a eu encore イ・リ・ア・イ・オンコール 3 単現・完了形(y avoir)v.t さらに～があった 「動詞句」

さらに～が記憶に残っている

l'église レグリーズ n.f 教会 「目的語」

et エ conj. そして

les villageois レ・ヴィラージュワ pl.n.m 村人たち 「目的語」

sur les trottoirs, シュール・レ・トロットワール adj. 歩道の 「形容詞句」

les géraniums rouges レ・ジェラニウム・ルージュ pl.n.m 赤いゼラニウム 「目的語」

sur les tombes du cimetière, シュール・レ・トンブ・ジュ・シムチェール

adj. 墓地の墓石にそなえられた 「形容詞句」

l'évanouissement de Pérez レヴァヌイスマン・ドゥ・ペレ n.m ペレーズの失神 「目的語」

(on オン pron 人は 「副詞節」

eût dit イ・ティ 接・3 単半・完了形（条件法過去第2形）(dire)

v.t まるで～のようだった 「動詞句」

on aurait dit ... 「まるで～のようだった」

un pantin disloqué), アン・ポンタン・ディスロク n.m 糸の切れた操り人形 「目的語」

la terre couleur de sang ラ・テル・クレール・トゥ・ソン n.f 血の色をした土 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

roulait ル 3 単半(rouler)v.i 落下する 「動詞」

sur la bière de maman, シュール・ラ・ビエール・ドゥ・ママン

adv. 母さんの柩の上に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|-----------------------------------|-------------------------------|---------------|--------|
| la chair blanche des racines | ラ・シェール・ブロンシュ・テ・ラシーヌ n.f | 根の白い表皮 | 「目的語」 |
| qui | キ pron | (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| s'y mêlaient, | シ・メル 3 複半(se mêler+y)v.pr | 土に混ざっている | 「動詞句」 |
| encore | オンコール adv. | さらに | 「副詞」 |
| du monde, | ジュ・モント n. | 人々 | 「目的語」 |
| des voix, | テ・ウゝわ pl.n.f | 人々の声 | 「目的語」 |
| le village, | ル・ウゝイラージュ n.m | 村 | 「目的語」 |
| l'attente devant un café, | ラトントウ・トウゝオン・タン・キャフェ n.f | カフェの前での待ち時間 | 「目的語」 |
| l'incessant ronflement du moteur, | ランセソン・ロンフルモン・ジュ・モテール n.m | 絶え間のないエンジンの轟音 | 「目的語」 |
| et | エ conj. | そして | |
| ma joie | マ・ジョイ n.f | 僕の喜び | 「目的語」 |
| quand | コン conj. | ～した時の | 「副詞節」 |
| l'autobus | ロトビュス n.m | バスが | 「主語」 |
| est entré | エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i | 入ってきた | 「動詞句」 |
| dans le nid de lumières d'Alger | ドン・ル・ニ・トウ・リュミエール・タルジエ adv. | アルジェの光の巣の中に | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| que | ク conj. | ～する | 「形容詞節」 |
| j' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai pensé | エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t | 考えた | 「動詞句」 |
| que | ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| j' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| allais +不定詞 | アル 1 単半(aller+不定詞) | | |
| v. | | ～するところだ | 「動詞句」 |
| me coucher | ム・クシェ 不定詞(se coucher)v.pr | 横になる | 「動詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| dormir | ドルミール 不定詞 v.i | 眠る | 「動詞」 |
| pendant douze heures. | ボン・トソン・トウ・カース・ウール adv. | 12 時間 | 「副詞句」 |

長い情景描写 1

PREMIÈRE PARTIE 第1部

II

目が覚める時、僕が社長に 2 日間の休暇を願い出た時に、どうして不満げな様子をしていたのかがやっと分かった：それは今日が土曜日だからなのだ。

En me réveillant, j'ai compris pourquoi mon patron avait l'air mécontent quand je lui ai demandé mes deux jours de congé : c'est aujourd'hui samedi.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 : 「主語」 「動詞」 「副詞」 「補語」
 En +現在分詞 オン adv. ～する時に 「副詞句」
 me réveillant, ム・レヴ`エイオン 現在分詞(se réveiller)v.pr 目覚める 「動詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった、理解した 「動詞句」
 pourquoi プル`わ pron どうして～したかということ 「目的語」
 mon patron モン・パトロン n.m 社長が 「主語」
 avait アヴ`エ 3 単半(avoir)v.t (特徴を) していた 「動詞」
 l'air mécontent レール・メcont`ン n.m 不満げな様子を 「目的語」
 quand コン conj. ～した時に 「副詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai demandé エ・ト`ウモンテ` 1 単現・完了形(demander)
 v.t 求めた、願い出た 「動詞句」
 mes deux jours de congé : メ・ト`ウ・ジュール・ト`ウ・コンジ`エ
 n.m 2 日間の休暇を 「直接目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 aujourd'hui オジ`ユルテ`ユイ adv. 今日は 「副詞」
 samedi. サムテ`イ n.m 土曜日 「補語」

僕はそのことを忘れていたのだが、起きようとした時にこの考えが頭に浮かんだのだ。

Je l'avais pour ainsi dire oublié, mais en me levant, cette idée m'est venue.

「主語」 「目的語」 「動詞句」 mais 「副詞句」 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron そのことを 「目的語」
 avais pour ainsi dire oublié, アヴ`エ・プール・オンシ・テ`イール・ウブ`リエ 1 単半・完了形(oublier)
 v.t ほとんど忘れていた 「動詞句」
 pour ainsi dire プール・オンシ・テ`イール adv. ほとんど、いわば
 mais メ conj. しかし

PREMIÈRE PARTIE 第1部

en me levant, オン・ム・ルヴァン adv. (en+現在分詞 se lever) 起きる時に 「副詞句」
 cette idée セット・イデー n.f この考えが 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 est venue. エ・ヴニユ 3 単現・完了形(venir)v.i やってきた 「動詞句」

当然ながら社長は、僕が日曜を含めて 4 連休を取ることに become と思ったはずだ。それでは彼も嬉しいはずがないだろう。

Mon patron, tout naturellement, a pensé que j'aurais ainsi quatre jours de vacances avec mon dimanche et cela ne pouvait pas lui faire plaisir.

「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Mon patron, モン・パトロン n.m 社長は 「主語」
 tout naturellement, トゥ・チュレルモン adv. ごく自然に、当然ながら 「副詞句」
 a pensé ア・ポンセ 3 単現・完了形(penser)v.t (que) ～と思った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 aurais オ 条・1 単現(avoir)v.t ～をするだろう 「動詞」
 ainsi オンシ adv. それでは 「副詞」
 quatre jours de vacances クワトル・ジュール・トゥ・ウァコンス n.f 4 連休を 「目的語」
 avec mon dimanche アヴ・エッキ・モン・デーモンジュ adv. 日曜日も含めて 「副詞句」
 et エ conj. そして
 cela スラ pron これは 「主語」
 ne pouvait pas ...faire plaisir. ノ・プヴァー・エ・パ ...フェール・プレジール 3 単半・可能性・否定・使役
 v.t ～を喜ばせなかったに違いない 「動詞句」
 lui リュイ pron 彼を 「目的語」
 「彼」を主語にして翻訳する

しかし（一方では）、母さんの葬儀が今日ではなく昨日だったのは僕が悪い訳ではないし、（他方では、）いずれにしても僕は土曜と日曜は休んでいたはずなのだ。

Mais d'une part, ce n'est pas de ma faute si on a enterré maman hier au lieu d'aujourd'hui et d'autre part, j'aurais eu mon samedi et mon dimanche de toute façon.

Mais 「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Mais メ conj. しかし
 d'une part, デュンヌ・パール adv. 一方では 「副詞句」
 ce ス pron 仮の主語(真の主語は si 以降)
 n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない 「動詞」
 de ma faute ド・ウ・マ・フォート adj. 僕の間違い 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| si シ conj. (事実の提示) ～ということは | 「主語」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| a enterré ア・オンテレ 3 単現・完了形(enterre)v.t の葬儀を行った | 「動詞句」 |
| maman マモン n.f 母さんを | 「目的語」 |
| hier イェール adv. 昨日 | 「副詞」 |
| au lieu d' オ・リュ・ドゥ adv. ～の代わりに、～ではなく | 「副詞句」 |
| aujourd'hui オン・ユル・デュイ n.m 今日 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| d'autre part, ド・オートル・パール adv. 他方では | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| aurais eu オー・レイ 条・1 単現・完了形(avoir)v.t 取っていただろう | 「動詞句」 |
| mon samedi et mon dimanche モン・サム・ディ・エ・モン・ディ・モン・ジュ | |
| pl.n.m 土曜と日曜の休みを | 「目的語」 |
| de toute façon. ドゥ・トゥット・ファソン adv. いずれにしても | 「副詞句」 |

もちろん、だからといって社長の気持ちが分からない訳ではない。

Bien entendu, cela ne m'empêche pas de comprendre tout de même mon patron.

| | |
|--|------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 |
| Bien entendu, ビ・ヤン・ナント・ジュ adv. もちろん、当然 | 「副詞句」 |
| cela スラ pron このことは | 「主語」 |
| ne m'empêche pas ヌ・モン・ペ・シュ・パ° 3 単現・否定(empêcher+me) | |
| v.t 僕の邪魔をしない | 「動詞句」 |
| de comprendre ドゥ・コンプ・ロントル 不定詞 v.t ～を理解する | 「補語」 |
| tout de même トゥ・ドゥ・メーム adv. それでも、にもかかわらず | 「副詞句」 |
| mon patron. モン・パ・トロン n.m 社長を | 「目的語」 |

僕はきのう1日のために疲れていたの、起きるのが辛かった。

J'ai eu de la peine à me lever parce que j'étais fatigué de ma journée d'hier.

| | |
|---|------------------------------|
| | 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」 「副詞節」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t ～があった | 「動詞句」 |
| de la peine テ・ラ・ペーヌ n.f 困難 | 「目的語」 |
| avoir de la peine à+不定詞 「～するのが困難だ」 | |
| à me lever ア・ム・ルヴ・エ adv.(se lever) (目的) 起きるのが | 「副詞句」 |
| parce que パルス・ク conj. ～なので | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

étais エ 1 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 fatigué ファチガ adj. 疲れた 「補語」
 de ma journée d'hier. トゥ・マ・ジュルネ・ディエール adv. きのう1日のために 「副詞句」

僕はひげを剃っている間に、何をしようかと自問して、海水浴をしに行く事に決めた。

Pendant que je me rasais, je me suis demandé ce que j'allais faire et j'ai décidé d'aller me baigner. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」
 Pendant que ポントソク conj. ~する間に 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me rasais, ムラセ 1 単半(se raser)v.pr ひげを剃っている 「動詞句」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis demandé ム・シュイ・ドゥモンテ 1 単現・完了形(se demander)v.pr 自問した 「動詞句」
 ce que スク pron (目的語) ~ということを 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 allais faire アレ・フェール 3 単半・近接未来(aller+不定詞)
 v.t これからする 「動詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai décidé d'aller エ・デシテ・ダレ 1 単現・完了形・決断(decider de+不定詞)
 v.i 行く事に決めた 「動詞句」
 me baigner. ム・ベニエ 不定詞(aller+不定詞)v.pr 海水浴をしに 「動詞句」

僕は電車に乗って、港にある海水浴場へ行った。

J'ai pris le tram pour aller à l'établissement de bains du port. 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t (乗物に) 乗った 「動詞句」
 le tram ル・トラム n.m 電車に 「目的語」
 pour +不定詞 プール adv. (継続) そして~する、(目的) ~するために 「副詞句」
 aller アレ 不定詞 v.i 行く 「動詞」
 à l'établissement ア・レタブリスモン adv. 施設に 「副詞節」
 de bains トゥ・バン adj. 海水浴の 「形容詞句」
 du port. ジュ・ポール adv. 港にある 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それで僕は水路の中に飛び込んだ。大勢の若者たちがいた。

Là, j'ai plongé dans la passe. Il y avait beaucoup de jeunes gens.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「動詞句」「目的語」

Là, ラ adv. その時、そこで 「副詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai plongé エ・プ ロンジエ 1 単現・完了形(plonger)v.i (水に) 飛び込んだ 「動詞句」

dans la passe. トン・ラ・パス adv. 水路の中へ 「副詞句」

Il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t がいた、あった 「動詞句」

beaucoup de jeunes gens. ボク・トゥ・ジュヌ・ジヨン pl.n.m 若者たちが沢山 「目的語」

海の中で僕はマリー・カルドナに再会した。彼女は僕の会社の元タイピストだったが、当時、僕は彼女をものにしようと思っていた。

J'ai retrouvé dans l'eau Marie Gardona, une ancienne dactylo de mon bureau dont j'avais eu envie à l'époque.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」,

「間接目的語」「主語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai retrouvé エ・ルトクルヴェ 1 単現・完了形(retrouver)v.t 再会した 「動詞句」

dans l'eau トン・ロ adv. 海の中で 「副詞句」

Marie Gardona, マリー・カルトナ n. マリー・カルドナに 「目的語」

une ancienne dactylo エヌ・アンシエンヌ・ダクティロ n.f (同格) 元タイピストの「形容詞句」

de mon bureau トゥ・モン・ビュロー adj. 僕の会社の 「形容詞句」

dont トン pron 彼女に 「間接目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais eu アヴェ・シ 1 単半・完了形(avoir)v.t 持っていた 「動詞句」

envie オンヴェイ n.f 欲望を 「直接目的語」

à l'époque. ア・レボキ adv. 当時 「副詞句」

彼女もその気だった、と僕は思っている。だけど彼女はまもなく会社を辞めてしまったので、僕たちには会ったりする時間は無かった。

Elle aussi, je crois. Mais elle est partie peu après et nous n'avons pas eu le temps.

「目的語」「主語」「動詞」

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Elle aussi, エル・オシ n. 彼女もその気だった 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

crois. クロワ 1 単現(croire)v.t と思っている 「動詞」

Mais メ conj. しかし

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| est partie エ・パ ルティ 3 単現・完了形.f(partir)v.i 立ち去った、会社を辞めた | 「動詞句」 |
| peu après プ・アプレ adv. まもなく | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| n'avons pas eu ナヴン・パ・シ 1 複現・完了形(avoir)v.t なかった | 「動詞句」 |
| le temps. ル・トン n.m 時間が | 「目的語」 |

僕は彼女がブイにあがるのを手伝ってやり、その時に彼女の胸に軽く触れた。

| | |
|--|-------|
| <u>Je l'ai aidée à monter sur une bouée</u> et, <u>dans ce mouvement, j'ai effleuré ses seins.</u> | |
| 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| ai aidée エ・エテ 1 単現・完了形.f(aider)v.t 手助けした、手を貸した | 「動詞句」 |
| aider qn à+不定詞 「人が～するのを手伝う」 | |
| à monter ア・モンテ 不定詞 v.i 上がる | 「補語」 |
| sur une bouée シュール・ユンヌ・ブエ adv. ブイの上に | 「副詞句」 |
| et, エ conj. そして | |
| dans ce mouvement, トン・ス・ムゲモン adv. この動作の間に | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai effleuré エ・エフルーレ 1 単現・完了形(effleurer)v.t 軽く触れた | 「動詞句」 |
| ses seins. セ・サン pl.n.m 彼女の胸に | 「目的語」 |

僕がまだ海の中にいる間に、彼女はもうブイの上で腹ばいになっていた。

| | |
|--|-------|
| <u>J'étais encore dans l'eau quand elle était déjà à plat ventre sur la bouée.</u> | |
| 「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」 | |
| J' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| étais エテ 1 単半(être)v.i ～にいた | 「動詞」 |
| encore dans l'eau オンコール・トン・ロ adv. mada まだ水の中に | 「副詞句」 |
| quand コン conj. その時～する | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| déjà デジャ adv. もう、とつくに | 「副詞」 |
| à plat ventre ア・プラ・ヴァントル adv. 腹ばいに | 「補語」 |
| sur la bouée. シュール・ラ・ブエ adv. ブイの上で | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼女は僕のほうに振り返った。髪は目元にかかっていたが、笑っているのが分かった。

Elle s'est retournée vers moi. Elle avait les cheveux dans les yeux et elle riait.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 s'est retournée セ・ルトゥルネ 3 単現・完了形(f(retourner)v.pr 振り返った 「動詞句」
 vers moi. ヴァ・ェール・ムワ adv. 僕の方を 「副詞句」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait アヴァ 3 単半(avoir)v.t あった 「動詞」
 les cheveux レ・シュヴ pl.n.m 髪の毛 「目的語」
 dans les yeux トン・レ・ジウ adv. 目のあたりに 「副詞句」
 et エ conj. そして
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 riait. リエ 3 単半(rire)v.i 笑った 「動詞」

僕はブイの上の彼女の脇に這い上がった。

Je me suis hissé à côté d'elle sur la bouée. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis hissé ム・シュイ・イセ 1 単現・完了形(se hisser)v.pr 這い上がった 「動詞句」
 à côté d'elle ア・コテ・デル adv. 彼女の脇に 「副詞句」
 sur la bouée. シュール・ラ・ブエ adv. ブイの上の 「副詞句」

気持ちがよかった。僕はふざけたふりをして、頭を後ろにのけ反らせて、彼女の腹の上に頭を乗せた。

Il faisait bon et, comme en plaisantant, j'ai laissé aller ma tête en arrière et je l'ai posée sur son ventre. 「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」
 Il faisait イル・フェ 3 単半・非人称(faire)v.h 〜だった 「動詞句」
 bon ボン adj. 気持ちが良い 「補語」
 et, エ conj. そして
 comme en plaisantant, コム・オン・プレザンタン adv. (comme+en+現在分詞 plaisanter)
 adv. ふざけているように、ふりをして 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai laissé aller エ・レッセ・アレ 1 単現・完了形・使役(laisser+不定詞)v.t 行かせた 「動詞句」
 ma tête マ・テット n.f 自分の頭を 「目的語」
 en arrière オン・リエール adv. 後ろの方へ 「副詞句」
 et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ラ pron 頭を 「目的語」
 ai posée エ・ポゼ 1 単現・完了形.f(poser)v.t 置いた、のせた 「動詞句」
 sur son ventre. シュール・ソンのヴントル adv. 彼女の腹の上に 「副詞句」

彼女が何も言わなかったので、僕はそのままでいた。

Elle n'a rien dit et je suis resté ainsi. 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 n'a rien dit ナ・リヤン・ディ 3 単現・完了形・否定(dire+rien)v.t 何も言わなかった 「動詞句」
 et エ conj. それで
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 suis resté シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i ~のままでいた 「動詞句」
 ainsi. adv. そのような 「副詞」

僕の目には、空が一面に広がっており、青くて金色に輝いて見えた。

J'avais tout le ciel dans les yeux et il était bleu et doré.
 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「補語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais アヴァエ 1 単半(avoir)v.t あった 「動詞」
 tout le ciel トゥール・シエル n.m 空一面が 「目的語」
 dans les yeux ドン・レ・ジユ adv. 目の中に 「副詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 空は 「主語」
 était エテ 3 単現(être)v.i ~だった 「動詞」
 bleu et doré. ブル・エ・ドレ adj. 青くて、金色 「補語」

僕の襟首の下あたりで、マリーの腹がゆるやかに動悸を打っているのを感じた。

Sous ma nuque, je sentais le ventre de Marie battre doucement.
 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」
 Sous ma nuque, ス・マ・ニュック adv. 僕の襟首の下あたりに 「副詞句」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 sentais シンテ 1 単半(sentire)v.t 感じた 「動詞」
 le ventre de Marie ル・ヴントル・トゥ・マリー n.m マリーの腹が 「目的語」
 battre バトル 不定詞 v.i 動悸を打つ 「補語」
 doucement. ドゥスモン adv. ゆるやかに 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕らは、しばらくの間、うとうとしながらブイの上に留まっていた。

Nous sommes restés longtemps sur la bouée, à moitié endormis.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron 僕らは

「主語」

sommes restés ヲム・レステ 1 複現・完了形(rester)v.i 留まっていた

「動詞句」

longtemps ロントソ adv. 長い時間

「副詞」

sur la bouée, シュール・ラ・ブエ adv. ブイの上で

「副詞句」

à moitié ア・ムワチエ adv. 半分〜で

「副詞句」

endormis. オントルミ 過去分詞(endormir)adj.pl 眠った

「形容詞」

→ うとうとしながら

日差しが厳しくなると、彼女は水に飛び込み、僕もそれに続いた。

Quand le soleil est devenu trop fort, elle a plongé et je l'ai suivie.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞句」

Quand コソ conj. 〜すると、〜する時

「副詞節」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が

「主語」

est devenu エ・ト・ウヴェニユ サタン・完了形(devenir)v.i (+C) 〜になった

「動詞句」

trop fort, トロ・フォル adj.m 強すぎる

「補語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a plongé ア・プ ロンジエ 3 単現・完了形(plonger)v.i (水に) 飛び込んだ

「動詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron 彼女に

「目的語」

ai suivie. エ・シュイヴィ 1 単現・完了形(fsuivre)v.t 後に続いた

「動詞句」

僕は彼女に追いつき、彼女の腰のあたりに手をまわした。それから僕らは一緒に泳いだ。

Je l'ai rattrapée, j'ai passé ma main autour de sa taille et nous avons nagé ensemble.

「主語」「目的語」「動詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

et 「主語」「動詞句」「副詞」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron 彼女に

「目的語」

ai rattrapée, エ・ラトラペ 1 単現・完了形(rattraper)v.t 追いついた

「動詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai passé エ・パセ 1 単現・完了形(passer)v.t 動かした

「動詞句」

ma main マ・マン n.f 自分の手を

「目的語」

autour de sa taille オウール・トゥ・サ・タイユ adv. 彼女の腰のあたりに

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕らは

「主語」

avons nagé アヴ・オン・ナジェ 1 複現・完了形(nager)vi 泳いだ

「動詞句」

ensemble. オンソンプル adv. 一緒に

「副詞」

彼女は、ずっと笑っていた。海から波止場に上がって、僕らが体を乾かしている間、彼女は僕に言った。「私の方が焼けているわ」

Elle riait toujours. Sur le quai, pendant que nous nous séchions, elle m'a dit: «Je suis plus brune que vous.»

「主語」「動詞」「副詞」 | 「副詞句」「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」
 《「主語」「動詞」「補語」》

Elle エル pron 彼女は

「主語」

riait リえ 3 単半(rire)v.i 笑っていた

「動詞」

toujours. トゥジュール adv. ずっと、いつも

「副詞」

Sur le quai, シュール・ルクワ adv. 波止場に上がって

「副詞句」

pendant que ポントソク conj. ～している間

「副詞節」

nous ヌ pron 僕らが

「主語」

nous séchions, ヌ・セション 1 単半(se sécher)

v.pr (自分の体を) 乾かしていた

「動詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«Je ジュ pron 私は

「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ～である

「動詞」

plus brune プリュ・ブリュヌ adj.f もっと褐色の

「補語」

que vous.» ク・ヴ adv. あなたより

「副詞句」

僕は彼女に、今夜、映画に行かないかと尋ねてみた。

Je lui ai demandé si elle voulait venir au cinéma, le soir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai demandé エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

voulait venir ヴレ・ヴィニール 3 単半・希望(vouloir+不定詞)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

v.i 行きたいと思う 「動詞句」
 au cinéma, オ・シネマ adv. 映画に 「間接目的語」
 le soir. ル・スワ・ル n.m その晩（今夜） 「副詞句」

彼女はまた笑って、僕に、フェルナンデルが出ている映画を観たいと言った。

Elle a encore ri et m'a dit qu'elle avait envie de voir un film avec Fernandel.

「主語」「動詞句」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 a encore ri ア・オンコール・リ 3 単現・完了形(rire+encore)v.i また笑った 「動詞句」
 et エ conj. そして
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ということを 「直接目的語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait envie de +不定詞 アヴ・ェ・オヴ・ィー・トゥ 3 単半・時制の一致
 v.t ～したい 「動詞句」
 voir ヴ・ワ・ル 不定詞 v.t 見る 「動詞」
 un film アン・フィルム n.m 映画を 「目的語」
 avec Fernandel. アヴ・ェッキ・フェルナンデル
 adj. フェルナンデルが出ている 「形容詞句」

フェルナンデル：

(Fernand Joseph Désiré Contandin, 1903 年 5 月 8 日 - 1971 年 2 月 26 日) はフランスの喜劇俳優、シャンソン歌手。ひょうきんな馬面が特徴で、フランスが生んだ最大のコメディアンであった。

僕らの着替えが終わると、僕が黒のネクタイをしているのを見て、彼女はとても驚いた顔をした。そして不幸があったのかと僕に尋ねた。

Quand nous nous sommes rhabillés, elle a eu l'air très surprise de me voir avec une cravate noire et elle m'a demandé si j'étais en deuil.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

et 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

Quand コン conj. ～すると、～した時 「副詞節」
 nous ヌ pron 僕らが 「主語」
 nous sommes rhabillés, ヌ・ソム・ラビ・ェ 1 複現・完了形(se rhabiller)
 v.pr 着替えした 「動詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (特徴) ～だった | 「動詞句」 |
| l'air レール n.m 様子 | 「目的語」 |
| très surprise ロテ・シュルプ・リス adj.f とても驚いた | 「形容詞句」 |
| de +不定詞 トゥ adv. (原因) ～して | 「副詞句」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| voir ウ・わ・ル 不定詞 v.t 見る | 「動詞」 |
| avec une cravate noire アウ・ェッキ・コンヌ・クラヴァット・ヌワ・ル adj. 黒のネクタイをした | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i (存在) ～にいる | 「動詞」 |
| en deuil. オン・ドゥエイユ adv. 喪に服して、近親の死に、喪服の中に | 「副詞句」 |

僕は、母さんが死んだと彼女に言った。

| | |
|---|-------------------------|
| <u>Je lui ai dit que maman était morte.</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| maman マモン n. 母さんが | 「主語」 |
| était morte. エテ・モルト 3 単半・完了形.f(mourir)v.i 死んだ | 「動詞句」 |

彼女がいつの事かと聞いたので、僕は、「きのう」と答えた。彼女は少し考え込む様子を見せたが、とくに何も言わなかった。

Comme elle voulait savoir depuis quand, j'ai répondu: «Depuis hier.» Elle a eu un petit recul, mais n'a fait aucune remarque.

| | |
|--|--------------------------------|
| | 「副詞節」, 「主語」「動詞句」《「副詞句」》 |
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「動詞句」「目的語」 |
| Comme コム conj. ～なので | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女が | 「主語」 |
| voulait savoir ウ・レ・サウ・わ・ル 3 単半・願望(vouloir+不定詞) v.t 知りたがった | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| depuis quand, トゥ・カピ・ユイ・コン adv. いつから | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu: エ・レポ・ンデュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| «Depuis hier.» トゥ・カピ・ユイ・イエール adv. 昨日から | 「副詞句」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t ~をした | 「動詞句」 |
| un petit recul, ウン・プティ・ルキュル n.m 距離を置く様子 少し離れて冷静に様子を見る動作 | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| n'a fait ナ・フェ 3 単現・完了形・否定(faire)v.t しなかった | 「動詞句」 |
| aucune remarque. オキュヌ・マルケ n.f どんなコメントも~ない | 「目的語」 |

それは僕のせいじゃない、と彼女に言いたかったが、同じことをすでに社長に言ったのを思
い出して言うのを止めた。言っても、何の意味も無かった。

J'ai eu envie de lui dire que ce n'était pas de ma faute, mais je me suis arrêté parce que
j'ai pensé que je l'avais déjà dit à mon patron. Cela ne signifiait rien.

| | |
|--|---------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| mais | 「主語」「動詞句」「副詞節」 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai eu envie de +不定詞 エ・イ・オヴ・ヴィ・トゥ 1 単現・完了形・願望(avoir envie de+不定詞) | |
| v. ~したかった | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| dire ティール 不定詞 v.t 言う | 「動詞句」 |
| que ク conj. ということを | 「直接目的語」 |
| ce ス pron それは | 「主語」 |
| n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ~でない | 「動詞」 |
| de ma faute, トゥ・マ・フォート n.f 僕の過ち | 「補語」 |
| de は否定の冠詞 | |
| mais メ conj. しかし | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis arrêté ム・シュイ・アレテ 1 単現・完了形(s'arrêter)v.pr とどまった | 「動詞句」 |
| parce que パルス・ク conj. ~なので | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que ~と) 考えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ~ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| l'ル pron それを | 「目的語」 |
| avais déjà dit アヴ・ェ・デジヤ・ティ 1 単半・完了形(dire) | |
| v.t 既に言った事があった | 「動詞句」 |
| à mon patron. ア・モン・パトロン adv. 社長に | 「間接目的語」 |
| Cela スラ pron それは | 「主語」 |
| ne signifiait ヌ・シフィエ 3 単半・否定(signifier)v.t 意味しなかった | 「動詞句」 |
| rien. リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |

ともかく、いつだって自分にも少しは責任があるんだ。

| | |
|--|-----------------------|
| <u>De toute façon on est toujours un peu fautif.</u> | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞」「補語」 |
| De toute façon トゥ・トゥット・ファソン adv. ともかく、いずれにせよ | 「副詞句」 |
| on オン pron (話し言葉) 私は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| toujours トゥジュール adv. いつでも | 「副詞」 |
| un peu fautif. アン・プ・フォティフ adj. 少し責任のある | 「補語」 |

その夜、マリーはすべてを忘れていた。

| | |
|---|--------------------------|
| <u>Le soir, Marie avait tout oublié.</u> | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 |
| Le soir, ル・スワール adv. その夜 | 「副詞句」 |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| avait ...oublié. アヴ・ェ...ウブリエ 3 単半・完了形(oublier)v.t 忘れていた | 「動詞句」 |
| tout トゥ pron すべてを | 「目的語」 |

映画はところどころ滑稽なところがあったが、他は本当に下らなかった。

| | |
|--|----------------------|
| <u>Le film était drôle par moments et puis vraiment trop bête.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 et 「補語」 |
| Le film ル・フィルム n.m 映画は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| drôle トゥロール adj. こっけいな、おどけた | 「補語」 |
| par moments パール・モモン adv. 時々、ところどころ | 「副詞句」 |
| et puis エ・ピュイ conj. それから、そのほかは | |
| vraiment trop bête. ヴレモン・トロ・ベット adj. 本当にくだらない | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼女が脚を僕の足にぴったり寄せてきた。僕は彼女の乳房を愛撫した。

Elle avait sa jambe contre la mienne. Je lui caressais les seins.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t ～した 「動詞」
 sa jambe サ・ジョンプ n.f 脚を 「目的語」
 contre la mienne. コントル・ラ・ミエンヌ adv. 僕の足にぴったり寄せて 「副詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼女の 「間接目的語」
 caressais カレッセ 1 単半(caresser)v.t 愛撫した 「動詞」
 les seins. レ・サン pl.n.m 乳房を 「直接目的語」

映画が終わるころ、僕は彼女にキスしたが、ぎくしゃくした感じだった。映画館を出ると、
 彼女は僕の部屋にきた。

Vers la fin de la séance, je l'ai embrassée, mais mal. En sortant, elle est venue chez moi.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」 mais 「副詞」
 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Vers ヴェール prep ～頃に 「副詞句」
 la fin de la séance, ラ・ファン・ドゥ・ラ・セオンス n.f 映画の終わり 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ラ pron 彼女に 「目的語」
 ai embrassée, エ・オンブラッセ 1 単現・完了形.f(embrasser)v.t キスした 「動詞句」
 mais メ conj. しかし
 mal. マル adj. 悪い、ぎくしゃくした 「副詞」
 En sortant, オン・ソルトン adv.(en+現在分詞) 出る時に 「副詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 est venue エ・ヴァニユ 3 単現・完了形(venir)v.i 来た 「動詞句」
 chez moi. シェ・ムわ adv. 僕の家、僕の所に 「副詞句」

僕が目覚めると、マリーはもう帰った後だった。

Quand je me suis réveillé, Marie était partie.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」
 Quand コン conj. ～する時 「副詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 me suis réveillé, ム・シュイ・レヴァイエ 1 単現・完了形(se réveiller)
 v.pr 目を覚ました 「動詞句」
 Marie マリー n.f マリーは 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

était partie. エテ・パ ルティ 3 単半・完了形.f(partir)v.i 帰ってしまっていた 「動詞句」

彼女は、叔母さんの家に行かなければならない、と言っていたのだった。

Elle m'avait expliqué qu'elle devait aller chez sa tante.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

avait expliqué アヴァ・エ・エクス プリケ 3 単半・完了形(expliquer)v.t 説明していた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

devait aller ドゥヴァ・エ・アレ 3 単半・義務(devoir+不定詞)

v.i 行かなければならない 「動詞句」

chez sa tante. シェ・サ・タント adv. 叔母さんの家に 「副詞句」

今日は日曜日だと思ふと、うんざりした：僕は日曜日は嫌いだ。

J'ai pensé que c'était dimanche et cela m'a ennuyé: je n'aime pas le dimanche.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」: 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t (que ～だと) 思った 「動詞句」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

c' ス pron (日付) 今日は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

dimanche デイモンシュ n.m 日曜日 「補語」

et エ conj. そして

cela スラ pron (中性) 日曜日は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a ennuyé ア・オンニユエ 3 単現・完了形(ennuyer)v.t うんざりさせた 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'aime pas ネム・パ 1 単現・否定(aimer)v.t 嫌いだ 「動詞句」

le dimanche. ル・デイモンシュ n.m 日曜日が 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それで、僕はベッドの上で体の向きを変えて、枕の中にマリーの髪が残した潮の香りを探し、その後10時まで眠った。

Alors, je me suis retourné dans mon lit, j'ai cherché dans le traversin l'odeur de sel que les cheveux de Marie y avaient laissée et j'ai dormi jusqu'à dix heures.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Alors, アー adv. それで

「副詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis retourné ム・シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)

v.pr 向きを変えた、(元の場所へ) 戻った

「動詞句」

この場面では、ベッドから起き出していないので、ベッドの上で向きを変えた

dans mon lit, トン・モン・リ adv. ベッドの中に

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai cherché エ・シェルシェ 1 単現・完了形(chercher)v.t 探した

「動詞句」

dans le traversin トン・ル・トラヴェルサン adv. 枕の中に

「副詞句」

l'odeur de sel ロデル・トゥ・セル n.f 潮の香り

「目的語」

que ク pron (目的語) ~する

「形容詞節」

les cheveux de Marie レ・シュヴ・トゥ・マリー pl.n.m マリーの髪が

「主語」

y イ adv. そこに

「副詞」

avaient laissée アヴ・ェ・レッセ 3 複現・完了形(laisser)v.t 残した

「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った

「動詞句」

jusqu'à dix heures. ジュスカ・ティ・セール adv. 10時まで

「副詞句」

それから僕は、相変わらず横になったままで、正午までタバコを何本か吸った。

J'ai fumé ensuite des cigarettes, toujours couché, jusqu'à midi.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai fumé エ・フュメ 1 単現・完了形(fumer)v.t タバコを吸った

「動詞句」

ensuite オンシュイト adv. それから

「副詞」

des cigarettes, テ・シガレット pl.n.f タバコを何本か

「目的語」

toujours couché, トゥジュール・クシェ adv. 相変わらず横になったままで

「副詞句」

jusqu'à midi. ジュスカ・ミティ adv. 正午まで

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はいつものようにセレストの店で昼食をとる気にならなかった。店に行けば、きっと彼らは僕にあれこれと聞いてきただろうし、僕はそういう事が嫌いだから。

Je ne voulais pas déjeuner chez Céleste comme d'habitude parce que, certainement, ils m'auraient posé des questions et je n'aime pas cela.

「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne voulais pas déjeuner ヌ・ヴレ・パ・デジ ヌネ 1 単半・否定・願望(vouloir+不定詞)

v.i 昼食を取る気にならなかった

「動詞句」

chez Céleste シェ・セレスト adv. セレストの店で

「副詞句」

comme d'habitude コム・ダビチュート adv. いつものように

「副詞句」

parce que, パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

certainement, セルテーヌモン adv. 確実に、きっと

「副詞」

ils イル pl.pron 彼らは

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

auraient posé オレ・ポゼ 条・3 複現・完了形(poser)

v.t (質問を) しただろう

「動詞句」

いつものように店で食事をしていたら、あれこれ質問をしてきたに違いない

des questions デ・クシュオン pl.n.f あれこれと質問を

「直接目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'aime pas ネ・ム・パ 1 単現・否定(aimer)v.t 嫌いだ、いやだ

「動詞句」

cela. スラ pron そうということが

「目的語」

僕は自分で卵を料理して、それを大皿から直接食べた。パンは切らしていたが、それを買うために降りたくなかったので、パンは無しで済ませた。

Je me suis fait cuire des oeufs et je les ai mangés à même le plat, sans pain parce que je n'en avais plus et que je ne voulais pas descendre pour en acheter.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis fait cuire ム・シュイ・フェ・キュール 1 単現・完了形(se faire+不定詞)

v.t 自分のために料理した

「動詞句」

se は「自分のために」、faire cuire は「料理する」の意味

des oeufs デ・ウフ pl.n.m 卵を

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

les レ pron 調理した卵を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|---|---------------------------------------|---------------|-------|
| ai mangés | エ・モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t | 食べた | 「動詞句」 |
| à même le plat, | ア・メーム・ル・プラ adv. | 調理用の大皿から直に | 「副詞句」 |
| 料理は鍋から盛り皿 plat に盛り付け、取り皿 assiette アシエット に取り分けて食べる | | | |
| sans pain | ツン・パン adv. | パンは無しで | 「副詞句」 |
| parce que | パルス・キ conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'en avais plus | ノン・アヴ・エ・フリュ 1 単半・否定(avoir+en) | | |
| v.t | | それを切らしていた | 「動詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| que | ク conj. | ～なので (副詞節の続き) | |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ne voulais pas descendre | ヌ・ウレ・パ・テ・ツントル 1 単半・否定・願望(vouloir+不定詞) | | |
| v.i | | 降りたくなかった | 「動詞句」 |
| pour en acheter. | プール・オン・アシュテ adv. | パンを買いに行くために | 「副詞句」 |

昼食後、僕は少し退屈になって、アパルトマンの中を歩き回った。

Après le déjeuner, je me suis ennuyé un peu et j'ai erré dans l'appartement.

| | | | |
|---|-------------------------------------|-------------|-------|
| 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」 | | | |
| Après le déjeuner, | アプレ・ル・テ・ジュネ adv. | 昼食後 | 「副詞句」 |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| me suis ennuyé | ム・シュイ・オンユイエ 1 単現・完了形(s'ennuyer)v.pr | 退屈した | 「動詞句」 |
| un peu | アン・フ° | 少し | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| j' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai erré | エ・イレ 1 単現・完了形(error)v.i | さまよった、歩き回った | 「動詞句」 |
| dans l'appartement. | ドン・ラパルトマン adv. | アパルトマンの中を | 「副詞句」 |

母さんがここに居た時は、このアパルトマンは丁度よかった。今では、僕一人には広すぎて、食堂のテーブルを僕の寝室の中に運んでこなければならなかった。

Il était commode quand maman était là. Maintenant il est trop grand pour moi et j'ai dû transporter dans ma chambre la table de la salle à manger.

| | | | |
|---|------------------|-----------|------|
| 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 | | | |
| 「副詞」「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 | | | |
| Il | イル pron | このアパルトマンは | 「主語」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| commode | コモット° | 便利な、丁度よい | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|--------|
| quand コン conj. ～した時は | 「副詞節」 |
| maman マメン n.f 母さんが | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i ～にいた | 「動詞」 |
| là. ラー adv. ここに | 「副詞」 |
| Maintenant マントゥナン adv. 今では | 「副詞」 |
| il イル pron ここは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| trop grand トロ・グロン adj. 広すぎる | 「補語」 |
| pour moi プール・ムワ adv. 僕一人には | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dû transporter エ・ジュー・トランスポルテ 1 単現・完了形・必要(devoir+不定詞) | |
| v.t 運んでこなければならなかった | 「動詞句」 |
| dans ma chambre ドン・マ・シヨンプル adv. 僕の寝室の中に | 「副詞句」 |
| la table ラ・ターブル n.f テーブルを | 「目的語」 |
| de la salle à manger. ドゥ・ラ・サ・ラ・モンジェ adj. 食堂の | 「形容詞句」 |

もはや僕はこの部屋の中だけで、少しへこんだ麦わら詰めの椅子と、姿見が黄ばんだ箆笥と、化粧台と銅製のベッドに囲まれて暮らしている。

Je ne vis plus que dans cette pièce, entre les chaises de paille un peu creusées, l'armoire dont la glace est jaunie, la table de toilette et le lit de cuivre.

| | |
|--|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne vis plus que ヌ・ヴィ・プリュ・ク 1 単現(vivre+ne...plus que) | |
| v.i もはや～だけで暮らしている | 「動詞句」 |
| dans cette pièce, ドン・セット・ピエス adv. この部屋の中 | 「副詞句」 |
| entre オントル prep ～の間で | 「副詞句」 |
| les chaises レ・シェーズ pl.n.f 椅子 | 「目的語」 |
| de paille トゥ・パ・イユ adj. 麦わらを詰めた | 「形容詞句」 |
| un peu creusées, アン・プ・クレセ adj. 少しへこんだ | 「形容詞句」 |
| l'armoire ラルムワール n.f 箆笥 | 「目的語」 |
| dont ドン pron (主語) それは～する | 「形容詞節」 |
| la glace ラ・グラス n.f 姿見は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| jaunie, ジョニー adj.f 黄ばんだ | 「補語」 |
| la table ラ・ターブル n.f 台 | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

de toilette トゥ・トゥワレット adj. 化粧の

「形容詞句」

et エ conj. そして

le lit ル・リ n.m. ベッド

「目的語」

de cuivre. トゥ・キューヴル adj. 銅製の

「形容詞句」

その他はほったらかしの状態だ。少したってから、何かをしようと思い、古新聞を取り出して、それを読んだ。

Le reste est à l'abandon. Un peu plus tard, pour faire quelque chose, j'ai pris un vieux journal et je l'ai lu. 「主語」「動詞」「補語」

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」

Le reste ル・レスト n.m. その他は

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i. ～である

「動詞」

à l'abandon. ア・ラボントソ adv. だらしなく、ほったらかしに

「補語」

Un peu plus tard, アン・プ・プリュ・タル adv. 少したってから

「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

faire フェール 不定詞 v.t. する

「動詞」

quelque chose, ケルク・ショーズ n.f. 何かを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t. 取り出した

「動詞句」

un vieux journal アン・ヴィユ・ジュルナル n.m. 古い新聞を

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron それを

「目的語」

ai lu. エ・リュ 1 単現・完了形(lire)v.t. 読んだ

「動詞句」

僕はそこからクルシヤン製バス・ソルトの広告を切り抜き、それを古いノートに貼った。僕は新聞記事の中で面白そうなものをそのノートに貼っていたのだ。

J'y ai découpé une réclame des sels Kruschen et je l'ai collée dans un vieux cahier où je mets les choses qui m'amuse dans les journaux.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「形容詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

y イ adv. その中の

「副詞」

ai découpé エ・デクペ 1 単現・完了形(découper)v.t. 切り抜いた

「動詞句」

une réclame ムヌ・レクラム n.f. 広告を

「目的語」

des sels Kruschen デ・セル・クリュシヤン adj. クルシヤン製バス・ソルトの

「形容詞句」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|--------|
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron.f それを | 「目的語」 |
| ai collée エ・コレ 1 単現・完了形(coller)v.t 貼った | 「動詞句」 |
| dans un vieux cahier トン・ザンヴィエ・カイ adv. 古いノートに | 「副詞句」 |
| où ウ adv. そこに～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| mets メ 1 単現(mettre)v.t 入れておく | 「動詞」 |
| les choses レ・ショーズ pl.n.f 物を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| amusent アミズ 3 複現(amuser)v.t 面白がらせる | 「動詞」 |
| dans les journaux. トン・レ・ジュール adv. 新聞記事の中で | 「副詞句」 |
| journal シュルナル n.m 新聞 ([複] journaux) | |

僕は手も洗った、そして結局バルコニーに出た。

Je me suis aussi lavé les mains et, pour finir, je me suis mis au balcon.

| | |
|--|-------|
| 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis aussi lavé ム・シュイ・オシ・ラヴェ 1 単現・完了形(se laver+ aussi) v.t ～も洗った | 「動詞句」 |
| les mains レ・マン pl.n.f 手を | 「目的語」 |
| et, エ conj. そして | |
| pour finir, プール・フィニール adv. 結局、終わりに | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis mis ム・シュイ・ミ 1 単現・完了形(mettre) v.pr (ある場所に) 身を置いた、～に出た | 「動詞句」 |
| au balcon. オ・バルコン adv. バルコニーに | 「副詞句」 |

バルコニー他

バルコニー：2階以上の室外に張り出した屋根のない手すり付きの場所のこと。

ベランダ：建物の外に張り出した屋根付きの場所のこと。

テラス：建物の1階から突き出した部分のこと。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕の部屋は町はずれの目抜き通りに面している。午後はいい天気だった。

Ma chambre donne sur la rue principale du faubourg. L'après-midi était beau.

「主語」「動詞」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Ma chambre マ・シヨンプル n.f 僕の部屋は 「主語」

donne トヌ 3 単現(donner)v.i (sur に) 面している 「動詞」

sur la rue principale シュール・ラ・リュ・プランスパル adv. 目抜き通りに 「間接目的語」

rue リュ n.f 通り principale プランスパル adj.f(principal) 主な、主要な

du faubourg. シュ・フォブル adj. 町はずれの 「形容詞句」

L'après-midi ラプレ・ミディ n.m 午後は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

beau. ボ adj. 天気が良い、晴れの 「補語」

しかしながら、歩道は脂ぎっていて、人通りは少なく、まだ忙しそうだった。

Cependant, le pavé était gras, les gens rares et pressés encore.

Cependant 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「補語」

Cependant, スポントソ conj. しかしながら

le pavé ル・パヴェ n.m 舗道は、石畳 「主語」

était エテ (être)v.i ~だった 「動詞」

gras, グラ adj. 脂じみた 「補語」

les gens レ・ジヨ pl.n.m 人々は、人通りは 「主語」

rares ラール adj.pl 数の少ない 「補語」

et エ conj. そして

pressés プレッセ adj.pl 急いでいる 「補語」

encore. オンコール adv. まだ 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

まず最初に、家族が散歩に現れた。二人の男の子はセーラー服を着て、ひざ下までの半ズボンははいていたが、糊が効き過ぎてこわばった服が少し動きずらそう。それから女の子は大きなバラ色のリボンをつけて、黒いエナメルの短靴をはいていた。

C'étaient d'abord des familles allant en promenade, deux petits garçons en costume marin, la culotte audessous du genou, un peu empêtrés dans leurs vêtements raides, et une petite fille avec un gros noeud rosé et des souliers noirs vernis.

「動詞」「補語」「主語」, 「主語」「形容詞句」 et 「主語」「形容詞句」

C' ス pron 仮の主語(真の主語は des familles 以降)

étaient エ 3 複半(être)v.i 〜だった 「動詞」

d'abord タボール adv. 最初に 「補語」

des familles デ・ファミユ pl.n.f 家族が 「主語」

allant アロン 現在分詞 v.i 出てきた 「形容詞句」

en promenade, オン・プロムナート adv. 散歩に 「副詞句」

deux petits garçons トゥ・プチ・ギャルソン pl.n.m 二人の男の子 「主語」

en costume marin, オン・コスチュム・マラン adj. セーラー服を着た 「形容詞句」

la culotte ラ・キュロット n.f 半ズボンをはいた 「形容詞句」

audessous du genou, オス・ジュ・ジュヌー adj. ひざ下までの 「形容詞句」

un peu empêtrés アン・ポ・オンペトレ 過去分詞・受動(empêtrer)

adj. 少し動きづらい 「形容詞句」

dans leurs vêtements raides, ドン・レール・ガエトウモン・レト

adv. こわばった服の中で 「副詞句」

et エ conj. そして

une petite fille ユヌ・プチット・フィユ n.f 1 人の女の子 「主語」

avec un gros noeud rosé アヴ・エッキ・アン・グロ・ヌー・ロゼ

adj. 大きなバラ色のリボンをつけた 「形容詞句」

et エ conj. そして

des souliers noirs vernis. デ・スリエ・ヌワール・ヴェルニ

adv. 黒いエナメルの短靴をはいた 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

子供たちの後ろには、栗色の絹の服を着た巨大な母親と、見たことがあるとてもか細い父親が続いていた。

Derrière eux, une mère énorme, en robe de soie marron, et le père, un petit homme assez frêle que je connais de vue.

Derrière eux, デリェール・イ adv. 子供らの後ろに 「副詞句」 「主語」 y 「主語」
une mère énorme, エヌヌ・メル・エノルメ n.f 巨大な母親が 「主語」
en robe オン・ローブ adv. 服を着た 「副詞句」
de soie marron, トゥ・スワ・マロン adj. 栗色の絹の 「形容詞句」
marron マロン adj. 栗色の、n.m クリ
et エ conj. そして
le père, ル・ペール n.m 父親が 「主語」
un petit homme アン・プティ・トム n.m 小さい男
assez frêle アセ・フレール adj. とてもか細い 「形容詞句」
que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
je ジュ pron 僕は 「主語」
connais コネ 1 単半(connaitre)v.t 知っている 「動詞」
de vue. トゥ・ヴュ adv. 目で見て 「副詞句」

父親は、カンカン帽をかぶり、蝶ネクタイを結び、そして手にステッキを持っていた。

Il avait un canotier, un noeud papillon et une canne à la main.

「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」 et 「目的語」「副詞句」
Il イル pron 父親は 「主語」
avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (所有・着用) かぶっていた 「動詞」
un canotier, アン・カチエ n.m カンカン帽を 「目的語」
un noeud papillon アン・ヌー・パピヨン n.m 蝶ネクタイを (結んだ) 「目的語」
et エ conj. そして
une canne エヌヌ・カンヌ n.f ステッキを (持った) 「目的語」
à la main. ア・ラ・マン adv. 手に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

妻と一緒にいる彼を見ていると、なぜ彼がこの界限で上品だと言われているのか分かった。

En le voyant avec sa femme, j'ai compris pourquoi dans le quartier on disait de lui qu'il était distingué.

En le voyant オン・ル・ウァイオン ジェロンディフ(en+現在分詞)adv. 彼を見ていると 「副詞句」
 avec sa femme, アヴ・ェッキ・サ・ファム adj. 妻と一緒にいる 「形容詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった 「動詞句」
 pourquoi プルワ adv. どうして～なのかということが 「目的語」
 dans le quartier トン・ル・カルティエ adv. この界限で 「副詞句」
 on オン pron 人々が (動詞は三人称単数形) 「主語」
 disait ティゼ 3 単半・時制の一致(dire)v.t 言っている 「動詞」
 de lui トゥ・リュイ adv. 彼の事を 「副詞句」
 qu' ク conj. ～であると 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 distingué. ティスタンゲ adj. 上品な 「補語」

もう少し後に、町はずれに住んでいる若者たちが通りかかった。彼らの身なりは、ヘアラッカーでかためて光沢のある髪、赤いネクタイ、刺繍付きの飾りハンカチをつけた体にピチピチの上着そして先端が角ばった短靴という具合だ。

Un peu plus tard passèrent les jeunes gens du faubourg, cheveux laqués et cravate rouge, le veston très cintré, avec une pochette brodée et des souliers à bouts carrés.

「副詞句」「動詞」「主語」, 「目的語」
 Un peu plus tard アン・プ・プリュ・タル adv. もう少し後に 「副詞句」
 passèrent パセル 3 複過(passer)v.t 通りかかった 「動詞」
 les jeunes gens レ・ジュヌ・ジヨン pl.n.m 若者たち 「主語」
 du faubourg, ジュ・フォブル adj. 町はずれに住んでいる 「形容詞句」
 若者たちの服装などを説明している。動詞(porter など)は省略されている。
 cheveux laqués シュヴ・ラケ pl.n.m ヘアラッカーでかためて光沢のある髪 「目的語」
 et エ conj. そして
 cravate rouge, クラヴァット・ルージュ n.f 赤いネクタイ 「目的語」
 le veston ル・ヴェストン n.m 上着 「目的語」
 très cintré, トレ・サントレ adj. 体にピチピチの 「形容詞句」
 avec une pochette brodée アヴ・ェッキ・ユヌ・ポシェット・ブローテ
 adv. 刺繍付きの飾りハンカチのついた 「形容詞句」
 et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

des souliers デ・スリエ pl.n.m 短靴

「目的語」

à bouts carrés. ア・ブ・カレ adj. 先端が角ばった

「形容詞句」

彼らは中心街の映画館に行くのだろうと、僕は思った。だからこんなに早く出発して、大声で笑いながら、路面電車の乗り場に向かって急いでいるんだ。

J'ai pensé qu'ils allaient aux cinémas du centre. C'était pourquoi ils partaient si tôt et se dépêchaient vers le tram en riant très fort.

「主語」「動詞句」「目的語」

C'était pourquoi 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t (que ～)だと思った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

allaient アル 3 複半(aller)v.i (à に) 行く

「動詞」

aux cinémas du centre. オ・シネマ・ジュ・ソトル adv. 中心街の映画館に「間接目的語」

C'était pourquoi セ・プルクわ conj.(C'est pourquoi 半過去) だから

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

partaient パルテ 3 複半(partir)v.i 出発した

「動詞」

si tôt シ・ト adv. こんなに早く

「副詞句」

et エ conj. そして

se dépêchaient ス・デペ・チェ 3 複半(se dépêcher)v.pr 急いでいた

「動詞句」

vers le tram ヴェール・ル・トラム adv. 路面電車の乗り場に向かって

「副詞句」

en riant オン・リアン ジェロンディフ(rire)v.i 笑いながら

「副詞句」

très fort. トレ・フォル adv. 大声で

「副詞句」

彼らの行った後は、通りは次第に人気が無くなって行った。

Après eux, la rue peu à peu est devenue déserte.

「副詞句」, 「主語」「副詞句」「動詞句」「補語」

Après eux, アプレ・ジ adv. 彼らの行った後は

「副詞句」

la rue ラ・リュ n.f 通りは

「主語」

peu à peu プ・ア・プ adv. 少しずつ、次第に

「副詞句」

est devenue エ・トウヴニユ 3 単現・完了形(devenir)v.i ～になった

「動詞句」

déserte. デゼルテ adj.f 無人の、人気のない

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

芝居や映画は、どこでもすでに始まっていたらう。

Les spectacles étaient partout commencés, je crois.

「主語」「動詞句」「副詞節」

Les spectacles レ・スペクタクル pl.n.m 芝居や映画は

「主語」

étaient partout commencés, エテ・パルトゥ・コモンセ 3 複現・完了形(commencer)

v.i どこでも始まっていた

「動詞句」

partout パルトゥ adv. どこでも

je crois. ジュ・クルわ adv. と僕は思う、そうだと思う

「副詞節」

通りにはもう小売店の店主とネコしかいなかった。通りに沿って並んでいるイチジク並木の上空は、澄んでいたが輝きがなかった。

Il n'y avait plus dans la rue que les boutiquiers et les chats. Le ciel était pur mais sans éclat au-dessus des ficus qui bordent la rue.

「副詞句」「動詞句」「主語」 | 「主語」「動詞句」「補語」 mais 「補語」「副詞句」

Il n'y avait イル・ニ・アヴェ 3 単半・否定(il y avoir)v.h ～がいなかった

「動詞句」

plus dans la rue プリュ・ドン・ラ・リュ adv. もう通りには

「副詞句」

que les boutiquiers et les chats. ク・レ・ブタイエ・エ・レ・シャ

pl.n 小売店の店主とネコしか

「主語」

ne que ～ 「～しか... ない」

Le ciel ル・シエル n.m 空は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

pur ピール adj. 澄んだ

「補語」

mais メ conj. しかし

sans éclat ソン・エクラ adj. 輝きが無い

「補語」

au-dessus des ficus オ・ドゥシ・デ・フィクス adv. イチジク並木の上は

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

bordent ボルト 3 複現(border)v.t に沿って並んでいる

「動詞」

la rue. ラ・リュ n.f 通りに

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

向かいの歩道では、タバコ屋の主人が椅子を外に出して、戸口の前に据え付け、それにまたがって、両腕で椅子の背に持たれていた。

Sur le trottoir d'en face, le marchand de tabac a sorti une chaise, l'a installée devant sa porte et l'a enfourchée en s'appuyant des deux bras sur le dossier.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」,

「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Sur le trottoir シュール・ル・トロットワール adv. 歩道では 「副詞句」
 d'en face, ドン・ファス adj. 正面の 「形容詞句」
 le marchand ル・マルション n.m 商人が 「主語」
 de tabac トゥ・タバ adj. タバコ屋の 「形容詞句」
 a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t 外に出した 「動詞句」
 une chaise, ユヌ・シェーズ n.f 椅子を 「目的語」
 l'ラ pron それを 「目的語」
 a installée ア・アンスタレ 3 単現・完了形(f(installer)v.t 据え付けた 「動詞句」
 devant sa porte ドゥヴァン・サ・ポルト adv. 戸口の前へ 「副詞句」
 et エ conj. そして
 l'ラ pron それに 「目的語」
 a enfourchée ア・オンフルシェ 3 単現・完了形(enfourcher)v.t またがった 「動詞句」
 en +現在分詞 オン ジェロンディフ adv. ～しながら 「副詞句」
 s'appuyant シェ・ユイオン 現在分詞(s'appuyer)v.pr (sur に) もたれかかる 「動詞句」
 des deux bras デ・トゥ・ブラ adv. 両腕によって 「副詞句」
 sur le dossier. シュール・ル・ドシエ adv. その背に 「副詞句」

ちょっと前は満員だった路面電車は、ほとんど空になっていた。

Les trams tout à l'heure bondés étaient presque vides. 「主語」 「動詞」 「補語」
 Les trams レ・トラム pl.n.m 路面電車は 「主語」
 tout à l'heure トゥ・タール adv. さっきは、ちょっと前は 「副詞句」
 bondés ボンデ adj.pl 満員の 「形容詞」
 étaient エ 3 複半 (être)v.i ～だった 「動詞」
 presque vides. プレスキ・ヴィッド adj.pl ほとんど空の 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

タバコ屋の隣の小さなカフェ、「ピエロの店」では、給仕がおが屑を使って客がいない店内を掃いていた。まさに日曜日という感じだった。

Dans le petit café «Chez Pierrot», à côté du marchand de tabac, le garçon balayait de la sciure dans la salle déserte. C'était vraiment dimanche.

「副詞句」、「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Dans le petit café «Chez Pierrot», トン・ル・プティ・キャッフェ・シェ・ビエロ

adv. 小さなカフェ、「ピエロの店」で

「副詞句」

à côté du marchand de tabac, ア・コテ・ジュ・マルシヨ・トウ・タバ

adv. タバコ屋の隣の

「副詞句」

le garçon ル・ギャルソン n.m 給仕が

「主語」

balayait バレイエ 3 単半(balayer)v.t 掃いていた

「動詞」

de la sciure トウ・ラ・シュール adv. (手段) おが屑を使って

「副詞句」

dans la salle déserte. トン・ラ・サル・デゼルトゥ adv. 客がいない店内を

「副詞句」

salle サル n.f 広間、ホール désert デゼール adj. 無人の、人気のない

C' ス pron このような店の様子は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

vraiment dimanche. ヴレモン・デイモンシュ n.m まさに日曜日

「補語」

日曜日：

ヨーロッパでは日本と異なり、日曜日はスーパーや飲食店もほとんど閉まっています。個人経営なら昼から数時間だけ開けるなどしているところもあります。でも、お客さんが多いということはないです。お客さんも日曜日は家にいます。ヨーロッパのカレンダーは月曜日が始まりです。"神は七日目に休んだ"になぞらえて、月曜日から数えて七日目の日曜日が安息日になりました。現代では、「家族と過ごすため」の休日になっています。

僕は椅子をぐりと向きを変えて、タバコ屋の主人の椅子のように置いた。その方が、便利そうに思われたからである。

J'ai retourné ma chaise et je l'ai placée comme celle du marchand de tabac parce que j'ai trouvé que c'était plus commode.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai retourné エ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(retourner)v.t 裏返した、向きを変えた

「動詞句」

ma chaise マ・シェーズ n.f 椅子を

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron その椅子を

「目的語」

ai placée エ・プラセ 1 単現・完了形(placer)v.t 置いた、据え付けた

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|----------------------|----------------|--------------------------|--------|
| comme celle | コム・セル | adv. (～の) 椅子のように | 「副詞句」 |
| du marchand de tabac | ジュ・マルション・トゥ・タバ | adj. タバコ屋の主人の | 「形容詞句」 |
| parce que | パルス・キ | conj. ～なので | 「副詞節」 |
| j' | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai trouvé | エ・トゥルヴ | 1 単現・完了形(trouver) | |
| v.t (que+直説法) | | ～であると思った | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' | ス | pron それが | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| plus commode. | プリュ・コモト | adj. もっと便利な | 「補語」 |

僕はタバコを 2 本吸ってから、部屋に戻ってチョコレートを一かけら取って来て、窓辺に戻ってそれを食べた。

J'ai fumé deux cigarettes, je suis rentré pour prendre un morceau de chocolat et je suis revenu le manger à la fenêtre. 「主語」「動詞句」「目的語」「主語」「動詞句」「副詞句」
et 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

| | | | |
|------------------------------|----------------|---------------------------------|-------|
| J' | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai fumé | エ・フュメ | 1 単現・完了形(fumer)v.t (タバコを) 吸った | 「動詞句」 |
| deux cigarettes, | トゥ・シギヤレット | pl.n.f タバコを 2 本 | 「目的語」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| suis rentré | シュイ・ロントレ | 1 単現・完了形(rentre)v.i (元の場所に) 戻った | 「動詞句」 |
| pour +不定詞 | プール | adv. (継続・結果) そして～した | 「副詞句」 |
| 継続・結果の用法の他に、目的「～するために」の用法もある | | | |
| prendre | プロントル | 不定詞 v.t 取って来る | 「動詞」 |
| un morceau de chocolat | アン・モルツ・トゥ・ショコラ | | |
| n.m | | チョコレートを一かけら | 「目的語」 |
| et | エ | conj. そして | |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| suis revenu+不定詞 | シュイ・ルヴニユ | 1 単現・完了形(revenir+不定詞) | |
| v. | | ～をしに戻った | 「動詞句」 |
| le | ル | pron.m それを | 「目的語」 |
| manger | モンジエ | 不定詞 v.t 食べる | 「動詞句」 |
| à la fenêtre. | ア・ラ・フネートル | adv. 窓辺に | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

その直後に空が暗くなったので、僕は夕立になるだろうと思った。

Peu après, le ciel s'est assombri et j'ai cru que nous allions avoir un orage d'été.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Peu après, プ・アプレ adv. その直後に、すぐ後に 「副詞句」

le ciel ル・シエル n.m 空が 「主語」

s'est assombri セ・アソンプリ 3 単現・完了形(s'assombrir)v.pr 暗くなった 「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai cru エ・クリュ 1 単現・完了形(croire)v.t (que+直説法) 〜だと思った 「動詞句」

que ク conj. 〜ということ 「目的語」

nous ヌ pron 私たちは 「主語」

allions avoir アリヨン・アヴ わ・ル 2 複現・近接未来(aller+不定詞)

v.t あるだろう 「動詞句」

un orage d'été. アン・オーージュ・デテ n.m 夏の嵐、夕立 「目的語」

そうしている間に、空は少しづつ晴れてきた。しかし雲が通過すると、路面に雨の前触れのような跡を残していったので、路面はさらに黒っぽくなった。

Il s'est découvert peu à peu cependant. Mais le passage des nuées avait laissé sur la rue comme une promesse de pluie qui l'a rendue plus sombre.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 空は 「主語」

s'est découvert セ・デクヴァーユ 3 単現・完了形(se découvrir)v.pr (空が) 晴れた 「動詞句」

peu à peu プ・ア・プレ adv. 少しづつ 「副詞句」

cependant. スポントナン adv. そうしている間に 「副詞」

Mais メ conj. しかし

le passage ル・パサージュ n.m 通過は 「主語」

des nuées テ・ニエ adj. 雲の 「形容詞句」

avait laissé アヴァ・レッセ 3 単半・完了形(laisser)v.t 跡を残した 「動詞句」

sur la rue シュール・ラ・リュエ adv. 路面に 「副詞句」

comme コム adv. 〜のように 「副詞句」

une promesse ユヌ・プロメス n.f 約束、見込み、前触れ 「目的語」

de pluie ドゥ・プリュイ adj. 雨の 「形容詞句」

qui キ pron (主語)(継続) それが〜する 「副詞節」

l' ラ pron (la rue の代用) 路面を 「目的語」

a rendue ア・ロンデュ 3 単現・完了形(frendre)v.t (+C) 〜にした 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

plus sombre. フリュ・ソンプル adj. もっと黒っぽい

「補語」

僕は、長い間空を眺め続けていた。5時になると、騒音に包まれて路面電車が到着した。

Je suis resté longtemps à regarder le ciel. A cinq heures, des tramways sont arrivés dans le bruit. 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

suis resté longtemps à regarder シュイ・レステ・ロントソ・アルギヤルテ° 1 単現・完了形(rester à+不定詞)

v.t 長い間眺め続けていた

「動詞句」

rester à+不定詞 「～し続ける」、「～するために残る」

le ciel. ル・シエル n.m 空を

「目的語」

A cinq heures, ア・サン・ツケール adv. 5時に

「副詞句」

des tramways デ・トラムウェ pl.n.m 路面電車が

「主語」

sont arrivés ソン・アリヴェ 3 複現・完了形.pl(arriver)v.i 到着した

「動詞句」

dans le bruit. トン・ル・ブリユイ adv. 騒音の中から

「副詞句」

路面電車は、郊外の競技場から、ステップと手すりにひとかたまりになった観客を乗せて戻って来た。

Ils ramenaient du stade de banlieue des grappes de spectateurs perchés sur les marchepieds et les rambardes. 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Ils イル pron.pl (des tramways の代用) 路面電車は

「主語」

ramenaient ラムネ 3 複半(ramener)v.t 連れ戻した

「動詞」

du stade de banlieue ジュ・スタット・トウ・ボンリウ adv. 郊外の競技場から

「副詞句」

des grappes デ・グラップ° pl.n.f ひとかたまりを

「目的語」

de spectateurs デ・スペクタール adj. 観客の

「形容詞句」

perchés ペルシェ 過去分詞(percher)adj.pl とまっている

「形容詞句」

sur les marchepieds シュール・レ・マルシェピエ adv. ステップに

「副詞句」

et エ conj. そして

les rambardes. レ・ロンパールト° pl.n.f 手すりに

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

後に続く路面電車は選手たちを乗せてきた。小さなカバンによって選手たちを見分けることが出来たのだ。

Les tramways suivants ont ramené les joueurs que j'ai reconnus à leurs petites valises.

「主語」「動詞句」「目的語」

Les tramways レス・トラムウェ pl.n.m 路面電車が 「主語」

suivants シュイヴ`オン adj.pl 次の 「形容詞」

ont ramené オン・ラムネ 3 複現・完了形(ramener)v.t 連れ戻した 「動詞句」

les joueurs レ・ジュエール pl.n.m 選手たちを 「目的語」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai reconnus エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)

v.t (à で) ～と分かった 「動詞句」

à leurs petites valises. ア・レル・プ`ティット・ヴァリス`

adv. 彼らの小さなカバンで 「副詞句」

彼らは怒鳴り散らしながら、声を限りに自分たちのチームは不滅であると歌っていました。

Ils hurlaient et chantaient à pleins poumons que leur club ne périrait pas.

「主語」「動詞」 et 「動詞」「副詞句」「目的語」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

hurlaient ユル 3 複半(hurler)v.i 怒鳴っていた、わめいていた 「動詞」

et エ conj. そして

chantaient ションテ 3 複半(chanter)v.t (que ～と) 歌っていた 「動詞」

à pleins poumons ア・プラン・プ`モン adv. 息を胸いっぱい吸って、声を限りに 「副詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

leur club レール・クラブ` n.m 彼らのチームは 「主語」

ne périrait pas. ヌ・ペ`リレ・パ` 条・3 単現(périr)v.i 滅ばない(だろう) 「動詞句」

主節が過去時制のとき、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉により、従属節の直説法単純未来が条件法現在に変わります。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

何人かは、僕に嬉しそうな仕草を見せた。その中の一人は、僕に向かって「奴らに勝ったぞ!」と叫びさえた。僕は、頭を振りながら、「分かった」と言った。この時から、車が急に増えだした。

Plusieurs m'ont fait des signes. L'un m'a même crié: «On les a eus.» Et j'ai fait: «Oui», en secouant la tête. A partir de ce moment, les autos ont commencé à affluer.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | Et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」「副詞句」「主語」「動詞句」

Plusieurs プリュシエール pl.pron 何人かは 「主語」

m' m pron 僕に 「間接目的語」

ont fait オン・フェ 3 複現・完了形(faire)v.t (動作を) した 「動詞句」

des signes. デ・シニユ pl.n.m 身振り (勝利の喜びを示す) 「直接目的語」

L'un ラン pron その中の一人は 「主語」

m' m pron 僕に 「間接目的語」

a même crié: ア・メム・クレ 3 単現・完了形(crier+ même)v.t ~と叫びさえた 「動詞句」

«On les a eus.» オン・レ・ザ・イ n. 「俺たちは相手に勝った」 「直接目的語」

on オン pron (動詞は三人称単数形) 俺たちは les レ pron.pl 彼ら、対戦相手

a eus アイ 3 単現・完了形(pl(avoir, eu の複数形 eus)v.t 勝った

Et エ conj. それで

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai fait: エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t ~と言った 「動詞句」

«Oui», ウイ adv. 分かった 「目的語」

en secouant オン・スカン ジェロンディフ(secouer)v.t (体の一部を) 振りながら 「副詞句」

la tête. ラ・テット n.f 首、頭 「目的語」

A partir de ア・パルティール・ドゥ adv. ~から、~以後 「副詞句」

ce moment, ス・モン n.m この時 「目的語」

les autos レ・ゾート pl.n.f 車が 「主語」

ont commencé à affluer. オン・コンセ・ア・アフル 3 複現・完了形・開始(commencer à+不定詞)

v.i 殺到し始めた、急に増えてきた 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

また少し日が傾いてきた。屋根の上では空が赤みを帯びてきており、日が暮れるに従って通りは活気づいてきた。

La journée a tourné encore un peu. Au-dessus des toits, le ciel est devenu rougeâtre et, avec le soir naissant, les rues se sont animées.

「主語」「動詞句」「副詞句」

「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」

La journée ラ・ジュルネ n.f 昼間、日中は 「主語」
 a tourné ア・トゥルネ 3 単現・完了形(tourner)v.i 回った 「動詞句」
 encore un peu. オンコール・アン・プ° adv. さらに少し 「副詞句」
 Au-dessus des toits, オ・トゥシュ・デ・トゥワ adv. 屋根の上には 「副詞句」
 le ciel ル・シエル n.m 空が 「主語」
 est devenu エ・トゥヴニユ 3 単現・完了形(devenir)v.i 〜になっていた 「動詞句」
 rougeâtre ルジャートル adj. 赤みを帯びた 「補語」
 et, エ conj. そして
 avec le soir naissant, アヴェッキ・ル・スワ・ル・ネソ adv. 日が暮れるに従って 「副詞句」
 avec アヴェッキ prep (同時性) 〜と同時に、〜とともに
 les rues レ・リュ pl.n.f 通りは 「主語」
 se sont animées. ス・ソソ・アニメ 3 複現・完了形.f.pl(s'animer)v.pt 活気づいた 「動詞句」

散歩をしていた人たちが、少しずつ戻って来た。僕は、他の人たちの間に例の上品な紳士がいるのに気付いた。子供たちは、泣いているか、引きずられて歩いていた。

Les promeneurs revenaient peu à peu. J'ai reconnu le monsieur distingué au milieu d'autres. Les enfants pleuraient ou se laissaient traîner.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞」 ou 「動詞句」

Les promeneurs レ・プロムネール pl.n 散歩をしていた人たちが 「主語」
 revenaient ルヴネ 3 複半(revenir)v.i 戻って来た 「動詞」
 peu à peu. プ°・ア・プ° adv. 少しずつ 「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai reconnu エ・ルコニユ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 〜に気付いた 「動詞句」
 le monsieur distingué ル・ムシュ・テイスタンク° n.m 例の上品な紳士に 「目的語」
 au milieu d'autres. オ・ミリュ・ドートル adv. 他の人たちの間に 「副詞句」
 Les enfants レ・ソソフォン pl.n 子供たちは 「主語」
 pleuraient プル 3 複半(pleurer)v.i 泣いていた 「動詞」
 ou ウ conj. または
 se laissaient traîner. ス・レッセ・トレネ 3 複半・使役(se laisser+不定詞)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

v.t 引きずられるままになっていた

「動詞句」

そのすぐ後に、界隈の映画館は大勢の観客を通りに吐き出した。

Presque aussitôt, les cinémas du quartier ont déversé dans la rue un flot de spectateurs.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Presque プレスキ adv. ほとんど

「副詞」

aussitôt, オット adv. すぐに

「副詞」

les cinémas レ・シネマ pl.n.m 映画館は

「主語」

du quartier ジュ・カルチエ adj.(de le ...) 界隈の

「形容詞句」

ont déversé オン・デヴェルセ 3 複現・完了形(déverser)v.t 吐き出した

「動詞句」

dans la rue ドン・ラ・リュ adv. 通りに

「副詞句」

un flot de アン・フロ・トゥ adj. 沢山の

「形容詞句」

spectateurs. スペクタール pl.n.m 観客を

「目的語」

彼らの中で、若者たちは普段より決然とした身振りをしていたので、僕は、彼らが冒険映画を見たと思った。

Parmi eux, les jeunes gens avaient des gestes plus décidés que d'habitude et j'ai pensé qu'ils avaient vu un film d'aventures.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Parmi パルミ prep. 〜の中で

「副詞句」

eux, ウー pron 彼ら (観客たち)

「目的語」

les jeunes gens レ・ジュヌ・ジヨン pl.n.m 若者たちは

「主語」

gens ジャン pl.n.m 人々 (もともと女性名詞だったので、形容詞は女性形にする)

avaient アヴェ 3 複半(avoir)v.t (行為を) していた

「動詞」

des gestes デ・ジエストゥ pl.n.m 身振りを

「目的語」

plus décidés プリュ・デシデ adj. より決然とした

「形容詞句」

que d'habitude ク・ダビチュート adv. いつもより、普段より

「副詞句」

et エ conj. それで

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t (que+直説法) 〜だと思った

「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということを

「目的語」

ils イル pron 彼らは

「主語」

avaient vu アヴェ・ヴェ 3 複現・完了形(voir)v.t 見た

「動詞句」

un film d'aventures. アン・フィルム・ダヴ・オンチュール n.m 冒険映画を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

市街の映画館から戻ってくる観客たちは、少し後に着いた。彼らはもっとおごそかな感じに見えた。

Ceux qui revenaient des cinémas de la ville arrivèrent un peu plus tard. Ils semblaient plus graves.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」

Ceux ス pron.pl(celui の男性複数形) 観客たちは 「主語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

revenaient ルヴネ 3 複半(revenir)v.i 戻って来た 「動詞」

des cinémas de la ville デ・シネマ・ドゥ・ラ・ヴィル

adv. 市街の映画館から 「副詞句」

arrivèrent アリヴァール 3 複過(arriver)v.i 着いた 「動詞」

un peu plus tard. アン・プ・プリュ・タル adv. 少し後で 「副詞句」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

semblaient ソンブレ 3 複半(sembler)v.i ～のように見えた 「動詞」

plus graves. プリュ・グラーヴ adj. もっとおごそかな 「補語」

彼らは、それでも笑っていたが、時々、疲れて物思いにふけているように見えた。彼らは、向かいの歩道を行ったり来たりして、通りに留まっていた。

Ils riaient encore, mais de temps en temps, ils paraissaient fatigués et songeurs. Ils sont restés dans la rue, allant et venant sur le trottoir d'en face.

「主語」「動詞」「副詞」 mais 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「副詞句」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

riaient リエ 3 複半(rire)v.i 笑っていた 「動詞」

encore, オンコール adv. それでも、とはいえ 「副詞」

mais メ conj. しかし

de temps en temps, ドゥ・トン・ゾン・トン adv. 時々、時折 「副詞句」

ils イル pron 彼らは 「主語」

paraissaient パレ 3 複半(paraître)v.i ～のように見えた、思われた 「動詞」

fatigués ファチグ adj.pl 疲れた 「補語」

et エ conj. そして

songeurs. ソンジュール adj.pl 物思いにふけた 「補語」

Ils イル pron 彼らは 「主語」

sont restés ソン・レステ 3 複現・完了形(rester)v.i 留まっていた 「動詞句」

dans la rue, ドン・ラ・リュ adv. 通りに、路上に 「副詞句」

allant et venant アロン・エ・ヴァン 現在分詞(aller, venir)v.i 行ったり来たりして 「副詞句」

sur le trottoir d'en face. シュール・ル・トロットワール・ダ・ン・ファス adv. 向かいの歩道で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

近所の娘たちは、髪をむき出しにして、腕を組んでいた。

Les jeunes filles du quartier, en cheveux, se tenaient par le bras.

「主語」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」

Les jeunes filles レ・ジュヌ・フィユ pl.n.f 娘たちは

「主語」

du quartier, ジュ・カルチェ adj. 界隈の、近所の

「形容詞句」

en cheveux, オン・シュヴ adv. 髪を剥きだしで(bare-headed)

「副詞句」

帽子などで髪の毛を覆っていないということ

se tenaient ス・トゥネ 3 複半(tenir)v.pr ~を取り合っていた

「動詞句」

par le bras. パール・ル・ブラ adv. 腕を

「間接目的語」

若者たちは、すれ違うのを待ち構えて、冗談を浴びせたのだが、娘たちはそれを笑い飛ばして、そっぽを向いた。

Les jeunes gens s'étaient arrangés pour les croiser et ils lançaient des plaisanteries dont elles riaient en détournant la tête.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」,
「間接目的語」「主語」「動詞」「副詞句」

Les jeunes gens レ・ジュヌ・ジヨン pl.n.m 若者たちは

「主語」

s'étaient arrangés セ・アランジェ 3 複現・完了形.pl(s'arranger)

v.pr (pour+不定詞) ~する手はずを整えた

「動詞句」

pour les croiser プール・レ・クルワゼ adv. すれ違うために

「副詞句」

et エ conj. そして

ils イル pron 彼らは

「主語」

lançaient ロンセ 3 複半(lancer)v.t (言葉を) 浴びせる

「動詞」

des plaisanteries テ・プレザントリー pl.n.f 冗談

「目的語」

dont トン adv. それを

「間接目的語」

elles エル pron 娘たちは

「主語」

riaient リエ 3 複半(rire)v.i 笑った、馬鹿にした

「動詞」

en détournant la tête. オン・テトウルソ・ラ・テット ジェロンディフ(détourner)

adv. (結果) そっぽを向いた

「副詞句」

détourner la tête そっぽを向く

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕が見覚えのある、彼女たちの中の何人かが、僕に合図をした。

Plusieurs d'entre elles, que je connaissais, m'ont fait des signes.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Plusieurs d'entre elles, プリュジーエル・ドントル・エル pl.n.f 彼女らのうち何人かは 「主語」
que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
je ジュ pron 僕が 「主語」
connaissais, コネッサ 1 単半(connaître)v.t 知っている 「動詞」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
ont fait オン・フェ 3 複現・完了形(faire)v.t (動作を) した 「動詞句」
des signes. デ・シーニュ pl.n.m 合図を 「直接目的語」

その時、街灯が突然点灯して、その光が、夜に先駆けて登っていた星たちを色あせさせた。

Les lampes de la rue se sont alors allumées brusquement et elles ont fait pâlir les premières étoiles qui montaient dans la nuit.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

Les lampes de la rue レ・ロンプ・ドゥ・ラ・リュエ pl.n.f 街灯が 「主語」
se sont alors allumées ス・ソン・アロー・アリュメ 3 複現・完了形(s'allumer+alors)
v.pr その時明かりが灯った 「動詞句」
brusquement ブリュスクモン adv. 不意に、突然 「副詞」
et エ conj. すると
elles エル pron.pl 街灯の光が 「主語」
ont fait オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t ～させた 「動詞句」
pâlir パール 不定詞 v.i 青ざめる、色あせる 「補語」
les premières étoiles レ・プ・ルミエール・ゼ・トワール pl.n.f 最初の星たちを 「目的語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
montaient モンテ 3 複半(monter)v.i 登っていた 「動詞」
dans la nuit. トン・ラ・ニュイ adv. 夜に先駆けて 「副詞句」

僕は、人々や光で溢れた歩道をそのように眺めるのに目が疲れてきたことを感じた。

J'ai senti mes yeux se fatiguer à regarder ainsi les trottoirs avec leur chargement d'hommes et de lumières.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai senti エ・ソンティ 1 単現・完了形(sentir)v.t (O+不定詞) O が～するのを感じた 「動詞句」
mes yeux メ・ジユ pl.n.m(oeil) 両目が 「目的語」
se fatiguer à regarder ス・ファティゲ・ア・ルギヤルテ 不定詞(se fatiguer à+不定詞)
v.t ～を見るのに疲れる 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|--------|
| ainsi アンシ adv. そのように | 「副詞」 |
| les trottoirs レ・トロットワール pl.n.m 歩道を | 「目的語」 |
| avec leur chargement アヴ ェッキ・レール・シャルジ ユモン | |
| adv. 荷物をもった | 「形容詞句」 |
| chargé シャルジエ adj. 荷物を持った、(de で)一杯の | |
| d'hommes et de lumières. トム・エ・トゥ・リュミエール | |
| adj. 人々や光の | 「形容詞句」 |

街灯は濡れた歩道をきらめかせ、路面電車は規則的な間隔で、輝く髪の毛や、微笑みや、銀のブレスレットに照り返しの輝きを与えた。

Les lampes faisaient luire le pavé mouillé, et les tramways, à intervalles réguliers, mettaient leurs reflets sur des cheveux brillants, un sourire ou un bracelet d'argent.

| | |
|---|-------|
| 「主語」「動詞」「補語」「目的語」 | |
| et 「主語」「副詞句」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「目的語」 ou 「目的語」 | |
| Les lampes レ・ロンプ pl.n.f 街灯は | 「主語」 |
| faisaient フェ 3 複半・使役(faire)v.t (O+不定詞) O に～させた | 「動詞」 |
| luire リュール 不定詞 v.i きらめく | 「補語」 |
| le pavé ル・パヴェ n.m 歩道を | 「目的語」 |
| mouillé, ムイェ adj. 濡れた | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| les tramways, レ・トラムウェ pl.n.m 路面電車は | 「主語」 |
| à intervalles réguliers, ア・アンテルヴァル・レギュリエ adv. 規則的な間隔で | 「副詞句」 |
| mettaient メテ 3 複半(mettre)v.t 置いた、連れて来た | 「動詞」 |
| leurs reflets レール・ルフレ pl.n.m その照り返しを | 「目的語」 |
| sur シュール adv. ～の上に | 「副詞句」 |
| des cheveux brillants, テ・シュヴァ・ブリヨン | |
| pl.n.m 輝く髪の毛 | 「目的語」 |
| un sourire アン・スリール n.m 微笑み | 「目的語」 |
| ou ウ conj. または | |
| un bracelet d'argent. アン・ブラスレ・ダルジヨン n.m 銀のブレスレット | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

間もなく路面電車がまばらになり、木々や街灯の上にもう暗い夜が覆い被さって来ると、界限はいつの間にか閑散として、再び人影が消えた通りをネコがゆっくり横切っていった。

Peu après, avec les tramways plus rares et la nuit déjà noire au-dessus des arbres et des lampes, le quartier s'est vidé insensiblement, jusqu'à ce que le premier chat traverse lentement la rue de nouveau déserte. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Peu après, プ・アプレ adv. すぐ後に、間もなく 「副詞句」

avec アヴ・ェッキ adv. ～と同時に、～とともに 「副詞句」

les tramways レ・トラムウェ pl.n.m 路面電車 「目的語」

plus rares プリュ・ラル adj. よりまばらな 「形容詞句」

et エ conj. そして

la nuit ラ・ニュイ n.m 夜は 「目的語」

déjà noire デ・ジャ・ヌワール adj.f(noir) すでに黒い 「形容詞句」

au-dessus オ・トゥシュ adv. ～の上に 「副詞句」

des arbres et des lampes, デ・サルブル・エ・デ・ロンブ

pl.n 木々や街灯 「目的語」

le quartier ル・クアルチエ n.m 界限は 「主語」

s'est vidé セ・ヴィテ 3 単現・完了形(se vider)v.pr 空になった 「動詞句」

insensiblement, アンソンスブルモン adv. 知らぬ間に、いつの間にか 「副詞句」

jusqu'à ce que+接続法 ジュスカ・スク conj. ～するまで 「副詞節」

le premier chat ル・プルミエ・シャ n.m 最初のネコが 「主語」

traverse トラヴァエルス 3 単現(traverser)v.t 横切る 「動詞」

lentement ロントモン adv. ゆっくりと、静かに 「副詞」

la rue ラ・リュ n.f 通りを 「目的語」

de nouveau déserte. トゥ・ヌヴ・オ・デゼルト adj. 再び無人になった 「形容詞句」

de nouveau トゥ・ヌヴ・オ adv. 再び

そこで、僕は夕食を食べなければと思った。長い間、椅子の背にもたれたままだったので、少し首が痛んだ。

J'ai pensé alors qu'il fallait dîner. J'avais un peu mal au cou d'être resté longtemps appuyé sur le dos de ma chaise.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t (que と) 思った、考えた 「動詞句」

alors アール adv. それで、そこで 「副詞」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il fallait +不定詞 イル・ファレ 3 単半・時制の一致(Il falloir+不定詞)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|--------|
| v. ～しなければならない | 「動詞句」 |
| dîner. ディネ 不定詞 v.i 夕食を取る | 「動詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| un peu mal アン・フ・マル n.m 少し痛みが | 「目的語」 |
| au cou オ・クー adv. 首に | 「副詞句」 |
| d'+不定詞・完了形 トゥ adv. ～していたために | 「副詞句」 |
| être resté エートル・レステ 不定詞・完了形(rester)v.i ～のままでいた | 「動詞句」 |
| longtemps ロントン adv. 長い間 | 「副詞」 |
| appuyé アピュエイ 過去分詞(appuyer)adj. もたれかかった | 「補語」 |
| sur le dos シュール・ル・ト adv. ～の上に | 「副詞句」 |
| de ma chaise. トゥ・マ・シェーズ adj. 椅子の | 「形容詞句」 |

僕は降りてパンとパスタを買い、自分で料理して、立ったままで食べた。

Je suis descendu acheter du pain et des pâtes, j'ai fait ma cuisine et j'ai mangé debout.

| | |
|--|-------|
| 「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| suis descendu acheter シュイ・デソソジュ・アシュテ 1 単現・完了形(descendre+不定詞) | |
| v.t ～を買いに降りた | 「動詞句」 |
| du pain ジュ・パン n.m パンをいくつか | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| des pâtes, デ・パートル pl.n.f パスタを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t 作った、料理した | 「動詞句」 |
| ma cuisine マ・キュイジーヌ n.f 自分の料理を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai mangé エ・モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた | 「動詞句」 |
| debout. デブ adv. 立って | 「副詞」 |

疑問：

パンとパスタと一緒に食べるって？—— パスタ des pâtes ではなくパンに塗るパテ des pâtés ではないかと疑ったが、パテなら特に料理しなくてもパンに塗るだけで食べることが出来る。パンのおかずになるパスタ料理かもしれないと考えた。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は窓辺でタバコを 1 本吸いたくなかった。しかし外気が冷たくなっていたので、少し寒さを感じた。

J'ai voulu fumer une cigarette à la fenêtre, mais l'air avait fraîchi et j'ai eu un peu froid.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 mais 「主語」「動詞句」
et 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai voulu fumer エ・ヴリュ・フュメ 1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t. ～を吸いたくなかった 「動詞句」

une cigarette エヌ・シガレット n.f. タバコを 1 本 「目的語」

à la fenêtre, ア・ラ・フェネートル adv. 窓辺で 「副詞句」

mais メ conj. しかし

l'air レール n.m. 外気が 「主語」

avait fraîchi アヴェ・フレシール 3 単半・完了形(fraîchir)v.i. 冷たくなっていた 「動詞句」

et エ conj. それで

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t. (+無冠詞名詞) ～を感じた 「動詞句」

un peu froid. アン・プ・フル n.m. 少し寒さを 「目的語」

僕は、自分の部屋の窓を閉めた。そして戻ってくるときに、幾切れかのパンとアルコールランプが並んでいるテーブルの端が見えた。

J'ai fermé mes fenêtres et en revenant j'ai vu dans la glace un bout de table où ma lampe à alcool voisinait avec des morceaux de pain.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai fermé エ・フェルメ 1 単現・完了形(fermer)v.t. 閉めた 「動詞句」

mes fenêtres メ・フェネートル pl.n.f. 僕の部屋の窓を 「目的語」

et エ conj. そして

en revenant オン・レヴァン ジェロンディフ(revenir)v.i. 戻ってくるときに 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t. 見た、見えた 「動詞句」

dans la glace ドン・ラ・グラス adv. 鏡に 「副詞句」

un bout de table アン・ブ・ト・タ・ターブル n.m. テーブルの端が 「目的語」

où ウ adv. そこに～する 「形容詞節」

ma lampe à alcool マ・ロンプ・ア・アルコール n.f. アルコールランプが 「主語」

voisinait ヴ・ワジネ 3 単半(voisiner)v.i. (と) 隣り合っている 「動詞」

avec des morceaux de pain. アヴェ・エッキ・デ・モル・ト・タ・パン

PREMIÈRE PARTIE 第1部

adv. 幾切れかのパンと一緒に

「副詞句」

僕は思った。とにかくやっと日曜日が終わる。母さんはもう埋葬されている。僕はまた仕事に戻ることになる。結局、何も変わったものは無い、ただ元の生活に戻るのだと。

J'ai pensé que c'était toujours un dimanche de tiré, que maman était maintenant enterrée, que j'allais reprendre mon travail et que, somme toute, il n'y avait rien de changé.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」 et 「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(+que と) 思った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

c'était ...de tiré, セテ...トウ・テイレ 3 単現・完了形(se tirer)v.i やっと終わった 「動詞句」

toujours トウジュール adv. とにかく

「副詞」

un dimanche アン・デ・イモンシュ n.m 日曜日が

「主語」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

maman マモン n.f 母さんは

「主語」

était maintenant enterrée, エテ・マントゥノン・オンテレ 3 単半・受動(enterrer+ maintenant)

v.t 今はもう埋葬されている

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

allais reprendre アレ・ルプ・ロントル 1 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.t 取り戻すことになるのだろう

「動詞句」

mon travail モン・トラヴァイユ n.m 仕事

「目的語」

et エ conj. そして

que, ク conj. ～ということを

「目的語」

somme toute, ソム・トゥット adv. 結局

「副詞句」

il n'y avait イル・ニ・アヴェ 3 単半・否定(il'y avoir)v.t 無かった

「動詞句」

rien de changé. リアン・トウ・シヨンジエ pron 変わったものは何も (～ない) 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

III

今日は会社でよく働いた。社長は1日中愛想がよかった。

Aujourd'hui j'ai beaucoup travaillé au bureau. Le patron a été aimable.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Aujourd'hui オ・ジ ユールト ヌイ adv. 今日は

「副詞」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai beaucoup travaillé エ・ボク・トラヴァイエ 1 単現・完了形(travailler+ beaucoup)

v.i よく働いた

「動詞句」

au bureau. オ・ビ ユロー adv. 会社で

「副詞句」

Le patron ル・パ トロン n.m 社長は

「主語」

a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i ~だった

「動詞句」

aimable. エマーブル adj. 愛想がよい

「補語」

彼は僕にひどく疲れていないかと尋ね、母さんの年齢も知りたかった。

Il m'a demandé si je n'étais pas trop fatigué et il a voulu savoir aussi l'âge de maman.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ト ヲモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ~かどうかということを

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ~でなかった

「動詞句」

trop fatigué トロ・ファチゲ adj. かなり疲れた

「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

a voulu savoir ア・ウリュ・サグ わル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞 savoir)

v.t 知りたかった、訊ねた

「動詞句」

aussi オシ adv. もまた

「副詞」

l'âge de maman. ラージュ・ト ヲ・マモン n.m 母さんの年齢

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は間違えないように、だいたい 60 歳とだけ言った。すると、なぜか彼は気が楽になった様子を見せ、これでこの問題は終わったと言うような顔つきをした。

J'ai dit «une soixantaine d'années», pour ne pas me tromper et je ne sais pas pourquoi il a eu l'air d'être soulagé et de considérer que c'était une affaire terminée.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 私は

「主語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«une soixantaine d'années», ユンヌ・スワソテヌ・ダネ pl.n.f だいたい 60 歳と

「目的語」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

ne pas me tromper ヌ・パ・ム・トロンパ 不定詞・否定形(se tromper)

v.pr 間違えない

「動詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は

「主語」

ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない

「動詞句」

pourquoi プールクワ adv. どうして～するかということ

「目的語」

→ 「僕はどうしても分からないが～する」

il イル pron 彼は

「主語」

a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (心身の状態) ～した

「動詞句」

l'air レール n.m 様子を

「目的語」

d'+不定詞 ドゥ adj. ～するという

「形容詞句」

être soulagé エートル・スラジェ 不定詞・受動(soulager)

v.t 気が楽になった

「動詞句」

et エ conj. そして

de +不定詞 ドゥ adj. ～するという

「形容詞句」

considérer コンジテレ 不定詞

v.t(que+直説法) ～と思っている

「動詞」

que ク conj. ～と言う事を

「目的語」

c' ス pron これは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～である

「動詞」

une affaire ユンヌ・アフエール n.f 問題

「補語」

terminée. テルミネ 過去分詞(terminer)

adj.f 終わった

「形容詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕の事務机の上には沢山の船荷証券が山積みになっていて、僕はそれらをすべて綿密に調べなければならなかった。

Il y avait un tas de connaissances qui s'amoncelaient sur ma table et il a fallu que je les dépouille tous. 「動詞句」「目的語」 et 「副詞節」

Il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t. ～があった 「動詞句」

un tas de アン・タ・トゥ adj. 沢山の～ 「形容詞句」

connaissances コネスモン pl.n.m 船荷証券 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

s'amoncelaient サモンセル 3 複半(s'amonceler)

v.pr 積み重なっていた 「動詞句」

sur ma table シュール・マ・ターブル adv. 僕の事務机の上に 「副詞句」

et

il a fallu que +接続法 イ・ラ・ファリュ・ク conj. ～しなければならなかった 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

les レ pron それらを 「目的語」

dépouille デプイユ 1 単現(dépouiller)v.t (資料を) 綿密に調べる 「動詞」

tous. トゥ adj.m.pl すべての 「形容詞 : les = connaissances」

船荷証券 (ふなにしょうけん) connaissances :

貿易における船積書類のひとつ。船会社など運送業者が発行し、貨物の引き受けを証明し、当該貨物受け取りの際の依拠とする。英語では Bill of Lading、B/L と略す。船積書類のうち、もっとも重要な書類である。

昼食を食べに行くために会社を出る前に、僕は手を洗った。正午はこの瞬間が大好きだ。

Avant de quitter le bureau pour aller déjeuner, je me suis lavé les mains. A midi, j'aime bien ce moment.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Avant de +不定詞 アヴェ・オン・トゥ adv. ～する前に 「副詞句」

quitter キテ 不定詞 v.t. ～を離れる 「動詞」

le bureau ル・ビュロー n.m 会社を 「目的語」

pour +不定詞 プール adv. ～するために 「副詞句」

aller déjeuner, アレ・デジユネ 不定詞(aller+不定詞)

v.i 昼食を食べに行く 「動詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis lavé ム・シュイ・ラヴェ 1 単現・完了形(se laver)v.pr 自分の～を洗った 「動詞句」

les mains. レ・マン pl.n.f 手を 「目的語」

A midi, ア・ミディ adv. 正午は 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| aime bien エム・ビヤン 1 単現(aimer)v.t とても好きだ | 「動詞句」 |
| ce moment. ス・モモン n.m この時間が、この瞬間が | 「目的語」 |

夕方になると、それはあまり楽しくない。皆がその回転式タオルを使うのですっかり濡れているのだ。つまり、一日中、同じタオルが使われているのだ。

Le soir, j'y trouve moins de plaisir parce que la serviette roulante qu'on utilise est tout à fait humide: elle a servi toute la journée.

| | |
|---|-----------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「副詞」 「動詞」 「目的語」 「副詞節」 |
| Le soir, ル・スワ・ル adv. 夕方になると | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| y イ adv. そこに、それに | 「副詞」 |
| trouve トルーヴ 1 単現(trouver)v.t 見つける | 「動詞」 |
| moins de plaisir ムワソ・ドゥ・プレジール n.m より少ない喜びを | 「目的語」 |
| parce que パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| la serviette roulante ラ・セルヴイエット・ロントゥ n.f 回転式のタオルは | 「主語」 |
| qu' ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| on オン pron 皆が、人が | 「主語」 |
| utilise イクリズ 3 単現(utiliser)v.t 使用する | 「動詞」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| tout à fait トゥ・タ・フェ adv. 完全に、全く | 「副詞句」 |
| humide: イミット adj. 湿った、ぬれた | 「補語」 |
| elle エル pron (la serviette の代用) タオルは | 「主語」 |
| a servi ア・セルヴイ 3 単現・完了形(servir)v.i 働いた | 「動詞句」 |
| toute la journée. トゥットゥ・ラ・ジユルネ adv. 一日中 | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

いつだったか、それについて社長に指摘したことがある。彼は、そのことは遺憾なことだと答えたが、続けて、それでも取るに足らない些細なことだと言った。

J'en ai fait la remarque un jour à mon patron. Il m'a répondu qu'il trouvait cela regrettable, mais que c'était tout de même un détail sans importance.

「主語」「副詞句」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」「間接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 mais 「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

en オン adv. それについて 「副詞句」

ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t (行為を) した 「動詞句」

la remarque ラ・マルケ n.f 指摘 「直接目的語」

un jour アン・ジュール adv. ある日、いつだったか 「副詞句」

à mon patron. ア・モン・パトロン adv. 社長に 「間接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 私に 「間接目的語」

a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t (que+直説法) ~だと答えた 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということ 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

trouvait トルヴァ 3 単半(trouver)v.t ~だと思う 「動詞」

cela スラ pron そのこと 「目的語」

regrettable, ルグレタブル adj. 遺憾な 「補語」

mais メ conj. しかし

que ク conj. ~ということ 「直接目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~である 「動詞」

tout de même トゥ・ドゥ・メム adv. それでも、にもかかわらず 「副詞句」

un détail アン・テタイ n.m 些細なこと 「補語」

sans importance. ソン・アンポルトンス

adj. 重要でない、取るに足らない 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、少し遅めに、12時半に、配送の仕事をしているエマヌエルと一緒に会社を出た。

Je suis sorti un peu tard, à midi et demi, avec Emmanuel, qui travaille à l'expédition.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

suis sorti シュイ・ソルティ 1 単現・完了形(sortir)v.i 出た

「動詞句」

un peu tard, アン・プ・タル adv. 少し遅めに

「副詞句」

à midi et demi, ア・ミティ・エ・トゥミ adv. 12 時半に

「副詞句」

avec Emmanuel, アヴェ・エツキ・エマニエル adv. エマヌエルと一緒に

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

travaille トラヴァイユ 3 単現(travailler)v.i(à に) 精を出している 「動詞」

à l'expédition. ア・レクスぺディション adv. 発送に

「間接目的語」

会社は海に面しているので、太陽で焼き付くような港の中の貨物船を眺めて時間を潰した。

Le bureau donne sur la mer et nous avons perdu un moment à regarder les cargos dans le port brûlant de soleil.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Le bureau ル・ビュロー n.m 会社は

「主語」

donne トンス 3 単現(donner)v.i(sur に) 面している

「動詞」

sur la mer シュール・ラ・メル adv. 海に

「副詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons perdu アヴ・オン・ペルテュ 1 複現・完了形(perdre)v.t (時間を) 潰した

「動詞句」

un moment アン・モメン n.m 少しの間

「目的語」

à +不定詞 ア adv. (手段) ～をして

「副詞句」

regarder ルギャルテ 不定詞 v.t 見る、眺める

「動詞」

les cargos レ・ツギアルコ pl.n.m 貨物船を

「目的語」

dans le port トン・ル・ポール adv. 港の中の

「形容詞句」

brûlant ブリュロン 現在分詞(brûler)

v.i(de で) 燃えている、焼き付いている

「副詞句」

de soleil. トゥ・ソレイユ adv. 太陽によって

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

その時、トラックがチェーンとエンジンの轟音に包まれて到着した。

A ce moment, un camion est arrivé dans un fracas de chaînes et d'explosions.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

A ce moment, ア・ス・モモン adv. その時、当時

「副詞句」

un camion アン・カミオン n.m. トラックが

「主語」

camionnette カミオネット n.f. 小型トラック poids lourd フ・ワ・ルール n.m. 大型トラック

est arrivé エ・アリヴェ 3 単現・完了形(arriver)v.i. 到着した

「動詞句」

dans トン prep. 〜の中から

「副詞句」

un fracas アン・フラカ n.m. 大音響

「目的語」

de chaînes ト・カ・シェヌ adj. チェーンの

「形容詞句」

et エ conj. そして

d'explosions. テクスプ・ロジオン adj. (エンジンの) 爆音の

「形容詞句」

エマヌエルが僕に「あれに乗らないか」と尋ねたので、僕は駆け出した。

Emmanuel m'a demandé «si on y allait» et je me suis mis à courir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」

Emmanuel エマヌエル n.m. エマヌエルが

「主語」

m' ム pron. 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ト・カモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t. 尋ねた

「動詞句」

«si シ conj. (勧誘) 〜しないかという事を

「直接目的語」

on オン pron. (動詞は三人称単数形) 俺たちは

「主語」

y イ adv. あれに、トラックに

「副詞」

allait» アル 3 単半(aller)v.i. 行く、乗る

「動詞」

et エ conj. そして

je ジュ pron. 僕は

「主語」

me suis mis à courir. ム・シュイ・ミ・ア・クリール 1 単現・完了形(se mettre à+不定詞)

v.pr. 走り始めた

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

トラックは僕らを追い越して行った。そこで僕らはそれを追って疾走を始めた。僕は騒音と埃に包み込まれた。

Le camion nous a dépassés et nous nous sommes lancés à sa poursuite. J'étais noyé dans le bruit et la poussière.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Le camion ル・カミオン n.m トラックは 「主語」
 nous ヌ pron 僕らを 「目的語」
 a dépassés ア・デパセ 3 単現・完了形(dépasser)v.t 追い越して行った 「動詞句」
 et エ conj. そして
 nous ヌ pron 僕らは 「主語」
 nous sommes lancés ヌ・ソム・ロンセ 1 複現・完了形(se lancer à la poursuite)
 v.pr その追跡にとりかかった 「動詞句」
 à sa poursuite. ア・サ・プールシュイット adv. 追跡を 「間接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais noyé エ・ヌワイ 1 単半・受動(noyer)v.t 水浸しになった 「動詞句」
 dans トン prep 〜の中に 「副詞句」
 le bruit ル・ブリュイ n.m 騒音 「目的語」
 et エ conj. そして
 la poussière. ラ・プシエール n.f 埃 「目的語」

僕はもう何も見えなかった。そしてとにかく走る衝動しか感じなかった。僕らの周囲は、ウィンチや機械類が一杯で、水平線の上でマストが踊っていて、僕らが走るすぐ横には船体が並んでいた。

Je ne voyais plus rien et ne sentais que cet élan désordonné de la course, au milieu des treuils et des machines, des mâts qui dansaient sur l'horizon et des coques que nous longions.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「目的語」, 「副詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne voyais plus ヌ・ヴワイ 1 単半・否定(voir+ ne...plus)v.t もう見えなかった「動詞句」
 rien リヤン pron 何も (〜ない) 「目的語」
 et エ conj. そして
 ne sentais que ヌ・ソントク 1 単半・否定(sentir+ ne...que)v.t 〜しか感じなかった 「動詞句」
 cet élan セット・エロン n.m あの衝動 「目的語」
 désordonné デゾルトネ adj. 無秩序な、不規則な 「形容詞」
 de la course, トゥ・ラクス adj. 走ることの 「形容詞句」
 au milieu オ・ミユ adv. (de の) 真ん中で 「副詞句」
 des treuils デ・トロイ pl.n.m ウィンチ 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

des machines, デ・マシヌ pl.n.f 機械

「目的語」

des mâts デ・マ pl.n.m マスト

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

dansaient トンセ 3 複半(danser)v.i 踊っていた

「動詞」

sur l'horizon シュール・ロリゾン adv. 水平線の上で

「副詞句」

et エ conj. そして

des coques デ・コック pl.n.f 船体

「目的語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

nous longions. ノ・ロンジヨン 1 複半(se longer)

v.pr ～に沿って走った

「動詞句」

僕が最初にトラックの手すりをつかんで、飛び乗った。それから僕はエマニュエルが座るのを手伝ってやった。

J'ai pris appui le premier et j'ai sauté au vol. Puis j'ai aidé Emmanuel à s'asseoir.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

J' ジュ pron 僕が

「主語」

ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t つかんだ

「動詞句」

appui ア・ピュイ n.m 支え、手すり

「目的語」

le premier ル・プルミエ adv. 最初に

「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai sauté エ・サテ 1 単現・完了形(sauter)v.i 飛び乗った

「動詞句」

au vol. オ・ヴォル adv. (様態) 飛んで

「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから

「副詞」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai aidé エ・エテ 1 単現・完了形(aider)v.t (qn à+不定詞) (人が) ～するのを助けた

「動詞句」

Emmanuel エマニュエル n.m エマニュエルを

「目的語」

à s'asseoir. ア・サスワール 不定詞 v.pr 腰かける

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは息が切れてしまった。トラックは、埃と太陽の中を、埠頭のでこぼこした敷石の上を跳びはねるように走っていた。エマニュエルは息をするのも忘れるほど笑っていた。

Nous étions hors de souffle, le camion sautait sur les pavés inégaux du quai, au milieu de la poussière et du soleil. Emmanuel riait à perdre haleine.

| | |
|--|---------------|
| 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「副詞」, 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| Nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| étions エホン 1 複半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| hors de souffle, オール・トゥ・スフル adv. 息が切れた | 「補語」 |
| hors オール prep ~を超えた、はずれた souffle スフル n.m 息 | |
| le camion ル・カモン n.m トラックは | 「主語」 |
| sautait ソテ ソテ 3 単半(sauter)v.i 跳ねて走った | 「動詞」 |
| sur les pavés シュール・レ・パヴェ adv. 敷石の上を | 「副詞」 |
| inégaux イェゴ adj.pl でこぼこした | 「形容詞」 |
| du quai, ジュ・ケ adj. 埠頭の | 「形容詞句」 |
| au milieu オ・ミユ adv.(de の) 真ん中で、~に囲まれて | 「副詞句」 |
| de la poussière トゥ・ラ・プシェール adv. ほこりに | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| du soleil. ジュ・ソレイユ adv. 太陽に | 「目的語」 |
| Emmanuel エマニュエル n.m エマニュエルは | 「主語」 |
| riait リエ 3 単半(rire)v.i 笑っていた | 「動詞」 |
| à perdre ア・ペルトール 不定詞・程度 adv. ~を忘れるほどに | 「副詞句」 |
| haleine. アレンヌ n.f 息を | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは汗びっしょりでセレストの店に着いた。セレストは、太った腹に前掛けそして白い口髭という風貌で、いつものように店にいた。

Nous sommes arrivés en nage chez Céleste. Il était toujours là, avec son gros ventre, son tablier et ses moustaches blanches.

「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」
 Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
 sommes arrivés ソム・ザリヴ^ェ 1 複現・完了形(arriver)v.i 着いた 「動詞句」
 en nage オン・ナージュ adv. 汗びっしょりで 「副詞句」
 chez Céleste. シェ・セレスト adv. セレストの店に 「間接目的語」
 Il イル pron セレストは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i いた 「動詞」
 toujours là, トゥジール・ラ adv. いつものようにそこに 「副詞句」
 avec アヴ^ェツキ adv. ～を着て、～の様子で 「副詞句」
 son gros ventre, ソン・グロ・ヴァントル n.m 太った腹 「目的語」
 son tablier ソン・タブリエ n.m 前掛け 「目的語」
 et エ conj. そして
 ses moustaches blanches. セ・ムスタシュ・ブロンシュ pl.n.f 白い口ひげ 「目的語」

彼は僕に「なんとかやっているか？」と尋ねた。僕は、「ああ、なんとか。」と答え、「腹が減っている」と続けた。

Il m'a demandé si «ça allait quand même». Je lui ai dit que oui et que j'avais faim.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥモンテ^テ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 «ça サ pron 状況は 「主語」
 allait アル 3 単半(aller)v.i うまく進んでいる 「動詞」
 quand même. コン・メーム adv. なにはともあれ、それでも、やはり 「副詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que oui ク・ウイ conj. ああ 「応答」
 et エ conj. そして
 que j'avais faim. ク・ジャヴ^ェ・ファム conj. 腹がへっている 「応答」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は太急ぎで食べ、コーヒを飲んだ。それから、自分の部屋に戻った。ワインを飲み過ぎたので、少し眠った。そして目が覚めると、タバコが吸いたくなった。

J'ai mangé très vite et j'ai pris du café. Puis je suis rentré chez moi, j'ai dormi un peu parce que j'avais trop bu de vin et, en me réveillant, j'ai eu envie de fumer.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

et 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

| | |
|--|---------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai mangé エ・モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた | 「動詞句」 |
| très vite トレ・ヴァイト adv. 太急ぎで | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pris エ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t 飲んだ | 「動詞句」 |
| du café. シュ・キャフェ n.m コーヒを | 「目的語」 |
| Puis ビュイ adv. それから | 「副詞」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| suis rentré シュイ・ントレ 1 単現・完了形(rentre)v.i 戻った | 「動詞句」 |
| chez moi, シェ・ムわ adv. 自分の部屋に | 「間接目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った | 「動詞句」 |
| un peu アン・フ° adv. 少し | 「副詞句」 |
| parce que パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais trop bu アヴァ・エ・トロ・ビュ 1 単半・完了形(boire)v.t 飲み過ぎた | 「動詞句」 |
| de vin トゥ・ヴァン n.m ワインを | 「目的語」 |
| et, エ conj. そして | |
| en me réveillant, オン・ム・レヴァイオン ジェルンディオ(se réveiller)v.i 目覚めると | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 持った | 「動詞句」 |
| envie オンヴァイ n.f 欲望 | 「目的語」 |
| avoir envie de... 「～がしたい、～が欲しい」 | |
| de fumer. トゥ・フュメ adj. タバコを吸う | 「形容詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

もう仕事に遅れそうな時間なので、路面電車に乗るために走った。午後はずっと働いた。

Il était tard et j'ai couru pour attraper un tram. J'ai travaillé tout l'après-midi.

「主語」「動詞」「補語」et「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Il イル pron 時間は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 tard タール adj. 遅い 「補語」
 et エ conj. それで
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai couru エ・クリュ 1 単現・完了形(courir)v.i 走った 「動詞句」
 pour attraper プール・アトラペ adv. 捕まえる、乗るために 「副詞句」
 un tram. アン・トラム n.m 路面電車に 「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai travaillé エ・トラヴァイエ 1 単現・完了形(travailler)v.i 働いた 「動詞句」
 tout l'après-midi. トゥ・ラプレ・ミディ adv. 午後はずっと 「副詞句」

昼食と昼休み：

1940 年頃には、スペインやフランスの労働者たちは、昼食の時間が 2 時間～3 時間あって、自宅に戻って食事をしたり昼寝をしていた。

会社の中はとても暑かった。そして夕方に会社を出ると、埠頭に沿ってゆっくり歩きながら帰ることが、幸せな時間だった。

Il faisait très chaud dans le bureau et le soir, en sortant, j'ai été heureux de revenir en marchant lentement le long des quais.

「動詞句」「補語」「副詞句」et「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」
 Il faisait イル・ファゼ 3 単半(faire)v.h (非人称) (天候・気温・明暗など) ~だった 「動詞句」
 très chaud トレ・ショ adj. とても暑い 「補語」
 dans le bureau トン・ル・ビュロー adv. 会社の中は 「副詞句」
 et エ conj. そして
 le soir, ル・スワール adv. 夕方に 「副詞句」
 en sortant, オン・ソルトン ジェルンディオ(sortir)v.i 会社を出る時に 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai été エ・エテ 1 単現・完了形(être)v.i ~だった 「動詞句」
 heureux ウル adj. 幸せな 「補語」
 de revenir トゥ・ルヴニール 不定詞・原因 v.i 帰ることで 「副詞句」
 en marchant オン・マルション ジェルンディオ(marcher)v.i 歩きながら 「副詞句」
 lentement ロントゥモン adv. ゆっくりと 「副詞」
 le long des quais. ル・ロン・デ・クワ adv. 埠頭に沿って 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

le long de... 「～に沿って、～沿いに、～の間中」

空は緑色で、僕は満足した気分だった。けれどもジャガイモを茹でておきたかったので、真
っすぐ僕の部屋に帰った。

Le ciel était vert, je me sentais content. Tout de même, je suis rentré directement chez moi parce que je voulais me préparer des pommes de terre bouillies.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「補語」

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Le ciel ル・シエル n.m 空は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 vert, ヴェール adj. 緑色の 「補語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me sentais ム・ソント 1 単半(se sentir)v.pr 自分を～だと感じていた 「動詞句」
 content. コント adj. 満足した 「補語」
 Tout de même, トゥ・ド・ム・メム adv. けれども、それでも 「副詞句」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 suis rentré シュイ・ロントレ 1 単現・完了形(rentre)v.i 帰った、帰宅した 「動詞句」
 directement テイレクトモン adv. まっすぐに、直接に 「副詞」
 chez moi シェ・ムワ adv. 僕の部屋に 「副詞句」
 parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 voulais me préparer ヴレ・ム・プレパレ 1 単半・願望(vouloir+不定詞 se préparer)
 v.pr 調理したかった 「動詞句」
 des pommes de terre テ・ポム・トゥ・テル pl.n.f ジャガイモを 「目的語」
 bouillies. ブイ adj.f.pl ゆでた 「補語」

部屋に上がって行く途中、暗い階段で、同じ階に住むサラmanoという老人と鉢合わせした。

En montant, dans l'escalier noir, j'ai heurté le vieux Salamano, mon voisin de palier.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

En montant, オン・モントン ジェルンディオ(monter)v.i 部屋に上がって行く時 「副詞句」
 dans l'escalier noir, トン・レスカリエ・ヌワール adv. 暗い階段で 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai heurté エ・ウルテ 1 単現・完了形(heurter)v.t ぶつかった、鉢合わせした、遭遇した 「動詞句」
 le vieux Salamano, ル・ヴィユー・サラマノ n.m サラmanoという老人に 「目的語」
 mon voisin モン・ヴァン・ザン n.m (同格) 隣人の 「形容詞句」
 de palier. トゥ・パリエ adj. 同じ階の 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は犬と一緒にいた。彼らが一緒にいるのを見かけるようになって8年になる。

Il était avec son chien. Il y a huit ans qu'on les voit ensemble.

| | |
|---|---------------------------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「補語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| avec son chien. アヴ`ェッキ・ソン・シャン adv. 犬と一緒に | 「補語」 |
| Il y a huit ans qu' イ・リ・ヤ・ユイ・タン・キ adv. 8年前から~する | 「副詞句」 |
| on オン pron 私は | 「主語」 |
| les レ pron 彼らを | 「目的語」 |
| voit ヴ`ワ 3 単現(voir)v.t 見かけている | 「動詞」 |
| ensemble. オンソンプル adv. 一緒にいる | 「補語」 |

そのスパニエル犬は皮膚病だった。疥癬だと思うのだが。それがその犬のほとんどの体毛を失わせており、犬の体を出来物や褐色のかさぶたで覆っていた。

L'épagneul a une maladie de peau, le rouge, je crois, qui lui fait perdre presque tous ses poils et qui le couvre de plaques et de croûtes brunes.

| | |
|--|--|
| | 「主語」「動詞」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞」, 「形容詞節」, 「形容詞節」 |
| L'épagneul レパ`ニエル n. そのスパニエル犬は | 「主語」 |
| a ア 3 単現(avoir)v.t ある | 「動詞」 |
| une maladie de peau, エヌ・マラデ`イー・トゥ`プ`ー n.f 皮膚病 | 「目的語」 |
| le rouge, ル`ルー`ジュ n. 赤い皮膚病、疥癬 | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| crois, クルワ 1 単現(croire)v.t (que) ~と思う | 「動詞」 |
| qui キ pron (主語) それが~する | 「形容詞節」 |
| lui リュイ pron その犬に | 「目的語」 |
| fait perdre フェ`ペルトル 3 単現・使役(faire+不定詞)v.t 失わせる | 「動詞句」 |
| presque tous ses poils プレスキ・トゥ`セ`プ`ル pl.n.m ほとんどの体毛を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| qui キ pron (主語) それが~する | 「形容詞節」 |
| le ル pron 犬を | 「目的語」 |
| couvre ク`ブル 3 単現(couvrir)v.t (de で) 覆っている | 「動詞」 |
| de plaques トゥ`プラキ adv. 出来物で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| de croûtes brunes. トゥ`クルト`ブリュヌ adv. 褐色のかさぶたで | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

疥癬 かいせん：

疥癬虫（ヒゼンダニ）の寄生によっておこる伝染性の皮膚病。下腹部などに散発する赤い丘疹、指の間に多発する小水疱と線状の皮疹が特徴でとてもかゆい。

その犬と二人だけで、狭い部屋でずっと暮らしてきたので、サラマノ老人はついにその犬に似てきてしまった。

À force de vivre avec lui, seuls tous les deux dans une petite chambre, le vieux Salamano a fini par lui ressembler. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

À force de +不定詞 ア・フォルス・トゥ adv. 大いに～したので、～すれば 「副詞句」

vivre ヴィーヴル 不定詞 v.i 暮らしている 「動詞」

À force de +無冠詞名詞 「多くの～のおかげで」

avec lui, アヴェッキ・リュイ adv. その犬と一緒に 「副詞句」

seuls tous les deux スル・トゥ・レ・トゥ adv. 二人だけで 「副詞句」

dans une petite chambre, ドン・ジユヌ・プティット・シヨンプル adv. 狭い部屋で 「副詞句」

le vieux Salamano ル・ヴィエ・サラマノ n.m サラマノ老人は 「主語」

a fini par ...ressembler. ア・フィニ・パール...ルソブレ 3 単現・完了形(finir par+不定詞)

v.i (à に) ついに似てきた 「動詞句」

lui リュイ pron その犬に 「間接目的語」

彼の顔には赤味を帯びたかさぶたがあり、体毛は黄色で少なかった。犬は、飼い主の老人から、鼻面を前に突き出し、首を伸ばして背中を曲げて歩くしぐさを受け継いでいた。

Il a des croûtes rougeâtres sur le visage et le poil jaune et rare. Le chien, lui, a pris de son patron une sorte d'allure voûtée, le museau en avant et le cou tendu.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a ア 3 単現(avoir)v.t ある 「動詞」

des croûtes rougeâtres デ・クルト・ルジヤートル pl.n.f 赤味を帯びたかさぶた 「目的語」

sur le visage シュール・ル・ヴィザージュ adv. 顔に 「副詞句」

et エ conj. そして

le poil ル・ポワル n.m 体毛は 「目的語」

jaune et rare. ジョヌ・エ・ラル adj. 黄色でわずか 「形容詞句」

Le chien, ル・シヤン n.m その犬は 「主語」

lui, リュイ pron 彼から 「間接目的語」

a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t 受け取った 「動詞句」

de son patron トゥ・ソン・パトロン adv. 飼い主から 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|---|-------------|---------|
| une sorte d' <small>ユヌ・ソルト・ドゥ</small> n.f | 一種の～のようなものを | 「直接目的語」 |
| allure voûtée, <small>アリュール・ヴァテ</small> n.f | 背中を曲げた歩き方 | 「目的語」 |
| le museau <small>ル・ミュゾー</small> n.m | 鼻面を～して | 「副詞句」 |
| en avant <small>オン・アヴァン</small> adv. | 前に | 「副詞句」 |
| et <small>エ</small> conj. | そして | |
| le cou <small>ル・ク</small> n.m | 首を | 「目的語」 |
| tendu. <small>トンデュ</small> adj. | 伸ばした | 「形容詞」 |

彼らは、同類の者どうしのように見える。それでも、彼らは互いに憎みあっている。老人は、
1日に2回、11時と6時に、犬を散歩に連れていく。

Ils ont l'air de la même race et pourtant ils se détestent. Deux fois par jour, à onze heures et à six heures, le vieux mène son chien promener.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「副詞」「主語」「動詞句」
「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」

| | | |
|--|------------|-------|
| Ils <small>イル</small> pron.pl | 彼らは | 「主語」 |
| ont l'air de <small>オン・レール・トゥ</small> 3 複現(avoir l'air de qn)v.t | ～のように見える | 「動詞句」 |
| la même race <small>ラ・メーム・ラス</small> n.f | 同類の者どうし | 「目的語」 |
| race <small>ラス</small> n.f | 人種、同類、血筋 | |
| et <small>エ</small> conj. | そして | |
| pourtant <small>プールトン</small> adv. | けれども、それでも | 「副詞」 |
| ils <small>イル</small> pron.pl | 彼らは | 「主語」 |
| se détestent. <small>ス・デテスト</small> 3 複現(se détester)v.pr | 互いに憎みあっている | 「動詞句」 |
| Deux fois par jour, <small>トゥ・フワ・パール・ジュール</small> adv. | 1日に2回 | 「副詞句」 |
| à onze heures et à six heures, <small>オ・オンスール・エ・ア・シ・スール</small> adv. | 11時と6時に | 「副詞句」 |
| le vieux <small>ル・ヴィユ</small> n.m | 老人は | 「主語」 |
| mène <small>メヌ</small> 1 単現(mener)v.t (qn+不定詞) (何) を～しに連れていく | | 「動詞」 |
| son chien <small>ソン・シャン</small> n.m | 彼の犬を | 「目的語」 |
| promener. <small>プロムネ</small> 不定詞 v.t | 散歩させる | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

8年まえからずっと、彼らは散歩の道順を変えたことがなかった。リオン街あたりで、彼らを見かけ、犬がサラマノ老人がつまづくまで引っ張るのを目撃することもあるだろう。

Depuis huit ans, ils n'ont pas changé leur itinéraire. On peut les voir le long de la rue de Lyon, le chien tirant l'homme jusqu'à ce que le vieux Salamano bute.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」, 「目的語」

Depuis huit ans, トゥヰピ ユイ・ユイツ・タン adv. 8年まえからずっと 「副詞句」

ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

n'ont pas changé ノン・パ・ションジエ 3 複現・完了形・否定(changer)

v.t 変えたことはなかった 「動詞句」

leur itinéraire. レール・イネレール n.m 散歩の道順を 「目的語」

On オン pron 人は 「主語」

peut ...voir プ ...ヴ わ-ル 3 単現・可能性(pouvoir+不定詞)

v.t 見かけるだろう 「動詞句」

les レ pron.pl 彼らを 「目的語」

le long de la rue de Lyon, ル・ロン・トゥウ・ラ・リュ・トゥウ・リオン adv. リオン街あたりで 「副詞句」

le long de... ～沿いに rue リュ n.f 通り、～街

le chien ル・シヤン n.m 犬を 「目的語」

tirant テイロン 現在分詞(tirer)v.t 引っ張っている 「形容詞」

l'homme ロム n.m 人を 「目的語」

jusqu'à ce que ジュスク・ワ・ス・ケ conj. ～するまで 「副詞節」

le vieux Salamano ル・ヴィエイ・サラマノ n.m サラマノ老人が 「主語」

bute. ブトゥ 3 単現(buter)v.i つまづく 「動詞」

すると彼は犬を殴って、罵る。犬は恐怖で地面に這いつくばり、彼に引きずられていく。

Il bat son chien alors et il l'insulte. Le chien rampe de frayeur et se laisse traîner.

「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞」 et 「主語」 「目的語」 「動詞」

「主語」 「動詞」 「副詞句」 et 「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

bat バ 3 単現(battre)v.t 殴る 「動詞」

son chien ソン・シヤン n.m 犬を 「目的語」

alors アール adv. すると 「副詞」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

l'ル pron 犬を 「目的語」

insulte. アンシュルト 3 単現(insulter)v.t ののしる 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|---|-------------|-------|
| Le chien ル・シヤン n.m | 犬は | 「主語」 |
| rampe ロンプ 3 単現(ramper)v.i | 這いつくばる | 「動詞」 |
| de frayeur トゥ・フレイェール adv. | 恐怖のために、恐怖で | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| se laisse +不定詞 ス・レス 3 単現・受動(se laisser+不定詞・他動詞) | | |
| v.t | ～されるがままになる | 「動詞句」 |
| traîner. トレネ 不定詞 v.t | 引きずる | 「動詞句」 |
| se laisser+不定詞・自動詞 | 「～するがままにいる」 | |

今度は老人が犬を引っ張る番になる。犬は殴られたことを忘れると、また主人を引っ張り、また殴られて罵られる。

A ce moment, c'est au vieux de le tirer. Quand le chien a oublié, il entraîne de nouveau son maître et il est de nouveau battu et insulté.

「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「動詞句」

「副詞節」「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」et「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」

A ce moment, ア・ス・モモン adv. その時 「副詞句」

c'est au vieux de +不定詞 セ・ト・ヴィエ・ドゥ 3 単現(c'est à qn de+不定詞)

v.i 老人が～する番である 「動詞句」

le ル pron 犬を 「目的語」

tirer. チレ 不定詞 v.t 引っ張る 「動詞句」

Quand コン conj. ～すると、～する時 「副詞節」

le chien ル・シヤン n.m 犬が 「主語」

a oublié, ア・ウブリエ 3 単現・完了形(oublier)v.t 忘れてしまった 「動詞句」

il イル pron 犬は 「主語」

entraîne オントレヌ 3 単現(entraîner)v.t 引っ張る 「動詞」

de nouveau トゥ・ヌヴォ adv. また 「副詞句」

son maître ソン・メートル n.m 主人を 「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 犬は 「主語」

est ...battu et insulté. エ...バチュ・エ・アンシュルテ 3 単現・受動(battre, insulter)

v.t 殴られて罵られる 「動詞句」

de nouveau トゥ・ヌヴォ adv. また 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

すると彼らはどちらも路上に留まり、互いに睨みあう。犬は恐怖におびえ、人は憎しみを露
(あらわ) にして。毎日がこんな調子である。

Alors, ils restent tous les deux sur le trottoir et ils se regardent, le chien avec terreur, l'homme avec haine. C'est ainsi tous les jours.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」 et

「主語」「動詞句」, 「主語」「副詞句」, 「主語」「副詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」

Alors, アー adv. そうすると 「副詞」
ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
restent レスト 3 複現(rester)v.i とどまる 「動詞」
tous les deux トゥ・レ・ドゥ adv. 両方とも 「副詞句」
sur le trottoir シュール・ルトトワール adv. 路上に 「副詞句」
et エ conj. そして
ils イル pron 彼らは 「主語」
se regardent, スルギヤルトゥ 3 複現(se regarder)v.pr 互いに睨みあう 「動詞句」
le chien ル・シャン n.m 犬は 「主語」
avec terreur, アヴェ・エッキ・テレル adv. 恐怖におびえて 「副詞句」
l'homme ムム n.m 人は 「主語」
avec haine. アヴェ・エッキ・エヌ adv. 憎しみをあらわにして 「副詞句」
C' ス pron 形式主語
est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
ainsi オンシ このように 「補語」
tous les jours. トゥ・レ・ジュール pl.n.m 毎日が 「主語」

犬が尿をしたくなった時でも、老人はその時間を与えずに犬を引っ張っていくので、そのス
パニユエル犬は自分の後ろに小さなしずくの痕跡をまき散らしながら引きずられていく。

Quand le chien veut uriner, le vieux ne lui en laisse pas le temps et il le tire, l'épagneul semant derrière lui une traînée de petites gouttes.

「副詞節」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」「動詞句」「直接目的語」

et 「主語」「動詞」, 「目的語」

Quand コン conj. 〜する時 「副詞節」
le chien ル・シャン n.m 犬が 「主語」
veut uriner, ヴェ・イリネ 3 単現・願望(vouloir+不定詞)v.i 放尿したい 「動詞句」
le vieux ル・ヴィエヌ n.m 老人は 「主語」
ne ...laisse pas ス...レス・パ 3 単現・否定(laisser)v.t 与えない、残さない 「動詞句」
lui リュイ pron 犬に 「間接目的語」
en オン adv. 放尿するための 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|---------|
| le temps ル・トン n.m | 時間を | 「直接目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| le ル pron | 仮の目的語 (真の目的語は l'épagneul semant 以降) | |
| tire, チル 3 単現(tirer)v.t | 引っ張る | 「動詞」 |
| l'épagneul レパニユエル n.m | そのスパニユエル犬を | 「目的語」 |
| semant スモン 現在分詞(semer)v.t | まき散らしている | 「形容詞句」 |
| derrière lui デリエール・リュイ adv. | 自分の後ろに | 「副詞句」 |
| une traînée エヌ・トレネ n.f | 細長い跡を | 「目的語」 |
| de petites gouttes. トゥ・プ チット・ゲット | | |
| adj. | 小さなしずくの | 「形容詞句」 |

絶対分詞構文：

現在分詞や過去分詞は主語の動作や状態を表すのがふつうです。しかし、稀に現在分詞や過去分詞が独自の主語をとまって用いられる場合があります。現在分詞は主語の能動的な動作、過去分詞は主語の受動的状態を表します。

この文の **semant** は **tire** の目的語である **l'épagneul** の状況を説明している。

→ 老人は、自分の後ろに小さな滴の一筋をまき散らしているスパニユエル犬を引っ張る

→ 引っ張った結果として、一筋の滴をまき散らす

たまたま部屋の中で漏らしてしまったら、その時には、犬はまた殴られる。こんなことがもう8年も続いている。

| | | |
|---|-------------|--|
| <u>Si par hasard le chien fait dans la chambre, alors il est encore battu. Il y a huit ans que cela dure.</u> | | 「副詞節」, 「副詞」「主語」「動詞句」 「動詞句」「目的語」「副詞節」 |
| Si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| par hasard パール・アザール adv. | 偶然に、はからずも | 「副詞句」 |
| le chien ル・シヤン n.m | 犬が | 「主語」 |
| fait フェ 3 単現・仮定(faire)v.t | (放尿を) してしまう | 「動詞」 |
| dans la chambre, トン・ラ・シヨンプル adv. | 部屋の中で | 「副詞句」 |
| alors アール adv. | その時は | 「副詞」 |
| il イル pron | 犬は | 「主語」 |
| est encore battu. エ・オンコール・バチュ 3 単現・受動(battre+ encore) | | |
| v.t | また殴られる | 「動詞句」 |
| Il y a イリ・ヤ 3 単現(avoir)v.t | (時間が) 経つ | 「動詞句」 |
| huit ans ユイ・トン pl.n.m | 8年 | 「目的語」 |
| que ク conj. | ～してから | 「副詞節」 |
| cela スラ pron | このようなことが | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

dure. デュール 3 単現(durer)v.i 続く

「動詞」

セレストはいつも、「不幸なことだ」と言うが、実際の事は誰も分らない。

Céleste dit toujours que «c'est malheureux», mais au fond, personne ne peut savoir.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」,mais「副詞句」「主語」「動詞句」

Céleste セレストゥ n.m セレストは

「主語」

dit ディ 3 単現(dire)v.t 言う

「動詞」

toujours トゥジュール adv. いつも

「副詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

«c'est malheureux», セ・マルルー n.

「不幸なことだ」

mais メ conj. しかし

au fond, オ・フン adv. 実際は、結局のところ

「副詞句」

personne ペルソヌ pron (ne と共に) 誰も～ない

「主語」

ne peut savoir. ヌ・プ・サ・ワール 3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 分らない

「動詞句」

僕が階段で偶然出会った時、彼は犬をののしっているところだった。彼が犬に、「薄汚い死にぞこないめ！」と言うと、犬はつらそうに呻いていた。僕は、「今晚は」と声をかけたが、彼はまだののしり続けていた。

Quand je l'ai rencontré dans l'escalier, Salamano était en train d'insulter son chien. Il lui disait: «Salaud! Charogne!» et le chien gémissait. J'ai dit: «Bonsoir», mais le vieux insultait toujours.

「副詞節」,「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
et「主語」「動詞」 | 「主語」「動詞句」「目的語」mais「主語」「動詞」「副詞」

Quand コン conj. ～した時

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

l'ル pron 彼を

「目的語」

ai rencontré エ・ロンコントレ 1 単現・完了形(rencontrer)v.t 偶然出会った

「動詞句」

dans l'escalier, トン・レスカリエ adv. 階段で

「副詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノは

「主語」

était en train d'+不定詞 エ・オン・トラン・トゥ 3 単半・近接動作(être en train de+不定詞)

v. ～するところだった

「動詞句」

insulter アンシュルテ 不定詞 v.t ののしる

「動詞」

son chien. ソン・シャン n.m 犬を

「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

lui リュイ pron 犬に

「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

disait: ディェ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
 «Salaud ! Charogne!» サロー・シャローニュ int. 「薄汚い死にぞこないめ！」 「直接目的語」
 Salaud サロー n.m 下劣なやつ Charogne シャローニュ n.f (動物の) 腐った死骸
 et エ conj. そして
 le chien ル・シヤン n.m 犬は 「主語」
 gémissait. ジェミセ 3 単半(gémir)v.i (苦痛に) 呻いていた 「動詞」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Bonsoir», ボンスワール adv. 「今晚は」 「目的語」
 mais メ conj. しかし
 le vieux ル・ヴィユ n.m 老人は 「主語」
 insultait アンシュルテ 3 単半(insulter)v.t 罵っていた 「動詞」
 toujours. トゥジュール adv. 相変わらず、まだ 「副詞」

それで僕は、犬が彼に何をしたのかと尋ねた。彼は僕に答えなかった。

Alors je lui ai demandé ce que le chien lui avait fait. Il ne m'a pas répondu.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Alors アロー adv. それで 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai demandé エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 ce ス pron それを 「直接目的語」
 que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 le chien ル・シヤン n.m 犬が 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 avait fait. アヴェ・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t した 「動詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 ne ...a pas répondu. ス...ア・パ・レポンスジュ 3 単現・完了形・否定(répondre)
 v.i (à に) 答えなかった 「動詞句」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は、「薄汚い死にぞこないめ！」と叫ぶばかりだった。僕は、彼が犬の上に体を傾けて犬の首輪のどこかを調整していることに気が付いた。

Il disait seulement : « Salaud ! Charogne ! » Je le devinais, penché sur son chien, en train d'arranger quelque chose sur le collier.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「主語」「目的語」「動詞」「補語」「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 seulement : スルモン adv. ーだけ 「副詞」
 «Salaud ! Charogne!» サロー・シャローニュ int. 「薄汚い死にぞこないめ！」 「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 le ル pron 彼が 「目的語」
 devinais, ドゥヴィネ 1 単半(deviner)v.t 見抜いた、気づいた 「動詞」
 penché ポンスェ 過去分詞(pencher)adj. 体を傾けた 「補語」
 sur son chien, シュール・ソン・シヤン adv. 犬の上に 「副詞句」
 en train d'arranger オン・トロン・ダロンジエ adv. 整えながら 「副詞句」
 en train de+不定詞 「～をしながら」
 quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何かを 「目的語」
 sur le collier. シュール・ル・コリエ adv. 犬の首輪の上で 「副詞句」
 collier コリエ n.m (犬などの) 首輪

僕はもっと大きな声で話しかけた。すると彼は、振り返らずに、何か腹立たしさを押し殺したように、「奴はそこから動こうとしない」と答えた。

J'ai parlé plus fort. Alors sans se retourner, il m'a répondu avec une sorte de rage rentrée:
 «Il est toujours là».

「主語」「動詞句」「副詞句」
 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai parlé エイ・パル 1 単現・完了形(parler)v.i 話しかけた 「動詞句」
 plus fort. プリュ・フォル adv. もっと大きな声で 「副詞句」
 Alors アロー adv. すると 「副詞」
 sans se retourner, ソン・スルトウルネ adv.(sans+不定詞) 振り返らずに 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
 avec une sorte de アヴェ・エツキ・エヌ・ソルト・ドゥ adv. 一種の～のようなもので 「副詞句」
 rage rentrée: ラージュ・ロントレ n.f 隠された激怒 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

rage ラージュ n.f 激怒 rentrée ロントレ adj.f 隠された
 «Il est toujours là». イ・レ・トゥジュール・ラー n. 「奴はずっとそこに居る」 「直接目的語」

それから彼は犬を引っ張りながら立ち去ったが、犬は 4 本の足で立ったまま、引っ張られて、うなっていた。

Puis il est parti en tirant la bête qui se laissait traîner sur ses quatre pattes, et gémissait.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

est parti エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 立ち去った 「動詞句」

en tirant オン・チロン ジェロンディフ(tirer)v.t 引っ張りながら 「副詞句」

la bête ラ・ベート n.f 動物を、犬を 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se laissait traîner ス・レッセ・トレネ 3 単現・使役(se laisser+不定詞)

v.pr 引っ張られるままになっていた 「動詞句」

sur ses quatre pattes, シュール・セ・クアトル・パット

adv. 4 本の足で立って 「副詞句」

et エ conj. そして

gémissait. ジェミセ 3 単半(gémir)v.i 呻いていた 「動詞」

ちょうどこの時、同じ階に住むもう一人の隣人が入ってきた。

Juste à ce moment est entré mon deuxième voisin de palier. 「副詞句」「動詞句」「主語」

Juste à ce moment ジュスト・ア・ス・モモン adv. ちょうどこの時 「副詞句」

est entré エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

mon deuxième voisin モン・トゥワジエム・ヴァザン n.m もう一人の隣人が 「主語」

de palier. ドゥ・パリエ adj. 同じ階に住む 「形容詞句」

palier パリエ n.m (階段の) 踊り場

voisin de palier (マンションの踊り場を共有する) 隣人、同じ階の人

PREMIÈRE PARTIE 第1部

この界限の噂では、彼は複数の女によって生活しているということだ。しかし、僕が彼に職業を聞くと、倉庫の管理人であるという返事だった。

Dans le quartier, on dit qu'il vit des femmes. Quand on lui demande son métier, pourtant, il est «magasinier».

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Dans le quartier, トン・ルクワルチエ adv. この界限では 「副詞句」

quartier クワルチエ n.m 街、界限、地区

on オン pron (動詞は三人称単数形) (不特定の) 人々は 「主語」

dit ディ 3 単現(dire)v.t 言っている 「動詞」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

vit ヴィ 3 単現(vivre)v.i(de ～によって) 生活している 「動詞」

des femmes. デ・ファミ adv.(de les femmes) 複数の女によって 「副詞句」

Quand コン conj. ～した時 「副詞節」

on オン pron 僕が 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

demande ドゥマント 1 単現(demander)v.t 尋ねる 「動詞」

son métier, ソン・メチエ n.m 彼の職業を 「直接目的語」

pourtant, プルトン adv. しかしながら 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

«magasinier». マガジニエ n.m 倉庫係、倉庫の管理 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

概して彼は人からあまり好かれていない。しかし彼は僕にはよく話をする。そして時には僕の部屋でしばらく過ごすことがある。それは僕が彼の話聞いてやるからだ。僕は彼の話は面白いと思う。

En général, il n'est guère aimé. Mais il me parle souvent et quelquefois il passe un moment chez moi parce que je l'écoute. Je trouve que ce qu'il dit est intéressant.

「副詞句」「主語」「動詞句」 | Mais 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」

et 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」 | 「主語」「動詞」「目的語」

En général, オン・ジェネラル adv. 概して

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

n'est guère aimé. ネ・ゲール・エメ 3 単現・受動・否定(aimer+ne... guère)

v.t あまり好かれていない

「動詞句」

ne... guère ほとんど～ない、あまり～ない

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

parle パルル 3 単現(parler)v.i 話す

「動詞」

souvent スヴオン adv. よく、しばしば

「副詞」

et エ conj. そして

quelquefois ケルクワ adv. 時々、時には

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

passe パス 3 単現(passer)v.t (時を) 過ごす

「動詞」

un moment アン・モモン n.m しばらくの間

「目的語」

chez moi シェ・ムワ adv. 僕の部屋で

「副詞句」

parce que パルス・キ conj. ～なので、～だから

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

l'ル pron 彼の話

「目的語」

écoute. エクト 1 単現(écouter)v.t 聞く

「動詞」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

trouve トルーヴ 1 単現(trouver)v.t(que+直説法) (～である) 思う

「動詞」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

ce qu'il dit ス・キル・ディ pron 彼の言うことは、彼の話は

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

intéressant. アンテレサン adj. 面白い

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そもそも僕には、彼とは話さないという理由がない。彼の名前はレイモン・サンテスだ。

D'ailleurs, je n'ai aucune raison de ne pas lui parler. Il s'appelle Raymond Sintès.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

D'ailleurs, ダイエール adv. そもそも、もともと 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai ネ 1 単現・否定(avoir)v.t. ～がない 「動詞句」

aucune raison オキュヌ・レゾン n.f. どんな理由も～ない 「目的語」

de ne pas+不定詞 トゥ・ヌ・パ adj. ～しないという 「形容詞句」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

parler. パル 不定詞 v.i. 話しかける 「動詞」

Il イル pron 彼は 「主語」

s'appelle サール 3 単現(s'appeler)v.pr. ～という名前だ 「動詞句」

Raymond Sintès. レイモン・サンテス n. レイモン・サンテス 「補語」

彼は、肩幅が広くて鼻は潰れており、かなり背が低い。そして、いつもとてもきちんとした身なりをしている。

Il est assez petit, avec de larges épaules et un nez de boxeur. Il est toujours habillé très correctement.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i. ～である 「動詞」

assez petit, アッセ・プティ adj. かなり背が低い 「補語」

avec アヴェッキ adv. (容姿は) ～である 「副詞句」

de larges épaules トゥ・ラルジュ・セポール pl.n.f. 広い肩 「目的語」

et エ conj. そして

un nez de boxeur. アン・ネ・トゥ・ボクセル n.m. 潰れた鼻 「目的語」

boxeur ボクセル n.m. ボクサー → ボクサーの鼻はパンチで潰れているから

Il イル pron 彼は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i. ～である 「動詞」

toujours トウジュール adv. いつも 「副詞」

habillé アビエ adj. 服装をした 「補語」

très correctement. トレ・コレクトモン adv. とてもきちんとした 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

サラマノのことを話している時に、彼も「不幸なことじゃないか！」と僕に言った。あんなことを見ていてうんざりしないかと、尋ねられたが、僕は、そんなことはないと答えた。

Lui aussi m'a dit, en parlant de Salamano: «Si c'est pas malheureux!» Il m'a demandé si ça ne me dégoûtait pas et j'ai répondu que non.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Lui aussi リュイ・オン pron 彼も 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit, ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

en parlant de Salamano: オン・パ ルオン・トゥ・サラマノ

adv. サラマノのことを話している時に 「副詞句」

«Si シ conj. (事実の提示) ～である n. ～ということを 「直接目的語」

c'est pas セ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない 「動詞」

malheureux! マルルー adj. 不幸な 「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

ça サ pron それは 「主語」

ne ...dégoûtait pas ス...デグテ・パ 3 単半・否定(dégoûter)

v.t うんざりさせなかった 「動詞句」

me ム pron 僕を 「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai répondu エ・レポ ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

que non. ク・ノン pron 「いや」と 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕らは階段を上った。そして別れようという時に彼が言った：「俺の部屋に腸詰とワインがあるんだが、もしよかったら一緒に軽い食事をしませんか?...」

Nous sommes montés et j'allais le quitter quand il m'a dit: «J'ai chez moi du boudin et du vin. Si vous voulez manger un morceau avec moi?...»

| | |
|--|---------|
| 「主語」「動詞句」et「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞節」:「直接目的語」 | |
| Nous ヌ pron 僕らは | 「主語」 |
| sommes montés ソム・モンテ 1 複現・完了形(monter)v.i 上がった | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| allais +不定詞 アル 1 単現・近接未来(aller+不定詞)v. ~するところである | 「動詞句」 |
| le ル pron 彼と | 「目的語」 |
| quitter キテ 不定詞 v.t 別れる | 「動詞句」 |
| quand コン conj. その時~する | 「副詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «J' ジュ pron おれは~であるということを | 「直接目的語」 |
| ai エ 1 単現(avoir)v.t ある | 「動詞」 |
| chez moi シェ・ムわ adv. 俺の部屋に | 「副詞句」 |
| du boudin et du vin. ジュ・ブタン・エ・ジュ・ヴァン | |
| pl.n.m 腸詰とワイン | 「目的語」 |
| Si シ conj. もし~ならば | 「副詞節」 |
| vous ヴェ pron 君が「主語」 | |
| voulez manger ヴレ・モンジェ 2 複現・勧誘(vouloir+不定詞:二人称主語) | |
| v.t よろしければ食べませんか? | 「動詞句」 |
| un morceau アン・モルソ n.m 軽い食事を | 「目的語」 |
| avec moi?...» アヴェ・エッキ・ムわ adv. 一緒に | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はこれで自分で料理しなくて済むと思って、彼の申し出を受け入れた。彼のところも、窓のない台所がついた寝室が1つあるだけだった。

J'ai pensé que cela m'éviterait de faire ma cuisine et j'ai accepté. Lui aussi n'a qu'une chambre, avec une cuisine sans fenêtre.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser que+直説法)v.t ーだと思った 「動詞句」
 que ク conj. ーということを 「目的語」
 cela スラ pron このことは 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 éviterait エヴ・イトゥレ 条・3 単現(éviter de+不定詞)v.t ーしないようにする 「動詞」
 彼の誘いを受け入れたら (仮定)、料理をしなくてもよい (結果に対する話者の思い)
 de faire トゥ・フェール 不定詞 v.t ーすることを 「補語」
 ma cuisine マ・キュイジーヌ n.f 自分の料理を 「目的語」
 et エ conj. そして、それで
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai accepté. エ・アクセプテ 1 単現・完了形(accepter)v.t 申し出を受け入れた 「動詞句」
 Lui aussi リュイ・オン pron 彼も 「主語」
 n'a qu' ナ・ク 3 単現・否定(avoir+ne...que)v.t ーしかない 「動詞句」
 une chambre, ユヌ・シヨンプル n.f 寝室が1つ 「目的語」
 avec une cuisine アヴ・ェッキ・ユヌ・キュイジーヌ adv. 台所つきの 「副詞句」
 sans fenêtre. ヲン・フネートル adv. 窓なしで 「副詞句」

ベッドに面した壁の上のほうには、白とバラ色の漆喰の天使像とスポーツ選手の写真が数枚とヌード女性の写真が数枚飾られている。

Au-dessus de son lit, il a un ange en stuc blanc et rosé, des photos de champions et deux ou trois clichés de femmes nues. 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」, 「目的語」, 「目的語」

Au-dessus de son lit, オ・トゥ・ウシュ・トゥ・ソ・リ

adv. ベッドの上に、ベッドに面した壁の上のほうに 「副詞句」

ベッドの上に直接物が置かれている訳ではない

il a イ・ラ 3 単現(il y avoir)v.t ーがある 「動詞句」

Au-dessus de son lit が y の代わりに、文頭に置かれている

un ange アン・オンジュ n.m 天使 「目的語」

en stuc blanc et rosé, オン・スティッキ・ブロン・エ・ロゼ adj. 白とバラ色の漆喰の「形容詞句」

des photos デ・フォト pl.n.f 数枚の写真 「目的語」

de champions トゥ・シヨンプ・オン adj. 一流選手の「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

deux ou trois clichés トゥ・ウ・トルワ・クリシェ pl.n.m 二、三枚の写真

「目的語」

cliché クリシェ n.m 写真

de femmes nues. トゥ・ファム・ニュ adj. 女性ヌードの

「形容詞句」

nu ニュ adj. 裸の

部屋は汚く、ベッドは乱れたままだった。彼はまず石油ランプに火をつけた。それからポケットからかなり薄汚い包帯を取り出して、右手をくるんだ。

La chambre était sale et le lit défait. Il a d'abord allumé sa lampe à pétrole, puis il a sorti un pansement assez douteux de sa poche et a enveloppé sa main droite.

「主語」「動詞」「補語」et「主語」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」,
「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」et「動詞句」「目的語」

La chambre ラ・ションブル n.f 部屋は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

sale サル adj. 汚い

「補語」

et エ conj. そして

le lit ル・リ n.m ベッドは

「主語」

défait. テフエ adj. 乱れた、散らかった

「補語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a d'abord allumé ア・ダ・ボール・アリュメ 3 単現・完了形(allumer+ d'abord)

v.t (明かりを) まずつけた

「動詞句」

d'abord ダ・ボール adv. まず第一に allumer アリュメ v.t 火をつける、電気をつける

sa lampe à pétrole, サ・ロンフ・ア・ペ・トロール n.f 石油ランプを

「目的語」

puis ビュイ adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t 取り出した

「動詞句」

un pansement アン・ポンスモン n.m 包帯を

「目的語」

assez douteux アセ・トゥクトゥ adj. かなり薄汚い

「形容詞句」

de sa poche トゥ・サ・ポッシュ adv. ポケットから

「副詞句」

et エ conj. そして

a enveloppé ア・オンヴ・ロペ 3 単現・完了形(envelopper)v.t くるんだ、巻いた

「動詞句」

sa main droite. サ・マン・トルワット n.f 右手を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は彼にどうしたのかと尋ねた。彼は、言いがかりをつけてきた男と喧嘩したと答えた。

Je lui ai demandé ce qu'il avait. Il m'a dit qu'il avait eu une bagarre avec un type qui lui cherchait des histoires.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai demandé エ・ト・ウモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

ce ス pron ことを

「直接目的語」

qu'il avait. キ・ラヴ・エ(フエ) adj. 彼がした

「形容詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait eu アヴ・エ・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t あった、(行動を) した

「動詞句」

une bagarre ユンヌ・バ・ガール n.f けんか

「目的語」

avec un type アヴ・エツキ・アン・チップ adv. ある男と

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

cherchait シェルシェ 3 単半(chercher)v.t 挑発した

「動詞」

des histoires. デ・ジストワール

pl.n.f 言いがかりを

「直接目的語」

例: Il me cherche des histoires. 彼は私にけんかを吹っ掛ける。

「ねえ、ムルソーさん」と、彼は僕に言った。「俺は悪人じゃあないんだが、元気がよすぎるんだよ」

«Vous comprenez, monsieur Meursault, m'a-t-il dit, c'est pas que je suis méchant, mais je suis vif.

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」,

《「動詞句」「主語」 mais 「主語」「動詞」「補語」》

«Vous ウ pron 君は

「主語」

comprenez, コンプレネ 2 複現(comprendre)v.t わかる

「動詞」

「分るでしょう?」「ねえ」、肯定の返事を期待した「呼びかけ」

monsieur Meursault, ムシュ・ムルソー n.m ムルソーさん

「呼びかけ」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a-t... dit, ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|---------------|------------------|------|-------|
| c'est pas セ・パ | 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということ | | 「主語」 |
| je ジュ pron | 俺が | | 「主語」 |
| suis シュイ | 1 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| méchant, メシヨ | n.m | 悪人 | 「補語」 |
| mais メ conj. | そうではなくて | | |
| je ジュ pron | 俺は | | 「主語」 |
| suis シュイ | 1 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| vif. ヴイフ adj. | 活発な、元気がいい | | 「補語」 |

相手の野郎が、俺に言いやがった：「男なら、電車から降りろ」と。

L'autre, il m'a dit: «Descends du tram si tu es un homme.»

| | | | |
|-----------------|----------------------|---------------|-------------------------|
| | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| L'autre, ロートル | pron | 相手の野郎が | 「主語」 |
| il イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム | pron | 俺に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| «Descends デソ | 命・2 単現(descendre)v.i | 降りろ！... ということ | 「直接目的語」 |
| du tram ジュ・トラム | adv. | 電車から | 「副詞句」 |
| si シ conj. | もしなにならば | | 「副詞節」 |
| tu チュ | pron | お前が | 「主語」 |
| es エ | 2 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un homme. アン・ノム | n.m | 男 | 「補語」 |

俺は奴に「まあ、落ち着け」と言ってやったんだ。すると俺は男じゃないと言ったんだ。

Je lui ai dit: «Allez, reste tranquille.» II m'a dit que je n'étais pas un homme.

| | | | |
|-------------------|------------------------|-------------|-------------------------|
| | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Je ジュ | pron | 俺は | 「主語」 |
| lui リュイ | pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit: エ・ディ | 1 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| «Allez, アレ | 命・2 複現・呼びかけ(aller)adv. | まあ... ということ | 「直接目的語」 |
| reste レストゥ | 命・2 単現(rester)v.i | ～のままでいる | 「動詞」 |
| tranquille. トロンキル | adj. | 穏やかな | 「補語」 |
| II イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム | pron | 俺に | 「間接目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---------------------------------------|---------|
| a dit: ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～とということ | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ～でない | 「動詞」 |
| un homme. アン・ノム n.m 男 | 「補語」 |

「それで、俺は降りて、奴に言ってやった。もう止めておけ、そのほうがいい。そうしないなら、俺がお前の頭を冷やしてやる」

Alors je suis descendu et je lui ai dit: «Assez, ça vaut mieux, ou je vais te mûrir.»

《「副詞」「主語」「動詞句」et「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

| | |
|--|---------|
| Alors アー adv. それで | 「副詞」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| suis descendu シュイ・テソジ 1 単現・完了形(descendre)v.i 降りた | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit: エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| n. ～とということ | 「直接目的語」 |
| «Assez, アセ adv. もう十分だ、もう止めておけ | 「呼びかけ」 |
| ça サ pron これは | 「主語」 |
| vaut ヴォ 3 単現(valoir)v.i 価値がある | 「動詞」 |
| mieux, ミュー adv. よりよい | 「補語」 |
| ça vaut mieux 「そのほうがいい」 ça vaudrait mieux 「そのほうがいいだろう」 | |
| ou ウ conj. さもないと | |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| vais ...mûrir.» ヴェ...ムリール 1 単現・近接未来(aller+不定詞) | |
| v.t じっくり考えさせてやる、頭を冷やしてやる | 「動詞句」 |
| te ト pron お前を | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

奴が「なんだと？」と答えたから、俺は1発お見舞いしてやった。奴は倒れてしまった。

Il m'a répondu: «De quoi?» Alors je lui en ai donné un. Il est tombé.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「副詞」「主語」「間接目的語」「副詞」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」

Il イル pron 奴は 「主語」

m' ム pron 俺に 「間接目的語」

a répondu: ア・レポ・ンデュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

n. 「直接目的語」

«De quoi?» トゥ・クワ adv. なんだと? 「応答」

Alors アロー adv. それで 「副詞」

je ジュ pron 俺は 「主語」

lui リュイ pron 奴に 「間接目的語」

en オン adv. 奴に 「副詞」

ai donné エ・トネ 1 単現・完了形(donner)v.t 与えた 「動詞句」

un. アン pron 一発を 「直接目的語」

Il イル pron 奴は 「主語」

est tombé. エ・トンベ 3 単現・完了形(tomber)v.i 倒れた 「動詞句」

俺は奴を起こそうとしたんだが、奴は寝転がったままで、俺に蹴りを入れてきた。

Moi, j'allais le relever. Mais il m'a donné des coups de pied de par terre.

「主語」「動詞句」「目的語」

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

Moi, j' ム・ワ・ジュ pron 俺は 「主語」

allais ...relever. アレ...ルルヴァエ 1 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.t 起こそうとした 「動詞句」

le ル pron 奴を 「目的語」

Mais メ conj. だが

il イル pron 奴は 「主語」

m' ム pron 俺に 「間接目的語」

a donné ア・トネ 3 単現・完了形(donner)v.t よこした、食らわせた 「動詞句」

des coups テ・ケー pl.n.m 打撃を 「直接目的語」

de pied トゥ・ピエ adj. 足の 「形容詞句」

de par terre. トゥ・パール・テル adv. 寝転がったままで 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それで俺は、奴に膝蹴りを1発と顔面にパンチを2発食らわしてやった。奴の顔は血まみれになった。

Alors je lui ai donné un coup de genou et deux taquets. Il avait la figure en sang.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Alors アー adv. それで 「副詞」
 je ジュ pron 俺は 「主語」
 lui リュイ pron 奴に 「間接目的語」
 ai donné エ・ドネ 1 単現・完了形(donner)v.t 与えた、おみまいした 「動詞句」
 un coup アン・クー n.m 一撃を 「直接目的語」
 de genou トゥ・ジュヌー adj. 膝の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 deux taquets. トゥ・タケ pl.n.m (俗・古風) 顔面への殴打、パンチを2発 「直接目的語」
 Il イル pron 奴は 「主語」
 avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (ある状態に) なった 「動詞」
 la figure ラ・フィギュール n.f 顔 「目的語」
 en sang. オン・ソン adv. 血まみれの 「補語」

俺は奴に、気が済んだかと訊いた。

Je lui ai demandé s'il avait son compte. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 俺は 「主語」
 lui リュイ pron 奴に 「間接目的語」
 ai demandé エ・ドゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 訊いた 「動詞句」
 s' シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 il イル pron 奴が 「主語」
 avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t 取った 「動詞」
 son compte. ソン・コント n.m 自分の取り分を、利益を 「目的語」
 → 満足したかどうかということ

奴は俺に、「ああ」と言いやがった。この話の間じゅう、サンテスは包帯を直していた。

Il m'a dit: «Oui». Pendant tout ce temps, Sintès arrangeait son pansement.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Il イル pron 奴は 「主語」
 m' ム pron 俺に 「間接目的語」
 a dit: ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Oui». ウー adv. ああ 「直接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

Pendant tout ce temps, ポント・トゥ・ストン adv. この話の間中 「副詞句」
 Sintès サンテス n.m サンテスは 「主語」
 arrangeait アロンジエ 3 単半(arranger)v.t 直していた 「動詞」
 son pansement. ソン・ポンスモン n.m 包帯を 「目的語」

僕はベッドに座っていた。彼は僕に言った：

J'étais assis sur le lit. Il m'a dit: 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エ 1 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 assis アシ adj. 座っている 「補語」
 sur le lit. シュール・ル・リ adv. ベッドの上に 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit: ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

「ねえ、分るでしょう？俺が喧嘩を売った訳じゃあない。喧嘩を売る相手を間違えたのは、奴なんだ」

«Vous voyez que je ne l'ai pas cherché. C'est lui qui m'a manqué.»

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「補語」「主語」》

«Vous ヴ pron あんたは 「主語」
 voyez ヴァワイ 2 複現・確認(voir)v.t 分かるだろう 「動詞」
 que ク conj. 〜ということを 「目的語」
 je ジュ pron 俺は 「主語」
 ne ...ai pas cherché. ス...エ・パ・シエルシエ 1 単現・完了形・否定(chercher)
 v.t 挑発しなかった 「動詞句」
 chercher シエルシエ v.t を挑発する、を怒らせる
 l' ル pron 奴を 「目的語」
 C' ス pron 仮の主語（真の主語は qui 以降）強調構文
 est エ 3 単半(être)v.i 〜である 「動詞」
 lui リュイ pron 奴 「補語」
 qui キ pron （主語）〜する人は 「主語」
 m' ム pron 俺を 「目的語」
 a manqué. ア・モンケ 3 単現・完了形(manquer)v.t 見損なった 「動詞句」
 → 喧嘩を売る相手を間違えた

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それは確かだ。僕は彼の言い分を認めた。

C'était vrai et je l'ai reconnu. 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」
 C' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 vrai ヴレ adj. 本当の、正しい 「補語」
 et エ そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼のいうことを 「目的語」
 ai reconnu. エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 認めた 「動詞句」

すると彼は僕に、丁度この件で相談したかったのだと言った。そしてその理由として、僕が人生というものをわきまえた男なので、彼の力になることが出来るし、そうしたら彼は僕の親友になるだろうと言うのだった。

Alors il m'a déclaré que, justement, il voulait me demander un conseil au sujet de cette affaire, que moi, j'étais un homme, je connaissais la vie, que je pouvais l'aider et qu'ensuite il serait mon copain.

「副詞」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」
 「直接目的語」, 「直接目的語」, 「直接目的語」 et 「直接目的語」
 Alors アロー adv. すると 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a déclaré ア・デクラレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った 「動詞句」
 que, ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 justement, ジュストゥメン adv. ちょうど、まさに 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 voulait ...demander ヴレ...トゥモンデ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)
 v.t 頼みたかった 「動詞句」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 un conseil アン・ CONSEIL n.m アドバイスを、助言を 「直接目的語」
 au sujet de cette affaire, オ・シュジェ・トゥ・セツト・アフエル
 adv. この件に関して 「副詞句」
 que ク conj. (頼んだ理由) ～ということ 「直接目的語」
 moi, j' ムわ・ジュ pron 僕が 「主語」
 étais エ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 un homme, アン・ノム n.m 男 「補語」
 je ジュ pron (主語) ～する 「形容詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|---|-----------------|---------|
| connaissais コレ 1 単半(connaître)v.t | 知っている | 「動詞」 |
| la vie, ラ・ヴィー n.f | 人生というものを | 「目的語」 |
| que ク conj. | (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| pouvais ...aider プゥヴェ...エデ 1 単半・可能・時制の一致(pouvoir+不定詞) | | |
| v.t | 手助けができる | 「動詞句」 |
| l'ル pron | 彼を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| qu' ク conj. | (頼んだ理由) ～ということを | 「直接目的語」 |
| ensuite オンシュイト adv. | それから、その後に | 「副詞」 |
| il イル pron | 彼が | 「主語」 |
| serait スレ 条・3 単現(être)v.i | (話者の考え) ～になるだろう | 「動詞」 |
| mon copain. モン・コパン n.m | 僕の親友 | 「補語」 |

僕が何も言わないでいると、彼はさらに、自分と親友になりたいかどうかを尋ねてきた。

| | | |
|---|-------------|---------|
| <u>Je n'ai rien dit et il m'a demandé encore si je voulais être son copain.</u> | | |
| 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」et「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | | |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'ai ...dit ネ...ディ 1 単現・完了形・否定(decir)v.t | 言わなかった | 「動詞句」 |
| rien リャン pron | 何も～ない | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. | さらに | 「副詞」 |
| si シ conj. | ～かどうかということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| voulais être ヴレ・ゼートル 1 単現・願望(vouloir+不定詞) | | |
| v.i | ～になりたい | 「動詞句」 |
| son copain. ソン・コパン n.m | 彼の親友 | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、それはどちらでもいいと言った。彼は満足した様子だった。彼は腸詰をいくらか取り出して、それをフライパンで炒めた。それから彼は、グラスと皿にナイフとフォーク、そしてワインを2本並べた。

J'ai dit que ça m'était égal: il a eu l'air content. Il a sorti du boudin, il l'a fait cuire à la poêle, et il a installé des verres, des assiettes, des couverts et deux bouteilles de vin.

「主語」「動詞句」「目的語」: 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | |
|-------------------------------------|--|---------|
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ | 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| ça サ pron | それは | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕にとって | 「間接目的語」 |
| était エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| égal: エガル adj. | 等しい、どちらでもよい | 「補語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a eu ア・イ | 3 単現・完了形(avoir)v.t (心身の状態) ～した、～だった | 「動詞句」 |
| l'air content. レール・コントソ n.m | 満足した様子 | 「目的語」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a sorti ア・ソルティ | 3 単現・完了形(sortir)v.t 取り出した | 「動詞句」 |
| du boudin, ジュ・ブダソ n.m | 腸詰をいくらか | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| l' ル pron | それを | 「目的語」 |
| a fait cuire ア・フェ・キューール | 3 単現・完了形(faire cuire v.i 焼く、煮る)v.i 炒めた | 「動詞句」 |
| à la poêle, ア・ラ・プ・ワール adv. | フライパンで | 「副詞句」 |
| et エ conj. | それから | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a installé ア・アンスタレ | 3 単現・完了形(installer)v.t 設置した、並べた | 「動詞句」 |
| des verres, テ・ヴァール pl.n.m | グラスを | 「目的語」 |
| des assiettes, テ・ザシエット pl.n.f | 皿を | 「目的語」 |
| des couverts テ・クヴァール テ・クヴァール pl.n.m | ナイフとフォークを | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| deux bouteilles トゥ・ブティユ pl.n.f | 2 本を | 「目的語」 |
| de vin. トゥ・ヴァイン adj. | ワインの | 「形容詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

こうしているあいだ無言だった。食べながら、彼は自分の話を語り始めた。

Tout cela en silence. Puis nous nous sommes installés. En mangeant, il a commencé à me raconter son histoire.

「主語」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Tout cela トゥ・スラ pron これらはすべて 「主語」

en silence. オン・シロンス adv. 無言で 「副詞句」

Puis ビュイ adv. それから 「副詞」

nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

nous sommes installés. ヌ・スム・ザンスアレ 1 複現・完了形(s'installer)

v.pr 席についた 「動詞句」

En mangeant, オン・モンジョ ン ジェルンディオ(manger)v.t 食べながら 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

a commencé à +不定詞 ア・コモンセ・ア 3 単現・完了形・開始(commencer à+不定詞)

v. ～を始めた 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

raconter ラコンテ 不定詞 v.t 語る 「動詞句」

son histoire. ソン・イストワール n.f 自分の話を 「直接目的語」

彼は最初はためらいがちに話し始めた。「付き合っている女がいるんだ... 言ってみれば、愛人ってとこかな」

Il hésitait d'abord un peu. «J'ai connu une dame... c'était pour autant dire ma maîtresse.»

「主語」「動詞」「副詞句」

《「主語」「動詞句」「目的語」... 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」》

Il イル pron 彼は 「主語」

hésitait エジテ 3 単半(hésiter)v.i ためらっていた 「動詞」

d'abord ダボール adv. 最初は 「副詞句」

un peu. アン・プ adv. 少し 「副詞句」

«J' ジュ pron 俺は 「主語」

ai connu エ・コニュ 1 単現・完了形(connaitre)v.t ～と知り合いだ、付き合っている 「動詞句」

une dame... エヌ・ダム n.f 1 人の女 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

pour autant dire プール・オートン・ディール adv. 言ってみれば、いわば 「副詞句」

ma maîtresse. マ・メレス n.f(新つづり maitresse) 愛人 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼が喧嘩した相手の男は、その女の兄弟だった。彼は自分が女を養ってきたと言った。

L'homme avec qui il s'était battu était le frère de cette femme. Il m'a dit qu'il l'avait entretenu. 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

L'homme ム pron その男は 「主語」

avec qui アヴェ・ェツ・キ pron (目的語) に～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

s'était battu セテ・バチュ 3 単半・完了形(se battre)

v.pr 互いに殴り合った 「動詞句」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

le frère ル・フレール n.m 兄弟 「補語」

de cette femme. トゥ・セツ・ファミ adj. この女の 「形容詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

l' ラ pron その女を 「目的語」

過去分詞 entretenu が女性形 -e になっているため

avait entretenu アヴェ・エ・オトルウニユ 3 単半・完了形.f(entretenir)

v.t 養ってきた 「動詞句」

僕は何も答えなかったが、彼はすぐに付け加えた。自分は限界で言われていることは知っているが、女に対しては良心に恥じることはない、そして倉庫係をしていると。

Je n'ai rien répondu et pourtant il a ajouté tout de suite qu'il savait ce qu'on disait dans le quartier, mais qu'il avait sa conscience pour lui et qu'il était magasinier.

「主語」「動詞句」「目的語」 et

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 mais 「目的語」 et 「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai ...répondu ネ...レボンデュ 1 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった 「動詞句」

rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」

et エ conj. そして

pourtant プールトン adv. けれども 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

a ajouté ア・アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞句」

tout de suite トゥ・トゥ・スイット adv. すぐに 「副詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--------------------------------------|-------|
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| savait サヴェ 3 単半(savoir)v.t 知っている | 「動詞」 |
| ce qu' スク pron ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron (動詞は三人称単数形) 人々が | 「主語」 |
| disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言っている | 「動詞」 |
| dans le quartier, トン・ルクワルチエ adv. 境界で | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| qu' ク pron ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| sa conscience サ・コンシヤンス n.f 良心が | 「目的語」 |
| pour lui プール・リュイ adv. 彼女に対する | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク pron ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| magasinier. マガジニエ n.m 倉庫係 | 「補語」 |

「話を戻すと」と、彼は僕に言った。「俺は、騙されていることに気が付いたんだ」

«Pour en venir à mon histoire, m'a-t-il dit, je me suis aperçu qu'il y avait de la tromperie.»

| | |
|--|---------|
| 《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「主語」「動詞句」「目的語」》 | |
| «Pour en venir プール・オン・ヴニール adv.(à) ～に戻ると、戻すと | 「副詞句」 |
| à mon histoire, ア・モン・イストワール adv. 自分の話に | 「間接目的語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a... dit, ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| me suis aperçu ム・シュイ・アペルジュ 1 単現・完了形(s'apercevoir)v.pr 気づいた | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t あった | 「動詞句」 |
| de la tromperie.» ト・ラ・トロンプリー n.f ごまかし、欺瞞 | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は生活するのに必要な分だけ女に与えていた。彼は女の部屋の家賃を彼自身で払ってやっていたし、食費として1日あたり20フランを女に与えていたと言うのだ。

Il lui donnait juste de quoi vivre. Il payait lui-même le loyer de sa chambre et il lui donnait vingt francs par jour pour la nourriture.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

et 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

| | | | | | |
|---------------------|--------------|-----------------|-----------|--|---------|
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | 女に | | 「間接目的語」 |
| donnait | ドネ | 3 単半(donner)v.t | 与えていた | | 「動詞」 |
| juste | ジュスト | adv. | ちょうど | | 「副詞句」 |
| de quoi vivre. | ドゥ・クワ・ヴィーヴル | adv. | 生活するのに必要な | | 「副詞句」 |
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| payait | ペイ | 3 単半(payer)v.t | 支払っていた | | 「動詞」 |
| lui-même | リュイ・メーム | pron | 彼自身で | | 「副詞句」 |
| le loyer | ル・ルワイ | n.m | 家賃を | | 「目的語」 |
| de sa chambre | ドゥ・サ・ションブル | adj. | 女の部屋の | | 「形容詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | 女に | | 「間接目的語」 |
| donnait | ドネ | 3 単半(donner)v.t | 与えていた | | 「動詞」 |
| vingt francs | ヴァン・フロン | pl.n.m | 20 フラン | | 「直接目的語」 |
| par jour | パール・ジュール | adv. | 1 日あたり | | 「副詞句」 |
| pour la nourriture. | プール・ラ・ヌリチュール | adv. | 食費として | | 「副詞句」 |

「部屋代が300フラン、食費が600フラン、時には靴下を1足買ってやったりもする。それで、毎月1000フランになる。ところが、女は働かない」

«Trois cents francs de chambre, six cents francs de nourriture, une paire de bas de temps en temps, ça faisait mille francs. Et madame ne travaillait pas.

《「目的語」, 「目的語」, 「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」 | Et 「主語」「動詞句」》

| | | | | | |
|---------------------|--------------|--------|-------------|--|-------|
| «Trois cents francs | トルワ・ツン・フロン | pl.n.m | 300 フラン | | 「目的語」 |
| de chambre, | ドゥ・ションブル | adv. | 部屋代として | | 「副詞句」 |
| six cents francs | シ・ツン・フロン | pl.n.m | 600 フラン | | 「目的語」 |
| de nourriture, | ドゥ・ヌリチュール | adv. | 食費として | | 「副詞句」 |
| une paire de bas | ユヌ・ペール・ドゥ・バー | n.f | 靴下を1足 | | 「目的語」 |
| de temps en temps, | ドゥ・トン・ゾン・トン | adv. | 時折、ときどき、時には | | 「副詞句」 |
| ça | サ | pron | それは | | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| faisait フェ 3 単半(faire)v.t (値段が・計算が) ~になる | 「動詞」 |
| mille francs. ミル・フロン pl.n.m 1000 フラン | 「目的語」 |
| Et エ conj. そして | |
| madame マダム n.f 女は | 「主語」 |
| ne travaillait pas. ノトラヴァイエ・パ 3 単半・否定(travailler)v.i 働かない | 「動詞句」 |

だがあの女は、俺が渡す金ではなんとか生活するのがやっとだと言いやがる。

Mais elle me disait que c'était juste, qu'elle n'arrivait pas avec ce que je lui donnais.

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

| | |
|--|---------|
| Mais メ conj. しかし | |
| elle エル pron 女は | 「主語」 |
| me ム pron 俺に | 「間接目的語」 |
| disait デイェ 3 単半(dire)v.t 言う | 「動詞」 |
| que ク conj. ~ということ | 「直接目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| juste, ジュスト adv. ぎりぎりの | 「補語」 |
| qu' ク conj. ~するために | 「副詞節」 |
| elle エル pron 女が | 「主語」 |
| n'arrivait pas ナリヴェ・パ 3 単半・虚辞の否定(arriver à+不定詞・省略) | |
| v.t なんとか生活できる | 「動詞句」 |
| avec ce que je lui donnais. アヴェ エッキ・ス・ク・ジュ・リュイ・トネ | |
| adv. 俺が渡す金では | 「副詞句」 |
| juste は否定的な内容を表しているが、虚辞の ne...pas を加えて強調している | |

けれども俺はいつも女に言っていたんだ。「どうして、半日でも働こうとしないんだ？お前がそうすれば、あれやこれや細々したことについて随分楽になるんだ」

Pourtant, je lui disais : «Pourquoi tu travailles pas une demi-journée? Tu me soulagerais bien pour toutes ces petites choses.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」:

《「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」》

| | |
|---------------------------------------|---------|
| Pourtant, プールトン adv. しかし、けれども | 「副詞」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 女に | 「間接目的語」 |
| disais: デイェ 1 単半・習慣(dire)v.t いつも言っていた | 「動詞」 |
| «Pourquoi プルクァ adv. どうして | 「副詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| tu チュ pron お前は | 「主語」 |
| travailles pas トラヴァイユ・パ 2 単現・否定(travailler)v.i 働かない | 「動詞句」 |
| une demi-journée? エヌ・ドミ・ジュルネ adv. ほんの半日 | 「副詞句」 |
| Tu チュ pron お前は | 「主語」 |
| me ム pron 俺を | 「目的語」 |
| soulagerais スラジユレ 条・2 単現(soulager)v.t 楽にするだろうに | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. 大いに | 「副詞」 |
| pour toutes ces petites choses. プール・トゥット・セ・プティ・ショーズ adv. あれやこれや細々したことについて | 「副詞句」 |

「俺は今月だって、お前にアンサンブルを1着かってやったし、お前には1日に20フラン
ずつやっている上に、家賃も払ってやっているんだ。それなのにお前ときたら、働きもしな
いで、午後には友達をコーヒーを飲んでいる。」

Je t'ai acheté un ensemble ce mois-ci, je te paye vingt francs par jour, je te paye le loyer
et toi, tu prends le café l'après-midi avec tes amies.

《「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

| | |
|--|---------|
| Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| t' トゥ pron お前に | 「間接目的語」 |
| ai acheté エ・アシュテ 1 単現・完了形(acheter)v.t 買ってやった | 「動詞句」 |
| un ensemble アン・オンソブル n.m アンサンブル (一揃いの婦人服) | 「直接目的語」 |
| ce mois-ci, ス・ムわ・シ adv. 今月は | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| te トゥ pron お前に | 「間接目的語」 |
| paye ペイ 1 単現(payer)v.t 払っている | 「動詞」 |
| vingt francs ヴァン・フロン pl.n.m 20 フラン | 「直接目的語」 |
| par jour, パール・ジュール adv. 1 日について | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| te トゥ pron お前に | 「間接目的語」 |
| paye ペイ 1 単現(payer)v.t 払っている | 「動詞」 |
| le loyer ルルワイ n.m 家賃を | 「直接目的語」 |
| et エ conj. それなのに | |
| toi, tu ツわ・チュ pron お前ときたら | 「主語」 |
| prends プロン 2 単現(prendre)v.t 飲んでいる | 「動詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-----------------------------------|-------|-------|
| le café ル・キャフェ n.m | コーヒーを | 「目的語」 |
| l'après-midi ラプレ・ミティ adv. | 午後には | 「副詞句」 |
| avec tes amies. アヴェ・エッキ・テ・サミ adv. | 友達と | 「副詞句」 |

「お前は友達のコffeeと砂糖の分も払ってやっている。だがそれは、俺がお前にやった金だ。俺はお前には随分よくしてやったというのに、お前はその恩を仇で返すというのか？」

Tu leur donnes le café et le sucre. Moi, je te donne l'argent. J'ai bien agi avec toi et tu me le rends mal.»

《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | 「主語」「動詞」「間接目的語」

et 「主語」「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞」》

| | | |
|---|-------------|---------|
| Tu チュ pron | お前は | 「主語」 |
| leur レール pron.pl | 友達に | 「間接目的語」 |
| donnes トヌ 2 単現(donner)v.t | 支払ってやっている | 「動詞」 |
| le café et le sucre. ル・カフェ・エ・ル・シュクル pl.n.m | コーヒーと砂糖の代金を | 「直接目的語」 |
| Moi, je ムワ・ジュ pron | 俺は | 「主語」 |
| te トゥ pron | お前に | 「間接目的語」 |
| donne トヌ 1 単現(donner)v.t | 渡している | 「動詞」 |
| l'argent. ラルジョン n.m | その金を | 「直接目的語」 |
| J' ジュ pron | 俺は | 「主語」 |
| ai bien agi エ・ビヤン・アジ 1 単現・完了形(agir+bien)v.i(avec に) | よくしてやった | 「動詞句」 |
| avec toi アヴェ・エッキ・トウリ adv. | お前には | 「間接目的語」 |
| et エ conj. | それで | |
| tu チュ pron | お前は | 「主語」 |
| me ム pron | 俺に | 「間接目的語」 |
| le ル pron | その恩を | 「直接目的語」 |
| rends ロン 2 単現(rendre)v.t | 返す | 「動詞」 |
| mal. マル adv. | 悪く | 「副詞」 |
| rendre le mal pour le bien 「恩を仇で返す」 | | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「しかし女は働きもせずに、やっていけないとばかり言っていた。こんな風にして、俺はごまかされていたことに気が付いたんだ」

Mais elle ne travaillait pas, elle disait toujours qu'elle n'arrivait pas et c'est comme ça que je me suis aperçu qu'il y avait de la tromperie.»

《Mais 「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」
et 「動詞」「副詞句」「主語」》

Mais メ conj. しかし
elle エル pron 女は 「主語」
ne travaillait pas, ヌ・トラヴァイエ・パ° 3 単半・否定(travailler)v.i 働かなかった 「動詞句」
elle エル pron 女は 「主語」
disait デイゼ° 3 単半・習慣(dire)v.t 言っていた 「動詞」
toujours トウジュール adv. いつも 「副詞」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
elle エル pron 自分は 「主語」
n'arrivait pas ナリヴェ・パ° 3 単半・否定(arriver)v.i やっていけない 「動詞句」
et エ conj. そして
c' ス pron 強調構文
est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
comme ça コム・サ adv. このようにして 「副詞句」
que ク conj. ～ということは 「主語」
je ジュ pron 俺が 「主語」
me suis aperçu ム・シュイ・アペルジュ 1 単現・完了形(s'apercevoir)v.pr 気づいた 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
il y avait イ・リ・アヴェ° 3 単半(il y avoir)v.t ～があった 「動詞句」
de la tromperie.» トゥ・ラ・トロンプリー n.f ごまかし、欺瞞 「目的語」

それから彼の話によると、彼は女のハンドバッグの中から宝くじの券を見つけたことがあったが、女はどうやってそれを買ったのかを彼に説明できなかったというのだ。

Il m'a alors raconté qu'il avait trouvé un billet de loterie dans son sac et qu'elle n'avait pas pu lui expliquer comment elle l'avait acheté.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a alors raconté ア・アロー・ラコンテ 3 単現・完了形(raconter+alors)
v.t それから語った 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait trouvé アヴェ・トルヴェ 3 単半・完了形(trouver) | |
| v.t 見つけたことがあった | 「動詞句」 |
| un billet de loterie アン・ビェ・トゥ・ロタリー n.m 宝くじの券を | 「目的語」 |
| dans son sac ドン・ツン・サッキ adv. 女のハンドバッグの中から | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| n'avait pas pu ...expliquer ナヴェ・パ・ピュ...エクスプリケ 3 単半・完了形・可能・否定 | |
| (pouvoir+不定詞)v.t 説明できなかった | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| comment コモン conj. どうやって～したかということを | 「直接目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| l' ル pron.m その宝くじを | 「目的語」 |
| avait acheté. アヴェ・アシェテ 3 単半・完了形.m(acheter) | |
| v.t 買った | 「動詞句」 |

少し後で、彼は女の部屋で質屋の預かり証を見つけたことがあった。それは女がブレスレットを2つ質に入れていたことを示していた。

Un peu plus tard, il avait trouvé chez elle «une indication» du mont-de-piété qui prouvait qu'elle avait engagé deux bracelets.

| | |
|---|--------------------------------|
| | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「形容詞節」 |
| Un peu plus tard, アン・プ・ブリュ・タル adv. 少し後に | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait trouvé アヴェ・トルヴェ 3 単半・完了形(trouver) | |
| v.t 見つけたことがあった | 「動詞句」 |
| chez elle シェ・エル adv. 女の部屋で | 「副詞句」 |
| «une indication» エヌ・アンデ・イカシオン n.f 質札、預かり証、標示を | 「目的語」 |
| du mont-de-piété シュ・モン・トゥ・ピエテ adj. 公営質屋の | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| prouvait プルヴェ 3 単半(prouver)v.t 表していた、証明していた | 「動詞」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron 女は | 「主語」 |
| avait engagé アヴェ・オガジェ 3 単半・完了形(engager) | |
| v.t 質に入れていた | 「動詞句」 |
| deux bracelets. トゥ・ブラス pl.n.m ブレスレットを2つ | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それまで彼は、そんなブレスレットがあることを知らなかった。「俺は騙されていることがよく分かったよ」

Jusque-là il ignorait l'existence de ces bracelets. «J'ai bien vu qu'il y avait de la tromperie.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 | 《「主語」「動詞句」「目的語」》

Jusque-là ジュスキ・ラー adv. それまで 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

ignorait イノレ 3 単半(ignorer)v.t 知らなかった 「動詞」

l'existence レグジストス n.f 存在を 「目的語」

de ces bracelets. トゥ・セ・ブラスレ adj. これらのブレスレットの 「形容詞句」

«J' ジュ pron 俺は 「主語」

ai bien vu エ・ビヤン・ヴェ 1 単現・完了形(voir+bien)v.t よく分かった 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t ～があった 「動詞句」

de la tromperie. トゥ・ラ・トロンプリー n.f ごまかし、欺瞞 「目的語」

「それで俺は女と別れた。しかしまず女を殴った。それから女の正体を暴いてやった。」

Alors, je l'ai quittée. Mais d'abord, je l'ai tapée. Et puis, je lui ai dit ses vérités.

《「副詞」「主語」「目的語」「動詞句」 | Mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Et 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」》

Alors, アー adv. それで 「副詞」

je ジュ pron 俺は 「主語」

l' ラ pron 女と 「目的語」

ai quittée. エ・キテ 1 単現・完了形.f(quitter)v.t 別れた 「動詞句」

Mais メ conj. しかし

d'abord, ダ・ボーレ adv. まず、まず第一に 「副詞句」

je ジュ pron 俺は 「主語」

l' ラ pron 女を 「目的語」

ai tapée. エ・タペ 1 単現・完了形.f(taper)v.t 叩いた、殴った 「動詞句」

Et エ conj. そして

puis, ピュイ adv. それから 「副詞」

je ジュ pron 俺は 「主語」

lui リュイ pron 女に 「間接目的語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

ses vérités. セ・ヴェリテ pl.n.f 女の真実を 「直接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「俺は女に言ってやった、お前は自分のもので楽しむことが全てだと。」

Je lui ai dit que tout ce qu'elle voulait, c'était s'amuser avec sa chose.

《「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」》

Je ジュ pron 俺は 「主語」
 lui リュイ pron 女に 「間接目的語」
 ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 tout ce ト・ス pron すべてのことは 「主語」
 qu'elle voulait, ケル・ヴレ adj. 女が望む 「形容詞節」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～である 「動詞」
 s'amuser サミゼ 不定詞 v.pr 楽しむこと 「補語」
 avec sa chose. アヴェ・エッキ・サ・ショーズ adv. 自分のもので 「間接目的語」

「俺があんな女になんて言ったか、分るでしょう？ムルソーさん」

Comme je lui ai dit, vous comprenez, monsieur Meursault:

《「目的語」「主語」「動詞」「呼びかけ」:》

Comme コム conj. どのように～したかということ 「目的語」
 je ジュ pron 俺が 「主語」
 lui リュイ pron 女に 「間接目的語」
 ai dit, エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 vous ヴ pron 君は 「主語」
 comprenez, コンプ・ルネ 2 単現(comprendre)
 v.t (同意を期待する確認) 分かる (でしょう?) 「動詞」
 monsieur Meursault: ムシュ・ムルソー n.m ムルソーさん 「呼びかけ」

「俺がお前を幸せにしていることを、世間ではねたんでいるのを知らないのか？後になれば、今が幸せだったと気付くことになるぞ」

“Tu ne vois pas que le monde il est jaloux du bonheur que je te donne. Tu connaîtras plus tard le bonheur que tu avais.” »

《“「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」”》

“Tu チュ pron お前は 「主語」
 ne vois pas ヌ・ヴ・ワ・パ 2 単現・否定(voir)v.t 分かっていない 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 le monde ル・モンﾄ n.m 世間の人は 「主語」
 il イル pron 彼は 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|------------------------------------|-------------|--------|
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| jaloux ジャルー adj.(de を) | ねたんでいる | 「補語」 |
| du bonheur ジュ・ボネール n.m | 幸福を | 「副詞句」 |
| que je te donne. ク・ジュ・トゥ・ドネ | | |
| adj. | 俺がお前に与えている | 「形容詞句」 |
| Tu チュ pron | お前は | 「主語」 |
| connaîtras コネトラ 2 単末(connaître)v.t | 知るだろう | 「動詞」 |
| plus tard プリュ・タル adv. | 後に、後になって | 「副詞句」 |
| le bonheur ル・ボネール n.m | 幸福を | 「目的語」 |
| que tu avais.” » ク・チュ・アヴィエ adj. | お前はかつて持っていた | 「形容詞句」 |

彼は血が出るまで女を殴った。それまで、女を殴ったことはなかった。

Il l'avait battue jusqu'au sang. Auparavant, il ne la battait pas.

| | |
|--|-------------------------|
| 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| l' ラ pron 女を | 「目的語」 |
| avait battu アヴ ^ェ ・ハ ^{チュ} 3 単半・完了形.f(battre)v.t 殴った | 「動詞句」 |
| jusqu'au sang. ジュスコ・ソソ adv. 血のでるまで | 「副詞句」 |
| Auparavant, わ ^{ラヴ} オン adv. 以前は、それまでは | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| ne ...battait pas. ス...バ ^テ ・ハ [°] 3 単半・否定・習慣(battre)v.t 殴ったことはなかった | 「動詞句」 |
| la ラ pron 女を | 「目的語」 |

「俺は女を叩くことはあったが、言ってみれば撫でる程度だ。奴は少し悲鳴を上げた。俺は窓の鎧戸を閉めた、これでいつも通り終わりだ」

«Je la tapais, mais tendrement pour ainsi dire. Elle criait un peu. Je fermais les volets et ça finissait comme toujours.

| | |
|---|---------------|
| 《「主語」「目的語」「動詞」 mais 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」》 | |
| «Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| la ラ pron 女を | 「目的語」 |
| tapais, タ° 3 単半・習慣(taper)v.t 叩くことはあった | 「動詞」 |
| mais メ conj. しかし | |
| tendrement トントルモン adv. 優しく | 「副詞」 |
| pour ainsi dire. プール・オンシ・ディール adv. いわば、ほとんど | 「副詞句」 |
| Elle エル pron 女は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-------------------------------|--------------|-------|
| criait クリエ 3 単半・習慣(crier)v.i | 悲鳴を上げることがあった | 「動詞」 |
| un peu アン・プ adv. | 少しだけ | 「副詞句」 |
| Je ジュ pron | 俺は | 「主語」 |
| fermais フェルメ 1 単半(fermer)v.t | 閉めた | 「動詞」 |
| les volets レ・ヴォレ pl.n.m | (窓の) 錠戸を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| ça サ pron | それは | 「主語」 |
| finissait フィニセ 3 単半(finir)v.i | 終わった | 「動詞」 |
| comme toujours コム・トゥジュール adv. | いつもの通り | 「副詞句」 |

だが今回のことは、俺は本気だ。それに俺としては、女を十分に懲らしめた気がしない。

Mais maintenant, c'est sérieux. Et pour moi, je l'ai pas assez punie.»

| | | | | | | | |
|--|-------------|------------------|----------|----------|------|-------|-------|
| Mais 「副詞」, | 「主語」 | 「動詞」 | 「補語」 | Et 「副詞句」 | 「主語」 | 「目的語」 | 「動詞句」 |
| Mais メ conj. | しかし | | | | | | |
| maintenant, マントゥナン adv. | 今度は、今回は | | | | | | 「副詞」 |
| c' ス pron | このことは | | | | | | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | 〜である | | | | | | 「動詞」 |
| sérieux. セリュ adj. | 本気の | | | | | | 「補語」 |
| Et エ conj. | そして | | | | | | |
| pour moi, プール・ムわ adv. | 自分としては | | | | | | 「副詞句」 |
| je ジュ pron | 俺は | | | | | | 「主語」 |
| l' ラ pron | 女を | | | | | | 「目的語」 |
| ai pas assez punie. エ・パ・アセ・ビ・ユニ 1 単現・完了形・否定(punir+assez) | | | | | | | |
| v.t | まだ十分に罰していない | | | | | | 「動詞句」 |
| assez アセ adv. | 十分に | punir ビ・ユニール v.t | 罰する、処罰する | | | | |

そこで、彼が助言して欲しかったのは、実はこれについてだったのだと僕に説明した。

Il m'a expliqué alors que c'était pour cela qu'il avait besoin d'un conseil.

| | | | | | | | | | | | |
|--|--------------------|--|--|--|--|--|------|---------|-------|------|---------|
| | | | | | | | 「主語」 | 「間接目的語」 | 「動詞句」 | 「副詞」 | 「直接目的語」 |
| Il イル pron | 彼は | | | | | | | | | | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | | | | | | | | | | 「間接目的語」 |
| a expliqué ア・エクスプリケ 3 単現・完了形(expliquer)v.t | 説明した | | | | | | | | | | 「動詞句」 |
| alors アール adv. | そこで | | | | | | | | | | 「副詞」 |
| que ク conj. | 〜ということを | | | | | | | | | | 「直接目的語」 |
| c' ス pron | 仮の主語 (真の主語は qu'以降) | | | | | | | | | | |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | 〜である | | | | | | | | | | 「動詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| pour cela プール・スラ adv. これについて | 「補語」 |
| qu' ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| avait besoin d' アヴェ・ブーズワ・トゥ 3 単半・必要(avoir besoin de...) | |
| v.t ～が必要だった | 「動詞句」 |
| un conseil. アン・conseil n.m 助言 | 「目的語」 |

彼は話を中断して、ランプの芯を調整した。僕は、ずっと彼の話聞いていた。

Il s'est arrêté pour régler la mèche de la lampe qui charbonnait. Moi, je l'écoutais toujours.

| | | |
|---|----------------|-------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞」 |
| Il イル pron 彼は | | 「主語」 |
| s'est arrêté セ・アレテ 3 単現・完了形(s'arrêter)v.pr(de+不定詞) 話を中断した | | 「動詞句」 |
| s'est arrêté de expliquer の省略 | | |
| pour +不定詞 プール adv. ～するために、そして～する | | 「副詞句」 |
| régler レグレ 不定詞 v.t 調節する | | 「動詞」 |
| la mèche ラ・メッシュ n.f (ランプの) 芯を | | 「目的語」 |
| de la lampe トゥ・ラ・ロンプ adj. ランプの | | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) ～する | | 「形容詞節」 |
| charbonnait. シャルボネ 3 単半(charbonner) | | |
| v.i 炭化した、煤けた | | 「動詞」 |
| Moi, je ムワ・ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| l' ル pron 彼の話 | | 「目的語」 |
| écoutais エクテ 1 単半(écouter)v.t 聞いていた | | 「動詞」 |
| toujours. トゥジュール adv. ずっと | | 「副詞」 |

オイル・ランプとその芯 :

オイルランプは木綿で作られた綿芯で油を吸い上げて、その芯に点火することで連続的に油を燃焼させて照明として利用するものです。昔は、クジラの油や菜種油を使用していましたが、油が十分に吸い上げられる前に芯に点火すると、芯が焦って煤がこびりついて十分な明るさが得られなくなるので、芯の焦げた部分を切り取ったり、長さを調整する必要がありました。



PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はすでにワインを1リットルほど飲んでいたので、こめかみの辺りがすごく熱かった。

J'avais bu près d'un litre de vin et j'avais très chaud aux tempes.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais bu アヴェ・ビュ 1 単半・完了形(boire)v.t (すでに) 飲んでいた

「動詞句」

près d'+数量表現 プレ・ドゥ adj. およそ～の

「形容詞句」

un litre de vin アン・リトル・ドゥ・ヴァン n.m 1 リットルのワインを

「目的語」

et エ conj. それで

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (状態) ～だった

「動詞」

très chaud トレ・ショ n.m 強い熱さ、とても熱い

「目的語」

aux tempes. オ・トンブ° adv. こめかみのあたりが

「副詞句」

僕は自分のタバコが切れたので、レーモンのを吸っていた。

Je fumais les cigarettes de Raymond parce qu'il ne m'en restait plus.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

fumais フュメ 1 単半(fumer)v.t (タバコを) 吸っていた

「動詞」

les cigarettes レ・シガレット pl.n.f タバコを

「目的語」

de Raymond トゥ・レーモン adj. レーモンの

「形容詞句」

parce qu' パルス・ク conj. ～なので

「副詞節」

il イル pron 非人称

ne ...restait plus. ノ・レステ・フリュ 3 単半・否定(rester)

v.h もう残っていなかった

「動詞句」

m' ム pron 僕の

「間接目的語」

en オン adv. タバコは

「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

最後の電車が通過するたびに、今ではかすかな喧噪をこの街外れから運び去って行った。

Les derniers trams passaient et emportaient avec eux les bruits maintenant lointains du faubourg. 「主語」「動詞」et「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」

Les derniers trams レ・デルニエ・トラム pl.n.m 最後の電車が 「主語」

passaient パセ 3 複半(passer)v.i 次々に通過していった 「動詞」

et エ conj. そして

emportaient オンポルテ 3 複半(emporter)v.t 運び去った 「動詞」

avec eux アウ・ェッキ・イ adv. 一緒に 「副詞句」

les bruits レ・ブルイ pl.n.m 喧噪を 「目的語」

maintenant lointains マントゥナン・ルワントナン adj. 今ではかすかな 「形容詞句」

lointain ルワントナン adj. 遠い、かすかな、わずかな

du faubourg. ジュ・フォブール adj. この街はずれから 「副詞句」

レーモンは話を続けた。彼を困らせたこと。「それは彼がまだ、女のものに未練があったのだ」それでも彼は女を懲らしめてやりたかった。

Raymond a continué. Ce qui l'ennuyait, «c'est qu'il avait encore un sentiment pour son coït». Mais il voulait la punir. 「主語」「動詞句」 | 「主語」、《「主語」「動詞」「補語」》

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

a continué. ア・コンチヌエ 3 単現・完了形(continuer)v.t 話を続けた 「動詞句」

a continué à parler の省略

Ce ス pron そのこと 「主語」

qui キ pron (主語) ～するものは 「形容詞節」

l' ル pron 彼を 「目的語」

ennuyait, オンニユイ 3 単半(ennuyer)v.t 困らせた 「動詞」

«c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

qu' ク conj. ～ということ 「補語」

il イル pron 彼は 「主語」

avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t ある 「動詞」

encore オンコール adv. まだ 「副詞」

un sentiment アン・ソシモン n.m 愛着、未練 「目的語」

pour son coït. プール・ソ・コイツ adv. 女のものに 「副詞句」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は 「主語」

voulait ...punir. ヴァレ...ピュニール 3 単半・願望(vouloir+不定詞)v.t 罰したかった 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

la ラ n.f 女を

「目的語」

彼は最初、女をホテルに連れていき、風紀取り締まり警察を呼んでから、ひと騒動を起こして、女を売春婦の登録簿に登録させようと考えた。

Il avait d'abord pensé à l'emmener dans un hôtel et à appeler les «mœurs» pour causer un scandale et la faire mettre en carte.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait d'abord pensé à +不定詞 アヴ・ダ・ボール・ボンセ・ア 3 単半・完了形・意図

(penser à +不定詞)v.i 最初は～しようと考えた

「動詞句」

l' ラ pron 女を

「目的語」

emmener オムネ 不定詞 v.t 連れていく

「動詞句」

dans un hôtel ドン・サン・オテル adv. ホテルに

「副詞句」

et エ conj. そして

à appeler ア・アプレ 不定詞(penser à +不定詞)v.i 呼ぼうと思った

「動詞句」

les «mœurs» レ・メルス pl.n.f 風紀取り締まり警察を

「目的語」

pour +不定詞 プール adv. (目的・結果) ～するために

「副詞句」

causer コーセ 不定詞 v.t 引き起こす

「動詞」

un scandale アン・スコンダール n.m ひと騒動を

「目的語」

et エ conj. そして

la ラ pron 女を

「目的語」

faire mettre フェール・メットル 不定詞・使役 v.t (書類に) 記録させる

「動詞句」

en carte. オン・カト adv. 売春婦の登録簿に

「副詞句」

それから、その筋の知り合いに話を聞いてみた。

Ensuite, il s'était adressé à des amis qu'il avait dans le milieu.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Ensuite, オンシュイト adv. それから

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

s'était adressé セテ・アドレッセ 3 単半・完了形(s'adresser)v.pr 問い合わせた

「動詞句」

à des amis ア・デ・ザミ adv. 知り合いたちに

「間接目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

avait アヴ・エ 3 単半(avoir)v.t 持っていた

「動詞」

dans le milieu. ドン・ル・ミユ adv. その筋の中で

「副詞句」

milieu ミユ n.m 真ん中、社会 le milieu ル・ミユ n.m 暗黒街 (売春グループ)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らは何も名案を思いつかなかった。レーモンが僕に言うように、その稼業の人間だって、
 こういう時には何の役にも立たないのだ。

Ils n'avaient rien trouvé. Et comme me le faisait remarquer Raymond, c'était bien la peine d'être du milieu.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | Et 「副詞節」, 「動詞」「補語」「主語」
 Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 n'avaient ...trouvé. サヴ'ェ...トルヴ'ェ 3 複半・完了形・否定(trouver)
 v.t 思いつかなかった 「動詞句」
 rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」
 Et エ conj. そして
 comme コム conj. ～のように 「副詞節」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 le ル pron それを 「直接目的語」
 faisait remarquer フェ'・ルマルケ 3 単半(faire remarquer)
 v.t 指摘した、言った 「動詞句」
 Raymond, レイモン n.m レーモンが 「主語」
 c' ス pron 仮の主語 (真の主語は d'être 以降)
 était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 bien la peine ビ'ヤン・ラ・ペ'ヌ adj. とてもご苦労な 「補語」
 d'être du milieu. デ'ートル・ジユ・ミユ 不定詞 n. ～にいることは 「主語」
 c'est bien la peine de+不定詞 「～するとはご苦労なことだ」
 反語・皮肉 「その稼業にいることはご苦労なことだ」→「なんの役にも立たない」

彼がそのことを彼らに言うと、彼らは女に「烙印」を押すのはいかがでしょうかと提案してきた。だが
 それは彼の望むところではなかったの、よく考えることにした。

Il le leur avait dit et ils avaient alors proposé de la «marquer». Mais ce n'était pas ce qu'il voulait. Il allait réfléchir.

「主語」「直接目的語」「間接目的語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Mais 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 le ル pron (役に立たないということ)を それを 「直接目的語」
 leur レール pron 彼らに 「間接目的語」
 avait dit アヴ'ェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 et エ conj. すると
 ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

avaient alors proposé アヴァン・アロー・フ・ロ・セ 3 複半・完了形(proposer+ alors)

v.t それで提案した 「動詞句」

de la «marquer». ド・ラ・マルケ n.f (動詞) 烙印をおすこと 「目的語」

Mais メ conj. しかし

ce ス pron それは 「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定(être)v.i 〜でなかった 「動詞」

ce ス pron そのこと 「補語」

qu'il voulait. キル・ウレ adj. 彼が望む 「形容詞節」

Il イル pron 彼は 「主語」

allait réfléchir. アレ・レフシール 3 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.i よく考えることにした 「動詞句」

考える前に、彼は僕に何かを頼みたかった。だがそれを頼む前に、僕がこの話についてどう思っているのかを知りたかった。

Auparavant il voulait me demander quelque chose. D'ailleurs, avant de me le demander, il voulait savoir ce que je pensais de cette histoire.

「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Auparavant オ・パ・ラ・ヴァン adv. (考えるより) 先に 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

voulait ...demander ウレ...ド・ウモンテ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 頼みたかった 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

quelque chose. ケルク・ショズ n.f 何かを 「直接目的語」

D'ailleurs, ダ・イール adv. だがしかし 「副詞句」

avant de me le demander, アヴァン・ド・ム・ル・ド・ウモンテ adv. 僕にそれを頼む前に 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

voulait savoir ウレ・サ・ワール 3 単半願望(vouloir+不定詞)

v.t 知りたかった 「動詞句」

ce ス pron そのことを 「目的語」

que ク pron (目的語) 〜する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

pensais ポンセ 1 単半(penser)v.t 思った 「動詞」

de cette histoire. ド・セ・ット・イストワール adv. この話について 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はそれについて何も思わないが、興味はあると答えた。

J'ai répondu que je n'en pensais rien mais que c'était intéressant.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai répondu エ・レポ ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'en pensais ノン・ボンセ 1 単半・否定(penser)
 v.t そのことについて考えない 「動詞句」
 en 「de cette histoire」を表す
 rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」
 mais メ conj. しかし
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～である 「動詞」
 intéressant. アンテレスン adj. 面白い、興味深い 「補語」

彼は僕に、ごまかしがあったと思うかと訊いた。僕としては、確かにごまかしがあったと思うと答えた。それから、自分は女に思い知らせるべきかそれと僕が彼の立場だったらどうするかと尋ねた。僕は自分だったらどうするかは全くわからないが、女を懲らしめたいという気持ちは理解できると答えた。

Il m'a demandé si je pensais qu'il y avait de la tromperie, et moi, il me semblait bien qu'il y avait de la tromperie, si je trouvais qu'on devait la punir et ce que je ferais à sa place, je lui ai dit qu'on ne pouvait jamais savoir, mais je comprenais qu'il veuille la punir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 et 「副詞」「間接目的語」「動詞」「副詞」「主語」,
 「直接目的語」 et 「直接目的語」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 pensais ポンセ 1 単半(penser)v.t 思う 「動詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il y avait イ・リ・アヴァ 3 単半(il y avoir)v.t あった 「動詞句」
 de la tromperie, トゥ・ラ・トロンプリー n.f ごまかし 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|--|---|---------|
| et エ conj. | そして | |
| moi, ムわ pron | 僕としては | 「副詞」 |
| il イル pron | 仮の主語（真の主語は qu'il y avait de la tromperie） | |
| me ム pron | 僕には | 「間接目的語」 |
| semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i | ～のように思われる | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. | 確かに | 「副詞」 |
| qu' ク conj. | ～ということが | 「主語」 |
| il y avait イ・リ・アヴエ 3 単半(il y avoir)v.t | あった | 「動詞句」 |
| de la tromperie, トゥ・ラ・トロンプリー n.f | ごまかし | 「目的語」 |
| si シ conj. | ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| trouvais トルヴァ 1 単半(trouver)v.t(que+直説法) | ～であると思う | 「動詞」 |
| qu' ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| on オン pron | 自分は | 「主語」 |
| devait ...punir トゥヴァエ...ピュニール 3 単半・義務(devoir+不定詞) | | |
| v.t | 罰するべきである | 「動詞句」 |
| la ラー pron | 女を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| ce ス pron | そのことを | 「直接目的語」 |
| que ク pron | （目的語）～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| ferais フレ 条・1 単現(faire)v.t | するだろう | 「動詞」 |
| à sa place, ア・サ・プラス adv. | かれの立場では | 「副詞句」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということ | 「直接目的語」 |
| on オン pron | 僕は | 「主語」 |
| ne pouvait jamais savoir, ス・プヴァエ・シヤメ・サヴ わル 3 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞) | | |
| v.t | 全くわからない | 「動詞句」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| comprenais コンプレネ 1 単半(comprendre)v.t | 理解する | 「動詞」 |
| qu' ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼が | 「主語」 |
| veuille ...punir. ヴェイル...ピュニール 接・3 単現・願望(vouloir+不定詞) | | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

v.t ~を罰したがる 「動詞句」
la ラ pron 女を 「目的語」

僕はまた少しワインを飲んだ。彼は煙草に火をつけて、僕に自分の考えを披露した。

J'ai encore bu un peu de vin. Il a allumé une cigarette et il m'a découvert son idée.

「主語」「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai encore bu エ・オンコール・ビュ 1 単現・完了形(boire+ encore)v.t また飲んだ 「動詞句」

un peu de vin. アン・プ・トゥ・ヴァン n.m ワインを少し 「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a allumé ア・アリュメ 3 単現・完了形(allumer)v.t 火をつけた 「動詞句」

une cigarette エヌ・シガレット n.f タバコ 「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に「間接目的語」

a découvert ア・テクヴェール 3 単現・完了形(découvrir)v.t 見せた、披露した 「動詞句」

son idée. ソン・イデ n.f 自分の考えを 「直接目的語」

彼は、「女を足蹴にするような、そして同時に、女に後悔させるような」内容の手紙を書いて出したいと思っていた。

Il voulait lui écrire une lettre «avec des coups de pied et en même temps des choses pour la faire regretter».

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「形容詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

voulait ...écrire ヴレ...エクリール 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t (手紙を) 書いて出したいと思っていた 「動詞句」

lui リュイ pron 女に 「間接目的語」

une lettre エヌ・レトル n.f 手紙を 「直接目的語」

«avec アヴェッキ adj. ~を含んだ 「形容詞句」

des coups de pied テ・ク・トゥ・ピエ pl.n.m 足蹴を 「目的語」

et エ conj. そして

en même temps オン・メム・トン adv. 同時に 「副詞句」

des choses テ・ショーズ pl.n.f 事柄を 「目的語」

pour +不定詞 プール adv. ~するための 「副詞句」

la ラ pron 女を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

faire フェル 不定詞・使役 v.t へさせる 「動詞」
regretter レグレ 不定詞 v.t 後悔する 「補語」

あとで、もし女が戻ってきたら、一緒に寝て、「まさに終わる時に」、女の顔に唾を吐きかけて、外に叩き出してやるのだ。僕は、確かに、このようにすれば、女に罰を与えられるだろうと思った。

Après, quand elle reviendrait, il coucherait avec elle et «juste au moment de finir» il lui cracherait à la figure et il la mettrait dehors. J'ai trouvé qu'en effet, de cette façon, elle serait punie. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

et 「副詞句」 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「間接目的語」

et 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」 | 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Après, アプレ adv. その後で 「副詞」

quand コン conj. へする時 「副詞節」

elle エル pron 女が 「主語」

reviendrait, レヴィアントレ 条・3 単現 (未来の推測) (revenir)

v.i 戻ってくる (ことがあれば) 「動詞」

il イル pron 彼は 「主語」

coucherait クシュレ 条・3 単現 (未来の推測) (coucher)v.i 寝る 「動詞」

avec elle アヴェ・ツケル adv. 女と一緒に 「副詞句」

et エ conj. そして

«juste au moment ジュスト・オ・モン adv. まさにその時に 「副詞句」

de finir ドゥ・フィニール adj. 終わりの 「形容詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

lui リュイ pron 女に 「間接目的語」

cracherait クラシュレ 条・3 単現 (未来の推測) (cracher)v.i 唾を吐きかける 「動詞」

à la figure ア・ラ・フィギュール adv. 顔に 「間接目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

la ラ pron 女を 「目的語」

mettrait メトレ 条・3 単現 (未来の推測) (mettre)v.t (人がある場所に) 移す 「動詞」

dehors. ドゥオール adv. 外に 「副詞」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai trouvé エ・トルヴェ 1 単現・完了形(trouver)v.t(que+直説法) へであると思った 「動詞句」

qu' ク conj. へということ 「目的語」

en effet, オ・ネフェ adv. 確かに 「副詞句」

de cette façon, ドゥ・セツ・ファツ adv. このやり方によって 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|------|
| elle エル pron 女は | 「主語」 |
| serait スレ 条・3 単現（未来の推測）(être)v.i 〜になるだろう | 「動詞」 |
| punie. ヒ° ュニー adj.f(puni) 罰を受けた | 「補語」 |

しかしレーモンは、自分では肝心なその手紙が書けないので、それを書くために僕のことを
思いついたと言った。

Mais Raymond m'a dit qu'il ne se sentait pas capable de faire la lettre qu'il fallait et qu'il
avait pensé à moi pour la rédiger.

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」

m' ム on 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということ 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

ne se sentait pas ノ・ス・ソント・パ° 3 単半・否定(se sentir)

v.pr 自分を〜と思わない 「動詞句」

capable de +不定詞 カパ°ブル・ド° ヲ adj. 〜することができる 「補語」

faire フェール 不定詞 v.t (手紙を) 書く 「動詞」

la lettre ラ・レットル n.m その手紙を 「目的語」

qu' ク pron 〜する 「形容詞節」

il fallait イル・ファレ 3 単半(falloir)

v.h 必要である（肝心な） 「動詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. 〜ということ 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

avait pensé アヴ°ェ・ボンセ 3 単半・完了形(penser)

v.i(à のことを) 考えた 「動詞句」

à moi ア・ムィ adv. 僕のことを 「間接目的語」

pour la rédiger. プ°ール・ラ・レディ°ヰェ adv. 手紙を書くために 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕が何も言わないでいると、彼は、すぐに手紙を書いてもらうというのは迷惑だろうかと尋ねたので、僕は構わないと答えた。

Comme je ne disais rien, il m'a demandé si cela m'ennuierait de le faire tout de suite et j'ai répondu que non.

「副詞節」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Comme コム conj. ～の時に、～なので 「副詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 ne disais ヌ・デ・イェ 1 単半・否定(dire)v.t 言わないでいた 「動詞句」
 rien, リヤン pron 何も～ない 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥ・マンドテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 cela スラ pron 仮の主語 (真の主語は de le faire tout de suite)
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 ennuerait オンニユイレ 条・3 単現(ennuyer)v.t 困らせるだろうか? 「動詞」
 de +不定詞 トゥ 不定詞 v.t ～することは 「主語」
 le ル pron それを (手紙を書くこと) 「目的語」
 faire フェール 不定詞 v.t する 「動詞」
 tout de suite トゥ・トゥ・シュイト adv. すぐに 「副詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t(que+直説法) ～だと答えた 「動詞句」
 que non. ク・ノン pron 迷惑ではない 「目的語」

それから彼はワインを 1 杯飲んでから立ち上がった。そして僕たちが食べ残したほんの少しの冷めた腸詰と皿を押しつけた。

Il s'est alors levé après avoir bu un verre de vin. Il a repoussé les assiettes et le peu de boudin froid que nous avions laissé.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est alors levé セ・タロー・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr それで立ち上がった 「動詞句」
 après +不定詞・完了形 アプレ adv. ～した後で 「副詞句」
 avoir bu アヴ・ワール・ビュ 不定詞・完了形(boire)v.t 飲んだ 「動詞句」
 un verre アン・ヴァール n.m グラス 1 杯 「目的語」
 de vin. トゥ・ヴァン adj. ワインの 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | | | |
|------------------------|----------------|---------------------|-----------|-------|--------|
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| a repoussé | ア・ルプセ | 3 単現・完了形(repousser) | v.t | 押しのけた | 「動詞句」 |
| les assiettes | レ・ザシエット | pl.n.f | 皿を | | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| le peu de boudin froid | ル・プ・ドゥ・ブダン・フルワ | n.m | 少しの冷めた腸詰を | | 「目的語」 |
| que | ク | pron | (目的語) ~する | | 「形容詞節」 |
| nous | ヌ | pron | 僕たちが | | 「主語」 |
| avons laissé. | アヴィヨン・レッセ | 1 複半・完了形(laisser) | | | |
| | v.t | | 食べ残した、残した | | 「動詞句」 |

彼は蠟引きのテーブルクロスを念入りに拭いた。

Il a soigneusement essuyé la toile cirée de la table. 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル | pron | 彼は | | 「主語」 |

a soigneusement essuyé ア・スワニューズ・モン・エシユエ | 3 単現・完了形(essuyer+ soigneusement) | | | |

v.t | | 念入りに拭いた | | 「動詞句」 |

la toile ラ・トゥワル | n.f | 布を | | 「目的語」 |

cirée シレ | 過去分詞(cirer) | adj.f | 防水された、ロウ引きした | 「形容詞」 |

de la table. トゥ・ラ・ターブル | adj. | テーブルの | | 「形容詞句」 |

蠟引き (ロウびき) :

布や皮にロウをしみ込ませて、耐水性を持たせる加工方法。

彼は、ナイトテーブルの引き出しの中から、方眼紙を 1 枚と赤い木製の小さなペン軸それに紫色のインクが入った四角いインク瓶を取り出してきた。

Il a pris dans un tiroir de sa table de nuit une feuille de papier quadrillé, une enveloppe jaune, un petit porte-plume de bois rouge et un encrier carré d'encre violette.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Il イル | pron | 彼は | | 「主語」 |

a pris ア・プリ | 3 単現・完了形(prendre) | v.t | 持ってきた、取り出してきた | 「動詞句」 |

dans un tiroir ドン・ザン・ティルワル | adv. | 引き出しの中から | | 「副詞句」 |

de sa table de nuit トゥ・サ・ターブル・トゥ・ニユイ | adj. | ナイトテーブルの | | 「形容詞句」 |

une feuille de papier ユヌ・フィユ・トゥ・パピエ | n.f | 紙を 1 枚 | | 「目的語」 |

quadrillé, キャドリエ | adj. | 方眼の入った | | 「形容詞」 |

une enveloppe jaune, ユヌ・オンヴ・ロップ・ジョヌ | n.f | 黄色の封筒を | | 「目的語」 |

un petit porte-plume アン・プティ・ポルト・プリュム | n.m | 小さなペン軸を | | 「目的語」 |

de bois rouge トゥ・ブ・ワ・ルージュ | adj. | (素材) 赤い木製の | | 「形容詞句」 |

et エ | conj. | そして | | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

un encrier アン・オンクリエ n.m インク瓶を 「目的語」
 carré キャレ adj. 四角い 「形容詞句」
 d'encre トンクル adj. インクの 「形容詞句」
 violette. ヴァイオレット adj.f(violet) 紫色の 「形容詞」

彼が僕に女の姓を告げた時、僕は女がモール人だと分かった。

Quand il m'a dit le nom de la femme, j'ai vu que c'était une Mauresque.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Quand コン conj. ～する時 「副詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 le nom de la femme, ル・ノム・ドゥ・ラ・ファミ n.m 女の姓を 「直接目的語」
 nom de la femme 姓、ファミリーネーム
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 分かった 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 une Mauresque. ムヌ・モレスク n.f ムーア人の女性 「補語」

ムーア人：

ヨーロッパ人が、北西アフリカ(マグリブ)のイスラム教徒を指す呼称。モール人。

僕は手紙を書いた。少し思い付きで書いたが、レーモンの希望を満足させるように努力した。

僕には彼を満足させるべきではないという理由がなかったから。

J'ai fait la lettre. Je l'ai écrite un peu au hasard, mais je me suis appliqué à contenter Raymond parce que je n'avais pas de raison de ne pas le contenter.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 | 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

mais 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t (手紙を) 書いた 「動詞句」
 la lettre. ラ・レットル n.f 手紙を 「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ラ pron.f 手紙を 「目的語」
 ai écrite エ・エクリット 1 単現・完了形(faire)v.t 書いた 「動詞句」
 un peu au hasard, アン・プ・オ・アザール adv. 少し思い付きで 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis appliqué à contenter ム・シュイ・アプリーク・ア・コントンテ 1 単現・完了形・専念

(s'appliquer a+不定詞 contenter)v.pr 満足させるように専念した

「動詞句」

Raymond レモン n.m レーモンを

「目的語」

parce que パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t 無かった

「動詞句」

de raison トゥ・レゾン n.f 理由が

「目的語」

de +不定詞・否定形 トゥ adj. ～するべきという

「形容詞句」

ne pas le contenter. ノ・パ・ル・コントンテ 不定詞・否定形

v.t 彼を満足させない

「動詞句」

それから僕は大きな声でその手紙を読み上げた。彼は煙草をふかし、うなずきながら僕が読むのを聞いていた。そして、もう一度読んでほしいと僕に求めた。

Puis j'ai lu la lettre à haute voix. Il m'a écouté en fumant et en hochant la tête, puis il m'a demandé de la relire.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞」「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Puis ピュイ adv. それから

「副詞」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai lu エリュ 1 単現・完了形(lire)v.t 読んだ

「動詞句」

la lettre ラ・レトル n.f その手紙を

「目的語」

à haute voix. ア・ホト・ウゎ adv. (手段) 大きな声で

「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕が読むのを

「目的語」

a écouté ア・エケ 3 単現・完了形(écouter)v.t 聞いていた

「動詞句」

en fumant オン・フュモン ジェロンディフ(en+現在分詞 fumer)

adv. 煙草をふかしながら

「副詞句」

et エ conj. そして

en hochant オン・ホヨン ジェロンディフ(en+現在分詞 hocher)

adv. ～を振りながら

「副詞句」

la tête, ラ・テット n.f 頭を、首を

「目的語」

→ うなずきながら

puis ピュイ adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| a demandé de +不定詞 ア・ト・ウモンデ・ト・ウ 3 単現・完了形・要求(demander de+不定詞) | |
| v.t ~するように求めた | 「動詞句」 |
| la ラ pron 手紙を | 「目的語」 |
| relire. ルール 不定詞 v.t 読み返す | 「補語」 |

彼は完全に満足していた。彼は僕に言った：「俺は、あんたが世の中のことをよく知っていると前から分かっていたんだ。」僕は最初の内は、彼が僕に親し気な口をきくようになっていくことに気づかなかった。

Il a été tout à fait content. Il m'a dit : «Je savais bien que tu connaissais la vie.» Je ne me suis pas aperçu d'abord qu'il me tutoyait.

「主語」「動詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」

《「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》 | 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

| | |
|---|---------|
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i ~だった | 「動詞句」 |
| tout à fait content. トウ・タ・フェ・コントン adj. 完全に満足な | 「補語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «Je ジュ pron 俺は | 「主語」 |
| savais サヴェ 1 単半(savoir)v.t 前から知っていた | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. よく | 「副詞」 |
| que ク conj. ~ということを | 「目的語」 |
| tu チュ pron あんたが | 「主語」 |
| connaissais コネ 2 単半・時制の一致(connaître)v.t 知っている | 「動詞」 |
| la vie. ラ・ヴィー n.f 世の中、世間、人生 | 「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne me suis pas aperçu ヌ・ム・シュイ・パ・アペ ルジュ 1 単現・完了形(s'apercevoir) | |
| v.pr(que+直説法) ~ということに気づかなかった | 「動詞句」 |
| d'abord タボール adv. 最初は | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ~ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | 「目的語」 |
| tutoyait. チュトワイ 3 単半(tutoyer)v.t 親し気な口をきくようになっていた | 「動詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕がそのことにやっと気づいたのは、彼が僕に「これからあんたは本当の仲間だ」とはっきりと言った時だった。

C'est seulement quand il m'a déclaré: «Maintenant, tu es un vrai copain», que cela m'a frappé.

「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は que cela m'a frappé）

est エ 3 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

seulement quand スルモン・コン adv. やっと〜する時

「補語」

il イル pron 彼が

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a déclaré: ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った

「動詞句」

n.

「直接目的語」

«Maintenant, マントゥナン adv. これからは

「副詞」

tu チュ pron あんたは

「主語」

es エ 2 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

un vrai copain», アン・グレ・コパン n.m 本当の仲間

「補語」

que ク conj. 〜ということは

「主語」

cela スラ pron そのことが（親しい口をきくこと）

「主語」

m' ム pron 僕を、僕に

「目的語」

a frappé. ア・フラペ 3 単現・完了形(frapper)v.t 気づく、強烈な印象を与えた「動詞句」

彼はその言葉を繰り返したので、僕は「まあね」とだけ答えた。彼の仲間かどうかは自分にはどうでもよかった。でも彼は本当にそうありたいという様子だった。

Il a répété sa phrase et j'ai dit: «Oui». Cela m'était égal d'être son copain et il avait vraiment l'air d'en avoir envie.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「応答」

「間接目的語」「動詞」「補語」「主語」 et 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a répété ア・レペテ 3 単現・完了形(répéter)v.t 繰り返した

「動詞句」

sa phrase サ・フラス n.f その言葉を

「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた

「動詞句」

«Oui». ウィ adv. (肯定) まあね、そうだね

「応答」

Cela スラ pron 仮の主語（真の主語は d'être son copain）

m' ム pron 僕にとっては

「間接目的語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|------------------------------|----------------|---------|
| égal Egal adj. | 等しい、どうでもよい | 「補語」 |
| d'+不定詞 トゥ 不定詞 v. | ～することは | 「主語」 |
| être エートル 不定詞 v.i | ～である | 「動詞」 |
| son copain ソン・コパン n.m | 彼の仲間 | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t | あった、(様子を) していた | 「動詞」 |
| vraiment ヴレモン adv. | 本当に | 「副詞」 |
| l'air レール n.m | 様子を | 「目的語」 |
| d'+不定詞 トゥ adj. | ～するという | 「形容詞句」 |
| en オン adv. | それを (仲間にいること) | 「間接目的語」 |
| avoir envie. アヴ・オル・オンヴェイ 不定詞 | | |
| v.t | ～したい、～でありたい | 「動詞句」 |

彼は手紙に封をし、僕たちはワインを飲みほした。それからしばらくの間、何も話さずに煙草を吸って過ごした。

Il a cacheté la lettre et nous avons fini le vin. Puis nous sommes restés un moment à fumer sans rien dire.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

| | | |
|--|--------------|-------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a cacheté ア・カシェ 3 単現・完了形(cacheter)v.t | 封印をした | 「動詞句」 |
| la lettre ラ・レットル n.f | 手紙に | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| nous ヌ pron.pl | 僕らは | 「主語」 |
| avons fini アヴ・オン・フィニ 1 複現・完了形(finir)v.t | (飲食物を) たいらげた | 「動詞句」 |
| le vin. ル・ヴァン n.m | ワインを | 「目的語」 |
| Puis ビュイ adv. | それから | 「副詞」 |
| nous ヌ pron.pl | 僕らは | 「主語」 |
| sommes restés ソム・レステ 1 複現・完了形(rester)v.i (à+不定詞) | ～して過ごした | 「動詞句」 |
| un moment アン・モメン adv. | しばらくの間 | 「副詞句」 |
| à fumer ア・フュメ 不定詞 v.i (同時進行) | 煙草を吸いながら | 「動詞句」 |
| sans +不定詞 ソン adv. | ～しないで | 「副詞句」 |
| rien リヤン pron | 何も～ない | 「目的語」 |
| dire. ディール 不定詞 v.t | 話す | 「動詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

外は、全く静かだった。1 台の車が滑るように通り過ぎるわずかな音さえ聞きとれた。

Au-dehors, tout était calme, nous avons entendu le glissement d'une auto qui passait.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Au-dehors, オ・ドゥ・ォール adv. 外は 「副詞句」

tout トゥ pron すべてが 「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

calme, カム adj. 静かな 「補語」

nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

avons entendu アヴ・オン・オントンデュ 1 複現・完了形(entendre)v.t 聞こえた 「動詞句」

le glissement ル・グリズモン n.m 滑走 (の音) 「目的語」

d'une auto デュンヌ・オート adj. 1 台の車の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

passait. パセ 3 単半(passer)v.i 通り過ぎた 「動詞」

僕は、「もう遅い」と言った。レーモンも同じことを考えていた。

J'ai dit: «II est tard.» Raymond le pensait aussi.

「主語」 「動詞句」: 「目的語」 | 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

n. 「目的語」

«II イル pron 時間が 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

tard.» タール adj. 遅い 「補語」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

le ル pron そのことを 「目的語」

pensait ポンセ 3 単半(penser)v.t 考えていた 「動詞」

aussi. オシ adv. 同様に 「副詞」

彼は、時間がたつのは速いと言ったが、ある意味では、確かにそうだ。

Il a remarqué que le temps passait vite et, dans un sens, c'était vrai.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a remarqué ア・マルケ 3 単現・完了形(remarquer)v.t 言った、指摘した 「動詞句」

que ク conj. ~ということ 「目的語」

le temps ル・トン n.m 時間は 「主語」

passait パセ 3 単半・時制の一致(passer)v.i 過ぎ去る 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|------------------------------------|-------|
| vite ヴィット adv. 速く | 「副詞」 |
| et, エ conj. そして | |
| dans un sens, ドン・サン・ソン adv. ある意味では | 「副詞句」 |
| c' ス pron. それは | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i. ～である | 「動詞」 |
| vrai. ヴレ adj. 本当の、正しい | 「補語」 |

僕は眠かったが、起き上がるのが辛かった。僕は疲れた様子をしていたに違いない。というのは、レーモンが僕に、投げやりになってはだめだと言ったからだ。

J'avais sommeil, mais j'avais de la peine à me lever. J'ai dû avoir l'air fatigué parce que Raymond m'a dit qu'il ne fallait pas se laisser aller.

「主語」「動詞」「目的語」 mais 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

| | |
|---|---------|
| J' ジュ pron. 私は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t. あった | 「動詞」 |
| sommeil, ソメイ n.m. 眠気 | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| j' ジュ pron. 私は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t. あった | 「動詞」 |
| de la peine トゥ・ラ・ペーヌ n.f. 苦労 | 「目的語」 |
| à me lever. ア・ム・ルヴェ adv. (目的) 起き上がるために | 「副詞句」 |
| J' ジュ pron. 私は | 「主語」 |
| ai dû avoir エ・ジュ・アヴ わル 1 単現・完了形・推定(devoir+不定詞) | |
| v.t (様子を) していたに違いない | 「動詞句」 |
| l'air fatigué レール・ファチゲ n.m. 疲れた様子を | 「目的語」 |
| parce que パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| Raymond レモン n.m. レーモンが | 「主語」 |
| m' ム pron. 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t. 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| il イル pron. 非人称 | |
| ne fallait pas +不定詞 ス・ファレ・パ 3 単半(falloir+不定詞) | |
| v. ～してはいけない | 「動詞句」 |
| se laisser aller. ス・レッセ・アレ 不定詞 v.pr. 投げやりな生活を送る | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

最初僕は、その意味が分からなかった。すると彼は、僕の母が亡くなった事を聞いたが、それはいつかは起こることだと説明してくれた。

D'abord, je n'ai pas compris. Il m'a expliqué alors qu'il avait appris la mort de maman mais que c'était une chose qui devait arriver un jour ou l'autre.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「副詞」 「直接目的語」 mais 「直接目的語」

D'abord, タボール adv. 最初は 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai pas compris. ネ・パ・コンプリ 1 単現・完了形・否定(comprendre)

v.t 分からなかった 「動詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a expliqué ア・エクスプリケ 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した 「動詞句」

alors アール adv. すると 「副詞」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

avait appris アヴェ・アプリ 3 単半・完了形(apprendre)v.t 聞いた 「動詞句」

la mort de maman ラ・モール・ドゥ・マモン n.f 僕の母親の死を 「目的語」

mais メ conj. しかし

que ク conj. ～ということを 「直接目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～である 「動詞」

une chose ユンヌ・ショーズ n.f 事 「補語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

devait arriver デヴァヴェ・アリヴェ 3 単半・可能性(devoir+不定詞)

v.i 起こるかもしれない 「動詞句」

un jour ou l'autre. アン・ジュール・ウ・ロートル

adv. いつかそのうちに、今日明日にでも 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それは僕も同じ意見だった。

C'était aussi mon avis.

「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～である

「動詞」

aussi mon avis. オ・モ・ナヴィ adv. 僕の見解と同様の

「補語」

僕は立ち上がった。レーモンは僕の手をととても強く握って、僕に言った：「男同士は、いつだって分かり合える」と。

Je me suis levé, Raymond m'a serré la main très fort et m'a dit qu'entre hommes on se comprenait toujours.「主語」「動詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」
et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

me suis levé, ム・シュイ・ルヴェ 1 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

Raymond レモン n.m レーモンは

「主語」

m' ム pron 僕の

「間接目的語」

a serré ア・セレ 3 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた、つかんだ

「動詞句」

la main ラ・マン n.f 手を

「直接目的語」

très fort トレ・フォル adv. ととても強く

「副詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

entre hommes オントル・オム adv. 男同士なら

「副詞句」

on オン pron (動詞は三人称単数形) 人々は

「主語」

se comprenait ス・コンプレ 3 単半(se comprendre)v.pr 話が通じる

「動詞句」

toujours. トゥジュール adv. いつでも

「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼の部屋を出ると、僕はドアを閉じて、しばらく踊り場の暗闇の中に留まっていた。

En sortant de chez lui, j'ai refermé la porte et je suis resté un moment dans le noir, sur le palier. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

En sortant オン・ソルトン ジェロンディフ(sortir)adv.(de ～から) 出て、出ると 「副詞句」

de chez lui, トゥ・シェ・ルーイ adv. 彼の部屋から 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai refermé エ・ルフエルメ 1 単現・完了形(refermer)v.t 閉じた 「動詞句」

la porte ラ・ポルト n.f ドアを 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

suis resté シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i ～のままでいた 「動詞句」

un moment アン・モモン adv. しばらくの間 「副詞句」

dans le noir, トン・ル・ヌワ・ル adv. 暗闇の中に 「副詞句」

sur le palier. シュール・ル・パリエ adv. 踊り場の上に 「副詞句」

アパートは静まり返っており、階段の底から、陰鬱な息吹が立ち上っていた。

La maison était calme et des profondeurs de la cage d'escalier montait un souffle obscur et humide. 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「副詞句」 「動詞」 「主語」

La maison ラ・マゾン n.f アパートは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

calme カルム adj. 静かな 「補語」

et エ conj. そして

des テ prep.pl ～から 「副詞句」

profondeurs プロフォンテール pl.n.f 奥、底 「目的語」

de la cage d'escalier トゥ・ラ・カージュ・テスカリエ adj. 階段枠の 「形容詞句」

montait モンテ 3 単半(monter)v.i 上ってきた 「動詞」

un souffle アン・スフル n.m 息吹が 「主語」

obscur オフ・スキュール adj. 暗い 「形容詞」

et エ conj. そして

humide. イミット adj. 湿った 「形容詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、自分の耳の中で鳴り響く、自分の血が脈打つ音しか聞こえなかった。僕はじっと動かないでいた。

Je n'entendais que les coups de mon sang qui bourdonnait à mes oreilles. Je suis resté immobile. 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

n'entendais ヌ・オントンテ 1 単半・否定(entendre)

v.t(ne ...que ～しか) 聞こえなかった 「動詞句」

que ク conj. ～ということしか 「目的語」

les coups レ・クー pl.n.m 打つ音 「目的語」

de mon sang トゥ・モン・サン adj. 自分の血の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

bourdonnait ブルトネ 3 単半(bourdonner)

v.i ぶんぶんいう 「動詞」

à mes oreilles. ア・メ・オレイユ

adv. 私の耳に 「間接目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

suis resté シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i ～のままでいた 「動詞句」

immobile. インモビル adj. 動かない 「補語」

だがサラマノ老人の部屋で、あの犬がかすかに唸った。

Mais dans la chambre du vieux Salamano, le chien a gémi sourdement.

Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」

Mais メ conj. しかし

dans la chambre ドン・ラ・ションブル adv. 部屋の中で 「副詞句」

du vieux Salamano, ジュ・ヴェイユ・サラマノ adj. サラマノ老人の 「形容詞句」

le chien ル・シヤン n.m あの犬が 「主語」

a gémi ア・ジェミ 3 単現・完了形(gémir)v.i うめいた、唸った 「動詞句」

sourdement. スルトゥモン adv. 低く、かすかに 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

IV

僕は1週間ずっと、よく働いた。レーモンがやって来て、僕にあの手紙は出したと言った。

J'ai bien travaillé toute la semaine, Raymond est venu et m'a dit qu'il avait envoyé la lettre.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai bien travaillé エ・ビヤン・トラヴァイエ 1 単現・完了形(travailler+bien)v.i よく働いた 「動詞句」
 toute la semaine, トゥット・ラ・スメヌ adv. 1 週間ずっと 「副詞句」
 Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」
 est venu エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」
 et エ conj. そして
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait envoyé アヴ・ェ・オヴ・わエ 3 単半・完了形(envoyer)
 v.t 発送した、送った 「動詞句」
 la lettre. ラ・レトル n.f あの手紙を 「目的語」

僕はエマニュエルと 2 回映画に行ったが、彼はスクリーンの上で何が起きているのか分からないことがある。

Je suis allé au cinéma deux fois avec Emmanuel qui ne comprend pas toujours ce qui se passe sur l'écran.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」, 「形容詞節」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 suis allé シュイ・ザレ 1 単現・完了形(aller)v.i 行った 「動詞句」
 au cinéma オ・シネマ adv. 映画館に、映画を見に 「間接目的語」
 deux fois トゥ・フワ adv. 2 回 「副詞句」
 avec Emmanuel アヴ・ェツキ・エマニュエル adv. エマニュエルと 「副詞句」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 ne comprend pas ス・コンプ・ロン・パ° 3 単現・否定(comprendre)
 v.t 分からない 「動詞句」
 toujours トゥジュール adv. いつも 「副詞」
 ne ... pas toujours 「いつも～とは限らない」 → 分からないことがある
 ne ... toujours pas 「いまだ～ない、相変わらずない」
 ce ス pron それを 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se passe セ・パッス 3 単現(se passer)

v.pr 起こっている 「動詞句」

sur l'écran. シュール・レクロン

adv. スクリーンの上で 「副詞句」

そんな時は彼に説明しなければならない。昨日は土曜日だったので、マリーが約束通りにやって来た。

Il faut alors lui donner des explications. Hier, c'était samedi et Marie est venue, comme nous en étions convenus. 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「副詞」「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞節」

Il faut +不定詞 イ・フォ 3 単現(falloir)v.h ～しなければならない 「動詞句」

alors アール adv. そんな時には 「副詞句」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

donner ドネ 不定詞 v.t (動作を) する 「動詞句」

des explications. デ・セクスプレカシオン pl.n.f 説明を 「直接目的語」

Hier, イェール adv. 昨日は 「副詞」

c' ス pron (日付) 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

samedi サムデー n.m 土曜日 「補語」

et エ conj. そして

Marie マリー n.f マリーが 「主語」

est venue, エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」

comme コム conj. ～のように 「副詞節」

nous ヌ pron.pl 僕たちが 「主語」

en オン adv. それについて 「副詞」

étions convenus. エチヨン・コンヴァニュ 1 複半・完了形.pl(convenir)

v.i 決めていた 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はたまらなく彼女が欲しくなったが、それは彼女が赤と白の縞模様のよく映えるドレスを着て、革のサンダルを履いていたからだ。

J'ai eu très envie d'elle parce qu'elle avait une belle robe à raies rouges et blanches et des sandales de cuir. 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」, 「副詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エイ 1 単現・完了形(avoir)v.t あった 「動詞句」

très トレ adv. とても 「副詞」

envie オンヴァー n.f 欲望 「目的語」

d'elle デル adj. 彼女に対する 「形容詞句」

parce qu' パルス・キ conj. 〜なので 「副詞節」

elle エル pron 彼女が 「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (着用) 身に着けていた 「動詞」

une belle robe ユヌ・ベル・ローブ n.f よく映えるドレスを 「目的語」

à raies ア・レ adv. 縞模様の 「副詞句」

rouges et blanches ルージュ・エ・ブロンシュ

adj.f.pl 赤と白の 「形容詞句」

et エ conj. そして

des sandales de cuir. デ・サンダル・ドゥ・キューール pl.n.f 革のサンダルを 「目的語」

僕はドレスの上から、彼女の引き締まった乳房を思い浮かべた。日に焼けた褐色の肌は、彼女を花の姿にしていた。

On devinait ses seins durs et le brun du soleil lui faisait un visage de fleur.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞」「補語」

On オン pron (動詞は三人称単数形) 僕は 「主語」

devinait ドゥヴァーネ 3 単半(deviner)v.t 推察した、想像した 「動詞」

ses seins セ・サン pl.n.m 彼女の乳房を 「目的語」

durs デュール adj. 固い、引き締まった 「形容詞」

et エ conj. そして

le brun ル・ブラン n.m その褐色は 「主語」

du soleil ジュ・ソレイユ adj. 太陽による 「形容詞句」

lui リュイ pron 彼女を 「目的語」

faisait フェ 3 単半(faire)v.t にしていた 「動詞」

un visage de fleur. アン・ヴァイザージュ・ドゥ・フレール n.m 花の姿 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちはバスに乗り、アルジェから数キロのところの、岩に挟まれ、岸の側を葦に囲まれた
浜辺に行った。

Nous avons pris un autobus et nous sommes allés à quelques kilomètres d'Alger, sur une
plage resserrée entre des rochers et bordée de roseaux du côté de la terre.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」
Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」
avons pris アヴ・オン・プリ 1 複現・完了形(prendre)v.t (乗り物に) 乗った 「動詞句」
un autobus アン・オビス n.m バスに 「目的語」
et エ conj. そして
nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」
sommes allés ソム・ザレ 1 複現・完了形(aller)v.i 行った 「動詞句」
à quelques kilomètres d'Alger, ア・ケルク・キロメートル・ダルジェ
adv. アルジェから数キロのところに 「副詞句」
sur une plage シュール・ユンス・プラージュ adv. 海岸に、浜辺に 「間接目的語」
resserrée レッセレ adj.f 狭くなった、押し込められた 「形容詞」
entre des rochers オントレ・デ・ロシェ adv. 岩の間に 「副詞句」
et エ conj. そして
bordée ボルテ adj.f(de に) 囲まれた 「形容詞句」
de roseaux トゥ・ロゾ adv. 葦に 「副詞句」
du côté de la terre. ジュ・コテ・トゥ・ラ・テール adv. 岸の側を 「副詞句」

午後 4 時の太陽はもうそれほど暑くなかったが、海水は生ぬるくて、小さな波が長くゆつ
たりと岸に寄せていた。マリーが一つ遊びを教えてくれた。

Le soleil de quatre heures n'était pas trop chaud, mais l'eau était tiède, avec de petites
vagues longues et paresseuses. Marie m'a appris un jeu.

「主語」「動詞」「補語」 mais 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」
「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽は 「主語」
de quatre heures トゥ・キヤト・レール adj. 午後 4 時の 「形容詞句」
n'était pas ネ・パ 3 単半・否定(être)v.i 〜でなかった 「動詞」
trop chaud, トロ・ショ adj. (否定文で) あまり暑く〜ない 「補語」
mais メ conj. それでも
l'eau ロ n.f 水は 「主語」
était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
tiède, チェトゥ adj. 生ぬるい 「補語」
avec de アヴェッキ・トゥ adv. (様態) 〜の状態である 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|--|---------|---------|
| petites vagues プ <small>ペ</small> ティット・ヴ <small>ヴ</small> ァーク pl.n.f | 小さい波 | 「目的語」 |
| longues ロンク adj.f.pl | 長い | 「形容詞」 |
| et エ conj. | そして | |
| pareseuses. パ <small>パ</small> レスーズ adj.f.pl | ゆったりとした | 「形容詞」 |
| Marie マリー n.f | マリーは | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a appris ア・アプ <small>リ</small> 3 単現・完了形(apprendre)v.t | 教えた | 「動詞句」 |
| un jeu. アン・ジュ n.m | 遊びを | 「直接目的語」 |

泳ぎながら波頭を口に含み、すべての泡を口に溜めたら、今度は仰向けになって、それを空に向かって吹き出すのだった。

Il fallait, en nageant, boire à la crête des vagues, accumuler dans sa bouche toute l'écume et se mettre ensuite sur le dos pour la projeter contre le ciel.

「動詞句」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」「副詞句」「目的語」

et 「動詞句」「副詞句」

Il fallait+不定詞, イル・ファレ 3 単半・非人称(falloir+不定詞)

v.h ~しなければならなかった、~するのだった 「動詞句」

en nageant, オン・ナジョン ジェルンディオオ(nager)v.i 泳ぎながら 「副詞句」

boire ヴヴォル 不定詞 v.t 飲む、口に含む 「動詞句」

à la crête des vagues, ア・ラ・クレット・デ・ヴヴァーク adv. 波頭を 「間接目的語」

crête クレット n.f 波頭、最上端 vague ヴヴァーク n.f(水面の)波

accumuler アキュムレ 不定詞 v.t ためる 「動詞句」

dans sa bouche ドン・サ・ブブーシュ adv. 口の中に 「副詞句」

toute l'écume トウト・レキュム n.f すべての泡を 「目的語」

et エ conj. そして

se mettre ス・メットル 不定詞 v.pr (ある状態に) なる 「動詞句」

ensuite オンシュイト adv. それから、次に 「副詞」

sur le dos シュール・ル・ト adv. 仰向けに 「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. (結果) そして~する、(目的) ~するために 「副詞句」

la ラ pron.f (l'écume の代用) それを 「目的語」

projeter ププロジェテ 不定詞 v.t 吹き出す 「動詞」

contre le ciel. コントル・ル・シエル adv. 空に向かって 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

するとそれはふんわりとしたレース状の霧になって、空中で消えてしまったり、生ぬるい雨になって僕の顔に降りかかってきたりするのだった。

Cela faisait alors une dentelle mousseuse qui disparaissait dans l'air ou me retombait en pluie tiède sur le visage. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「形容詞節」

Cela スラ pron それは 「主語」

faisait フェ 3 単半(faire)v.t 作った、～になった 「動詞」

alors アロー adv. すると 「副詞」

une dentelle mousseuse エヌ・ドンテル・ムッスーズ n.f ふんわりとしたレース 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

disparaissait デイスパレ 3 単半(disparaître)v.i 消え失せた 「動詞」

dans l'air ドン・レール adv. 空中に 「副詞句」

ou ウ conj. または

me ム pron 僕に 「間接目的語」

retombait ルトンベ 3 単半(retomber)v.i(sur に) 舞い戻ってきた 「動詞」

en pluie tiède オン・プリュイ・チエト

adv. (状態) 生ぬるい雨になって 「副詞句」

sur le visage. シュール・ル・ウイザージュ adv. 顔の上に 「副詞句」

レース :

糸で網目状の透かし模様を編み、薄くて透けるような布状にしたもの。

だが、しばらく遊んでいると、口が塩の苦さで焼けたようになってしまった。

Mais au bout de quelque temps, j'avais la bouche brûlée par l'amertume du sel.

Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「補語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

au bout de オ・ブ・トゥ prep ～の終わりに、～の後で 「副詞句」

quelque temps, ケルク・トン n.m しばらく 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (avoir +O+C) (体の状態) O が C になった 「動詞」

la bouche ラ・ブーシュ n.f 口が 「目的語」

brûlée ブリュレ adj. 焼けた 「補語」

par l'amertume パール・ラメルチュム adv. 苦さによって 「副詞句」

du sel. ジュ・セル adj. 塩の 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

マリーは僕に近づいてきて、水中で僕にくっついてきた。それから彼女は自分の唇を僕の唇に押し付けてきた。

Marie m'a rejoint alors et s'est collée à moi dans l'eau. Elle a mis sa bouche contre la mienne. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」 et 「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Marie マリー n.f マリーは 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a rejoint ア・ルヰヨ 3 単現・完了形(rejoindre)v.t 近づいてきた 「動詞句」
alors アール adv. すると 「副詞」
et エ conj. そして
s'est collée セ・コレ 3 単現・完了形.f(se coller)v.pr くっついてきた 「動詞句」
à moi ア・ムわ pron 僕に 「間接目的語」
dans l'eau. ドン・ロー adv. 水中で 「副詞句」
Elle エル pron 彼女は 「主語」
a mis ア・ミ 3 単現・完了形(mettre)v.t 置いた、押し付けた 「動詞句」
sa bouche サ・ブーシュ n.f 自分の唇を 「目的語」
contre la mienne. コントル・ラ・ミエンヌ adv. 僕の唇に 「副詞句」

彼女の舌が、僕の唇のほてりを冷やしてくれた。それから少しの間、僕らは波の中でお互いに転げまわった。

Sa langue rafraîchissait mes lèvres et nous nous sommes roulés dans les vagues pendant un moment. 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
Sa langue サ・ロング n.f 彼女の舌が 「主語」
rafraîchissait ラフレシセ 3 単半(rafraîchir)v.t 冷やした 「動詞」
mes lèvres メ・レーヴァル pl.n.f 僕の唇を 「目的語」
et エ conj. そして
nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」
nous sommes roulés ヌ・ソム・ル 1 複現・完了形.pl(se rouler)
v.pr お互いに転げまわった 「動詞句」
dans les vagues ドン・レ・ヴァーク adv. 波の中で 「副詞句」
pendant un moment. ホントン・アン・モモン adv. 少しの間 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕らが陸に上がって服を着ていると、マリーが喜びに満ちた目で僕を見つめていた。僕は彼女を抱きしめた。

Quand nous nous sommes rhabillés sur la plage, Marie me regardait avec des yeux brillants. Je l'ai embrassée.

「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 | 「主語」 「目的語」 「動詞句」

Quand コン conj. ～した時 「副詞節」

nous ヌ pron 僕らが 「主語」

nous sommes rhabillés ヌ・ソム・ラビエ 1 複現・完了形.pl(se rhabiller)

v.pr 再び服を着た 「動詞句」

sur la plage, シュール・ラ・プラージュ adv. 浜辺に上がって 「副詞句」

Marie マリー n.f マリーは 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

regardait ルギャルテ 3 単半(regarder)v.t 見つめていた 「動詞」

avec des yeux brillants. アヴ・エッキ・デ・ジュ・ブリヨン adv. 喜びに満ちた目で 「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ラ pron 彼女を 「目的語」

ai embrassée. エ・オンブラッセ 1 単現・完了形.f(embrasser)v.t 抱きしめた 「動詞句」

この時から、僕らはもう一言も喋らなかった。

A partir de ce moment, nous n'avons plus parlé. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

A partir de ア・パルティール・ト prep ～から 「副詞句」

ce moment, ス・モモン n.m この時、この瞬間 「目的語」

nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

n'avons plus parlé. ナヴ・オン・プリュ・パルレ 1 複現・完了形・否定・強調(parler+ne...plus)

v.i もう一言も話さなかった 「動詞句」

僕はマリーを抱き寄せた。それから大急ぎでバスに乗り、町に戻って、僕の部屋に入り、ベッドに飛び込んだ。

Je l'ai tenue contre moi et nous avons été pressés de trouver un autobus, de rentrer, d'aller chez moi et de nous jeter sur mon lit.

「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「補語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ラ pron 彼女を 「目的語」

ai tenue エ・トウニユ 1 単現・完了形(tenir)v.t 抱いた 「動詞句」

contre moi コントル・ムわ adv. 僕に向かって 「副詞句」

→ 抱き寄せた

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

nous ヌ porn 僕たちは

「主語」

avons été pressés アヴ・オン・ゼ・テ・プレッセ 1 複現・完了形・受動・使役(presser)

v.t(+de+不定詞) ～するように急き立てられた、大急いで～した

「動詞句」

de trouver ドゥ・トゥヴル・ヱ 不定詞 v.t 拾う、乗る

「補語」

un autobus, アン・オトビュス n.m バスを

「目的語」

de rentrer, ドゥ・ロントレ 不定詞 v.i 戻る

「補語」

d'aller ダレ 不定詞 v.i ～に行く

「補語」

chez moi シェ・ムわ adv. 僕の部屋に

「副詞句」

et エ conj. そして

de nous jeter ドゥ・ヌ・ジュテ 不定詞(se jeter)v.pr 飛び込む

「補語」

sur mon lit. シュール・モン・リ adv. 僕のベッドに

「副詞句」

→ 「浜辺でバスに乗り、アパートのベッドに飛び込む」までの、情欲に動かされた慌た
 しい行動が1つの長い動詞句(avons été pressés+ de+不定詞)によって描かれている。

能動態の文で考えると、「presser nous de+不定詞」の nous が「目的語」なので、後に続
 く一連の「de+不定詞」は目的語の動作を表す「補語」である。受動態によって、自分の意
 識的な行動ではなく、衝動に突き動かされた行動であることを表している。

僕は窓を開けたままにしておいた。日に焼けた僕らの体の上を、夏の夜が流れていくのを感じ
 じるのは心地よかった。

J'avais laissé ma fenêtre ouverte et c'était bon de sentir la nuit d'été couler sur nos corps
 bruns.

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」et「動詞」「補語」「主語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais laissé アヴィ・エ・レッセ 1 単半・完了形(laisser)v.t(laisser+O+C)

v.t O を C のままにしておいた

「動詞句」

ma fenêtre マ・フネートル n.f 窓を

「目的語」

ouverte ウヴェルト adj.f 開いた

「補語」

et エ conj. そして

c' ス pron 仮の主語(真の主語は de sentir 以降)

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

bon ボン adj. 快適な

「補語」

de +不定詞 ドゥ 不定詞 n. ～することは

「主語」

sentir ソンチール 不定詞・知覚動詞 v.t 感じる

「動詞」

la nuit d'été ラ・ニュイ・デ・テ n.f 夏の夜を

「目的語」

couler クレ 不定詞(nuit の動作)v.i 流れる

「補語」

sur nos corps シュール・ノ・コール adv. 僕らの体の上を

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

bruns. ブラン adj. 褐色の、日に焼けた

「形容詞」

今朝、マリーは帰らずにいたので、一緒に昼食を食べないかと誘った。

Ce matin, Marie est restée et je lui ai dit que nous déjeunerions ensemble.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ce matin, ス・マタン adv. 今朝

「副詞句」

Marie マリー n.f. マリーは

「主語」

est restée エ・レスト 3 単現・完了形(f(rester)v.i 残っていた

「動詞句」

et エ conj. それで

je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

nous ヌ pron 僕らは

「主語」

déjeunerions デ・ジュリオン 条・1 複現・勧誘(déjeuner)

v.i 昼食を取るのはどうだろう

「動詞」

ensemble. オンソブル adv. 一緒に

「副詞」

僕は肉を買いに降りた。また上がってくる時に、レーモンの部屋の中で女の声が聞こえた。

Je suis descendu pour acheter de la viande. En remontant, j'ai entendu une voix de femme dans la chambre de Raymond.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

suis descendu シュイ・デソンドュ 1 単現・完了形(descendre)v.i 降りた

「動詞句」

pour +不定詞 プール adv. ～するために

「副詞句」

acheter アシュテ 不定詞 v.t 買う

「動詞」

de la viande. トゥ・ラ・ヴィアント n.f 肉を

「目的語」

En remontant, オン・ルモントン ジェルンディオ(remonter)adv. また上がってくる時に「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai entendu エ・オントデュ 1 単現・完了形(entendre)v.t 聞こえた

「動詞句」

une voix ヌヌ・ウゑ n.f 声が

「目的語」

de femme トゥ・ファム adj. 女の

「形容詞句」

dans la chambre de Raymond. トン・ラ・ションブル・トゥ・レーモン

adv. レーモンの部屋の中で

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

少し後に、サラマノ老人が犬を叱った。階段の木製のステップで靴底と犬の爪がたてる音が聞こえ、次に「畜生、死にぞこないめ」が聞こえると、彼らは通りに出て行った。

Un peu après, le vieux Salamano a grondé son chien, nous avons entendu un bruit de semelles et de griffes sur les marches en bois de l'escalier et puis: «Salaud, charogne», ils sont sortis dans la rue.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

et 「副詞」: 《「罵声」》, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

| | | | |
|-----------------------|------------------------------------|-------------|--------|
| Un peu après, | アン・プ・アプレ adv. | 少し後になって | 「副詞句」 |
| le vieux Salamano | ル・ヴィエ・サラマノ n.m | サラマノ老人が | 「主語」 |
| a grondé | ア・グロンデ 3 単現・完了形(gronder)v.t | 叱った | 「動詞句」 |
| son chien, | ソン・シヤン n.m | 犬を | 「目的語」 |
| nous | ヌ pron | 僕たちは | 「主語」 |
| avons entendu | アヴ・オン・オントンデュ 1 複現・完了形(entendre)v.t | 聞こえた | 「動詞句」 |
| un bruit | アン・ブリュイ n.m | 音が | 「目的語」 |
| de semelles | ド・ウ・スメル adj.pl | 靴底の | 「形容詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| de griffes | ド・ウ・グリフ adj.pl | 犬の爪の | 「形容詞句」 |
| sur les marches | シュール・レ・マルシュ adv. | (階段の) ステップで | 「副詞句」 |
| en bois de l'escalier | オン・ブ・ワ・ド・ウ・レスカリエ | | |
| | adj. | 階段の木でできた | 「形容詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| puis: | ピュイ adv. | 次に、それから | 「副詞」 |
| «Salaud, | サロー n.m | 畜生 | 「罵声」 |
| charogne», | シャローニュ n.f | 腐った死骸 | 「罵声」 |
| ils | イル pron | 彼らは | 「主語」 |
| sont sortis | ソン・ソルティ 3 複現・完了形(sortir)v.i | 出て行った | 「動詞句」 |
| dans la rue. | ドン・ラ・リュエ adv. | 通りへ | 「副詞句」 |

僕がその老人のことを話して聞かせると、マリーは笑った。

J'ai raconté à Marie l'histoire du vieux et elle a ri.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」 et 「主語」 「動詞句」

| | | | |
|---------------------|------------------------------|-------|---------|
| J' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai raconté | エ・ラコンテ 1 単現・完了形(raconter)v.t | 話した | 「動詞句」 |
| à Marie | ア・マリー pron | マリーに | 「間接目的語」 |
| l'histoire du vieux | リストワール・ジュ・ヴィエ n.f | 老人の話を | 「直接目的語」 |
| et | エ conj. | そして | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

elle エル pron 彼女は 「主語」
 a ri. ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った 「動詞句」

彼女は、僕のパジャマの1つを、袖をまくり上げて着ていた。

Elle avait un de mes pyjamas dont elle avait retroussé les manches.

「主語」「動詞」「目的語」, 「間接目的語」「主語」「動詞句」「直接目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait アヴヱ 3 単半(avoir)v.t (着用) 着ていた 「動詞」
 un de mes pyjamas アン・ドゥ・メ・ピジャマ n.m 僕のパジャマの1つを 「目的語」
 dont ドン pron そのの 「間接目的語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait retroussé アヴヱ・ルトゥルセ 3 単半・完了形(retrousser)v.t まくり上げていた 「動詞句」
 les manches. レ・モンシュ pl.n.f 袖を 「直接目的語」

マリーが笑った時、僕はまた彼女が欲しくなった。

Quand elle a ri, j'ai eu encore envie d'elle.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」
 Quand コン conj. ～する時、～すると 「副詞節」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 a ri, ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った 「動詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 持った 「動詞句」
 encore オンコール adv. また 「副詞」
 envie d'elle. オンヴィー・デル n.f 彼女に欲望を 「目的語」

少し後で、マリーは僕に、愛しているかと尋ねた。

Un moment après, elle m'a demandé si je l'aimais.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Un moment après, アン・モン・アフレ adv. 少し後で 「副詞句」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥ・モンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 l' ラ pron 彼女を 「目的語」
 aimais. エメ 1 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、そういうことは意味がないが、たぶん愛していないと思うと答えた。

Je lui ai répondu que cela ne voulait rien dire, mais qu'il me semblait que non.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai répondu エ・レポ ンデュ 1 単現・完了形(répondre)v.t(que+直説法) ～だと答えた「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「直接目的語」

cela スラ pron それは

「主語」

ne voulait rien dire, ヌ・ヴレ・リヤン・テール 3 単半・否定・時制の一致(vouloir dire)

v.i 意味がない

「動詞句」

mais メ conj. しかし

qu' ク conj. ～ということ

「直接目的語」

il イル pron それは

「主語」

me ム pron 僕にとっては

「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半・時制の一致(sembler)v.i ～のように思える 「動詞」

que non. ク・ノン adv. 愛していないと

「直接目的語」

彼女は悲しそうな様子だった。しかし昼食の準備中に、そして何でもないことで彼女はまた笑ったので、僕は思わず彼女を抱きしめた。

Elle a eu l'air triste. Mais en préparant le déjeuner, et à propos de rien, elle a encore ri de telle façon que je l'ai embrassée.

「主語」「動詞句」「目的語」 | Mais 「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」

de telle façon que 「主語」「目的語」「動詞句」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (心身の状態・様子) ～をした

「動詞句」

l'air triste. レール・トリスト n.m 悲しそうな様子

「目的語」

Mais メ conj. しかし

en préparant オン・プレパ ン ジェルンディオ(préparer)adv. 準備しながら

「副詞句」

le déjeuner, ル・デジ ヌネ n.m 昼食を

「目的語」

et エ conj. そして

à propos de rien, ア・プロ ポ・ド・リヤン adv. 何でもないことで

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a encore ri エ・オンコール・リ 3 単現・完了形(rire+encore)v.i また笑った

「動詞句」

de telle façon que +直説法 トゥ・テル・ファソ ン・ク conj. そのことによって～する

je ジュ pron 僕は

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

l'ラ pron 彼女を 「目的語」
 ai embrassée. エ・オンブラッセ 1 単現・完了形(embrasser)v.t 抱きしめた、キスした 「動詞句」

その時、レーモンの部屋で口論の物音が響き渡った。

C'est à ce moment que les bruits d'une dispute ont éclaté chez Raymond.

「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 節）強調構文「その時～した」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 à ce moment ア・ス・モメン adv. この時に 「補語」
 que ク conj. ～ということは 「主語」
 les bruits レ・ブリユイ pl.n.m 物音が 「主語」
 d'une dispute テ・ユヌ・ディスプレット adj. 口論の 「形容詞句」
 ont éclaté オン・エクラテ 3 複現・完了形(éclater)v.i 響き渡った、起こった 「動詞句」
 chez Raymond. シェ・レーモン adv. レーモンの部屋で 「副詞句」

最初に女の鋭い声が聞こえ、次にレーモンが怒鳴る声が聞こえた：「俺を馬鹿にしやがって！俺を馬鹿にしやがって！」

On a d'abord entendu une voix aiguë de femme et puis Raymond qui disait: «Tu m'as manqué, tu m'as manqué.»

「主語」「動詞句」「目的語」et「副詞句」「目的語」：《「怒声」》

On オン pron（動詞は三人称単数形）僕らは 「主語」
 a d'abord entendu ア・ダ・ボール・オントンテュ 3 単現・完了形(entendre+ d'abord)
 v.t 最初～が聞こえた 「動詞句」
 une voix ユヌ・ヴァウゝわ n.f 声が 「目的語」
 aiguë エギュ adj.f 鋭い 「形容詞」
 de femme トゥ・ファム adj. 女の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 puis ビュイ adv. 次に 「副詞句」
 Raymond レモン n.m レーモンの声が 「目的語」
 qui キ pron（主語）彼は 「主語」
 disait: テ・イセ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」
 «Tu チュ pron お前は 「怒声」
 m' ム pron 俺に 「間接目的語」
 as manqué, ア・モンケ 2 単現・完了形(manquer)
 v.i.ind.（人に対して）敬意を欠いた 「動詞句」
 → 俺を馬鹿にしやがって！

PREMIÈRE PARTIE 第1部

tu m'as manqué. チュ・マ・モンケ 俺を馬鹿にしやがって！

「怒声」

manquer モンケ : 自動詞

manquer モンケ v.i (〜が) いなくて寂しい

Elle nous manque beaucoup. 彼女がいなくて私たちは寂しい。(nous は「間接目的語」)

manquer モンケ v.i.ind. (「間接目的語」を伴う) (à 〜に対して) 敬意を欠く

manquer à son supérieur 目上の人に対して礼を欠く

「俺を馬鹿にしたらどうなるか思い知らせてやる」そして何度か鈍い音が聞こえて、女が悲鳴を上げた。それが凄まじい声だったので、たちまち階段の踊り場は人で一杯になった。

Je vais t'apprendre à me manquer.» Quelques bruits sourds et la femme a hurlé, mais de si terrible façon qu'immédiatement le palier s'est empli de monde.

《「主語」「動詞句」》

「主語」「動詞」et「主語」「動詞句」mais「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 俺は

「主語」

vais t'apprendre ヴェ・タ・プロントル 1 単現・近接未来(aller+不定詞 apprendre +te+à+不定詞)

v.t 〜するとどうなるかをお前に教えてやる

「動詞句」

apprendre à qn à+不定詞 「人に〜するとどうなるかを思い知らせる」

à me manquer. ア・ム・モンケ 不定詞 v.i 俺を馬鹿にする

「動詞句」

Quelques bruits ケルク・ブリュイ pl.n.m 何度か物音が

「主語」

sourds スルト adj.pl (音が) 鈍い、かすかな

「形容詞」

→ おそらくレーモンが女を殴った時の「鈍い音」 次の動詞句が省略されている

se sont entendus 3 複現・完了形・再帰受動.pl(s'entendre)v.pr ーが聞こえた

et エ conj. そして

la femme ラ・ファム n.f 女が

「主語」

a hurlé, ア・ユル 3 単現・完了形(hurler)v.i うめき声をあげた、わめいた

「動詞句」

mais メ conj. しかし

de si terrible façon qu' トゥ・シ・テリブル・ファゾン・ク

adv. それがあまりにもひどい様子だったので

「副詞句」

immédiatement インメデアトモン adv. すぐに

「副詞」

le palier ル・パリエ n.m 階段の踊り場は

「主語」

s'est empli セ・オンプリ 3 単現・完了形(s'emplir)v.pr (de で) 一杯になった

「動詞句」

de monde. トゥ・モンド adv. 人々で

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

マリーと僕も外に出た。女はまだ叫んでいた、そしてレーモンはまだ殴っていた。

Marie et moi nous sommes sortis aussi. La femme criait toujours et Raymond frappait toujours.

| | |
|-------------------|--|
| | 「主語」「動詞句」「副詞」 「主語」「動詞」「副詞」 et 「主語」「動詞」「副詞」 |
| Marie et moi nous | マリー・エ・ムワ・ヌ pl.n マリーと僕は 「主語」 |
| sommes sortis | ソム・ソルティ 1 複現・完了形.pl(sortir)v.i 外に出た 「動詞句」 |
| aussi. | オシ adv. ～もまた 「副詞」 |
| La femme | ラ・ファム n.f 女は 「主語」 |
| criait | クリエ 3 単半(crier)v.i 叫んでいた 「動詞」 |
| toujours | トゥジュール adv. まだ 「副詞」 |
| et | エ conj. そして |
| Raymond | レーモン n.m レーモンは 「主語」 |
| frappait | フラパ 3 単半(frapper)v.t 殴っていた 「動詞」 |
| toujours. | トゥジュール adv. まだ 「副詞」 |

マリーは、ひどいと言ったが、僕は何も答えなかった。

Marie m'a dit que c'était terrible et je n'ai rien répondu.

| | |
|------------------|--|
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 |
| Marie | マリー n.f マリーは 「主語」 |
| m' | ム pron 僕に 「間接目的語」 |
| a dit | ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」 |
| que | ク conj. ～ということを 「直接目的語」 |
| c' | ス pron それは 「主語」 |
| était | エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」 |
| terrible | テリブル adj. ひどい 「補語」 |
| et | エ conj. そして |
| je | ジュ pron 僕は 「主語」 |
| n'ai ...répondu. | ネ...レポントデュ 1 単現・完了形・否定(repondre)v.t 答えなかった 「動詞句」 |
| rien | ルヤン pron 何も～ない 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼女は僕に警官を呼びに行くように頼んだが、僕は警官は嫌いだと答えた。

Elle m'a demandé d'aller chercher un agent, mais je lui ai dit que je n'aimais pas les agents.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「目的語」
 a demandé ア・ドゥァンテ 3 単現・完了形(demander)v.t(+de+不定詞) 「動詞句」
 v.t. ～するように頼んだ
 d'aller chercher ダレ・シェルシェ 不定詞(aller+chercher)v.t 呼びに行く 「補語」
 un agent, アン・アジヨン n.m 警官を 「目的語」
 mais メ conj. しかし
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'aimais pas ネ・パ 1 単半・否定・時制の一致(aimer) 「動詞句」
 v.t 好きではない
 les agents. レ・サジヨン pl.n.m 警官を 「目的語」

それでも警官が1人、3階に住んでいる配管工と一緒に到着した。

Pourtant, il en est arrivé un avec le locataire du deuxième qui est plombier.

「副詞」「主語」「動詞句」「主語」「副詞句」
 Pourtant, プールトン adv. それでも 「副詞」
 il en ...un イル・オン・アン pron 警官の1人が 「主語」
 il un d'agents 警官の1人
 est arrivé エ・アリヴェ 3 単現・完了形(arriver)v.i 到着した 「動詞句」
 avec アヴェツキ prep. ～と一緒に 「副詞句」
 le locataire ル・ロカテル n. 住人 「目的語」
 du deuxième シュ・トゥワジエム adj. 3階の 「形容詞句」
 1階 rez-de-chaussée レ・ドゥ・ショセ 2階 premier étage プルミエ・エタージュ
 3階 deuxième étage ドゥワジエム・エタージュ 地階で en sou-sol オン・ス・ソル
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 est エ 3 単現(être)v.i (職業が) ～である 「動詞」
 plombier. プロンビエ n.m 配管工 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

警官がドアを叩くと、部屋の物音が聞こえなくなった。

Il a frappé à la porte et on n'a plus rien entendu.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Il イル pron 警官は

「主語」

a frappé ア・フラペ 3 単現・完了形(frapper)v.i(à を) 叩いた

「動詞句」

à la porte ア・ラ・ポルト adv. ドアを

「間接目的語」

et エ conj. そして

on オン pron 僕らは

「主語」

n'a plus ...entendu. ナ・プリュ...オントンジュ 3 単現・完了形・否定(entendre+plus)

v.t もう聞こえなくなった

「動詞句」

rien リャン pron 何も～ない

「目的語」

警官がさらに激しくドアを叩くと、そのすぐ後に、女が泣き声を上げ、レーモンがドアを開けた。

Il a frappé plus fort et au bout d'un moment, la femme a pleuré et Raymond a ouvert.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」

Il イル pron 警官は

「主語」

a frappé ア・フラペ 3 単現・完了形(frapper)v.i(à を) 叩いた

「動詞句」

plus fort プリュ・フォル adv. もっと激しく

「副詞句」

et エ conj. そして

au bout d' オ・ブ・ドゥ prep ～の後に

「副詞句」

un moment, アン・モモン n.m 1 瞬

「目的語」

la femme ラ・ファム n.f 女が

「主語」

a pleuré ア・プル 3 単現・完了形(pleurer)v.i 泣いた

「動詞句」

et エ conj. そして

Raymond レーモン n.m レーモンが

「主語」

a ouvert. ア・ウヴェール 3 単現・完了形(ouvrir)v.t ドアを開けた

「動詞句」

彼は煙草をくわえて、大人しそうな様子をしていた。

Il avait une cigarette à la bouche et l'air doux.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (様子を) していた

「動詞」

une cigarette ヌヌ・シガレット n.f タバコを

「目的語」

à la bouche ア・ラ・ブーシュ adv. 口に

「副詞句」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

l'air douxereux. レール・ドゥスルー n.m 猫を被った様子 「目的語」
 douxereux ドゥスルー adj. さも優しい、猫を被った

女が戸口まで駆け付けてきて、レーモンが自分を殴ったのだと警官に訴えた。

La fille s'est précipitée à la porte et a déclaré à l'agent que Raymond l'avait frappée.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

La fille ラ・フィユ n.f 女が、娘が 「主語」
 s'est précipitée セ・プレシピテ 3 単現・完了形(s'precipiter)v.pr 駆け付けた 「動詞句」
 à la porte ア・ラ・ポルト adv. 戸口に、ドアに 「副詞句」
 et エ conj. そして
 a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った 「動詞句」
 à l'agent ア・ラジヨン adv. 警官に 「間接目的語」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 Raymond レモン n.m レーモンが 「主語」
 l' ラ pron.f 自分を(彼女を) 「目的語」
 avait frappée. アヴ・ェ・フラベ 3 単半・完了形(frapper)v.t 殴った 「動詞句」

「名前は？」と、警官がレーモンに尋ねた。

«Ton nom», a dit l'agent. 《「質問」》, 「動詞句」「主語」
 «Ton nom», トン・ノン n.m (レーモンに対して) 君の名前は? 「質問」
 ton トン adj.m 君の ta タ adj.f 君の tes テ adj.pl 君たちの
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 l'agent. ラジヨン n.m 警官が 「主語」

レーモンは答えた。「わしにものを言うときは、くわえ煙草はやめろ」と、警官が言った。

Raymond a répondu. «Enlève ta cigarette de la bouche quand tu me parles», a dit l'agent.

「主語」「動詞句」 | 《「動詞」「目的語」「副詞句」「副詞節」》, 「動詞句」「主語」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」
 a répondu. ア・レボンデュ 3 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」
 «Enlève オンレヴ 命・2 単現(enlever)v.t 取り除け 「動詞」
 ta cigarette タ・シガレット n.f 煙草を 「目的語」
 de la bouche トゥ・ラ・ブーシュ adv. 口から 「副詞句」
 quand コン conj. ～する時は 「副詞節」
 tu チュ pron お前が 「主語」
 me ム pron わしに 「間接目的語」
 parles», パール 2 単現(parler)v.i 話す 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
l'agent. ラジヨン n.m 警官が 「主語」

レーモンはためらい、僕を見つめてから煙草を吸った。

Raymond a hésité, m'a regardé et a tiré sur sa cigarette.

「主語」「動詞句」, 「目的語」「動詞句」 et 「動詞句」「間接目的語」
Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」
a hésité, ア・エジテ 3 単現・完了形(hésiter)v.i ためらった 「動詞句」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a regardé ア・ルガヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見た、見つめた 「動詞句」
et エ conj. そして
a tiré ア・ティレ 3 単現・完了形(tirer)v.i(sur を) 吸った 「動詞句」
sur sa cigarette. シュール・サ・シガレット adv. 煙草を 「間接目的語」

この瞬間、警官がぶ厚くて重そうな平手でレーモンの頬を力いっぱい張りとばした。

A ce moment, l'agent l'a giflé à toute volée d'une claque épaisse et lourde, en pleine joue.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」
A ce moment, ア・ス・モモン adv. この瞬間に 「副詞句」
l'agent ラジヨン n.m 警官が 「主語」
l' ル pron 彼を 「目的語」
a giflé ア・ジフル 3 単現・完了形(gifler)v.t 平手打ちを食わせた 「動詞句」
à toute volée ア・トゥット・ヴァレ adv. カ一杯、勢いよく 「副詞句」
d'une claque デュンヌ・クラック adv. (手段) 平手打ちで 「副詞句」
épaisse et lourde, エ・ス・エルルト adj.f ぶ厚くて重そうな 「形容詞句」
en pleine joue. オン・プレヌ・ジュエ adv. 頬をまともに 「副詞句」
en plein オン・プラン adv. まともに、真つ向から joue ジュエ n.f 頬、横っ面

タバコは数メートル先に転がった。

La cigarette est tombée quelques mètres plus loin.

「主語」「動詞句」「副詞句」
La cigarette ラ・シガレット n.f タバコは 「主語」
est tombée エ・トンベ 3 単現・完了形.f(tomber)v.i 落ちた、転がった 「動詞句」
quelques mètres ケルキ・メートル adj.pl 数メートル 「形容詞句」
plus loin. プリュールオン adv. 先に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

レーモンの顔色が変わったが、とっさには何も言わなかった。少しして、へりくだった口調で、たばこの吸い殻を拾ってもよいかと警官に尋ねた。

Raymond a changé de visage, mais il n'a rien dit sur le moment et puis il a demandé d'une voix humble s'il pouvait ramasser son mégot.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「副詞句」
et 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」
a changé ア・ションジエ 3 単現・完了形(changer)v.i (de が) 変わった 「動詞句」
de visage, トゥ・ヴィザージュ adv. 顔色が 「間接目的語」
mais メ conj. しかし
il イル pron 彼は 「主語」
n'a rien dit ナ・リヤン・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 何も言わなかった 「動詞句」
ne rien+動詞 何も～しない
sur le moment シュール・ル・モメン adv. とっさに、ちょうどその時 「副詞句」
et エ conj. そして
puis ピュイ adv. それから 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
d'une voix humble デュヌ・ヴォ・アンブル adv. (手段) へりくだった声で 「副詞句」
s' シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
il イル pron 彼は 「主語」
pouvait ramasser フゥェ・ラマッセ 3 単半・許可(pouvoir+不定詞)
v.t 拾い上げてよい 「動詞句」
son mégot. ソン・メゴ n.m タバコの吸い殻 「目的語」

警官は拾ってもよいとレーモンに言い渡し、さらに付け加えた：「だが、この次同じことがあれば、警官はただの道化者ではないことを思い知らせるからな」

L'agent a déclaré qu'il le pouvait et il a ajouté: «Mais la prochaine fois, tu sauras qu'un agent n'est pas un guignol» 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」:

《Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」》

L'agent ラジヨン n.m 警官は 「主語」
a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 言い渡した 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
il イル pron レーモンは 「主語」
le ル pron それを (拾うこと) 「目的語」
pouvait フゥェ 3 単半・許可(pouvoir)v.t してもかまわない 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|--------------------------------------|-----------------------------|-------|
| et エ conj. | そして、さらに | |
| il イル pron | 警官は | 「主語」 |
| a ajouté: ア・アジュテ | 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |
| «Mais メ conj. | だが | |
| la prochaine fois, ラ・プ ロシェンヌ・フワ adv. | この次は | 「副詞句」 |
| | 再び警官に対してくわえ煙草で喋った場合には | |
| tu チュ pron | お前は | 「主語」 |
| sauras ラ 2 単未・意志(savoir)v.t | 知るだろう | 「動詞」 |
| | 話者の意志として、「～を思い知らせてやる」の意味になる | |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| un agent ア・ナジヨン n.m | 警官は | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞」 |
| un guignol. アン・ギニョール n.m | 人形芝居の道化者、指人形、滑稽な人 | 「補語」 |

ギニョール guignol :

1808 年にフランスのローラン・ムルゲによって作られた指人形芝居の主人公の名。現在は子供向けの娯楽として、ギニョールが面白おかしく悪者を退治する勧善懲悪の話やピノッキオなどのおとぎ話が主な出し物になっている。

こうしている間も女は泣き続けていた。そして、言い続けた:「こいつがあたしを殴ったんだ。こいつはひもなんだ」

Pendant ce temps, la fille pleurait et elle a répété: «Il m'a tapée. C'est un maquereau.»

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「動詞句」:

《「主語」 「目的語」 「動詞句」 | 「主語」 「動詞」 「補語」》

| | | |
|--------------------------------------|---------------|-------|
| Pendant ce temps, ホントンス・ストン adv. | こうしている間に、この間に | 「副詞句」 |
| la fille ラ・フィユ n.f | 女は | 「主語」 |
| pleurait プル 3 単半(pleurer)v.i | 泣き続けていた | 「動詞」 |
| et エ conj. | そして | |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| a répété: エ・レペテ 3 単現・完了形(répéter)v.t | 言い続けた | 「動詞句」 |
| «Il イル pron | こいつが | 「主語」 |
| m' ム pron | 私を | 「目的語」 |
| a tapée. ア・タペ 3 単現・完了形.f(taper)v.t | 叩いた | 「動詞句」 |
| C' ス pron | こいつは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un maquereau. アン・マクロ n.m | ひも | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

半過去・大過去：

- 過去における継続的行為・状態を表す。

Lorsque j'**avais** six ans j'ai vu, une fois, une magnifique image.

6歳の時、僕はすばらしい挿絵を一度見たことがある。

- 過去における習慣・反復的行為を表す。

Tous les soirs, il **allait danser**. 毎晩彼は踊りに行ったものだ。

- 描写の半過去

La cinquième planète **était** très curieuse. C'**était** la plus petite de toutes. Il y **avait** là juste assez de place pour loger un réverbère et un allumeur de réverbères.

5番目の星はとても奇妙だった。それは全ての星の中でいちばん小さかった。外套と点灯夫のための場所が、かろうじてあるだけだった。

- 過去における現在（主節が過去時制のとき、従属節の現在が半過去になる）

Je croyais qu'il **était** marié. 彼が**結婚**していると思っていた。

- 間接話法における半過去（従属節の現在が半過去に変わる）

Il m'a dit que sa mère **était** malade. 彼はお母さんが**病気だ**と言った。

- 仮定を表す「si + 半過去」

Mais, si le mouton mange la fleur, c'est pour lui **comme si**, brusquement, toute les étoiles **s'éteignaient!**

でも、もしヒツジが花を食べてしまったら、その人にとっては、突然すべての星の光が消えてしまうようなものだよ！

- 大過去（avoir／être の半過去+過去分詞）の例文

Quand je suis arrivé à la gare, le train **était parti**.

僕が駅に着いたとき、列車は出てしまっていた。

Je pensais qu'elle **était partie** pour la France.

わたしは彼女がフランスへ出発したと思っていた。

「お巡りさん」、そこでレーモンが尋ねた。「人をひもと呼ぶのは、違法じゃないんですか？」

— «Monsieur l'agent, a demandé alors Raymond, c'est dans la loi, ça, de dire maquereau à un homme?» 《「呼びかけ」》, 「動詞句」「副詞」「主語」, 《「動詞」「補語」「主語」》

— «Monsieur l'agent, ムシュ・ランジョン n.m お巡りさん

「呼びかけ」

a demandé ア・ドゥ・ランモンテ 3 単現・完了形(demande)v.t 尋ねた

「動詞句」

alors アール adv. そこで

「副詞」

Raymond, レーモン n.m レーモンが

「主語」

c' ス pron 仮の主語（真の主語は ça 以降）

est エ 3 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

dans la loi, ドン・ラルワ adv. 法律の範囲内、違法ではない

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

ça, de dire サ・ドゥ・リール 不定詞 n. ～ということは 「主語」
 maquereau マクロ n.m ひも 「補語」
 à un homme? ア・アン・ノム adv. 人に対して 「間接目的語」

しかし警官は彼に命じた：「へらず口を叩くな！」

Mais l'agent lui a ordonné «de fermer sa gueule».

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「動詞句」「目的語」》

Mais メ conj. しかし
 l'agent ラジヨン n.m 警官は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 a ordonné ア・オルドネ 3 単現・完了形(ordonner)v.t 命じた 「動詞句」
 «de fermer ドゥ・フェルメ 不定詞 n. 閉じること、(命令) 閉じなさい 「動詞句」
 sa gueule». サ・ゲル n.f お前の口を 「目的語」
 → 余計なことを言うな！ へらず口を叩くな！

それでレーモンは女のほうへ振り返って、言った。「おい、待ってろよ！また会う時を」

Raymond s'est alors retourné vers la fille et il lui a dit: «Attends, petite, on se retrouvera.»

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」：
 《「動詞」「呼びかけ」「目的語」》

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」
 s'est alors retourné セ・タロー・ルトゥルネ 3 単現・完了形(se retourner+alors)
 v.pr それで振り返った 「動詞句」
 vers la fille ヴェール・ラ・フィユ adv. 女のほうに 「副詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
 a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Attends, アトン 命・2 単現(attendre)v.t 待ってろよ 「動詞」
 petite, プティット pron.f お前、おい 「呼びかけ」
 on オン pron 俺たちが～する時を 「目的語」
 se retrouvera. ス・ルトゥルヴラ 3 単末(se retrouver)v.pr また会えよう 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

警官は彼に口を閉じるように言ってから、女は帰るようにと言い渡し、レーモンは警察署から呼び出されるまで部屋に留まるように言い渡した。

L'agent lui a dit de fermer ça, que la fille devait partir et lui rester dans sa chambre en attendant d'être convoqué au commissariat.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」, 「目的語」

L'agent ラジヨン n.m 警官は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

de fermer トゥ・フェルメ 不定詞 v.t 閉じる

「補語」

ça, サ pron (gueule の代用) 口を

「目的語」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

la fille ラ・フィユ n.f 女は

「主語」

devait partir トゥヴ・エ・パルテール 3 単半・義務・時制の一致(devoir+不定詞)

v.i 帰るべきだ

「動詞句」

et エ conj. そして

lui リュイ pron 彼は

「主語」

rester レステ 3 単半・義務・時制の一致(devoir+不定詞)

v.i 留まらなければならない

「動詞句」

dans sa chambre ドン・サ・ショブル adv. 部屋の中に

「副詞句」

en attendant オン・アトボン ジェルンディオ(attendre)

adv.(de+不定詞) ～するまで待つて

「副詞句」

d'être convoqué デートル・コンヴ・オク 不定詞・受動(convoquer)

v.t 呼び出される

「動詞句」

au commissariat. オ・コミサリア adv. 警察署から

「副詞句」

レーモンが震えているのを見て、警官が付け加えて言った。「こんなに震えるほど酔っばら
って恥ずかしいと思わんのか？」

Il a ajouté que Raymond devrait avoir honte d'être soûl au point de trembler comme il le
faisait.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Il イル pron 警官は

「主語」

a ajouté ア・アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

Raymond レモン n.m レーモンは

「主語」

devrait avoir トゥヴ・レ・アヴ・ワール 条・3 単現・義務・推測(devoir+不定詞)

v.t ～を持つべきだと思うが(どうなんだ?)

「動詞句」

honte ホント n.f(de+不定詞 ～するのは) 恥

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-------------------|--------------------------------------|-------|
| d' + 不定詞 | adv. (原因・理由) ～するのは | 「副詞句」 |
| être | エートル 不定詞 v.i ～である | 「動詞」 |
| soûl | スル adj. 酔った | 「補語」 |
| au point de + 不定詞 | オ・プ わン・ドゥ adv. ～するほど | 「副詞句」 |
| trembler | トロンブレ 不定詞 v.i 震える | 「動詞」 |
| comme | コム conj. (原因) ～なので | 「副詞節」 |
| il | イル pron 彼は | 「主語」 |
| le | ル pron (tremblement の代用) 震え | 「目的語」 |
| faisait. | フゼ 3 単半・時制の一致(faire)v.t (動作) ある、している | 「動詞」 |

条件法 現在・過去 : 主な用法

条件法は、事実の反対を仮定して語るときに使用する叙法です。

● 現在または未来の事実に反する仮定の帰結

仮定を表す条件節は〈si+直説法半過去〉で示され、その帰結文である主節に〈条件法現在〉が用いられます。

Si le général n'obéissait pas, ce ne **serait pas** la faute du général.

もし将軍が従わないとしても、それは彼の過失ではないであろう。

● 現在または未来の語調緩和

Je **voudrais** voir un coucher de soleil. 僕は夕陽が見たいんです。

● 現在または未来の推測、反語

Pourquoi un chapeau **ferait-il** peur? どうして帽子が怖いんだね?

● 過去における未来

主節が過去時制のとき、従属節に用いられて、過去における未来を表します。

Je pensais qu'ils se **marieraient**. 彼らが結婚するだろうと思っていた。

● 間接話法における条件法現在

主節が過去時制のとき、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉により、従属節の直説法単純未来が条件法現在に変わります。

Il m'a dit qu'il **voyagerait** en Europe. 彼はヨーロッパ旅行をするだろうと言った。

(Il m'a dit: «Je voyagerai en Europe.») 直接話法

● 条件法過去 (avoir/être の条件法現在+過去分詞) の用法

- ・ 過去の事実に反する仮定の帰結

S'il avait fait beau, nous **serions allés** à la montagne.

晴れていれば僕たちは山へ行っただろうに。(そうならなかった)

- ・ 過去の語調緩和

J'**aurais voulu** acheter ces bijoux. そのアクセサリーを買いたかったのに。

- ・ 過去の推測

Il y **aurait eu** un grave accident. 大きな事故があっただろう。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

- 主節が過去時制の時、従属節に〈時制の一致〉として用いられて、過去における未来完了を表します。

Je croyais qu'elle **serait rentrée** avant onze heures.

私は彼女が 11 時までには帰っているだろうと思っていた。

- 主節が過去時制の時、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉によって、従属節の直説法前未来が条件法過去に変わります。

Il m'a dit qu'il **aurait fini** son travail quand je reviendrais.

彼は僕が戻ってくるときには自分の仕事を終えているだろうと言った。

そこでレーモンは釈明した：「俺は酔っちゃいませんぜ、お巡りのだんな。ただ俺はお巡りさんの前にいると、震えてしまうんです。どうしようもないんだ」

A ce moment, Raymond lui a expliqué: «Je ne suis pas soûl, monsieur l'agent. Seulement, je suis là, devant vous, et je tremble, c'est forcé.»

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」: 《「主語」「動詞」「補語」「呼びかけ」

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」et「主語」「動詞」, 「主語」「動詞」「補語」》

A ce moment, ア・ス・モ^ン adv. この時、そこで 「副詞句」

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

a expliqué: ア・エクスプ^リク 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した、釈明した 「動詞句」

«Je ジュ pron 俺は 「主語」

ne suis pas ス・シュイ・パ^ス 1 単現・否定(être)v.i ~でない 「動詞」

soûl, スル adj. 酔った 「補語」

monsieur l'agent. ムシュ・ラジ^{ョン} n.m お巡りのだんな 「呼びかけ」

Seulement, スルモン adv. ただ 「副詞」

je ジュ pron 俺は 「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i (存在) いる 「動詞」

là, devant vous, ラー・ドヴァ^ン・ヴ^ス adv. お巡りさんの前に 「副詞句」

et エ conj. すると、だから

je ジュ pron 俺は 「主語」

tremble, トロンブル 1 単現(trembler)v.i 震える 「動詞」

c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

forcé.» フォルセ adj. 不可抗力の、避けがたい 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

レーモンがドアを閉じると、皆は立ち去った。

Il a fermé sa porte et tout le monde est parti.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」

Il イル pron レーモンは

「主語」

a fermé ア・フェルメ 3 単現・完了形(fermer)v.t 閉じた

「動詞句」

sa porte サ・ポルト n.f ドアを

「目的語」

et エ conj. そして

tout le monde トゥ・ル・モンド n.m (単数扱い) 皆は

「主語」

est parti. エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 立ち去った

「動詞句」

マリーと僕は昼食の支度を終えたが、マリーは空腹ではなかったので、僕がほとんど全部食べた。彼女は1時に帰り、僕は少し眠った。

Marie et moi avons fini de préparer le déjeuner. Mais elle n'avait pas faim, j'ai presque tout mangé. Elle est partie à une heure et j'ai dormi un peu.

「主語」「動詞句」「目的語」

Mais 「主語」「動詞句」「補語」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Marie et moi マリー・エ・ムワ pl.n マリーと僕は

「主語」

avons fini de préparer アヴ・オン・フィニ・ドゥ・プ・レ・パレ 1 複現・完了形(finir de+不定詞)

v.t ~を支度するのを終えた

「動詞句」

le déjeuner. ル・デジユネ n.m 昼食

「目的語」

Mais メ conj. しかし

elle エル pron 彼女は

「主語」

n'avait pas ナヴ・エ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ~でなかった

「動詞句」

faim, ファム n.f 空腹 (状態を表す「目的語」)

「補語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai ...mangé. エ...モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t 食べた

「動詞句」

presque tout プレスキ・トゥ pron ほとんど全部を

「目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

est partie エ・パルティ 3 単現・完了形.f(partir)v.i 帰った

「動詞句」

à une heure ア・ユ・ネール adv. 1 時に

「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った

「動詞句」

un peu. アン・プ adv. 少し

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

3 時頃、僕の部屋のドアをたたく音がすると、レーモンが入ってきた。僕は横になったまま
でいた。

Vers trois heures, on a frappé à ma porte et Raymond est entré. Je suis resté couché.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」

「主語」「動詞句」「補語」

Vers ヴェール prep (時間) ～頃に 「副詞句」

trois heures, トゥールワ・ゼール pl.n.f 3 時 「目的語」

on オン pron 誰かが 「主語」

受動態に変換して翻訳する

a frappé ア・フラペ 3 単現・完了形(frapper)v.i(à を) たたた 「動詞句」

à ma porte ア・マ・ポルト adv. 僕の部屋のドアを 「間接目的語」

et エ conj. そして

Raymond レーモン n.m レーモンが 「主語」

est entré. エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

suis resté シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i ～のままでいた 「動詞句」

couché. クシェ adj. 寝ている、横になった 「補語」

彼は僕のベッドの縁に腰かけた。

Il s'est assis sur le bord de mon lit. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

s'est assis セ・タン 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」

sur le bord シュール・ル・ボール adv. 縁に 「副詞句」

de mon lit. トゥ・モン・リ adj. 僕のベッドの 「形容詞句」

彼がしばらく喋らないでいたので、僕は彼に例の件はどうなったのかと尋ねた。

Il est resté un moment sans parler et je lui ai demandé comment son affaire s'était passée.

「主語」「動詞句」「副詞句」「補語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

est resté エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i ～のままでいた 「動詞句」

un moment アン・モメン adv. 少しの間、しばらく 「副詞句」

sans parler ツン・パル adv. 喋らない 「補語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai demandé エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

comment コモン adv. どのように～するかということをする 「直接目的語」
 son affaire ソン・アフェール n.f 彼の1件は 「主語」
 s'était passée. セテ・パセ 3 単半・完了形(se passer)
 v.pr 進行した、決着した 「動詞句」

彼は考えていたように事を進めたと僕に語ったが、女のほうに先に彼に平手打ちを食わせたので、彼も女を殴ったのだと続けた。

Il m'a raconté qu'il avait fait ce qu'il voulait mais qu'elle lui avait donné une gifle et qu'alors il l'avait battue. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 mais 「直接目的語」 et 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a raconté ア・ラコンテ 3 単現・完了形(raconter)v.t 語った、話した 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということをする 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait fait アヴ・ェ・フェ 3 単半・完了形(faire)v.t やった、行った 「動詞句」
 ce ス pron それを 「目的語」
 qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 voulait ヴレ 3 単半(vouloir)v.t 希望した 「動詞」
 mais メ conj. しかし
 qu' ク conj. ～ということをする 「直接目的語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 avait donné アヴ・ェ・ドネ 3 単半・完了形(donner)v.t 先に与えた 「動詞句」
 une gifle エヌ・ジーフル n.f 平手打ちを 「直接目的語」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ～ということをする 「直接目的語」
 alors アロー adv. それで 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 l' ラ pron 彼女を 「目的語」
 avait battu. アヴ・ェ・バチュ 3 単半・完了形.f(battre)v.t 殴った 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そこから後のことは、僕も自分の目で見た。僕には女は報いを受けたように思われる、だから彼は満足すべきだと彼に言った。

Pour le reste, je l'avais vu. Je lui ai dit qu'il me semblait que maintenant elle était punie et qu'il devait être content.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 et 「直接目的語」

| | | | |
|----------------|-----------|-----------------------------|---------|
| Pour le reste, | プール・ル・レスト | adv. その他は、そこから後のことは | 「副詞句」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| l' | ル | pron そのことは | 「目的語」 |
| avais vu. | アヴァ・ヴェ・ヴュ | 1 単半・完了形(voir)v.t (その時に) 見た | 「動詞句」 |
| Je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai dit | エイ・ディ | 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' | ク | conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il | イル | pron 仮の主語 (真の主語は que) | |
| me | ム | pron 僕には | 「間接目的語」 |
| semblait | サンブレ | 3 単半(sembler)v.i ～のように思われる | 「動詞」 |
| que | ク | conj. ～ということ | 「主語」 |
| maintenant | マントナ | adv. 今では | 「副詞句」 |
| elle | エル | pron 女は | 「主語」 |
| était punie | エテ・ビュニー | 3 単半・受動(punir)v.t 報いを受けた | 「動詞句」 |
| et | エ | conj. そして | |
| qu' | ク | conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il | イル | pron レーモンは | 「主語」 |
| devait être | ドヴァ・エ・テール | 3 単半・義務・時制の一致(devoir+不定詞) | |
| | | v.i ～であるべきだ | 「動詞句」 |
| content. | コント | adj. 満足した | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それは彼も同じ意見だった。そして警官が何をしてしても無駄で、女が受けた殴打については何も変わらないと指摘した。

C'était aussi son avis, et il a observé que l'agent avait beau faire, il ne changerait rien aux coups qu'elle avait reçus.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

C' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 aussi オ adv. もまた、同様に 「副詞」
 son avis, ソ・ナヴィ n.m 彼の意見 「補語」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a observé ア・オブセルヴエ 3 単現・完了形(observer)v.t 指摘した 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 l'agent ラジヨン n.m 警官が 「主語」
 avait beau +不定詞 アヴィェ・ボ 3 単半・無駄(avoir beau+不定詞)
 v.t ～しても無駄だ 「動詞句」
 faire, フェール 不定詞 v.t する 「動詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 ne changerait rien ヌ・シヨンジユレ・リヤン 条・3 単現・否定(changer)
 v.t 変えないだろう 「動詞句」
 aux coups オ・クー adv. 殴打について 「副詞」
 qu' ク pron.pl (目的語) ～する 「形容詞節」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 avait reçus. アヴィェ・ルシュ 3 単半・完了形(recevoir)
 v.t 受け取った、食らった 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は警官のことはよく知っているし、彼らに対してどのように振る舞わなければならない
 かも心得ている、と付け加えて言った。

Il a ajouté qu'il connaissait bien les agents et qu'il savait comment il fallait s'y prendre avec eux.

Il イル pron 彼は 「主語」
 a ajouté ア・アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えて言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 connaissait コネ 3 単半・時制の一致(connaître)v.t 知っている 「動詞」
 bien ビヤン adv. よく 「副詞」
 les agents レ・サジヨン pl.n.m 警官たちを 「目的語」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 savait サヴェ 3 単半・時制の一致(savoir)v.t 知っている 「動詞」
 comment コモン adv. どのように～するかということを 「目的語」
 il fallait +不定詞 イル・ファレ 3 単半・時制の一致(il falloir+不定詞)
 v. ～しなければならない 「動詞句」
 s'y prendre シ・プロントル 不定詞 v.pr 振る舞う 「動詞句」
 avec eux. アヴェッキ・イ adv. 彼らに対して 「副詞句」

それから警官の平手打ちに対して彼が応酬するのを期待していたかと僕に尋ねた。

Il m'a demandé alors si j'avais attendu qu'il réponde à la gifle de l'agent.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥマモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 alors アロー adv. そして、そこで 「副詞」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais attendu アヴェ・アトンジユ 1 単半・完了形(attendre)
 v.t 期待していた 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron 彼が 「主語」
 réponde レポント 接・3 単現(répondre)v.t 応酬するだろう 「動詞」
 à la gifle ア・ラ・ジフル adv. 平手打ちに対して 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

de l'agent. トゥ・ラジヨン adj. 警官の 「形容詞句」

僕は、何も期待していなかったし、そもそも警官は嫌いだと答えた。

J'ai répondu que je n'attendais rien du tout et que d'ailleurs je n'aimais pas les agents.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'attendais rien ナンデ・リヤン 1 単半・否定(attendre)

v.t 期待していなかった 「動詞句」

du tout ジュ・トゥ pron (否定文で) 全く、何も～ない 「目的語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「目的語」

d'ailleurs ダイユール adv. そもそも、もともと 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'aimais pas ネ・パ 1 単半・否定・時制の一致(aimer)v.t 嫌いだ 「動詞句」

les agents. レ・サジヨン pl.n.m 警官 「目的語」

レーモンはとても満足そうな顔をした。一緒に外に出ないかと僕を誘った。

Raymond a eu l'air très content. Il m'a demandé si je voulais sortir avec lui.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (様子を) していた 「動詞句」

l'air レール n.m 様子を 「目的語」

très content. トレ・コントン adj. とても満足そうな 「形容詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 誘った、尋ねた 「動詞句」

si シ conj. (si+半過去: 勧誘) ～するのはどうかということ 「直接目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

voulais sortir ヴレ・ソルティール 1 単半・勧誘(vouloir+不定詞)

v.i 外に出る 「動詞句」

avec lui. アヴ・エッキ・リュイ adv. 彼と 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は起き上がって、髪をとかし始めた。

Je me suis levé et j'ai commencé à me peigner. 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis levé ム・シュイ・ルヴェ 1 単現・完了形(se lever)v.pr 起き上がった 「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai commencé à +不定詞 エ・コモンセ・ア 1 単現・完了形・開始(commencer à +不定詞)

v. ～を始めた 「動詞句」

me peigner. ム・ペニエ 不定詞(se peigner)v.pr 自分の髪をとかす 「動詞句」

彼は僕に、彼の証人になってもらう必要があると言った。

Il m'a dit qu'il fallait que je lui serve de témoin.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」

il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称・時制の一致(il falloir)

v.h(que+接続法) ～が必要である 「動詞句」

que ク conj. ～ということが 「主語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「目的語」

serve セルヴ 接・1 単現(servir)

v.i(à qn de+無冠詞名詞) (人) に～の役目を果たす 「動詞」

de témoin. ド・ク・テムワソ adv. 証人として 「補語」

僕としてはそれはどちらでも良かったのだが、僕は何を言えばよいかわからなかった。

Moi cela m'était égal, mais je ne savais pas ce que je devais dire.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」 mais 「主語」「動詞」「目的語」

Moi ムワ pron 僕としては 「副詞」

cela スラ pron それは 「主語」

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

égal, エガル adj. どちらでもよい 「補語」

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

ne savais pas ス・サヴ ェ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 分からなかった 「動詞」
 ce ス pron それを 「目的語」
 que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 devais dire. トゥ・ヴ ェ・デ ィール 1 単半・義務(devoir+不定詞)
 v.t 言うべきである 「動詞句」

レーモンが言うには、女が彼を馬鹿にしたと証言すれば十分だったということだった。

Selon Raymond, il suffisait de déclarer que la fille lui avait manqué.

「副詞句」, 「動詞句」 「主語」
 Selon スロソ prep ～の言によれば 「副詞句」
 Raymond, レーモン n.m レーモン 「目的語」
 il suffiisait イル・シフ ィェ 3 単半・非人称(suffire)v.h(de+不定詞)
 v.h ～するだけで十分だった 「動詞句」
 de déclarer トゥ・デクレ 不定詞 v.t(que ～ということ)を) 申告することが 「主語」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 la fille ラ・フィユ n.f 女が 「主語」
 lui リュイ pron 彼に対して 「間接目的語」
 avait manqué. アヴ ェ・モンケ 3 単半・完了形(manquer)
 v.i 敬意を欠いた、馬鹿にした 「動詞句」

僕は彼の証人になることを承知した。僕らは外出した。レーモンが僕に上等のブランデーをおごってくれた。

J'ai accepté de lui servir de témoin. Nous sommes sortis et Raymond m'a offert une fine.

「主語」 「動詞句」 「目的語」
 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai accepté エ・アクセ プテ 1 単現・完了形(accepter)v.t(de+不定詞)
 v. ～することを承知した 「動詞句」
 de +不定詞 トゥ 不定詞 n. ～すること 「目的語」
 lui リュイ pron 彼に 「目的語」
 servir セルヴ ィール 不定詞
 v.i(à qn de+無冠詞名詞) (人) に～の役目を果たす 「動詞」
 de témoin. トゥ・テム わソ adv. 証人として 「補語」
 Nous ス pron 僕らは 「主語」
 sommes sortis ソモス・ソル ティ 1 複現・完了形(pl(sortir)v.i 外に出た 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

Raymond レモン n.m レーモンが

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a offert ア・オフール 3 単現・完了形(offrir)v.t おごった

「動詞句」

une fine. エヌ・フィーヌ n.f 上等のブランデーを

「直接目的語」

それから彼はビリヤードを1勝負やりたいと言った。僕は惜しくも負けてしまった。

Puis il a voulu faire une partie de billard et j'ai perdu de justesse.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Puis ビュイ adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

a voulu faire ア・ヴリュ・フェール 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t. ～したがった、～をしたいと言った

「動詞句」

une partie エヌ・パルティー n.f 1 勝負を

「目的語」

de billard トゥ・ビヤール adj. ビリヤードの

「形容詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai perdu エ・ペルデュ 1 単現・完了形(perdre)v.i 負けた

「動詞句」

de justesse. トゥ・ジュステス adv. ぎりぎりのところで、惜しくも

「副詞句」

それから彼は売春宿に行きたがったが、僕はそれは好まないで断った。

Il voulait ensuite aller au bordel, mais j'ai dit non parce que je n'aime pas ça.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

voulait ensuite aller ブレ・オンシュイト・アレ 3 単半・願望(vouloir+不定詞+ ensuite)

v.i. それから～に行きたがった

「動詞句」

au bordel, オ・ホルデル adv. 売春宿に

「間接目的語」

mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

non ノン adv. いやと

「目的語」

parce que パルス・ク conj. ～なので

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'aime pas ネム・パ 1 単現・否定(aimer)v.t 好まない、嫌いだ

「動詞句」

ça. サ pron それは

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それから僕らはぶらぶらと戻ってきた。彼は、愛人を懲らしめることが出来てどんなに満足かという事を僕に話した。

Alors nous sommes rentrés doucement et il me disait combien il était content d'avoir réussi à punir sa maîtresse.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Alors アロー adv. それから 「副詞句」
 nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」
 sommes rentrés ソム・ロントレ 1 単現・完了形(rentre)v.i 戻ってきた 「動詞句」
 doucement ドゥケスムエン adv. ゆっくりと、ぶらぶらと 「副詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 disait デイゼ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 combien コンビヤン adv. どれほど～するかということを 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 content コントソ conj. 満足した 「補語」
 d'+不定詞・完了形 トゥ adv. (原因) ～したことで 「副詞句」
 avoir réussi à punir アヴ・ワ・ル・リュシ・ア・ピ ユニール 不定詞・完了形(réussir à+不定詞)
 v.t うまく～を罰することができた 「動詞句」
 sa maîtresse. サ・メトレス n.f 彼の愛人を 「目的語」

僕は、彼が自分に対してとても親切に感じたので、楽しいひと時だと思った。

Je le trouvais très gentil avec moi et j'ai pensé que c'était un bon moment.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 le ル pron 彼が 「目的語」
 trouvais トルヴァエ 1 単半(trouver)v.t(qn+C 人が) ～だと思った 「動詞」
 très gentil トレ・ジヨンテイ adj. とても思いやりのある、親切的な 「補語」
 avec moi アヴ・エツキ・ムワ adv. 僕に対して 「副詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que+直説法) と思った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 c' ス pron これは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

un bon moment. アン・ボン・モメン n.m 楽しいひと時

「補語」

遠くから、サ라마ノ老人が不安そうな様子で戸口のステップにいるのが目に入った。

De loin, j'ai aperçu sur le pas de la porte le vieux Salamano qui avait l'air agité.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

De loin, トゥ・ル・ワソ adv. 遠くから

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai aperçu エ・アペ・ルシュ 1 単現・完了形(apercevoir)v.t 目に入った、見えた

「動詞句」

sur le pas シュール・ル・パ° adv. ステップに

「副詞句」

de la porte トゥ・ラ・ポルト adj. 戸口の

「形容詞句」

le vieux Salamano ル・ヴィエイ・サ라마ノ n.m サ라마ノ老人

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t (様子を) している

「動詞」

l'air レール n.m 様子を

「目的語」

agité. アジテ adj. 動揺した、不安そうな

「形容詞」

近づくと、彼と一緒に犬がいないことに気が付いた。

Quand nous nous sommes rapprochés, j'ai vu qu'il n'avait pas son chien.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Quand クワント° conj. ～すると

「副詞節」

nous ヌ pron 僕らが

「主語」

nous sommes rapprochés, ヌ・ソム・ラフ° ロシエ 1 単現・完了形(se rapprocher)

v.pr 近づいた

「動詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai vu エ・ヴィ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということが

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

n'avait pas ナヴェ・パ° 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ない

「動詞句」

son chien. ソン・シヤン n.m 彼の犬が

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は至る所を調べていた。回転して体の向きを変えながら見た。廊下の闇を透かしてみた。
脈絡のない言葉をつぶやいた。そしてまた血走った小さな目で通り全体を探し始めた。

Il regardait de tous les côtés, tournait sur lui-même, tentait de percer le noir du couloir, marmonnait des mots sans suite et recommençait à fouiller la rue de ses petits yeux rouges.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「動詞」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」,
「動詞」「目的語」 et 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」
regardait ルギャルテ 3 単半(regarder)v.t 調べていた 「動詞」
de tous les côtés, トゥ・トゥ・レ・コテ adv. 至る所を 「副詞句」
tournait トルネ 3 単半(tourner)v.i 回転した、向きを変えた 「動詞」
sur lui-même, シュール・リュイ・メーム adv. 自分自身の周りを 「副詞句」
tentait de percer トンテ・トゥ・ペルセ 3 単半・試行(tenter de+不定詞)
v.t ~を見抜こうと試みた 「動詞句」
tenter トンテ v.t 試みる percer ペルセ v.t 見抜く、貫く
le noir ル・ヌワール n.m 闇を 「目的語」
du couloir, ジュ・クルワール adj. 廊下の 「形容詞句」
marmonnait マルモネ 3 単半(marmonner)v.t つぶやいていた 「動詞」
des mots テ・モ pl.n.m 言葉を 「目的語」
sans suite ソン・シュイット adj. 脈絡のない 「形容詞句」
et エ conj. そして
recommençait à fouiller ルモンセ・ア・フイエ 3 単半・再開(recommencer à+不定詞)
v.t またくまなく探し始めた 「動詞句」
la rue ラ・リュ n.f 通りを 「目的語」
de トゥ prep (手段) ~によって 「副詞句」
ses petits yeux rouges. セ・プティ・ジュール・ジュ pl.n.m 彼の小さな赤い目 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

何をしていたのかとレーモンが聞くと、サラマノはすぐに答えなかった。

Quand Raymond lui a demandé ce qu'il avait, il n'a pas répondu tout de suite.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Quand コン conj. ～した時

「副詞節」

Raymond レーモン n.m レーモンが

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥ・カモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

ce ス pron 事を

「直接目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

avait, アヴ 3 単半・完了形(faire)

v.t (fait が省略されている) していた

「動詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

n'a pas répondu ナ・パ・レポンド 3 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった

「動詞句」

tout de suite. トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに

「副詞句」

「死に損ないのこん畜生め」と微かに聞こえたが、彼は忙しそうに動き続けていた。

J'ai vaguement entendu qu'il murmurait: «Salaud, charogne», et il continuait à s'agiter.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai vaguement entendu エ・ヴァグ・モン・オントジ 1 単現・完了形・知覚(entendre+ vaguement)

v.t(que と) かすかに聞こえた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということが

「目的語」

il イル pron 彼が

「主語」

murmurait: ミュルミュレ 3 単半(murmurer)v.t つぶやく

「動詞」

«Salaud, サロー n.m 畜生

「怒声」

charogne», シャローニュ n.f (動物の) 腐った死骸

「罵声」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

continuait à s'agiter. コンチヌ・ア・サジテ 3 単半・継続(continuer à+不定詞)

v.pr 忙しそうに動き続けた

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、犬はどこにいるのかと尋ねた。彼は、「いなくなった」とぶっきらぼうに答えた。

Je lui ai demandé où était son chien. Il m'a répondu brusquement qu'il était parti.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai demandé エ・ドゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

où ウ adv. どこで～するかということ

「直接目的語」

était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～にいる

「動詞」

son chien. ソン・シヤン n.m 彼の犬は

「主語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a répondu エ・レポソジュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

brusquement ブリュスクメン adv. ぶっきらぼうに

「副詞」

qu' ク conj. ～ということ

「直接目的語」

il イル pron 犬は

「主語」

était parti. エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)

v.i いなくなった、立ち去った

「動詞句」

そして突然、彼は早口で話した:「いつものように、あれを軍事演習場に連れて行きました」

Et puis tout d'un coup, il a parlé avec volubilité: «Je l'ai emmené au Champ de Manoeuvres, comme d'habitude.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」: 《「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」》

Et puis エ・ピュイ adv. そしてそれから

「副詞句」

tout d'un coup, トゥ・ダン・クー adv. 突然

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話した

「動詞句」

avec volubilité: アヴ・ェッキ・ヴ・オリュビリテ adv. 早口で、ぺらぺらと

「副詞句」

«Je ジュ pron 私は

「主語」

l' ル pron 犬を

「目的語」

ai emmené エ・オムネ 1 単現・完了形(emmener)v.t 連れて行った

「動詞句」

au Champ de Manoeuvres, オ・シヨン・トゥ・マヌーヴル adv. 軍事演習場に

「副詞句」

champ シヨン n.m (ある用途のための) 場、空間 Manoeuvre マヌーヴル n.f (軍事) 演習

comme d'habitude. コム・ダビチュート adv. いつものように

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「市場の小屋の周りには、大勢の人がいました。」

Il y avait du monde, autour des baraques foraines. 《「動詞句」「目的語」「副詞句」》
 Il y avait イ・リ・アヴヱ 3 単半(il y avoir)v.t いた、あった 「動詞句」
 du monde, ジュ・モン^ト pl.n.m 人々が、群衆が 「目的語」
 autour オトゥール adv.(de の) 周りに 「副詞句」
 des baraques テ・バラキ pl.n.f 小屋 「目的語」
 foraines. フォレーヌ adj.f 市場の 「形容詞」

「私は、立ち止まって『縄抜け名人』を見ました」

Je me suis arrêté pour regarder « le Roi de l'Évasion ». 《「主語」「動詞句」「副詞句」》
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 me suis arrêté ム・シェイ・アレテ 1 単現・完了形(s'arrêter)v.pr 立ち止まった 「動詞句」
 pour +不定詞 プール adv. ～するために、そして～した 「副詞句」
 regarder ルギヤルテ 不定詞 v.t 見る 「動詞」
 « le Roi de l'Évasion ». ル・ルワ・ドゥ・レヴァジヨ^ン n.m 「逃亡の王様」を 「目的語」
 「縄抜け名人」→ 縄抜けマジックの名称

「そしてまた歩き出そうとすると、もういなかったのです」

Et quand j'ai voulu repartir, il n'était plus là. 《Et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「補語」》
 Et エ conj. そして
 quand コン conj. ～すると 「副詞節」
 j' ジュ pron 私は 「主語」
 ai voulu repartir, エ・ウリュ・ルパ^ルルティール 1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)
 v.i また歩き出そうとした 「動詞句」
 il イル pron あれが 「主語」
 n'était plus ネ・プリュ 3 単半・否定(être+plus)v.i (存在) もういなかった 「動詞句」
 là. ラ adv. そこに 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

もちろんずっと以前から、あれのためにもっと小さい首輪を買おうと思っていたんです。

Bien sûr, il y a longtemps que je voulais lui acheter un collier moins grand.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Bien sûr, ビャン・シュール adv. もちろん

「副詞句」

il y a longtemps que イ・リ・ヤ・ロントソ・キ adv. ずっと以前から

「副詞句」

il y a longtemps イ・リ・ヤ・ロントソ adv. ずっと前に

Ils ont divorcé il y a longtemps. 彼らはずっと前に離婚した。

je ジュ pron 私

「主語」

voulais ...acheter ウレ...アシュテ 1 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 買おうと思っていた

「動詞句」

lui リュイ pron あいつに

「間接目的語」

un collier アン・コリエ n.m (犬の) 首輪を

「直接目的語」

moins grand. ムワン・グロン adj. もっと小さい

「形容詞句」

ですが、あの死に損ないがこんな風にいなくなるかもしれないなんて、全く考えたことがありません。

Mais je n'aurais jamais cru que cette charogne pourrait partir comme ça.»

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 私

「主語」

n'aurais jamais cru ル・ジャメ・クリュ 条・1 単現・完了形・推測(croire+ jamais)

v.t ~と決して考えなかった

「動詞句」

que ク conj. ~ということを

「目的語」

「croire que+接続法」主節が否定または疑問文で内容が疑わしい場合

それ以外は、「croire que+直接法」

cette charogne セット・シャローニュ n.f この死に損ないが

「主語」

pourrait partir プーレ・パルティール 条・3 単現・可能性(pouvoir+不定詞)

v.i いなくなるかもしれない

「動詞句」

comme ça.» コム・サ adv. こんな風に

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そこでレーモンは、犬は道に迷ったのかもしれないから、そのうち戻ってくるだろうと言ってサラマノを勇気づけようとした。

Raymond lui a expliqué alors que le chien avait pu s'égarer et qu'il allait revenir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」
 Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 a expliqué ア・エクスプ リケ 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した 「動詞句」
 alors アロー adv. そこで 「副詞」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 le chien ル・シヤン n.m 犬は 「主語」
 avait pu s'égarer アヴ ェ・ピ ュ・セガレ 3 単半・完了形・可能性(pouvoir+不定詞)
 v.pr 道に迷ったかもしれない 「動詞句」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 il イル pron 犬は 「主語」
 allait revenir. アレ・ルヴ ェニール 3 単半・近接未来(aller+不定詞)
 v.i 戻ってくるだろう 「動詞句」

レーモンは、何十キロも歩いて主人の元に戻った犬の例をいくつか引き合いに出して説明した。それでも、老人はさらに不安そうな様子をしていた。

Il lui a cité des exemples de chiens qui avaient fait des dizaines de kilomètres pour retrouver leur maître. Malgré cela, le vieux a eu l'air plus agité.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 Il イル pron レーモンは 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 a cité ア・シテ 3 単現・完了形(citer)v.t 引き合いに出して説明した 「動詞句」
 des exemples de chiens テ・エグザンプル・ドゥ・シヤン pl.n.m 犬の例を 「直接目的語」
 qui キ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」
 avaient fait アヴ ェ・フェ 3 複現・完了形(faire)v.t 行った 「動詞句」
 des dizaines de kilomètres テ・デ イゼーヌ・ドゥ・キロメートル
 pl.n.m 何十キロを 「目的語」
 pour +不定詞 プール
 adv. (継続) そして～する、(目的) ～するために 「副詞句」
 retrouver ルトルヴ ェ 不定詞 v.t 戻る、再会する 「動詞」
 leur maître. レール・メートル n. 主人に 「目的語」
 Malgré cela, マルグレ・スラ adv. それにもかかわらず 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-----------------------------------|-------------|-------|
| le vieux ル・ヴィエヌ n.m | 老人は | 「主語」 |
| a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t | (様子を) していた | 「動詞句」 |
| l'air plus agité. レール・プリュ・アジテ n.m | さらに不安そうな様子を | 「目的語」 |

「でも、きっと捕まって連れていかれてしまいますよ、そうでしょう？せめて、誰かが引き取ってくれたらいいんですが」

«Mais ils me le prendront, vous comprenez. Si encore quelqu'un le recueillait.

《Mais 「主語」「間接目的語」「直接目的語」「動詞」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」》

| | | |
|--|---------------------|---------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| ils イル pron.pl | 彼らは (受動態にして翻訳する) | 「主語」 |
| me ム pron | 私から | 「間接目的語」 |
| le ル pron | あの犬を | 「直接目的語」 |
| prendront, プロントロン 3 複末(prendre)v.t | 取り上げるだろう | 「動詞」 |
| | 保健所に捕まって、連れていかれるだろう | |
| vous ヴー pron | あなたは | 「主語」 |
| comprenez. コンプルネ 2 複現(comprendre)v.t | 分かる | 「動詞」 |
| | 同意を求める | |
| Si encore シ・オンコール adv. | せめて～ならば | 「副詞句」 |
| quelqu'un ケルカソ pron | 誰かが | 「主語」 |
| le ル pron | あの犬を | 「目的語」 |
| recueillait. レクイエ 3 単半・仮定(recueillir)v.t | 引き取った (としたら) | 「動詞」 |

「しかしそんなことはあり得ません。誰だって、かさぶただけのあいつを見たらぞっとしてしまいますから」

Mais ce n'est pas possible, il dégoûte tout le monde avec ses croûtes.

《Mais 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

| | | |
|-------------------------------------|--------------------|-------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| ce ス pron | そんなことは | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞」 |
| possible, ポッシブル adj. | あり得る | 「補語」 |
| il イル pron | あいつは | 「主語」 |
| dégoûte デグット 3 単現(dégouter)v.t | 嫌悪感を催させる、ぞっとさせる | 「動詞」 |
| | 「目的語」を「主語」に変えて翻訳する | |
| tout le monde トゥール・モンド n.m | 皆を (単数扱い) | 「目的語」 |
| avec ses croûtes. アヴィエッキ・セ・クルト adv. | (手段) かさぶたで | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「きっと保健所の係員があいつを連れて行ってしまいますよ」

Les agents le prendront, c'est sûr.» «「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 Les agents レ・ザンシヨン pl.n.m 保健所の係員が 「主語」
 le ル pron やつを 「目的語」
 prendront, プロントロン 3 複未(prendre)v.t 捕まえるだろう 「動詞」
 c'est sûr.» セ・シュール adv. きっと 「副詞句」

それで僕は彼に、野犬収容所へ行くべきだと言った。そしていくらかの料金を支払えば犬を
 戻してくれるはずだと教えてやった。

Je lui ai dit alors qu'il devait aller à la fourrière et qu'on le lui rendrait moyennant le
 paiement de quelques droits.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞」 et 「直接目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 「間接目的語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 alors アロー adv. それで 「副詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 devait aller トゥヴァン・タレ 3 単半・時制の一致・義務(devoir+不定詞)
 v.i ～に行くべきである 「動詞句」
 à la fourrière ア・ラ・フリエ adv. 野犬収容所へ 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 on オン pron 担当者は 「主語」
 le ル pron 犬を 「直接目的語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 rendrait ロントレ 条・3 単現(rendre)v.t 戻すだろう 「動詞」
 moyennant ムワイノン prep ～と引き換えに 「副詞句」
 le paiement ル・ペイモン n.m 支払い 「目的語」
 de quelques droits. トゥ・ケルク・トゥル
 adj. なにがしかの料金の 「形容詞句」
 droit トゥル n.m 料金、納付金、税

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は僕に、料金は高いのかと尋ねたが、僕の知らないことだった。

Il m'a demandé si ces droits étaient élevés. Je ne savais pas.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. 何かどうかということを

「直接目的語」

ces droits セ・ドゥアルワ pl.n.m 料金は

「主語」

étaient エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i 〜である

「動詞」

élevés. エルヴエ adj.pl 高い

「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne savais pas. ヌ・サヴエ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 知らなかった

「動詞句」

すると彼は怒り出した：「あの死にぞこないのために金を出すだって？ああ、いっそくたばったほうがましだ」

Alors, il s'est mis en colère : «Donner de l'argent pour cette charogne. Ah ! il peut bien crever!»

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」：《「副詞句」 | 「感嘆」「主語」「動詞句」》

Alors, アー adv. すると

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

s'est mis セ・ミ 3 単現・完了形(se mettre)v.pr (ある状態に) 身を置いた

「動詞句」

en colère : オン・コレール adv. 怒りに

「副詞句」

«Donner ドネ 不定詞・反語 v.t 〜を出すだって？そんなことはできるか

「副詞句」

de l'argent ドゥ・ラルジヨン n.m お金を

「目的語」

pour cette charogne. プール・セット・シャローニュ adv. あの死にぞこないのために

「副詞句」

Ah ! アー int. ああ

「感嘆」

il イル pron あいつが

「主語」

peut bien crever!» プ・ビヤン・クルヴエ 3 単現・許可(pouvoir+不定詞+ bien)

v.i いっそ死んでも構わない

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それから彼は犬をののしり始めた。レーモンは笑って、アパートに入っていった。

Et il s'est mis à l'insulter. Raymond a ri et a pénétré dans la maison.

Et 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」et 「動詞句」「副詞句」

Et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

s'est mis セ・ミ 3 単現・完了形(se mettre)v.pr (ある状態に) 身を置いた

「動詞句」

à l'insulter. ア・リンスルテ 不定詞 v.t 犬をののしることに

「副詞句」

Raymond レーモン n.m レーモンは

「主語」

a ri ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った

「動詞句」

et エ conj. そして

a pénétré ア・ペ・ネレ 3 単現・完了形(pénétrer)v.i(dans に) 入った

「動詞句」

dans la maison. ドン・ラ・メゾン adv. アパートに

「副詞句」

僕は彼に続いて入り、2 階の廊下で別れた。

Je l'ai suivi et nous nous sommes quittés sur le palier de l'étage.

「主語」「目的語」「動詞句」et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l'ル pron 彼に

「目的語」

ai suivi エ・シュイグアイ 1 単現・完了形(suivre)v.t 後について行った

「動詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕らは

「主語」

nous sommes quittés ヌ・ソム・キテ 1 複現・完了形(se quitter)v.pr (互いに) 別れた

「動詞句」

sur le palier シュール・ル・パリエ adv. (階段の) 踊り場で、廊下で

「副詞句」

de l'étage. ドゥ・エターージュ adj. 2 階の

「形容詞句」

僕が部屋に入るとすぐに、老人の足音がきこえて、僕の部屋のドアをノックした。

Un moment après, j'ai entendu le pas du vieux et il a frappé à ma porte.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」et 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Un moment après, アン・モモン・アフレ adv. そのすぐ後で

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai entendu エ・オントンジュ 1 単現・完了形(entendre)v.t 聞こえた

「動詞句」

le pas ル・パ° n.m 足音が

「目的語」

du vieux ジュ・グアイユ adj. 老人の

「形容詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼が

「主語」

a frappé ア・フラヘ° 3 単現・完了形(frapper)v.i 叩いた

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

à ma porte. ア・マ・ポルト adv. 僕の部屋のドアを

「間接目的語」

僕がドアを開けると、彼は入り口で一瞬じっとしていたが、それから僕に言った：「すみません、すみません」

Quand j'ai ouvert, il est resté un moment sur le seuil et il m'a dit: «Excusez-moi, excusez-moi.»

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」: 《「挨拶」》

Quand コン conj. ～するとき

「副詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

ai ouvert, エ・ウヴ^ァール 1 単現・完了形(ouvrir)v.t 開けた

「動詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

est resté エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i じっとしていた

「動詞句」

un moment アン・モモン adv. 一瞬、少しの間

「副詞句」

sur le seuil シュール・ル・スーイユ adv. 入り口で

「副詞句」

et エ conj. それから

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit: ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«Excusez-moi, excusez-moi.» エクスキュゼ^ゝ・ムわ・エクスキュゼ^ゝ・ムわ

adv. すみません、すみません

「挨拶」

僕は彼に中に入るように勧めたが、彼は入ろうとしなかった。

Je l'ai invité à entrer, mais il n'a pas voulu.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」, mais 「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼に

「目的語」

ai invité エ・アンヴァ^ィテ 1 単現・完了形(inviter)

v.t(qn à+不定詞) 人に～するように勧めた

「動詞句」

à entrer, ア・オントレ 不定詞 v.i 中に入る

「補語」

mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

n'a pas voulu. ナ・パ[・]・ヴリュ 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞 entrer 省略)

v.i 入ろうとしなかった

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼はうなだれて自分の靴の先端を見つめていた。かさぶたができた彼の手は震えていた。

Il regardait la pointe de ses souliers et ses mains croûteuses tremblaient.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」

Il イル pron 彼は

「主語」

regardait ルガールテ 3 単半(regarder)v.t 見つめていた

「動詞」

la pointe ラ・プ・ワント n.f 先端を

「目的語」

de ses souliers トゥ・セ・スリエ adj. 短靴の

「形容詞句」

→ うなだれて自分の足元を見ている様を示す

et エ conj. そして

ses mains セ・マン pl.n.f 彼の手は

「主語」

croûteuses クトゥーズ adj.f.pl かさぶたのできた

「形容詞」

tremblaient. トロンブレ 3 複半(trembler)v.i 震えていた

「動詞」

僕と顔を合わせずに、彼は尋ねた：「私の犬を取り上げたりしませんよね、ムルソーさん」

Sans me faire face, il m'a demandé: «Ils ne vont pas me le prendre, dites, monsieur Meursault.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」, 「呼びかけ」》

Sans +不定詞 ソン adv. ~しないで

「副詞句」

me ム pron 僕の

「間接目的語」

faire フェール 不定詞 v.t (顔を) 向き合わせる、見る

「動詞」

face, ファス n.f 顔を

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé: ア・トゥモンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

«Ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

ne vont pas ... prendre, ヌ・ヴァン・パ ... プ ロントル 3 複現・近接未来・否定・疑問文(aller+不定詞)

v.t 取り上げないですよ

「動詞句」

me ム pron 私の

「間接目的語」

le ル pron あの犬を

「直接目的語」

dites, デイト adv. (念押し) そうですよ

「呼びかけ」

monsieur Meursault. ムッシュー・メルソー n.m ムルソーさん

「呼びかけ」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「私に戻してくれますよね？さもなければ、私はどうしたらいいんでしょう？」

Ils vont me le rendre. Ou qu'est-ce que je vais devenir?»

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 | Ou 「目的語」「主語」「動詞句」》

Ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

vont ...rendre. ヴォン...ロントル 3 複現・近接未来(aller+不定詞)

v.t (念押し) 戻してくれますよね

「動詞句」

me ム pron 私の

「間接目的語」

le ル pron あの犬を

「直接目的語」

Ou ウ conj. さもないと

qu'est-ce que クス・ク pron 何を

「目的語」

je ジュ pron 私は

「主語」

vais devenir? ウェ・トウヴェニール 2 単現・近接未来(aller+不定詞)v.i すべきである 「動詞句」

devenir トウヴェニール v.i ~する、なる

僕は、野犬収容所は飼い主が引き取りにくる場合に備えて 3 日間は犬を預かるが、それ以後はしかるべき処置をするのだと彼に教えた。

Je lui ai dit que la fourrière gardait les chiens trois jours à la disposition de leurs propriétaires et qu'ensuite elle en faisait ce que bon lui semblait.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ~ということを

「直接目的語」

la fourrière ラ・フリエール n.f 野犬収容所は

「主語」

gardait ギャルテ 3 単半・時制の一致(garder)v.t 預かる

「動詞」

les chiens レ・シャン pl.n 犬を

「目的語」

trois jours トルワ・ジュール pl.n.m 3 日間

「副詞句」

à la disposition ア・ラ・ティスポジション adv. 準備のために

「副詞句」

de leurs propriétaires トゥ・ラ・レール・プロプリエール

adj. 飼い主に対する

「形容詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ~ということを

「直接目的語」

ensuite オンシュイト adv. それから、その後に

「副詞」

elle エル pron (fourrière の代用) 野犬収容所は

「主語」

en オン adv. 犬たちに

「間接目的語」

faisait フェ 3 単半・時制の一致(faire)v.t ~をする

「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|----------------|---------------------|---------|
| ce ス pron | それを | 「直接目的語」 |
| que ク pron | (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| bon ホン adj. | よい | 「補語」 |
| lui リュイ pron | 彼らに | 「間接目的語」 |
| semblait. ヲンブレ | 3 単半・時制の一致(sembler) | |
| v.i | ～と思われる | 「動詞」 |

彼は黙って僕を見た。

| | |
|--|---------------------|
| <u>Il m'a regardé en silence.</u> | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見た | 「動詞句」 |
| en silence. オン・シロンス adv. 黙って | 「副詞句」 |

それから僕に言った：「おやすみなさい」

| | |
|------------------------------------|-------------------------|
| <u>Puis il m'a dit: «Bonsoir.»</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「挨拶」》 |
| Puis ビュイ adv. それから 「副詞」 | |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・テイ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «Bonsoir.» ボンスワール adv. おやすみなさい | 「挨拶」 |

彼は自分の部屋のドアを閉じた。僕は彼が行ったり来たりするのが聞こえた。それから彼のベッドがきしんだ。

| | |
|---|-------|
| <u>Il a fermé sa porte et je l'ai entendu aller et venir. Son lit a craqué.</u> | |
| 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 「主語」「動詞句」 | |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a fermé ア・フェルメ 3 単現・完了形(fermer)v.t 閉じた | 「動詞句」 |
| sa porte サ・ポルト n.f 彼の部屋のドアを | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ル pron 彼が | 「目的語」 |
| ai entendu エ・オンツジュ 1 単現・完了形・知覚(entendre) | |
| v.t (O+不定詞) O が～するのが聞こえた | 「動詞句」 |
| aller et venir. アレ・エ・ヴァニール 不定詞 v.i 行ったり来たりする | 「補語」 |
| Son lit ソン・リ n.m 彼のベッドが | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

a craqué. ア・クラッケ 3 単現・完了形(craquer)v.i きしんだ

「動詞句」

そして壁を通して聞こえてきた奇妙な小さな音で、彼が泣いているのが分かった。

Et au bizarre petit bruit qui a traversé la cloison, j'ai compris qu'il pleurait.

Et 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Et エ conj. そして

au bizarre petit bruit オ・ビザール・プティ・ブリユイ adv. 奇妙な小さな音によって 「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

a traversé ア・トラヴェルセ 3 単現・完了形(traverser)

v.t 突き抜けてきた

「動詞句」

la cloison, ラ・クルワゾン n.f 部屋の仕切り、壁

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

pleurait. プル 3 単半・時制の一致(pleurer)v.i 泣いている

「動詞」

どうしても分からないが、僕は母さんのことを考えた。

Je ne sais pas pourquoi j'ai pensé à maman.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない

「動詞句」

pourquoi フルクワ adv. どうして～するかということが

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.i (à のことを) 考えた

「動詞句」

à maman. ア・マモン adv. 母さんのことを

「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし明日は早起しなけりばならなかつた。

Mais il fallait que je me lève tôt le lendemain. Mais 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

il fallait que イル・ファレ・ク 3 単半(il falloir que+接続法)

v.h ~しなけりばならなかつた

「動詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me lève ム・レーヴ 1 単現(se lever)v.pr 起きる

「動詞句」

tôt ト adv. 早く

「副詞」

le lendemain. ル・ロントゥモン adv. 明日は

「副詞句」

腹は空いていながつたので、食べずに寝た。

Je n'avais pas faim et je me suis couché sans dîner.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ~でなかつた

「動詞句」

faim ファム n.f 空腹

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis couché ム・シュイ・クシェ 1 単現・完了形(se coucher)v.pr 寝た

「動詞句」

sans dîner. ソン・ディネ adv. 夕食を食べないで

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

V

レーモンが僕の会社に電話をかけてきた。

Raymond m'a téléphoné au bureau. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」
 Raymond レモン n.m レーモンが 「主語」
 m' ム pron 僕の 「間接目的語」
 a téléphoné ア・テレフォネ 3 単現・完了形(téléphoner)v.i 電話をかけてきた 「動詞句」
 au bureau. オ・ビュロー adv. 会社に、事務所に 「間接目的語」

彼の友人の 1 人が（レーモンはその友人に僕の話を話していたのだ）アルジェの近くにある彼の別荘で日曜日に 1 日過ごすしてはどうかと僕を招待していると言うのだ。

Il m'a dit qu'un de ses amis (il lui avait parlé de moi) m'invitait à passer la journée de dimanche dans son cabanon, près d'Alger.

Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 un de ses amis アン・ドゥ・セ・サミ n.m 彼の友人の 1 人が 「主語」
 (il イル pron レーモンは 「主語」
 lui リュイ pron その友人に 「間接目的語」
 avait parlé アヴ・パル 3 単半・完了形(parler)
 v.i 話していた 「動詞句」
 de moi) トゥ・ムわ adv. 僕のことを 「間接目的語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 invitait アンヴィテ 3 単半(inviter)v.t(qn à+不定詞 人に～するように)
 v.t 招待した 「動詞」
 à passer ア・パセ 不定詞 v.t 過ごす 「補語」
 la journée ラ・ジュルネ n.f 1 日を 「目的語」
 de dimanche トゥ・ディモンジュ adj. 日曜日の 「形容詞句」
 dans son cabanon, トン・ソン・カバンソン adv. 彼の別荘に 「副詞句」
 près d'Alger. プレ・ダルジェ adv. アルジェの近くにある 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は是非そうしたいのだが、既に女友達と1日過ごす約束があると答えた。

J'ai répondu que je le voulais bien, mais que j'avais promis ma journée à une amie.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

le ル pron それを

「目的語」

voulais ヴレ 1 単半・時制の一致(vouloir)v.t ～したい

「動詞」

bien, ビヤン adv. とても

「副詞」

mais メ conj. しかし

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais promis アヴェ・プロミ 1 単半・完了形(promettre)

v.t(qch à qn 人に何を) 既に約束した

「動詞句」

ma journée マ・ジュールネ n.f 1 日を

「目的語」

à une amie. ア・ユヌ・アミ adv. 女友達に

「間接目的語」

レーモンは即座に、その女友達も招待すると言った。

Raymond m'a tout de suite déclaré qu'il l'invitait aussi.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Raymond レモン n.m レーモンは

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a tout de suite déclaré ア・トゥ・ドゥ・シュイット・デクレ 3 単現・完了形(déclarer+ tout de suite)

v.t 即座に言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

l' ラ pron 女友達を

「目的語」

invitait アンヴァイト 3 単半・時制の一致・意志(inviter)v.t 招待する

「動詞」

aussi. オ adv. ～も

「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

友人の奥さんは、男たちの中で一人きりにならずに済むので、とても喜ぶだろう。

La femme de son ami serait très contente de ne pas être seule au milieu d'un groupe d'hommes.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

La femme ラ・ファム n.f 妻は

「主語」

de son ami トゥ・ソン・アミ adj. 友人の

「形容詞句」

serait スレ 条・3 単現・未来の推測(être)v.i ~だろう

「動詞」

très contente トレ・コントント adj.f とても喜んだ

「補語」

de +不定詞・否定形 トゥ 不定詞・理由 v.i ~しないので

「副詞句」

ne pas être ヌ・パ・ゼール 不定詞・否定形 v.i ~でない

「動詞句」

seule スル adj. 一人きり

「補語」

au milieu オ・ミユ adv. 真ん中で

「副詞句」

d'un groupe d'hommes. ダン・グルプ・ドム adj. 男たちの

「形容詞句」

僕は、社長が私用電話が嫌いなことを知っているの、電話をすぐに切りたかった。

J'ai voulu raccrocher tout de suite parce que je sais que le patron n'aime pas qu'on nous téléphone de la ville.

「主語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai voulu raccrocher エ・ヴァリュ・ラクロシェ 1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.i (受話器を置いて) 切りたかった

「動詞句」

tout de suite トゥ・トゥ・シュイト adv. すぐに

「副詞句」

parce que パルス・キ conj. ~なので、~だから

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

sais セ 1 単現(savoir)v.t 知っている

「動詞」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

le patron ル・パトロン n.m 社長は

「主語」

n'aime pas ネム・パ 3 単現・否定(aimer)v.t 好まない

「動詞句」

qu' ク conj. ~ということ

「目的語」

on オン pron 誰かが

「主語」

nous ヌ pron 僕らに

「間接目的語」

téléphone テレフォヌ 3 単現(téléphoner)v.i 電話してくる

「動詞」

de la ville. トゥ・ラ・ヴィル adv. 町から、仕事以外で

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかしレーモンは僕に待ってくれとせがんで、この招待の件は夜に伝えても良かったのだが、実は別に知らせておきたい事があると言った。

Mais Raymond m'a demandé d'attendre et il m'a dit qu'il aurait pu me transmettre cette invitation le soir, mais qu'il voulait m'avertir d'autre chose.

Mais 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 mais 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

m' ム pron 僕に 「目的語」

a demandé d'+不定詞 ア・トゥモンデ・トゥ 3 単現・完了形・願望(demander à qn de+不定詞)

v.t (人に) ~するように頼んだ 「動詞句」

attendre アントドル 不定詞 v.i 待つ 「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形((dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

aurait pu +不定詞 オレ・ピュ 条・3 単現・完了形・推測・語調緩和(pouvoir+不定詞)

v. ~することが出来たのだが 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

transmettre トロンストル 不定詞 v.t 伝える 「動詞句」

cette invitation セット・アンヴィタシオン n.f この招待の話を 「直接目的語」

le soir, ル・スワール adv. 夜に 「副詞句」

mais メ conj. しかし

qu' ク conj. ~ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

voulait+不定詞 ウレ 3 単半・願望(vouloir)v. ~したかった 「動詞句」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

avertir アヴァルチール 不定詞 v.t(de を) 知らせる 「動詞句」

d'autre chose. トートル・ショーズ n.f 別のことを 「直接目的語」

条件法 過去 : 語調緩和

条件法過去は過去における未来完了の意味を表し、推測や語調緩和を表現する。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は1日中アラブ人の1団に後をつけられ、その中に彼の元愛人の兄弟がいたというのだ。

Il avait été suivi toute la journée par un groupe d'Arabes parmi lesquels se trouvait le frère de son ancienne maîtresse.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「動詞句」「主語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 avait été suivi アヴァ・テ・シュイヴィ 3 単半・完了形・受動(suivre)v.t 後をつけられた 「動詞句」
 toute la journée トウト・ラ・ジユルネ adv. 1日中、終日 「副詞句」
 par un groupe d'Arabes パール・アン・グルプ・ダラブ adv. アラブ人の1団に 「副詞句」
 parmi lesquels パルミ・レケル adv. その1団の中に 「副詞句」
 se trouvait ス・トルヴァ 3 単半(se trouver)v.pr 〜がいた 「動詞句」
 le frère ル・フレール n.m 兄弟(兄か弟かは不明)が 「主語」
 de son ancienne maîtresse. ト・ソン・オンシェンス・メトレス adj. 彼の元愛人の 「形容詞句」

「今晚、君が戻った時に、アパートの近くでそいつを見かけたら、教えてくれ」僕は、分かったと答えた。

«Si tu le vois près de la maison ce soir en rentrant, avertis-moi.» J'ai dit que c'était entendu.

《「副詞節」, 「動詞」「間接目的語」》, 「主語」「動詞句」「目的語」

«Si シ conj. もし〜ならば 「副詞節」
 tu チュ pron 君が 「主語」
 le ル pron そいつを 「目的語」
 vois ヴワ 2 単現(voir)v.t 見る 「動詞」
 près de la maison プレ・ドゥ・ラ・メゾン adv. アパートの近くで 「副詞句」
 ce soir en rentrant, ス・スワ・ル・オン・レントゥロン adv. 今晚戻った時に 「副詞句」
 avertis アヴァ・エルティ 命・2 単現(avertir)v.t 知らせてくれ 「動詞」
 moi. ムワ pron 俺に 「間接目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. 〜ということを 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était entendu. エ・オントンジュ 3 単半・受動(entendre)v.t 了解された 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そのすぐ後で、僕は社長に呼ばれたので、とっさに心配になった。というのも、社長はきつと僕に、電話は程々にして、もっと仕事に集中するようと言うだろうと思ったからだ。

Peu après, le patron m'a fait appeler et sur le moment j'ai été ennuyé parce que j'ai pensé qu'il allait me dire de moins téléphoner et de mieux travailler.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞節」
 Peu après, プ・アプレ adv. すぐ後で 「副詞句」
 le patron ル・パトロン n.m 社長が 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a fait appeler ア・フェ・アプレ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t 呼ばせた 「動詞句」
 受動態に翻訳する
 et エ conj. そして
 sur le moment シュール・ル・モモン adv. とっさに 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai été ennuyé エ・エテ・オンニユエ 1 単現・完了形・受動(ennuyer)v.t 当惑した 「動詞句」
 parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que+直説法) ～と思った 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
 il イル pron 社長は 「主語」
 allait +不定詞 アル 3 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞)
 v. ～するだろう 「動詞句」
 me ム pron 僕に 「目的語」
 dire ティール 不定詞 v.t(de+不定詞) ～するように言う 「動詞」
 de +不定詞 ドゥ adv. ～するように 「副詞句」
 moins téléphoner ムワソ・テレフォネ 不定詞
 v.i あまり電話をしない 「動詞句」
 et エ conj. そして
 de +不定詞 ドゥ adv. ～するように 「副詞句」
 mieux travailler ミュ・トラヴァイエ 不定詞
 v.i もっと働く 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それは全くそういうことではなかった。社長は僕に、まだ漠然とした計画について話をしたいのだと言った。

Ce n'était pas cela du tout. Il m'a déclaré qu'il allait me parler d'un projet encore très vague. 「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Ce ス pron それは 「主語」

n'était pas 祈・ハ 3 単半・否定(être)v.i 〜でなかった 「動詞」

cela ス pron そのようなこと 「補語」

du tout. ジュ・トゥ adv. まったく〜ない 「副詞句」

pas du tout まったく〜ない

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきり言った 「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

allait +不定詞 アル 3 単半・近接未来(aller+不定詞)

v. 〜するところだ 「動詞句」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

parler パルレ 不定詞 v.i(de について) 話す 「動詞句」

d'un projet ダン・プロジェ n.m 計画について 「間接目的語」

encore très vague. オンコール・トレ・ヴァーク

adj. まだ漠然とした 「形容詞句」

社長はただ、その件について、僕の意見を聞きたかったのだ。

Il voulait seulement avoir mon avis sur la question. 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 社長は 「主語」

voulait seulement avoir ヴレ・スルモン・アヴ・ワール 3 単半・願望(vouloir+不定詞+ seulement)

v.t ただ〜を聞きたかった 「動詞句」

mon avis モ・ナヴィ n.m 僕の意見を 「目的語」

sur la question. シュール・ラ・クエション adj. その問題についての 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

社長はパリに事務所を開設するつもりであった。そこで大企業と直接取引ができればよいと考えていた。そこで彼は、僕がパリに行く気があるかどうかを知りたかったのだ。

Il avait l'intention d'installer un bureau à Paris qui traiterait ses affaires sur la place, et directement, avec les grandes compagnies et il voulait savoir si j'étais disposé à y aller.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった 「動詞」

l'intention ランション n.f 意図 「目的語」

d'+不定詞 ドゥ 不定詞 adj. ～するという 「形容詞句」

installer アンスタル 不定詞 v.t 開設する 「動詞」

avoir l'intention de+不定詞 「～するつもりである」

un bureau アン・ビュロー n.m 事務所を 「目的語」

à Paris ア・パリ adv. パリに 「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

traiterait トレイトレ 条・3 単現(traiter)v.t 取り扱いたい 「動詞」

ses affaires セ・サフール pl.n.f 彼の事業を 「目的語」

sur la place, シュール・ラ・プラス adv. そこで、その場所で 「副詞句」

et エ conj. そして

directement, ディレクトゥモン adv. 直接に 「副詞」

avec les grandes compagnies アヴェ・エッキ・レ・グランド・コンパニー

adv. 大企業と 「副詞句」

et エ conj. そして、それで

il イル pron 彼は 「主語」

voulait savoir ヴレ・サワール 3 単半・願望(vouloir+不定詞)v.t 知りたかった 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

disposé à +不定詞 ディスポゼ・ア adj. (～する気が) ある 「補語」

y イ adv. そこに 「副詞」

aller. アレ 不定詞 v.i 行く 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そうすると、僕はパリで暮らし、1年の一定期間は旅行もできるようになるだろう。

Cela me permettrait de vivre à Paris et aussi de voyager une partie de l'année.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」 et 「副詞」「補語」

Cela スラ pron このことは

「主語」

me ム pron 僕が

「目的語」

permettrait ヘ・ルメットレ 条・3 単現・推測(permettre)v.t 許すだろう

「動詞」

de vivre ト・ウ・ヴィーヴル 不定詞 v.i 暮らす

「補語」

à Paris ア・パリ adv. パリで

「副詞句」

et エ conj. そして

aussi オシ adv. へも

「副詞」

de voyager ト・ウ・ウ・ワヤジェ 不定詞 v.i 旅行する

「補語」

une partie de l'année. ユヌ・パルティ・ト・ウ・ラネ adv. 1年の一定期間を

「副詞句」

無生物主語ではわかりづらいので、僕を主語にして翻訳する

「君は若い。そしてそんな暮らしは君の気に入るはずだと思うが」

«Vous êtes jeune, et il me semble que c'est une vie qui doit vous plaire.»

《「主語」「動詞」「補語」 et 「間接目的語」「動詞」「主語」》

«Vous ウェ pron 君は

「主語」

êtes エット 2 複現(être)v.i ～である

「動詞」

jeune, シュヌ adj. 若い

「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

me ム pron 私には

「間接目的語」

semble 3 単現(sembler)v.i ～のように思える

「動詞」

que ク conj. ～ということは

「主語」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

une vie ユヌ・ヴィー n.f 暮らし

「補語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

doit +不定詞 トゥワ 3 単現(devoir+不定詞)

v. ～するに違いない

「動詞句」

vous ウェ pron 君に

「間接目的語」

plaire.» プレール 不定詞 v.i 気に入る

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はとりあえず、ええ、と言ったが、結局のところそういうことには関心がないと付け加えた。すると社長は僕に、生活を変えるということに興味がないのかと尋ねた。

J'ai dit que oui mais que dans le fond cela m'était égal. Il m'a demandé lors si je n'étais pas intéressé par un changement de vie.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「目的語」

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

oui ウー adv. ええ 「応答・肯定」

mais メ conj. しかし

que ク conj. ～ということを 「目的語」

dans le fond トン・ル・フォン adv. 結局のところ、実際は 「副詞句」

cela スラ pron それは 「主語」

m' ム pron 僕にとっては 「間接目的語」

était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

égal. エガル adj. どうでもよい、関心がない 「補語」

Il イル pron 社長は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・ト・ウモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

lors ロール adv. その時、すると 「副詞」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'étais pas intéressé ネ・ハ・アンテレス 1 単半・受動・否定・時制の一致(intéresser)

v.t 興味がない、関心を引かれない 「動詞句」

par un changement de vie. パール・アン・シヨンジエモン・ト・ウ・ウー

adv. 生活を変えることに対して 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、人の生活というものは変わらないし、いずれにしてもどんな生活も似たようなもので、
ここでの僕の生活はけっこう気に入っていると答えた。

J'ai répondu qu'on ne changeait jamais de vie, qu'en tout cas toutes se valaient et que la mienne ici ne me déplaisait pas du tout.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」 et 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t(que ~だと) 答えた 「動詞句」
qu' ク conj. ~ということ を 「目的語」
on オン pron 人は 「主語」
ne changeait jamais ス・シヨンジエ・ジヤメ 3 単半・否定・時制の一致(changer)
v.i(de+無冠詞名詞) ~が変わらない 「動詞句」
de vie, ト・ウ・ヴィエ adv. 生活が 「間接目的語」
qu' ク conj. ~ということ を 「目的語」
en tout cas オン・ト・カ adv. とにかく、いずれにせよ 「副詞句」
toutes トット pron.f.pl (toutes vies の代用) すべての生活は 「主語」
se valaient ス・ヴァレ 3 複半・時制の一致(se valoir)
v.pr 優劣がない、同じ値打ちである 「動詞句」
et エ conj. そして
que ク conj. ~ということ を 「目的語」
la mienne ici ラ・ミエヌ・イシ pron.f ここでの僕の生活は 「主語」
la mienne は ma vie の代用
ne ...déplaisait ス...デプレザ 3 単半・否定(déplaire)
v.i 気に入らないものではない 「動詞句」
me ム pron 僕にとって 「間接目的語」
pas du tout. パ・ジユ・トゥ adv. (否定の強調) 全く~でない 「副詞句」

彼は不満げな表情をして、僕に言った。僕はいつも質問をはぐらかす、また僕には野心がない、そして野心が無いのは商売の発展に繋がらないと。

Il a eu l'air mécontent, m'a dit que je répondais toujours à côté, que je n'avais pas d'ambition et que cela était désastreux dans les affaires.

「主語」「動詞句」「目的語」,

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「直接目的語」 et 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (様子を) した 「動詞句」
l'air mécontent, レール・メコントン n.m 不満げな様子を 「目的語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|--------------------|-------------------------|------------|----------|
| a dit ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| répondais レポンス | 1 単半・時制の一致(répondre)v.i | 答える | 「動詞」 |
| toujours トウジュール | adv. | いつも | 「副詞」 |
| à côté, ア・コテ | adv. | わきに、核心を外して | 「副詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| n'avais pas ナヴェ・パ | 1 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t | ～がない | 「動詞句」 |
| d'ambition ダンビション | n.f | 野心が | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | | |
| que ク conj. | ～ということを | | 「直接目的語」 |
| cela スラ pron | (野心がないこと) それは | | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| désastreux デザストルー | adj. | 困った、悲惨な | 「補語」 |
| dans les affaires. | ドン・レ・ザフェール | adv. | ビジネスにおいて |
| | | | 「副詞句」 |

それで僕は仕事に戻った。社長に不満を抱かせたくはなかったが、僕には自分の生活を変える理由は見当たらなかった。

Je suis retourné travailler alors. J'aurais préféré ne pas le mécontenter, mais je ne voyais pas de raison pour changer ma vie.

| | | | |
|--------------------------|--------------------------------|------------------------|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞」 | 「主語」「動詞句」,mais | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Je ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| suis retourné travailler | シュイ・ルトゥルネ・トラヴァイエ | 1 単現・完了形・復帰(retourner) | |
| | v.i (+不定詞) | 仕事に戻った | 「動詞句」 |
| alors. アロー | adv. | それで | 「副詞」 |
| J' ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| aurais préféré オーレ・プレフェレ | 条・1 単現・完了形・語調緩和(préférrer+不定詞) | | |
| | v.t | ～したかったのだが | 「動詞句」 |
| ne pas le mécontenter, | ヌ・パ・ル・メコントンテ | 不定詞・否定(mécontenter+le) | |
| | v.t | 彼に不満を抱かせない | 「動詞句」 |
| mais メ conj. | しかし | | |
| je ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| ne voyais pas ヌ・ヴァ・ワエ・パ | 1 単半・否定(voir)v.t | 見えなかった | 「動詞句」 |
| de raison トゥ・ラ・レゾン | n.f | 理由は | 「目的語」 |
| pour changer ma vie. | プール・シヨンジエ・マ・ヴァー | | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

adj. 自分の生活を変えるための

「形容詞句」

自分の生活を振り返ってみても、僕は不幸ではなかった。

En y réfléchissant bien, je n'étais pas malheureux. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

En y réfléchissant bien, オン・イルフシツン・ビヤン ジェロンディフ(réfléchir)

adv. それ(自分の生活)についてよく考えてみると

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ~でなかった

「動詞」

malheureux. マルルー adj. 不幸な

「補語」

学生だった時には、この種の野心は大いに持っていた。

Quand j'étais étudiant, j'avais beaucoup d'ambitions de ce genre.

「副詞節」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Quand j'étais étudiant, コン・ジエテ・エチュディヤン adv. 学生だった時には

「副詞節」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 持っていた、あった

「動詞」

beaucoup d'ambitions ボク・ダンビシオン pl.n.f 大いに野心が

「目的語」

de ce genre. ドゥ・ス・ジョル adj. この種の

「形容詞句」

しかし、学業を諦めなければならなくなった時に、野心などは重要なことではないとすぐに理解したのだ。

Mais quand j'ai dû abandonner mes études, j'ai très vite compris que tout cela était sans importance réelle.

Mais 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

quand コン conj. ~した時

「副詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

ai dû abandonner エ・ジュ・アボントネ 1 単現・完了形・必要(devoir+不定詞)

v.t 諦めなければならなかった

「動詞句」

mes études, メ・エチュト pl.n.f 学業を

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai très vite compris エ・トレ・ヴァイト・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre+ très vite)

v.t すぐに理解した

「動詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

tout cela トゥ・スラ pron それはすべて

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である

「動詞」

sans importance réelle. ソン・アンボルトンス・レエル n.f 重要ではない事実

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

sans importance adj. 重要でない réel レエル n.m (n.f réelle) 現実、事実、問題

その晩、マリーが僕を呼びに来て、彼女と結婚しようと思っているのかと僕に尋ねた。

Le soir, Marie est venue me chercher et m'a demandé si je voulais me marier avec elle.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」et「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le soir, ル・スワ・ル adv. その晩 「副詞句」

Marie マリー n.f マリーが 「主語」

est venue +不定詞 エ・ヴァニユ 3 単過・完了形(venir+不定詞)v. ～しに来た 「動詞句」

me ム pron 僕を 「目的語」

chercher シェルシェ 不定詞 v.t 呼ぶ、迎える 「動詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかを 「直接目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

voulais 不定詞 ウレ 1 単半・時制の一致(vouloir+不定詞)

v. ～したい 「動詞句」

me marier ム・マリエ 不定詞(se marier)v.pr(avec と) 結婚する 「動詞句」

avec elle. アヴェ・ツケル adv. 彼女と 「副詞句」

自分としてはどちらでもいいが、彼女がそれを望むのなら、結婚しても構わないと答えた。

J'ai dit que cela m'était égal et que nous pourrions le faire si elle le voulait.

「主語」「動詞句」「目的語」et「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

cela スラ pron それは 「主語」

m' ム pron 僕にとって 「間接目的語」

était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

égal エガル adj. どちらでもいい 「補語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「目的語」

nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」

pourrions +不定詞 プリオン 条・1 複現・語調緩和(pouvoir+不定詞)

v. ～しても構わないのだが 「動詞句」

le ル pron 結婚を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---------------------------------------|-------|
| faire フェール 不定詞 v.t(行為を) する | 「動詞句」 |
| si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女が | 「主語」 |
| le ル pron 結婚を | 「目的語」 |
| voulait. ヴレ 3 単半・時制の一致(vouloir)v.t 望む | 「動詞」 |

するとマリーは、僕が彼女を愛しているかどうかを知りたがった。

| | |
|---|--------------------|
| <u>Elle a voulu savoir alors si je l'aimais.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| a voulu savoir ア・ヴリュ・サヴ わル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.t 知りたがった | 「動詞句」 |
| alors アール adv. すると | 「副詞」 |
| si シ conj. ～かどうかを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| aimais. エメ 3 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している | 「動詞」 |

僕は、前に一度彼女に言ったように、そんなことはなんの意味もないが、おそらく愛していないと答えた。

| | |
|--|------------------------------|
| <u>J'ai répondu comme je l'avais déjà fait une fois, que cela ne signifiait rien mais que sans doute je ne l'aimais pas.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞節」「目的語」 et 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| comme コム conj. ～のように | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| avais déjà fait アヴィ・エ・デジャ・フェ 1 単半・完了形(faire+ déjà) | |
| v.t すでに言った | 「動詞句」 |
| une fois, ユンヌ・フワ adv. 1 度 | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| cela スラ pron それは | 「主語」 |
| ne signifiait rien ヌ・シニフィエ・リヤン 3 単半・否定・時制の一致(signifier) | |
| v.t なんの意味もない | 「動詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| que ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| sans doute ソン・ドゥット adv. おそらく、きっと | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne ...aimais pas. ス...エメ・パ° 1 単半・否定・時制の一致(aimer)

v.t 愛していない 「動詞句」

l'ラ pron 彼女を 「目的語」

「それじゃあ、どうして私と結婚するの？」と、彼女は言った。

«Pourquoi m'épouser alors?» a-t-elle dit.

《「副詞」「目的語」「動詞」「副詞」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」

«Pourquoi フルワ adv. どうして 「副詞」

m'ム pron 私と 「目的語」

épouser エプセ° 不定詞 v.t 結婚する 「動詞」

alors?» アロー adv. それじゃあ 「副詞」

a... dit. ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

elle エル pron 彼女は 「主語」

それは全然重要ではない、もし彼女が望むなら結婚してもよい、と僕は彼女に説明した。

Je lui ai expliqué que cela n'avait aucune importance et que si elle le désirait, nous pouvions nous marier. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

ai expliqué エ・エクスプレ° 1 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「直接目的語」

cela スラ pron それは 「主語」

n'avait ナヴェ° 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ～がない 「動詞句」

aucune importance オキュヌ・アンポルトヌ n.f どんな重要性も～ない 「目的語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「直接目的語」

si シ conj. もし～ならば 「副詞節」

elle エル pron 彼女が 「主語」

le ル pron それを(結婚すること) 「目的語」

désirait, デジレ° 3 単半・時制の一致(desirer)v.t 望む 「動詞」

nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」

pouvions nous marier. プヴァイオン・ヌ・マリエ° 1 複半・時制の一致(pouvoir+不定詞 se marier)

v.pr 結婚してもよい 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

もっとも、それを尋ねたのは彼女のほうで、僕のほうは「それでいい」と言っただけだ。

D'ailleurs, c'était elle qui le demandait et moi je me contentais de dire oui.

「副詞句」, 「動詞」「補語」「主語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

D'ailleurs, ダイェール adv. そもそも、もっとも 「副詞句」

c' ス pron 仮の主語（真の主語は qui 以降）強調構文

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

elle エル pron 彼女 「補語」

qui キ pron ~する人は 「主語」

le ル pron それを 「目的語」

demandait トゥモンテ 3 単半(demander)v.t 尋ねた 「動詞」

et エ conj. そして

moi je ムワ・ジュ pron 僕のほうは 「主語」

me contentais de dire ム・コントント・トゥ・テイル 1 単半(se contenter de+不定詞)

v.t 言ったにすぎない、言っただけだ 「動詞句」

se contenter de+不定詞 「~するにとどめる、~するに過ぎない」

oui. ウイ adv. 承知したと 「目的語」

すると彼女は、結婚というものは大事なことだ、と言った。

Elle a observé alors que le mariage était une chose grave.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

a observé ア・オブセルヴェ 3 単現・完了形(observer)v.t 指摘した 「動詞句」

alors アール adv. すると 「副詞」

que ク conj. ~ということを 「目的語」

le mariage ル・マリヤージュ n.m 結婚というものは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」

une chose grave. エンス・ショーズ・グラヴ n.f 重要なこと 「補語」

僕は答えた：「違う」彼女は少しの間黙り込んでから、静かに僕を見つめた。

J'ai répondu : «Non.» Elle s'est tue un moment et elle m'a regardé en silence.

「主語」「動詞句」：《「応答」》

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai répondu : エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

«Non.» ノン adv. 違う 「応答」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

s'est tue セ・チュ 3 単現・完了形.f(se taire)v.pr(tu+e 女性を表す) 黙り込んだ 「動詞句」
 un moment アン・モモン adv. 少しの間 「副詞句」
 et エ conj. そして
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a regardé ア・ルギャルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」
 en silence. オン・シロンス adv. 静かに 「副詞句」

それからまた、彼女は話した。

Puis elle a parlé. 「副詞」「主語」「動詞句」
 Puis ビュイ adv. それから 「副詞」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 a parlé. ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話した 「動詞句」

彼女は、もし僕に同じような関係の別の女性がいて、自分と同じ申し出があったとしたら、僕はそれを受け入れていたかどうか、それだけを知りたいと言った。

Elle voulait simplement savoir si j'aurais accepté la même proposition venant d'une autre femme. à qui je serais attaché de la même façon. 「主語」「動詞句」「目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 voulait simplement savoir ヴレ・サンブルモン・サヴ・ワ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)
 v.t ただ単に知りたがった 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 aurais accepté オレ・アクセプテ 条・1 単現・完了形・過去の推測(accepter)
 v.t 受け入れていただろう 「動詞句」
 la même proposition ラ・メム・プロポジション n.f 同じ申し出を 「目的語」
 venant ヴン 現在分詞(venir)v.i 来る 「形容詞句」
 d'une autre femme, デュンヌ・オートル・ファム
 adv. 別の女性から 「副詞句」
 à qui ア・キ adv. その人に～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 serais attaché セレ・アタッシェ 条・1 単現・受動・假定(attacher)
 v.t 結びついている 「動詞句」
 de la même façon. ド・ラ・メム・ファソン
 adv. 同じような関係で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は言った：「もちろん、承知したさ」

J'ai dit: «Naturellement.»

「主語」「動詞句」：《「応答」》

J' ジュ pron 私は

「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«Naturellement.» ナチュレルモン adv. もちろん

「応答」

すると彼女は、自分は僕を愛しているのだろうかと自問したのだが、その点については僕は何も分からない。

Elle s'est demandé alors si elle m'aimait et moi, je ne pouvais rien savoir sur ce point.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

s'est demandé セ・ト・ウモンテ 3 単現・完了形(se demander)v.pr 自問した

「動詞句」

alors アー adv. すると

「副詞」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

elle エル pron 彼女は、自分は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

aimait エ 3 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している

「動詞」

et エ conj. そして

moi, je ムわ・ジュ pron 僕のほうは

「主語」

ne pouvais rien savoir ヌ・プ・ヴァ・リヤン・サワール 1 単半・可能・否定・時制の一致

(pouvoir+不定詞)v.t 何もわからない

「動詞句」

sur ce point. シュール・ス・プ・ワシ adv. その点については

「副詞句」

また少し黙り込んだ後で、僕は風変わりだ、きっとそのせいで僕を愛しているのだろう、だがしかしきつといつか同じ理由で僕を嫌いになるかもしれない、と彼女は呟いた。

Après un autre moment de silence, elle a murmuré que j'étais bizarre, qu'elle m'aimait sans doute à cause de cela mais que peut-être un jour je la dégoûterais pour les mêmes raisons.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」 mais 「目的語」

Après un autre moment de silence, ア・プレ・アン・オートル・モモン・ト・ウ・シロンス

adv. また少し黙り込んだ後で

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a murmuré ア・ミュルミュレ 3 単現・完了形(murmurer)v.t つぶやいた

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

j' ジュ pron 私は

「主語」

étais エ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

bizarre, ビザール adj. 風変わりな

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| aimait エメ 3 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している | 「動詞」 |
| sans doute ツン・ドゥット adv. きっと | 「副詞句」 |
| à cause de cela ア・コース・ドゥ・スラ adv. そのせいで | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| peut-être プ・テートル adv. きっと | 「副詞句」 |
| un jour アン・ジュール adv. いつか | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| la ラ pron 彼女に | 「目的語」 |
| dégoûterais デグットレ 条・1 単現・推測(dégoûter) | |
| v.t うんざりさせる、嫌いにさせるかもしれない | 「動詞」 |
| pour les mêmes raisons. プール・レ・メーム・レゾン adv. 同じ理由で | 「副詞句」 |
| 僕が彼女に嫌いにさせる → 彼女が僕を嫌いになる | |

他に言うことが無かったので黙っていると、彼女は僕の腕を取って、僕と結婚したいとははっきりと言った。

Comme je me taisais, n'ayant rien à ajouter, elle m'a pris le bras en souriant et elle a déclaré qu'elle voulait se marier avec moi.

| | |
|---|---------|
| 「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」 | |
| Comme コム conj. (ちょうど) ～する時に | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| me taisais, ム・テセ 1 単半(se taire)v.pr 黙っていた | 「動詞句」 |
| n'ayant ネン 現在分詞・否定形・理由(avoir)v.t ～がなかったので | 「副詞句」 |
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| à ajouter, ア・アジユテ 不定詞 v.t 付け足すべき | 「形容詞句」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕の | 「間接目的語」 |
| a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t 取った | 「動詞句」 |
| le bras ル・ブラ n.m 腕を | 「直接目的語」 |
| en souriant オン・シリヨン ジェロンディフ(sourire)v.i 微笑みながら | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと言った | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|-------|
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| voulait se marier ヴレ・ス・マリエ 3 単半・願望・時制の一致(vouloir+不定詞) | |
| v.pr 結婚したい | 「動詞句」 |
| avec moi. アヴ・ェッキ・ムわ adv. 僕と | 「副詞句」 |

僕は、彼女がその気になったらすぐに結婚しよう、と答えた。

| | |
|--|----------------|
| <u>J'ai répondu que nous le ferions dès qu'elle le voudrait.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| le ル pron 結婚を | 「目的語」 |
| ferions フリオン 条・1 複現・推測(faire)v.t するだろう | 「動詞」 |
| dès qu'+直説法 デ・ク adv. ～したらすぐに | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女が | 「主語」 |
| le ル pron それを | 「目的語」 |
| voudrait. ヴトレ 条・3 単現(vouloir)v.t したいと思う | 「動詞」 |

それから僕は、社長からの申し出について彼女に話した。するとマリーはパリに行ってみたと僕に言った。

| | |
|---|-----------------------------|
| <u>Je lui ai parlé alors de la proposition du patron et Marie m'a dit qu'elle aimerait connaître Paris.</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」 |
| et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| ai parlé エ・パル 1 単現・完了形(parler)v.i(de について) 話した | 「動詞句」 |
| alors アール adv. それから | 「副詞」 |
| de la proposition トゥ・ラ・プロポジション adv. 申し出について | 「間接目的語」 |
| du patron ジュ・パトロン adj. 社長からの | 「形容詞句」 |
| et エ conj. すると | |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

aimerait connaître エムレ・コネートル 条・3 単現・願望(aimer+不定詞)

v.t 行ってみたいものだ

「動詞句」

connaître コネートル v.t (体験によって) 経験する、味わう、知る

Paris. パリ n.m パリに

「目的語」

僕は一時期パリで暮らしたことがある、と彼女に教えたと、彼女は、そこはどんな所だったかと尋ねた。

Je lui ai appris que j'y avais vécu dans un temps et elle m'a demandé comment c'était.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai appris エ・アプリ 1 単現・完了形(apprendre)v.t を教えた、知らせた

「動詞句」

apprendre qch de qn 「何を人から学ぶ」 apprendre qch à qn 「人に何を教える」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

y イ pron パリに

「副詞」

avais vécu アヴ・ェ・ヴ・ェ・キュ 1 単半・完了形(vivre)

v.i 住んでいたことがある

「動詞句」

dans un temps ダン・ザン・トン adv. 一時期

「副詞句」

et エ conj. すると

elle エル pron 彼女は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥ・モンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

comment コモン adv. どのようなであるかということを

「直接目的語」

c' ス pron そこは (パリは)

「主語」

était. エ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

僕は彼女に言った:「汚い所だよ。ハトがいて、暗い中庭がある。みんな青白い肌をしてる」

Je lui ai dit: «C'est sale. Il y a des pigeons et des cours noires. Les gens ont la peau blanche.» 「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞」「補語」 | 「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」》

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«C' ス pron そこは

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-------------------------------------|---------------|-------|
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| sale. サル adj. | 汚い | 「補語」 |
| Il y a イ・リ・ヤ 3 単現(avoir)v.t | ある、いる | 「動詞句」 |
| des pigeons デ・ピシヨ | ハト | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| des cours noires. デ・クール・ヌワール pl.n.f | 暗い中庭 | 「目的語」 |
| cour クール n.f | 中庭 | |
| cours クール n.m | 講義、課程 | |
| noires ノワール adj.f.pl(noir) | 黒い、暗い | |
| Les gens レ・シヨ | 人々は | 「主語」 |
| ont オン 3 複現(avoir)v.t | (心身の状態を) している | 「動詞」 |
| la peau blanche. ラ・ポー・ブロンシュ n.f | 青白い肌 | 「目的語」 |
| peau ポー n.f | 皮膚、肌 | |
| blanche ブロンシュ adj.f(blanc) | 白い、青白い | |

それから僕たちは歩き、大通りを通して街を横切った。

Puis nous avons marché et traversé la ville par ses grandes rues.

| | | |
|--|-----------|-------------------------|
| | | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Puis ビュイ adv. | それから | 「副詞」 |
| nous ヌ pron | 僕たちは | 「主語」 |
| avons marché アヴ・オン・マルシェ 1 複現・完了形(marcher)v.i | 歩いた | 「動詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| traversé トラヴァセル 1 複現・完了形(traverser)v.t | 横切った | 「動詞句」 |
| la ville ラ・ヴィル n.f | 街を (町も同じ) | 「目的語」 |
| par ses grandes rues. パール・セ・グランド・リュ adv. | 大通りを通して | 「副詞句」 |

女たちが綺麗だった。僕は、マリーもそう思うか、と尋ねた。

Les femmes étaient belles et j'ai demandé à Marie si elle le remarquait.

| | | |
|--|--------|---|
| | | 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 |
| Les femmes レ・ファム pl.n.f | 女たちが | 「主語」 |
| étaient エ 3 複半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| belles ベル adj.f.pl | 綺麗な | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai demandé エ・ト・ムンテ 1 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| à Marie ア・マリー adv. | マリーに | 「間接目的語」 |
| si シ conj. | ～かどうかを | 「直接目的語」 |
| elle エル pron | 彼女は | 「主語」 |
| le ル pron | それを | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

remarquait. ルマルケ 3 単半・時制の一致(remarquer)v.t 気づく 「動詞」

彼女は、ええ、と言ってから、僕の言うことが分かったと続けた。

Elle m'a dit que oui et qu'elle me comprenait.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク cojn. ～ということを 「直接目的語」

oui ウイ adv. そう思う 「応答」

et エ conj. そして

qu' ク cojn. ～ということを 「直接目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

me ム pron 僕の言うことが 「目的語」

comprenait. コンプレ 3 単半・時制の一致(comprendre)v.t 分かる 「動詞」

しばらくの間、僕たちはもう口を開かなかった。

Pendant un moment, nous n'avons plus parlé. 「副詞句」「主語」「動詞句」

Pendant un moment, ポントン・アン・モン adv. しばらくの間 「副詞句」

nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

n'avons plus parlé. ナヴォン・プリュ・パル 1 複現・完了形・否定(parler+plus)

v.i もう口を開かなかった 「動詞句」

それでも彼女が僕と一緒にいて欲しかったので、セレストの店で一緒に食事をできないかと誘ってみた。

Je voulais cependant qu'elle reste avec moi et je lui ai dit que nous pouvions dîner ensemble chez Céleste.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

voulais ヴレ 1 単半(vouloir)v.t ～を望んだ 「動詞」

cependant セポントン conj. しかしながら、それでも 「副詞」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

elle エル pron 彼女が 「主語」

reste レスト 3 単現(rester)v.i ～のままでいる 「動詞」

avec moi アヴェッキ・ムわ adv. 僕と一緒に 「副詞句」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| pouvions dîner プウイヨン・ディネ 1 複半・可能性・時制の一致(pouvoir+不定詞) v.i 食事ができるだろうか | 「動詞句」 |
| ensemble オンソンプル adv. 一緒に | 「副詞」 |
| chez Céleste. シェ・セレストゥ adv. セレストの店で | 「副詞句」 |

彼女はそうしたかったが、用事があった。

Elle en avait bien envie, mais elle avait à faire.

「主語」「副詞」「動詞」「目的語」 mais 「主語」「動詞」「目的語」

| | |
|---|-------|
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| en ン adv. それをする (de dîner の代用) | 「副詞」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| bien envie, ビヤン・オンヴィー n.f (de ～をする) 強い切望が | 「目的語」 |
| avoir envie de qc/de+不定詞 「～がしたい」 | |
| avoir envie que+接続法 「～することを望む、～して欲しい」 | |
| mais メ conj. しかし | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t あった | 「動詞」 |
| à faire. ア・フェール n. (quelque chose à faire の省略) すべきことが | 「目的語」 |

僕らはもう僕のアパートの近くまで来ていたので、彼女にさよならを言った。

Nous étions près de chez moi et je lui ai dit au revoir.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

| | |
|--|---------|
| Nous ヌ pron 僕らは | 「主語」 |
| étions エション 1 複半(être)v.i ～にいた | 「動詞」 |
| près de chez moi プレ・トウ・シェ・ムワ adv. 僕のアパートの近くに | 「副詞句」 |
| et エ conj. それで | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| au revoir. オルヴワール n.m さよならの挨拶を | 「直接目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼女は僕を見つめて言った：「なんの用事か知りたくないの？」

Elle m'a regardé: «Tu ne veux pas savoir ce que j'ai à faire?»

「主語」「目的語」「動詞句」：《「主語」「動詞句」「目的語」》

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a regardé: ア・ル・ガレ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」
 «Tu チュ pron あなたは 「主語」
 ne veux pas savoir ヌ・ヴ・パ・サヴ わ-ル 2 単現・願望・否定・疑問文(vouloir+不定詞)
 v.t 知りたくないの 「動詞句」
 ce ス pron それを 「目的語」
 que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 j' ジュ pron 私が 「主語」
 ai à faire?» エ・ア・フェール 1 単現・必要(avoir à+不定詞)
 v.t しなければならない 「動詞句」

僕はもちろん知りたかった、だが、そう聞かれるまで僕はそのことを考えていなかった。彼女は
 そのことで僕を非難しているように見えた。

Je voulais bien le savoir, mais je n'y avais pas pensé et c'est ce qu'elle avait l'air de me reprocher.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」 et 「動詞」「補語」「主語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

voulais bien ...savoir, ヴレ・ビヤン...サヴ わ-ル 1 単半・願望(vouloir+不定詞+bien)

v.t もちろん知りたかった 「動詞句」

le ル pron それを 「目的語」

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'y avais pas pensé ニ・アヴ・エ・パ・ボンセ 1 単半・完了形・否定(penser+y)

v.t そのことについて考えていなかった 「動詞句」

彼女にそう聞かれるまで、そのことを考えていなかった

et エ conj. そして

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'以降) 強調構文

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

ce ス pron そのこと (僕が考えていなかったこと) 「補語」

qu' ク conj. ～ということが 「主語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

avait アヴ・エ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態) ～だった 「動詞」

l'air レール n.m 様子 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

de me reprocher. トゥ・ム・レプロシェ adj. 僕を非難している 「形容詞句」

それで、僕の困った様子を見て、また笑い、体を僕にすり寄せて、唇を差し出した。

Alors, devant mon air empêtré, elle a encore ri et elle a eu vers moi un mouvement de tout le corps pour me tendre sa bouche.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 「副詞句」
 Alors, アール adv. それで 「副詞」
 devant トゥ・ヴァン prep. ～を前にして 「副詞句」
 mon air モ・ネール n.m. 僕の様子 「目的語」
 empêtré, オンパトレ 過去分詞(empêtrer)
 adj. 身動きできなくなった、困った 「形容詞」
 elle エル pron. 彼女は 「主語」
 a encore ri ア・オンコール・リ 3 単現・完了形(rire+encore)v.i. また笑った 「動詞句」
 et エ conj. そして
 elle エル pron. 彼女は 「主語」
 a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (動作を) した 「動詞句」
 vers moi ヴェール・ムわ adv. 僕のほうに 「副詞句」
 un mouvement アン・ムーヴモン n.m. 動きを 「目的語」
 de tout le corps トゥ・トゥール・コール adv. 体全体で 「副詞句」
 pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために 「副詞句」
 me ム pron. 僕に 「間接目的語」
 tendre トントール 不定詞 v.t. 差し出す 「動詞」
 sa bouche. サ・ブーシュ n.f. 唇を 「目的語」

僕はセレステの店で夕食をとった。僕がもう食べ始めていた時に、奇妙な小柄の女が入ってきて、僕に、相席をしてもよいかと尋ねた。

J'ai dîné chez Céleste. J'avais déjà commencé à manger lorsqu'il est entré une bizarre petite femme qui m'a demandé si elle pouvait s'asseoir à ma table.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「副詞節」
 J' ジュ pron. 僕は 「主語」
 ai dîné エ・ディネ 1 単現・完了形(dîner)v.i. 夕食をとった 「動詞句」
 chez Céleste. シェ・セレスト adv. セレストの店で 「副詞句」
 J' ジュ pron. 僕は 「主語」
 avais déjà commencé à manger アヴァ・デジャ・コモンセ・ア・モンジェ 1 単半・完了形・開始
 (commencer à+不定詞+ déjà)v.i. すでに食事を始めていた 「動詞句」
 lorsqu' ルスキ conj. ～した時には 「副詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

il イル pron 仮の主語（真の主語は une bizarre petite femme）

実際の主語が長いので、仮の主語が使われた

est entré エ・ントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」

il が仮の主語なので、実際の主語の性別に影響されず、過去分詞は男性形のままである

une bizarre petite femme エヌ・ビザール・プティット・ファム

n.f 奇妙な小柄の女が 「主語」

qui キ pron （主語）そして～する

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・ドゥマンドゥ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

elle エル pron 彼女が 「主語」

pouvait s'asseoir プゥヴェ・サスワール 3 単半・許可(pouvoir+不定詞)

v.pr 座ってもよいか 「動詞句」

à ma table. ア・マ・ターブル adv. 僕のテーブルに 「副詞句」

もちろん、それは構わない。彼女は仕草がぎくしゃくしており、リンゴみたいに小さな顔に
ぎらぎら光る眼をしていた。

Naturellement, elle le pouvait. Elle avait des gestes saccadés et des yeux brillants dans
une petite figure de pomme.

「副詞」「主語」「目的語」「動詞」 | 「主語」「動詞」「目的語」et「目的語」「副詞句」

Naturellement, ナチュレルモン adv. もちろん 「副詞」

elle エル pron 彼女は 「主語」

le ル pron それを 「目的語」

pouvait. プゥヴェ 3 単半・許可(pouvoir)v.t しても構わない 「動詞」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

avait アヴエ 3 単半(avoir)v.t （動作を、心身の状態を）した 「動詞」

des gestes デ・ジエストゥ pl.n.m 仕草を 「目的語」

saccadés サカデ adj.pl ぎくしゃくとした 「形容詞句」

et エ conj. そして

des yeux brillants デ・ジユ・ブリヨン pl.n.m ぎらぎら光る眼を 「目的語」

dans une petite figure トン・ジ・ユヌ・プティット・フィギュール adv. 小さな顔に 「副詞句」

de pomme. トゥ・ポム adj. （様態）リンゴのような 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼女は上着を脱いで、座ると、一心不乱にメニューを調べた。

Elle s'est débarrassée de sa jaquette, s'est assise et a consulté fiévreusement la carte.

「主語」「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」 et 「動詞句」「副詞」「目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 s'est débarrassée セ・デバラッセ 3 単現・完了形.f(se débarrasser)
 v.pr(de を) 脱いだ 「動詞句」
 de sa jaquette, トゥ・サ・ジャケット adv. 上着を 「間接目的語」
 s'est assise セ・タス 3 単現・完了形.f(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 et エ conj. それから
 a consulté ア・コンスルテ 3 単現・完了形(consulter)v.t 調べた 「動詞句」
 fiévreusement フィエヴルーズモン adv. 夢中で、一心不乱に 「副詞」
 la carte. ラ・キャルト n.f メニューを 「目的語」

彼女はセレストを呼ぶと、すぐに、几帳面かつあわただしい口調で、すべての料理を一気に注文した。

Elle a appelé Céleste et a commandé immédiatement tous ses plats d'une voix à la fois précise et précipitée.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 a appelé ア・アプレ 3 単現・完了形(appeler)v.t 呼んだ 「動詞句」
 Céleste セレスト n.m セレストを 「目的語」
 et エ conj. そして
 a commandé ア・コモンテ 3 単現・完了形(commander)v.t 注文した 「動詞句」
 immédiatement インメデアトゥモン adv. すぐに、即座に 「副詞」
 tous ses plats トゥ・セ・プラ pl.n.m すべての料理を 「目的語」
 d'une voix +形容詞.f テュヌヌ・ヴァ adv. ~の声で 「副詞句」
 à la fois ア・ラ・フワ adv. 一気に 「副詞句」
 précise プレシズ adj.f 几帳面な、正確な 「形容詞」
 et エ conj. そして
 précipitée. プレシピテ adj.f あわただしい 「形容詞」
 d'une voix précise et précipitée 「几帳面であわただしい声で」
 形容詞の前に副詞句が置かれている

PREMIÈRE PARTIE 第1部

前菜を待っている間、女はハンドバッグを開け、そこから小さな四角い紙と鉛筆を取り出し、前もって勘定を計算し、それにチップを追加した丁度の金額をポケットから取り出して、それを目の前に置いた。

En attendant les hors-d'oeuvre, elle a ouvert son sac, en a sorti un petit carré de papier et un crayon, a fait d'avance l'addition, puis a tiré d'un gousset, augmentée du pourboire, la somme exacte qu'elle a placée devant elle.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「副詞」 「動詞句」 「目的語」,

「動詞句」 「副詞句」 「目的語」, 「副詞」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」 「副詞節」

En attendant オ・ナトドン ジェロンディフ(attendre)v.t 待っている間に 「副詞句」

les hors-d'oeuvre, レ・オール・ドゥ・ウヴル pl.n.m 前菜を 「目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

a ouvert ア・ウヴェール 3 単現・完了形(ouvrir)v.t 開けた 「動詞句」

son sac, ソン・サック n.m ハンドバッグを 「目的語」

en オン adv. そこから(de son sac) 「副詞」

a sorti ア・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.t(de から) 取り出した 「動詞句」

un petit carré アン・プチ・キャレ n.m 小さな四角いものを 「目的語」

de papier ドゥ・パピエ adj. 紙の 「形容詞句」

et エ conj. そして

un crayon, アン・クレヨン n.m 鉛筆を 「目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t ~した 「動詞句」

d'avance ダヴァンス adv. あらかじめ、前もって 「副詞句」

l'addition, ラディシオン n.f 勘定の計算を 「目的語」

puis ビュイ adv. それから 「副詞」

a tiré ア・チレ 3 単現・完了形(tirer)v.t 取り出した 「動詞句」

d'un gousset, ダン・グセ adv. ポケットから 「副詞句」

augmentée オグモンテ 過去分詞・受動(augmenter)adj.f 追加された 「形容詞句」

du pourboire, ジュ・プルーヴワール adv. チップの分を 「間接目的語」

la somme ラ・ソム n.f 金額を 「目的語」

exacte エグザクトゥ adj.f 丁度の 「形容詞」

qu' ク pron (目的語) それを~した 「副詞節」

elle エル pron 彼女は 「主語」

a placée ア・プラセ 3 単現・完了形.f(placer)v.t 置いた 「動詞句」

過去分詞 placée は「直接目的語」 la somme に性・数一致している

devant elle. ドゥヴァン・テル adv. 自分の前に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

その時、前菜が運ばれてきた。女はそれを大急ぎで、むさぼるように食べた。

A ce moment, on lui a apporté des hors-d'oeuvre qu'elle a engloutis à toute vitesse.

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「副詞節」

A ce moment, ア・ス・モメン adv. その時

「副詞句」

on オン pron 人が

「主語」

「主語」が不特定の三人称の場合は、受動態に翻訳する

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

a apporté ア・アポルテ 3 単現・完了形(apporter)v.t 運んできた

「動詞句」

des hors-d'oeuvre デ・ホル・ドゥーヴル pl.n.m オードヴルを

「直接目的語」

qu' ク pron (目的語) それを～する

「副詞節」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a engloutis ア・オングルティ 3 単現・完了形.pl(engloutir)v.t むさぼり食った

「動詞句」

過去分詞 engloutis は「直接目的語」des hors-d'oeuvre に性・数一致している

à toute vitesse. ア・トゥット・ヴィテス adv. 大急ぎで、全速力で

「副詞句」

次の料理を待っている間に、また女は、ハンドバッグから、青い鉛筆とその週のラジオ番組が載っている雑誌を取り出した。

En attendant le plat suivant, elle a encore sorti de son sac un crayon bleu et un magazine qui donnait les programmes radiophoniques de la semaine.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

En attendant オン・アトントン adv. ～を待っている間

「副詞句」

le plat suivant, ル・プラ・シュイヴァン n.m 次の料理を

「目的語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a encore sorti ア・オンコール・ソルティ 3 単現・完了形(sortir+encore)

v.t(de から) また取り出した

「動詞句」

de son sac ドゥ・ソン・サッキ adv. ハンドバッグから

「副詞句」

un crayon bleu アン・クレヨン・ブル n.m 青い鉛筆を

「目的語」

et エ conj. そして

un magazine アン・マガジーヌ n.m 雑誌を

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

donnait ドネ 3 単半・時制の一致(donner)v.t 示している

「動詞」

les programmes radiophoniques レ・プログラム・ラヂオフォニキ

pl.n.m ラジオ番組

「目的語」

de la semaine. ドゥ・ラ・スメヌ adj. その週の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

非常に念入りに、ひとつひとつ、ほとんど全ての番組に印を付けていった。

Avec beaucoup de soin, elle a coché une à une presque toutes les émissions.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Avec beaucoup de soin, アヴ^ェェッキ・ボク・トゥ・スワソ adv. (様態) 非常に念入りに 「副詞句」

beaucoup de ボク・トゥ adj. たくさんの soin スワソ n.m 入念さ

elle エル pron 彼女は 「主語」

a coché ア・コッシェ 3 単現・完了形(cocher)v.t 印をつけた 「動詞句」

une à une ユンヌ・ア・ユンヌ adv.(un à un) 一つ一つ 「副詞句」

presque プレスキ adv. ほとんど 「副詞」

toutes les émissions. トウト・レ・エミシオン pl.n.f 全ての番組に 「目的語」

雑誌は 10 数ページもあったので、女はこの作業を、食事の間中、丹念に続けていた。

Comme le magazine avait une douzaine de pages, elle a continué ce travail méticuleusement pendant tout le repas.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Comme コム conj. (原因) ~なので 「副詞節」

le magazine ル・マガジヌ n.m 雑誌は 「主語」

avait アヴ^ェ 3 単半(avoir)v.t あった 「動詞」

une douzaine de pages, ユンヌ・トゥ・ドゥゼーヌ・トゥ・パージェ

pl.n.f およそ 10 数ページ 「目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

a continué ア・コンチヌエ 3 単現・完了形(continuer)v.t 続けた 「動詞句」

ce travail ス・トラヴァイユ n.m この作業を 「目的語」

méticuleusement メチクルーズモン adv. 丹念に 「副詞」

pendant tout le repas. ポント・ソ・トゥール・ルパ^ァ adv. 食事の間中 「副詞句」

僕はもう食事を終えていたが、女は相変わらず熱心に印をつけていた。

J'avais déjà fini qu'elle cochait encore avec la même application.

「主語」 「動詞句」 「副詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais déjà fini アヴ^ェ・デジャ・フィニ 1 単現・完了形(finir+ déjà)

v.i もう食事を終えていた 「動詞句」

qu' ク conj. (状況補語) その時~する 「副詞節」

elle エル pron 彼女は 「主語」

cochait コッシェ 3 単半(cocher)v.t 印をつけていた 「動詞」

encore オンコール adv. まだ、いまだに 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

avec la même application. アウ[°]ェッキ・ラ・メーム・アプ[°]リカシヨ

adv. 相変わらずの熱心さで

「副詞句」

application アプ[°]リカシヨ n.f 熱心、勤勉

それから女は立ち上がり、先程と同様に自動人形のように正確な仕草でジャケットを着て、
出て行った。

Puis elle s'est levée, a remis sa jaquette avec les mêmes gestes précis d'automate et elle est partie. 「副詞」「主語」「動詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」

Puis ピ[°]ユイ adv. それから

「副詞」

elle エル pron 彼女は

「主語」

s'est levée, セ[°]ルヴ[°]エ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

a remis ア[°]ルミ 3 単現・完了形(remettre)v.t 再び着た

「動詞句」

sa jaquette サ[°]ジャケツト n.f ジャケットを

「目的語」

avec les mêmes gestes précis アウ[°]ェッキ・レ・メーム・ジ[°]エストウ・プレシ

adv. 相変わらずの正確なしぐさで

「副詞句」

d'automate ト[°]トマツト adj. 自動人形の

「形容詞句」

et エ conj. そして

elle エル pron 彼女は

「主語」

est partie. エ[°]パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 出て行った

「動詞句」

何もすることがなかったので、僕も店を出て、少しの間、女の後ろをついて行った。

Comme je n'avais rien à faire, je suis sorti aussi et je l'ai suivie un moment.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Comme コム conj. ～なので

「副詞節」

je ジ[°]ユ pron 僕は

「主語」

n'avais ナ[°]ヴェ 1 単半・否定(avoir)v.t なかった

「動詞句」

rien à faire, リヤン[°]ナ[°]フェール pron するべきことが何も～ない

「目的語」

je ジ[°]ユ pron 僕は

「主語」

suis sorti シュイ[°]サルティ 1 単現・完了形(sortir)v.i 店を出た

「動詞句」

aussi オシ adv. ～もまた

「副詞」

et エ conj. そして

je ジ[°]ユ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron 女を

「目的語」

ai suivie エ[°]シュイ[°]ヴィ 1 単現・完了形.f(suivre)v.t ～の後について行った

「動詞句」

過去分詞 suivie は「直接目的語」la (彼女)に性・数一致

un moment. アン[°]モメン adv. 少しの間

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

女は歩道の縁石の上に乗った、それから、信じられないほどの速度と正確さで、足を踏み外したり、振り向いたりすることもなく、縁石の上を伝って行った。

Elle s'était placée sur la bordure du trottoir et avec une vitesse et une sûreté incroyables, elle suivait son chemin sans dévier et sans se retourner.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 Elle エル pron 女は 「主語」
 s'était placée セ・プ・ラセ 3 単半・完了形.f(se placer)v.pr 自分の身を置いた 「動詞句」
 過去分詞 placée は「直接目的語」 se (再帰代名詞：彼女) に性・数一致
 sur la bordure シュール・ラ・ボルデュール adv. (歩道の) 縁石の上に 「副詞句」
 du trottoir ジュ・トロットワール adj. 歩道の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 avec アヴェッキ adv. (様態) 〜で 「副詞句」
 une vitesse ユヌ・ヴィテス n.f 速度 「目的語」
 et エ conj. そして
 une sûreté ユヌ・シュルテ n.f 正確さ 「目的語」
 incroyables, アンクロワイヤブル adj.pl 信じられない 「形容詞」
 elle エル pron 女は 「主語」
 suivait シュイヴァ 3 単半(suivre)v.t (道を) たどっていった、つたっていった 「動詞」
 son chemin ソン・シュマン n.m 自分の道を 「目的語」
 sans +不定詞 ソン adv. 〜しないで 「副詞句」
 dévier デヴィエ 不定詞 v.i (道を) 踏み外す 「動詞」
 et エ conj. そして
 sans +不定詞 ソン adv. 〜しないで 「副詞句」
 se retourner. ス・ルトゥルネ 不定詞 v.pr 振り返る 「動詞句」

結局は女を見失って、僕は今来た道を戻った。

J'ai fini par la perdre de vue et par revenir sur mes pas.

「主語」「動詞句」「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai fini エ・フィニ 1 単現・完了形(finir)v.i(+par+不定詞) 結局〜した 「動詞句」
 finir par+不定詞 「ついに〜する、最後には〜する」
 par +不定詞 パール adv. 最後には〜する 「副詞句」
 la ラ pron 女を 「目的語」
 perdre de vue ペルトゥール・ドゥ・ヴィュ 不定詞 v.i 見失う 「動詞句」
 perdre ...de vue 「〜を見失う、〜を無視する」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

par +不定詞 パール adv. 最後には～する

「副詞句」

revenir ルヴニール 不定詞 v.i 戻る

「動詞」

sur mes pas. シュール・メ・パ° adv. 自分の足跡を

「副詞句」

revenir sur ses pas 「引き返す、方針を撤回する」

変わった女だと思ったが、女のはすぐに忘れた。

J'ai pensé qu'elle était bizarre, mais je l'ai oubliée assez vite.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que ～だと) 思った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

bizarre, ビザール adj. 変な、おかしい

「補語」

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron 女を

「目的語」

ai oubliée エ・ウブリエ 1 単現・完了形(foublier)v.t 忘れた

「動詞句」

assez vite. アセ・ヴィット adv. すぐに

「副詞句」

僕の部屋の戸口に、サラマノ老人が待っていた。

Sur le pas de ma porte, j'ai trouvé le vieux Salamano.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Sur le pas シュール・ル・パ° adv. (戸口の) 敷居のところで

「副詞句」

de ma porte, トゥ・マ・ポルト adj. 僕の部屋の戸口の

「形容詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai trouvé エ・トゥルヴエ 1 単現・完了形(trouver)v.t 出会った、見えた

「動詞句」

le vieux Salamano. ル・ヴィユ・サマノ n.m サラマノ老人に

「目的語」

僕は彼を中へ入れた。彼は犬がいなくなったと言った。野犬収容所にもいなかったのだ。

Je l'ai fait entrer et il m'a appris que son chien était perdu, car il n'était pas à la fourrière.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | | |
|-----------------|-----------|--------------------------|----------|---------|
| ai fait | エ・フェ | 1 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v. | ～させた | 「動詞句」 |
| entrer | オントレ | 不定詞 v.i | 入る | 「補語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a appris | ア・アプリ | 3 単現・完了形(apprendre)v.t | 知らせた、教えた | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| son chien | ソン・シヤン | n.m | 彼の犬は | 「主語」 |
| était perdu, | エテ・ペルジュ | 3 単半・受動(perdre)v.t | いなくなった | 「動詞句」 |
| car | カル | conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| il | イル | pron | 犬は | 「主語」 |
| n'était pas | ネ・パ | 3 単半・否定(être)v.i (存在) | いなかった | 「動詞」 |
| à la fourrière. | ア・ラ・フリエール | adv. | 野犬収容所に | 「副詞句」 |

収容所の職員たちは彼に、たぶん車に轢かれたのだろうと言った。

Les employés lui avaient dit que, peut-être, il avait été écrasé.

| | | | | |
|-------------------|------------|----------------------|-----------|-------------------------|
| | | | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Les employés | レ・ゾンブ | pl.n | 収容所の職員たちは | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| avaient dit | アヴェ・ディ | 3 複現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que, | ク | conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| peut-être, | フ・テートル | adv. | たぶん | 「副詞句」 |
| il | イル | pron | 犬は | 「主語」 |
| avait été écrasé. | アヴェ・テ・エクラセ | 3 単半・完了形・受動(écraser) | | |
| | v.t | | 車に轢かれた | 「動詞句」 |

彼は、それを警察署で確認することは出来ないだろうかと尋ねた。

Il avait demandé s'il n'était pas possible de le savoir dans les commissariats.

| | | | | |
|---------------|------------|------------------------|-------------------------|----------------|
| | | | | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| avait demandé | アヴェ・ト・ウモンテ | 3 単半・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| s' | シ | conj. | ～かどうかということを | 「目的語」 |
| il | イル | pron | 仮の主語 (真の主語は de le...以降) | |
| n'était pas | ネ・パ | 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i | ～でない | 「動詞」 |
| possible | ポシブル | adj. | 可能な | 「補語」 |
| de +不定詞 | トゥ | 不定詞 n. | ～することは | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

le ル pron それを 「目的語」
 savoir サヴ わ-ル 不定詞 v.t 知る 「動詞」
 dans les commissariats. ドン・レ・コミッサリア adv. 警察署で 「副詞句」

このような問題は毎日起こるので、記録は残していないと、職員は答えた。

On lui avait répondu qu'on ne gardait pas trace de ces choses-là, parce qu'elles arrivaient tous les jours. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞節」

On オン pron 職員は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 avait répondu アヴィエ・レボンジュ 3 単半・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 on オン pron 職員は 「主語」
 ne gardait pas ネ・ギャルテ・パ 3 単半・否定(garder)
 v.t (物を) 残しておかない 「動詞句」
 trace トラス n.f 痕跡を、記録を 「目的語」
 de ces choses-là, ドゥ・セ・ショーズ・ラ
 adj. このような問題の 「形容詞句」
 parce qu' パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」
 elles エル pron.pl それは 「主語」
 arrivaient アリヴィエ 3 複半・時制の一致(arriver)
 v.i (出来事が) 起こる 「動詞」
 tous les jours. トゥ・レ・ジュール adv. 毎日 「副詞句」

僕はサラマノ老人に、別の犬を飼ったらどうだろうと言ったが、彼はあの犬に馴染んでい
 るということを僕に気づかせた。

J'ai dit au vieux Salamano qu'il pourrait avoir un autre chien, mais il a eu raison de me faire remarquer qu'il était habitué à celui-là.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 au vieux Salamano オ・ヴィエ・サラマノ adv. サラマノ老人に 「間接目的語」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 pourrait avoir プレ・アヴ わ-ル 条・3 単現・可能・語調緩和(pouvoir+不定詞)
 v.t 持つことも出来るのではないか 「動詞句」
 un autre chien, アン・オートル・シヤン n.m ほかの犬を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|--|--------|---------|
| mais メ conj. | しかし | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t | あった | 「動詞句」 |
| raison レゾソ n.f | 理由 | 「目的語」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞 v.t | ～する | 「形容詞句」 |
| me ム pron | 僕に | 「目的語」 |
| faire フェール 不定詞・使役 v.t | ～させる | 「動詞」 |
| remarquer ルマルケ 不定詞 v.i | 気づく | 「補語」 |
| qu' ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| était habitué エテ・アビチュエ 3 単半・受動(habituer) | | |
| v.t | 慣れていた | 「動詞句」 |
| à celui-là. ア・スリュイ・ラ adv. | その犬に | 「間接目的語」 |

僕はベッドの上でしゃがみ込み、サラマノはテーブルの前の椅子に座った。

J'étais accroupi sur mon lit et Salamano s'était assis sur une chaise devant la table.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

| | | |
|---|--------------|-------|
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| étais エテ 1 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| accroupi アクルピ° adj. | しゃがんだ、うずくまった | 「補語」 |
| s'accroupir サクルピ°ール v.pr | しゃがむ、うずくまる | |
| sur mon lit シュール・モン・リ adv. | ベッドの上に | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| Salamano サラマノ n.m | サラマノは | 「主語」 |
| s'était assis セテ・タシ 3 単半・完了形(s'asseoir)v.pr | 座った | 「動詞句」 |
| sur une chaise シュール・エンヌ・シェーズ° adv. | 椅子の上に | 「副詞句」 |
| devant la table. ドゥヴァン・オン・ラ・ターブル adv. | テーブルの前の | 「副詞句」 |

彼は僕と向き合い、両手を膝の上に置いていた。

Il me faisait face et il avait ses deux mains sur les genoux.

「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

| | | |
|----------------------------|--------------------|---------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| me ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| faisait フェ° 3 単半(faire)v.t | 向けていた | 「動詞」 |
| face ファス n.f | 顔 | 「直接目的語」 |
| faire face à... | 「～に向き合う、直面する、実行する」 | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t. ～を... にしていた

「動詞」

ses deux mains セ・ドゥ・マン pl.n.f 両手を

「目的語」

sur les genoux. シュール・レ・ジ ュヌ adv. 膝の上に

「副詞句」

avoir 「直接目的語」「補語」 「～を... にする」

彼は古びたフェルト帽を被ったままでいた。

Il avait gardé son vieux feutre.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait gardé アヴェ・ギヤルデ 3 単半・完了形(garder)v.t (服などを) 脱がずにいた

「動詞句」

son vieux feutre. ソン・ヴィユ・フトル n.m 古びたフェルト帽を

「目的語」

彼は、黄ばんだ口髭の下で、言葉尻をもぐもぐと噛むようにつぶやいた。

Il mâchonnait des bouts de phrases sous sa moustache jaunie.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

mâchonnait マショネ 3 単半(mâchonner)v.t (もぐもぐと) 口の中でつぶやいた

「動詞」

des bouts デ・ブー pl.n.m 終わりを

「目的語」

de phrases トゥ・フレーズ adj. 言葉の

「形容詞句」

sous sa moustache jaunie. ス・サ・ムスタシュ・ジョニー adv. 黄ばんだ口髭の下で

「副詞句」

彼には少しうんざりさせられたが、することが無かったし、眠くもなかった。

Il m'ennuyait un peu, mais je n'avais rien à faire et je n'avais pas sommeil.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」

et 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

ennuyait オンニユエ 3 単半(ennuyer)v.t うんざりさせた

「動詞」

意識的に「人をうんざりさせる」ことはまれなので、受動態に翻訳する

un peu, アン・プ° adv. 少し

「副詞句」

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais ナヴェ 1 単現・否定(avoir)v.t 無かった

「動詞句」

rien à faire リヤン・ナフェール pron すべきことが何も～ない

「目的語」

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

je ジェ pron 僕は 「主語」
 n'avais pas ナヴェ・パ 1 単現・否定(avoir)v.t 無かった 「動詞句」
 sommeil. ソメイ n.m 眠気 「目的語」

なんでもいいから話そうと思って、彼の犬のことを尋ねてみた。

Pour dire quelque chose, je l'ai interrogé sur son chien.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」
 Pour +不定詞 プール adv. (目的) ~するために 「副詞句」
 dire ディール 不定詞 v.t 言う 「動詞」
 quelque chose, ケルキ・ショーズ n.f 何かを 「目的語」
 je ジェ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼に 「目的語」
 ai interrogé エ・アンテロジェ 1 単現・完了形(interroger)v.t 尋ねた 「動詞句」
 sur son chien. シュール・ソ・シヤン adv. 彼の犬について 「副詞句」

彼は、奥さんが亡くなってからあの犬を手に入れたと説明してくれた。

Il m'a dit qu'il l'avait eu après la mort de sa femme.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ~ということを 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 l' ル pron その犬を 「目的語」
 avait eu アヴェ・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t 手に入れた 「動詞句」
 après la mort アプレ・ラ・モール adv. 死の後に 「副詞句」
 de sa femme. ドゥ・サ・ファム adj. 彼の妻の 「形容詞句」

かなり遅く、結婚したということだ。

Il s'était marié assez tard.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'était marié セ・マリエ 3 単半・完了形(se marier)v.pr 結婚した 「動詞句」
 assez tard. アセ・タル adv. かなり遅く、年をとってから 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

青春時代は演劇をやりたかった、軍隊に入ると、軍の軽劇場でよく演じたものだった。

Dans sa jeunesse, il avait eu envie de faire du théâtre : au régiment il jouait dans les vaudevilles militaires.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」：「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」
 Dans sa jeunesse, トン・サ・ジュネス adv. 青春時代には 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait eu アヴェ・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t. 〜があった 「動詞句」
 envie オンヴィー n.f 欲望 「目的語」
 de faire トゥ・フェール 不定詞 v.t. 〜するという 「形容詞句」
 du théâtre : ジュ・テートル n.m 演劇を 「目的語」
 au régiment オ・レジモン adv. 軍隊では 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 jouait ジュエ 3 単半・習慣(jouer)v.i 演じたものだった 「動詞」
 dans les vaudevilles トン・レ・ヴ・オ・ヴィル adv. 軽劇場で 「副詞句」
 militaires. ミリテール adj.pl 軍隊の 「形容詞」

しかし結局は、鉄道に入った。けれどそのことは後悔していない。そのおかげで今、ささやかな年金をもらっているのだから。

Mais finalement, il était entré dans les chemins de fer et il ne le regrettait pas, parce que maintenant il avait une petite retraite.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」
 Mais finalement, メ・フィナルメン adv. しかし結局は 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 était entré エテ・オントレ 3 単半・完了形(entrer)v.i 入った 「動詞句」
 dans les chemins トン・レ・シュマン adv. 道に 「副詞句」
 de fer トゥ・フェール adj. 鉄の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 ne... regrettait pas, ス...ルグレテ・パ° 3 単半・否定・時制の一致(regretter)
 v.t 後悔していない 「動詞句」
 le ル pron それを (鉄道に入ったこと) 「目的語」
 parce que パルス・キ conj. 〜なので 「副詞節」
 maintenant マントゥナン adv. 今 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t. ある 「動詞」
 une petite retraite. エヌ・プティット・ルトレット n.f ささやかな年金 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼の結婚生活は幸せではなかったが、おおむね彼は奥さんに馴染んでいた。

Il n'avait pas été heureux avec sa femme, mais dans l'ensemble il s'était bien habitué à elle. 「主語」「動詞句」「補語」 mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 n'avait pas été ナヴ'ェ・パ°・セ'テ 3 単半・完了形(être)v.t ~でなかった 「動詞句」
 heureux ウルー adj. 幸せな 「補語」
 avec sa femme, アヴ'ェッキ・サ・ファム adv. (様態) 妻との生活は 「副詞句」
 mais メ conj. しかし
 dans l'ensemble トン・ロンソブル adv. 全体としては、概して 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'était bien habitué セ'・ビ'ヤン・アビ'チュエ 3 単半・完了形(s'habituer)
 v.pr(à に) 馴染んでいた 「動詞句」
 à elle. ア・エル adv. 奥さんに 「間接目的語」

奥さんが亡くなった時は、彼は強い孤独を感じた。

Quand elle était morte, il s'était senti très seul. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「補語」
 Quand コン conj. ~した時は 「副詞節」
 elle エル pron 妻が 「主語」
 était morte, エ'・モルト 3 単半・完了形(mourir)v.i 死んだ 「動詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'était senti セ'・ソ'ンチ 3 単半・完了形(se sentir)v.pr 自分が~だと感じた 「動詞句」
 très seul. トレ・スル adj. 非常に孤独な 「補語」

そこで彼は職場の同僚に頼んで、まだとても幼かったあの犬を手に入れたのだった。

Alors, il avait demandé un chien à un camarade d'atelier et il avait eu celui-là très jeune.
 「副詞」, 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Alors, アロー adv. そこで 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait demandé アヴ'ェ・ト'ウモンテ° 3 単半・完了形(demander)v.t 求めた、頼んだ 「動詞句」
 un chien アン・シヤン n.m 犬を1匹 「直接目的語」
 à un camarade ア・ウン・キャマラト° adv. 同僚に 「間接目的語」
 d'atelier ダトリエ adj. 職場の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 avait eu アヴ'ェ・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t 手に入れた 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

celui-là スリュイ・ラー pron あの犬を 「目的語」
très jeune. トレ・ジュヌ adj. とても若い 「形容詞句」

哺乳瓶でミルクをやらなければなかった。

Il avait fallu le nourrir au biberon. 「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Il avait fallu +不定詞 イ・ラヴ・ェ・ファリュ 3 単半・完了形・非人称(Il falloir+不定詞)

v.h 〜しなければならなかった 「動詞句」

le ル pron その犬を 「目的語」

nourrir スリール 不定詞 v.t 授乳する 「動詞句」

au biberon. オ・ビブロン adv. (手段) 哺乳瓶で 「副詞句」

しかし犬の寿命は人間より短いので、サラマノと犬はそろって老齢に達した。

Mais comme un chien vit moins qu'un homme, ils avaient fini par être vieux ensemble.

Mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「補語」

Mais メ conj. しかし

comme コム conj. 〜なので 「副詞節」

un chien アン・シャン n.m 犬は 「主語」

vit ヴィ 3 単現(vivre)v.i 生きる 「動詞」

moins qu'un homme, ムワソ・カン・ノム adv. 人間より短く 「副詞句」

ils イル pron 彼らは 「主語」

avaient fini par être アヴ・ェ・フィニ・パール・エートル 3 複半・完了形(finir par+不定詞)

v.i ついに〜になった 「動詞句」

vieux ヴィユ adj.pl.m 年老いた 「補語」

ensemble. オンソブル adv. 一緒に、そろって 「副詞」

「あれは性格が悪かった」と、サラマノが僕に言った。「時には、怒鳴りあいの喧嘩もしました。だけど、それでもあれはいい犬でした」

«Il avait mauvais caractère, m'a dit Salamano. De temps en temps, on avait des prises de bec. Mais c'était un bon chien quand même.»

《「主語」「動詞」「目的語」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」

《「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 | Mais 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》

«Il イル pron あの犬は 「主語」

avait アヴ・ェ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態) をしていた 「動詞」

mauvais caractère, モヴ・ェ・カラクテル n.m 悪い性格 「目的語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|--------------------------------|----------------|-------|
| Salamano. サラマノ n.m | サラマノは | 「主語」 |
| De temps en temps, トゥ・トン・ゾン・トン | adv. 時折、ときどき | 「副詞句」 |
| on オン pron | 私たちは（動詞は三人称単数） | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t | （行為を）した | 「動詞」 |
| des prises de bec. デ・プリ・トゥ・ベッキ | pl.n.f 口喧嘩 | 「目的語」 |
| Mais メ conj. | それでも | |
| c' ス pron | あれは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| un bon chien アン・ボン・シヤン | n.m いい犬 | 「補語」 |
| quand même. コン・メーム | adv. それでも、やはり | 「副詞句」 |

あれは血統の良い犬でしたと僕が言うと、サラマノは満足した様子を見せた。

J'ai dit qu'il était de belle race et Salamano a eu l'air content.

| | |
|---|----------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron あの犬は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| de belle race トゥ・ベル・レース adj. (出身) よい血統の | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| Salamano サラマノ n.m サラマノは | 「主語」 |
| a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (心身の状態を) した | 「動詞句」 |
| l'air content. レール・コント n.m 満足した様子を | 「目的語」 |

「そしてその上」と、彼は付け加えた。「あなたは病気になる前のあれを見たことがない。
あれの毛の艶こそ、最も美しいところだったのです」

«Et encore, a-t-il ajouté, vous ne l'avez pas connu avant sa maladie. C'était le poil qu'il avait de plus beau.»

| | |
|--|---------------------------------|
| <u>avait de plus beau.</u> » | 《「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, |
| | 《「主語」「動詞句」「副詞句」 「動詞」「補語」「主語」》 |
| «Et encore, エ・オンコール adv. そしてその上 | 「副詞句」 |
| a... ajouté, ア...アジ ャテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| vous ヴ pron あなたは | 「主語」 |
| ne l'avez pas connu ス・ラヴ・エ・パ・コニュ 2 複現・完了形・否定(connaître+le) | |
| v.t 見たことがない、あれを知らなかった | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|-------------------------------|----------------------|--------|
| avant sa maladie. アヴァン・サ・マラデー | adv. 病気になる前に | 「副詞句」 |
| C' ス pron ス | 仮の主語（真の主語は qu'以降） | |
| était エテ | 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| le poil ル・ポワル | n.m 体毛 | 「補語」 |
| qu' ク pron | (目的語) ~するものは | 「主語」 |
| il イル pron | あれが | 「主語」 |
| avait アヴェ | 3 単半(avoir)v.t 持っていた | 「動詞」 |
| de plus beau.》 | トゥ・プリュ・ボ adj. 最も美しい | 「形容詞句」 |

犬が皮膚病になってからは、サラマノは毎朝毎晩、軟膏を塗ってやっていました。

| | |
|---|---------------------------|
| <u>Tous les soirs et tous les matins, depuis que le chien avait eu cette maladie de peau, Salamano le passait à la pommade.</u> | 「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 |
| Tous les soirs et tous les matins, トゥ・レスわ・ル・エ・トゥ・レ・マタン | adv. 毎朝毎晩 「副詞句」 |
| depuis que トゥ・ピ° ュイ・ク | conj. ～してから、～して以来 「副詞節」 |
| le chien ル・シャン n.m | 犬が 「主語」 |
| avait eu アヴ°エ・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t | (病気に) なった 「動詞句」 |
| cette maladie セット・マラデー n.f | 病気 「目的語」 |
| de peau, トゥ・ポー adj. | 皮膚の 「形容詞句」 |
| Salamano サラマノ n.m | サラマノは 「主語」 |
| le ル pron | 犬を 「目的語」 |
| passait パセ 3 単半・習慣(passer)v.t | (で) 拭いた、塗った 「動詞」 |
| à la pommade. ア・ラ・ポー マト° | adv. (手段) 軟膏で 「副詞句」 |

しかし彼に言わせると、犬の本当の病気は老いでした、そして老いを治す薬はないのです。

Mais selon lui, sa vraie maladie, c'était la vieillesse, et la vieillesse ne se guérit pas.

Mais 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「主語」 「動詞句」

| | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| selon lui, スロン・リュイ | adv. 彼に言わせると、彼によると | 「副詞句」 |
| sa vraie maladie, サ・ヴレ・マラデー | n.f 犬の本当の病気は | 「主語」 |
| vraie ヴレ | adj.f(vrai) 本当の、真の | |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| la vieillesse, ラ・ヴィエイェス | n.f 老い、老化 | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| la vieillesse, ラ・ヴィエイェス | n.f 老いは | 「主語」 |
| ne se guérit pas. ス・スケリ・パ | 3 単現・否定(se guérir)v.pr 治らない | 「動詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

この時、僕があくびをすると、彼はそろそろ帰りますと僕に告げた。

A ce moment, j'ai bâillé et le vieux m'a annoncé qu'il allait partir.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 A ce moment, ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai bâillé エ・バイエ 1 単現・完了形(bâiller)v.i あくびをした 「動詞句」
 et エ conj. そして
 le vieux ル・ヴィユ n.m 老人は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a annoncé ア・アノンセ 3 単現・完了形(annoncer)v.t 告げた 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 allait partir. アレ・パ・ルティール 3 単半・近接未来(aller+不定詞)
 v.i そろそろ帰る 「動詞句」

僕は彼に、ゆっくしてしていってください、あなたの犬がこんなことになって心配していま
 ずと言った。彼は僕に礼を言った。

Je lui ai dit qu'il pouvait rester, et que j'étais ennuyé de ce qui était arrivé à son chien :
 il m'a remercié.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 et 「直接目的語」: 「目的語」 「動詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 pouvait rester, プ・ヴァ・レステ 3 単半・許可(pouvoir+不定詞)
 v.i 休んでいって構わない 「動詞句」
 et エ conj. そして
 que ク conj. ～ということ 「直接目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ
 ennuyé オンニユエ adj. (de に対して) 心配している 「補語」
 de ce トゥ・ス adv. それに対して 「副詞句」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 était arrivé エテ・アリグエ 3 単半・完了形(arriver)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| v.i 起こった | 「動詞句」 |
| à son chien: ア・ソン・シャン | |
| adv. あなたの犬に | 「間接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| a remercié. ア・メルシエ 3 単現・完了形(remercier)v.t 礼を言った | 「動詞句」 |

彼は僕に、母さんはあの犬をととても可愛がってくれたと言った。

Il m'a dit que maman aimait beaucoup son chien.

| | |
|----------------------------------|-------------------------|
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| maman マモン n.f 母さんは | 「主語」 |
| aimait エ 3 単半・習慣(aimer)v.t 可愛がった | 「動詞」 |
| beaucoup ボク adv. とても | 「副詞」 |
| son chien. ソン・シャン n.m 彼の犬を | 「目的語」 |

母さんのことを話すとき、彼は「今は亡き母上」という呼び方をした。

En parlant d'elle, il l'appelait «votre pauvre mère».

| | |
|--|--------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞」「補語」 |
| En parlant オン・パルン ジェロンディフ(parler)v.i(de について) 話すときには | 「副詞句」 |
| d'elle, デル adv. 母さんのことを | 「間接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| appelait アプレ 3 単半(appeler)v.t(SVOC) O を C と呼んだ | 「動詞」 |
| «votre pauvre mère». ウォトル・ポーヴル・メル n.f 「今は亡き母上」 | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は、僕が母さんを亡くして、とてもがっかりなさっているとお察ししますと言ったが、僕は何も答えなかった。

Il a émis la supposition que je devais être bien malheureux depuis que maman était morte et je n'ai rien répondu. 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 a émis ア・エミ 3 単現・完了形(émettre)v.t 述べた 「動詞句」
 la supposition ラ・ショ[°]ジション n.f 推測を 「目的語」
 que ク pron 〜という 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 devais être テ[°]ヴエ・ゼートル 1 単半・推測・時制の一致(devoir+不定詞)
 v.i 〜であるに違いない 「動詞句」
 bien malheureux ビヤン・マルルー adj. とても悲しい、残念な 「補語」
 depuis que トゥヰ[°]ユイ・ク conj. 〜して以来 「副詞節」
 maman マモン n.f 母さんが 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 morte モルト adj.f 死んだ 「補語」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai ...répondu. ネ...レポ[°]ンジュ 1 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった 「動詞句」
 rien リヤン pron 何も〜ない 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

すると彼は僕に早口できまり悪そうに言った。僕が母さんを養老院に入れたことで、界限では僕のことを悪く言っていることを彼は知っているが、彼は僕のことをよく知っていて、僕が母さんをととても愛していることも知っていると言った。

Il m'a dit alors, très vite et avec un air gêné, qu'il savait que dans le quartier on m'avait mal jugé parce que j'avais mis ma mère à l'asile, mais il me connaissait et il savait que j'aimais beaucoup maman.

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

alors, アロー adv. それで、すると 「副詞」

très vite トレ・ヴィット adv. とても早口で 「副詞句」

et エ conj. そして

avec un air gêné, アヴ・ェッキ・アン・エール・ジェネ adv. 気づまりな様子で、きまり悪そうに 「副詞句」

qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

savait サヴ・ェ 3 単半・時制の一致(savoir)v.t 知っている 「動詞」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

dans le quartier トン・ル・カチエ adv. この界限では 「副詞句」

on オン pron 人々は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

avait mal jugé アヴ・ェ・マル・ジュジエ 3 単半・完了形(juger+mal)

v.t 悪く言っていた 「動詞句」

juger ジュジエ v.t 批評する、評価する mal マル adv. 悪く

parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais mis アヴ・ェ・ミ 1 単半・完了形(mettre)

v.t 入れた 「動詞句」

ma mère マ・メル n.f 母さんを 「目的語」

à l'asile, ア・ラジール adv. 養老院に 「副詞句」

mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

connaissait コネ 3 単半・時制の一致(connaître)v.t よく知っている 「動詞」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

savait サヴ・ェ 3 単半・時制の一致(savoir)v.t 知っている 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--------------------------------------|-------|
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| aimais エメ 1 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している | 「動詞」 |
| beaucoup ボク adv. とても | 「副詞」 |
| maman. マモン n.f 母さんを | 「目的語」 |

僕はいまだになぜかわからないのだが、僕がこのことで悪く言われているとは今まで知らなかったと答えて、さらに、母さんを看護してもらうだけの十分なお金がなかったので、養老院は自分にとっては自然な成り行きに思われたと答えた。

J'ai répondu, je ne sais pas encore pourquoi, que j'ignorais jusqu'ici qu'on me jugeât mal à cet égard, mais que l'asile m'avait paru une chose naturelle puisque je n'avais pas assez d'argent pour faire garder maman.

| | |
|--|------------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」, 「副詞節」, 「目的語」 mais 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu, エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| 副詞節が挿入されている | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない、知らない | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. まだ、いまだに | 「副詞」 |
| pourquoi, プルワイ adv. なぜか | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ignorais イレ 1 単半(ignorer)v.t 知らなかった | 「動詞」 |
| jusqu'ici ジュスキ adv. 今まで | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| jugeât モンジャ 接・3 単半・推量(juger)v.t 評価しているとは | 「動詞」 |
| mal マル adv. 悪く | 「副詞」 |
| à cet égard, ア・セト・エガール adv. この件で | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| l'asile ラジール n.m 養老院は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕にとっては | 「間接目的語」 |
| avait paru アヴィ・ェ・パリュ 3 単半・完了形(paraître)v.i ～のように思われた | 「動詞句」 |
| une chose naturelle ユンヌ・ショーズ・ナチュレル n.f 自然なこと | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| puisque ピュイスキ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t なかった | 「動詞句」 |
| assez d'argent アセ・ダールゼヨン n.m 十分なお金が | 「目的語」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために | 「副詞句」 |
| faire garder フェール・ギャルテ 不定詞・使役 | |
| v.t 看護をしてもらう | 「動詞句」 |
| maman. マモン n.f 母さんを | 「目的語」 |

「その上」と、僕は付け加えた。「ずっと前から、母さんは僕に話すことが何もなかったし、
たった一人で退屈していました」

«D'ailleurs, ai-je ajouté, il y avait longtemps qu'elle n'avait rien à me dire et qu'elle s'ennuyait toute seule.

《「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」,

《「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」et「主語」「動詞句」「補語」》

| | |
|--|---------|
| «D'ailleurs, ダイール adv. さらに、その上 | 「副詞句」 |
| ai... ajouté, エ...アジユテ 1 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| il y avait longtemps qu' イ・リ・ヤヴェ・ロンソ・キ adv. ずっと前から | 「副詞句」 |
| elle エル pron 母さんは | 「主語」 |
| n'avait ナヴェ 3 単半・否定(avoir)v.t なかった | 「動詞句」 |
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| à +不定詞 ア adv. ～するべき | 「形容詞句」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| dire ティール 不定詞 v.t 言う | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. (il y avait longtemps qu') | |
| elle エル pron 母さんは | 「主語」 |
| s'ennuyait ソンニユイエ 3 単半(s'ennuyer)v.pr 退屈していた | 「動詞句」 |
| toute seule. トゥ・スル adj.f たった一人で | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「そうですね」と、彼は僕に言って続けた、「養老院でなら、とにかく仲間になれます」

— Oui, m'a-t-il dit, et à l'asile, du moins, on se fait des camarades.»

《「同意」》「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」et「副詞句」「主語」「動詞句」「補語」

— Oui, ウィ adv. そうですね

「同意」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a... dit, ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

et エ conj. そして

à l'asile, ア・ラジール adv. 養老院ならば

「副詞句」

du moins, ジュ・ムワソ adv. 少なくとも、とにかく

「副詞句」

on オン pron 人は

「主語」

se fait ス・フェ 3 単現・相互(se faire)v.pr 〜になれる

「動詞句」

des camarades. デ・キャマト pl.n 仲間

「補語」

それから彼は、失礼しますと言った。彼は眠りたかった。

Puis il s'est excusé. Il voulait dormir. 「副詞」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」

Puis ビュイ adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

s'est excusé. セ・エキスキセ 3 単現・完了形(s'excuser)

v.pr 失礼しますと言った、あやまった

「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

voulait dormir. ヴレ・ドルミール 3 単半・願望(vouloir+不定詞)v.i 眠りたかった

「動詞句」

いまや彼の生活は変わってしまい、これからどうしたらよいか全く分からなかった。

Sa vie avait changé maintenant et il ne savait pas trop ce qu'il allait faire.

「主語」「動詞句」「副詞」et「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Sa vie サ・ヴィー n.f 彼の生活は

「主語」

avait changé アヴィエ・シヨンジエ 3 単半・完了形(changer)v.i 変わってしまった

「動詞句」

maintenant マントナン adv. 今では

「副詞」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

ne savait pas ス・サヴィエ・パ 3 単半・否定(savoir)v.t 分からなかった

「動詞句」

trop トロ adv. あまりにも

「副詞」

ce ス pron ことを

「目的語」

qu' ク pron (目的語) 〜する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

allait faire. アレ・フェール 3 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.t これからする

「動詞句」

知り合って以来初めて彼はそっと僕に手を差し出した。その皮膚は鱗のような感じだった。

Pour la première fois depuis que je le connaissais, d'un geste furtif, il m'a tendu la main
et j'ai senti les écailles de sa peau.

「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Pour la première fois プール・ラ・プルミエ・フワ adv. 始めて

「副詞句」

depuis que+直説法 デ・オ・ビ・ユイ・ク conj. ～して以来

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

le ル pron 彼を

「目的語」

connaissais, コネ 1 単半(connaître)v.t 知り合いになった

「動詞」

d'un geste ダン・ジエスト adv. 仕草で

「副詞句」

furtif, フュルティフ adj. ひそかな

「形容詞」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a tendu ア・トンジュ 3 単現・完了形(tendre)v.t 差し出した

「動詞句」

la main ラ・マン n.f 手を

「直接目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai senti エ・ソンティ 1 単現・完了形(sentir)v.t 感じた

「動詞句」

les écailles レ・ゼ・カイユ pl.n.f (魚の) 鱗を

「目的語」

de sa peau. トゥ・サ・ポー adj. 彼の肌の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は少し微笑み、立ち去る前に、僕に言った：「今夜は、犬が吠えないで欲しいのですが。いつもうちの犬じゃないかって思うんです」

Il a souri un peu et avant de partir, il m'a dit: «J'espère que les chiens n'aboieront pas cette nuit. Je crois toujours que c'est le mien.»

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」》

| | | | | | |
|------------------|---------------|--------------------------|-----------------|--|---------|
| Il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| a souri | ア・スリ | 3 単現・完了形(sourire)v.i | 微笑んだ | | 「動詞句」 |
| un peu | アン・フ | adv. | 少し | | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| avant de partir, | アヴァン・ド・パルティール | adv. | 立ち去る前に | | 「副詞句」 |
| partir | パルティール | v.i | 出発する、立ち去る、帰っていく | | |
| il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | | 「間接目的語」 |
| a dit: | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | | 「動詞句」 |
| «J' | ジュ | pron | 私は | | 「主語」 |
| espère | エスパール | 1 単現(espérer)v.t | 希望する | | 「動詞」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| les chiens | レ・シャン | pl.n | 犬が | | 「主語」 |
| n'aboieront pas | ナヴ・ワロン | 3 複未・否定(aboyer)v.i | 吠えないだろう | | 「動詞句」 |
| cette nuit. | セツ・ニュイ | adv. | 今晚は | | 「副詞句」 |
| Je | ジュ | pron | 私は | | 「主語」 |
| crois | クルワ | 1 単現(croire)v.t(que ～だと) | 思う | | 「動詞」 |
| toujours | トゥジュール | adv. | いつも | | 「副詞」 |
| que | ク | conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| c' | ス | pron | あれは | | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | ～である | | 「動詞」 |
| le mien.» | ル・ミヤン | pron.m | 私の犬 | | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

VI

その日曜日は、僕はなかなか目が覚めず、マリーが僕を呼び起こし、最後には僕を揺り起こさなければならぬほどだった。

Le dimanche, j'ai eu de la peine à me réveiller et il a fallu que Marie m'appelle et me secoue. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「動詞句」 「主語」

Le dimanche, ル・デ・イモンシュ n.m その日曜日に 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 〜があった 「動詞句」

de la peine トゥ・ラ・ペーン n.f 苦勞 「目的語」

peine ペーン n.f 苦勞、骨折り (不可算名詞なので部分冠詞 de la を使用する)

à +不定詞 ア adv. (目的) 〜するのに 「副詞句」

me réveiller ム・レヴ ェイェ 不定詞(se réveiller)v.pr 起きる、目が覚める 「動詞句」

et

il a fallu que +接続法 イ・ラ・ファリュ・キ 3 単現・完了形(il falloir que+接続法)

v.h 〜しなければならなかった 「動詞句」

Marie マリー n.f マリーが〜すること 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

appelle アペル 接・3 単現(appeler)v.t 呼び起こす 「動詞」

et エ conj. そして

me ム pron 僕を 「目的語」

secoue. スク 接・3 単現(secouer)v.t 揺り起こす 「動詞」

僕らは、早く泳ぎたかったので、食事を取らなかった。

Nous n'avons pas mangé parce que nous voulions nous baigner tôt.

「主語」 「動詞句」 「副詞節」

Nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」

n'avons pas mangé ナヴ ァン・パ・モンジエ 1 複現・完了形・否定(manger)

v.t 食事をしなかった 「動詞句」

parce que パルス・キ conj. 〜なので 「副詞節」

nous ヌ pron.pl 僕らは 「主語」

voulions ヴリオン 1 複半(vouloir)v.t(+不定詞) 〜したかった 「動詞句」

nous baigner ヌ・ベニエ 不定詞(se baigner)v.pr 海水浴する 「動詞句」

tôt. トー adv. 早く 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は体中の力が抜けて、少し頭痛もした。

Je me sentais tout à fait vide et j'avais un peu mal à la tête.

「主語」「動詞句」「補語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me sentais ム・ソテ 1 単半(se sentir)v.pr 自分が～だと感じた

「動詞句」

tout à fait トゥ・タ・フェ adv. 全く、完全に

「副詞句」

vide ヴァイト adj. 空の、(心が) うつろな

「補語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (心身の状態) ～があった

「動詞」

un peu mal アン・プ・マル adj. 少し悪い、少し痛い

「目的語」

à la tête. ア・ラ・テット adv. 頭が

「副詞句」

いつものタバコが苦く感じられた。

Ma cigarette avait un goût amer.

「主語」「動詞」「目的語」

Ma cigarette マ・シガレット n.f 自分のタバコは

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (特質) ～だった

「動詞」

un goût アン・グー n.m 味、風味

「目的語」

amer. アメル adj. 苦い

「形容詞」

マリーは僕をからかった。僕を見て、お葬式の顔みたいだと言うのだ。

Marie s'est moquée de moi parce qu'elle disait que j'avais «une tête d'enterrement».

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Marie マリー n.f マリーは

「主語」

s'est moquée セ・モク 3 単現・完了形(se moquer)v.pr(de を) からかった

「動詞句」

de moi トゥ・ムわ adv. 僕を

「間接目的語」

parce qu' パルス・キ conj. ～するのだから、～なので

「副詞節」

elle エル pron 彼女は

「主語」

disait ディセ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t (心身の状態) ～である

「動詞」

«une tête エヌ・テット n.f 顔

「目的語」

d'enterrement». トンテールモン adj. お葬式の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼女は白いワンピースを着て、髪は結っていなかった。

Elle avait mis une robe de toile blanche et lâché ses cheveux.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

avait mis アヴ・エ・ミ 3 単半・完了形(mettre)v.t (服を) 着ていた

「動詞句」

une robe ユン・ローブ n.f ワンピースを

「目的語」

de toile blanche トゥ・トゥワル・ブロンシュ adj. 白布の

「形容詞句」

et エ conj. そして

lâché ラシェ 3 単半・完了形(lâcher)v.t (結ばないで) 緩めていた

「動詞句」

ses cheveux. セ・シュヴ pl.n.m 髪の毛を

「目的語」

僕が、綺麗だと言うと、彼女は喜んで笑った。

Je lui ai dit qu'elle était belle, elle a ri de plaisir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

belle, ベル adj. きれいな

「補語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a ri ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った

「動詞句」

de plaisir. トゥ・プレジール adv. (原因) 喜びから

「副詞句」

降りるときに、レーモンの部屋のドアを叩いた。

En descendant, nous avons frappé à la porte de Raymond.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」

En descendant, オン・デサントン ジェロンディフ(descendre)v.i 降りていくときに 「副詞句」

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons frappé アヴ・オン・フラペ 1 複現・完了形(frapper)v.i(à を) 叩いた

「動詞句」

à la porte ア・ラ・ポルト adv. ドアを

「間接目的語」

de Raymond. トゥ・レーモン adj. レーモンの

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は、自分も降りると僕たちに答えた。

Il nous a répondu qu'il descendait. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

nous ヌ pron 僕たちに 「間接目的語」

a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

descendait. デソンド 3 単半・時制の一致(descendre)v.i 降りる 「動詞」

通りに出ると、疲れのせいもあるが、窓のよろい戸を開けないでいたせいで、すでに太陽がいっぱいの日差しが、平手打ちのように僕を叩きつけた。

Dans la rue, à cause de ma fatigue et aussi parce que nous n'avions pas ouvert les persiennes, le jour, déjà tout plein de soleil, m'a frappé comme une gifle.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Dans la rue, ドン・ラ・リュ adv. 通りに出ると 「副詞句」

à cause de ア・コース・ドゥ adv. ～のせいで 「副詞句」

ma fatigue マ・ファチグ n.f 疲労 「目的語」

et エ conj. そして

aussi オ adv. また 「副詞」

parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」

nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

n'avions pas ouvert ナヴィヨン・パ・ウヴァール 1 複半・完了形・否定(ouvrir)

v.t 開けないでいた 「動詞句」

les persiennes, レ・ペルシエンヌ pl.n.f (窓の外側の) よろい戸を 「目的語」

le jour, ル・ジュール n.m 日の光は 「主語」

déjà tout plein de soleil, デジャ・トゥ・プラン・ドゥ・ソレイユ

adv. すでに太陽がいっぱい 「副詞句」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a frappé ア・フラペ 3 単現・完了形(frapper)v.t 叩きつけた 「動詞句」

comme une gifle. コム・ユヌ・シフル adv. 平手打ちのように 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

マリーは嬉しそうに飛び上がり、いい天気ねと、何度も言っていた。

Marie sautait de joie et n'arrêtait pas de dire qu'il faisait beau.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」

Marie マリー n.f マリーは

「主語」

sautait ヲテ 3 単半(sauter)v.i(de ～で) 飛び上がった

「動詞」

de joie トゥ・ジュワ adv. (原因) 喜んで

「副詞句」

et エ conj. そして

n'arrêtait pas de dire ナレ・パ・トゥ・テイル 3 単半・継続(n'arrêter pas de+不定詞)

v.t ～と言いつけた

「動詞句」

arrêter de+不定詞「～するのをやめる」 n'arrêter pas de+不定詞「～し続ける」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 天気

faisait フェ 3 単半・時制の一致・非人称(faire)v.h (天気が) ～である

「動詞」

beau. ボ adj. (天気が) よい

「補語」

僕は気分が良くなってきて、ふと、空腹なことに気づいた。

Je me suis senti mieux et je me suis aperçu que j'avais faim.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis senti ム・シュイ・ソチ 1 単現・完了形(se sentir)v.pr 自分が～だと感じた

「動詞句」

mieux ミュ adv. 体調が改善した

「補語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis aperçu ム・シュイ・アヘルシュ 1 単現・完了形(s'apercevoir)v.pr 気づいた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t (心身の状態) ～である

「動詞」

faim. ファム n.f 空腹

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕がそのことをマリーに言うと、彼女は、僕たち二人分の水着と1枚のタオルを入れていた防水のビーチバッグを僕に見せた。

Je l'ai dit à Marie qui m'a montré son sac en toile cirée où elle avait mis nos deux maillots et une serviette.

「主語」「直接目的語」「動詞」「間接目的語」,
「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
l' ル pron そのことを 「直接目的語」
ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞」
à Marie ア・マリー adv. マリーに 「間接目的語」
qui キ pron (主語) ～する 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a montré ア・モントレ 3 単現・完了形(montrer)v.t 見せた 「動詞句」
son sac ソン・サキ n.m ビーチバッグ、ハンドバッグを 「直接目的語」
en toile cirée オン・トゥワル・シレ adj. 防水の 「形容詞句」
où ウ adv. そこに～する 「形容詞節」
elle エル pron 彼女は 「主語」
avait mis アヴァ・エ・ミ 3 単半・完了形(mettre)v.t 入れていた 「動詞句」
nos deux maillots ノス・トゥ・マイヨ
pl.n.m 僕たち二人分の水着を 「目的語」
et エ conj. そして
une serviette. エヌ・セルヴイエット n.f 1 枚のタオルを 「目的語」

ビーチバッグ :



ビーチバッグとは海辺やプールなどで用いられるバッグのことで、防水加工した素材やビニールなどの防水性のある素材が使われる。夏らしい色調で大胆な柄のものが多い。



PREMIÈRE PARTIE 第1部

もう待つしかなかった。レーモンが自分の部屋のドアを閉じる音が聞こえた。

Je n'avais plus qu'à attendre et nous avons entendu Raymond fermer sa porte.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais plus qu'à attendre ナヴヱ・プリュ・クワ・アトントル 1 単半・完了形・否定

(avoir à+不定詞+ne...plus que...)v.i もう待つしかなかった

「動詞句」

avoir à+不定詞 「～しなければならない」 ne...plus que～ 「もう～しか... ない」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons entendu アヴン・オントンジュ 1 複現・完了形・知覚(entendre)v.t 聞こえた

「動詞句」

Raymond レモン pron レモンが

「目的語」

fermer フェルメ 不定詞 v.t 閉める

「補語」

sa porte. サ・ポルト n.f 自分の部屋のドアを

「目的語」

彼は青いズボンに白の半袖シャツを着ていた。

Il avait un pantalon bleu et une chemise blanche à manches courtes.

「主語」「動詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴヱ 3 単半(avoir)v.t (着用) 着ていた、履いていた

「動詞」

un pantalon bleu アン・ポントロン・ブル n.m 青いズボンを

「目的語」

et エ conj. そして

une chemise blanche ユンヌ・シュミーズ・ブロンシュ n.f 白いシャツを

「目的語」

à manches courtes. ア・モンシュ・クルトゥ adv. 半袖の

「形容詞句」

manches pl.n.f(manche) 袖 courtes クルトゥ adj.f.pl(court) 短い

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし、彼はかんかん帽をかぶっていたので、これを見てマリーは笑った。そして彼の前腕は、黒い体毛の下はとても白かった。

Mais il avait mis un canotier, ce qui a fait rire Marie, et ses avant-bras étaient très blancs sous les poils noirs.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」
et 「主語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

avait mis アヴァ・ミ 3 単半・完了形(mettre)v.t (着用) かぶっていた

「動詞句」

un canotier, アン・カナチエ n.m かんかん帽を

「目的語」

ce qui ス・キ pron これが

「主語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire)v.t ～させた

「動詞句」

rire リール 不定詞 v.i 笑う

「補語」

Marie, マリー n.f マリーを

「目的語」

et エ conj. そして

ses avant-bras セ・アヴァ・オン・ブラ pl.n.m 彼の前腕は

「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i ～だった

「動詞」

très blancs トレ・ブロン adj. とても白い

「補語」

sous ス prep ～の下は

「副詞句」

les poils noirs. レ・プ・ワール・ヌワール pl.n.m 黒い体毛

「目的語」

かんかん帽 :

麦わら帽子の一種。西洋発祥の帽子で、英語ではボーター (Boater)。海や川の水しぶきで帽子が柔らかくなって損傷するのを防ぐため、麦藁を平たくつぶして真田紐のように編んだ麦稈真田 (ばっかんさなだ) などの素材をプレスで固く成型し、ニスや糊などで塗り固めることにより軽くて耐久性のある帽子となっている。

天井とブリム (つば) が平らなのが特徴で、クラウン (帽子の山の部分) は円筒形である。多くの場合ハットバンド (リボン状の帯) が付いており、黒が正式な色とされている。



PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はそれを見て少しぞっとした。彼は口笛を吹きながら降りてきた。とても嬉しそうな様子だった。

J'en étais un peu dégoûté. Il sifflait en descendant et il avait l'air très content.

「主語」「副詞」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

en オ adv. そのことに 「副詞」

étais un peu dégoûté. エ・アン・プ・デグテ 1 単半・受動(dégouter+ un peu)

v.t 少しぞっとした 「動詞句」

→ un peu dégoûté アン・プ・デグテ adj. 少しぞっとした「補語」とすることも可能

Il イル pron 彼は 「主語」

sifflait シフレ 3 単半(siffler)v.i 口笛を吹いた 「動詞」

en descendant オ・デソントソ ジェロンディフ(descendre)v.i 降りながら 「副詞句」

→ 「口笛を吹きながら降りてきた」のほうが日本語らしい

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態)をしていた 「動詞」

l'air レール n.m 様子を 「目的語」

très content. トレ・コンソ adj. とてもうれしそうな 「形容詞句」

彼は僕に「やあ」と言ってから、マリーのことは「お嬢さん」と呼んだ。

Il m'a dit: «Salut, vieux», et il a appelé Marie «Mademoiselle».

「主語」「間接目的語」「動詞句」: 「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Salut, vieux», サリ・ヴィュー n.m やあ 「直接目的語」

Salut サリ n.m やあ vieux ヴィュー n.m (話し言葉) 古くからの仲間

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a appelé ア・アプレ 3 単現・完了形(appeler)v.t(SVOC) O を C と呼んだ 「動詞句」

Marie マリー n.f マリーを 「目的語」

«Mademoiselle». マドゥムワゼル n.f 「お嬢さん」 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

前日僕は警察署に行って来た。僕は、あの女がレーモンを馬鹿にしたのだ、と証言した。

La veille nous étions allés au commissariat et j'avais témoigné que la fille avait «manqué» à Raymond.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
 La veille ラ・ヴェイユ n.f 前日に 「副詞句」
 nous ヌ pron 僕らは 「主語」
 étions allés エション・ザレ 1 複半・完了形(pl(aller)v.i 行ってきた 「動詞句」
 au commissariat オ・コミッサリア adv. 警察署へ 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais témoigné アヴァ・エ・テムわニエ 1 単現・完了形(témoigner)
 v.t(que 〜だと) 証言した 「動詞句」
 que ク conj. 〜ということを 「目的語」
 la fille ラ・フィユ n.f あの女が 「主語」
 avait «manqué» アヴァ・エ・モンケ 3 単半・完了形(manquer)
 v.i(à qn 誰を) おろそかにした、馬鹿にした 「動詞句」
 à Raymond. ア・レーモン adv. レーモンを 「間接目的語」

それで彼は注意された上で釈放された。

Il en a été quitte pour un avertissement. 「主語」「副詞」「動詞句」「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 en エン adv. それで 「副詞」
 a été quitte ア・エテ・キテ 3 単現・完了形・受動(quitter)v.t 釈放された 「動詞句」
 pour un avertissement. プール・アン・アヴァ・エルティスモン adv. (条件) 警告と引き換えに 「副詞句」

警察は僕の証言を確認しなかった。

On n'a pas contrôlé mon affirmation. 「主語」「動詞句」「目的語」
 On オン pron 警察は 「主語」
 n'a pas contrôlé ナ・パ・コントレ 3 単現・完了形・否定(contrôler)v.t 確認しなかった 「動詞句」
 mon affirmation. モン・アフィルマシオン n.f 僕の証言を、僕の主張を 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕らは玄関先でそのことについてレーモンと話した。それからバスに乗ることにした。

Devant la porte, nous en avons parlé avec Raymond, puis nous avons décidé de prendre l'autobus.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「間接目的語」

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Devant la porte, トゥヴ・オン・ラ・ポルト adv. 玄関先で 「副詞句」

nous ヌ pron 僕らは 「主語」

en オン adv. そのことについて 「間接目的語」

avons parlé アヴ・オン・パル 1 複現・完了形(parler)v.i 話した 「動詞句」

avec Raymond, アヴ・ェッキ・レーモン adv. レーモンと 「間接目的語」

puis ピュイ adv. それから 「副詞」

nous ヌ pron 僕らは 「主語」

avons décidé de prendre アヴ・オン・デシデ・トゥ・プ・ロントル 1 複現・完了形(decider de+不定詞)

v.t. ～に乗ることに決めた 「動詞句」

l'autobus. ロビュス n.m. バスに 「目的語」

その浜辺はあまり遠くはなかったが、僕らはこうしてバスで早く行ったほうがいいだろう。

レーモンは、僕らが早く着いたほうが、彼の友人が喜ぶだろうと考えていた。

La plage n'était pas très loin, mais nous irions plus vite ainsi. Raymond pensait que son ami serait content de nous voir arriver tôt.

「主語」 「動詞」 「補語」 mais 「主語」 「動詞」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞」 「目的語」

La plage ラ・プラージュ n.f. その浜辺は 「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定(être)v.i. ～でなかった 「動詞」

très loin, トレ・ルワソ adj. (否定文で) あまり遠くない 「補語」

mais メ conj. しかし

nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

irions イロン 条・1 複現・推測(aller)v.i. 行くのがよいだろう 「動詞」

plus vite ainsi. プリュ・ヴィット・アソシ adv. こうしてバスで早く 「副詞句」

Raymond レモン n.m. レーモンは 「主語」

pensait ポンセ 3 単半(penser)v.t.(que ～だと) 考えていた 「動詞」

que ク conj. ～ということ を 「目的語」

son ami ソン・アミ n.m. 彼の友人は 「主語」

serait セ 条・3 単現・推測(être)v.i. ～になるだろう 「動詞」

content コントソ adj. よろこんだ 「補語」

de +不定詞 トゥ adv. (原因) ～することで 「副詞句」

nous ウ pron 僕らが 「目的語」

voir ヴワル 不定詞 v.t. 見る 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

arriver アリヴェ 不定詞 v.i 到着する

「補語」

tôt. ト adv. 早く

「副詞」

僕たちはまさに出かける所だったが、その時突然、レーモンが僕に正面を見ると合図した。

Nous allions partir quand Raymond, tout d'un coup, m'a fait signe de regarder en face.

「主語」「動詞句」, 「副詞」, 「主語」「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

allions partir アリヨン・パルティール 1 複半・近接未来(aller+不定詞)

v.i まさに出かけるところだった

「動詞句」

quand コン conj. その時～する

「副詞」

Raymond, レモン n.m レーモンが

「主語」

tout d'un coup, トゥ・ダン・ク adv. 突然

「副詞句」

tout à coup トゥ・タ・ク adv. 突然

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した

「動詞句」

signe シーニュ n.m 合図を

「直接目的語」

de +不定詞 トゥ adj. ～するという

「形容詞句」

regarder ルギャルテ 不定詞 v.t 見る

「動詞」

en face. オン・ファス adv. 前方を、正面を

「副詞句」

僕は、タバコ屋のショーウィンドウにもたれかかっている、アラブ人の1団が目に入った。

J'ai vu un groupe d'Arabes adossés à la devanture du bureau de tabac.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 目に入った

「動詞句」

un groupe d'Arabes アン・グルプ・ダラブ n.m アラブ人の1団を

「目的語」

adossés アトッセ adj.pl (à に) もたれた

「形容詞」

à la devanture ア・ラ・トヴァンチュール adv. ショーウィンドウに

「副詞句」

du bureau de tabac. ジュ・ビュロー・トゥ・タバ

adj. タバコ屋の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らは無言で僕たちをじっと見つめていた。ただし、彼らのやり方で、僕たちがまるで石か枯木だと思っているかのように。

Ils nous regardaient en silence, mais à leur manière, ni plus ni moins que si nous étions des pierres ou des arbres morts. 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 mais 「副詞句」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」

regardaient ルガヤルテ 3 複半(regarder)v.t じっと見ていた 「動詞」

en silence, オン・シロンス adv. 無言で 「副詞句」

mais メ conj. しかし

à leur manière, ア・レール・マニェール adv. 彼らのやり方で 「副詞句」

ni plus ni moins que ニ・プ・リュ・ニ・ム・ワソ adv. まさしく～のように 「副詞句」

si+半過去 シ conj. (仮定法過去) ～であるだろう 「副詞節」

nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

étions エション 1 複半(être)v.i ～だった 「動詞」

des pierres テ・ツピ・ェール pl.n.f 石 「補語」

ou ウ conj. それとも

des arbres morts. テ・サルブル・モール pl.n.m 枯木 「補語」

レーモンは僕に、左から 2 番目の男が例の奴だと言って、心配そうな様子をした。

Raymond m'a dit que le deuxième à partir de la gauche était son type, et il a eu l'air préoccupé. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということ 「直接目的語」

le deuxième ル・トゥワジエム pron.m 2 番目の男が 「主語」

à partir de la gauche ア・パ・ルティール・トゥ・ラ・ゴージュ

adv. 左から

「形容詞句」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

son type, ソン・タイプ n.m 例の奴 「補語」

type タイプ n.m 型、理想型、奴、タイプ

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (様子を) した 「動詞句」

l'air préoccupé. レール・プレオキュヘ n.m 心配そうな様子 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は、それでも今では終わった話だ、と付け加えた。

Il a ajouté que, pourtant, c'était maintenant une histoire finie.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a ajouté ア・アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた

「動詞句」

que, ク conj. ～ということを

「目的語」

pourtant, プールタン adv. それでも

「副詞句」

c' ス pron そのことは

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

maintenant マントナン adv. 今では

「副詞」

une histoire エヌ・イストワール n.f 話

「補語」

finie. フィニ adj.f(fini) 終わった

「形容詞」

マリーはあまり事情が分かっていなかったのので、僕たちに何があったのかを訊いた。

Marie ne comprenait pas très bien et nous a demandé ce qu'il y avait.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Marie マリー nn.f マリーは

「主語」

ne comprenait pas ヌ・コンプレネ・パ 3 単半・否定(comprendre)

v.t 分かっていなかった

「動詞句」

très bien トレ・ビヤン adv. (否定文で) あまりよく

「副詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちに

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥマンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

ce ス pron ことを

「直接目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

il y avait. イ・リ・ヤヴェ 3 単半(il y avoir)v.t あった

「動詞句」

奴らはあることが原因でレーモンを恨んでいるアラブ人だ、とマリーに教えてやった。

Je lui ai dit que c'étaient des Arabes qui en voulaient à Raymond.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 話して聞かせた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

c' ス pron.pl あれは

「主語」

étaient エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

des Arabes デ・アラブ pl.n アラブ人 「補語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 en オン adv. あることが原因で 「副詞」
 voulaient ヴレ 3 複半・時制の一致(vouloir)
 v.t(à qn 人に) 恨みを抱いている 「動詞句」
 à Raymond. ア・レーモン adv. レーモンに 「間接目的語」
 en vouloir à qn 「～のことで人に恨みを抱く、を悪く思う」

マリーはすぐに出かけようと言った。

Elle a voulu qu'on parte tout de suite. 「主語」「動詞句」「目的語」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 a voulu ア・ヴリュ 3 単現・完了形(vouloir)v.t 望んだ、希望した 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 on オン pron 私たちは 「主語」
 parte パルトル 接・3 単現(partir)v.i 出発する 「動詞」
 tout de suite. トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに 「副詞句」

レーモンは気を取り直して、笑って、急がなきゃあ、と言った。

Raymond s'est redressé et il a ri en disant qu'il fallait se dépêcher.
 「主語」「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」
 s'est redressé セ・ルト・クレッセ 3 単現・完了形(se redresser)
 v.pr 立ち直った、気を取り直した 「動詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a ri ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った 「動詞句」
 en disant オン・ディゾソ ジェロンディフ(dire)adv. そして～と言った 「副詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il fallait イル・ファレ 3 単半・時制の一致(falloir)
 v.h(+不定詞) ～する必要がある 「動詞句」
 se dépêcher. ス・デペシェ 不定詞 v.pr 急ぐ 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは少し遠くにあるバス停の方へ行った。するとレーモンは、アラブ人たちが僕らの後をつけてこないと僕に教えてくれた。

Nous sommes allés vers l'arrêt d'autobus qui était un peu plus loin et Raymond m'a annoncé que les Arabes ne nous suivaient pas.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
 sommes allés ソム・ザレ 1 複現・完了形(pl aller)v.i 行った 「動詞句」
 vers ヴェール prep 〜の方へ 「副詞句」
 l'arrêt d'autobus ラレ・ト・トビュス n.m バス停 「目的語」
 qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i (存在) ある 「動詞」
 un peu plus loin アン・プ・プリュル・ワソ adv. 少し遠くに 「副詞句」
 et エ conj. そして
 Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a annoncé ア・アノセ 3 単現・完了形(annoncer)v.t 知らせた、告げた 「動詞句」
 que ク conj. 〜ということを 「直接目的語」
 les Arabes レ・ザラブ pl.n アラブ人たちは 「主語」
 ne ...suivaient pas. ス...シュイヴ・エ・パ 3 複半・否定・時制の一致(suivre)
 v.t 〜の後をつけてこない 「動詞句」
 nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」

僕は振り向いた。彼らは相変わらず同じ場所において、僕らが今出てきたばかりの場所を、あの無関心な様子で、じっと見つめていた。

Je me suis retourné. Ils étaient toujours à la même place et ils regardaient avec la même indifférence l'endroit que nous venions de quitter.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis retourné. ム・シュイ・ルトルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り向いた 「動詞句」
 Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 étaient エテ 3 複半(être)v.i (存在) いた 「動詞」
 toujours トゥジュール adv. 相変わらず 「副詞」
 à la même place ア・ラ・メム・プラス adv. 同じ場所に 「副詞句」
 et エ conj. そして
 ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 regardaient ルギヤルテ 3 複半(regarder)v.t 見つめていた 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

avec la même indifférence アヴ・ェッキ・ラ・メーム・アンデ・ィフェロンス adv. 同じ無関心な様子で「副詞句」
 l'endroit ロント・ウルわ n.m 場所を 「目的語」
 que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 nous ヌ pron.pl 僕らが 「主語」
 venions de quitter. ヴニオン・ド・ウ・キテ 1 複現・近接過去(venir de+不定詞)
 v.t (場所を) 離れてきたばかりである 「動詞句」

僕たちはバスに乗った。すっかり安心したように見えるレーモンは、マリーに向かって冗談を言い続けていた。

Nous avons pris l'autobus. Raymond, qui paraissait tout à fait soulagé, n'arrêtait pas de faire des plaisanteries pour Marie.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
 avons pris アヴ・オン・プリ 1 複現・完了形(prendre)v.t (乗り物に) 乗った 「動詞句」
 l'autobus. ロトビュス n.m バス 「目的語」
 Raymond, レモン n.m レーモンは 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 paraissait 3 単半(paraître)v.i ～のように見えた 「動詞」
 tout à fait トウ・タ・フェ adv. 全く、完全に 「副詞句」
 soulagé, スラジエ 過去分詞(soulager)adj. 安心した 「補語」
 n'arrêtait pas de faire ナレ・パ・ド・ウ・フェール 3 単半・否定(arrêter de+不定詞)
 v.t ～をし続けた 「動詞句」
 arrêter de+不定詞 「～するのをやめる」(否定文では、～し続ける)
 des plaisanteries テ・プ・レザントリ pl.n.f 冗談を 「目的語」
 pour Marie. プール・マリー adv. マリーに向かって 「副詞句」

僕は、レーモンがマリーを気に入っているような気がしたが、彼女はほとんど彼に答えなかった。時々、笑いながら彼を見ていた。

J'ai senti qu'elle lui plaisait, mais elle ne lui répondait presque pas. De temps en temps, elle le regardait en riant.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」
 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai senti エ・ソントイ 1 単現・完了形(sentir)v.t(que ～のような) 気がした 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということ 「目的語」
 elle エル pron マリーは 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| lui リュイ pron 彼にとって | 「間接目的語」 |
| plaisait, プレザ 3 単半(plaire)v.i の気に入った | 「動詞」 |
| mais メ conj. しかし | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| ne ...répondait presque pas. ス...レポンド・プレスキ・パ 3 単半・否定(répondre) | |
| v.i ほとんど答えなかった | 「動詞句」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| De temps en temps, トゥ・トン・ゾン・トン adv. 時々 | 「副詞句」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| le ル pron 彼を | 「目的語」 |
| regardait ルギャルテ 3 単半(regarder)v.t 見ていた | 「動詞」 |
| en riant. オン・リヨン ジェロンディフ(rire)adv. 笑いながら | 「副詞句」 |

僕たちはアルジェの郊外でバスを降りた。

| | |
|--|----------------|
| <u>Nous sommes descendus dans la banlieue d'Alger.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Nous ス pron/pl 僕たちは | 「主語」 |
| sommes descendus ソム・デソンス 1 複現・完了形.pl(descendre)v.i 降りた | 「動詞句」 |
| dans la banlieue トン・ラ・ボンリュ adv. 郊外で | 「副詞句」 |
| d'Alger. タルジェ adj. アルジェの | 「形容詞句」 |

浜はバス停から遠くない。

| | |
|--|--------------|
| <u>La plage n'est pas loin de l'arrêt d'autobus.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 |
| La plage ラ・プラージュ n.f 浜は | 「主語」 |
| n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i 〜でない | 「動詞」 |
| loin ルワソ adj. 遠い | 「補語」 |
| de l'arrêt d'autobus. ト・ォ・ラレ・ト・トビュス adj. バス停から | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし、山を見下ろす小さい高台を上り、向こう側の浜へと一気に下らなければならない。

Mais il a fallu traverser un petit plateau qui domine la mer et qui dévale ensuite vers la plage. Mais 「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

il a fallu traverser イ・ラ・ファリュ・トラヴ`ェル 3 単現・完了形(il falloir+不定詞)

v.t 横切らなければならなかった

「動詞句」

traverser トラヴ`ェル v.t 横切る、通り抜ける

il faut+不定詞 「～しなければならない」、il ne faut pas+不定詞 「～してはならない」

il faut+不定詞 「～するに違いない」、il faut+名詞 「～が必要だ、欲しい」

un petit plateau アン・プ`ティ・プラト`ー n.m 小さな高台を

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

domine ト`ミ 3 単現(dominer)v.t 見下ろす、支配する

「動詞」

la mer ラ・メル n.f 海を

「目的語」

et エ conj. そして

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

dévale デ`ヴァル 3 単現(dévaler)v.i (急速に) 下る

「動詞」

ensuite オンシュイット adv. それから

「副詞」

vers la plage. ヴ`ェル・ラ・プラ`ージュ adv. 浜へと

「副詞句」

既に目に痛いほどの明るい青空の下で、そこは黄色い石と真っ白いアスフォデルで覆われていました。

Il était couvert de pierres jaunâtres et d'asphodèles tout blancs sur le bleu déjà dur du ciel. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron そこは

「主語」

était couvert エテ・クヴ`ェル 3 単半・受動(couvrir)v.t 覆われていた

「動詞句」

de pierres jaunâtres ト`ウ・ピ`ェル・ジ`ョナ`トル adv. 黄色い石で

「副詞句」

et エ conj. そして

d'asphodèles ダ`スフォ`デル adv. アスフォデルで

「副詞句」

tout blancs トウ・ブ`ロン adj. 真っ白の

「形容詞句」

sur le bleu シュール・ル・ブルー adv. 青の上に

「副詞句」

déjà dur デ`ジャ・デュ`ール adj. 既に厳しい

「形容詞句」

du ciel. シュ`ユ・シエル adj. 空の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

アスフォデル Asphodel :

ススキノキ科(旧分類=ユリ科)の水仙の一種で、白い花が房状に咲く。

高さは 50cm から 150cm。嫌な匂いがするらしい。



マリーは防水バッグを思い切りぶつけて、その花びらを飛び散らせて遊んでいた。

Marie s'amusait à en éparpiller les pétales à grands coups de son sac de toile cirée.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞句」

Marie マリー n.f マリーは

「主語」

s'amusait à +不定詞 サミュゼ・ア 3 単半(s'amuser à +不定詞)v.pr ～して楽しんだ「動詞句」

en オン adv. そのの

「間接目的語」

éparpiller エパルピエ 不定詞 v.t 散乱させる

「動詞句」

les pétales レ・ペタル pl.n.m 花びらを

「直接目的語」

à grands coups ア・グロン・クー adv. 強い一撃で

「副詞句」

de son sac トゥ・ソン・サック adj. 彼女のバッグの

「形容詞句」

de toile cirée. トゥ・トゥワル・シレ adj. 防水の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは、緑や白の柵がある小さな別荘が立ち並ぶ列の間を歩いて行った。ヴェランダのタマリスに埋もれた別荘もあれば、雑然と石が転がっている飾り気のない別荘もあった。

Nous avons marché entre des files de petites villas à barrières vertes ou blanches, quelques-unes enfouies avec leurs vérandas sous les tamaris, quelques autres nues au milieu des pierres. 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「補語」, 「主語」「補語」

Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

avons marché アヴ・オン・マルシェ 1 複現・完了形(marcher)v.i 歩いて行った 「動詞句」

entre des files オントル・トゥ・フィル adv. 列の間を 「副詞句」

de petites villas トゥ・プティット・ヴィラ adj. 小さな別荘の 「形容詞句」

à barrières vertes ou blanches, ア・バリエール・ヴェルト・ウ・ブロンシュ

adj. 緑や白の柵がある 「形容詞句」

quelques-unes ケルク・ジュヌ pron.f.pl あるものは 「主語」

enfouies オンファイ adj.f.pl 埋もれた 「形容詞句」

avec leurs vérandas アヴェ・エッキ・レール・ヴェランダ adv. ヴェランダで、ヴェランダの 「補語」

sous les tamaris, ス・レ・タマリス adv. タマリスの下に 「副詞句」

quelques autres ケルク・ゾートル pron 他のもものは 「主語」

nues ニュ adj.f.pl 裸の、むき出しの、飾り気のない 「補語」

au milieu des pierres. オ・ミリュ・デ・ツピエール adv. 石の真ん中に 「副詞句」

au milieu de オ・ミリュ・トゥ 「～の真ん中で」

タマリス tamaris : 学名 Tamarix tetrandra ギョリュウ属

高さは2～3m程度。中国産の Tamarix chinensis の高さは3～5m 程度。



PREMIÈRE PARTIE 第1部

高台の端に着く前に、僕たちはもう穏やかな海が見えたし、さらに遠くには、澄んだ水の中でまどろんでいるような堂々たる岬も見えた。

Avant d'arriver au bord du plateau, on pouvait voir déjà la mer immobile et plus loin un cap somnolent et massif dans l'eau claire.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」 et 「副詞句」 「目的語」 「副詞句」
 Avant d'arriver アヴァン・ダリヴァエ adv. 到着する前に 「副詞句」
 avant de+不定詞 「～する前に」
 au bord オー・ボー ル adv. 端に、縁に 「副詞句」
 du plateau, シュ・プラトー adj. 高台の 「形容詞句」
 on オン pron (動詞は三人称単数) 僕たちは 「主語」
 pouvait voir プヴァエ・ヴァール 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)v.t 見えた 「動詞句」
 déjà デジャ adv. もう 「副詞」
 la mer ラ・メル n.f 海が 「目的語」
 immobile イモビル adj. 動かない、不動の 「形容詞」
 et エ conj. そして
 plus loin プリュールワソ adv. 遠くに 「副詞句」
 un cap アン・カプ n.m 岬が 「目的語」
 somnolent ソムノルン adj. まどろんでいる 「形容詞」
 et エ conj. そして
 massif マッシフ adj. どっしりした、堂々たる 「形容詞」
 dans l'eau claire. トン・ロー・クレール adv. 澄んだ水の中に 「副詞句」

エンジンの小さな音が、静かな大気の中を僕たちのところまで届いた。

Un léger bruit de moteur est monté dans l'air calme jusqu'à nous.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Un léger bruit アン・レジェ・ブリュイ n.m 軽い音が 「主語」
 de moteur トゥ・モテール adj. エンジンの 「形容詞句」
 est monté エ・モンテ 3 単現・完了形(monter)v.i 上ってきた、届いた 「動詞句」
 dans l'air calme トン・レール・カム adv. 静かな大気の中を 「副詞句」
 jusqu'à nous. ジュスクァ・ヌ adv. 僕たちのところまで 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そしてはるか遠くに、まばゆい海上を、動きが察知できないほどゆっくりと進んでいるトロール船が見えた。

Et nous avons vu, très loin, un petit chalutier qui avançait imperceptiblement sur la mer éclatante. Et 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

avons vu, アヴ'ォン・ヴュ 1 複現・完了形(voir)v.t 見た 「動詞句」

très loin, トレ・ル'ォン adv. はるか遠くに 「副詞句」

un petit chalutier アン・プティ・シャルチエ n.m 小さなトロール船を 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

avançait, アヴァ'ォンセ 3 単半(avancer)v.i 進んでいた 「動詞」

imperceptiblement, アンペ'ルセプ'チブルモン

adv. かすかに、すごくゆっくりと 「副詞句」

sur la mer シュール・ラ・メール adv. 海の上を 「副詞句」

éclatante. エクラトント adj. まばゆい 「形容詞」

トロール船 chalutier シャルチエ :

トロール網と呼ばれる漁網を使用して、魚やエビなどを捕獲するための漁船を言う。

マリーは岩場に生えていたアイリスを摘んだ。

Marie a cueilli quelques iris de roche. 「主語」「動詞句」「目的語」

Marie マリー n.f マリーは 「主語」

a cueilli ア・クイ 3 単現・完了形(cueillir)v.t (花を) 摘んだ 「動詞句」

quelques iris ケルキ・イリス pl.n.m アイリスを 「目的語」

de roche. トゥ・ロッシュ adj. 岩場に生えた 「形容詞句」

海に向かって降りてゆく坂道から、もうすでに海水浴をしている人たちが見えた。

De la pente qui descendait vers la mer nous avons vu qu'il y avait déjà quelques baigneurs. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

De la pente トゥ・ラ・ポント adv. その坂から 「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

descendait デ'ンテ 3 単半(descendre)v.i 下がっていく 「動詞」

vers la mer ヴェール・ラ・メール adv. 海の方へ 「副詞句」

nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

avons vu アヴ'ォン・ヴュ 1 複現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということが 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴァ 3 単半(il y avoir)v.t ～がいた、あった 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

déjà デジャ adv. もう、すでに 「副詞」
 quelques baigneurs. ケルキ・ベニエール pl.n.m 海水浴をする人たちが 「目的語」

レーモンの友人は、海岸のはずれにある木造の小さな別荘に住んでいた。

L'ami de Raymond habitait un petit cabanon de bois à l'extrémité de la plage.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

L'ami de Raymond ラミ・ドゥ・レーモン n.m レーモンの友人は 「主語」
 habitait アビテ 3 単半(habiter)v.t に住んでいた 「動詞」
 un petit cabanon アン・プティ・カバン n.m 小さな別荘に 「目的語」
 de bois ドゥ・ブわ adj. (材料) 木造の 「形容詞句」
 à l'extrémité ア・レクストリテ adv. はずれにある 「副詞句」
 de la plage. ドゥ・ラ・プラーージュ adj. 海岸の 「形容詞句」

その家は切り立った岩を背にして建てられており、その正面を支える杭は、すでに海水に漬かっていた。

La maison était adossée à des rochers et les pilotis qui la soutenaient sur le devant baignaient déjà dans l'eau.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」

La maison ラ・マゾン n.f その家は 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 adossée アドッセ adj.f(à を) 背にした 「補語」
 à des rochers ア・デ・ロシェ adv. 切り立った岩を 「目的語」
 et エ conj. そして
 les pilotis レ・ピロティ pl.n.m (土木) 杭は 「主語」
 qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 la ラ pron.f 家を 「目的語」
 soutenaient スタネ 3 複半(soutenir)v.t 支えていた 「動詞」
 sur le devant シュール・ル・ドゥ・ヴァン adv. 正面を 「副詞句」
 baignaient ベニエ 3 複半(baigner)v.i 漬かっていた 「動詞」
 déjà デジャ adv. もう 「副詞」
 dans l'eau. ドン・ロー adv. 海中に、海水に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

レーモンは僕たちを紹介した。彼の友人はマソンという名前だった。

Raymond nous a présentés. Son ami s'appelait Masson.

「主語」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」
 nous ヌ pron.pl 僕たちを 「目的語」
 a présentés. ア・プレゼンテ 3 単現・完了形.pl(présenter)v.t 紹介した 「動詞句」
 Son ami ソ・ナミ pron 彼の友人は 「主語」
 s'appelait サブレ 3 単半(s'appeler)v.pr 〜という名前だった 「動詞句」
 Masson. マソン n.m マソン 「補語」

マソンは胴回りも肩もがっしりとした大柄な男で、一緒にいた妻は小柄で、丸みを帯びて可愛げがあり、話し方はパリ風だった。

C'était un grand type, massif de taille et d'épaules, avec une petite femme ronde et gentille, à l'accent parisien.

「主語」「動詞」「補語」, 「副詞句」

C' ス pron (Masson の代用) 彼は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 un grand type, アン・グロン・ティプ n.m 大きな体型 「補語」
 massif マシフ adj. がっしりとした 「形容詞」
 de taille et d'épaules, トゥ・タイユ・エ・テポール adv. 胴回りと肩が 「副詞句」
 avec アヴェッキ adv. 一緒にいた 「副詞句」
 une petite femme エヌ・プチット・ファム n.f 小柄な妻 「目的語」
 ronde et gentille, ロント・エ・シヨンティエユ
 adj. 丸みを帯びて可愛げのある 「形容詞句」
 à l'accent parisien. ア・ラクソン・パリシヤン adj. パリ風の話し方の 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼はすぐに僕たちにくつろぐようにと言ってから、午前中に釣った魚のフライも用意して
あると告げた。

Il nous a dit tout de suite de nous mettre à l'aise et qu'il y avait une friture de poissons
qu'il avait pêchés le matin même.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「補語」 et 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

nous ヌ pron 僕たちに 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

dire à qn de+不定詞 「人に～するように言う」

tout de suite トゥ・トゥ・シュイト adv. すぐに 「副詞句」

de nous mettre トゥ・ヌ・メトル 不定詞(se mettre)v.pr 座る 「補語」

à l'aise ア・レーズ adv. 気楽に、くつろいで 「副詞句」

se mettre à l'aise 「楽にする、くつろぐ」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il y avait イ・リ・アヴ 3 単半・時制の一致(il y avoir)v.t ～がある 「動詞句」

une friture ユンヌ・フリチュール n.f (料理) フライ、揚げ物 「目的語」

de poissons トゥ・プ わソン adj. 魚の 「形容詞句」

qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

avait pêchés アヴ・ェ・ペ・シェ 3 単半・完了形.pl(pêcher)

v.t 釣った 「動詞句」

le matin même. ル・マタン・メーム

adv. 午前中に 「副詞句」

僕は彼の家がどれほど素晴らしいと思ったかを伝えた。

Je lui ai dit combien je trouvais sa maison jolie.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

combien コンビアン adv. どれほど～するかということを 「直接目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

trouvais トルヴ 1 単半(trouver)v.t 思った 「動詞」

sa maison サ・メゾン n.f 彼の家を 「目的語」

jolie. ジョリー adj.f(joli) すばらしい、きれいな 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

combien jolie とつながっている語句が分割されている。

彼は、土曜日と日曜日、そして休みの日はいつもここに来て過ごしていると僕に言った。

Il m'a appris qu'il y venait passer le samedi, le dimanche et tous ses jours de congé.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a appris ア・アプリ 3 単現・完了形(apprendre)v.t(qch à qn 人に～を) 知らせた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

y イ adv. そこに

「副詞」

venait passer ヴネ・パセ 3 単半・時制の一致(venir+不定詞)

v.t 過ごしにやって来る

「動詞句」

le samedi, le dimanche ル・サムデー・ル・デーモンシュ n. 土曜日と日曜日を「目的語」

et エ conj. そして

tous ses jours de congé. トウ・セ・ジュール・トゥ・コンジエ

n. 休みの日はいつも

「目的語」

「妻は、誰とでも仲良くなるんです」と、彼が付け加えた。ちょうどこの時、彼の奥さんがマリーと一緒に笑った。

«Avec ma femme, on s'entend bien», a-t-il ajouté. Justement, sa femme riait avec Marie.

《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」

「副詞」, 「主語」「動詞」「副詞句」

«Avec ma femme, アウ・エッキ・マ・ファム adv. 妻とは

「副詞句」

on オン pron 誰でも、人は

「主語」

s'entend ソントン 3 単現(s'entendre)v.pr 理解しあう、仲が良くなる

「動詞句」

bien», ビヤン adv. うまく

「副詞」

a-t-il ajouté. ア・ティール・アジエテ 彼は付け加えた

「動詞句」「主語」「動詞句」

Justement, ジュストモン adv. まさにこの時

「副詞」

sa femme サ・ファム n.f 彼の奥さんが

「主語」

riait リエ 3 単半(rire)v.i 笑った

「動詞」

avec Marie. アウ・エッキ・マリー adv. マリーと一緒に

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

おそらく初めて、僕は間もなく結婚するんだと、本当に思った。

Pour la première fois peut-être, j'ai pensé vraiment que j'allais me marier.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Pour la première fois フール・ラ・フルミエール・フワ adv. 初めて

「副詞句」

pour la+序数詞+fois 「... 度目に」

peut-être, フ・テートル adv. おそらく

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que) ～と思った

「動詞句」

vraiment ヴレモン adv. 本当に

「副詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

allais me marier. アレム・マリエ 1 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞 se marier)

v.pr まもなく結婚する

「動詞句」

マソンは泳ぎに行きたかったのだが、彼の奥さんとレーモンは行きたくなかった。

Masson voulait se baigner, mais sa femme et Raymond ne voulaient pas venir.

「主語」 「動詞句」 mais 「主語」 「動詞句」

Masson マソン n. マソンは

「主語」

voulait se baigner, ヴレ・ス・ベニエ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.pr 泳ぎたかった

「動詞句」

mais メ conj. しかし

sa femme et Raymond サ・ファム・エ・レーモン pl.n 彼の奥さんとレーモンは

「主語」

ne voulaient pas venir. ヌ・ヴレ・パ・ヴァニール 3 複半・願望・否定(vouloir+不定詞)

v.i 泳ぎに行きたくなかった

「動詞句」

ne voulaient pas venir **se baigner** の se baigner が省略されている

僕たちは三人で降りて行った。マリーはすぐに海に飛び込んだ。

Nous sommes descendus tous les trois et Marie s'est immédiatement jetée dans l'eau.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

sommes descendus ソム・テ・ツジ 1 複現・完了形.pl(descendre)v.i 降りて行った 「動詞句」

tous les trois トゥ・レ・トゥルワ adv. 3人で

「副詞句」

et エ conj. そして

Marie マリー n. マリーは

「主語」

s'est immédiatement jetée セ・インメ・イアトゥモン・ジユテ 3 単現・完了形.f(se jeter)

v.pr(dans に) すぐに飛び込んだ

「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

dans l'eau. ドン・ロ adv. 海に

「副詞句」

マソンと僕は少しの間待っていた。

Masson et moi, nous avons attendu un peu.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Masson et moi, nous マソン・エ・ムワ・ヌ pl.n マソンと僕は

「主語」

avons attendu アヴ・オン・アトンジ ヌ 1 複現・完了形(attendre)v.i 待っていた

「動詞句」

un peu. アン・プ° adv. 少しの間

「副詞句」

彼はゆったりと話をする。僕は彼の癖に気が付いた。彼は「さらに言うなら」と言って、それが結局は彼が言った言葉の意味に何も付け加えない時でも、必ず何かを付け足すのだ。

Lui parlait lentement et j'ai remarqué qu'il avait l'habitude de compléter tout ce qu'il avançait par un «et je dirai plus», même quand, au fond, il n'ajoutait rien au sens de sa phrase.

「主語」「動詞」「副詞」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Lui リュイ pron 彼は

「主語」

parlait パール 3 単半(parler)v.i 話した

「動詞」

lentement ロントゥモン adv. ゆっくり

「副詞」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai remarqué エ・マルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t 気づいた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t ある

「動詞」

l'habitude ラビチュート° n.f 癖

「目的語」

de compléter ドゥ・コンプレテ 不定詞・同格

v.t. ～を付け加えるという、補完する

「形容詞句」

tout ce トゥ・ス pron 必ずそれを

「目的語」

qu' ク pron ～する

「形容詞節」

il イル pron それは

「主語」

avançait アヴァンセ 3 単半・時制の一致(avancer)

v.t. 前に述べる

「動詞」

par un «et je dirai plus», パール・アン・エ・ジュー・テイル・プ° リュ

adv. 「さらに言うなら」と 「副詞句」

même quand, メム・コン conj. たとえ～でも 「副詞節」

au fond, オフオン adv. 結局は 「副詞句」

il イル pron それが

「主語」

n'ajoutait ナジユテ 3 単半・否定・時制の一致(ajouter)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

v.t 加えない 「動詞句」
 rien リン pron 何も～なに 「直接目的語」
 au sens オ・ツン adv. 意味に 「間接目的語」
 de sa phrase. トゥ・サ・フーズ
 adj. 彼が言った言葉の「形容詞句」

マリーについて、彼は僕に言った：「彼女は素敵だ、さらに言うなら、魅力的だ」と。

A propos de Marie, il m'a dit: «Elle est épatante, et je dirai plus, charmante.»

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」:

《「主語」 「動詞」 「補語」, 「副詞節」, 「補語」》

A propos de ア・フ・ホ・トゥ prep ～については、に関して 「副詞句」
 Marie, マリー n.f マリー 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit: ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Elle エル pron 彼女は 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 épatante, エパント adj. 素晴らしい、素敵な 「補語」
 et je dirai plus, エ・ジュ・ティル・プリュ adv. さらに言うなら 「副詞節」
 charmante.» シャルモン adj.f 感じがいい、魅力的な 「補語」

それからは、彼の癖がもう気にならなくなった。僕は、太陽が僕を心地よくしてくれるのを味わうのに夢中だったからだ。

Puis je n'ai plus fait attention à ce tic parce que j'étais occupé à éprouver que le soleil me faisait du bien.

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」, 「副詞節」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai plus fait ネ・ブリュ・フェ 1 単現・完了形・否定(faire)v.t (動作を) もうしなかった 「動詞句」
 attention アトシヨン n.f 注意を、気遣いを 「目的語」
 à ce tic ア・ス・チック adv. この癖に対して 「副詞句」
 parce que パルスキ conj. ～なので 「副詞節」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais occupé à éprouver エ・オハ・ア・エプ ルグエ 1 単現・受動・熱中(occuper à+不定詞)
 v.t ～を実感することによって夢中になっていた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 le soleil ル・ルイユ n.m 太陽が 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

me ム pron 僕を 「目的語」
 faisait フェ 3 単半・時制の一致(faire)v.t する 「動詞」
 du bien. ジュ・ビヤン adj. 心地よい、快適な 「補語」

足の裏では、砂が熱くなり始めていた。

Le sable commençait à chauffer sous les pieds. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Le sable ル・サブル n.m 砂が 「主語」
 commençait à chauffer コモンセ・ア・ショフェ 3 単半・開始(commencer à+不定詞)
 v.i 熱くなり始めていた 「動詞句」
 sous les pieds. ス・レ・ピエ adv. 足の下で、足の裏で 「副詞句」

僕は水に入りたい切望をまだ抑えていた。しかし、とうとうマソンに言った：「海に入りませんか？」と。そして僕は飛び込んだ。

J'ai retardé encore l'envie que j'avais de l'eau, mais j'ai fini par dire à Masson: «On y va?»
J'ai plongé.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」,mais 「主語」「動詞句」「間接目的語」:
 《「主語」「副詞」「動詞」》 | 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai retardé エ・ルタルテ 1 単現・完了形(retarder)v.t 遅らせた 「動詞句」
 encore オンコール adv. まだ 「副詞」
 l'envie ロンヴァー n.f 切望を、欲望を 「目的語」
 que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 持つ 「動詞」
 de l'eau, トゥ・ウ・ロー adj. (対象) 水に対する (切望) 「形容詞句」
 mais メ conj. しかし
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai fini par dire エ・フィニ・パール・ディール 1 単現・完了形・結局(finir par+不定詞)
 v.t とうとう言った 「動詞句」
 à Masson: ア・マソン adv. マソンに 「間接目的語」
 «On オン pron (動詞は三人称単数形) 僕たちは 「主語」
 y イ adv. 海に 「副詞」
 va?» ヴァ 3 単現・疑問文・勧誘(aller)v.i 行きませんか? 「動詞」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai plongé. エ・ブロンジエ 1 単現・完了形(plonger)v.i (水に) 飛び込んだ 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

マソンはゆっくりと海に入ってゆき、水底に足が届かなくなると、海に身を投げ出した。

Lui est entré dans l'eau doucement et s'est jeté quand il a perdu pied.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞節」

Lui リュイ pron マソンは 「主語」
 est entré エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入った 「動詞句」
 dans l'eau ドン・ロ adv. 水の中に 「副詞句」
 doucement トゥースモン adv. ゆっくりと 「副詞」
 et エ conj. そして
 s'est jeté セ・ジテ 3 単現・完了形(se jeter)v.pr (海に) 身を投げ出した 「動詞句」
 quand コン conj. ～するとき、～すると 「副詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 a perdu ア・ペルジュ 3 単現・完了形(perdre)
 v.t(+pied) (水底に) 足が届かなくなった 「動詞句」
 pied. ピエ n.m 足 「目的語」

彼は平泳ぎで泳いでいたが、かなり下手だった。それで、僕は彼を放っておいてマリーと合流した。

Il nageait à la brasse et assez mal, de sorte que je l'ai laissé pour rejoindre Marie.

「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」

Il イル pron 彼は 「主語」
 nageait ナジェ 3 単半(nager)v.i 泳いでいた 「動詞」
 à la brasse ア・ラ・ブラス adv. (手段) 平泳ぎで 「副詞句」
 et エ conj. そして
 assez mal, アセ・マル adv. かなり下手に 「副詞句」
 de sorte que+直説法 トゥ・ソルト・キ conj. それで～する 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 ai laissé エ・レッセ 1 単現・完了形(laisser)v.t 放っておいた 「動詞句」
 pour +不定詞 プール adv. (結果) そして～した 「副詞句」
 rejoindre ルジュワントル 不定詞 v.t 合流する 「動詞」
 Marie. マリー n.f マリーと 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

水は冷たく、僕は泳いでいるだけで満足だった。

L'eau était froide et j'étais content de nager.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「補語」

L'eau ロー n.f 水は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

froide フルワト adj.f 冷たい

「補語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

content de nager. コント・ドゥ・ナジェ adj. 泳ぐことが満足な

「補語」

content de+不定詞 「～して嬉しい、満足だ」

マリーと僕は互いに岸から遠く離れていった、そして二人の仕草や満足感によって互いに一体感を感じ合っていた。

Avec Marie, nous nous sommes éloignés et nous nous sentions d'accord dans nos gestes et dans notre contentement. 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Avec Marie, アヴェック・マリー adv. マリーと僕は

「主語」

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

nous sommes éloignés ヌ・ソム・エルワニエ 1 複現・完了形(se éloigner)

v.pr 互いに(二人とも) 岸から離れた

「動詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

nous sentions ヌ・ソントニオン 1 複半(se sentir)v.pr 互いに感じていた

「動詞句」

d'accord ダコール n.m 一致を

「目的語」

dans nos gestes ドン・ノス・ジェスト adv. 二人のしぐさに

「副詞句」

et エ conj. そして

dans notre contentement. ドン・ノトル・コントントゥメン adv. 二人の満足に

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

沖で、僕たちは浮き身をした。すると空を向いていた僕の顔の上に残された、口の中に流れ込んできた最後の水しぶきを、太陽が追い払うように乾かした。

Au large, nous avons fait la planche et sur mon visage tourné vers le ciel le soleil écartait les derniers voiles d'eau qui me coulaient dans la bouche.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Au large, オ・ラルジュ adv. 沖で

「副詞句」

large ラルジュ n.m 沖、外海、幅、横 Au large! 「近寄るな!そこをどけ!」

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons fait アヴ・ォン・フェ 1 複現・完了形(faire)v.t (動作を) した

「動詞句」

la planche ラ・プ・ロンシュ n.f 板のような恰好を

「目的語」

faire la planche 「(水泳で) 浮き身をする」

et エ conj. そして

sur mon visage シュール・モン・ヴィザージュ adv. 僕の顔の上を

「副詞句」

tourné トゥルネ 過去分詞・受動(tourner)adj. 向けられた

「形容詞」

vers le ciel ヴェール・ル・シエル adv. 空のほうに

「副詞句」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が

「主語」

écartait エカルテ 3 単半(écarter)v.t 追い払った

「動詞」

les derniers voiles レ・テールニエール・ヴァール pl.n.m 最後のヴェールを

「目的語」

d'eau トー adj. 水の

「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me ム pron 僕の

「間接目的語」

coulaient クレ 3 複半(couler)v.i 流れ込んできた

「動詞」

dans la bouche. トン・ラ・ブーシュ adv. 口の中に

「副詞句」

浮き身 :

支持物に頼ることなく、身体の浮力を利用して水面に浮いて静止する泳法。浮き方には、顔を水面につけて浮く伏せ浮き、顔を水面上に出してあおむけに浮く背浮き、立ったままの姿勢の立ち浮き、横体の横浮き、初心者用のくらげ浮き（上体を前屈させ、膝を曲げて浮く）などがある。この場面では、背浮きに相当する。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは、マソンが日光浴をしに浜辺に戻ったのを目にした。遠くからでも、彼は巨体に見えた。

Nous avons vu que Masson regagnait la plage pour s'étendre au soleil. De loin, il paraissait énorme. 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

avons vu アヴ・オン・グ ヌ 1 複現・完了形(voir)v.t 見た、見えた 「動詞句」

que ク conj. ～ということが 「目的語」

Masson マソン n.m マソンが 「主語」

regagnait ルガニェ 3 単半(regagner)v.t 戻っていた 「動詞」

la plage ラ・プラージュ n.f 岸に 「目的語」

pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために 「副詞句」

s'étendre セトトル 不定詞 v.pr 横になる、寝る 「動詞句」

au soleil. オ・ルイ adv. 太陽の下で 「副詞句」

s'étendre au soleil 「日光浴をする」

De loin, トゥ・ル・オン adv. (譲歩) 遠くからでも 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

paraissait パレ 3 単半(paraître)v.i ～のように見えた 「動詞」

énorme. エノム adj. 巨大な 「補語」

マリーと一緒に泳ぎたいと言った。

Marie a voulu que nous nagions ensemble. 「主語」「動詞句」「目的語」

Marie マリー n.f マリーは 「主語」

a voulu ア・ヴリュ 3 単現・完了形(vouloir)(que+接続法 ～するのを) 望んだ 「動詞句」

que ク conj. ～することを 「目的語」

nous ヌ pron 僕たちが 「主語」

nagions ナジョン 接・1 複現(nager)v.i 泳ぐ 「動詞」

ensemble. オンソブル adv. 一緒に 「副詞」

僕はマリーの後ろに移動して腰をつかむ、そして彼女は腕の力で前に進む。その間に僕は、バタ足で彼女を押して助けるのだ。

Je me suis mis derrière elle pour la prendre par la taille et elle avançait à la force des bras pendant que je l'aidais en battant des pieds.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「副詞句」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis mis ム・シュイ・ミ 1 単現・完了形(se mettre)v.pr (ある場所に) 身を置いた 「動詞句」

derrière elle テリエール・エル adv. 彼女の後ろに 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|--------|
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために | 「副詞句」 |
| la ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| prendre プロントル 不定詞 v.t つかむ | 「動詞」 |
| par la taille パール・ラ・タイユ adv. (手段) 腰を | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| avançait アヴァンセ 3 単半(avancer)v.i 前に進んだ | 「動詞」 |
| à la force ア・ラ・フォルス adv. (手段) 力によって | 「副詞句」 |
| des bras デ・ブラ adj. 腕の | 「形容詞句」 |
| pendant que ポントソ・キ conj. その間に～する | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| aidais エテ 1 単半(aider)v.t 手伝った | 「動詞」 |
| en battant オン・バトン ジェロンディフ(battre)v.t ～をたたいて | 「副詞句」 |
| des pieds. デ・ピエ pl.n.m 両足を | 「目的語」 |
| battre des pieds 水泳のバタ足をする | |

バタ足の小さな水音が、午前中僕が疲れを感じるまでずっと、僕たちの後ろについてきた。

| | |
|---|---------------------|
| <u>Le petit bruit de l'eau battue nous a suivis dans le matin jusqu'à ce que je me sente fatigué.</u> | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 |
| Le petit bruit ル・プチ・ブリュイ n.m 小さな音が | 「主語」 |
| de l'eau battue トゥ・ロ・バチュ adj. 打ちつけられた水の | 「形容詞句」 |
| nous ヌ pron 僕たちに | 「目的語」 |
| a suivis ア・シュイヴィ 3 単現・完了形(suivre)v.t の後に付いてきた | 「動詞句」 |
| dans le matin トン・ル・マタン adv. 午前中 | 「副詞句」 |
| jusqu'à ジュスカ adv. ～まで | 「副詞句」 |
| ce ス pron その時 | 「目的語」 |
| que ク pron (同格) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| me sente ム・ソント 接・1 単現(se sentir) | |
| v.pr 自分が～だと感じる | 「動詞句」 |
| fatigué. ファチゲ adj. 疲れた | 「補語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

そこで僕はマリーから離れ、一定速度で泳ぎ、息を整えながら戻った。

Alors j'ai laissé Marie et je suis rentré en nageant régulièrement et en respirant bien.

「副詞」「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Alors アー adv. そこで 「副詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai laissé エ・レッセ 1 単現・完了形(laisser)v.t 離れた 「動詞句」

Marie マリー n.f マリーと (から) 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

suis rentré シュイ・ロントレ 1 単現・完了形(rentre)v.i 戻った 「動詞句」

en nageant オン・ナジョン ジェロンディフ(nager)adv. 泳いで 「副詞句」

régulièrement レギュリエールモン adv. 規則正しく、一定速度で 「副詞」

et エ conj. そして

en respirant オン・レスピラン ジェロンディフ(respirer)adv. 呼吸して 「副詞句」

bien. ビヤン adv. しっかりと 「副詞」

浜辺に上がり、僕はマソンの近くに腹ばいで寝そべって、砂に顔を埋めた。

Sur la plage, je me suis étendu à plat ventre près de Masson et j'ai mis ma figure dans le sable.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Sur la plage, シュール・ラ・プレーージュ adv. 浜辺に上がり 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis étendu ム・シュイ・エトンジュ 1 単現・完了形(se etendre)v.pr 横になった 「動詞句」

à plat ventre ア・プラ・ヴァントル adv. 腹ばいで 「副詞句」

près de Masson プレ・トゥ・マソン adv. マソンの近くに 「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai mis エ・ミ 1 単現・完了形(mettre)v.t 置いた 「動詞句」

ma figure マ・フィギュール n.f 顔を 「目的語」

dans le sable. トン・ル・サブル adv. 砂の中に 「副詞句」

寝そべる :

横になったり腹ばいになったりして、ゆったりとからだを伸ばす。うつ伏せとか仰向けなど体の向きや姿勢は問わない。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は彼に「いい気持ちですね」と言った。彼も同じ意見だった。

Je lui ai dit que «c'était bon» et il était de cet avis.

| | | |
|-----------------------------------|-------------------------|-----------------|
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | et 「主語」「動詞」「補語」 |
| Je ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | | 「間接目的語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | | 「直接目的語」 |
| «c' ス pron これは | | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | | 「動詞」 |
| bon» ボン adj. 快適な、気持ちの良い | | 「補語」 |
| et エ conj. そして | | |
| il イル pron 彼は | | 「主語」 |
| était エテ 3 単半 (être)v.i ～だった | | 「動詞」 |
| de cet avis. トゥ・セ・タヴィ adj. 同じ意見の | | 「補語」 |

少しすると、マリーが戻ってきた。僕は彼女が近づいてくるのを眺めようと振り返った。

Peu après, Marie est venue. Je me suis retourné pour la regarder avancer.

| | | |
|--|----------------|----------------|
| | 「副詞句」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Peu après, プ・アプレ adv. 少しすると | | 「副詞句」 |
| Marie マリー n.f マリーが | | 「主語」 |
| est venue. エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i 戻ってきた | | 「動詞句」 |
| Je ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| me suis retourné ム・シュイ・ルトルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った | | 「動詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. ～するために | | 「副詞句」 |
| la ラ pron.f 彼女が | | 「目的語」 |
| regarder ルギヤルテ 不定詞・知覚 v.t 眺める | | 「動詞」 |
| avancer. アヴァンセ 不定詞・la の動作 v.i 進んでくる | | 「補語」 |

彼女は海水で全身がべとべとになり、髪は後ろにまとめていた。

Elle était toute visqueuse d'eau salée et elle tenait ses cheveux en arrière.

| | | |
|---|--------------|-----------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」 | et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 |
| Elle エル pron 彼女は | | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | | 「動詞」 |
| toute visqueuse トウト・ヴィスクーズ adj. 全身べとべとの | | 「補語」 |
| d'eau salée トー・サレ adv. (手段) 海水で、塩水で | | 「副詞句」 |
| salée サレ adj.f(salé) 塩辛い、塩分を含んだ | | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

elle エル pron 彼女は

「主語」

tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t (ある場所に)置いていた、保つ

「動詞」

ses cheveux セ・シュヴ pl.n.m 髪を

「目的語」

en arrière. オン・アリエール adv. 後ろに

「副詞句」

彼女は僕に脇腹と脇腹を接して寝そべっていた。それで彼女の体と太陽から伝わる 2 つの熱が僕を少し眠らせた。

Elle s'est allongée flanc à flanc avec moi et les deux chaleurs de son corps et du soleil m'ont un peu endormi.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞句」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

s'est allongée セ・タロンジエ 3 単現・完了形.f(s'allonger)v.pr 寝そべっていた

「動詞句」

flanc à flanc フロン・カ・フロン adv. 脇腹に脇腹をくっつけて

「副詞句」

avec moi アヴ・エツキ・ムわ adv. 僕と

「副詞句」

et エ conj. そして

les deux chaleurs レ・トゥ・シヤレール pl.n.f 2 つの熱が

「主語」

de son corps トゥ・ソソ・コール adj. 彼女の体の

「形容詞句」

et エ conj. そして

du soleil ジュ・ソレイユ adj. 太陽の

「形容詞句」

m' ム pron 僕を

「目的語」

ont un peu endormi. オン・アン・プ・オントルミール 3 複現・完了形(endormir)

v.t 少し眠らせた

「動詞句」

マリーは僕を揺り起こして、マソンが家に戻ったからもう昼食にしなければ、と言った。

Marie m'a secoué et m'a dit que Masson était remonté chez lui, il fallait déjeuner.

「主語」「目的語」「動詞句」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「動詞句」

Marie マリー n.f マリーは

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a secoué ア・スクエ 3 単現・完了形(secouer)v.t 揺さぶった

「動詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

était remonté エテ・ルモンテ 3 単現・完了形(remonter)

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|-------|
| v.i 上がっていった、戻った | 「動詞句」 |
| chez lui, シェ・リュイ adv. 自分の家に | 「副詞句」 |
| il fallait +不定詞 イル・ファレ 3 単半・必要・非人称・時制の一致(il falloir+不定詞) | |
| v. ～しなければならない | 「動詞句」 |
| déjeuner. デジ ュネ 不定詞 v.i 昼食を食べる | 「動詞句」 |

僕は空腹だったので飛び起きたが、マリーは今朝からまだ僕がキスをしていないと言った。

Je me suis levé tout de suite parce que j'avais faim, mais Marie m'a dit que je ne l'avais pas embrassée depuis ce matin.

| | |
|---|---------|
| 「主語」「動詞句」「副詞句」 mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis levé ム・シュイ・ルヴ`ェ 1 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった | 「動詞句」 |
| tout de suite トゥ・トゥ・シュイット adv. すぐに | 「副詞句」 |
| parce que パルス・キ conj. ～なので | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais アヴ`ェ 1 単半(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ～だった | 「動詞」 |
| faim, ファン n.f 空腹 | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne l'avais pas embrassée ヌ・ラヴ`ェ・パ`・オンブラッセ 1 単半・完了形・否定.f(embrasser+la) | |
| v.t 彼女にキスをしていなかった | 「動詞句」 |
| depuis ce matin. トゥ`ピ`ユイ・スマタン adv. 今朝からまだ | 「副詞句」 |

その通りだったが、その気持ちはあった。

C'était vrai et pourtant j'en avais envie.

| | |
|--|------|
| 「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 | |
| C' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| vrai ヴレ adj. 正しい | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| pourtant プールトン adv. それでも、けれど | 「副詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

en オン pron (de embrassement) そのの 「間接目的語」
 avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 〜があった 「動詞」
 envie. オンヴェイ n.f 欲望 「直接目的語」
 avoir envie de... 「〜がしたい、〜が欲しい」

「水の中に来て！」と、彼女が僕に言った。

«Viens dans l'eau», m'a-t-elle dit.
 《「動詞」「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」
 «Viens ヴィン 命・2 単現(venir)v.i 来て！ 「動詞」
 dans l'eau», ドン・ロー adv. 水の中に 「副詞句」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a... dit. ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 elle エル pron 彼女が 「主語」

僕たちは走り、小さい一番波に飛び込んだ。

Nous avons couru pour nous étaler dans les premières petites vagues.

「主語」「動詞句」「副詞句」
 Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」
 avons couru アヴ・オン・クリュ 1 複現・完了形(courir)v.i 走った 「動詞句」
 pour +不定詞 プール adv. (継続) そして〜する 「副詞句」
 nous étaler ヌ・ゼタル 不定詞(s'étaler)v.pr 倒れる、横になる 「動詞句」
 dans les premières petites vagues. ドン・レ・プルミエール・プティット・ヴァーク
 adv. 最初の小さい波に 「副詞句」
 premières プルミエール adj.f.pl(premier) 最初の vagues ヴァーク pl.n.f(vague) 波
 一番波 :

浜辺に座って海を眺めていると、いくつもの波頭が岸に向かってくるのが見える。
 それらの波の中で、最初に岸に到着するのが「一番波」だ。

僕たちは平泳ぎで数かきした。するとマリーが僕にぴったり体を押し付けてきた。

Nous avons fait quelques brasses et elle s'est collée contre moi.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」
 avons fait アヴ・オン・フェ 1 複現・完了形(faire)v.t (行動を) した 「動詞句」
 quelques brasses ケルク・ブラス pl.n.f 平泳ぎで数かき 「目的語」
 et エ conj. そして
 elle エル pron 彼女は 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

s'est collée セ・コレ 3 単現・完了形(se coller)

v.pr(contre に) ぴったり体を押し付けてきた

「動詞句」

contre moi. コントル・ムわ adv. 僕に

「副詞句」

僕はマリーの脚が僕の脚に絡みつく感じがして、彼女が欲しくなった。

J'ai senti ses jambes autour des miennes et je l'ai désirée.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」et「主語」「目的語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai senti エ・ツチ 1 単現・完了形(sentir)v.t 感じた

「動詞句」

ses jambes セ・ジョンプ pl.n.f 彼女の脚を

「目的語」

autour +de オウール adv. ～の周りに

「副詞句」

des miennes テ・ミエヌ pl.n.f 僕の脚

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron.f 彼女を

「目的語」

ai désirée. エ・デジレ 1 単現・完了形(désirer)v.t 欲しくなった

「動詞句」

戻ってくると、マソンがもう僕たちを呼んでいた。

Quand nous sommes revenus, Masson nous appelait déjà.

「副詞節」,「主語」「目的語」「動詞」「副詞」

Quand コン conj. ～するときに

「副詞節」

nous ヌ pron.pl 僕たちが

「主語」

sommes revenus, ソム・ルヴニ 1 複現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた

「動詞句」

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

nous ヌ pron 僕たちを

「目的語」

appelait アプレ 3 単半(appeler)v.t 呼んでいた

「動詞」

déjà. デジャ adv. もう

「副詞」

僕が腹ぺこだと言うと、彼はすぐさま妻に向かって、僕が彼の気に入ったと言った。

J'ai dit que j'avais très faim et il a déclaré tout de suite à sa femme que je lui plaisais.

「主語」「動詞句」「目的語」et「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t (心身の状態) ～である

「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | | |
|---------------|------------|---------------------------|----------|---------|
| très faim | トレ・ファン | n.f | すごい空腹 | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| a déclaré | ア・デクレ | 3 単現・完了形(declarer)v.t | はっきりと言った | 「動詞句」 |
| tout de suite | トゥ・トゥ・シュイト | adv. | すぐに | 「副詞句」 |
| à sa femme | ア・サ・ファム | adv. | 妻に向かって | 「間接目的語」 |
| que | ク | conj. | ということを | 「直接目的語」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| plaisais. | プレ | 1 単半 (plaire)v.i(à qn 人の) | 気に入った | 「動詞」 |

パンが美味しかった。僕は自分の分の魚をむさぼるように食べた。

Le pain était bon, j'ai dévoré ma part de poisson.

| | | | | |
|---------------------|------------|----------------------|-------------|------------------------------|
| | | | | 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Le pain | ル・パン | n.m | パンが | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| bon, | ボン | adj. | おいしい | 「補語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ai dévoré | エ・デヴレ | 1 単現・完了形(dévorar)v.t | むさぼり食った | 「動詞句」 |
| ma part de poisson. | マ・パール・トゥ・プ | わソ | n.f 自分の分の魚を | 「目的語」 |
| part | パール | n.f | 分け前、取り分 | |

次に、肉とフライドポテトが出てきた。

Il y avait ensuite de la viande et des pommes de terre frites.

| | | | | |
|-----------------------------|-----------------|---------------------|---------|----------------|
| | | | | 「動詞句」「副詞」「目的語」 |
| Il y avait | イ・リ・アヴェ | 3 単半(il y avoir)v.t | ～があった | 「動詞句」 |
| ensuite | オンシュイト | adv. | 次に、それから | 「副詞」 |
| de la viande | トゥ・ラ・ヴィント | n.f | いくらかの肉 | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| des pommes de terre frites. | デ・ポム・トゥ・テル・フリット | | | |
| pl.n.f | いくらかのフライドポテト | | | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕らは皆、ものも言わずに食べた。

Nous mangions tous sans parler. 「主語」「動詞」「主語」「副詞句」

Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

mangions モンジョン 1 複半(manger)v.t 食べた 「動詞」

tous トゥス pron みんな 「主語」

「食べ物をすべて」の場合は tout となるが単数中性なので、複数女性を指さない

sans parler. ソンパル adv. 黙々と、ものも言わずに 「副詞句」

マソンはよくワインを飲み、ひっきりなしに僕にもワインを注いだ。

Masson buvait souvent du vin et il me servait sans arrêt.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

buvait ビュヴェ 3 単半(boire)v.t 飲んだ 「動詞」

souvent スヴン adv. よく、しばしば 「副詞」

du vin ジュヴァン n.m ワインを 「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

servait セルヴェ 3 単半(servir)v.t (ワインを) 注いだ、給仕した 「動詞」

sans arrêt. ソンアレ adv. 絶え間なく、ひっきりなしに 「副詞句」

コーヒーの頃には、僕は少し頭が重くなっていて、タバコをたくさん吸った。

Au café, j'avais la tête un peu lourde et j'ai fumé beaucoup.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞」

Au café, オカフェ adv. (時間) コーヒーの時には 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (心身の状態) ~だった 「動詞」

la tête ラテット n.f 頭が 「目的語」

un peu lourde アンプールルト adj.f(lourd) 少し重い 「補語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai fumé エフュメ 1 単現・完了形(fumer)v.i タバコを吸った 「動詞句」

beaucoup. ボク adv. たくさん 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

マソンとレーモンと僕は、費用を出し合って8月に浜辺で一緒に過ごす相談をしていた。

Masson, Raymond et moi, nous avons envisagé de passer ensemble le mois d'août à la plage, à frais communs. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Masson, Raymond et moi, マソン・レーモン・エ・ムワ pl.n.m マソンとレーモンと僕は 「主語」
nous avons envisagé de +不定詞 ヌ・サヴ・オン・オンヴェ・イザジエ・トゥ 1 複現・完了形・検討

(se envisager de+不定詞)v. ～する計画をしていた 「動詞句」

passer パセ 不定詞 v.i (時を) 過ごす 「動詞句」

ensemble オンソンプル adv. 一緒に 「副詞」

le mois d'août ル・ムワ・トゥー adv. 8月に 「副詞句」

à la plage, ア・ラ・プラージュ adv. 浜辺で 「副詞句」

à frais communs. ア・フレ・コマン adv. 費用を出し合って 「副詞句」

frais フレ n.m 費用 communs コマン adj.pl 共同の

突然マリーが僕たちに言った：「ねえ、何時だと思う？まだ11時半よ！」

Marie nous a dit tout d'un coup: «Vous savez quelle heure il est? Il est onze heures et demie.» 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」：

《「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」》

Marie マリー n.f マリーは 「主語」

nous ヌ pron 僕たちに 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

tout d'un coup: トゥ・ダン・ク adv.(tout à coup と同じ) 突然 「副詞句」

«Vous ヴェ pron あなたたちは 「主語」

savez サヴェ 2 複現・疑問文(savoir)v.t 分かっているの？ 「動詞」

quelle heure il est? ケ・レール・イレ n. 何時なのかを 「目的語」

Il イル pron 時間は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

onze heures et demie. オンズ・エール・エ・トゥミ pl.n.f 11時半 「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕らはみな驚いたが、マソンは、「ずいぶん早めに食べたかもしれないが、それは自然な事だ、腹が減った時が食事の時間なんだから」と言った。

Nous étions tous étonnés, mais Masson a dit qu'on avait mangé très tôt et que c'était naturel parce que l'heure du déjeuner c'était l'heure où l'on avait faim.

| | | |
|--|-----------------------|---------------------|
| | 「主語」「動詞句」「主語」「動詞句」 | mais 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Nous ヌ pron.pl | 僕たちは | 「主語」 |
| étions ...étonnés, エフオン...エトネ | 1 複半・状態受動(étonner)v.t | 驚いた 「動詞句」 |
| tous トゥ pron.pl.m | (同格) 皆 | 「主語」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| Masson マソン n.m | マソンは | 「主語」 |
| a dit ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron | (動詞は三人称単数) 私たちは | 「主語」 |
| avait mangé アヴ・エ・モンジェ | 3 単半・完了形(manger)v.t | 食べた 「動詞句」 |
| très tôt, トレ・ト adv. | ずいぶん早く | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半(être)v.i | ～だった 「動詞」 |
| naturel ナチュレル adj. | 自然な、当然の | 「補語」 |
| parce que パルス・キ conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| l'heure du déjeuner, レール・ジュー・テジ ヌネ n.f | 食事の時間は | 「主語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である 「動詞」 |
| l'heure レール n.f | 時間 | 「補語」 |
| où ウ adv. | ～する | 「形容詞節」 |
| l'on ロン pron | 人が | 「主語」 |
| 文頭では、on を l'on と書く | | |
| avait アヴ・エ | 3 単半・時制の一致(avoir) | |
| v.t | ある | 「動詞」 |
| faim. ファン n.f | 空腹 | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

どうしてか分からないが、これを聞いてマリーが笑い出した。

Je ne sais pas pourquoi cela a fait rire Marie. 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない 「動詞句」
 pourquoi プルワ adv. どうして～するというのを 「目的語」
 cela スラ pron このことが (これを聞いたこと) 「主語」
 a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire)v.t ～させた 「動詞句」
 rire リール 不定詞 v.i 笑う 「補語」
 Marie. マリー n.f マリーを 「目的語」
 どうしてこれがマリーを笑わせたのか分からない

彼女は少し飲みすぎていると思う。

Je crois qu'elle avait un peu trop bu. 「主語」「動詞」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 crois クルワ 1 単現(croire)v.t(que ～だと) 思う 「動詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 avait un peu trop bu. アヴ・ェ・アン・フ・トロ・ビュ 3 単半・完了形(boire)
 v.t 少し飲みすぎている 「動詞句」

そこでマソンは僕に、一緒に浜辺を散歩しないかと尋ねた。

Masson m'a demandé alors si je voulais me promener sur la plage avec lui. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」
 Masson マソン n.m マソンは 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ト・ウモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 alors アロー adv. そこで 「副詞」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 voulais me promener ヴレ・ム・フ・ロムネ 1 単半・願望(vouloir+不定詞 se promener)
 v.pr 散歩したい 「動詞句」
 sur la plage シュール・ラ・プラージュ adv. 浜辺を 「副詞句」
 avec lui. アヴ・ェッキ・リュイ adv. 彼と一緒に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

「妻は、昼食の後にはいつも昼寝をする」

«Ma femme fait toujours la sieste après le déjeuner.

《「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」》

«Ma femme マ・ファム n.f 妻は 「主語」
 fait フェ 3 単現(faire)v.t (行為を) する 「動詞」
 toujours トゥジュール adv. いつも 「副詞」
 la sieste ラ・シエステ n.f 昼寝を 「目的語」
 après le déjeuner. アプレ・ル・デジュネ adv. 昼食の後は 「副詞句」

「私は昼寝は好まない。私は歩かなければならないんだ」

Moi, je n'aime pas ça. Il faut que je marche.

《「主語」「動詞句」「目的語」 | 「動詞句」「主語」》

Moi, je ムワ・ジュ pron 私は 「主語」
 n'aime pas ネム・パ 1 単現・否定(aimer)v.t 好まない 「動詞句」
 ça. サ pron 昼寝を 「目的語」
 Il faut イ・フォ 3 単現・非人称(Il falloir que)v.h ~しなければならない 「動詞句」
 que キ conj. ~ということを 「主語」
 je ジュ pron 僕は~することを 「主語」
 marche. マルシュ 1 単現(marcher)v.i 歩く 「動詞」

「私はいつも、歩いたほうが健康に良い、と妻に話しているんだ。だが結局、どうするかは妻が決めることだから...」

Je lui dis toujours que c'est meilleur pour la santé. Mais après tout, c'est son droit.»

《「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」「直接目的語」

Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

Je ジュ pron 私は 「主語」
 lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
 dis ディ 1 単現(dire)v.t 言っている 「動詞」
 toujours トゥジュール adv. いつも 「副詞」
 que ク conj. ~ということを 「直接目的語」
 c' ス pron 歩くことが 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 meilleur メイエール adj. より良い 「補語」
 pour la santé. プール・ラ・サンテ adv. 健康のために 「副詞句」
 Mais メ conj. だが
 après tout, アプレ・トゥ adv. 結局は、要するに 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|------------------------------------|------|
| c' ス pron どうするかということは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| son droit. ヲン・ドゥワ n.m 彼女の権利 | 「補語」 |
| son ヲン adj. (所有形容詞) (男女単数形) 彼の、彼女の | |
| sa サ adj. (所有形容詞) (女性単数形) 彼女の | |
| ses セ adj. (所有形容詞) (男女複数形) | |

マリーは、自分に残ってマソン夫人の皿洗いを手伝う、と宣言した。

Marie a déclaré qu'elle resterait pour aider Mme Masson à faire la vaisselle.

| | |
|---|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 表明した | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. 〜ということを | 「目的語」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| resterait レストレ 条・3 単現 (意思) (rester)v.i 残ります | 「動詞」 |
| pour +不定詞 プール 不定詞・継続 adv. そして〜する | 「副詞句」 |
| aider エ・テ 不定詞 v.t 〜を手伝う | 「動詞」 |
| Mme Masson マダム・マソン n.f マソン夫人を | 「目的語」 |
| à faire ア・フェール 不定詞・目的語の動作 v.t 〜する | 「補語」 |
| la vaisselle. ラ・ヴァッセル n.f 皿洗いを | 「目的語」 |

間接話法における条件法 :

主節が過去時制のとき、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉により、従属節の直説法単純未来が条件法現在に変わります。

その小柄なパリジェンヌは、そのためには男たちを外に出さなければならない、と言った。

La petite Parisienne a dit que pour cela, il fallait mettre les hommes dehors.

| | |
|--|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| La petite Parisienne ラ・プティット・パリジエンヌ | |
| n.f その小柄なパリジェンヌは (マソン夫人) | 「主語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. 〜ということを | 「目的語」 |
| pour cela, プール・スラ adv. そのためには | 「副詞句」 |
| il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称(il falloir) | |
| v.h(+不定詞 〜することが) 必要である | 「動詞句」 |
| mettre メットル 不定詞 v.t (人がある場所に) 移すことが | 「主語」 |
| les hommes レ・ゾム pl.n.m 男たちを | 「目的語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

dehors. トゥォール adv. 外に

「副詞」

僕たちは3人とも別荘を出た。

Nous sommes descendus tous les trois.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

sommes descendus ヲム・デ・ソソージュ 1 複現・完了形.pl(descendre)v.i 降りた

「動詞句」

助動詞が être の完了時制では、過去分詞は主語と性・数一致する

tous les trois. トゥ・レ・トゥルワ adv. 3人とも

「副詞句」

「3人」は、ムルソー、レーモン、マソンである

別荘が海より高い位置にあるので、別荘を出て、海に向かって行った

日差しは、ほぼ真上から砂の上に降り注ぎ、海に注がれた輝きは耐え難いほどだった。

Le soleil tombait presque d'aplomb sur le sable et son éclat sur la mer était insoutenable.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「補語」

Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽が

「主語」

tombait トンバ 3 単半(tomber)v.i (雨や日差しが) 降り注いでいた

「動詞」

presque d'aplomb プレスキ・ダブロン adv. ほぼ真上から

「副詞句」

presque プレスキ adv. ほぼ d'aplomb ダブロン adv. 垂直に、真上から

sur le sable シュール・ル・サブル adv. 砂の上に

「副詞句」

et エ conj. そして

son éclat ソン・エクラ n.m その輝きは

「主語」

sur la mer シュール・ラ・メール adj. 海の上の

「形容詞句」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

insoutenable. アンストウナーブル adj. 耐えられない

「補語」

浜辺にはもう誰もいなかった。

Il n'y avait plus personne sur la plage.

「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

Il n'y avait イル・ニ・アヴェ 3 単半・否定(Il y avoir)v.t なかった

「動詞句」

plus プリュ adv. (否定文で) もう~ない

「副詞」

personne ペルソヌ pron (否定文で) 誰も~ない

「目的語」

sur la plage. シュール・ラ・プラーージュ adv. 浜辺に

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

高台を囲んで、海の上に張り出して建ち並ぶ別荘からは、皿や食器の音が聞こえていた。

Dans les cabanons qui bordaient le plateau et qui surplombaient la mer, on entendait des bruits d'assiettes et de couverts. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

Dans トン prep (場所) 〜の中で、〜の中から 「副詞句」

les cabanons レ・カバン pl.n.m 別荘 「目的語」

qui キ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」

bordaient ボルテ 3 複半・時制の一致(border)v.t 〜を囲む 「動詞」

le plateau ル・プラト n.m 高台を、高原を 「目的語」

et エ conj. そして

qui キ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」

surplombaient シュルプ ロンベ 3 複半・時制の一致(surplomber)

v.t 〜の上に張り出している 「動詞」

la mer, ラ・メル n.f 海 「目的語」

on オン pron (動詞は三人称単数) 人々は 「主語」

受動態に変換して翻訳する

entendait オンテンテ 3 単半(entendre)v.t (が) 聞こえていた 「動詞」

des bruits テ・ブリュイ pl.n.m 物音が 「目的語」

d'assiettes ダシエット adj. 皿の 「形容詞句」

et エ conj. そして

de couverts. トゥ・クヴァール adj. (ナイフとフォークなど) 食器の 「形容詞句」

地面から立ち昇る石の熱気の中では、息をするのもやっとだった。

On respirait à peine dans la chaleur de pierre qui montait du sol.

「主語」 「動詞」 「副詞句」

On オン pron 人々は 「主語」

respirait レスピレ 3 単半(respirer)v.i 息をした 「動詞」

à peine ア・ペーン adv. ほとんど〜ない 「副詞句」

dans la chaleur トン・ラ・シャール adv. 熱気の中で 「副詞句」

de pierre トゥ・ピール adj. 石の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」

montait モンテ 3 単半(monter)v.i 上る、立ち昇る 「動詞」

du sol. ジュ・ソル adv. 地面から 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

初めのうち、レーモンとマソンは僕の知らない事柄や人たちについて話していた。

Pour commencer, Raymond et Masson ont parlé de choses et de gens que je ne connaissais pas. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Pour commencer, プール・コモンセ adv. まず初めに、初めは 「副詞句」

Raymond et Masson レーモン・エ・マソン pl.n レーモンとマソンは 「主語」

ont parlé オン・パル 3 複現・完了形(parler)v.i(de について) 話していた 「動詞句」

de choses トゥ・ショーズ adv. 色々な事について 「間接目的語」

et エ conj. そして

de gens トゥ・ジヨン adv. 色々な人たちについて 「間接目的語」

que キ pron.pl (目的語) ~する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

ne connaissais pas. ス・コネ・パ 1 単半・否定(connaître)

v.t 知らない 「動詞句」

話を聞いて分かったのは、彼らはずっと前からの知り合いで、一時は一緒に暮らしていたことさえあったということだ。

J'ai compris qu'il y avait longtemps qu'ils se connaissaient et qu'ils avaient même vécu ensemble à un moment. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t(que ~であると) 理解した 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということ 「目的語」

il y avait longtemps qu' イ・リ・アヴァ・ longtemps キ adv. ずっと前から~する 「副詞節」

ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

se connaissaient ス・コネ 3 複半・相互(se connaître)v.pr 知り合っていた 「動詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ~ということ 「目的語」

ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

avaient même vécu アヴァ・エ・メム・ヴァ・エキュ 3 複半・完了形(vivre)

v.i 暮らしていたことさえあった 「動詞句」

même メム adv. ~さえも

ensemble オンソブル adv. 一緒に 「副詞句」

à un moment. ア・ウン・モン adv. 一時は 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは海に向かって行き、波打ち際に沿って歩いた。

Nous nous sommes dirigés vers l'eau et nous avons longé la mer.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

nous sommes dirigés ヌ・スム・ディリジェ 1 複現・完了形(se diriger)

v.pr(vers に) 向って行った

「動詞句」

vers l'eau ヴェール・ロー adv. 海水に

「副詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons longé アヴォン・ロンジェ 1 複現・完了形(longer)v.t (に) 沿って行った

「動詞句」

la mer. ラ・メル n.f 海に

「目的語」

たまに岸の上まで波が届いて、僕たちのズック靴を濡らすことがあった。

Quelquefois, une petite vague plus longue que l'autre venait mouiller nos souliers de toile.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Quelquefois, ケルクワ adv. 時々、たまに

「副詞」

une petite vague ユンス・プティット・ヴァーク n.f 小さな波が

「主語」

plus longue que l'autre プリュ・ロング・キ・オートル adj. 他より少し長めの

「形容詞句」

venait mouiller ヴネ・ムイエ 3 単半・しに来る(venir+不定詞)

v.t 濡らしに来た

「動詞句」

nos souliers ノ・スリエ pl.n.m 短靴を

「目的語」

de toile. ドゥ・トゥワル adj. 布製の

「形容詞句」

ズック靴 : 麻布で作った運動靴

ズックとは綿または麻を用いた厚地の平織り布のことで、これを用いて作られた運動靴をズック靴という。

剥き出しの頭に射し付ける太陽のせいで、意識がもうろうとして何も考えられなかった。

Je ne pensais à rien parce que j'étais à moitié endormi par ce soleil sur ma tête nue.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne pensais ヌ・ポンセ 1 単半・否定(penser)v.i 考えなかった

「動詞句」

à rien ア・リヤン adv. 何も

「間接目的語」

parce que パルス・キ conj. ~なので

「副詞節」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

à moitié endormi ア・ムワチエ・オントルミ adj. 半分眠った

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|------------------------------------|-------|
| par パール prep (原因) ーのために | 「副詞句」 |
| ce soleil ス・ルイ n.m あの太陽 | 「目的語」 |
| sur ma tête シュール・マ・テット adv. 僕の頭の上の | 「副詞句」 |
| nue. ニュ adj. 裸の、剥き出しの | 「形容詞」 |

この時、レーモンがマソンに何か言ったのだが、僕はよく聞き取れなかった。

A ce moment, Raymond a dit à Masson quelque chose que j'ai mal entendu.

| | |
|--|---------|
| A ce moment, ア・ス・モモン adv. この時 | 「副詞句」 |
| Raymond レーモン n.m レーモンが | 「主語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| à Masson ア・マソン adv. マソンに | 「間接目的語」 |
| quelque chose ケルキ・ショーズ n.f 何かを | 「直接目的語」 |
| que ク pron (目的語) それを～する | 「形容詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai mal entendu. エ・マル・オントンジュ 1 単現・完了形(entendre+mal) | |
| v.t よく聞き取れなかった | 「動詞句」 |
| mal マル adv. 不完全に、不十分に | |

しかし僕は同時に、浜の外れの僕たちから遠く離れた所から、青の作業服を着た 2 人のアラブ人が僕たちのほうへ向かって来るのが目に入った。

Mais j'ai aperçu en même temps, tout au bout de la plage et très loin de nous, deux Arabes en bleu de chauffe qui venaient dans notre direction.

| | |
|---|--------|
| Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」「形容詞節」 | |
| Mais メ conj. しかし | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai aperçu エ・アペルシュ 1 単現・完了形(apercevoir)v.t 目に入った、気が付いた | 「動詞句」 |
| en même temps, オン・メム・トン adv. 同時に | 「副詞句」 |
| tout au bout トゥ・ト・ブ adv. 端っこに | 「副詞句」 |
| de la plage トゥ・ラ・プラージュ adj. 浜辺の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| très loin de nous, トレ・ルン・トゥ・ヌ adv. 僕たちから遠くに | 「副詞句」 |
| deux Arabes トゥ・アラブ pl.n.m 2 人のアラブ人 | 「目的語」 |
| en オン prep (状態) ～を着た | 「副詞句」 |
| bleu de chauffe ブル・トゥ・ショフ n.f 青の作業服、菜っ葉服 | 「目的語」 |
| qui キ pron.pl (主語) ～する | 「形容詞節」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

venaient ヲネ 3 複半(venir)v.i やって来る 「動詞」

dans notre direction. トン・ノル・ディレクション

adv. 僕たちのほうへ 「副詞句」

菜っ葉服、青の作業服 : bleu de chauffe

僕がレーモンをじっと見ると、彼は言った；「奴らだ！」

J'ai regardé Raymond et il m'a dit: «C'est lui.»

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai regardé エ・ル・ギャルテ 1 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」

Raymond レモン n.m レーモンを 「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«C'est lui.» セ・リュイ adv. 奴らだ 「直接目的語」

僕たちは歩き続けた。

Nous avons continué à marcher. 「主語」「動詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

avons continué à marcher. アヴ・オン・コンチヌエ・ア・マルシェ 1 複現・完了形・継続(continuer à+不定詞)

v.i 歩き続けた 「動詞句」

マソンは、彼らはどうやってあそこまで僕たちをつけて来られたのだろうと言った。

Masson a demandé comment ils avaient pu nous suivre jusque-là.

「主語」「動詞句」「目的語」

Masson マソン n.m マソンは 「主語」

a demandé ア・ト・ラモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

comment コモン adv. どのように～したかということを 「目的語」

ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

avaient pu +不定詞 アヴ・エ・ピュ 3 複半・完了形・可能(pouvoir+不定詞)

v. ～することができた 「動詞句」

nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」

suivre シューヴル 不定詞 v.t 後をついてくる 「動詞句」

jusque-là. ジュスク・ラ adv. あそこまで 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らは、僕たちがビーチバッグを持ってバスに乗るところを見たに違いない、と僕は思った
のだが、何も言わないでいた。

J'ai pensé qu'ils avaient dû nous voir prendre l'autobus avec un sac de plage, mais je n'ai rien dit.
「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai pensé エ・ボンセ 1 単現(penser)v.t(que ～だと) 思った 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
avaient dû +不定詞 アヴァ・エ・ジュ 3 複半・完了形(devoir+不定詞)
v. ～したに違いない 「動詞句」
nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」
voir ヴワール 不定詞 v.t 見た 「動詞句」
prendre プロントル 不定詞・nous の動作 v.t (乗り物に) 乗る 「補語」
l'autobus ロトビュス n.m バスに 「目的語」
avec un sac de plage, アヴェ・エツキ・アン・サッキ・ド・ゥ・プ・ラー・ジュ
adv. ビーチバッグを持って 「副詞句」
mais メ conj. しかし
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'ai ...dit. ネ...ディ 1 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった 「動詞句」
rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」

アラブ人たちはゆっくり進んでいたのだが、もうすでにかなり近くまで来ていた。

Les Arabes avançaient lentement et ils étaient déjà beaucoup plus rapprochés.
「主語」「動詞」「副詞」 et 「主語」「動詞」「補語」
Les Arabes レ・ザラブ pl.n.m アラブ人たちは 「主語」
avançaient アヴァンセ 3 複半(avancer)v.i 進んできた 「動詞」
lentement ロントゥモン adv. ゆっくりと 「副詞」
et エ conj. そして
ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
étaient エテ 3 複半(être)v.i ～だった 「動詞」
déjà beaucoup plus rapprochés. デ・ジャ・ボク・プ・リュ・ラブ ロシエ
adj. もうすでにかなり近い 「補語」
rapprochés ラフ ロシエ adj.pl(rapproché) 近い

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕たちは歩調を変えずに歩いた。だが、レーモンが言った：

Nous n'avons pas changé notre allure, mais Raymond a dit:

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

n'avons pas changé ナヴ・オン・パ・シヨンジエ 1 複現・完了形・否定(changer)

v.t 変えなかった

「動詞句」

notre allure, ノトル・アリュール n.f 歩調を、速度を

「目的語」

mais メ conj. しかし

Raymond レモン n.m レーモンが

「主語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

「もし乱闘になったら、マソン、お前は、2 人目を相手にしてくれ」

«S'il y a de la bagarre, toi, Masson, tu prendras le deuxième.

《「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」》

«S' シ conj. もし〜ならば

「副詞節」

il y a イ・リ・ヤ 3 単現(il y avoir)v.t 〜がある

「動詞句」

de la bagarre, トゥ・ラ・バガール n.f けんか、乱闘

「目的語」

toi, Masson, tu トゥワ・マソン・チュ n.m マソン、おまえは

「主語」

prendras プロントラ 2 単末・依頼(prendre)v.t 対応する、引き受ける

「動詞」

le deuxième. ル・トゥジエム n.m 2 人目を

「目的語」

「俺は、例の奴を相手にする。ムルソー、君は、もしもう一人が来たら、そいつを頼む」

Moi, je me charge de mon type. Toi, Meursault, s'il en arrive un autre, il est pour toi.»

《「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「呼びかけ」「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」》

Moi, je ムワ・ジュ pron 俺は

「主語」

me charge ム・シャルジュ 1 単現(se charger)v.pr(de を) 引き受ける

「動詞句」

de mon type. トゥ・モン・タイプ adv. 例の奴を

「間接目的語」

Toi, Meursault, トゥワ・メルソー n.m ムルソー、君は

「呼びかけ」

s' シ conj. もし〜ならば

「副詞節」

il en arrive イル・オ・ナリヴ 3 単現・非人称(il arriver+en)v.i 来る

「動詞句」

un autre, アン・オートル pron もう一人が

「主語」

il イル pron そいつは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である

「動詞」

pour toi.» プール・トゥワ adv. 君のための

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は答えた、「分かった」。そしてマソンは両手をポケットの中に入れた。

J'ai dit: «Oui» et Masson a mis ses mains dans les poches.

「主語」「動詞句」: 《「応答」》 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«Oui» ウー adv. わかった

「応答」

et エ conj. そして

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

a mis ア・ミ 3 単現・完了形(mettre)v.t 入れた

「動詞句」

ses mains セ・マン pl.n.f 両手を

「目的語」

dans les poches. トン・レ・ポ ッシュ adv. ポケットの中に

「副詞句」

焼けるような砂が、今では真っ赤に見えた。

Le sable surchauffé me semblait rouge maintenant.

「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」「副詞」

Le sable ル・サブル n.m 砂は

「主語」

surchauffé シュルショッフエ adj. 過熱した、熱くなりすぎた

「形容詞」

me ム pron 僕にとっては

「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ~のように思われた

「動詞」

rouge ルージュ adj. (高温で) 赤熱した、赤くなった

「補語」

maintenant. マントゥナン adv. 今では

「副詞」

僕たちは、同じ歩調でアラブ人たちの方へ進んでいった。

Nous avançons d'un pas égal vers les Arabes.

「主語」「動詞」「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avançons アヴァンソン 1 複半(avancer)v.i 前進した

「動詞」

d'un pas égal ダン・パ・エガル adv. 同じ歩調で

「副詞句」

pas パ n.m 歩調 égal エガル adj. 等しい、同等の

vers les Arabes. ヴェール・レ・サラブ adv. アラブ人たちの方へ

「副詞句」

お互いの距離は規則的に縮まっていった。

La distance entre nous a diminué régulièrement.

「主語」「動詞句」「副詞」

La distance ラ・ディストンス n.f 距離は

「主語」

entre nous オントル・ヌ adj. 我々の間の

「形容詞句」

a diminué ア・ディミヌエ 3 単現・完了形(diminuer)v.i 短くなった

「動詞句」

régulièrement. レギュリエルモン adv. 規則的に

「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

互いにあと数歩のところまで来たとき、アラブ人たちが立ち止まった。

Quand nous avons été à quelques pas les uns des autres, les Arabes se sont arrêtés.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」

Quand コン conj. ～する時に

「副詞節」

nous ヌ pron 僕たちが

「主語」

avons été アヴ・オン・セテ 1 複現・完了形(être)v.i ～にいた、来た

「動詞句」

à quelques pas ア・ケルク・パ° adv. 数歩のところ

「副詞句」

les uns des autres, レ・ウンス・デ・ゾートル adv. お互いに

「副詞句」

les Arabes レ・アラブ° pl.n.m アラブ人たちは

「主語」

se sont arrêtés. ス・ソン・アレテ 3 複現・完了形.pl(s'arrêter)v.pr 立ち止まった

「動詞句」

マソンと僕は、歩調を緩めた。

Masson et moi nous avons ralenti notre pas.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Masson et moi マソン・エム・ワ・ヌ pl.n.m マソンと僕は

「主語」

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons ralenti アヴ・オン・ラロンティ 1 複現・完了形(ralentir)v.t 速度を遅くした

「動詞句」

notre pas. ノトル・パ° n.m 歩調を

「直接目的語」

注意：動詞が se ralentir (再帰動詞) ならば、nous **sommes** ralenti になるはず

レーモンは、自分の相手にまっすぐ向かって行った。

Raymond est allé tout droit vers son type.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「間接目的語」

Raymond レーモン n.m レーモンは

「主語」

est allé エ・アレ 3 単現・完了形(aller)v.i 進んで行った

「動詞句」

tout droit トゥ・ドルワ° adv. まっすぐに

「副詞句」

vers son type. ヴェール・ソン・チップ° adv. 自分の相手に

「間接目的語」

僕はマソンが相手に何を言ったのか聞き取れなかったが、相手はマソンに頭突きを見舞う素振りをした。

J'ai mal entendu ce qu'il lui a dit, mais l'autre a fait mine de lui donner un coup de tête.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 mais 「主語」 「動詞句」 「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai mal entendu エ・マル・オントンジュ 1 単現・完了形・否定(entendre)

v.t よく聞こえなかった

「動詞句」

ce ス pron それ

「目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| lui リュイ pron 相手に | 「間接目的語」 |
| a dit, ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| l'autre ロートル pron 相手は | 「主語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (行動を) した | 「動詞句」 |
| mine de+不定詞 ミヌ・ドゥ n.f ~するふりを | 「目的語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「目的語」 |
| donner ドネ 不定詞 v.t 与える | 「動詞」 |
| un coup de tête. アン・クー・ドゥ・テット n.m 頭突きを | 「目的語」 |

そこでレーモンは最初の一発を見舞った。そしてすぐにマソンを呼んだ。

Raymond a frappé alors une première fois et il a tout de suite appelé Masson.

| | |
|--|---|
| | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 |
| Raymond レモン n.m レーモンは | 「主語」 |
| a frappé ア・フラペ 3 単現・完了形(frapper)v.t 殴った | 「動詞句」 |
| alors アール adv. そこで | 「副詞」 |
| une première fois ユヌ・プルミエール・フワ n.f 最初の一発を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a ...appelé ア...アプレ 3 単現・完了形(appeler)v.t 呼んだ | 「動詞句」 |
| tout de suite トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに | 「副詞句」 |
| Masson. マソン n.m マソンを | 「目的語」 |

マソンは指定された男の方に進んで行き、全力で2発、殴った。

Masson est allé à celui qu'on lui avait désigné et il a frappé deux fois avec tout son poids.

| | |
|---|---|
| | 「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Masson マソン n.m マソンは | 「主語」 |
| est allé エ・アレ 3 単現・完了形(aller)v.i 進んで行った | 「動詞句」 |
| à celui ア・スリュイ adv. 男の方に | 「間接目的語」 |
| qu'ク pron (目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| on オン pron 人が (マソン) | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| avait désigné アヴェ・デジニエ 3 単半・完了形(désigner) | |
| v.t 指定していた | 「動詞句」 |
| 主語を明示しない文は受動態に翻訳する | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

a frappé ア・フラヘ 3 単現・完了形(frapper)v.t 殴った

「動詞句」

deux fois トゥ・フワ n.f 2 発

「目的語」

avec tout son poids. アヴェッキ・トゥ・ツン・プ わ adv. (様態) 全力で

「副詞句」

そのアラブ人は水の中にうつぶせに倒れた。それから数秒間そのままいて、彼の頭の周りの水面で泡がはじけていた。

L'Arabe s'est aplati dans l'eau, la face contre le fond, et il est resté quelques secondes ainsi, des bulles crevant à la surface, autour de sa tête.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

L'Arabe ララブ n.m アラブ人は

「主語」

s'est aplati セ・アプ ラティ 3 単現・完了形(s'aplatir)v.pr 腹ばいになった

「動詞句」

dans l'eau, ドン・ロー adv. 水の中に

「副詞句」

la face ラ・ファス n.f 顔は

「主語」

contre le fond, コントル・ル・フォン adv. 底に向けて

「副詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

est resté エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i ~のままでいた

「動詞句」

quelques secondes ainsi, クルク・スコント・オシ adv. さらに数秒間

「副詞句」

des bulles テ・ビュル pl.n.f 泡が

「主語」

crevant クルヴ オン 現在分詞(crever)v.i はじけている

「動詞」

à la surface, ア・ラ・シュルファス adv. 水面で

「副詞句」

autour de sa tête. オトゥール・トゥ・サ・テット adv. 彼の頭の周りで

「副詞句」

この間、レーモンも殴り続けていて、相手の顔は血まみれになっていた。

Pendant ce temps Raymond aussi a frappé et l'autre avait la figure en sang.

「副詞句」「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」

Pendant ce temps ポントンス・ストン adv. この間に

「副詞句」

Raymond aussi レモン・オシ n.m レーモンも

「主語」

a frappé ア・フラヘ 3 単現・完了形(frapper)v.t 殴った

「動詞句」

et エ conj. そして

l'autre ロートル pron (レーモンが殴っている) 相手は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (状態) ~になっていた

「動詞」

la figure ラ・フィギュール n.f 顔

「目的語」

en sang. オン・ツン adj. 血だらけ、血まみれの

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

レーモンは僕のほうを振り向いて、言った：「こいつが痛い目に合うところを見ていてくれ」

Raymond s'est retourné vers moi et a dit : «Tu vas voir ce qu'il va prendre.»

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」 : «「主語」「動詞句」「目的語」»

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」

s'est retourné セ・ルトゥルネ 3 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り向いた 「動詞句」

vers moi ウェール・ムわ adv. 僕のほうを 「副詞句」

et エ conj. そして

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Tu チュ pron 君は 「主語」

vas voir ヴァ・ヴ・ワール 2 単現・近接未来(aller+不定詞)v.t 見るだろう 「動詞句」

ce ス pron ことを 「目的語」

qu' 句 pron (同格) ~という 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

va prendre.» ヴァ・プ・ロントル 3 単現・近接未来(aller+不定詞)

v.h ひどい目にあうだろう 「動詞句」

prendre プ・ロントル v.h (非人称・話し言葉) ひどい目に合う、殴られる

僕は、彼に向かって叫んだ。「気をつけろ！ナイフを持っているぞ！」

Je lui ai crié : «Attention, il a un couteau!»

「主語」「間接目的語」「動詞句」 : «「呼びかけ」「主語」「動詞」「目的語」»

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai crié : エ・クリエ 1 単現・完了形(crier)v.i 叫んだ 「動詞句」

«Attention, アトション n.n.f (命令) 気をつけろ！注意しろ！ 「呼びかけ」

il イル pron 奴は 「主語」

a ア 3 単現(avoir)v.t 持っている 「動詞」

un couteau!» アン・クトー n.m ナイフを 「目的語」

しかしレーモンはすでに腕を切られ、口にも切り傷をつけられていた。

Mais déjà Raymond avait le bras ouvert et la bouche tailladée.

Mais 「副詞」「主語」「動詞」「目的語」「補語」 et 「目的語」「補語」

Mais メ conj. しかし

déjà デジャ adv. もう、すでに 「副詞」

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (状態) ~をしていた 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|----------------------|------------------------------------|-------|
| le bras ル・ブラ n.m | 腕 | 「目的語」 |
| ouvert ウェール adj. | 切り開かれた | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| la bouche ラ・ブーシュ n.f | 口 | 「目的語」 |
| tailladée. テラデ | 過去分詞・受動.f(trailader)adj. 切り傷をつけられた | 「補語」 |

使役・受動のような構文：

avoir+直接目的語+補語（形容詞、過去分詞） 「... を～される」

マソンが前に跳び出た。

| | |
|---|---------------------|
| <u>Masson a fait un bond en avant.</u> | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Masson マソン n.m マソンが | 「主語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した | 「動詞句」 |
| un bond アン・ボン n.m 一跳び | 「目的語」 |
| en avant. オ・ナヴ ォン adv. 前に | 「副詞句」 |

しかしもう一人のアラブ人はすでに起き上がっていて、ナイフを持ったアラブ人の後ろに移動した。

| | |
|---|----------------------------------|
| Mais <u>l'autre Arabe s'était relevé et il s'est placé derrière celui qui était armé.</u> | Mais 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| l'autre Arabe ロートル・アラブ n.m もう一人のアラブ人は | 「主語」 |
| s'était relevé セテ・ルヴ [㇪] 3 単半・完了形(se relever)v.pr すでに起き上がっていた | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| s'est placé セ・プラセ 3 単現・完了形(se placer)v.pr 身を置いた | 「動詞句」 |
| derrière celui テリエール・スリュイ adv. アラブ人の後ろに | 「副詞句」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| était armé. エテ・アルメ 3 単半・受動(arm ^ㇼ er) | |
| v.t 武器 (ナイフ) を持った | 「動詞句」 |

僕たちは身動き出来なくなった。

| | |
|---|-----------|
| <u>Nous n'avons pas osé bouger.</u> | 「主語」「動詞句」 |
| Nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| n'avons pas osé bouger. ナヴ オン・パ・オセ・ブージュエ 1 複現・完了形・意思・否定 | |
| (oser+不定詞)v.i 身動き出来なくなった | 「動詞句」 |
| oser+不定詞 「思い切って～する、あえて～する」 | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らは僕たちをじっと見つめてナイフで脅しながら、ゆっくりと後退した。

Ils ont reculé lentement, sans cesser de nous regarder et de nous tenir en respect avec le couteau. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」

ont reculé オン・ルキュレ 3 複現・完了形(reculer)v.i 後ずさりした、後退した 「動詞句」

lentement, ロントケモン adv. ゆっくり 「副詞」

sans +不定詞 ソン adv. (様態) ～しないで 「副詞句」

cesser de +不定詞 セッセ・ドゥ 不定詞 v. ～するのを止める 「動詞句」

nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」

regarder ルギヤルテ 不定詞 v.t 見つめる 「動詞句」

et エ conj. そして

de +不定詞 ドゥ 不定詞 v.t ～する 「動詞句」

nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」

tenir en respect トゥニール・オン・レスペ 不定詞 v.t 脅す 「動詞句」

avec le couteau. アヴ・エッキ・ル・クトー adv. (道具) ナイフで 「副詞句」

彼らは十分に距離が取れたと思うと、素早く逃げ去った。その間、僕たちは太陽の下に釘付けされていて、レーモンは血の滴る腕をしっかりと押さえ続けていた。

Quand ils ont vu qu'ils avaient assez de champ, ils se sont enfuis très vite, pendant que nous restions cloués sous le soleil et que Raymond tenait serré son bras dégouttant de sang. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」

Quand コン conj. ～したとき 「副詞節」

ils イル pron.pl 彼らが 「主語」

ont vu オン・ヴェ 3 複現・完了形(voir)v.t (que ～であると) 分かった 「動詞句」

qu' ク conj. ～といういことを 「目的語」

ils イル pron 彼らは 「主語」

avaient アヴァエ 3 複半(avoir)v.t 取った 「動詞」

assez de アセ・ドゥ prep 十分な～を 「目的語」

champ, ション n.m 空間、距離 「目的語」

ils イル pron 彼らは 「主語」

se sont enfuis ス・ソ・ン・フエイ 3 複現・完了形(se fuir)v.pr 逃げ去った 「動詞句」

très vite, トレ・ヴィット adv. 素早く 「副詞句」

pendant que ポントソ・キ conj. その間～する 「副詞節」

nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

restions レスチオン 1 複半(rester)v.i ～のままになっていた 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|--|---------|
| cloués クルエ 過去分詞(clouer)adj.pl 釘付けになった | 「補語」 |
| sous le soleil ス・ル・ソレイユ adv. 太陽の下で | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| que キ conj. ～する間 | 「副詞節」 |
| Raymond レモン n.m レーモンは | 「主語」 |
| tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t (tenir qch+形容詞) ～の状態にしておいた | 「動詞」 |
| serré セレ adj. しっかりつかんだ | 「補語」 |
| son bras ソン・ブラ n.m 腕を | 「目的語」 |
| dégouttant テグトソ 現在分詞(dégoutter) | |
| v.i(de を) 滴らせている | 「形容詞句」 |
| de sang. トゥ・ソソ adv. 血を | 「間接目的語」 |
| 目的語が長いので、補語の後ろに置かれた | |

高台で毎週日曜日を過ごす医者がある、とすぐにマソンが言った。

| | |
|--|--------------------|
| <u>Masson a dit immédiatement qu'il y avait un docteur qui passait ses dimanches sur le plateau.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 |
| Masson マソソ n.m マソンは | 「主語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| immédiatement インメディアトゥメン adv. すぐに | 「副詞」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il y avait ア・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t ～がいた | 「動詞句」 |
| un docteur アン・ドクテール n.m 医者が | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| passait パセ 3 単半(passer)v.t (時間を) 過ごす | 「動詞」 |
| ses dimanches セ・ディモンシュ pl.n.m 毎週日曜日を | 「目的語」 |
| sur le plateau. シュール・ル・プラトー adv. 高台で | 「副詞句」 |

レーモンはすぐにそこへ行きたいと言った。

| | |
|---|----------------|
| <u>Raymond a voulu y aller tout de suite.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Raymond レモン n.m レーモンは | 「主語」 |
| a voulu y aller ア・ヴリュ・イ・アレ 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞 aller+y) | |
| v.i そこに行きたがった | 「動詞句」 |
| y aller イ・アレ 「そこに行く」 | |
| tout de suite. トゥ・トゥ・シュイト adv. すぐに | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし彼がしゃべるたびに、傷口からの血が口の中で泡になって溢れ出た。

Mais chaque fois qu'il parlait, le sang de sa blessure faisait des bulles dans sa bouche.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞句」

Mais メ conj. しかし

chaque fois シャッキ・フわ adv. 毎回

「副詞句」

qu' ク pron (同格) ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

parlait, パルレ 3 単半(parler)v.i 喋る

「動詞」

le sang ル・ソン n.m 血が

「主語」

de sa blessure トゥ・サ・ブレッシュール adj. 傷口からの

「形容詞句」

blessure ブレッシュール n.f 傷、けが

faisait フェ 3 単半(faire)v.t 生み出した

「動詞」

des bulles テ・ビュル pl.n.f 泡を

「目的語」

dans sa bouche. トン・サ・ブーシュ adv. 口の中に

「副詞句」

僕たちは彼を支えて、できる限り急いで別荘に戻った。

Nous l'avons soutenu et nous sommes revenus au cabanon aussi vite que possible.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

l' イル pron 彼を

「目的語」

avons soutenu アヴ・オン・ストウニュ 1 複現・完了形(soutenir)v.t 支えた

「動詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

sommes revenus ソム・ルヴニュ 1 複現・完了形.pl(revenir)v.i 戻った

「動詞句」

au cabanon オ・カバン・ン adv. 小さな別荘に

「副詞句」

aussi vite que possible. オシ・ヴィット・ケ・ポシブル adv. できる限り急いで

「副詞句」

aussi+形容詞・副詞+que possible 「できる限り～」

別荘につくとレーモンは、自分のけがはかすり傷だから自分で医者の方に行ける、と言いつた。

Là, Raymond a dit que ses blessures étaient superficielles et qu'il pouvait aller chez le docteur.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Là, ラー adv. そこで

「副詞」

Raymond レーモン n.m レーモンは

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | |
|------------------|--|-------------|-------|
| ses blessures | セ・ブレッシュール pl.n.f | 彼のけがは | 「主語」 |
| étaient | エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| superficielles | スペ・ルフイシエール adj.f.pl | 表面だけの、かすり傷の | 「補語」 |
| et | エ conj. | そして | |
| qu' | ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| pouvait aller | プ・ヴェ・タレ 3 単半・可能・時制の一致(pouvoir+不定詞 aller) | | |
| | v.i | 行くことができる | 「動詞句」 |
| chez le docteur. | シェ・ル・ドクテール adv. | 医者の中へ | 「副詞句」 |

彼はマソンと一緒に出かけに行った。僕は残って、女たちに今起こったことを説明した。

Il est parti avec Masson et je suis resté pour expliquer aux femmes ce qui était arrivé.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

| | | | |
|----------------|-----------------------------|-------------|---------|
| Il | イル pron | 彼は | 「主語」 |
| est parti | エ・パ・ルティ 3 単現・完了形(partir)v.i | 出かけに行った | 「動詞句」 |
| avec Masson | アヴ・ェッキ・マソン adv. | マソンと一緒に | 「副詞句」 |
| et | エ conj. | そして | |
| je | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| suis resté | シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i | 残った | 「動詞句」 |
| pour expliquer | プ・ール・エクスプリケ 不定詞 | （継続）そして説明した | 「副詞句」 |
| aux femmes | オ・ファミ adv. | 女たちに | 「間接目的語」 |
| ce | ス pron | ことを | 「直接目的語」 |
| qui | キ pron | （主語）～する | 「形容詞節」 |
| était arrivé. | エテ・アリヴェ 3 単半・完了形(arriver) | | |
| | v.i | 起こった | 「動詞句」 |

マソン夫人は泣き、マリーは青ざめていた。

Mme Masson pleurait et Marie était très pâle.

| | | | |
|------------|----------------------|----------|----------|
| Mme Masson | マダム・マソン n.f | マソン夫人は | 「主語」 |
| pleurait | プ・ル 3 単半(pleurer)v.i | 泣いていた | 「動詞」 |
| et | エ conj. | そして | |
| Marie | マリー n.f | マリーは | 「主語」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| très pâle. | トレ・パール adj. | 真っ青の | 「補語」 |
| | pâle | パール adj. | 青白い、青ざめた |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕としては、彼女たちに説明するのにうんざりしてきた。

Moi, cela m'ennuyait de leur expliquer. 「副詞」「目的語」「動詞」「主語」

Moi, ムわ pron 僕としては 「副詞」

cela スラ pron 仮の主語 (真の主語は de leur 以降)

m' ム pron 僕を 「目的語」

ennuyait エンヌイエ 3 単半(ennuey)v.t うんざりさせた 「動詞」

de +不定詞 トゥ 不定詞 n. ～することは 「主語」

leur レール pron 彼女たちに 「間接目的語」

expliquer. エクスプリケ 不定詞 v.t 説明する 「動詞」

Cela m'ennuie de+不定詞 「～するのは私はうんざりする、困る」

僕はついに黙り込んで、海を見ながらタバコを吸った。

J'ai fini par me taire et j'ai fumé en regardant la mer.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai fini par +不定詞 エ・フィニ・パール 1 単現・完了形・最終的(finir par+不定詞)

v. ついに～した 「動詞句」

me taire ム・テール 不定詞(se taire)v.pr 黙り込む 「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai fumé エ・フュメ 1 単現・完了形(fumer)v.i タバコを吸った 「動詞句」

en regardant オン・ルギヤルトン ジェロンディフ(regarder)adv. ～を見ながら 「副詞句」

la mer. ラ・メル n.f 海を 「目的語」

1 時半頃に、レーモンがマソンと一緒に戻ってきた。

Vers une heure et demie, Raymond est revenu avec Masson.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Vers ヴェール prep (時間) ～頃に 「副詞句」

une heure et demie, ユン・ヌール・エ・トゥミ n.f 1 時半 「目的語」

Raymond レーモン n.m レーモンが 「主語」

est revenu エ・ルヴニユ 3 単現・完了形(revenir)v.i 戻ってきた 「動詞句」

avec Masson. アヴ・エッキ・マソン adv. マソンと一緒に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼は、腕には包帯を巻き、口の端には絆創膏を貼っていた。

Il avait le bras bandé et du sparadrap au coin de la bouche.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (特徴) ～をしていた

「動詞」

le bras ル・ブラ n.m 腕

「目的語」

bandé ボンデ 過去分詞・受動(bonder)adj. 包帯を巻かれた

「形容詞」

et エ conj. そして

du sparadrap シュ・スパラトラ n.m 絆創膏

「目的語」

au coin オ・クワン adv. 端に

「副詞句」

de la bouche. ト・カ・ラ・ブーシュ adj. 口の

「形容詞句」

医者は彼に傷は大したことはないと言っていたのだが、レーモンの様子はとても暗かった。

Le docteur lui avait dit que ce n'était rien, mais Raymond avait l'air très sombre.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 mais 「主語」「動詞」「目的語」

Le docteur ル・ドイクトール n.m 医者は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

avait dit アヴェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 言っていた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

ce ス pron この傷は

「主語」

n'était ネ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない

「動詞」

rien, リン pron 何～ない

「補語」

mais メ conj. しかし

Raymond レモン n.m レーモンは

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (特徴) ～をしていた

「動詞」

l'air レール n.m 様子を

「目的語」

très sombre. トレ・ソムブル adj. とても暗い

「形容詞句」

マソンはレーモンを笑わせようと試みた。

Masson a essayé de le faire rire.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「補語」

Masson マソン n.m マソンは

「主語」

a essayé de +不定詞 ア・エッセイエ・トゥ 3 単現・完了形・試行(essayer de+不定詞)

v. ～しようと試みた

「動詞句」

le ル pron 彼を

「目的語」

faire フェール 不定詞・使役 v.t ～させる

「動詞句」

rire. リール 不定詞・le の動作 v.i 笑う

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

しかし彼は相変わらず話そうとしなかった。

Mais il ne parlait toujours pas.

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

ne parlait ...pas. ヌ・パル...パ 3 単半・否定(parler)v.i 話さなかった

「動詞句」

toujours トゥジュール adv. 相変わらず

「副詞」

彼が浜辺に降りてくると言うので、僕は彼にどこへ行くつもりなのかと尋ねた。

Quand il a dit qu'il descendait sur la plage, je lui ai demandé où il allait.

「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Quand コン conj. ～するとき

「副詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼が

「主語」

descendait テンテ 3 単半・時制の一致・意志(descendre)v.i 降りる

「動詞」

sur la plage, シュール・ラ・プラージュ adv. 浜辺に

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai demandé エ・ト・ウモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

où il allait. ウ・イ・アレ n. どこへ行くつもりなのかと

「直接目的語」

彼は、新鮮な空気を吸いたいんだ、と答えた。

Il m'a répondu qu'il voulait prendre l'air. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a répondu ア・レ・ボンジュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

voulait prendre ヴレ・フ・ロントル 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t (新鮮な空気を) 吸いたい

「動詞句」

l'air. レール n.m 空気を

「目的語」

注意：

この文は、対訳 フランス語で読もう「異邦人」では、抜け落ちている。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

マソンと僕は一緒に行くと言った。

Masson et moi avons dit que nous allions l'accompagner. 「主語」「動詞句」「目的語」
 Masson et moi マソ・エ・ムわ pl.n.m マソンと僕は 「主語」
 avons dit アヴ・オン・ディ 1 複現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
 allions l'accompagner. アリオン・ラコンパ・ニエ 1 複半・時制の一致・近接未来・意志(aller+il)
 v.i 彼と一緒にいくつもりである 「動詞句」

すると彼は怒りだして、僕たちをののしった。

Alors, il s'est mis en colère et nous a insultés. 「副詞」, 「主語」「動詞句」 et 「目的語」「動詞句」
 Alors, アロー adv. すると 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'est mis en colère セ・ミ・オン・コレール 3 単現・完了形・開始(se mettre en+無冠詞名詞 colère)
 v.pr 怒りだした 「動詞句」
 colère コレール n.f 怒り
 et エ conj. そして
 nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」
 a insultés. ア・アンシュルテ 3 単現・完了形.pl(insulter)v.t 罵った 「動詞句」

マソンは、彼に逆らわないほうがいい、と僕に言い渡した。それでも僕は、彼の後について行った。

Masson a déclaré qu'il ne fallait pas le contrarier. Moi, je l'ai suivi quand même.
 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」
 Masson マソ n.m マソンは 「主語」
 a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t(que ～と) 言い渡した 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il ne fallait pas +不定詞 イル・ヌ・ファレ・パ 3 単半・非人称・時制の一致(il falloir+不定詞)
 v.h ～すべきではない 「動詞句」
 le ル pron ル 彼に 「目的語」
 contrarier. コントリエ 不定詞 v.t ～に逆らう 「動詞句」
 Moi, je ムわ・ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 ai suivi エ・シュイグアイ 1 単現・完了形(suivre)v.t 後について行った 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

quand même. コン・メム adv. それでも、やはり 「副詞句」

～すべき :

ある行為を指して、それを行う必要がある、または行う方が有益である、といったことを述べる表現。

僕たちはしばらく浜辺を歩いた。

Nous avons marché longtemps sur la plage. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

avons marché アヴ・オン・マルシェ 1 複現・完了形(marcher)v.i 歩いた 「動詞句」

longtemps ロントン adv. 長い間、しばらく 「副詞」

sur la plage. シュール・ラ・プラーージュ adv. 浜辺を 「副詞句」

太陽は今や猛烈な勢いになっていた。

Le soleil était maintenant écrasant. 「主語」「動詞」「補語」

Le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

maintenant マントゥナン adv. 今では、今や 「副詞」

écrasant. エクラザン adj. 猛烈な 「補語」

陽射しは、砂や海に反射して、辺りに碎け散っていた。

Il se brisait en morceaux sur le sable et sur la mer. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 太陽は 「主語」

se brisait ス・ブリゼ 3 単半(se briser)v.pr 碎けていた 「動詞句」

en morceaux オン・モルソー adv. 断片になって 「副詞句」

sur le sable シュール・ル・サブル adv. 砂に反射して 「副詞句」

et エ conj. そして

sur la mer. シュール・ラ・メル adv. 海に反射して 「副詞句」

僕は、レーモンはどこへ行くのか分かっているという印象を持っていた。しかしそれは間違っていたようだ。

J'ai eu l'impression que Raymond savait où il allait, mais c'était sans doute faux.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞」「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t あった 「動詞句」

l'impression ランプレシオン n.f 印象 「目的語」

que ク pron (同格) ~するという 「形容詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|----------------------------------|-----------------|-------|
| Raymond レモン n.m | レーモンは | 「主語」 |
| savait サヴェ 3 単半・時制の一致(savoir)v.t | 知っている | 「動詞」 |
| où il allait, ウ・イ・アレ n. | 彼がどこへ行くのかということを | 「目的語」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| c' す pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| sans doute ツン・ドゥット adv. | おそらく、多分、きっと | 「副詞句」 |
| faux. フォー adj. | 間違った | 「補語」 |

浜辺の外れで僕たちは結局、大きな岩の後ろの砂地から湧き出している小さな泉に着いた。

| | |
|--|-----------------------|
| <u>Tout au bout de la plage, nous sommes arrivés enfin à une petite source qui coulait dans le sable, derrière un gros rocher.</u> | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Tout au bout トゥ・ト・ブー adv.(de ～の) はずれで | 「副詞句」 |
| tout トゥ adv. (強調) 全くの au bout de... 「～のはずれで、～の端に、果てに」 | |
| de la plage, ドゥ・ラ・プ ラージュ adj. 浜辺の | 「形容詞句」 |
| nous ヌ pron 僕たちは | 「主語」 |
| sommes arrivés ソム・ザリヴェ 1 複現・完了形(arriver)v.i 着いた | 「動詞句」 |
| enfin オンファン adv. 結局、ついに | 「副詞」 |
| à une petite source ア・エヌ・プ ティット・スルス adv. ある小さな泉に | 「副詞句」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| coulait クレ 3 単半・時制の一致(couler)v.i 流れる、湧き出す | 「動詞」 |
| dans le sable, ドン・ル・サブル adv. 砂地から | 「副詞句」 |
| derrière デリエール prep ～の後ろで | 「副詞句」 |
| un gros rocher. アン・グロ・ロシェ n.m 大きな岩 | 「目的語」 |

結局、ついに :

結局とは、いろいろの経過を経て最初は決まっていなかったある結末に落ち着いたさま。
ついにとは、長い時間ののちに、最初に設定したある目標に達するさま。

そこに、例のアラブ人 2 人がいるのが見つけた。

| | |
|---|----------------------|
| <u>Là, nous avons trouvé nos deux Arabes.</u> | 「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Là, ラ adv. そこに | 「副詞」 |
| nous ヌ pron.pl 僕たちは | 「主語」 |
| avons trouvé アヴィオン・トルヴェ 1 複現・完了形(trouver)v.t 見つけた | 「動詞句」 |
| nos deux Arabes. ノ・ドゥ・ザラブ pl.n.m 例のアラブ人 2 人を | 「目的語」 |
| nos ノ adj. (所有形容詞) 我々の → 我々と関係がある、因縁のある | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼らは、油で汚れた菜っ葉服を着て、寝転がっていた。

Ils étaient couchés, dans leurs bleus de chauffe graisseux. 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 étaient couchés, エ・グシエ 3 複半・完了形(pl(coucher)v.i 寝ころんでいた 「動詞句」
 dans トン prep 〜の中で、〜を着て 「副詞句」
 leurs bleus de chauffe レール・ブル・トゥ・ショフ n.f 青の作業服、菜っ葉服 「目的語」
 graisseux. グレス adj. 油で汚れた 「形容詞」

彼らは、全く穏やかで、ほぼ満足した様子をしていた。

Ils avaient l'air tout à fait calmes et presque contents. 「主語」「動詞」「目的語」
 Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 avaient アヴェ 3 複半(avoir)v.t (状態を) していた 「動詞」
 l'air レール n.m 様子を 「目的語」
 tout à fait トゥ・タ・フェ adv. 全く、完全に 「副詞句」
 calmes カム adj.pl 穏やかな 「形容詞」
 et エ conj. そして
 presque プレスキ adv. ほとんど 「副詞」
 contents. コントン adj. 満足した 「形容詞」

僕たちが来ても彼らの様子は何も変わらなかった。

Notre venue n'a rien changé. 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」
 Notre venue ノル・ヴァニユ n.f 我々の到来は 「主語」
 n'a ...changé. ナ...シヨンジエ 3 単現・完了形・否定(changer)v.t 変えなかった 「動詞句」
 rien リャン pron 何も〜ない 「目的語」

レーモンを殴った男は、無言で、彼を見つめていた。

Celui qui avait frappé Raymond le regardait sans rien dire. 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 Celui スユイ pron その男は 「主語」
 qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 avait frappé アヴェ・フラヘ 3 単半・完了形(frapper)v.t 殴った 「動詞句」
 Raymond レモン n.m レーモンを 「目的語」
 le ル pron 彼を 「目的語」
 regardait ルギャルテ 3 単半(regarder)v.t じっと見つめていた 「動詞」
 sans +不定詞 ソン adv. 〜しないで 「副詞句」
 rien リャン pron 何も〜ない 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

dire. ティール 不定詞 v.t 言う

「動詞」

もう一人は葦笛を吹いていた。僕たちを横目で睨みながら、その楽器で出せる 3 つの音色を休みなく繰り返していた。

L'autre soufflait dans un petit roseau et répétait sans cesse, en nous regardant du coin de l'oeil, les trois notes qu'il obtenait de son instrument.

「主語」「動詞」「間接目的語」 et 「動詞」「副詞句」「目的語」

L'autre ロートル pron もう一人は 「主語」

soufflait スフレ 3 単半(souffler)v.i(dans を) (管楽器を) 吹いていた 「動詞」

dans un petit roseau トン・サン・プティ・ロゾ adv. 葦笛を 「間接目的語」

et エ conj. そして

répétait レパテ 3 単半(répéter)v.t ～を繰り返していた 「動詞」

sans cesse, ソン・セッサ adv. 休みなく 「副詞句」

en +現在分詞 オン adv. ～しながら 「副詞句」

nous ヌ pron 僕たちを 「目的語」

regardant ルギヤルトン 現在分詞 v.t 見る 「動詞」

du coin de l'oeil, ジュクワントゥルイユ adv. 目の隅から、横目で 「副詞句」

les trois notes レトゥルワ・ノット pl.n.f 3 つの音色を 「目的語」

qu' ク pron ～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

obtenait オブトゥネ 3 単半(obtenir)v.t 得られる 「動詞」

de son instrument. トゥ・ソン・インストリュモン adv. その楽器で 「副詞句」

この間ずっと、太陽と静寂だけが辺りを支配しており、時折、泉のかすかなざわめきや葦笛の 3 つの音色が聞こえた。

Pendant tout ce temps, il n'y a plus eu que le soleil et ce silence, avec le petit bruit de la source et les trois notes.

「副詞句」「動詞句」「目的語」, 「副詞句」

Pendant tout ce temps, ポントントゥ・ストン adv. この間ずっと 「副詞句」

il n'y a plus eu que イル・ニア・プリュ・イ・キ 3 単現・完了形・限定(il y avoir+ne...plus que)

v.t ～しかなかった 「動詞句」

le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽 「目的語」

et エ conj. そして

ce silence, ス・シロンス n.m 静寂 「目的語」

avec アヴェツキ prep ～を加えて 「副詞句」

le petit bruit ル・プティ・ブリュイ n.m かすかなざわめき 「目的語」

de la source トゥ・ラ・スルス adj. 泉の 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

les trois notes. レ・トルワ・ノット pl.n.f その3つの音色

「目的語」

それからレーモンは尻ポケットに手をやった。だが相手は身動きせず、二人はそのまま睨みあった。

Puis Raymond a porté la main à sa poche revolver, mais l'autre n'a pas bougé et ils se regardaient toujours.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

mais 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから

「副詞」

Raymond レモン n.m レーモンは

「主語」

a porté ア・ポルテ 3 単現・完了形(porter)v.t(+la main à... ～に手を) やった

「動詞句」

la main ラ・マン n.f 手を

「目的語」

à sa poche revolver, ア・サ・ポ ッシュ・ルヴォルヴエ adv. 尻ポケットに

「副詞句」

poche revolver ポ ッシュ・レヴォルヴエ n.f 尻ポケット

mais メ conj. しかし

l'autre ロートル pron 相手は

「主語」

n'a pas bougé ナ・パ・ビジエ 3 単現・完了形・否定(bouger)v.i 身動きしなかった

「動詞句」

et エ conj. そして

ils イル pron.pl 彼らは(レーモンと相手は)

「主語」

se regardaient スルギヤルテ 3 複半・相互(se regarder)v.pr 睨みあった

「動詞句」

toujours. トゥジユール adv. そのまま、相変わらず

「副詞句」

僕は、葦笛を吹いている奴の足の指どうしがやけに離れていることに気が付いた。

J'ai remarqué que celui qui jouait de la flûte avait les doigts des pieds très écartés.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai remarqué エ・マルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t(que ～という事に) 気づいた

「動詞句」

que ク conj. ということを

「目的語」

celui スライ pron この男は

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

jouait ジュエ 3 単半・時制の一致(jouer)

v.i(de を) 演奏している、吹いている

「動詞」

de la flûte トゥ・ラ・フルト adv. 葦笛を

「間接目的語」

avait アヴエ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t (身体的特徴) ～をしている

「動詞」

les doigts レ・トゥリ pl.n.m 指

「目的語」

des pieds デ・ピエ adj. 足の

「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

très écartés. トレ・エカルテ adj. とても間隔が広い、とても離れた 「補語」

しかし、目は相手をにらみながら、レーモンは僕に言った：「こいつを撃とうか？」

Mais sans quitter des yeux son adversaire, Raymond m'a demandé: «Je le descends?»

Mais 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」: 《「主語」「目的語」「動詞」》

Mais メ conj. しかし

sans +不定詞 ソン adv. ~しないで 「副詞句」

quitter キテ 不定詞 v.t 離れる 「動詞」

des yeux デ・ジュ pl.n.m 目は 「主語」

son adversaire, ソン・アドヴァエルテール n.m 相手から 「目的語」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé: ア・ドゥモンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 訊いた 「動詞句」

«Je ジュ pron 俺が 「主語」

le ル pron こいつを 「目的語」

descends?» デソン 1 単現(descendre)v.t (話し言葉) (人を) 撃ち殺す 「動詞」

僕は、もしやめろと言ったら、彼は一人で興奮して間違いなく撃つだろうと思った。

J'ai pensé que si je disais non il s'exciterait tout seul et tirerait certainement.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 考えた 「動詞句」

que ク conj. ~ということを 「目的語」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

disais デイセ 1 単半・仮定法(dire)v.t 言ったとする 「動詞」

non ノ adv. (否定) だめだ 「応答」

il ル pron 彼は 「主語」

s'exciterait セクシトレ 条・3 単現・推測(s'exciter)v.pr 興奮するだろう 「動詞句」

tout seul トゥ・スール adv. ひとりだけで、自分一人で 「副詞句」

et エ conj. そして

tirerait チルレ 条・3 単現・推測(tirer)v.i (銃を) 撃つだろう 「動詞」

certainement. セルテヌモン adv. 確実に、間違いなく 「副詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はとにかく言った：「相手はまだ話していない。この状況で撃てば、君が卑怯者になる」

Je lui ai seulement dit: «Il ne t'a pas encore parlé. Ça ferait vilain de tirer comme ça.»

「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」 | 「動詞」「補語」「主語」》

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai seulement dit: エ・スルモン・ティ 1 単現・完了形(dire+ seulement)

v.t とにかく言った 「動詞句」

«Il イル pron 奴は 「主語」

ne ...a pas encore parlé. ス...ア・パ・ゾソコール・パル 3 単現・完了形・否定

v.i まだ話していない 「動詞句」

t' トゥ pron 君に 「間接目的語」

Ça サ pron 仮の主語 (真の主語は de tirer 以降)

ferait フ 3 単末(faire)v.i ~になるだろう 「動詞」

vilain ヴェイン adj. 卑怯な 「補語」

de tirer トゥ・フレ 不定詞 v.t 撃つことは 「主語」

comme ça. コム・サ adv. この状況で 「副詞句」

僕たちは、静寂と暑さの奥で、水と葦笛の小さなざわめきがまた聞こえた。

On a encore entendu le petit bruit d'eau et de flûte au coeur du silence et de la chaleur.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

On オン pron (動詞は三人称単数形) 僕たちは 「主語」

a encore entendu ア・オコール・オントンジュ 3 単現・完了形(entendre)v.t また聞こえた 「動詞句」

le petit bruit ル・プティ・ブリュイ n.m 小さなざわめきが 「目的語」

d'eau et de flûte トー・エ・トゥ・フルト adj. 水と葦笛の 「形容詞句」

au coeur オ・ケール adv. ~の奥で 「副詞句」

du silence ジュ・シロンス adj. 静寂の 「形容詞句」

et エ conj. そして

de la chaleur. トゥ・ラ・シャレル adj. 暑さの 「形容詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それからレーモンが言った:「それなら、俺が奴を侮辱してやる、そして奴が応じてきたら、俺が撃ってやる」

Puis Raymond a dit : «Alors, je vais l'insulter et quand il répondra, je le descendrai.»

「副詞」「主語」「動詞句」:

《「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

Raymond レーモン n.m レーモンが 「主語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Alors, アロー adv. それなら 「副詞」

je ジュ pron 俺は 「主語」

vais...insulter ヴェ...アンシュルテ 1 単現・近接未来・意思(aller+不定詞)

v.t 侮辱してやる 「動詞句」

l' ル pron 奴を 「目的語」

et エ conj. そして

quand コン conj. ～したとき 「副詞節」

il イル pron 奴が 「主語」

répondra, レポンドラ 3 単末(répondre)v.i 応じてくる 「動詞」

je ジュ pron 俺が 「主語」

le ル pron 奴を 「目的語」

descendrai.» テツントレ 1 単末・意思(descendre)v.t 撃ってやる 「動詞」

僕は答えた:「それがいい。だが相手がナイフを取り出すまでは、撃ってはいけない」

J'ai répondu: «C'est ça. Mais s'il ne sort pas son couteau, tu ne peux pas tirer.»

「主語」「動詞句」:《「応答」 | Mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」》

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai répondu: エ・レポンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」

«C'est ça. セ・サ adv. それがいい 「応答」

Mais メ conj. しかし

s' シ conj. もし～ならば 「副詞節」

il イル pron 奴が 「主語」

ne sort pas ノ・ソール・パ 3 単現・否定(sortir)v.t 取り出さない 「動詞句」

son couteau, ソン・クトゥ n.m ナイフを 「目的語」

tu チュ pron 君は 「主語」

ne peux pas tirer.» ノ・プ・パ・フレ 2 単現・許可・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 撃ってはいけない 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

レーモンは少し興奮し始めた。

Raymond a commencé à s'exciter un peu.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Raymond レーモン n.m レーモンは

「主語」

a commencé à +不定詞 ア・コモン・ア 3 単現・完了形・開始(comencer à+不定詞)

v. ～し始めた

「動詞句」

s'exciter セクセ 不定詞 v.pr 興奮する

「動詞句」

un peu. アン・プ° adv. 少し

「副詞句」

もう一方の男は相変わらず葦笛を吹いていたが、二人共レーモンのしぐさを観察していた。

L'autre jouait toujours et tous deux observaient chaque geste de Raymond.

「主語」「動詞」「副詞」 et 「主語」「動詞」「目的語」

L'autre ロートル pron もう一方の男は

「主語」

jouait ジュエ 3 単半(jouer)v.t 葦笛を吹いていた、演奏していた

「動詞」

toujours トゥジュール adv. 相変わらず

「副詞」

et エ conj. そして

tous deux トゥ・ドゥ pron 二人とも

「主語」

observaient オブセルベ° 3 複半(observer)v.t 観察していた、見守っていた

「動詞」

chaque geste シャッキ・ジェスト n.m それぞれのしぐさを

「目的語」

de Raymond. ドゥ・レーモン adj. レーモンの

「形容詞句」

「だめだ！」と、僕はレーモンに言った。「素手で1対1で相手をしろ、そして僕に君のリボルバーをよこせ。もう一人が加わったり、そいつがナイフを取り出したりしたら、僕がそいつを撃ってやる」

«Non, ai-je dit à Raymond. Prends-le d'homme à homme et donne-moi ton revolver. Si l'autre intervient, ou s'il tire son couteau, je le descendrai.»

《「呼びかけ」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」, 》,

「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」, 《「副詞節」, 「主語」「目的語」「動詞」》

«Non, ノ adv. (否定) だめだ、やめろ

「呼びかけ」

ai ...dit エ...ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

à Raymond. ア・レーモン adv. レーモンに

「間接目的語」

Prends プロン 命・2 単現(prendre)v.t 相手にしろ

「動詞」

le ル pron そいつを

「目的語」

d'homme à homme トム・ア・オム adv. 男同士で、素手で1対1で

「副詞句」

生身の体で、しかも1対1で

et エ conj. そして

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|----------------------------|-------------------------------|---------|
| donne ドヌ 命・2 単現(donner)v.t | よこせ | 「動詞」 |
| moi ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| ton revolver. トン・ルヴォルヴヱ | n.m 君のリボルバーを | 「直接目的語」 |
| Si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| l'autre ロートル pron | もう一人が | 「主語」 |
| intervient, インテルヴィヤン | 3 単現(intervenir)v.i 参加する、加わる | 「動詞」 |
| ou ウ conj. | それとも | |
| s' シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| il イル pron | そいつが | 「主語」 |
| tire チル | 3 単現(tirer)v.t 取り出す | 「動詞」 |
| son couteau, ソン・クトー | n.m ナイフを | 「目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| le ル pron | そいつを | 「目的語」 |
| descendrais. ドゥソンドレ | 1 単未・意思(descendre)v.t 撃つ、撃ち殺す | 「動詞」 |

レーモンが僕にリボルバーを渡した時、日の光がその上で反射した。

Quand Raymond m'a donné son revolver, le soleil a glissé dessus.

| | | |
|-------------------------|---------------------------------|------------------------|
| Quand コン conj. | ～するとき | 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 |
| Raymond レモン | n.m レーモンが | 「副詞節」 |
| m' ム on | 僕に | 「主語」 |
| a donné ア・ドネ | 3 単現・完了形(donner)v.t よこした、渡した | 「間接目的語」 |
| son revolver, ソン・ルヴォルヴヱ | n.m リボルバーを | 「動詞句」 |
| le soleil ル・ソレイユ | n.m 日光が、太陽が | 「直接目的語」 |
| a glissé ア・グリセ | 3 単現・完了形(glisser)v.i (光が) 差し込んだ | 「主語」 |
| dessus. ドゥシュ | adv. その上に | 「動詞句」 |
| | 太陽が金属製の拳銃の上に差し込む → 光が反射する | 「副詞」 |

だが僕たちは、まるで周りをすべて塞がれたかのように、相変わらず動かないままでいた。

Pourtant, nous sommes restés encore immobiles comme si tout s'était refermé autour de nous.

| | | |
|---------------------|---|-----------------------|
| Pourtant, プルトン | adv. だけど、それでも | 「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 |
| nous ヌ pron.pl | 僕たちは | 「副詞」 |
| sommes restés | ヌム・レステ 1 複現・完了形.pl(rester)v.i ～のままでいた | 「主語」 |
| encore immobiles | オンコール・インモビブル adj.pl(immobile) 相変わらず動かない | 「動詞句」 |
| comme si コム・シ conj. | あたかも～であるかのように | 「補語」 |
| | | 「副詞節」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

tout トゥ pron すべてが 「主語」

s'était refermé セテ・ルフェルメ 3 単半・受動(se refermer)

v.pr ふさがれた 「動詞句」

autour de nous. オトゥール・トゥ・ヌ adv. 僕らの周りを 「副詞句」

僕たちは、目を下げずに、お互いに睨みあった。そしてここではすべてが、海と砂と太陽の間で、そして葦笛と水の2重の静寂の間に静止していた。

Nous nous regardions sans baisser les yeux et tout s'arrêtait ici entre la mer, le sable et le soleil, le double silence de la flûte et de l'eau.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」

nous regardions ヌ・ルギヤルディオン 1 複半・相互(regarder)v.pr お互いに睨みあった 「動詞句」

sans +不定詞 ソン adv. ～せずに 「副詞句」

baisser ベッセ 不定詞 v.t 下げる 「動詞」

les yeux レ・ジユ pl.n.m 目を 「目的語」

et エ conj. そして

tout トゥ pron すべてが 「主語」

s'arrêtait サレテ 3 単半(s' arrêter)v.pr (動きが)止まっていた 「動詞句」

ici イ adv. ここで 「副詞」

entre オントル prep. ～の間で 「副詞句」

la mer, ラ・メル n.f 海 「目的語」

le sable ル・サーブル n.m 砂 「目的語」

et エ conj. そして

le soleil, ル・ソレイユ n.m 太陽 「目的語」

le double silence ル・トゥブル・シロンス n.m 2重の静寂 「目的語」

de la flûte et de l'eau. トゥ・ラ・フルト・エ・トゥ・ロー

adj. 葦笛と水の 「形容詞句」

僕はこの時思った。これは撃つことになるかもしれない、もしかしたら、撃たないで済むかもしれない。

J'ai pensé à ce moment qu'on pouvait tirer ou ne pas tirer.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 思った 「動詞句」

à ce moment ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

on オン pron (動詞は三人称単数形) 僕たちは 「主語」
 pouvait tirer プゥェ・フレ 3 単半・可能性(pouvoir+不定詞)
 v.t 撃つことになるかもしれない 「動詞句」
 ou ウ conj. または
 ne pas tirer. ス・パ・フレ 3 単半・可能性・否定(pouvoir+不定詞)
 v.t 撃たないで済むかもしれない 「動詞句」

しかし不意に、アラブ人たちは、後ずさりして岩陰に消えていった。

Mais brusquement, les Arabes, à reculons, se sont coulés derrière le rocher.

Mais 「副詞」「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし
 brusquement, ブリュスキモン adv. 不意に、急に 「副詞」
 les Arabes, レ・サ・ラブ pl.n.m アラブ人たちは 「主語」
 à reculons, ア・ルキュロン adv. 後ずさりして 「副詞句」
 se sont coulés ス・ツ・クレ 3 複現・完了形.pl(se couler)v.pr 滑り込んだ 「動詞句」
 derrière デリエール prep ~の後ろに 「副詞句」
 le rocher. ル・ロシェ n.m 岩 「目的語」

そこでレーモンと僕は引き返した。

Raymond et moi sommes alors revenus sur nos pas.

「主語」「動詞句」

Raymond et moi レーモン・エ・ムワ pl.n レーモンと僕は 「主語」
 sommes alors revenus ソム・アロー・ルヴニユ 1 複現・完了形.pl(revenir)
 v.i(sur ses pas) 引き返した 「動詞句」
 sur nos pas. シュール・ノ・パ adv. 自分たちの足跡の上を 「副詞句」
 revenir sur se pas 「引き返す、方針を撤回する」

彼は具合が良くなったようで、帰りのバスについて話を始めた。

Lui paraissait mieux et il a parlé de l'autobus du retour.

「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Lui リュイ pron 彼は 「主語」
 paraissait パレ 3 単半(paraître)v.i ~のように見えた 「動詞」
 mieux ミュ adj. 具合が良い 「補語」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i(de について) 話した 「動詞句」
 de l'autobus トゥ・オートビュス adv. バスについて 「間接目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

du retour. シュ・ルトゥール adj. 帰りの

「形容詞句」

僕は、別荘まで彼に付き添った。そして彼が木の階段を登っていく間、僕は最初の1段を前にして立ち止まっていた。太陽のせいで頭が鳴り響いていたし、木の段を上がった、また女たちと話をする苦勞を考えると、階段を上る氣力が失ってしまったのだ。

Je l'ai accompagné jusqu'au cabanon et, pendant qu'il gravissait l'escalier de bois, je suis resté devant la première marche, la tête retentissante de soleil, découragé devant l'effort qu'il fallait faire pour monter l'étage de bois et aborder encore les femmes.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Je シュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼に

「目的語」

ai accompagné エ・アコンパニエ 1 単現・完了形(accompagner)v.t に付き添った

「動詞句」

jusqu'au cabanon シュスコ・キャバノン adv. 別荘まで

「副詞句」

et, エ conj. そして

pendant ポントン prep ~の間

「副詞句」

qu' ク conj. ~ということ

「目的語」

il イル pron 彼が

「主語」

gravissait グラヴィッセ 3 単半(gravir)v.t (階段を)を登っていた

「動詞」

l'escalier レスカリエ n.m 階段を

「目的語」

de bois, トゥ・ブワ adj. (材料) 木でできた、木の

「形容詞句」

je シュ pron 僕は

「主語」

suis resté シュイ・レステ 1 単現・完了形(rester)v.i 立ち止まっていた

「動詞句」

devant トゥ・ヴァン prep ~の前で

「副詞句」

la première marche, ラ・プルミエール・マルシュ n.f 最初の1段

「目的語」

marche マルシュ n.f (階段の) 段、ステップ

la tête ラ・テット n.f 頭が~するので

「副詞句」

retentissante ルンチソント 現在分詞.f(retentir)v.i 鳴り響いている

「動詞」

de soleil, トゥ・ソレイユ adv. 太陽のせいで

「副詞句」

découragé デ・クラジェ 過去分詞・受動(décourager)adv. 氣力を失って

「副詞句」

devant l'effort トゥ・ヴァン・レフォール adv. 努力を前にして

「副詞句」

qu' ク pron (目的語) ~する

「形容詞節」

il fallait faire イル・ファレ・フェール 3 単半・非人称・必要(il falloir +不定詞)

v.t ~をしなければならない

「動詞句」

pour monter プール・モンテ adv. 上がるために

「副詞句」

l'étage de bois レタージュ・トゥ・ブワ

n.m 木の段を

「目的語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

et エ conj. そして

aborder アボルデ

adv.(pour aborder) 話しかけるために 「副詞句」

encore オンコール adv. また 「副詞」

les femmes. レ・ファム pl.n.f 女たちに 「目的語」

しかし、空から降ってくる、目をくらませる雨の下でじっとしているのも耐えられないほどの暑さだった。

Mais la chaleur était telle qu'il m'était pénible aussi de rester immobile sous la pluie aveuglante qui tombait du ciel. Mais 「主語」「動詞」「副詞節」

Mais メ conj. しかし

la chaleur ラ・シャレール n.f 暑さは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

telle qu' テル・キ adv. ～するほど 「副詞節」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は aussi de 以降)

m' ム pron 僕にとって 「間接目的語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

pénible ペニブル adj. 我慢できない 「補語」

aussi de +不定詞 オン・ドゥ 不定詞 n. ～することも 「主語」

rester レステ 不定詞 v.i ～のままでいる 「動詞」

immobile インモビル adj. 動かない 「補語」

sous la pluie ス・ラ・ブリュ adv. 雨の下で 「副詞句」

aveuglante アウグロント adj.f 目をくらませる 「形容詞」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

tombait トンベ 3 単半(tomber)

v.i 降る 「動詞」

du ciel. ジュ・シエル adv. 空から 「副詞句」

ここに留まろうが、立ち去ろうが、結局は同じことだ。

Rester ici ou partir, cela revenait au même. 「主語」「動詞」「補語」

Rester レステ 不定詞 v.i 留まることは 「主語」

ici イシ adv. ここに 「副詞」

ou ウ conj. または

partir, パルティール 不定詞 v.i 立ち去ることは 「主語」

cela スラ pron それは 「主語」

revenait ルヴネ 3 単半(revenir)v.i(à に) (結局は) 結果になる 「動詞」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

au même. オ・メム adv. 同じことに

「補語」

少しして、僕は浜辺のほうに戻り、歩き始めた。

Au bout d'un moment, je suis retourné vers la plage et je me suis mis à marcher.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞句」

Au bout d' オ・ブ・トウ prep 〜の後で

「副詞句」

un moment, アン・モモン n.m 短い時間

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

suis retourné シュイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(retourner)v.i 戻った

「動詞句」

vers la plage ヴェール・ラ・プラージュ adv. 浜辺のほうへ

「副詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis mis à +不定詞 ム・シュイ・ミ・ア 1 単現・完了形(se mettre à+不定詞)

v.pr 〜し始めた

「動詞句」

marcher. マルシェ 不定詞 v.i 歩く

「動詞句」

同じ赤の爆発だった。

C'était le même éclatement rouge.

「主語」 「動詞」 「補語」

C' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

le même éclatement ル・メム・エクラトゥモン n.m 同じ爆発

「補語」

rouge. ルージュ adj. 赤い

「形容詞」

海は、砂の上で、小さな波で小刻みに息切れするような、精一杯の息づかいで喘いでいた。

Sur le sable, la mer haletait de toute la respiration rapide et étouffée de ses petites vagues.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Sur le sable, シュール・ル・サブル adv. 砂の上で

「副詞句」

la mer ラ・メル n.f 海は

「主語」

haletait アルテ 3 単半(haleter)v.i あえいでいた

「動詞」

de トウ prep (手段) 〜によって

「副詞句」

toute la respiration トゥット・ラ・レスピラシヨン n.f すべての呼吸

「目的語」

rapide ラピト adj. 速い

「形容詞」

et エ conj. そして

étouffée エトゥフェ 過去分詞・受動.f(étouffer)v.t 窒息させられた 「形容詞句」

de ses petites vagues. トウ・セ・プティット・ヴァーク

adv. (動作主) 小さな波によって

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕はゆっくり岩場のほうへ歩いて行った。僕の額が太陽の熱線で膨れ上がるのを感じた。

Je marchais lentement vers les rochers et je sentais mon front se gonfler sous le soleil.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

marchais マルシェ 1 単半(marcher)v.i 歩いた

「動詞」

lentement ロントゥモン adv. ゆっくり

「副詞」

vers les rochers ヴェール・レ・ロシェ adv. 岩場のほうへ

「副詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は

「主語」

sentais ソンテ 1 単半・知覚動詞(sentir)v.t 感じた

「動詞」

mon front モン・フロン n.m 私の額が

「目的語」

se gonfler ス・ゴンフレ 不定詞・front の動作 v.pr 膨れる

「補語」

sous le soleil. スル・ソレイユ adv. 太陽のもとで

「副詞句」

この熱気のすべてが、僕にのしかかってきて、僕の前進を妨げた。

Toute cette chaleur s'appuyait sur moi et s'opposait à mon avance.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「動詞句」「間接目的語」

Toute cette chaleur トット・セット・シャール n.f この熱気のすべてが

「主語」

s'appuyait サピュイエ 3 単半(s'appuyer)v.pr(sur に) もたれかかってきた

「動詞句」

sur moi シュール・ムワ adv. 僕に

「間接目的語」

et エ conj. そして

s'opposait ソポゼ 3 単半(s'opposer)v.pr(à を、に) 妨げた

「動詞句」

à mon avance. ア・モノ・サヴォンス adv. 僕の前進を

「間接目的語」

そして、熱い息を顔の上に感じるたびに、僕は歯を食いしばり、ズボンのポケットの中で両手のこぶしを握り締め、太陽とそれが僕に注ぎ込んでいる不透明な陶酔に打ち勝とうとして全身が緊張した。

Et chaque fois que je sentais son grand souffle chaud sur mon visage, je serrais les dents, je fermais les poings dans les poches de mon pantalon, je me tendais tout entier pour triompher du soleil et de cette ivresse opaque qu'il me déversait.

Et 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

「主語」「動詞句」「副詞句」

Et エ conj. そして

chaque fois que シャッキ・フワ・キ conj. ～するたびに

「副詞節」

je ジュ pron 私は

「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|---------|
| sentais ソンテ 1 単半(sentir)v.t 感じた | 「動詞」 |
| son grand souffle chaud ソン・グロン・スフル・ショー n.m 熱い息を | 「目的語」 |
| sur mon visage, シュール・モン・ヴィザージュ adv. 顔の上に | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| serrais セレ 1 単半(serrer)v.t (歯を) 食いしばった | 「動詞」 |
| les dents, レ・ドン pl.n.f 歯を | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| fermais フェルメ 1 単半(fermer)v.t (こぶしを) 握った、閉めた | 「動詞」 |
| les poings レ・プワソ pl.n.m 両手の握りこぶしを | 「目的語」 |
| dans les poches ドン・レ・ポッシュ adv. ポケットの中で | 「副詞句」 |
| de mon pantalon, トゥ・モン・パントロン adj. ズボンの | 「形容詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me tendais ム・トンデ 1 単半(se tendre)v.pr 緊張した | 「動詞句」 |
| tout entier トゥ・オンチエ adv. 全身が | 「副詞句」 |
| pour triompher プール・トリヨンフェ adv. ～に打ち勝つために | 「副詞句」 |
| du soleil ジュ・ソレイユ adv. 太陽に | 「間接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| de cette ivresse opaque トゥ・セツ・イヴレス・オパッキ | |
| adj. この不透明な陶酔に | 「間接目的語」 |
| qu' ク pron (同格) ～する | 「形容詞節」 |
| il イル pron それが | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| déversait. テヴエルセ 3 単半(déverser) | |
| v.t 注ぎ込んでいる | 「動詞」 |

緊張する me tendais : tout entier の役割

無意識または外的要因により緊張するのであって、自ら緊張するのではない。したがって、tout entier は「緊張させる」の目的語ではなく、「緊張する」の副詞句である。

砂から、白くなった貝殻から、ガラスの破片から、光の刃がほとばしるたびに、僕のあごはひきつった。僕はいつまでも歩き続けた。

À chaque épée de lumière jaillie du sable, d'un coquillage blanchi ou d'un débris de verre, mes mâchoires se crispaient. J'ai marché longtemps.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「副詞」

| | |
|--------------------------------------|--------|
| À chaque épée ア・シャッキ・エペ adv. 刃ごとに | 「副詞句」 |
| de lumière トゥ・リュミエール adj. 光の | 「形容詞句」 |
| jaillie ジャイ 過去分詞(jailir)adj.f ほとばしった | 「形容詞」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|---------------------------|---------------------------------|--------|
| du sable, ジュ・サーブル | adv. 砂から | 「副詞句」 |
| d'un coquillage タン・コキヤージュ | adv. 貝殻から | 「副詞句」 |
| blanchi ブロシ | 過去分詞(blanchir) | |
| adj. 白くなった | | 「形容詞」 |
| ou ウ | conj. または | |
| d'un débris タン・デブリ | adv. 破片から | 「副詞句」 |
| de verre, トゥ・ヴェール | adj. ガラスの | 「形容詞句」 |
| mes mâchoires メ・マシュワール | pl.n.f 僕の顎は | 「主語」 |
| se crispaient. ス・クリスパ | 3 複半(se crisper)v.pr (顔が) ひきつった | 「動詞句」 |
| J' ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai marché エ・マルシェ | 1 単現・完了形(marcher)v.i 歩いた | 「動詞句」 |
| longtemps. ロント | adv. いつまでも、ずっと | 「副詞」 |

僕は遠くに、光と波のしぶきが作る眩しい光のかさに包まれた、黒っぽい小さい岩の塊が見えた。

Je voyais de loin la petite masse sombre du rocher entourée d'un halo aveuglant par la lumière et la poussière de mer.

| | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------------|--------|
| Je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| voyais | ウ・ワイ | 1 単半(voir)v.t 見えた | 「動詞」 |
| de loin | トゥ・ルワ | adv. 遠くに | 「副詞句」 |
| la petite masse | ラ・プティット・マッセ | n.f 小さい塊 | 「目的語」 |
| sombre | ソンプル | adj. 黒っぽい | 「形容詞」 |
| du rocher | ジュ・ロッシェ | adj. 岩の | 「形容詞句」 |
| entourée | オントゥレ | 過去分詞・受動(entourer)adj.f 包まれた | 「形容詞」 |
| d'un halo | タン・アロ | | |
| adv. | (動作主) | 日のカサで、光の輪によって | 「副詞句」 |
| aveuglant | アヴグロン | adv. 目をくらませる | 「形容詞」 |
| par | パール | adv. (手段) ~によって | 「副詞句」 |
| la lumière | ラ・リュミエール | n.f 光 | 「目的語」 |
| et | エ | conj. そして | |
| la poussière | ラ・プシェール | n.f 粉末 | 「目的語」 |
| de mer. | トゥ・メル | | |
| adj. | 海の | 「形容詞句」 | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は、岩陰の冷たい泉のことを思い浮かべた。

Je pensais à la source fraîche derrière le rocher. 「主語」「動詞」「間接目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 pensais ポンセ 1 単半(penser)v.i(à のことを) 考えた 「動詞」
 à la source ア・ラ・スルス adv. 泉のことを 「間接目的語」
 fraîche フレッシュ adj.f(frais) 冷たい 「形容詞」
 derrière le rocher. デリエール・ル・ロシェ adv. 岩陰の 「副詞句」

僕はその水のささやきを思い出したかった。太陽や努力や女の涙から逃れたかった。要するに僕は、日陰とその安らぎを見つけたかった。

J'avais envie de retrouver le murmure de son eau, envie de fuir le soleil, l'effort et les pleurs de femme, envie enfin de retrouver l'ombre et son repos.

「主語」「動詞」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t. ～があった 「動詞」
 avoir envie de+不定詞 「～したかった」 avoir envie de qch 「～が欲しい」
 éprouver l'envie de+不定詞 「～したいと思う」
 envie de +不定詞 オンヴァイ・トゥ n.f. ～する願望 「目的語」
 retrouver ルトゥルヴエ 不定詞 v.t. 思い出す、見つける 「動詞」
 le murmure de son eau, ル・ミュルミュール・トゥ・ソンのオー n.m. 水のささやき 「目的語」
 envie de fuir オンヴァイ・トゥ・フュール n.f. 逃れる願望 「目的語」
 le soleil, ル・ソレイユ n.m. 太陽 「目的語」
 l'effort レフォル n.m. 努力 「目的語」
 et エ conj. そして
 les pleurs de femme, レ・プールの・トゥ・ファム pl.n.m. 女の涙 「目的語」
 envie enfin de retrouver オンヴァイ・オンファン・トゥ・ルトルヴエ n.f. つまり見つける願望 「目的語」
 l'ombre ロンブル n.f. 日陰 「目的語」
 et エ conj. そして
 son repos. ソン・レスト n.m. その安らぎ 「目的語」

しかし、さらに近づくと、レーモンの相手のやつが戻って来ているのが見えた。

Mais quand j'ai été plus près, j'ai vu que le type de Raymond était revenu.

Mais 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし
 quand コン conj. ～すると 「副詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | |
|---|---------|--------|
| ai été エ・エテ 1 単現・完了形(être)v.i | ～に行った | 「動詞句」 |
| plus près, プリュ・プレ adv. | もっと近くに | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t | 見えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということが | 「目的語」 |
| le type ル・チップ n.m | やつ、男 | 「主語」 |
| de Raymond トゥ・レーモン adj. | レーモンの | 「形容詞句」 |
| était revenu. エ・ルヴニユ 3 単半・完了形(revenir)v.i | 戻ってきていた | 「動詞句」 |

彼は一人だった。両手をうなじの下に、額は岩陰に、そして体全体は太陽に向けて、仰向けに寝転んでいた。

Il était seul. Il reposait sur le dos, les mains sous la nuque, le front dans les ombres du rocher, tout le corps au soleil.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」, 「副詞句」

| | | |
|-------------------------------|---------|------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| seul. スル adj. | 一人 | 「補語」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| reposait ル・セ 3 単半(reposer)v.i | 横になっていた | 「動詞」 |

この自動詞の使い方は文語的な表現

| | | |
|-----------------|------|-------|
| sur シュール prep | ～の上に | 「副詞句」 |
| le dos, ル・ト n.m | 背中 | 「目的語」 |

sur le dos → 仰向けに

これ以降の動詞は他動詞に変わる、reposait ル・セ 3 単半(reposer)v.t 置いていた

様態のジェロンディフ en reposant ...が省略されたものと考えられる。

| | | |
|--|--------------|-------|
| les mains レ・マン pl.n.f | 両手 | 「目的語」 |
| sous la nuque, ス・ラ・ニュッキ adv. | うなじの下に | 「副詞句」 |
| | 両手をうなじの下において | |
| le front ル・フロン n.m | 額 | 「目的語」 |
| dans les ombres du rocher, トン・レ・オンブル・ジユ・ロシェ adv. | 岩陰に | 「副詞句」 |
| tout le corps トゥ・ル・コール n.m | 体全体 | 「目的語」 |
| au soleil. オ・ルイユ adv. | 太陽に | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

彼の菜っ葉服は暑さで湯気を立てていた。僕は少し意表を突かれた。

Son bleu de chauffe fumait dans la chaleur. J'ai été un peu surpris.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Son bleu de chauffe ソン・ブル・トウ・ショフ n.m 彼の菜っ葉服は 「主語」

bleu de chauffe ブル・トウ・ショフ n.m (ボイラーマンなどの) 作業服、菜っ葉服

fumait フュメ 3 単半(fumer)v.i 湯気を立てていた 「動詞」

dans la chaleur. トン・ラ・シャール adv. 暑さで 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai été エ・エテ 1 単現・完了形(être)v.i 〜だった 「動詞句」

un peu surpris. アン・プ・シュルプリ adj. 少し驚いた、意表を突かれた 「補語」

僕にとって、それは終わった話だったので、そのことを考えずにここにやってきたのだ。

Pour moi, c'était une histoire finie et j'étais venu là sans y penser.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Pour moi, プール・ムわ adv. 僕にとっては 「副詞句」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

une histoire finie ユンヌ・イストワール・フィニ n.f 終わった話 「補語」

histoire イストワール n.f 話、物語 finie フィニ adj.f(fini) 終わった

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

étais venu エテ・ヴァニュ 1 単半・完了形(venir)v.i 来た 「動詞句」

là ラ adv. ここに 「副詞」

sans +不定詞 ソン prep 〜せずに 「副詞句」

y イ adv. そのことについて 「間接目的語」

penser. ポンセ 不定詞 v.i 考える 「動詞」

僕を見つけると急いで、彼は少し体を起こして、片手をポケットに突っ込んだ。

Dès qu'il m'a vu, il s'est soulevé un peu et a mis la main dans sa poche.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」「副詞句」

Dès qu'+直説法 デ・ク adv. 〜するやいなや 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a vu, ア・ヴェ 3 単現・完了形(voir)v.t 見つけた 「動詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

s'est soulevé セ・スルヴェ 3 単現・完了形(se soulever)v.pr 起き上がった 「動詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---------------------------------------|-------|
| un peu アン・フ° adv. 少し | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| a mis ア・ミ 3 単現・完了形(mettre)v.t 置いた | 「動詞句」 |
| la main ラ・マン n.f 片手を | 「目的語」 |
| dans sa poche. ドン・サ・ポ° ッシュ adv. ポケットに | 「副詞句」 |

僕は、当然のように、上着の中にあるレーモンの拳銃を握りしめた。

Moi, naturellement, j'ai serré le revolver de Raymond dans mon veston.

| | |
|--|------------------------|
| | 「主語」「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Moi, ムワ pron 僕は | 「主語」 |
| naturellement, ナチュレルモン adv. 当然 | 「副詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai serré エ・セレ 1 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた、しっかりつかんだ | 「動詞句」 |
| le revolver ル・ルヴ° オルヴ° エール n.m 拳銃を | 「目的語」 |
| de Raymond トゥ・レーモン adj. レーモンの | 「形容詞句」 |
| dans mon veston. ドン・モン・ヴ° エストン adv. 上着の中の | 「副詞句」 |

すると再び、彼は仰向けになったが、手はポケットに入れたままだった。

Alors de nouveau, il s'est laissé aller en arrière, mais sans retirer la main de sa poche.

| | |
|---|----------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 mais 「副詞句」 |
| Alors アロー adv. すると | 「副詞」 |
| de nouveau, トゥ・ヌーヴ° オー adv. また、ふたたび | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| s'est laissé +不定詞 3 単現・完了形・使役(se laisser) | |
| v. 〜になった | 「動詞句」 |
| aller アレ 不定詞 v.i (状態が) 〜である、行く | 「動詞句」 |
| en arrière, オン・アリエール adv. 仰向けに | 「副詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| sans +不定詞 ソン adv. 〜せずに | 「副詞句」 |
| retirer ルチレ 不定詞 v.t 引き出す | 「動詞」 |
| la main ラ・マン n.f 手を | 「目的語」 |
| de sa poche. トゥ・サ・ポ° ッシュ adv. ポケットから | 「副詞句」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は彼からかなり離れた、およそ 10 メートル位の距離にいた。

J'étais assez loin de lui, à une dizaine de mètres. 「主語」「動詞」「副詞句」

J' ジュ pron 私は 「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ～にいた 「動詞」

assez loin アセ・ルワン adv. かなり遠くに 「副詞句」

de lui, トゥ・リュイ adv. 彼から 「副詞句」

à une dizaine de mètres. ア・ユヌ・デ・イゼ・ヌ・メートル

adv. およそ 10 メートル位の距離に 「副詞句」

僕は、彼の半ば閉じた瞼の間から、時々ぼくをうかがう彼の視線を感じた。

Je devinais son regard par instants, entre ses paupières mi-closes.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」, 「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

devinais トゥガ・ィネ 1 単半(deviner)v.t 見抜いた、推察した 「動詞」

son regard ソン・ルギヤール n.m 彼の視線を 「目的語」

par instants, パー・ランストン adv. (=de temps en temps) 時々 「副詞句」

entre オントル prep ～の間に 「副詞句」

ses paupières セ・ポビエール pl.n.f まぶた 「目的語」

mi-closes. ミ・クロス adj. 半ば閉じた 「形容詞句」

mi- ミ adj. 半分、半ば closes クロス adj.f.pl(clos) 閉じた

しかし、たいていの場合、彼の姿は熱気の中で、僕の目の前で揺れ動いていた。

Mais le plus souvent, son image dansait devant mes yeux, dans l'air enflammé.

Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

le plus souvent, ル・プリュ・スヴオン adv. たいていは、多くは 「副詞句」

son image ソン・イマージュ n.f 彼の姿は 「主語」

son ソン adj.f(son) 彼の (名詞が母音または h で始まる場合は sa の代わりとする)

dansait トンセ 3 単半(danser)v.i 揺れていた、踊っていた 「動詞」

devant mes yeux, トゥヴァン・メ・ジュ adv. 私の目の前で 「副詞句」

dans l'air enflammé. トン・レール・オンフラメ adv. 燃えるような空気の中で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

正午と比べて、波の音はずっと緩やかで静かだった。

Le bruit des vagues était encore plus paresseux, plus étale qu'à midi.

「主語」「動詞」「補語」「副詞句」

Le bruit ル・ブリュイ n.m 音は 「主語」
des vagues テ・ヴァーク adj.pl 波の 「形容詞句」
était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
encore plus paresseux, オンコル・プ・リュ・パ・レスー adv. さらに緩やかな 「補語」
plus étale プ・リュ・エタル adj. もっと静かな 「補語」
qu'à midi. クわ・ミディ adv. (比較) 正午に比べて 「副詞句」

ここまで続く同じ砂の上にも、同じ太陽と同じ光が照りつけていた。

C'était le même soleil, la même lumière sur le même sable qui se prolongeait ici.

「動詞句」「主語」「副詞句」

C'était セテ 3 単半(ce être)v.i 〜があつた 「動詞句」
le même soleil, ル・メム・ソレイユ n.m 同じ太陽が 「主語」
la même lumière ラ・メム・リュミエール n.f 同じ光が 「主語」
sur le même sable シュール・ル・メム・サブル adv. 同じ砂の上に 「副詞句」
qui キ pron(主語) 〜する 「形容詞節」
se prolongeait ス・プ・ロンジエ 3 単半(se prolonger)
v.pr 〜に続く 「動詞句」
ici. イシ adv. ここに 「副詞」

もう 2 時間前から、昼間が前に進んでいなかった。2 時間前から、昼は煮えたぎる金属の大海に錨を投げ込んでいた。

Il y avait déjà deux heures que la journée n'avancait plus, deux heures qu'elle avait jeté l'ancre dans un océan de métal bouillant.

「動詞句」「目的語」「副詞節」, 「目的語」「副詞節」

Il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir+時間+que+直説法)
v.t (時間)... 前から〜していた、〜してから... たっていた 「動詞句」
déjà deux heures デジャ・トゥ・ゼール pl.n.f もう 2 時間 「目的語」
que ク conj. (時間の起点) 〜してから 「副詞節」
la journée ラ・ジュールネ n.f 昼間が 「主語」
n'avancait plus, ナヴ・オンセ・プリュ 3 単半・否定(avancer)
v.i (時間的に) 進んでいなかった 「動詞句」
deux heures トゥ・ゼール pl.n.f もう 2 時間 「目的語」
qu' ク conj. (時間の起点) 〜してから 「副詞節」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | |
|---|--------|
| elle エル pron (la journée の代用) 昼は | 「主語」 |
| avait jeté アヴェ・ジェテ 3 単半・完了形(jeter)v.t ~を投げ込んでいた | 「動詞句」 |
| l'ancre アンクル n.f 錨を | 「目的語」 |
| dans un océan ドン・サン・セアン adv. 大海に | 「副詞句」 |
| de métal トゥ・メタル adj. 金属の | 「形容詞句」 |
| bouillant. ブイヨン adj. 煮えたぎっている | 「形容詞」 |

水平線のかなたを、小さな汽船が通り過ぎた。僕は汽船の小さな黒い点を視界の片隅で捉えていた、なぜなら、僕はアラブ人から目を離さずにいたから。

À l'horizon, un petit vapeur est passé et j'en ai deviné la tache noire au bord de mon regard, parce que je n'avais pas cessé de regarder l'Arabe.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 et

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 「副詞句」, 「副詞節」

| | |
|--|---------|
| À l'horizon, ア・ロリゾン adv. 水平線に | 「副詞句」 |
| un petit vapeur アン・プティ・ヴァペール n.m 小さな汽船が | 「主語」 |
| est passé エ・パッセ 3 単現・完了形(passer)v.i 通過した、通った | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| en オン pron (de lui, de le vapeur の代用) それの | 「間接目的語」 |
| ai deviné エ・トゥヴェーネ 1 単現・完了形(deviner)v.t (どうにか) 見分けた | 「動詞句」 |
| la tache noire ラ・タッシュ・ヌワール n.f 黒い斑点を | 「直接目的語」 |
| au bord オ・ボー ル adv. 縁に | 「副詞句」 |
| de mon regard, トゥ・モン・ルギヤール adj. 僕の視界の | 「形容詞句」 |
| parce que パルス・キ conj. ~なので | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'avais pas cessé de regarder ナヴェ・パ・セ・トゥ・ルギヤールテ 1 単半・完了形・中止・否定 (cesser de+不定詞)v.t ~を見つめるのを止めないでいた | 「動詞句」 |
| l'Arabe. ララブ n.m アラブ人を | 「目的語」 |

僕は、引き返しさえすれば良い、そうすれば終わるだろう、と思っていた。

J'ai pensé que je n'avais qu'un demi-tour à faire et ce serait fini.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | |
|--|-------|
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 思った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ~ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

n'avais qu' ナヴ ェ・ク 1 単半・否定(avoir)v.t(ne...que) ～しかない 「動詞句」
 un demi-tour カン・ドミ・トゥール n.m 引き返すこと 「目的語」
 à faire ア・フェール 不定詞 adj. するべきは 「形容詞句」
 n'avoir qu'à+不定詞 「～しさえすればよい」
 et エ conj. そして
 ce ス pron それは 「主語」
 serait fini. スル・フィニ 条・3 単現・完了形・推量(finir)v.i 終わるだろう 「動詞句」

しかし、僕の背後では、太陽の熱気で浜辺全体が震えて、不穏な音を立てていた。

Mais toute une plage vibrante de soleil se pressait derrière moi.

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし
 toute une plage トゥット・エンヌ・プ ラージュ n.f 浜辺全体が 「主語」
 vibrante ヴィブ ラント 過去分詞・受動.f(vibrer)adj. 震えている 「形容詞」
 de soleil ドゥ・ソレイユ adv. 太陽によって 「副詞句」
 se pressait ス・プレセ 3 単半(se presser)v.pr ひしめいていた 「動詞句」
 derrière moi. デリエール・ムー adv. 僕の背後で 「副詞句」

ひしめく：

ひとところに多くの人や物が押しあうようにしている。また、集まって騒ぐ。
 ぎしぎしと音がする。

不穏な：

危険な感じがするさま、場の雰囲気が穏やかでなく落ち着かないさまなどを表す。

僕は泉のほうへ数歩進んだ。

J'ai fait quelques pas vers la source. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t (行為を) した 「動詞句」
 quelques pas ケルキ・パ pl.n.m 数歩 「目的語」
 vers la source. ヴェール・ラス adv. 泉のほうへ 「副詞句」

アラブ人は身動きしなかった。いずれにしても、彼はまだかなり遠くにいた。

L'Arabe n'a pas bougé. Malgré tout, il était encore assez loin.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

L'Arabe ララブ n.m アラブ人は 「主語」
 n'a pas bougé. ナ・パ・ブージュ 3 単現・完了形・否定(bouger)v.i 身動きしなかった 「動詞句」
 Malgré tout, マルグレ・トゥ adv. いずれにしても、それでもやっぱり 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | | |
|-------------|---------|---------------|--------|-------|
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半(être)v.i | ～にいた | 「動詞」 |
| encore | オンコール | adv. | まだ | 「副詞」 |
| assez loin. | アセ・ル・わソ | adv. | かなり遠くに | 「副詞句」 |

顔にできた日陰のせいだろうが、彼は笑っているように見えた。僕は待った。

Peut-être à cause des ombres sur son visage, il avait l'air de rire. J'ai attendu.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」

Peut-être プ・テートル adv. (ひよつとすると) ～かもしれない 「副詞句」

à cause ア・コース adv.(de ～の) せいで 「副詞句」

des ombres テ・ゾンブル adj.pl 影の 「形容詞句」

sur son visage, シュール・ソソ・ウ・イザージュ adv. 顔の 「副詞句」

il イル | pron | 彼は | 「主語」 |

avait アヴ・エ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態) ～をしていた 「動詞」

l'air レール n.m 様子 「目的語」

de rire. トゥ・リール adj. 笑っている 「形容詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai attendu. エ・アトージュ 1 単現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」

太陽による焼け付くような痛みが頬にまで達し、汗の滴が眉に溜まってくるのを感じた。

La brûlure du soleil gagnait mes joues et j'ai senti des gouttes de sueur s'amasser dans mes sourcils.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

La brûlure ラ・ブリュール n.f やけど、焼け付く痛みが 「主語」

du soleil ジュ・ソレイユ adj. (動作主) 太陽による 「形容詞句」

gagnait ガニエ 3 単半(gagner)v.t (場所に) 達していた 「動詞」

mes joues メ・ジュール pl.n.f 頬に 「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai senti エ・ソチ 1 単現・完了形・知覚動詞(sentir)

v.t(SVO+不定詞 O が～するのを) 感じた 「動詞句」

des gouttes テ・グット pl.n.f 水滴が 「目的語」

de sueur トゥ・シュエール adj. 汗の 「形容詞句」

s'amasser サマセ 不定詞 v.pr 溜まってくる 「補語」

dans mes sourcils. トン・メ・スルシ adv. 僕の眉に 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それは僕が母さんを埋葬した日と同じ太陽だった。そしてあの日と同じように、とりわけ額が痛んで、すべての血管が皮膚の下で同時に脈打っていた。

C'était le même soleil que le jour où j'avais enterré maman et, comme alors, le front surtout me faisait mal et toutes ses veines battaient ensemble sous la peau.

「主語」「動詞」「補語」 et

「副詞句」「主語」「副詞」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」 et

「主語」「動詞」「副詞句」

C' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 le même soleil ル・メム・ソレイユ n.m 同じ太陽 「補語」
 que ク conj. (比較) ～と 「副詞句」
 le jour ル・ジュール n.m あの日 「目的語」
 où ウ adv. ～する 「形容詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 avais enterré アヴ・ェ・オンテレ 1 単半・完了形(enterrer)
 v.t 埋葬した 「動詞句」
 maman マモン n.f 母さんを 「目的語」
 et, エ conj. そして
 comme alors, コム・アロー adv. あの時と同様に 「副詞句」
 le front ル・フロン n.m 額が 「主語」
 surtout シュルトウ adv. とりわけ 「副詞」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 faisait フェ 3 単半(faire)v.t 作った、与えた 「動詞」
 mal マル n.m 痛みを 「直接目的語」
 et エ conj. そして
 toutes ses veines トゥット・セ・ヴェヌ pl.n.f すべての血管が 「主語」
 battaient バテ 3 複半(battre)v.i (脈を) 打った 「動詞」
 ensemble オンソンプル adv. 同時に、一緒に 「副詞」
 sous la peau. ス・ラ・ポー adv. 皮膚の下で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

もう耐えられないほどの焼け付くような痛みのために、僕は前に移動した。

A cause de cette brûlure que je ne pouvais plus supporter, j'ai fait un mouvement en avant. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

A cause de cette brûlure ア・コース・ド・トゥ・セツ・ブリュール

adv. この焼け付くような痛みのせいで

「副詞句」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

je ジュ pron 私は

「主語」

ne pouvais plus supporter, ヌ・プ・ヴァ・プ・リュ・シュポルテ 1 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t. もう我慢できない、もう耐えられない

「動詞句」

j' ジュ pron 私は

「主語」

ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した

「動詞句」

un mouvement アン・ムーヴモン n.m 動きを

「目的語」

en avant. オン・ナヴァン adv. 前に

「副詞句」

僕は、こんなことをするのは馬鹿げているということや、1 歩くらい動いたからといって太陽から逃れることはできないということは、分かっていた。

Je savais que c'était stupide, que je ne me débarrasserais pas du soleil en me déplaçant d'un pas. 「主語」 「動詞」 「目的語」, 「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

savais サヴェ 1 単半(savoir)v.t 分かっていた

「動詞」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

c' ス pron こんなことは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～である

「動詞」

stupide, スチュピット adj. 愚かな

「補語」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

je ジュ pron 私は

「主語」

ne me débarrasserais pas ヌ・ム・デバラスレ・パ 条・1 単現・推量・否定(se débarrasser)

v.pr 免れないだろう

「動詞句」

du soleil ジュ・ソレイユ adv. 太陽から

「副詞句」

en +現在分詞 オン adv. (手段) ～することによって

「副詞句」

me déplaçant ム・デプラソン 現在分詞(se déplacer)v.pr 移動する

「動詞句」

d'un pas. ダン・パ adv. 1 歩だけ

「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

それでも僕は、1歩、たった1歩前に進んだ。

Mais j'ai fait un pas, un seul pas en avant. Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai fait エ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した

「動詞句」

un pas, アン・パ° n.m 1 歩

「目的語」

un seul pas アン・スル・パ° n.m たった1歩

「目的語」

en avant. オン・ナヴ°ン adv. 前に

「副詞句」

すると今度は、起き上がらずにナイフを取り出し、僕のほうに太陽に向けて突き上げた。

Et cette fois, sans se soulever, l'Arabe a tiré son couteau qu'il m'a présenté dans le soleil.

Et 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Et エ conj. そして

cette fois, セット・フワ adv. 今度は

「副詞句」

sans +不定詞 adv. (様態) ~しないで

「副詞句」

se soulever, ス・スルヴ°エ 不定詞 v.pr 起き上がる

「動詞句」

l'Arabe ララブ° n.m アラブ人は

「主語」

a tiré ア・チレ 3 単現・完了形(tirer)v.t 取り出した

「動詞句」

son couteau ソン・クト° n.m ナイフを

「目的語」

qu' ク pron (目的語・継続) そしてそれを~する

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a présenté ア・プレゼンテ 3 単現・完了形(présenter)

v.t 差し出した、突き出した

「動詞句」

dans le soleil. ドン・ル・ソレイユ adv. 太陽に向かって、太陽の中に

「副詞句」

鋼の上で、光がほとばしった。それは僕の額にまで達する、きらめく長い刃のようだった。

La lumière a giclé sur l'acier et c'était comme une longue lame étincelante qui m'atteignait au front. 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「補語」

La lumière ラ・リュミエール n.f 光が

「主語」

a giclé ア・ジクレ 3 単現・完了形(dicler)v.i ほとばしった

「動詞句」

sur l'acier シュール・ラシエ adv. そののがねの上に

「副詞句」

et エ conj. そして

c' ス pron それが

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

comme コム conj. ~のような

「補語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

| | | | | |
|-----------------|-----------|-------------------------|----------------|---------|
| une longue lame | ユヌ・ロング・ラム | n.f | 長い刃 | 「目的語」 |
| étincelante | エタンスロントゥ | adj.f | きらめく | 「形容詞」 |
| qui | キ | pron | (主語・継続) それが～する | 「形容詞節」 |
| m' | ム | pron | 僕の | 「間接目的語」 |
| atteignait | アテニエ | 3 単半(atteindre)v.i(à に) | 達した | 「動詞」 |
| au front. | オ・フロン | adv. | 額に | 「副詞句」 |

同時に、眉にたまっていた汗が、一挙に瞼の上に流れ落ちて、それらを生ぬるくて分厚いヴェールで覆った。

Au même instant, la sueur amassée dans mes sourcils a coulé d'un coup sur les paupières et les a recouvertes d'un voile tiède et épais.

| | | | | |
|-------------------|--------------|-----------------------------|-------------|--|
| | | | | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 |
| Au même instant, | オ・メム・アンスト | adv. | 同時に、ちょうどその時 | 「副詞句」 |
| la sueur | ラ・シュエール | n.f | 汗が | 「主語」 |
| amassée | アマッセ | 過去分詞.f(amasser) | 溜まった | 「形容詞句」 |
| dans mes sourcils | ドン・メ・スルシ | adv. | 眉に | 「副詞句」 |
| a coulé | ア・クレ | 3 単現・完了形(couler)v.i | 流れ出た | 「動詞句」 |
| d'un coup | ダン・クー | adv. | 一挙に | 「副詞句」 |
| sur les paupières | シュール・レ・ポピエール | adv. | 瞼の上に | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| les | レ | pron.pl | それらを | 「目的語」 |
| a recouvertes | ア・ルクヴエールト | 3 単現・完了形.f.pl(recouvrir)v.t | 覆った | 「動詞句」 |
| d'un voile | ダン・ヴァール | adv. | (動作主) ヴェールで | 「副詞句」 |
| tiède | チエト | adj. | なまぬるい | 「形容詞」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| épais. | エペ | adj. | 分厚い | 「形容詞」 |

涙と塩のカーテンに閉ざされて、僕の目は見えなくなっていた。

Mes yeux étaient aveuglés derrière ce rideau de larmes et de sel.

| | | | | |
|------------------|---------|----------------------|------------|------------------|
| | | | | 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 |
| Mes yeux | メ・ジュー | pl.n.m(oeil) | 僕の目は | 「主語」 |
| étaient aveuglés | エテ・アウグレ | 3 複半・受動(aveugler)v.t | 失明させられた | 「動詞句」 |
| derrière | デリエール | prep | ～の裏で | 「副詞句」 |
| ce rideau | スリト | n.m | このカーテン、遮蔽物 | 「目的語」 |
| de larmes | トゥ・ラルム | adj. | (材料) 涙の | 「形容詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |

PREMIÈRE PARTIE 第1部

de sel. トゥ・セル adj. (材料) 塩の

「形容詞句」

僕はもう、額の上で打ち鳴らされる太陽のシンバルと、相変わらず僕の正面にあるナイフからほとばしったぼんやり輝く剣しか感じなかった。

Je ne sentais plus que les cymbales du soleil sur mon front et, indistinctement, le glaive éclatant jailli du couteau toujours en face de moi.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sentais plus que ス・ンテ・プ・リュ 1 単半・否定(sentir)v.t もう～しか感じなかった「動詞句」

les cymbales du soleil レ・サンバル・ジュー・ソレイユ pl.nf 太陽のシンバル

「目的語」

sur mon front シュール・モン・フロン adv. 僕の額の上の

「副詞句」

et, エ conj. そして

indistinctement, アンディスタンクトモン adv. ぼんやりと

「副詞」

le glaive ル・グ・レーヴ n.m 剣

「目的語」

éclatant エクラトン 現在分詞(éclater)adj. 輝く、光を放つ

「形容詞」

jailli ジャイイ 過去分詞(jaillir)adj. 噴き出した、ほとばしった

「形容詞句」

du couteau ジュ・クトー adv. ナイフから

「副詞句」

toujours トジュール adv. 相変わらず

「副詞」

en face de moi. オン・ファス・トゥ・ムわ

adv. 僕の正面にある

「副詞句」

焼けるようなこの剣は、僕の睫毛を苛み、痛む目をえぐった。

Cette épée brûlante rongait mes cils et fouillait mes yeux douloureux.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「動詞」「目的語」

Cette épée セット・エペ n.f この剣は

「主語」

brûlante ブリュントゥ adj.f(brûlant) 焼けるような

「形容詞」

rongait ロンジエ 3 単半(ronger)v.t 蝕んだ、さいなんだ

「動詞」

mes cils メ・シル pl.n.m 僕の睫毛を

「目的語」

et エ conj. そして

fouillait フーイェ 3 単半(fouiller)v.t 掘り返した

「動詞」

mes yeux メ・ジュー pl.n.m(oeil) 僕の目を

「目的語」

douloureux. ドゥルー adj. 痛む

「形容詞」

苛む(さいなむ) :

叱ったり責めたたりする。苦しめる。いじめる。

PREMIÈRE PARTIE 第1部

すべてが揺らいだのは、その時だ。海は濃厚で、燃えるような息吹を運んできた。

C'est alors que tout a vacillé. La mer a charrié un souffle épais et ardent.

「動詞」「補語」「主語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 節）強調構文「～したのはその時だ」

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

alors アール adv. その時 「補語」

que ク conj. ～ということは 「主語」

tout トゥ pron すべてが 「主語」

a vacillé. ア・ヴァシエ 3 単現・完了形(vaciller)v.i ぐらついた、ゆらめいた 「動詞句」

La mer ラ・メル n.f 海は 「主語」

a charrié ア・シャリエ 3 単現・完了形(charier)v.t 運んできた 「動詞句」

un souffle アン・スフル n.m 息吹を 「目的語」

épais エペ adj. 濃厚な 「形容詞」

et エ conj. そして

ardent. アルトン adj. 燃えるような 「形容詞」

僕には、空が全体に渡って開け放たれ、火の雨が降ってくるように思われた。

Il m'a semblé que le ciel s'ouvrait sur toute son étendue pour laisser pleuvoir du feu.

「間接目的語」「動詞句」「主語」

Il イル pron 非人称

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

a semblé ア・ソブレ 3 単現・完了形(sembler)v.h ～らしい、～のように思われた 「動詞句」

que ク conj. ～ということは 「主語」

le ciel ル・シエル n.m 空は 「主語」

s'ouvrait スヴレ 3 単半(s'ouvrir)v.pr 開いた、開かれた 「動詞句」

sur toute son étendue シュール・トゥット・ソン・エトンジュ adv. その全域に渡って 「副詞句」

pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するように 「副詞句」

laisser pleuvoir レッセ・フルヴ わ・ル 不定詞・使役 v.t 雨を降らせる 「動詞句」

du feu. ジュ・フー adv. (手段) 火によって、火で 「副詞句」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

僕は心も体も緊張して、拳銃の上で手を握りしめていた。

Tout mon être s'est tendu et j'ai crispé ma main sur le revolver.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Tout mon être トゥ・モン・エートル n.m 僕の全存在は、内面 「主語」

s'est tendu セ・トジユ 3 単現・完了形(se tendre)v.pr 緊張した 「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai crispé エ・クリス 1 単現・完了形(crisper)v.t 握りしめた 「動詞句」

ma main マ・マン n.f 手を 「目的語」

sur le revolver. シュール・ル・ルヴ`オルヴ`エ adv. リヴォルヴァーの上で 「副詞句」

撃鉄の歯止めがはずれた。僕は銃床のつるつるした腹に触れた。それからそこで、乾いた、そして同時に耳を聳する騒音の中で、すべてが始まった。

La gâchette a cédé, j'ai touché le ventre poli de la crosse et c'est là, dans le bruit à la fois sec et assourdissant, que tout a commencé.

「主語」「動詞句」、「主語」「動詞句」「目的語」,et 「動詞」「補語」「主語」

La gâchette ラ・ガ`シェット n.d (銃の撃鉄の) 歯止めが 「主語」

a cédé, ア・セテ` 3 単現・完了形(ceder)v.i 外れた 「動詞句」

ceder セテ` v.i 譲歩する、曲がる、切れる

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai touché エ・トゥシェ 1 単現・完了形(toucher)v.t 〜に触れた 「動詞句」

le ventre ル・ヴ`オントル n.m 腹に 「目的語」

poli ポリ adj. つるつるした、磨かれた 「形容詞」

de la crosse トゥ・ラ・クロス adj. 銃床の 「形容詞句」

et エ conj. そして

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 節)

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

là, ラー adv. そこで 「補語」

dans トン prep 〜の中で 「副詞句」

le bruit ル・ブリュイ n.m 騒音 「目的語」

à la fois ア・ラ・フワ adv. 同時に 「副詞句」

sec セッキ adj. 乾いた 「形容詞」

et エ conj. そして

assourdissant, アスデ`イツン adj. 耳を聳する 「形容詞」

que ク conj. 〜ということが 「主語」

tout トゥ pron すべてが 「主語」

PREMIÈRE PARTIE 第1部

a commencé. ア・コモンセ 3 単現・完了形(com,mencer)v.i 始まった 「動詞句」

(銃の撃鉄の) 歯止め :

多くの銃では、引き金を引くと撃鉄の歯止めが外れて、発砲する。

耳を聳する :

耳が聞こえなくなるかと思うほどの大きな音がするたとえ。耳をつんざく。

僕は汗と太陽を払いのけた。

J'ai secoué la sueur et le soleil. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai secoué エ・スクエ 1 単現・完了形(secouer)v.t 払いのけた、振り落とした 「動詞句」

la sueur ラ・シュエール n.f 汗を 「目的語」

et エ conj. そして

le soleil. ル・ソレイユ n.m 太陽を 「目的語」

僕は理解した。僕は日中の調和を、僕が幸せだった浜辺の特別な静寂を壊してしまった。

J'ai compris que j'avais détruit l'équilibre du jour, le silence exceptionnel d'une plage où j'avais été heureux. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais détruit アヴ・エ・テトリユイ 1 単半・完了形(détruire)v.t 壊してしまった 「動詞句」

l'équilibre レキリーブール n.m 調和を、バランスを 「目的語」

du jour, シュ・ジュール adj. 日中の 「形容詞句」

le silence ル・シロンス n.m 静寂を 「目的語」

exceptionnel エクセプショネル adj. 特別な 「形容詞」

d'une plage シュンヌ・プレージュ adj. 浜辺の 「形容詞句」

où ウ adv. (場所) ～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

avais été アヴ・エ・ゼテ 1 単半・完了形(être)

v.i ～だった 「動詞」

heureux. ウル adj. 幸せな 「補語」

それから僕は、動かなくなった体に向かってさらに 4 回撃った。銃弾は痕跡をとどめずに
吸い込まれていった。

Alors, j'ai tiré encore quatre fois sur un corps inerte où les balles s'enfonçaient sans qu'il y parût.

Alors, アール adv. それから 「副詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai tiré エ・チレ 1 単現・完了形(tirer)v.t 撃った 「動詞句」

encore オンコール adv. さらに 「副詞」

quatre fois クワトル・フワ adv. 4 度、4 回 「副詞句」

sur un corps シュール・アン・コール adv. 体に 「副詞句」

inerte イネルト adj. 動かない 「形容詞」

où ウ conj. (継続) そこで～する 「副詞節」

les balles レ・バル pl.n.f 球は 「主語」

s'enfonçaient ソンフォンセ 3 複半(s'enfoncer)v.pr 潜り込んでいった 「動詞句」

sans qu'+接続法 ソン・キ conj. ～することなしに 「副詞節」

il y parût. イ・リ・パリュ 接・3 単半・非人称・推測(il y paraître)

v.h そこにあると思われた 「動詞句」

→ 存在しないかのように → 痕跡をとどめずに

そしてそれは、僕が不幸の扉を叩いたことを示す、4 回の短い打音のようだった。

Et c'était comme quatre coups brefs que je frappais sur la porte du malheur.

Et 「主語」「動詞」「補語」

Et エ conj. そして

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

comme コム conj. ～のような 「補語」

quatre coups brefs クワトル・クー・ブレフ pl.n.m 4 回の短い打音 「目的語」

coup クー n.m 打撃の音、殴打 bref ブレフ adj. 短い、ぶっきらぼうな

que ク pron (同格) ～する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

frappais フラペ 1 単半(frapper)v.i 叩いた 「動詞」

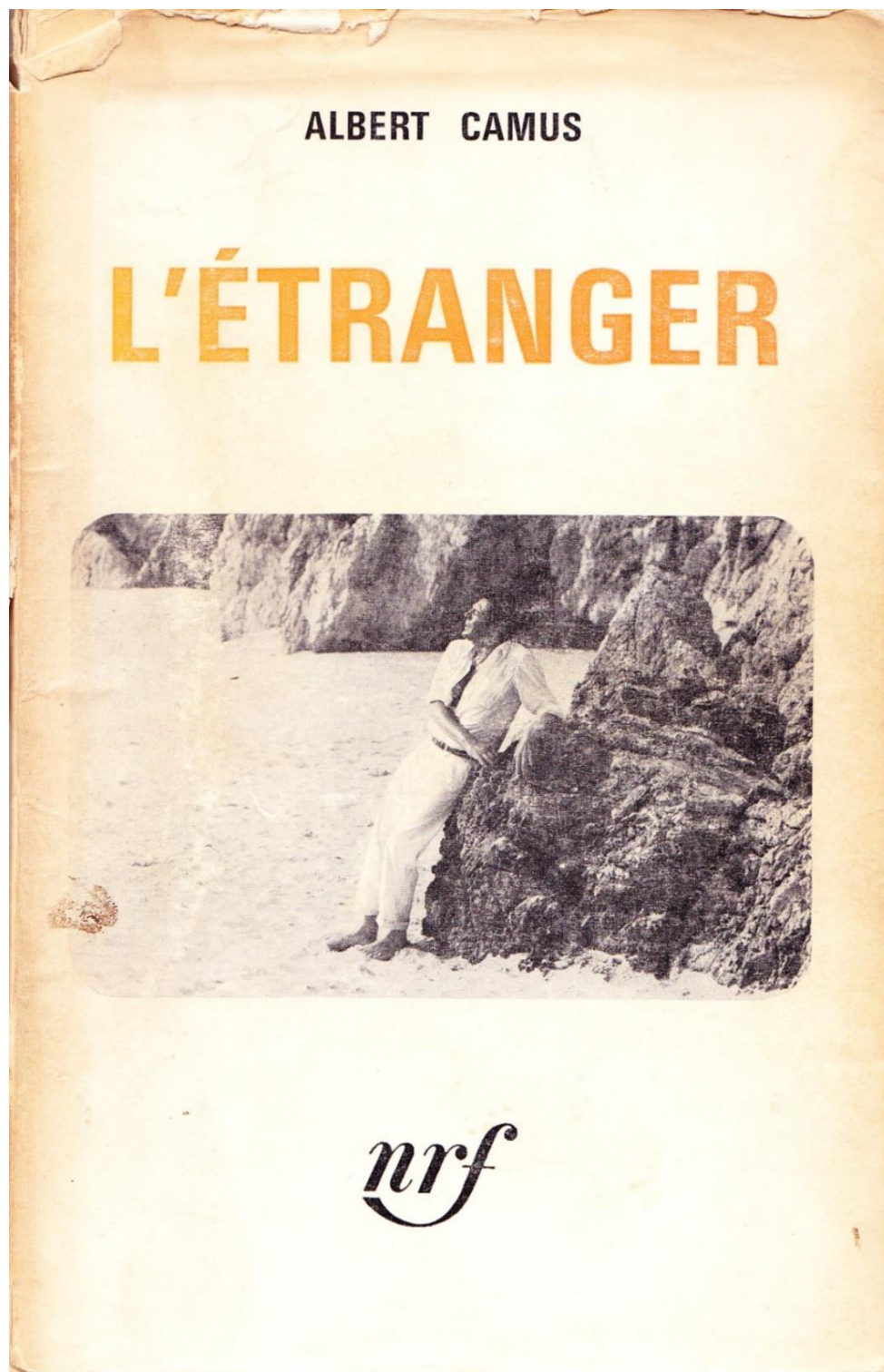
sur la porte シュール・ラ・ポルト adv. ドアの上を 「副詞句」

du malheur. ジュ・マレール adj. 不幸の 「形容詞句」

Albert Camus

L'ÉTRANGER

DEUXIÈME PARTIE 第2部



DEUXIÈME PARTIE 第2部

I

僕は、逮捕されてすぐに何度も、尋問された。

Tout de suite après mon arrestation, j'ai été interrogé plusieurs fois.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Tout de suite トゥ・ドゥ・シュイト adv. すぐに

「副詞句」

après アプレ prep. ～の後で

「副詞句」

mon arrestation, モン・アレスタシオン n.m 僕の逮捕

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai été interrogé エ・エテ・アンテロジエ 1 単現・完了形・受動(interroger)v.t 尋問された

「動詞句」

plusieurs fois. プリュシエール・フワ adv. 何度も

「副詞句」

しかしそれは人定尋問で、長くは続かなかった。

Mais il s'agissait d'interrogatoires d'identité qui n'ont pas duré longtemps.

Mais 「動詞句」 「補語」

Mais メ conj. しかし

il s'agissait イル・サジセ 3 単半・非人称(s'agir)

v.h(de+無冠詞名詞) ～だった

「動詞句」

d'interrogatoires ダンテロカトワール n.m 尋問

「補語」

d'identité デイテンチテ adj. 身元の

「形容詞句」

interrogatoires d'identité アンテロカトワール・デイテンチテ pl.n.m 人定尋問、職務質問

qui キ pron (継続) それは～

「形容詞節」

n'ont pas duré ノン・パ・デュレ 3 複現・完了形・否定(durer)

v.i 続かなかった

「動詞句」

longtemps. ロントン adv. 長い間

「副詞」

最初警察署では、僕の事件は誰の興味も引かないように思われた。

La première fois au commissariat, mon affaire semblait n'intéresser personne.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

La première fois ラ・プルミエール・フワ adv. 最初は

「副詞句」

au commissariat, オ・コミッサリア adv. 警察署で

「副詞句」

mon affaire モン・アフェール n.f 僕の事件は

「主語」

semblait+不定詞 ソンブレ 3 単半・推測(sembler+不定詞)v.i ～するように思われた「動詞句」

n'intéresser ナンテレッセ 不定詞・否定 v.t 興味を引かない

「動詞句」

personne. ペルソヌ pron 誰も～ない

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

一週間が過ぎるとそれとは対照的に、予審判事が強い関心を示して、僕をじっと見つめた。

Huit jours après, le juge d'instruction, au contraire, m'a regardé avec curiosité.

「副詞句」, 「主語」 「副詞句」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」

Huit jours après, ユイト・ジュール・アプレ adv. 一週間が過ぎると

「副詞句」

フランスでは今日から数えて8日目を一週間後と言う。

le juge ル・ジュージュ n.m 判事が

「主語」

d'instruction, ダンストルクシオン adj. (法律) 予審の

「形容詞句」

au contraire, オ・コントレール adv. 反対に、対照的に

「副詞句」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた

「動詞句」

avec curiosité. アヴェッキ・キュリオジテ adv. 好奇の眼差しで

「副詞句」

しかし判事は、まず初めとして、僕に名前と、住所と、職業と、生年月日と出生地を聞いた
だけだった。

Mais pour commencer, il m'a seulement demandé mon nom et mon adresse, ma profession, la date et le lieu de ma naissance.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

pour commencer, プール・コモンセ adv. まず初めに

「副詞句」

il イル pron 判事は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a seulement demandé ア・スルモン・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander+ seulement)

v.t 尋ねただけだった

「動詞句」

mon nom モン・ノム n.m 僕の名前

「直接目的語」

et エ conj. そして

mon adresse, モン・アドレス n.f 僕の住所

「直接目的語」

ma マ adj. 私の → 母音または無音の h で始まる単語の前では、女性形でも mon

ma profession, マ・プロフেশION n.f 僕の職業

「直接目的語」

la date ラ・ダット n.f 日付

「直接目的語」

et エ conj. そして

le lieu ル・リュ n.m 場所

「直接目的語」

de ma naissance. トゥ・マ・ネISS ans adj. 出生の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

次に彼は、もう弁護士を決めたのかと尋ねた。

Puis il a voulu savoir si j'avais choisi un avocat. 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Puis ピュイ adv. 次に、それから 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

a voulu savoir ア・ヴリュ・サヴ わル 3 単現・完了形・要求(vouloir+不定詞)

v.t 知りがたかった、尋ねた 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais choisi アヴ・エイ・シュワジ 1 単半・完了形(choisir)v.t もう決めた 「動詞句」

un avocat. アン・アヴカ n.m 弁護士を 「目的語」

僕は、まだ決めていないと答えた。それから、絶対に弁護士をつけないといけないのかどうかを確かめるために彼に質問した。

J'ai reconnu que non et je l'ai questionné pour savoir s'il était absolument nécessaire d'en avoir un. 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai reconnu エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 認めた、答えた 「動詞句」

que non ク・ノン n.(que je n'avais pas choisi un avocat) まだ決めていないと 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼に 「目的語」

ai questionné エ・ケシュネ 1 単現・完了形(questionner)v.t 質問した 「動詞句」

pour savoir プール・サヴ わル adv. (目的) ～を確かめるために 「副詞句」

s' シ conj. ～であるかどうかということ 「目的語」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は d'en avoir un)

était エテ 3 単半(être)v.i ～である 「動詞」

absolument nécessaire アブソリュモン・ネセール adj. 絶対に必要な 「補語」

d'+不定詞 トゥ 不定詞 n. ～することが 「主語」

en ...un. エン...アン pron. 弁護士を一人 「目的語」

avoir アヴワール 不定詞 v.t 持つ 「動詞」

「どうしてですか？」と、彼が言った。

«Pourquoi?» a-t-il dit. 《「応答」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」

«Pourquoi?» プルワイ adv. どうしてですか? 「応答」

a ...dit. ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

il イル pron 彼が 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

自分の事件は、非常に単純なものだと思うからだと答えた。

J'ai répondu que je trouvais mon affaire très simple. 「主語」「動詞句」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai répondu エ・レポ ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 trouvais トゥルヴ ェ 1 単半(trouver)v.t (SVOC O が C だと) 思う 「動詞」
 mon affaire モ・ナフェール n.m 僕の事件が 「目的語」
 très simple. トレ・サンプル adj. 非常に単純な 「補語」

彼は微笑んで言った：「そう言うことも出来るでしょう。しかし、法律がそうなっているのです。もしあなたが弁護士を決めないのであれば、こちらのほうで官選の弁護士を指名しようと思います」

Il a souri en disant: «C'est un avis. Pourtant, la loi est là. Si vous ne choisissez pas d'avocat, nous en désignerons un d'office.»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」「補語」
 「副詞」「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞節」「主語」「目的語」「動詞」「目的語」》
 Il イル pron 彼は 「主語」
 a souri ア・スリ 3 単現・完了形(sourire)v.i 微笑んだ 「動詞句」
 en disant: オン・ディザン adv.(dire) 言いながら、言って 「副詞句」
 «C' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 un avis. ア・サヴィ n.m 1つの意見 「補語」
 Pourtant, プルトン adv. それでも、しかしながら 「副詞」
 la loi ラ・ルワ n.f 法律が 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 là. ラー adv. そう、そのような 「補語」
 Si シ conj. もし～ならば 「副詞節」
 vous ヴ pron あなたが 「主語」
 ne choisissez pas ヌ・ショルジセ・パ° 2 複現・否定(choisir)v.t 決めない 「動詞句」
 d'avocat, ダヴ・オカ n.m 弁護士を 「目的語」
 nous ヌ pron 私たちが 「主語」
 en ...un d'office. オン...アン・ド・フィス n.m 官選の弁護士を 「目的語」
 désignerons デジヌン 1 複末(désigner)v.t 指名します 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、司法当局がこんな細々したことまで面倒を見てくれるのは、とても便利だと思った。

J'ai trouvé qu'il était très commode que la justice se chargeât de ces détails.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 私は

「主語」

ai trouvé エ・トゥヴ 1 単現・完了形(trouver)v.t(que ～であると) 思った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

était エテ 3 単半(être)v.i ～である

「動詞」

très commode トレ・コモッド adj. とても便利な

「補語」

que ク conj. ～ということは

「主語」

la justice ラ・ジュステイス n.f 司法当局が、司法警察が

「主語」

se chargeât ス・シャルジャ 接・3 単半(se charger)

v.pr(de を) 面倒を見る

「動詞句」

de ces détails. ドゥ・セ・デタイユ pl.n.m こんな細々したことを

「間接目的語」

僕は彼にも同じことを言った。彼は僕に同意して、法律はよくできていると結論付けた。

Je le lui ai dit. Il m'a approuvé et a conclu que la loi était bien faite.

「主語」「直接目的語」「間接目的語」「動詞句」

「主語」「目的語」「動詞句」 et 「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

le ル pron 思ったことを

「直接目的語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai dit. エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「目的語」

a approuvé ア・アプルー 3 単現・完了形(approuver)v.t 同意した

「動詞句」

et エ conj. そして

a conclu ア・コンクリュ 3 単現・完了形(conclure)v.t(que ～であると) 結論付けた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

la loi ラ・ルワ n.f 法律は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～である

「動詞」

bien faite. ビヤン・フェット adj.f(fait) よく出来た

「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

初めてのうち、僕は彼をまじめに受け止めていなかった。

Au début, je ne l'ai pas pris au sérieux.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Au début, オ・デビュ adv. はじめは

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne ...ai pas pris ス...エ・パ・フリ 1 単現・完了形・否定(prendre)

v.t 受け止めていなかった

「動詞句」

l' ル pron 彼を

「目的語」

au sérieux. オ・セリュ adv. まじめに

「副詞句」

彼はカーテンを張り巡らせた部屋の中で僕を迎えた。デスクの上にはランプが 1 つだけ置いてあり、肘掛椅子を照らしていた。彼は僕をそこに座らせたが、その一方で、彼は暗闇の中に留まっていた。

Il m'a reçu dans une pièce tendue de rideaux, il avait sur son bureau une seule lampe qui éclairait le fauteuil où il m'a fait asseoir pendant que lui-même restait dans l'ombre.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞」「副詞句」「目的語」「形容詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a reçu ア・ルシュ 3 単現・完了形(recevoir)v.t 迎えた

「動詞句」

dans une pièce トン・ジユヌ・ピエス adv. 部屋の中で

「副詞句」

tendue トンジュ 過去分詞・受動(tendre)

adj.f(de ~によって) 張られた

「形容詞句」

de rideaux, トゥ・リドー adv. (手段) カーテンを

「副詞句」

il イル pron 非人称

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t ~があった

「動詞」

sur son bureau シュール・ソン・ビュロー adv. デスクの上に

「副詞句」

il y avoir 「~がある」の y の代わりに具体的な場所を示す副詞句が使われている

une seule lampe エヌ・スル・ロンプ n.f ランプが1つだけ

「目的語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

éclairait エクレ 3 単半(éclairer)v.t 照らしていた

「動詞」

le fauteuil ル・フトウイユ n.m 肘掛椅子を

「目的語」

où ウ adv. そこで~する

「形容詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞・他動詞)

v.t ~させた

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

asseoir アスワール 不定詞 v.t 座らせる 「補語」

pendant que ホントン・キ

conj. ～する一方で～する 「副詞節」

lui-même リュイ・メーム pron 彼自身は「主語」

restait レステ 3 単半(rester)

v.i ～に留まっていた 「動詞」

dans l'ombre. トン・ロンブル

adv. 暗闇の中に 「副詞句」

僕は以前に似たような場面を本で読んだことがあったので、今起こっている事すべてがゲームのように思われた。

J'avais déjà lu une description semblable dans des livres et tout cela m'a paru un jeu.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais déjà lu アヴ・エ・デ・ジャ・リュ 1 単半・完了形(lire+ déjà)

v.t 以前に読んだことがあった 「動詞句」

une description エンス・デスクリプシオン n.f 描写、記事、記述 「目的語」

semblable シンブラブル adj. 似たような 「形容詞」

dans des livres トン・デ・リーヴル adv. 本で 「副詞句」

et エ conj. そして

tout cela トゥ・スラ pron このすべてが 「主語」

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i ～のように思われた 「動詞句」

un jeu. アン・ジュ n.m 遊び、ゲーム、演技 「補語」

話が終わり、部屋が明るくなると今度は逆に、僕が彼をじっくりと見つめた。すると、繊細な顔立ちをして、くぼんだ青い眼をして、背が高く、灰色の長い口髭で、ほとんど白髪になった豊かな髪の方であることが分かった。

Après notre conversation, au contraire, je l'ai regardé et j'ai vu un homme aux traits fins, aux yeux bleus enfoncés, grand, avec une longue moustache grise et d'abondants cheveux presque blancs.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Après notre conversation, アプレ・ノトル・コンヴァルサシオン adv. 会話の後で 「副詞句」

au contraire, オ・コントレール adv. 逆に 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ai regardé エ・ルギヤルデ 1 単現・完了形(regarder)v.t じっくりと見つめた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai vu エ・ヴェ 1 単現・完了形(voir)v.t 分かった、見えた 「動詞句」
 un homme ア・ノム n.m 男 「目的語」
 aux traits fins, オ・トレ・ファン adj. (様態) 線の細い、繊細な顔立ちの 「補語」
 traits トレ pl.n.m 顔立ち fins ファン adj.pl(fin) 繊細な、細かい
 aux yeux bleus enfoncés, オ・シユ・ブル・オンフォンセ
 adj. (様態) くぼんだ青い眼をした 「補語」
 enfoncés オンフォンセ adj.m.pl くぼんだ
 grand, グロン adj.m 背が高い 「補語」
 grand は単数形なので、yeux 目 (複数) ではなく、homme を修飾する「補語」である
 avec une longue moustache grise アウ・ェッキ・コンヌ・ロング・ムスタシュ・グリース
 adj. (様態) 灰色の長い口髭の 「補語」
 et エ conj. そして
 d'abondants cheveux タウ・アントン・シュガ adj.pl 豊かな髪の毛 「補語」
 presque blancs. プレスキ・ブロン adj.pl ほとんど白髪になった 「形容詞句」
 じっくりと :
 注意深く、念入りに、しっかりと

彼は非常に理性的で、要するに、好感の持てる男に見えた。ただし、唇を神経質に引き攣らせる癖はあった。

Il m'a paru très raisonnable et, somme toute, sympathique, malgré quelques tics nerveux qui lui tiraient la bouche. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」, 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕には 「間接目的語」
 a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i 〜に思われた、見えた 「動詞句」
 très raisonnable トレ・レゾナブル adj. 非常に理性的な 「補語」
 et, エ conj. そして
 somme toute, ソム・トゥット adv. 要するに、結局 「副詞句」
 sympathique, サンパチキ adj. 感じの良い 「補語」
 malgré マルグレ prep 〜にもかかわらず、〜だけれども 「副詞句」
 quelques tics nerveux ケルキ・チッキ・ネルグ
 pl.n.m 神経質に引き攣らせる癖 「目的語」
 qui キ pron.pl (主語) それが〜する 「形容詞節」
 lui リュイ pron 彼の 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

tiraient 𐤀𐤋 3 複半(tirer)v.t 引っ張る 「動詞」
la bouche. 𐤀𐤋𐤁𐤀𐤔𐤌 n.f 唇を 「直接目的語」

部屋を出るとき、僕はもう少しで彼に手を差し出すところだった。しかしその寸前に、僕が人を殺していたことを思い出した。

En sortant, j'allais même lui tendre la main, mais je me suis souvenu à temps que j'avais tué un homme.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
mais 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」
En sortant, 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 adv. (時間) (sortir) 外に出るとき 「副詞句」
j' 𐤐𐤁𐤀𐤔𐤌 pron 僕は 「主語」
allais ...tendre 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 1 単半・近接過去(aller+不定詞)
v.t ~を差し出すところだった 「動詞句」
même 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 adv. まさに 「副詞」
lui 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 pron 彼に 「間接目的語」
la main, 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 n.f 手を 「直接目的語」
mais 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 conj. しかし
je 𐤐𐤁𐤀𐤔𐤌 pron 僕は 「主語」
me suis souvenu 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 1 単現・完了形(se souvenir)v.pr ~を思い出した 「動詞句」
à temps 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 adv. その時に 「副詞句」
que 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 conj. ~ということを 「目的語」
j' 𐤐𐤁𐤀𐤔𐤌 pron 僕は 「主語」
avais tué 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 1 単半・完了形(tuer)v.t 殺した 「動詞句」
un homme. 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 n.m 人を 「目的語」

次の日、弁護士が僕に会いに刑務所までやってきた。

Le lendemain, un avocat est venu me voir à la prison.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」
Le lendemain, 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 n.m その翌日 「副詞句」
un avocat 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 n.m 弁護士が 「主語」
est venu 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 3 単現・完了形(venir)v.i(venir+不定詞)
v.i ~しに来た 「動詞句」
me 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 pron 僕に 「目的語」
voir 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 不定詞 v.t 会う 「動詞句」
à la prison. 𐤀𐤋𐤔𐤀𐤔𐤀𐤓𐤌 adv. 刑務所に 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、小柄で、ずんぐりして、かなり若く、念入りに髪を糊で固めていた。

Il était petit et rond, assez jeune, les cheveux soigneusement collés.

「主語」「動詞」「補語」

Il イル pron 彼は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

petit プティ adj. 小柄の

「補語」

et エ conj. そして

rond, ロン adj. ずんぐりした

「補語」

assez jeune, アセ・ジエヌ adj. かなり若い

「補語」

les cheveux レ・シュウ pl.n.m 髪

「補語」

soigneusement collés. スワニユーズ モン・コレ adj.pl 念入りに糊付けされた 「形容詞句」

soigneusement スワニユーズ モン adv. 念入りに collé コレ adj. 糊付けされた

暑いにも関わらず（僕は上着を脱いでいた）、彼は黒っぽいウイングカラーの背広を着て、黒と白の太い縞模様の変ったネクタイをしていた。

Malgré la chaleur (j'étais en manches de chemise), il avait un costume sombre, un col cassé et une cravate bizarre à grosses raies noires et blanches.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「目的語」

Malgré マルグレ prep ~にもかかわらず

「副詞句」

la chaleur ラ・シャレール n.f 暑さ

「目的語」

(j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

en manches de chemise), オン・モンシュ・ドゥ・シュミーズ adv. 上着を脱いで

「補語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (着用) ~を着ていた

「動詞」

un costume アン・コスチュム n.m 背広、服を

「目的語」

sombre, ソンブル adj. 黒っぽい

「形容詞」

un col cassé アン・コル・カッセ n.m (同格) ウイングカラー

「形容詞句」

col コル n.m カラー、襟 cassé カッセ adj. 壊れた、腰の曲がった

et エ conj. そして

une cravate ユンス・クラヴァット n.f ネクタイ

「目的語」

bizarre ビザール adj. 奇妙な、変った

「形容詞」

à grosses raies ア・グロス・レー adv. (付属) 太い縞がある

「副詞句」

raie レ n.f 縞、ストライプ

noires et blanches. スワ・ル・エ・ブロンシュ

adj.f.pl 黒と白の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ウィングカラー :

男性の礼装用シャツの襟型で、襟先が翼のように前で小さく折り返り、後ろは首にそった立ち襟のこと。

彼は、小脇に抱えていた書類カバンを僕のベッドの上に置いてから自己紹介した。それから、僕の調書を確認したと言った。

Il a posé sur mon lit la serviette qu'il portait sous le bras, s'est présenté et m'a dit qu'il avait étudié mon dossier.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「動詞句」 et

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a posé ア・ポゼ 3 単現・完了形(poser)v.t 置いた 「動詞句」

sur mon lit シュール・モン・リ adv. 僕のベッドの上に 「副詞句」

la serviette ラ・セルヴイエット n.f 書類カバンを、タオル 「目的語」

qu' ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

portait ポルテ 3 単半(porter)v.t 抱えていた 「動詞」

sous le bras, スル・ブラ adv. 上腕の下に 「副詞句」

bras ブラ n.m 上腕 (方から肘まで) → 小脇に抱える

s'est présenté セ・プレゼンテ 3 単現・完了形(se présenter)v.pr 自己紹介した 「動詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

avait étudié アヴェ・エチュディエ 3 単半・完了形(étudier)v.t 調べてみた 「動詞句」

mon dossier. モン・ドッシェ n.m 僕の調書を 「目的語」

僕の事件は簡単なものではない。しかし、僕が彼を信頼すれば、成功は間違いないと彼は考えている。

Mon affaire était délicate, mais il ne doutait pas du succès, si je lui faisais confiance.

「主語」「動詞」「補語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Mon affaire モ・ナフェール n.f 僕の事件は 「主語」

mon モン adj.m (女性形は ma) (所有形容詞) 私の affaire アフェール n.f 事件

母音または無音の h で始まる前では女性形も mon が使用される

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

délicate, デリカット adj.f(délicat) 難しい 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|-------------|---------|
| mais メ conj. | しかし | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| ne doutait pas ノ・ドゥ・タ・パ 3 単半・否定(douter)v.t | 疑わない、確信している | 「動詞句」 |
| du succès, シュ・シュケ n.m | 成功を | 「目的語」 |
| si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼に対して | 「間接目的語」 |
| faisais フェ 1 単半(faire)v.t | ～をする | 「動詞」 |
| confiance. コンフィヨンス n.f | 信頼 | 「直接目的語」 |
| faire confiance a qn | 「人を信頼する」 | |

僕が彼に礼を言うと、彼は僕に言った：「問題の核心に入りましょう」

| | | |
|--|-------|---------|
| <u>Je l'ai remercié et il m'a dit: «Entrons dans le vif du sujet.»</u> | | |
| 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」:《「動詞」「副詞句」》 | | |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| l' ル pron | 彼に | 「目的語」 |
| ai remercié エ・ルメルシエ 1 単現・完了形(remercier)v.t | 礼を述べた | 「動詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| «Entrons オントロン 1 複現・勧誘(entrer)v.i(dans に) 入りましょう | | 「動詞」 |
| dans le vif トン・ル・ヴィフ adv. | 核心に | 「副詞句」 |
| du sujet.» ジュ・シュジェ adj. | 問題の | 「形容詞句」 |

彼はベッドに座ると、僕の私生活に関する情報が収集されたと教えてくれた。

| | |
|---|---------|
| <u>Il s'est assis sur le lit et m'a expliqué qu'on avait pris des renseignements sur ma vie</u> | |
| <u>privée.</u> | |
| 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| II イル pron 彼は | 「主語」 |
| s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った | 「動詞句」 |
| sur le lit シュール・ル・リ adv. ベッドに | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a expliqué ア・エクスプ・リケ 3 単現・完了形(expliquer)v.t(que ～と) 教えた | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| on オン pron 人々は | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

受動態に翻訳する

avait pris アヴェ・プリ アヴェ・プリ 3 単半・完了形(prendre)

v.t 入手した

「動詞句」

des renseignements デ・ロンセニュモン pl.n.m 情報を

「目的語」

sur ma vie シュール・マ・ヴィー adj. 僕の生活に関する

「形容詞句」

privée. プリヴェー adj.f 私的な

「形容詞」

彼らは、僕の母が、最近養老院で死んだことを知った。

On avait su que ma mère était morte récemment à l'asile. 「主語」「動詞句」「目的語」

On オン pron 彼らは

「主語」

avait su アヴェ・ス 3 単半・完了形(savoir)v.t 知った

「動詞句」

que ク conj. ～とということ

「目的語」

ma mère マ・メル n.f 僕の母が

「主語」

était morte エ・モルト 3 単半・完了形(mourir)v.i 死んだ

「動詞句」

récemment レサモン adv. 最近

「副詞句」

à l'asile. ア・ラジール adv. 養老院で

「副詞句」

そこでマレンゴで調査が行われた。

On avait alors fait une enquête à Marengo. 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

On オン pron 彼らは

「主語」

avait alors fait アヴェ・アロー・フェ 3 単半・完了形(faire)v.t そこで～を行っ

「動詞句」

une enquête エヌ・オンケット n.f 調査を

「目的語」

à Marengo. ア・マランゴ adv. マレンゴで

「副詞句」

予審判事たちは、母の葬儀の日に、「僕が冷酷さの証拠を示した」ことを知った。

Les instructeurs avaient appris que «j'avais fait preuve d'insensibilité» le jour de l'enterrement de maman. 「主語」「動詞句」「目的語」

Les instructeurs レ・サンストクリュクテール pl.n.m 予審判事たちは

「主語」

avaient appris アヴェ・アプリ 3 複半・完了形(apprendre)v.t (情報を) 知った

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

«j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais fait アヴェ・フェ 1 単半・完了形(faire)v.t (行為を) 示した、行っ

「動詞句」

preuve プレヴ n.f 証拠を

「目的語」

d'insensibilité ダンサンビリティ adj. 冷酷さの

「形容詞句」

le jour ル・ジュール n.m その日に

「副詞句」

de l'enterrement トゥ・トゥ・ロンテルモン adj. 葬儀の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de maman. トゥ・マモン adj. 母の

「形容詞句」

「いいですか？」と、弁護士が言った。「こんなことを尋ねるのは気が引けるのですが…」

«Vous comprenez, m'a dit mon avocat, cela me gêne un peu de vous demander cela.

《「呼びかけ」, 「間接目的語」「動詞句」「主語」,

《「目的語」「動詞」「副詞句」「主語」》

«Vous comprenez, ヴ・コンプレ adv. いいですか？

「呼びかけ」

あなたは分かる → わかりますね？ → いいですか？

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

mon avocat, モ・ナヴカ n.m 弁護士が

「主語」

cela スラ pron 仮の主語（真の主語は de vous 以降）

me ム pron 私を

「目的語」

gêne ジェヌ 3 単現(gêner)v.t 当惑させる、気詰まりを起こさせる

「動詞」

un peu アン・フ adv. 少し

「副詞句」

de +不定詞 トゥ 不定詞 n. ～することは

「主語」

vous ヴ pron あなたに

「間接目的語」

demander トゥモンデ 不定詞 v.t 尋ねる

「動詞」

cela. スラ pron こんなことを

「直接目的語」

気が引ける : 決心が付かない様を表す

なかなか踏み切れない

「ですが、これはとても重要なことなのです」

Mais c'est très important.

《Mais 「主語」「動詞」「補語」》

Mais メ conj. しかし

c' ス pron これは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

très important. トレ・ザンボルトン adj. とても重要な

「補語」

「そして、仮に私が何も反論することが出来なければ、そのことが、検察側にとって強力な論拠になってしまうでしょう」

Et ce sera un gros argument pour l'accusation, si je ne trouve rien à répondre.»

《Et 「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」》

Et エ conj. そして

ce ス pron このことは

「主語」

sera スラ 3 単未・推測(être)v.i ～になるだろう

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|-------------------|-------|
| un gros argument アン・グロ・アルギュモン n.m | 強力な論拠 | 「補語」 |
| pour l'accusation, プール・ラクサシオン adv. | 検察側にとって | 「副詞句」 |
| si シ conj. | もし～ならば | 「副詞節」 |
| je ジュ pron | 私が | 「主語」 |
| ne trouve rien à répondre. ヌ・トゥル・ヴァ・リヤン・ア・レポントル 接・1 | 単現・発見・否定・推測 | |
| v.t | 何も答えることができない | 「動詞句」 |
| trouver à+不定詞 | 「～できる、～する手段を見つける」 | |

彼は、僕の協力を望んでいた。

| | | |
|----------------------------------|---------|---------------|
| <u>Il voulait que je l'aide.</u> | | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| voulait ヴレ 3 単半(vouloir)v.t | 望んでいた | 「動詞」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| l'ル pron | 彼を | 「目的語」 |
| aide. エトウ 1 単現(aider)v.t | 手伝う | 「動詞」 |

彼は僕に、あの日は辛かったか、と尋ねた。

| | | |
|---|---------------|-------------------------|
| <u>Il m'a demandé si j'avais eu de la peine ce jour-là.</u> | | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. | ～かどうかということを | 「直接目的語」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| avais eu アヴェ・シ 1 単半・完了形(avoir)v.t | あった | 「動詞句」 |
| de la peine トゥ・ラ・ペイヌ n.f | (精神的な) 苦しみ、辛さ | 「目的語」 |
| ce jour-là. ス・ジュール・ラ adv. | あの日は | 「副詞句」 |

この質問を聞いて、僕はすごく驚いた。そしてもし自分がこの質問をしなければならなかったとしたら、とても気詰まりだっただろうと思った。だ

| | | |
|--|---------|-----------------------------------|
| <u>Cette question m'a beaucoup étonné et il me semblait que j'aurais été très gêné si j'avais eu à la poser.</u> | | 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「間接目的語」「動詞」「主語」 |
| Cette question セット・クエション n.f | この質問は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕を | 「目的語」 |
| a beaucoup étonné ア・ボク・エトネ 3 単現・完了形(étonner)v.t | すごく驚かせた | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|------------------------------|---------|
| et エ conj. | そして | |
| il イル pron | 仮の主語 (真の主語は que j'aurais 以降) | |
| me ム pron | 僕には | 「間接目的語」 |
| semblait ツブレ 3 単半(sembler)v.i | ～のように思われた | 「動詞」 |
| que ク conj. | ～ということが | 「主語」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| aurais été 条・1 単現・完了形・推量(être)v.i | ～だっただろう | 「動詞句」 |
| très gêné トレ・ジエネ adj. | とても気詰まりな | 「補語」 |
| si シ conj. | (仮定法過去完了) もし～だったら | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| avais eu à ...poser. アヴェ・ジ・ア...ポセ 1 単半・完了形・必要・仮定(avoir à+不定詞) | | |
| v.t (質問を) | しなければならなかった | 「動詞句」 |
| la ラ pron | その質問を | 「目的語」 |

それでも僕は、自問することが少なくなったのでそれを説明するのは難しい、と答えた。

| | |
|--|-----------------------------|
| <u>J'ai répondu cependant que j'avais un peu perdu l'habitude de m'interroger et qu'il m'était difficile de la renseigner.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu エ・レポソジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t(que ～だと) 答えた | 「動詞句」 |
| cependant スポントソ adv. しかしながら、それでも | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais un peu perdu アヴェ・アン・プ・ペルトゥル 1 単現・完了形(perdre) | |
| v.t 少し失くした | 「動詞句」 |
| l'habitude ラビチュート n.f 習慣を | 「目的語」 |
| de m'interroger トゥ・マンテロジエ 不定詞(s'interroger) | |
| adj. 自問する | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 仮の主語 (真の主語は de la renseigner) | |
| m' ム pron 僕にとって | 「間接目的語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| difficile ディフィシル adj. 難しい | 「補語」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞 n. ～することは | 「主語」 |
| la ラ pron それを | 「目的語」 |
| renseigner. ロンセニエ 不定詞 v.t 説明する | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

恐らく僕は母さんをととても愛していた。しかしそんなことは何の意味もない。

Sans doute, j'aimais bien maman, mais cela ne voulait rien dire.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」
 Sans doute, シン・ドゥット adv. おそらく、きっと 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 aimais bien エム・ビヤン 1 単半(aimer)v.t ととても愛していた 「動詞句」
 maman, マモン n.f 母さんを 「目的語」
 mais メ conj. しかし
 cela スラ pron そのことは 「主語」
 ne voulait ...dire. ヌ・ヴレ...ディール 3 単半・否定(vouloir dire)v.t ～を意味しない 「動詞句」
 vouloir dire 「(物が) ～を意味する、(人が) ～を主張する、求める」
 rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」

健全な人は誰でも、多かれ少なかれ、愛する人の死を望んだことがあるはずだ。

Tous les êtres sains avaient plus ou moins souhaité la mort de ceux qu'ils aimaient.

「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「目的語」
 Tous les êtres トゥ・レ・ゼートル pl.n.m すべての人間は 「主語」
 sains シン adj.pl 健全な、健康な 「形容詞」
 avaient ...souhaité アヴ・エ...ステ 3 複半・完了形(souhaiter)
 v.t 望んだことがある 「動詞句」
 plus ou moins プリュ・ウ・ムワン adv. 多かれ少なかれ 「副詞句」
 la mort ラ・モール n.f 死を 「目的語」
 de ceux トゥ・スー adj. 人の 「形容詞句」
 qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 ils イル pron 彼らが 「主語」
 aimaient. エム 3 複半(aimer)v.t 愛していた 「動詞」

ここで弁護士は僕を遮った。彼はとても動揺しているように見えた。

Ici, l'avocat m'a coupé et a paru très agité.

「副詞」, 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「動詞句」「補語」
 Ici, イシ adv. ここで 「副詞」
 l'avocat ラヴ・カ n.m 弁護士は 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a coupé ア・カペ 3 単現・完了形(couper)v.t 遮った 「動詞句」
 et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i. ーのように見えた 「動詞句」
très agité. トレ・アジテ adj. とても動揺した 「補語」

彼は僕に、審問の場や予審判事のところではこんなことを言わないと約束させた。

Il m'a fait promettre de ne pas dire cela à l'audience, ni chez le magistrat instructeur.
「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「目的語」
a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(SVO+不定詞 O にーするように) させた 「動詞句」
promettre プロメットル 不定詞・me の動作 v.t(de+不定詞 ーすると) 約束する 「補語」
de ne pas dire トゥ・ヌ・パ・ディール 不定詞・否定形 v.i ーを言わない 「動詞句」
cela スラ pron そのことを 「目的語」
à l'audience, ア・ロジ・オヨンス adv. 審問の場で 「副詞句」
ni chez le magistrat instructeur. ニ・シェ・ル・マジ・ストラ・アンストリュクテール
adv. 予審判事のところでもーない 「副詞句」

しかし、僕は肉体的欲求がしばしば感情を乱すことがある性質であると彼に説明した。

Cependant, je lui ai expliqué que j'avais une nature telle que mes besoins physiques dérangent souvent mes sentiments.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Cependant, スポントソ adv. かししながら 「副詞」
je ジュ pron 僕は 「主語」
lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
ai expliqué エ・エクスプレ 1 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した 「動詞句」
que ク conj. ーということを 「直接目的語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
avais アヴィエ 1 単半(avoir)v.t (心身の特徴) ある 「動詞」
une nature ユヌ・ナチュール n.f 性質、性格 「目的語」
telle que テル・ク pron.f ーのような 「形容詞節」
mes besoins physiques メ・ブスワソ・フィジキ
pl.n.m 僕の肉体的欲求が 「主語」
dérangeaient テロンジエ 3 複半・習慣(déranger)
v.t 乱す 「動詞」
souvent スヴオン adv. しばしば 「副詞」
mes sentiments. メ・ソソモン pl.n.m 僕の感情を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

母さんの葬儀をした日は、僕はとても疲れていて、眠かった。

Le jour où j'avais enterré maman, j'étais très fatigué, et j'avais sommeil.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「主語」 「動詞」 「目的語」

Le jour ル・ジュール n.m その日は

「副詞句」

où ウ adv. ～する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

avais enterré アヴ'ェ・ゾンテレ 1 単半・完了形(enterrer)

v.t 葬儀を行った

「動詞句」

maman, マモン n.f 母さんを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

très fatigué, トレ・ファチゲ adj. とても疲れた

「補語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴ'ェ 1 単半(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ～だった

「動詞」

sommeil. ソメイ n.m 眠気

「目的語」

それで、なにが起こっているのか分からなかった。

De sorte que je ne me suis pas rendu compte de ce qui se passait.

「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

De sorte que +直説法 トゥ・ソルト・ク conj. それで～する

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne me suis pas rendu compte de ヌ・ム・シュイ・パ・ロンジユ・コント・トゥ 1 単現・完了形・否定

v.pr(se rendre compte de...) ～が分からなかった

「動詞句」

ce ス pron それを

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

se passait. ス・パセ 3 単半(se passer)

v.pr (物事が) 起こっている

「動詞句」

de sorte que (de telle sorte que, en sorte que) +直説法 : (結果) それで、従って

Il était absent, de sorte que je n'ai pas pu le voir.

彼は不在だったので会うことができなかった。

de sorte que (de telle sorte que, en sorte que) +接続法 : (目的) ～するように

Il agit de sorte que personne ne sache ce qu'il fait.

彼は自分のすることをだれにも知られないように行動する。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

確実に言えることは、母さんが死ななかったほうが良かったということだ。

Ce que je pouvais dire à coup sûr, c'est que j'aurais préféré que maman ne mourût pas.

「主語」「動詞」「補語」

Ce ス pron それは

「主語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

pouvais dire プウヴェ・ディール 1 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 言える

「動詞句」

à coup sûr, ア・ク・シュール adv. 確実に、間違いなく

「副詞句」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

que ク conj. ～ということ

「補語」

je ジュ pron 僕が

「主語」

aurais préféré オレ・フ・レフェル 条・1 単過未・完了形・推測(préférer)

v.t(que ～のほうが) 良いだろうと思った

「動詞句」

que+接続法 ク conj. ～であることを

「目的語」

maman マモン n.f 母さんが

「主語」

ne mourût pas. ネ・ムリュ・パ 接・3 単半・假定法(mourir)

v.i 死ななかった

「動詞句」

しかし彼は満足した様子がなかった。彼は僕に言った：「それでは十分じゃない」

Mais mon avocat n'avait pas l'air content. Il m'a dit: «Ceci n'est pas assez.»

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

mon avocat モ・ナヴカト n.m 僕の弁護士は

「主語」

女性でも mon avocat となるが、最初に刑務所に来た場面で男性として描写されている。

n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t ～がなかった

「動詞句」

l'air content. レール・コント n.m 満足した様子

「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

n. ～ということ

「直接目的語」

«Ceci シ pron それは

「主語」

n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない

「動詞」

assez.» アセ adv. 十分に

「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は考え込んだ。

Il a réfléchi.

「主語」「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

a réfléchi. ア・レフシ 3 単現・完了形(réfléchir)v.i 考え込んだ

「動詞句」

あの日は、自然な感情を押し殺していたとも言えるのではないか、と彼は僕に尋ねた。

Il m'a demandé s'il pouvait dire que ce jour-là j'avais dominé mes sentiments naturels.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

s' シ conj. ～かどうかを

「直接目的語」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は que ce jour-là 以降)

pouvait dire プヴァエ・テイル 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)v.i 言える 「動詞句」

que ク conj. ～ということが

「主語」

ce jour-là ス・ジュール・ラ n.m あの日

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais dominé アヴァエ・ドミネ 1 単半・完了形(dominer)

v.t 抑制していた、抑えていた

「動詞句」

mes sentiments naturels. メ・ソンチモン・ナチュール

pl.n.m 自然な感情を

「目的語」

僕は彼に言った：「いや、そう言うことは出来ない。それは嘘になってしまうから」

Je lui ai dit: «Non, parce que c'est faux.» 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

n. ～ということを

「直接目的語」

«Non, ン adv. いや、そう言うことは出来ない

「応答」

parce que パルス・キ conj. ～なので

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

faux.» フォー adj. 嘘の

「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、まるで僕が少し不快感を抱かせたとでも言いたげな目つきで僕を見つめた。

Il m'a regardé d'une façon bizarre, comme si je lui inspirais un peu de dégoût.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t じっと見つめた

「動詞句」

d'une façon bizarre, デュヌ・ファソン・ビザール adv. (様態) 奇妙な仕方で

「副詞句」

comme si コム・シ conj. あたかも～であるかのように

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

inspirais アンスピレ 1 単半(inspirer)v.t (考えを) 抱かせた

「動詞」

un peu de dégoût. アン・プ・ドゥ・デグー n.m 少し不快感を

「直接目的語」

彼はほとんど悪意のある口調で僕に言った。「いずれにしても、養老院の院長や職員が証人として喚問されるだろう。そしてそれが僕に非常にまずい結果をもたらすかもしれない」

Il m'a dit presque méchamment que dans tous les cas le directeur et le personnel de l'asile seraient entendus comme témoins et que «cela pouvait me jouer un très sale tour».

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」et「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

presque méchamment プレスキ・メシャモン adv. ほとんど悪意をもって

「副詞句」

presque プレスキ adv. ほとんど méchamment メシャモン adv. 悪意をもって

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

dans tous les cas ドン・トゥ・レ・カ adv.(=en tout cas) いずれにせよ

「副詞句」

le directeur ル・ディレクテール n.m 院長が

「主語」

et エ conj. そして

le personnel ル・ペルソネル n.m (集合的) 職員が

「主語」

de l'asile ドゥ・ラジール adj. 養老院の

「形容詞句」

seraient entendus スレ・オントンジュ 条・3 複現・受動・推量(entendre)

v.t 喚問されるだろう

「動詞句」

comme témoins コム・テムワシ adv. (資格) 証人として

「副詞句」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

«cela スラ pron そのことが

「主語」

pouvait me jouer プヴァエ・ム・ジュエ 3 単半・可能性(pouvoir+futeisi +me)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.i 僕にとって～の働きをするかもしれない 「動詞句」
 un très sale tour». アン・トレ・サル・トゥール n.m 非常にまずい成り行き 「補語」

僕は、あの話は僕の事件とは関係がない、と指摘した。しかし彼は、僕が一度も裁判に関わったことが無い事は明白だ、とだけ答えた。

Je lui ai fait remarquer que cette histoire n'avait pas de rapport avec mon affaire, mais il m'a répondu seulement qu'il était visible que je n'avais jamais eu de rapports avec la justice.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,
 mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron かれに 「間接目的語」
 ai fait remarquer エ・フェ・マルケ 1 単現・完了形(faire remarquer)v.t 指摘した 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 cette histoire セット・イストワール n.f あの話は 「主語」
 n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t ～がない 「動詞句」
 de rapport トゥ・ラポール n.m 関連、関係 「目的語」
 avec mon affaire, アヴェ・エッキ・モノ・affaire

adv. (関係) 僕の事件とは 「副詞句」

mais メ conj. しかし
 il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
 seulement スルモン adv. ～とだけ 「副詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 il イル pron 仮の主語 (真の主語は que je n'avais 以降)
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 visible ヴィジブル adj. 明白な 「補語」
 que ク conj. ～ということは 「主語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'avais jamais eu ナヴェ・ジャメ・ジュ 1 単半・完了形・否定(avoir)
 v.t 一度も持ったことがない 「動詞句」
 de rapports トゥ・ラポール pl.n.m 関係を 「目的語」
 avec la justice. アヴェ・エッキ・ラ・ジュスティス adv. 裁判との 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は腹を立てた様子で帰って行った。

Il est parti avec un air fâché.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

est parti エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 帰って行った

「動詞句」

avec un air アヴ・ェッキ・ア・ネール adv. 様子で

「副詞句」

fâché. ファッシェ adj. 腹を立てた

「形容詞」

僕は、出来ることなら、彼を引き止めて、彼の共感を求めていると説明をしたかったのだ。

それはうまく弁護して欲しいということではなく、言わば自然な感情からだ。

J'aurais voulu le retenir, lui expliquer que je désirais sa sympathie, non pour être mieux défendu, mais, si je puis dire, naturellement.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」, 「間接目的語」「動詞」「直接目的語」,
「副詞句」 mais, 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

aurais voulu ...retenir, オーレ・ヴ・リュ...ルトゥニール 条・1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t 引き止めたいと思ったのだが(出来なかった)

「動詞句」

le ル pron 彼を

「目的語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

expliquer エクスプリケ 条・1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t 説明したいと思ったのだが(出来なかった)

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

désirais デジレ 1 単半・時制の一致(désirer)v.t 求めている

「動詞」

sa sympathie, サ・サンパチ n.f 彼の好感を

「目的語」

non pour +不定詞 ノン・プール adv. ～するためではなく

「副詞句」

être mieux défendu, エートル・ミュ・デフォンジュ 不定詞・受動(défendre)

v.t うまく弁護される

「動詞句」

mais, メ conj. そうではなく

si je puis dire, シ・ジュ・ピュイ・ディール adv. 言ってみれば

「副詞句」

naturellement. ナチュレルモン adv. 自然に

「副詞」

条件法過去・願望 : ～したかったのだが(出来なかった)

J'aurais voulu le retenir 「彼を引き止めたかったが出来なかった」 残念な気持ちを表す

直説法では、J'ai voulu le retenir 「彼を引き止めたかった」と、願望を示すだけである。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

確かに、僕は彼の居心地を悪くしている。

Surtout, je voyais que je le mettais mal à l'aise. 「副詞」, 「主語」 「動詞」 「目的語」
 Surtout, シュルトウ adv. 何よりも、とくに 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 voyais ヴァワイ 1 単半(voir)v.t (que ～と) 分かっていた 「動詞」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 le ル pron 彼を 「目的語」
 mettais メテ 1 単半(mettre)v.t ～の状態にした 「動詞」
 mal à l'aise. マ・ラ・レーズ adj. 居心地の悪い 「補語」

彼は僕の言うことが理解できなくて、少し腹を立てたのだ。

Il ne me comprenait pas et il m'en voulait un peu.
 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 ne ...comprenait pas ヌ...コンブ ルネ・パ 3 単半・否定(comprendre)
 v.t 理解できなかった 「動詞句」
 me ム pron 僕のいうことを 「目的語」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 m'en voulait モン・ヴレ 3 単半(en vouloir à qn)v.t 僕に腹を立てた 「動詞句」
 un peu. アン・プ adv. 少し 「副詞句」

僕には、自分は他の人たちと同じである、断じて皆と同じである、と彼に主張したい願望があった。

J'avais le désir de lui affirmer que j'étais comme tout le monde, absolument comme tout le monde. 「主語」 「動詞」 「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais アヴァエ 1 単半(avoir)v.t があった 「動詞」
 le désir ル・デザール n.m 願望 「目的語」
 de +不定詞 トゥ adj. ～する 「形容詞句」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 affirmer アフィルメ 不定詞 v.t 主張する 「動詞」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

comme コム adv. ーのような 「補語」
 tout le monde, トゥ・ル・モンド すべての人 「目的語」
 absolument comme tout le monde. アブ° ソルモン・コム・トゥ・ル・モンド
 adv. 断じて皆と同じの 「補語」

だが、結局、そう言ったところであまり役に立たないので、僕の怠け心から断念した。

Mais tout cela, au fond, n'avait pas grande utilité et il y ai renoncé par paresse.

Mais 「主語」「副詞句」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

tout cela, トゥ・スラ pron (単数) そのようなことはすべて 「主語」

au fond, オ・フン adv. 結局のところ、実際は 「副詞句」

n'avait pas ナヴェ・パ° 3 単半・否定(avoir)v.t なかった 「動詞句」

grande utilité グロント・ユリテ n.f (否定分で) それほど役に立つこと 「目的語」

et エ conj. そして

il ジュ pron 僕は 「主語」

y イ pron そのことを 「間接目的語」

ai renoncé エ・ルナンセ 1 単現・完了形(renoncer)v.i(à のことを) 断念した 「動詞句」

par paresse. パール・パレス adv. 怠惰のために 「副詞句」

少したってから、僕はまた予審判事の前に連れていかれた。

Peu de temps après, j'étais conduit de nouveau devant le juge d'instruction.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Peu de temps フ°・ドゥ・トン adv. 少しの時間 「副詞句」

après, アプレ adv. 後で 「副詞」

il ジュ pron 僕は 「主語」

étais conduit エテ・コンジユイ 1 単半・受動(conduire)v.t 連れていかれた 「動詞句」

de nouveau トゥ・ヌヴェ° adv. 再び、もう一度 「副詞句」

devant le juge トゥヴァン・ル・ジユージュ adv. 判事の前に 「副詞句」

d'instruction. ダンストルクシオン adj. 予審の 「形容詞句」

時刻は午後 2 時だった。今回は彼の執務室は、ベールのカーテンによってほとんど和らげられていない光であふれていた。

Il était deux heures de l'après-midi et cette fois, son bureau était plein d'une lumière à peine tamisée par un rideau de voile.

「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Il イル pron 時間は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|------------------|--------|
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| deux heures トゥ・セール pl.n.f | 2 時 | 「補語」 |
| de l'après-midi トゥ・ラプレ・ミティ adj. | 午後の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| cette fois, セット・フワ adv. | 今回は、今度は | 「副詞句」 |
| son bureau ソン・ビュロー n.m | 彼の執務室は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| plein d'une lumière プラン・ジユヌ・リュミエール adj. | 光であふれた | 「補語」 |
| à peine ア・ペーン adv. | ほとんど～ない | 「副詞句」 |
| tamisée タミセ | 過去分詞・受動(tamiser) | |
| adj. (光が) | 和らげられた | 「形容詞」 |
| par un rideau パール・アン・リトール adv. | (手段) カーテンで | 「副詞句」 |
| de voile. トゥ・ヴァール adj. | ベールの | 「形容詞句」 |

とても暑かった。

| | |
|--|-----------|
| <u>Il faisait très chaud.</u> | 「動詞句」「補語」 |
| Il faisait イル・フェ 3 単半・非人称(il faire)v.h (天候が) ～であった | 「動詞句」 |
| très chaud. トレ・ショ とても暑い | 「補語」 |

彼は僕を座らせてから、大変丁重に、僕の弁護士が、不測の事態のために来られなかった、
と僕に伝えた。

Il m'a fait asseoir et, avec beaucoup de courtoisie, m'a déclaré que mon avocat, «par suite d'un contretemps», n'avait pu venir.

| | | | |
|------------------|--------------|----------------------------------|--------------------------|
| | 「主語」「動詞句」 | et | 「副詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Il イル pron | 彼は | | 「主語」 |
| m'a fait asseoir | マ・フェ・アスワール | 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞 s'asseoir) | |
| v.t | 僕を座らせた | | 「動詞句」 |
| et, エ conj. | そして | | |
| avec beaucoup de | アヴ・エツキ・ボク・トゥ | adv. たくさんの～で | 「副詞句」 |
| courtoisie, | クルトゥワジー | n.f 丁重さ | 「目的語」 |
| m' ム pron | 僕に | | 「間接目的語」 |
| a déclaré | ア・デクレ | 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと知らせた | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということ | | 「直接目的語」 |
| mon avocat, | モン・アヴカ | n.m 僕の弁護士が | 「主語」 |
| «par suite d' | パール・シュイット・トゥ | prep ～のために | 「副詞句」 |
| un contretemps», | アン・コントルソ | n.m 不測の事態 | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

n'avait pu venir. ナヴヱ・ピュ・ヴァニール 3 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.i 来られなかった

「動詞句」

しかし僕には、彼の質問には答えないで、僕の弁護士が僕の手助けができるようになるのを待つ権利がある。

Mais j'avais le droit de ne pas répondre à ses questions et d'attendre que mon avocat pût m'assister.

Mais 「主語」「動詞」「目的語」「形容詞句」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴヱ 1 単半(avoir)v.t ~がある

「動詞」

le droit ル・ドゥワ n.m 権利

「目的語」

de +不定詞 トゥ adj. (目的) ~するための

「形容詞句」

ne pas répondre ヌ・パ・レポントル 不定詞・否定形

v.i(à に) 答えない

「動詞句」

à ses questions ア・セ・クエション adv. 彼の質問に

「間接目的語」

et エ conj. そして

d'attendre ダントル adj. ~を待つための

「形容詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

mon avocat モン・アヴカ n.m 僕の弁護士が

「主語」

pût m'assister. ピュ・マシステ 接・3 単半・推測(pouvoir+不定詞+me)

v.t 僕を手助けができるようになるのを

「動詞句」

僕は自分ひとりで答えられると言った。

J'ai dit que je pouvais répondre seul.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

pouvais répondre プヴヱ・レポントル 1 単半・可能(pouvoir+不定詞)

v.t 答えられる

「動詞句」

seul. スル adv. 一人だけで

「副詞」

彼は机の上のボタンに指先で触れた。

Il a touché du doigt un bouton sur la table.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a touché ア・トゥシェ 3 単現・完了形(toucher)v.t 触れた

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

du doigt ジュ・トゥワ adv. (手段) 指で 「副詞句」
 un bouton アン・ブトン n.m (衣服の) ボタンに 「目的語」
 sur la table. シュール・ラ・ターブル adv. 机の上の 「副詞句」

若い書記がやって来て、僕のほぼ真後ろに座った。

Un jeune greffier est venu s'installer presque dans mon dos. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Un jeune greffier アン・ジュヌ・グレルフィエ n.m 若い書記が 「主語」

est venu +不定詞 エ・ヴァニュ 3 単現・完了形・しにくる(venir+不定詞)

v. ～しに来た 「動詞句」

s'installer サnstal 不定詞 v.pr 座る 「動詞句」

presque プレスキ adv. ほとんど 「副詞」

dans mon dos. ドン・モン・ド adv. 背後に 「副詞句」

僕たちはそれぞれの肘掛椅子に身を落ち着けた。

Nous nous sommes tous les deux carrés dans nos fauteuils.

「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

nous sommes ...carrés ヌ・ソム...カレ 1 複現・完了形(se carrer)

v.pr ゆったりと身を落ち着けた 「動詞句」

tous les deux トス・レ・トゥワ adv. 二人とも、2 つとも 「副詞句」

dans nos fauteuils. ドン・ノ・ドン・ノ・フォトゥイユ adv. 肘掛椅子に 「副詞句」

尋問が始まった。

L'interrogatoire a commencé.

「主語」「動詞句」

L'interrogatoire ランテロガトワール n.m 尋問が、取り調べが

「主語」

a commencé. ア・コメンセ 3 単現・完了形(commencer)v.i 始まった

「動詞句」

彼はまず、世間では僕のことを無口で内向的な性格だと想像している、と僕に言った。それから彼は、そのことについて僕がどのように思うかを知りたがった。

Il m'a d'abord dit qu'on me dépeignait comme étant d'un caractère taciturne et renfermé et il a voulu savoir ce que j'en pensais.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「直接目的語」

et 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a ... dit ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | |
|----------------|------------|--------------------------|---------|
| d'abord | ダボール | adv. まず、最初に | 「副詞句」 |
| qu' | ク | conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| on | オン | pron 人々は、世間では | 「主語」 |
| me | ム | pron 僕を | 「目的語」 |
| dépeignait | デペニエ | 3 単半(dépeindre) | |
| | v.t | 思い描いている、想像している | 「動詞」 |
| comme étant | コム・エトン | adv. (様態) ～であるように | 「補語」 |
| d'un caractère | ダン・カラクテル | adj. 性格の | 「補語」 |
| taciturne | タシチュルヌ | adj. 無口な | 「形容詞」 |
| et | エ | conj. そして | |
| renfermé | ロンフェルメ | adj. 閉鎖的な、内向的な | 「形容詞」 |
| et | エ | conj. そして | |
| il | イル | pron 彼は | 「主語」 |
| a voulu savoir | ア・ヴリュ・サヴァル | 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞) | |
| | v.t | 知りたがった | 「動詞句」 |
| ce | ス | pron そのことを | 「目的語」 |
| que | ク | pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| j' | ジュ | pron 僕が | 「主語」 |
| en | オン | adv. それについて (世間の言うこと) | 「副詞」 |
| pensais. | ボンセ | 1 単半(penser)v.t 思う | 「動詞」 |

僕は答えた：「それは言うほどの事が何もないからだ。だから僕は黙っている」と。

J'ai répondu: «C'est que je n'ai jamais grand-chose à dire. Alors je me tais.»

| | | | |
|-------------|----------|---------------------------|----------------|
| | | | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| J' | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu: | エ・レボンジュ | 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| n. | | ～ということを | 「目的語」 |
| «C' | ス | pron それは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| que | ク | conj. ～ということ | 「補語」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai jamais | ネ・ジャメ | 1 単現・否定(avoir)v.t ない | 「動詞句」 |
| grand-chose | グロン・ショース | pron (否定文でのみ) 大したこと | 「目的語」 |
| à dire. | ア・テイル | adj. 言うべき | 「形容詞句」 |
| Alors | アロー | adv. それで、だから | 「副詞」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

me tais.» ム・テ 1 単現(se taire)v.pr 黙っている

「動詞句」

彼は、最初の時と同じように微笑んで、それはもっともな理由であると認めてから、付け加えた。「それに、これは重要なことではありません」

Il a souri comme la première fois, a reconnu que c'était la meilleure des raisons et a ajouté: «D'ailleurs, cela n'a aucune importance.»

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」et 「動詞句」:
 «「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」»

Il イル pron 彼は 「主語」
 a souri ア・スリ 3 単現・完了形(sourire)v.i 微笑んだ 「動詞句」
 comme コム conj. どのように 「副詞句」
 la première fois, ラ・プルミエール・フワ n.f 最初の時 「目的語」
 a reconnu ア・ルコニュ 3 単現・完了形(reconnaître)v.t(que ~であると) 認めた 「動詞句」
 que ク conj. ~ということを 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
 la meilleure des raisons ラ・メイェール・テ・レゾン n.f 最も良い理由 「補語」
 定冠詞+ meilleure de+名詞 「名詞の中で最も良いもの」
 et エ conj. そして
 a ajouté: ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞句」
 «D'ailleurs, ダイェール adv. それに 「副詞句」
 cela スラ pron これは 「主語」
 n'a ナ 3 単現・否定(avoir)v.t ~がない 「動詞句」
 aucune importance.» オキュヌ・アンポルトヌ n.f 何も重要な事 「目的語」

彼は黙り込んで、僕をじっと見つめた。それから不意に姿勢を正して、とても早口で僕に言った：「私が興味があるのは、あなた自身です」

Il s'est tu, m'a regardé et s'est redressé assez brusquement pour me dire très vite: «Ce qui m'intéresse, c'est vous.»

「主語」「動詞句」, 「目的語」「動詞句」et 「動詞句」「副詞句」: «「主語」「動詞」「補語」»

Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est tu, セ・チュ 3 単現・完了形(se taire)v.pr 黙り込んだ 「動詞句」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 s'est redressé セ・ルトレッセ 3 単現・完了形(se redresser)v.pr 姿勢を正した 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | |
|-------------------|-----------|---------------------------|---------|
| assez brusquement | アセ・ブリスクモン | adv. 急に、不意に | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 | プール | adv. (継続) そして～した | 「副詞句」 |
| me | ム | pron 僕に | 「間接目的語」 |
| dire | ディール | 不定詞 v.t 言う | 「動詞」 |
| très vite | トレ・ヴィット | adv. とても早く | 「副詞句」 |
| «Ce | ス | pron それは | 「主語」 |
| qui | キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' | ム | pron 僕を | 「目的語」 |
| intéresse, | アンテレス | 3 単現(intéresser)v.t 興味を引く | 「動詞」 |
| c' | ス | pron それは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| vous. » | ヴ | pron あなた | 「補語」 |

僕は彼が言おうとしていることが理解できなかったのも、何も答えなかった。

Je n'ai pas bien compris ce qu'il entendait par là et je n'ai rien répondu.

| | | | |
|-----------------------|--------------|---------------------------------|----------------------------------|
| | | | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai pas bien compris | ネ・パ・ビヤン・コンプリ | 1 単現・完了形・否定(comprendre) | |
| | v.t | よく理解できなかった | 「動詞句」 |
| ce | ス | pron ことを | 「目的語」 |
| qu' | ク | pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| il | イル | pron 彼が | 「主語」 |
| entendait | オンタンテ | 3 単半・時制の一致(entendre) | |
| | v.t(par | で) 言おうとする | 「動詞」 |
| par là | パール・ラ | adv. それで | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. そして | |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai ...répondu. | ネ...レボンジュ | 1 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった | 「動詞句」 |
| rien | リヤン | pron 何も～ない | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「いくつかの事を」と、彼は付け加えた。「あなたの行為の中で、私は理解できないのです。
私がそれらを理解する手助けを、あなたがしてくれると確信しています」

«Il y a des choses, a-t-il ajouté, qui m'échappent dans votre geste. Je suis sûr que vous allez m'aider à les comprendre.»

《「動詞句」「目的語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「主語」「動詞」「補語」》

«Il y a イ・リ・ヤ 3 単現(il y avoir)v.t ~がある 「動詞句」

des choses, テ・ショズ pl.n.f 事が 「目的語」

a-t-il ajouté, ア・テイル・アジュテ 3 単現・完了形(ajouter)

v.t 付け加えた 「動詞句」「主語」「動詞句」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

m' ム pron 私の 「間接目的語」

échappent エシャップ 3 複現(échapper)

v.i (à qn 人の) 目を逃れている 「動詞」

dans votre geste. ドン・ヴォトル・ジェスト adv. あなたの行為には 「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」

sûr シュール adj. (que+直説法) ~であることを確信している 「補語」

que ク conj. ~ということについて 「副詞節」

vous ヴ pron あなたが 「主語」

allez ...aider アレ...エテ 2 複現・近接未来(aller+不定詞)

v.t 手伝ってくれるだろう 「動詞句」

m' ム pron 私が 「目的語」

à +不定詞 ア 不定詞・me の動作 v. ~することを 「補語」

les レ pron.pl それらを 「目的語」

comprendre. コンブ ロントル 不定詞 v.t 理解する 「動詞」

僕は、すべてがまったく単純なことだと答えた。

J'ai dit que tout était très simple. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 私は 「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ~ということ 「目的語」

tout トゥ pron すべてが 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」

très simple. トレ・サンブル adj. まったく単純な 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕に、あの日の出来事をもう一度説明するように促した。

| | |
|--|--------------------|
| <u>Il m'a pressé de lui retracer ma journée.</u> | 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| a pressé ア・プレス 3 単現・完了形(presser) | |
| v.t (qn de+不定詞 人に) ～するようせきたてた | 「動詞句」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞・me の動作 v. ～することを | 「補語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| retracer ルトラセ 不定詞 v.t 再び描写する | 「動詞」 |
| ma journée. マ・ジュールネ n.f あの日の出来事を | 「直接目的語」 |

僕は彼に、既に語ったことをまた説明した：レーモン、浜辺、海水浴、けんか、また浜辺、小さな泉、太陽、そしてリボルバーでの5回の発砲。

| | |
|--|-------------------------------|
| <u>Je lui ai retracé ce que déjà je lui avais raconté : Raymond, la plage, le bain, la querelle, encore la plage, la petite source, le soleil et les cinq coups de revolver.</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」:「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai retracé エ・ルトラセ 1 単現・完了形(retracer)v.t また説明した | 「動詞句」 |
| ce ス pron それを | 「直接目的語」 |
| que ク pron (目的語) ～した | 「形容詞節」 |
| déjà デジャ adv. すでに | 「副詞」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| avais raconté: アヴ・エ・ラコンテ 1 単半・完了形(raconter) | |
| v.t 話していた | 「動詞句」 |
| Raymond, レモン n.m レーモン | 「目的語」 |
| la plage, ラ・プラージュ n.f 浜辺 | 「目的語」 |
| le bain, ル・バン n.m 海水浴 | 「目的語」 |
| la querelle, ラ・ケレル n.f けんか | 「目的語」 |
| encore la plage, オンコール・ラ・プラージュ n.f また浜辺 | 「目的語」 |
| la petite source, ラ・プティット・スルス n.f 小さな泉 | 「目的語」 |
| le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| les cinq coups レ・サンキ・クー pl.n.m 5 回の発砲 | 「目的語」 |
| de revolver. トゥ・ルヴ・オルヴァール adj. リボルバーの | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

一区切りごとに、彼は相槌を打った：「なるほど、なるほど」

A chaque phrase il disait: «Bien, bien.» 「副詞句」「主語」「動詞」：《「応答」》
 A chaque phrase ア・シャッキ・フレーズ adv. 一区切りごとに 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 disait: ディェ 3 単半(dire)v.t 言った、相槌を打った 「動詞」
 «Bien, bien.» ビヤン・ビヤン adv. なるほど、なるほど 「応答」

話が、横たわったからだのことにすると、彼は納得して言った：「よろしい」

Quand je suis arrivé au corps étendu, il a approuvé en disant: «Bon.»
 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」：《「応答」》
 Quand コン conj. ～するとき 「副詞節」
 je ジュ pron 僕の話が 「主語」
 suis arrivé シュイ・ザリウヴェ 1 単現・完了形(arriver)v.i やって来た 「動詞句」
 au corps オ・コール adv. からだのことに 「間接目的語」
 étendu, エトンジュ 過去分詞(étendre)adj. 横たわった、倒れた「形容詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a approuvé ア・アプルーヴェ 3 単現・完了形(approuver)v.t 同意した、納得した 「動詞句」
 en disant: オン・ディザン ジェロンディフ(dire)adv. 言いながら 「副詞句」
 «Bon.» ボン adv. 《よろしい》 「応答」

僕はこんな風に同じ話を繰り返すことが嫌になってきていた。それに、僕がこんなに話したことは今までに一度もないと思われた。

Moi, j'étais lassé de répéter ainsi la même histoire et il me semblait que je n'avais jamais autant parlé. 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」et 「間接目的語」「動詞」「主語」
 Moi, j' ムワ・ジュ pron 僕は 「主語」
 étais lassé エテ・ラッセ 1 単半・受動(lasser)v.t(de+不定詞 ～するの)に) 飽きた 「動詞句」
 de répéter トゥ・レペテ 不定詞 v.t 繰り返す 「動詞句」
 ainsi アンシ adv. こんなふうに 「副詞」
 la même histoire ラ・メーム・イストワール n.f 同じ話を 「目的語」
 et エ conj. そして
 il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)
 me ム pron 僕には 「間接目的語」
 semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ～のように思われた 「動詞」
 que ク conj. ～ということが 「主語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

n'avais jamais autant parlé. ナヴ'ェ・ジャメ・オートン・パル 1 単半・完了形・否定

v.i これほど話したことは今までに一度もなかった

「動詞句」

一瞬の沈黙の後で彼は立ち上がって僕に言った。彼は僕を助きたい、僕は彼の関心を引く、そして神のご加護があれば、僕のために何かできるだろうと。

Après un silence, il s'est levé et m'a dit qu'il voulait m'aider, que je l'intéressais et qu'avec l'aide de Dieu, il ferait quelque chose pour moi.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Après un silence, アプ'レ・アン・シロンス adv. 一瞬の沈黙の後で

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

s'est levé セ・ルヴ'ェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

voulait ...aider, ヴ'レ...エテ 3 単半・願望・時制の一致(vouloir+不定詞)

v.t 助きたい

「動詞句」

m' ム pron 僕を

「目的語」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼の

「目的語」

intéressais アンテレス 1 単半・時制の一致(intéresser)

v.t 関心を引く

「動詞」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

avec l'aide de Dieu, アヴ'ェッキ・レト'・ド'ウ・ディユ adv. 神のご加護によって

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

ferait フレ 条・3 単現・推量(faire)v.t ～をするだろう

「動詞」

quelque chose ケルキ・ショーズ pron 何かを

「目的語」

pour moi. プ'ール・ムわ adv. 僕のために

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかしその前に、彼はまだ僕にいくつかの質問をしたかった。

Mais auparavant, il voulait me poser encore quelques questions.

Mais 「副詞」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞」「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

auparavant, オパラヴァン adv. その前に

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

voulait ...poser ヴレ...ポゼ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 質問したかった

「動詞句」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

encore オンコール adv. まだ

「副詞」

quelques questions. ケルク・クシュン pl.n.f いくつかの質問を

「直接目的語」

彼はいきなり僕に、母さんを愛しているかと尋ねた。

Sans transition, il m'a demandé si j' aimais maman.

「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Sans transition, ソン・トランジション adv. いきなり

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

aimais エメ 1 単半・時制の一致(aimer)v.t 愛している

「動詞」

maman. マモン n.f 母さんを

「目的語」

僕は答えた：「ええ、皆と同じですよ」と、これまで規則正しくタイプを打っていた書記がタッチを間違えたようだ。彼は混乱してしまい、後戻りしなければならなかった。

J'ai dit: «Oui, comme tout le monde» et le greffier, qui jusqu'ici tapait régulièrement sur sa machine, a dû se tromper de touches, car il s'est embarrassé et a été obligé de revenir en arrière.

「主語」「動詞句」: 《「応答」》 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた

「動詞句」

«Oui, ウー adv. ええ

「応答」

comme tout le monde» コム・トゥ・ル・モンテ adv. 皆と同じように

「応答」

et エ conj. すると

le greffier, ル・グレフィエ n.m 書記が

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| jusqu'ici ジュスキ adv. これまで、ここまで | 「副詞句」 |
| tapait タペ 3 単半(taper)v.i (タイプを) 打っていた | 「動詞」 |
| régulièrement レギュリエルモン adv. 規則正しく、むらなく | 「副詞」 |
| sur sa machine, シュール・サ・マシーン adv. タイプライターに向かって | 「副詞句」 |
| a dû ア・デュ 3 単現・完了形・可能性(devoir+不定詞) | |
| v. きっと～したのだろう | 「動詞句」 |
| se tromper ス・トロンペ 不定詞 v.pr 間違える | 「動詞句」 |
| de touches, トゥ・トゥッシュ pl.n.f タッチを | 「目的語」 |
| car カル conj. ～なので | 「副詞節」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| s'est embarrassé セ・トンバラッセ 3 単現・完了形・(s'embarrasser) | |
| v.pr 混乱した | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| a été obligé de revenir ア・エテ・オブリジエ・ト・ヴォルヴニール 3 単現・完了形・受動・必要 | |
| v.i(être obligé de+不定詞) 戻らざるを得なくなった | 「動詞句」 |
| en arrière. オン・リアール adv. 後ろに | 「副詞句」 |

相変わらず何の脈絡もなしに、判事は僕がたて続けに 5 発の銃弾を撃ったのかと尋ねた。

| | |
|--|-----------------------------------|
| <u>Toujours sans logique apparente, le juge m'a alors demandé si j'avais tiré les cinq coups de revolver à la suite.</u> | 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 |
| Toujours トゥジュール adv. 相変わらず、いつも | 「副詞」 |
| sans logique ソン・ロジキ adv. 理屈もなしに | 「副詞句」 |
| logique ロジキ n.f 論理、首尾一貫性、理屈 | |
| apparente, アパ・ロントゥ adj.f 明らかな | 「形容詞」 |
| le juge ル・ジュージュ n.m 判事は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a alors demandé ア・アロー・ト・ヴォモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t. そこで尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| avais tiré アヴァ・チレ 1 単現・完了形(tirer)v.t. 発射した、撃った | 「動詞句」 |
| les cinq coups レ・サンキ・クー pl.n.m 5 発を | 「目的語」 |
| de revolver トゥ・ルヴァオルヴエ adj. リヴォルバーの | 「形容詞句」 |
| à la suite. ア・ラ・シュイト adv. 続けて、次々に | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はよく考えた。そして最初は1発だけを撃ち、数秒後に、残りの4発を撃ったと言った。

J'ai réfléchi et précisé que j'avais tiré une seule fois d'abord et, après quelques secondes, les quatre autres coups.

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai réfléchi エ・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i よく考えた 「動詞句」

et エ conj. そして

précisé プレシセ 1 単現・完了形(préciser)v.t はっきり言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais tiré アヴァ・チレ 1 単現・完了形(tirer)v.t 発射した、撃った 「動詞句」

une seule fois エヌ・スル・フワ n.f 1 発だけ 「目的語」

d'abord タウ・オル adv. 最初に 「副詞句」

et, エ conj. そして

après quelques secondes, アプレ・ケルキ・スコント adv. 数秒後に 「副詞句」

les quatre autres coups. レ・クワトル・オートル・クー pl.n.m 残りの4発を 「目的語」

「どうして、あなたは1発目と2発目の間に間を置いたのですか？」と、彼は言った。

«Pourquoi avez-vous attendu entre le premier et le second coup?» dit-il alors.

《「副詞」「動詞句」「主語」「副詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞」

«Pourquoi プルクワ adv. どうして 「副詞」

avez... attendu アヴェ...オンジュ 2 複現・完了形(attendre)v.t 待った、間を置いた 「動詞句」

vous ヴー pron あなたは 「主語」

entre オントル prep. ～の間に 「副詞句」

le premier ル・プルミエ n.m 1 発目 「目的語」

et エ conj. そして

le second coup?» ル・スコソン・クー n.m 2 発目 「目的語」

dit ティ 3 単過(dire)v.t 言った 「動詞」

il イル pron 彼が 「主語」

alors. アロー adv. それで 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はまたあの赤く染まった浜辺を思い出し、額の上に太陽の焼けるような痛みを感じた。

Une fois de plus, j'ai revu la plage rouge et j'ai senti sur mon front la brûlure du soleil.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Une fois de plus, ユンス・フワ・ドゥ・プリュ adv. またもや、もう一度 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai revu エ・ルヴュ エ・ルヴュ 1 単現・完了形(revoir)v.t まざまざと思い出した 「動詞句」

la plage rouge ラ・プラージュ・ルージュ n.f 赤く染まった浜辺を 「目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai senti エ・ソチ 1 単現・完了形(sentir)v.t 感じた 「動詞句」

sur mon front シュール・モン・フロン adv. 額の上に 「副詞句」

la brûlure ラ・ブリュール n.f 焼けるような痛みを 「目的語」

du soleil. ジュ・ソレイユ adj. 太陽の 「形容詞句」

しかし今回は、僕は何も答えなかった。

Mais cette fois, je n'ai rien répondu. Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」

Mais メ conj. しかし

cette fois, セット・フワ adv. 今回は 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai ...répondu. ネ...レポンスジュ 1 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった 「動詞句」

rien リャン pron 何も～ない 「目的語」

その後、沈黙してから間ずっと、判事は動揺した様子だった。

Pendant tout le silence qui a suivi le juge a eu l'air de s'agiter.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Pendant ホントン prep (時間) ～の間 「副詞句」

tout トゥ adj. (時間) ずっと、すべての 「形容詞」

le silence ル・シロンス n.m 沈黙 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

a suivi ア・シュイヴィ 3 単現・完了形(suivre)

v.i 後からやって来た 「動詞句」

le juge ル・ジュージュ n.m 判事は 「主語」

a eu ア・イ 3 単現・完了形(avoir)v.t (特徴を) していた 「動詞句」

l'air レール n.m 様子を 「目的語」

de s'agiter. トゥ・サジテ 不定詞・同格 adj. 動揺する 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は座って、髪を掻き上げて、机の上に肘を突いてから、奇妙な様子で少し僕のほうに体を傾けて、尋ねた。「なぜ、なぜ、君は地面に倒れている体に向かって銃を撃ったのですか？」

Il s'est assis, a fourragé dans ses cheveux, a mis ses coudes sur son bureau et s'est penché un peu vers moi avec un air étrange: «Pourquoi, pourquoi avez-vous tiré sur un corps à terre?»

「主語」「動詞句」, 「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」

et 「動詞句」「副詞句」: «「副詞句」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」»

Il ^{イル} pron 彼は 「主語」
 s'est assis, ^{セ・タシ} 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
 a fourragé ^{ア・フラジエ} 3 単現・完了形(fourrager)v.i 掻き上げた、かき回す 「動詞句」
 dans ses cheveux, ^{ドン・セ・ス ッウヴェー} adv. 髪を 「間接目的語」
 a mis ^{ア・ミ} 3 単現・完了形(mettre)v.t (肘を) 突いた、置いた 「動詞句」
 ses coudes ^{セ・クドゥ} pl.n.m 肘を 「目的語」
 sur son bureau ^{シュール・ソン・ビュロー} adv. 机の上に 「副詞句」
 et ^エ conj. そして
 s'est penché ^{セ・ボンシェ} 3 単現・完了形(se pencher)v.pr 身をかがめた 「動詞句」
 un peu vers moi ^{アン・プ・ヴァール・ムわ} adv. 少し僕のほうに 「副詞句」
 avec un air étrange: ^{アヴェ・エツキ・アン・エール・エトロンジュ} adv. 奇妙な様子で 「副詞句」
 «Pourquoi, ^{プルクわ} adv. なぜ 「副詞」
 pourquoi ^{プルクわ} adv. なぜ 「副詞」
 avez ...tiré ^{アヴェ・エ...フレ} 2 複現・完了形(tirer)v.t 撃った 「動詞句」
 vous ^ヴ pron あなたは 「主語」
 sur un corps ^{シュール・アン・コール} adv. (目標) 体に向かって 「間接目的語」
 à terre?» ^{ア・テル} adv. (場所) 地面にある 「副詞句」

それに対してもまた、僕は答えられなかった。

Là encore, je n'ai pas su répondre. 「間接目的語」「副詞」, 「主語」「動詞句」
 Là ^ラ adv. (話題) それに対して 「間接目的語」
 encore, ^{オンコール} adv. また、再び 「副詞」
 je ^{ジュ} pron 僕は 「主語」
 n'ai pas su répondre. ^{ネ・パ・ス・レポントール} 1 単現・可能・否定・完了形(savoir+不定詞)
 v.i(à に) 答えられなかった 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

判事は額に手を当てて、少し上ずった声で同じ質問を繰り返した：「なぜ？あなたは私にそのことを話すべきです。なぜ？」

Le juge a passé ses mains sur son front et a répété sa question d'une voix un peu altérée:
 «Pourquoi? Il faut que vous me le disiez. Pourquoi?»

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」「副詞句」:

《「副詞」 | 「動詞句」「主語」 | 「副詞」》

Le juge ル・ジュージュ n.m 判事は 「主語」
 a passé ア・パッセ 3 単現・完了形(passer)v.t 動かした、移した 「動詞句」
 ses mains セ・マン pl.n.f 手を 「目的語」
 sur son front シュール・ソン・フロン adv. 額の上に 「副詞句」
 et エ conj. そして
 a répété ア・レペテ 3 単現・完了形(répéter)v.t 繰り返した 「動詞句」
 sa question サ・ケスチョン n.f 質問を 「目的語」
 d'une voix ジュヌヌ・グワ adv. (手段) 声で 「副詞句」
 un peu altérée: アン・プ・アルテ 過去分詞・受動.f(altérer) 少し上ずった「形容詞句」
 altérer アルテ v.t 変化させる
 «Pourquoi? プルクワ adv. なぜ 「副詞」
 Il faut イ・フォ 3 単現・非人称(il falloir que +接続法)v.h ~すべきである、必要だ「動詞句」
 que ク conj. ~ということが 「主語」
 vous ヴ pron あなたが 「主語」
 me ム pron 私に 「間接目的語」
 le ル pron そのことを 「直接目的語」
 disiez. 2 複現(dire)v.t 言う 「動詞」
 Pourquoi? プルクワ adv. なぜ 「副詞」

僕はずっと黙まり続けた。

Je me taisais toujours. 「主語」「動詞句」「副詞」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me taisais ム・テセ 1 単半(se taire)v.pr 黙っていた 「動詞句」
 toujours. トゥジュール adv. ずっと 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

突然、彼は立ち上がり、大股で執務室の端まで歩いて行き、書類戸棚の引き出しを開けた。

Brusquement, il s'est levé, a marché à grands pas vers une extrémité de son bureau et a ouvert un tiroir dans un classeur.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 et 「動詞句」 「目的語」
 Brusquement, ブリュスキモン adv. 急に、突然 「副詞」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'est levé, セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」
 a marché ア・マルシェ 3 単現・完了形(marcher)v.i 歩いて行った 「動詞句」
 à grands pas ア・グロン・パ adv. (方法) 大股で 「副詞句」
 vers une extrémité ヴェール・ユヌ・エクストリミテ adv. (方向) 端のほうへ 「副詞句」
 de son bureau ド・ウ・ソン・ビュロー adj. 執務室の、事務所の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 a ouvert ア・ウヴェール 3 単現・完了形(ouvrir)v.t 開けた 「動詞句」
 un tiroir アン・チルワール n.m 引き出しを 「目的語」
 dans un classeur. トン・サン・クラセル
 adv. 書類戸棚の、ファイリングキャビネットの 「副詞句」

彼はそこからキリストの十字架像を取り出し、それを僕に振りかざしながら戻ってきた。

Il en a tiré un crucifix d'argent qu'il a brandi en revenant vers moi.

「主語」 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 en オン adv. そこから (引き出しから) 「副詞句」
 a tiré ア・チレ 3 単現・完了形(tirer)v.t 取り出した 「動詞句」
 un crucifix アン・クリシフィ n.m キリストの十字架像を、キリストの磔刑像を 「目的語」
 d'argent ダルバンヨン adv. (材料) 銀製の 「形容詞句」
 qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a brandi ア・ブロンディ 3 単現・完了形(brandir)
 v.t (脅すために) 振りかざした 「動詞句」
 en revenant オン・ルヴァン ジェロンディフ(revenir)
 adv. 戻りながら 「副詞句」
 vers moi. ヴェール・ムワ adv. 僕のほうへ 「副詞句」

キリストの十字架像 :

M. Vine ajoute que, dans le grec original, le nom “ croix ” comme le verbe “ crucifier ” se rapportent “ à un pieu ou à un poteau [...] à distinguer [...] de la croix ecclésiastique composée de deux pièces de bois ”.

DEUXIÈME PARTIE 第2部

さらにバインは、「十字架」あるいは「十字架につける」と訳されているギリシャ語はいずれも「杭もしくは棒ぐい」を示唆しており、「教会の用いている、2本の梁材を組み合わせた十字架の形とは.....区別されるべきものである」と指摘しています。

つまり、十字架ではなく、1本の棒杭に縛り付けられていたという説もあるということ。

そして、ほとんど震えるような声で、彼は叫んだ：「あなたはこの方をご存知ですか？」

Et d'une voix toute changée, presque tremblante, il s'est écrié: «Est-ce que vous le connaissez, celui-là?»

Et 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」: 《「主語」 「目的語」 「動詞」 「目的語」》

Et エ conj. そして

d'une voix toute changée, シュンヌ・ヴ・トワット・シヨンジエ adv. 上ずった声で 「副詞句」

presque tremblante, プレスキ・トロンブレ adv. ほとんど震えるような 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

s'est écrié: セ・テクリエ 3 単現・完了形(se écrier)v.pr 叫んだ 「動詞句」

«Est-ce que エス・ク 3 単現・疑問文開始 v. ～ですか?

vous ヴ pron あなたは 「主語」

le ル pron これを 「目的語」

connaissez, コネ 2 複現(connaitre)v.t 知っている 「動詞」

celui-là?» スリュイ・ラ pron この方を 「目的語」

僕は答えた：「ええ、もちろん」

J'ai dit: «Oui, naturellement.» 「主語」 「動詞句」: 《「応答」》

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit: エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 答えた 「動詞句」

«Oui, naturellement.» ウー・ナチュレルモン adv. ええ、もちろん 「応答」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すると、彼はとても早口で情熱的な口調で僕に言った：彼は神を信じている。彼の信念によると、どんな人間であっても、神がお許しにならないほど罪深くはない。しかしそのためには、悔い改めることで魂を空っぽにして、すべてを受け入れる準備ができた子供のようになることが必要である。

Alors il m'a dit très vite et d'une façon passionnée que lui croyait en Dieu, que sa conviction était qu'aucun homme n'était assez coupable pour que Dieu ne lui pardonnât pas, mais qu'il fallait pour cela que l'homme par son repentir devînt comme un enfant dont l'âme est vide et prête à tout accueillir.

「副詞」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「副詞句」,
「直接目的語」, 「直接目的語」 mais 「直接目的語」

Alors アー adv. それで、すると 「副詞」
il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
très vite トレ・ヴィット adv. とても早口で 「副詞句」
et エ conj. そして
d'une façon passionnée ジュヌ・ファツ・パ・シネ adv. 情熱的に 「副詞句」
que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
lui リュイ pron 彼は 「主語」
croyait クワイ 3 単半・時制の一致(croire)v.i(en を) 信じている 「動詞」
en Dieu, オン・ディユ adv. 神を 「間接目的語」
que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
sa conviction サ・コンヴィクシオン n.f 彼の信念は 「主語」
était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
qu' ク conj. ～ということ 「補語」
aucun homme オカン・ム n.m どんな人間も 「主語」
n'était ネテ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない 「動詞」
assez coupable アセ・カプブル adj. 十分に罪のある 「補語」
pour que プール・ク adv. ～するほど、～するために 「副詞節」
Dieu ディユ n.m 神が 「主語」
ne ...pardonât pas,ヌ...パルトナ・パ 接・3 単半・否定(pardoner)
v.t 許さない 「動詞句」
lui リュイ pron 彼を 「目的語」
mais メ conj. しかし
qu' ク conj. ～ということ 「直接目的語」
il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称(il falloir)v.h (que) ～が必要である 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| pour cela プール・スラ adv. そのためには | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということが | 「主語」 |
| l'homme ロム n.m 人は | 「主語」 |
| par son repentir パール・ソ・ルポ・ンチール adv. 悔い改めによって | 「副詞句」 |
| devînt トゥヴィン 接・3 単半・推量(devenir)v.i ～になるだろう | 「動詞」 |
| comme un enfant コム・アン・オンフォン adv. 子供のように | 「副詞句」 |
| dont ドン adv. それによって | 「形容詞節」 |
| l'âme ラム n.f 魂は | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| vide ヴィット adj. 空っぽの | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| prête プレット adj.f(à に) 準備ができている | 「補語」 |
| à tout accueillir. ア・トゥ・アキエイール adv. (目的) すべてを受け入れる | 「副詞句」 |

彼は全身で机に覆いかぶさっていた。

Il avait tout son corps penché sur la table.

| | |
|--|--------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait ...penché アヴィエ...ポ・ンシェ 3 単半・完了形(pencher) v.i 被さっていた、傾いていた | 「動詞句」 |
| tout son corps トゥ・ソ・コール adv. 全身で | 「副詞句」 |
| sur la table. シュール・ラ・ターブル adv. 机の上に | 「副詞句」 |

彼はキリストの十字架像をほとんど僕の頭上で振りかざしていた。

Il agitait son crucifix presque au-dessus de moi.

| | |
|--|--------------------|
| | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| agitait アジテ 3 単半(agiter)v.t 振りかざしていた | 「動詞」 |
| son crucifix ソ・クリシィ n.m キリストの十字架像を | 「目的語」 |
| presque au-dessus de moi. プレスキ・オ・トゥシュ・ド・オウ・ムワ adv. ほとんど僕の頭上で | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

実をいうと、僕は彼の理屈にほとんどついていけなかった。なぜなら、まず第一に暑かったから。そして彼の部屋には大きなハエが何匹もいて僕の顔に止まっていたから。そしてまた、僕は判事が少し怖かったから。

A vrai dire, je l'avais très mal suivi dans son raisonnement, d'abord parce que j'avais chaud et qu'il y avait dans son cabinet de grosses mouches qui se posaient sur ma figure, et aussi parce qu'il me faisait un peu peur.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 「動詞句」 「副詞句」

「副詞句」 「副詞節」 et 「副詞節」 et 「副詞句」 「副詞節」

A vrai dire, ア・ヴレ・デール adv.(= A dire vrai) 実をいうと 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l'ル pron 彼に 「目的語」

avais ...suivi アヴエ...シュイヴィ 1 単半・完了形(suivre)

v.t (話に) ついていった、理解した 「動詞句」

très mal トレ・マル adv. まったくうまくいかない 「副詞句」

dans son raisonnement, ドン・ソン・レゾンヌモン adv. 彼の理屈に関して 「副詞句」

d'abord タボール adv. まず第一に 「副詞句」

parce que パルス・キ conj. なぜなら～だから 「副詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴエ 1 単半(avoir)v.t (+無冠詞名詞) ～であった 「動詞」

chaud ショ n.m 暑さ 「目的語」

et エ conj. そして

qu' ク conj. (parce que) ～ということ 「副詞節」

il y avait イ・リ・アヴエ 3 単半(il y avoir)v.t ～があった 「動詞句」

dans son cabinet ドン・ソン・カビネ adv. 彼の部屋には 「副詞句」

de grosses mouches トゥ・グロス・ムーシュ pl.n.f 大きなハエが 「目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

se posaient ス・ポゼ 3 複半(se poser)

v.pr(sur に) 止まっていた 「動詞句」

sur ma figure, シュール・マ・フィギュール adv. 僕の顔に 「副詞句」

et エ conj. そして

aussi オシ adv. 同様に 「副詞句」

parce qu' パルス・キ conj. なぜなら～だから 「副詞節」

il ル pron 判事は 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

faisait フェ 3 単半・使役(faire)v.t ～にした 「動詞」

un peu peur. アン・プ・ペール n.m 少し恐怖に 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | |
|---------------------|---------------------|------------|--------|
| v.t | ～しかない、～だけがある | 「動詞句」 | |
| un point | アン・プ° わン n.m | 1 点が | 「目的語」 |
| d'obscur | ドブ° スキュール adj. | あいまいな | 「形容詞句」 |
| dans ma confession, | ドン・マ・コンフェション | | |
| adv. | 僕の供述には | 「副詞句」 | |
| le fait | ル・フェ n.m | 事実 | 「主語」 |
| d'avoir attendu | ダヴァ° わル・アトシヅュ | 不定詞・完了形・同格 | |
| adj. | 待ったという | 「形容詞句」 | |
| pour tirer | プール・チレ adv. | 撃つために | 「副詞句」 |
| mon second coup | モン・スコン・クー n.m | 2 発目を | 「目的語」 |
| de revolver. | ドゥ・ルヴ° オルヴァ° エ adj. | レヴォルヴァアの | 「形容詞句」 |

他の部分は良く分かる、しかしここだけが彼には理解ができなかった。

Pour le reste, c'était très bien, mais cela, il ne le comprenait pas.

| | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|---------|---------------|------|-------|------|-------|-------|-------|
| 「副詞句」, | 「主語」 | 「動詞」 | 「補語」 | mais | 「目的語」 | 「主語」 | 「動詞句」 | 「目的語」 | 「動詞句」 |
| Pour | プ [°] ール prep | (主題) | ～については、～に関しては | | | | 「副詞句」 | | |
| le reste, | ル・レスト n.m | 他の部分 | | | | | 「目的語」 | | |
| c' | ス pron | それは | | | | | 「主語」 | | |
| était | エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | | | | | 「動詞」 | | |
| très bien, | トレ・ビヤン adj. | 理解できる | | | | | 「補語」 | | |
| mais | メ conj. | しかし | | | | | | | |
| cela, | スラ pron | この部分は | | | | | 「目的語」 | | |
| il | イル pron | 彼は | | | | | 「主語」 | | |
| ne ...comprenait pas. | ヌ...コンプ [°] ルネ・パ [°] 3 単半・否定(comprendre)v.t | 分からなかった | 「動詞句」 | | | | | | |
| le | ル pron | それを | | | | | 「目的語」 | | |

僕は彼に、その最後の点はそれほど重要ではないから、そこにこだわるのは間違っていると
言おうとしていた。

J'allais lui dire qu'il avait tort de s'obstiner : ce dernier point n'avait pas tellement d'importance.

| | | | |
|--------------------|--|----------|---------|
| 「主語」 | 「動詞句」 | 「間接目的語」 | 「直接目的語」 |
| J' | ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| allais ...dire | アレ...テイル 1 単半・近接未来(aller+不定詞)v.t | 言おうとしていた | 「動詞句」 |
| lui | リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| qu' | ク conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| il | イル pron | 彼が | 「主語」 |
| avait tort de +不定詞 | アヴァ [°] エ・トル・ドゥ 3 単半・時制の一致(avoir tort de+不定詞) | | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| v. ～するのは間違いである | 「動詞句」 |
| s'obstiner: ヴプ スチネ 不定詞 v.pr. こたわる | 「動詞句」 |
| ce dernier point ス・デルニエ・プ わン n.m. その最後の点は | 「主語」 |
| n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t. ～がない | 「動詞句」 |
| tellement d'importance. テルモン・ダンボ° ルトンス | |
| n.f (否定文) それほどの重要性が | 「目的語」 |

しかし彼は僕の言葉を遮り、仁王立ちになって、最後にもう一度、僕を説得しながら、神を信じているかと尋ねた。

Mais il m'a coupé et m'a exhorté une dernière fois, dressé de toute sa hauteur, en me demandant si je croyais en Dieu.

Mais 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕を、僕の言葉を 「目的語」

a coupé ア・クー° 3 単現・完了形(couper)v.t. 遮った 「動詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕を 「目的語」

a exhorté ア・エグゾルテ 3 単現・完了形(exhorter)v.t. 勧めた、説得した 「動詞句」

une dernière fois, ユヌ・デルニエール・フワ adv. 最後にもう一度 「副詞句」

dressé ドレッセ 過去分詞(se dresser)adv. 立ち上がって 「副詞句」

de toute sa hauteur, トゥ・ウ・トゥット・サ・オテル

adv. (手段) 自分の背丈すべてによって 「副詞句」

→ 仁王立ちになって

en me demandant オン・ム・トウモン・トソン ジェロンディフ(demander)

adv. 僕に尋ねながら 「副詞句」

si シ conj. ～かどうかを 「目的語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

croyais クワイエ 1 単半・時制の一致(croire)

v.i. ～を信じる、～の存在を信じる 「動詞」

en Dieu. オン・ディユ adv. 神を 「間接目的語」

ジェロンディフを用いる文では、「本動詞をしながら、ジェロンディフをした」と翻訳するほうが、日本語らしい文章になる

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、信じていない、と答えた。彼は憤然として腰を下ろした。

J'ai répondu que non. Il s'est assis avec indignation.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 私は 「主語」
 ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(repondre)v.t 答えた 「動詞句」
 que non. ク・ノン n. 信じていないと 「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った、腰を下ろした 「動詞句」
 avec indignation. アヴェ・エッキ・アン・デ・イグ・ナシオン adv. 憤慨して、憤然として 「副詞句」

彼は、そんなことはあり得ない、そして、神の顔から目をそむけている人たちでさえ、誰だって神を信じている、と僕に言った。

Il m'a dit que c'était impossible, que tous les hommes croyaient en Dieu, même ceux qui se détournaient de son visage.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」, 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 impossible, アンポシブル adj. あり得ない 「補語」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 tous les hommes トゥ・レ・ゾム pl.n.m 誰もが 「主語」
 croyaient クワイ 3 複半(croire)v.i 信じている 「動詞」
 en Dieu, オン・ディユ adv. 神を 「間接目的語」
 même ceux メム・スー pron.pl 人たちでさえも 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 se détournaient ス・デトルネ 3 複半(se détourner)
 v.pr(de から) 顔をそむけた 「動詞句」
 de son visage. トゥ・ソンの・ヴィザージュ
 adv. 神の顔から 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それこそまさに彼の信念だった。もし万が一にもそのことを疑わなければならないとすると、彼の人生はもはや意味のないものになってしまうだろう。

C'était là sa conviction et, s'il devait jamais en douter, sa vie n'aurait plus de sens.

「主語」「動詞」「補語」 et 「副詞節」「主語」「動詞句」「目的語」

C' ス pron. それが 「主語」

était エ 3 単半(être)v.i. ～だった 「動詞」

là ラー adv. (強意) それこそまさに 「副詞」

sa conviction サ・コンヴィクション n.f. 彼の信念 「補語」

et, エ conj. そして

s' シ conj. もし～ならば 「副詞節」

il イル pron. 彼が 「主語」

devait jamais ...douter, ドゥヴァ・ジェ・ドゥテ 3 単半・必要(devoir+不定詞)

v.i. 万が一にも疑わなければならない 「動詞句」

jamais ジャメ adv. (強意) 万が一にも

en オン adv. そのことを (誰でも神を信じていることを) 「間接目的語」

sa vie サ・ヴァー n.f. 彼の人生は 「主語」

n'aurait plus ノレ・プリュ 条・3 単現・推量(avoir)v.t. もはや持たないだろう 「動詞句」

de sens. ドゥ・ソン n.m. 意味を 「目的語」

「あなたは望むのですか？」と、彼は叫んだ。「私の人生が無意味になることを」

«Voulez-vous, s'est-il exclamé, que ma vie n'ait pas de sens?»

《「動詞」「主語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「目的語」》

«Voulez ヴレ 2 複現・疑問文(vouloir)v.t. 望むのですか 「動詞」

vous, ヴァ pron. あなたは 「主語」

s'est ...exclamé, セ...エクスクラメ 3 単現・完了形(s'exclamer)v.pr. 叫んだ 「動詞句」

il イル pron. 彼は 「主語」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

願望に対する従属節は接続法を用いる

ma vie マ・ヴァー n.f. 私の人生が 「主語」

n'ait pas ネ・パ 接・3 単現・否定・推量(avoir)v.t. なくなるだろう 「動詞句」

de sens?» ドゥ・ソン n.m. 意味が 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の考えでは、それは僕には関係のないことだ、だから彼にそう言った。

A mon avis, cela ne me regardait pas et je le lui ai dit.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 et

「主語」 「直接目的語」 「間接目的語」 「動詞句」

A mon avis, ア・モン・アヴィ adv. 僕の意見では、僕の考えでは 「副詞句」

cela スラ pron それは 「主語」

ne ...regardait pas ス...ルギヤルテ・パ° 3 単半・否定(regarder)

v.t 関係がない、かかわりがない 「動詞句」

me ム pron 僕に 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

le ル pron そのことを 「直接目的語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai dit. エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

しかしテーブルの向こうから、彼はすでに僕の目の前にキリストの十字架像を突き出して、常軌を逸した様子で叫んでいた。

Mais à travers la table, il avançait déjà le Christ sous mes yeux et s'écriait d'une façon déraisonnable:

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」 「副詞句」 et 「動詞句」 「副詞句」

Mais メ conj. しかし

à travers ア・トラヴェール

prep ~を通り抜けて、を通して、~の向こうから、~を挟んで 「副詞句」

la table, ラ・ターブル n.f テーブル 「目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

avançait アヴァンセ 3 単半(avancer)v.t 前に出した、突き出した 「動詞」

déjà デジャ adv. もう、すでに 「副詞」

le Christ ル・クリスト n.m キリストの十字架像を 「目的語」

sous mes yeux ス・メジュ adv. 目の前に、鼻先に 「副詞句」

et エ conj. そして

s'écriait セクリエ 3 単半(s'écrier)v.pr 叫んでいた 「動詞句」

d'une façon +形容詞 ジュンヌ・ファソン adv. ~の様子で 「副詞句」

déraisonnable: デレゾナブル adj. 常軌を逸した 「形容詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「私はキリスト教徒だ。君の罪の許しをあの方に求める。どうして君は、あの方が君のために苦しんだということを信じないでいられるんだ？」

«Moi, je suis chrétien. Je demande pardon de tes fautes à celui-là. Comment peux-tu ne pas croire qu'il a souffert pour toi?»

《「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞」「直接目的語」「間接目的語」
「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」》

«Moi, je ムわ・ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
chrétien. クレチアン n.m キリスト教徒 「補語」
Je ジュ pron 私は 「主語」
demande ドゥマント 1 単現(demander)v.t 求める、頼む 「動詞」
pardon パルドン n.m 許しを 「直接目的語」
de tes fautes トゥ・テ・フォット adj. 君の過ちの 「形容詞句」
à celui-là. ア・スリュイ・ラー adv. あの方に 「間接目的語」
Comment コモン adv. (理由) どうして 「副詞」
peux... ne pas croire プ ...ヌ・パ・クルワール 2 単現・可能(pouvoir+不定詞・否定形)
v.t 信じないことができる 「動詞句」
tu チュ pron 君は 「主語」
qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」
il イル pron 神が 「主語」
a souffert ア・スフェール 3 単現・完了形(souffrir)v.i 苦しんだ 「動詞句」
pour toi? フール・トゥリ adv. 君のために 「副詞句」

彼が僕に対して親し気な口をきいていることに気付いたが、もうたくさんだった。

J'ai bien remarqué qu'il me tutoyait, mais j'en avais assez.

「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai bien remarqué エ・ビヤン・マルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t はっきり気づいた 「動詞句」
qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」
il イル pron 彼が 「主語」
me ム pron 僕に 「目的語」
tutoyait, チュトゥワイエ 3 単半(tutoyer)v.t 親し気な口をきいた 「動詞」
mais メ conj. しかし
j' ジュ pron 僕は 「主語」
en avais assez. オン・アヴェ・アッセ 1 単半(en avoir assez)v.t もうたくさんだった 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

暑さはますます激しくなっていた。

La chaleur se faisait de plus en plus grande. 「主語」「動詞句」「補語」

La chaleur ラ・シャレール n.f 暑さが 「主語」

se faisait ス・フェ 3 単半(se faire)v.pr (+補語) ～になっていた 「動詞句」

de plus en plus トゥ・プリュ・ゾン・プリュ adv. ますます、次第に 「副詞句」

grande. グロント adj.f (程度の) ひどい 「補語」

話を聞きたくない相手を厄介払いする時にいつも僕がやるように、同意するふりをした。

Comme toujours, quand j'ai envie de me débarrasser de quelqu'un que j'écoute à peine, j'ai eu l'air d'approuver. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Comme toujours, コム・トオジャジュール adv. いつものように 「副詞句」

quand コン conj. ～するときに 「副詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

ai envie de +不定詞 エ・オンヴィー・トゥ 1 単現・願望(avoir envie de+不定詞)

v. ～したい 「動詞句」

me débarrasser ム・デバラッセ 不定詞(se débarrasser)

v.pr(de を) 厄介払いする 「動詞句」

de quelqu'un トゥ・ケルカン adv. 人を 「間接目的語」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

écoute エト 1 単現(écouter)

v.t 耳を傾ける 「動詞」

à peine, ア・ペーヌ

adv. ほとんど～ない 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t (avoir l'air de+不定詞)

v.t ～するふりをした 「動詞句」

l'air レール n.m 様子を 「目的語」

d'approuver. ダブルグァー adj. (同格) 同意するという 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

驚いたことに、彼は勝ち誇って言った：「ほら分かっただろう。君は信じるだろう、そしてあの方に自分の身を委ねるだろう？」

A ma surprise, il a triomphé: «Tu vois, tu vois, disait-il. N'est-ce pas que tu crois et que tu vas te confier à lui?»

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」: 《「感嘆」》, 「動詞」 「主語」, 《「念押し」》

A ma surprise, ア・マ・シュルプ リーズ[°] adv. (結果) 驚いたことには 「副詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 a triomphé: ア・トリオンフェ 3 単現・完了形(triompher)v.i 勝ち誇った 「動詞句」
 «Tu vois, tu vois, チュ・ヴ ズ・チュ・ヴ ズ[°] adv. ほら分かっただろう 「感嘆」
 disait ティゼ[°] 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 il. イル pron 彼は 「主語」
 N'est-ce pas que ネス・パ・ク adv. 〜だよね 「念押し」
 tu チュ pron 君は 「主語」
 crois クルズ 2 単現(croire)v.t 信じる 「動詞」
 et エ conj. そして
 que ク conj. 〜
 tu チュ pron 君は 「主語」
 vas te confier ヴァ・トシ・コンフィエ 2 単現・近接未来(aller+不定詞 se confier)
 v.pr 自分自身を委ねるだろう 「動詞句」
 à lui?» ア・リュイ adv. あの方に 「間接目的語」

当然僕は、信じていないともう一度言った。彼は再び肘掛椅子の上に倒れこんだ。

Evidemment, j'ai dit non une fois de plus. Il est retombé sur son fauteuil.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」 | 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Evidemment, エヴィドマン adv. もちろん、当然 「副詞」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 non ノン n.m いや 「目的語」
 une fois de plus. エヌ・フワ・トゥ・プリュ adv. もう一度 「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 est retombé エ・ルトンベ[°] 3 単現・完了形(retomber)v.i 再び倒れた 「動詞句」
 sur son fauteuil. シュール・ソン・フォトイェ adv. 肘掛椅子の上に 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼はとても疲れたように見えた。

Il avait l'air très fatigué.

「主語」「動詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴヱ 3 単半(avoir)v.t (特徴を) していた

「動詞」

l'air レール n.m 様子を

「目的語」

très fatigué. トレ・ファチゲ adj. とても疲れた

「形容詞句」

彼は少しの間黙り込んだが、その間、僕たちの会話を打ち続けていたタイプライターは、まだ最後の言葉を打っていた。

Il est resté un moment silencieux pendant que la machine, qui n'avait pas cessé de suivre le dialogue, en prolongeait encore les dernières phrases.

「主語」「動詞句」「補語」「副詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

est resté エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i 〜のままでいた

「動詞句」

un moment アン・モモン n.m 少しの間

「副詞句」

silencieux シロンシュ adj. 無言の

「補語」

pendant que ポントソン・キ conj. その間〜する

「副詞節」

la machine, ラ・マシーヌ n.f タイプライターは

「主語」

qui キ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

n'avait pas cessé de suivre ナヴヱ・パ・セッセ・トウ・シュイヴル 3 単半・完了形・否定・中止

(cesser de+不定詞)v.t 〜の後をつけ続けていた

「動詞句」

le dialogue, ル・デアローグ n.m 会話

「目的語」

en オン adv. それを (タイプを打つことを)

「副詞句」

prolongeait プロロンジエ 3 単半(prolonger)v.t 延長していた

「動詞」

encore オンコール adv. まだ

「副詞」

les dernières phrases. レ・デルニエル・フラス pl.n.f 最後の言葉を

「目的語」

それから彼は、少し悲しげな様子でじっと僕を見つめた。

Ensuite, il m'a regardé attentivement et avec un peu de tristesse.

「副詞」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Ensuite, オンシュイット adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a regardé アルギャルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた、じっと見た

「動詞句」

attentivement アトントイヴモン adv. 注意深く、じっくりと

「副詞」

et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avec un peu de tristesse. アヴェッキ・アン・プ・ドゥ・トリステ adv. すこし悲しげに 「副詞句」

彼はつぶやいた：「あなたほど頑固な人はこれまでに見たことがありません」

Il a murmuré: «Je n'ai jamais vu d'âme aussi endurcie que la vôtre.

「主語」「動詞句」：《「主語」「動詞句」「目的語」》

Il イル pron 彼は 「主語」

a murmuré: ア・ミュルミユレ 3 単現・完了形(murmurer)v.t つぶやいた 「動詞句」

«Je ジュ pron 私は 「主語」

n'ai jamais vu ネ・ジャメ・ヴェ 1 単現・完了形・否定(voir)

v.t これまでに見たことがない 「動詞句」

d'âme ターム n.f 魂を、人を 「目的語」

aussi endurcie オン・オンデュルシ adj. これほど頑固な 「形容詞句」

que la vôtre. ク・ラ・ヴェートル adv. (比較) あなたの魂と比べて 「副詞句」

私の前にやって来た犯罪者たちは、この苦しみの姿を前にすると、いつも泣いたものです。

Les criminels qui sont venus devant moi ont toujours pleuré devant cette image de la douleur.»

《「主語」「動詞句」「副詞句」》

Les criminels レ・クリミネル pl.n.m 犯罪者たちは 「主語」

qui キ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

sont venus ソン・ヴェニュ 3 複現・完了形.m.pl(venir)v.i やって来た 「動詞句」

devant moi トゥヴ・オン・ムワ adv. 私の前に 「副詞句」

ont toujours pleuré オン・トゥジュール・フル 3 複現・完了形(pleurer)

v.i いつも泣いた 「動詞句」

devant cette image トゥヴ・オン・セツ・イマージュ adv. この姿を前にして 「副詞句」

de la douleur.» トゥ・ラ・トゥルール adj. 苦しみの 「形容詞句」

それはまさに犯罪者だからだ、と僕は答えるところだった。

J'allais répondre que c'était justement parce qu'il s'agissait de criminels.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

allais répondre アレ・レポンドル 1 単半・近接未来(aller+不定詞)

v.t ～と答えるところだった 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

justement parce qu' ジュストゥモン・パルス・キ adv. まさに～であるから 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

il s'agissait イル・サジセ 3 単半・時制の一致(il s'agir)

v.i(de+名詞) 〜である

「動詞句」

de criminels. ドゥ・クリネル pl.n.m 犯罪者

「補語」

しかし。僕自身も彼らと同じ犯罪者なのだった。

Mais j'ai pensé que moi aussi j'étais comme eux.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ポンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que 〜と) 思った

「動詞句」

que ク conj. 〜ということを

「目的語」

moi aussi j' ムワ・オシ・ジュ pron 僕自身も

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i 〜である

「動詞」

comme eux. コム・ウー adj. 彼らと同様の

「補語」

僕はこの考えにはなかなか馴染めない。

C'était une idée à quoi je ne pouvais pas me faire.

「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron これは

「主語」

était エテ 1 単半(être)v.i 〜である

「動詞」

une idée ユンヌ・イデー n.f 考え

「補語」

à quoi ア・クワ pron (間接目的語) 〜する

「形容詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne pouvais pas me faire. ス・プワ・エ・パ・ム・フェール 1 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.pr(à に) 慣れない

「動詞句」

se faire à... 「〜に慣れる」

すると判事は、まるで尋問はこれで終わったと告げるように、立ち上がった。

Le juge s'est alors levé, comme s'il me signifiait que l'interrogatoire était terminé.

「主語」「動詞句」「副詞節」

Le juge ル・ジュージュ n.m 判事は

「主語」

s'est alors levé, セ・タロー・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr すると立ち上がった

「動詞句」

comme s' コム・シ conj. まるで〜のように

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

signifiait シニフィエ 3 単半(signifier)v.t 通告した

「動詞」

que ク conj. 〜ということを

「直接目的語」

l'interrogatoire ランテカトワール n.m 尋問は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

était terminé. エテ・テルミネ 3 単半・受動(terminer)

v.t 終わった

「動詞句」

彼は、相変わらず少し疲れた様子で、僕が自分の行為を後悔しているかどうかだけ尋ねた。

Il m'a seulement demandé du même air un peu las si je regrettais mon acte.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a seulement demandé ア・スルモン・トゥモンデ 3 単現・完了形(demander)

v.t ~だけ尋ねた

「動詞句」

du même air ジュ・メム・エール adv. 同じ様子で

「副詞句」

un peu las アン・プ・ラー adj. 少し疲れた

「形容詞句」

las ラー adj. (女性形 : lasse) 疲れた

si シ conj. ~かどうかといいうことを

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

regrettais ルグレテ 1 単半・時制の一致(regretter)v.t 後悔している

「動詞」

mon acte. モン・アクト n.m 自分の行為を

「目的語」

僕はよく考えて、まったく後悔しているというよりはむしろ、なにか面倒なことになったと感じていると答えた。

J'ai réfléchi et j'ai dit que, plutôt que du regret véritable, j'éprouvais un certain ennui.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai réfléchi エ・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i よく考えた

「動詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que, ク conj. 何といいうことを

「目的語」

plutôt que プリュト・キ prep ~よりはむしろ

「副詞句」

du regret véritable, ジュ・ルグレ・ヴァエチターブル n.m 全くの後悔

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

éprouvais エプ・ルグァ 1 単半・時制の一致(éprouver)

v.t (感情を) 感じている

「動詞」

un certain ennui. アン・セルタン・オンヌイ n.m 煩わしさみたいなものを

「目的語」

certain セルタン adj. (un certain+名詞) いくらかの ennui オンヌイ n.m 心配、煩わしさ

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕のことを理解していないよだという印象を受けた。

J'ai eu l'impression qu'il ne me comprenait pas. 「主語」「動詞句」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t. ～を持った 「動詞句」
 l'impression ランプレッション n.f 印象 「目的語」
 qu' ク pron (同格) ～という 「形容詞節」
 il イル pron 彼は 「主語」
 ne ...comprenait pas. ス...コンプレネ・パ 3 単半時・制の一致(comprendre)
 v.t 理解していない 「動詞句」
 me ム pron 僕を 「目的語」

しかしその日の聴取は、それ以上先には進まなかった。

Mais ce jour-là les choses ne sont pas allées plus loin.
 Mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Mais メ conj. しかし
 ce jour-là ス・ジュール・ラー n.m その日は 「副詞句」
 les choses レ・ショーズ pl.n.f 事態は 「主語」
 ne sont pas allées ス・ツン・パ・サレ 3 複現・完了形.f.pl・否定(aller)v.i 進まなかった 「動詞句」
 plus loin. プリュールワソ adv. それ以上先へ 「副詞句」

その後、予審判事とは何度か顔を合わせた。

Par la suite j'ai souvent revu le juge d'instruction. 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 Par la suite パール・ラ・シュイト adv. その後 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai souvent revu エ・スヴ・オン・ルヴュ 1 単現・完了形(revoir+ souvent)v.t 何度か会った 「動詞句」
 le juge ル・ジュージュ n.m 判事と 「目的語」
 d'instruction. ダンストリュクシオン adj. 予審の 「形容詞句」

ただ、その後は毎回、弁護士が僕に同席した。

Seulement, j'étais accompagné de mon avocat à chaque fois.
 「副詞」, 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Seulement, スルモン adv. ただ(異なる事といえば)～ 「副詞」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais accompagné エテ・アコンパニエ 1 単半・受動(accompagner)v.t 付き添われた 「動詞句」
 de mon avocat トゥ・モ・ナヴカ adv. (動作主) 弁護士に 「副詞句」
 à chaque fois. ア・シャッキ・フワ adv. 毎回 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、以前に供述した中でいくつかの点について、詳しく説明させられるだけだった。

On se bornait à me faire préciser certains points de mes déclarations précédentes.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

On オン pron 人は

「主語」

受動態にして翻訳する

se bornait à +不定詞 ス・ボルネ・ア 3 単半・抑制(se borner à +不定詞)

v. ～するだけにとどめた

「動詞句」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

faire préciser フェール・プレシゼ 不定詞・使役(faire+不定詞)

v.t 詳しく言わせる

「動詞句」

certain points セルタン・プ・ワ ン pl.n.m いくつかの点を

「直接目的語」

de mes déclarations トゥ・メ・デクララシオン adj. 僕の供述の

「形容詞句」

précédentes. プレセデント adj.f.pl 以前の

「形容詞」

あるいはまた、判事は弁護士と一緒に検察が主張する証拠を検討していた。

Ou bien encore le juge discutait les charges avec mon avocat.

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Ou bien ウ・ビヤン adv. あるいは

「副詞句」

encore オンコール adv. また

「副詞」

le juge ル・ジュージュ n.m 判事は

「主語」

discutait ディスキュテ 3 単半(discuter)v.t 検討した

「動詞」

les charges レ・シャルジュ pl.n.f (法律) 被告への攻撃、検察が主張する証拠

「目的語」

avec mon avocat. アヴ・エッキ・モ・ナヴ・オカ adv. 弁護士と一緒に

「副詞句」

しかしそういう時には、実のところ、彼らは僕のことを全く相手にしていなかった。

Mais en vérité ils ne s'occupaient jamais de moi à ces moments-là.

Mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

en vérité オン・ヴェリテ adv. 実のところは

「副詞句」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

ne s'occupaient jamais ノ・ツキュヘ・ジヤメ 3 複半・否定(s'occuper)

v.pr(de qn ～に) 全く関わらなかった

「動詞句」

de moi トゥ・ムワ adv. 僕には

「間接目的語」

à ces moments-là. ア・セ・モン・ラ adv. そういう時には

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

いずれにせよ少しずつ、取り調べの雰囲気は変わっていった。

Peu à peu en tout cas, le ton des interrogatoires a changé. 「副詞句」「主語」「動詞句」
 Peu à peu フ・ア・プ adv. 少しずつ 「副詞句」
 en tout cas, オン・トゥ・カー adv. いずれにせよ、ともかく 「副詞句」
 le ton ル・トン n.m 口調、調子、態度、雰囲気 「主語」
 des interrogatoires デ・アンテロガトワール adj. 取り調べの、尋問の 「形容詞句」
 a changé. ア・シヨンジエ 3 単現・完了形(changer)v.i 変わった 「動詞句」

判事は、もう僕に関心がないように見えた、その上、僕の件をすでに何らかの分類に評価し終えているようにも見えた。

Il semblait que le juge ne s'intéressât plus à moi et qu'il eût classé mon cas en quelque sorte. 「動詞」「主語」et「主語」
 Il イル pron 仮の主語（真の主語は que 及び qu' 以降の節）
 semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i ~のように見えた 「動詞」
 que ク conj. ~ということは 「主語」
 le juge ル・ジュージュ n.m 判事は 「主語」
 ne s'intéressât plus ノ・ソントレッサ・ブリュ 3 単過・否定(s'intéresser)
 v.pr(à に) もう関心がなくなった 「動詞句」
 à moi ア・ムワ adv. 僕に 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ~ということは 「主語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 eût classé イ・クラッセ 接・3 単半・完了形・推量(classer)
 v.t 評価してしまったかもしれない 「動詞句」
 mon cas モン・カ n.m 僕の件を 「目的語」
 en quelque sorte. エン・ケルキ・ソルト adv. 何らかの分類に 「補語」

彼はもう僕に神について話すことはなくなったし、僕は最初の日のように興奮状態の彼を見ることは2度となかった。

Il ne m'a plus parlé de Dieu et je ne l'ai jamais revu dans l'excitation de ce premier jour.
 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」et「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 ne ...a plus parlé ノ...ア・ブリュ・パル 3 単現・完了形・否定(parler)
 v.t もう話さなかった 「動詞句」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 de Dieu トゥ・デュー adv. (主題) 神について 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et エ conj. そして
 je ジェ pron 僕は 「主語」
 ne ...ai jamais revu ス...エ・ジヤメ・ルヴュ 1 単現・完了形・否定(revoir)
 v.t 2 度と見なかった 「動詞句」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 dans l'excitation トン・レクシタシオン adj. 興奮状態の 「形容詞句」
 de ce premier jour. トゥ・ス・プ・ルミエール・ジュール adj. 最初の日の 「形容詞句」

結果として、僕たちの取り調べは温かいものになっていった。

Le résultat, c'est que nos entretiens sont devenus plus cordiaux. 「主語」「動詞」「補語」
 Le résultat, ル・レジユルタ n.m その結果は 「主語」
 c' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
 que ク conj. 〜ということ 「補語」
 nos entretiens ノ・オントルチヤン pl.n.m 僕たちの面接は、取り調べは 「主語」
 sont devenus ソン・ト・オウヴェニュ 3 複現・変化(devenir)v.i 〜になった 「動詞句」
 plus cordiaux. プリュ・コルティヨー adj.m.pl(cordial) 心を込めた、温かい 「補語」

僕にいくつか質問をして、弁護士と少し話し合う、それで尋問は終わった。

Quelques questions, un peu de conversation avec mon avocat, les interrogatoires étaient finis. 「目的語」, 「副詞句」, 「主語」「動詞句」
 Quelques questions, ケルキ・クエスチオン pl.n.f いくつかの質問 「目的語」
 un peu de conversation アン・プ・トゥ・コンヴァルサシオン n.f 少しの会話 「目的語」
 avec mon avocat, アヴ・エッキ・モノ・ナヴ・オカ adv. 弁護士との 「副詞句」
 les interrogatoires レ・ザンテロカトウワール pl.n.m 尋問は 「主語」
 étaient finis. エテ・フィニ 3 複現・完了形(pl(finir) 終わった 「動詞句」

判事自身の言葉によると、僕の件は順調に進んでいた。

Mon affaire suivait son cours, selon l'expression même du juge. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」
 Mon affaire モ・ナフェール n.f 僕の件は 「主語」
 ma マ adj.f (所有形容詞) 僕の → 母音で始まる名詞の前では、mon を用いる
 suivait シュイヴエ 3 単半 (suivre)v.t (道を) たどっていた 「動詞」
 son cours, ソン・ケール n.m 彼の考える流れを 「目的語」
 suivre son cours 「順調な経過をたどる」
 selon l'expression スロン・レクスプレシオン adv. 言葉づかいによれば 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

même du juge. メム・ジュ・ジュ・ジュ adj. 判事自身の

「形容詞句」

また時々、会話が世間話になった時には、僕を混ぜてくれた。

Quelquefois aussi, quand la conversation était d'ordre général, on m'y mêlait.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「副詞句」 「動詞」

Quelquefois aussi, ケルクワ・オシ adv. また時々

「副詞句」

quand コン conj. ～するときに

「副詞節」

la conversation ラ・コンヴァルサシヨン n.f. 会話が

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i. ～だった

「動詞」

d'ordre général, トルトル・ジェネラル adj. 一般的な秩序の、世間話の

「補語」

on オン pron (動詞は三人称単数形) 判事と弁護士は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

y イ adv. 会話に

「副詞句」

mêlait. メレ 3 単半(mêler)v.t. 混ぜた

「動詞」

僕は一息つけるようになった。その間は、誰も僕に対して意地悪をしなかった。

Je commençais à respirer. Personne, en ces heures-là, n'était méchant avec moi.

「主語」 「動詞句」 | 「主語」 「副詞句」 「動詞」 「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

commençais à respirer. コモンセ・ア・レスピレ 1 単半・開始(commencer à+不定詞)

v.i. 一息つけるようになった

「動詞句」

Personne, ペルソヌ pron 誰も～ない

「主語」

en ces heures-là, オン・セ・ウル・ラー adv. その間は

「副詞句」

n'était ネテ 3 単半・否定(être)v.i. ～でなかった

「動詞」

méchant メシヨン adj. 意地悪な、不愉快な

「補語」

avec moi. アヴェ・エツキ・ムワ adv. 僕に対して

「副詞句」

すべてが、とても自然で、規則正しく、簡素に行われたので、まるで「家族と一緒にいる」
ような奇妙な印象を持った。Tout était si naturel, si bien réglé et si sobrement joué que j'avais l'impression ridicule de «faire partie de la famille».

「主語」 「動詞」 「補語」, 「副詞節」

Tout トウ n.m (単数扱い) すべてが

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i. ～だった

「動詞」

si naturel, シ・ナチュレル adj. とても自然な

「補語」

si bien réglé シ・ビヤン・レグレ adj. 規則正しい

「補語」

et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|---------------------------|----------------|
| si sobrement joué シ・ソブ ^レ モン・ジ ^ュ エ | 過去分詞・受動(jouer)adj. | とても簡素に行われた「補語」 |
| que ク conj. | (si...que あまり... なので) ~する | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| avais ア ^ヴ ェ 1 単半(avoir)v.t | 持った | 「動詞」 |
| l'impression ridicule ランプ ^レ シヨ ^ン ・リデ ^ィ キュ ^ル n.f | 奇妙な印象を | 「目的語」 |
| de +不定詞 不定詞・同格 adj. | ~するという | 「形容詞句」 |
| «faire partie フェール・パ ^ル ティー 不定詞 | | |
| v.t(de の) 一員をなす、と一緒にいる | | 「動詞句」 |
| de la famille». ト ^ゥ ・ラ・ファミ ^ユ adv. | 家族と | 「副詞句」 |

そしてこの予審が続いた 11 ケ月という期間の終わりになって、僕が言えることはこうだ。判事がまれに僕を執務室の戸口まで送ってくれて、僕の肩を叩いて、心のこもった様子で言葉をかけてくれた瞬間以外に、僕はほとんど喜んだことがないということに驚いた。

Et au bout des onze mois qu'a duré cette instruction, je peux dire que je m'étonnais presque de m'être jamais réjoui d'autre chose que de ces rares instants où le juge me reconduisait à la porte de son cabinet en me frappant sur l'épaule et en me disant d'un air cordial:

Et 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | | |
|--|-----------|---------|
| Et エ conj. | そして | |
| au bout des オ・ブ・テ ^ス prep | ~の終わりに | 「副詞句」 |
| onze mois オ ^ン ズ・ム ^ワ pl.n.m | 11 ケ月 | 「目的語」 |
| qu' ク pron (同格) | ~という | 「形容詞節」 |
| a duré ア・ジ ^ュ レ 3 単現・完了形(durer)v.i | 続いた | 「動詞句」 |
| cette instruction, セット・アンスト ^リ ュクシ ^ョ ン n.f | この予審が | 「主語」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| peux dire プ・デ ^ィ ール 1 単現・可能(pouvoir+不定詞)v.t | 言うことができる | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ~ということ | 「目的語」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| m'étonnais メネ 1 単半(s'étonner)v.pr(de+不定詞 ~して) | 驚いた | 「動詞句」 |
| presque プ ^レ スキ adv. | ほとんど | 「副詞」 |
| de m'être jamais réjoui ト ^ゥ ・メート ^ル ・ジ ^ャ メ・レ ^ジ ュイ 不定詞・完了形(se réjouir+ jamais) | | |
| v.pr(de を) 決して喜んだことがない | | 「動詞句」 |
| d'autre chose ト ^ー トル・ショ ^ズ adv. | ほかのことを | 「間接目的語」 |
| que ク conj. | (比較) ~よりも | 「副詞句」 |
| de ces rares instants ト ^ゥ ・セ・ラール・ザ ^ン スト ^ン pl.n.m | あのまれな瞬間 | 「目的語」 |
| où ウ adv. | その時~する | 「形容詞節」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

le juge ル・ジュージュ n.m 判事が 「主語」
 me ム pron 僕を 「目的語」
 reconduisait ルコンジューイセ 3 単半(reconduire)
 v.t 送ってくれた 「動詞」
 à la porte ア・ラ・ポルト
 adv. 戸口まで 「副詞句」
 de son cabinet ド・ソ・ン・カビネ
 adj. 執務室の 「形容詞句」
 en me frappant オン・ム・フラボン ジェロンディフ(frapper)
 adv. ～を叩きながら 「副詞句」
 sur l'épaule シュール・レポール
 adv. 僕の肩を 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 en me disant オン・ム・ディゾン ジェロンディフ(dire)
 adv. 僕に～を言いながら 「副詞句」
 d'un air cordial: ダン・レール・コルティヤル
 adv. 心のこもった様子で 「副詞句」

「今日のところは、これで終わりにしよう。アンチ・キリスト君」

«C'est fini pour aujourd'hui, monsieur l'Antéchrist.» 《「呼びかけ」「副詞句」「呼びかけ」》
 «C'est fini セ・フィニ n. これで終わりだ 「呼びかけ」
 pour aujourd'hui, プール・オージュールジューイ adv. 今日のところは 「副詞句」
 monsieur l'Antéchrist.» ムシュ・ロンテクリスト n.m アンチ・キリスト君 「呼びかけ」

そこで僕は警察の手に戻された。

On me remettait alors entre les mains des gendarmes. 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 On オン pron 人は 「主語」
 me ム pron 僕を 「目的語」
 remettait ルメテ 3 単半(remettre)v.t 戻した 「動詞」
 alors アロー adv. それで 「副詞」
 entre les mains オントル・ル・マン adv. 手の間に 「副詞句」
 des gendarmes. テ・ジ・オンダールム adj. 警察の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

II

どうしても話したくない事柄もあった。

Il y a des choses dont je n'ai jamais aimé parler. 「動詞句」「目的語」
 Il y a イ・リ・ヤ 3 単現・存在(il y avoir)v.t. ～がある 「動詞句」
 des choses デ・ショーズ pl.n.f 事柄が、物事が 「目的語」
 dont トン pron(de quoi) (間接目的語) それについて～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai jamais aimé parler. ネ・ジャメ・ゼ・メ・パル 1 単現・完了形・好意・否定(aimer+不定詞)
 v.i どうしても話したくなかった 「動詞句」
 aimer+不定詞 「～したい、～することを好む」

拘留所に入ってから数日後に、僕は自分の人生のこの部分については話す気にならないだろうと思っていた。

Quand je suis entré en prison, j'ai compris au bout de quelques jours que je n'aimerais pas parler de cette partie de ma vie. 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Quand コン conj. ～するとき 「副詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 suis entré シュイ・ゾントレ 1 単現・完了形(entrer)v.i 入った 「動詞句」
 en prison, オン・プリゾン adv. 拘留所に 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した、分かった 「動詞句」
 au bout de オ・ブ・トゥ prep. ～の後に 「副詞句」
 quelques jours ケルキ・ジュール pl.n.m 数日 「目的語」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'aimerais pas parler ネレ・パ・パル 条・1 単現・完了形・未来の推測(aimer+不定詞)
 v.i 話したくないだろう 「動詞句」
 de cette partie トゥ・セツ・パルティ n.f この部分について 「間接目的語」
 de ma vie. トゥ・マ・ヴィー adj. 僕の人生の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

時間がたつと、こういった拒否感に対して重要性を感じなくなっていった。

Plus tard, je n'ai plus trouvé d'importance à ces répugnances.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Plus tard, プリュ・タル adv. 時間がたつと、後に

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai plus trouvé ネ・プリュ・トルヴ 1 単現・完了形・否定(trouver+ne...plus)

v.t もはや～を認めなくなった

「動詞句」

d'importance ダンポルトンス n.f 重要性を

「目的語」

à ces répugnances. ア・セ・レピュニヤンス adv. この反感に対して

「副詞句」

実際は、最初の数日は現実に拘置所に入られている気がせず、漠然と何か新しい出来事を待っていた。

En réalité, je n'étais pas réellement en prison les premiers jours: j'attendais vaguement quelque événement nouveau.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」: 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

En réalité, オン・リアリテ adv. 実際は、実のところ

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ～いなかった

「動詞句」

réellement en prison レエルモン・オン・プリズン adv. 本当に拘置所に

「副詞句」

les premiers jours: レ・プリミエール・ジュール adv. 最初の数日は

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

attendais アトンデ 1 単半(attendre)v.t 待っていた

「動詞」

vaguement ヴァークモン adv. 漠然と

「副詞」

quelque événement ケルク・エヴヰンモン n.m 何か出来事を

「目的語」

nouveau. ヌヴォ adj. 新しい

「形容詞」

すべてが始まったのは、マリーが最初で唯一の面会に来た、やっとその後のことだった。

C'est seulement après la première et la seule visite de Marie que tout a commencé.

「動詞句」 「副詞句」 「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

seulement スルモン adv. やっと

「副詞」

après アプレ prep ～の後

「副詞句」

la première et la seule ラ・プリミエール・エ・ラ・スル adj. 最初で唯一の

「形容詞句」

visite ヴィジット n.f 訪問、面会

「目的語」

de Marie トゥ・マリー adj. マリーの

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

que ク conj. ～ということは 「主語」
 tout トゥ pron (単数扱い) すべてが 「主語」
 a commencé. ア・コモンセ 3 単現・完了形(commencer)v.i 始まった 「動詞句」

彼女からの手紙を受け取った日から (彼女は、僕の妻ではないので、これ以上面会に来ることが許されない、と書いていた)、その日から、僕は拘置所の独房にいるのだと実感し、また、そこに拘束されているとを感じるようになった。

Du jour où j'ai reçu sa lettre (elle me disait qu'on ne lui permettait plus de venir parce qu'elle n'était pas ma femme), de ce jour-là, j'ai senti que j'étais chez moi dans ma cellule et que ma vie s'y arrêtait. 「副詞句」(「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」)
 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」et「目的語」

Du jour ジュ・ジュール adv. その日から 「副詞句」
 où ウ adv. ～する 「形容詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 ai reçu エ・ルジュ 1 単現・完了形(recevoir)v.t 受け取った 「動詞句」
 sa lettre サ・レトル n.f 彼女の手紙を 「目的語」
 (elle エル pron 彼女は 「主語」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 disait テ・イセ 3 単半(dire)v.t 書いていた、言っていた 「動詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 on オン pron 拘置所は 「主語」
 ne ...permettait plus ... de venir ス...ヘルメテ・フリュ...トウ・ウニール 3 単半・許可・否定
 (permettre à qn de+不定詞 人に)
 v.t これ以上面会に来ることを許さなかった 「動詞句」
 lui リュイ pron 彼女に 「目的語」
 parce qu' パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 n'était pas ネ・ハ 3 単半・否定・時制の一致(être)
 v.i ～でない 「動詞」
 ma femme), マ・ファム n.f 僕の妻 「補語」
 de ce jour-là, トウ・ス・ジュール・ラ adv. その日から 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai senti エ・ソチ 1 単現・完了形(sentir)v.t(que ～であることを) 感じた 「動詞」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～にいる 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-------------------------|------------------------------|-------|
| chez moi シェ・ムわ | adv. 自分の部屋に | 「副詞句」 |
| dans ma cellule トン・マ・セル | adv. (拘置所の) 独房の | 「副詞句」 |
| et エ | conj. そして | |
| que ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| ma vie マ・ヴィー | n.f 僕の生活は | 「主語」 |
| s'y arrêtais. シ・アレテ | 3 単半・再帰受動・時制の一致(s'arrêter+y) | |
| v.pr | そこに拘束されている | 「動詞句」 |

逮捕された日、僕はまず、大半はアラブ人の留置者がすでに入っている部屋に入れられた。

Le jour de mon arrestation, on m'a d'abord enfermé dans une chambre où il y avait déjà plusieurs détenus, la plupart des Arabes.

| | | | | |
|---|------------------------------|-------|--------|--------|
| | 「副詞句」, 「主語」 | 「目的語」 | 「動詞句」 | 「副詞句」 |
| Le jour ル・ジュール | n.m その日 | | | 「副詞句」 |
| de mon arrestation, トゥ・モン・アレスタシヨ | adj. 僕が逮捕された | | 「形容詞句」 | |
| on オン | pron 拘置所は | | | 「主語」 |
| m' ム | pron 僕を | | | 「目的語」 |
| a d'abord enfermé ア・ダ・ボール・オンフェルメ | 3 単現・完了形(enfermer+ d'abord) | | | |
| v.t | まず閉じ込めた | | 「動詞句」 | |
| dans une chambre トン・ジュヌ・シヨンプル | adv. 部屋の中に | | | 「副詞句」 |
| où ウ | adv. そこで～する | | | 「形容詞節」 |
| il y avait イ・リ・ヤヴェ | 3 単半・時制の一致(il y avoir)v.t いる | | 「動詞句」 | |
| déjà plusieurs détenus, デ・シヤ・フ・リュシエール・デ・テニュ | | | | |
| pl.n.m | すでに数人の留置人 | | | 「目的語」 |
| la plupart des Arabes. ラ・プ・リュハール・デ・ザラフ | | | | |
| adj. | 大部分はアラブ人の | | 「形容詞句」 | |

彼らは僕を見て笑った。

| | | | |
|---------------------------------|---|-------|-------|
| <u>Ils ont ri en me voyant.</u> | 「主語」 | 「動詞句」 | 「副詞句」 |
| Ils イル | pron 彼らは | | 「主語」 |
| ont ri オン・リ | 3 複現・完了形(rire)v.i 笑った | | 「動詞句」 |
| en +現在分詞 オン ジェロンディフ | adv. (原因) ～して | | 「副詞句」 |
| me ム | pron 僕を | | 「目的語」 |
| voyant. ウ・ワヨ | 現在分詞(voir)v.t 見る | | 「動詞」 |
| ジェロンディフ | : en+現在分詞 | | |
| 同時性 | : ～しながら travailler en chantant 歌いながら仕事をする | | |
| 時間 | : ～するときに、～するにつれて | | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

Je vous téléphonerai **en arrivant**. ついたらお電話します。

La sagesse s'acquiert **en vieillissant**. 人は年を取るにつれて賢くなる。

様態・原因・手段：～して、～のために、～することによって

répondre **en souriant** 笑みを浮かべて答える

se blesser **en tombant** 転んでけがをする

manifester son mécontentement **en claquant la porte**

ドアをばたんと占めることで不満を表す

条件：～すれば

En prenant un taxi, vous arriverez plus vite. タクシーに乗ればもっと早く着きますよ。

譲歩・対立：～としても、とは言え、なのに

Tout **en étant riche**, il vit très modestement.

彼は金持ちなのに、ごく質素な生活をしている。(tout は強調)

それから彼らは僕に、何をしたのかと訊いた。

Puis ils m'ont demandé ce que j'avais fait.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Puis ピュイ adv. (時間) それから

「副詞」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

ont demandé オン・トマンド 3 複現・完了形(demander)v.t 訊いた

「動詞句」

ce ス pron そのことを

「直接目的語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

avais fait. アヴェ・フェ 1 単半・完了形(faire)v.t ～した

「動詞句」

僕はアラブ人を殺したと言った。すると彼らは黙り込んだ。

J'ai dit que j'avais tué un Arabe et ils sont restés silencieux.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「補語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais tué アヴェ・チュエ 1 単半・完了形(tuer)v.t 殺した

「動詞句」

un Arabe アン・アラブ n.m アラブ人を

「目的語」

et エ conj. そして、すると

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

sont restés ツン・レステ 3 複現・完了形(rester)v.i (～の状態に) とどまった 「動詞句」
 silencieux. シロンシュエ adj. 無言の 「補語」

しかし、まもなく日が暮れた。

Mais un moment après, le soir est tombé. Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」
 Mais メ conj. しかし
 un moment après, アン・モモン・アプレ adv. すぐ後で 「副詞句」
 le soir ル・スワール n.m 夜が 「主語」
 est tombé. エ・トンベ 3 単現・完了形(tomber)v.i 落ちた 「動詞句」

彼らはむしろをどのように整えて寝床を作れば良いかを僕に教えてくれた。

Ils m'ont expliqué comment il fallait arranger la natte où je devais coucher.
 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 ont expliqué オン・エクスパリケ 3 複現・完了形(expliquer)v.t 説明してくれた 「動詞句」
 comment コモン adv. どのように～するかということを 「直接目的語」
 il fallait arranger イル・ファレ・アロンジエ 3 単半・妥当・非人称(il falloir+不定詞)
 v.t 整えるのがよい 「動詞句」
 la natte ラ・ナトゥ n.f むしろを 「目的語」
 où ウ adv. そこで～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 devais coucher. トゥヴエ・クッシェ 1 単半・予定(devoir+不定詞)
 v.i 寝ることになる 「動詞句」

むしろの片側を転がして巻くと、それで枕を作ることができた。

En roulant une des extrémités, on pouvait en faire un traversin.
 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」
 En roulant オン・ロン ジェロンディフ(rouler) adv. (条件) ～を転がして巻けば 「副詞句」
 une des extrémités, ユンヌ・デ・セクストリミテ n.f むしろの片方の端を 「目的語」
 on オン pron (動詞は三人称単数形) 僕は 「主語」
 pouvait ...faire プヴエ...フェール 3 単半・可能(pouvoir+不定詞)
 v.t ～を作ることができた 「動詞句」
 en オン pron それで 「間接目的語」
 un traversin. アン・トラヴァエルサン n.m (ベッドの) 長枕 「直接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

一晩中、南京虫が僕の顔の上を這い回った。

Toute la nuit, des punaises ont couru sur mon visage.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Toute la nuit, トゥット・ラ・ニュイ adv. 一晩中

「副詞句」

des punaises デ・ピネズ pl.n.f 南京虫が

「主語」

ont couru オン・クリュ 3 複現・完了形(courir)v.i 這いまわった

「動詞句」

sur mon visage. シュール・モン・ヴィザージュ adv. 僕の顔の上を

「副詞句」

南京虫：

別名トコジラミ。吸血性の寄生昆虫である。トコジラミは雄雌ともに吸血し、幼虫・成虫にかかわらずその全生存期間を通じて栄養分を血液に頼る。刺咬する際に唾液を宿主の体内に注入するが、この中に含まれる物質が引き起こすアレルギー反応で激しいかゆみが生じる。



数日後に、僕は独房に隔離された。そこでは木製の簡易ベッドに寝た。

Quelques jours après, on m'a isolé dans une cellule où je couchais sur un bat-flanc de bois.

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」「副詞節」

Quelques jours après, ケルキ・ジュール・アプレ adv. 数日後に

「副詞句」

on オン pron 人が

「主語」

受動文に翻訳する

m' ム pron 僕を

「目的語」

a isolé ア・イズレ 3 単現・完了形(isoler)v.t 隔離した

「動詞句」

dans une cellule ドン・ジュヌ・セリユール adv. 独房に

「副詞句」

où ウ adv. そこで～する

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

couchais クシェ 1 単半(coucher)v.i 寝た

「動詞」

sur un bat-flanc シュール・アン・バ・フロソ adv. 簡易ベッドの上に

「副詞句」

bat-flanc バ・フロソ n.m 寝室のベッド間の板仕切り、簡易ベッド（英語：plank bed）

de bois. ドゥ・ブワ adj. (材料) 木製の

「形容詞句」

そこには、便所を流すための桶が1つと、鉄製の洗面器があった。

J'avais un baquet d'aisances et une cuvette de fer.

「主語」「動詞」「目的語」et 「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴァエ 1 単半(avoir)v.t あった

「動詞」

un baquet アン・バケ n.m 桶

「目的語」

d'aisances デザンス adj. 便所の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et エ conj. そして

une cuvette コンヌ・キュヴェット n.f 洗面器

「目的語」

de fer. トゥ・フェール adj. (材料) 鉄製の

「形容詞句」

拘置所は街の高台にあったので、小さい窓から、海を見ることができた。

La prison était tout en haut de la ville et, par une petite fenêtre, je pouvais voir la mer.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

La prison ラ・プリゾン n.f 拘置所は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i (存在) にあった

「動詞」

tout en haut トゥ・トン・オ adv. 一番上に

「副詞句」

de la ville トゥ・ラ・ヴィール adj. 街の

「形容詞句」

et, エ conj. そして

par une petite fenêtre, パール・コンヌ・プチット・フネートル adv. 小さい窓から

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

pouvais voir プウヴェ・ヴワール 1 単半・可能(pouvoir+不定詞)v.t 見ることができた

「動詞句」

la mer. ラ・メル n.m 海を

「目的語」

僕が光の方に顔を向けて鉄格子にしがみついていたある日、看守が入ってきて、僕に面会者がある、と告げた。

C'est un jour que j'étais agrippé aux barreaux, mon visage tendu vers la lumière, qu'un gardien est entré et m'a dit que j'avais une visite.

「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'un gardien 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

un jour アン・ジュール n.m ある日

「補語」

「ある日、~した」

que ク conj. (同格) ~という

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

étais agrippé エテ・アグリップ 1 単半・受動(agripper)v.t しがみついていた

s'agripper サグリップ v.pr (à に) しがみつくと同じ意味で使われている

aux barreaux, オ・バロ adv. 鉄格子に

「間接目的語」

mon visage モン・ヴィザージュ n.m 顔を~して

「副詞句」

tendu トンジュ 過去分詞・受動(tendre)

v.t(ver に) 向けられた

「形容詞」

vers la lumière, ヴェール・ラ・リュミエール adv. 光の方に

「副詞句」

qu' ク conj. ~ということが

「主語」

un gardien アン・ギヤルティアン n.m 看守が

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| est entré エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t ～がある | 「動詞」 |
| une visite. n.f 面会者 | 「目的語」 |

僕は、面会者はマリーだろうと思って看守に聞くと、やはり彼女だと分かった。

J'ai pensé que c'était Marie. C'était bien elle.

| | |
|--|-------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 「主語」「動詞」「補語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 思った | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron 面会者は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| Marie. マリー n.f マリー | 「補語」 |
| C' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| bien elle. ビヤン・エル pron 確かに彼女 | 「補語」 |
| bien ビヤン adv. (断定の強め) まさに、確かに | |

面会室に行くために、僕は長い廊下を通り抜け、次は階段を歩き、最後にもう一つ別の通路を通って来た。

| | |
|--|--|
| <u>J'ai suivi pour aller au parloir un long corridor, puis un escalier et pour finir un autre couloir.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「副詞」「目的語」 et 「副詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai suivi エ・シュイヴィ 1 単現・完了形(suivre)v.t (に) 沿って行った | 「動詞句」 |
| pour aller プール・アレ adv. (目的) ～に行くために | 「副詞句」 |
| au parloir オ・パルルワール adv. 面会室に | 「間接目的語」 |
| un long corridor, アン・ロン・コルドール n.m 長い廊下を | 「目的語」 |
| puis ビュイ adv. それから、次に | 「副詞」 |
| un escalier アン・エスカリエ n.m 階段を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| pour finir プール・フィニール adv. 最後に | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

un autre couloir. アン・オートル・クルワール n.m もう一つ別の通路を 「目的語」

僕は大きな窓から明るい光が差し込むとても広い部屋に入った。

Je suis entré dans une très grande salle éclairée par une vaste baie.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 私は 「主語」

suis entré シュイ・オントレ 1 単現・完了形(entrer)v.i 入った 「動詞句」

dans une très grande salle トン・ジュンヌ・トレ・グロント・サル adv. とても広い部屋に 「副詞句」

éclairée エクレレ adj.f 照明された、明るい 「形容詞」

par une vaste baie. パール・ユヌ・ヴァスト・ヘ

adv. (手段) 大きい窓で 「副詞句」

vaste ヴァスト adj. 大量の、広い baie ベ n.f 窓

そこは、縦方向に部屋を切り分ける2の大きな鉄格子で、3つの区画に分割されていた。

La salle était séparée en trois parties par deux grandes grilles qui la coupaient dans sa longueur.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La salle ラ・サル n.f その大部屋は 「主語」

était séparée エテ・セパレ 3 単半・受動.f(séparer)v.t 分割されていた 「動詞句」

en trois parties オン・トゥルワ・パルティ adv. 3つの区画に 「副詞句」

par deux grandes grilles パール・トウ・グロント・グリュ

adv. (動作主) 2の大きな鉄格子によって 「副詞句」

qui キ pron.pl (主語) ~する 「形容詞節」

la ラ pron.f その部屋を 「目的語」

coupaient クヘ 3 複半(couper)v.t 切り分けていた 「動詞」

dans sa longueur. トン・サ・ロンゲール adv. 縦方向に 「副詞句」

2つの鉄格子は8から10メートル離れており、その広い空間に囚人が通されていた。そして、この鉄格子が面会人たちを囚人たちから隔てていた。

Entre les deux grilles se trouvait un espace de huit à dix mètres qui séparait les visiteurs des prisonniers.

「副詞句」「目的語」「動詞句」「主語」

Entre オントル prep (空間) ~の間に 「副詞句」

les deux grilles レ・トウ・グリュ pl.n.f 2の鉄格子 「目的語」

se trouvait ス・トゥルヴァエ 3 単半(se trouver)v.pr あった 「動詞句」

un espace アン・エスパース n.m 空間が 「主語」

de huit à dix mètres トウ・ユイト・ア・ディ・メートル adj. 8から10メートルの 「形容詞句」

qui キ pron.m (主語) ~する 「形容詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

séparait セパレ 3 単半(séparer)v.t (仕切りなどで) 隔てていた 「動詞」
 les visiteurs レ・ヴィジテール pl.n 面会人たちを 「目的語」
 des prisonniers. デ・プリゾニエ adv. 囚人たちから 「副詞句」

僕は、自分の正面に、縞模様のドレスを着て日に焼けた顔をしたマリーを見つけた。

J'ai aperçu Marie en face de moi avec sa robe à raies et son visage bruni.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai aperçu エ・アペルシュ 1 単現・完了形(apercevoir)v.t 〜に気づいた 「動詞句」
 Marie マリー n.f マリーに 「目的語」
 en face de moi オン・ファス・ド・ムー adv. 自分の正面に 「副詞句」
 avec アヴェツキ adv. (手段) 〜によって 「副詞句」
 sa robe サ・ロブ n.f ドレス 「目的語」
 à raies ア・レ adj. 縞模様の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 son visage ソン・ヴィザージュ n.m 顔 「目的語」
 bruni. ブルニ 過去分詞(brunir)adj. 日に焼けた 「形容詞」

こちら側にはおよそ 10 人の留置人がいたが、大部分はアラブ人だった。

De mon côté, il y avait une dizaine de détenus, des Arabes pour la plupart.

「副詞句」「動詞句」「目的語」

De mon côté, ドゥ・モン・コテ adv. こちら側には 「副詞句」
 il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t 〜がいた 「動詞句」
 une dizaine de ユンス・デ・イゼ・ヌ・ドゥ adj. 約 10 の 「形容詞句」
 détenus, デトウニュ pl.n. 留置人が 「目的語」
 des Arabes デ・アラブ adj. アラブ人の 「形容詞句」
 pour la plupart. プール・ラ・プリュパール adv. 多くは、大部分は 「副詞句」

マリーはムール人に取り囲まれ、2 人の面会人に挟まれていた：1 人は黒衣を着て唇をかみしめた小柄な老婆、1 人は大げさな身振りと大声で話す帽子をかぶっていない太った女だ。

Marie était entourée de Mauresques et se trouvait entre deux visiteuses: une petite vieille aux lèvres serrées, habillée de noir, et une grosse femme en cheveux qui parlait très fort avec beaucoup de gestes.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」: 「主語」 et 「主語」

Marie マリー n.f マリーは 「主語」
 était entourée エ・オントゥレ 3 単半・受動(entourer)v.t 挟まれていた、囲まれていた 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de Mauresques トゥ・モレスキ adv. (動作主) ムール人によって 「副詞句」
 et エ conj. そして
 se trouvait ス・トゥルヴァ 3 単半(se trouver)v.pr (ある場所に) いた 「動詞句」
 entre deux visiteuses: オントル・トゥ・ヴィジトーズ adv. 2 人の面会人の間に 「副詞句」
 une petite vieille ユヌ・プティット・ヴィエイユ n.f 小柄な老婆 「主語」
 aux lèvres serrées, オ・レーヴル・セレ adv. 唇をかみしめた 「形容詞句」
 habillée de noir, ハビエイ・トゥ・ヌワール 過去分詞(habiller)adj. 黒衣を着た 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 une grosse femme ユヌ・グロス・ファム n.f 太った女 「主語」
 en cheveux オン・シュヴァ adv. 髪の毛を出した、帽子をかぶっていない 「形容詞句」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 parlait パル 3 単半(parler)v.i 話した 「動詞」
 très fort トレ・フォル adv. 大声で 「副詞句」
 avec beaucoup de gestes. アヴェ・エッキ・ボク・トゥ・ジエスト
 adv. 大げさな身振りで 「副詞句」

鉄格子までの距離があるので、面会者と囚人はお互いに大声で話さざるを得なかった。

A cause de la distance entre les grilles, les visiteurs et les prisonniers étaient obligés de parler très haut. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 A cause de ア・コーズ・ト prep (原因) 何のせいで、～のために 「副詞句」
 la distance ラ・ディストンス n.f 距離 「目的語」
 entre オントル prep (2つの物の) 間の 「形容詞句」
 les grilles, レ・グリーユ pl.n.f 鉄格子 「目的語」
 les visiteurs レ・ヴィジテール pl.n.m 面会者たちは 「主語」
 et エ conj. そして
 les prisonniers レ・プリゾニエ pl.n.m 留置人たちは、囚人たちは 「主語」
 étaient obligés de parler エテ・オブリジエ・ト・ォ・パル 3 複半・受動・強制(obliger de+不定詞)
 v.t 話すことを強制された、話さざるを得なかった 「動詞句」
 très haut. トレ・オ adv. とても大声で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕が中へ入ると、その部屋のむき出しの壁に反射する会話のざわめきと空から窓ガラスに降り注ぎ、部屋中に広がる直接光の強い刺激によって、ある種の眩暈を感じた。

Quand je suis entré, le bruit des voix qui rebondissaient contre les grands murs nus de la salle, la lumière crue qui coulait du ciel sur les vitres et rejaillissait dans la salle, me causèrent une sorte d'étourdissement.

「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「直接目的語」

Quand コン conj. ～したとき

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

suis entré, シュイ・ゾントレ 1 単現・完了形(entrer)v.i 中に入った

「動詞句」

le bruit ル・ブリュイ n.m 騒音は

「主語」

des voix デ・ウリ adj. 声の

「形容詞句」

des voix → de **les voix** 声の

le bruit des voix → ざわめき、話し声

qui キ pron.f.pl (主語: les voix の代用) ～する

「形容詞節」

rebondissaient ルボンディエ 3 複半(rebondir)v.i 反射する

「動詞」

contre コントル prep ～に対して

「副詞句」

les grands murs レ・グロン・ミュール pl.n.m 大きな壁

「目的語」

nus ニュ adj.pl むき出しの

「形容詞」

de la salle, トゥ・ラ・サル adj. その部屋の「形容詞句」

la lumière ラ・リュミエール n.f 光は

「主語」

crue クリュ adj.f どぎつい

「形容詞」

la lumière crue ラ・リュミエール・クリュ n.f 直接光、むき出しの光

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

coulait クレ 3 単半・時制の一致(couler)v.i (光が) 降り注ぐ

「動詞」

du ciel ジュ・シエル adv. 空から

「副詞句」

sur les vitres シュール・レ・ヴィトル adv. 窓ガラスの上に

「副詞句」

et エ conj. そして

rejaillissait ルジャリセ 3 単半・時制の一致(rejaillir)

v.i (液体が) はねる

「動詞」

dans la salle, トン・ラ・サル adv. 部屋の中に

「副詞句」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

causèrent コゼール 3 複過(causer)v.t 引き起こした

「動詞」

une sorte d' エヌ・ソルト・トゥ adj.f 一種の～を

「形容詞句」

étourdissement. エトゥルディスム n.m めまい、眩暈

「直接目的語」

単複同形の名詞:

語尾が -s, -x, -z で終わっている名詞は、そのまま複数形になります。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の独房は、もっと静かで、もっと暗かった。

Ma cellule était plus calme et plus sombre.

「主語」「動詞」「補語」

Ma cellule マ・セリュール n.f 僕の独房は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

plus calme プリュ・カーム adj. もっと静かな

「補語」

et エ conj. そして

plus sombre. プリュ・ソンプル adj. もっと暗い

「補語」

慣れるには、何秒か必要だった。

Il m'a fallu quelques secondes pour m'adapter. 「動詞句」「間接目的語」「主語」「副詞句」

Il ...a fallu イル...ア・ファリュ 3 単現・完了形・非人称(il falloir+名詞)v.h 〜が必要だった「動詞句」

m' ム pron 僕にとって

「間接目的語」

quelques secondes ケルク・スコント° pl.n.f 数秒

「主語」

pour m'adapter. プール・マダ°プテ adv.(s'adapter) 慣れるには

「副詞句」

それでも、やがて白日の下で、一人ひとりの顔を明瞭に識別できるようになった。

Pourtant, j'ai fini par voir chaque visage avec netteté, détaché dans le plein jour.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Pourtant, プルトン adv. それでも

「副詞」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai fini par voir エ・フィニ・パール・ヴァール 1 単現・完了形・結局(finir par+不定詞)

v.t やがて見えるようになった

「動詞句」

chaque visage シャッキ・ウイザージュ n.m それぞれの顔を

「目的語」

avec アヴァ°エッキ adv. (様態) 〜によって

「副詞句」

netteté, ネットウテ n.f 明瞭

「目的語」

détaché デタッシェ 分離した

「形容詞」

dans le plein jour. トン・ル・プラン・ジュール adv. 白日の下で

「副詞句」

僕は、2 つの鉄格子に挟まれた通路の端っこに、看守が一人座っていることに気が付いた。

J'ai observé qu'un gardien se tenait assis à l'extrémité du couloir entre les deux grilles.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai observé エ・オブ°セルグ°エ 1 単現・完了形(observer)v.t 気付いた

「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということに

「目的語」

un gardien アン・ガールディアン n.m 看守が一人

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

se tenait ス・トゥネ 3 単半・時制の一致(se tenir)

v.pr (ある姿勢を) 保っていた

「動詞句」

assis アシ adj. (asseoir の過去分詞) 座った

「補語」

à l'extrémité du couloir ア・レクストレミテ・ジユ・クルウォール adv. 通路の端っこで

「副詞句」

entre les deux grilles. オントル・レ・トゥ・グリーユ adv. 2 つの鉄格子の間の

「副詞句」

大部分のアラブ人の囚人たちとその家族は、向かい合ってしゃがんでいた。

La plupart des prisonniers arabes ainsi que leurs familles s'étaient accroupis en vis-à-vis.

「主語」「動詞句」「副詞句」

La plupart des ラ・プ・リュパール・デ adj. 大部分の

「形容詞句」

prisonniers arabes プリゾニエ・アラブ pl.n.m アラブ人の囚人たちは

「主語」

ainsi que オンシ・ク adv. 同様に、～もまた

「副詞句」

leurs familles レール・ファミユ pl.n.f 彼らの家族は

「主語」

s'étaient accroupis セテ・タクル 3 複半・完了形(s'accroupir)v.pr しゃがんでいた

「動詞句」

en vis-à-vis. オン・ヴィ・ザ・ヴィ adv. 向かい合って

「副詞句」

ainsi que :

A ainsi que B 「A も B も」

彼らは大声を出さない。

Ceux-là ne criaient pas.

「主語」「動詞句」

Ceux-là ス・ラ pron.pl 彼らは

「主語」

ne criaient pas. ノ・クリエ・パ 3 複半・否定・時制の一致(crier)v.i 叫ばない

「動詞句」

喧噪の中でも、彼らは小声で話してもお互いに通じ合うことができるのだ。

Malgré le tumulte, ils parvenaient à s'entendre en parlant très bas.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」

Malgré マルグレ prep ～にもかかわらず、～ではあるが

「副詞句」

le tumulte, ル・チュミュルト n.m 喧噪

「目的語」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

parvenaient à +不定詞 パルヴネア 3 複半・達成・時制の一致(parvenir à+不定詞)

v. なんとか～できる

「動詞句」

s'entendre シントントル 不定詞 v.pr 理解しあう

「動詞句」

en parlant オン・パルン ジェロンディフ(parler)adv. (譲歩) 話したとしても

「副詞句」

très bas. トレ・バ adv. 小声で

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

低い位置から湧き上がる彼らの鈍いつぶやきは、彼らの頭の上で交錯しあう会話に、ずっと鳴り続ける低音部のようなものを形成していた。

Leur murmure sourd, parti de plus bas, formait comme une basse continue aux conversations qui s'entrecroisaient au-dessus de leurs têtes. 「主語」「動詞」「目的語」
 Leur murmure レール・ミュルミュール n.m 彼らのつぶやきは 「主語」
 sourd, スール adj. (音が) こもった、鈍い 「形容詞」
 parti パルティ adj. 出てきた 「形容詞」
 de plus bas, ドゥ・プリュ・バー adv. 足下から 「副詞句」
 formait フォルメ 3 単半(former)v.t 形作っていた 「動詞」
 comme コム conj. ーのような 「形容詞」
 une basse エヌ・バス n.f 低音部を 「目的語」
 continue コンチニュー adj.f 鳴り続ける 「形容詞」
 aux conversations オ・コンヴァルサシオン adv. 会話に対する 「副詞句」
 qui キ pron (主語) ーする 「形容詞節」
 s'entrecroisaient ソントルクワゼ 3 複半・時制の一致(s'entrecroiser)
 v.pr 交錯しあう 「動詞句」
 au-dessus オ・ウシュ adv. ーの上で 「副詞句」
 de leurs têtes. ドゥ・レール・テット
 adj. 彼らの頭の 「形容詞句」

僕はマリーの方へ移動しながら、これらすべてのことに、瞬時に気が付いた。

Tout cela, je l'ai remarqué très vite en m'avancant vers Marie.
 「目的語」「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」
 Tout cela, トゥ・スラ pron これらすべてを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron それを 「目的語」
 ai remarqué エルマルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t 気づいた 「動詞句」
 très vite トレ・ヴィット adv. とても早く、一瞬で 「副詞句」
 en m'avancant オン・マヴァンソ ジェロンディフ(s'avancer)v.pr 進みながら 「副詞句」
 vers Marie. ヴェール・マリー adv. マリーのほうへ 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すでに鉄格子にぴったりと貼りついて、懸命に僕に微笑みかけていた。

Déjà collée contre la grille, elle me souriait de toutes ses forces.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」

Déjà デジャ adv. もう、すでに

「副詞」

collée コレ 過去分詞(coller)adv. (様態) 貼りついた状態で

「副詞句」

contre la grille, コントル・ラ・グリーユ adv. 鉄格子にぴったりと

「副詞句」

contre コントル prep (接触) にピッタリ触れて

elle エル pron 彼女は

「主語」

me ム pron 僕に

「間接目的語」

souriait スイエ 3 単半(sourire)v.i 微笑みかけていた

「動詞」

de toutes ses forces. トゥ・トゥット・セ・フォルス adv. 懸命に、全力で

「副詞句」

僕は彼女がとても美しく見えたが、そのことを彼女に伝えることは出来なかった。

Je l'ai trouvée très belle, mais je n'ai pas su le lui dire.

「主語」 「目的語」 「動詞句」 「補語」,

mais 「主語」 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」 「動詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron 彼女が

「目的語」

ai trouvée エ・トゥルヴエ 1 単現・完了形(trouver)v.t (qn+補語 人が〜と) 思った

「動詞句」

très belle, トレ・ベル adj. とてもきれいな

「補語」

mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai pas su ネ・パ・シュ 1 単現・完了形・可能・否定(savoir+不定詞)

v. 〜することができなかった

「動詞句」

le ル pron そのことを

「直接目的語」

lui リュイ pron 彼女に

「間接目的語」

dire. ディール 不定詞 v.t 言う

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「それで？」と、彼女は声を張り上げて僕に言った。「それで、こんな感じさ！」「元気なの？
欲しいものは揃っているの？」「ああ、みんなあるよ」

«Alors ? m'a-t-elle dit très haut. — Alors, voilà. — Tu es bien, tu as tout ce que tu veux?
— Oui, tout.»

《「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」, 《「応答」》

《「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「目的語」》, 《「応答」》

«Alors ? アロー adv. それで？ 「呼びかけ」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a... dit ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
elle エル pron 彼女が 「主語」
très haut. トレ・オー adv. 声を張り上げて 「副詞句」
— Alors, voilà. — アロー・ヴァー adv. それで、こんな感じさ！ 「応答」
Tu チュ pron あなたは 「主語」
es エ 2 単現(être)v.i ~である 「動詞」
bien, ビヤン adj. 元気な 「補語」
tu チュ pron あなたは 「主語」
as ア 2 単現(avoir)v.t ある 「動詞」
tout ce トゥ・ス pron すべて 「目的語」
que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
tu チュ pron あなたが 「主語」
veux? ヴェ 2 単現(vouloir)v.t 欲しい 「動詞」
— Oui, tout. » ウィ・トゥ adv. ああ、みんなあるよ 「応答」

僕たちはお互いに黙り込んだが、マリーは相変わらず微笑んでいた。

Nous nous sommes tus et Marie souriait toujours.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞」「補語」

Nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
nous sommes tus ヌ・スム・チュ 1 複現・完了形.pl(se taire)v.pr 黙り込んだ 「動詞句」
et エ conj. そして
Marie マリー n.f マリーは 「主語」
souriait スリエ 3 単半(sourire)v.i 微笑んでいた 「動詞」
toujours. トゥジュール adv. まだ、相変わらず 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

あの太った女が、僕の近くで、率直なまなざしをした夫と思われる大柄で金髪の男に向かって、大声で話していた。

La grosse femme hurlait vers mon voisin, son mari sans doute, un grand type blond au regard franc. 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

La grosse femme ラ・グロス・ファム n.f. あの太った女が 「主語」

hurlait ユルレ 3 単半(hurler)v.t. 大声で話していた 「動詞」

vers mon voisin, ヴェール・モン・ヴ わザン adv. 僕の近くで 「副詞句」

son mari ソン・マリ n.m. 夫に 「目的語」

sans doute, ソン・トゥット adv. おそらく 「副詞句」

un grand type blond アン・グロン・チップ・ブロン adj. 大柄で金髪の 「形容詞句」

au オ prep (様態) ～をした 「副詞句」

regard ルギャール n.m. 目つき、眼差し 「目的語」

franc. フロン adj. 率直な、正直な 「形容詞」

それは、先ほどからしていた話の続きだった。

C'était la suite d'une conversation déjà commencée. 「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i. ～だった 「動詞」

la suite ラ・シュイト n.f. 続き 「補語」

d'une conversation ジュヌ・コンヴァルサシオン adj. 会話の 「形容詞句」

déjà デジャ adv. すでに 「副詞」

commencée. コモンセ 過去分詞・受動.f(commencer)

adj. 始まっていた 「形容詞」

「ジャンヌがあれを連れて行こうとしないんだよ」と、女は声を限りに叫んだ。

«Jeanne n'a pas voulu le prendre», criait-elle à tue-tête.

《「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」》, 「動詞」「主語」「副詞句」

«Jeanne ジャンヌ n.f. ジャンヌが 「主語」

n'a pas voulu +不定詞 ナ・パ・ヴリュ 3 単現・完了形・願望・否定・時制の一致(vouloir+不定詞)

v. ～したがらない 「動詞句」

le ル pron あれを 「目的語」

prendre», プロントル 不定詞 v.t. 連れていく 「動詞句」

criait クリエ 3 単半(crier)v.i. 叫んだ 「動詞」

elle エル pron 彼女は 「主語」

à tue-tête. ア・チュ・テット adv. 声を限りに、声を振り絞って 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「そうか、そうだろうな」と、男が言った。「私は、あんたが出てきたらまた連れ戻すと言ったんだけど、連れて行こうとしなかったんだよ」

«Oui, oui», disait l'homme. «Je lui ai dit que tu le reprendrais en sortant, mais elle n'a pas voulu le prendre.»

《「応答」》, 「動詞」「主語」,
 《「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」》
 «Oui, oui», ウィ・ウィ adv. そうか、そうだろうな 「応答」
 disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 l'homme. ろム n.m 男が 「主語」
 «Je ジュ pron 私は 「主語」
 lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」
 ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 tu チュ pron あんたが 「主語」
 le ル pron あれを 「目的語」
 reprendrais ルプ・ロントレ 条・2 単現・推量(reprendre)v.t 取り戻すだろう 「動詞」
 en sortant, オン・ソルトン ジェロンディフ(sortir)adv. (条件) 外にでたら 「副詞句」
 mais メ conj. しかし
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 n'a pas voulu +不定詞 ナ・パ・ウリュ 3 単現・完了形・願望・否定・時制の一致(vouloir+不定詞)
 v. ～したがない 「動詞句」
 le ル pron あれを 「目的語」
 prendre. プ・ロントル 不定詞 v.t 連れていく 「動詞句」

マリーは、彼女にしては大きな声で、レーモンが僕によろしくと言っていた、と叫んだ。僕は、「ありがとう」と答えた。

Marie a crié de son côté que Raymond me donnait le bonjour et j'ai dit: «Merci.»

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」: 《「応答」》
 Marie マリー n.f マリーは 「主語」
 a crié ア・クリエ 3 単現・完了形(crier)v.i 大声で叫んだ 「動詞句」
 de son côté トゥ・ウ・ソ・コテ adv. 彼女にしては 「副詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 Raymond レモン n.m レーモンが 「主語」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 donnait トネ 3 単半(donner)v.t 言っていた 「動詞」
 le bonjour ル・ボンジュール n.m よろしく 「直接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«Merci.» メルシ adv. ありがとう

「応答」

しかし僕の声は、隣の男が「元気なのか」と尋ねる声にかき消されてしまった。

Mais ma voix a été couverte par mon voisin qui a demandé «s'il allait bien».

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

ma voix マ・ウゝわ n.f 僕の声は

「主語」

a été couverte ア・エ・クヴェルトゥ 3 単現・完了形・受動(couvrir)

v.t (声が) かき消された

「動詞句」

par mon voisin パール・モン・ウゝわザン adv. (動作主) 隣の男によって

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形・時制の一致(demander)

v.t 尋ねる

「動詞句」

«s' シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

il イル pron 非人称

allait アル 3 単半・時制の一致・非人称(aller)

v.i (健康状態が) ～である

「動詞」

bien». ビヤン adv. 元気だ

「補語」

その妻は、「今までにないほど調子がいいわ」と言って、笑った。

Sa femme a ri en disant «qu'il ne s'était jamais mieux porté». 「主語」「動詞句」「副詞句」

Sa femme サ・ファミ n.f 妻は

「主語」

a ri ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った

「動詞句」

en disant オン・ディザン ジェロンディフ(dire)adv. ～と言いながら

「副詞句」

«qu' ク adv. (感嘆文を導く) なんと

「感嘆」

il イル pron 健康状態は

「主語」

ne s'était jamais mieux porté». ノ・セテ・ジヤメ・ミュ・ホルテ 3 単半・完了形・否定

(se porter bien)v.pr かつてないほど体の調子がいい

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の左隣の華奢な手をした背の低い若い男は、何も話さなかった。

Mon voisin de gauche, un petit jeune homme aux mains fines, ne disait rien.

「主語」「動詞句」「目的語」

Mon voisin de gauche, モン・ヴ ザン・トゥ・ゴーシュ n.m 左隣の男は 「主語」

un petit jeune homme アン・プ ティ・ジュ・ノム n.m (同格) 背が低くて若い男 「主語」

petit プ ティ adj. 背が低い jeune ジュヌ adj. 若い

aux mains fines, オ・マン・フィヌ adv. (様態) 手が細い 「形容詞句」

mains マン pl.n.f(main) 手 fines フィヌ adj.f.pl(fin) 細い、華奢な

ne disait ヌ・テイゼ 3 単半・否定(dire)v.t 話さなかった 「動詞句」

rien. リヤン pron なにも～ない 「目的語」

僕は、彼が小柄な老婆の正面に立ち、二人は一心不乱に見つめ合っていることに気付いた。

J'ai remarqué qu'il était en face de la petite vieille et que tous les deux se regardaient avec intensité.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai remarqué エルマルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t 気づいた 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～にいた 「動詞」

en face de オン・ファストゥ prep ～の正面に、真向かいに、向かい合って 「副詞句」

la petite vieille ラ・プ ティット・ヴィエイユ n.f 小柄な老婆 「目的語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「目的語」

tous les deux トゥ・レ・トゥ pron 二人とも 「主語」

se regardaient スルギヤルテ 3 複半(se regarder)

v.pr お互いに見つめ合っていた 「動詞句」

avec intensité. アヴェッキ・アントンシテ adv. 一心不乱に 「副詞句」

intensité アントンシテ n.f 強さ、激しさ

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし僕にはこれ以上彼らを観察する時間はなかった。マリーが、希望を持たなければいけない、と僕に向かって大きな声で叫んだからだ。

Mais je n'ai pas eu le temps de les observer plus longtemps parce que Marie m'a crié qu'il fallait espérer.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai pas eu ネ・パ・ジュ 1 単現・完了形・否定(avoir)v.t ～がなかった

「動詞句」

le temps ル・トン n.m 時間が

「目的語」

de +不定詞 トゥ adj. ～するための

「形容詞句」

les レ pron.pl 彼らを

「目的語」

observer オブセルヴァ 不定詞 v.t 観察する

「動詞」

plus longtemps プリュ・ロントン adv. さらに、これ以上

「副詞句」

parce que パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

Marie マリー n.f マリーが

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a crié ア・クリエ 3 単現・完了形(crier)v.t 大声で言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「直接目的語」

il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称(il falloir+不定詞)

v.h ～しなければならない、～すべきだ

「動詞句」

espérer. エスパレ 不定詞 v.i 希望を持つことが

「主語」

「もちろんだ」と、僕は答えた。同時に、僕は彼女を見つめ、ドレスの上から彼女の肩を抱きしめたいと思った。

J'ai dit: «Oui.» En même temps, je la regardais et j'avais envie de serrer son épaule par-dessus sa robe.

「主語」「動詞句」:《「応答」》

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」et「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.i 言った

「動詞句」

«Oui.» ウー adv. わかった、もちろん

「応答」

En même temps, オン・メム・トン adv. 同時に

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

la ラ pron 彼女を

「目的語」

regardais ルギャルデ 1 単半(regarder)v.t 見つめた

「動詞」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avais envie de serrer アヴ`エ・オンヴ`イー・ド`ァ・セル 1 単半・願望(avoir envie de+不定詞)

v.t. ～を抱きしめたいと思った 「動詞句」

son épaule ソン・エポール n.f. 彼女の肩を 「目的語」

par-dessus パル・ド`ァ・シュ prep. ～の上から 「副詞句」

sa robe. サ・ロブ` n.f. ドレス 「目的語」

僕はその薄い布地が欲しくなった。それ以外に何を望んだらよいかよく分からなかった

J'avais envie de ce tissu fin et je ne savais pas très bien ce qu'il fallait espérer en dehors de lui. 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais envie de +qc アヴ`エ・オンヴ`イー・ド`ァ 1 単半・願望(avoir envie de+名詞)

v.t. ～が欲しいと思った 「動詞句」

ce tissu fin ス・ティシュ・ファン n.m. その薄い布地を 「目的語」

tissu ティシュ n.m. 布地、織物 fin ファン adj. 薄い、細い、華奢な

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne savais pas ヌ・サヴ`エ・パ` 1 単半・否定(savoir)v.t. 知らなかった 「動詞句」

très bien トレ・ビヤン adv. (否定文で) あまりよく 「副詞句」

ce ス pron ことを 「目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称(il falloir+不定詞)

v.h. ～しなければならない 「動詞句」

espérer エスパレ 不定詞 v.i. ～を望むことが 「主語」

en dehors de オン・ト`ウオール・ド`ァ prep. ～以外に 「間接目的語」

lui. リュイ pron (ce tissu fin の代用) それ 「目的語」

しかしマリーは相変わらず微笑んでいたもので、マリーもそう言いたかったに違いない。

Mais c'était bien sans doute ce que Marie voulait dire parce qu'elle souriait toujours.

Mais 「動詞」「補語」「副詞句」「主語」「副詞節」

Mais メ conj. しかし

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は ce)

était エテ 3 単半(être)v.i. ～だった 「動詞」

bien ビヤン adv. 確かな 「補語」

sans doute ソン・ド`ット adv. おそらく、きっと 「副詞句」

ce ス pron それは 「主語」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|------|-------|
| Marie マリー n.f | マリーが | 「主語」 |
| voulait dire ヴレ・テイル 3 単半・願望(vouloir+不定詞) | | |
| v.t 言いたかった | | 「動詞句」 |
| parce qu' パルス・キ conj. ～なので | | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女は | | 「主語」 |
| souriait スリエ 3 単半(sourire)v.i 微笑んでいた | | 「動詞」 |
| toujours. トゥジュール adv. 相変わらず | | 「副詞」 |

僕にはもう、彼女の歯の輝きと目許の小さなしわしか見えなかった。

Je ne voyais plus que l'éclat de ses dents et les petits plis de ses yeux.

| | | |
|--|--|--------------------|
| | | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | | 「主語」 |
| ne voyais plus ヌ・ヴ・ワヱ・プリュ 1 単半・否定(voir+plus)v.t もう見えなかった | | 「動詞句」 |
| que ク conj.(ne...que) ～しか | | 「副詞」 |
| l'éclat ク・レクラ n.m 輝きしか | | 「目的語」 |
| de ses dents トゥ・セ・トン adj. 彼女の歯の | | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | | |
| les petits plis レ・プ・ティ・プリ pl.n.m 小さいしわ | | 「目的語」 |
| de ses yeux. トゥ・セ・ジュ adj. 彼女の目の | | 「形容詞句」 |

マリーがもう一度叫んだ：「あなたが出てきたら、私たちは結婚するのよ！」

Elle a crié de nouveau: «Tu sortiras et on se mariera!»

| | | |
|--|--|--------------------------------------|
| | | 「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」et「主語」「動詞句」》 |
| Elle エル pron 彼女は | | 「主語」 |
| a crié ア・クリエ 3 単現・完了形(crier)v.i 叫んだ | | 「動詞句」 |
| de nouveau: トゥ・ヌヴ・ォ adv. もう一度 | | 「副詞句」 |
| «Tu チュ pron あなたが | | 「主語」 |
| sortiras ソルチラ 2 単未・假定(sortir)v.i 出てきたら | | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | | |
| on オン pron 私たちは | | 「主語」 |
| se mariera! ス・マリエラ 3 単未・推定(se marier)v.pr 結婚する | | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は答えた：「本当かい？」しかし、それは単に返事をしたにすぎなかった。

J'ai répondu: «Tu crois?» mais c'était surtout pour dire quelque chose.

「主語」「動詞句」：《「主語」「動詞」》mais「主語」「動詞」「副詞句」

J' ジュ pron 私は 「主語」
 ai répondu: エ・レポソジュ 1 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」
 «Tu チュ pron 君は 「主語」
 crois?» クルわ 2 単現(croire)v.t 思っている 「動詞」
 mais メ conj. しかし
 c' ス pron これは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」
 surtout シュルトウ adv. なによりも 「副詞」
 pour +不定詞 プール adv. ～するため 「副詞句」
 dire ティール 不定詞 v.t 言う 「動詞」
 quelque chose. クルク・ショズ n.f 何かを 「目的語」

すると彼女は、「本気よ！僕は無罪放免になって、また海水浴に行けるわ」と、とても早口で、相変わらず大声で言った。

Elle a dit alors très vite et toujours très haut que oui, que je serais acquitté et qu'on prendrait encore des bains.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 a dit ア・ティ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 alors アロー adv. それで、すると 「副詞」
 très vite トレ・ヴィット adv. とても早口で 「副詞」
 et エ conj. そして
 toujours トウジュール adv. 相変わらず 「副詞」
 très haut トレ・オ adv. 大声で 「副詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 oui, ウィ adv. 本気よ！ 「応答」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 私は 「主語」
 serais acquitté スレ・アキテ 条・1 単現・受動・推量(acquitter)
 v.t 無罪放免されるだろう 「動詞句」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 on オン pron 私たちは 「主語」
 prendrait プロントレ 条・3 単現・推量(prendre)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t (海水浴を) できるでしょう 「動詞」
 encore オンコール adv. また 「副詞」
 des bains. デ・バン pl.n.m 海水浴を 「目的語」

だが別の女が、彼の方に向かってわめき声をあげて、書記課に差し入れを預けたと言った。

Mais l'autre femme hurlait de son côté et disait qu'elle avait laissé un panier au greffe.

Mais 「主語」「動詞」「副詞句」 et 「動詞」「目的語」

Mais メ conj. しかし

l'autre femme ロートル・ファム n.f 別の女が 「主語」

hurlait ユル 3 単半(hurler)v.i わめき声をあげた 「動詞」

de son côté トゥ・ソン・コテ adv. 彼の方に向かって 「副詞句」

et エ conj. そして

disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

avait laissé アヴ・ェ・レッセ 3 単半・完了形(laisser)v.t 預けた 「動詞句」

un panier アン・パニエ n.m かごを 「目的語」

au greffe. オ・グレフ adv. (裁判所の) 書記課に 「副詞句」

女はそこに預けたものをすべて数え上げた。

Elle énumérait tout ce qu'elle y avait mis. 「主語」「動詞」「目的語」

Elle エル pron 女は 「主語」

énumérait エニユレ 3 単半(énumérer)v.t 数え上げた、列挙した 「動詞」

tout ce トゥ・ス pron すべてを 「目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

elle エル pron 彼女が 「主語」

y イ adv. そこに 「副詞」

avait mis. アヴ・ェ・ミ 3 単半・完了形(mettre)v.t 預けた 「動詞句」

高かったのだから、しっかり確認しなさい。

Il fallait vérifier, car tout cela coûtait cher. 「動詞句」「副詞節」

Il fallait +不定詞 イル・ファレ 3 単半・非人称(il falloir+不定詞)

v. ～しなければならない 「動詞句」

vérifier, ヴェリフィエ 不定詞 v.t 確かめる 「動詞句」

car カル conj. ～なので 「副詞節」

tout cela トゥ・スラ pron それら全ては 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

coûtait クテ 3 単半(couter)v.i 値段が～だった 「動詞」
 cher. シェール adj. 高い、高価な 「補語」

隣のもう一人の男とその母親は相変わらず見つめ合っていた。

Mon autre voisin et sa mère se regardaient toujours. 「主語」「動詞句」「副詞」
 Mon autre voisin モン・オートル・ウゝ わザン n.m 隣のもう一人の男は 「主語」
 et エ conj. そして
 sa mère サ・メル n.f その母親は 「主語」
 se regardaient ス・ルギヤルテ 3 複半(se regarder)v.pr お互いに見つめ合っていた 「動詞句」
 toujours. トゥジュール adv. 相変わらず、まだ 「副詞」

アラブ人たちのつぶやきが僕たちの足元で続いていた。

Le murmure des Arabes continuait audessous de nous. 「主語」「動詞」「副詞句」
 Le murmure ル・ミュルミュール n.m つぶやきは 「主語」
 des Arabes デ・ザラブ adj.pl アラブ人たちの 「形容詞句」
 continuait コンチヌエ 3 単半(continuer)v.i 続いていた 「動詞」
 audessous de nous. オトウス・ドゥ・ヌ adv. 僕たちの足元で 「副詞句」

あしもと : 足下、足元、足許の違い

足下 足の裏が地面と接している部分

足元 足下から半径1歩くらいの範囲

足許 足下から半径2～3歩くらいの範囲

戸外では、光が大きなガラス窓に反射して膨らんでいるように思われた。

Dehors la lumière a semblé se gonfler contre la baie. 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Dehors ドゥオール adv. 戸外では 「副詞」
 la lumière ラ・リュミエール n.f 光が 「主語」
 a semblé ア・ソングレ 3 単現・完了形(sembler+不定詞)v. ～するように見えた 「動詞句」
 se gonfler ス・ゴンフレ 不定詞 v.pr 膨らむ 「動詞句」
 contre コントル prep (接触) のそばで、に触れて 「副詞句」
 la baie. ラ・ベ n.f 大きなガラス窓 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は少し気分が悪くなり、その場を立ち去りたいほどだった。

Je me sentais un peu malade et j'aurais voulu partir.

「主語」「動詞句」「補語」「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me sentais ム・ソテ 1 単半(se sentir)v.pr 自分が〜だと感じた

「動詞句」

un peu malade アン・プ・マラッド adj. 少し気分が悪い

「補語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

aurais voulu partir. オーレ・ヴリュ・パルティール 条・1 単現・完了形・願望・語調緩和(vouloir+不定詞)

v.i その場を立ち去りたかったのだが

「動詞句」

騒音がひどくて、僕は気分が悪くなった。だが一方で、もっとマリーと一緒にいたいと思う気持ちもあった。

Le bruit me faisait mal. Mais d'un autre côté, je voulais profiter encore de la présence de Marie.

「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Le bruit ル・ブリュイ n.m 騒音が

「主語」

me ム pron 僕を

「目的語」

faisait フェ 3 単半(faire)v.t (〜の状態に) した

「動詞」

mal. マル adv. 気分が悪い

「補語」

Mais メ conj. しかし

d'un autre côté, ダン・オートル・コテ adv. 他方では

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

voulais profiter ヴレ・プロフィテ 1 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.i(de を) 利用したかった

「動詞句」

encore オンコール adv. さらに、もっと

「副詞句」

de la présence トゥ・ラ・プレザンス adv. 存在を

「間接目的語」

de Marie. トゥ・マリー adj. マリーの

「形容詞句」

どれだけ時間が経ったのか分からない。

Je ne sais pas combien de temps a passé.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t わからない

「動詞句」

combien de temps コンビヤン・トゥ・トン n.m どれほどの時間が〜するかということを「目的語」

a passé. ア・パッセ 3 単現・完了形(passer)v.i 過ぎ去った

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

マリーは僕に仕事の話をし、ずっと微笑んでいた。

Marie m'a parlé de son travail et elle souriait sans arrêt.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」
 Marie マリー n.f マリーは 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i (de について) 話した 「動詞句」
 de son travail トゥ・ソ・トラヴァイユ adv. 仕事について 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 souriait スイエ 3 単半(sourire)v.i 微笑んだ 「動詞」
 sans arrêt. ソン・ザレ adv. 絶え間なく、ずっと 「副詞句」

つぶやきと、叫びと、会話が混ざり合って音の渦のようになっていた。

Le murmure, les cris, les conversations se croisaient.

「主語」「動詞句」
 Le murmure, ル・ミュルミュール n.m つぶやきは 「主語」
 les cris, レ・クリ pl.n.m(cri) 叫びは 「主語」
 les conversations レ・コンヴァルサシオン pl.n.f 会話は 「主語」
 se croisaient. ス・クルワセ 3 複半(se croiser)v.pr お互いに入り混じっていた 「動詞句」

唯一静寂な一画が、僕の脇で互いに見つめ合うあの小柄な若者と老婆の間に存在した。

Le seul îlot de silence était à côté de moi dans ce petit jeune homme et cette vieille qui se regardaient.

「主語」「動詞」「副詞句」
 Le seul îlot ル・スル・イロ n.m 唯一の一画が 「主語」
 de silence トゥ・シロンヌ adj. (様態) 静寂な 「形容詞句」
 était エテ 3 単半(être)v.i 〜にあった 「動詞」
 à côté de moi ア・コテ・トゥ・ムワ adv. 僕の脇に 「副詞句」
 dans トン prep 〜の中に 「副詞句」
 ce petit jeune homme et cette vieille ス・プティ・ジュヌ・オム・エ・セット・ヴィエイユ
 pl.n あの小柄な若者と老婆 「目的語」
 qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
 se regardaient. ス・ルギヤルテ 3 複半・時制の一致(se regarder)
 v.pr 互いに見つめあう 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

少しずつ、アラブ人たちが連れて行かれた。

Peu à peu, on a emmené les Arabes. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Peu à peu, プ・ア・プ adv. 少しずつ、徐々に 「副詞句」

on オン pron 看守が 「主語」

Arabes を「主語」とする受動態に翻訳する

a emmené ア・ムネ 3 単現・完了形(emmener)v.t 連れて行った 「動詞句」

les Arabes. レ・アラブ pl.n.m アラブ人たちを 「目的語」

最初の一人が外に出ると、ほとんど全員が黙り込んだ。

Presque tout le monde s'est tu dès que le premier est sorti. 「主語」 「動詞句」 「副詞節」

Presque プレスキ adv. ほとんど、ほぼ 「副詞」

tout le monde トゥ・ル・モンド n.m 全員が、皆が 「主語」

s'est tu セ・チュ 3 単現・完了形(se taire)v.pr 黙った、黙り込んだ 「動詞句」

dès que +直説法 デ・ク conj. ～するとすぐに 「副詞節」

le premier ル・プリミエ n.m 最初の人が 「主語」

est sorti. エ・ソルティ 3 単現・完了形(sortir)v.i 外に出た 「動詞句」

その小さい老婆が鉄格子に近づいた。すると同時に、看守が息子に合図をした。

La petite vieille s'est rapprochée des barreaux et, au même moment, un gardien a fait signe à son fils.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 et 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「直接目的語」 「間接目的語」

La petite vieille ラ・プティット・ヴィエイユ n.f その小さい老婆が 「主語」

s'est rapprochée セ・ラブ ロッシェ 3 単現・完了形.f(se rapprocher)v.pr(de に) 近づいた 「動詞句」

des barreaux デ・バロー adv. 鉄格子に 「間接目的語」

et, エ conj. そして

au même moment, オ・メーム・モン adv. 同時に 「副詞句」

un gardien アン・ガルトイアン n.m 看守が 「主語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (行動を) した 「動詞句」

signe シーニュ n.m 合図を 「直接目的語」

à son fils. ア・ソン・フィス adv. 息子に 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

息子が言った：「さようなら、母さん」、すると老婆は鉄格子の間から手を伸ばして、ゆっくりと時間をかけてささやかな合図を息子に送った。

Il a dit: «Au revoir, maman» et elle a passé sa main entre deux barreaux pour lui faire un petit signe lent et prolongé.

「主語」「動詞句」：《「挨拶」「呼びかけ」》, et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」
 Il イル pron 息子が 「主語」
 a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Au revoir, オ・ルヴワール adv. さようなら 「挨拶」
 maman» マモン adv. 母さん 「呼びかけ」
 et エ conj. そして
 elle エル pron 彼女は 「主語」
 a passé ア・パッセ 3 単現・完了形(passer)v.t ~を通した 「動詞句」
 sa main サ・マン n.f 手を 「目的語」
 entre deux barreaux オントル・トゥ・バロ adv. 鉄格子の間から 「副詞句」
 pour +不定詞 プール adv. (目的・継続) ~しようとして 「副詞句」
 lui リュイ pron 息子に 「間接目的語」
 faire フェール 不定詞 v.t (行動を) する 「動詞」
 un petit signe アン・プティ・シニユ n. ささやかな合図を 「直接目的語」
 lent ロン adj. ゆっくりした 「形容詞」
 et エ conj. そして
 prolongé. プロロンジェ adj. 時間をかけた 「形容詞」

老婆が帰ると、入れ違いに、帽子を手を持った男が入ってきて、老婆がいた場所についた。

Elle est partie pendant qu'un homme entrerait, le chapeau à la main, et prenait sa place.

「主語」「動詞句」「副詞節」
 Elle エル pron 老婆が 「主語」
 est partie エ・パルティ 3 単現・完了形.f(partir)v.i 帰って行った 「動詞句」
 pendant qu' ホントン・キ conj. (対立) それに対して 「副詞節」
 un homme アン・ノム n.m 男が 「主語」
 entrerait, オントレ 3 単半(entrer)v.i 入ってきた 「動詞」
 le chapeau ル・シャポー n.m 帽子を~して 「副詞句」
 à la main, ア・ラ・マン adv. 手に持って 「副詞句」
 et エ conj. そして
 prenait プルネ 3 単半(prendre)v.t (場所を) 取った 「動詞」
 sa place. サ・プラス n.f 老婆のいた場所を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

一人の囚人が通されて、先ほどの男と活発に言葉を交わしたが、部屋が再び静かになっていたので、声は控えめだった。

On a introduit un prisonnier et ils se sont parlé avec animation, mais à demi-voix, parce que la pièce était redevenue silencieuse.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」, mais 「副詞句」

On の pron 看守が

「主語」

prisonnier を「主語」とする、受動態に翻訳する

a introduit ア・アントロジューイ 3 単現・完了形(introduire)v.t (人)を通した 「動詞句」

un prisonnier アン・プリゾニエ n.m 1 人の囚人を 「目的語」

et エ conj. そして

ils イル pron.pl 彼らが 「主語」

se sont parlé ス・ソン・パル 3 複現・完了形(se parler)v.pr 言葉を交わした 「動詞句」

avec animation, アヴェ・エッキ・アニメシオン adv. 熱心に、さかんに 「副詞句」

animation アニメシオン n.f 活気、生き生きした動き

mais メ conj. しかし

à demi-voix, ア・ドミ・ウ・ヴ adv. 小さめの声で 「副詞句」

parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」

la pièce ラ・ピエス n.f 部屋が 「主語」

était redevenue エ・トル・ヴ・ニユ 3 単半・完了形(redevenir)

v.i 再び～になっていた 「動詞句」

silencieuse. シロンシユース adj.f 静かな 「補語」

看守が僕の右隣の男を迎えにやって来た。するとその妻が、もう叫ぶ必要がないことに気づかない様子で、声を弱くしないで叫んだ。「体に気を付けるんだよ、そして、用心するんだよ」それから、僕の順番がやって来た。

On est venu chercher mon voisin de droite et sa femme lui a dit sans baisser le ton comme si elle n'avait pas remarqué qu'il n'était plus nécessaire de crier: «Soigne-toi bien et fais attention.» Puis est venu mon tour.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」:

《「呼びかけ」 et 「動詞」「目的語」》, Puis 「動詞句」「主語」

On の pron 看守が

「主語」

est venu chercher エ・ウ・ニユ・シェルシェ 3 単現・完了形(venir+不定詞)

v.t ～を迎えに来た 「動詞句」

mon voisin モン・ウ・ワザン n.m 僕の隣の男を 「目的語」

de droite トゥ・トロワット adj. 右側の 「形容詞句」

droite トロワット n.f 右 droit トルワ adj. 右(側)の à droite ア・トルワット adv. 右(側)に

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| et エ conj. そして | |
| sa femme サ・ファミ n.f. その妻は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t. 言った | 「動詞句」 |
| sans baisser ソン・ベッセ adv. (声を) 弱くしないで | 「副詞句」 |
| le ton ル・トン n.m. 声を | 「目的語」 |
| comme si コム・シ conj. あたかも～であるかのように | 「副詞節」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| n'avait pas remarqué ナヴェ・パ・ルマルケ 3 単半・完了形・否定・時制の一致(remarquer) | |
| v.t. 気づいていない | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 仮の主語 (真の主語は de crier) | |
| n'était plus ネ・プリュ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i. もう～でない | 「動詞」 |
| nécessaire ネセール adj. 必要な | 「補語」 |
| de crier: ドゥ・クリエ 不定詞 v.i. 叫ぶことは | 「主語」 |
| «Soigne-toi bien スワニユ・トワ・ビヤン 命・2 単現(se soigner+bien) | |
| v.pr. 体に気を付けてね | 「呼びかけ」 |
| et エ conj. そして | |
| fais フェ 命・2 単現(faire)v.t. ～をなさい | 「動詞」 |
| attention. アトシヨン n.f. 用心 | 「目的語」 |
| Puis ビュイ adv. それから | 「副詞」 |
| est venu エ・ヴァニユ 3 単現・完了形(venir)v.i. やって来た | 「動詞句」 |
| mon tour. モン・トゥール n.m. 僕の順番が | 「主語」 |

マリーは僕にキスをするような仕草をした。僕は面会部屋から出ていく前に、振り向いた。

Marie a fait signe qu'elle m'embrassait. Je me suis retourné avant de disparaître.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

| | |
|--|--------|
| Marie マリー n.f. マリーは | 「主語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t. (行動を) した | 「動詞句」 |
| signe シニュ n.m. 身振り、仕草 | 「目的語」 |
| qu' ク pron (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| elle エル pron 彼女が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| embrassait. オンブラッセ 3 単半・時制の一致(embrasser) | |
| v.t. キスする | 「動詞」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

me suis retourné ム・シェイ・ルトゥルネ 1 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り向いた 「動詞句」
 avant de +不定詞 アヴァン・ドゥ adv. ～する前に 「副詞句」
 disparaître. ディスパレール 不定詞 v.i. いなくなる、行ってしまう 「動詞」

彼女は、顔を鉄格子にぴったり押し付けて、引き裂かれたような、そして、引きつったような先ほどからの同じ微笑みを浮かべて、じっとしていた。

Elle était immobile, le visage écrasé contre la grille, avec le même sourire écartelé et crispé. 「主語」「動詞」「補語」, 「副詞句」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i. ～だった 「動詞」
 immobile, インモビル adj. 動かない 「補語」
 le visage ル・ヴィザージュ adv. (様態) 顔は～で 「副詞句」
 écrasé エクラセ adj. 押しつぶされた 「形容詞」
 contre la grille, コントル・ラ・グリユ
 adv. (接触) 鉄格子にぴったり触れて 「副詞句」
 avec le même sourire アヴェック・ル・メーム・スリル adv. 同じ微笑みを浮かべて 「副詞句」
 écartelé エカルレ 過去分詞・受動(écarteler)adj. 引き裂かれた 「形容詞」
 et エ conj. そして
 crispé. クリスパ 過去分詞(se crispier)adj. 引きつった 「形容詞」

そのすぐ後に、彼女が手紙をくれた。

C'est peu après qu'elle m'a écrit. 「動詞」「補語」「主語」
 C' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'以降) 強調構文
 est エ 3 単現(être)v.i. ～である 「動詞」
 peu après プ・アプレ adv. すぐ後に 「補語」
 qu' ク conj. ～ということは 「主語」
 elle エル pron 彼女が 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a écrit. ア・エクリ 3 単現・完了形(écrire)v.t. 手紙をくれた 「動詞句」

強調構文 翻訳の仕方：

C'est +強調したい要素 + 関係代名詞 qui (主語を強調したいとき)

関係代名詞 que (主語以外を強調したいとき)

「～するのは〈強調したい要素〉である」と翻訳するが、「時間の副詞」を強調する文では、「〈強調したい要素〉の時に、～する」と翻訳しても構わない。

「場所の副詞」や「目的の副詞」でも同様の翻訳方法が可能なので、状況に応じて強調構文の翻訳スタイルを紋切り型から変えてみることで、翻訳に変化が付けられる。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そしてこの時から、僕が決して話したくない事が始まった。

Et c'est à partir de ce moment qu'ont commencé les choses dont je n'ai jamais aimé parler.

Et 「動詞」「補語」「主語」

Et エ conj. そして

c' ス pron 仮の主語（真の主語は qu'以降）強調構文・補語（時間の副詞）

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

à partir de ce moment ア・パ ルティール・トゥ・ス・モン adv.（強調する部分）この時から 「補語」

qu' ク conj. 〜ということは 「主語」

ont commencé オン・モンセ 3 複現・完了形(commencer)v.i 始まった 「動詞句」

les choses レ・ショーズ pl.n.f 事が 「主語」

dont トン pron (de quoi の代用) それについて〜する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai jamais aimé parler. ネ・ジャメ・ゼ・メ・パル 1 単現・完了形・意思・否定(aimer+不定詞)

v.i 決して話したくなかった 「動詞句」

ともかく、誇張すべきではないが、これは僕にとっては他の人よりも容易だった。

De toute façon, il ne faut rien exagérer et cela m'a été plus facile qu'à d'autres.

「副詞句」「動詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」

De toute façon, トゥ・トゥット・ファソン adv. とにかく、いずれにせよ 「副詞句」

il ne faut rien exagérer イル・ヌ・フォ・リヤン・エグザジェレ 3 単現・非人称・妥当・否定

(il ne falloir pas+不定詞)v.t 誇張すべきではない 「動詞句」

et エ conj. そして

cela スラ pron このことは 「主語」

m' ム pron 僕にとっては 「間接目的語」

a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i 〜だった 「動詞」

plus facile プリュ・ファシル adj. もっと簡単 「補語」

qu'à d'autres. クワ・ドートル adv.（比較）他の人に比べると 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

拘留された当初に、一番辛かったのは、僕がまだ自由人の考えを持っていた事だ。

Au début de ma détention, pourtant, ce qui a été le plus dur, c'est que j'avais des pensées d'homme libre.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Au début オ・デビュ adv. 最初は

「副詞句」

de ma détention, デ・マ・デトシヨン adj. 拘留の

「形容詞句」

pourtant, プルトン adv. しかし

「副詞」

ce ス pron そのことは

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i ～だった

「動詞」

le plus dur, ル・プリュ・デュール adj. 一番つらい

「補語」

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

que ク conj. ～ということ

「補語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴエ 1 単半(avoir)v.t まだ持っていた、あった

「動詞」

des pensées デ・ボンセ pl.n.f 考え

「目的語」

d'homme libre. トム・リーブル adj. 自由人の

「形容詞句」

例えば、浜辺に行きたいとか、海に向かって降りて行きたいという欲望が僕を襲うのだ。

Par exemple, l'envie me prenait d'être sur une plage et de descendre vers la mer.

「副詞句」, 「主語」「動詞」, 「形容詞句」

Par exemple, パー・レクザンプル adv. 例えば

「副詞句」

l'envie ロンヴィー n.f 欲望が

「主語」

me ム pron 僕を「目的語」

prenait プルネ 3 単半(prendre)v.t (感情が) 襲った、降りかかった

「動詞」

d'être デートル 不定詞・同格 v.i ～に行きたいという

「形容詞句」

sur une plage シュール・コンヌ・プラージュ adv. 浜辺に

「間接目的語」

et エ conj. そして

de descendre トゥ・デソントル 不定詞・同格 v.i ～に降りたいという

「形容詞句」

vers la mer. ヴェール・ラ・メル adv. 海に向かって

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

足裏から伝わる一番波の振動や、体ごと水につかることや、そこで僕が味わう解放感などを想像すると、突然、獄舎の壁がどれほど息苦しく迫っているかを思い知ることになる。

À imaginer le bruit des premières vagues sous la plante de mes pieds, l'entrée du corps dans l'eau et la délivrance que j'y trouvais, je sentais tout d'un coup combien les murs de ma prison étaient rapprochés. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

À imaginer ア・イマジネ adv. (条件) ～を想像すると 「副詞句」

le bruit ル・ブリュイ n.m 物音を 「目的語」

des premières vagues テ・プ・ルミエール・ヴァグ pl.n.f 一番波の 「形容詞句」

sous la plante ス・ラ・プロント adv. 足裏の 「副詞句」

de mes pieds, トゥ・メ・ピエ adj. 僕の足の 「形容詞句」

l'entrée ロントレ n.f 入場を 「目的語」

du corps ジュ・コール adj. 体の 「形容詞句」

dans l'eau トン・ロー adv. 水中への 「副詞句」

et エ conj. そして

la délivrance ラ・デリヴランス n.f 解放感を 「目的語」

que ク pron (同格) ～という 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

y イ adv. そこで 「副詞」

trouvais, トゥルヴエ 1 単半(trouver)v.t 味わう、見つける 「動詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

sentais ソンテ 1 単半(sentir)v.t 感じる 「動詞」

tout d'un coup トゥ・ダン・クー adv. 突然 「副詞句」

combien コンビヤン adv. どれほど～するかということ 「目的語」

les murs de ma prison レ・ミュール・トゥ・マ・プリゾン pl.n.m 僕の獄舎の壁が 「主語」

étaient エテ 3 複半(être)v.i ～になっている 「動詞」

rapprochés. ラプ ロッシェ adj.m.pl 近い 「補語」

à+不定詞 :

- 条件・仮定・譲歩 ～ならば、～であっても

À le voir, on ne le croirait pas malade. 彼の様子を見ると病人とは思えない。

- 必要・義務・予定 ～すべき、～するはずの

J'ai une lettre à écrire. 私は手紙を1通書かなければならない。

Vous avez quelque chose à déclarer? 何か申告する物がありますか? (税関で)

- 目的・用途 ～するための

machine à écrire (à laver) タイプライター (洗濯機)

sandwichs à emporter 持ち帰り用サンドイッチ

- 程度・結果 ～するほどまでに (の)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

courir à perdre haleine 息が切れるほど走る

- 原因・手段 ～によって、～のために

Il s'use la santé à travailler tard le soir. 彼は夜遅くまで仕事をしていて体を壊している。

- 継続 ～しながら、～しているところを

passer la soirée à jouer aux cartes トランプをして夜を過ごす。

- 限定 ～することに

facile à faire 簡単にできる

avoir du mal à comprendre 分かりにくい

- avoir à+不定詞 ～しなければならない

J'ai à travailler. 私は働かなければならない。

Je n'ai rien à faire. 私は何もすることがない。

On n'a pas à lui répondre. 彼には返事をするには及ばない。

- être à+不定詞 ～しつつある、～している、～されるべきである、に値する

Il est toujours à courir les filles. 彼はいつも女の子の後ろばかり追いかけている。

Il est à plaindre. 彼は同情に値する（哀れだ）。

このような空想は数か月続いたが、その後は、囚人らしい思考だけになった。

Mais cela dura quelques mois. Ensuite, je n'avais que des pensées de prisonnier.

Mais 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

cela スラ pron このような想像は 「主語」

dura トゥラ 3 単過(durer)v.i 続いた 「動詞」

quelques mois. ケルキ・ムワ pl.n.m 数か月 「副詞句」

Ensuite, オンシュイト adv. その後は 「副詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais que ナヴェ・ク 1 単半・限定(avoir)v.t ～だけしかなかった 「動詞句」

des pensées デ・ポンセ pl.n.f 思考 「目的語」

de prisonnier. トゥ・プリゾニエ adj. 囚人の 「形容詞句」

僕は、中庭でしていた毎日の散歩や、弁護士の訪問を待ち望むようになっていた。

J'attendais la promenade quotidienne que je faisais dans la cour ou la visite de mon avocat. 「主語」「動詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

attendais アトンデ 1 単半・習慣(attendre)v.t ～を期待していた、待ち望んでいた 「動詞」

la promenade ラ・プロムナート n.f 散歩を 「目的語」

quotidienne コチデイェヌ adj.f 毎日の 「形容詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| faisais フェ 1 単半・習慣(faire)v.t (行動を) していた | 「動詞」 |
| dans la cour トン・ラ・クール adv. 中庭で | 「副詞句」 |
| ou ウ conj. または | |
| la visite ラ・ヴィジット n.f 訪問 | 「目的語」 |
| de mon avocat. トゥ・モン・アヴァカ adj. 僕の弁護士の | 「形容詞句」 |

僕は残りの時間も、うまく過ごせるようになっていた。

Je m'arrangeais très bien avec le reste de mon temps.

| | |
|--|-----------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| m'arrangeais マンジエ 1 単半(s'arranger)v.pr(avec と) 折り合いがついた | 「動詞句」 |
| très bien トレ・ビヤン adv. とてもうまく | 「副詞句」 |
| avec le reste de mon temps. アヴェ・エッキ・ル・レスト・トゥ・モン・トン adv. 残りの時間と | 「間接目的語」 |

僕がその頃よく考えたのは、もし仮に、枯木の幹の中で、頭上の花の形をした空を見ることしか暇つぶしをしないで暮らすように、と誰かに強制されたとしても、僕は少しずつそれに慣れていったらこうということだ。

J'ai souvent pensé alors que si l'on m'avait fait vivre dans un tronc d'arbre sec, sans autre occupation que de regarder la fleur du ciel au-dessus de ma tête, je m'y serais peu à peu habitué.

| | |
|---|--------------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai souvent pensé エ・スヴ・オン・ボンセ 1 単現・完了形(penser) | |
| v.t(que ～だと) よく考えた | 「動詞句」 |
| alors アール adv. その頃、そして | 「副詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| si シ conj. もし～ならば | 「副詞節」 |
| l'on ロン pron 人が、誰かが | 「主語」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| avait fait アヴェ・フェ 3 単半・使役・假定(faire+不定詞)v.t ～させた | 「動詞句」 |
| vivre ヴィーヴル 不定詞・me の動作 v.i 暮らす | 「補語」 |
| dans un tronc d'arbre sec, トン・ザン・トロン・ダルブル・セッキ | |
| adv. 枯れ木の幹の中で | 「副詞句」 |
| tronc トロン n.m 木の幹 sec セッキ adj. 乾いた、枯れた | |
| sans autre occupation ソン・オートル・オキュパシオン | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| adv. 別の暇つぶしが無しで | 「副詞句」 |
| que de regarder ク・ト・ウ・ルギ`ヤルテ` | |
| adv. (比較) 見ることも | 「副詞句」 |
| la fleur du ciel ラ・フレール・シ`ユ・シエル | |
| n.f 花の形の空を | 「目的語」 |
| au-dessus de ma tête, オ・ト`ウシユ・ト`ウ・マ・テット | |
| adv. 頭上の | 「副詞句」 |
| je シ`ユ pron 僕は | 「主語」 |
| m'y serais peu à peu habitué. ミ・スレ・フ`・ア・フ`・アビ`チュエ 条・1 単現・完了形・推量(s'habituer) | |
| v.pr 僕はそれに少しずつ慣れていったらう | 「動詞句」 |
| y は先の文章の内容、peu à peu フ`・ア・フ` adv. 少しずつ s'habituer サビ`チュエ v.pr 慣れる | |

僕がここで弁護士の奇妙なネクタイを待ちわびていたり、別の世界では、土曜日までマリーを抱きしめるのを辛抱強く待っていたのと同じように、僕は鳥の訪れや雲の発見を待ち焦がれていただろう。

J'aurais attendu des passages d'oiseaux ou des rencontres de nuages comme j'attendais ici les curieuses cravates de mon avocat et comme, dans un autre monde, je patientais jusqu'au samedi pour étreindre le corps de Marie.

| | |
|--|-----------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」, 「副詞節」 |
| J' シ`ユ pron 僕は | 「主語」 |
| aurais attendu オレ・アトシ`ユ 条・1 単現・完了形・過去における未来の推量(attendre) | |
| v.t 待っていたらう | 「動詞句」 |
| des passages テ`・パ`サ`ジ`ユ pl.n.m 訪れを、立ち寄ることを | 「目的語」 |
| d'oiseaux ト`ウワゾ`ー adj. 鳥の | 「形容詞句」 |
| ou ウ conj. または | |
| des rencontres テ`・ロンコントル pl.n.f 出会い、発見、観察 | 「目的語」 |
| de nuages ト`ウ・ニュア`ジ`ユ adj. 雲の | 「形容詞句」 |
| comme コム conj. ~のように | 「副詞節」 |
| j' シ`ユ pron 僕が | 「主語」 |
| attendais アトシ`テ 1 単半 (attendre)v.t 待っていた | 「動詞」 |
| ici イ conj. ここで | 「副詞」 |
| les curieuses cravates レ`・キュリウ`ズ`・クラヴァット pl.n.f 奇妙なネクタイを | 「目的語」 |
| de mon avocat ト`ウ・モン・アヴァ`オカ adj. 僕の弁護士の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| comme コム conj. ~のように | 「副詞節」 |
| dans un autre monde, トン・サン・オートル・モント` adv. 別の世界で | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| patientais パシオンテ 1 単半(patienter)v.i 辛抱強く待っていた | 「動詞」 |
| jusqu'au samedi ジュスコ・サムディ adv. 土曜日まで | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ~するために | 「副詞句」 |
| êtreindre エトラントル 不定詞 v.t 抱きしめる | 「動詞」 |
| le corps de Marie. ル・コル・トゥ・マリー n.m マリーの体を | 「目的語」 |

ところでよく考えると、僕は枯木の中にいる訳ではない。

Or, à bien réfléchir, je n'étais pas dans un arbre sec.

Or 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

| | |
|---|-------|
| Or, オール conj. ところで | |
| à +不定詞 ア adv. (条件) ~すると | 「副詞句」 |
| bien ビヤン adv. よく | 「副詞」 |
| réfléchir, レフレシール 不定詞 v.i よく考える | 「動詞」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定・時制の一致(être)v.i (存在) ~にいない | 「動詞」 |
| dans un arbre sec. トン・サン・アルブル・セッキ adv. 枯木の中に | 「副詞句」 |

僕より不幸な人もいるんだ。

Il y avait plus malheureux que moi.

「動詞句」 「目的語」

| | |
|---|-------|
| Il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半・時制の一致(il y avoir)v.t ~がいる | 「動詞句」 |
| plus malheureux プリュ・マルルー n.m もっと不幸な人が | 「目的語」 |
| que moi. ク・ムわ adv. (比較) 僕よりも | 「副詞句」 |

「人はどんなことにでも、結局は慣れてしまうものだ」という言葉は、そもそも母さんの考え方で、いつもこの言葉を繰り返していた。

C'était d'ailleurs une idée de maman, et elle le répétait souvent, qu'on finissait par s'habituer à tout. 「動詞」 「副詞句」 「補語」 et 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」, 「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'on finissait 以降)

| | |
|-----------------------------|--------|
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| d'ailleurs ダイユール adv. そもそも | 「副詞句」 |
| une idée ユヌ・イデー n.f 考え方 | 「補語」 |
| de maman, トゥ・マモン adj. 母さんの | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| le ル pron その言葉を | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| répétait レペテ 3 単半(répéter)v.t 繰り返していた | 「動詞」 |
| souvent, スヴオン adv. よく | 「副詞」 |
| qu' ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| finissait par s'habituer フイニセ・パール・サビチュエ 3 単半・結局・時制の一致(finir par+不定詞) | |
| v.pr (à に) 結局は慣れる | 「動詞句」 |
| à tout. ア・トゥット adv. どんなことにでも | 「間接目的語」 |

そもそも、僕は普通そこまで考え過ぎることはなかったのだが、最初の数か月は辛かった。

Du reste, je n'allais pas si loin d'ordinaire. Les premiers mois ont été durs.

| | |
|--|---------------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 「主語」「動詞句」「補語」 |
| Du reste, ジュ・レスト adv. その上、それに、そもそも、もっとも、しかし | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'allais pas ナレ・パ 1 単半・否定(aller)v.i 行かなかった | 「動詞句」 |
| si loin シルわソ adv. そこまで遠く | 「副詞句」 |
| d'ordinaire. ドルテイネル adv. 普通は、一般に | 「副詞句」 |
| Les premiers mois レ・プ・ル・エ・ム・ワ pl.n.m 最初の数か月は | 「主語」 |
| ont été オン・テテ 3 複現・完了形(être)v.i ～だった | 「動詞句」 |
| durs. テュール adj. 辛い | 「補語」 |

しかし僕がしなければならなかった努力が、まさに、その月日を過ごす助けになった。

Mais justement l'effort que j'ai dû faire aidait à les passer.

Mais 「主語」「動詞句」

| | |
|---|--------|
| Mais メ conj. しかし | |
| justement ジュストゥモン adv. まさに | 「副詞」 |
| l'effort レフォル n.m 努力が、苦労が | 「主語」 |
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| ai dû faire エ・ジユ・フェール 1 単現・完了形・必要(devoir+不定詞) | |
| v.t ～しなければならなかった | 「動詞句」 |
| aidait エテ 3 単半(aider)v.i (à+不定詞) ～する助けになった | 「動詞句」 |
| à les passer. ア・レ・パッセ 不定詞(passer+les)v.t (時を) 過ごす | 「動詞句」 |
| les は Les premiers mois の代用 | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

例えば、僕は女に対する欲望に苦しめられた。

Par exemple, j'étais tourmenté par le désir d'une femme.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Par exemple, パー・レグザンプル adv. 例えば

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais tourmenté エテ・トルモンテ 1 単半・受動(tourmenter)v.t 苦しめられた

「動詞句」

par パール adv. (動作主) 〜によって

「副詞句」

le désir ル・デザール n.m 欲望

「目的語」

d'une femme. ジュヌヌ・ファム adj. (限定) 女に対する

「形容詞句」

僕は若いのだから、これは当然だ。決して特にマリーのことを考えていた訳ではない。

C'était naturel, j'étais jeune. Je ne pensais jamais à Marie particulièrement.

「主語」 「動詞」 「補語」, 「主語」 「動詞」 「補語」 | 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞」

C' ス pron これは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜である

「動詞」

naturel, ナチュレル adj. 当然の

「補語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜である

「動詞」

jeune. ジュヌヌ adj. 若い

「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne pensais jamais ヌ・ボンセ・ジャメ 1 単半・否定(penser)v.i 決して考えていなかった 「動詞句」

à Marie ア・マリー adv. マリーのことを

「間接目的語」

particulièrement. パルティキュリエールモン adv. とりわけ、とくに

「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そうではなく僕はひたすら、1人の女のことを、女たちのことをそしてこれまでに関係があったすべての女のことを、また、彼女たちを愛した時の状況について考えていた。その結果、僕の独房は女たちの顔で一杯になり、僕の欲望で満たされた。

Mais je pensais tellement à une femme, aux femmes, à toutes celles que j'avais connues, à toutes les circonstances où je les avais aimées, que ma cellule s'emplissait de tous les visages et se peuplait de mes désirs.

Mais 「主語」「動詞」「副詞」「間接目的語」,
que 「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

pensais ポンセ 1 単半(penser)v.i (à のことを) 考えていた 「動詞」

tellement テルモン adv. 非常に 「副詞」

à une femme, ア・ユヌ・ファム adv. 1 人の女のことを 「間接目的語」

aux femmes, オ・ファム adv. 女たちのことを 「間接目的語」

à toutes celles ア・トゥット・セル adv. すべての女のことを 「間接目的語」

que ク pron.pl (目的語) ～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

avais connues, アヴ・ェ・コニュ 1 単半・完了形.f.pl(connaitre)

v.t これまでに関係があった 「動詞句」

à toutes les circonstances ア・トゥット・レ・シルコンストンス adv. すべての状況を 「間接目的語」

où ウ conj. (状態) ～するときの 「副詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

les レ pron.pl 彼女たちを 「目的語」

avais aimées, アヴ・ェ・セメ 1 単半・完了形.f.pl(aimer)

v.t 愛した 「動詞句」

que ク conj. (結果) ～する

ma cellule マ・セリュール n.f 僕の独房は 「主語」

s'emplissait ソンプリセ 3 単半(s'emplir)v.pr (de で) 一杯になった、満たされた 「動詞句」

de tous les visages トゥ・トゥット・レ・ヴィザージュ adv. 女たちの顔で 「副詞句」

et エ conj. そして

se peuplait ス・プープレ 3 単半(se peupler)v.pr (de で) 一杯になった 「動詞句」

de mes désirs. トゥ・メ・デジール adv. 僕の欲望で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ある意味でそれは僕の精神の安定を失わせた。しかしその一方で、時間潰しに役立った。

Dans un sens, cela me déséquilibrait. Mais dans un autre, cela tuait le temps.

「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」 | Mais 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Dans un sens, トン・ザン・ツン adv. ある意味では 「副詞句」

sens ツン n.m 感覚、判断力、意見、意味

cela スラ pron それは 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

déséquilibrait. デゼキブレ 3 単半(déséquilibrer)v.t 精神の安定を失わせた 「動詞」

Mais メ conj. しかし

dans un autre, トン・ザン・オートル adv. 別の意味では 「副詞句」

cela スラ pron それは 「主語」

tuait チュエ 3 単半(tuer)v.t (時間を)潰した、台無しにする 「動詞」

le temps. ルトン n.m 時間を 「目的語」

僕はやっと、食事時に配膳係に付き添って来る看守長に気に入られた。

J'avais fini par gagner la sympathie du gardien-chef qui accompagnait à l'heure des repas le garçon de cuisine.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais fini par gagner アヴェ・フィニ・パール・ガニエ 1 単半・完了形・達成(finir par+不定詞)

v.t ついに～を獲得した 「動詞句」

この finir は自動詞

la sympathie ラ・サンパチィ n.f 好感 「目的語」

gagner la sympathie 「気に入られる、好感を得る」

du gardien-chef ジュ・ギヤルテイヤン・シェフ adj. 看守長の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

accompagnait アコンパニエ 3 単半(accompagner)

v.t (に) 付き添う 「動詞」

à l'heure des repas ア・レール・デ・ルパ° adv. 食事時に 「副詞句」

le garçon ル・ギヤルソン n.m 仕事の係 「目的語」

de cuisine. トゥ・キュイジヌ adj. 料理の 「形容詞句」

le garçon de cuisine 「配膳係、賄い係」

配膳、賄い(まかない) :

配膳 食膳を客の前に配ること。料理や箸・茶碗などを食卓に出すこと。

配膳係 配膳をする担当の人。

賄い 食事の用意をすること。また、その食事、作る役目の人、給仕すること。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

先に女の話を話したのは彼だった。

C'est lui qui, d'abord, m'a parlé des femmes. 「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は qui 以降）強調構文

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

lui リュイ pron 彼 「補語」

qui, キ pron (主語) ～する人は 「主語」

d'abord, ダボール adv. 最初に 「副詞句」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i(de について) 話した 「動詞句」

des femmes. デ・ファミ adv. 女の話を 「間接目的語」

他の囚人たちが最初に苦痛を訴えるのはそのことなんだ、と看守長は僕に言った。

Il m'a dit que c'était la première chose dont se plaignaient les autres.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「直接目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

la première chose ラ・プルミエール・ショーズ n.f 最初のこと 「補語」

dont ドン adv. それについて～する 「副詞節」

se plaignaient ス・プレニエ 3 複半・時制の一致(se plaindre)

v.pr (de を) 訴える 「動詞句」

les autres. レ・ゾートル pl.n 他の囚人たちが 「主語」

自分も彼らと同様だし、この待遇は不当だと思う、と僕は彼に言った。

Je lui ai dit que j'étais comme eux et que je trouvais ce traitement injuste.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「直接目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|------------------------------------|---------|
| comme eux コム・イ adv. 彼らと同様の | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| trouvais トゥルヴァ 1 単半・時制の一致(trouver) | |
| v.t (SVO C) (O を) ～だと思ふ | 「動詞」 |
| ce traitement ス・トレットモン n.m この待遇 | 「目的語」 |
| injuste. アンジュストゥ adj. 不当な | 「補語」 |

「いや」と、彼は言った。「君たちを刑務所に入れるのはまさにこのためなんだよ」「どうして、そのためだと?」「もちろん、自由だよ。君たちから自由を奪うためさ」

«Mais, a-t-il dit, c'est justement pour ça qu'on vous met en prison. — Comment, pour ça? — Mais oui, la liberté, c'est ça. On vous prive de la liberté.»

《「Mais」, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「動詞」「補語」「主語」》

《「質問」》 | 《「応答」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》

| | |
|--|---------|
| «Mais, メ conj. いや | |
| a... dit, ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'on vous met en prison.) | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| justement pour ça ジュストゥモン・プール・サ adv. まさにこのため | 「補語」 |
| qu' ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| on オン pron 我々が | 「主語」 |
| vous ヴ ́ pron 君たちを | 「目的語」 |
| met メ 3 単現(mettre)v.t 入れる | 「動詞」 |
| en prison. オン・プリゾン adv. 刑務所に | 「副詞句」 |
| — Comment, pour ça? — コモン・プール・サ adv. なぜ、そのためだと? | 「質問」 |
| Mais oui, メウイ adv. もちろん | 「応答」 |
| la liberté, c'est ça. ラ・リベルテ・セ・サ n.f 自由だよ | 「応答」 |
| On オン pron 我々は | 「主語」 |
| vous ヴ ́ pron 君たちから | 「間接目的語」 |
| prive プリヴ 3 単現(priver)v.t (SVO de qch) (O から) ～を奪う | 「動詞」 |
| de la liberté.》 トゥ・ラ・リベルテ n.f 自由を | 「直接目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はそんなことは考えたこともなかった。

Je n'avais jamais pensé à cela.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais jamais pensé ナヴェ・ジャメ・ポンス 1 単半・完了形・否定(penser)

v.i (à について) いまだかつて考えたことがなかった

「動詞句」

à cela. ア・スラ pron それについて

「間接目的語」

僕は同意した：「確かにそうだ」と、僕は彼に言った。「もしなければ、どこに罰があるというんだ？」 — 「そうとも、君はよく物事が分かっている」

Je l'ai approuvé: «C'est vrai, lui ai-je dit, où serait la punition? — Oui, vous comprenez les choses, vous.

「主語」「目的語」「動詞句」：《「主語」「動詞」「補語」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「副詞」「動詞」「主語」》

《「呼びかけ」「主語」「動詞」「目的語」「主語」》

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼に

「目的語」

ai approuvé: エ・アプ ルヴェ 1 単現・完了形(approuver)v.t 同意した

「動詞句」

«C' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

vrai, ヴレ adj. 正しい

「補語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai... dit, エ...ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

où ウ adv. どこに

「副詞」

serait スレ 条・3 単現・存在・反語(être)v.i ～にある

「動詞」

la punition? — ラ・ピニシヨン n.f 罰は

「主語」

Oui, ウイ adv. そうだ

「呼びかけ」

vous ヴ pron 君は

「主語」

comprenez コンプレ 2 単現(comprendre)v.t 分かっている

「動詞」

les choses, レ・ショース pl.n.f 物事を

「目的語」

vous. ヴ pron 君は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

他の連中は分かっている。結局は、自分で始末するようになるんだ。

Les autres non. Mais ils finissent par se soulager eux-mêmes.»

「主語」「動詞句」 | Mais 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Les autres レ・ザートル pl.n 他の連中は

「主語」

non. ノン adv. (否定) 分かっている

「動詞句」

Mais メ conj. しかし

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

finissent par se soulager フィニス・パール・ス・スラジエ 3 複半・結局(finir par+不定詞)

v.pr 結局は自分自身で鎮めるようになる

「動詞句」

se soulager ス・スラジエ v.pr 自分自身で鎮める

eux-mêmes. ウーメーム adv. 自分自身を

「間接目的語」

そして看守長は立ち去った。

Le gardien est parti ensuite.

「主語」「動詞句」「副詞」

Le gardien ル・ガールディエン n.m 看守長は

「主語」

est parti エ・パルティ 3 単現・完了形(partir)v.i 立ち去った

「動詞句」

ensuite. オンジュイト adv. それから、そして

「副詞」

タバコという問題もあった。

Il y a eu aussi les cigarettes.

「動詞句」「目的語」

Il y a eu イ・リ・ア・イ 3 単現・完了形(il y avoir)v.t ーがあった

「動詞句」

aussi オシ adv. ーも

「副詞」

les cigarettes. レ・シガレット pl.n.f タバコ

「目的語」

刑務所に入ったとき、僕はベルトと靴紐、ネクタイ、それにポケットに入れていたものをすべて、特にタバコを取り上げられた。

Quand je suis entré en prison, on m'a pris ma ceinture, mes cordons de souliers, ma cravate et tout ce que je portais dans mes poches, mes cigarettes en particulier.

「副詞節」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Quand コン conj. ーするとき

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

suis entré シュイ・オントレ 1 単現・完了形(entrer)v.i ーに入った

「動詞句」

en prison, オン・プリゾン adv. 刑務所に

「副詞句」

on オン pron 看守は

「主語」

受動態にして翻訳する

m' ム pron 僕の

「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|----------------------------------|-----------|---------|
| a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t | 取り上げた | 「動詞句」 |
| ma ceinture, マ・サンチュール n.f | ベルトを | 「直接目的語」 |
| mes cordons メ・コルドン n.m | ひもを | 「直接目的語」 |
| de souliers, トゥ・スリエ adj. | 靴の | 「形容詞句」 |
| ma cravate マ・クラヴァット n.f | ネクタイを | 「直接目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| tout ce que トゥ・スク pron | ～するものすべてを | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| portais ポルテ 1 単半(porter)v.t | 持っていた | 「動詞」 |
| dans mes poches, トン・メ・ポッシュ adv. | ポケットに入れて | 「副詞句」 |
| mes cigarettes メ・シガレット pl.n.f | タバコ | 「目的語」 |
| en particulier. オン・パルティキュリエ adv. | 特に | 「副詞句」 |

独房に移ってから 1 度、僕は看守にタバコを返してくれないだろうかと頼んでみた。

Une fois en cellule, j'ai demandé qu'on me les rende.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | | |
|--|-------------|---------|
| Une fois ユンヌ・フワ adv. | 1 度 | 「副詞句」 |
| en cellule, オン・セリュル adv. | 独房で | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai demandé エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t | 頼んだ | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron | 看守が | 「主語」 |
| me ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| les レ pron.pl | タバコを | 「直接目的語」 |
| rende. レントゥ 接・3 単現・願望(rendre)v.t | 返してくれないだろうか | 「動詞」 |

しかし、それは禁じられている、と看守が言った。最初のころは、とても辛かった。

Mais on m'a dit que c'était défendu. Les premiers jours ont été très durs.

Mais 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 | 「主語」 「動詞」 「補語」

| | | |
|------------------------------|---------|---------|
| Mais メ conj. | しかし | |
| on オン pron | 看守が | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

défendu. デ・フォンジュ 過去分詞(défendre)adj. 禁じられた 「補語」
 Les premiers jours レ・プルミエ・ジュール pl.n.m 最初の日々は 「主語」
 ont été オン・テテ 3 複現・完了形(être)v.i 〜だった 「動詞」
 très durs. トレ・デュール adj. とてもつらい 「補語」

恐らくこれが一番僕を苦しめた。

C'est peut-être cela qui m'a le plus abattu. 「動詞」「補語」「主語」
 C' ス pron 仮の主語（真の主語は qui 以降）強調構文
 est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
 peut-être cela フ・テートル・スラ pron 多分これ 「補語」
 qui キ pron （主語）〜するのは 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a le plus abattu. ア・ル・プリュ・アバッチュ 3 単現・完了形(abattre)
 v.t 打ちのめした 「動詞句」
 le plus ル・プリュ adv. もっとも、一番

僕は、自分のベッドの板から剥ぎ取った木っ端をしゃぶった。

Je suçais des morceaux de bois que j'arrachais de la planche de mon lit. 「主語」「動詞」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 suçais シュセ 1 単半(sucer)v.t しゃぶった、吸った 「動詞」
 des morceaux デ・モルソー pl.n.m 断片を 「目的語」
 de bois トゥ・フワ adj. 木の 「形容詞句」
 que ク pron （目的語）〜する 「形容詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 arrachais アラシェ 1 単半(arracher)v.t 剥ぎ取った 「動詞」
 de la planche トゥ・ラ・プランシュ adv. 板から 「副詞句」
 de mon lit. トゥ・モン・リ
 adj. 自分のベッドの 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は一日中、絶え間のない吐き気に襲われていた。

Je promenais toute la journée une nausée perpétuelle.

「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

promenais プロメネ 1 単半(promener)v.t 連れ歩いていた

「動詞」

toute la journée トウト・ラ・ジュール adv. 1 日中

「副詞句」

une nausée ムヌ・ゼ n.f 吐き気

「目的語」

perpétuelle. ペルペチュエル adj.f(perpétuel) 絶え間のない

「形容詞」

誰の害にもならない物を、看守がどうして僕から取り上げるのか理解できないでいた。

Je ne comprenais pas pourquoi on me privait de cela qui ne faisait de mal à personne.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne comprenais pas ヌ・コンブレネ・パ 1 単半・否定(comprendre)

v.t 理解できないでいた

「動詞句」

pourquoi フルクワ adv. どうしてなのかということを

「目的語」

on オン pron 看守が

「主語」

me ム pron 僕から

「間接目的語」

privait プリヴァエ 3 単半・時制の一致(priver)

v.t (SVO de qch O から... を) 奪う

「動詞」

de cela ドカ・スラ pron タバコを

「直接目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

ne faisait ヌ・フェ 3 単半・否定・時制の一致(faire)

v.t (行為を) しない

「動詞句」

de mal ドカ・マル n. 悪いことを

「目的語」

à personne. ア・ペルソヌ adv. 誰に対しても～ない

「副詞句」

後になって、それも罰の一部なのだと理解した。

Plus tard, j'ai compris que cela faisait partie aussi de la punition.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Plus tard, プリュ・タル adv. 後になって

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した、分かった

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

cela スラ pron それは

「主語」

faisait フェ 3 単半・時制の一致(faire)v.t 形成する、～をなす

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

partie パルティー n.f 一部分

「目的語」

aussi オシ adv. もまた

「副詞」

de la punition. トゥ・ラ・ピュニシヨン adj. 罰の

「形容詞句」

しかしその頃には、僕はもう禁煙に慣れてしまっていたので、この罰は僕にとってはもう罰ではなくなっていた。

Mais à ce moment-là, je m'étais habitué à ne plus fumer et cette punition n'en était plus une pour moi.

Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「主語」「動詞句」「補語」

Mais メ conj. しかし

à ce moment-là, ア・ス・モン・ラ adv. その頃には

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

m'étais habitué メ・アビチュエ 1 単半・完了形(s'habituer)

v.pr もう慣れてしまっていた

「動詞句」

à ne plus fumer ア・ヌ・プリュ・フメ adv. 禁煙することに

「間接目的語」

et エ conj. それで

cette punition セット・ピュニシヨン n.f この罰は

「主語」

n'en était ノン・エ 3 単半・否定(être)v.i ~でなかった

「動詞句」

plus une プリュ・ユヌ pron もはや罰~ない

「補語」

pour moi. プール・ムワ adv. 僕にとっては

「副詞句」

こういった煩わしさを別にすれば、僕はそれほど不幸でもなかった。

À part ces ennuis, je n'étais pas trop malheureux. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

À part ア・パール prep ~を除けば

「副詞句」

ces ennuis, セ・オンヌイ pl.n.m これらのわずらわしさ、悩み

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ~でなかった

「動詞」

trop malheureux. トロ・マルルー adj. (否定文で) あまり不幸な、それほど不幸な

「補語」

à part qch / qn : 条件を示す副詞句

何(人) ~を除いて、~を別にすれば

à part quelque exceptions いくつかの例外を除けば

À part toi, je ne connais personne ici. 君を除けばここでは誰も知り合いがいない。

Et à part ça, quoi de neuf? それはそれとして、他に何か新しいことがあるかい?

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すべての問題は、またしても、時間をつぶすことだった。

Toute la question, encore une fois, était de tuer le temps.

「主語」「副詞句」「動詞」「補語」

Toute la question, トゥット・ラ・クエスチオン n.f すべての問題は 「主語」
 encore une fois, オンコール・ユヌ・フワ adv. またしても、もう一度 「副詞句」
 était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
 de tuer トゥ・チュエ 不定詞 n. (時間を) つぶすこと、台無しにする 「補語」
 le temps. ル・トン n.m 時間を 「目的語」

自分のことを思い出して時間を潰す遊びを覚えてからは、もう全く退屈しなくなった。

J'ai fini par ne plus m'ennuyer du tout à partir de l'instant où j'ai appris à me souvenir.

「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai fini エ・フィニ 1 単現・完了形・結局(finir par+不定詞)v. 結局〜するようになった 「動詞句」
 par ne plus m'ennuyer パール・ヌ・プ リュ・モンニユエ 不定詞・否定形(s'ennuyer)
 v.pr もう退屈しない 「動詞句」
 du tout ジュ・トゥ adv. (否定文で) まったく〜ない 「副詞句」
 à partir de l'instant ア・パ ルティール・トゥ・ランストン adv. 〜の時から 「副詞句」
 où ウ conj. 〜する時 「形容詞節」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 ai appris エ・アプリ 1 単現・完了形(apprendre)v.t(à+不定詞)
 v.t 〜することを覚えた 「動詞句」
 à me souvenir. ア・ム・スヴニール 不定詞(se souvenir)
 v.pr 自分のことを思い出す 「動詞句」

僕は時々自分の部屋の事を考え始めた。そして想像で、部屋の片隅から出発して、頭の中で、僕の通り道にあるものをすべて数え上げながら元の場所に戻ってくるのだ。

Je me mettais quelquefois à penser à ma chambre et, en imagination, je partais d'un coin pour y revenir en dénombrant mentalement tout ce qui se trouvait sur mon chemin.

「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「間接目的語」 et 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me mettais ム・メテ 1 単半・開始(se mettre)v.pr(à+不定詞) 〜し始めた 「動詞句」
 quelquefois クルクワ adv. 時々 「副詞句」
 à penser ア・ボンセ 不定詞 v.i 考える 「動詞句」
 à ma chambre ア・マ・シヨンプル adv. 自分の部屋のことを 「間接目的語」
 et, エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|------------------------------|----------------------------|--------|
| en imagination, オン・イマジナシオン | adv. 想像で | 「副詞句」 |
| je ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| partais パルテ | 1 単半・時制の一致(partir)v.i 出発する | 「動詞」 |
| d'un coin ダン・クワン | adv. 部屋の片隅から | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール | adv. (継続) そして～する | 「副詞句」 |
| y イ | adv. そこに | 「副詞」 |
| revenir ルヴニール | 不定詞 v.i 戻ってくる | 「動詞」 |
| en +現在分詞 ジェロンディフ | adv. ～しながら | 「副詞句」 |
| dénombrant デンブロン | 現在分詞(dénombrer)v.t 数え上げる | 「動詞」 |
| mentalement モンタルモン | adv. 頭の中で | 「副詞」 |
| tout ce トゥ・ス | pron すべてのものを | 「目的語」 |
| qui キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| se trouvait ス・トゥルヴエ | 3 単半・時制の一致(se trouver) | |
| v.pr (場所に) ある | | 「動詞句」 |
| sur mon chemin. シュール・モン・シュマン | | |
| adv. 僕の通り道に | | 「副詞句」 |

この遊びは、最初のうちはすぐに終わってしまったが、やり直すたびに、少しずつ長く続くようになっていった。

| | | |
|---|---|--------|
| <u>Au début, c'était vite fait. Mais chaque fois que je recommençais, c'était un peu plus long.</u> | | |
| | 「副詞句」「主語」「動詞句」 Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 | |
| Au début, オ・デビュ | adv. 最初のうちは | 「副詞句」 |
| c' ス | pron この遊びは | 「主語」 |
| était vite fait. エテ・ヴィット・フェ | 3 単半・受動(faire+vite)v.t すぐに終わった | 「動詞句」 |
| Mais メ | conj. しかし | |
| chaque fois シャッキ・フワ | pron 毎回、その度に | 「副詞句」 |
| que ク | pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ | pron 僕が | 「主語」 |
| recommençais, ルコモンセ | 1 単半・時制の一致(recommencer) | |
| v.t やり直す | | 「動詞」 |
| c' ス | pron これは | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半(être)v.i ～になった | 「動詞」 |
| un peu plus long. アン・プ・プリュ・ロン | adj. 少し長い | 「補語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

というのは、家具を思い出すと、家具の中にある物を思い出し、その物からすべての詳細が頭に浮かんでくるし、その詳細から、汚れの付着やひび割れや欠けた縁やその色についてとか表面のきめの感触などがよみがえって来るから、遊びがいつまでも続くのだった。

Car je me souvenais de chaque meuble, et, pour chacun d'entre eux, de chaque objet qui s'y trouvait et, pour chaque objet, de tous les détails et pour les détails eux-mêmes, une incrustation, une fêlure ou un bord ébréché, de leur couleur ou de leur grain.

「副詞節」,et「副詞句」「間接目的語」et「副詞句」「間接目的語」

et「副詞句」「間接目的語」et「副詞句」「目的語」,「間接目的語」

Car カール conj. というのは、なぜなら～なので 「副詞節」

je ジェ pron 僕が 「主語」

me souvenais ム・スヴネ 1 単半(se souvenir)v.pr (de を) 思い出した 「動詞句」

de chaque meuble, トゥ・シャッキ・ムブル adv. 個々の家具を 「間接目的語」

et, エ conj. そして

pour chacun d'entre eux, プール・シャカン・ドントル・ウー adv. 家具の中にある物によって「副詞句」

me souvenais が以下の「目的語」にも適用される

de chaque objet トゥ・シャッキ・オブジェ adv. 個々の物を 「間接目的語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

s'y trouvait シ・トゥルヴエ 3 単半・時制の一致(se trouver)

v.pr そこにある 「動詞句」

et, エ conj. そして

pour chaque objet, プール・シャッキ・オブジェ adv. 個々の物から 「副詞句」

de tous les détails トゥ・ツ・レ・テタイェ adv. すべての詳細が 「間接目的語」

et, エ conj. そして

pour les détails eux-mêmes, プール・レ・テタイェ・イ・メーム adv. その詳細によって 「副詞句」

une incrustation, ユヌ・アンクリスタシオン n.f 汚れの付着 「目的語」

une fêlure ユヌ・フェリュール n.f ひび割れ 「目的語」

ou ウ conj. または

un bord ébréché, アン・ボール・エブレッシェ n.m 欠けた縁 「目的語」

bord ボール n.m 縁 ébréché エブレッシェ 過去分詞(ébrécher)adj. (縁が) 欠けた

de leur couleur トゥ・レール・クレール adv. 色について 「間接目的語」

ou ウ conj. または

de leur grain. トゥ・レール・グラシオン adv. (表面の) きめについて 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

同時に僕は、詳細な調査の道筋を見失わないように努め、完全な一覧表を作ろうとした。

En même temps, j'essayais de ne pas perdre le fil de mon inventaire, de faire une énumération complète. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「動詞句」 「目的語」

En même temps, オン・メム・トン adv. (〜と) 同時に

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

essayais de +不定詞 エッセイ・トゥ 1 単半・試行(essayer)v.t(de+不定詞)

v. 〜しようとした

「動詞句」

ne pas perdre ヌ・パ・ペルトル 不定詞・否定形 v.t 見失わない

「動詞句」

le fil ル・フィル n.m (話の) 筋道を

「目的語」

de mon inventaire, トゥ・モン・アンヴァンテール adj. 詳細な調査の

「形容詞句」

de faire トゥ・フェール 不定詞(essayais de+不定詞)v.t 〜を作る

「動詞句」

une énumération エヌ・エヌメラシオン n.f 一覧表

「目的語」

complète. コンプレット adj.f(complèt) 完全な

「形容詞」

その結果、数週間後には、僕の部屋にあるものを数え上げるだけで、何時間も過ごせるようになっていた。

Si bien qu'au bout de quelques semaines, je pouvais passer des heures, rien qu'à dénombrer ce qui se trouvait dans ma chambre.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Si bien qu' シ・ビヤン・ク adv. その結果

「副詞句」

au bout de オブ・トゥ prep (時間) 〜の終わりに、後に

「副詞句」

quelques semaines, ケルキ・スメヌ pl.n.f 数週間

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

pouvais passer プウエ・パッセ 1 単半・可能(pouvoir+不定詞)v.t (時を) 過ごせた

「動詞句」

des heures, デ・セール pl.n.f 何時間も

「目的語」

rien qu'à +不定詞 リヤン・クわ adv. (条件) 〜するだけで

「副詞句」

dénombrer デノンブレ 不定詞 v.t 数え上げる

「動詞」

ce ス pron 物を

「目的語」

qui キ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

se trouvait ス・トルヴェ 3 単半・時制の一致(se trouver)

v.pr (場所に) ある

「動詞句」

dans ma chambre. トン・マ・シヨンプル adv. 私の部屋に

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

このようにして、深く考えれば考えるほど、見落としていたり、忘れてしまっていた多くの物を、記憶の中から取り出せるようになっていった。

Ainsi, plus je réfléchissais et plus de choses méconnues et oubliées je sortais de ma mémoire. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」, 「目的語」 「主語」 「動詞」 「副詞句」
 Ainsi, アソシ adv. こうして 「副詞」
 plus プリュ adv. もっと、より 「副詞」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 réfléchissais レフレシセ 1 単半・条件(réfléchir)v.i 熟考する 「動詞」
 et エ conj. すると
 plus de choses プリュ・トゥ・ショーズ pl.n.f より多くのものを 「目的語」
 méconnues メコニュ 過去分詞・受動(méconnaître)adj.f.pl 無視された 「形容詞」
 et エ conj. そして
 oubliées ウブリエ 過去分詞・受動(oublier)adj.f.pl 忘れられた 「形容詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 sortais ソルテ 1 単半(sortir)v.t(de から) 取り出した 「動詞」
 de ma mémoire. トゥ・マ・メモワール adv. 僕の記憶から 「副詞句」

それで僕は、1 日しか生きたことがない人間でも、何の苦労もなく監獄で 100 年間暮らすことが出来るだろうと思った。

J'ai compris alors qu'un homme qui n'aurait vécu qu'un seul jour pourrait sans peine vivre cent ans dans une prison. 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 納得した、思った 「動詞句」
 alors アロー adv. それで 「副詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 un homme ア・ノム n.m 人は 「主語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 n'aurait vécu ノーレ・ヴァエキュ 条・1 単現・完了形・否定・仮定(vivre)
 v.i 生きたことがなかった (かもしれない) 「動詞句」
 qu'un seul jour カン・スル・ジュール n.m(ne...que) 1 日しか 「副詞句」
 pourrait sans peine vivre プーレ・ツン・ペーヌ・ヴィーヴァル 条・3 単現・可能・推量(pouvoir+不定詞)
 v.i 容易に暮らせるだろう 「動詞句」
 sans peine ツン・ペーヌ adv. 容易に
 cent ans ツン・トン pl.n.m 100 年間 「副詞句」
 dans une prison. トン・ジユヌ・プリゾン adv. 監獄で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、退屈しないだけの十分な記憶を持っているだろう。これは有利な状況だった。

Il aurait assez de souvenirs pour ne pas s'ennuyer. Dans un sens, c'était un avantage.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Il ^{イル} pron 彼は 「主語」

aurait ^{アレ} 条・3 単現・推量(avoir)v.t ~を持っているだろう 「動詞」

assez de ^{アッセ・ドゥ} adv. 十分な 「副詞句」

souvenirs ^{スヴニール} pl.n.m 記憶、思い出 「目的語」

pour +不定詞 ^{プール} adv. (目的) ~するための 「形容詞句」

ne pas s'ennuyer. ^{ヌ・パ・ソニユイ} 不定詞・否定形(s'ennuyer)

v.pr 退屈しない 「動詞句」

Dans un sens, ^{ドン・サン・ソ} adv. ある意味では 「副詞句」

c' ^ス pron これは 「主語」

était ^{エテ} 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

un avantage. ^{アン・アヴ・ォンタージュ} n.m 有利な状況 「補語」

同様に、睡眠の問題があった。最初の頃は、夜はあまり眠れず、昼は全く眠れなかった。

Il y avait aussi le sommeil. Au début, je dormais mal la nuit et pas du tout le jour.

「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「副詞句」 et 「副詞句」

Il y avait ^{イ・リ・アヴェ} 3 単半(il y avoir)v.t ~があった 「動詞句」

aussi ^{オッシ} adv. ~も、同様に 「副詞」

le sommeil. ^{ル・ソメイ} n.m 睡眠の問題 「目的語」

Au début, ^{オ・デビュ} adv. 最初のころは 「副詞句」

je ^{ジュ} pron 僕は 「主語」

dormais ^{ドルメ} 1 単半(dormir)v.i 眠った 「動詞」

mal ^{マル} adv. よく~ない 「副詞」

la nuit ^{ラ・ニュイ} adv. 夜は 「副詞句」

et ^エ conj. そして

pas du tout ^{パ・ジュ・トゥ} adv. まったく~ない 「副詞句」

le jour. ^{ル・ジュール} adv. 昼間は 「副詞句」

少しずつ、夜の状況は改善され、昼も眠れるようになった。

Peu à peu, mes nuits ont été meilleures et j'ai pu dormir aussi le jour.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Peu à peu, ^{プ・ア・プ} adv. 少しずつ、徐々に 「副詞句」

mes nuits ^{メ・ニュイ} pl.n.f 夜は 「主語」

ont été ^{ォン・テ} 3 複現・完了形(être)v.i ~になった 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|----------------|--------------------------------------|-------|
| meilleures | メイユール adj.f.pl より良く | 「補語」 |
| et | エ conj. そして | |
| j' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai pu dormir | エ・ピ ユ・ドルミール 1 単現・完了形・可能(pouvoir+不定詞) | |
| v.i | 眠れた | 「動詞句」 |
| aussi le jour. | オッシ・ル・ジュール adv. 昼も | 「副詞句」 |

最後の数か月は、1 日に 16 時間から 18 時間は眠っていたといえる。

| | | |
|--|---------------------------------------|----------------|
| <u>Je peux dire que, dans les derniers mois, je dormais de seize à dix-huit heures par jour.</u> | | 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| peux dire | プ・ディール 1 単現・可能(pouvoir+不定詞)v.t. ～と言える | 「動詞句」 |
| que, | ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| dans les derniers mois, | ドン・レ・テルニール・ムワ adv. 最後の数か月は | 「副詞句」 |
| je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| dormais | ドルメ 1 単半・習慣(dormir)v.i 眠っていた | 「動詞」 |
| de seize à dix-huit heures | ドゥ・セズ・ア・ディジュイ・ウール | |
| adv. 16 時間から 18 時間 | | 「副詞句」 |
| par jour. | パール・ジュール adv. 1 日に | 「副詞句」 |

すると僕には 6 時間が残っていたが、それは食事や自然の欲求や記憶の回想、そしてチェコスロバキア人の話などでつぶした。

| | | |
|---|---------------------------------------|------------------------------|
| <u>Il me restait alors six heures à tuer avec les repas, les besoins naturels, mes souvenirs et l'histoire du Tchécoslovaque.</u> | | 「動詞句」「間接目的語」「副詞」「直接目的語」「副詞句」 |
| Il ...restait | イル...レステ 3 単半・非人称(rester)v.i. ～が残っていた | 「動詞句」 |
| me | ム pron 私には | 「間接目的語」 |
| alors | アロー adv. すると | 「副詞」 |
| six heures | シ・セール pl.n.f 6 時間 | 「直接目的語」 |
| à tuer | ア・チュエ 不定詞・目的 v.t (時間を) つぶすために | 「副詞句」 |
| avec | アヴェツキ adv. (手段) ～によって | 「副詞句」 |
| les repas, | レールハ pl.n.m 食事 | 「目的語」 |
| les besoins naturels, | レ・ブズ・ワソ・ナチュレル | |
| pl.n.m 自然の欲求、便意 | | 「目的語」 |
| mes souvenirs | メ・スヴィニール pl.n.m 記憶の回想 | 「目的語」 |
| et | エ conj. そして | |
| l'histoire | リストワール n.f 話 | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

du Tchecoslovaque. ジュ・チェコスロヴァック

adj. チェコスロバキア人の

「形容詞句」

Il reste... : (非人称) ~が残る、残されている

Il reste encore de la neige. まだ雪が残っている。

Il ne me reste plus que trente francs. 私にはもう 30 フランしか残っていない。

実は、僕のわら布団とベッドの板の隙間で、ほとんど布地に貼りついて、黄ばんで、透けて見える、古い新聞の切れ端を見つけたのだ。

Entre ma paillasse et la planche du lit, j'avais trouvé, en effet, un vieux morceau de journal presque collé à l'étoffe jauni et transparent.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Entre オントル prep (2つの物の) 間に

「副詞句」

ma paillasse マ・パ イス n.f ぼくのわら布団

「目的語」

et エ conj. そして

la planche ラ・フ ロンシュ n.f 板

「目的語」

du lit, ジュ・リ adj. ベッドの

「形容詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais trouvé, アヴィ・エ・トゥルヴ・エ 1 単半・完了形(trouver)v.t 発見した

「動詞句」

en effet, オ・ネフェ adv. 実は

「副詞句」

un vieux morceau アン・ヴィエ・モルソ n.m 古い断片を

「目的語」

de journal トゥ・ジュール adj. 新聞の

「形容詞句」

presque プレスキ adv. ほとんど

「副詞」

collé コレ adj. ぴったりついた、貼りついた

「形容詞」

à l'étoffe, ア・レトッフ adv. 布地に

「副詞句」

jauni ジョニ adj. 黄ばんだ

「形容詞」

et エ conj. そして

transparent. トランスパロン adj. 透けて見える

「形容詞」

それは三面記事で、最初の部分は欠けていたが、チェコスロバキアの出来事に違いない。

Il relatait un fait divers dont le début manquait, mais qui avait dû se passer en Tchécoslovaquie.

「主語」 「動詞」 「目的語」, 「主語」 「動詞」, mais 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Il イル pron それは

「主語」

relatait ルテ 3 単半(relater)v.t 詳しく述べていた

「動詞」

un fait divers アン・フェ・デヴィュエルス n.m (新聞の) 三面記事

「目的語」

dont le début トン・ル・デビュ n.m その最初の部分は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| manquait, モンケ 3 単半(manquer)v.i 欠けていた | 「動詞」 |
| mais メ conj. しかし | |
| qui キ pron (主語) それは | 「主語」 |
| avait dû アヴェ・デュ 3 単半・完了形・推量(devoir+不定詞)v. ～したに違いない | 「動詞句」 |
| se passer ス・パセ 不定詞 v.pr 起こる | 「動詞句」 |
| en Tchécoslovaquie. オン・チェコスロヴァキ adv. チェコスロバキアで | 「副詞句」 |

ある男が財を成す目的で、チェコの村から出て行った。

Un homme était parti d'un village tchèque pour faire fortune.

| | |
|--|----------------|
| | 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Un homme ア・ノム n.m ある男が | 「主語」 |
| était parti エテ・パルティ 3 単半・完了形(partir)v.i 出て行った | 「動詞句」 |
| d'un village tchèque タン・ヴィラージュ・チェッキ adv. チェコの村から | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために | 「副詞句」 |
| faire フェール 不定詞 v.t ～作る | 「動詞」 |
| fortune. フォルチュヌ n.f 富を、財産を | 「目的語」 |
| faire fortune 「財をなす、成功する」 | |

25 年が過ぎ、金持ちになった彼が妻と息子を連れて村に戻ってきた。

Au bout de vingt-cinq ans, riche, il était revenu avec une femme et un enfant.

| | |
|--|-----------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Au bout de オ・ブ・ドゥ prep ～の後に | 「副詞句」 |
| vingt-cinq ans, ヴァン・サン・コン pl.n.m 25 年 | 「目的語」 |
| riche, il リッシュ・イル pron 金持ちになった彼が | 「主語」 |
| était revenu エテ・ルヴニユ 3 単半・完了形(revenir)v.i 帰ってきた | 「動詞句」 |
| avec une femme et un enfant. アヴェ・エッキ・コンヌ・ファム・エ・ア・ノンフォン | |
| adv. 妻と息子と一緒に | 「副詞句」 |

彼の母親は彼の妹と一緒に生まれ故郷の村で旅館を営んでいた。

Sa mère tenait un hôtel avec sa soeur dans son village natal.

| | |
|---|--------------------|
| | 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 |
| Sa mère サ・メル n.f 彼の母親は | 「主語」 |
| tenait トゥネ 3 単半(tenir)v.t 経営していた | 「動詞」 |
| un hôtel ウン・オテル n.m 旅館を | 「目的語」 |
| avec sa soeur アヴェ・エッキ・サ・セル adv. 彼の妹と一緒に | 「副詞句」 |
| dans son village トン・ソン・ヴィラージュ adv. 彼の村で | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

natal. ナタル adj.m 生まれた

「形容詞」

母親と妹を驚かそうと思って、彼は妻と息子を別の旅館に残して、母親の旅館に行った。彼が中に入っても、母親は彼に気が付かなかった。

Pour les surprendre, il avait laissé sa femme et son enfant dans un autre établissement, était allé chez sa mère qui ne l'avait pas reconnu quand il était entré.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「動詞句」「副詞句」, 「形容詞節」

Pour +不定詞 プール 不定詞・目的 adv. ～するために 「副詞句」

les レ pron.pl 母親と妹を 「目的語」

surprendre, シュルプ°ロントル 不定詞 v.t 驚かす 「動詞」

il イル pron 彼は 「主語」

avait laissé アヴ°ェ・レッセ 3 単半・完了形(laisser)v.t 置いていった、残していった 「動詞句」

sa femme et son enfant サ・ファム・エ・ソ・ノンフオン pl.n 妻と息子を 「目的語」

dans un autre établissement, トン・ザン・オートル・エタブリスモン adv. 別の旅館に 「副詞句」

était allé エ・タレ 3 単半・完了形(aller)v.i 行った 「動詞句」

chez sa mère シェ・サ・メル adv. 母親のところに 「副詞句」

qui キ pron (継続) (主語) 母親は～する 「形容詞節」

ne l'avait pas reconnu ノ・ラヴ°ェ・パ°ルコニュ 3 単半・完了形・否定(reconnaître)

v.t 彼に気が付かなかった 「動詞句」

quand コン conj. ～するとき 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

était entré. エ・オントレ 3 単半・完了形(entrer)

v.i 中に入った 「動詞句」

冗談で、旅館に宿泊しようと考えつき、自分の現金を見せた。

Par plaisanterie, il avait eu l'idée de prendre une chambre. Il avait montré son argent.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Par plaisanterie, パ°ール・プレザントリー adv. 冗談で 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

avait eu アヴ°ェ・イ 3 単半・完了形(avoir)v.t (考えを) 抱いた 「動詞句」

l'idée リデー n.f 考えを 「目的語」

de prendre トゥ・プ°ロントル 不定詞・同格

adj. (ホテルの部屋を) とるという 「形容詞句」

une chambre. ユンヌ・シヨンブル n.f 部屋を 「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

avait montré アヴ°ェ・モントレ 3 単半・完了形(montrer)v.t 見せた 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

son argent. ソ・ナルジ ヨン n.m 現金を

「目的語」

その日の夜の間に、彼の母と妹は彼を金槌で殴り殺して金を奪い、遺体を川に投げ込んだ。

Dans la nuit, sa mère et sa soeur l'avaient assassiné à coups de marteau pour le voler et avaient jeté son corps dans la rivière.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」
 Dans la nuit, トン・ラ・ニュイ adv. その日の夜の間に 「副詞句」
 sa mère et sa soeur サ・メル・エ・サ・セル pl.n.f 彼の母と妹は 「主語」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 avaient assassiné アヴェ・アサネ 3 複半・完了形(assassiner)v.t 殺害した 「動詞句」
 à coups ア・クー adv. (手段) 殴打により 「副詞句」
 de marteau ト・ウ・マルトー adj. 金槌の 「形容詞句」
 pour +不定詞 プール adv. (継続) そして～した 「副詞句」
 le ル pron 彼を 「目的語」
 voler ヴォレ 不定詞 v.t 盗む 「動詞」
 et エ conj. そして
 avaient jeté アヴェ・ジュテ 3 複半・完了形(jeter)v.t 投げ込んだ 「動詞句」
 son corps ソン・コル n.m 彼の遺体を 「目的語」
 dans la rivière. トン・ラ・リヴィエール adv. 川に 「副詞句」

翌朝、男の妻がやって来て、哀れな結末を知らずに、旅人の身元を明かした。

Le matin, la femme était venue, avait révélé sans le savoir l'identité du voyageur.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」, 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」
 Le matin, ル・マタン n.m 翌朝 「副詞句」
 la femme ラ・ファム n.f 男の妻が 「主語」
 était venue, エテ・ヴィニュ 3 単半・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」
 avait révélé アヴェ・レヴェレ 3 単半・完了形(révéler)v.t (道の事実を) 明かした 「動詞句」
 sans +不定詞 ソン adv. (様態) ～せずに 「副詞句」
 le ル pron そのことを (男が殺された事) 「目的語」
 savoir サヴ・ワール 不定詞 v.t 知っている 「動詞」
 l'identité リデンチテ n.f 身元を 「目的語」
 du voyageur. シュ・ウ・ワヤジュール adj. 旅人の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

母親は首を吊って死に、妹は井戸に身を投げた。

La mère s'était pendue. La sœur s'était jetée dans un puits.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞句」

La mère ラ・メル n.f 母親は

「主語」

s'était pendue. セテ・ボンジュ 3 単半・完了形(se pendre)v.pr 首つり自殺した

「動詞句」

La sœur ラ・セル n.f 妹は

「主語」

s'était jetée セテ・ジュテ 3 単半・完了形(se jeter)v.pr 身を投げた

「動詞句」

dans un puits. トン・サン・ビュイ adv. 井戸に

「副詞句」

僕はこの話を何千回も読んだに違いないが、その一方で、真実とは思えなかった。

J'ai dû lire cette histoire des milliers de fois. D'un côté, elle était invraisemblable.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai dû lire エ・ジュ・リール 1 単現・完了形・推量(devoir+不定詞)v.t 読んだに違いない

「動詞句」

cette histoire セット・イストワール n.f この話を

「目的語」

des milliers de fois. テ・ミリエ・トゥ・フワ adv. 何千回も

「副詞句」

D'un côté, ダン・コテ adv. 一方では

「副詞句」

elle エル pron (histoire の代用) それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

invraisemblable. アンヴァレソンプラブル adj. 本当らしくない

「補語」

見方を変えれば、この話は当然と言える。

D'un autre, elle était naturelle.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

D'un autre, ダン・オートル adv. 別の(視点、見方)では

「副詞句」

elle エル pron その話は

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

naturelle. ナチュレル adj.f(naturel) 当然の、自然な

「補語」

ともかく、その旅人はいくらか自業自得であり、他人のふりなどしてはならないと思った。

De toute façon, je trouvais que le voyageur l'avait un peu mérité et qu'il ne faut jamais jouer.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 et 「目的語」

De toute façon, トゥ・トゥット・ファソン adv. いずれにせよ、ともかく

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

trouvais トゥルヴァエ 1 単半(trouver)v.t(que ~と) 思う

「動詞」

que ク conj. ~ということを

「目的語」

le voyageur ル・ヴァジャジュール n.m その旅人は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

l'avait un peu mérité ラヴェ・アン・プ・メリテ 3 単半・完了形(le avoir mérité)

v.t それに対して少し罰を受けた、自業自得の罪を罰せられた 「動詞句」

l' は「目的語」で「それに」、mériter メリテ v.t ～に値する → 自業自得だ

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il ne faut jamais jouer. イル・ヌ・フォ・ジヤメ・ジュエ 非人称・3 単現・禁止

(il ne falloir pas+不定詞)v.t 他人のふりをしてはならない 「動詞句」

jouer ジュエ v.t (他人の) ふりをする

こうして、睡眠や記憶の回想や三面記事の読み直しや光と闇の規則正しい交代などによつて、時は過ぎていった。

Ainsi, avec les heures de sommeil, les souvenirs, la lecture de mon fait divers et l'alternance de la lumière et de l'ombre, le temps a passé. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

Ainsi, オンシ adv. このように、こうして 「副詞」

avec アヴ・ェツキ prep ～を持って 「副詞句」

les heures レ・セール pl.n.f 時間 「目的語」

de sommeil, トゥ・ソメイユ adj. 睡眠の 「形容詞句」

les souvenirs, レ・スヴニール pl.n.m 記憶の呼び出し、回想 「目的語」

la lecture ラ・レクチュール n.f 読み取り 「目的語」

de mon fait divers トゥ・モン・フェ・ディヴ・ェルス adj. 三面記事の 「形容詞句」

et エ conj. そして

l'alternance ラルテルナンス n.f (規則正しい) 交代 「目的語」

de la lumière トゥ・ラ・リュミエール adj. 光の 「形容詞句」

et エ conj. そして

de l'ombre, トゥ・ロンブル adj. 闇の 「形容詞句」

le temps ル・トン n.m 時は 「主語」

a passé. ア・パッセ 3 単現・完了形(passer)v.i 過ぎていった 「動詞句」

獄中では時間の観念がなくなってしまうということを、僕は確かに読んだことがある。

J'avais bien lu qu'on finissait par perdre la notion du temps en prison.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais bien lu アヴ・ェ・ビヤン・リュ 1 単半・完了形(lire)v.t 確かに読んだことがあった 「動詞句」

bien ビヤン adv. (断定の強調) 確かに、まさに

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

on オン pron 人は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

finissait par perdre フィニセ・パール・ペルトル 3 単半・結局・時制の一致(finir par+不定詞)

v.t ついには～を失ってしまう

「動詞句」

la notion ラ・ノション n.f 観念、概念

「目的語」

du temps ジュ・トン adj. 時間の

「形容詞句」

en prison. オン・プリーゾン adv. 獄中では

「副詞句」

しかし僕はその意味があまり分からなかった。

Mais cela n'avait pas beaucoup de sens pour moi.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

cela スラ pron それは

「主語」

n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定(avoir)v.t ～がなかった

「動詞句」

beaucoup de sens ボク・トゥ・ソンス n.m (否定文で) あまり意味が

「目的語」

pour moi. プール・ムわ adv. 僕にとって

「副詞句」

僕は、日々というものがどこまで長く、また同時に短くなれるかを理解していなかった。

Je n'avais pas compris à quel point les jours pouvaient être à la fois longs et courts.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

n'avais pas compris ナヴェ・パ・コンプリ 1 単半・完了形・否定(comprendre)

v.t 理解していなかった

「動詞句」

à quel point ア・ケル・プ・ワ adv. どの程度まで～するかということを

「目的語」

les jours レ・ジュール pl.n.m 日々というものが

「主語」

pouvaient être プヴァ・エートル 3 複半・可能(pouvoir+不定詞)

v.i ～になることができる

「動詞句」

à la fois ア・ラ・フワ adv. 同時に

「副詞句」

longs et courts. ロン・エ・クール adj.m.pl 長くそして短く

「補語」

日々を生活してみれば、おそらく長いだろう。しかし日々は膨らみすぎて、最後には他の一日に溢れ出してしまう。

Longs à vivre sans doute, mais tellement distendus qu'ils finissaient par déborder les uns sur les autres.

「補語」,mais 「副詞句」qu' 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Longs ロン adj.m.pl 長い

「補語」

à vivre ア・ヴィヴル 不定詞・条件 adv. 生きるならば

「副詞句」

sans doute, ソン・トゥット adv. おそらく

「副詞句」

mais メ conj. しかし

DEUXIÈME PARTIE 第2部

tellement distendus テルモン・ディストンジュ adv. 膨らみすぎて 「副詞句」
 qu' ク conj.(tellement...que) ～する
 ils イル pron.pl 日々は 「主語」
 finissaient par déborder フィニセ・パール・デボルテ 3 複半・結局・時制の一致(finir par+不定詞)
 v.t 結局はあふれ出る 「動詞句」
 les uns レ・ザン pl.n.m 一日から 「目的語」
 sur les autres. シュール・レ・ゾートル adv. 他の一日に 「副詞句」

日々はそこで名前を失う。

Ils y perdaient leur nom. 「主語」「副詞」「動詞」「目的語」
 Ils イル pron.pl 日々は 「主語」
 y イ adv. そこで (別の一日で) 「副詞」
 perdaient ペルテ 3 複半(perdre)v.t 失う 「動詞」
 leur nom. レール・ノム n.m 名前を 「目的語」

僕にとって意味を持ち続けているのは、「昨日」とか「明日」という言葉だけになった。

Les mots hier ou demain étaient les seuls qui gardaient un sens pour moi.
 「主語」「動詞」「補語」
 Les mots レ・モ pl.n.m 言葉が 「主語」
 hier ou demain イェール・ウ・ドゥマン adj. 昨日とか明日という 「形容詞句」
 étaient エテ 3 複半(être)v.i ～になった 「動詞」
 les seuls レ・スル pl.pron 唯一のもの 「補語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 gardaient ギャルテ 3 複半・時制の一致(garder)v.t 持ち続けている 「動詞」
 un sens アン・ソンス n.m 意味を 「目的語」
 pour moi. プール・ムわ adv. 僕にとって 「間接目的語」

ある日、あの看守長が、僕がここに来てから5か月になると言った。その通りだと僕は思ったが、それがどんな意味なのか僕は分からなかった。

Lorsqu'un jour, le gardien m'a dit que j'étais là depuis cinq mois, je l'ai cru, mais je ne l'ai pas compris. 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」,
 「主語」「目的語」「動詞句」 mais 「主語」「動詞句」「目的語」
 Lorsqu'un jour, ロルスカン・ジュール adv. ある日 (のこと) 「副詞句」
 lorsque ロルスキ conj. ～の時に、～なのに (il, elle, on, un, une の前で lorsqu' となる)
 le gardien ル・ガルディヤン n.m あの看守長が 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | |
|------------------------------------|-------------------------|-------------|---------|
| a dit ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que ク | conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| j' ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| étais エ | 1 単現・存在・継続(être)v.i | ～にいた | 「動詞」 |
| là ラ | adv. | ここに | 「副詞」 |
| depuis cinq mois, トゥビュイ・サンキ・ムワ | adv. | 5 か月前から | 「副詞句」 |
| je ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| l' ル | pron | それを | 「目的語」 |
| ai cru, エ・クリュ | 1 単現・完了形(croire)v.t | 信じた、本当だと思った | 「動詞句」 |
| mais メ | conj. | しかし | |
| je ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ne ...ai pas compris. ス...エ・パ・コンプリ | 1 単現・完了形・否定(comprendre) | | |
| v.t | | 分からなかった | 「動詞句」 |
| l' ル | pron | その意味が | 「目的語」 |

僕にとってその 5 か月は、絶え間なく僕の独房に同じ 1 日が押し寄せ、そして同じ仕事をやり続けた、そんな印象の日々であった。

| | |
|---|-----------------------------|
| <u>Pour moi, c'était sans cesse le même jour qui déferlait dans ma cellule et la même tâche que je poursuivais.</u> | 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 et 「補語」 |
| Pour moi, プール・ムわ adv. 僕にとっては、僕としては | 「副詞句」 |
| c' ス pron その 5 か月の日々は | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i 〜だった | 「動詞」 |
| sans cesse シン・セッサ adv. 絶えず、しょっちゅう | 「副詞句」 |
| le même jour ル・メーム・ジュール n.m 同じ 1 日 | 「補語」 |
| qui キ pron (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| déferlait デフェルレ 3 単半(déferler)v.i (激しい勢いで) 押し寄せる | 「動詞」 |
| dans ma cellule トン・マ・セルル adv. 僕の独房に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| la même tâche ラ・メーム・タッシュ n.f 同じ仕事 | 「補語」 |
| que ク pron (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| poursuivais. プールシュイヴァ 1 単半(poursuivre)v.t やり続けていた | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

その日、看守長が立ち去った後で、僕は鉄製の飯盒に自分の顔を映してみた。

Ce jour-là, après le départ du gardien, je me suis regardé dans ma gamelle de fer.

「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

Ce jour-là, ス・ジュール・ラー adv. その日

「副詞句」

après le départ ア・プレ・ル・デ・パール adv. 立ち去った後で

「副詞句」

du gardien, シュ・ガルディヤン adj. 看守長の

「形容詞句」

je シュ pron 僕は

「主語」

me suis regardé ム・シユイ・ルギヤルテ 1 単現・完了形(se regarder)v.pr 自分の顔を見た「動詞句」

dans ma gamelle トン・マ・ガメル adv. 飯盒の中に

「副詞句」

de fer. トゥ・フェール adj. (材料) 鉄製の

「形容詞句」

飯盒に映った僕の顔は、僕がいくら微笑みかけても、真剣な顔のままに見えた。

Il m'a semblé que mon image restait sérieuse alors même que j'essayais de lui sourire.

「間接目的語」「動詞句」「主語」

Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a semblé ア・ソブル 3 単現・完了形(sembler)v.i ~に思われた、~に見えた

「動詞句」

que ク conj. ~ということが

「主語」

mon image モン・イマージュ n.f 僕の映像が

「主語」

mon モン adj. (所有形容詞) 私の

女性形は ma だが、母音または無音の h で始まる名詞の前では mon

restait レステ 3 単半・時制の一致(rester)v.i ~のままである

「動詞」

sérieuse セリュース adj.f(sérieux) 真剣な

「補語」

alors même que アロー・メモ・ク conj. たとえ~でも

「副詞節」

j' シュ pron 僕は

「主語」

essayais de +不定詞 エッセイ・トゥ 3 単半・試行(essayer de+不定詞)

v. ~しようと試みた

「動詞句」

lui リュイ pron 映像に向かって

「間接目的語」

sourire. スリール 不定詞 v.i 微笑む

「動詞」

僕はそれを目の前で揺すり、微笑んでみた。しかし相変わらず厳しく悲しい様子だった。

Je l'ai agitée devant moi. J'ai souri et elle a gardé le même air sévère et triste.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」et 「主語」「動詞句」「目的語」

Je シュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron.f (gamelle 飯盒の代用) それを

「目的語」

ai agitée エ・アジテ 1 単現・完了形(agiter)v.t 揺り動かした、ゆすった

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---------------------------------|----------------------------------|--------|
| devant moi. ドゥヴァン・ムワ | adv. 僕の目の前で | 「副詞句」 |
| J' ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ai souri エ・スリ | 1 単現・完了形(sourire)v.i 微笑んだ | 「動詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| elle エル | pron.f (image 映像の代用) それは | 「主語」 |
| a gardé ア・ギャルデ | 3 単現・完了形(garder)v.t (しるしを) 留めていた | 「動詞句」 |
| le même air ル・メム・エール | n.m 同じ様子を | 「目的語」 |
| sévère et triste. セヴァール・エ・トクリスト | adj. 厳しく悲しい | 「形容詞句」 |

1 日が終わるところだ。僕が話したくない時間だ。名前の無い時間、または沈黙が列をなす中で、刑務所のすべての階からタベの騒音が立ち上がってくる時間だ。

Le jour finissait et c'était l'heure dont je ne veux pas parler, l'heure sans nom, où les bruits du soir montaient de tous les étages de la prison dans un cortège de silence.

| | | |
|----------------------------------|--------------------------------|--------|
| | 「主語」「動詞」 et 「主語」「動詞」「補語」, 「補語」 | |
| Le jour ル・ジュール | n.m 1 日が | 「主語」 |
| finissait フィニセ | 3 単半・非完了(finir)v.i 終わるところだ | 「動詞」 |
| et エ conj. | そして | |
| c' ス | pron この時間は | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| l'heure レール | n.f 時間 | 「補語」 |
| dont ドン | pron それについて~する | 「形容詞節」 |
| je ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ne veux pas parler, ヌ・ヴ・パ・パル | 1 単現・願望・否定(vouloir+不定詞) | |
| v.i 話したくない | | 「動詞句」 |
| l'heure レール | n.f 時間 | 「補語」 |
| sans nom, ソン・ノム | adj. 名前の無い | 「形容詞句」 |
| où ウ conj. | または~する | 「形容詞節」 |
| les bruits レ・ブリュイ | pl.n.m 騒音が | 「主語」 |
| du soir ジュ・スワール | adj. タベの | 「形容詞句」 |
| montaient モンテ | 3 複半・時制の一致(monter)v.i 立ち上ってくる | 「動詞」 |
| de tous les étages トゥ・トゥ・レ・セタージュ | adv. すべての階から | 「副詞句」 |
| de la prison トゥ・ラ・プリソン | adj. 刑務所の | 「形容詞句」 |
| dans un cortège ドン・サン・コルテージュ | adv. 行列の中で | 「副詞句」 |
| de silence. トゥ・シロンス | adj. 沈黙の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は天窓に近づき、暮れなずむ明かりの中でもう一度自分の顔を眺めた。

Je me suis approché de la lucarne et, dans la dernière lumière, j'ai contemplé une fois de plus mon image.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis approché ム・シュイ・アプ°ロシェ 1 単現・完了形(s'approcher)v.pr(de に) 近づいた「動詞句」
 de la lucarne トゥ・ラ・リュカルヌ adv. 天窓に 「間接目的語」
 et, エ conj. そして
 dans la dernière lumière, ドン・ラ・テルニエール・ユミエール adv. 最後の明かりの中で 「副詞句」
 dernière テルニエール adj. 最後の→ 暮れていく、暮れなずむ、暮れそうで暮れない
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai contemplé エ・コントブレ 1 単現・完了形(contempler)v.t ながめた 「動詞句」
 une fois de plus ユヌ・フワ・プ°リュ adv. もう一度 「副詞句」
 mon image. モン・イマージュ n.f 自分の顔を 「目的語」

僕の顔は相変わらず真剣だった。何を驚くことがあるだろうか？この時、僕は見ている映像そのものだったのだから。

Elle était toujours sérieuse, et quoi d'étonnant puisque, à ce moment, je l'étais aussi?

「主語」「動詞」「補語」 et 「感嘆」「副詞節」
 Elle エル pron.f 僕の顔は 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 toujours sérieuse, トゥジューール・セリュース° adj.f 相変わらず真剣な 「補語」
 et エ conj. そして
 quoi d'étonnant クワ・テトソ° adv. 何を驚くことがあるだろうか 「感嘆」
 quoi de+形容詞(動詞なしで) 何か... のようなことがあるか
 puisque, ヒ°ユイスキ conj. ~なので 「副詞節」
 à ce moment, ア・ス・モモン adv. この時 「副詞句」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron (image の代用) それ、映像 「補語」
 étais エテ 1 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 aussi? オシ adv. ~も 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし同時に、そしてこの数か月以来初めて、僕ははっきりと自分の声を聴いた。

Mais en même temps et pour la première fois depuis des mois, j'ai entendu distinctement le son de ma voix.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

en même temps オン・メム・トン adv. 同時に

「副詞句」

et エ conj. そして

pour la première fois プール・ラ・フ・ルミエール・フワ adv. 初めて

「副詞句」

depuis des mois, ドゥピュイ・デ・ムワ adv. この数か月以来

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai entendu エ・オントジュ 1 単現・完了形(entendre)v.t 聞いた

「動詞句」

distinctement ディスタンクトモン adv. はっきりと

「副詞」

le son ル・ソン n.m 響きを

「目的語」

de ma voix. ドゥ・マ・ヴァー adj. 自分の声の

「形容詞句」

僕はそれがすでに何日も前から僕の耳に響いていた声だということが分かった。そして僕はこの間ずっと一人で話し続けていたことを理解した。

Je l'ai reconnue pour celle qui résonnait déjà depuis de longs jours à mes oreilles et j'ai compris que pendant tout ce temps j'avais parlé seul.

「主語」 「目的語」 「動詞句」 「補語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron(voix の代用) それ

「目的語」

ai reconnue エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t(pour ～として) 分かった

「動詞句」

pour celle プール・セル adv. それである

「補語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

résonnait レゾネ 3 単半(résonner)v.i 響いていた

「動詞」

déjà depuis de longs jours デジャ・ドゥピュイ・ドゥ・ロン・ジュール

adv. すでに何日も前から

「副詞句」

à mes oreilles ア・メ・レイレ adv. 私の耳に

「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

pendant tout ce temps ポント・ソン・トゥ・ス・トン adv. この間ずっと

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais parlé アヴァ・パレ 1 単現・完了形(parler)v.i 話していた

「動詞句」

seul. スル adv. 一人で

「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そこで僕は、あの看護婦が母さんの葬式で言っていたことを思い出した。

Je me suis souvenu alors de ce que disait l'infirmière à l'enterrement de maman.

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis souvenu ム・シュイ・スヴ`ニュ 1 単現・完了形(se souvenir)

v.pr (de ことを) 思い出した

「動詞句」

alors アール adv. それで

「副詞」

de ce トゥ・ス adv. そのことを

「間接目的語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言っていた

「動詞」

l'infirmière ランフィルミエール n.f あの看護婦が

「主語」

à l'enterrement ア・ロンテルモン adv. 葬式で

「副詞句」

de maman. トゥ・マモン adj. 母さんの

「形容詞句」

いや、出口はないのだ。誰も、牢獄での夕暮れがどんなものを想像できない。

Non, il n'y avait pas d'issue et personne ne peut imaginer ce que sont les soirs dans les prisons.

「副詞」, 「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Non, ノン adv. いや

「副詞」

il n'y avait pas イル・ニ・アヴ`ェ・パ 3 単半・否定(il y avoir)v.t ～がない

「動詞句」

d'issue ディシュー n.f 出口

「目的語」

et エ conj. そして

personne ペルソヌ pron (ne と共に) 誰も～ない

「主語」

ne peut imaginer ヌ・プ`・イマジネ 3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 想像できない

「動詞句」

ce ス pron それを

「目的語」

que ク pron (疑問) どんな

「補語」

sont ソン 3 複現(être)v.i ～である

「動詞」

les soirs レ・スワール pl.n.m 夕方

「主語」

dans les prisons. トン・レ・プリゾン adv. 牢獄での

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

III

結局、夏はすぐに新しい夏に入れ替わったと言える。

Je peux dire qu'au fond l'été a très vite remplacé l'été. 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 peux dire プ・ディール 1 単現・可能(pouvoir+不定詞)v.t(que ～と) 言える 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 au fond オ・フォン adv. 結局のところ 「副詞句」
 l'été レテ n.m 夏は 「主語」
 a très vite remplacé ア・トレ・ヴァイト・ロンプラセ 3 単現・完了形(remplacer+ très vite)
 v.t (人・物に) すぐに代わった 「動詞句」
 l'été. レテ n.m 夏に 「目的語」

初夏の暑さの上昇と共に、何か新しいことが起こるだろうということは知っていた。

Je savais qu'avec la montée des premières chaleurs surviendrait quelque chose de nouveau pour moi. 「主語」「動詞」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 savais サヴェ 1 単半(savoir)v.t 知っていた 「動詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 avec アヴェッキ prep ～と一緒に 「副詞句」
 la montée ラ・モンテ n.f 上昇 「目的語」
 des premières chaleurs テ・プリミエール・シャレール
 adj.f.pl 初夏の暑さの 「形容詞句」
 surviendrait シュルヴァントレ 条・3 単現・推量(survenir)v.i 起こるだろう 「動詞」
 quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何か 「主語」
 de nouveau pour moi. トゥ・ヌヴ・オー・プ・ール・ムわ
 adj. 僕にとって新しい 「形容詞句」

僕の裁判は重罪裁判所の会期の最後に登録されていた。会期は6月一杯で終わるようだ。

Mon affaire était inscrite à la dernière session de la cour d'assises et cette session se terminerait avec le mois de juin. 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Mon affaire モン・ナフェール n.f 僕の裁判は、問題、事件 「主語」
 était inscrite エテ・アンスクリット 3 単半・受動(inscrire)v.t 記入されていた 「動詞句」
 à la dernière session ア・ラ・テルニエール・セッション adv. 会期の最後に 「副詞句」
 de la cour テ・ラ・クール adj. 裁判所の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

d'assises ダシズ adj. 重罪裁判の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 cette session セット・セッション n.f. この会期は 「主語」
 se terminerait ス・テルミヌ 条・3 単現・推測(se terminer)v.pr 終わるだろう 「動詞句」
 avec le mois de juin. アヴ・エッキ・ル・ムワ・トゥ・ジ ュアン adv. 6月を含めて、6月一杯で 「副詞句」

監獄の外が太陽でいっぱいの際に、審議が始まった。

Les débats se sont ouverts avec, au-dehors, tout le plein du soleil.

「主語」「動詞句」「副詞句」
 Les débats レ・デバ pl.n.m(débat) (法廷での) 審議が 「主語」
 se sont ouverts ス・ソン・ウヴェール 3 複現・完了形.m.pl(s'ouvrir)v.pr 始まった 「動詞句」
 avec, アヴ・エッキ prep (状態) ~の状態で、~の際に 「副詞句」
 au-dehors, オ・ドゥオール adv. 外が 「副詞句」
 tout le plein du soleil. トゥ・ル・プラン・ジュー・ソル イェ pron. 太陽でいっぱい 「目的語」

僕の弁護士は、審議は2、3日以上はかからないだろう、と断言した。

Mon avocat m'avait assuré qu'ils ne dureraient pas plus de deux ou trois jours.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Mon avocat モ・ナヴ・カ n.m 僕の弁護士は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 avait assuré アヴ・エ・アシユレ 3 単半・完了形(assurer)v.t 断言した、保証した 「動詞句」
 qu' ク conj. ~ということ 「直接目的語」
 ils イル pron.pl それは (審議) 「主語」
 ne dureraient pas ノ・デュール・パ 条・3 複現・否定・推測(durer)
 v.i 続かないだろう 「動詞句」
 plus de プリュ・トゥ prep (期間) ~以上 「副詞句」
 deux ou trois jours. トゥ・ウ・トルワ・ジュール pl.n.n 2、3日 「目的語」

「そもそも」と、彼は付け加えた。「あなたの審議は、今会期の最重要案件ではないので、裁判所は急いで処理するでしょう」

«D'ailleurs, avait-il ajouté, la cour sera pressée parce que votre affaire n'est pas la plus importante de la session.»

《「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「主語」「動詞」「補語」, 「副詞節」》
 «D'ailleurs, ダイユール adv. それに、そもそも 「副詞句」
 avait... ajouté, アヴ・エ...アジ ュテ 3 単半・完了形(sjouter)v.t 付け加えた 「動詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | | |
|--------------------|---------------|------------------|------------|--------|
| la cour | ラ・クール | n.f | 裁判所は | 「主語」 |
| sera | スラ | 3 単未・推測(être)v.i | ～だろう | 「動詞」 |
| pressée | プレッセ | adj.f | 急いでいる | 「補語」 |
| parce que | パルス・キ | conj. | ～なので | 「副詞節」 |
| votre affaire | ヴォトル・アフェール | n.f | あなたの審議は、事件 | 「主語」 |
| n'est pas | ネ・パ | 3 単現・否定(être)v.i | ～でない | 「動詞」 |
| la plus importante | ラ・プリュ・アンポルトント | n.f | 最重要な件 | 「補語」 |
| de la session. | トゥ・ラ・セッション | adj. | 会期の | 「形容詞句」 |

「すぐ後に、尊属殺人が待ち構えていますから」

| | |
|--|--------------------|
| <u>Il y a un parricide qui passera tout de suite après.》</u> | 《「動詞句」「目的語」》 |
| Il y a イ・リ・ア 3 単現(il y avoir)v.t | ～がある「動詞句」 |
| un parricide ウン・パリスド n.m | 尊属殺人「目的語」 |
| qui キ pron (主語) | ～する「形容詞節」 |
| passera パスラ 3 単未(passer)v.i | やって来る、予定になっている「動詞」 |
| tout de suite après.》 トウ・トゥ・シュイト・アプレ adv. | すぐ後に「副詞句」 |

朝の7時半に、僕を迎えにやって来て、僕は囚人護送車で裁判所へ連れていかれた。

A sept heures et demie du matin, on est venu me chercher et la voiture cellulaire m'a conduit au Palais de justice.

| | | | | |
|---|---------------|--------------------------|---------|--------|
| 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 et 「目的語」「動詞句」「副詞句」 | | | | |
| A sept heures et demie | ア・セ・テール・エ・トゥミ | adv. | 7時半に | 「副詞句」 |
| du matin, | ジュ・マタン | adv. | 朝の | 「副詞句」 |
| on | オン | pron | 看守が | 「主語」 |
| est venu +不定詞 | エ・ヴァニュ | 3 単現・完了形・目的(venir+不定詞)v. | ～しに来た | 「動詞句」 |
| me | ム | pron | 僕を | 「目的語」 |
| chercher | シェルシェ | 不定詞 v.t | 迎えに | 「動詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| la voiture | ラ・ヴァ | ワチュール | n.f 車が | 「主語」 |
| cellulaire | セリュール | adj. | 独房の、細胞の | 「形容詞」 |
| voiture cellulaire 「囚人護送車」 | | | | |
| m' | ム | pron | 僕を | 「目的語」 |
| a conduit | ア・コンジユイ | 3 単現・完了形(conduire)v.t | 連れて行った | 「動詞句」 |
| au Palais | オ・パレ | adv. | 宮殿へ | 「副詞句」 |
| de justice. | トゥ・ジュスティス | adj. | 裁判の | 「形容詞句」 |
| Palais de justice 「裁判所」 | | | | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

警官 2 人が、日陰特有の湿り気やかび臭さを発散する小部屋に僕を入らせた。

Les deux gendarmes m'ont fait entrer dans une petite pièce qui sentait l'ombre.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Les deux gendarmes レ・ドゥ・ジ・ョンドアルム pl.n.m 警官 2 人が 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

ont fait オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire)v.t(SVO+不定詞) ～させた 「動詞句」

entrer オントレ 不定詞・me の動作 v.i 入る 「補語」

dans une petite pièce トン・ザン・プ・テット・ピエス adv. 小部屋に 「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

sentait センテ 3 単半・時制の一致(sentir)

v.t (の) 匂いを発散する 「動詞」

l'ombre. ロンブル n.m 日陰 「目的語」

僕たちは扉の近くに座って待った。その扉の向こうで、話し声や、呼び声や、椅子の音や、大混乱の音が聞こえた。境界の祭りか、それともコンサートの後で、ダンスができるように会場を整理しているのではないかと、僕に想像させるような物音だった。

Nous avons attendu, assis près d'une porte derrière laquelle on entendait des voix, des appels, des bruits de chaises et tout un remue-ménage qui m'a fait penser à ces fêtes de quartier où, après le concert, on range la salle pour pouvoir danser.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

Nous ヌ pron.pl 僕たちは 「主語」

avons attendu, アヴ・オン・アトジユ 1 複現・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」

assis アシ 過去分詞・様態(asseoir)adv. 座って 「副詞句」

près d' プレ・ドゥ prep ～の近くに 「副詞句」

une porte エヌ・ポルト n.f 扉 「目的語」

derrière laquelle デリエール・ラケル adv. その扉の向こうで 「副詞句」

on オン pron 僕は 「主語」

entendait オントンテ 3 単半(entendre)v.t 聞こえた 「動詞」

des voix, テ・ウゎ pl.n.f 声が 「目的語」

des appels, テ・ザペル pl.n.m 呼び声が 「目的語」

des bruits テ・ブリユイ pl.n.m 物音が 「目的語」

de トゥ prep (限定) ～の 「形容詞句」

chaises トゥ・シェーズ pl.n.f 椅子 「目的語」

et エ conj. そして

tout un remue-ménage トウト・アン・ルミューメナージュ n.m 大混乱 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕に | 「目的語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(faire)v.t ～させた | 「動詞句」 |
| penser ポンセ 不定詞・me の動作 v.t 考える | 「補語」 |
| à ces fêtes ア・セ・フェット adv. 祭りで | 「副詞句」 |
| de quartier トゥ・クワルチエ adj. 界隈の | 「形容詞句」 |
| où, ウ conj. それとも | |
| après le concert, アプレ・ル・コンセル adv. コンサートの後で | 「副詞句」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| range ロンジュ 3 単現(ranger)v.t 整理する | 「動詞」 |
| la salle ラ・サル n.f 会場を | 「目的語」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために | 「副詞句」 |
| pouvoir danser. プワール・ドンセ 不定詞 | |
| v.i ダンスができる | 「動詞句」 |

警官が僕に開廷を待たなければならないと言った。それから警官の一人が僕にタバコを差し出してくれたが、僕は断った。

Les gendarmes m'ont dit qu'il fallait attendre la cour et l'un d'eux m'a offert une cigarette que j'ai refusée.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

et 「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」「主語」「動詞句」

| | |
|---|---------|
| Les gendarmes レ・ジヨンドアルム pl.nm. 警官が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| ont dit オン・ディ 3 複現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il fallait イル・ファレ 3 単半・非人称・必要(il falloir+不定詞) | |
| v.h ～しなければならない | 「動詞句」 |
| attendre アントドル 不定詞 v.t 待つ | 「動詞句」 |
| la cour ラ・ケル n.f (裁判所の) 開廷を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| l'un d'eux ラン・ディ pron 警官の一人が | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に「間接目的語」 | |
| a offert ア・オフエール 3 単現・完了形(offrir)v.t 差し出した | 「動詞句」 |
| une cigarette エヌ・シガレット n.f タバコを | 「目的語」 |
| que ク pron (目的語) それを～する | 「形容詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai refusée. エールフュセ 1 単現・完了形(refuser)v.t 断った | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

少しして、彼は僕に、「おじけづいたのか？」と尋ねた。

Il m'a demandé peu après «si j'avais le trac».

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」《「直接目的語」》

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥマンドゥ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

peu après プ・アプレ adv. 少し後で

「副詞句」

«si シ conj. ～かどうかということ

「直接目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais アヴヱ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t (心身の状態が) ～がある

「動詞」

le trac). ル・トラク n.m おじけ (怖気)

「目的語」

僕は、「いや」と答えた。それどころか、ある意味では、裁判を見ることは興味深かった。

J'ai répondu que non. Et même, dans un sens, cela m'intéressait de voir un procès.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」「目的語」「動詞」「主語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que non. ク・ノン n. いや

「目的語」

Et même, エ・メーム adv. さらに、それどころか

「副詞句」

dans un sens, ドン・ザン・ソン adv. ある意味では

「副詞句」

cela スラ pron 仮の主語 (真の主語は de voir 以降)

m' ム pron 僕を

「目的語」

intéressait アンテレッセ 3 単半(interesser)v.t 興味を引いた

「動詞」

de voir トゥ・ヴワール 不定詞 n. 見ることは

「主語」

un procès. アン・プロセ n.m 裁判を

「目的語」

僕の人生では、こういう機会は一度もなかった:「そうだな」と、もう一人の警官が言った。

「でも、結局は疲れるだけだよ」

Je n'en avais jamais eu l'occasion dans ma vie: «Oui, a dit le second gendarme, mais cela finit par fatiguer.»

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」:

《「応答」》, 「動詞句」「主語」, 《mais 「主語」「動詞句」》

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'en avais jamais eu ノン・サヴヱ・ジャメ・イ 1 単半・完了形・否定(avoir)

v.t. そうということは一度もなかった

「動詞句」

l'occasion ロカジヨン n.f 機会が

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

dans ma vie: ドン・マ・ヴィー adv. 僕の人生で 「副詞句」
 «Oui, ヴィー adv. (同意) そうだな 「応答」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 le second gendarme, ル・スコント・ジ・オンダール n.m もう一人の警官が 「主語」
 mais メ conj. しかし
 cela スラ pron それは 「主語」
 finit par fatiguer.» フィニ・パール・ファチガ 3 単現・結局(finir par+不定詞)
 v.i 結局は疲れることになる 「動詞句」

少しすると、その部屋で小さなベルの音が響いた。

Après un peu de temps, une petite sonnerie a résonné dans la pièce.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」
 Après un peu de temps, アプレ・アン・フ・ト・ウ・トン adv. 少し後で 「副詞句」
 une petite sonnerie ユ・プ・ティット・ソヌリ n.f 小さなベルの音が 「主語」
 sonnerie ソヌリ n.f (ベルの) 音、ベル、鐘の音
 a résonné ア・レゾネ 3 単現・完了形(résonner)v.i 響いた 「動詞句」
 dans la pièce. ドン・ラ・ピエス adv. その部屋で 「副詞句」
 pièce ピエス n.f 部屋、1 個、部品、ピース、作品、破片

警官は僕の手錠を外した。それから扉を開けて、僕を重罪被告人席に入らせた。法廷ははち
 きれるほど傍聴人でいっぱいだった。

Ils m'ont alors ôté les menottes. Ils ont ouvert la porte et m'ont fait entrer dans le box
 des accusés. La salle était pleine à craquer.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」
 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「目的語」 「動詞句」 「補語」 | 「主語」 「動詞」 「補語」
 Ils イル pron.pl 彼らは、警官たちは 「主語」
 m' ム pron 僕の 「間接目的語」
 ont alors ôté オン・アロー・オテ 3 複現・完了形(ôter)v.t そしてはずした 「動詞句」
 les menottes. レ・ムノット pl.n.f(menotte) 手錠を 「直接目的語」
 Ils イル pron.pl 彼らは、警官たちは 「主語」
 ont ouvert オン・ウヴェール 3 複現・完了形(ouvrir)v.t 開けた 「動詞句」
 la porte ラ・ポルト n.f ドアを、扉を 「目的語」
 et エ conj. そして
 m' ム pron 僕に 「目的語」
 ont fait オン・フェ 3 複現・完了形・使役(faire)v.t ～させた 「動詞句」
 entrer オントレ 不定詞・me の動作 v.i 入る 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| dans le box トン・ラ・ボックス adv. (法廷の) 被告席に | 「副詞句」 |
| des accusés. デ・アキエゼ adj.pl 重罪被告人の | 「形容詞句」 |
| → cour d'assises 重罪院 prévenu 軽罪被告人 tribunal correctionnel 軽罪裁判所 | |
| La salle ラ・サル n.f 法廷は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| pleine フレヌ adj.f いっぱいの | 「補語」 |
| à + 不定詞 ア adv. (程度) ~するほど | 「副詞句」 |
| craquer. クラケ 不定詞 v.i はちきれる、壊れる | 「動詞」 |

ブラインドはあるけれども、ところどころから太陽が漏れて入り込み、空気はすでに蒸し暑くなっていた。

| | |
|--|-------|
| <u>Malgré les stores, le soleil s'infiltrait par endroits et l'air était déjà étouffant.</u> | |
| 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「主語」 「動詞」 「副詞」 「補語」 | |
| Malgré マルグレ prep ~にもかかわらず | 「副詞句」 |
| les stores, レ・ストール pl.n.m ブラインド、日よけ | 「目的語」 |
| le soleil ル・ソレイユ n.m 太陽は | 「主語」 |
| s'infiltrait サンフィルトレ 3 単半(s'infiltrer)v.pr 侵入してきた | 「動詞句」 |
| par endroits パール・オントゥルワ adv. ところどころ | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| l'air レール n.m 空気は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| déjà デジャ adv. すでに | 「副詞」 |
| étouffant. エトゥフオン adj. むしむしする | 「補語」 |

ガラス窓は閉じられていた。僕が着席すると、警官が両側から僕を挟んだ。

| | |
|--|-------|
| <u>On avait laissé les vitres closes. Je me suis assis et les gendarmes m'ont encadré.</u> | |
| 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「目的語」 「動詞句」 | |
| On オン pron 人は | 「主語」 |
| 受動態に翻訳する | |
| avait laissé アヴァエ・レセ 3 単半・完了形・放任(laisser) | |
| v.t (～の状態のままに) していた | 「動詞句」 |
| les vitres レ・ヴィトル pl.n.f ガラス窓を | 「目的語」 |
| closes. クロス adj.f.pl 閉じた | 「補語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis assis ム・シエイ・アシ 1 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った、着席した | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

les gendarmes レ・ジ ョンダルム pl.n.m 警官は 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 ont encadré. オン・オンカドレ 3 複現・完了形(encadrer)v.t 両側から挟んだ 「動詞句」

この時、僕の前に 1 列に並んだ顔が目に入った。

C'est à ce moment que j'ai aperçu une rangée de visages devant moi.

「動詞」「副詞句」「主語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は que 以降）強調構文

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

à ce moment ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」

〜したのはこの時だ。→ この時〜した。

que ク conj. 〜ということは 「主語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai aperçu エ・アペルシュ 1 単現・完了形(apercevoir)v.t 目に入った、見えた 「動詞句」

une rangée ユンヌ・ロンジエ n.f (物・人の) 列が 「目的語」

de visages トゥ・ヴィザージュ adj. 顔の 「形容詞句」

visages ヴィザージュ pl.n.m(visage) 顔、顔つき、顔色

devant moi. トゥヴァン・ムワ adv. 僕の前に 「副詞句」

みんな僕を見ていた：僕はこれが陪審員だと思った。

Tous me regardaient: j'ai compris que c'étaient les jurés.

「主語」「目的語」「動詞」：「主語」「動詞句」「目的語」

Tous トウス pron.m.pl(tout) みんな 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

regardaient: ルギャルテ 3 複半(regarder)v.t 見ていた 「動詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 分かった 「動詞句」

que ク conj. 〜ということを 「目的語」

c' ス pron.pl これが 「主語」

étaient エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」

les jurés. レ・ジュレ pl.n.m 陪審員 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし、彼らを一人一人見分ける特徴は分からなかった。

Mais je ne peux pas dire ce qui les distinguait les uns des autres.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne peux pas dire ス・プ・ハ・テイル 1 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 分からない、言えない

「動詞句」

ce ス pron 特徴を、それを

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

les レ pron.pl 彼らを

「直接目的語」

distinguait ティスタンゲ 3 単半・時制の一致(distinguer)

v.t 見分ける、区別する

「動詞」

les uns des autres. レ・ウンス・テ・ゾートル

pron 他の一人一人に

「間接目的語」

僕にはある印象しかなかった：僕が路面電車の座席の前に来ると、見知らぬ乗客たちは新たな搭乗者の欠点を見つけようと伺っているように見えた。

Je n'ai eu qu'une impression: j'étais devant une banquette de tramway et tous ces voyageurs anonymes épiaient le nouvel arrivant pour en apercevoir les ridicules.

「主語」「動詞句」「目的語」：

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai eu qu' ネ・イク 1 単現・完了形・限定(avoir)v.t(ne...que ～しか) 持たなかった 「動詞句」

une impression: エヌ・アンプレッション n.f 印象

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致・存在(être)v.i ～にいる

「動詞」

devant une banquette トゥヴァン・エヌ・ボンケット adv. 座席の前に

「副詞句」

de tramway トゥ・トラムウェ adj. 路面電車の

「形容詞句」

et エ conj. そして

tous ces voyageurs anonymes トゥ・セ・ヴァヤジユール・アノニム

pl.n 見知らぬ乗客は

「主語」

voyageur ヴァヤジユール n. 乗客 anonymes アノニム adj. 見知らぬ

épiaient エピエ 3 複半・時制の一致(épier)v.t うかがっている

「動詞」

le nouvel arrivant ル・ヌヴェル・アリヴァン n.m 新しい搭乗者を

「目的語」

nouvel ヌヴェル adj.m(nouveau) 新しい(母音または無音の h で始まる語の前で使われる)

arrivant アリヴァン n.m 到着者、搭乗者

DEUXIÈME PARTIE 第2部

pour +不定詞 プール 不定詞・目的 adv. ～するために 「副詞句」
 en オ adv. (de le arrivant) それの 「間接目的語」
 apercevoir アペルスワ 不定詞 v.t 見つける 「動詞」
 les ridicules. レ・リティキュール pl.n.m 欠点を 「直接目的語」

それが愚かな考えだというのはよくわかっている。というのは、ここで彼らが探っていたのは、僕の欠点ではなく僕の犯罪なのだから。

Je sais bien que c'était une idée niaise puisque ici ce n'était pas le ridicule qu'ils cherchaient, mais le crime. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」, 「副詞節」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 sais セ 1 単現(savoir)v.t わかっている 「動詞」
 bien ビヤン adv. よく 「副詞」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 une idée ユンヌ・イデ n.f 考え 「補語」
 niaise ニエース adj.f(niais) 愚かな 「形容詞」
 puisque ビュイスキ conj. ～なので 「副詞節」
 ici イ adv. ここで 「副詞」
 ce ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'ils cherchaient)
 n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない 「動詞」
 le ridicule ル・リティキュール n.m おかしな欠点 「補語」
 qu' ク pron (目的語) ～するものは 「主語」
 ils イル pron.pl 彼らが 「主語」
 cherchaient, シェルシェ 3 複半(chercher)v.t 探していた 「動詞」
 mais メ conj. そうではなく
 le crime. ル・クリム n.m 犯罪 「補語」

しかし大きな違いはない。ともかくこれが僕の心に浮かんだ印象だった。

Cependant la différence n'est pas grande et c'est en tout cas l'idée qui m'est venue.
 「副詞」「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」
 Cependant セパントン adv. しながら 「副詞」
 la différence ラ・ディフェレンス n.f 相違は 「主語」
 n'est pas ネ・パ 3 単現・否定(être)v.i ～でない 「動詞」
 grande グロントゥ adj.f 大きい 「補語」
 et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-------------------------------------|-------------|---------|
| c' ス pron | これは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| en tout cas オン・トゥ・カ adv. | ともかく、いずれにせよ | 「副詞句」 |
| l'idée リデー n.f | 考え | 「補語」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron | 僕に、僕の心に | 「間接目的語」 |
| est venue. エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i | やってきた | 「動詞句」 |

また、閉め切ったこの部屋にいるこの人々に、僕は少し茫然となった。

J'étais un peu étourdi aussi par tout ce monde dans cette salle close.

| | | |
|---------------------------------|-------------|-------------------|
| | | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 |
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| étais エテ 3 単半(être)v.i | ～だった | 「動詞」 |
| un peu étourdi アン・プ・エトゥルディ adj. | 少し茫然とした | 「補語」 |
| aussi オシ adv. | また | 「副詞」 |
| par パール prep (原因) | ～のために | 「副詞句」 |
| tout ce monde トゥ・ス・モンドゥ n.m | この人々 | 「目的語」 |
| dans cette salle ドン・セツ・サル adv. | この部屋の中に | 「副詞句」 |
| close. クローズ adj.f | 閉ざされた、閉め切った | 「形容詞句」 |

僕はもう一度法廷を見回したが、どの顔も同じに見えた。

J'ai regardé encore le prétoire et je n'ai distingué aucun visage.

| | | |
|---|-----------|--------------------------------------|
| | | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai regardé エルギヤルデ 1 単現・完了形(regarder)v.t | 見回した、見た | 「動詞句」 |
| encore オンコール adv. | もう一度 | 「副詞」 |
| le prétoire ル・プレトワール n.m | 法廷を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'ai distingué ネ・ディスタンゲ 1 単現・完了形・否定(distinger)v.t | 見分けられなかった | 「動詞句」 |
| aucun visage. オカン・ヴァイザージュ n.m | どの顔も～ない | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

最初は、この全員が僕を見に押しかけて来たと気が付かなかった、と僕は思う。

Je crois bien que d'abord je ne m'étais pas rendu compte que tout ce monde se pressait pour me voir. 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

crois クルわ 1 単現(croire)v.t 思う 「動詞」

bien ビヤン adv. 大いに、まったく 「副詞」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

d'abord タボール adv. 最初は 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne m'étais pas rendu compte ス・メテ・パ°・ロンジュ・コント 1 単半・完了形・否定

(se rendre compte que+直説法)v.pr ～に気づかなかった 「動詞句」

se rendre compte que+直説法 「～に気づく、を確かめる、を理解する」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

tout ce monde トゥ・ス・モント° pron この全員が 「主語」

se pressait ス・プレッセ 3 単半(se presser)v.pr 押しかけてきた 「動詞句」

pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために 「副詞句」

me ム pron 僕を 「目的語」

voir. ヴァール 不定詞 v.t 見る 「動詞」

普段は、誰もぼく個人にはかかわらない。

D'habitude, les gens ne s'occupaient pas de ma personne.

「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」

D'habitude, ダビチュート° adv. いつもは、普段は 「副詞句」

les gens レ・ジヨン pl.n.m 人々は 「主語」

ne s'occupaient pas ス・ソキュヘ°・パ° 3 複半・否定(s'occuper)

v.pr(de qch ～に) かかわらない、関心をもたない 「動詞句」

de ma personne. トゥ・マ・ペ°ルソンヌ adv. ぼく個人に 「間接目的語」

僕がこの騒動全体の原因であると、僕が理解するには努力が必要だった。

Il m'a fallu un effort pour comprendre que j'étais la cause de toute cette agitation.

「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞節」

Il イル pron 非人称主語

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

a fallu ア・ファリュ 3 単現・完了形(il falloir+名詞)v.h ～が必要だった 「動詞句」

un effort アン・エフォール n.m 努力 「直接目的語」

pour comprendre プール・コンプ°ロントル adv. (目的) ～を理解するためには 「副詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| étais エ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| la cause ラ・コース n.f 原因 | 「補語」 |
| de toute cette agitation. トゥ・トゥット・セツ・アジタシヨ | |
| adj. この騒動全体の | 「形容詞句」 |

僕は警官に言った：「なんという人たちだ！」

| | |
|--|-------------------------|
| J'ai dit au gendarme: «Que de monde!» | 「主語」「動詞句」「間接目的語」：《「感嘆」》 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| au gendarme: オ・ジヨナルム adv. 警官に | 「間接目的語」 |
| «Que de monde!» ク・トゥ・モント pl.n なんという人たちだ！ | 「感嘆」 |

警官は僕に、それは新聞のせいだと答え、陪審員席の下の机の近くにいる1団を示した。

| | |
|--|-------------------------|
| <u>Il m'a répondu que c'était à cause des journaux et il m'a montré un groupe qui se tenait près d'une table sous le banc des jurés.</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| Il イル pron 警官は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a répondu ア・レボンジュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| à cause des journaux ア・コース・デ・ジュールノ adv. 新聞のせい | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| il イル pron 警官は | 「主語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a montré ア・モントレ 3 単現・完了形(montrer)v.t 示した、見せた | 「動詞句」 |
| un groupe アン・グループ n.m 1 団を | 「直接目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| se tenait ス・トゥネ 3 単半・時制の一致(se tenir) | |
| v.pr (ある場所に) いる | 「動詞句」 |
| près d'une table プレ・ジュヌ・ターブル adv. テーブルの近くに | 「副詞句」 |
| sous le banc スル・ボン adv. 席の下、ベンチ | 「副詞句」 |
| des jurés. デ・ジュール adj. 陪審員の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕に言った：「あそこにいる」僕は尋ねた：「誰が？」すると彼が繰り返した：「記者だ」

Il m'a dit: «Les voilà» J'ai demandé: «Qui?» et il a répété: «Les journaux»

「主語」「間接目的語」「動詞句」：《「目的語」「動詞句」》

「主語」「動詞句」：《「主語」》 et 「主語」「動詞句」：《「主語」》

Il イル pron 警官は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

«Les レ pron.pl 彼らを 「目的語」

voilà.» ヴァ v.t, adv. そこに見える 「動詞句」

→ そこに彼らがいる

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai demandé: エ・ト・ウモンデ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

«Qui?» キ pron 誰が 「主語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a répété: ア・レペテ 3 単現・完了形(répéter)v.t 繰り返した 「動詞句」

«Les journaux.» レ・ジュルノ pl.n.m(journal) 記者たちだ 「主語」

警官は記者たちの一人を見知っていたが、その記者がちょうど彼を見つけて、僕たちのほうへ向かってきた。

Il connaissait l'un des journalistes qui l'a vu à ce moment et qui s'est dirigé vers nous.

「主語」「動詞」「目的語」,

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞節」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

connaissait コネッセ 3 単半(connaître)v.t 知っていた 「動詞」

l'un ラン pron 一人を 「目的語」

des journalistes デ・ジュルナリスト adj. 記者たちの 「形容詞句」

qui キ pron (継続) (主語) ~する 「形容詞節」

l' ル pron 彼を 「目的語」

a vu ア・ヴァ 3 単現・完了形(voir)v.t 目撃した、見つけた 「動詞句」

à ce moment ア・ス・モメン adv. この時 「副詞句」

et エ conj. そして

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

s'est dirigé セ・ディリジェ 3 単現・完了形(se diriger)v.pr(vers に) 向かってきた 「動詞句」

vers nous. ヴァールヌ adv. 僕たちのほうへ 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それはもう年配で、好感の持てる、ちょっとしかめっ面の男だった。

C'était un homme déjà âgé, sympathique, avec un visage un peu grimaçant.

「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

un homme ア・ノム n.m 男

「補語」

déjà âgé, デシヤ・アジエ adj. もう年配の

「形容詞句」

sympathique, サンパチキ adj. 感じのいい、好感の持てる

「形容詞」

avec un visage アヴェツ・カン・ウイザーシュ adv. (様態) ~の顔つきの

「副詞句」

un peu grimaçant. アン・プ・グリマツン adj. ちょっと顔をしかめた

「形容詞句」

彼はとても熱心に警官と握手した。

Il a serré la main du gendarme avec beaucoup de chaleur.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

a serré ア・セレ 3 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた

「動詞句」

la main ラ・マン n.f 手を

「目的語」

du gendarme ジュ・ジョンドアルム adj. 警官の

「形容詞句」

avec beaucoup de chaleur. アヴェツキ・ボク・トウ・シャレール adv. とても熱心に

「副詞句」

僕はこの時気が付いた。皆が出合い、声を掛け合って、話をしているのだ。まるで同じ世界の者同士が再会を喜ぶクラブのように。

J'ai remarqué à ce moment que tout le monde se rencontrait, s'interpellait et conversait, comme dans un club où l'on est heureux de se retrouver entre gens du même monde.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai remarqué エ・ルマルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t 気づいた

「動詞句」

à ce moment ア・ス・モモン adv. この時

「副詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

tout le monde トゥール・モンド pron (単数扱い) 皆が

「主語」

se rencontrait, ス・ロンコントレ 3 単半(se rencontrer)v.pr 出会う

「動詞句」

s'interpellait サンテルプレ 3 単半(s'interpeller)v.pr 声を掛け合う

「動詞句」

et エ conj. そして

conversait, コンヴェルセ 3 単半(converser)v.i (親しく) 話す

「動詞」

comme コム adv. ~のように

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|----------------------------|--------------------|--------|
| dans un club トン・サン・クラブ | adv. クラブで | 「副詞句」 |
| où う | adv. (場所) そこで～する | 「形容詞節」 |
| l'on オン | pron 人が | 「主語」 |
| est エ | 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| heureux ウー | adj. 幸せな | 「補語」 |
| de se retrouver トゥ・ス・ルトゥルヴ | | |
| adv. (原因) 再会して | | 「副詞句」 |
| entre gens オン・シヨ | adv. 人々同士で | 「副詞句」 |
| du même monde. シュ・メム・モントゥ | | |
| adj. 同じ世界の | | 「形容詞句」 |

僕は自分が場違いの余計ものであるという奇妙な印象を受けたことにも、納得ができた。

Je me suis expliqué aussi la bizarre impression que j'avais d'être de trop, un peu comme un intrus.

| | | |
|---|----------------------------------|--------|
| Je シュ | pron 僕は | 「主語」 |
| me suis expliqué ム・シュイ・エクスプレ | 1 単現・完了形(s'expliquer) | |
| v.pr 納得した、理解できた | | 「動詞句」 |
| aussi オン | adv. ～もまた | 「副詞」 |
| la bizarre impression ラ・ビザール・アンプレシヨ | n.f 奇妙な印象を | 「目的語」 |
| que ク | conj. (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| j' シュ | pron 僕は | 「主語」 |
| avais d'être アヴ・エ・テール | 1 単半・確信・時制の一致(avoir de+不定詞 être) | |
| v.i ～に違いない | | 「動詞」 |
| avoir à (de) +不定詞 (確信・必要) 「～に違いない、～しなければならない」 | | |
| de trop, トゥ・トゥ | adj. 余計な | 「補語」 |
| un peu アン・フ | adv. 少し | 「副詞句」 |
| comme un intrus. コム・アン・アントリ | adv. 場違いのような | 「副詞句」 |

しかしその記者は微笑みながら僕に言葉をかけてきた。

Pourtant, le journaliste s'est adressé à moi en souriant.

| | | |
|--------------------------|---------------------------------|---------|
| Pourtant, プルトン | adv. しかし | 「副詞」 |
| le journaliste ル・ジユルナリスト | n.m その記者は | 「主語」 |
| s'est adressé セ・アドレッセ | 3 単現・完了形(adresser)v.t (言葉を) かけた | 「動詞句」 |
| à moi ア・ム | adv. 僕に | 「間接目的語」 |
| en souriant. オン・スリ | ジェロンディフ(sourire)v.i 微笑みながら | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、僕にとって都合よく進むことを願っていると言った。

Il m'a dit qu'il espérait que tout irait bien pour moi.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

espérait エスぺレ 3 単半・時制の一致(espérer)v.t 期待している

「動詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

tout トゥ pron すべてが

「主語」

irait イレ 条・3 単現・過去における未来の推測(aller)

v.i (事が) 進む

「動詞」

bien ビヤン adv. うまい具合に

「副詞」

pour moi. プール・ムわ adv. 僕にとって

「副詞句」

僕が礼を言うと、彼は付け加えた。「実は、あなたの事件を少し大袈裟に取り上げたのです。

夏は新聞にとって暇な季節ですから」

Je l'ai remercié et il a ajouté: «Vous savez, nous avons monté un peu votre affaire. L'été, c'est la saison creuse pour les journaux.

「主語」「目的語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」: 《「主語」「動詞」,

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron 彼に

「目的語」

ai remercié エルメルシエ 1 単現・完了形(remercier)v.t 礼を言った

「動詞句」

et エ conj. すると

il イル pron 彼は

「主語」

a ajouté: ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた

「動詞句」

«Vous ヴェ pron あなたは

「主語」

savez, サヴェ 2 複現(savoir)v.t 知っている

「動詞」

「呼びかけ」 ご承知の通り、実は

nous ヌ pron 私たちは

「主語」

avons monté アヴォン・モンテ 1 複現・完了形(monter)v.t (高いところに) もち上げた

「動詞句」

un peu アン・プ adv. 少し

「副詞句」

votre affaire. ヴォトル・アフエル n.f あなたの事件を

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|------------------------------------|---------------|-------|
| L'été, レテ n.m | 夏は | 「副詞句」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| la saison ラ・セゾン n.f | 季節 | 「補語」 |
| creuse クルーズ adj.f(creux) | 空いている、暇な | 「形容詞」 |
| pour les journaux. プール・レ・ジュール adv. | 新聞にとって | 「副詞句」 |
| journauxジュール pl.n.m(journal) n.m | 新聞、新聞社、ニュース番組 | |

「そして、いづらか価値がありそうなのは、あなたの事件と親殺しだけだったのです。」

Et il n'y avait que votre histoire et celle du parricide qui vaillent quelque chose.»

《Et 「動詞句」「目的語」「主語」》

| | | |
|---|--------------------------|--------|
| Et エ conj. | そして | |
| il n'y avait que イル・ニ・アヴ・エ・キ 3 単半・否定・限定・存在(il'y avoir+ne...que) | | |
| v.t | ～しかなかった | 「動詞句」 |
| votre histoire ヴォトル・イストワール n.f | あなたの事件 | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| celle セル pron | 事件 | 「目的語」 |
| du parricide ジュ・パリス・ト adj. | 親殺しの | 「形容詞句」 |
| qui キ pron.pl | (主語、先行詞なしで) ～は | 「主語」 |
| vaillent ヴァユ 接・3 複現・推量(valoir)v.i | 価値があると思われる | 「動詞」 |
| | 価値を示す名詞が「補語」になる | |
| quelque chose.》 ケルク・ショーズ n.f | いづらか | 「補語」 |
| <u>Combien vaut cette bague? --- Ça vaut dix mille francs.</u> | | |
| | その指輪はいくらですか? — 1 万フランです。 | |

それから彼は、今離れて来た 1 団の中で、黒縁の馬鹿でかい眼鏡をかけて、太ったイタチみたいな感じの小柄な男を僕に指し示した。

Il m'a montré ensuite, dans le groupe qu'il venait de quitter, un petit bonhomme qui ressemblait à une belette engraisée, avec d'énormes lunettes cerclées de noir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

| | | |
|--------------------------------------|-----------|---------|
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a montré ア・モントレ 3 単現・完了形(montrer)v.t | 指し示した | 「動詞句」 |
| ensuite, オンシュイット adv. | それから | 「副詞」 |
| dans le groupe トン・ル・グルプ adv. | 1 団の中で | 「副詞句」 |
| qu' ク pron | (目的語) ～する | 「形容詞節」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

il イル pron 彼が 「主語」
 venait de quitter, ヴネ・ドゥ・キテ 3 単半・近接過去(venir de+不定詞)
 v.t 離れてきたばかり 「動詞句」
 un petit bonhomme アン・プティ・ボンム n.m 小柄な男を 「直接目的語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 ressemblait ルンブレ 3 単半(ressembler)v.i(à に) 似ている 「動詞」
 à une belette engraisée, ア・ユヌ・ベレット・オングレセ
 adv. 太ったイタチに 「補語」
 avec d'énormes lunettes アヴェ・エッキ・テルム・リュネット
 adv. (様態) 馬鹿でかい眼鏡をかけた 「副詞句」
 cerclées セルクレ 過去分詞 f.pl(cercler)
 adj. 輪をはめられた 「形容詞句」
 de noir. ドゥ・ヌワール adj. 黒の 「形容詞句」
 → 黒縁の

彼は僕に、あれはパリのある新聞社の特派員だと教えてくれた：

Il m'a dit que c'était l'envoyé spécial d'un journal de Paris:

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 c' ス pron これは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 l'envoyé spécial ロンヴェ・ワエ・スペシャル n.m 特派員 「補語」
 envoyé オンヴェ・ワエ n.m 派遣員 spécial スペシャル adj. 特別の
 d'un journal ダン・ジュルナル adj. ある新聞社の 「形容詞句」
 de Paris: ドゥ・パリ adj. パリの 「形容詞句」

「もともと、彼はあなたの件で来た訳ではありませんが」

«Il n'est pas venu pour vous, d'ailleurs.

«「主語」「動詞句」「副詞句」»

«Il イル pron 彼は 「主語」
 n'est pas venu ネ・パ・ウニユ 3 単現・完了形・否定(venir)v.i 来た訳ではない 「動詞句」
 pour vous, プール・ウヴ adv. あなたの件で 「副詞句」
 d'ailleurs. ダイユール adv. もともと、ただし、さらに 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「しかし、彼は親殺しの裁判を報告する任務を受けて来たのですが、あなたの事件も同時に電報で送るように命じられたのです」

Mais comme il est chargé de rendre compte du procès du parricide, on lui a demandé de câbler votre affaire en même temps.»

《Mais 「副詞節」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 「補語」》

Mais メ conj. しかし

comme コム conj. (同時性の強調) (ちょうど) ~の時に 「副詞節」

il イル pron 彼は 「主語」

est chargé エ・シャルジュ 3 単現・受動(charger)

v.t(de+不定詞) ~する任務を受けていた 「動詞句」

de rendre トゥ・ロントル 不定詞 v.t 届ける、送る 「動詞句」

compte コント n.m 報告 「目的語」

du procès ジュ・プロセ adj. 裁判の、経過の 「形容詞句」

du parricide, ジュ・パリスト adj. 親殺しの 「形容詞句」

on オン pron 会社が 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「目的語」

a demandé ア・デマンド 3 単現・完了形(demander)v.t(SV à qn de+不定詞)

v.t ~することを頼んだ 「動詞句」

「主語」が on の文は、受動態に翻訳する

de câbler デ・カブレ 不定詞・lui の動作 v.t 電報を打つ 「補語」

votre affaire ヴォトル・アフェール n.f あなたの事件を 「目的語」

en même temps. オン・メーム・トン adv. 同時に 「副詞句」

ここでまた、危うく彼に札を言うところだった。しかし、それはおかしいと思い留まった。

Là encore, j'ai failli le remercier. Mais j'ai pensé que ce serait ridicule.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」 | Mais 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Là encore, ラ・オンコール adv. ここでまた 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai failli エ・ファリ 1 単現・完了形・危うく (faillir+不定詞)v.i ~するところだった 「動詞句」

le ル pron 彼に 「目的語」

remercier. ルメルシエ 不定詞 v.t 札を言う 「動詞句」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 思った 「動詞句」

que ク conj. ~ということ 「目的語」

ce ス pron それは 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

serait スレ 条・3 単現・推量(être)v.i ~だろう

「動詞」

ridicule. リデ`ィキュル adj. おかしな、ばかげた

「補語」

彼は、手で挨拶をして、僕たちのところを離れた。僕たちはさらに数分待った。

Il m'a fait un petit signe cordial de la main et nous a quittés. Nous avons encore attendu quelques minutes.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「目的語」「動詞句」

「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (行動を) した

「動詞句」

un petit signe アン・プ`ティ・シーニュ n.m 小さな身振りを

「直接目的語」

cordial コルディアル adj. 心からの

「形容詞」

de la main ト`ゥ・ラ・マン adv. (手段) 手で

「副詞句」

et エ conj. そして

nous ヌ pron 僕たちのところを

「目的語」

a quittés. ア・キテ 3 単現・完了形.pl(quitter)v.t 離れた、去った

「動詞句」

Nous ヌ pron 僕たちは

「主語」

avons encore attendu アヴ`オン・オンコール・アトンジュ 1 複現・完了形(attendre)

v.i さらに待った

「動詞句」

quelques minutes. ケルク・ミニットゥ pl.n.f 数分間

「副詞句」

僕の弁護士が、法服を着て、沢山の同僚に取り囲まれて到着した。

Mon avocat est arrivé, en robe, entouré de beaucoup d'autres confrères.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Mon avocat モン・アヴ`ォカ n.m 僕の弁護士が

「主語」

est arrivé, エ・アリヴ`ェ 3 単現・完了形(arriver)v.i 到着した

「動詞句」

en robe, オン・ローブ` adv. (服装) 法服を着て

「副詞句」

robe ローブ` n.f (弁護士の) 法服、ガウン、(聖職者の) 僧服、法衣

entouré オントゥレ 過去分詞・受動(entourer)adj. 取り囲まれて

「副詞句」

de beaucoup d'autres confrères. ト`ゥ・ボク・ド`オートル・コンフレール

adv. (動作主) 沢山の同僚たちに

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は記者たちの方へ行き、握手を交わした。

Il est allé vers les journalistes, a serré des mains.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

est allé エ・タレ 3 単現・完了形(aller)v.i 行った

「動詞句」

vers les journalistes, ヴェール・レ・ジュルナリストゥ adv. (空間・方向) 記者たちの方へ

「副詞句」

a serré ア・セレ 3 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた、握手した

「動詞句」

des mains. デ・マン pl.n.f 手を

「目的語」

彼らは、冗談を言い、笑い、すっかりくつろいだ様子だったが、その内、法廷内にベルの音が鳴り響いた。皆は自分の座席に戻った。

Ils ont plaisanté, ri et avaient l'air tout à fait à leur aise, jusqu'au moment où la sonnerie a retenti dans le prétoire. Tout le monde a regagné sa place.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」 et 「動詞」「目的語」, 「副詞節」

「主語」「動詞句」「目的語」

Ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

ont plaisanté, オン・プレザンテ 3 複現・完了形(plaisanter)v.i 冗談を言った

「動詞句」

ri リ 3 複現・完了形(rire)v.i 笑った

「動詞句」

et エ conj. そして

avaient アヴェ 3 複半(avoir)v.t (特徴を) していた

「動詞」

l'air レール n.m 様子を

「目的語」

tout à fait トゥ・タ・フェ adv. 全く、完全に

「副詞句」

à leur aise, ア・レール・エーズ adv. くつろいだ

「形容詞句」

jusqu'au moment où +直説法 ジュスコ・モモン・ウ conj. ~するまで

「副詞節」

la sonnerie ラ・ソヌリ n.f (ベルの) 音が

「主語」

a retenti ア・ルトンチ 3 単現・完了形(retentir)v.i 鳴り響いた

「動詞句」

dans le prétoire. トン・ル・プレトワール adv. 法廷内に

「副詞句」

Tout le monde トゥ・ル・モント n.m 皆は

「主語」

a regagné ア・ルガニエ 3 単現・完了形(regagner)v.t 戻った

「動詞句」

sa place. サ・プラス n.f 自分の座席に

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の弁護士が僕のほうへやって来て、僕と握手した。それから、質問には手短に答えることと、自分から率先して喋らないこと、そしてその後は彼に任せるようにと僕に助言した。

Mon avocat est venu vers moi, m'a serré la main et m'a conseillé de répondre brièvement aux questions qu'on me poserait, de ne pas prendre d'initiatives et de me reposer sur lui pour le reste.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
et 「目的語」「動詞句」「補語」

Mon avocat モン・アヴカ n.m 僕の弁護士が 「主語」
est venu エ・ヴァニュ 3 単現・完了形(venir)v.i やって来た 「動詞句」
vers moi, ヴェール・ムワ adv. 僕の方へ 「副詞句」
m' ム pron 僕の 「間接目的語」
a serré ア・セレ 3 単現・完了形(serrer)v.t 握りしめた 「動詞句」
la main ラ・マン n.f 手を 「直接目的語」
et エ conj. そして
m' ム pron 僕に 「目的語」
a conseillé ア・コンセイイエ 3 単現・完了形(conseiller)
v.t(de+不定詞 ~するようにと) 助言した 「動詞句」
de répondre ド・カ・レポントル 不定詞・me の動作 v.i(à に) 答える 「補語」
brièvement ブリエヴモン adv. 手短に 「副詞」
aux questions オ・ケスチョン adv. 質問に 「副詞句」
qu' ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
on オン pron 人が 「主語」
me ム pron 僕に 「間接目的語」
poserait, ポスレ 条・3 単現・仮定(poser)v.t (質問を) する 「動詞」
de ne pas prendre ド・カ・ヌ・パ・プロントル 不定詞・否定・me の動作 v.t ~を取らない 「補語」
d'initiatives デ・イニシアティヴ n. 率先した発言 「目的語」
et エ conj. そして
de me reposer ド・カ・ム・ル・ポセ 不定詞・me の動作(se reposer)v.pr(sur に) 任せる 「補語」
sur lui シュール・リュイ adv. 彼に 「副詞句」
pour le reste. プール・ル・レスト adv. あとは、残りは 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の左側で、誰かが椅子を引く音が聞こえた。見ると、赤い法服をきて、鼻眼鏡をかけた大柄でやせた男が、注意深く法服を折りたたみながら座るところだった。

A ma gauche, j'ai entendu le bruit d'une chaise qu'on reculait et j'ai vu un grand homme mince, vêtu de rouge, portant lorgnon, qui s'asseyait en pliant sa robe avec soin.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」
A ma gauche, ア・マ・ゴ-シュ adv. 僕の左側で 「副詞句」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形(entendre)v.t 聞こえた 「動詞句」
le bruit ル・ブリュイ n.m 物音が 「目的語」
d'une chaise シュヌ・シェ-ス adj. 椅子の 「形容詞句」
qu' ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
on オン pron 誰かが 「主語」
reculait ルキュレ 3 単半・時制の一致(reculer)
v.t 下げる、引く 「動詞」
et エ conj. そして
j' ジュ pron 僕は 「主語」
ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t 見えた 「動詞句」
un grand homme mince, アン・グロム・ノム・マンヌ n.m 大柄でやせた男が 「目的語」
vêtu ヴェチュ adj.(de を) 着た 「形容詞句」
de rouge, ド・ウ・ルージュ adv. 赤い法服を 「間接目的語」
portant lorgnon, ポルトン・ロルニオン 現在分詞句(porter+ lorgnon)
adv. 鼻眼鏡をかけた 「副詞句」
qui キ pron (主語) それが~する 「形容詞節」
s'asseyait サエイ 3 単半(s'asseoir)v.pr 座っていた 「動詞句」
en pliant オン・プリオン ジェロンディフ(plier)
adv. 折りたたみながら 「副詞句」
sa robe サ・ローブ n.f 法服を 「目的語」
avec soin. アヴェッキ・スワン adv. 注意深く、入念に 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それが検事だった。廷吏（ていり）が裁判官の入廷を告げた。同時に、2台の大型扇風機が大きな音を立て始めた。

C'était le procureur. Un huissier a annoncé la cour. Au même moment, deux gros ventilateurs ont commencé de vrombir.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」
 C' ス pron それが 「主語」
 était エ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 le procureur. ル・プ ロキュレ n.m 検事 「補語」
 Un huissier アン・ユイッシェ n.m 廷吏（ていり）が 「主語」
 a annoncé ア・アノンセ 3 単現・完了形(annoncer)v.t 告げた 「動詞句」
 la cour. ラ・クール n.f 裁判官 「目的語」
 Au même moment, オ・メーム・モモン adv. 同時に 「副詞句」
 deux gros ventilateurs トゥ・グロ・ヴァンチラテル pl.n.m 2台の大型扇風機が 「主語」
 ont commencé de vrombir. オン・コモンセ・トゥ・ヴロンビール 3 複現・完了形・開始
 (commencer de+不定詞)v.i 大きな音を立て始めた 「動詞句」

廷吏（ていり）:

法廷において、法廷内の秩序維持、事件の呼び上げ、当事者の出廷カードへの記入、書類のやりとりの仲介、その他裁判官の命ずる事務を行う者。裁判所事務官の官名を有する職員の中から、廷吏が補職されていたが、現在は、裁判所事務官が配置されている。

2人は黒服そして1人は赤服を着た、3人の裁判官が書類を抱えて入ってきて、法廷を見下ろす裁判官席へ足早に進んでいった。

Trois juges, deux en noir, le troisième en rouge, sont entrés avec des dossiers et ont marché très vite vers la tribune qui dominait la salle.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」「間接目的語」
 Trois juges, トゥルワ・ジュージュ pl.n.m 3人の裁判官が 「主語」
 deux en noir, トゥ・オン・ヌワール pron 黒服を着た2人 「形容詞句」
 le troisième ル・トゥルワジュエム pron 3人目は 「形容詞句」
 en rouge, オン・ルーージュ adv. 赤服で 「副詞」
 sont entrés ヲン・オントレ 3 複現・完了形(entrer)v.i 入ってきた 「動詞句」
 avec des dossiers アヴェク・デ・ドゥッシェ adv. 書類を持って 「副詞句」
 et エ conj. そして
 ont marché オン・マルシェ 3 複現・完了形(marcher)v.i(vers) に向かって進んだ 「動詞句」
 très vite トレ・ヴィット adv. 足早に 「副詞句」
 vers la tribune ヴェール・ラ・トリビュヌ adv. 裁判官席のほうへ 「間接目的語」
 qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

dominait トミネ 3 単半・時制の一致(dominer)v.t 見下ろす 「動詞」
la salle. ラ・サル n.f 法廷を 「目的語」



参考：日本の法廷内の配置例

赤服の裁判官が中央の肘掛椅子に座り、縁なし帽を自分の前に置き、小振りな禿げ頭をハンカチで拭いてから、開廷を宣言した。

L'homme en robe rouge s'est assis sur le fauteuil du milieu, a posé sa toque devant lui, essuyé son petit crâne chauve avec un mouchoir et déclaré que l'audience était ouverte.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」,
「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「動詞句」「目的語」

L'homme ロム n.m 男性、裁判官が 「主語」
ここでは既に裁判官であることが分かっているから、L'homme で代用している。
en robe rouge オン・ローブ・ルージュ adv. 赤服を着た 「副詞句」
s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」
sur le fauteuil シュール・ル・フォートユ adv. 肘掛椅子に 「副詞句」
du milieu, シュ・ミユ adj. 中央の 「形容詞句」
a posé ア・ポゼ 3 単現・完了形(poser)v.t 置いた 「動詞句」
sa toque サ・トキ n.f 縁なし帽を 「目的語」
devant lui, トゥヴァン・リュイ adv. 自分の前に 「副詞句」
essuyé エシユエ 3 単現・完了形(essuyer)v.t 拭いた 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| a(avoir の3単現) が共用されている (a+過去分詞) | |
| son petit crâne chauve ソン・プチ・クラヌ・ショウヴ n.m 小振りな禿げ頭を | 「目的語」 |
| crâne クラヌ n.m 頭 chauve ショウヴ adj. 禿げた | |
| avec un mouchoir アヴ・ェッキ・アン・ムシュワール adv. (手段) ハンカチで | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| déclaré デクラレ 3単現・完了形(déclarer)v.t 宣言した | 「動詞句」 |
| a(avoir の3単現) が共用されている (a+過去分詞) | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| l'audience ロジヤンス n.f (刑事事件の) 審問が | 「主語」 |
| était ouverte. エテ・ウヴェルトゥ 3単半・受動.f(ouvrir)v.t 開かれた | 「動詞句」 |

記者たちはすでに手に万年筆を持っていた。彼らは皆同じように無関心で少し皮肉っぽい様子をしていた。

Les journalistes tenaient déjà leur stylo en main. Ils avaient tous le même air indifférent et un peu narquois.

| | |
|--|--------|
| 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」「副詞句」 「動詞」「主語」「目的語」 | |
| Les journalistes レ・ジユルナリストゥ pl.n.m 記者たちは | 「主語」 |
| tenaient トゥネ 3複半(tenir)v.t 持っていた | 「動詞」 |
| déjà デジャ adv. すでに、もう | 「副詞」 |
| leur stylo レース・スチロ n.m めいめいの万年筆を | 「目的語」 |
| en main. オン・マン adv. 手に | 「副詞句」 |
| Ils イル pron.pl 彼らは | 「主語」 |
| avaient アヴェ 3複半(avoir)v.t (様子を) していた | 「動詞」 |
| tous le même air トゥール・メーム・エール n.m みな同様の様子を | 「目的語」 |
| indifférent アンディフェロン adj. 無関心な | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| un peu narquois. アン・プ・ナルクワ adj. 少し皮肉っぽい | 「形容詞句」 |

ところが彼らの中で青のネクタイにグレーのフラノの服を着た、かなり若い記者が万年筆を自分の前に置いたままで、僕をじっと見つめていた。

Pourtant, l'un d'entre eux, beaucoup plus jeune, habillé en flanelle grise avec une cravate bleue, avait laissé son stylo devant lui et me regardait.

| | |
|--|--------|
| 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「目的語」「動詞」 | |
| Pourtant, プルトン adv. けれども、しかし | 「副詞」 |
| l'un d'entre eux, ラン・ドントル・ウー pron 彼らの一人が | 「主語」 |
| beaucoup plus jeune, ホク・プリュ・ジュヌ adj. とても若い | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| habillé アビエ 過去分詞・受動(habiller)adj. (服を) 着た | 「形容詞句」 |
| en flanelle grise オン・フラネル・グリース | |
| adv. (材料) グレーのフラノの | 「副詞句」 |
| avec une cravate bleue, アヴェ・エッキ・エヌ・クラヴァット・ブル | |
| adv. (様態) 青のネクタイをして | 「副詞句」 |
| avait laissé アヴェ・レッセ 3 単半・完了形(laisser)v.t 置いた | 「動詞句」 |
| 万年筆を置いたままにする → 取材の動作が見られないということ | |
| son stylo ソン・スチロ n.m 万年筆を | 「目的語」 |
| devant lui トゥ・ウ・オン・リュイ adv. 自分の前に | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| regardait. ルギヤルテ 3 単半(regarder)v.t 見つめた | 「動詞」 |

少し非対称な彼の顔には、明確な感情を表に出さず、注意深く僕を観察しているととても澄んだ2つの目だけしか見えなかった。

Dans son visage un peu asymétrique, je ne voyais que ses deux yeux, très clairs, qui m'examinaient attentivement, sans rien exprimer qui fût définissable.

| | |
|---|-------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| Dans son visage トン・ソン・ヴィザージュ adv. 彼の顔には | 「副詞句」 |
| un peu asymétrique, アン・プ・アシメトリキ adj. 少し左右非対称な | 「形容詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne voyais que ヌ・ウ・ワイエ・ク 1 単半(voir)v.t ~しか見えなかった | 「動詞句」 |
| ses deux yeux, セ・トゥ・ウ・ジュ pl.n.m 2つの目 | 「目的語」 |
| très clairs, トレ・クレール adj. とても澄んだ | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) ~する | 「形容詞節」 |
| m' ム pron 僕を | 「目的語」 |
| examinaient エグザミネ 3 複半(examiner)v.t 観察していた | 「動詞」 |
| attentivement, アトンチガモン adv. 注意深く | 「副詞」 |
| sans rien exprimer ソン・リヤン・エクスプリメ adv. 何も表さずに | 「副詞句」 |
| qui キ pron (同格) ~という | 「形容詞節」 |
| fût フュ 接・3 単半・推量(être)v.i ~だった | 「動詞」 |
| définissable. デフィニサーブル | |
| adj. 明確な、定義できる | 「補語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それで、僕はまるで自分自身に見つめられているような奇妙な印象を受けた

Et j'ai eu l'impression bizarre d'être regardé par moi-même.

Et 「主語」「動詞句」「目的語」

Et エ conj. そして、それで

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai eu エ・ユ 1 単現・完了形(avoir)v.t. ～を持った

「動詞句」

l'impression ランプレシヨン n.f. 印象を

「目的語」

bizarre ビザール adj. 奇妙な

「形容詞」

d'être regardé デートル・ルギャレ 不定詞・受動・同格(regarder)

adj. 見られているという

「形容詞句」

par moi-même. パール・ムわ・メル adv. (動作主) 僕自身に

「副詞句」

多分このせいと、僕が法廷での作法を知らなかったために、続いて行われた陪審員のくじ引きや、弁護士や検事や陪審員に対する裁判長の質問(そのたびにすべての陪審員の顔が裁判官のほうに振り返った)と聞き覚えのある場所や人の名前と僕の弁護士に対する新しい質問も含まれている起訴状の早口の朗読などの一切はあまり理解できなかった。

C'est peut-être pour cela, et aussi parce que je ne connaissais pas les usages du lieu, que je n'ai pas très bien compris tout ce qui s'est passé ensuite, le tirage au sort des jurés, les questions posées par le président à l'avocat, au procureur et au jury (à chaque fois, toutes les têtes des jurés se retournaient en même temps vers la cour), une lecture rapide de l'acte d'accusation, où je reconnaissais des noms de lieux et de personnes, et de nouvelles questions à mon avocat.

「主語」「動詞」「副詞句」 et 「副詞句」 que 「主語」「動詞句」「目的語」

C' ス pron これは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i. ～である

「動詞」

peut-être プ・テートル adv. たぶん、きっと

「副詞」

pour cela, プール・スラ adv. (原因) このために、このせいで

「副詞句」

et エ conj. そして

aussi オシ adv. ～もまた

「副詞」

parce que パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne connaissais pas ノ・コネ・パ 1 単半・否定(connaître)v.t. 知らなかった 「動詞句」

les usages レ・ユサージュ pl.n.m. 習慣、慣例、作法

「目的語」

du lieu, ジュ・リュ adj. この場所の、法廷での

「形容詞句」

que ク conj. (結果) それで～する

je ジュ pron 僕は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

n'ai pas très bien compris ネ・パ°・トレ・ビヤン・コンプリ 1 単現・完了形・否定(*comprendre*)

v.t あまりよく理解できなかった

「動詞句」

tout ce トゥ・ス pron このすべてのことを

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

s'est passé セ・パ°ッセ 3 単現・完了形(*se passer*)v.pr 起こった

「動詞句」

ensuite, オンシュイト adv. 続いて、その後に

「副詞」

le tirage ル・ティラージュ n.m くじ引き

「目的語」

au sort des jurés, オ・ソール・デ・ジュレ adj. 陪審員の

「形容詞句」

les questions レ・ケスチオン pl.n.f 質問

「目的語」

posées ポ°セ 過去分詞・受動(*poser*)

adj.f.pl 提起された

「形容詞」

par le président パ°ル・ル・プレジダン

adv. (動作主) 裁判長によって

「副詞句」

à l'avocat, ア°ラウ°カ adv. 弁護士に対して

「間接目的語」

au procureur オ°プ°ロキュレ adv. 検事に対して

「間接目的語」

et エ conj. そして

au jury オ°ジュリ adv. 陪審員に対して

「間接目的語」

(à chaque fois, ア°シャッキ°フワ adv. 毎回、そのたびに

「副詞句」

toutes les têtes トット°レ°テット pl.n.f すべての顔が

「主語」

des jurés デ°ジュレ adj. 陪審員の

「形容詞句」

se retournaient ス°ルトウルネ 3 複半(*se retourner*)

v.pr 振り返った

「動詞句」

en même temps オン°メム°トン adv. 同時に

「副詞句」

vers la cour), ヴ°ェール°ラ°クール adv. 裁判官のほうへ

「副詞句」

une lecture rapide ユンヌ°レクチュール°ラビ°ット° n.f 早口の朗読

「目的語」

de l'acte d'accusation, ト°ウ°ラクトゥ°ダ°キュサ°ション

adj. 起訴状の

「形容詞句」

acte アクトゥ n.m 証書 accusation アキュサ°ション n.f 起訴

acte d'accusation アクトゥ°ダ°キュサ°ション n.m 起訴状

où ウ adv. そこに～する

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

reconnaissais ルコネッセ 1 単半(*reconnaître*)v.t 覚えていた

「動詞」

des noms デ°ノム pl.n.m 名前

「目的語」

de lieux ト°ウ°リュ adj. 場所の

「形容詞句」

et エ conj. そして

de personnes, ト°ウ°ペ°ルソンヌ adj. 人の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et エ conj. そして

de nouvelles questions トゥ・ヌヴェル・クエスチオン

pl.n.f 新しい質問

「目的語」

à mon avocat. ア・モン・アヴァカ

adv. 僕の弁護士に対する

「副詞句」

しかし裁判長は、これから証人の点呼にとりかからせる、と言った。

Mais le président a dit qu'il allait faire procéder à l'appel des témoins.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

le président ル・プレジダン n.m 裁判長は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

allait faire アレ・フェール 3 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞・使役 faire)

v.t(+不定詞) ～させるするつもりだ

「動詞句」

procéder プロセデール 不定詞 v.i(à に) とりかかる

「動詞句」

à l'appel ア・ラペル adv. 呼び出し、点呼に

「間接目的語」

des témoins. デ・テムワソ adj. 証人の

「形容詞句」

廷吏が証人の名前を読み上げたが、その名前が僕の注意を引いた。

L'huissier a lu des noms qui ont attiré mon attention.

「主語」「動詞句」「目的語」

L'huissier リュイシエ n.m 廷吏が

「主語」

a lu ア・リュ 3 単現・完了形(lire)v.t 読み上げた

「動詞句」

des noms デ・ノム pl.n.m 名前を

「目的語」

qui キ pron.pl (主語) ～する

「形容詞節」

ont attiré オン・アトレ 3 複現・完了形(attirer)v.t 引き付けた

「動詞句」

mon attention. モン・アトシオン n.f 僕の注意を、関心を

「目的語」

先程まで雑然としていた聴衆の中から、養老院の院長と門番、トマ・ペレーズ老人、レーモン、マソン、サラマノ老人、そしてマリーが順に立ち上がり、その後、脇の扉を通して消えて行くのが見えた。

Du sein de ce public tout à l'heure informe, j'ai vu se lever un à un, pour disparaître ensuite par une porte latérale, le directeur et le concierge de l'asile, le vieux Thomas Pérez, Raymond, Masson, Salamano, Marie.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| Du ジュ adv.(de le) 〜から | 「副詞句」 |
| sein シン n.m 中心部、内部 | 「目的語」 |
| de ce public トゥ・ス・ピュブリク adj. 聴衆の | 「形容詞句」 |
| tout à l'heure トゥ・タ・レール adv. 先ほどは | 「副詞句」 |
| informe, アンフォルム adj. 形をなさない | 「形容詞」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形・知覚動詞(voir)v.t 見えた | 「動詞句」 |
| se lever ス・ルヴェ 不定詞・un の動作 v.pr 立ち上がる | 「補語」 |
| un à un, アン・ナ・アン pron 一人ずつが | 「目的語」 |
| pour disparaître プール・ディスパレール 不定詞・結果 v.i そして消えていった | 「動詞句」 |
| ensuite オンシュイット adv. それから | 「副詞」 |
| par une porte パール・コンヌ・ポルト adv. 扉を通して | 「副詞句」 |
| latérale, ラテラル adj. 横の、脇の | 「形容詞」 |
| le directeur ル・ディレクテール n.m 院長 | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| le concierge de l'asile, ル・コンシエルジュ・トゥ・ラジール n.m 養老院の門番 | 「目的語」 |
| le vieux Thomas Pérez, ル・ヴィエイユ・トマス・ペレ n.m トマ・ペレーズ老人 | 「目的語」 |
| Raymond, レモン n.m レーモン | 「目的語」 |
| Masson, マソン n.m マソン | 「目的語」 |
| Salamano, サラマノ n.m サラマノ老人 | 「目的語」 |
| Marie. マリー n.m マリー | 「目的語」 |

マリーは僕に、心配そうに小さく合図をした。

| | |
|--|-------------------------|
| <u>Celle-ci m'a fait un petit signe anxieux.</u> | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Celle-ci セルシ pron (列挙した中の最後の人) マリーは | 「主語」 |
| celui-ci, celle-ci, ceux-ci, celles-ci こちらのもの (人)、次のこと、後者 | |
| celui-là, celle-là, ceux-là, celles-là あちらのもの (人)、既に述べたこと、前者 | |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した | 「動詞句」 |
| un petit signe アン・プティ・シニユ n.m 小さい合図を、身振り、表情 | 「直接目的語」 |
| anxieux. アンクシユ adj. (副詞的) 心配している | 「形容詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

もっと早く彼らに気づかなかったことに驚いていると、最後に名前を呼ばれて、セレステが立ち上がった。

Je m'étonnais encore de ne pas les avoir aperçus plus tôt, lorsque à l'appel de son nom, le dernier, Céleste, s'est levé. 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 m'étonnais ムネ 1 単半(s'étonner)v.pr(de+不定詞 ~して) 驚いていた 「動詞句」
 s'étonner de qch 「～に驚く」 s'étonner de+不定詞 「～して驚く」
 Je me suis étonné de son ignorance. 私は彼の無知に驚いた。
 Il s'est étonné de la rencontrer. 彼は彼女に出会って驚いた。
 encore オンコール adv. また、再び 「副詞」
 de ne pas les avoir aperçus トゥ・ヌ・パ・レ・ザラ わ・ル・アペ ルシュ 不定詞・完了形・否定
 (apercevoir+les)adv. 彼らに気づかなかった事に 「副詞句」
 plus tôt, プリュト adv. もっと早く 「副詞句」
 lorsque à ロルスキ・ア prep (時点) ~すると、～の時に 「副詞句」
 l'appel ラペル n.m 呼び出し 「目的語」
 de son nom, トゥ・ソ・ノム adj. 彼の名前の 「形容詞句」
 le dernier, ル・テルニエ adv. 最後に 「副詞句」
 Céleste, セステ n.m セレステが 「主語」
 s'est levé. セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

彼の隣に、レストランのあの小柄で几帳面な女が、例のジャケットを着て、相変わらず几帳面で決然とした様子で座っているのが見えた。

J'ai reconnu à côté de lui la petite bonne femme du restaurant, avec sa jaquette et son air précis et décidé. 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai reconnu エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 認めた、見えた 「動詞句」
 à côté de lui ア・コテ・トゥ・リュイ adv. 彼の隣に 「副詞句」
 la petite bonne femme ラ・プティット・ボンヌ・ファム n.f あの小柄で几帳面な女が 「目的語」
 du restaurant, ジュ・レストロン adj. レストランの 「形容詞句」
 avec アヴェツキ adv. (様態) ~をして 「副詞句」
 sa jaquette サ・ジャケット n.f ジャケットを 「目的語」
 et エ conj. そして
 son air ソン・エール n.m 様子 「目的語」
 précis プレシ adj. 正確な、几帳面な 「形容詞」
 et エ conj. そして
 décidé. デシデ adj. 決然とした 「形容詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼女は、僕を食い入るように見つめていた。しかし、裁判長が話し始めたので、僕にはあれこれ考えている時間がなかった。

Elle me regardait avec intensité. Mais je n'ai pas eu le temps de réfléchir parce que le président a pris la parole.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」 | Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」
 Elle エル pron 彼女は 「主語」
 me ム pron 僕を 「目的語」
 regardait ルギャルテ 3 単半(regarder)v.t 見つめていた 「動詞」
 avec intensité. アヴェッキ・アントシテ adv. (様態) 激しく、食い入るように 「副詞句」
 Mais メ conj. しかし
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai pas eu ネ・パ・ジュ 1 単現・完了形・否定(avoir)v.t ～がなかった 「動詞句」
 le temps de réfléchir ル・トン・トゥ・レフジール n.m 考えている時間が 「目的語」
 parce que パルス・キ conj. ～なので 「副詞節」
 le président ル・プレジトソン n.m 裁判長が 「主語」
 a pris ア・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t (言葉を) 言った 「動詞句」
 la parole. ラ・パ・ロール n.f 発言を、言葉を 「目的語」

彼は、実際の審議を始めるが、傍聴人に静粛を求める必要はないと信じる、と言った。

Il a dit que les véritables débats allaient commencer et qu'il croyait inutile de recommander au public d'être calme.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 les véritables débats レ・ヴァリターブル・デバ pl.n.m 実際の審議が 「主語」
 allaient commencer アレ・コモンセ 3 複半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞)
 v.i 始まるころだ 「動詞句」
 et エ conj. そして
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 croyait クワイ 3 単半・時制の一致(croire)
 v.t(+C+de+不定詞 ～することはCだと) 信じている 「動詞」
 inutile イヌイル adj. 無用の 「補語」
 de recommander トゥ・ル・コモンテ 不定詞 n. ～を勧告することは 「目的語」
 au public オ・ビュブリック adv. 傍聴者に 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

d'être デートル 不定詞・public の動作 v.i ~でいる 「補語」

calme. カム adj. 静かな 「補語」

彼の説明によれば、彼が客観的に考察したいと望んでいる事件の審議について、公平に指揮をとるために裁判長の席ににいるということだ。

Selon lui, il était là pour diriger avec impartialité les débats d'une affaire qu'il voulait considérer avec objectivité. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Selon スロン pron ~によれば 「副詞句」

lui, リュイ pron 彼に 「目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

était エテ 3 単半・存在(être)v.i ~いた 「動詞」

là ラー adv. そこに 「副詞」

pour +不定詞 プール adv. (目的) ~するために 「副詞句」

diriger デイリジエ 不定詞 v.t 指揮する 「動詞」

avec impartialité アヴェェッキ・アンパルシヤリテ adv. 公平さを持って 「副詞句」

les débats レ・デバ pl.n.m 審議を 「目的語」

d'une affaire シュンヌ・アフエール adj. 事件の 「形容詞句」

qu' ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

voulait considérer ヴレ・コンシテレ 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 考察したいと望んでいる 「動詞句」

avec objectivité. アヴェェッキ・オビジエティウイテ

adv. 客観性をもって 「副詞句」

陪審員から答申される判決は正義の精神に基づいて検討されるであろう。またいずれにせよ、何らかの混乱が生じた場合には退廷を命ずるであろう。

La sentence rendue par le jury serait prise dans un esprit de justice et, dans tous les cas, il ferait évacuer la salle au moindre incident.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 et, 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

La sentence ラ・ソントンス n.f 判決は 「主語」

rendue ロンジュ 過去分詞・受動.f(rendre)adj. 戻される、答申される 「形容詞」

par le jury パール・ル・ジュリ adv. (動作主) 陪審員から 「副詞句」

serait prise スレ・プリーズ 条・3 単現・受動・推量(prendre)

v.t 取り上げられるだろう、考察されるだろう 「動詞句」

dans un esprit トン・サン・エスプリ adv. (様態) 精神において 「副詞句」

de justice トゥ・ジュステイス adj. 正義の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et, エ conj. そして

dans tous les cas, トン・トゥ・レ・カ adv. いずれにせよ、ともかく 「副詞句」

il ferait évacuer イル・フル・エヴァキユ 非人称・条・3 単現・使役・推量(faire+不定詞)

v.t 退廷させることになるだろう 「動詞句」

la salle ラ・サル n.f 法廷を 「目的語」

au moindre incident. オ・ムワントル・アンシトシ

adv. (条件) 何らかの混乱が生じた場合には 「副詞句」

暑くなってきていた。傍聴席には、新聞紙を使って扇いでいる傍聴者たちが目についた。

La chaleur montait et je voyais dans la salle les assistants s'éventer avec des journaux.

「主語」「動詞」 et 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「補語」

La chaleur ラ・シャレール n.f 暑さが 「主語」

montait モンテ 3 単半・継続(monter)v.i 上昇してきた 「動詞」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

voyais ヴェワイ 3 単半・知覚動詞(voir)v.t(SVO+不定詞) O が～するのが見えた 「動詞」

dans la salle トン・ラ・サル adv. 傍聴席では 「副詞句」

les assistants レ・ザシストン pl.n 傍聴者たちが 「目的語」

s'éventer セヴァンテ 不定詞・assistants の動作 v.pr 自分を扇ぐ 「補語」

avec des journaux. アヴェッキ・デ・ジユルノー adv. (手段) 新聞紙で 「副詞句」

journal ジユルナル n.m ([複] journaux) 新聞、新聞紙

新聞紙がしわくちゃになって、かすかな音を立て続けていた。

Cela faisait un petit bruit continu de papier froissé. 「主語」「動詞」「目的語」

Cela スラ pron (新聞紙で仰ぐ動作) これが 「主語」

faisait フェ 3 単半(faire)v.t (音を) 立てた 「動詞」

un petit bruit アン・プティ・ブリユイ n.m かすかな物音を 「目的語」

continu コンチヌ adj.m 連続した 「形容詞」

de papier froissé. トゥ・パピエ・フルワセ

adv. (動作主) しわくちゃにされた紙による 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

裁判長が合図をすると、廷吏が麦藁で編まれたうちわを3個持って来た。それを3人の裁判官はすぐに使った。

Le président a fait un signe et l'huissier a apporté trois éventails de paille tressée que les trois juges ont utilisés immédiatement.

「主語」「動詞句」「目的語」et「主語」「動詞句」「目的語」,
「目的語」「主語」「副詞」「動詞句」

Le président ル・プレジダン n.m 裁判長が 「主語」
a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した 「動詞句」
un signe アン・シーニュ n.m 合図 「目的語」
et エ conj. そして
l'huissier リュイシエ n.m 廷吏が 「主語」
a apporté ア・アポルテ 3 単現・完了形(apporter)v.t 持って来た 「動詞句」
trois éventails de paille トルワ・エヴァンタイユ・ド・パ・ユー
pl.n.m 麦藁で出来たうちわを3個 「目的語」
éventail エヴァンタイユ n.m うちわ、扇子
tressée トレ 過去分詞・受動(tresser)adj.f 編まれた 「形容詞」
paille パ・ユー n.f 麦藁
que ク pron (結果) (目的語 éventails の代用) それを～する 「形容詞節」
les trois juges レ・トルワ・ジュージュ pl.n.m 3 人の裁判官は 「主語」
ont utilisés オン・ウチレ 3 複現・完了形.m.pl(utiliser)v.t 使った 「動詞句」
immédiatement. インメデアットモン adv. すぐに、即座に 「副詞」

僕の尋問がすぐに始まった。

Mon interrogatoire a commencé aussitôt. 「主語」「動詞句」「副詞」

Mon interrogatoire モン・アンテロカートル n.m 僕の尋問が 「主語」
a commencé ア・コンセ 3 単現・完了形(commencer)v.i 始まった 「動詞句」
aussitôt. オスト adv. 直ちに、すぐに 「副詞」

裁判長は穏やかな口調で僕に質問した。僕には思いやりの気配さえも感じられた。

Le président m'a questionné avec calme et même, m'a-t-il semblé, avec une nuance de cordialité.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」et「副詞」「間接目的語」「動詞句」「補語」

Le président ル・プレジダン n.m 裁判長は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a questionné ア・クェスチョネ 3 単現・完了形(questionner)v.t 質問した 「動詞句」
avec calme アヴ・エッキ・カーム adv. (様態) 穏やかな口調で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| et エ conj. そして | |
| même, メム adv. さらに | 「副詞」 |
| m' ム pron 僕には | 「間接目的語」 |
| a-t-il semblé, ア・ティル・ソブレ 3 単現・完了形(sembler)v.i ~に思われた | 「動詞句」 |
| avec une nuance アヴ・ェツキ・コヌ・ニュアンス adv. ニュアンスがある | 「補語」 |
| de cordialité. ドゥ・コルテ・イアリテ adj. 思いやりの | 「形容詞句」 |

僕はまた、氏名や職業などを述べさせられた。僕はいら立ちを覚えたけれど、他人と間違えて判決を下せば重大なことになるだろうから、結局これはまあ妥当なことだと思った。

On m'a encore fait décliner mon identité et malgré mon agacement, j'ai pensé qu'au fond c'était assez naturel, parce qu'il serait trop grave de juger un homme pour un autre.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」 et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

On オン pron 人が 「主語」

「主語」が不特定なので、「目的語」を「主語」とする受動態に翻訳する。

m' ム pron 僕に 「目的語」

a encore fait ア・オンコール・フェ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞 faire+encore)

v.t また～させた 「動詞句」

décliner デクレネ 不定詞・me の動作 v.t 述べる 「補語」

mon identité モン・イデンチテ n.m 氏名や職業などを 「目的語」

et エ conj. そして

malgré マルグレ prep ~にもかかわらず 「副詞句」

mon agacement, モン・アガースモン n.m 私のいら立ち 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que ~だと) 思った 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということ 「目的語」

au fond オ・フォン adv. 結局は、実際は、実は 「副詞句」

話言葉では、dans le fond が使用される

c' ス pron これは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

assez naturel, アセ・ナチュレル adj. まあ妥当な 「補語」

assez アセ adv. (次にくる形容詞・副詞を弱めて) あまりでない、まあ～の方だ

parce qu' パルス・キ conj. ~なので 「副詞節」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は de juger 以降)

serait スレ 条・3 単現・推量(être)v.i ~だろう 「動詞」

trop grave トロ・グラーヴ adj. 非常に重大な 「補語」

de juger ドゥ・ジュジェ 不定詞 n. 裁くことは 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

un homme アン・ム n.m 人を「目的語」

pour un autre. プール・アン・オートル adv. (代理) 他人の代わりに「副詞句」

それから裁判長は、僕がしたことを確認するために段落ごとに僕に問い合わせながら、読み上げを再開した：「これで間違いありませんか？」

Puis le président a recommencé le récit de ce que j'avais fait, en s'adressant à moi toutes les trois phrases pour me demander: «Est-ce bien cela?»

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」：《「動詞句」「補語」「主語」》

Puis ビュイ adv. 次に、それから 「副詞」

le président ル・プレジタン n.m 裁判長は 「主語」

a recommencé ア・ルモンセ 3 単現・完了形(recommencer)v.t 再開した 「動詞句」

le récit ル・レシ n.m 話を 「目的語」

de ce トゥ・ス adj. そのの 「形容詞句」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

avais fait, エヴァ・フェ 1 単半・完了形(faire)v.t やった 「動詞句」

en s'adressant オン・サドレシ ジェロンディフ(s'adresser)v.pr 問い合わせながら 「副詞句」

à moi ア・ムわ adv. 僕に 「間接目的語」

toutes les trois phrases トウト・レ・トゥルワ・フレーズ

adv. 3 フレーズごとに、段落ごとに 「副詞句」

toutes les+時間・距離 「～ごとに、毎～」

pour me demander: プール・ム・トゥモンデ adv. (目的) 僕に尋ねるために 「副詞句」

«Est-ce エ・ス 3 単現・疑問文(être)v.i ～ですか? 「動詞句」

bien ビヤン adj. 良い、正しい、間違いない 「補語」

cela?» スラ pron これは 「主語」

その度に、僕は弁護士の指示に従って答えた：「はい、間違いありません。裁判長殿」

A chaque fois, j'ai répondu: «Oui, monsieur le Président», selon les instructions de mon avocat.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」：《「応答」「呼びかけ」》, 「副詞句」

A chaque fois, ア・シャッキ・フワ adv. 毎回、その度に 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai répondu: エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.i 答えた 「動詞句」

«Oui, ウイ adv. (肯定) 間違いない 「応答」

monsieur le Président», ムシユ・ル・プレジタン adv. 裁判長殿 「呼びかけ」

selon スロン pron ～に従って 「副詞句」

les instructions レ・サンストラクション pl.n.f 指示 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de mon avocat. トゥ・モ・ナヴァ adj. 僕の弁護士の 「形容詞句」

裁判長の話は大変詳細にわたっていたので、長く続いた。

Cela a été long parce que le président apportait beaucoup de minutie dans son récit.

「主語」「動詞句」「補語」

Cela スラ pron これは 「主語」

a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i ~だった 「動詞句」

long ロン adj. 長い 「補語」

parce que パルス・キ conj. ~なので 「副詞節」

le président ル・プレジトソン n.m 裁判長は 「主語」

apportait アポルテ 3 単半(apporter)v.t (知らせを) 提供していた 「動詞」

beaucoup de minutie ボク・トゥ・ミニュー n.f 詳細を 「目的語」

dans son récit. トン・ソン・レシ adv. 話の中で 「副詞句」

この間中、記者たちはずっと裁判長の話を書き留めていた。

Pendant tout ce temps, les journalistes écrivaient. 「副詞句」, 「主語」「動詞」

Pendant ポントソン prep (時間) ~の間 「副詞句」

tout ce temps, トゥ・ス・トン n.m この時間すべて 「目的語」

les journalistes レ・ジュルナリスト pl.n.m 新聞記者たちは 「主語」

écrivait. エクリヴァエ 3 複半(écrire)v.t 書いていた 「動詞」

僕は、あの一番若い記者と小柄な自動人形のような女の視線を感じていた。

Je sentais les regards du plus jeune d'entre eux et de la petite automate.

「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

sentais ソンテ 1 単半(sentir)v.t 感じていた 「動詞」

les regards レルギャール pl.n.m 視線を 「目的語」

du plus jeune ジュ・プリュ・ジュヌ adj. 一番若い記者の 「形容詞句」

d'entre eux トントル・イ adv. 記者たちの中で 「副詞句」

et エ conj. そして

de la petite automate. トゥ・ラ・プチット・オトマット adj. 小柄な自動人形の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

路面電車のように連なった座席にいる傍聴人たちは、皆、裁判長のほうを向いていた。

La banquette de tramway était tout entière tournée vers le président.

「主語」「動詞」「補語」

La banquette ラ・ボンケット n.f 座席の傍聴人は、座席 「主語」

de tramway トゥ・トラムウェ adj. 傍聴人席の、路面電車の 「形容詞句」

傍聴人席は路面電車のように、長く連なって並んでいるから

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

tout entière tournée トゥ・トンチェール・トゥルネ adj.f(ver に) 皆～の方に向いた 「補語」

entière オンチェール adj.f(entier) 全部の→adv. 全部

tournée トゥルネ過去分詞.f(tourner)adj.f(ver に) 向かった

vers le président. ヴェール・ル・プレジドン adv. 裁判長の方に 「副詞句」

裁判長は咳払いをして、書類をめくった。それから扇子で扇ぎながら僕の方を向いた。

Celui-ci a toussé, feuilleté son dossier et il s'est tourné vers moi en s'éventant.

「主語」「動詞句」, 「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Celui-ci スリュイ・シ pron (最も近くにある président の代用) 裁判長は 「主語」

a toussé, ア・トゥセ 3 単現・完了形(tousser)v.i 咳払いをした 「動詞句」

feuilleté フイユテ 3 単現・完了形(feuilleter)v.t (ページを) めくった 「動詞句」

son dossier ソン・ドッシェ n.m 書類を 「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

s'est tourné セ・トゥルネ 3 単現・完了形(se tourner)v.pr(ver の方に) ～向いた 「動詞句」

vers moi ヴェール・ムわ adv. 僕の方に 「副詞句」

en s'éventant. オン・セヴ・オントン ジェロンディフ(s'éventer)adv. 扇子で扇ぎながら 「副詞句」

彼は、今度は、僕の事件とは恐らく関係がないと思われるが、ひょっとすると非常に密接に関係しているかもしれないいくつかの問題に触れなければならない、と僕に言った。

Il m'a dit qu'il devait aborder maintenant des questions apparemment étrangères à mon affaire, mais qui peut-être la touchaient de fort près.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

devait aborder トゥヴァグ・エ・アホルテ 3 単半・義務(devoir+不定詞)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t (問題に) 手を付けなければならない、取り組む 「動詞句」
 maintenant マントナシ adv. 今から、今度は 「副詞」
 des questions デ・クエスチョン pl.n.f. いくつかの問題を 「目的語」
 apparemment étrangères アパ・ラモン・エトロンジエール
 adj.f.pl. 恐らく関係のない 「形容詞句」
 apparemment アパ・ラモン adv. 見たところ、おそらく
 étrangères エトロンジエール adj.f.pl.(à とは) 関係のない
 à mon affaire, ア・モ・ナフェール adv. 僕の事件とは 「副詞句」
 mais メ conj. しかし
 qui キ pron.pl (questions の代用) (主語) ～する 「形容詞節」
 peut-être プ・テートル
 adv. ひょっとすると～かも知れない 「副詞」
 la ラ pron.f (mon affaire の代用) 僕の件に 「目的語」
 touchaient トゥシェ 3 複半(toucher)v.t. 関係する 「動詞」
 de fort près. トゥ・フォル・プレ adv. 非常に密接に 「副詞句」
 de près トゥ・プレ adv. 念入りに、密接に fort フォール adv. 強く、非常 (près を強調)

僕は、彼がまた母さんの話を始めるのだと分かった。それと同時に、僕にとってはうんざりする話だと思った。

J'ai compris qu'il allait encore parler de maman et j'ai senti en même temps combien cela m'ennuyait. 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」
 J' ジュ pron. 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t. 分かった、理解した 「動詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron. 彼は 「主語」
 allait encore parler アレ・オンコール・パル 3 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞+ encore)
 v.i(de について) また話そうとしている 「動詞句」
 de maman トゥ・マモン adv. 母さんのことを 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron. 僕は 「主語」
 ai senti エ・ソチ 1 単現・完了形(sentir)v.t. 感じた 「動詞句」
 en même temps オン・メーム・トン adv. 同時に 「副詞句」
 combien コンビヤン adv. どれほど～するかといういことを 「目的語」
 cela スラ pron. その話が 「主語」
 m' ム pron. 僕を 「目的語」
 ennuyait. オンニユエ 3 単半・時制の一致(ennuyer)v.t. うんざりさせる 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕に、どうして母さんを養老院へ入れたのか、と尋ねた。

Il m'a demandé pourquoi j'avais mis maman à l'asile.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

pourquoi フルクワ adv. どうして～かということを

「直接目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais mis アヴ・エ・ミ 1 単半・完了形(mettre)

v.t (à あるところへ) 入れた

「動詞句」

maman マモン n.f 母さんを

「目的語」

à l'asile. ア・ラジール adv. 養老院へ

「副詞句」

僕は、母さんの看護や世話をしてもらうには金が足りなかったからだ、と、答えた。

J'ai répondu que c'était parce que je manquais d'argent pour la faire garder et soigner.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

parce que パルス・キ conj. ～だから

「補語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

manquais モンク 1 単半(manquer)v.i(de qch 何が) 不足していた

「動詞」

d'argent ダル・ン adv. 金が

「間接目的語」

pour +不定詞 プール 不定詞・目的 adv. ～するために

「副詞句」

la ラ pron(maman の代用) 母さんを

「目的語」

faire フェール 不定詞・使役 v.t(+不定詞) ～させる

「動詞句」

garder ギャルテ 不定詞 v.t 看護をする

「動詞句」

et エ conj. そして

soigner. スワニエ 不定詞 v.t 世話をする

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕に、それで僕は個人的に辛い気持ちだったか、と尋ねた。僕は、母さんも僕自身も、お互いに、もう何も期待していなかったし、さらに誰に対しても期待していなかったと答えた。そして、僕たちは二人とも、それぞれの新しい生活に慣れてしまっていた、と続けた。

Il m'a demandé si cela m'avait coûté personnellement et j'ai répondu que ni maman ni moi n'attendions plus rien l'un de l'autre, ni d'ailleurs de personne, et que nous nous étions habitués tous les deux à nos vies nouvelles.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥァンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 cela スラ pron このことは 「主語」
 m' ム pron 僕を 「間接目的語」
 avait coûté アヴ・ェ・ケ 3 単半・完了形(coûter)
 v.i (人を) 辛い目にあわせた 「動詞句」
 personnellement ペルソネルモン adv. 個人的に 「副詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 ni maman ニ・マモン n.f 母さんも～ない 「主語」
 ni moi ニ・ムワ pron 僕も～ない 「主語」
 n'attendions plus rien ナンテ・イオン・プリュ・リヤン 1 複半・否定(attendre+ plus rien)
 v.t(qch de qn 人に何を) もはや何も期待していなかった 「動詞句」
 l'un de l'autre, ラン・ドゥ・オートル adv. お互いに 「副詞句」
 ni d'ailleurs ニ・ダ・イユール adv. さらにその上 「副詞句」
 de personne, ドゥ・ペルソヌ adv. 誰にも～ない 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 nous ヌ pron 僕たちは 「主語」
 nous étions habitués ヌ・ゼ・チオン・ザビチュエ 1 複半・完了形(pl(s'habituer)
 v.pr(à に) 慣れてしまっていた 「動詞句」
 tous les deux トゥ・レ・ドゥ adv. 二人とも 「副詞句」
 à nos vies nouvelles. ア・ノ・ヴィ・ヌヴェル adv. それぞれの新しい生活に 「間接目的語」
 nos ノ adj. 私たちの vies ヴィエ pl.n.f(vie) 生活 nouvelles ヌヴェル adj.f.pl(nouveau) 新しい

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すると裁判長はこの点にこだわるつもりはないと言った後で、検事に、僕に対して他にすべき質問はないのかと尋ねた。

Le président a dit alors qu'il ne voulait pas insister sur ce point et il a demandé au procureur s'il ne voyait pas d'autre question à me poser.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 Le président ル・プレジダン n.m 裁判長は 「主語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 alors アー adv. それで、すると 「副詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 ne voulait pas insister ヌ・ヴレ・パ・アンシテ 3 単半・願望・否定(vouloir+不定詞 insister)
 v.i(sur を) 固執しようとは思わない 「動詞句」
 sur ce point シュール・ス・プ・ワン adv. この点に 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a demandé ア・ドマンドテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 au procureur オ・プ・ロキュレール adv. 検事に 「間接目的語」
 s' シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 il イル pron 検事は 「主語」
 ne voyait pas ヌ・ヴァ・ワエ・パ 3 単半・否定・時制の一致(voir)
 v.t 見出さない 「動詞句」
 d'autre question ド・トル・クスチョン n.f 他の質問を 「目的語」
 à +不定詞 ア adv. (必要) ～すべき 「形容詞句」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 poser. ポゼ 不定詞 v.t (質問を) する 「動詞」

否定文の de :

d' (de) は否定文の直接目的語に付く不定冠詞又は部分冠詞 (と数詞) が変化したもの。

J'ai un stylo. → Je n'ai pas de stylo. Il y a du beurre. → Il n'y a pas de beurre.

注意 : (定冠詞+直接目的語) の場合や (avoir+無冠詞名詞) の場合は de を使用しない。

Tu as l'adresse de Sylvie? --- Non, je n'ai pas l'adresse de Sylvie. (定冠詞付き)

シルヴィの住所わかる?

Vous n'avez pas classe aujourd'hui. (無冠詞) 今日は授業がない。

Tu as faim? --- Non, je n'ai pas faim. (無冠詞) おなかすいてる?

注意 : être + 「補語」 の場合は、直接目的語ではないので、de は使用されない。

Ce sont des bonbons? --- Non, ce ne sont pas des bonbons. (des のまま)

これってキャンディーかしら?

DEUXIÈME PARTIE 第2部

検事は半ば僕に背中を向けていた。それから僕の方を見ないで、“裁判長の許可をいただければ、被告はアラブ人を殺すという明確な意図をもって泉に戻ったのかどうかを聞きたいのですが” と、はっきりとした口調で言った。

Celui-ci me tournait à demi le dos et, sans me regarder, il a déclaré qu'avec l'autorisation du président, il aimerait savoir si j'étais retourné vers la source tout seul avec l'intention de tuer l'Arabe.

「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」 et,
「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Celui-ci スリュイ・シ pron (こちらは) 検事は 「主語」
me ム pron 僕に 「間接目的語」
tournait トゥルネ 3 単半(tourner)v.t 回転させた、回した 「動詞」
à demi ア・ドミ adv. 半分 「副詞句」
le dos ル・ド n.m 背中を 「直接目的語」
et, エ conj. そして
sans me regarder, ソン・ム・ルギヤルデ adv. (様態) 僕を見ないで 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
a déclaré ア・テクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 言明した 「動詞句」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
avec l'autorisation アウ・エッキ・トリザシヨン adv. (条件) 許可を得て 「副詞句」
du président, シュ・プレジトシヨン adj. 裁判長の 「形容詞句」
il イル pron 検事は 「主語」
aimerait savoir エムレ・サウ・ワール 条・願望(aimer+不定詞)
v.t 聞きたいのだが、できれば知りたいのだが 「動詞句」
si シ conj. ～かどうかということを 「目的語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
étais retourné エテ・ルトゥルネ 1 単半・完了形(retourner)v.i 戻った 「動詞句」
vers la source ヴェール・ラ・スルス adv. 泉に 「間接目的語」
tout seul トゥ・スル adv. 一人だけで 「副詞句」
avec l'intention アウ・エッキ・ラントシヨン adv. 意図を持って 「副詞句」
de +不定詞 トゥ adj. (同格) ～するという 「形容詞句」
tuer チュエ 不定詞 v.t 殺す 「動詞」
l'Arabe. ララブ n.m アラブ人を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「そんなつもりはありませんでした」と、僕は答えた。「それじゃあ、被告はどうして武器を持っていたのでしょうか？さらに、何のために、正確にその場所に戻ったのでしょうか？」

«Non», ai-je dit. «Alors, pourquoi était-il armé et pourquoi revenir vers cet endroit précisément?»

《「応答」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」,

《「副詞」, 「副詞」「動詞」「主語」「補語」 et 「副詞句」》

«Non», ソ adv. (否定) そんなつもりはなかった 「応答」

ai... dit. エ...ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

-je ジュ pron 僕は 「主語」

«Alors, アロー adv. (話し言葉・間接詞的に) それじゃあ、ところで 「副詞」

pourquoi プルワ adv. どうして、何のために 「副詞」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」

-il イル pron 被告は 「主語」

armé アルメ adj. 武装した、武器をもった 「補語」

et エ conj. そして

pourquoi+不定詞 プルワ adv. (目的) 何のために~するのか? 「副詞句」

revenir ルヴニール 不定詞 v.i 戻る 「動詞」

vers cet endroit ヴェール・セツ・オントルワ adv. その場所に 「間接目的語」

précisément? プレシゼモン adv. 正確に 「副詞」

僕は、それは偶然だ、と言った。

J'ai dit que c'était le hasard. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ...ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ~ということ 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」

le hasard. ル・アザール n.m 偶然 「補語」

すると検事は意地の悪い口調で言った：「今のところ、これだけです」

Et le procureur a noté avec un accent mauvais: «Ce sera tout pour le moment.»

Et 「主語」「動詞句」「副詞句」: 《「主語」「動詞」「補語」「副詞句」》

Et エ conj. そして、すると

le procureur ル・プロキュレール n.m 検事は 「主語」

a noté ア・ノテ 3 単現・完了形(noter)v.t 言った 「動詞句」

avec un accent mauvais: アヴ・エキ・アン・アクソ・モヴ・エ adv. 意地の悪い口調で 「副詞句」

«Ce ス pron それは、質問は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

sera スラ 3 単末(être)v.i ~だろう 「動詞」
 tout トゥ pron すべて 「補語」
 pour le moment. プール・ル・モメン adv. 今のところ 「副詞句」

そのあとのことはすべて、少なくとも僕にははっきり分からなかった。

Tout ensuite a été un peu confus, du moins pour moi. 「主語」「動詞」「補語」
 Tout トゥ pron すべては 「主語」
 ensuite オンシュイット adv. その後に 「副詞」
 a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i ~だった 「動詞」
 un peu confus, アン・プ・コンフュ adj. 少しはっきりしない、不明瞭な 「補語」
 du moins ジュ・ムワソ adv. 少なくとも 「副詞句」
 pour moi. プール・ムワ adv. 僕には 「副詞句」

しかし裁判長は、少しひそひそ話をした後で、審理をいったん休廷とし、午後に再開して証人尋問を行うと宣言した。

Mais après quelques conciliabules, le président a déclaré que l'audience était levée et renvoyée à l'après-midi pour l'audition des témoins.

Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

après quelques conciliabules, アプレ・ケルキ・コンシリアビュル

adv. 少しひそひそ話をした後で 「副詞句」

conciliabule コンシリアビュル n.m ひそひそ話、秘密会議

le président ル・プレジトソ n.m 裁判長は 「主語」

a déclaré ア・テクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 宣言した、はっきりと知らせた 「動詞句」

que ク conj. ~ということ 「目的語」

l'audience ロジオンス n.f (刑事事件の) 審問は 「主語」

était levée エテ・ルヴェ 3 単半・受動.f・時制の一致(lever)

v.t (会が) 終わられる 「動詞句」

et エ conj. そして

renvoyée ロンヴァエ 3 単半・受動.f・時制の一致(renvoyer)v.t 戻される 「動詞句」

à l'après-midi ア・ラプレ・ミディ adv. 午後に 「副詞句」

pour l'audition des témoins. プール・ロティション・テ・テムワソ

adv. 証人尋問のために 「副詞句」

audition ティション n.f 聞き取り témoin テムワソ n.m 証人

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕にはあれこれ考える時間はなかった。

Je n'ai pas eu le temps de réfléchir.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai pas eu ネ・パ・ジュ 1 単現・完了形(avoir)v.t. ～がなかった

「動詞句」

le temps ル・トン n.m 時間が

「目的語」

de réfléchir. トゥ・レフシール 不定詞・目的 adj. よく考えるための

「形容詞句」

僕は連れ出され、護送車に乗せられ、刑務所に連れていかれて、そこで食事をした。

On m'a emmené, fait monter dans la voiture cellulaire et conduit à la prison où j'ai mangé.

「主語」「目的語」「動詞句」, 「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」

On オン pron 警官が

「主語」

「目的語」を「主語」に変えて、受動態に翻訳する

m' ム pron 僕を

「目的語」

a emmené, ア・オムネ 3 単現・完了形(emmener)v.t. 連れて行った

「動詞句」

fait monter フェ・モンテ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t. 乗らせた

「動詞句」

dans la voiture トン・ラ・ヴァ わチュール adv. 車に

「副詞句」

cellulaire セリュール adj. 独房の

「形容詞」

voiture cellulaire 「護送車」

et エ conj. そして

conduit コンジユイ 3 単現・完了形(conduire)v.t. 連れて行った

「動詞句」

à la prison ア・ラ・プリゾン adv. 刑務所に

「副詞句」

où ウ conj. (継続) そこで～する

「副詞節」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai mangé. エ・モンジェ 1 単現・完了形(manger)v.t. 食べた

「動詞句」

ほんの短い時間の後で、それでも疲れたと気づくには十分な時間だったが、警官がまた僕を迎えに戻ってきた。そしてすべてがまた始まり、僕は同じ法廷で、同じ顔触れの前にいた。

Au bout de très peu de temps, juste assez pour me rendre compte que j'étais fatigué, on est revenu me chercher; tout a recommencé et je me suis trouvé dans la même salle, devant les mêmes visages.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」;

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Au bout de オ・ブ・トゥ prep. ～の後で、～の終わりに、果てに

「副詞句」

très peu de temps, トレ・ブ・トゥ・トン n.m. ほんの短い時間

「目的語」

juste assez ジュスト・アセ adv. ちょうど十分な

「副詞句」

pour +不定詞 プール 不定詞・目的 adv. ～するのに

「副詞句」

me rendre compte ム・ロントル・コント 不定詞(se rendre compte de / que)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---------------------------|---|-------|
| v.pr | ～と気づく | 「動詞句」 |
| que | ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| j' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais | エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i | 「動詞」 |
| fatigué, | ファチゲ adj. 疲れた | 「補語」 |
| on | オン pron 警官は | 「主語」 |
| est revenu | エ・ルヴニユ 3 単現・完了形(revenir)v.i(+不定詞 ～しに) また戻ってきた | 「動詞句」 |
| me | ム pron 僕を | 「目的語」 |
| chercher; | シェルシェ 不定詞 v.t 迎える | 「動詞句」 |
| tout | トゥ pron すべてが | 「主語」 |
| a recommencé | ア・ルモンセ 3 単現・完了形(recommencer)v.i | 「動詞句」 |
| et | エ conj. そして | |
| je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis trouvé | ム・シュイ・トゥルヴエ 1 単現・完了形(se trouver)v.pr (ある場所に) いた | 「動詞句」 |
| dans la même salle, | ドン・ラ・メム・サル adv. 同じ法廷に | 「副詞句」 |
| devant les mêmes visages. | ドゥヴァン・レ・メム・ヴィザージュ adv. 同じ顔触れの前に | 「副詞句」 |

ただ暑さだけは強烈になっていた。そしてまるで奇跡によるかのように、陪審員全員と検事と僕の弁護士に加えて、何人かの記者たちがそろって麦わらの団扇を手を持っていた。

Seulement la chaleur était beaucoup plus forte et comme par un miracle chacun des jurés, le procureur, mon avocat et quelques journalistes étaient munis aussi d'éventails de paille.

| | | |
|-----------------------|----------------------------------|-------|
| Seulement la chaleur | スルモン・ラ・シャレール n.f | 「主語」 |
| était | エテ 3 単半(être)v.i | 「動詞」 |
| beaucoup plus forte | ボク・プリュ・フォルトゥ adj. ずっと強い、強烈な | 「補語」 |
| et | エ conj. そして | |
| comme par | コム・パール prep | 「副詞句」 |
| un miracle | アン・ミラクル n.m | 「目的語」 |
| chacun des | シャカン・デ pron. ～のすべては | 「主語」 |
| jurés, | ジュレ n.m | 「目的語」 |
| le procureur, | ル・プロキュレール n.m | 「主語」 |
| mon avocat | モン・ナヴァカ n.m | 「主語」 |
| et | エ conj. そして | |
| quelques journalistes | ケルキ・ジュルナリストゥ pl.n.m | 「主語」 |
| étaient munis | エテ・ムニ 3 複半・受動.pl(munir)v.t(de を) | 「動詞句」 |
| aussi | オシ adv. 同様に、そろって | 「副詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

d'éventails デヴ'ォンタイユ adv. 団扇を

「間接目的語」

de paille. ドゥ'ァ・パ'ィユ adj. (材料) 麦わらの

「形容詞句」

若い記者と小柄な女はまだそこにいた。

Le jeune journaliste et la petite femme étaient toujours là.

「主語」「動詞」「副詞句」

Le jeune journaliste ル・ジュヌ・ジュルナリスト n.m 若い記者は

「主語」

et エ conj. そして

la petite femme ラ・プティット・ファム n.f 小柄な女は

「主語」

étaient エテ 3 複半・存在(être)v.i 〜にいた

「動詞」

toujours トゥジュール adv. まだ、相変わらず

「副詞」

là. ラ adv. そこに

「副詞」

しかし彼らは団扇を使っておらず、未だに無言で僕を見つめていた。

Mais ils ne s'éventaient pas et me regardaient encore sans rien dire.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

ne s'éventaient pas ヌ・セヴ'ォンテ・パ° 3 複半・否定(s'éventer)

v.pr 団扇を使っていなかった

「動詞句」

et エ conj. そして

me ム pron 僕を

「目的語」

regardaient ルギャルテ° 3 複半(regarder)v.t 見つめていた

「動詞」

encore オンコール adv. まだ、未だに、今でも

「副詞」

sans rien dire. ソン・リヤン・テイル adv.(sans+不定詞) 何も言わずに

「副詞句」

僕は自分の顔を覆っている汗を拭った。そして養老院の院長を呼ぶ声を聴いてやっと、場所の認識や自分の意識が回復した。

J'ai essuyé la sueur qui couvrait mon visage et je n'ai repris un peu conscience du lieu et de moi-même que lorsque j'ai entendu appeler le directeur de l'asile.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai essuyé エ・エシュエ 1 単現・完了形(essuyer)v.t 拭った

「動詞句」

la sueur ラ・シュール n.f 汗を

「目的語」

qui キ pron (主語) 〜する

「形容詞節」

couvrait クヴレ 3 単半(couvrir)v.t 覆っていた

「動詞」

mon visage モン・ヴィザージュ n.m 僕の顔を

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---------------------------|---------------------------|---------------|
| et エ conj. | そして | |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'ai repris ネ・ルプ・リ | 1 単現・完了形・否定(reprendre)v.t | 回復しなかった 「動詞句」 |
| un peu アン・プ adv. | 少し | 「副詞句」 |
| conscience コンシヤンス n.f | 認識、意識を | 「目的語」 |
| du lieu ジュ・リュ adj. | 場所の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| de moi-même トゥ・ムわ・メム adj. | 自分自身の | 「形容詞句」 |
| que ク conj.(ne...que) | (時間) ～するまで... ない | 「副詞節」 |
| lorsque ロルスキ conj. | ～の時 | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| ai entendu エ・アントンジュ | 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre) | |
| v.t(+不定詞 ～するのを) | 聞いた | 「動詞句」 |
| appeler アプレ 不定詞 v.t | 呼ぶ | 「動詞句」 |
| le directeur ル・ディレクター n.m | 院長を | 「目的語」 |
| de l'asile. トゥ・ラシル adj. | 養老院の | 「形容詞句」 |
| ～するまで... しない : ne...que | | |

Ne pars pas avant qu'elle vienne. 彼女が来るまで行かないでくれ。

裁判長は院長に、母さんは僕のことで愚痴をこぼしていたかと尋ねた。院長はそういうことはあったと答えたが、それは入寮者たちの癖みたいなものと付け加えた。

On lui a demandé si maman se plaignait de moi et il a dit que oui mais que c'était un peu la manie de ses pensionnaires de se plaindre de leurs proches.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et
「主語」「動詞句」「目的語」 mais 「目的語」

| | | |
|--------------------------------|-----------------------|-----------|
| On オン pron | 裁判長は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 院長に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・トゥモンテ | 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた 「動詞句」 |
| si シ conj. | ～かどうかということを | 「直接目的語」 |
| maman マモン n.f | 母さんは | 「主語」 |
| se plaignait ス・プレニエ | 3 単半・習慣(se plaindre) | |
| v.pr(de qn 人について, de qch のことを) | 愚痴をこぼしていた | 「動詞句」 |
| de moi トゥ・ムわ adv. | 僕のことを | 「間接目的語」 |
| et エ conj. | そして、すると | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|--------------------------------|---------|
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que oui ク・ウィ n. | (応答・肯定) そういうことはあった | 「目的語」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron | 仮の主語 (真の主語は de se plaindre 以降) | |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un peu アン・プ° adv. | 少し | 「副詞句」 |
| la manie ラ・マニー n.f | 癖 | 「補語」 |
| un peu la manie | 癖みたいなもの | |
| de ses pensionnaires トゥ・セ・ポ・ンシヨネル adj. | 養老院の入寮者の | 「形容詞句」 |
| de +不定詞 トゥ 不定詞 n. | ～することは | 「主語」 |
| se plaindre ス・プ ロントル 不定詞 v.pr(de qn 人について) | 愚痴を言う | 「動詞句」 |
| de leurs proches. トゥ・レール・プ ロッシュ adv. | 近親者のことを | 「間接目的語」 |

裁判長は院長に、僕が母さんを養老院に入れたことで僕を非難していたかどうかをさらに質問した。院長はそれもその通りですと答えた。

Le président lui a fait préciser si elle me reprochait de l'avoir mise à l'asile et le directeur a dit encore oui.

| | | |
|--|---|---------|
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 | |
| Le président ル・プレジトシ n.m | 裁判長は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 院長に | 「間接目的語」 |
| a fait préciser ア・フェ・プレシセ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞) | | |
| v.t | 詳しく言わせた | 「動詞句」 |
| si シ conj. | ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| elle エル pron | 母さんは | 「主語」 |
| me ム pron | 僕を | 「目的語」 |
| reprochait ル・プレシセ 3 単半(reprocher) | | |
| v.t(de+不定詞 ～することで) | 非難していた | 「動詞」 |
| de +不定詞 トゥ adv. | ～したことで | 「副詞句」 |
| l' ラ pron | 母さんを | 「目的語」 |
| avoir mise アヴ・ワ・ミセ 不定詞(mettre)・完了形.f | 入れた | 「動詞句」 |
| à l'asile ア・ラシール adv. | 養老院へ | 「副詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| le directeur ル・ディレクトール n.m | 院長は | 「主語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| encore oui. オンコール・ウィ n.m | それもその通りである | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし今回は、何も付け加えなかった。

Mais cette fois, il n'a rien ajouté.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Mais メ conj. しかし

cette fois, セット・フワ adv. 今回は

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

n'a ...ajouté. ナ...アジ ュテ 3 単現・完了形・否定(ajouter)v.t 付け加えなかった

「動詞句」

rien リヤン pron なにも～ない

「目的語」

別の質問に対して、彼は葬儀の日の僕の冷静さに驚いたと答えた。

À une autre question, il a répondu qu'il avait été surpris de mon calme le jour de l'enterrement.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

À une autre question, ア・ユヌ・オートル・ケスチョン adv. (対象) 別の質問に対して

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

a répondu ア・レボンジ ュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

qu' ク conj. ～であると

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait été surpris アヴ ェ・テテ・シュルプリ 3 単半・完了形・受動(surprendre)

v.t 驚いた

「動詞句」

de mon calme トゥ・モン・カーム adv. (受動文の動作主) 僕の冷静さに

「副詞句」

le jour ル・ジュール adv. その日に

「副詞句」

de l'enterrement. トゥ・ロンテルモン adj. 葬式の、葬儀の

「形容詞句」

裁判長は、冷静とはどういう意味かと院長に尋ねた。

On lui a demandé ce qu'il entendait par calme.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

On オン pron 裁判長は

「主語」

lui リュイ pron 院長に

「間接目的語」

a demandé ア・トゥリモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

ce ス pron それを

「直接目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

entendait オントンテ 3 単半・時制の一致(entendre)

v.t(par で) 意味する

「動詞」

par calme. パール・カーム adv. 冷静で

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すると院長は自分の靴の先端をじっと見つめてから、“僕は母さんと対面しなかった、そしてただの一度も泣かなかった、その上、墓前で瞑想にふける訳でもなく、葬儀が終わるとすぐに帰って行った”と言った。

Le directeur a regardé alors le bout de ses souliers et il a dit que je n'avais pas voulu voir maman, je n'avais pas pleuré une seule fois et j'étais parti aussitôt après l'enterrement sans me recueillir sur sa tombe.

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長は 「主語」

a regardé ア・ルガヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞」

alors アロー adv. それで 「副詞」

le bout de ses souliers ル・ブー・トゥ・セ・スリエ n.m 自分の靴の先端を 「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais pas voulu voir ナヴェ・パ・ヴリュ・ウ・ワル 1 単半・完了形・願望・否定(vouloir+不定詞)

v.t 見たがらなかった 「動詞句」

maman, マモン n.f 母さんを 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais pas pleuré ナヴェ・パ・プリュレ 1 単半・完了形・否定(pleurer)

v.i 泣かなかった 「動詞句」

une seule fois エヌ・スル・フワ adv. ただの一度も～ない 「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

étais parti エテ・パルティ 1 単半・完了形(partir)v.i 帰って行った 「動詞句」

aussitôt オト adv. ただちに 「副詞句」

après l'enterrement アプレ・ロンテルモン adv. 葬儀の後で 「副詞句」

sans +不定詞 ソン adv. ～せずに 「副詞句」

me recueillir ム・ルキュール 不定詞(se recueillir)

v.pr 瞑想にふける、(墓前で) 黙とうする 「動詞句」

sur sa tombe. シュール・サ・トプ adv. (方向) 墓に向かって 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

あることで院長はさらに驚いた：葬儀社の社員が、僕が母さんの年齢を知らなかった、と彼に報告したのだ。

Une chose encore l'avait surpris: un employé des pompes funèbres lui avait dit que je ne savais pas l'âge de maman.

「主語」「副詞」「目的語」「動詞句」：「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Une chose ムヌ・ショズ n.f あることが 「主語」
 encore オンコール adv. さらに 「副詞」
 l'ル pron 彼を 「目的語」
 avait surpris: アヴ・ェ・シュルプリ 3 単半・完了形(surprendre)v.t 驚かせた 「動詞句」
 un employé アン・オンブ・ロワイ n.m 社員が 「主語」
 des pompes funèbres テ・ボン・フュネブル adj. 葬儀社の 「形容詞句」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 avait dit アヴ・ェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 言った、報告した 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne savais pas ヌ・サヴ・ェ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 知らなかった 「動詞句」
 l'âge de maman. ラージュ・ト・カ・マモン n.m 母さんの年齢を 「目的語」

一瞬の沈黙で廷内が包まれてから、裁判長はその話は確かに僕のことなのかと尋ねた。

Il y a eu un moment de silence et le président lui a demandé si c'était bien de moi qu'il avait parlé.

「動詞句」「目的語」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Il y a eu イ・リ・ア・イ 3 単現・完了形(Il y avoir)v.t ～があった 「動詞句」
 un moment de silence アン・モン・ト・ウ・シロンヌ n.m 一瞬の沈黙 「目的語」
 et エ conj. そして
 le président ル・プレジトシ n.m 裁判長は 「主語」
 lui リュイ pron 院長に 「間接目的語」
 a demandé ア・ト・ウモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 c' ス pron 仮の主語（真の主語は qu'以降）
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 bien ビヤン adv. (強調) 本当に、確かに 「副詞」
 de moi ト・ウ・ムワ adv. 僕のこと 「補語」
 qu' ク conj. ～ということは 「主語」
 il イル pron 院長が 「主語」
 avait parlé. アヴ・ェ・パル 3 単半・完了形(parler)v.i 話した 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

院長は裁判長の質問が理解できないようだったので、裁判長は、「これは規則ですので」と院長に返答を促した。

Comme le directeur ne comprenait pas la question, il lui a dit: «C'est la loi.»

「副詞節」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」: 《「主語」 「動詞」 「補語」》

Comme コム conj. (原因) ~なので

「副詞節」

le directeur ル・ディレクトゥール n.m 院長は

「主語」

ne comprenait pas ヌ・コンプレ・パ 3 単半・否定(comprendre)

v.t 理解できなかった

「動詞句」

la question, ラ・クエスチョン n.f 裁判長の質問を

「目的語」

il イル pron 裁判長は

「主語」

lui リュイ pron 院長に

「間接目的語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

«C' ス pron これは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

la loi.» ラ・ルワ n.f (多くは複数で) 規則

「補語」

それから裁判長は検事に対して、何か証人に質問はないかと尋ねた。検事は大声で答えた:

Puis le président a demandé à l'avocat général s'il n'avait pas de question à poser au témoin et le procureur s'est écrié:

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」 et 「主語」 「動詞句」

Puis ビュイ adv. それから

「副詞」

le président ル・プレジダン n.m 裁判長は

「主語」

a demandé ア・ドゥマンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

à l'avocat général ア・ラヴカ・ジエネル adv. 法院検事に、法務官

「間接目的語」

avocat アヴカ n. 弁護士 général ジエネル adj. 一般的な、全体の

s' シ conj. ~かどうかということ

「直接目的語」

il イル pron 検事は

「主語」

n'avait pas ナヴ・パ 3 単現・完了形・時制の一致(avoir)v.t ~がない 「動詞句」

de question トゥ・クエスチョン n.f 質問が

「目的語」

de は否定の de

à poser ア・ポゼ 不定詞・目的 v.t (質問を) するべき

「形容詞句」

au témoin オ・テムワン adv. 証人に

「間接目的語」

et エ conj. そして

le procureur ル・プロキュレール n.m 検事は

「主語」

検事を、l'avocat général、il、le procureur と異なる表現で表している

s'est écrié: セ・テクリエ 3 単現・完了形(s'écrier)v.pr 大声で言った

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「いや、ありません。これで十分です！」と、はじけるような口調で答え、僕のほうへ勝ち誇った眼差しを向けた。それで、何年振りかで僕は愚かしくも泣きたくなくなってしまった。僕がどれほど目の前にいる人たち全員から嫌われているかを思い知ったからだ。

«Oh ! non, cela suffit», avec un tel éclat et un tel regard triomphant dans ma direction que, pour la première fois depuis bien des années, j'ai eu une envie stupide de pleurer parce que j'ai senti combien j'étais détesté par tous ces gens-là.

《「応答」, 「主語」「補語」》, 「副詞句」, que 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

«Oh ! non, オ・ノ adv. (否定) いや、ありません 「応答」

cela スラ pron 以上のことは 「主語」

suffit, シフィ 過去分詞(suffire)adj. 十分な 「補語」

avec アヴェッキ adv. (様態) 〜の様子で 「副詞句」

un tel éclat アン・テル・エクラ n.m 爆発のようなもの 「目的語」

éclat de rire どつと笑う声 → はじけるような口調で

et エ conj. そして

un tel regard triomphant アン・テル・ルギヤール・トリオンフォン n.m 勝ち誇ったような眼差し 「目的語」

dans ma direction ドン・マ・ディレクション adv. 僕のほうへ 「副詞句」

que, ク pron (事実の提示) それで〜する、それはこういうことだ 「副詞節」

pour la première fois プール・ラ・プルミエール・フワ adv. 初めて 「副詞句」

depuis bien des années, ドゥピュイ・ビヤン・デ・サネ

adv. この数年以来 「副詞句」

j' ジュ pron 私は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 持った、あった 「動詞句」

une envie stupide エヌ・オンヴィー・シュピトゥ n.f 愚かな欲望が 「目的語」

de pleurer トゥ・プル 不定詞・同格 adj. 泣きたいという 「形容詞句」

parce que パルス・キ conj. 〜なので 「副詞節」

j' ジュ pron 私は 「主語」

ai senti エ・ソンティ 1 単現・完了形(sentir)v.t 気づいた、感じた 「動詞句」

combien コンビヤン adv. どれほど〜であるかということを 「目的語」

j' ジュ pron 私は 「主語」

étais détesté エ・テ・テステ 1 単半・受動(détester)

v.t 嫌われていた 「動詞句」

par tous ces gens-là. パール・トゥ・セ・ジヨン・ラ

adv. (動作主) ここにいる全員から 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

陪審団と僕の弁護士に質問が無いかを確認してから、裁判長は門衛を尋問した。

Après avoir demandé au jury et à mon avocat s'ils avaient des questions à poser, le président a entendu le concierge. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Après + 不定詞・完了形 アプレ adv. ～した後で 「副詞句」

avoir demandé アヴ' わ・ル・トゥモンテ' 不定詞・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

au jury オ・ジュリ adv. 陪審団に 「間接目的語」

et エ conj. そして

à mon avocat ア・モ・ナヴ' オカ adv. 僕の弁護士に 「間接目的語」

s' シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

ils イル pron 彼らは 「主語」

avaient アヴ' エ 3 複半・時制の一致(avoir)v.t ある 「動詞」

des questions テ'・クェスチョン pl.n.f 質問が 「目的語」

à poser, ア・ポゼ' adj. (必要) するべき 「形容詞句」

le président ル・プレジト' ソン n.m 裁判長は 「主語」

a entendu ア・オント' ソン 3 単現・完了形(entendre)v.t (説明などを) 聞いた 「動詞句」

le concierge. ル・コンシェルジュ n.m 門番に 「目的語」

他のすべての証人に対してと同様に、彼にも同じ儀礼が繰り返された。

Pour lui comme pour tous les autres, le même cérémonial s'est répété.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」

Pour lui プ'ール・リュイ adv. 彼に対して 「副詞句」

comme pour tous les autres, コム・プ'ール・トゥ・レ・ゾ'ートル

adv. 他のすべての証人に対してと同様に 「副詞句」

le même cérémonial ル・メーム・セレモニアル n.m 同じ儀礼が 「主語」

s'est répété. セ・レパ' テ 3 単現・完了形・再帰受動(se répéter)v.pr 繰り返された 「動詞句」

入廷すると、門衛は1度僕を見て、目をそらせた。

En arrivant, le concierge m'a regardé et il a détourné les yeux.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

En arrivant, オン・アリヴァ' オン ジェロンディ' フ(arriver)adv. (時) 入廷すると 「副詞句」

le concierge ル・コンシェルジュ n.m 門衛は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a regardé ア・ルギ' ャルテ' 3 単現・完了形(regarder)v.t 見た 「動詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a détourné ア・デト' ャルネ 3 単現・完了形(détourner)v.t そらせた、方向を変えた 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

les yeux. レ・ジュー pl.n.m 目を

「目的語」

彼は裁判長の質問に答えていた。

Il a répondu aux questions qu'on lui posait.

「主語」「動詞句」「間接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形・状態(répondre)v.i(à に) 答えていた

「動詞句」

aux questions オ・クスチョン adv. 質問に

「間接目的語」

qu' ク pron (目的語) ～した

「形容詞節」

on オン pron 裁判長が

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

posait. ポゼ 3 単半(poser)v.t (質問を) した

「動詞」

門衛は、僕が通夜で、母さんと対面をしたがらず、タバコを吸い、居眠りをして、カフェ・オレを飲んだと答えた。

Il a dit que je n'avais pas voulu voir maman, que j'avais fumé, que j'avais dormi et que j'avais pris du café au lait.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼(門衛)は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t(que ～と) 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas voulu voir ナヴェ・パ・ヴルわ・ル・ヴァ・ル 1 単半・完了形・願望・否定(vouloir+不定詞)
v.t 見たがらなかった、見ようとしなかった

「動詞句」

maman, マモン n.f 母さんを

「目的語」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais fumé, アヴェ・フュメ 1 単半・完了形(fumer)v.i タバコを吸った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais dormi アヴェ・ドルミ 1 単半・完了形(dormir)v.i 眠った

「動詞句」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais pris アヴェ・プリ 1 単半・完了形(prendre)v.t (飲み物を) 飲んだ

「動詞句」

du café au lait. ジュ・キャフェ・オレ n.m カフェ・オレを

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

その時、法廷全体を突き動かす何かを感じた。そして初めて、自分は有罪なのだと理解した。

J'ai senti alors quelque chose qui soulevait toute la salle et, pour la première fois, j'ai compris que j'étais coupable.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et, 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai senti エ・ソティ 1 単現・完了形(sentir)v.t 感じた 「動詞句」
 alors アロー adv. その時 「副詞」
 quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何かを 「目的語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 soulevait スルヴエ 3 単半・時制の一致(soulever)
 v.t (感情を) 呼び覚ます 「動詞」
 toute la salle トゥット・ラ・サル n.f 法廷全体を 「目的語」
 et, エ conj. そして
 pour la première fois, プール・ラ・プ・ルミエール・フワ adv. 初めて 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)
 v.t(que ～と) 理解した 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 coupable. クパーブル adj. 有罪の 「補語」

裁判長は、カフェ・オレとタバコの話をもう一度門衛に証言させた。

On a fait répéter au concierge l'histoire du café au lait et celle de la cigarette.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」
 On オン pron 裁判長は 「主語」
 a fait répéter ア・フェ・レペテ 3 単現・完了形・使役(faire+不定詞)v.t 繰り返させた 「動詞句」
 au concierge オ・コンシェルジュ adv. 門衛に 「間接目的語」
 l'histoire リストワール n.f 話を 「直接目的語」
 du café au lait ジュ・キャフェ・オレ adj. カフェ・オレの 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 celle de la cigarette. セル・トゥ・ラ・シガレット pron.f タバコの話 「直接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

法院検事が、目の中に皮肉な光を露わにして、僕を見つめた。

L'avocat général m'a regardé avec une lueur ironique dans les yeux.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

L'avocat général ラヴ^ァオカ・ジ^ェネラル n.m 法院検事が 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a regardé ア^ルギ^ャルテ^ェ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」
 avec アヴ^ェッキ adv. (様態) ~の様子で 「副詞句」
 une lueur ironique ユンス[・]リュエル[・]イロニッキ n.f 皮肉な光 「目的語」
 dans les yeux. ドン[・]レ[・]ジユ adv. 眼の中に 「副詞句」

この時僕の弁護士が、門衛も一緒にタバコを吸ったのではないかと確認した。

A ce moment, mon avocat a demandé au concierge s'il n'avait pas fumé avec moi.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

A ce moment, ア[・]ス[・]モン adv. この時 「副詞句」
 mon avocat モン[・]アヴ[・]オカ n.m 僕の弁護士が 「主語」
 a demandé ア[・]ド[・]ラモンテ^ェ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 au concierge オ[・]コンシェルジュ adv. 門衛に 「間接目的語」
 s' シ conj. ~かどうかということ 「直接目的語」
 il イル pron 門衛は 「主語」
 n'avait pas fumé ナヴ[・]エ[・]パ[・]・フュメ 3 単半・完了形・否定(fumer)
 v.i タバコを吸わなかった 「動詞句」
 avec moi. アヴ[・]エッキ[・]ムワ adv. 僕と一緒に 「副詞句」

しかし検事がこの質問に激しく抗議した：

Mais le procureur s'est élevé avec violence contre cette question:

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」「間接目的語」

Mais メ conj. しかし
 le procureur ル[・]プ[・]ロキュレル n.m 検事が 「主語」
 s'est élevé セ[・]テルヴ[・]エ 3 単現・完了形(s'élever)v.pr(contre に) 抗議した 「動詞句」
 avec violence アヴ[・]エッキ[・]ウ[・]イロンス adv. 激しく 「副詞句」
 contre cette question: コントル[・]セツ[・]ケスチョン adv. この質問に対して 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「ここでは誰が罪人だと云うのか？ 被告側弁護士の抗弁は、いかなる反論の余地もない証言の価値を下げるために、検察側証人をおとしめようとするやり方である！」

«Quel est le criminel ici et quelles sont ces méthodes qui consistent à salir les témoins de l'accusation pour minimiser des témoignages qui n'en demeurent pas moins écrasants!»

《「主語」「動詞」「補語」「副詞」 et 「主語」「動詞」「補語」》

«Quel ケル pron 誰が 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」
 le criminel ル・クリミネル n.m 罪人 「補語」
 ici イ adv. ここでは 「副詞」
 et エ conj. そして
 quelles ケル pron.f.pl それらは(méthodes) 「主語」
 sont ヲン 3 複現(être)v.i 〜である 「動詞」
 ces méthodes セ・メトッド pl.n.f 方法、やり方 「補語」
 qui キ pron.pl (主語) 〜する 「形容詞節」
 consistent à コンシストゥ・ア 3 単現・構成(consister à+不定詞)
 v. 〜することにある、〜である 「動詞句」
 salir サール 不定詞 v.t 泥を塗る、汚す、おとしめる 「動詞句」
 les témoins レ・テムワソ pl.n.m 証人を 「目的語」
 de l'accusation トゥ・ラキュザシオン adj. 検察側の 「形容詞句」
 accusation アキュザシオン n.f 検察官、検察側
 pour +不定詞 プール adv. (目的) 〜するために 「副詞句」
 minimiser ミニミゼ 不定詞 v.t 最小にする、過小評価する 「動詞」
 des témoignages デ・テムワナージュ pl.n.m 証言を 「目的語」
 qui キ pron.pl (同格) 〜という 「形容詞節」
 n'en demeurent pas ノン・トゥームル・パ 3 複現・否定(demeurer)
 v.i 残っていない 「動詞句」
 moins écrasants! ムワソ・エクラザソ
 pl.n.m(écrasant) 少しの骨折りも 「主語」
 écrasants エクラザソ pl.n.m 骨折り → 反論、抗弁

それでも結局、裁判長は門衛に質問に答えるように要請した。

Malgré tout, le président a demandé au concierge de répondre à la question.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「補語」

Malgré tout, マルクレ・トゥ adv. それでも、結局 「副詞句」
 le président ル・プレジダソ n.m 裁判長は 「主語」
 a demandé ア・トゥモンデ 3 単現・完了形(demander)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t (à qn de+不定詞 人に～するように) 要請した、命じた、頼んだ 「動詞句」
 au concierge オ・コンシェルジュ adv. 門衛に 「間接目的語」
 de répondre トゥ・レポントゥル 不定詞・concierge の動作 v.i(à に) 答える 「補語」
 à la question. ア・ラクスチョン adv. 質問に 「間接目的語」

年老いた門衛は困惑した様子で答えた：

Le vieux a dit d'un air embarrassé: 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Le vieux ル・ヴィエュー n.m 年老いた門衛は 「主語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 d'un air embarrassé: タ・ネル・オンバラッセ adv. (様態) 困惑した様子で 「副詞句」

「私は悪いことだと、よくわかっていました。でも、この方がすすめるタバコを敢えて断ることが出来なかったのです」

«Je sais bien que j'ai eu tort. Mais je n'ai pas osé refuser la cigarette que Monsieur m'a offerte.» 《「主語」「動詞句」「目的語」 | Mais 「主語」「動詞句」「目的語」》
 «Je ジュ pron 私は 「主語」
 sais bien セ・ビヤン 1 単半(savoir+bien)v.t よく分かっていた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 j' ジュ pron 私は 「主語」
 ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t (心身の状態) ～だった 「動詞句」
 tort. トール n.m 間違い、悪いこと 「目的語」
 Mais メ conj. しかし
 je ジュ pron 私は 「主語」
 n'ai pas osé refuser ネ・パ・オセ・ルフュゼ 1 単現・完了形・否定・断行(oser+不定詞)
 v.t 思い切って断れなかった、断る勇気がなかった 「動詞句」
 la cigarette ラ・シガレット n.f タバコを 「目的語」
 que ク pron (la cigarette の代用) (直接目的語) ～する 「形容詞節」
 Monsieur ムシユー pron この方が 「主語」
 m' ム pron 私に 「間接目的語」
 a offerte. ア・オフェルトゥ 3 単現・完了形(offrire)v.t 提供した 「動詞句」
 que は女性名詞の直接目的語で過去分詞の前に置かれているので、offerte となる

DEUXIÈME PARTIE 第2部

最後に裁判長は僕に、付け加えることは無いか、と尋ねた。

En dernier lieu, on m'a demandé si je n'avais rien à ajouter.

「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

En dernier lieu, オン・デルニエ・リュ adv. 最後に

「副詞句」

dernier デルニエ adj. 最後の lieu リュ n.m 場所、ところ

en premier (second, dernier) lieu 最初 (2 番目、最後) に

on オン pron 裁判長は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァンデ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. 何かどうかということ

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais ナヴェ 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ない

「動詞句」

rien リャン pron 何も～ない

「目的語」

à ajouter. ア・アジューテ 不定詞・目的 adj. 付け加えるべき

「形容詞句」

「ありません」と、僕は答えた。「ただ、証人の言う通りです。僕が彼にタバコを勧めたというのは、本当です」

«Rien, ai-je répondu, seulement que le témoin a raison. Il est vrai que je lui ai offert une cigarette.»

《「応答」》, 「動詞句」 「主語」 「動詞句」,

《seulement que 「主語」 「動詞」 「目的語」 | 「動詞」 「補語」 「主語」》

«Rien, リャン pron ありません

「応答」

ai... répondu, エ...レボンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

-je ジュ pron 僕は

「主語」

seulement que スルモン・ク conj. ～ということだけだ、ただ～である

le témoin ル・テムワソ n.m 証人は

「主語」

a ア 3 単現(avoir)v.t ～がある

「動詞」

raison. レゾン n.f 道理

「目的語」

avoir raison 「正しい」

Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

vrai ヴレ adj. 本当の、正しい

「補語」

que ク conj. ～ということ

「主語」

je ジュ pron 僕が

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai offert エ・オフエール 1 単現・完了形(offrir)v.t 勧めた

「動詞句」

une cigarette.》 ユンヌ・シガレット n.f タバコを

「直接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すると門衛は、多少の驚きと感謝にも似た表情を浮かべて僕を見つめた。

Le concierge m'a regardé alors avec un peu d'étonnement et une sorte de gratitude.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

| | | | | |
|---------------------|------------|-----------------------|-------------|--------|
| Le concierge | ル・コンシェルジュ | n.m | 門衛は | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕を | 「目的語」 |
| a regardé | ア・ルギヤルテ | 3 単現・完了形(regarder)v.t | 見つめた | 「動詞句」 |
| alors | アロー | adv. | それで、そこで、すると | 「副詞」 |
| avec | アヴェッキ | prep | (様態) ~の様子で | 「副詞句」 |
| un peu d'étonnement | アン・プ・デトヌモン | n.m | 少しの驚き | 「目的語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| une sorte de | ユヌ・ソルトゥ・トゥ | adj.f | 一種の、ある種の | 「形容詞句」 |
| gratitude. | グラチチュート | n.f | 感謝 | 「目的語」 |

彼は少しためらってから、僕にカフェ・オ・レを勧めたのは自分です、と言った。

Il a hésité, puis il a dit que c'était lui qui m'avait offert le café au lait.

「主語」「動詞句」, 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

| | | | | |
|------------------|------------|----------------------|---------------------|---------|
| Il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| a hésité, | ア・エジテ | 3 単現・完了形(hésiter)v.i | ためらった | 「動詞句」 |
| puis | ピュイ | adv. | それから | 「副詞」 |
| il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| a dit | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. | ~ということを | 「目的語」 |
| c' | ス | pron | 仮の主語 (真の主語は qui 以降) | |
| était | エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i | ~である | 「動詞」 |
| lui | リュイ | pron | 自分、彼 | 「補語」 |
| qui | キ | pron | (主語) ~した人は | 「主語」 |
| m' | ム | pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| avait offert | アヴェ・オフエール | 3 単半・完了形(offrir)v.t | 勧めた | 「動詞句」 |
| le café au lait. | ル・キャフェ・オ・レ | n.m | カフェ・オ・レを | 「直接目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の弁護士は勝ち誇り、大声で、陪審員の方々はこの証言を高く評価するでしょうと言った。

Mon avocat a triomphé bruyamment et a déclaré que les jurés apprécieraient.

「主語」「動詞句」「副詞」 et 「動詞句」「目的語」

Mon avocat モン・アヴカ n.m 僕の弁護士は

「主語」

a triomphé ア・トリヨンフェ 3 単現・完了形(triompher)v.i 勝ち誇った

「動詞句」

bruyamment ブリヤン adv. 大声をだして、騒々しく

「副詞」

et エ conj. そして

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(declarer)v.t きっぱりと言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

les jurés レ・ジュレ pl.n.m 陪審員の方々は

「主語」

apprécieraient. アプレシエ 条・3 複現・推量(apprécier)

v.t 高く評価するだろう

「動詞」

しかし、僕たちの頭上で検事の声がとどろき、彼はこう言った：

Mais le procureur a tonné au-dessus de nos têtes et il a dit:

Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」

Mais メ conj. しかし

le procureur ル・プロキュレール n.m 検事（の声が）は

「主語」

a tonné ア・トネ 3 単現・完了形(tonner)v.i とどろいた

「動詞句」

au-dessus de オ・トウシュ・ドゥ prep ～の上で

「副詞句」

nos têtes ノ・テット pl.n.m(tête) 僕たちの頭

「目的語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

「その通り、陪審員の皆さんは判断するでしょう」

«Oui, MM. les Jurés apprécieront.

《「応答」, 「主語」「動詞」》

«Oui, ウィー adv. その通り

「応答」

MM. les Jurés メッシユ・レ・ジュレ pl.n.m 陪審員の皆さんは

「主語」

MM. メッシユ pl.n.m Messieurs(Monsieur の複数)の略語、～さん

apprécieront. アプレシエ 3 複現・想像(apprécier)v.t 判断するだろう

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「しかし陪審員の皆さんは、〈他人であればコーヒーを勧めても構わないが、自分を生んでくれた母親のなきがらの前では、息子はそれを断るべきだろう〉と結論付けるでしょう」

Et ils concluront qu'un étranger pouvait proposer du café, mais qu'un fils devait le refuser devant le corps de celle qui lui avait donné le jour.»

《Et 「主語」「動詞句」「目的語」,mais 「目的語」》

Et エ conj. そして

ils イル pron.pl (les Jurés の代用) 陪審員は 「主語」

concluront コンキュロン 3 複未・推測(conclure)v.t (〜と) 結論を出すだろう 「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」

un étranger ア・ネロンジエ n.m 他人は 「主語」

pouvait proposer プ・ヴァ・ポ・ボ・ゼ 3 単半・可能性・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.t 勧めることができるかもしれない 「動詞句」

du café, ジュ・キャフェ n.m コーヒーを 「目的語」

mais メ conj. しかし

qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」

un fils アン・フィス n.m 息子は 「主語」

devait ...refuser ト・ヴァ・エ...ルフゼ 3 単半・必然・時制の一致(devoir+不定詞)

v.t 断るべきである 「動詞句」

le ル pron.m (café の代用) それを 「目的語」

devant le corps ト・ヴァ・オン・ル・コール adv. 遺体の前では 「副詞句」

de celle ト・ウ・セル adj. その体の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) 〜した 「形容詞節」

lui リュイ pron (被告を指す) 彼に 「間接目的語」

avait donné ア・ヴァ・ト・ネ 3 単半・完了形(donner)

v.t 与えた 「動詞句」

le jour. ル・ジュール n.m 生命を 「直接目的語」

donner le jour à un enfant 「子供を産む」

門衛は自分の席へ戻った。

Le concierge a regagné son banc. 「主語」「動詞句」「目的語」

Le concierge ル・コンシエルジュ n.m 門衛は 「主語」

a regagné ア・ル・ガ・ニエ 3 単現・完了形(regagner)v.t 戻った 「動詞句」

son banc. ソン・ボン n.m 自分の席へ 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

トマ・ペレーズの順番が来たとき、一人の廷吏が彼を証人席まで支えて行く必要があった。

Quand est venu le tour de Thomas Pérez, un huissier a dû le soutenir jusqu'à la barre.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「副詞句」

Quand コン conj. ～する時

「副詞節」

est venu エ・ヴニユ 3 単現・完了形(venir)v.i 来た

「動詞句」

le tour ル・トゥール n.m 順番が

「主語」

de Thomas Pérez, トゥ・トマ・ペレ adj. トマ・ペレーズの

「形容詞句」

un huissier アン・ユイシエ n.m 廷吏が

「主語」

a dû ...soutenir ア・ジュ...ストゥニール 3 単現・完了形・義務(devoir+不定詞)

v.t 支えなければならなかった

「動詞句」

le ル pron.m 彼を

「目的語」

jusqu'à ジュスカ prep ～まで

「副詞句」

la barre. ラ・バー ル n.f 証人席

「目的語」

ペレーズは、母さんとは特別親しかったが、僕には葬儀の日に一度会ったきりだと言った。

Pérez a dit qu'il avait surtout connu ma mère et qu'il ne m'avait vu qu'une fois, le jour de l'enterrement.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「目的語」

Pérez ペレ n.m ペレーズは

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait surtout connu アヴ・エ・シュルトゥ・コニユ 3 単半・完了形(connaître)

v.t 特別の知り合いだった

「動詞句」

surtout シュルトゥ adv. とりわけ、とくに connaître コネトル v.t 知り合いである

ma mère マ・メル n.f 母さんと

「目的語」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

ne ...avait vu ス...アヴ・エ・ヴ 3 単半・完了形(voir)

v.t(ne...que ～しか) 会ったことがない

「動詞句」

m' ム pron 僕を

「目的語」

qu'une fois, キュヌ・フワ adv. 1 回しか

「副詞句」

le jour ル・ジュール n.m その日に

「副詞句」

de l'enterrement. トゥ・ロンテルモン adj. 葬儀の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

裁判長は彼に、その日、僕が何をしていたかと尋ねると、彼は答えた：「お察しいただけると思いますが、私はあまりの悲しみに、何も目に入りませんでした」

On lui a demandé ce que j'avais fait ce jour-là et il a répondu: «Vous comprenez, moi-même j'avais trop de peine. Alors, je n'ai rien vu.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」:

《「応答」「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」》

On オン pron 裁判長は

「主語」

主語を明確にしないためには、受動態に翻訳してもよい

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥマンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

ce ス pron それを

「直接目的語」

que ク pron (目的語) ~する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

avais fait アヴァ・フェ 1 単現・完了形(faire)v.t 行った

「動詞句」

ce jour-là ス・ジュール・ラ adv. その日に

「副詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

a répondu: ア・レポンスジュ 3 単現・完了形(répondre)v.i 答えた

「動詞句」

«Vous comprenez, ヴ・コンブレ adv. お察しいただけるとおもいますが

「応答」

moi-même ムワ・メム pron 私自身

「主語」

j' ジュ pron 私は

「主語」

avais アヴァ 1 単半(avoir)v.t (心身の状態) ~だった

「動詞」

trop de peine. トロ・ドゥ・ペヌ n.f あまりの苦痛を、悲しみを

「目的語」

Alors, アロー adv. それで

「副詞」

je ジュ pron 私は

「主語」

n'ai ...vu. ネ...ヴェ 1 単現・完了形・否定(voir)v.t 見なかった

「動詞句」

rien リャン pron 何も~ない

「目的語」

「何も見られないほどの苦痛でした。」

C'était la peine qui m'empêchait de voir.

《「主語」「動詞」「補語」》

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

la peine ラ・ペヌ n.f 苦痛

「補語」

qui キ pron (主語) ~する

「形容詞節」

m' ム pron 私が

「目的語」

empêchait オンペシエ 3 単半・時制の一致(empêcher)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t(qn de+不定詞 人が～するのを) 妨げる 「動詞」
 de voir. トゥ・ヴワール 不定詞・me の動作 v.t 見る 「補語」

「私にとって、大変な苦痛だったのです。それに気絶もしました。」

Parce que c'était pour moi une très grosse peine. Et même, je me suis évanoui.

《Parce que 「主語」「動詞」「補語」 | Et 「副詞」「主語」「動詞句」》

Parce que ハルスキ conj. ～なので

c' ス pron それは 「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

pour moi プール・ムワ adv. 私にとって 「副詞」

une très grosse peine. エヌ・トレ・グロス・ペーヌ n.f 大変な苦痛 「補語」

Et エ conj. そして

même, メーム adv. ～までも、さらに 「副詞」

je ジュ pron 私は 「主語」

me suis évanoui. ム・シュイ・エヴァヌイ 1 単現・完了形(s' évanouir)v.pr 気絶した 「動詞句」

「それで、私はこの方を見ることが出来ませんでした」検事は、少なくとも僕が泣いているのを見なかったか、と彼に尋ねた。

Alors, je n'ai pas pu voir Monsieur.» L'avocat général lui a demandé si, du moins, il m'avait vu pleurer.

《「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Alors, アール adv. それで 「副詞」

je ジュ pron 私は 「主語」

n'ai pas pu voir ネ・パ・ピュ・ヴワール 1 単現・完了形・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 見ることができなかった 「動詞句」

Monsieur. ムシユー n.m この方を 「目的語」

L'avocat général ラヴァカ・ジェネラル n.m 検事は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

si, シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」

du moins, ジュ・ムワソ adv. 少なくとも 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕が 「目的語」

avait vu アヴァ・ヴェ 3 単現・完了形・知覚動詞(voir)v.t 見た 「動詞句」

pleurer. プル 不定詞・me の動作 v.i 泣く 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ペレーズは、見なかったと答えた。

Pérez a répondu que non.

「主語」「動詞句」「目的語」

Pérez ペレ n.m ペレーズは

「主語」

a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que non. ク・ノン n. “いいえ” と

「目的語」

それで、今度は検事が言った：「陪審員の皆さんは十分に意味を理解するでしょう」

Le procureur a dit alors à son tour: «MM. les Jurés apprécieront.»

「主語」「動詞句」「副詞句」：《「主語」「動詞」》

Le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

alors アー adv. それで

「副詞句」

à son tour: ア・ソン・トゥール adv. 彼の番で、今度は

「副詞句」

«MM. les Jurés メッシュー・レ・ジ ユレ pl.n.m 陪審員の皆さんは

「主語」

apprécieront.» アプレシエロン 3 複未・推量(apprécier)v.t 高く評価するだろう

「動詞」

しかし僕の弁護士は怒った。僕には大げさと思われる語気でペレーズに、〈泣いていないところを見たのか?〉と尋ねた。

Mais mon avocat s'est fâché. Il a demandé à Pérez, sur un ton qui m'a semblé exagéré, «s'il avait vu que je ne pleurais pas».

Mais 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」「直接目的語」

Mais メ conj. しかし

mon avocat モン・アヴカ n.m 僕の弁護士は

「主語」

s'est fâché. セ・ファシェ 3 単現・完了形(se fâcher)v.pr 怒った

「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

a demandé ア・ドゥマンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

à Pérez, ア・ペレ adv. ペレーズに

「間接目的語」

sur un ton シュール・アン・トン adv. (様態) 口調で、語気で

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a semblé ア・ソブレ 3 単現・完了形(sembler)

v.i(à qn 人には) ～に見えた

「動詞句」

exagéré, エグザジェレ adj. 大げさな

「補語」

«s' シ conj. ～かどうかということを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait vu アヴァユ 3 単半・完了形(voir)v.t 見た

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 ne pleurais pas». ヌ・プ・ル・パ° 1 単半・否定・時制の一致(pleurer)
 v.i 泣いていない 「動詞句」

ペレーズは答えた：「いいえ」 傍聴者は笑った。

Pérez a dit: «Non.» Le public a ri. 「主語」「動詞句」：《「応答」》, 「主語」「動詞句」
 Pérez ペレ n.m ペレーズは 「主語」
 a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Non.» ノン adv. いいえ 「応答」
 Le public ル・ピュブリキ n.m 傍聴者は 「主語」
 a ri. ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った 「動詞句」

そして僕の弁護士は、片方の袖をまくり上げながら断固たる口調で言った：「これがこの裁判の姿だ。すべてが真実であり、同時に、何ひとつとして真実ではない」

Et mon avocat, en retroussant une de ses manches, a dit d'un ton péremptoire: «Voilà l'image de ce procès. Tout est vrai et rien n'est vrai!»

Et 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」：

《「副詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞」「補語」》

Et エ conj. そして
 mon avocat, モン・アヴァカ n.m 僕の弁護士は 「主語」
 en retroussant オン・ルトゥルソン ジェロンディフ(retrousser)adv. まくり上げながら 「副詞句」
 une de ses manches, ユンス・デ・セ・モンジュ n.f 片方の袖を 「目的語」
 a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 d'un ton péremptoire: ダン・トン・ペロンプ・トゥワール adv. 断固たる口調で 「副詞句」
 «Voilà ヴォワ adv. ここに～がある、これが～だ 「副詞句」
 l'image リマージュ n.f 姿 「補語」
 de ce procès. トゥ・ス・プロセ adj. この裁判の 「形容詞句」
 Tout トゥ pron すべては 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 vrai ヴレ adj. 真実の 「補語」
 et エ conj. そして
 rien リヤン pron 何も～ない 「主語」
 n'est ネ 3 単現・否定(être)v.i ～でない 「動詞」
 vrai! ヴレ adj. 真実の 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

検事はむっとした表情をして、書類一式の表題の文字を鉛筆でつついていた。

Le procureur avait le visage fermé et piquait un crayon dans les titres de ses dossiers.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」

Le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事は 「主語」

avait アヴ ェ 3 単半(avoir)v.t (心身の状態を) していた 「動詞」

le visage ル・ヴィザージュ n.m 顔つき、表情 「目的語」

fermé フェルメ adj. かたくなな、むっとした 「形容詞」

et エ conj. そして

piquait ピケ 3 単半(piquer)v.t つついていた、刺していた 「動詞」

un crayon アン・クレヨン n.m 鉛筆を 「目的語」

dans les titres ドン・レ・ティトル adv. 表題に 「副詞句」

de ses dossiers. ドゥ・セ・ドゥッシェ adj. 書類一式の 「形容詞句」

5 分間の中断の後で、その中断の間に僕の弁護士はすべてが最良に向かって進んでいると言っていた、裁判長は弁護側が召喚したセレステを聴取した。弁護側とは僕のことで。

Après cinq minutes de suspension pendant lesquelles mon avocat m'a dit que tout allait pour le mieux, on a entendu Céleste qui était cité par la défense. La défense, c'était moi.

「副詞節」, 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Après アプレ prep (時間) ~の後で 「副詞句」

cinq minutes サンキ・ミニュット pl.n.f 5 分間 「目的語」

de suspension ドゥ・スボーション adj. 中断の 「形容詞句」

pendant lesquelles ポントン・レケル adv. その間に、その 5 分の間に~する 「副詞節」

lesquelles は cinq minutes の代用

mon avocat モン・アヴオカ n.m 僕の弁護士は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ~ということを 「直接目的語」

tout トゥ pron すべてが 「主語」

allait アレ 3 単半・時制の一致(aller)v.i 進行している 「動詞」

pour le mieux, プール・ル・ミュー adv. 最良に向かって 「副詞句」

on オン pron 裁判長は 「主語」

a entendu ア・オントンジュ 3 単現・完了形(entendre)v.t 聴取した、聞いた 「動詞句」

Céleste セステ n.m セレステを 「目的語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

était cité エ・シテ 3 単半・受動(citer)v.t 召喚された 「動詞句」

par la défense. パール・ラ・デフェンス

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|----------------------------------|-------|
| adv. (動作主) 弁護側によって | 「副詞句」 |
| La défense, ラ・デフオンス n.f 弁護側は | 「主語」 |
| c' ス pron (défense の代理) | |
| était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| moi. ムわ pron 僕 | 「補語」 |

セレストは時々ぼくのほうへ視線を投げかけては、両手でパナマ帽を丸めていた。

| | |
|---|---|
| <u>Céleste jetait de temps en temps des regards de mon côté et roulait un panama entre ses mains.</u> | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」「副詞句」et「動詞」「目的語」「副詞句」 |
| Céleste セレストゥ n.m セレストは | 「主語」 |
| jetait シュテ 3 単半(jeter)v.t(視線を) 投げかけていた | 「動詞」 |
| de temps en temps トゥ・トン・ゾン・トン adv. 時々 | 「副詞句」 |
| des regards デ・ルギヤール pl.n.m 視線を | 「目的語」 |
| de mon côté トゥ・モン・コテ adv. 僕のほうに | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| roulait ル 3 単半(rouler)v.t (転がして) 巻いていた、丸めていた | 「動詞」 |
| un panama アン・パナマ n.m パナマ帽を | 「目的語」 |
| entre ses mains. オントル・セ・マン adv. 両手で | 「副詞句」 |

彼は、時々日曜日に、僕と競馬に行く時に着る背広を新調して着ていた。

| | |
|--|---------------|
| <u>Il portait le costume neuf qu'il mettait pour venir avec moi, certains dimanches, aux courses de chevaux.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| portait ポルテ 3 単半(porter)v.t (服を) 着ていた | 「動詞」 |
| le costume neuf ル・コスチューム・ヌフ n.m 新調の背広を | 「目的語」 |
| qu' ク pron (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| mettait メテ 3 単半・習慣・時制の一致(mettre)v.t 着る | 「動詞」 |
| pour venir avec moi, プール・ウニール・アウ・エッキ・ムわ | |
| adv. (目的・時間) 僕と行く時に | 「副詞句」 |
| certain dimanches, セルタン・デ・イモンシュ | |
| pl.n.m 時々日曜日に | 「副詞句」 |
| certain セルタン adj.pl (冠詞なしで) いくつかの、ある種の | |
| aux courses de chevaux. オ・クルス・トゥ・シュヴォ | |
| adv. 競馬へ | 「間接目的語」 |
| course クルス n.f 競争、レース chevaux シュヴォ pl.n.m(cheval) 馬 | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

不十分 : neuf の訳し方

「時々日曜日に着ていた」のに「新調の背広」というのがしっくりこない。

「フランス語で読もう異邦人」で「一張羅の背広」と翻訳しているのは良さそうだが、他に訳し方がないのかももう少し考えたいと思う。

もしかすると、法廷での発言の重みが増すようにと考えて、新調したのかもしれない。

しかし彼はカラーを付けられなかったのだと思う。なぜなら、シャツの襟元を閉じておくのに、銅のボタンを1つだけしか掛けていなかったからだ。

Mais je crois qu'il n'avait pas pu mettre son col parce qu'il portait seulement un bouton de cuivre pour tenir sa chemise fermée.

Mais 「主語」「動詞」「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

crois クルわ 1 単現(croire)v.t(que と) 思う

「動詞」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

n'avait pas pu mettre ナヴ'ェ・パ'・ビ'ュ・メットル 3 単半・完了形・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t (ボタンを) つけることが出来なかった

「動詞句」

son col ソン・コル n.m カラーを

「目的語」

parce qu' パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

portait ポルテ 3 単半(porter)v.t 掛けていた

「動詞」

seulement スルモン adv. ～だけ

「副詞」

un bouton de cuivre アン・ブトン・トゥ・キューヴル

n.m 銅のボタンを1つ

「目的語」

pour tenir プール・トゥニール adv. (目的) ～しておくために

「副詞句」

tenir qch+形容詞 「何を～の状態にしておく」

sa chemise サ・シュミーズ n.f シャツの襟元を

「目的語」

fermée. フェルメ adj.f 閉じた

「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

裁判長が彼に、僕は彼の店の客なのかどうかを尋ねると、彼は言った：「そうです、でも友人でもあります」

On lui a demandé si j'étais son client et il a dit: «Oui, mais c'était aussi un ami» ;

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「主語」「動詞句」:

《「応答」,mais「主語」「動詞」「補語」》

| | | | | | |
|-----------------|----------|-----------------------|-------------|--|---------|
| On | オン | pron | 裁判長は | | 「主語」 |
| lui | リュイ | pron | 彼に | | 「間接目的語」 |
| a demandé | ア・ドゥマンドテ | 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | | 「動詞句」 |
| si | シ | conj. | 〜かどうかということを | | 「直接目的語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | | 「主語」 |
| étais | エテ | 1 単半(être)v.i | 〜だった | | 「動詞」 |
| son client | ソン・クリン | n.m | 客 | | 「補語」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| a dit: | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | | 「動詞句」 |
| «Oui, | ウー | adv. | そうです | | 「応答」 |
| mais | メ | conj. | しかし | | |
| c' | ス | pron | 彼は | | 「主語」 |
| était | エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i | 〜である | | 「動詞」 |
| aussi un ami» ; | オ・ア・ナミ | n.m | 友人でもある | | 「補語」 |

裁判長が、僕のことをどう思うかと尋ねると、彼は、僕は男だと答えた ;

ce qu'il pensait de moi et il a répondu que j'étais un homme;

「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | | | | |
|-----------|--------|-----------------------|------------------------------|--|--------|
| ce | ス | pron | ことを | | 「目的語」 |
| | | | 前の文の a demandé の目的語 | | |
| qu' | ク | pron | (目的語) ~する | | 「形容詞節」 |
| il | イル | pron | 彼が | | 「主語」 |
| pensait | ポンセ | 3 単半・時制の一致(penser) | | | |
| | | | v.t(+O de... ... について) O と思う | | 「動詞」 |
| de moi | ドゥ・ムワ | adv. | 僕について、僕のことを | | 「副詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | | |
| il | イル | pron | 彼は | | 「主語」 |
| a répondu | エ・レポンス | 3 単現・完了形(répondre)v.t | 答えた | | 「動詞句」 |
| que | ク | conj. | 〜ということを | | 「目的語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ~である

「動詞」

un homme; ア・ノム n.m 男

「補語」

それはどういう意味なのかと尋ねると、彼は、誰だってその意味は分かっている、と答えた；

ce qu'il entendait par là et il a déclaré que tout le monde savait ce que cela voulait dire ;

「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

ce ス pron ことを

「目的語」

同様に、a demandé の目的語

qu' ク pron (目的語) ~する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

entendait オン・タンデ 3 単半(entendre)v.t(par で) 意味する

「動詞」

par là パール・ラー adv. それによって

「副詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 断言した

「動詞句」

que ク conj. ~ということを

「目的語」

tout le monde トル・モンド pron 誰でも

「主語」

savait サヴェ 3 単半・時制の一致(savoir)v.t わかっている

「動詞」

ce que cela voulait dire ; スク・スラヴレ・ディール pron 意味することを

「目的語」

vouloir dire 「意味する」

僕が閉鎖的だと気付いていたかと尋ねると、僕は必要最小限で話すという事実は認めた。

s'il avait remarqué que j'étais renfermé et il a reconnu seulement que je ne parlais pas pour ne rien dire.

「目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「副詞」 「目的語」

s' シ conj. ~かどうかということを

「目的語」

同様に、a demandé の目的語

il イル pron 彼は

「主語」

avait remarqué アヴェ・ルマルケ 3 単半・完了形(remarquer)v.t 気づいていた 「動詞句」

que ク conj. ~ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ~である

「動詞」

renfermé ロンフェルメ adj. 閉鎖的な、気持ちがふさいだ

「補語」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は

「主語」

a reconnu アルコニュ 3 単現・完了形(reconnaître)v.t 認めた

「動詞句」

seulement スルモン adv. ~だけ

「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

que ク conj. ～ということを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne parlais pas ノ・パル・パ 1 単半・否定・時制の一致(parler)
 v.i 話さない 「動詞句」
 pour ne rien dire. プール・ヌ・リヤン・テイル adv. (様態) 何も言わないほど 「副詞句」

検事は彼に、僕が下宿代をきちんと払っていたか、と尋ねた。

L'avocat général lui a demandé si je payais régulièrement ma pension.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 L'avocat général ラヴ・オカ・ジェネラル n.m 検事は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 a demandé ア・ドゥ・ウモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 payais ペ・イエ 1 単半(payer)v.t 払っていた 「動詞」
 régulièrement レギュリエールモン adv. 規則正しく、きちんと 「副詞」
 ma pension. マ・ボンション n.f 下宿代を 「目的語」

セレステは笑みを浮かべて、きっぱりと言った：「そんな事は、我々には些細なことだ」

Céleste a ri et il a déclaré: «C'étaient des détails entre nous.»

「主語」「動詞句」et「主語」「動詞句」:《「主語」「動詞」「補語」》
 Céleste セレスト n.m セレステは 「主語」
 a ri ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った、ばかにするように笑みを浮かべた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a déclaré: ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t きっぱりと言った 「動詞句」
 «C' ス pron.pl それは 「主語」
 étaient エ 3 複半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 des détails デ・デタイユ pl.n.m ささいなこと 「補語」
 entre nous. オントル・ヌ adv. 我々の間では 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

裁判長はまた、僕の犯罪についてどう思うかと彼に尋ねた。

On lui a demandé encore ce qu'il pensait de mon crime.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

On オン pron 裁判長は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

encore オンコール adv. また

「副詞」

ce qu' スキ pron ～することを

「直接目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

pensait ポンセ 3 単半・時制の一致(penser)

v.t(de について) 思っている

「動詞」

de mon crime. ドゥ・モン・クリム adv. 僕の犯罪について

「間接目的語」

そこで彼は証言台の柵の上に両手をのせた。彼は何かを準備しているように見えた。

Il a mis alors ses mains sur la barre et l'on voyait qu'il avait préparé quelque chose.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」 et 「目的語」「主語」「動詞」「補語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a mis ア・ミ 3 単現・完了形(mettre)v.t 置いた

「動詞句」

alors アール adv. それで、そこで

「副詞」

ses mains セ・マン pl.n.f 両手を

「目的語」

sur la barre シュール・ラ・バール adv. (証言台の) 柵の上に

「副詞句」

et エ conj. そして

l' ル pron 彼を

「目的語」

on オン pron 人は

「主語」

voyait ヴォワイ 3 単半・知覚動詞(voir)v.t 見えた

「動詞」

qu' ク conj. ～ということを

「補語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait préparé アヴェ・プレパレ 3 単半・完了形(préparer)v.t 準備していた

「動詞句」

quelque chose. ケウルク・ショース pron 何かを

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は言った：「私の考えでは、あれは災難です。災難、誰でもそれがどういうものかを知っています。人はなす術が無くなるのです。つまり、私の考えでは、あれは災難です」

Il a dit: «Pour moi, c'est un malheur. Un malheur, tout le monde sait ce que c'est. Ça vous laisse sans défense. Eh bien! pour moi c'est un malheur.»

「主語」「動詞句」:

《「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 | 「補語」, 「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「目的語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」》

| | | | | |
|---------------|----------|--------------------------|---------------|-------|
| Il | イル | pron | 彼は | 「主語」 |
| a dit: | ア・ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| «Pour moi, | プール・ムわ | adv. | 私にとって、私の考えでは | 「副詞句」 |
| c' | ス | pron | あれは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| un malheur. | アン・マレール | n.m | 不幸、不運 | 「補語」 |
| Un malheur, | アン・マレール | n.m | 不幸、不運 | 「補語」 |
| tout le monde | トゥール・モンド | pron | 誰もが | 「主語」 |
| sait | セ | 3 単現(savoir)v.t | 知っている | 「動詞」 |
| ce que c'est. | スク・セ | pron | それが何であるかということ | 「目的語」 |
| Ça | サ | pron | それは | 「主語」 |
| vous | ヴ | pron | 君たちを | 「目的語」 |
| laisse | LESS | 3 単現(laisser)v.t(+qn+補語) | (人を〜の状態に) する | 「動詞」 |
| sans défense. | ソン・デフォンズ | adv. | 身を守る術がない状態に | 「補語」 |
| Eh bien! | エー・ビエン | adv. | (説明の間をとる) つまり | 「間投」 |
| pour moi | プール・ムわ | adv. | 私の考えでは | 「副詞句」 |
| c' | ス | pron | あれは | 「主語」 |
| est | エ | 3 単現(être)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| un malheur.» | アン・マレール | n.m | 不幸、不運 | 「補語」 |

セレストは話を続けようとしていたが、裁判長は彼に、よく分かりました、ありがとうございましたと言った。

Il allait continuer, mais le président lui a dit que c'était bien et qu'on le remerciait.

「主語」「動詞句」, mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

| | | | | |
|-------------------|-----------|----------------------|---------------------------|-------|
| Il | イル | pron | セレストは | 「主語」 |
| allait continuer, | アレ・コンチヌ | 3 単半・近接未来(aller+不定詞) | | |
| | v.i | | 話を続けようとしていた | 「動詞句」 |
| | aller+不定詞 | | 「〜しようとしている、〜するところだ、〜しに行く」 | |
| mais | メ | conj. | しかし | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|----------|---------|
| le président ル・プレジダント n.m | 裁判長は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. | (程度) 十分な | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| on オン pron | 私は、裁判長は | 「主語」 |
| le ル pron | 彼に | 「目的語」 |
| remerciait. ルメルシエ 3 単半・時制の一致(remercier)v.t | 感謝している | 「動詞」 |

それでセレストは口もきけない程驚いていたが、まだ話したいことがあると主張した。

Alors Céleste est resté un peu interdit. Mais il a déclaré qu'il voulait encore parler.

「副詞」「主語」「動詞句」「補語」 | Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | |
|---|----------------|-------|
| Alors アー adv. | それで | 「副詞」 |
| Céleste セレスト n.m | セレストは | 「主語」 |
| est resté エ・レステ 3 単現・完了形・維持(rester)v.i | (ある状態) のままでいた | 「動詞句」 |
| un peu interdit. アン・プ・アンテルディ adj. | (口がきけないほど) 驚いた | 「補語」 |
| Mais メ conj. | しかし | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t | 主張した | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| voulait encore parler. ヴァレ・オンコール・パル 3 単半・願望(vouloir+不定詞 encore) | | |
| v.t | もっと話したい | 「動詞句」 |

裁判長は、簡潔に話すようにと彼に求めた。彼は再び、あれは災難だったと繰り返した。

On lui a demandé d'être bref. Il a encore répété que c'était un malheur.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | |
|---|-----------|---------|
| On オン pron | 裁判長は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥマンデ 3 単現・完了形(demander)v.t(demander à qn de+不定詞) | | |
| v.t | ～するように頼んだ | 「動詞句」 |
| d'être デ・ートル 不定詞 v.i | ～することを | 「直接目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| bref. ブレ adj. 短い | 「補語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a encore répété ア・オンコル・レペテ 3 単現・完了形(répéter+encore) | |
| v.t また繰り返した | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron あれは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| un malheur. アン・マレール n.m 災難 | 「補語」 |

すると裁判長は彼に言った：「はい、よくわかりました。ですが、私たちはその種の災難を裁くためにこの場にいます。有難うございました」

Et le président lui a dit: «Oui, c'est entendu. Mais nous sommes là pour juger les malheurs de ce genre. Nous vous remercions.»

Et 「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「応答」, 「主語」「動詞句」 | Mais 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞」》

Et エ conj. そして

| | |
|---|---------|
| le président ル・プレジトソン n.m 裁判長は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| «Oui, ウィ adv. はい、よろしい | 「応答」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est entendu. エ・オントジユ 3 単現・受動(entendre)v.t 理解された | 「動詞句」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| nous ヌ pron.pl 私たちは | 「主語」 |
| sommes ソム 3 複現・存在(être)v.i ～にいる | 「動詞」 |
| là ラー adv. ここに | 「副詞」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ～するために | 「副詞句」 |
| juger ジュジェ 不定詞 v.t 裁く | 「動詞」 |
| les malheurs レ・マレール pl.n.m 災難を | 「目的語」 |
| de ce genre. ドゥ・ス・ジョナル adj. この種の | 「形容詞句」 |
| Nous ヌ pron.pl 私たちは | 「主語」 |
| vous ヴー pron あなたに | 「目的語」 |
| remercions. ルメルシオン 1 複半・時制の一致(mercier)v.t 感謝する | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

まるで知力も気力も底を突いてしまったかのように、セレストは僕のほうに振り返った。

Comme s'il était arrivé au bout de sa science et de sa bonne volonté, Céleste s'est alors retourné vers moi.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Comme s' ム・シ conj. まるで～であるかのように

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

était arrivé エ・アリグェ 3 単半・完了形(arriver)v.i(à に) 達した

「動詞句」

au bout オ・ブ adv.(de の) 終わりに

「間接目的語」

終わりに達する → 底を突く

de sa science ト・サ・ソンス adj. 知識の

「形容詞句」

et エ conj. そして

de sa bonne volonté, ト・サ・ボンヌ・ウ・ヴォンテ

adj. やる気の、気力の

「形容詞句」

Céleste セステ n.m セレストは

「主語」

s'est alors retourné セ・タロー・ルトゥルネ 3 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った

「動詞句」

vers moi. ヴェール・ムわ adv. 僕のほうへ

「副詞句」

僕には、彼の目が輝いており、その唇は震えているように見えた。

Il m'a semblé que ses yeux brillaient et que ses lèvres tremblaient.

「間接目的語」 「動詞句」 「補語」

Il イル pron 非人称・形式主語

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a semblé ア・ソングレ 非人称・3 単現・完了形(sembler)

v.h(à qn 人には) ～のように見えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「補語」

ses yeux セ・ジュ pl.n.m(oeil) 彼の目は

「主語」

brillaient ブリエ 3 複半・時制の一致(briller)v.i 輝いている

「動詞」

et エ conj. そして

que que ク conj. ～ということ

「補語」

ses lèvres セ・レーヴァル pl.n.f 彼の唇は

「主語」

tremblaient. トンブレ 3 複半・時制の一致(trembler)v.i 震えている

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼がまだ出来ることがあるかと、僕に尋ねているような様子をしていた。

Il avait l'air de me demander ce qu'il pouvait encore faire. 「主語」「動詞」「目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 avait アヴヱ 3 単半(avoir)v.t (特徴を) していた 「動詞」
 l'air レール n.m 様子を 「目的語」
 de +不定詞 adj. (同格) ～するという 「形容詞句」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 demander トゥモンテ 不定詞 v.t 尋ねる 「動詞」
 ce ス pron それを 「直接目的語」
 qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 pouvait encore faire. プヴヱ・オンコール・フェール 3 単半・可能(pouvoir+不定詞+encore)
 v.t まだできる 「動詞句」

僕は何も言わなかったし、いかなる身振りもしなかった。しかし僕は生まれて初めて、1 人の男を抱きしめたいと思った。

Moi, je n'ai rien dit, je n'ai fait aucun geste, mais c'est la première fois de ma vie que j'ai eu envie d'embrasser un homme.
 「主語」「動詞句」「目的語」「主語」「動詞句」「目的語」,mais 「動詞」「補語」「主語」
 Moi, je ムわ・ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai... dit, ネ...ディ 1 単現・完了形・否定(dire)v.t 言わなかった 「動詞句」
 rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai fait ネ・フェ 1 単現・完了形・否定(faire)v.t (動作を) しなかった 「動詞句」
 aucun geste, カン・ジェスト n.m どんな身振りも～ない 「目的語」
 aucun カン adj. (否定文で) (女性形 aucune) どんな～もない
 (肯定文で) なんらかの、いくらかの
 mais メ conj. しかし
 c' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 la première fois ラ・プルミエール・フワ n.f はじめて 「補語」
 de ma vie トゥ・マ・ヴィー adj. 人生で 「形容詞句」
 que ク conj. ～ということは 「主語」
 j' ジュ pron 僕が 「主語」
 ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t ～があった 「動詞」
 envie オンヴィー n.f 切望 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avoir envie de+不定詞 「～したい」
 d'embrasser トンブラ 不定詞・同格 v.t 抱きしめたいという 「形容詞句」
 un homme. アン・ム n.m 男を 「目的語」

裁判長は再び彼に、証人席を離れるように命じた。

Le président lui a encore enjoint de quitter la barre.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」
 Le président ル・プレジドン n.m 裁判長は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「目的語」
 a encore enjoint ア・オノコール・オンジユワ 3 単現・完了形・命令(enjoindre+encore)
 v.t(de+不定詞 ～するように) 再び命じた 「動詞句」
 de quitter トゥ・キテ 不定詞・lui の動作 v.t (場所を) 離れる 「補語」
 la barre. ラ・バル n.f 証人席を 「目的語」

セレストは傍聴席に戻って座った。残りすべての審問の間、彼はそこにいて、少し前屈みになり、膝の上に肘をのせ、パナマ帽を両手で挟み、話されることをすべて聞いていた。

Céleste est allé s'asseoir dans le prétoire. Pendant tout le reste de l'audience, il est resté là, un peu penché en avant, les coudes sur les genoux, le panama entre les mains, à écouter tout ce qui se disait.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」
 Céleste セレスト n.m セレストは 「主語」
 est allé s'asseoir エ・アレ・サスワール 3 単現・完了形・しに行く(aller+不定詞 s'asseoir)
 v.pr 座りに行った、行って座った 「動詞句」
 dans le prétoire. トン・ル・プレトワール adv. 傍聴席に、法廷内に 「副詞句」
 Pendant ポントン prep (時間) ～の間 「副詞句」
 tout le reste トゥ・ル・レスト n.m 残りすべて 「目的語」
 de l'audience, トゥ・ローディヨンス adj. 審問の 「形容詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 est resté エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i ～のままでいた 「動詞句」
 là, ラー adv. そこに 「副詞」
 un peu penché アン・プ・ポソシェ adv. 少し前屈みこんで 「副詞句」
 en avant, オン・サヴォン adv. 前に 「副詞句」
 les coudes レ・クード pl.n.m(coude) 肘を 「目的語」
 sur les genoux, シュール・レ・ジユヌ adv.(genou) 膝の上に 「副詞句」
 le panama ル・パナマ n.m パナマ帽を 「目的語」
 entre les mains, オントル・レ・マン adv. 手の間に 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--------------------------------------|--------|
| à écouter ア・エテ 不定詞・目的 adv. 聞くために | 「副詞句」 |
| tout ce トゥ・ス pron すべてのことを | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| se disait. セ・デ・イェ 3 単半・再帰受動(se dire) | |
| v.pr 話される | 「動詞句」 |

マリーが入ってきた。彼女は帽子をかぶっていた。そしてやはり美しかった。

Marie est entrée. Elle avait mis un chapeau et elle était encore belle.

| | |
|---|-------|
| 「主語」「動詞句」 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞」「補語」 | |
| Marie マリー n.f マリーは | 「主語」 |
| est entrée. エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入ってきた | 「動詞句」 |
| Elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| avait mis アヴァ・ミ 3 単半・完了形(mettre)v.t 身に着けていた | 「動詞句」 |
| un chapeau アン・シャポール n.m 帽子を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| encore belle. オンコール・ベル adj.f(beau) いつものように美しい | 「補語」 |

けれども、僕は髪をほどいたマリーのほうが好きだ。

Mais je l'aimais mieux avec ses cheveux libres. Mais 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

| | |
|---|-------|
| Mais メ conj. しかし | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| aimais エメ 1 単半・時制の一致(aimer)v.t 好きである | 「動詞」 |
| mieux ミュ adv. もっと | 「副詞」 |
| avec アヴァ・エツキ adv. (様態) ～をした状態の | 「副詞句」 |
| ses cheveux セ・シュヴァ pl.n(cheveu) 髪の毛 | 「目的語」 |
| libres. リーブル adj.pl(libre) 自由な、束縛されていない | 「形容詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕がいるところからは、彼女の胸のかすかな重みがうかがえたし、いつも少し腫れ気味の下唇も見ることができた。

De l'endroit où j'étais, je devinais le poids léger de ses seins et je reconnaissais sa lèvre inférieure toujours un peu gonflée.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

De トゥ prep (場所) ～からは 「副詞句」

l'endroit ロントゥルわ n.m その場所 「目的語」

où ウ adv. ～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

étais, エ 1 単半・存在・時制の一致(être)v.i いる 「動詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

devinais トゥヴァィネ 1 単半(deviner)v.t (どうにか) 見分けられた 「動詞」

le poids ル・プ わ n.m 重みが 「目的語」

léger レジエ adj. かすかな 「形容詞」

de ses seins トゥ・セ・ソソ adj. 彼女の乳房の 「形容詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

reconnaissais ルコネ 1 単半(reconnaître)v.t 認めた、見えた 「動詞」

sa lèvre サ・レヴル n.f 彼女の唇を 「目的語」

inférieure アンフェリエール adj. 下の 「形容詞」

toujours トゥジユール adv. いつも 「副詞」

un peu gonflée. アン・プ・ゴンフレ adj.f(gonflé) 少し腫れている 「形容詞句」

彼女はとても神経過敏に見えた。すぐに裁判長は、僕とはいつ知り合ったのかと尋ねた。

Elle semblait très nerveuse. Tout de suite, on lui a demandé depuis quand elle me connaissait.

「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」, 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」

semblait シンブレ 3 単半(sembler)v.i ～のように見えた 「動詞」

très nerveuse. トレ・ネルヴーズ adj.f(nerveux) とても神経質な 「補語」

Tout de suite, トゥ・トゥ・シュイト adv. すぐに 「副詞句」

on オン pron 裁判長は 「主語」

lui リュイ pron 彼女に 「間接目的語」

a demandé ア・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

depuis quand トゥピュイ・コン conj. いつから～するかということ 「直接目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

me ム pron 僕と

「目的語」

connaissait. コネ 3 単半(connaître)v.t 知り合いである

「動詞」

彼女は僕と同じ会社で働いていた時期を答えた。

Elle a indiqué l'époque où elle travaillait chez nous.

「主語」「動詞句」「目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

a indiqué ア・アンディケ 3 単現・完了形(indiquer)v.t 示した、答えた

「動詞句」

l'époque レポキ n.f 時期を

「目的語」

où ウ adj. ～する

「形容詞節」

elle エル pron 彼女が

「主語」

travaillait トラヴァイエ 3 単半(travailler)v.i 働いていた

「動詞」

chez nous. シェヌ adv. 僕たちの会社で

「副詞句」

裁判長は、彼女は僕とはどのような関係なのかと尋ねた。

Le président a voulu savoir quels étaient ses rapports avec moi.

「主語」「動詞句」「目的語」

Le président ル・プレジダン n.m 裁判長は

「主語」

a voulu savoir ア・ヴリュ・サヴァル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t ～を尋ねた、知りたがった

「動詞句」

quels ケル pron.pl (補語) どんなものかということ

「目的語」

étaient エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

ses rapports セ・ラポール pl.n.m 関係は

「主語」

avec moi. アヴェッキムわ adv. 僕との

「副詞句」

彼女は僕の恋人だと答えた。別の質問に対して、僕と結婚するはずだったということは本当だと返事をした。

Elle a dit qu'elle était mon amie. À une autre question, elle a répondu qu'il était vrai qu'elle devait m'épouser.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Elle エル pron 彼女は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った、答えた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「目的語」

elle エル pron 自分は、彼女は

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

mon amie. モナミ n.f (所有形容詞+ami) 僕の恋人

「補語」

une amie ユヌアミ n.f 友達

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|---------------------------------|-------|
| À une autre question, ア・エンヌ・オートル・ケスチョン | adv. (対象) 別の質問に対しては | 「副詞句」 |
| elle エル | pron 彼女は | 「主語」 |
| a répondu ア・レポンスジュ | 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた、返事をした | 「動詞句」 |
| qu' ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル | pron 仮の主語 (真の主語は qu' 以降) | |
| était エテ | 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| vrai ヴレ | adj. 本当の | 「補語」 |
| qu' ク | conj. ～ということは | 「主語」 |
| elle エル | pron 彼女は | 「主語」 |
| devait ...épouser. トゥガ'エ...エプ'セ | 3 単半・推定(devoir+不定詞) | |
| v.t 結婚するはずだった | | 「動詞句」 |
| m' ム | pron 僕と | 「目的語」 |

書類をめくっていた検事が、不意に、僕たちの関係はいつから始まったのかと尋ねた。

Le procureur qui feuilletait un dossier lui a demandé brusquement de quand datait notre liaison.

| | | |
|-------------------------|---------------------------|---------|
| Le procureur ル・プ'ロキュレール | n.m 検事は | 「主語」 |
| qui キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| feuilletait フイユテ | 3 単半(feuilleter) | |
| v.t (新聞のページを) めくっていた | | 「動詞」 |
| un dossier ウン・ドッシェ | n.m 書類を | 「目的語」 |
| lui リュイ | pron 彼女に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・ドゥマンテ | 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| brusquement ブリュスキモン | adv. 不意に | 「副詞」 |
| de quand トゥ・コン | adv. いつから～するかということを | 「直接目的語」 |
| datait ダテ | 3 単半(dater)v.i(de に) 始まった | 「動詞」 |
| notre liaison. ノル・リエゾン | n.f 僕たちの関係が | 「主語」 |

彼女はその日付を答えた。検事は、さりげない様子で、その日は母さんの死んだ翌日のように思われると指摘した。

Elle a indiqué la date. Le procureur a remarqué d'un air indifférent qu'il lui semblait que c'était le lendemain de la mort de maman.

| | | |
|-------------------|-------------------------------------|-------|
| Elle エル | pron 彼女は | 「主語」 |
| a indiqué ア・アンディケ | 3 単現・完了形(indiquer)v.t 指し示した、答えた、教えた | 「動詞句」 |
| la date. ラ・ダット | n.f その日付を | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|------------------|---------|
| Le procureur ル・プ°ロキュレール n.m | 検事は | 「主語」 |
| a remarqué ア・マルケ 3 単現・完了形(remarquer)v.t | 指摘した、注目した | 「動詞句」 |
| d'un air indifférent ダン・ネール・アンディフェロン adv. | (様態) さりげない様子で | 「副詞句」 |
| indifférent アンディフェロン adj. | 関心がない、どうでも良い、冷淡な | |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron | その日付は | 「主語」 |
| lui リュイ pron | 彼には | 「間接目的語」 |
| semblait ソンブレ 3 単半・時制の一致(sembler)v.i | ～に見える | 「動詞」 |
| que ク conj. | ～ということ | 「補語」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| le lendemain ル・ロントゥモン n.m | 翌日 | 「補語」 |
| de la mort トゥ・ラ・モール adj. | 死の | 「形容詞句」 |
| de maman. トゥ・マモン adj. | 母さんの | 「形容詞句」 |

それから、彼は幾分皮肉を込めて言った。彼はデリケートな事情について強調したいわけではないし、マリーがためらうことも理解している。しかし（ここで彼の口調は一段と激しくなった）自分の義務感が、礼儀を超えて事実を解明せよと自分に命ずるのだと続けた。

Puis il a dit avec quelque ironie qu'il ne voudrait pas insister sur une situation délicate, qu'il comprenait bien les scrupules de Marie, mais (et ici son accent s'est fait plus dur) que son devoir lui commandait de s'élever au-dessus des convenances.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」,
mais (et 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」)「目的語」

| | | |
|---|--------------|---------|
| Puis ピュイ adv. | それから | 「副詞」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| avec quelque ironie アヴェッキ・ケルキ・イロニー adv. | いくらかの皮肉を込めて | 「副詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| ne voudrait pas insister ヌ・ウ°トブレ・パ°・アンシステール 条・3 単現・否定・願望(vouloir+不定詞) | | |
| v.i(sur を) | 強調したいわけではない | 「動詞句」 |
| sur une situation délicate, シュール・ユヌ・シチュワシオン・デリカット | | |
| adv. | デリケートな事情について | 「間接目的語」 |
| qu' ク conj. | (並列) ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| comprenait コンプレ 3 単半・時制の一致(comprendre)v.t | 理解している | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| bien ビヤン adv. よく、十分に | 「副詞」 |
| les scrupules de Marie, レ・スクリュピュル・ドゥ・マリー | |
| pl.n.m マリーのためらいを | 「目的語」 |
| mais メ conj. しかし | |
| (et エ conj. そして | |
| ici イシ adv. ここで | 「副詞」 |
| son accent ソン・アクソン n.m 検事の口調は | 「主語」 |
| s'est fait セ・フェ 3 単現・完了形(se faire)v.pr 〜になった | 「動詞句」 |
| plus dur) プリュ・デュール adj. さらに激しい | 「補語」 |
| que ク conj. (並列) 〜ということを | 「目的語」 |
| son devoir ソン・ドゥワール n.m 彼の義務が | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「目的語」 |
| commandait コモンテ 3 単半・時制の一致(commander)v.命じる | 「動詞」 |
| de s'élever ドゥ・セルヴェ 不定詞・lui の動作 v.t 上がる | 「補語」 |
| audessus des convenances. オトウシュ・デ・コンヴァンス | |
| adv. 礼儀の上に | 「副詞句」 |

そこで検事はマリーに、僕と知り合いになった日のことを大まかに説明するように求めた。

Il a donc demandé à Marie de résumer cette journée où je l'avais connue.

| | |
|--|----------------------|
| | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「補語」 |
| Il イル pron 検事は | 「主語」 |
| a donc demandé ア・ドンク・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander+donc) | |
| v.t(à qn de+不定詞 人に〜するように) それで...求めた | 「動詞句」 |
| à Marie ア・マリー adv. マリーに | 「間接目的語」 |
| de résumer ドゥ・レジュメ 不定詞・Marie の動作 v.t 要約する、ざっと説明する | 「補語」 |
| cette journée セット・ジュールネ n.f その日を | 「目的語」 |
| où ウ adv. 〜する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| l' ラ pron 彼女を | 「目的語」 |
| avais connue. アヴェ・コニュ 1 単半・完了形(connaître) | |
| v.t 知った、知り合いになった | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

マリーは話すのを嫌がったが、検事の執拗さに負けて、二人で海水浴へ行ってから、映画を見に行き、最後は僕の部屋に戻ったと話した。

Marie ne voulait pas parler, mais devant l'insistance du procureur, elle a dit notre bain, notre sortie au cinéma et notre rentrée chez moi.

「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Marie マリー n.f マリーは

「主語」

ne voulait pas parler, ヌ・ヴレ・パ・パル 3 単半・願望・否定(vouloir+不定詞)

v.i 話すのを嫌がった、話したがらなかった

「動詞句」

mais メ conj. しかし

devant ド・ヴァン prep 〜を前にして

「副詞句」

l'insistance ランシストス n.f 執拗さ

「目的語」

du procureur, ジュ・プ ロキュレル adj. 検事の

「形容詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 話した

「動詞句」

notre bain, ノル・バン n.m 海水浴

「目的語」

notre sortie ノル・ソルティ n.f 外出

「目的語」

au cinéma オ・シネマ adv. (場所) 映画館への

「副詞句」

et エ conj. そして

notre rentrée ノル・ントレ n.f 帰宅

「目的語」

chez moi. シェ・ムわ adv. 僕の部屋へ

「副詞句」

検事は、予審でのマリーの供述の後で、その日の上映プログラムを確認しておいたと言った。

L'avocat général a dit qu'à la suite des déclarations de Marie à l'instruction, il avait consulté les programmes de cette date.

「主語」「動詞句」「目的語」

L'avocat général ラヴァ・オカ・ジェネラル n.m 法院検事は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということを

「目的語」

à la suite de ア・ラ・シュイト・ドゥ adv. 〜の後で、〜に続いて

「副詞句」

des déclarations de Marie テ・デ・クララシオン・ド・マリ

pl.n.f マリーの供述

「目的語」

à l'instruction, ア・ランストリクション adv. 予審での

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

avait consulté アヴァ・エ・コンシュルテ 3 単半・完了形(consulter)v.t 調べた

「動詞句」

les programmes レ・プ ログラム pl.n.m 上映プログラムを

「目的語」

de cette date. トゥ・セツト・ダット adj. その日の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、その時に上映されていた映画の題名をマリー自身に言ってもらおう、と付け加えた。

Il a ajouté que Marie elle-même dirait quel film on passait alors.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a ajouté ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

Marie マリー n.f マリーは

「主語」

elle-même エル・メーム adv. (手段) 自分自身で

「副詞句」

dirait ディレ 条・3 単現(dire)v.t 言うだろう

「動詞」

quel film ケル・フィルム n.m その映画を

「目的語」

on オン pron 人が

「主語」

受動態に翻訳する

passait パッセ 3 単半(passer)v.t 上映していた

「動詞」

alors. アロー adv. その時

「副詞」

間接話法における条件法現在

主節が過去時制のとき、直接話法を間接話法に変えると、〈時制の一致〉により、従属節の直説法単純未来が条件法現在に変わります。

本当にか細い生気のない声で、マリーはフェルナンデルの映画だったと答えた。

D'une voix presque blanche, en effet, elle a indiqué que c'était un film de Fernandel.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

D'une voix デュヌ・ウゝ adv. (手段) 声で

「副詞句」

presque blanche, プレスキ・ブロンシュ

adj.f(bleu) ほとんど真っ白な、平坦でかすかな

「形容詞句」

生気のない声は、抑揚が無くて、か細いものだ

en effet, オネフェ adv. 実際、本当に

「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

a indiqué ア・アンディケ 3 単現・完了形(indiquer)v.t 示した

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

un film アン・フィルム n.m 映画

「補語」

de Fernandel. トゥ・フェルナンデル adj. フェルナンデルの

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼女が証言を終えるとすぐに、法廷は隅々まで静まり返った。

Le silence était complet dans la salle quand elle a eu fini.

「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

Le silence ル・シロンス n.m 静寂は 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」

complet コンプレ adj. 完全な、徹底した 「補語」

dans la salle トン・ラ・サル adv. 法廷内は 「副詞句」

quand コン conj. 〜するとき 「副詞節」

elle エル pron 彼女が 「主語」

a eu fini. ア・イ・フィニ 3 単現・完了形・直前(finir)

v.t (証言を) 終えた

「動詞句」

複複合過去 : avoir の現在形+ (eu または été) +過去分詞

複合過去または半過去の主節に導かれた従属節で、主節の直前に完了した行為を表す。

そこで検事が重々しく立ち上がり、僕には感極まったとわかるような声で、僕のほうを指差して、ゆっくりと言葉を区切りながら話した：

Le procureur s'est alors levé, très grave et d'une voix que j'ai trouvée vraiment émue. le doigt tendu vers moi, il a articulé lentement:

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」

Le procureur ル・プ ロキュレール n.m 検事が 「主語」

s'est alors levé, セ・タロー・ルヴエ 3 単現・完了形(se lever+alors)

v.pr そこで立ち上がった 「動詞句」

très grave トレ・グラーヴ adv. 非常に重々しく 「副詞句」

et エ conj. そして

d'une voix ジュヌヌ・グワ adv. (手段) 声で 「副詞句」

que ク pron.f (目的語: voix) 〜する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai trouvée エ・トゥルヴエ 1 単現・完了形.f(trouver)v.t 分かった 「動詞句」

vraiment émue, ヴレモン・エミュー adj.f 感動した、感極まった 「補語」

le doigt ル・ドゥワ n.m 指は〜の状態で 「副詞句」

tendu トンジュ 過去分詞・受動(tendre)adj. 指差された 「形容詞」

vers moi, ヴェール・ムワ adv. 僕のほうを 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

a articulé ア・アルキュレ 3 単現・完了形(articuler)v.t (単語を) 区切って話した 「動詞句」

lentement: ロントゥモン adv. ゆっくりと 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「陪審員の皆さん。自分の母親の死の翌日に、彼は海水浴をし、戯れの間係を始め、喜劇映画を楽しみに行ったのです。これ以上皆さんに言うべきことは何ともありません」

«Messieurs les Jurés, le lendemain de la mort de sa mère, cet homme prenait des bains, commençait une liaison irrégulière, et allait rire devant un film comique. Je n'ai rien de plus à vous dire.»

《「呼びかけ」, 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」, 「動詞」「目的語」,
et 「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」》

«Messieurs les Jurés, メッシユー・レ・ジュレ pl.n.m 陪審員の皆さん 「呼びかけ」

Messieurs メッシユー pl.n.m ~氏たち、皆さん Juré ジュレ n.m 陪審員

Messieurs-dames メッシユー・ダム pl.n (男女の) 皆様、皆さん

le lendemain ル・ロントゥモン n.m 翌日に 「副詞句」

de la mort トゥ・ラ・モール adj. 死の 「形容詞句」

de sa mère, トゥ・サ・メール adj. 自分の母親の 「形容詞句」

cet homme セ・トム n.m この男は、彼は 「主語」

prenait プルネ 3 単半(prendre)v.t (風呂などを) 浴びた 「動詞」

des bains, デ・バン pl.n.m 海水浴を 「目的語」

commençait コモンセ 3 単半(commencer)v.t 始めた 「動詞」

une liaison ユンヌ・リエゾン n.f (人の) 関係を 「目的語」

irrégulière, イレギュリエール adj.f 不規則な、たわむれの 「形容詞」

et エ conj. そして

allait rire アレ・リール 3 単半・しに行く(aller+不定詞)v.i 笑いに行った 「動詞句」

devant トゥ・ヴァン prep ~を前にして 「副詞句」

un film comique. アン・フィルム・コミック n.m 喜劇映画 「目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」

n'ai ネ 1 単現・否定(avoir)v.t ない 「動詞句」

rien リャン pron 何も~ない 「目的語」

de +不定詞 トゥ adj. ~すべき 「形容詞句」

plus プリュ adv. もう 「副詞」

à vous ア・ヴ adv. 皆さんに 「間接目的語」

dire.» ディール 不定詞 v.t 言う 「動詞」

今なお静寂が続く中、彼は着席した。

Il s'est assis, toujours dans le silence. 「主語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

s'est assis, セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った、着席した 「動詞句」

toujours トゥジュール adv. あいかわらず、今なお 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

dans le silence. トン・ル・シロンス adv. 静寂の中で

「副詞句」

しかし突然、マリーは嗚咽し始めて言った：話はそういうことじゃない。ほかの事があった。自分が考えているのとは逆のことを言わされている。僕のことをよく知っている。僕は何も悪いことをしていない。

Mais, tout d'un coup, Marie a éclaté en sanglots, a dit que ce n'était pas cela, qu'il y avait autre chose, qu'on la forçait à dire le contraire de ce qu'elle pensait, qu'elle me connaissait bien et que je n'avais rien fait de mal.

Mais, 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」, 「動詞句」「目的語」

Mais, メ conj. しかし

tout d'un coup, トゥ・ダン・ク adv. 突然

「副詞句」

tout à coup トゥ・タ・クー adv. 突然

Marie マリー n.f. マリーは

「主語」

a éclaté ア・エクラテ 3 単現・完了形(éclater)v.i(en+無冠詞名詞) 突然～をした

「動詞句」

en sanglots, オン・ソングロ adv. すすり泣きを、嗚咽を

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

ce ス pron. それは

「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない

「動詞」

cela, すら pron. そのようなこと

「補語」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il y avait イ・リ・アヴァ 3 単半(il y avoir)v.t ～があった

「動詞句」

autre chose, オートル・ショズ n.f. 他のことが

「目的語」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

on オン pron. 誰かが、人が

「主語」

受動態に翻訳する

la ラ pron. 彼女に

「目的語」

forçait フォルセ 3 単半・使役(forcer à+不定詞)v.t ～させた

「動詞」

à dire ア・ディール 不定詞・la の動作 v.t 話す

「補語」

le contraire de ce ル・コントレール・トゥ・ス n.m. それとは反対のことを

「目的語」

qu' ク pron. (目的語) ～する

「形容詞節」

elle エル pron. 彼女が

「主語」

pensait, ポンセ 3 単半・時制の一致(penser)

v.t. 考えている

「動詞」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

elle エル pron. 彼女は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| connaissait コネッ 3 単半・時制の一致(connaître)v.t 知っている | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. よく | 「副詞」 |
| et エ conj. そして | |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'avais ...fait ナヴ エ...フェ 1 単半・完了形・否定・時制の一致(faire) | |
| v.t していない | 「動詞句」 |
| rien リヤン pron 何も～ない | 「目的語」 |
| de mal. トゥ・マル adj. 悪い | 「形容詞句」 |

しかし、廷吏が、裁判長の合図で、マリーを連れ出し、審理は続けられた。

Mais l'huissier, sur un signe du président, l'a emmenée et l'audience s'est poursuivie.

Mais 「主語」 「副詞句」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」

| | |
|---|--------|
| Mais メ conj. しかし | |
| l'huissier, リュイシエ n.m 廷吏が | 「主語」 |
| sur シュール prep (原因) ～によって | 「副詞句」 |
| un signe アン・シーニュ n.m 合図 | 「目的語」 |
| du président, シュ・プレジトソ adj. 裁判長の | 「形容詞句」 |
| l' ラ pron.f 彼女を | 「目的語」 |
| a emmenée ア・オンネ 3 単現・完了形(emmener)v.t 連れて行った | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| l'audience ロジオンス n.f (刑事事件の) 審問は | 「主語」 |
| s'est poursuivie. セ・プルシュイヴィ 3 単現・完了形.f(se poursuivre)v.pr 続けられた | 「動詞句」 |

次に、マソンが、僕は正直な男だ、(さらに言うなら、まじめな男だ) と言ったのをほとんど誰も聞いていなかった。

C'est à peine si, ensuite, on a écouté Masson qui a déclaré que j'étais un honnête homme «et qu'il dirait plus..j'étais un brave homme».

C'est à peine si, 「副詞」 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | |
|--|--------|
| C'est à peine si,+直説法 セ・タ・ペ・ヌ・シ conj. ほとんど～ない、かろうじて～する | |
| ensuite, オンジュイト adv. 次に、それから | 「副詞」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| a écouté ア・エクト 3 単現・完了形・知覚動詞(écouter)v.t 聞いた | 「動詞句」 |
| Masson マソ n.m マソンを | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | |
|-----------------------------|-------------------------------|------|-------|
| a déclaré ア・デクレ | 3 単現・完了形(declarer)v.t | 証言した | 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| j' ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| étais エ | 1 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un honnête homme アン・オネ・トム | n.m | 正直な男 | 「補語」 |
| «et エ conj. | そして | | |
| qu' ク conj. | ～ということを | | 「目的語」 |
| il イル pron | 彼は | | 「主語」 |
| dirait デイル | 条・3 単現・条件(dire) (過去における未来を表す) | | |
| v.t | 言うならば | | 「動詞」 |
| plus, プリュ adv. | さらに | | 「副詞」 |
| j' ジュ pron | 僕は | | 「主語」 |
| étais エ | 1 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un brave homme». アン・ブラーヴ・オム | | | |
| n.m | まじめな男 | | 「補語」 |

(C'est) à peine si+直説法 :

C' は si 以降の代用で、si 以降は「事実」を提示している。

かろうじて～する、ほとんど～ない、せいぜい～

C'est à peine si on pouvait entendre le guitariste.

ギター奏者の演奏も聞こえるか聞こえないかだった。

C'est à peine si on put se sauver. かろうじて逃げ出せた。

参考 : à peine も同じ意味で使用されるが、文頭に置かれると主語と動詞は等置する。

À peine mangeait-il. 彼はほとんど食が進まなかった。

Si 事実の提示 :

Si..., c'est (parce) que... 「... であるのは、～だからだ」

Si nous prenons les petites routes, c'est pour éviter les bouchons.

狭い道を通るのは、交通渋滞を避けるためです。

S'il n'est pas venu, c'est qu'il a eu un empêchement.

彼が来なかったのは、差支えができたからだ。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

さらにまたサラマノが、僕が彼の犬のことでは親切だったと説明した時や、彼が僕の母さんと僕自身についての質問に答えて、僕は母に何も話すことがない、そしてそのために母さんを養老院へ入れたと説明した時にも、ほとんど誰も聞いていなかった。

C'est à peine encore si on a écouté Salamano quand il a rappelé que j'avais été bon pour son chien et quand il a répondu à une question sur ma mère et sur moi en disant que je n'avais plus rien à dire à maman et que je l'avais mise pour cette raison à l'asile.

C'est à peine encore si 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

C'est à peine encore si セ・タ・ペ・ヌ・オンコール・シ conj. さらにまたほとんど～ない

on オン pron 人は 「主語」

a écouté ア・エクテ 3 単現・完了形・知覚動詞(écouter)v.t 聞いた 「動詞句」

Salamano サラマノ n.m サラマノが言うことを 「目的語」

quand コン conj. ～するとき 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

a rappelé ア・ラプレ 3 単現・完了形(rappeler)v.t(que と) 説明した 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais été アヴ・ェ・セテ 1 単半・完了形(être)v.i ～だった 「動詞句」

bon ボン adj. 親切的な 「補語」

pour son chien プール・ソン・シヤン adv. 彼の犬のことで 「副詞句」

et エ conj. そして

quand コン conj. ～するとき 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

a répondu ア・レボンジュ 3 単現・完了形(répondre)v.i(à に) 答えた 「動詞句」

à une question ア・ユヌ・クエション adv. 質問に 「間接目的語」

sur ma mère シュール・マ・メル adv. 僕の母さんについての 「副詞句」

et エ conj. そして

sur moi シュール・ムワ adv. 僕自身についての 「副詞句」

en disant オン・ディザン ジェロンディフ(dire)v.t ～と言いながら 「副詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais plus rien à dire ナヴ・ェ・プリュ・リヤン・ナ・ディール 1 単半・否定

v.t 何も言うことが無い 「動詞句」

à maman ア・マモン adv. 母さんに 「間接目的語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| l'ラ pron 母さんを | 「目的語」 |
| avais mise アヴ・ェ・ミズ 1 単半・完了形.f(mettre) | |
| v.t 入れた | 「動詞句」 |
| pour cette raison プール・セット・レゾン adv. この理由で | 「副詞句」 |
| à l'asile. ア・ラジール adv. 養老院へ | 「副詞句」 |

「理解してあげなければなりません」と、サラマノは言った。「理解してあげなければ」

«Il faut comprendre, disait Salamano, il faut comprendre.»

《「動詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「動詞句」》

«Il faut comprendre, イ・フォ・コンプ ロントール 非人称 3 単現(Il faut+不定詞)

v.t 理解しなければならない「動詞句」

disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った「動詞」

Salamano, サラマノ n.m サラマノは「主語」

il faut comprendre.» イ・フォ・コンプ ロントール 非人称 3 単現(Il faut+不定詞)

v.t 理解しなければならない「動詞句」

しかし、誰も理解しているようには見えなかった。廷吏が彼を連れて行った。

Mais personne ne paraissait comprendre. On l'a emmené.

Mais 「主語」「動詞句」 | 「主語」「目的語」「動詞句」

Mais メ conj. しかし

personne ペルソヌ pron (ne と共に) 誰も～ない 「主語」

ne paraissait comprendre. ヌ・パレ・コンプ ロントール 3 単半・否定(paraître+不定詞)

v.t 理解しているようには見えなかった 「動詞句」

On オン pron 廷吏が 「主語」

l'ル pron 彼を 「目的語」

a emmené. ア・オンネ 3 単現・完了形(emmener)v.t 連れて行った 「動詞句」

次は、最後の証人である、レーモンの順番になった。

Puis est venu le tour de Raymond, qui était le dernier témoin.

「副詞」「動詞句」「主語」

Puis プイ adv. 次に 「副詞」

est venu エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i ～が来た 「動詞句」

le tour ル・トゥール n.m 順番が 「主語」

de Raymond, ドゥ・レーモン adj. レーモンの 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

le dernier témoin. ル・デールニエ・テムワソ n.m 最後の証人

「補語」

レーモンは僕に軽く合図をすると、即座に、僕は無実ですと言った。

Raymond m'a fait un petit signe et a dit tout de suite que j'étais innocent.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 et 「動詞句」「副詞句」「目的語」

Raymond レーモン n.m レーモンは

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した

「動詞句」

un petit signe アン・プチ・シニユ n.m 小さな合図を

「直接目的語」

et エ conj. そして

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

tout de suite トゥ・トゥ・シュイト adv. 即座に、すぐに

「副詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

innocent. イソソ adj. 無実の

「補語」

だが裁判長は、裁判官が彼に求める事は意見ではなく事実の陳述であると言い渡した。

Mais le président a déclaré qu'on ne lui demandait pas des appréciations, mais des faits.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

le président ル・プレジトソ n.m 裁判長は

「主語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 言い渡した、はっきりと知らせた「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

on オン pron (動詞は三人称単数形) 我々裁判官は

「主語」

ne ...demandait pas ス...トゥモンテ・パ 3 単半・否定・時制の一致(demander)

v.t 望んでいない

「動詞句」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

des appréciations, デ・サプレシヨソ pl.n.f 意見、感想

「直接目的語」

mais メ conj. そうではなくて

des faits. デ・フェ pl.n.m 事実

「直接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

裁判長は彼に、質問されてから返事をするようにと注意した。

Il l'a invité à attendre des questions pour répondre.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 裁判長は

「主語」

l' ル pron 彼に

「目的語」

a invité ア・アンヴ ァテ 3 単現・完了形(inviter)

v.t(qn à+不定詞 人に～するように) 促した

「動詞句」

à attendre ア・アントゥル 不定詞・l'の動作 v.t 待つ

「補語」

des questions デ・クエスチョン pl.n.f 質問を

「目的語」

pour répondre. プール・レポントゥル adv. (継続・結果) それから返事をする 「副詞句」

裁判長は彼に、被害者との関係を詳しく述べさせた。

On lui a fait préciser ses relations avec la victime.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

On オン pron 裁判長は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「目的語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形・使役(+不定詞)v.t ～させた

「動詞句」

préciser プレシゼ 不定詞・lui の動作 v.t 明確に言う

「補語」

ses relations セ・ルシヨン pl.n.f 彼らの関係を

「目的語」

avec la victime. アヴ ェッキ・ラ・ヴィクティム adv. 被害者との

「副詞句」

レーモンは、話す機会を得て、彼が被害者の妹に平手打ちを食らわせて以来、被害者が憎んでいたのは（僕ではなくて）レーモンだったのだと説明した。

Raymond en a profité pour dire que c'était lui que cette dernière haïssait depuis qu'il avait giflé sa soeur.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Raymond レーモン n.m レーモンは

「主語」

en オン adv. (de cette occasion : 説明する機会) それを

「間接目的語」

a profité ア・プロフィテ 3 単現・完了形(profiter)v.t(de を) 利用した

「動詞句」

pour dire プール・テイル adv. (継続) そして話した

「副詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

lui リュイ pron 彼 (レーモン)

「補語」

que ク conj. ～ということは

「主語」

cette dernière セット・テルニエール

pron (victime の代用) この被害者が

「主語」

haïssait アイセ 3 単半(haïr)v.t 憎んでいた

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

depuis qu' トゥヰ° ユイ・ク conj. ～して以来 「副詞節」

il イル pron レーモンが 「主語」

avait giflé アヴェ° ジフル 3 単半・完了形(gifler)

v.t 平手打ちを食らわした 「動詞句」

sa soeur. サ°セル n.f 被害者の妹に 「目的語」

裁判長は、それでも、被害者が僕を憎む理由はなかったのかと彼に尋ねた。

Le président lui a demandé cependant si la victime n'avait pas de raison de me haïr.

「主語」「間接目的語」「動詞句」 cependant 「直接目的語」

Le président ル°プレジドン n.m 裁判長は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

a demandé ア°トゥモンテ° 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

cependant ス°ントソ conj. しかしながら、それでも

si シ conj. ～かどうかということをして 「直接目的語」

la victime ラ°ヴィクティム n.f 被害者は 「主語」

n'avait pas ナヴェ°パ° 3 単半・否定(avoir)v.t なかった 「動詞句」

de raison トゥ°ラゾン n.f 理由 「目的語」

de me haïr. トゥ°ム・アイール 不定詞・目的 adj. 僕を憎む 「形容詞句」

レーモンは、僕がああ浜辺に居たことは偶然の結果であると言った。

Raymond a dit que ma présence à la plage était le résultat d'un hasard.

「主語」「動詞句」「目的語」

Raymond レーモン n.m レーモンは 「主語」

a dit ア°ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

que ク conj. ～ということをして 「目的語」

ma présence マ°プレザンス n.f 僕の存在は 「主語」

à la plage ア°ラ°プラージュ adv. ああ浜辺での 「副詞句」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

le résultat ル°レジユルタ n.m 結果 「補語」

d'un hasard. タン°アザール adj. 偶然の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そこで検事は、悲劇の発端となったあの手紙は、どんな経緯で僕が書いたのかと彼に尋ねた。

Le procureur lui a demandé alors comment il se faisait que la lettre qui était à l'origine du drame avait été écrite par moi.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」

Le procureur ル・プ°ロキュレール n.m 検事は 「主語」

lui リュイ pron レーモンに 「間接目的語」

a demandé ア・ド°ァモンテ° 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

alors アール adv. それで、すると 「副詞」

comment コモン conj. どのように～するかということを 「直接目的語」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

「主語」が長い場合は、仮の主語 il を置いて、後に続く que 節で内容を示す

se faisait ス・フェール 3 単半・再帰受動(se faire)v.pr 行われた 「動詞句」

que ク conj. ～ということは 「主語」

la lettre ラ・レトル n.f あの手紙は 「主語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

était エテ 3 単半・変化(être)v.i ～になった 「動詞」

à l'origine du drame ア・オリジヌ・ジ°ュ・ドラマ

adv. 悲劇の発端 「補語」

avait été écrite アヴ°ェ・テ°エクリット 3 単半・完了形・受動(écrire)

v.t 書かれた 「動詞句」

par moi. パ°ール・ムわ adv. (動作主) 僕によって 「副詞句」

レーモンは、それは偶然だと答えた。

Raymond a répondu que c'était un hasard. 「主語」「動詞句」「目的語」

Raymond レモン n.m レーモンは 「主語」

a répondu ア・レ°ボンジ° 3 単現・完了形(répondre)v.t (que だと) 答えた 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

un hasard. アン・アザール n.m 偶然 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

この事件では偶然がすでに多くの悪事に絡むことが気にかかる、検事は言い返した。

Le procureur a rétorqué que le hasard avait déjà beaucoup de méfaits sur la conscience dans cette histoire. 「主語」「動詞句」「目的語」

Le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事は 「主語」

a rétorqué ア・レトル 3 単現・完了形(rétorquer)v.t 反論した、言い返した 「動詞句」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

le hasard ル・アザール n.m 偶然は 「主語」

avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t ある 「動詞」

déjà デジャ adv. すでに 「副詞」

beaucoup de méfaits ボク・ドゥ・メフェ pl.n.m 多くの悪事 「目的語」

sur la conscience シュール・ラ・コンシヤンス adv. 良心では 「副詞句」

avoir qch sur la conscience (何) が良心にとがめる、気にかかる

dans cette histoire. ドン・セット・イストワール adv. この事件では 「副詞句」

彼はさらに質問した。レーモンが愛人に平手打ちを食らわせた時に、僕が口を出さなかったのは偶然なのか？警察で僕が証人になったことも偶然なのか？さらにまた、その証言の時の言明がまったくの作り話だと分かったことも偶然なのかと。

Il a voulu savoir si c'était par hasard que je n'étais pas intervenu quand Raymond avait giflé sa maîtresse, par hasard que j'avais servi de témoin au commissariat, par hasard encore que mes déclarations lors de ce témoignage s'étaient révélées de pure complaisance. 「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a voulu savoir ア・ヴリュ・サワール 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t 知ろうとした、質問した 「動詞句」

si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は次の que 節)

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

par hasard パール・アザール adv. 偶然に 「補語」

que ク conj. ～ということは 「主語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

n'étais pas intervenu ネテ・パ・アンテルヴニユ 1 単半・完了形・否定(intervenir)

v.i 介入しなかった、口出ししなかった 「動詞句」

quand コン conj. ～するとき 「副詞節」

Raymond レモン n.m レーモンが 「主語」

avait giflé アヴェ・ジフル 3 単半・完了形(gifler)

v.t 平手打ちを食らわせた 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|-----------------|-------|
| sa maîtresse, サ・メレス n.f | 彼の愛人に | 「目的語」 |
| par hasard パール・アザール adv. | 偶然に | 「補語」 |
| que ク conj. | ～ということは | 「主語」 |
| j' ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| avais servi アヴェ・セルヴィ 1 単半・完了形(servir) | | |
| v.i(à qn de+無冠詞名詞) (人に) ～の役目を果たした | | 「動詞句」 |
| de témoin トゥ・テムワソ adv. | 証人として | 「補語」 |
| au commissariat, オ・コミサリア adv. | 警察で | 「副詞句」 |
| par hasard encore パール・アザール・オンコール adv. | さらに偶然に | 「補語」 |
| que ク conj. | ～ということは | 「主語」 |
| mes déclarations メ・デクラシオン pl.n.f | 僕の言明が | 「主語」 |
| lors de ce témoignage ロール・トゥ・ス・テムワニヤージュ | | |
| adv. その証言の時に | | 「副詞句」 |
| lors de ロール・トゥ adv. | ～の時に | |
| s'étaient révélées セテ・レヴェレ 3 複半・完了形(se révéler) | | |
| v.pr (～であると) 分かった | | 「動詞句」 |
| de pure complaisance. トゥ・ピュール・コンプレザンス | | |
| adj. まったく親切からの、づくり話の | | 「補語」 |
| pure ピュール adj.f(pur) 純粋な、まったくの | | |
| complaisance コンプレザンス n.f | 心遣い、親切、度を過ぎた優しさ | |

最後に検事はレーモンに、生計の手段は何かと尋ねた。レーモンが「倉庫番」と答えると、すぐに検事は陪審員に、証人は周知のようにひも稼業を営んでいると決めつけた。

Pour finir, il a demandé à Raymond quels étaient ses moyens d'existence, et comme ce dernier répondait : «Magasinier», l'avocat général a déclaré aux jurés que de notoriété générale le témoin exerçait le métier de souteneur.

| | | |
|---|----------------|-----------------------------------|
| | | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」 |
| et | | 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「直接目的語」 |
| Pour finir, プール・フィニール adv. | 最後に、終わりに、結論として | 「副詞句」 |
| il イル pron | 検事は | 「主語」 |
| a demandé ア・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t | 尋ねた | 「動詞句」 |
| à Raymond ア・レーモン adv. | レーモンに | 「間接目的語」 |
| quels ケル adj. | どんな～であるかと | 「直接目的語」 |
| étaient エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| ses moyens セ・ムワイソ pl.n.m | 手段は | 「主語」 |
| d'existence, デグジストス adj. | 生活の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|------------------|---------|
| moyens d'existence ムワイシ・デグジストス pl.n.m | 生計の手段、生活費 | |
| et エ conj. | そして | |
| comme コム conj. | (同時性の強調) ~するとすぐに | 「副詞節」 |
| ce dernier ス・テルニエ pron | 後者が (レーモン) | 「主語」 |
| répondait: レポンド 3 単半(répondre)v.i | 答えた | 「動詞」 |
| «MagaSinier», マガシニエ n.m | 「倉庫番」 | 「応答」 |
| l'avocat général ラヴァカ・ジェネラル n.m | 法院検事は | 「主語」 |
| a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t | 言明した | 「動詞句」 |
| aux jurés オ・ジュレ adv. | 陪審員たちに | 「間接目的語」 |
| que ク conj. | ~ということ | 「直接目的語」 |
| de notoriété générale トゥ・ノリテ・ジェネラル adv. | 周知のように | 「副詞句」 |
| le témoin ル・テムワソ n.m | 証人は | 「主語」 |
| exerçait エグゼルセ 3 単半・時制の一致(exercer) | | |
| v.t (職業を) 営んでいる | | 「動詞」 |
| le métier ル・メチエ n.m | 仕事を | 「目的語」 |
| de souteneur. トゥ・ストゥニール adj. | (売春婦の) ひもの | 「形容詞句」 |

僕は彼の共犯者、つまり仲間なのだ。

| | |
|---|--------------|
| <u>J'étais son complice et son ami.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| son complice ソン・コンプリス n.m 彼の共犯者 | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| son ami. ソン・アミ n.m 彼の仲間 | 「補語」 |

これは最下等の下劣な悲劇で、不道德な人間の関与が最悪の事態を招いた事件である。

| | |
|---|-----------|
| Il s'agissait d'un drame crapuleux de la plus basse espèce, aggravé du fait qu'on avait affaire à un monstre moral. | 「動詞句」「主語」 |
| Il イル pron 形式主語 | |
| s'agissait サグセ 3 単半・非人称(s'agir)v.pr(de qch ～の) 問題だ、が問題だ | 「動詞句」 |
| d'un drame タン・ドラマ n.m 悲劇が | 「主語」 |
| crapuleux クラピュル adj. 下劣な | 「形容詞」 |
| de la plus basse espèce, トゥ・ラ・プ・リュ・バス・エスペース | |
| adj. 最低の種類 | 「形容詞句」 |
| aggravé アグラヴェ 過去分詞・受動(aggraver)adj. 悪化させられた | 「形容詞」 |
| du fait ジュ・フェ adv. (動作主) 事柄によって、行為 | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|-------------------------------------|--------|
| qu' ク conj. (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t 持っていた | 「動詞」 |
| affaire アフェール n.f 要件を「目的語」 | |
| à un monstre moral. ア・アン・モンストル・モラル | |
| adv. 醜悪な道德に | 「副詞句」 |
| avoir affaire à qn (人) とかかわる、を相手にする | |

レーモンは弁解を望んだし、弁護士は抗議した。しかし裁判長は二人に、検事に最後まで話をさせるべきであると言った。

Raymond a voulu se défendre et mon avocat a protesté, mais on leur a dit qu'il fallait laisser terminer le procureur.

| | |
|---|---------|
| 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」, mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | |
| Raymond レモン n.m レーモンは | 「主語」 |
| a voulu se défendre ア・ヴリュ・ス・デフォントル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞) | |
| v.pr 弁解したがった | 「動詞句」 |
| se défendre ス・デフォントル v.pr 弁解する、抵抗する、否認する | |
| et エ conj. そして | |
| mon avocat モン・アヴォカ n.m 弁護士は | 「主語」 |
| a protesté, ア・プ ロステ 3 単現・完了形(protester)v.i 抗議した | 「動詞句」 |
| mais メ conj. しかし | |
| on オン pron 裁判長は | 「主語」 |
| leur レール pron 彼らに | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 非人称 | |
| fallait ファレ 3 単半・時制の一致(il falloir+不定詞) | |
| v.h ～するべきである | 「動詞」 |
| laisser terminer レッセ・テルミネ 不定詞・使役・procureur の動作(laisser+不定詞) | |
| v.t 終わらせる | 「補語」 |
| le procureur. ル・プロキュレール n.m 検事に | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

検事は言った：「付け加えるべきことが少しあります。被告はあなたの友人でしたか？」と、彼はレーモンに尋ねた。

Celui-ci a dit: «J'ai peu de chose à ajouter. Était-il votre ami?» a-t-il demandé à Raymond.

「主語」「動詞句」：《「主語」「動詞」「目的語」 | 「動詞」「主語」「補語」》，
「動詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」

Celui-ci スリュイ・シ pron 検事は 「主語」
a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
«J' ジュ pron 私は 「主語」
ai エ 1 単現(avoir)v.t 〜がある 「動詞」
peu de chose プ・トゥ・ショズ n.f 少しの事 「目的語」
à ajouter. ア・アジユテ 不定詞・目的 adj. 付け加えるべき 「形容詞句」
Était エ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
il イル pron 彼は(被告は) 「主語」
votre ami?» ヴォトル・アミ n.m 友人 「補語」
a ...demandé ア...ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」
-t-il テイル pron 検事は 「主語」
à Raymond. ア・レーモン adv. レーモンに 「間接目的語」

「はい」と、レーモンが言った。「相棒です」

«Oui, a dit celui-ci, c'était mon copain.»

《「応答」》，「動詞句」「主語」，《「主語」「動詞」「補語」》

«Oui, ウィ adv. はい 「応答」
a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
celui-ci, スリュイ・シ pron レーモンは 「主語」
c' ス pron 彼は 「主語」
était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」
mon copain.» モン・コパン n.m 仲間、相棒 「補語」

それから検事は僕にも同じ質問をした。それで僕はレーモンを見つめた。彼は目をそらすことなく、僕と視線を合わせていた。

L'avocat général m'a posé alors la même question et j'ai regardé Raymond qui n'a pas détourné les yeux.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「直接目的語」 et
「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」

L'avocat général ラヴァカ・ジェネラル n.m 法院検事は 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a posé ア・ポゼ 3 単現・完了形(poser)v.t (質問を)提起した 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| alors アー adv. それから | 「副詞」 |
| la même question ラ・メーム・クェスチョン n.f 同じ質問を | 「直接目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai regardé エ・ルギヤルテ 1 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた | 「動詞句」 |
| Raymond レモン n.m レーモンを | 「目的語」 |
| qui キ pron (継続) (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| n'a pas détourné ナ・パ・テトウルネ 3 単現・完了形・否定・継続(détourner) | |
| v.t そらさなかった | 「動詞句」 |
| les yeux. レ・ジウ pl.n.m 目を | 「目的語」 |

僕は答えた。「ええ」

| | |
|---|--------------------|
| <u>J'ai répondu: «Oui.»</u> | 「主語」 「動詞句」: 《「応答」》 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai répondu: エ・レボンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| «Oui.» ウィ adv. ええ | 「応答」 |

すると検事は陪審団のほうへ振り返り、はっきりと言った:

| | |
|---|---------------------------|
| <u>Le procureur s'est alors retourné vers le jury et a déclaré:</u> | 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 et 「動詞句」 |
| Le procureur ル・プ°ロキュレール n.m 検事は | 「主語」 |
| s'est alors retourné セ・タロー・ルトウルネ 3 単現・完了形(se retourner+ alors) | |
| v.pr それで振り返った | 「動詞句」 |
| vers le jury ヴェール・ル・ジュリー adv. (集合的) 陪審団のほうへ | 「副詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| a déclaré: ア・デクラレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 断言した | 「動詞句」 |

「自分の母親の死の翌日に最も恥ずべき遊蕩に身を委ねていた、まさにその男が、取るに足らない理由で、汚らしい風俗問題を清算するために殺人を行ったのです」

| | |
|---|--------------------|
| <u>«Le même homme qui au lendemain de la mort de sa mère se livrait à la débauche la plus honteuse a tué pour des raisons futiles et pour liquider une affaire de mœurs inqualifiable.»</u> | 《「主語」 「動詞句」 「副詞句」》 |
| «Le même homme ル・メーム・オム n.m その同じ男が | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| au lendemain オ・ロントゥモン adv. 翌日に | 「副詞句」 |
| de la mort トゥ・ラ・モール adj. 死の | 「形容詞句」 |
| de sa mère トゥ・サ・メル adj. 自分の母親の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| se livrait ス・リヴレ 3 単半(se livrer)v.pr (à に) 身を委ねていた | 「動詞句」 |
| à la débauche ア・ラ・デ・ボ・シュ adv. 遊蕩に | 「間接目的語」 |
| la plus honteuse ラ・プ・リュ・オントゥーズ | |
| adj. (最上級) もっとも恥ずべき | 「形容詞句」 |
| a tué ア・チュエ 3 単現・完了形(tuer)v.t 殺した | 「動詞句」 |
| pour des raisons プール・デ・レゾン adv. 理由で | 「副詞句」 |
| futiles フュチル adj.pl(futile) 下らない、取るに足りない | 「形容詞」 |
| et エ conj. そして | |
| pour +不定詞 プール adv. ～するために | 「副詞句」 |
| liquider リキデ 不定詞 v.t 清算する | 「動詞」 |
| une affaire ユンヌ・アフエール n.f 問題を | 「目的語」 |
| de mœurs トゥ・メルス adj. 風俗の | 「形容詞句」 |
| inqualifiable. アンカリフィアブル | |
| adj. 何とも言いようのない、ひどい、汚らわしい | 「形容詞」 |

それで検事は着席した。しかし僕の弁護士は、腹に据えかねて、両腕を突き上げて叫んだ。
すると袖が垂れ下がって、糊をきかせたワイシャツのプリーツが露になった。

Il s'est assis alors. Mais mon avocat, à bout de patience s'est écrié en levant les bras, de sorte que ses manches en retombant ont découvert les plis d'une chemise amidonnée:

| | |
|--|--------|
| 「主語」「動詞句」「副詞」 Mais 「主語」「副詞句」「動詞句」「副詞句」, 「副詞節」 | |
| Il イル pron 検事は | 「主語」 |
| s'est assis セ・タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 着席した | 「動詞句」 |
| alors. アロー adv. それで | 「副詞」 |
| Mais メ conj. しかし | |
| mon avocat, モ・ナヴァカ n.m 僕の弁護士は | 「主語」 |
| à bout de patience ア・ブ・トゥ・パシヨンス adv. 忍耐が尽きて | 「副詞句」 |
| s'est écrié セ・テクリエ 3 単現・完了形(s'écrier)v.pr 叫んだ、大声を上げた | 「動詞句」 |
| en levant オン・ルヴオン ジェロンディフ(en+現在分詞 lever)adv. あげながら | 「副詞句」 |
| les bras, レ・ブラ pl.n.m 両腕を | 「目的語」 |
| de sorte que +直説法 トゥ・ソルト・ク conj. (結果) それで～する | 「副詞節」 |
| ses manches セ・モンシュ pl.n.f 袖が | 「主語」 |
| en retombant オン・ルトンボン ジェロンディフ・様態 | |
| adj. 垂れ下がった | 「形容詞句」 |
| ont découvert オン・テクリエール 3 複現・完了形(découvrir)v.t 露わにした | 「動詞句」 |
| les plis レ・プリ pl.n.m プリーツを、ひだを | 「目的語」 |
| d'une chemise amidonnée: ジ ユンヌ・シュミーズ・アミトネ | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

adj. 糊をきかせたワイシャツの 「形容詞句」

chemise シュミーズ n.f ワイシャツ

amidonnée アミトネ 過去分詞・受動.f(amidonner)adj. 糊付けされた

de sorte que +直説法 conj. (結果) それで～する

Il était absent, **de sorte que** je n'ai pas pu le voir.

彼は不在だったので会うことができなかった。

de sorte que +接続法 conj. (目的) ～するように

Il agit de sorte que personne ne sache ce qu'il fait.

彼は自分のする事を誰にも知られないように行動する。

「要するに、被告人は母親の葬式を行ったために起訴されたのでしょうか、それとも、殺人を犯したためなのでしょうかね？」

«Enfin, est-il accusé d'avoir enterré sa mère ou d'avoir tué un homme?»

《「副詞」, 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 ou 「副詞句」》

«Enfin, オンファン adv. 要するに、結局 「副詞」

est... accusé エ...アキユゼ 3 単現・受動(accuser)v.t 起訴されている 「動詞句」

-il イル pron 彼は、被告は 「主語」

d'avoir enterré タヴワール・オンテレ

adv. (de+不定詞・完了形 enterrer) (原因) 葬式を行ったために 「副詞句」

sa mère サ・メル pron 母親を 「目的語」

ou ウ conj. それとも

d'avoir tué タヴワール・チュエ

adv. (de+不定詞・完了形 tuer) (原因) 殺したために 「副詞句」

un homme? ア・ノム n.m 男を 「目的語」

傍聴者は一斉に笑った。

Le public a ri. 「主語」「動詞句」

Le public ル・ピュブリキ n.m 傍聴者は 「主語」

a ri. ア・リ 3 単現・完了形(rire)v.i 笑った 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし検事はまた立ち上がり、ゆったりと法服をまとってから、こう言明した。「この2つの事柄の分類の間には、深く、悲壮で、本質的な関係があることを理解するためには、誠実な弁護人の率直さが求められる。」

Mais le procureur s'est redressé encore, s'est drapé dans sa robe et a déclaré qu'il fallait avoir l'ingénuité de l'honorable défenseur pour ne pas sentir qu'il y avait entre ces deux ordres de faits une relation profonde, pathétique, essentielle.

Mais 「主語」「動詞句」「副詞」, 「動詞句」「間接目的語」 et 「動詞句」「目的語」
Mais メ conj. しかし

le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事は 「主語」

s'est redressé セ・ト・レッセ 3 単現・完了形(se redresser)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

encore, オンコール adv. また 「副詞」

s'est drapé セ・トラペ 3 単現・完了形(se draper)v.pr ゆったりとまとった 「動詞句」

dans sa robe トン・サ・ローブ adv. 法服を 「間接目的語」

et エ conj. そして

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t 言明した 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il fallait イル・ファレ 非人称・3 単半・時制の一致(il falloir)

v.h(+不定詞) ～しなければならない 「動詞句」

avoir アヴ・ワール 不定詞 v.t ～を持つ 「動詞句」

l'ingénuité ランジ ユニユイテ n.f 率直さ 「目的語」

de l'honorable défenseur トゥ・ロラブル・デフォンセル

adj. 誠実な弁護人の 「形容詞句」

honorable オラブル adj. 誠実な、尊敬すべき défenseur デフォンセル n.m 弁護人

pour ne pas sentir プール・ヌ・パ・ソチール

adv. (因果関係) ～を分からないので 「副詞句」

(～が分からないので... を持たなければならない) → 論理を逆転する

pour 以降を「条件」(～が分かるために)として、il fallait 以降を「必要」とする

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

il y avait イ・リ・ヤヴェ 非人称・3 単半・時制の一致(il y avoir)

v.t. ～がある 「動詞句」

entre ces deux ordres オントル・セ・トゥ・オルトル

adv. この2つの分類の間には 「副詞句」

de faits トゥ・フェ adj. 事実の、事柄の 「形容詞句」

une relation ユヌ・レーション n.f 関係が 「目的語」

profonde, プロフォントゥ adj.f 深い 「形容詞」

pathétique, パセチキ adj. 悲壮な 「形容詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

essentielle. エソシエール adj.f 本質的な 「形容詞」

pour+不定詞 :

目的 : ~するために

Je suis venu pour vous voir. あなたに会うために来ました。

因果関係・結果 : ~なので従って、~するほど...

Il est assez grand pour aller tout seul à l'école.

彼はもう大きいから 1人で学校に行ける。

継続 : ~して、そして~

Il m'a serré la main pour monter ensuite dans le train.

彼は私の手を握り、それから列車に乗り込んだ。

譲歩・対立 : ~ではあるが

Pour être petit, il n'en est pas moins courageux.

身体こそ小さいが彼はなかなか勇敢だ。

pour ne pas+不定詞 : 例文

Et pour ne pas changer, il court les filles. 相変わらず彼は女の尻を追いかけている。

se forger des excuses pour ne pas agir 口実を作って何もしない

une grande marque de parfums, Chanel, pour ne pas la nommer

名前を出しちゃ悪いが香水の大ブランド、シャネル

objecter son état de santé pour ne pas venir 健康状態を口実にして来ない

se rationner pour ne pas grossir 太らないために節食する

Il remua ciel et terre pour ne pas être muté. 彼は配置転換されぬように奔走した。

Il se retient aux branches pour ne pas tomber. 落ちないように彼は枝につかまる。

Elle s'est retenue pour ne pas pleurer. 彼女は泣くまいと我慢した。

「その通り！」と、検事は力強く叫んだ。「私は、重罪人の心を持って母親の埋葬を行ったことを理由として、この被告人を告訴するものであります」

«Oui, s'est-il écrié avec force, j'accuse cet homme d'avoir enterré une mère avec un coeur de criminel.»

《「間投」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」, 《「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」》

«Oui, ウィー adv. その通り 「間投」

s'est... écrié セ...エクリエ 3 単現・完了形(s'écrier)v.pr 叫んだ 「動詞句」

-il イル pron 検事は 「主語」

avec force, アヴィエツキ・フォルス adv. 力強く 「副詞句」

j' ジュ pron 私は 「主語」

accuse アキユーズ 1 単現(accuser)v.t 告訴する 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-----------------------------|---------------------------|--------|
| cet homme セ・トム n.m | この被告人を | 「目的語」 |
| d'+不定詞・完了形 トゥ adv. | (理由・原因) 〜したので | 「副詞句」 |
| avoir enterré アヴ・ワ・ル・オンテレ | 不定詞・完了形(enterrer)v.t 埋葬した | 「動詞句」 |
| une mère ユヌ・メル n.f | 母親を | 「目的語」 |
| avec un coeur アヴ・ェッキ・アン・ケール | adv. (様態) 〜の心をもって | 「副詞句」 |
| de criminel. トゥ・クリネル adj. | 重罪人の | 「形容詞句」 |

この表明は傍聴者に大きな効果をもたらしたように見えた。僕の弁護士は肩をすくめ、額を覆っている汗を拭った。

Cette déclaration a paru faire un effet considérable sur le public. Mon avocat a haussé les épaules et essuyé la sueur qui couvrait son front.

| | | |
|---|------------------------------|---------|
| | 「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」 | |
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「動詞句」「目的語」 | |
| Cette déclaration セット・デクララシオン n.f | この表明は | 「主語」 |
| a paru faire ア・パ・リュ・フェール 3 単現・完了形(paraître+不定詞 faire) | | |
| v.t | 〜をもたらしたように見えた | 「動詞句」 |
| faire フェール v.t | 生み出す、作る | |
| un effet considérable アン・エフェ・コンシデラブル n.m | 大きな効果を | 「直接目的語」 |
| sur le public. シュール・ル・ビュブリキ adv. | 傍聴者に | 「間接目的語」 |
| Mon avocat モ・ナヴ・オカ n.m | 僕の弁護士は | 「主語」 |
| a haussé ア・セ 3 単現・完了形(hausser)v.t | (肩を) すくめた | 「動詞句」 |
| les épaules レ・ゼボール pl.n.f | 肩を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| essuyé エシユエ 3 単現・完了形(essuyer)v.t | 拭った | 「動詞句」 |
| la sueur ラ・シュール n.f | 汗を | 「目的語」 |
| qui キ pron | (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| couvrait クヴレ 3 単半・時制の一致(couvrir)v.t | 〜を覆う | 「動詞」 |
| son front. ソン・フロン n.m | 額を | 「目的語」 |

だが、弁護士も動揺しているように見えたので、僕は状況が悪くなっていると理解した。

Mais lui-même paraissait ébranlé et j'ai compris que les choses n'allaient pas bien pour moi.

| | | |
|----------------------------------|--------------------------------|------|
| Mais | 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」 | |
| Mais メ conj. | しかし | |
| lui-même リュイ・メーム pron | 彼自身も、弁護士も | 「主語」 |
| paraissait パレ 3 単半(paraître)v.i | 〜のように見えた | 「動詞」 |
| ébranlé エブロンレ 過去分詞(ébranler)adj. | 動揺した | 「補語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------|
| et エ conj. | そして | |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai compris エ・コンプリ | 1 単現・完了形(comprendre)v.t | 理解した 「動詞句」 |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| les choses レ・ショーズ | pl.n.f | 状況は 「主語」 |
| n'allaient pas ナ・パ° | 3 複半・否定・時制の一致(aller)v.i | 進んでいない 「動詞句」 |
| bien pour moi. ビ・ヤン・プ°ール・ムわ | adv. | 自分にとって有利に 「副詞句」 |

ここで、閉廷した。

| | |
|--------------------------------|--|
| <u>L'audience a été levée.</u> | 「主語」「動詞句」 |
| L'audience ロー・ジ°オンス | n.f (刑事事件の) 審問、(民事の) 弁論 「主語」 |
| a été levée. ア・エテ・ル°ェ | 3 単現・完了形・受動(lever)v.t (会などが) 終えられた 「動詞句」 |
| → 廷吏によって閉廷が告げられた | |

護送車に乗るために裁判所を出ると、ほんの一瞬だが、夏の夕方の香りと色を感じた。

| | |
|---|----------------------------|
| En sortant du Palais de justice pour monter dans la voiture, j'ai reconnu un court instant l'odeur et la couleur du soir d'été. | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 |
| En sortant オン・ソルトン ジェロンディフ(sortir)adv. (状況) 出るときに | 「副詞句」 |
| du Palais de justice ジュ・パレ・トゥ・ジュステイス adv. (場所) 裁判所から | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. (目的) ~するために | 「副詞句」 |
| monter モンテ 不定詞 v.i 乗り込む | 「動詞」 |
| dans la voiture, トン・ラ・ウ・ワチュール | |
| adv. 護送車に、車に | 「間接目的語」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai reconnu エルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 認めた | 「動詞句」 |
| un court instant アン・クール・アンストン adv. ほんの一瞬 | 「副詞句」 |
| court クール adj. 短い instant アンストン n.m 瞬間、一瞬 | |
| l'odeur ロテール n.f 香りを、においを | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| la couleur ラ・クレール n.f 色を | 「目的語」 |
| du soir d'été. ジュ・スワ・ル・デテ adj. 夏の夕方の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

走る監獄の暗闇の中で、僕は、疲労の底から拾い集めるように、1 つずつ、僕の愛する街の、そして僕が満足を感じるふとした時間の、慣れ親しんだ物音を残らず思い出した。

Dans l'obscurité de ma prison roulante, j'ai retrouvé un à un, comme du fond de ma fatigue, tous les bruits familiers d'une ville que j'aimais et d'une certaine heure où il m'arrivait de me sentir content.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」

Dans トン prep (場所) ～のなかで

「副詞句」

l'obscurité ロブ スキュリテ n.f 暗さ、暗がり

「目的語」

de ma prison トゥ・マ・プリゾン adj. 僕の監獄の

「形容詞句」

roulante, ルントゥ

adj.f (prison に性・数一致) 車で動く

「形容詞」

→ 護送車内が暗いことに加えて、外の様子が見えないことを表している

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai retrouvé エ・ルトゥルヴ 1 単現・完了形(retrouver)v.t 見つけた、思い出した

「動詞句」

un à un, アン・ナ・アン adv. 1 つずつ

「副詞句」

comme コム conj. ～のように

「副詞句」

du fond ジュ・フォン adv. (場所) 底から

「副詞句」

de ma fatigue, トゥ・マ・ファチグ adj. 僕の疲労の

「形容詞句」

tous les bruits トゥ・レ・ブリュイ pl.n.m すべての物音を

「目的語」

familiers ファミリエ adj. 慣れ親しんだ

「形容詞」

d'une ville ジュヌ・ヴィル adj. 町の

「形容詞句」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

aimais エメ 1 単半・時制の一致(aimer)

v.t 愛する

「動詞」

et エ conj. そして

d'une certaine heure ジュヌ・セルテーヌ・ウール adj. ある時間の

「形容詞句」

où ウ adv. ～する時の

「形容詞節」

il ...arrivait イル...アリヴァ 非人称・3 単半・時制の一致(il arriver de+不定詞+à qn)

v.h ～することが起こる

「動詞句」

m' ム pron 私に

「間接目的語」

de me sentir トゥ・ム・ソントール 不定詞(de +se sentir)

v.pr 自分が～だと感じる

「動詞句」

content. コント adj. 満足である、うれしい 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

すでに仕事の緊張がゆるんだ大気の中で聞こえる新聞売りの声、公園の鳥の最後のさえずり、サンドイッチ売りの呼び声、町の高台のカーブを走る路面電車のきしむ音、そして夜が港の上に落ちる前の空のこのざわめき。これらのすべてが、闇の中で移動する僕の脳裏に、道順を蘇らせてくれた。それは、僕が監獄に入る前によく知っていた道だ。

Le cri des vendeurs de journaux dans l'air déjà détendu, les derniers oiseaux dans le square, l'appel des marchands de sandwiches, la plainte des tramways dans les hauts tournants de la ville et cette rumeur du ciel avant que la nuit bascule sur le port, tout cela recomposait pour moi un itinéraire d'aveugle, que je connaissais bien avant d'entrer en prison.

「主語」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」 「目的語」

Le cri ル・クリ n.m 大声

「主語」

des vendeurs de journaux テ・ヴァント・ウール・ド・ウ・ジュルノ adj. 新聞売りの 「形容詞句」

dans l'air déjà détendu, トン・レール・デ・ジャ・デ・トンジュ

adv. すでに緊張のゆるんだ大気の中の

「副詞句」

les derniers oiseaux レ・テルニエ・ウリゾ pl.n.m 最後の鳥のさえずり

「主語」

dans le square, トン・ル・スクワール adv. 公園の

「副詞句」

l'appel ラ・ペル n.m 呼び声

「主語」

des marchands de sandwiches, テ・マルション・ド・ウ・ソント・ウイシュ

adj. サンドイッチ売りの

「形容詞句」

la plainte ラ・プラント n.f うめき声

「主語」

des tramways テ・トラムウェ adj. 路面電車の

「形容詞句」

dans les hauts tournants トン・レ・ゾ・・トルノ adv. 高台のカーブに行く 「副詞句」

de la ville ト・ウ・ラ・ヴィル adj. 街の

「形容詞句」

et エ conj. そして

cette rumeur セット・リュメール n.f このざわめき

「主語」

du ciel シュ・シエル adj. 空の

「形容詞句」

avant que アヴァン・キ adv. ～する前の

「副詞節」

la nuit ラ・ニュイ n.f 夜が

「主語」

bascule バスキュル 3 単現(basculer)v.i 傾く、落ちる

「動詞」

sur le port, シュール・ル・ポール adv. 港の上に

「副詞句」

tout cela トウ・スラ pron これらすべてが

「主語」

recomposait ルコンポセ 3 単半(recomposer)v.t 再構成した

「動詞」

pour moi プール・ムワ adv. 僕にとって

「副詞句」

un itinéraire アン・イタネール n.m 道順、ルート

「目的語」

d'aveugle, ダウ・グール adj. 盲目の

「形容詞句」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

je シュ pron 僕は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

connaissais コネッ 1 単半(connaître)v.t 知っていた 「動詞」
 bien ビヤン adv. よく 「副詞」
 avant d'entrer en prison. アヴァン・ドントレ・オン・プリゾン
 adv. 監獄に入る前には 「副詞句」

長い情景描写 2

そうだ、ちょうどこの時間に、ずっと以前のことだが、僕は満足を感じていたのだ。

Oui, c'était l'heure où il y avait bien longtemps, je me sentais content.

「肯定」「主語」「動詞」「補語」
 Oui, ウー adv. そうだ 「肯定」
 c' ス pron これは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
 l'heure レール n.f 時間 「補語」
 où, ウ adv. (同格) ~する 「形容詞節」
 il y avait イ・リ・アヴェ 非人称・3 単半・時間(il y avoir)
 v.t 今から~前に 「副詞句」
 bien longtemps, ビヤン・ロントン n.m 長い時間 「目的語」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 me sentais ム・ソテ 1 単半(se sentir)v.pr 自分が~だと感じた 「動詞句」
 content. コントン adj. 満足した、うれしい 「補語」

あの当時、僕を迎えてくれたのは、いつも、軽やかで、夢を見ない睡眠だった。

Ce qui m'attendait alors, c'était toujours un sommeil léger et sans rêves.

「主語」「動詞」「副詞」「補語」
 Ce ス pron それは 「主語」
 qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 attendait アトンテ 3 単半(attendre)v.t 待っていた 「動詞」
 alors, アロー adv. その当時 「副詞」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 toujours トウジュール adv. いつも 「副詞」
 un sommeil アン・ソメイユ n.m 眠り 「補語」
 léger レジエ adj. 軽い 「形容詞」
 et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

sans ヲン prep ーのない

「形容詞句」

rêves. レーヴ pl.n.m 夢

「目的語」

しかしながら、何かが変わってしまった。というのは、明日を待ちながらも、僕が戻ってきたのは、監獄の僕の独房なのだから。

Et pourtant quelque chose était changé puisque, avec l'attente du lendemain, c'est ma cellule que j'ai retrouvée.

Et 「副詞」「主語」「動詞句」「副詞節」

Et エ conj. そして

pourtant フルトン adv. しかしながら

「副詞」

quelque chose ケルク・ショーズ n.f 何かが

「主語」

était changé エテ・シヨンジエ 3 単半・完了形(changer)v.i 変わった

「動詞句」

puisque, ヒュイスキ conj. ーなので、というのはーだから

「副詞節」

avec アヴ エツキ

prep (譲歩) ーではあるが、(同時) ーと同時に

「副詞句」

l'attente ラトント n.f 待つこと

「目的語」

du lendemain, ジュ・ロントゥマン adv. 明日を

「副詞句」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ーである

「動詞」

ma cellule マ・セリュール n.f (監獄の) 僕の独房

「補語」

que ク pron (目的語) ーということは

「主語」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

ai retrouvée. エ・ルトゥルヴエ 1 単現・完了形(retrouver)

v.t (場所に) 戻った

「動詞句」

que は retrouver の目的語で cellule (n.f)の代用だから、過去分詞に-e が付けられた

DEUXIÈME PARTIE 第2部

夏空に溶け込むように描かれた、慣れ親しんだこの道は、まるで監獄に通じていると同様に、
無垢な眠りにも通じているかのようなのである。

Comme si les chemins familiers tracés dans les ciels d'été pouvaient mener aussi bien
aux prisons qu'aux sommeils innocents. Comme si 「主語」「動詞句」「副詞句」

Comme si コム・シ conj. まるで～であるかのように

les chemins レ・シュマン pl.n.m 道は 「主語」

familiers ファミリエ adj.pl 慣れ親しんだ 「形容詞」

tracés トラセ 過去分詞・受動(tracer)adj.pl 描かれた 「形容詞」

dans les ciels d'été トン・レ・シエル・デテ adv. 夏空を背景として 「副詞句」

pouvaient mener プヴァエ・ムネ 3 複半・可能性・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.t (à に) 導く、通じる 「動詞句」

aussi オ adv. (比較) (aussi ... que ...) ～と同じくらい 「副詞句」

bien ビヤン adv. よく、きちんと 「副詞」

aux prisons オ・プリゾン adv. 監獄に 「間接目的語」

qu' ク conj. (比較) (aussi ... que ...) ～と同じくらい 「副詞句」

aux sommeils オ・ソメイユ adv. 眠りに 「間接目的語」

innocents. イノツン adj.pl 無垢な 「形容詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

IV

たとえ被告席にいても、自分のことが話されるのを聞くのはいつだって興味深い。

Même sur un banc d'accusé, il est toujours intéressant d'entendre parler de soi.

「副詞句」, 「動詞」 「補語」 「主語」

Même メム adv. ～さえ

「副詞句」

sur シュール adv. (位置、場所) ～の場所に

「副詞句」

un banc アン・ボン n.m 席

「目的語」

d'accusé, ダキュゼ adj. 被告人の

「形容詞句」

→ たとえ被告席にいても

il イル pron 仮の主語 (真の主語は d'entendre 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

toujours トウジュール adv. いつでも

「副詞」

intéressant アンテレソン adj. 興味深い

「補語」

d'entendre parler トントント・カル・パル 不定詞(entendre+不定詞 parler)

n.(de ～のことを) 話すのを聞くことは

「主語」

de soi. トゥ・スワ adv. 自分のことを

「間接目的語」

entendre :

entendre parler de... (誰かが) ～と話すのを聞く、～の噂を聞く

entendre dire que+直説法 (誰かが) ～と言うのを聞く、という話を聞く

知覚動詞+目的語+不定詞 の目的語が省略された形。→ 不定詞の主語がない → 噂

On entend les merles siffler. つぐみがさえずるのが聞こえる。(目的語がある例)

検事と僕の弁護士の口頭弁論を振り返ると、彼らは僕のことを、恐らく僕の犯罪についてよりも僕自身のことについて大いに語ったと思う。

Pendant les plaidoiries du procureur et de mon avocat, je peux dire qu'on a beaucoup parlé de moi et peut-être plus de moi que de mon crime.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Pendant ホントン prep (時間) ～の間

「副詞句」

les plaidoiries レ・プレトワリー pl.n.f 口頭弁論

「目的語」

du procureur シュ・プロキュレル adj. 検事の

「形容詞句」

et エ conj. そして

de mon avocat, トゥ・モ・ナヴァ adj. 僕の弁護士の

「形容詞句」

je シュ pron 僕は

「主語」

peux dire プ・テイル 1 単現・可能(pouvoir+不定詞)v.t 言うことができる

「動詞句」

qu'ク conj. ～ということを

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

on オン pron (動詞は三人称単数) 彼らは 「主語」
 a beaucoup parlé ア・ボク・パル 3 単現・完了形(parler+ beaucoup)
 v.i(de のことを) 大いに語った 「動詞句」
 de moi トゥ・ムわ adv. 僕のことを 「間接目的語」
 et エ conj. そして
 peut-être plus de moi プ・テール・プ・リュ・トゥ・ムわ
 adv. 恐らく僕のことをより多く 「間接目的語」
 que ク conj. (比較) ～よりも 「副詞句」
 de mon crime. トゥ・モン・クリム
 adv. 僕の犯罪について 「間接目的語」

そもそも、二人の弁論はそれほど内容が異なったのだろうか？

Etaient-elles si différentes, d'ailleurs, ces plaidoiries?

「動詞」「主語」「補語」, 「副詞句」「主語」
 Etaient エ 3 複半・疑問文(être)v.i ～だった? 「動詞」
 -elles エル pron.pl(plaidoiries の代用) それらは 「主語」
 si différentes, シ・ティフェロン adj. それほど異なる 「補語」
 d'ailleurs, ダ・イェール adv. そもそも、もともと 「副詞句」
 ces plaidoiries? セ・プレトワリー pl.n.f 口頭弁論は 「主語」

弁護士は両腕を突き上げて、被告の罪状を認めながらも弁明をする。

L'avocat levait les bras et plaidait coupable, mais avec excuses.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」
 L'avocat ラヴァカ n.m 弁護士は 「主語」
 levait ルヴァ 3 単半・時制の一致(lever)v.t 上げる、持ち上げる 「動詞」
 les bras レ・ブラ pl.n.m 両腕を 「目的語」
 et エ conj. そして
 plaidait プレテ 3 単半・時制の一致(plaider)v.t (人のために) 弁護する 「動詞」
 coupable, クパーブル n. 被告を 「目的語」
 coupable クパーブル n. 犯人、罪人、被告、adj. 有罪の
 plaider coupable 罪状を認めたうえで弁護する
 mais メ conj. しかし
 avec excuses. アヴ・エッキ・エクスキューズ adv. 弁明を含めて 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

検事は両手を差し出し、有罪を主張して、弁明を認めない。

Le procureur tendait ses mains et dénonçait la culpabilité, mais sans excuses.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「動詞」「目的語」「副詞句」

Le procureur ル・プ^ロキュレール n.m 検事は 「主語」
tendait トンテ^テ 3 単半・時制の一致(tendre)v.t 差し出す 「動詞」
ses mains セ・マン pl.n.f 両手を 「目的語」
et エ conj. そして
dénonçait テ^ノンセ 3 単半・時制の一致(dénoncer)v.t 示す、告発する 「動詞」
la culpabilité, ラ・キュルパ^ビビリテ n.f 有罪を 「目的語」
mais sans excuses. メ・ソン・エクスキューズ^ス adv. 弁明なしで 「副詞句」

しかし、僕にはなにか一つすっきりしない事があった。

Une chose pourtant me gênait vaguement. 「主語」「副詞」「目的語」「動詞」「副詞」

Une chose ユンヌ・ショーズ^ス n.f 一つの事が 「主語」
無生物主語は工夫して翻訳する
pourtant フルトン adv. しかしながら 「副詞」
me ム pron 僕を 「目的語」
gênait ジェネ 3 単半(gêner)v.t 当惑させていた 「動詞」
vaguement. ヴァークゲモン adv. 漠然と 「副詞」

僕は集中して検事たちの話を聞いていたが、時々口を挟みたい誘惑にかられた。すると僕の
弁護士は言った：

Malgré mes préoccupations, j'étais parfois tenté d'intervenir et mon avocat me disait
alors: 「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞」

Malgré マルグレ prep (譲歩) 〜にも関わらず 「副詞句」
mes préoccupations, メ・プレオキュハ^ション pl.n.f 僕の専心、関心事、心配事 「目的語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
étais parfois tenté d'intervenir エテ・パ^ルフワ・トンテ・ダンテルウ^ニール 1 単半・受動(tenter)
v.i(de+不定詞) 時々口出ししたい誘惑にかられた 「動詞句」
parfois パ^ルフワ adv. 時々 intervenir アンテルウ^ニール v.i 口出しする
être tenté de+不定詞 「〜したくなる、しがちである、〜する気になる」
et エ conj. そして
mon avocat モ・ナヴ^カ n.m 僕の弁護士は 「主語」
me ム pron 僕に 「間接目的語」
disait テ^イセ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
alors: アロー adv. すると 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「黙っていなさい！この件については、そのほうが良いです」

«Taisez-vous, cela vaut mieux pour votre affaire.»

《「動詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」》

«Taisez-vous, テーゼ・ウ 命・2 複現(se taire)v.pr 黙っていなさい

「動詞句」

cela スラ pron それ

「主語」

vaut ウォ 3 単現(valoir)v.i 価値がある

「動詞」

mieux ミュー adv. よりよく

「副詞」

pour votre affaire.» プール・ウオトル・アフエル adv. あなたの件について

「副詞句」

人々は、言わば僕を蚊帳の外に置いて、この件を取り扱おうという雰囲気になっていた。

En quelque sorte, on avait l'air de traiter cette affaire en dehors de moi.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」

En quelque sorte, オン・ケルク・ソルト adv. ほとんど、いわば

「副詞句」

on オン pron 人々は

「主語」

avait アヴェ 3 単半(avoir)v.t (様子を) していた

「動詞」

l'air レール n.m 様子を

「目的語」

de traiter トゥ・トレテ 不定詞・同格 adj. 取り扱うという

「形容詞句」

avoir l'air de+不定詞 「～するふりをする、～のように見える」

cette affaire セット・アフエル n.f この事件を

「目的語」

en dehors de moi. オン・トゥォー・トゥ・ムわ adv. 僕はそっちのけで

「副詞句」

en dehors de オン・トゥォー・トゥ 「～の外側で、～を除いて」

僕に発言させることもなく、すべてが展開した。

Tout se déroulait sans mon intervention.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Tout トゥ pron すべてが

「主語」

se déroulait ス・デル 3 単半・再帰受動(se dérouler)v.pr 展開された

「動詞句」

sans ソン prep ～なしに

「副詞句」

mon intervention. モン・アンテルヴ・オンション n.f 僕の発言、介入

「目的語」

僕の意見を聞こうともせず、僕の運命は決定されようとしている。

Mon sort se réglait sans qu'on prenne mon avis.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」

Mon sort モン・ソール n.m 僕の運命が

「主語」

se réglait ス・レグレ 3 単半・再帰受動・時制の一致(se régler)

v.pr 取り決められようとしている

「動詞句」

sans ソン prep ～なしに

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| qu' ク conj. ～ということ | 「目的語」 |
| on オン pron 人々が | 「主語」 |
| prenne プレンヌ 接・3 単現(prendre)v.t 受け取る、採用する | 「動詞」 |
| mon avis. モ・ナヴィ n.m 僕の意見を | 「目的語」 |

時々、僕はみんなの話を遮って、言ってみようとした :

De temps en temps, j'avais envie d'interrompre tout le monde et de dire:

| | |
|--|----------------------------------|
| | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「動詞句」 |
| De temps en temps, トゥ・トン・ゾン・トン adv. 時々 | 「副詞句」 |
| de temps à autre トゥ・トン・ザ・オートル 「時々、ときおり」 | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais envie アヴィ・オンヴィー 1 単半・願望(avoir envie de+不定詞)v. ～したかった | 「動詞句」 |
| d'interrompre ダンテロンプル 不定詞 v.t 話を遮る | 「動詞句」 |
| tout le monde トゥール・モンド pron.pl みんなを | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| de dire: トゥ・ディール 不定詞 v.t 言う | 「動詞句」 |

「だが、それでも誰が被告なのだ？被告というのは重要だ。そして僕には言い分がある」

«Mais tout de même, qui est l'accusé? C'est important d'être l'accusé. Et j'ai quelque chose à dire.»

《Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

「動詞」 「補語」 「主語」 | Et 「主語」 「動詞」 「目的語」》

| | |
|---|--------|
| «Mais メ conj. しかし | |
| tout de même, トゥト・ウ・メム adv. それでも | 「副詞句」 |
| qui キ pron 誰が | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| l'accusé? ラキエ` n.m 被告人 | 「補語」 |
| C' ス pron 仮の主語 (真の主語は d'être 以降) | |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| important アンポルトン adj. 重要な | 「補語」 |
| d'être l'accusé. テートル・ラキエ` 不定詞句 n. 被告であることは | 「主語」 |
| Et エ conj. そして | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai エ 1 単現(avoir)v.t ～がある | 「動詞」 |
| quelque chose ケルキ・ショーズ n.f 何か | 「目的語」 |
| à dire.》 ア・ディール 不定詞・目的 adj. 言うべき | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし、よく考えると、僕には言いたいことはなかった。

Mais réflexion faite, je n'avais rien à dire.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

réflexion レフレクシヨ ン n.f (結果) 熟考

「副詞句」

faite, フェット 過去分詞・受動(faire)adj.f (条件) ～されたら

「形容詞」

→ よく考えると

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais ナヴェ 1 単半・否定(avoir)v.t ～がなかった

「動詞句」

rien à dire. リヤン・ナ・ディール pron 言うべきことは何も～ない

「目的語」

それに、人が他人の気を紛らわせることができるのは、長くは続かないと分かるだろう。

D'ailleurs, je dois reconnaître que l'intérêt qu'on trouve à occuper les gens ne dure pas longtemps.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

D'ailleurs, ダイユール adv. さらに、それに、その上

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

dois reconnaître トゥウワ・ルコネトル 1 単現・推量(devoir+不定詞)v.t 分かるだろう

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

l'intérêt ランテレ n.m 興味は、面白さは

「主語」

qu' ク pron (同格) ～という

「形容詞節」

on オン pron 人が

「主語」

trouve à occuper トゥルヴ・ア・オクペ 3 単現・可能(trouver a+不定詞)

v.t (人の) 気を紛らわせることができる

「動詞句」

les gens レ・ジヨ ン pl.n.m 他人を

「目的語」

ne dure pas ヌ・デュール・パ 3 単現・否定(durer)v.i 続かない

「動詞句」

longtemps. ロント ン adv. 長い間

「副詞」

例えば、検事の口頭弁論には、僕はすぐに飽きてしまった。

Par exemple, la plaidoirie du procureur m'a très vite lassé.

「副詞句」, 「主語」 「目的語」 「動詞句」

Par exemple, パー・レグゾンブル adv. 例えば

「副詞句」

la plaidoirie ラ・プレトワリー n.f 口頭弁論は

「主語」

du procureur ジュ・プロキュール adj. 検事の

「形容詞句」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a très vite lassé. ア・トレ・ヴィット・ラッセ 3 単現・完了形(lasser+ très vite)

v.t すぐに飽きさせた

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕に印象を与えたり、僕の興味を呼び覚ましたのは、彼の身振りや話の筋から外れて回りくどい説明などの断片だけだった。

Ce sont seulement des fragments, des gestes ou des tirades entières, mais détachées de l'ensemble, qui m'ont frappé ou ont éveillé mon intérêt. 「動詞」「補語」「主語」

Ce ス pron 仮の主語 (真の主語は qui 以降)

sont ソ 3 複現(être)v.i ~である 「動詞」

seulement des fragments, スルモン・デ・フラグモン pl.n.m 断片だけ 「補語」

des gestes デ・シエスト adj. 身振りの 「形容詞句」

ou ウ conj. または

des tirades デ・チラド adj. くだい説明の 「形容詞句」

entières, オンチェール adj.f まったく 「形容詞」

mais メ conj. しかし

détachées デタッシェ adj.f.pl 分離した 「形容詞」

de l'ensemble, ドゥ・ロンソブル adv. 全体から 「副詞句」

qui キ pron (主語) ~するものは 「主語」

m' ム pron 僕に 「目的語」

ont frappé オン・フラペ 3 複現・完了形(frapper)v.t 印象を与えた 「動詞句」

ou ウ conj. または

ont éveillé オン・エウエイエ 3 複現・完了形(éveiller)v.t 呼び覚ました 「動詞句」

mon intérêt. モン・アンテレ n.m 僕の興味を 「目的語」

彼の考えの根底は、僕の理解が正しければ、僕が入念に殺人を計画していたことである。

Le fond de sa pensée, si j'ai bien compris, c'est que j'avais prémédité mon crime.

「主語」, 「副詞節」, 「主語」「動詞」「補語」

Le fond ル・フォン n.m 根底は 「主語」

de sa pensée, ドゥ・サ・ポンセ adj. 考えの 「形容詞句」

si シ conj. もし~ならば 「副詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

ai bien compris, エ・ビヤン・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre+bien)

v.t 正しく理解している 「動詞句」

bien ビヤン adv. うまく、きちんと、確かに、正しく

c' ス pron (fond の代用) 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

que ク conj. ~ということ 「補語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avais prémédité アヴ・ェ・プレメデ・イテ 1 単半・完了形(prémédité)

v.t あらかじめ入念に計画していた

「動詞句」

mon crime. モン・クリム n.m 殺人を、犯行を

「目的語」

少なくとも、彼はそれを証明しようと試みた。

Du moins, il a essayé de le démontrer. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「動詞句」

Du moins, ジュ・ムワソ adv. (しかし) 少なくとも、とにかく

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

a essayé ア・エッセ・イ 3 単現・完了形・試行(essayer de+不定詞)v.t ~しようと試みた 「動詞句」

de +不定詞 トゥ 不定詞 v. ~する

「動詞句」

le ル pron それを

「目的語」

démontrer. デモントレ 不定詞 v.t 証明する

「動詞」

彼自身が言っていたように：

Comme il le disait lui-même:

「副詞節」

Comme コム conj. (様態) ~のように

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

le ル pron それを

「目的語」

disait デ・イセ 3 単半(dire)v.t 言っていた

「動詞」

lui-même: リュイ・メーム adv. 自分自身で

「副詞句」

「私はその事を証明してご覧にいきましょう、皆さん。しかも、2通りのやり方で」

«J'en ferai la preuve, messieurs, et je la ferai doublement.

《「主語」 「副詞」 「動詞」 「目的語」, 「呼びかけ」, et 「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞」》

«J' ジュ pron 私は

「主語」

en エン adv. それについて

「副詞」

ferai フレ 1 単未・意思(faire)v.t (動作を) しましょう

「動詞」

la preuve, ラ・プルーフ n.f 証拠、証明

「目的語」

faire la preuve 証明する

messieurs, メシユー pl.n.m 皆さん

「呼びかけ」

et エ conj. そして、しかも

je ジュ pron 私は

「主語」

la ラ pron (preuve の代用) それを

「目的語」

ferai フレ 1 単未・意思(faire)v.t (動作を) しましょう

「動詞」

doublement. トゥブルモン adv. 2通りに

「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「まず最初は、事実が放つ目が眩むほどの光の下で。次に、この罪深い魂の心理分析を私に与えてくれるであろう、薄暗い照明の中で」

Sous l'aveuglante clarté des faits d'abord et ensuite dans l'éclairage sombre que me fournira la psychologie de cette âme criminelle. 《「副詞句」 et 「副詞句」》

Sous ス prep (位置) ～の下で 「副詞句」

l'aveuglante clarté ラヴグロントゥ・クラテ n.f 目が眩むほどの光 「目的語」

aveuglante アヴグロントゥ adj.f(aveuglant) 目を眩ませる clarté クラテ n.f 明かり、光
des faits テ・フェ

adj. (所有) 事実の、事実の持つ、事実が放つ 「形容詞句」

d'abord ダボール adv. まず第一に、最初に 「副詞句」

et エ conj. そして

ensuite オンシュイト adv. それから、次に 「副詞」

dans トン prep (場所) ～の中で 「副詞句」

l'éclairage sombre レクレージュ・ソンプル n.m 薄暗い照明 「目的語」

éclairage エクレージュ n.m 照明、明かり sombre ソンプル adj. 薄暗い

que ク pron (主語) ～する 「形容詞節」

me ム pron 私に 「間接目的語」

fournira フルニラ 3 単未・推量(fournir)v.t 与えるであろう 「動詞」

la psychologie ラ・プシコロジー n.f 心理分析を 「直接目的語」

de cette âme criminelle. トゥ・セツ・アム・クリネル

adj. この罪深い魂の 「形容詞句」

âme アム n.f 魂、靈魂 criminelle クリネル adj. 罪のある

彼は、母さんの死以降の事実を要約して話した。

Il a résumé les faits à partir de la mort de maman.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

a résumé ア・レジュメ 3 単現・完了形(résumer)v.t 要約した、まとめた 「動詞句」

les faits レ・フェ pl.n.m 事実を 「目的語」

à partir de ア・パルティール・トゥ prep (時間) ～から 「副詞句」

la mort de maman. ラ・モール・トゥ・マモン n.f 母さんの死 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕の冷淡さをもう一度語った。僕が母さんの年齢を知らなかったこと、さらに翌日、女といっしょに海水浴に行ったこと、フェルナンデルの喜劇映画を見たこと、そして最後に、マリーと一緒に部屋に戻ったことなどだ。

Il a rappelé mon insensibilité, l'ignorance où j'étais de l'âge de maman, mon bain du lendemain, avec une femme, le cinéma, Fernandel et enfin la rentrée avec Marie.

「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a rappelé ア・ラプレ 3 単現・完了形(rappeler)v.t もう一度言った、思い出させた 「動詞句」

mon insensibilité, モン・アンソシビリティ n.f 僕の冷淡さ 「目的語」

l'ignorance リニョランス n.f(de について) 知らないこと 「目的語」

où ウ adv. そこで～する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半(être)v.i ～だった 「動詞」

de l'âge de maman, ド・ウ・ラー・ジュ・ド・ウ・マモン

adv. 母さんの年齢について

「副詞句」

mon bain モン・バン n.m 海水浴

「目的語」

du lendemain, ジュ・ロント・ウモン adj. 翌日の

「形容詞句」

avec une femme, アヴ・エッキ・ユヌ・ファム adv. 女と一緒にの

「副詞句」

le cinéma, Fernandel ル・シネマ・フェルナンデル n.m フェルナンデルの映画

「目的語」

et エ conj. そして

enfin オンファン adv. 最後に

「副詞」

la rentrée ラ・ロントレ n.f 帰宅

「目的語」

avec Marie. アヴ・エッキ・マリー adv. マリーと一緒にの

「副詞句」

この時僕は、彼が言ったことを理解するのに時間がかかった。それは彼が「その愛人」という言葉を使ったためだったが、僕にとって彼女はあくまでもマリーなのだ。

J'ai mis du temps à le comprendre, à ce moment, parce qu'il disait «sa maîtresse» et pour moi, elle était Marie.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」, 「副詞節」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai mis エ・ミ 1 単現・完了形(mettre)v.t (時間が) かかった 「動詞句」

du temps ジュ・トン n.m 時間が

「目的語」

à le comprendre, アル・コンプ・ロントル adv. (目的) それを理解するのに

「副詞句」

à ce moment, ア・ス・モモン adv. この時

「副詞句」

parce qu' パルス・キ conj. 何なので、なぜなら～だから 「副詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

disait テ・イセ 3 単半(dire)v.t 言っていた 「動詞」

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---------------------------------------|-------|
| «sa maîtresse» サ・メレス n.f 「彼の愛人」という言葉を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| pour moi, プール・ムー adv. 僕にとっては | 「副詞句」 |
| elle エル pron 彼女は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| Marie. マリー n.f マリー | 「補語」 |

次に、彼はレーモンの話に進んだ。

Ensuite, il en est venu à l'histoire de Raymond.

| | |
|--|-------------------------------|
| | 「副詞」, 「主語」 「副詞」 「動詞句」 「間接目的語」 |
| Ensuite, オンシュイト adv. 次に、続いて | 「副詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| en エン adv. 弁論で | 「副詞」 |
| est venu エ・ヴニュ 3 単現・完了形(venir)v.i(à に) 至った | 「動詞句」 |
| à l'histoire de Raymond. ア・リストワール・ド・カ・レーモン adv. レーモンの話 | 「間接目的語」 |

出来事に対する彼の分析手法は、明晰そのものであると、僕は思った。

J'ai trouvé que sa façon de voir les événements ne manquait pas de clarté.

| | |
|---|------------------|
| | 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai trouvé エ・トルヴエ 1 単現・完了形(trouver)v.t(que 〜である) 思った | 「動詞句」 |
| que ク conj. 〜ということを | 「目的語」 |
| sa façon サ・ファソン n.f 彼のやり方は | 「主語」 |
| de voir ド・ヴァール 不定詞・目的 adj. 見るための、理解する | 「形容詞句」 |
| les événements レ・エヴヰモン pl.n.m 出来事を | 「目的語」 |
| ne manquait pas ノ・モンケ・パ 3 単半・否定・時制の一致(manquer) | |
| v.i(de が) 不足していない | 「動詞句」 |
| de clarté. ド・クラルテ adv. 明晰さが | 「間接目的語」 |

彼の言ったことはもっともだ。

Ce qu'il disait était plausible.

| | |
|-----------------------------------|----------------|
| | 「主語」 「動詞」 「補語」 |
| Ce ス pron そのことは | 「主語」 |
| qu' ク pron (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| disait デ・イズ 3 単半(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

plausible. プロゾーブル adj. 本当らしい、納得できる

「補語」

僕がレーモンに同意して手紙を書き、その結果として、彼の愛人を呼び出し、「道德性の疑わしい」男の虐待に委ねたことは確かだ。

J'avais écrit la lettre d'accord avec Raymond pour attirer sa maîtresse et la livrer aux mauvais traitements d'un homme «de moralité douteuse».

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais écrit アヴ・ェ・セクリ 1 単半・完了形(écrire)v.t 書いた

「動詞句」

la lettre ラ・レットル n.f 手紙を

「目的語」

d'accord ダコール adv.(avec qn 誰に) 同意して

「副詞句」

avec Raymond アヴ・ェッキ・レーモン adv. レーモンに

「間接目的語」

pour attirer プール・アチレ adv. (目的・結果) 引き寄せるために

「副詞句」

sa maîtresse サ・メトレス n.f 彼の愛人を

「目的語」

et エ conj. そして

la ラ pron (maîtresse の代用) 彼女を～するために

「副詞句」

livrer リヴレ 不定詞・目的 v.t 委ねる

「動詞」

aux mauvais traitements オ・モヴ・ェ・トクトゥモン adv. 虐待に

「副詞句」

mauvais traitements モヴ・ェ・トクトゥモン pl.n.m 虐待

d'un homme ダン・ノム adj. 男の

「形容詞句」

«de moralité douteuse». トゥ・モラリテ・トゥクトゥーズ

adj. 道德性の疑わしい

「形容詞句」

moralité モラリテ n.f 道德性 douteuse トゥクトゥーズ adj.f(douteux) 疑わしい

ここからしばらくは、検事の口頭弁論を、「僕の頭の中」で反芻する形で記述されている。

僕は浜辺でレーモンの敵対者たちを挑発した。

J'avais provoqué sur la plage les adversaires de Raymond.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais provoqué アヴ・ェ・プ ロヴ・ォク 1 単半・完了形(provoquer)v.t 挑発した

「動詞句」

sur la plage シュール・ラ・プ ラージュ adv. 浜辺で

「副詞句」

les adversaires レ・アトヴァエルセル pl.n.m 敵対者たちを

「目的語」

de Raymond. トゥ・レーモン adj. レーモンの

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

レーモンが負傷した。僕は彼の拳銃を借りた。

Celui-ci avait été blessé. Je lui avais demandé son revolver.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Celui-ci スリュイ・シ pron 後者は、レーモンは 「主語」
 avait été blessé. アヴ・ェ・テ・ブレッセ 3 単半・完了形・受動(blessé)v.t 負傷した 「動詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 avais demandé アヴ・ェ・ト・ウモンテ 1 単半・完了形(demander)v.t 求めた、借りた 「動詞句」
 son revolver. ソン・レヴ・オルヴァール n.m 彼の拳銃を 「直接目的語」

僕はそれを使おうと思って、一人だけで引き返した。そして計画通り、アラブ人を射殺した。

J'étais revenu seul pour m'en servir. J'avais abattu l'Arabe comme je le projetais.

「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais revenu エテ・ルヴ・ニユ 1 単半・完了形(revenir)v.i 引き返した 「動詞句」
 seul スル adv. 一人だけで 「副詞」
 pour +不定詞 プール adv. (目的・意図) ~するために 「副詞句」
 m'en servir. モン・セルヴァール 不定詞(se servir+en)v.pr(de を) それを使う 「動詞句」
 en は de son revolver の代用
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais abattu アヴ・ェ・アバ・ツチュ 1 単半・完了形(abattre)v.t 射殺した 「動詞句」
 l'Arabe ララブ n.m アラブ人を 「目的語」
 comme コム conj. ~のように 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 le ル pron それを 「目的語」
 projetais. プロジエテ 1 単半(projeter)v.t 計画していた 「動詞」

僕は待った。

J'avais attendu.

「主語」「動詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais attendu. アヴ・ェ・アトンジユ 1 単半・完了形(attendre)v.i 待った 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そして、「完璧な仕事の達成のために」、僕は、落ち着いて、確実に、いわばよく考え抜いた
うで、さらに4発撃った。

Et «pour être sûr que la besogne était bien faite», j'avais tiré encore quatre balles,
posément, à coup sûr, d'une façon réfléchie en quelque sorte.

Et 《「副詞句」》, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」「副詞句」

Et エ conj. そして

«pour +不定詞 プール adv. (目的) ~するために 「副詞句」

être エートル 不定詞 v.i ~になる 「動詞」

sûr que シュール・キ adv. ~である以上の 「補語」

la besogne ラ・ベゾーニュ n.f 仕事は 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」

bien faite», ビヤン・フェット adj.f 上出来の 「補語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais tiré アヴァ・チレ 1 単半・完了形(tirer)v.t 発射した、撃った 「動詞句」

encore オンコール adv. さらに 「副詞」

quatre balles, キャトル・バル pl.n.f 4 発を 「目的語」

posément, ポセモン adv. 落ち着いて 「副詞」

à coup sûr, ア・ク・シュール adv. 確実に、間違いなく 「副詞句」

d'une façon réfléchie ジョヌヌ・ファツン・レフレッシ adv. よく考え抜いて 「副詞句」

d'une façon+形容詞 ~のように

en quelque sorte. オン・ケルキ・ソルト adv. いわば 「副詞句」

「以上です、皆さん」と、法院検事は言った。

«Et voilà, messieurs, a dit l'avocat général. 《「呼びかけ」》, 「動詞句」「主語」

«Et エ conj. そして

voilà, messieurs, ヴァワラ・メッシュュ adv. (話の終わりを示す) 以上です、皆さん 「呼びかけ」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

l'avocat général. ラヴァ・オカ・ジェネラル n.m 法院検事は 「主語」

「皆さんに順を追って事件の流れを話しましたが、このような推移から、被告は自分の行為
の結果もすべて心得た上で殺人を犯したのです。」

J'ai retracé devant vous le fil d'événements qui a conduit cet homme à tuer en pleine
connaissance de cause.

《「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」, 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」》

J' ジュ pron 私は 「主語」

ai retracé エルトラセ 1 単現・完了形(retracer)v.t 再び描いた、物語った 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-------------------------------------|-------------------------|--------|
| devant vous トゥヴァン・ヴ | adv. 皆さんの前で | 「副詞句」 |
| le fil ル・フィル | n.m (話の) 流れ、筋道 | 「目的語」 |
| d'événements デヴェヌモン | adj. 事件の | 「形容詞句」 |
| qui キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| 追加説明として翻訳する | | |
| a conduit ア・コンジユイ | 3 単現・完了形(conduire) | |
| v.t(qn à+不定詞) (人に) ～させた | | 「動詞句」 |
| cet homme セ・トム | n.m この被告に | 「目的語」 |
| à tuer ア・チュエ | 不定詞・homme の動作 v.t 殺人をする | 「補語」 |
| en pleine connaissance オン・プレヌ・コネサンス | | |
| adv. 十分な認識を持って | | 「副詞句」 |
| de cause. トゥ・コース | adj. 事情の | 「形容詞句」 |
| en connaissance de cause | 事情 (事実) をよく心得た上で | |

「私はその点を強調します」と、彼は言った。

| | |
|---|-----------------------------------|
| <u>J'insiste là-dessus, a-t-il dit.</u> | 《「主語」「動詞」「間接目的語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」 |
| J' ジュ pron 私は | 「主語」 |
| insiste アンシスト 1 単現(insister)v.i 強調する | 「動詞」 |
| là-dessus, ラトゥシュ adv. その点について | 「間接目的語」 |
| a... dit. ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |

「なぜなら、これは通常の殺人、つまり情状酌量されうる軽率な犯行ではないのです」

| | |
|--|-----------------|
| Car <u>il ne s'agit pas d'un assassinat ordinaire, d'un acte irréfléchi que vous pourriez estimer atténué par les circonstances.</u> | 《Car 「動詞句」「主語」》 |
| Car カール conj. なぜなら～なので | |
| il ne s'agit pas イル・ヌ・サジ・ハ 非人称・3 単現・否定(il s'agit de+qch) | |
| v.h (～の) 問題ではない | 「動詞句」 |
| d'un assassinat ordinaire, ダン・アサシナ・オルディネル n.m 通常の殺人 | 「主語」 |
| assassinat アサシナ n.m 殺人 ordinaire オルディネル adj. 通常の | |
| d'un acte irréfléchi ダン・アクトゥ・イレフレシ n.m 軽率な犯行 | 「主語」 |
| acte アクトゥ n.m 行為 irréfléchi イレフレシ adj. 軽率な | |
| que ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| vous ヴ pron 皆さんが | 「主語」 |
| pourriez estimer プーリエ・エシメ 条・2 複現・推量(pouvoir+不定詞) | |
| v.t(SVOC) みなせるだろう | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

atténué アテニユエ 過去分詞・受動(atténuer)adj. 軽減された 「補語」

par les circonstances. パール・レ・シルコンストンス

adv. (条件) 情状によって 「副詞句」

circonstances atténuantes 情状酌量

「被告は、いいですか皆さん、被告は頭脳明晰です」

Cet homme, messieurs, cet homme est intelligent.

《「主語」, 「呼びかけ」, 「主語」 「動詞」 「補語」》

Cet homme, セ・トム n.m 被告は 「主語」

messieurs, メッシユー pl.n.m みなさん 「呼びかけ」

cet homme セ・トム n.m 被告は 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

intelligent. アンテリジ ヨン adj. 聡明な 「補語」

「皆さんは、被告の答弁を聞きましたね？彼は答え方を心得ているのです」

Vous l'avez entendu, n'est-ce pas? Il sait répondre.

《「主語」 「目的語」 「動詞句」, 「念押し」 | 「主語」 「動詞句」》

Vous ヴェ pron 皆さんは 「主語」

l' ル pron 彼の答弁を 「目的語」

avez entendu, アヴェ・エ・オトンジ ュ 2 複現・完了形(entendre)v.t 聞いた 「動詞句」

n'est-ce pas? ネ・ス・パ° adv. (念押し) そうですね？ 「念押し」

Il イル pron 彼は 「主語」

sait répondre. セ・レポントル 3 単半・習得・時制の一致(savoir+不定詞)

v.t 返答の仕方を知っている 「動詞句」

英語では、He knew how to respond.

savoir+不定詞 〜できる、〜する方法を心得ている

「彼は言葉の値打ちというものを心得ています」

Il connaît la valeur des mots.

《「主語」 「動詞」 「目的語」》

Il イル pron 彼は 「主語」

connaît コネ 3 単半・時制の一致(connaître)v.t 知っている 「動詞」

la valeur ラ・ヴァール n.f 値打ち、価値 「目的語」

des mots. デ・モ adj. 言葉の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「さらに、彼は自分の行為の意味を分からずに行動したなどとは決して言えないのです」

Et l'on ne peut pas dire qu'il a agi sans se rendre compte de ce qu'il faisait.»

《Et 「主語」「動詞句」「目的語」》

Et エ conj. そして

l'on オン pron 人は

「主語」

ne peut pas dire ヌ・プ・パ・ディール 3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 言えない

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

a agi ア・アジ 3 単現・完了形(agir)v.i 行動した

「動詞句」

sans +不定詞 ソン prep ～せずに

「副詞句」

se rendre compte de ス・ロントル・コント・トウ 不定詞

v.pr ～が分かっている

「動詞句」

ce ス pron それを

「目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

il イル pron 彼が

「主語」

faisait. フェ 3 単半(faire)v.t した

「動詞」

l'on : 文頭や発音の都合

Et on や que on (→ qu'on) は、Et l'on や que l'on として使用されることが多い
しかし、L'ÉTRANGER では、qu'on のまま使用されることがある。

僕は話を聞いていたが、人々は僕のことを聡明だと判断しているように聞こえた。

Moi j'écoutais et j'entendais qu'on me jugeait intelligent.

「主語」「動詞」 et 「主語」「動詞」「目的語」

Moi j' ムワ・ジュ pron 僕は

「主語」

écoutais エケ 1 単半(écouter)v.t 聞いていた

「動詞」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

entendais オンデ 1 単半(entendre)v.t 聞こえた

「動詞」

qu' ク conj. ～ということが

「目的語」

on オン pron 人は

「主語」

me ム pron 僕を

「目的語」

jugeait ジュジェ 3 単半(juger)v.t 判断している

「動詞」

intelligent. アンテリジョン adj. 聡明な

「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし、一般の人には長所であることが、どうして犯罪者にとっては圧倒的に不利な証拠とみなされるのかがよく分からなかった。

Mais je ne comprenais pas bien comment les qualités d'un homme ordinaire pouvaient devenir des charges écrasantes contre un coupable. Mais 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne comprenais pas bien ヌ・コンプ°ルネ・パ°・ビヤン 1 単半・否定(comprendre+bien)

v.t よく分からなかった

「動詞句」

comment コモン conj. どうして～なのかということ

「目的語」

les qualités レ・カリテ pl.n.f 長所が

「主語」

d'un homme ordinaire ダン・ノム・オルデ°イネル adj. 一般の人の

「形容詞句」

pouvaient devenir プ°ラ°エ°ト°ウ°ニール 3 単半・可能性・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.i (変化) (+補語) ～になるかもしれない

「動詞句」

des charges écrasantes デ°・シャルジ°ユ°エクラザントウ

pl.n.f (des は une の複数形) 圧倒的な重荷

「補語」

contre un coupable. コントル°アン°クパ°ブル adv. 犯罪者に対して

「副詞句」

少なくとも、僕が気になっていたのはそのことだ。僕はもう検事の話聞いていなかったが、やがて検事の話が聞こえてきた：

Du moins, c'était cela qui me frappait et je n'ai plus écouté le procureur jusqu'au moment où je l'ai entendu dire:

「副詞句」, 「補語」「動詞」「主語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Du moins, ジュ°ムワソ adv. (しかし) 少なくとも、とにかく

「副詞句」

c' ス pron それ

「補語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

cela スラ pron それ

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

me ム pron 僕を

「目的語」

frappait フラパ° 3 単半(frapper)v.t (関心を) 引いた

「動詞」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai plus écouté ネ°プリュ°ゼクテ 1 単現・完了形・否定(écouter)

v.t もう聞いていなかった

「動詞句」

le procureur ル°プ°ロキュレール n.m 検事の話

「目的語」

jusqu'au moment où +直説法 ジュスコ°モン°リ conj. それから～した、～するまで

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

l'ル pron 彼が

「目的語」

ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre)

v.t(SVO+不定詞) 聞いた、聞こえた

「動詞句」

dire: ディール 不定詞・l'の動作 v.t 言う

「補語」

「被告は、せめて悔恨の情を示したことがあったでしょうか？一切ありません。皆さん」

«A-t-il seulement exprimé des regrets? Jamais, messieurs.

《「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 | 「間投」「呼びかけ」》

«A... seulement exprimé ア...スルモン・エクスプリメ 3 単現・完了形・疑問文(exprimer+ seulement)

v.t 示すだけでもしたろうか

「動詞句」

il イル pron 被告は

「主語」

des regrets? デ・ルグレ pl.n.m 悔恨の情を

「目的語」

Jamais, ジャメ adv. 一切ありません

「間投」

messieurs. メッシュール pl.n.m 皆さん

「呼びかけ」

「この男は、予審の期間中に一度たりとも、自らの恐るべき大罪に対して動揺する姿を見せなかったのです。」

Pas une seule fois au cours de l'instruction cet homme n'a paru ému de son abominable forfait.

《「副詞句」, 「主語」「動詞句」「補語」》

Pas une seule fois パ・ジュヌ・フワ adv. 一度たりとも～ない

「副詞句」

au cours de l'instruction オ・クール・トゥ・ランストルクシヨ adv. 予審の間に

「副詞句」

au cours de... 「～の間に、の期間中に」

cet homme セ・トム n.m この男は

「主語」

n'a paru ナ・パリュ 3 単現・完了形・否定(paraître)v.i ～のようには見えなかった

「動詞句」

ému エミュ adj. 動揺した

「補語」

de son abominable forfait.» トゥ・ソン・アボミナブル・フォルフェ

adv. (原因) 自分自身の恐るべき大罪によって

「副詞句」

ここで検事は僕の方に振り向き、僕を打ちのめすような言葉を浴びせながら僕を指さしたが、実のところ僕にはどうしてそんなことをするのか分からなかった。

A ce moment, il s'est tourné vers moi et m'a désigné du doigt en continuant à m'accabler sans qu'en réalité je comprenne bien pourquoi.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「目的語」「動詞句」「副詞句」

A ce moment, ア・ス・モモン adv. この時、ここで

「副詞句」

il イル pron 検事は

「主語」

s'est tourné セ・トルネ 3 単現・完了形(se tourner)v.pr(vers の方に) 振り向いた

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|----------------------------|--|-------|
| vers moi ヲェル・ムわ | adv. 僕の方に | 「副詞句」 |
| et エ | conj. そして | |
| m' ム | pron 僕を | 「目的語」 |
| a désigné ア・デジニェ | 3 単現・完了形(désigner)v.t 指し示した | 「動詞句」 |
| du doigt ジュ・トゥワ | adv. (手段) 指で | 「副詞句」 |
| en continuant à m'accabler | オン・コンチニューオン・ア・マカブレ ジェロンディフ(continuer) | |
| adv.(+à+不定詞) | 僕に攻撃的な言葉を浴びせ続けながら | 「副詞句」 |
| continuer à+不定詞 | 「～し続ける」 accabler アカブレ v.t (悪口を) 浴びせる、打ちのめす | |
| sans qu'+接続法 | ソ・キ conj. (結果) ～することなしに | 「副詞節」 |
| en réalité オン・レアリテ | adv. 実のところ、実際は | 「副詞句」 |
| je ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| comprene | コンブ レヌ 接・1 単現・否定文(comprendre)v.t 分からない | 「動詞」 |
| bien pourquoi. ビヤン・プルクワ | adv. どうしてかよく～ない | 「副詞句」 |

おそらく、僕は彼の言い分は正しいと認めなければならない。

Sans doute, je ne pouvais pas m'empêcher de reconnaître qu'il avait raison.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | | |
|--|---------------------------|-------|
| Sans doute, ソ・トゥット | adv. おそらく、きっと | 「副詞句」 |
| je ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ne pouvais pas m'empêcher de reconnaître | ヌ・プ ヲェ・パ・モンパシエ・トォウ・ルコネートル | |
| 1 単半・可能・否定(ne pouvoir s'empêcher de+不定詞 reconnaître) | | |
| v.t | 認めないわけにはいかなかった | 「動詞句」 |
| ne pouvoir s'empêcher de+不定詞 | 「～せずにはいられない」 | |
| qu' ク | conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル | pron 彼は | 「主語」 |
| avait アヴェ | 3 単半・時制の一致(avoir)v.t ～がある | 「動詞」 |
| raison. レゾン | n.f 道理、言い分 | 「目的語」 |

僕は自分の行為をあまり後悔していなかった。しかし、これほど執拗に責められると、驚く。

Je ne regrettais pas beaucoup mon acte. Mais tant d'acharnement m'étonnait.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 | Mais 「副詞句」 「動詞句」

| | | |
|----------------------------|-----------------------------------|-------|
| Je ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| ne regrettais pas beaucoup | ヌ・ルグレッテ・パ・ボク 1 単半・部分否定(regretter) | |
| v.t | あまり後悔していなかった | 「動詞句」 |
| ne 動詞 pas beaucoup | 「あまり～しない」 | |
| mon acte. モン・アクト | n.m 自分の行為を | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

Mais メ conj. しかし

tant d' トン・トゥ adv. そんなに多くの～では

「副詞句」

acharnement アシャルヌモン n.m 執拗さ

「目的語」

m'étonnait. ムネ 1 単半(s'étonner)v.pr 驚いた

「動詞句」

僕はこれまでに一度も、何かを本当に後悔できたことはないのだということを、ほとんど心からの愛情を持って、彼に説明したかったのだが。

J'aurais voulu essayer de lui expliquer cordialement, presque avec affection, que je n'avais jamais pu regretter vraiment quelque chose.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

aurais voulu オーレ・ヴリュ 条・1 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)

v.t ～したかったのだが

「動詞句」

essayer エッセエ 不定詞・試行 v.t(de+不定詞)v.t ～しようとする

「動詞句」

de +不定詞 トゥ 不定詞 v. ～する

「動詞句」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

expliquer エクスプリケ 不定詞 v.t 説明する

「動詞」

cordialement, コルデアールモン adv. 心から、誠意をもって

「副詞」

presque avec affection, プレスキ・アウ・ェッキ・アフェクション

adv. ほとんど愛情を持って

「副詞句」

que ク conj. ～ということを

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais jamais pu regretter ナヴ・ェ・ジャメ・ピュ・ルグレット 1 単半・完了形・可能・否定

v.t これまでに一度も後悔できたことはなかった

「動詞句」

vraiment ヴアレモン adv. 本当に

「副詞」

quelque chose. ケルキ・ショーズ n.f 何かを

「目的語」

僕はいつも、今日・明日にでも起きそうなことにばかり捕らわれていた。

J'étais toujours pris par ce qui allait arriver, par aujourd'hui ou par demain.

「主語」「動詞句」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

étais toujours pris エテ・トウジユール・プリ 1 単半・受動(prendre+ toujours)

v.t いつも捕らわれていた

「動詞句」

prendre プロントル v.t 捕まえる、捕らえる → (受動で) 捕らわれる

par ce パール・ス adv. (動作主) このことによって

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

allait arriver, アレ・アリヴェ 3 単半・近接未来・時制の一致(aller+不定詞)

v.i やって来るだろう

「動詞句」

par aujourd'hui パール・オージュルトゥイ adv. (時間) 今日にも

「副詞句」

ou conj. または

par demain. パール・ドゥマン adv. (時間) 明日にも

「副詞句」

しかし勿論、僕が置かれた状況では、誰にもそんな口調で話すことはできない。

Mais naturellement, dans l'état où l'on m'avait mis, je ne pouvais parler à personne sur ce ton. Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

Mais メ conj. しかし

naturellement, ナチュレルモン adv. 当然、もちろん

「副詞」

dans l'état ドン・レタ adv. その状況では

「副詞句」

état エタ n.m 状態、状況、立場

où adv. そこで～する

「形容詞節」

l' エル pron(état の代用) それを

「直接目的語」

on オン pron 人が

「主語」

受動態に翻訳する

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

avait mis, アヴェ・ミ 3 単半・完了形(mettre)v.t 置いた

「動詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne pouvais parler ノ・プヴェ・パル 1 単半・可能・否定・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.i 話すことはできない

「動詞句」

à personne ア・ペルソンヌ adv. (否定文で) 誰にも～ない

「間接目的語」

sur ce ton. シュール・ストン adv. (手段) そんな口調で

「副詞句」

僕には、思いやりの態度を示したり、好意を抱いたりする権利はない。

Je n'avais pas le droit de me montrer affectueux, d'avoir de la bonne volonté.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ～がない

「動詞句」

le droit ル・ドゥワ n.m 権利

「目的語」

de +不定詞 トゥ adv. (目的) ～するための

「副詞句」

me montrer ム・モントレ 不定詞(se montrer)v.pr ～の態度を示す

「動詞句」

affectueux, アフェクチュ adj. 思いやりのある

「補語」

d' +不定詞 トゥ adv. (目的) ～するための

「副詞句」

avoir アヴ・ワル 不定詞 v.t ～を持つ、抱く

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de la bonne volonté. トゥ・ラ・ボンヌ・ヴォロンテ

n.f (部分冠詞) 好意を

「目的語」

bonne volonté ボンヌ・ヴォロンテ n.f 熱意、善意、好意、誠意

avoir de l'amitié pour qn (人) に友情を抱く

それで僕はまた聞くことにした。検事が僕の魂について話を始めたからだ。

Et j'ai essayé d'écouter encore parce que le procureur s'est mis à parler de mon âme.

Et 「主語」「動詞句」「副詞」, 「副詞節」

Et エ conj. そして、それで

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai essayé d'écouter エ・エッセ・イ・テ・クテ 1 単現・完了形・努力(essayer de+不定詞)

v.t 聞こうとした、聞くことにした

「動詞句」

encore オンコール adv. また、再び

「副詞」

parce que パルス・キ conj. ～なので

「副詞節」

le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事が

「主語」

s'est mis à parler セ・ミ・ア・パル 3 単現・完了形・開始(se mettre à+不定詞)

v.i (de ～について) 話を始めた

「動詞句」

de mon âme. トゥ・モ・ナム adv. 僕の魂について

「間接目的語」

âme アム n.f (冠詞は男性形 l'âme, son âme など) 魂、靈魂

(冠詞は女性形 une âme, d'âme など) 心、精神、人間

彼は言った。「魂に身をかがめても、何も見つけられませんでした。陪審員の皆さん」

Il disait qu'il s'était penché sur elle et qu'il n'avait rien trouvé, messieurs les Jurés.

「主語」「動詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

disait テイテ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

s'était penché エテ・ボンシェ 3 単半・完了形(se pencher)v.pr 身をかがめた「動詞句」

sur elle シュール・エル adv. (elle は âme の代用) それに

「副詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

n'avait rien trouvé, ナヴェ・リヤン・トルヴェ 3 単半・完了形・否定(trouver)

v.t 何も見つからなかった

「動詞句」

messieurs les Jurés. メッシユール・レ・ジュレ adv. 陪審員の皆さん

「呼びかけ」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

検事は言った。そもそも僕にはその魂が無いから、人間性のかけらもない。だから、人間の心を守る道徳律の一つといえども僕に近づくことはできないのだと。

Il disait qu'à la vérité, je n'en avais point, d'âme, et que rien d'humain, et pas un des principes moraux qui gardent le coeur des hommes ne m'était accessible.

「主語」「動詞」「目的語」 et 「目的語」, et 「主語」「動詞」「間接目的語」「補語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 à la vérité, ア・ラ・ヴェリテ adv. 実のところ、実は 「副詞句」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'en avais point, ノン・アヴェ・ポイント 1 単半・時制の一致(avoir+en)
 v.t それがない 「動詞句」
 en = d'âme 魂が
 d'âme, ダーム n.f (en の補足) 魂が 「目的語」
 et エ conj. そして
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 rien d'humain, リヤン・ジューマン n.m 人間性が全く～ない 「目的語」
 et エ conj. そして
 pas un パン・サン pron 一つも～ない 「主語」
 des principes moraux デ・プリンシップ・モロ adj. 道徳律の 「形容詞句」
 principes プリンシップ pl(principe).n.m 原理 moraux モロ adj(moral).m.pl 道徳の
 principes moraux プリンシップ・モロ pl.n.m 道徳律
 qui キ pron.pl.m (主語) ～する 「形容詞節」
 gardent ギャルトゥ 3 複現(garder)v.t 守る 「動詞」
 le coeur ル・ケール n.m 心を 「目的語」
 des hommes デ・ゾム adj. 人間の 「形容詞句」
 ne...était ス...エテ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない 「動詞」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 accessible. アクセシブル adj. 到達しやすい、近づきやすい 「補語」

「おそらく」と、彼は付け加えた。「そのことで彼を責めることは出来ないでしょう」

«Sans doute, ajoutait-il, nous ne saurions le lui reprocher.

《「副詞句」》, 「動詞」「主語」, 《「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「動詞句」》
 «Sans doute, ソン・トゥット adv. 恐らく、きっと、多分 「副詞句」
 ajoutait アジュテ 3 単半(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| -il, イル pron 彼は | 「主語」 |
| nous ヌ pron.pl 私たちは | 「主語」 |
| ne saurions ...reprocher. ヌ・ソリオン...ルプロシェ 条・1 複現・可能・否定・推量 (savoir+不定詞)v.t 非難することは出来ないだろう | 「動詞句」 |
| le ル pron そのことで | 「間接目的語」 |
| lui リュイ pron 彼を | 「直接目的語」 |

彼が手に入れることができないもの。彼にそれが欠けていることに対して、私たちは不平を言うことは出来ないでしょう。

Ce qu'il ne saurait acquérir, nous ne pouvons nous plaindre qu'il en manque.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | |
|---|---------|
| Ce ス pron それ | 「主語」 |
| qu' ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| ne saurait acquérir, ヌ・ソル・アクリール 条・3 単現・可能・否定・推量(savoir+不定詞) v.t 手に入れることができないと思われる | 「動詞句」 |
| 「それ」について事実の提示 → 後の文に対して、「たとえ～であったとしても」という「譲歩」の感情を含んでいる | |
| nous ヌ pron.pl 私たちは | 「主語」 |
| ne pouvons nous plaindre ヌ・プ・ヴァン・ヌ・プロントル 1 複現・可能・否定(pouvoir+不定詞) v.pr 不平を言うことはできない | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| en オン adv. それが | 「間接目的語」 |
| manque. モンキ 3 単現(manquer)v.i(de が) 欠けている | 「動詞」 |

しかしこの法廷に関する場合には、寛容という全く消極的な徳は、正義という、より困難であるが、さらに高度な徳に変わらなければなりません。

Mais quand il s'agit de cette cour, la vertu toute négative de la tolérance doit se muer en celle, moins facile, mais plus élevée, de la justice.

Mais 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「補語」

| | |
|---|---------|
| Mais メ conj. しかし | |
| quand コン conj. ～する場合には | 「副詞節」 |
| il s'agit イル・サジ 非人称・3 単現 v.h(de) ～に関することである | 「動詞句」 |
| de cette cour, セット・クール adv. この法廷に | 「間接目的語」 |
| la vertu ラ・ヴァエルチュ n.f 徳は | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | | |
|-----------------|-------------|-----------------------------|---------------|--------|
| toute négative | トット・ネガティヴ | adj.f | まったく消極的な | 「形容詞句」 |
| de la tolérance | ドゥ・ラ・トレランス | adj. | (同格) 寛容という | 「形容詞句」 |
| doit se muer | ドゥワ・ス・ミエ | 3 単現・必要(devoir+不定詞 se muer) | | |
| v.pr | 変わらねばならない | | | 「動詞句」 |
| en celle, | エン・セル | adv. | 徳へ | 「補語」 |
| moins facile, | ムワ・ファシル | adj. | より困難な、より容易でない | 「形容詞句」 |
| mais | メ | conj. | しかし | |
| plus élevée, | プリュ・エルヴエ | adj.f | さらに高度な | 「形容詞句」 |
| de la justice. | ドゥ・ラ・ジュスティス | adj. | (同格) 正義という | 「形容詞句」 |

「とりわけ、この男の中に見られる虚空が、社会が打ち負かされるかもしれないほどの深淵と化してしまう場合には」

| | | | | |
|---|--------------|-----------------------|-----------|---------|
| <u>Surtout lorsque le vide du coeur tel qu'on le découvre chez cet homme devient un gouffre où la société peut succomber.</u> | | | | 《「副詞句」》 |
| Surtout | シュルトゥ | adv. | とりわけ、何よりも | 「副詞」 |
| lorsque | ルスキ | conj. | ～する時 | 「副詞節」 |
| le vide | ル・ヴィット | n.m | 虚空が | 「主語」 |
| du coeur | ジュ・ケル | adj. | 心の | 「形容詞句」 |
| tel qu'+直説法 | テル・ク | adv. | ～するような | 「副詞節」 |
| on | オン | pron | 人が | 「主語」 |
| le | ル | pron | それを | 「目的語」 |
| découvre | デクヴル | 3 単現(découvrir) | | |
| v.t | 発見する、気づく | | | 「動詞」 |
| chez cet homme | シェ・セ・トム | adv. | この男の中に | 「副詞句」 |
| devient | ドゥヴィヤン | 3 単現(devenir)v.i | ～になる | 「動詞」 |
| un gouffre | アン・グッフ | n.m | 深淵 | 「補語」 |
| où | ウ | adv. | そこで～する | 「形容詞節」 |
| la société | ラ・ソシエ | n.f | 社会が | 「主語」 |
| peut succomber. | プ・スコムベ | 3 単現・可能性(pouvoir+不定詞) | | |
| v.i | 死ぬかもしれない、敗れる | | | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そこで彼は、母さんに対する僕の態度について話した。

C'est alors qu'il a parlé de mon attitude envers maman.

C'est alors qu' 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

C'est alors qu' セ・タロー・キ conj. (強調構文) ～したのはその時、それで～した

il イル pron 彼は 「主語」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i(de について) 話した 「動詞句」

de mon attitude トゥ・モン・アチチュート adv. 僕の態度 「間接目的語」

envers maman. オンヴァール・マモン adv. 母さんに対する 「副詞句」

彼は、審議の間に言っていたことをまた繰り返して述べた。

Il a répété ce qu'il avait dit pendant les débats. 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a répété ア・レペテ 3 単現・完了形(répéter)v.t 繰り返した 「動詞句」

ce ス pron それを 「目的語」

qu' ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

avait dit アヴェ・ディ 3 単半・完了形(dire)v.t 言っていた 「動詞句」

pendant ポントン prep (時間) ～の間に 「副詞句」

les débats. レ・デバ pl(débat).n.m 審議 「目的語」

しかし、それは彼が僕の犯罪について話すよりずっと長くて、僕は、しまいには、朝の暑さしか感じないほどだった。

Mais il a été beaucoup plus long que lorsqu'il parlait de mon crime, si long même que, finalement, je n'ai plus senti que la chaleur de cette matinée.

Mais 「主語」 「動詞句」 「補語」, 「副詞節」

Mais メ conj. しかし

il イル pron それは 「主語」

a été ア・エテ 3 単現・完了形(être)v.i ～だった 「動詞句」

beaucoup plus long ボク・プリュ・ロン adj. かなり長い 「補語」

que ク conj. (比較) ～よりも 「副詞句」

lorsqu' ロルスキ conj. ～する時 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

parlait パル 3 単半(parler)v.i(de について) 話していた 「動詞」

de mon crime, トゥ・モン・クリム adv. 僕の犯罪について 「間接目的語」

si long même que, シ・ロン・メム・キ adj. ～するほど長い 「副詞節」

finalement, フィナルメンテ adv. しまいには 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| je ジェ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai plus senti ネ・プリュ・ソチ 1 単現・完了形・否定(sentir) | |
| v.t(ne...que ～しか) もう感じなかった | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～しか | 「副詞」 |
| la chaleur ラ・シャレル n.f 暑さ | 「目的語」 |
| de cette matinée. トゥ・セツ・マチネ adj. 朝の | 「形容詞句」 |

とにかく、しばらくすると検事は一度話を中断した。一瞬沈黙してから、非常に低い、思いを込めた声でまた話し始めた。

Jusqu'au moment, du moins, où l'avocat général s'est arrêté et après un moment de silence, a repris d'une voix très basse et très pénétrée:

| | |
|--|-----------------------------------|
| | 「副詞句」「主語」「動詞句」 et 「副詞句」「動詞句」「副詞句」 |
| Jusqu'au moment, ジュスコ・モモン adv. その時まで | 「副詞句」 |
| du moins, ジュ・ムワソ adv. 少なくとも、とにかく | 「副詞句」 |
| où ウ adv. そこで | 「副詞」 |
| l'avocat général ラヴ・オカ・ジェネラル n.m 検事は | 「主語」 |
| s'est arrêté セ・アルテ 3 単現・完了形(s'arrêter)v.pr 立ち止まった | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| après un moment de silence, アプレ・アン・モモン・トゥ・シロンス adv. 一瞬沈黙してから | 「副詞句」 |
| a repris ア・ルプリ 3 単現・完了形(reprendre)v.t 再び始めた | 「動詞句」 |
| d'une voix ジュヌス・ウ哇 adv. (手段) 声で | 「副詞句」 |
| très basse トレ・バス adj(bas).f 非常に低い | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| très pénétrée: トレ・ペ・ネトレ adj(pénétré).f (思いが) しみ込んだ | 「形容詞句」 |

「皆さん、この同じ法廷は明日、最も忌まわしい父親殺しの大罪を裁くことになっています」

«Cette même cour, messieurs, va juger demain le plus abominable des forfaits: le meurtre d'un père.»

| | |
|---|----------------------------|
| | 《「主語」「呼びかけ」「動詞句」「副詞」「目的語」》 |
| «Cette même cour, セットウ・メム・ケル n.f この同じ法廷は | 「主語」 |
| messieurs, メッシユール pl.n.m 皆さん | 「呼びかけ」 |
| va juger ヴァ・ジュジェ 3 単現・近接未来(aller+不定詞)v.t 裁くことになっている | 「動詞句」 |
| demain トゥマン adv. 明日 | 「副詞」 |
| le plus abominable ル・プリュ・アボミナブル adj. 最も忌まわしい | 「形容詞句」 |
| des forfaits: デ・フォルフェ pl.n.m 大罪を | 「目的語」 |
| le meurtre ル・メルトル n.m (同格) 殺人を | 「目的語」 |
| d'un père. タン・ペール adj. 父親の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼の言によれば、このむごたらしい犯行は、想像することもためらうほどだ。

Selon lui, l'imagination reculait devant cet atroce attentat.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「副詞句」

Selon lui, スロン・リュイ adv. 彼の言によれば

「副詞句」

l'imagination リマジナシオン n.f 想像は

「主語」

reculait ルキュレ 3 単半・時制の一致(reculer)v.i 後ずさりする、しり込みする

「動詞」

devant ドゥヴァン adv. (条件) ~の前では

「副詞句」

cet atroce attentat. セット・アトロス・アトタ n.m このむごたらしい犯行

「目的語」

atroce アトロス adj. 残酷な attentat アトタ n.m 犯行

彼は、人間の正義が断固として判決を下すことを、敢えて望んでいた。

Il osait espérer que la justice des hommes punirait sans faiblesse.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

osait espérer オセ・エスペレ 3 単半・敢行(oser+不定詞 espérer)

v.t あえて希望した

「動詞句」

que ク conj. ~ということ

「目的語」

la justice ラ・ジュステイス n.f 正義が

「主語」

des hommes デ・ゾム adj. 人間の

「形容詞句」

punirait ピュイレ 条・3 単現(punir)v.t 処罰する

「動詞」

sans faiblesse. ソン・フェブレス adv. 弱気にならずに

「副詞句」

しかし、彼は恐れることなく言った。この父親殺しが彼に抱かせる恐怖の感情は、僕の冷淡さを前にして彼が抱く感情ほど悲痛なものではないだろうと。

Mais il ne craignait pas de le dire, l'horreur que lui inspirait ce crime le cédait presque à celle qu'il ressentait devant mon insensibilité. Mais 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

ne craignait pas ノ・クレニエ・パ 3 単半・否定(craindre)v.t(+de+不定詞)

v.t ~するのを恐れなかった

「動詞句」

de le dire, トゥ・ル・ディール 不定詞 v.t それを言う

「動詞句」

l'horreur ロレール n.f 恐怖は~するということ

「目的語」

que ク pron (主語) ~する

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

inspirait アンスピレ 3 単半・時制の一致(inspirer)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|---------|
| v.t (感情を) 抱かせる | 「動詞」 |
| ce crime ス・クリム n.m この父親殺しの犯罪を | 「直接目的語」 |
| le ル pron それに | 「間接目的語」 |
| cédait セデ 3 単半・時制の一致(céder)v.i 負ける | 「動詞」 |
| presque à celle プレスキ・ア・セル adv. ほぼそれに | 「間接目的語」 |
| qu' ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| ressentait ルソント 3 単半・時制の一致(ressentir) | |
| v.t (感情を) 抱く、感じる | 「動詞」 |
| devant mon insensibilité. トゥヴァン・モン・アンソンシビリテ | |
| adv. 僕の冷淡さを前にして | 「副詞句」 |

また彼の言葉によると、頭の中で母親を殺す者は、生みの親を手にかける者と同じ理由で、人間社会から隔てられる。

| | |
|---|-------------------------|
| <u>Toujours selon lui, un homme qui tuait moralement sa mère se retranchait de la société des hommes au même titre que celui qui portait une main meurtrière sur l'auteur de ses jours.</u> | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 |
| Toujours トゥジュール adv. またしても | 「副詞」 |
| selon lui, スロン・リュイ adv. 彼の言葉によると | 「副詞句」 |
| un homme アン・オム n.m 人は | 「主語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| tuait チュエ 3 単半・時制の一致(tuer)v.t 殺す | 「動詞」 |
| moralement モラルモン adv. 精神的に、想像上で | 「副詞」 |
| sa mère サ・メル n.f 母親を | 「目的語」 |
| se retranchait ス・ルトロンシェ 3 単半・再帰受動・時制の一致(se retrancher) | |
| v.pr 隔てられる、分離される | 「動詞句」 |
| de la société トゥ・ラ・ソシエテ adv. 社会から | 「副詞句」 |
| des hommes デ・ゾム adj. 人間の | 「形容詞句」 |
| au même titre que オ・メーム・チートル・ク adv. ～と同じ理由で | 「副詞節」 |
| celui スリュイ pron その人 | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| portait ポルテ 3 単半・時制の一致(porter)v.t 運ぶ | 「動詞」 |
| une main ユヌ・マン n.f 手を | 「目的語」 |
| meurtrière メルティエール adj.f 人殺しの | 「形容詞」 |
| sur l'auteur シュール・ロテル | |
| adv. (対象) 作者に対して | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de ses jours. ト・セ・ジ ユール

adj. 彼らの命の 「形容詞句」

jours ジ ユール pl(jour).n.m 命、生命

いずれにせよ、前者は後者の行為を準備する。いわば、その行為を予告し、正当化する。

Dans tous les cas, le premier préparait les actes du second, il les annonçait en quelque sorte et il les légitimait. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」,

「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」 et 「主語」 「目的語」 「動詞」

Dans tous les cas, トン・トゥ・レ・カ adv. いずれにせよ、ともかく 「副詞句」

le premier ル・プルミエ pron.m 前者は 「主語」

préparait プレパレ 3 単半・時制の一致(préparer)v.t 準備する 「動詞」

les actes レ・サクトゥ pl.n.m 行為を 「目的語」

du second, ジュ・スコソ adj. 後者の 「形容詞句」

il イル pron 前者は 「主語」

les レ pron (actes の代用) それを 「目的語」

annonçait アノンセ 3 単半・時制の一致(annoncer)v.t 予告する 「動詞」

en quelque sorte オン・ケルキ・ソルトゥ adv. いわば 「副詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 前者は 「主語」

les レ pron (actes の代用) それを 「目的語」

légitimait. レジチメ 3 単半・時制の一致(légitimer)v.t 正当化する 「動詞」

「私はそう確信しています、皆さん」と、彼は声を高めて付け加えた。「皆さんは私の考えが大胆すぎるとは思わないでしょう。もし私が、その被告人席に座っている男が、本法廷が明日、裁かなければならない父親殺しと同じ罪も同様にあると言ったとしても。」

«J'en suis persuadé, messieurs, a-t-il ajouté en élevant la voix, vous ne trouverez pas ma pensée trop audacieuse, si je dis que l'homme qui est assis sur ce banc est coupable aussi du meurtre que cette cour devra juger demain.

《「主語」「補語」「動詞」「補語」「呼びかけ」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」,

《「主語」「動詞句」「目的語」「補語」「副詞節」》

«J' ジュ pron 私は 「主語」

en オン adv. そのことを 「間接目的語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である 「動詞」

persuadé, ペルシュアデ adj.(de を) 確信した 「補語」

J'en suis persuadé. 私はそう信じている。

messieurs, メッシユー pl.n.m 皆さん 「呼びかけ」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|-----------------------------|--------|
| a... ajouté ア...アジ ャテ 3 単現・完了形(<i>ajouter</i>)v.t | 付け加えた | 「動詞句」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| en élevant la voix, オン・エルク オン・ラ・ウゝ わ | ジェロンディフ・同時(<i>élever</i>) | |
| adv. | 声を高めて | 「副詞句」 |
| vous ヴ ズ pron.pl | 皆さんは | 「主語」 |
| ne trouverez pas ノ・トラル・ヴレ・パ 2 複未・否定(<i>trouver</i>)v.t | 思わないだろう | 「動詞句」 |
| ma pensée マ・ボンセ n.f | 私の考えが | 「目的語」 |
| trop audacieuse, トロ・オダシエズ adj. | 大胆すぎる、大げさすぎる | 「補語」 |
| si シ conj. | (譲歩) もし〜であっても | 「副詞節」 |
| je ジュ pron | 私が | 「主語」 |
| dis ディ 1 単現・仮定(<i>dire</i>)v.t | 言う | 「動詞」 |
| que ク conj. | 〜ということを | 「目的語」 |
| l'homme ロム n.m | 男が | 「主語」 |
| qui キ pron | (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| est エ 3 単現(<i>être</i>)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| assis アシ adj. | 座っている | 「補語」 |
| sur ce banc シュール・ス・ボン | | |
| adv. | その被告人席に | 「副詞句」 |
| est エ 3 単現(<i>être</i>)v.i | 〜である | 「動詞」 |
| coupable クパ ール adj. | 罪のある | 「補語」 |
| aussi du meurtre オシ・ジユ・メルトル adj. | 殺人もまた | 「副詞句」 |
| que ク pron | (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| cette cour セット・クール n.f | 本法廷が | 「主語」 |
| devra juger トゥヴラ・ジ ャジエ 3 単未・義務(<i>devoir</i> +不定詞) | | |
| v.t | 裁かなければならない | 「動詞句」 |
| demain. トゥマン adv. | 明日 | 「副詞」 |

「彼は、それ相応に罰せられなければなりません」

| | |
|---|------------------|
| <u>Il doit être puni en conséquence.</u> » | 《「主語」「動詞句」「副詞句」》 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| doit +不定詞 トゥリ 3 単現・義務(devoir+不定詞)v.t ～しなければならない | 「動詞句」 |
| être puni エートル・ピ ャニ 不定詞・受動(punir)v.t 罰せられる | 「動詞句」 |
| en conséquence.» オン・コンセCONS adv. それ相応に | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ここで検事は、汗で光る顔を拭った。

Ici, le procureur a essuyé son visage brillant de sueur.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」

Ici, イシ adv. ここで

「副詞」

le procureur ル・プ ロキュール n.m 検事は

「主語」

a essuyé エ・セシュエ 3 単現・完了形(essuyer)v.t 拭った

「動詞句」

son visage ソン・ウ イザージュ n.m 顔を

「目的語」

brillant ブリヨン adj. 光る、輝く

「形容詞」

de sueur. ドゥ・シュール adv. (原因) 汗で

「副詞句」

最後に彼は、自分の義務は苦しいものだが、断固としてそれをやり遂げるつもりだと言った。

Il a dit enfin que son devoir était douloureux, mais qu'il l'accomplirait fermement.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

enfin オンファン adv. 最後に

「副詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

son devoir ソン・ドゥワール n.m 彼の義務は、役目は

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

douloureux, ドゥアルール adj. (精神的に) 苦しい

「補語」

mais メ conj. しかし

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

l' ル pron それを (義務を)

「目的語」

accomplirait アコンプリレ 条・3 単現・意志(accomplir)v.t やり遂げる

「動詞」

fermement. フェルモン adv. 断固として、しっかりと

「副詞」

僕が最も基本的な規則を守らない社会の中で、それと一緒にすべきことは何もないし、僕が基本的な対応を知らない人間の心情に対して訴えることも出来ない、と彼は断言した。

Il a déclaré que je n'avais rien à faire avec une société dont je méconnaissais les règles les plus essentielles et que je ne pouvais pas en appeler à ce coeur humain dont j'ignorais les réactions élémentaires.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a déclaré ア・デクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t(que ～と) 断言した

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | | |
|---------------------------|------------------|-------------------------|-----------|---------|
| n'avais | ナヴァエ | 1 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t | ～がない | 「動詞句」 |
| rien | リヤン | pron | 何も～ない | 「目的語」 |
| à faire | ア・フェール | 不定詞・目的 | adj. するべき | 「形容詞句」 |
| avec une société | アヴェ・エキ・ソシエテ | adv. | 社会と一緒に | 「副詞句」 |
| dont | ドン | adv. | その中で～する | 「副詞節」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| méconnaissais | メコネッセ | 1 単半・時制の一致(méconnaître) | | |
| | v.t | (規則を) | 守らない | 「動詞」 |
| les règles | レ・レーグル | | | |
| | pl(règle).n.f | 規則を | | 「目的語」 |
| les plus essentielles | レ・プ・リュ・エソシエル | adj(essentiel).f.pl | | |
| | 最も本質的な | | | 「形容詞句」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| que | ク | conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ne pouvais pas en appeler | ヌ・プ・ヴァエ・パ・オン・アプレ | 1 単半・可能・否定・時制の一致 | | |
| | v.t | ～に訴えることができない | | 「動詞句」 |
| | en appeler à... | 「～に訴える、すがる、に任せる」 | | |
| à ce coeur humain | ア・スケール・ユマン | adv. | 心情に | 「間接目的語」 |
| dont | ドン | adv. | それについて～する | 「副詞節」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| ignorais | イヨレ | 1 単半・時制の一致(ignorer)v.t | 知らない | 「動詞」 |
| les réactions | レ・アクション | pl.n.f | 反応 | 「目的語」 |
| élémentaires. | エレモンテール | adj. | 基本的な | 「形容詞」 |

「私は皆さんにこの被告の首を要求いたします」と、彼は言った。「しかも、そのように要求することは、軽やかな心情です」

«Je vous demande la tête de cet homme, a-t-il dit, et c'est le coeur léger que je vous la demande. 《「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《et 「動詞」「補語」「主語」》

| | | | | |
|---------------|-----------|-------------------|--------------|---------|
| «Je | ジュ | pron | 私は | 「主語」 |
| vous | ヴ | pron.pl | (陪審たち) あなた方に | 「間接目的語」 |
| demande | ドマント | 1 単現(demander)v.t | 求める、要求する | 「動詞」 |
| la tête | ラ・テット | n.f | 首、命 | 「直接目的語」 |
| de cet homme, | ド・ウ・セツ・トム | adj. | この男の | 「形容詞句」 |
| a... dit, | ア...ディ | 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|---------|
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| et エ conj. そして | |
| c' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降) | |
| est エ 3 単現(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| le coeur ル・ケール n.m 心情、心 | 「補語」 |
| léger レジエール adj. 軽い | 「形容詞」 |
| que ク conj. ~ということは | 「主語」 |
| je ジュ pron 私が | 「主語」 |
| vous ヴ pron.pl (陪審たち) あなた方に | 「間接目的語」 |
| la ラ pron それを | 「直接目的語」 |
| demande. トゥモンド 1 単現(demander)v.t 求める、要求する | 「動詞」 |

「なぜなら死刑を求めることは私の職責ではあるが、検事の長い経歴の中で、その辛い務めが、絶対かつ神聖な掟に基づくという自覚と、おぞましき読み取れない人間の顔を前にして感じる嫌悪によって、釣り合いがとれており、光明を得たとはじめて感じたからです。」

Car s'il m'est arrivé au cours de ma déjà longue carrière de réclamer des peines capitales, jamais autant qu'aujourd'hui, je n'ai senti ce pénible devoir compensé, balancé, éclairé par la conscience d'un commandement impérieux et sacré et par l'horreur que je ressens devant un visage d'homme où je ne lis rien que de monstrueux.»

《「副詞節」, 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 「目的語」 「補語」》

| | |
|--|---------|
| Car カール conj. なぜならば | 「副詞節」 |
| s' シ conj. (譲歩) ~ではあるが | |
| il イル pron 仮の主語 (真の主語は de réclamer 句) | |
| m' ム pron 私に | 「間接目的語」 |
| est arrivé イル・メ・アリヴェ 3 単現・完了形(arriver) | |
| v.h 起こった | 「動詞句」 |
| au cours オ・クール adv. ~の流れにおいて | 「副詞句」 |
| de ma déjà longue carrière トゥ・マ・デジャ・ロンク・キャリエール | |
| adj. 私のすでに長い経歴の | 「形容詞句」 |
| de réclamer トゥ・レクラメ 不定詞 n. ~を求めることは | 「主語」 |
| des peines capitales, デ・ペーヌ・キャピタル | |
| pl.n.f 死刑を | 「目的語」 |
| jamais autant qu'aujourd'hui, ジャメ・オトソ・コジユルトゥイ adv. 今日ほど~ない | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 私は | 「主語」 |
| n'ai senti ネ・ソンティ 1 単現・完了形・否定(sentir)v.t 感じなかった | 「動詞句」 |
| ce pénible devoir ス・ペニブル・トゥヴァール n.m この辛い務め | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--------------------------|--------------------------------|--------|
| compensé, コンpanse | adj. 釣り合いの取れた | 「補語」 |
| balancé, バロンセ | adj. 釣り合いの取れた | 「補語」 |
| éclairé エクレ | adj. 照明された、照らし出された | 「補語」 |
| par la conscience | パール・ラ・コンシヤンス adv. (動作主) 自覚によって | 「副詞句」 |
| d'un commandement | ダン・コマントゥモン adj. 掟の | 「形容詞句」 |
| impérieux アンペリュ | adj. 威圧的な | 「形容詞」 |
| et エ | conj. そして | |
| sacré サクレ | adj. 神聖な | 「形容詞」 |
| et エ | conj. そして | |
| par l'horreur | パール・ロレール adv. 恐怖によって | 「副詞句」 |
| que ク | pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ | pron 私が | 「主語」 |
| ressens ルソ | 1 単現(ressentir)v.t 感じる | 「動詞」 |
| devant un visage d'homme | トウヴァン・オン・ヴァザージュ・トム | |
| adv. | 人間の顔の前で | 「副詞句」 |
| où ウ | adv. そこで～する | 「副詞節」 |
| je ジュ | pron 私は | 「主語」 |
| ne lis ヌリ | 1 単現・否定(lire)v.t 読めない | 「動詞句」 |
| rien que de monstrueux.》 | リヤン・ク・トゥ・モンストリュ | |
| pron (否定文で) | 異常な事しか～ない | 「目的語」 |

検事が自分の席に座ると、かなり長い沈黙の時間があつた。

Quand le procureur s'est rassis, il y a eu un moment de silence assez long.

| | | |
|---------------|---|-------------------|
| Quand | コン conj. ～すると、～する時 | 「副詞節」, 「動詞句」 「主語」 |
| le procureur | ル・プロキュレール n.m 検事が | 「主語」 |
| s'est rassis, | セ・ラッシ 3 単現・完了形(se rasseoir)v.pr また座った | 「動詞句」 |
| il y a eu | イ・リ・アイ 3 単現・完了形・存在(il y avoir)v.t ～があつた | 「動詞句」 |
| un moment | アン・モモン n.m 瞬間が | 「主語」 |
| de silence | トゥ・シロンス adj. 沈黙の | 「形容詞句」 |
| assez long. | アセ・ロン adv. かなり長い | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は暑さと驚きのために茫然としていた。

Moi, j'étais étourdi de chaleur et d'étonnement.

「主語」「動詞」「補語」

Moi, j' ムわ・ジュ pron 僕は

「主語」

étais エ 1 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

étourdi エトルディ adj. 軽率な、茫然とした

「補語」

de chaleur トゥ・シャレル adv. (原因) 暑さのために

「副詞句」

et エ conj. そして

d'étonnement. デトヌモン adv. (原因) 驚きのために

「副詞句」

裁判長は少し咳をしてから、非常に低い声で、付け加えるものは何もないかと尋ねた。

Le président a toussé un peu et sur un ton très bas, il m'a demandé si je n'avais rien à ajouter.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Le président ル・プレジドン n.m 裁判長は

「主語」

a toussé ア・トゥッセ 3 単現・完了形(tousser)v.i 咳をした

「動詞句」

un peu アン・フ° adv. 少し

「副詞句」

et エ conj. そして

sur un ton très bas, シュール・アン・トン・トレ・バー adv. 非常に低い声で

「副詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・ドゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

si シ conj. ～かどうかといいうことを

「直接目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais ナヴェ 1 単半・否定(avoir)v.t ～がない

「動詞句」

rien リヤン pron 何も～ない

「目的語」

à ajouter. ア・アジュテ 不定詞・目的 adj. 付け足すべき

「形容詞句」

僕は立ち上がった。何か話したかったので、少し思い付きだが、アラブ人を殺す意図はなかったと付け加えた。

Je me suis levé et comme j'avais envie de parler, j'ai dit, un peu au hasard d'ailleurs, que je n'avais pas eu l'intention de tuer l'Arabe.

「主語」「動詞句」 et 「副詞節」, 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis levé ム・シュイ・ルヴェ 1 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

et エ conj. そして

comme コム conj. (理由) ～なので

「副詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais envie de parler, アヴヱ・オンヴァイ・トウ・パル 1 単半・願望(avoir envie de+不定詞) | |
| v.i 話しかかった | 「動詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit, エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| un peu アン・プ adv. 少し | 「副詞句」 |
| au hasard オ・アザール adv. 行き当たりばったりで | 「副詞句」 |
| d'ailleurs, ダイユール adv. ただし、もっとも | 「副詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'avais pas eu ナヴヱ・パ・ジ 1 単半・完了形・否定(avoir)v.t ～がなかった | 「動詞句」 |
| l'intention ラントシヨン n.f 意図が | 「目的語」 |
| de tuer トウ・チュエ 不定詞・目的 adj. 殺すための | 「形容詞句」 |
| l'Arabe. ララブ n.m アラブ人を | 「目的語」 |

裁判長は、僕の今の言葉は陳述であると答えた。さらに、これまで僕の弁護方式についてよく理解できていなかったもので、弁護士の弁論を聞く前に、僕自身の口から、何が僕の行動を起こさせる動機になったのかを明らかにしてもらえると有難いのだが、と続けた。

Le président a répondu que c'était une affirmation, que jusqu'ici il saisisait mal mon système de défense et qu'il serait heureux, avant d'entendre mon avocat, de me faire préciser les motifs qui avaient inspiré mon acte.

| | |
|--|--------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」, 「目的語」 et 「目的語」 |
| Le président ル・プレジダン n.m 裁判長は | 「主語」 |
| a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t(que ～と) 答えた | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| une affirmation, ムヌ・アフィルマシヨン n.f 表明、陳述 | 「補語」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| jusqu'ici ジュスキ adv. これまで | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| saisissait mal セジセ・マル 3 単半・継続・否定(saisir) | |
| v.t よく理解出来ないでいた | 「動詞句」 |
| mon système モン・システム n.m 僕の方式を | 「目的語」 |
| de défense トウ・デフオンス adj. 弁護の | 「形容詞句」 |
| et エ conj. そして | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| il イル pron 仮の主語 (真の主語は avant d'entendre 以降) | |
| serait スレ 条・3 単現・願望(être)v.i ～になるのだが | 「動詞」 |
| heureux, ウール adj. 幸せな、嬉しい | 「補語」 |
| n. ～ということは | 「主語」 |
| avant d'entendre アヴ'ォン・ドントントル adv. ～を聞く前に | 「副詞句」 |
| mon avocat, モン・アヴ'ォカ n.m 僕の弁護士の弁論 | 「目的語」 |
| de me faire préciser ト'ウ・ム・フェール・プレシセ 不定詞・使役(me faire+不定詞 se préciser) | |
| v.pr 僕に～を明らかにしてもらうことは | 「主語」 |
| les motifs レ・モティフ pl.n.m 動機を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| avaient inspiré アヴ'ェ・アンスピレ 3 複半・完了形(inspirer) | |
| v.t 起こさせた | 「動詞句」 |
| mon acte. モン・ナクト n.m 僕の行動を | 「目的語」 |

僕は少し言葉を混ぜ、自分の滑稽さに気付きつつも、急いで、あれは太陽のせいだと言った。

| | |
|---|---------------------|
| <u>J'ai dit rapidement, en mêlant un peu les mots et en me rendant compte de mon ridicule, que c'était à cause du soleil.</u> | 「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| rapidement, ラピト'カモン adv. 急いで | 「副詞」 |
| en +現在分詞 オン ジェロンディフ・同時 adv. ～して | 「副詞句」 |
| mêlant メロン 現在分詞(mêler)v.t 混ぜる、組み合わせる | 「動詞」 |
| un peu アン・フ' adv. 少し | 「副詞句」 |
| les mots レ・モ pl(mot).n.m 言葉を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| en +現在分詞 オン ジェロンディフ・同時 adv. ～して | 「副詞句」 |
| me rendant compte ム・ロント'ン・コント 現在分詞(se rendre) | |
| v.pr(de に) 気づく | 「動詞句」 |
| de mon ridicule, ト'ウ・モン・リデ'イキュル adv. 自分の滑稽さに | 「間接目的語」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| c' ス pron あれは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| à cause du soleil. ア・コース'・ジュ・ソレイユ adj. 太陽のせい | 「補語」 |
| rendre compte de... | |
| se rendre compte de qch (何) が分かる、に気づく、を理解する | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

rendre compte de qch (何)を報告する、釈明する

法廷内で、笑いが起こった。

Il y a eu des rires dans la salle.

「動詞句」「目的語」「副詞句」

Il y a eu イ・リ・ア・イ 3 単現・完了形(il y avoir)v.t. ～があった

「動詞句」

des rires テ・リール pl(rire).n.m 笑いが

「目的語」

dans la salle. トン・ラ・サル adv. 法廷内で

「副詞句」

弁護士は肩をすくめた。この後すぐに、裁判長は彼に弁論を始めるように促した。

Mon avocat a haussé les épaules et tout de suite après, on lui a donné la parole.

「主語」「動詞句」「目的語」et「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Mon avocat モン・アヴカ n.m 弁護士は

「主語」

a haussé ア・ワッセ 3 単現・完了形(hausser)v.t (肩を)すくめた

「動詞句」

les épaules レ・ゼポール pl.n.f 肩を

「目的語」

et エ conj. そして

tout de suite après, トウトゥ・ウ・シュイト・アプレ adv. この後すぐに、すぐ後に

「副詞句」

on オン pron 裁判長は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

a donné ア・ドネ 3 単現・完了形(donner)v.t. ～を与えた

「動詞句」

la parole. ラ・パロール n.f 発言を

「直接目的語」

donner la parole a qn. 人に発言権を与える

しかし弁護士は、もう時間が遅いし、弁論を行うには数時間かかるので、午後に延期してもらいたい、と述べた。そして、法廷はそのことに同意した。

Mais il a déclaré qu'il était tard, qu'il en avait pour plusieurs heures et qu'il demandait le renvoi à l'après-midi. La cour y a consenti.

Mais 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞句」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

a déclaré ア・テクレ 3 単現・完了形(déclarer)v.t はっきりと述べた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 時間が

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i. ～である

「動詞」

tard, タール adv. 遅い

「補語」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

en avait pour オン・アヴ・ェ・プール 3 単半・時制の一致(en avoir pour)

v.t (時間が) それには～の時間がかかる

「動詞句」

plusieurs heures プリュシユール・ウール pl.n.f 数時間

「目的語」

J'en ai pour cinq heures. それには5時間かかる。

J'en ai pour la vie. それには一生かかるだろう。

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

demandait トゥモンテ 3 単半・時制の一致(demander)v.t 求める

「動詞」

le renvoi ル・ロンヴ わ n.m 延期を

「目的語」

à l'après-midi. ア・ラプ・レ・ミティ adv. 午後への

「副詞句」

La cour ラ・クール n.f 法廷は

「主語」

y イ pron そのことに

「間接目的語」

a consenti. ア・コンソントール 3 単現・完了形(consentir)v.i(à に) 同意した

「動詞句」

午後になっても、相変わらず、大型扇風機が廷内の淀んだ空気を攪拌していた。そして陪審員たちの色とりどりのうちわは皆同じ方向に揺れていた。

L'après-midi, les grands ventilateurs brassaient toujours l'air épais de la salle et les petits éventails multicolores des jurés s'agitaient tous dans le même sens.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

L'après-midi, ラプ・レ・ミティ adv. 午後になると

「副詞句」

les grands ventilateurs レ・グ・ロン・ヴ・オンチラテル pl.n.m 大型扇風機は

「主語」

brassaient ブラッセ 3 複半(brasser)v.t 攪拌していた

「動詞」

toujours トウジユール adv. あいかわらず

「副詞」

l'air レール n.m 空気を

「目的語」

épais エペ adj. 分厚い、濃厚な、よどんだ

「形容詞」

de la salle トゥ・ラ・サル adj. 法廷内の

「形容詞句」

et エ conj. そして

les petits éventails レ・プティ・エヴァンタイ pl.n.m 小さなうちわは

「主語」

multicolores ムルチコロール adj. 多色の、色とりどりの

「形容詞」

des jurés テ・シユレ adj. 陪審員たちの

「形容詞」

s'agitaient サジテ 3 複半(s'agiter)v.pr 揺れていた

「動詞句」

tous dans le même sens. トゥ・ドン・ル・メム・ソンス adv. 皆おなじ方向に

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕の弁護士の口頭弁論は終わる気配がなかった。

La plaidoirie de mon avocat me semblait ne devoir jamais finir.

「主語」「間接目的語」「動詞句」

La plaidoirie ラ・プレトワリー n.f 口頭弁論は

「主語」

de mon avocat トゥ・モン・アヴカ adj. (限定) 僕の弁護士の

「形容詞句」

me ム pron 僕には

「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半(sembler)v.i(+不定詞)v.i ~するように思われた

「動詞句」

ne devoir jamais finir. ヌ・ドゥ・ヴァール・ジャメ・フィニール 不定詞・否定・可能性(devoir+不定詞)

v.i 終わらないに違いない

「動詞句」

しかしながら、急に僕は彼の話に耳を傾けた。なぜなら、彼が「私が殺したことに間違いありません」と、言ったからだ。

A un moment donné, cependant, je l'ai écouté parce qu'il disait: «Il est vrai que j'ai tué.»

「副詞句」, 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞節」

A un moment donné, ア・ウン・モン・ドネ adv. ふとある時、急に、何かの折に

「副詞句」

cependant, スポントソ adv. しかしながら

「副詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

l'ル pron 彼の話を

「目的語」

ai écouté エ・エクテ 1 単現・完了形(écouter)v.t 耳を傾けた

「動詞句」

parce qu' パルス・キ conj. なぜなら～だから

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

disait: デ・ゼ 3 単半(dire)v.t 言った

「動詞」

«Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ~である

「動詞」

vrai ヴレ adj. 本当の

「補語」

que ク conj. ~ということは

「主語」

j' ジュ pron 私は

「主語」

ai tué. エ・チュエ 1 単現・完了形(tuer)v.t 殺した

「動詞句」

それから、僕の話を話すたびに「わたし」という言い方をしながら、弁論を続けた。

Puis il a continué sur ce ton, disant «je» chaque fois qu'il parlait de moi.

「副詞」「主語」「動詞句」「副詞句」

Puis ビュイ adv. それから

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

a continué ア・コンチユエ 3 単現・完了形・継続(continuer)v.t 続けた

「動詞句」

sur ce ton, シュール・ストソ adv. (手段) その調子で

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|-------------------------------------|---------|
| disant ディヅソ 現在分詞・様態(dire)adv. 言いながら | 「副詞句」 |
| «je» ジュ pron 「わたし」 | 「目的語」 |
| chaque fois シャッキ・フワ adv. 毎回 | 「副詞句」 |
| qu' ク pron (同格) ～する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| parlait パル 3 単半・時制の一致(parler) | |
| v.i(de のことを) 話す | 「動詞」 |
| de moi. トゥ・ムワ adv. 僕のことを | 「間接目的語」 |

僕はとても驚いた。僕は警官のほうへ身を乗り出して、理由を尋ねた。

J'étais très étonné. Je me suis penché vers un gendarme et je lui ai demandé pourquoi.

| | | |
|------------------|---|---------|
| J' | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais | エテ 1 単半(être)v.i ～だった | 「動詞」 |
| très étonné. | トレ・エトネ adj. とても驚いた | 「補語」 |
| Je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me suis penché | ム・シュイ・ボンシェ 1 単現・完了形(se pencher)v.pr 身を乗り出した | 「動詞句」 |
| vers un gendarme | ヴェール・アン・ジヨンドアルム adv. 警官の方へ | 「副詞句」 |
| et | エ conj. そして | |
| je | ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui | リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai demandé | エ・トゥモンテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| pourquoi. | プルクワ n.m 理由を | 「直接目的語」 |

彼は僕に、黙れ！と言ったが、少し後で付け加えた：「弁護士は皆、あんな風に言うんだ」

Il m'a dit de me taire et, après un moment, il a ajouté: «Tous les avocats font ça.»

| | | |
|------------------|--|-------|
| Il | イル pron 彼は | 「主語」 |
| m' | ム pron 僕に「間接目的語」 | |
| a dit | ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t(à qn de+不定詞 人に～するように) 言った | 「動詞句」 |
| de me taire | トゥ・ム・テール 不定詞・me の動作(se taire)v.pr 黙っている | 「補語」 |
| et, | エ conj. そして | |
| après un moment, | アプレ・アン・モメン adv. 少ししてから | 「副詞句」 |
| il | イル pron 彼は | 「主語」 |
| a ajouté: | ア・アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

«Tous les avocats トゥ・レ・アヴカ pl(avocat).pl 弁護士は皆 「主語」
font フォン 3 複現(faire)v.t (行為を) する 「動詞」
ça.」 サ pron そのように 「目的語」

弁護士が僕のことを「わたし」という言葉を使って弁論するのは、僕をさらに事件から遠ざけ、僕を無に帰することであり、ある意味、僕に取って代わることだと思った。

Moi, j'ai pensé que c'était m'écarter encore de l'affaire, me réduire à zéro et, en un certain sens, se substituer à moi. 「主語」「動詞句」「目的語」
Moi, j' ムわ・ジュ pron 僕は 「主語」
ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t(que+直説法 ~だと) 思った 「動詞句」
que ク conj. ~ということを 「目的語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
m'écarter ムカテ 不定詞(écarter+me)n.(de から) 僕を遠ざけること 「補語」
encore オンコール adv. さらに 「副詞」
de l'affaire, トゥ・ラフェール adv. 事件から 「副詞句」
me réduire ム・レジュール 不定詞(réduire +me)n.(à に) 僕を~に帰すること 「補語」
à zéro ア・ゼロ adv. 無に 「補語」
et, エ conj. そして
en un certain sens, エン・ウン・セルタン・ソン adv. ある意味で 「副詞句」
se substituer ス・スプ ステイチュエ 不定詞(se substituer)v.pr(à に) 代わること 「補語」
à moi. ア・ムわ adv. 僕に 「間接目的語」

しかし僕は、すでにこの法廷から遥か離れたところにいたと思う。その上、僕にとっては、弁護士がこっけいに思われた。

Mais je crois que j'étais déjà très loin de cette salle d'audience. D'ailleurs, mon avocat m'a semblé ridicule.

Mais 「主語」「動詞」「目的語」 | 「副詞句」「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」
Mais メ conj. しかし
je ジュ pron 僕は 「主語」
crois クルわ 1 単現(croire)v.t(que+直説法) ~だと思う 「動詞」
que ク conj. ~ということを 「目的語」
j' ジュ pron 僕は 「主語」
étais エテ 1 単半(être)v.i (場所に) ~いた 「動詞」
déjà デジャ adv. すでに 「副詞」
très loin トレ・ルワン adv. 遥か遠くに 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de cette salle d'audience. トゥ・セツ・サル・トディオンス

adv. (場所) この法廷から

「副詞句」

salle d'audience サル・トディオンス n.f 法廷

D'ailleurs, ダイェール adv. その上、さらに、それに

「副詞句」

mon avocat モン・アヴカ n.m 僕の弁護士は

「主語」

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a semblé ア・ソブレ 3 単現・完了形(sembler)v.i. ～に思われた

「動詞句」

ridicule. リディキュル adj. こっけいな、おかしい、馬鹿げた

「補語」

彼は大きくて挑発のことを弁護してから、僕の魂についても語った。

Il a plaidé la provocation très rapidement et puis lui aussi a parlé de mon âme.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「副詞」「主語」「副詞」「動詞句」「間接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

a plaidé ア・プレテ 3 単現・完了形(plaider)v.t (法廷で) 弁護した、主張した

「動詞句」

la provocation ラ・プロウカション n.f 挑発のことを

「目的語」

très rapidement トレ・ラビットモン adv. 大急ぎで

「副詞句」

et エ conj. そして

puis ビュイ adv. それから

「副詞」

lui リュイ pron (il の強勢形) 彼は

「主語」

aussi オシ adv. ～も

「副詞」

a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i(de のことを) 話した

「動詞句」

de mon âme. トゥ・モン・アム adv. 僕の魂について

「間接目的語」

しかし僕から見ると、僕の弁護士は検事よりもかなり才能が劣っているように思われた。

Mais il m'a paru qu'il avait beaucoup moins de talent que le procureur.

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i(+C) ～のように思われた

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということ

「補語」

il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t. ～がある

「動詞」

beaucoup moins de talent ボクムワン・トゥ・タロン

n.m (比較級) 非常に劣った才能

「目的語」

que le procureur. クル・プロキュレル adv. (比較) 検事よりも

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「私もまた」と、彼は言った。「私はこの魂について検討しました。しかし、検察官の優れた代表者のご意見とは逆に、いくらかのことを発見しました。そして私は、それについて難なく読み取ることが出来たと言えます」

«Moi aussi, a-t-il dit, je me suis penché sur cette âme, mais, contrairement à l'éminent représentant du ministère public, j'ai trouvé quelque chose et je puis dire que j'y ai lu à livre ouvert.»

《「主語」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「主語」「動詞句」「間接目的語」,

mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」》

«Moi aussi, ムワ・オン pron 私もまた 「主語」

a.. dit, ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

je ジュ pron 私は 「主語」

me suis penché ム・シュイ・ボンシェ 1 単現・完了形(se pencher)v.pr(sur を) 検討した 「動詞句」

sur cette âme, シュール・セット・アム adv. この魂について 「間接目的語」

mais, メ conj. しかし

contrairement コントレルモン adv.(à に) 反して、反対に 「副詞句」

à l'éminent représentant ア・レミノ・レプ・レゾントン adv. 卓越した代表者に 「副詞句」

du ministère public, ジュ・ミニステール・ピュブリキ adj. 検察官の 「形容詞句」

j' ジュ pron 私は 「主語」

ai trouvé エ・トゥルヴェ 1 単現・完了形(trouver)v.t 見つけた 「動詞句」

quelque chose ケルキ・ショズ n.f. いくらかのことを 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は 「主語」

puis dire ピュイ・ディール 1 単現・可能(pouvoir+不定詞 dire)v.t 言うことが出来る 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

j' ジュ pron 私は 「主語」

y イ adv. それについて 「間接目的語」

ai lu エ・リュ 1 単現・完了形(lire)v.i(de について) 読み取った 「動詞句」

à livre ouvert.》 ア・リーヴール・ウヴェール adv. 難なく、すらすらと 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼がそこに読み取ったのは、僕が正直な人間で、会社に忠実で根気よく働く勤め人で、皆から愛され、他人の不幸に対して思いやりがあるということだった。

Il y avait lu que j'étais un honnête homme, un travailleur régulier, infatigable, fidèle à la maison qui l'employait, aimé de tous et compatissant aux misères d'autrui.

「主語」「副詞」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 y イ adv. そこに 「副詞」
 avait lu アヴ`ェ・リュ 3 単半・完了形(lire)v.t 読み取った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 un honnête homme, アン・オネット・オム n.m 正直な人間 「補語」
 un travailleur régulier, アン・トラヴァ`アイユール・レギ`ュリエ n.m まじめな労働者 「補語」
 infatigable, アンファチガ`ーブル adj. 根気の良い 「形容詞」
 fidèle フィデール adj. 忠実な 「形容詞」
 à la maison ア・ラ・メゾン adv. 会社に 「副詞句」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 l' ル pron 彼を 「目的語」
 employait, オンプ`ロワイエ 3 単半・時制の一致(employer)
 v.t 雇っている 「動詞」
 aimé de tous エメ・トウ`トゥ 過去分詞・受動 adj. 皆から愛される 「補語」
 et エ conj. そして
 compatissant コンパ`チソ`ン adj. 思いやりのある 「補語」
 aux misères d'autrui. オ`ミゼール・ド`トリュイ adv. 他人の不幸に対して 「副詞句」

彼から見ると、僕は可能な限り長い間母親を支えた模範的な息子だ。

Pour lui, j'étais un fils modèle qui avait soutenu sa mère aussi longtemps qu'il l'avait pu.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Pour lui, プール・リュイ adv. 彼にとって、彼からすると、彼から見ると 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 un fils modèle アン・フィス・モデル n.m 模範的な息子 「補語」
 qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
 avait soutenu アヴ`ェ・ストウニュ 3 単半・完了形(soutenir)v.t 支えた 「動詞句」
 sa mère サ`メール n.f 母親を 「目的語」
 aussi longtemps qu' オシ`ロント`ン・キ

DEUXIÈME PARTIE 第2部

adv.(aussi+形容詞+que) ーと同じくらい長く 「副詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 l' ル pron それを 「目的語」
 avait pu. アヴ・ェ・ビ・ユ 3 単半・完了形(pouvoir)v.t 出来た 「動詞句」

結局、僕の稼ぎでは母さんに与えられない快適な生活を、養老院が与えてくれると期待した。

Finally j'avais espéré qu'une maison de retraite donnerait à la vieille femme le confort que mes moyens ne me permettaient pas de lui procurer.

「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」
 Finalement フィナルモン adv. 結局 「副詞」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 avais espéré アヴ・ェ・エス・ペレ 1 単半・完了形(espérer)v.t 期待した 「動詞句」
 qu' ク conj. ーということを 「目的語」
 une maison de retraite エヌ・メゾン・ド・ヴァ・ルトレット n.f 養老院が 「主語」
 donnerait ドヌレ 条・3 単現・推量・願望(donner)
 v.t 与えるてくれるだろう 「動詞句」
 à la vieille femme ア・ラ・ヴィエイユ・ファム adv. 老婆に 「間接目的語」
 le confort ル・コンフォール n.m 快適な暮らしを 「直接目的語」
 que ク pron (目的語) ーする 「形容詞節」
 mes moyens メ・ムワイヨン pl.n.m 僕の財力では 「主語」
 ne me permettaient pas ネ・ム・ヘルメテ・パ 3 複半・否定(permettre+me)
 v.t 僕がーするのを許さない 「動詞句」
 de lui procurer. ド・ヴァ・リュイ・プ・ロキュレ 不定詞・me の動作(procurer+ lui)
 v.t 母さんに手に (快適さを) 入れさせる 「補語」

「皆さん、私は驚いています」と、彼は付け加えた。「皆さんが、この養老院のことで、これほど大騒ぎをするとは」

«Je m'étonne, messieurs, a-t-il ajouté, qu'on ait mené si grand bruit autour de cet asile.

《「主語」 「動詞句」, 「呼びかけ」, 「動詞句」 「主語」 「動詞句」, 《「目的語」》
 «Je ジュ pron 私は 「主語」
 m'étonne, メヌ 3 単現(s'étonner)v.pr 驚いている 「動詞句」
 messieurs, メシユー pl.n.m 皆さん 「呼びかけ」
 a... ajouté, ア...アジユテ 3 単現・完了形(ajouter)v.t 付け加えた 「動詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 qu' ク conj. ーということを 「目的語」
 精神活動を表す動詞 (ここでは s'étonner) に導かれる節は、接続法を使用する

DEUXIÈME PARTIE 第2部

on オン pron (動詞は三人称単数形) 皆さんは 「主語」
 ait mené エ・メネ 接・3 単現・完了形(mener)v.t ~に至った 「動詞句」
 si grand bruit シ・グラン・ブリュイ n.m これほどの大騒ぎ 「目的語」
 autour de cet asile. オクル・トゥ・セツ・アジール adv. この養老院のことで 「副詞句」

「結局、この養老院という施設の有用性や偉大さに関する証拠が求められているとしたら、
 国家自身がこの施設に助成金を出していると言えばそれで十分だろうと思いますが」

Car enfin, s'il fallait donner une preuve de l'utilité et de la grandeur de ces institutions,
il faudrait bien dire que c'est l'Etat lui-même qui les subventionne.»

《「副詞句」, 「副詞節」, 「動詞句」 「目的語」》

Car enfin, カール・オンファン adv. 結局 「副詞句」
 s' シ conj. (条件) もし~ならば 「副詞節」
 il fallait donner イル・ファレ・トネ 非人称・必要(il falloir+不定詞 donner)
 v.t ~を与える必要がある 「動詞句」
 une preuve ユヌ・プルーヴ n.f 証拠 「目的語」
 de l'utilité トゥ・ルチリテ adj. 有用性の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 de la grandeur トゥ・ラ・グロンテール adj. 偉大さの 「形容詞句」
 de ces institutions, トゥ・セ・アンスタシオン
 adj. この施設の 「形容詞句」
 il faudrait bien dire イル・フォトレ・ビヤン・ディール 条・非人称・推測(il falloir+不定詞 dire)
 v.t ~と言ってもよいだろう 「動詞句」
 que ク conj. ~ということを 「目的語」
 c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qui 以降)
 est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」
 l'Etat lui-même レタ・リュイメーム n.m 国家自身 「補語」
 qui キ pron (主語) ~するものは 「主語」
 les レ pron.pl(institutions の代用) それに 「目的語」
 subventionne.» シュブヴァンシヨヌ 3 単現(subventionner)
 v.t 助成金を出している 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ただ彼は葬儀のことは語らなかった。そして僕は、彼の弁論はその点で物足りないと感じた。

Seulement, il n'a pas parlé de l'enterrement et j'ai senti que cela manquait dans sa plaidoirie. 「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Seulement, スルモン adv. ただ...

「副詞」

il イル pron 彼は

「主語」

n'a pas parlé ナ・パ・パル 3 単現・完了形・否定(parler)

v.i(de について) 話さなかった

「動詞句」

de l'enterrement ト・ウ・ランテルモン adv. 葬儀について

「間接目的語」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai senti エ・ツチ 1 単現・完了形(sentir)v.t(que ～と) 感じた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

cela スラ pron そのことが (葬儀について)

「主語」

manquait モンケ 3 単半・時制の一致(manquer)v.i 不足している

「動詞」

dans sa plaidoirie. トン・サ・フレ・トゥワリー adv. 彼の弁論には

「副詞句」

しかし、長々と語り続けられる弁論のせいや、何日も、何時間もの間ずっと、皆がそれぞれ僕の魂について語り続けたせいで、すべてがまるで無色の水に変わり、僕は眩暈を覚えているという印象を持った。

Mais à cause de toutes ces longues phrases, de toutes ces journées et ces heures interminables pendant lesquelles on avait parlé de mon âme, j'ai eu l'impression que tout devenait comme une eau incolore où je trouvais le vertige.

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

à cause ア・コズ prep(de) ～のために、～のせいで

「副詞句」

de toutes ces longues phrases, ト・ウ・トゥット・セ・ロング・フレーズ

adj. すべてが長い文章の

「形容詞句」

longues ロング adj(long).f.pl 長い phrases フレーズ pl(phrase).n.f 文章

de toutes ces journées et ces heures ト・ウ・トゥット・セ・ジュールネ・エ・セ・ウル

adj.f.pl 何日、何時間の

「形容詞句」

interminables アンテルミナブル adj.pl 果てしない

「形容詞」

pendant lesquelles ポントン・レケル

conj. その間ずっと～する

「形容詞節」

on オン pron 皆が

「主語」

avait parlé アヴェ・パル 3 単半・完了形・時制の一致(parler)

v.i(de のことを) 話している

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de mon âme, トゥ・モン・アム

adv. 僕の魂について

「間接目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t ~を持った

「動詞句」

l'impression ランプレシヨン n.f 印象を

「目的語」

que ク conj. (同格) ~という

「形容詞節」

tout トゥ pron すべてが

「主語」

devenait トゥヴァネ 3 単半・時制の一致・変化(devenir)v.i ~になる

「動詞」

comme une eau コム・ユヌ・オ adv. 水のように

「補語」

incolore アンコロール adj. 無色の

「形容詞」

où ウ adv. そこで~する

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

trouvais トゥルヴァエ 1 単半・時制の一致(trouver)

v.t 見つける、味わう

「動詞」

le vertige ル・ヴェルティージュ n.m 眩暈を

「目的語」

最後に、一つだけ覚えていることがある。僕の弁護士が話し続けていた時に、いくつもの部屋と法廷のすべての空間を通り抜けて、戸外から、アイスクリーム売りのラッパの音が僕のところまで聞こえてきたことだ。

A la fin, je me souviens seulement que, de la rue et à travers tout l'espace des salles et des prétoires, pendant que mon avocat continuait à parler, la trompette d'un marchand de glace a résonné jusqu'à moi.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

A la fin, ア・ラ・ファン adv. 最後に、結局

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me souviens ム・スヴィヤン 1 単現(se souvenir)v.pr(que を) 覚えている

「動詞句」

seulement スルモン adv. ~だけ

「副詞」

que, ク conj. ~ということ

「目的語」

de la rue トゥ・ラ・リュ adv. 戸外から、通りから

「副詞句」

et エ conj. そして

à travers ア・トラヴァール prep (空間) ~を通り抜けて

「副詞句」

tout l'espace トゥ・レスパス n.m 全空間

「目的語」

des salles デ・サル adj. いくつもの部屋の

「形容詞句」

et エ conj. そして

des prétoires, デ・プレトワール adj. 法廷の

「形容詞句」

pendant que ポントン・キ conj. (時間) ~する間

「副詞節」

mon avocat モン・アヴァカ n.m 僕の弁護士が

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

continuait à parler, コンチヌ・ア・パル 3 単半・継続(continuer à+不定詞)

v.i 話し続けていた

「動詞句」

la trompette ラ・トロンペット n.f ラッパが

「主語」

d'un marchand ダン・マルション adj. 売り手の

「形容詞句」

de glace トゥ・グラス adj. アイスクリームの

「形容詞句」

a résonné ア・レゾネ 3 単現・完了形(résonner)

v.i 響いていた、聞こえていた

「動詞句」

jusqu'à moi. ジュスカ・ムィ adv. 僕のところまで

「副詞句」

もう僕の暮らしではなくなったが、そこで最も貧しく、最も強い喜びを見つけた記憶に襲われた：夏の匂い、僕が愛した界限、ある夕暮れの空、マリーの笑い、そして彼女のドレス。

J'ai été assailli des souvenirs d'une vie qui ne m'appartenait plus, mais où j'avais trouvé les plus pauvres et les plus tenaces de mes joies: des odeurs d'été, le quartier que j'aimais, un certain ciel du soir, le rire et les robes de Marie.

「主語」「動詞句」「副詞句」：「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai été assailli エ・エテ・アサイ 1 単現・完了形・受動(assaillir)v.t(de に) 襲われた

「動詞句」

des souvenirs テ・スヴァニール adv. (動作主) 思い出によって、記憶

「副詞句」

d'une vie ジュヌ・ヴァー adj. 暮らしの

「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

ne m'appartenait plus, ヌ・マパルトゥネ・プリュ 3 単半・否定・時制の一致(appartenir)

v.i(à 人の) もう～のものでない

「動詞句」

mais メ conj. しかし

où ウィ adv. そこで～する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais trouvé アヴ・エ・トゥルヴ・エ 1 単半・完了形(trouver)

v.t 見つけた

「動詞句」

les plus pauvres レ・プリュ・ポ・ウル pl.n.m 最貧を「目的語」

et エ conj. そして

les plus tenaces de mes joies: レ・プリュ・テナス・トゥ・メ・ジュわ

pl(joie)n.f 最強の喜び

「目的語」

des odeurs d'été, テ・オテール・テテ pl(odeur)n.f 夏の匂い

「目的語」

le quartier ル・クワルチエ n.m 界限

「目的語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が「主語」

aimais, エメ 1 単半(aimer)v.t 愛した

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

un certain ciel du soir, アン・セルタン・シエル・ジュー・スワール n.m ある夕暮れの空 「目的語」
 le rire ル・リール n.m あの笑い 「目的語」
 et エ conj. そして
 les robes de Marie. レ・ローブ・ドゥ・マリー pl(robe).n.f マリーのドレス 「目的語」

僕がここで無益に行っていた全てのことが、その時、僕の喉元に込み上げてきた。そして僕は1つのことを願った。やっていたことを終わらせて、眠気と共に独房に戻るのだ。

Tout ce que je faisais d'inutile en ce lieu m'est alors remonté à la gorge et je n'ai eu qu'une hâte, c'est qu'on en finisse et que je retrouve ma cellule avec le sommeil.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

「主語」「動詞」「補語」

Tout ce トゥ・ス pron このすべては 「主語」
 que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 faisais フェ 1 単半(faire)v.t ～していた 「動詞」
 d'inutile adv. 無益に 「副詞句」
 en ce lieu オン・ス・リュ adv. ここで 「副詞句」
 m' ム pron 僕の 「間接目的語」
 est alors remonté エ・アロー・ルモンテ 3 単現・完了形(remonter)
 v.i その時また上がってきた 「動詞句」
 à la gorge ア・ラ・ゴールジュ adv. 喉に 「副詞句」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'ai eu ネ・イ 1 単現・完了形・否定(avoir+ne...que)v.t ～しかなかった 「動詞句」
 qu'une hâte, キュヌ・アート n.f 急ぐこと 「目的語」
 n'avoir qu'une hâte 「ただ1つのことだけを願う」
 c' ス pron それは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 qu' ク conj. ～ということ 「補語」
 on オン pron 僕は 「主語」
 en オン pron そのことを 「目的語」
 finisse フィス 接・願望(finir)v.t 終わらせる 「動詞」
 et エ conj. そして
 que ク conj. ～ということ 「補語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 retrouve ルトゥヴ 接・1 単現・推測(retrouver)v.t 戻る、見つける 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ma cellule マ・セリュール n.f 僕の独房に

「目的語」

avec le sommeil. アヴェッキル・ソメイ adv. (同伴) 眠気とともに

「副詞句」

最後に弁護士が、陪審の皆さんは、逆上して一瞬道に迷った正直な労働者を死に迫いやり
とは思わないでしょうと声を張り上げ、被告が既に永遠の悔恨という最も確かな懲罰を受
けている犯罪に対して情状酌量を求めたのだが、僕にはほとんど聞き取れなかった。

C'est à peine si j'ai entendu mon avocat s'écrier, pour finir, que les jurés ne voudraient pas envoyer à la mort un travailleur honnête perdu par une minute d'égarement, et demander les circonstances atténuantes pour un crime dont je traînais déjà, comme le plus sûr de mes châtiments, le remords éternel.

C'est à peine si 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」 et 「補語」

C'est à peine si +直説法 セ・タ・ペ・ヌ・シ conj. (否定) かろうじて～する、ほとんど～ない

C'est à peine si on pouvait entendre le guitariste.

ギター奏者の演奏も聞こえるか聞こえないかだった。

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre+O+不定詞)

v.t (否定文で) 聞こえなかった

「動詞句」

mon avocat モン・アヴェカ n.m 弁護士が

「目的語」

s'écrier, セクリエ 不定詞・avocat の動作 v.pr 叫ぶ

「補語」

pour finir, プール・フィニール adv. 最後に

「副詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

les jurés レ・ジュレ pl(juré).n.m 陪審は

「主語」

ne voudraient pas envoyer ヌ・ヴドレ・パ・オンヴ わい 条・3 複現・願望・否定・推量

(vouloir+不定詞)v.t 送りたいくないだろう

「動詞句」

à la mort ア・ラ・モール adv. 死に

「補語」

un travailleur honnête アン・トラヴァイユール・オネット n.m 正直な労働者を「目的語」

perdu par une minute d'égarement, ヘルジュ・パール・ユヌ・ミニュ・テガールモン

adj. 逆上して一瞬道に迷った

「形容詞句」

perdu ヘルジュ adj. 迷った égarement エガールモン n.m 逆上

et エ conj. そして

demander トゥモンテ 不定詞・avocat の動作 v.pr 求めた

「補語」

les circonstances atténuantes レ・シルコンストンス・アテニュアントゥ pl.n.f 情状酌量を「目的語」

pour un crime プール・アン・クリム adv. 犯罪に対して

「副詞句」

dont ドン pron それについて～する

「形容詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

traînais トレネ 1 単半(trâiner)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| v.t 耐えている、(罰を) 受けている | 「動詞」 |
| déjà, デジャ adv. もう | 「副詞」 |
| comme コム conj. (資格) 〜として | 「副詞句」 |
| le plus sûr de mes châtiments, ル・プ°リュ・シュール・ド°ウ・メ・シャチモン | |
| n.m 最も確かな懲罰 | 「目的語」 |
| le remords ル・ルモール | |
| n.m (同格) 悔恨という | 「形容詞句」 |
| éternel. エテルネル adj. 永遠の | 「形容詞」 |

法廷は審問を中断し、弁護士は疲れ果てた様子で着席した。

La cour a suspendu l'audience et l'avocat s'est assis d'un air épuisé.

| | |
|---|----------------------------------|
| | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| La cour ラ・クール n.f 法廷は | 「主語」 |
| a suspendu ア・シュボ°ンジュ 3 単現・完了形(suspendre)v.t 中断した | 「動詞句」 |
| l'audience ロージ°アンス n.f 審問を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| l'avocat ラヴァ°カ n.m 弁護士は | 「主語」 |
| s'est assis セ°タシ 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 着席した、座った | 「動詞句」 |
| d'un air ダン°エール adv. (様態) 〜の様子で | 「副詞句」 |
| épuisé. エビ°ュイセ° adj. 疲れ果てた | 「形容詞」 |

しかし彼の同僚たちがやって来て、彼と握手をした。「素晴らしかったよ、君」と、挨拶しているのが聞こえた。

Mais ses collègues sont venus vers lui pour lui serrer la main. J'ai entendu: «Magnifique, mon cher.» Mais 「主語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」: 《「挨拶」》

| | |
|---|---------|
| Mais メ conj. しかし | |
| ses collègues セ°コレグ° pl.n.m 彼の同僚たちは | 「主語」 |
| sont venus ソン°ヴァニュ 3 複現・完了形(venir)v.i やって来た | 「動詞句」 |
| vers lui ヴ°ェール・リュイ adv. 彼のほうへ | 「副詞句」 |
| pour +不定詞 プール adv. (結果・目的) そして〜する | 「副詞句」 |
| lui リュイ pron 彼の | 「間接目的語」 |
| serrer セレ 不定詞 v.t 握りしめる | 「動詞」 |
| la main. ラ°マン n.f 手を | 「直接目的語」 |
| J° ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai entendu: エ°オント°ンジュ 1 単現・完了形(entendre)v.t 聞こえた | 「動詞句」 |
| «Magnifique, mon cher.» マニフィキ°モン・シェール int. 「素晴らしかったよ、君」 | 「挨拶」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼らの1人は、僕を証人にしようとさえした：「そうでしょう？」と、彼は僕に言った。僕は同意したが、それは心からの賛辞ではなかった。なぜなら、僕は疲れすぎていたから。

L'un d'eux m'a même pris à témoin: « Hein? » m'a-t-il dit. J'ai acquiescé, mais mon compliment n'était pas sincère, parce que j'étais trop fatigué.

「主語」「目的語」「動詞句」「補語」:

《「問いかけ」》「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」

「主語」「動詞句」,mais「主語」「動詞」「補語」「副詞節」

L'un ラン pron 一人は 「主語」
 d'eux トゥー adj. 彼らの 「形容詞句」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a même pris ア・メム・プリ 3 単現・完了形(prendre)v.t ~を採用しさえした 「動詞句」
 à témoin: ア・テムワ adv. 証人に 「補語」
 « Hein? » アン int. (同意を求めて) そうでしょう? 「間投」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a ...dit. ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 il イル pron 彼は 「主語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai acquiescé, エ・アキエシエ 1 単現・完了形(acquiescer)v.i 同意した 「動詞句」
 mais メ conj. しかし
 mon compliment モン・コンプリモン n.m 僕の賛辞は 「主語」
 n'était pas ネ・パ 3 単半・否定(être)v.i ~でなかった 「動詞」
 sincère, サンセル adj. 心からの、本心からの 「補語」
 parce que パルス・キ conj. (理由) ~なので 「副詞節」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エ 1 単半(être)v.i ~だった 「動詞」
 trop fatigué. トロ・ファチゲ adj. 疲れすぎていた 「補語」

けれども、外では日が傾いてきて、暑さはそれ程でもなくなって来ていた。

Pourtant, l'heure déclinait au-dehors et la chaleur était moins forte.

「副詞」「主語」「動詞」「副詞句」et「主語」「動詞」「補語」

Pourtant, プルトン adv. けれども 「副詞」
 l'heure レール n.f 時間が、日が 「主語」
 déclinait テクリネ 3 単半(décliner)v.i 傾いた 「動詞」
 au-dehors オ・トゥワール adv. 外では 「副詞句」
 et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|------------------------------------|----------|------|
| la chaleur ラ・シャール n.f | 暑さは | 「主語」 |
| était エ 3 単半・変化(être)v.i | ～になっていた | 「動詞」 |
| moins forte. ムワン・フォルトゥ adj(fort).f | さほど強く～ない | 「補語」 |

通りから聞こえてくるいくつかの物音から、僕は夕暮れの喜びを想像した。僕たちは、皆そこにいて待っていた。

Aux quelques bruits de rue que j'entendais, je devinais la douceur du soir. Nous étions là, tous, à attendre.

| | | |
|--|-----------|--------|
| 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 「主語」「動詞」「副詞」「主語」「副詞句」 | | |
| Aux quelques bruits オ・ケルキ・ブリュイ adv. | いくつかの物音から | 「副詞句」 |
| de rue トゥ・リュー adj. | 通りの | 「形容詞句」 |
| que j'entendais, ク・ジョントンテ adj. | 僕が聞いていた | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| devinais トゥヴァイン 1 単半(deviner)v.t | 想像していた | 「動詞」 |
| la douceur ラ・ドゥセル n.f | 喜び、しあわせ | 「目的語」 |
| du soir. ジュ・スワール adj. | 夕暮れの | 「形容詞句」 |
| Nous ヌ pron.pl | 僕たちは | 「主語」 |
| étions エオン 1 複半(être)v.i | (存在)～にいた | 「動詞」 |
| là, ラー adv. | そこに | 「副詞」 |
| tous, トゥス pron.m.pl | 皆 | 「主語」 |
| à attendre. ア・アトトル 不定詞・結果 adv. | そして待っていた | 「副詞句」 |
| être à+不定詞 「～しつつある、している、～する予定である」 | | |

そして僕たち皆が待っているのは、僕に関わる事だけだった。僕はまた法廷を眺めた。

Et ce qu'ensemble nous attendions ne concernait que moi. J'ai encore regardé la salle.

| | | |
|--|-------------|--------|
| Et 「主語」「動詞句」「目的語」 「主語」「動詞句」「目的語」 | | |
| Et エ conj. | そして | |
| ce ス pron | それは | 「主語」 |
| qu' ク pron | (目的語)～する | 「形容詞節」 |
| ensemble nous オンソブル・ヌ pron | 僕たちがみんな揃って | 「主語」 |
| attendions アトンディオン 1 複半(sttendre)v.t | 待っていた | 「動詞」 |
| ne concernait que ヌ・コンセルネ・ク 3 単半・否定(concerner+ne...que) | | |
| v.t | ～にしか関わらなかった | 「動詞句」 |
| moi. ムワ pron | 僕に | 「目的語」 |
| J' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai encore regardé エ・オンコール・ルギヤルテ 1 単現・完了形(regarder+ encore) | | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t また眺めた 「動詞句」
la salle. ラ・サル n.f 法廷を 「目的語」

すべてが最初の日と同じだった。

Tout était dans le même état que le premier jour. 「主語」「動詞」「補語」
Tout トゥ pron すべては 「主語」
était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった 「動詞」
dans le même état トン・ル・メーム・エタ adv. 同じ状態に 「補語」
état エタ n.m 状態、国家、政府
que le premier jour. ク・ル・プ・ルミエ・ジュール adv. (比較) 最初の日と 「副詞句」

僕は、グレーの背広を着た新聞記者に加えて、あの自動人形のような女と目が合った。

J'ai rencontré le regard du journaliste à la veste grise et de la femme automate. 「主語」「動詞句」「目的語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai rencontré エ・ロンコントレ 1 単現・完了形(rencontrer)v.t 衝突した、遭遇した 「動詞句」
le regard ル・ルギヤール n.m 視線に 「目的語」
du journaliste ジュ・ジュールナリスト adj. 新聞記者の 「形容詞句」
à la veste grise ア・ラ・ヴェストゥ・グリース
adv. (様態) グレーの背広を着た 「副詞句」
grise グリース adj(gris).f グレーの、灰色の
et エ conj. そして
de la femme automate. ドゥ・ラ・ファム・オマット adj. 自動人形のような女の 「形容詞句」
automate オマット n.m 自動人形 → adj.f 自動人形のような

このことから、僕は裁判の間中、一度もマリーを探さなかったことに気が付いた。

Cela m'a donné à penser que je n'avais pas cherché Marie du regard pendant tout le procès. 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
Cela スラ pron これは 「主語」
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a donné à penser ア・ドネ・ア・ボンセ 3 単現・完了形・使役(donner à qn à+不定詞 人に)
v.t 〜考えさせた 「動詞句」
que ク conj. 〜ということを 「直接目的語」
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'avais pas cherché ナヴ・エ・パ・チェルシェ 1 単半・完了形・否定(chercher)
v.t 一度も探さなかった 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

Marie マリー n. マリーを 「目的語」
 du regard シュ・ルギヤール adv. (手段) 目で 「副詞句」
 pendant tout le procès. ポント・ン・トゥ・ル・プ・ロセ adv. 裁判の間中 「副詞句」

僕は彼女のことを忘れてはいなかったが、やることが多すぎたのだ。

Je ne l'avais pas oublié, mais j'avais trop à faire.

「主語」「動詞句」「目的語」,mais「主語」「動詞」「目的語」

Je シュ pron 僕は 「主語」
 ne ...avais pas oublié, ヌ...アヴ・ェ・パ・ズブリエ 1 単半・完了形.f・否定(oublier)
 v.t 忘れていたのではない 「動詞句」
 l' ラ pron 彼女を 「目的語」
 mais メ conj. そうではなく
 j' シュ pron 僕は 「主語」
 avais アヴ・ェ 1 単半(avoir)v.t ～があった 「動詞」
 trop トロ n.m あまりに多いこと 「目的語」
 à faire. ア・フェール 不定詞・目的 adj. やるべき 「形容詞句」

僕はセレストとレーモンの間にマリーを認めた。

Je l'ai vue entre Céleste et Raymond.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Je シュ pron 僕は 「主語」
 l' ラ pron.f 彼女を 「目的語」
 ai vue エ・ヴュ 1 単現・完了形.f(voir)v.t 見えた 「動詞句」
 entre Céleste et Raymond. オントル・セレスト・エ・レーモン
 adv. (空間) セレストとレーモンの間に 「副詞句」

彼女は、まるで「いよいよね」と言っているかのように、僕に小さく合図をした。少し不安
 そうな彼女の顔が微笑んでいるのが見えた。

Elle m'a fait un petit signe comme si elle disait: «Enfin», et j'ai vu son visage un peu anxieux qui souriait.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」「副詞節」et「主語」「動詞句」「目的語」

Elle エル pron 彼女は 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (動作を) した 「動詞句」
 un petit signe アン・プティ・シニユ n.m 小さい合図を、仕草を 「直接目的語」
 comme si コム・シ conj. まるで～のように 「副詞節」
 elle エル pron 彼女は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---------------------------------|----------|--------|
| disait: ディェ 3 単半・時制の一致(dire)v.t | 言っている | 「動詞」 |
| «Enfin», オフアン adv. | ついに、いよいよ | 「呼びかけ」 |
| et エ conj. | そして | |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai vu エ・ヴュ 1 単現・完了形(voir)v.t | 見えた | 「動詞句」 |
| son visage ソン・ヴィザージュ n.m | 顔が | 「目的語」 |
| un peu anxieux アン・プ・オクシュ adj. | 少し心配そうな | 「形容詞句」 |
| qui キ pron (主語) | ～する | 「形容詞節」 |
| souriait. スリエ 3 単半(sourire)v.i | 微笑んでいる | 「動詞」 |

しかし僕は心がふさいだ気分がして、彼女の微笑みに答えることさえ出来なかった。

Mais je sentais mon cœur fermé et je n'ai même pas pu répondre à son sourire.

Mais 「主語」「動詞」「目的語」「補語」 et 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Mais メ conj. しかし

| | | |
|--------------------------------|--|---------|
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| sentais ソンテ 1 単半(sentir)v.t | 感じた | 「動詞」 |
| mon cœur モン・ケール n.m | 僕の心が | 「目的語」 |
| fermé フェルメ adj. | 閉じた、ふさいだ | 「補語」 |
| et エ conj. | そして | |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'ai même pas pu répondre | ネ・メム・パ・ピュ・レポントル 1 単現・完了形・否定(pouvoir+不定詞) | |
| v.i(à に) | 答えることさえ出来なかった | 「動詞句」 |
| à son sourire. ア・ソン・スリエール adv. | 彼女の微笑みに | 「間接目的語」 |

裁判官が戻ってきた。非常に早口で、一連の質問が陪審員たちに読み上げられた。

La cour est revenue. Très vite, on a lu aux jurés une série de questions.

「主語」「動詞句」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」

| | | |
|--|----------|---------|
| La cour ラ・クール n.f (集合的に) | 裁判官が | 「主語」 |
| est revenue. エルヴニュ 3 単現・完了形(revenir)v.i | 戻ってきた | 「動詞句」 |
| Très vite, トレ・ヴィット adv. | 非常に早く | 「副詞句」 |
| on オン pron | 裁判官は | 「主語」 |
| | 受動態に翻訳する | |
| a lu アリュ 3 単現・完了形(lire)v.t | 読んだ | 「動詞句」 |
| aux jurés オ・ジュレ adv. | 陪審員たちに | 「間接目的語」 |
| une série de questions. ユンス・セリ・トウ・クエスチオン n.f | 一連の質問を | 「直接目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、「殺人により有罪」とか「予謀」とか「情状酌量」という言葉の断片が聞こえた。

J'ai entendu «coupable de meurtre»... «préméditation»... «circonstances atténuantes».

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai entendu エ・オントンジュ 1 単現・完了形(entendre)v.t. ～が聞こえた

「動詞句」

«coupable de meurtre»... カ・ブル・トゥ・ムルトル adj. 殺人により有罪

「目的語」

coupable カ・ブル adj. 有罪の de は原因を表す meurtre ムルトル n.m 殺人、殺害

«préméditation»... プレミディタシオン n.f (法律) 予謀

「目的語」

«circonstances atténuantes». シルコンストンス・アテニュオントウ pl.n.f 情状酌量

「目的語」

circonstance シルコンストンス n.f 事情、状況、(法律) 情状 atténuant アテニュオン adj. 軽減する

予謀 よぼう

(犯罪などを) 前もって周到に計画すること

陪審員たちは退席し、僕は以前待たされた小部屋に連れていかれた。

Les jurés sont sortis et l'on m'a emmené dans la petite pièce où j'avais déjà attendu.

「主語」「動詞句」et「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Les jurés レ・ジュレ pl.n.m 陪審員たちは

「主語」

sont sortis ソン・ソルティ 3 複現・完了形(sortir)v.i 退席した、外へ出た

「動詞句」

et エ conj. そして

l'on ロン pron 廷吏は

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

a emmené ア・オンムネ 3 単現・完了形(emmener)v.t 連れて行った

「動詞句」

dans la petite pièce ドン・ラ・プティット・ピエス adv. 小さな部屋に

「副詞句」

où ウ adv. そこで～した

「副詞節」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais déjà attendu. アヴァ・デ・テジヤ・アトントル 1 単半・完了形(attendre+déjà)

v.t 以前待っていた

「動詞句」

弁護士がやって来て、僕に付き添った：彼はやたらに喋ったが、今まで見せたことがないような信頼と好意を込めて僕に話しかけた。

Mon avocat est venu me rejoindre: il était très volubile et m'a parlé avec plus de confiance et de cordialité qu'il ne l'avait jamais fait.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」:「主語」「動詞」「補語」

et「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Mon avocat モン・アヴァカ n.m 弁護士は

「主語」

est venu エ・ヴァニュ 3 単現・完了形(venir+不定詞) ～しに来た

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| me ム pron 僕に | 「目的語」 |
| rejoindre: ルジュワントル 不定詞 v.t 合流する | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エ 3 単半(être)v.i ーだった | 「動詞」 |
| très volubile トレ・ヴォリュビル adj. とてもお喋りの | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a parlé ア・パル 3 単現・完了形(parler)v.i 話した | 「動詞句」 |
| avec plus de confiance et de cordialité アヴ・エッキ・プ・リュ・ド・ウ・コンフィオンス・エ・ド・ウ・コルテ・イアリテ | |
| adv. (様態) より多くの信頼と好意を込めて | 「副詞句」 |
| confiance コンフィオンス n.f 信頼 cordialité コルテ・イアリテ n.f 好意、誠意 | |
| qu' ク pron (目的語) ーする | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| ne ...avait jamais fait. ス...アヴ・エ・ジャ・メ・フェ 3 単半・完了形・否定(faire) | |
| v.t 一度もしたことがない | 「動詞句」 |
| l' ル pron それを (信頼など) | 「目的語」 |

彼は、すべてが上手く運び、僕は数年の禁固刑または徒刑で済むだろうと予想していた。

| | |
|---|---------------|
| <u>Il pensait que tout irait bien et que je m'en tirerais avec quelques années de prison ou de bagné.</u> | 「主語」「動詞」「目的語」 |
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| pensait ポンセ 3 単半(penser)v.t (que ーだと) 予想していた | 「動詞」 |
| que ク conj. ーということを | 「目的語」 |
| tout トゥ pron すべては | 「主語」 |
| irait イレ 条・カン 3・推測(aller)v.i (物事が) 運ぶだろう | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. うまい具合に | 「副詞」 |
| et エ conj. そして | |
| que ク conj. ーということを | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| m'en tirerais モン・チル 条・1 単現・推測(se'en tirer) | |
| v.pr(avec qn ーだけで) 済むだろう | 「動詞句」 |
| avec quelques années アヴ・エッキ・ケルキ・アネ adv. 数年だけで | 「副詞句」 |
| de prison ド・ウ・プリゾン adj. 刑務所の | 「形容詞句」 |
| ou ウ conj. または | |
| de bagné. ド・ウ・バーニュ adj. 徒刑場の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

禁固刑

刑法に定められた自由刑(自由が奪われる刑罰)の一つ。同じ刑期の懲役刑より軽いとされ、刑務所に入るだけで労働の義務はない。

徒刑

一定期間刑務所に拘禁して、強制的に労役に服させる刑で、懲役刑と同等の自由刑である。

僕は彼に、不利な判決の場合には、破棄することができるかどうかを尋ねた。

Je lui ai demandé s'il y avait des chances de cassation en cas de jugement défavorable.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai demandé エ・ト・マシテ 1 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

s' シ conj.(= si) ～かどうかということ

「直接目的語」

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半・時制の一致(il y avoir)v.t ～がある

「動詞句」

des chances デ・シヨンス pl.n.f 可能性

「目的語」

de cassation トゥ・カシオン adv. 破棄の

「形容詞句」

cassation カシオン n.f (法律) (最高裁による前判決の) 破棄 (取り消すこと)

en cas de オン・カス・トゥ prep ～の場合には

「副詞句」

jugement ジュージュモン n.m 判決

「目的語」

défavorable. デファヴァォラブル adj. 不利な

「形容詞」

弁護士は、それは出来ないと答えた。彼の作戦は、陪審の心証を損ねないように、異議を申し立てないというものだった。

Il m'a dit que non. Sa tactique avait été de ne pas déposer de conclusions pour ne pas indisposer le jury.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 彼 (弁護士) は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

que non. ク・ノン n. できないということ

「直接目的語」

Sa tactique サ・タクティク n.f 彼の作戦は、戦術

「主語」

avait été アヴェ・テ 3 単半・完了形(être)v.i ～だった

「動詞句」

de ne pas déposer トゥ・ヌ・パ・デポゼ 不定詞(déposer)・否定

n. (異議を) 申し立てないこと

「補語」

de conclusions トゥ・コンクリュジョン pl.n.f (被告の) 抗弁 (反論) を

「目的語」

pour ne pas indisposer プール・ヌ・パ・アンディスポゼ

DEUXIÈME PARTIE 第2部

adv. (目的) への感情を損ねないために

「副詞句」

le jury. ル・ジューリ n.m 陪審

「目的語」

彼は、判決というものはそのように理由もなく破棄されるものではない、と説明してくれた。

Il m'a expliqué qu'on ne cassait pas un jugement, comme cela, pour rien.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼(弁護士)は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a expliqué ア・エクスプリーケ 3 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「直接目的語」

on オン

pron (動作主を明示しない時)(法廷や裁判長と考えられる) 「主語」

受動態に翻訳する

ne cassait pas ス・カッセ・パ 3 単半・否定・時制の一致(casser)

v.t (法律) ～を破棄しない

「動詞句」

un jugement, アン・ジュージュモン n.m 判決を

「目的語」

comme cela, クム・スラ adv. そのように

「副詞句」

pour rien. プール・リヤン adv. なんでもないことで、意味もなく

「副詞句」

それは僕には明らかなことに思われて、僕は彼の言い分に納得した。問題を冷静に考えると、それは全く当然のことだ。

Cela m'a paru évident et je me suis rendu à ses raisons. A considérer froidement la chose, c'était tout à fait naturel.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

et 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

Cela スラ pron それは

「主語」

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a paru ア・パリュ 3 単現・完了形(paraître)v.i(+C) ～に思われた

「動詞句」

évident エヴィタン adj. 明らかな

「補語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis rendu ム・シュイ・ロンジュ 1 単現・完了形(se rendre)v.pr(à に) 屈した

「動詞句」

à ses raisons. ア・セ・レゾン adv. 彼の言い分に、理屈に

「間接目的語」

A considérer ア・コンシデーレ adv (à+不定詞) . (条件・仮定) 考えると

「副詞句」

froidement フルワトウモン adv. 冷静に

「副詞」

la chose, ラ・ショース n.f 問題を、物事を

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|------------------------------|---------------|-------|
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| tout à fait トゥ・タ・フェ adv. | 全く、完全に | 「副詞句」 |
| naturel. ナチュレル adj. | 自然の、当然の、当たり前の | 「補語」 |

もしそうでなければ、あまりにも多くの無駄な書類ができてしまうだろう。

Dans le cas contraire, il y aurait trop de paperasses inutiles.

| | | | | |
|------------------------|---------------|-----------------------------|-----------------|-------|
| | | | 「副詞句」「動詞句」「目的語」 | |
| Dans le cas contraire, | ドン・ル・カ・コントレール | adv. (状況) 反対の場合には | 「副詞句」 | |
| il y aurait | イ・リ・オレ | 条・3 単現・存在・推測(il y avoir)v.t | 「動詞句」 | |
| | | 過去における未来の推測 | | |
| trop de paperasses | トロ・ドゥ・パペラス | pl.n.f | あまりにも多くの無用な書類が | 「目的語」 |
| inutiles. | イヌル | adj(inutile).pl | 無駄な | 「形容詞」 |

「いずれにしても」と、弁護士が僕に言った。「上訴という手段があります。この方法なら、良い結果が得られると確信しています」

«De toute façon, m'a dit mon avocat, il y a le pourvoi. Mais je suis persuadé que l'issue sera favorable.»

| | |
|--|------------------|
| 《「副詞句」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」, 《Mais 「主語」「動詞」「補語」》 | |
| «De toute façon, トゥ・トゥット・ファツ | adv. ともかく、いずれにせよ |
| m' ム pron 僕に | |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | |
| mon avocat, モ・ナヴ・オカ n.m 弁護士は | |
| il y a イ・リ・ヤ 3 単現・存在(il y avoir)v.t ～がある | |
| le pourvoi. ル・プ・ルヴ・ワ n.m 上訴が、抗告 | |
| Mais メ conj. しかし | |
| je ジュ pron 私は | |
| suis シュイ 1 単現(être)v.i ～である | |
| persuadé ペルシュアデ adj.(que ～ということに) 確信している | |
| que ク conj. (形容詞の補語・理由・原因) ～について | |
| l'issue リシュ n.f 結果は | |
| sera スラ 3 単未・変化(être)v.i ～になるだろう | |
| favorable. ファヴ・ォレーブル adj. 有利な、好都合な | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕たちは長い間待った。45分位だったと思う。その後で、チャイムが鳴った。

Nous avons attendu très longtemps, près de trois quarts d'heure, je crois. Au bout de ce temps, une sonnerie a retenti.

| | | | | | | | |
|-----------------------|--------------|-----------------------|-----------|------|-------|------|-------|
| 「主語」 | 「動詞句」 | 「副詞句」 | 「主語」 | 「動詞」 | 「副詞句」 | 「主語」 | 「動詞句」 |
| Nous | ヌ pron.pl | 僕たちは | | | | | |
| avons attendu | アヴ・オン・アトンジ | 1 複現・完了形(attendre)v.i | 待った | | | | |
| très longtemps, | トレ・ロント | adv. | 非常に長い間 | | | | |
| près de | プレ・ドゥ | prep (+数量表現) | およそ、約 | | | | |
| trois quarts d'heure, | トウル・キヤール・デール | pl.n.f | 45分 | | | | |
| je | ジュ pron | 僕は | | | | | |
| crois. | クルわ | 1 単現(croire)v.t | 思う | | | | |
| Au bout de | オ・ブ・ドゥ | prep (時間) | ～の終わりに、後に | | | | |
| ce temps, | スト | n.m | この時間 | | | | |
| une sonnerie | ユヌ・ソヌリ | n.f | ベルが、チャイムが | | | | |
| a retenti. | ア・ルトンティ | 3 単現・完了形(retentir)v.i | 鳴った、鳴り響いた | | | | |

弁護士は僕と別れる時に言った：「まず陪審長が回答を読み上げます。あなたは、裁判長が判決を言い渡す時まで、入廷することが出来ません」

Mon avocat m'a quitté en disant: «Le président du jury va lire les réponses. On ne vous fera entrer que pour l'énoncé du jugement.»

| | | | |
|-----------------------|------------------|------------------------------|--------------|
| 「主語」 | 「目的語」 | 「動詞句」 | 「副詞句」 |
| Mon avocat | モ・ナヴ・カ | n.m | 僕の弁護士は |
| m' | ム pron | 僕と | |
| a quitté | ア・キテ | 3 単現・完了形(quitter)v.t | 別れた |
| en disant: | オン・テイザン | ジェロンディフ・同時(dire)v.t | 言いながら |
| «Le président du jury | ル・プレジド・ン・ジュ・ジュリー | n.m | 陪審長が |
| va lire | ヴァ・リー | 3 単現・近接未来(aller+不定詞)v.t | 読む予定だ |
| les réponses. | レ・レポンス | pl.n.f | 回答を |
| On | オン pron | 法廷は | |
| ne ...fera entrer | ヌ...フラ・オントレ | 3 単未・使役・否定(faire+不定詞 entrer) | |
| v.t | | | 入らせないだろう |
| vous | ヴ pron | あなたを | |
| vous | | | を「主語」にして翻訳する |
| que | ク conj. | (ne...que) | ～しか |
| pour l'énoncé | プール・レノンセ | adv. | 陳述のため |
| du jugement.» | ジュ・ジュンジェモン | adj. | 判決の |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

いくつものドアがぱたんと閉まり、人々が階段を駆けて行く音が聞こえたが、それが近いのか、遠いのかは分からなかった。

Des portes ont claqué. Des gens couraient dans des escaliers dont je ne savais pas s'ils étaient proches ou éloignés. 「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

Des portes テ・ポルト pl.n.f (des は多数を強調) いくつものドアが 「主語」

ont claqué. オン・クラケ 3 複現・完了形(claquer)v.i ぱたんと閉まった 「動詞句」

Des gens テ・シヨン pl.n.m 人々が 「主語」

couraient クレ 3 複半(courir)v.i 走った 「動詞」

dans des escaliers トン・デ・エスカリエ adv. 階段を 「副詞句」

dont トン pron それについて 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne savais pas ヌ・サヴェ・パ 1 単半・否定(savoir)v.t 分からなかった 「動詞」

s' シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

ils イル pron.pl それは 「主語」

étaient エテ 3 複半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

proches ou éloignés. フロッシュ・ウ・エルワニエ adj. 近いのか、遠いのか 「補語」

それから、法廷内から、こもった声で何かを読み上げているのが聞こえてきた。

Puis j'ai entendu une voix sourde lire quelque chose dans la salle.

「副詞」「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Puis ビュイ adv. それから 「副詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形・知覚動詞(entendre)v.t 聞こえた 「動詞句」

une voix ヌヌ・ヴァ n.f 声を 「目的語」

sourde スルトゥ adj(sourd).f (音が) こもった、にぶい 「形容詞」

lire リール 不定詞・voix の動作 v.t 読む 「補語」

quelque chose ケルキ・ショーズ n.f 何かを 「目的語」

dans la salle. トン・ラ・サル adv. 法廷で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

ベルが再び鳴り響き、被告人席の扉が開いた時、僕に迫ってきたのは、法廷の沈黙だった。
沈黙と、あの若い記者が目をそらせたことに気付いて僕が抱いた独特の感覚だった。

Quand la sonnerie a encore retenti, que la porte du box s'est ouverte, c'est le silence de la salle qui est monté vers moi, le silence, et cette singulière sensation que j'ai eue lorsque j'ai constaté que le jeune journaliste avait détourné ses yeux.

「副詞節」, 「動詞」 「補語」 「主語」, 「補語」

Quand コン conj. ～する時

「副詞節」

la sonnerie ラ・ソヌリ n.f ベルが

「主語」

a encore retenti, ア・オンコール・ルトンティ 3 単現(retentir)v.i 再び鳴り響いた

「動詞句」

que ク conj. (Quand の代用) ～する時

「副詞節」

que は接続詞の反復を避けるために、先行する様々な接続詞の代用をする

la porte du box ラ・ポルトウ・ジュ・ボックス n.f 被告人席の扉が

「主語」

box ボックス n.m (法廷の) 被告人席

s'est ouverte, セ・ウヴェルトウ 3 単現・完了形(f(s'ouvrir)v.pr 開いた

「動詞句」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qui est monté vers moi)

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

le silence de la salle ル・シロンス・ドゥ・ラ・サル n.m 法廷の沈黙

「補語」

qui キ pron (主語) ～するものは

「主語」

est monté エ・モンテ 3 単現・完了形(monter)v.i 湧き上がってきた

「動詞句」

vers moi, ヴェール・ムワ adv. 僕のほうへ

「副詞句」

le silence, ル・シロンス n.m 沈黙

「補語」

et エ conj. そして

cette singulière sensation セット・サンギェリエール・ソンサシヨン n.f その独特な感覚

「補語」

que ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

ai eue エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t 持った

「動詞句」

lorsque ロルスキ conj. ～する時

「副詞節」

j' ジュ pron 僕が

「主語」

ai constaté エ・コンスタテ 1 単現・完了形(constater)

v.t 認めた、確認した

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

le jeune journaliste ル・ジュヌ・ジュルナリスト

n.m あの若い記者が

「主語」

avait détourné アヴェ・テトゥルネ 3 単半・完了形(détourner)

v.t そらせた

「動詞句」

ses yeux. セ・ジュ pl.n.m 目を

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はマリーのほうを見なかった。

Je n'ai pas regardé du côté de Marie.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 私は

「主語」

n'ai pas regardé ネ・パ・ルギヤルテ 1 単現・完了形・否定(regarder)v.t 見なかった

「動詞句」

du côté de Marie. ジュ・コテ・ドゥ・マリー adv. マリーのほうを

「副詞句」

僕にはそうする時間がなかった。というのは、裁判長が奇妙な言い方で、僕に対して、僕はフランス国民の名において公共の広場で首を切断されることになると言ったからだ。

Je n'en ai pas eu le temps parce que le président m'a dit dans une forme bizarre que j'aurais la tête tranchée sur une place publique au nom du peuple français.

「主語」「動詞句」「間接目的語」「直接目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 私は

「主語」

n'... ai pas eu ス...エ・パ・ジュ 1 単現・完了形・否定(avoir)v.t ～がなかった

「動詞句」

en エン adv. それをするための

「間接目的語」

le temps ル・トン n.m 時間が

「直接目的語」

parce que パルス・キ conj. ～なので、～のために

「副詞節」

le président ル・プレジトシオン n.m 裁判長が

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

dans une forme bizarre トシ・シ ユンヌ・フォルム・ビザール

adv. (様式) 奇妙な調子で

「副詞句」

forme フォルム n.f 様相、語調 bizarre ビザール adj. 奇妙な、おかしい

que ク conj. ～ということ

「直接目的語」

j' ジュ pron 私は

「主語」

aurais オーレ 条・1 単現・受動(avoir)

v.t (SVO+過去分詞) O を～されることになる

「動詞句」

la tête ラ・テット n.f 頭を、首を

「目的語」

tranchée トランシェ 過去分詞・受動.f(trancher)v.t 切断された

「補語」

→ 切断された首を持つだろう → 首を切断されるだろう

この過去分詞 tranchée は tête の動作を表す「補語」

sur une place publique シュール・ユンヌ・プラス・ピュブリキ

adv. 公共の広場で

「副詞句」

au nom du peuple français. オ・ノム・ジュ・プーブル・フロンセ

adv. フランス国民の名において

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

英語の構文では

文型 5-6 「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語（過去分詞）」

使役動詞は get, have, make など、知覚動詞は feel, hear, observe, perceive, see など。

その他は believe, consider, declare, find, keep, leave, like, prefer, want, wish など。

「補語」の過去分詞は「目的語」の動作を表す。

「～させる（してもらう）」（使役）と「～される」（受動）の二通りの意味に使用される。

第5文型で、「補語」が「目的語」の動作を表すその他の文型

文型 5-3 「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語（to 不定詞）」

動詞は advise, allow, ask, beg, cause, command, compel, dislike, encourage, expect, force, get, hate, help, intend, lead, like, oblige, order, permit, persuade, promise, remind, request, teach, tell, tempt, urge, want, warn, wish など

文型 5-4 「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語（原型不定詞）」

「補語」は原形不定詞で、「目的語」の完了された動作を表す、動詞は3種類

使役動詞 bid, let, make, have など

知覚動詞 feel, hear, notice, observe, perceive, see, watch など

その他 help （イギリス英語では to をつける）

文型 5-5 「主語」「不完全他動詞」「目的語」「補語（現在分詞）」

「補語」は現在分詞で、「目的語」の進行中の動作を表す。動詞は2種類

知覚動詞 feel, hear, notice, observe, perceive, see, smell, watch など

その他の動詞 find, catch, keep, leave, set, have など

注意：上記の英語の第5文型（文型 5-3～文型 5-6）は、イタリア語・スペイン語・フランス語・ドイツ語で使役・放任・知覚動詞を理解するためにも非常に役に立つ。

その時、僕には彼ら全員の顔から読み取れる感情が何なのかが分かるような気がした。

Il m'a semblé alors reconnaître le sentiment que je lisais sur tous les visages.

「間接目的語」「動詞句」「副詞」「補語」

Il *ル* pron 非人称

m' *ム* pron 僕には

「間接目的語」

a semblé *ア・ソブレ* 3 単現・完了形(sembler)

v.h(Il semble à qn + 不定詞) ～するように思われた

「動詞句」

alors *アール* adv. その時

「副詞」

reconnaître *ルコネトル* 不定詞・m'の動作 v.t それと分かる

「補語」

le sentiment *ル・ソチモン* n.m その感情を

「目的語」

que *ク* pron (目的語) ～する

「形容詞節」

je *ジュ* pron 僕が

「主語」

lisais *リセ* 1 単半・時制の一致(lire)v.t 読み取る

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

sur tous les visages. シュール・トゥ・レ・ヴィザージュ

adv. 彼らの顔に

「副詞句」

それは間違いなく敬意だったと僕は思う。警官たちは皆僕にとっても優しいかった。

Je crois bien que c'était de la considération. Les gendarmes étaient très doux avec moi.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

crois bien クワ・ビエン 1 単現(croire)v.t(que と) 確かに思う

「動詞句」

bien ビエン adv. (強調) 確かに、間違いなく

que ク conj. ～ということを

「目的語」

c' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半(être)v.i ～だった

「動詞」

de la considération. トゥ・ラ・コンシデラシオン n.m 敬意

「補語」

Les gendarmes レ・ジヨンドアルム pl.n.m 警官たちは

「主語」

étaient エ 3 複半(être)v.i ～だった

「動詞」

très doux トレ・ドゥー adj. とても優しい

「補語」

avec moi. アヴェッキ・ムワ adv. (対人関係) 僕に対して

「副詞句」

弁護士は手を僕の手首に置いた。僕はもう何も考えられなかった。しかし裁判長が、何か付け加えることはありますか、と僕に尋ねた。

L'avocat a posé sa main sur mon poignet. Je ne pensais plus à rien. Mais le président m'a demandé si je n'avais rien à ajouter.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Mais 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

L'avocat ラヴァカ n.m 弁護士は

「主語」

a posé ア・ポゼ 3 単現・完了形(poser)v.t 置いた

「動詞句」

sa main サ・マン n.f 手を

「目的語」

sur mon poignet. シュール・モン・プワニエ adv. 僕の手首の上に

「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne pensais plus ネ・ポンス・ブリュ 1 単半・否定(penser)

v.i(à のことを) もう考えなかった

「動詞句」

à rien. ア・リヤン adv. 何のことも～ない

「間接目的語」

Mais メ conj. しかし

le président ル・プレジトソン n.m 裁判長は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a demandé ア・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

si シ conj. ～かどうかということ 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'avais ナヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t ～がない 「動詞句」
 rien à ajouter. リン・ナ・アジュテ pron 付け加えるべきものが何も～ない 「目的語」

僕は良く考えた。僕は言った：「ありません」それで、僕は連れ出された。

J'ai réfléchi. J'ai dit: «Non.» C'est alors qu'on m'a emmené.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」：《「応答」》 | 「動詞」「副詞」「主語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai réfléchi. エ・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i よく考えた 「動詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit: エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 «Non.» ノン adv. ありません 「応答」
 C' ス pron 仮の主語（真の主語は qu' 以降）強調構文
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 alors アロー adv. その時 「副詞」
 qu' ク conj. ～ということは 「主語」
 on オン pron 廷吏が 「主語」
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a emmené. ア・オンネ 3 単現・完了形(emmener)v.t 連れて行った 「動詞句」
 受動態に翻訳する
 C'est alors que ... 「～したのはその時である」→「それで、～した」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

V

司祭に面会するのを断ったのは、これで3回目だ。

Pour la troisième fois, j'ai refusé de recevoir l'aumônier.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Pour プール prep (機会) 〜にあたって

「副詞句」

la troisième fois, ラ・トルワジエーム・フワ n.f 3 回目

「目的語」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai refusé de recevoir エ・ルフュゼ・ドゥ・ルスワ わ・ル 1 単現・完了形・拒否(refuser de+不定詞)

v.t 面会するのを断っていた

「動詞句」

recevoir ルスワ わ・ル v.t 面会する

l'aumônier. ロモニエ n.m (刑務所などの) 施設司祭

「目的語」

司祭に話すことは何もないし、話したくない。彼とはすぐに会うことになるのだから。

Je n'ai rien à lui dire, je n'ai pas envie de parler, je le verrai bien assez tôt.

「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」,

「主語」 「目的語」 「動詞」 「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai ネ 1 単現・否定(avoir)v.t 〜がない

「動詞句」

rien リヤン pron 何も〜ない

「目的語」

à lui dire, ア・リュイ・ディール 不定詞 adj. (目的) 彼に話すべき

「形容詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

n'ai pas ネ・パ 1 単現・否定(avoir)v.t 〜がない

「動詞句」

envie de parler, オンヴァイ・ドゥ・パル n.f 話したいという願望

「目的語」

avoir envie de+不定詞 「〜したい、〜したいと思う」

je ジュ pron 僕は

「主語」

le ル pron 彼に

「目的語」

verrai ウレ 1 単未・確信(voir)v.t 会うに違いない

「動詞」

bien assez tôt. ビヤン・アセト adv. すぐに

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

今僕に関心があることは、このメカニズムから抜け出すことだ。つまりこの避けることのできない機構には、何らかの解決策があるかどうかを知ることだ。

Ce qui m'intéresse en ce moment, c'est d'échapper à la mécanique, de savoir si l'inévitable peut avoir une issue.

「主語」「動詞」「補語」

Ce ス pron それは

「主語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

m' ム pron 僕の

「目的語」

intéresse アンテレス 3 単現(intéresser)v.t 興味を引く

「動詞」

en ce moment, オン・ス・モン adv. 今、現在

「副詞句」

m'を主語として翻訳する

c' ス pron それは

「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ～である

「動詞」

d'échapper デ・シャッペ 不定詞 n.(à から) 逃れること

「補語」

à la mécanique, ア・ラ・メカニク adv. 機構から、メカニズムから

「副詞句」

de savoir ドゥ・サヴァル 不定詞・同格 n. つまり～を知ること

「補語」

si シ conj. ～かどうかということ

「目的語」

l'inévitable リネヴァブル n.m 避けられぬ機構は

「主語」

peut avoir プ・アヴ・ワル 3 単現・可能性(pouvoir+不定詞)

v.t 持っている可能性がある

「動詞句」

une issue. ムヌ・イシュ n.f 出口を、解決策を

「目的語」

僕は独房を替えられた。ここからは、横になると、空が見える。しかも空だけが見える。

On m'a changé de cellule. De celle-ci, lorsque je suis allongé, je vois le ciel et je ne vois que lui.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「目的語」

On オン pron 廷吏は

「主語」

m' ム pron 僕の

「間接目的語」

a changé ア・ションジエ 3 単現・完了形(changer)v.t 変えた

「動詞句」

de cellule. ドゥ・セリュル n.f 独房を

「直接目的語」

De celle-ci, ドゥ・セル・シ adv. ここからは

「副詞句」

lorsque ルスキ conj. ～する時

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

suis allongé, シュイ・アロンジエ 1 単現・受動(allonger)v.t 横になった

「動詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

vois ヴ・ワ 1 単現(voir)v.t 見える

「動詞」

le ciel ル・シエル n.m 空が

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne vois que ヌ・ヴ・わ・パ 1 単現・限定(voir+ne...que)v.t. ～しか見えない

「動詞句」

lui. リュイ pron.m(ciel の代用) それ

「目的語」

僕の毎日は、空の顔に、昼を夜へと導く色の翳りがさすのを見ているうちに過ぎていく。

Toutes mes journées se passent à regarder sur son visage le déclin des couleurs qui conduit le jour à la nuit.

「主語」「動詞句」「副詞句」

Toutes mes journées トゥット・メ・ジュールネ pl.n.f 僕の毎日は

「主語」

se passent ス・パス 3 複現(se passer)v.pr 過ぎ去っていく

「動詞句」

à +不定詞 ア prep (継続) ～しながら

「副詞句」

regarder ルギヤルテ 不定詞 v.t 見る

「動詞」

sur son visage シュール・ソン・ヴィザージュ adv. 空の顔の上に

「副詞句」

le déclin ル・デクラン n.m 翳りを

「目的語」

des couleurs デ・クレール adj. 色の

「形容詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

conduit コンジユイ 3 単現(conduire)v.t 導く

「動詞」

le jour ル・ジュール n.m 昼を

「目的語」

à la nuit. ア・ラ・ニュイ adv. 夜に

「副詞句」

僕は寝ころんで、両手を頭の下に移動して、待つ。

Couché, je passe les mains sous ma tête et j'attends.

「副詞」, 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」 et 「主語」「動詞」

Couché, クシェ 過去分詞・様態(se coucher)adv. 僕は寝ころんだ

「副詞」

je ジュ pron 僕は

「主語」

passe パ・ス 1 単現(passer)v.t 動かす、移動させる

「動詞」

les mains レ・マン pl.n.f 両手を

「目的語」

sous ma tête ス・マ・テット adv. 頭の下に

「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

attends. アトン 1 単現(attendre)v.i 待つ

「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、この抗いがたいメカニズムから脱出し、死刑執行の前に失踪して、警察の非常線を突破できた死刑囚の前例があったのではないか、と何度自問したか分からない。

Je ne sais combien de fois je me suis demandé s'il y avait des exemples de condamnés à mort qui eussent échappé au mécanisme implacable, disparu avant l'exécution, rompu les cordons d'agents. 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

ne sais ノセ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない 「動詞句」

combien de fois コンビヤン・ドゥ・フワ conj. 何回～したかということ 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis demandé ム・シュイ・ドゥ・モンテ 1 単現・完了形(se demander)

v.pr 自問した 「動詞句」

s' シ conj. ～かどうかということ 「目的語」

il y avait イ・リ・アヴエ 3 単半(il y avoir)v.t ～があった 「動詞句」

des exemples テ・セグザンプル pl.n.m 例が 「目的語」

de condamnés à mort トゥ・コンダムネ・ア・モール

adj. 死刑囚の 「形容詞句」

qui キ pron.pl (主語) ～する 「形容詞節」

eussent échappé イス・エシャペ 接・3 複半・完了形・推測(échapper)

v.i 逃げた 「動詞句」

au mécanisme implacable, オ・メカニスム・アンプレカーブル

adv. 抵抗し難いメカニズムから 「副詞句」

disparu ティスパリュ 接・3 複半・完了形・推測(disparaître)

v.i 見えなくなった、失踪した 「動詞句」

avant アヴァン prep (時間) ～の前に 「副詞句」

l'exécution, レグゼキューション

n.f 死刑執行、処刑 「目的語」

rompu ロンピュ 接・3 複半・完了形・推測(rompre)

v.t 破った、突破した 「動詞句」

les cordons レ・コルトン

pl(cordon).n.m ひも、非常線 「目的語」

d'agents. タグション

adj. 警察の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それで僕は、死刑の話にあまり注意を払わないでできたことについて、自分を責めている。

Je me reprochais alors de n'avoir pas prêté assez d'attention aux récits d'exécution.

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me reprochais ム・プロシェ 1 単半(se reprocher)

v.pr(de+不定詞・完了形) ～したことについて自分をとがめている

「動詞句」

alors アー adv. それで

「副詞」

de n'avoir pas prêté トゥ・ナヴ・ワ・ル・パ・プレ 不定詞・完了形・否定

adv. (à に... を) 払わなかったことに

「間接目的語」

assez d'attention アセ・ダ・ンション n.f 十分な注意を

「直接目的語」

aux récits d'exécution. オ・レシ・デ・グセ・クション adv. 死刑の話に

「間接目的語」

この問題にはいつも関心を持つべきだ。何が起こるか分からないのだから。

On devrait toujours s'intéresser à ces questions. On ne sait jamais ce qui peut arriver.

「主語」「動詞句」「間接目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

On オン pron 人は

「主語」

devrait toujours s'intéresser トゥ・グアレ・トゥ・ジュール・サンテレス 条・3 単現・必要・推量

(devoir+不定詞 s'intéresser)v.pr(à に) いつも関心を持つべきだ

「動詞句」

à ces questions. ア・セ・ケスチョン adv. この問題に

「間接目的語」

On オン pron 人は

「主語」

ne sait jamais ネ・セ・ジャメ 3 単現・否定・強調(savoir)v.t 決して分からない

「動詞句」

ce ス pron それを

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

peut arriver. フ・アリグエ 3 単現・可能性(pouvoir+不定詞)

v.i 起こるかもしれない

「動詞句」

僕も、皆と同じように新聞記事を読んだことがある。

Comme tout le monde, j'avais lu des comptes rendus dans les journaux.

「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」

Comme tout le monde, コム・トゥ・ル・モント adv. 皆と同じように

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais lu アヴィ・エ・リュ 1 単半・完了形・経験(lire)v.t 読んだことがある

「動詞句」

des comptes rendus テ・コントゥ・ロンジュ pl(compte).n.m 記事

「目的語」

compte コントゥ n.m 報告、レポート rendu ロンジュ adj. 表現された

dans les journaux. トン・レ・ジュール adv. 新聞の

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし、そのことに関する専門書があるはずだが、僕はそれについて調べてみようという好奇心を持ったことは一度もなかった。

Mais il y avait certainement des ouvrages spéciaux que je n'avais jamais eu la curiosité de consulter. Mais 「動詞句」「副詞」「目的語」

Mais メ conj. しかし

il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t. ～があった 「動詞句」

certainement セルテヌモン adv. きつと、確実に 「副詞」

des ouvrages テ・スウラージュ pl(ouvrage).n.m 書物 「目的語」

spéciaux スペシオ adj(special).m.pl 特別の、専門の 「形容詞」

que ク conj. (譲歩) ～なのだが 「形容詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais jamais eu ナヴェ・ジャメ・ジ 1 単半・完了形・否定(avoir)

v.t 持ったことは1度もなかった 「動詞句」

la curiosité ラ・クリオシテ n.f 好奇心を 「目的語」

de consulter. トゥ・コンスルテ 不定詞・目的
adj. 調べるための 「形容詞句」

恐らくそこに、僕は脱走の話をみつけただろう。

Là, peut-être, j'aurais trouvé des récits d'évasion.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Là, ラー adv. そこに 「副詞」

peut-être, プ・テートル adv. 恐らく 「副詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais trouvé オーレ・トゥルヴェ 条・1 単現・完了形・推量(trouver)v.t 見つけただろう 「動詞句」

des récits テ・レシ pl.n.m 話を 「目的語」

d'évasion. テウヴァシオン adj. 脱走の 「形容詞句」

そして僕は知ることが出来ただろう。歯車が止まった事例は少なくとも 1 つはある事、そして、この抑えられない計画の中で、偶然と幸運が一度だけ何かを変え得た事を。

J'aurais appris que dans un cas au moins la roue s'était arrêtée, que dans cette préméditation irrésistible, le hasard et la chance, une fois seulement, avaient changé quelque chose. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais appris オーレ・アプリ 条・1 単現・完了形・推量(apprendre)v.t 知っただろう 「動詞句」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

dans un cas ドン・ザン・カー adv. 1 つの事例では 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| au moins オ・ムワソ adv. 少なくとも | 「副詞句」 |
| la roue ラ・ルー n.f 歯車は、車輪は | 「主語」 |
| s'était arrêtée, セテ・アレテ 3 単半・完了形(s'arrêter)v.pr 止まった | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| dans cette préméditation トン・セツ・プレメディタシヨ adv. この計画の中で | 「副詞句」 |
| irrésistible, イレジスチブル adv. 抑えられない | 「形容詞」 |
| le hasard ル・アザール n.m 偶然が | 「主語」 |
| et エ conj. そして | |
| la chance, ラ・シヨンス n.f 幸運が | 「主語」 |
| une fois seulement, ユヌ・フワ・スルモン adv. 一度だけ | 「副詞句」 |
| avaient changé アヴ・ェ・シヨンジ・ェ 条・3 複現・完了形・推量(changer) | |
| v.t 変えたかもしれない | 「動詞句」 |
| quelque chose. ケルキ・ショーズ n.f 何かを | 「目的語」 |

1 回！ある意味、その 1 回があれば、僕には十分だっただろう。その他の例は、僕の心が作り出すことができただろう。

Une fois! Dans un sens, je crois que cela m'aurait suffi. Mon coeur aurait fait le reste.

| | |
|---|---------|
| 「間投」 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 「主語」「動詞句」「目的語」 | |
| Une fois! ユヌ・フワ n.f 1 回 | 「間投」 |
| Dans un sens, トン・サン・ソンス adv. (場所) ある意味において | 「副詞句」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| crois クルワ 1 単現(croire)v.t(que ～と) 思う | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| cela スラ pron それは (その 1 日は) | 「主語」 |
| m' ム pron 僕にとって | 「間接目的語」 |
| aurait suffi. オレ・シフィ 条・3 単現・完了形・推量(suffire) | |
| v.i(à に) 十分だっただろう | 「動詞句」 |
| Mon coeur モン・ケール n.m 僕の心が | 「主語」 |
| aurait fait オレ・フェ 条・3 単現・完了形・推量(faire)v.t (何かを) しただろう | 「動詞句」 |
| faire フェール v.t 作る、こしらえる、する、行う | |
| le reste. ル・レスト n.m 残りを、その他のことを | 「目的語」 |
| 新聞の記事では見つからなかった、その他の事例 | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

新聞はよく、社会に対して返済すべき借りというような論調で語るものである。

Les journaux parlaient souvent d'une dette qui était due à la société.

「主語」「動詞」「副詞句」

Les journaux レ・ジュルノー pl(journal).n.m 新聞は 「主語」
 parlaient パル 3 複半・習慣・時制の一致(parler)v.i 話すものだ 「動詞」
 souvent スヴオン adv. よく、しばしば 「副詞」
 d'une dette ジュヌ・デット adv. (関連) 借金について、(様態) 借金のよう 「副詞句」
 parler de qch (関連) ~について話す de cette façon (様態) そんな風に
 qui キ pron.f (主語: dette) ~する 「形容詞節」
 était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
 due デュ adj.f (à に) 支払うべき 「補語」
 à la société. ア・ラ・ソシエ adv. 社会に対して 「副詞句」

新聞に従えば、借りは返さなければならない。しかし、これは想像力に語り掛けない。

Il fallait, selon eux, la payer. Mais cela ne parle pas à l'imagination.

「動詞句」「副詞句」「動詞句」 | Mais 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Il fallait, イル・ファレ 非人称・3 単半(il falloir+不定詞)v.h ~しなければならない 「動詞句」
 selon eux, スロン・イ adv. 新聞に従えば 「副詞句」
 la ラ pron 借りを 「目的語」
 payer. ペ・イ 不定詞 v.t 支払う 「動詞句」
 Mais メ conj. しかし
 cela スラ pron このことは 「主語」
 ne parle pas ス・パル・パ 3 単現・否定(parler)v.i 話さない、語り掛けない 「動詞句」
 à l'imagination. ア・リマジナシオン adv. 想像力に 「間接目的語」

大事なことは、脱走のチャンスだ。すなわち、冷酷な儀式の外への飛び出しや、希望のすべての可能性をかなえてくれる一心不乱の疾走についてだ。

Ce qui comptait, c'était une possibilité d'évasion, un saut hors du rite implacable, une course à la folie qui offrit toutes les chances de l'espoir.

「主語」「動詞」「補語」, 「補語」

Ce ク pron そのことは 「主語」
 qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」
 comptait, コンテ 3 単半・時制の一致(compter)v.i 重要である 「動詞」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
 une possibilité エヌ・ポシビリテ n.f チャンス、可能性、手段 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--------------------------------|---------------------------------|--------|
| d'évasion, デウヴァジヨ | adj. 脱出の、脱走の | 「形容詞句」 |
| un saut アン・ソー | n.m 一飛び、飛び出し | 「補語」 |
| hors du rite オール・ジュー・リト | adv. 儀式の外への | 「副詞句」 |
| implacable, アンプレカーブル | adj. 冷酷な、容赦のない | 「形容詞」 |
| une course ユヌ・クルス | n.f 疾走 | 「補語」 |
| à la folie ア・ラ・フォー | adv. 夢中の、一心不乱の | 「副詞句」 |
| qui キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| offrit オフリ | 接・3 単半・可能性・推量(offrir)v.t 与えてくれる | 「動詞」 |
| toutes les chances トゥット・レ・シヨンス | pl.n.f すべての可能性を | 「目的語」 |
| de l'espoir. ドゥ・レスプ・わ | ル adj. 希望の | 「形容詞句」 |

Ce qui compte, c'est... 「大事なことは～だ」

もちろん、希望というのは疾走中に飛んでくる弾丸によって街角に撃ち倒されることだ。

Naturellement, l'espoir, c'était d'être abattu au coin d'une rue, en pleine course, et d'une balle à la volée.

| | | |
|--------------------------------|----------------------------|-------|
| Naturellement, ナチュレルモン | adv. もちろん、当然 | 「副詞」 |
| l'espoir, レスポ・わ | n.m 希望は | 「主語」 |
| c' ス | pron それは | 「主語」 |
| était エテ | 3 単半時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| d'être abattu デートル・アバチュ | 不定詞・受動(abattre)n. 撃ち倒されること | 「補語」 |
| au coin d'une rue, オクワソ・ジユヌ・リュ | adv. 街角に | 「副詞句」 |
| coin クワソ | n.m 角 | |
| rue リュ | n.f 街、街頭 | |
| en pleine course, オン・プレヌ・クルス | adv. 疾走中に | 「副詞句」 |
| et エ | conj. そして | |
| d'une balle ジユヌ・バル | adv. (動作主) 弾丸によって | 「副詞句」 |
| à la volée. ア・ラ・ヴォレ | adv. 飛んでくる、空中で | 「副詞句」 |

だがどれ程よく考えても、僕にはこの贅沢は許されない。メカニズムが再び僕を捕らえる。

Mais tout bien considéré, rien ne me permettait ce luxe, tout me l'interdisait, la mécanique me reprenait.

| | | | | |
|---------------------|----------------|----------------|---------|------------|
| Mais | 「副詞句」, 「主語」 | 「動詞句」 | 「間接目的語」 | 「直接目的語」, |
| | 「主語」 | 「間接目的語」 | 「直接目的語」 | 「動詞」, 「主語」 |
| | 「目的語」 | 「動詞」 | | |
| Mais | メ | conj. しかし | | |
| tout bien トゥ・ビヤン | adv. 非常に良く | 「副詞句」 | | |
| considéré, コンシデレ | 過去分詞・受動・条件・譲歩 | adv. 考えられたとしても | 「副詞句」 | |
| tout bien considéré | 「あらゆる点を検討した結果」 | | | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|---------|
| rien リヤン pron 何物も | 「主語」 |
| ne ...permettait ス...ペルメテ 3 単半・否定・時制の一致(permettre)v.t 許さない | 「動詞句」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| ce luxe, ス・リュクス n.m この贅沢を | 「直接目的語」 |
| tout トゥ pron すべてが | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| l' ル pron(luxe の代用) それを | 「直接目的語」 |
| interdisait, アンテルディゼ 3 単半・時制の一致(interdire)v.t 禁じる | 「動詞」 |
| la mécanique ラ・メカニキ n.f メカニズムが、機構が | 「主語」 |
| me ム pron 僕を | 「目的語」 |
| reprenait. ルプレネ 3 単半・時制の一致(reprendre)v.t 再び捕らえる | 「動詞」 |

僕の善意がどれ程であろうと、有無を言わせぬこの確実性を受け入れる訳にはいかない。

Malgré ma bonne volonté, je ne pouvais pas accepter cette certitude insolente.

| | |
|---|---------------------|
| | 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 |
| Malgré マルグレ prep 〜にもかかわらず | 「副詞句」 |
| ma bonne volonté, マ・ボンヌ・ウ・ォンテ n.f 僕の善意 | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne pouvais pas accepter ス・プウヴェ・パ・アクセプテ 1 単半・可能性・否定(pouvoir+不定詞) | |
| v.t 受け入れることは出来ないだろう | 「動詞句」 |
| cette certitude セット・セルチユード n.f この確実性を | 「目的語」 |
| insolente. アンソロント adj. 無礼な、有無を言わせない | 「形容詞」 |

なぜなら、その確実性を根拠づけたこの判決とこの判決が宣告された後の平然とした推移との間には、おかしな不釣り合いがあるからだ。

Car enfin, il y avait une disproportion ridicule entre le jugement qui l'avait fondée et son déroulement imperturbable à partir du moment où ce jugement avait été prononcé.

| | |
|--|------------------------|
| | 「副詞句」, 「動詞句」「目的語」「副詞句」 |
| Car enfin, カル・オンファン adv. なぜならつまり | 「副詞句」 |
| il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t 〜があった | 「動詞句」 |
| une disproportion ridicule ユンス・ディスプロポーション・リディキュル n.f おかしな不釣り合い | 「目的語」 |
| entre オントル prep (空間) (2 つの物の) 間に | 「副詞句」 |
| le jugement ル・ジュジュモン n.m この判決 | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) 〜する | 「形容詞節」 |
| l' ラ pron (certitude の代用) それを | 「目的語」 |
| avait fondée アヴェ・フォンテ 3 単半・完了形(fonder) | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| v.t 根拠を与えた | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして、と | |
| son déroulement imperturbable ソン・デロールモン・インパルチュルバール | |
| n.m その平然とした推移 | 「目的語」 |
| à partir du moment ア・パルティール・ジューモン adv. その時からの | 「副詞句」 |
| où ウ conj. ～する | 「形容詞節」 |
| ce jugement ス・ジュージュモン n.m この判決が | 「主語」 |
| avait été prononcé. アヴェ・エテ・プロンセ 3 単半・完了形・受動(prononcer) | |
| v.t 宣告された | 「動詞句」 |

判決が読み上げられたのは、17 時ではなく 20 時だという事実。その判決は全く別のものになり得たという事実。さらにそれは下着を替える人々によって決定されたし、その上フランス国民（あるいはドイツ国民や中国国民）といったあいまいな観念を信用の土台にしている。これらすべてを考慮すると、こんな決定が真剣に下されたとは到底思えない。

Le fait que la sentence avait été lue à vingt heures plutôt qu'à dix-sept, le fait qu'elle aurait pu être tout autre, qu'elle avait été prise par des hommes qui changent de linge, qu'elle avait été portée au crédit d'une notion aussi imprécise que le peuple français (ou allemand, ou chinois), il me semblait bien que tout cela enlevait beaucoup de sérieux à un telle décision.

Le fait ル・フェ n.m 事実 「主語」

| | |
|---|--------|
| 判決を受け入れられない根拠の列挙 | |
| que ク conj. (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| la sentence ラ・ソントス n.f 判決は | 「主語」 |
| avait été lue アヴェ・エテ・リュ 3 単半・完了形・受動.f(lire) | |
| v.t 読み上げられた | 「動詞句」 |
| à vingt heures ア・ヴァン・テール adv. 20 時に | 「副詞句」 |
| plutôt qu'à dix-sept, プリュト・クワ・デッセツ adv. 17 時ではなくて | 「副詞句」 |

... plutôt que ～ 「～よりはむしろ...」

| | |
|---|--------|
| le fait ル・フェ n.m 事実 | 「主語」 |
| qu' ク conj. (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| elle エル pron (sentence の代用) それは | 「主語」 |
| aurait pu être オーレ・ピュ・エートル 条・3 単現・完了形・可能性・推測(pouvoir+不定詞) | |
| v.i ～であり得たかもしれない | 「動詞句」 |
| tout autre, トゥ・オートル pron 全く別の物 | 「補語」 |
| qu' ク conj. (同格) ～という | 「形容詞節」 |
| elle エル pron (sentence の代用) それは | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avait été prise アヴェ・テ・プリズ 3 単半・完了形・受動.f(prendre)

v.t 採用された

「動詞句」

par des hommes パール・デ・ゾム adv. (動作主) 人々によって

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

changent ションジュ 3 複現(changer)

v.i(de+無冠詞名詞 を) 変える

「動詞」

de linge, トゥ・ランジュ adv. 下着を

「間接目的語」

→ すぐに自分の信念を変えるような人間を指すたとえ?

qu' ク conj. (同格) ～という

「形容詞節」

elle エル pron (sentence の代用) それは

「主語」

avait été portée アヴェ・テ・ポルテ 3 単半・完了形・受動.f(porter)

v.t (信頼を) 置かれている

「動詞句」

au crédit オ・クレディ adv. 信頼に、信用に

「間接目的語」

d'une notion テュヌ・ノオン adj. ある観念の

「形容詞句」

aussi imprécise que オシ・アンプレシズ・ク

adj(imprécis).f と同様にあいまいな 「形容詞句」

le peuple français ル・ジュージョモン・プー・ル・フロンセ

n.m フランス国民

「目的語」

(ou allemand, ou chinois), ウ・アルモン・ウ・シヌ adv. またはドイツ国民とか中国人

「副詞句」

il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

me ム pron 僕には

「間接目的語」

semblait ソンブレ 3 単半・時制の一致(sembler)v.i ～のように思われる

「動詞」

bien ビヤン adv. 良く

「副詞」

que ク pron ～ということは

「主語」

tout cela トゥ・スラ pron これらはすべて

「主語」

enlevait オンルヴェ 3 単半・時制の一致(enlever)v.t 取り除いている

「動詞」

beaucoup de sérieux ボク・トゥ・セリュ n.m 真剣さを

「目的語」

à un telle décision. ア・ウン・テル・デジシヨン adv. そんな決定に対して

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし、この判決が下されたその瞬間から、僕の全身を包み込んで押し潰すこの壁と同様に、その効力は確実に絶対的なものになることを認めざるを得なかった。

Pourtant, j'étais obligé de reconnaître que dès la seconde où elle avait été prise, ses effets devenaient aussi certains, aussi sérieux, que la présence de ce mur tout le long duquel j'écrasais mon corps. Pourtant 「主語」「動詞句」「目的語」

Pourtant, プルトン conj. それでも、しかし

j' ジュ pron 僕は 「主語」

étais obligé de reconnaître エテ・オブリジエ・トウ・ルネートル 1 単半・義務(être obligé de+不定詞)

v.t. ～を認めざるを得なかった 「動詞句」

être obligé de+不定詞 「～せざるを得ない」 reconnaître ルネートル v.t. 認める

que ク conj. ～ということ 「目的語」

dès la seconde デ・ラ・スコントゥ adv. (時間・起点) この瞬間から 「副詞句」

où ウ adv. ～する 「形容詞節」

elle エル pron.f (sentence の代用) 判決が 「主語」

avait été prise, アヴェ・テ・プリズ 3 単半・完了形・受動(prendre)

v.t. 下された 「動詞句」

ses effets セ・ゼフェ pl(effet)n.m. その効力は 「主語」

devenaient トゥヴェネ 3 複半・時制の一致(devenir)v.i. ～になる 「動詞」

aussi certains, オシ・セルタン adj. 同様に確実な 「補語」

aussi sérieux, オシ・セリュ adj. 同様に重大な 「補語」

que ク conj (aussi...que) (比較) ～と 「副詞句」

la présence ラ・プレザンス n.f. 存在 「目的語」

de ce mur トゥ・ス・ミュール adj. この壁の 「形容詞句」

tout le long duquel トゥ・ル・ロン・ジユケル

adv. それに沿って 「副詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

écrasais エクラセ 1 単半・時制の一致(écraser)

v.t. 押しつぶす 「動詞」

mon corps. モン・コール

n.m. 自分の体を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

こんな時に、僕は母さんが父さんのことを話してくれた話を思い出した。

Je me suis souvenu dans ces moments d'une histoire que maman me racontait à propos de mon père.

Je ジュ pron 私は 「主語」
 me suis souvenu ム・シュイ・スヴ`ニュ 1 単現・完了形(se souvenir)
 v.pr(de を) 思い出した 「動詞句」
 dans ces moments トン・セ・モメン adv. こういう時に 「副詞句」
 d'une histoire ジュンヌ・イストワール adv. ある話を 「間接目的語」
 que ク pron (直接目的語) ~する 「形容詞節」
 maman マモン n.f 母さんが 「主語」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 racontait ラコンテ 3 単半(raconter)v.t 話した 「動詞」
 à propos de ア・プロポ`・ドゥ prep (関連) ~に関して 「間接目的語」
 mon père. モン・ペール n.m 父さん 「目的語」

僕は父さんを知らなかった。父さんについて僕が知っていることといえば、たぶん、その時母さんが言った：父さんは殺人犯の死刑執行を見に行った、ということだけだろう。

Je ne l'avais pas connu. Tout ce que je connaissais de précis sur cet homme, c'était peut-être ce que m'en disait alors maman: il était allé voir exécuter un assassin.

「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「補語」
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 ne...avais pas connu. ス...アヴ`ェ・パ`・コニュ 1 単半・完了形・否定(connaître)
 v.t 知らなかった 「動詞句」
 l' ル pron とうさんのことを 「目的語」
 Tout ce トゥ・ス pron すべてのことは 「主語」
 que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 connaissais コネッセ 1 単半・時制の一致(connaître)v.t 知っている 「動詞」
 de précis ドゥ・プレシ adv. はっきりと、くっきりと 「副詞句」
 sur cet homme, シュール・セツ・トム adv. (関連) 父さんについて 「副詞句」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」
 peut-être プ`・テートル adv. おそらく、多分 「副詞句」
 ce ス pron それ 「補語」
 que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| en オン adv. 父さんについて | 「副詞」 |
| disait ディゼ 3 単半(dire)v.t 言った | 「動詞」 |
| alors アール adv. その時に | 「副詞」 |
| maman: マモン n.f 母さんが | 「主語」 |
| il イル pron 父さんは | 「主語」 |
| était allé voir exécuter エテ・アレ・ウゝ わ・ル・エグゼキユテ 3 単半・完了形・知覚動詞 | |
| v.t(aller voir+不定詞 exécuter) 死刑執行を見に行つた | 「動詞句」 |
| aller voir 「見に行く」 voir+不定詞 「～するのを見る」 | |
| un assassin. アン・アサシオン n.m 殺人者の | 「目的語」 |

父さんは、そこへ行くと考えただけで気分が悪くなってしまった。

| | |
|--|--------------|
| <u>Il était malade à l'idée d'y aller.</u> | 「主語」「動詞」「補語」 |
| Il イル pron 彼は (父さん) | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・変化(être)v.i ～になった | 「動詞」 |
| malade マラッド adj. 気分が悪い | 「補語」 |
| à ア prep (原因) ～のせいで | 「副詞句」 |
| l'idée リデ n.f 考え | 「目的語」 |
| d'y aller. ディ・アレ adj. (同格) そこへ行くという | 「形容詞句」 |

それでもそれを見に出かけた。そして帰ってくると、午前中しばらく吐いていた。

| | |
|---|---|
| <u>Il l'avait fait cependant et au retour il avait vomi une partie de la matinée.</u> | 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞」et「副詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」 |
| Il イル pron 彼は (父さん) | 「主語」 |
| l'ラ pron (l'idée の代用) その考えを | 「目的語」 |
| avait fait アヴィエ・フェ 3 単半・完了形(faire)v.t 実行した | 「動詞句」 |
| cependant スポントソ adv. それにもかかわらず | 「副詞」 |
| et エ conj. そして | |
| au retour オルトゥール adv. 帰ってくると | 「副詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| avait vomi アヴィエ・ヴォミ 3 単半・完了形(vomir)v.t 吐いた | 「動詞句」 |
| une partie エヌ・パルティ n.f 一部分 | 「副詞句」 |
| de la matinée. ドゥ・ラ・マチネ adj. 午前中の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

その時、僕は父さんに対して少し嫌悪感を抱いた。

Mon père me dégoûtait un peu alors. 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」
 Mon père モン・ペール n.m 父さんは 「主語」
 me ム pron 僕に 「目的語」
 dégoûtait デグテ 3 単半(dégoûter)v.t 嫌悪感を催させた 「動詞」
 un peu アン・フ adv. 少し 「副詞句」
 alors. アロー adv. その時 「副詞」

今なら、理解できる。それは全く自然な行為だ。

Maintenant, je comprenais, c'était si naturel. 「副詞」, 「主語」「動詞」, 「主語」「動詞」「補語」
 Maintenant, マントゥナン adv. 今は、今なら 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 comprenais, コンプルネ 1 単半・時制の一致(comprendre)v.t 理解できる 「動詞」
 c' ス pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」
 si naturel. シ・ナチュレル adj. 全く自然な 「補語」
 si は強調 (とても、非常に、まったく)

どうして僕は、死刑執行よりも重要なことは何もないということ、そして結局、それが人間にとって本当に興味深い唯一のものだということが分からなかったのだろう！

Comment n'avais-je pas vu que rien n'était plus important qu'une exécution capitale et que, en somme, c'était la seule chose vraiment intéressante pour un homme!

「副詞」「動詞句」「主語」「動詞句」「目的語」 et 「目的語」
 Comment コモン adv. どうして 「副詞」
 n'avais... pas vu ナヴェ...パ・グ ヌ 1 単半・完了形・否定(voir)v.t 分からなかった 「動詞句」
 → 自問
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 que ク conj. 〜ということ を 「目的語」
 rien リヤン pron 何も〜ない 「主語」
 n'était ネテ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i 〜でない 「動詞句」
 plus important プリュ・サンポルトン adj. より重要な 「補語」
 qu' ク conj. (比較) 〜よりも 「副詞句」
 une exécution capitale エヌ・エクゼキューション・キャピタル
 n.f 死刑執行 「目的語」
 et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| que, ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| en somme, オン・ソム adv. 結局 | 「副詞句」 |
| c' ス pron (exécution capitale の代用) それが | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| la seule chose ラ・スル・ショーズ n.f 唯一の物 | 「補語」 |
| vraiment intéressante ヴレモン・アンテレスント adj. 本当に興味深い | 「形容詞句」 |
| pour un homme! プール・アン・ノム adv. 人間にとって | 「副詞句」 |

万一この監獄から出られたら、すべての死刑執行を見に行こう。

| | |
|--|-------------------------|
| <u>Si jamais je sortais de cette prison, j'irais voir toutes les exécutions capitales.</u> | 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 |
| Si jamais シ・ジヤメ conj. (仮定) 万一～ならば | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| sortais ソルテ 1 単半(sortir)v.i(de から) 出た | 「動詞」 |
| de cette prison, トゥ・ウ・セツ・プ・リゾン adv. この監獄から | 「副詞節」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| irais voir シール・ウ・ワール 条・1 単現・しに行く・意志(aller+不定詞) | |
| v.t 見に行こう | 「動詞句」 |
| toutes les exécutions capitales. トゥット・レ・エクスキュション・キャピタル | |
| pl.n.f すべての死刑執行を | 「目的語」 |

僕が思うには、このような可能性について考えることは間違いだった。

| | |
|---|-------------------------------|
| <u>J'avais tort, je crois, de penser à cette possibilité.</u> | 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞節」, 「形容詞句」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t ～があった | 「動詞」 |
| tort, トール n.m 間違い | 「目的語」 |
| je crois, ジュ・クルワ adv. 僕が思うには | 「副詞節」 |
| de penser トゥ・ウ・ポンス 不定詞・同格 v.i (à について) 考えるのは | 「形容詞句」 |
| à cette possibilité. ア・セツ・ポシビリテ adv. この可能性について | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

なぜなら、朝方に云わば今とは反対の立場で警官の列の後ろに自由な身になった自分の姿を見ることを想像したり、自分は死刑執行を見に来て、後で嘔吐することが出来る見物人であると想像すると、毒を含んだ喜びの感情の高まりが僕の心に湧き上がってきたからだ。

Car à l'idée de me voir libre par un petit matin derrière un cordon d'agents, de l'autre côté en quelque sorte, à l'idée d'être le spectateur qui vient voir et qui pourra vomir après, un flot de joie empoisonnée me montait au cœur.

Car 「副詞句」, 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「間接目的語」

Car カール conj. なぜなら

à l'idée de +不定詞 ア・リテ・ドゥ adv. ～と思うと 「副詞句」

me ム pron 僕を 「目的語」

voir ヴェール 不定詞 v.t 見る 「動詞」

libre リーヴル adj. 自由な身の 「補語」

par un petit matin パール・アン・プチ・マタン adv. 朝方に 「副詞句」

derrière un cordon d'agents, テリエール・アン・コルドン・ダジヨン
adv. (位置) 警官の列の後ろに 「副詞句」

cordon コルドン n.m ひも状に連なったもの、列 agents アジヨン n.m 警官

de l'autre côté ドゥ・オートル・コテ adv. 反対側に 「副詞句」

en quelque sorte, オン・ケルク・ソルト adv. いわば、ほとんど 「副詞句」

à l'idée d' +不定詞 ア・リテ・ドゥ adv. ～と思うと 「副詞句」

être エートル 不定詞 v.i ～である 「動詞」

le spectateur ル・スペクタテル n.m 見物人 「補語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

vient voir ヴィヤン・ヴェール 3 単現・しに来る(venir+不定詞)

v.i 見に来た 「動詞句」

et エ conj. そして

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

pourra vomir プラ・ヴァォミル 3 単未・可能(pouvoir+不定詞)

v.i 嘔吐できる 「動詞句」

après, アプレ adv. 後で 「副詞」

un flot アン・フロ n.m 流れが 「主語」

de joie ドゥ・ジョエ adj. 喜びの 「形容詞句」

empoisonnée アンプ・リゾネ 過去分詞・受動.f(empoisonner)

adj.f 毒を含んだ 「形容詞」

me ム pron 僕の 「間接目的語」

montait モンテ 3 単半(monter)v.i 湧き上がって来た 「動詞」

au cœur. オ・ケール adv. 心に 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし、この考えは理性的ではない。

Mais ce n'était pas raisonnable.

Mais 「主語」「動詞句」「補語」

Mais メ conj. しかし

ce ス pron これは

「主語」

n'était pas 衶・ハ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i 〜でない

「動詞句」

raisonnable. レゾナブル adj. 常識的な、理性的な

「補語」

このような仮定に夢中になったのは間違いだった。というのは、次の瞬間、僕は恐ろしいほどの寒気を感じて、毛布の下で縮み上がっていたのだから。

J'avais tort de me laisser aller à ces suppositions parce que, l'instant d'après, j'avais si affreusement froid que je me recroquevillais sous ma couverture.

「主語」「動詞」「目的語」

parce que 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」 que 「主語」「動詞句」「副詞句」

J'avais tort

J' ジュ pron 私は

「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 〜があった

「動詞」

tort, トル n.m 間違い

「目的語」

de +不定詞 トゥ 不定詞・同格 adj. 〜することは

「形容詞句」

me laisser aller ム・レッセ・アレ 不定詞(se laisser aller à 〜に)

v.pr 身を委ねる

「動詞句」

à ces suppositions ア・セ・シュポジション

adv. このような仮定に

「間接目的語」

parce que, ハルス・キ conj. なぜなら

l'instant d'après, ランストン・ダブレ adv. 次の瞬間

「副詞句」

j' ジュ pron 私は

「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t 〜があった

「動詞」

si affreusement froid シ・アフルズモン・フル n.m 恐ろしいほどの寒気

「目的語」

que ク conj. (si...que ととも〜なので) (結果) 〜する

je ジュ pron 私は

「主語」

me recroquevillais ム・ルクロクヴィエイ 1 単半(se recroqueviller)

v.pr 自分の体が縮みあがった

「動詞句」

sous ma couverture. ス・マ・クーヴァエルチュール adv. 毛布の下で

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はこらえ切れずに歯嚙みした。

Je claquais des dents sans pouvoir me retenir. 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

claquais クラケ 1 単半(claquer)v.t (歯・舌を) 鳴らした 「動詞」

des dents デ・ドン pl(dent)n.f 歯を 「目的語」

claquer des dents 「恐くて(寒さで) 歯がなる」

sans +不定詞 ソン adv. ～せずに 「副詞句」

pouvoir +不定詞 プウ・ワール 不定詞・可能 v. ～できる 「動詞句」

me retenir. ム・ルトゥニール 不定詞(se retenir)v.pr こらえる 「動詞句」

だが当然、いつでも理性的でいられる訳ではない。

Mais, naturellement, on ne peut pas être toujours raisonnable.

Mais 「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

Mais, メ conj. しかし

naturellement, ナチュレルモン adv. 当然 「副詞」

on オン pron 人は 「主語」

ne peut pas être ヌ・プ・パ・セートル 3 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.i. ～でいることが出来ない 「動詞句」

toujours トウジュール adv. いつでも 「副詞」

raisonnable. レゾナブル adj. 理性的な 「補語」

例えば、時には、法案を作って刑法を改正してみた。

D'autres fois, par exemple, je faisais des projets de loi. Je réformais les pénalités.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

D'autres fois, ドートル・フワ adv. 別の時には、ある時は 「副詞句」

par exemple, パー・レグゾンブル adv. 例えば 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

faisais フェ 1 単半(faire)v.t. ～を作った、(行為を) した 「動詞」

des projets デ・プロジエ pl.n.m 草案を、計画 「目的語」

de loi. トウールワ adj. 法律の 「形容詞句」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

réformais レフォルメ 1 単半(réformer)v.t 改正した 「動詞」

les pénalités. レ・ペナテ pl(pénalité)n.f 刑法を (= droit pénal)、刑罰 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、受刑者に一度だけチャンスを与えることが最も重要だと指摘した。

J'avais remarqué que l'essentiel était de donner une chance au condamné.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

avais remarqué アヴァ・マルケ 1 単半・完了形(remarquer)v.t(que ～と) 指摘した「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

l'essentiel レソシヤル n.m 最も重要なことは

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

de donner トゥ・ドネ 不定詞 n. 与えること

「補語」

une chance エヌ・シヨンス n.f 1 度のチャンスを

「直接目的語」

au condamné. オ・コンダムネ adv. 受刑者に、(特に) 死刑囚に

「間接目的語」

状況を改善するには、千にたった一度のチャンスで十分である。

Une seule sur mille, cela suffisait pour arranger bien des choses.

「主語」「動詞」「副詞句」

Une seule sur mille, エヌ・スル・シュール・ミル n.f 千にたった一度のチャンスは

「主語」

cela スラ pron それは

「主語」

suffisait シュフィヤ 3 単半・時制の一致(suffire)

v.i(pour+不定詞 ～するのに) 十分である

「動詞」

pour arranger プール・アロンジェ 不定詞・目的 v.t 整えるために

「副詞句」

bien ビヤン adv. 良く

「副詞」

des choses. デ・シヨース pl(chose).n.f 状況を、物事を

「目的語」

だから、受刑者（僕は治療を受ける患者を想定している）が飲んだら、10 人中 9 人は命を落とすような化合物を開発することは可能だと思う。

Ainsi, il me semblait qu'on pouvait trouver une combinaison chimique dont l'absorption tuerait le patient (je pensais: le patient) neuf fois sur dix.

「副詞」「間接目的語」「動詞」「主語」

Ainsi, アンシ adv. だから、そんなわけで

「副詞」

il イル pron 仮の主語（真の主語は qu'以降）

me ム pron 僕には

「間接目的語」

semblait シンブレ 3 単半・時制の一致(sembler)v.i 思われる

「動詞」

qu' ク conj. ～ということが

「主語」

on オン pron 人は

「主語」

pouvait trouver プヴァ・トゥルヴ 3 単半・可能・時制の一致(pouvoir+不定詞)

v.t 考えつくことが出来る

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | |
|--------------------------|---------------|-----------------------------|--------|
| une combinaison chimique | コンヌ・コンビネゾン・キミ | n.f 化合物を | 「目的語」 |
| dont | ドン | pron それについて～する | 「形容詞節」 |
| l'absorption | ラプ・ソルプ・シヨ | n.f 摂取が | 「主語」 |
| tuerait | チュエ | 条・3 単現・推量(tuer) | |
| | v.t 殺すかもしれない | | 「動詞」 |
| le patient | ル・パシヨ | n.m 受刑者、患者 | 「目的語」 |
| (je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| pensais: | ボンセ | 1 単半・時制の一致(penser)v.t 考えている | 「動詞」 |
| le patient) | ル・パシヨ | n.m 治療を受ける患者を | 「目的語」 |
| neuf fois sur dix. | ヌ・フワ・シュール・ディス | adv. 10 回に 9 回 | 「副詞句」 |

受刑者はそのことを知らせていなければならない。それが条件だ。

| | |
|--|-----------------------------|
| <u>Lui le saurait, c'était la condition.</u> | 「主語」「目的語」「動詞」, 「主語」「動詞」「補語」 |
| Lui リュイ pron 彼は、受刑者は | 「主語」 |
| le ル pron それ（薬の効き目について） | 「目的語」 |
| saurait, ル 条・3 単現・必要(savoir)v.t 知っているべきである | 「動詞」 |
| c' ス pron それが | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| la condition. ラ・コンディシヨ n.f 条件 | 「補語」 |

なぜなら、よく考え、冷静に様々なことを検討して僕が確信したことは、ギロチンの欠点は何もチャンスがない、絶対に何もないということだ。

| | |
|---|----------------------|
| <u>Car en réfléchissant bien, en considérant les choses avec calme, je constatais que ce qui était défectueux avec le couperet, c'est qu'il n'y avait aucune chance, absolument aucune.</u> | 「副詞節」, 「主語」「動詞」「目的語」 |
|---|----------------------|

| | | | |
|---------------------------|------------------|-----------------------------|--------|
| Car | カル | conj. なぜなら～であるから | 「副詞節」 |
| en réfléchissant bien, | オン・レフリシヨ・ビヤ | ジェロンディフ(réfléchir) | |
| | adv. よく考えると | | 「副詞句」 |
| en considérant les choses | オン・コンシテロン・レ・ショーズ | ジェロンディフ(considérer) | |
| | adv. 色々な物事を検討すると | | 「副詞句」 |
| avec calme, | アヴ・エッキ・カム | adv. 冷静に | 「副詞句」 |
| je | ジュ | pron 僕は | 「主語」 |
| constatais | コンステ | 1 単半(constater)v.t 確認する、認める | 「動詞」 |
| que | ク | conj. ～ということ | 「目的語」 |
| ce | ス | pron それは | 「主語」 |
| qui | キ | pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|-----------|--------|
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| défectueux テフクチュース adj. | 欠陥 | 「補語」 |
| avec le couperet, アウエッキル・クプレ | | |
| adv. | ギロチンについての | 「副詞句」 |
| c' ス pron | それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| qu' ク conj. | ～ということ | 「補語」 |
| il n'y avait イル・ニ・アヴェ 3 単半・否定・時制の一致(il y avoir) | | |
| v.t | ～がない | 「動詞句」 |
| aucune chance, オキュヌ・ションス n.f | 何もチャンスが | 「目的語」 |
| aucun オカン adj. | いかなる～もない | |
| absolument aucune. アプソリュモン・オキュヌ | | |
| adj.f | 絶対に何もない | 「形容詞句」 |

要するに一度受刑者の死が決定されると、もうチャンスがないということだ。

Une fois pour toutes, en somme, la mort du patient avait été décidée.

| | | |
|---|-------------|-------------------|
| | | 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 |
| Une fois ユンス・フワ n.f | 1 度 | 「副詞句」 |
| pour toutes, プール・トゥット adv. | 全部で | 「副詞句」 |
| → | 1 度だけ、1 度でも | |
| en somme, オン・ソム adv. | 要するに | 「副詞句」 |
| la mort du patient ラ・モール・ジユ・パシオン n.f | 受刑者の死が | 「主語」 |
| avait été décidée. アヴェ・テテ・デシテ 3 単半・受動・完了形(décider)v.t | 決定された | 「動詞句」 |

それは処理済みの1件、うまく決定された配合、了解済みの合意であり、それを再検討すべき問題ではないのだ。

C'était une affaire classée, une combinaison bien arrêtée, un accord entendu et sur lequel il n'était pas question de revenir.

| | | |
|--|--------------|--|
| | | 「主語」 「動詞」 「補語」 et 「副詞句」 「主語」 「動詞」 「補語」 |
| C' ス pron | それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| une affaire ユンス・アフエール n.f | 1 件 (の事件・問題) | 「補語」 |
| classée, クラス 過去分詞・受動(classer)adj(classé).f | 整理済みの | 「形容詞」 |
| une combinaison ユンス・コンビネゾン n.f | 配合 | 「補語」 |
| bien arrêtée, ビヤン・アレテ 過去分詞・受動(arrêter) | | |
| adj(arrêté).f | うまく決定された | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|-------------|-------|
| un accord ウン・アコール n.m | 合意 | 「補語」 |
| entendu オントジユ adj. | 了解済みの | 「形容詞」 |
| et エ conj. | そして | |
| sur lequel シュール・ルケル adv. | (対象) それに対して | 「副詞句」 |
| il イル pron | それは | 「主語」 |
| n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i | ～でない | 「動詞」 |
| question de revenir. ケスチョン・ド・ウ・ルヴニール n.f | 再検討すべき問題 | 「補語」 |
| revenir ルヴニール v.i(sur を) | 再検討する | |

もし万が一、処刑に失敗しても、やり直すのだ。

| | |
|--|----------------|
| <u>Si le coup ratait, par extraordinaire, on recommençait.</u> | 「副詞節」、「主語」「動詞」 |
| Si シ conj. (仮定) もし～ならば | 「副詞節」 |
| le coup ル・クー n.m 処刑が、一撃 | 「主語」 |
| ratait, ラテ 3 単半(rater)v.i 失敗した | 「動詞」 |
| par extraordinaire, パール・エクストラオルジネル adv. 万一、何かの拍子に | 「副詞句」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| recommençait. ルコモセ 3 単半・時制の一致(recommencer)v.t やり直す | 「動詞」 |

そうなると、煩わしいことになる。受刑囚は処刑装置が適切に作動することを願うのみだ。

| | |
|---|-------------------------|
| Par suite ce qu'il y avait d'ennuyeux, c'est qu'il fallait que le condamné souhaitât le bon fonctionnement de la machine. | 「副詞句」「主語」, 「主語」「動詞」「補語」 |
| Par suite パール・シュイット adv. その結果として、従って | 「副詞句」 |
| ce ス pron それは | 「主語」 |
| qu' ク conj. (同格) ～ということ | 「形容詞節」 |
| il y avait イ・リ・ヤヴェ 3 単半・存在・時制の一致(il y avoir) | |
| v.t ～がある | 「動詞句」 |
| d'ennuyeux, トンニユユ n. 厄介なこと、煩わしいこと | 「目的語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| qu' ク conj. ～ということ | 「補語」 |
| il fallait que イル・ファレ・ク 非人称・3 単半・時制の一致 conj. ～しなければならない | |
| le condamné ル・コンダムネ n.m 受刑者は | 「主語」 |
| souhaitât スエタ 接・3 単半・推量(souhaiter)v.t 願うだろう | 「動詞」 |
| le bon fonctionnement ル・ボン・フォンクシヨウモン n.m 適切な動作を | 「目的語」 |
| de la machine. トゥ・ウ・ラ・マシーヌ adj. 処刑装置の | 「形容詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は、これは欠陥であると訴える。ある意味では、その通り欠陥だ。

Je dis que c'est le côté défectueux. Cela est vrai, dans un sens.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「補語」

Je ジュ pron 私は 「主語」
 dis ディ 1 単現(dire)v.t(que ～と) 訴える 「動詞」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 c' ス pron これは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 le côté ル・コテ n.m 側面 「補語」
 défectueux. デフェクトゥ adj. 欠陥のある 「形容詞」
 Cela スラ pron これは 「主語」
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 vrai, ヴレ adj. 正しい、本当の 「補語」
 dans un sens. トン・ザン・ツン adv. ある意味では 「副詞句」

しかし別の意味では、良いシステムの秘密のすべてがその欠陥にあると認めざるを得ない。

Mais, dans un autre sens, j'étais obligé de reconnaître que tout le secret d'une bonne organisation était là. Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais, メ conj. しかし
 dans un autre sens, トン・ザン・オートル・ツン adv. 別の意味では 「副詞句」
 j' ジュ pron 私は 「主語」
 étais obligé de エ・オブリジェ・トゥ 1 単半・受動・義務(être obligé de+不定詞)
 v. ～せざるを得ない 「動詞句」
 obliger オブリジェ v.t 強制する être obligé de+不定詞 「～せざるを得ない」
 reconnaître ルコネトル 不定詞 v.t 認める 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 tout le secret トゥ・ル・スクレ n.m すべての秘密が 「主語」
 d'une bonne organisation ジュヌ・ボンヌ・オルガニザシオン
 adj. 良いシステムの、機構の 「形容詞句」
 était エ 3 単半・存在・時制の一致(être)v.i ～にある 「動詞」
 là. ラー adv. そこに (欠陥の中に) 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

結局、死刑囚のほうが精神的に歩み寄るしかないのだ。

En somme, le condamné était obligé de collaborer moralement.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

En somme, オン・スム adv. 要するに、結局、つまり

「副詞句」

le condamné ル・コンダムネ n.m 受刑者は、死刑囚は

「主語」

étais obligé de エテ・オブリジェ・トゥ 1 単半・受動・義務・時制の一致(être obligé de+不定詞)

v. ～せざるを得ない

「動詞句」

collaborer コラボレ 不定詞 v.i 協力する、歩み寄る

「動詞句」

moralement. モラルメン adv. 精神的に

「副詞」

collaborer 歩み寄る

自分が一方的に、システムとはそのようなものと認めて歩み寄るという意味。

「妥協する」は双方が譲り合うことを意味するが、ここでは、警察が譲ることはない。

すべてが問題なく順調に運ぶことが、彼にとっては利益なのだ。

C'était son intérêt que tout marchât sans accroc.

「動詞」 「補語」 「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

son intérêt ソン・アンテレ n.m 彼の利益

「補語」

que ク conj. ～ということが

「主語」

tout トゥ pron.m すべてが

「主語」

marchât マルシャ 接・3 単半・假定(marcher)v.i (物事が) うまく運ぶ

「動詞」

sans accroc. ソン・アクロ adv. 障害なく、問題なく

「副詞句」

これまで僕はこのような問題について不正確な観念を抱いていたことも認めざるを得ない。

J'étais obligé de constater aussi que jusqu'ici j'avais eu sur ces questions des idées qui n'étaient pas justes.

「主語」 「動詞句」 「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

étais obligé de エテ・オブリジェ・トゥ 1 単半・受動・義務(être obligé de+不定詞)

v. ～せざるを得なかった

「動詞句」

constater コンステ 不定詞 v.t ～を認める

「動詞句」

aussi que オン・ク conj. ～ということもまた

「目的語」

jusqu'ici ジュスキ adv. これまで、今まで

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

avais eu アヴェ・ジュ 1 単半・完了形(avoir)v.t ～を持っていた

「動詞句」

sur ces questions シュール・セ・クエスチョン adv. このような問題について 「間接目的語」

des idées デ・シデ pl(idée).n.f 考えを、観念を

「直接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

qui キ pron.f.pl (主語) ～する 「形容詞節」

n'étaient pas ネ・パ 3 複半・否定・時制の一致(être)

v.i ～でない 「動詞句」

justes. ジュストゥ adj.pl 正確な 「補語」

僕はずっと一なぜかは分からないが一信じ込んでいた。ギロチンまで進んで行くには、死刑台の上に上がる必要がある、つまり、階段を登る必要があるだろうということだ。

J'ai cru longtemps — et je ne sais pas pourquoi — que pour aller à la guillotine, il fallait monter sur un échafaud, gravir des marches.

「主語」「動詞句」「副詞」 ----et 「主語」「動詞句」「副詞」 -- 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai cru エ・クル 1 単現・完了形(croire)v.t(que ～と) 信じていた 「動詞句」

longtemps ロントゥ adv. ずっと、長い間 「副詞」

— et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

ne sais pas ヌ・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない 「動詞句」

pourquoi — プルワ adv. なぜか 「副詞」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

pour aller à la guillotine, プール・アレ・ア・ラ・ギロチヌ

adv. (目的) ギロチンまで進むには 「副詞句」

il fallait イル・ファレ 非人称・3 単半・時制の一致(il falloir+不定詞 ～することが)

v.h 必要である 「動詞句」

monter モンテ 不定詞 v.i 上がることが 「主語」

sur un échafaud, シュール・アン・エシャフォー adv. 死刑台の上に 「副詞句」

gravir グラヴィール 不定詞 v.t 登ることが 「主語」

des marches. デ・マルシュ pl(marche).n.f 階段を 「目的語」

僕が思うには、それは 1789 年に起きたフランス革命のせいだ。つまり、このような問題について人から教えられたり、人から見せられたりした記憶のせいだ。

Je crois que c'était à cause de la Révolution de 1789, je veux dire à cause de tout ce qu'on m'avait appris ou fait voir sur ces questions.

「主語」「動詞」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

crois クルワ 1 単現(croire)v.t(que ～と) 思う 「動詞」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ～である 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

à cause de la Révolution de 1789, ア・コース・ドゥ・ラ・レヴ オリュション・ドゥ・ミル・セツトン・キャトルヴ アンヌフ

adv. 1789年に起きたフランス革命のせい

「補語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

veux dire ヴェ・ディール 1 単現・願望(vouloir+不定詞)

v.t 言いたい、～を意味する

「動詞句」

à cause de tout ce ア・コース・ドゥ・トゥ・ス adv. このすべてのせいで

「補語」

qu' ク pron (目的語) ～する

「形容詞節」

on オン pron 人が

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

avait appris アヴ・ェ・アプリ 3 単半・完了形(apprendre)

v.t 教えた

「動詞句」

→ 人から教えられた

ou ウ conj. それとも

fait voir フェ・ヴ わル 3 単半・使役(faire+不定詞)v.t 見せた「動詞句」

sur ces questions. シュール・セ・クエスチョン

adv. そのような問題について

「間接目的語」

→ 人から見せられた

フランス革命

1789年5月5日 - 1799年11月9日。フランスの資本主義革命である。身分制や領主制という封建的な制度を一掃し、法の下での平等・経済的自由・自由な私的所有などの資本主義の発展と、人民主権・権力分立などの原理を定めた資本主義憲法の確立を成し遂げた。

だがある朝僕は、非常に注目された死刑執行の時に新聞に載った写真を思い出した。

Mais un matin, je me suis souvenu d'une photographie publiée par les journaux à l'occasion d'une exécution retentissante.

Mais 「副詞句」「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

un matin, アン・マタン adv. ある朝

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis souvenu ム・シュイ・スヴニユ 1 単現・完了形(se souvenir)

v.pr(de を) 思い出した

「動詞句」

d'une photographie ジュヌ・フォトグラフイー adv. ある写真を

「間接目的語」

publiée ヒュブリエ 過去分詞・受動.f(publier)

adj. 発行された、出版された

「形容詞」

par les journaux パール・レ・ジュール adv. (動作主) 新聞で

「副詞句」

à l'occasion ア・カジオン adv. ～の時に

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

d'une exécution retentissante. ジュンヌ・エグゼキューション・ルトンチツト

adj. 非常に注目されたある死刑執行の

「形容詞句」

retentissante ルトンチツト adj(retentissant).f はなばなしい、派手な、良く響く

実際には、その装置はまったく単純にじかに地面の上に置かれていた。

En réalité, la machine était posée à même le sol, le plus simplement du monde.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」

En réalité, オン・リアリテ adv. 実際には

「副詞句」

la machine ラ・マシヌ n.f その装置は、機械は

「主語」

était posée エテ・ポゼ 3 単半・受動(poser)v.t 置かれていた、据えられていた 「動詞句」

à même le sol, ア・メーム・ル・ソル adv. 地面にじかに

「副詞句」

à même ア・メーム prep 〜にじかに、直接に

le plus simplement ル・プリュ・サンプレメン adv. 最も単純に

「副詞句」

du monde. ジュ・モント adv. この世で

「副詞句」

それは僕が思っていたよりずっと幅が狭かった。

Elle était beaucoup plus étroite que je ne le pensais.

「主語」 「動詞」 「補語」

Elle エル pron (machine の代用) それは

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i 〜だった

「動詞」

beaucoup plus étroite ボク・プリュ・エトルワット adj. ずっと狭い

「補語」

beaucoup ボク adv. (比較級を強めて) はるかに、ずっと

que je ne le pensais. ク・ジュ・ヌ・ル・ポネ

adv. (比較: plus...que) 僕が思っていたよりも

「副詞句」

ne は虚辞 le は間接目的語

僕がもっと早くそのことに気が付かなかったのは、全くおかしな話だ。

C'était assez drôle que je ne m'en fusse pas avisé plus tôt.

「動詞」 「補語」 「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である

「動詞」

assez drôle アセ・ドロール adj. まったくおかしな

「補語」

que ク conj. 〜ということは

「主語」

感情を表す drôle に導かれる節は、接続法を用いる

je ジュ pron 僕が

「主語」

ne m'... fusse pas avisé ヌム...フュス・パ・アヴィゼ 接・1 単半・完了形(s'aviser)

v.pr(à に) 思いつかなかった

「動詞句」

en オン adv. そのことに

「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

plus tôt. プリュ・ト adv. もっと早く

「副詞句」

写真のその装置を見て、仕上げ抜かれ輝きを放つ精密細工の外観に、強烈な印象を受けた。

Cette machine sur le cliché m'avait frappé par son aspect d'ouvrage de précision, fini et étincelant.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞句」

Cette machine セット・マシヌ n.f. その装置は

「主語」

sur le cliché シュール・ル・クリシェ adv. 写真の

「副詞句」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

avait frappé アヴ・ェ・フラッパ° 3 単半・完了形(frapper)v.t. 強烈な印象を与えた

「動詞句」

par son aspect パール・ソン・アスペ° adv. (手段) その外観によって

「副詞句」

d'ouvrage de précision, トゥヴラージュ・トゥ・カ・プレジシオン adj. 精密細工の「形容詞句」

fini フィニ 過去分詞・受動(finir)adj.m. 仕上げられた

「形容詞」

et エ conj. そして

étincelant. エタンスロン adj. 輝く

「形容詞」

人は自分が知らないことは大袈裟に考えてしまうものだ。

On se fait toujours des idées exagérées de ce qu'on ne connaît pas.

「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

On オン pron 人は

「主語」

se fait ス・フェ 3 単現(se faire)v.pr (観念を) 心に抱く

「動詞句」

toujours トウジュール adv. いつも

「副詞」

des idées exagérées デ・シデ・エグザジエ pl(idée).n.f. 誇張された考えを

「目的語」

de ce トゥ・ス adv. (対象) ～することに対して

「副詞句」

qu' ク conj. ～すること

「目的語」

on オン pron 自分が

「主語」

ne connaît pas. ス・コネ・パ° 3 単現・否定(connaître)

v.t. 知らない

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は逆に何事も単純なのだ、と認めなければならなかった。つまり、その装置は、それに向かって進む人と同じ高さにあるということだ。

Je devais constater au contraire que tout était simple : la machine est au même niveau que l'homme qui marche vers elle.

「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」：「主語」「動詞」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

devais constater トゥヴェ・コンスタテ 1 単現・必要(devoir+不定詞)

v.t 認めなければならなかった

「動詞句」

au contraire オ・コントレール adv. 逆に、反対に

「副詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

tout トゥ pron 何事も

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

simple : サンプル adj. 単純な

「補語」

la machine ラ・マシーヌ n.f その装置は

「主語」

est エ 3 単現・存在(être)v.i ～にある

「動詞」

au même niveau オ・メーム・ニヴォ adv. 同じ高さに

「副詞句」

que l'homme ク・ロム adv. (比較) 人と

「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

marche マルシュ 3 単現(marcher)v.i 進む、歩く

「動詞」

vers elle. ヴェール・エル adv. それに向かって

「副詞句」

人に向かって歩いて行くのと同じ様に、それに近付いていくのだ。

Il la rejoint comme on marche à la rencontre d'une personne.

「主語」「目的語」「動詞」「副詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

la ラ pron (machine の代用) それに

「目的語」

rejoint ルジュワソ 3 単現(rejoindre)v.t 近づく、たどりつく

「動詞」

comme コム conj. (比較) ～のように

「副詞節」

on オン pron 人が

「主語」

marche マルシュ 3 単現(marcher)v.i 歩いていく

「動詞」

à la rencontre d'une personne. ア・ラ・ロンコントル・ジエンヌ・ペルソヌ

adv. 人の方に向かって

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

処刑台へ登るとか、大空へ昇るといふのなら、想像力にすぎることでもできただろうが。

Cela aussi était ennuyeux. La montée vers l'échafaud, l'ascension en plein ciel, l'imagination pouvait s'y raccrocher.

「主語」「動詞」「補語」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」

Cela aussi スラ・オシ pron このことも 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」

ennuyeux. オンニユ adj. いやな、困った 「補語」

La montée ラ・モンテ n.f (条件・仮定) 登る事ならば 「副詞句」

vers l'échafaud, ヴェール・レシャフォ adv. 処刑台へ 「副詞句」

l'ascension ラソション n.f (条件・仮定) 上昇ならば 「副詞句」

en plein ciel, オン・プラン・シエル adv. 大空へ 「副詞句」

l'imagination リマジション n.f 想像力が 「主語」

pouvait s'y raccrocher. プウヴェ・シ・ラクロシェ 3 単半・可能・推量(pouvoir+不定詞)

v.pr すがりつくこともできただろうが 「動詞句」

しかし、そこでもまたメカニズムが全ての夢想を打ち砕く：死刑囚はわずかな恥辱を抱き、
確かな精度によって慎ましく殺されるのだ。

Tandis que, là encore, la mécanique écrasait tout: on était tué discrètement, avec un peu de honte et beaucoup de précision.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」: 「主語」「動詞句」「副詞句」

Tandis que, トンディ・ク adv. (対立) それでも 「副詞」

là encore, ラ・オンコール adv. まだそこで 「副詞句」

la mécanique ラ・メカニキ n.f メカニズムが 「主語」

écrasait エクラセ 3 単半・時制の一致(écraser)v.t 押しつぶす、踏みつぶす 「動詞」

tout: トゥ pron (単数中性) すべてを 「目的語」

tout トゥ pron.m, toute トゥット pron.f すべて、何でも

tous トゥス pl.pron.m, toutes トゥット pl.pron.f すべての人々、すべての物

on オン pron 人は 「主語」

était tué エテ・チュエ 3 単半・受動・時制の一致(tuer)v.t 殺される 「動詞句」

discrètement, ディスクレットメン adv. ひそかに、慎ましく 「副詞」

avec アヴェッキ adv. (同伴・手段) 〜を持って 「副詞句」

un peu de honte アン・プ・トゥ・オントゥ n.f わずかな恥辱 「目的語」

et エ conj. そして

beaucoup de précision. ボク・トゥ・プレジション n.f 確かな精度 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

いつもよく考えている2つのことがあった：夜明けと上訴のことだ。

Il y avait aussi deux choses à quoi je réfléchissais tout le temps: l'aube et mon pourvoi.

「動詞句」「副詞」「目的語」：「目的語」

Il y avait イ・リ・アヴヱ 3 単半・存在(il y avoir)v.t. ～があった

「動詞句」

aussi オシ adv. また

「副詞」

deux choses トゥ・ショーズ pl(chose).n.f 2つのことが

「目的語」

à quoi ア・クワ adv. (間接目的語) それを～する

「形容詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

réfléchissais レフレシ 1 単半・時制の一致(réfléchir)

v.i よく考えている

「動詞」

tout le temps: トゥ・ル・トン adv. いつも、しじゅう

「副詞句」

l'aube ローブ n.f 夜明け

「目的語」

et エ conj. そして

mon pourvoi. モン・プルーワ n.m 上訴、上告

「目的語」

だが、僕は自分の感情を抑えて、それについてもう考えないようにした。僕は横になり、空を眺め、それに集中するように努める。

Je me raisonnais cependant et j'essayais de n'y plus penser. Je m'étendais, je regardais le ciel, je m'efforçais de m'y intéresser.

「主語」「動詞句」 cependant et 「主語」「動詞句」

「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me raisonnais ム・レゾネ 1 単半(se raisonner)v.pr 自分の感情を抑えた

「動詞句」

cependant セパン トン conj. しかしながら

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は

「主語」

essayais de +不定詞 エッセイエ・トゥ 1 単半・努力(essayer de+不定詞)

v.t. ～しようと努めた

「動詞句」

n'y plus penser. ニ・プリュ・ボンセ 不定詞・否定

v.i それについてもう考えない

「動詞句」

Je ジュ pron 私は

「主語」

m'étendais, モンテ 1 単半・時制の一致(s'étendre)v.pr 横になる

「動詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

regardais ルギャルテ 1 単半・時制の一致(regarder)v.t 眺める

「動詞」

le ciel, ル・シエル n.m 空を

「目的語」

je ジュ pron 私は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

m'efforçais de +不定詞 メフォルセ 1 単半・努力・時制の一致(s'efforcer)

v.pr ～しようとした

「動詞句」

m'y intéresser. ミ・アンテレスセ 不定詞 v.pr それに興味を抱く

「動詞句」

空が緑色に変わった、夕暮れだ。僕はさらに自分の思考の流れをそらす努力をした。自分の心臓の鼓動に耳を澄ますのだ。

Il devenait vert, c'était le soir. Je faisais encore un effort pour détourner le cours de mes pensées. J'écoutais mon cœur.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」「補語」

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 | 「主語」「動詞」「目的語」

Il イル pron (ciel の代用) 空は

「主語」

devenait トゥヴェネ 3 単半・変化(devenir)v.i ～になった

「動詞」

vert, ヴェール adj. 緑の

「補語」

c' ス pron 時間は

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

le soir. ル・スワール n.m 夕方、夕暮れ

「補語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

faisais フェ 1 単半(faire)v.t (動作を) した

「動詞」

encore オンコール adv. (付加) さらに、また

「副詞」

un effort アン・エフォル n.m 努力を

「目的語」

pour détourner プール・デトゥルネ 不定詞・目的 adv. ～をそらすために

「副詞句」

le cours ル・クール n.m 流れを

「目的語」

de mes pensées. トゥ・メ・ポンス adj. 自分の思考の

「形容詞句」

J' ジュ pron 私は

「主語」

écoutais エケ 1 単半・時制の一致(écouter)v.t 耳を傾ける

「動詞」

mon cœur. モン・ケール n.m 自分の心臓の鼓動に

「目的語」

僕は、これほど長い間僕に付き添ってきたこの物音がよもや止むことがあるとは想像できない。僕はいまだかつて本当の想像力があつたことがない。

Je ne pouvais imaginer que ce bruit qui m'accompagnait depuis si longtemps pût jamais cesser. Je n'ai jamais eu de véritable imagination.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

ne pouvais imaginer ス・プヴェ・イマジネ 1 単半・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 想像できない

「動詞句」

que ク conj. ～ということ

「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | | |
|---------------------------|-------------------|------------------------------------|----------|--------|
| ce bruit | ク・ブリユイ | n.m | この物音が | 「主語」 |
| qui | キ | pron | (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| m' | ム | pron | 僕に | 「目的語」 |
| accompagnait | アコンパニエ | 3 単半(accompagner) | | |
| v.t | 付き添ってきた | | | 「動詞」 |
| depuis si longtemps | ドゥシ・ longtemps | | | |
| adv. | これほど長い間 | | | 「副詞句」 |
| pût jamais cesser. | ピュ・ジャメ・セッセ | 接・3 単半・可能性・強調(pouvoir+不定詞+ jamais) | | |
| v.i | よもや止むことがあるとは | | | 「動詞句」 |
| Je | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| n'ai jamais eu | ネ・ジャメ・ジ | 1 単現・完了形・否定・強調(avoir) | | |
| v.t | いまだかつて～があったことがない | | | 「動詞句」 |
| de véritable imagination. | ドゥ・ヴェリタブル・イマジナシオン | n.f | 本当の想像力を | 「目的語」 |
| de | は否定の冠詞 | | | |

それでも僕は、この心臓の鼓動が頭の中で途切れる、まさにその瞬間を思い描こうと試みた。

| | | | | |
|---|---------------------|----------------------------|----------|--------------------|
| <u>J'essayais pourtant de me représenter une certaine seconde où le battement de ce coeur ne se prolongerait plus dans ma tête.</u> | | | | 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 |
| J' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| essayais ...de me représenter | エッセイエ...ドゥ・ム・ルプレザンテ | 1 単半・試行(essayer de+不定詞) | | |
| v.pr | 思い描こうと試みた | | | 「動詞句」 |
| pourtant | フルトン | adv. | それでも | 「副詞」 |
| une certaine seconde | ユンヌ・セルテーヌ・スコント | n.f | まさにその瞬間を | 「目的語」 |
| où | ウ | adv. | (時間) ～する | 「形容詞節」 |
| le battement de ce coeur | ル・バットモン・ドゥ・スケール | | | |
| n.m | この心臓の鼓動が | | | 「主語」 |
| ne se prolongerait plus | ヌ・ス・フロンジユレ・プリュ | 条・3 単現・推量・否定(se prolonger) | | |
| v.pr | もう続かなくなるだろう | | | 「動詞句」 |
| dans ma tête. | ドン・マ・テット | adv. | 僕の頭の中で | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかし出来なかった。夜明けや上訴はそこにあった。最終的に僕は、我慢しすぎないことが一番妥当なことだと自分に言い聞かせた。

Mais en vain. L'aube ou mon pourvoi étaient là. Je finissais par me dire que le plus raisonnable était de ne pas me contraindre.

Mais 「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

en vain. オン・ヴァン adv. むなしく、無駄に 「副詞句」

L'aube ローブ n.f 夜明けは 「主語」

ou ウ conj. あるいは、または

mon pourvoi モン・プルーヴワ n.m 上訴は 「主語」

étaient エテ 3 複半・存在(être)v.i 〜にあった 「動詞」

là. ラー adv. そこに 「副詞」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

finissais par me dire フェニセ・パール・ム・ディール 1 単半・結局(finir par+不定詞)

v.pr 結局は自分に言い聞かせた 「動詞句」

se dire 「自分自身で思う、自分に言い聞かせる」

que ク conj. 〜ということを 「目的語」

le plus raisonnable ル・プリュ・レゾナブル pron 最も妥当なことは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」

de +不定詞・否定形 n. 〜しないこと 「補語」

ne pas me contraindre. ノ・パ・ム・コントランドル 不定詞・否定形(se contraindre)

v.pr 自分を抑制しない、我慢する 「動詞句」

彼らがやって来るのは、夜明けだ。そのことは知っていた。結局、僕はこの夜明けを待って毎晩、時間を潰した。僕は不意を突かれるのが嫌だった。

C'est à l'aube qu'ils venaient, je le savais. En somme, j'ai occupé mes nuits à attendre cette aube. Je n'ai jamais aimé être surpris.

「動詞」「副詞句」「主語」, 「主語」「目的語」「動詞」

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「補語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は qu'ils venaient)

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

à l'aube ア・オブ adv. 夜明けに 「副詞句」

qu' ク 〜ということは 「主語」

ils イル pl.pron 彼らが 「主語」

venaient, ヴェネ 3 複半・時制の一致(venir)v.i やって来る 「動詞」

je ジュ pron 僕は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|-----------------|-------|
| le ル pron | そのことを | 「目的語」 |
| savais. サヴヱ 1 単半 (savoir)v.t | 知っていた | 「動詞」 |
| En somme, オン・ソム adv. | 結局 | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| ai occupé エ・オキュヘ 1 単現・完了形(occuper) | | |
| v.t(à+不定詞 ~することに) | (時間を) 費やした、潰した | 「動詞句」 |
| mes nuits メ・ニュイ pl(nuit).n.f | 毎晩を | 「目的語」 |
| à attendre ア・アントル 不定詞・目的 adv. | 待つことに | 「副詞句」 |
| cette aube. セット・オブ n.f | この夜明けを | 「目的語」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| n'ai jamais aimé être ネ・ジャメ・ゼ・メ・エトル 1 単現・完了形・否定・好む(aimer+不定詞) | | |
| v.i ~でいることは好きではなかった | | 「動詞句」 |
| aimer+不定詞 | 「~することを好む、~したい」 | |
| surpris. シュルプリ adj. | (意表をつかれて) 驚いた | 「補語」 |

僕自身に何かが起こる時には、僕はその場に居たいと思う。

Quand il m'arrive quelque chose, je préfère être là.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞」

| | | |
|---|--------------------|---------|
| Quand コン conj. | (仮定・条件) ~する時は | 「副詞節」 |
| il イル pron | 非人称 | |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| arrive アリヴ 3 単現・非人称(il arrive qch)v.h (à qn 人に) | 起こる | 「動詞」 |
| quelque chose, ケルキ・ショズ n.f | 何か | 「主語」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| préfère être プレフェール・エトル 接・1 単現・願望・帰結・存在(préférer+不定詞) | | |
| v.i ~にいたいと思う | | 「動詞句」 |
| préférer+不定詞 | 「~するほうがよい、~したいと思う」 | |
| là. ラー adv. | そこに | 「副詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

だから結局僕は、昼間は少しだけ眠って、夜は一晩中、空からガラス窓に光が差し込むのを辛抱強く待った。

C'est pourquoi j'ai fini par ne plus dormir qu'un peu dans mes journées et, tout le long de mes nuits, j'ai attendu patiemment que la lumière naisse sur la vitre du ciel.

C'est pourquoi 「主語」「動詞句」「副詞句」, 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」

C'est pourquoi セ・フ ルクわ conj. それゆえ、だから

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai fini par ne plus dormir エ・フィニ・パール・ヌ・フリュ・ドルミール 1 単現・完了形・結局

(finir par+不定詞)v.i 結局もう眠らなかった

「動詞句」

qu'un peu クわプ adv.(ne que) 少ししか

「副詞句」

dans mes journées トン・メ・ジュールネ adv. 昼間には

「副詞句」

et, エ conj. そして

tout le long de mes nuits, トル・ロン・ト・メ・ニュイ adv. 夜の間中は

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai attendu エ・アトンジュ 1 単現・完了形(attendre)v.t 待った

「動詞句」

patiemment パシモン adv. 辛抱強く

「副詞」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

la lumière ラ・リュミエール n.f 光が

「主語」

naisse ネ 接・3 単現(naître)v.i 生まれる、(光が) さす

「動詞」

sur la vitre シュール・ラ・ヴィートル adv. ガラス窓の上に

「副詞句」

du ciel. ジュ・シエル adv. (場所) 空から

「副詞句」

一番困るのは、彼らがいつも仕事をする曖昧な時間の頃だ。

Le plus difficile, c'était l'heure douteuse où je savais qu'ils opéraient d'habitude.

「主語」「動詞」「補語」

Le plus difficile, ル・フリュ・ディフィシル pron 一番困るのは

「主語」

c' ス pron それは

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である

「動詞」

l'heure レール n.f 時間

「補語」

douteuse トゥトゥーズ adj(douteux).f 曖昧な

「形容詞」

où ウ adv. ～するその時に

「副詞節」

je ジュ pron 僕は

「主語」

savais サヴェ 1 単半・時制の一致(savoir)v.t 知っている

「動詞」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

ils イル pron.pl 彼らは

「主語」

opéraient オペレ 3 複半・時制の一致(opérer)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.i 行動する、仕事をする 「動詞」
 d'habitude. ダビチュト° adv. いつも、普通は 「副詞句」

真夜中を過ぎると、僕は待ち構えて、気配を窺った。今まで僕の耳は、これほどたくさんの物音を聞き取ったことはなかったし、これほど微かな音を聞き分けたこともなかった。

Passé minuit, j'attendais et je guettais. Jamais mon oreille n'avait perçu tant de bruits, distingué de sons si ténus.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 et 「主語」 「動詞」

「副詞」 「主語」 「動詞句」 「目的語」, 「動詞句」 「目的語」

Passé パッセ 過去分詞・条件(passer)adv. ～を過ぎると 「副詞句」

minuit, ミヌイ n.m 真夜中が 「主語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

attendais アトンデ° 1 単半(attendre)v.i 待った 「動詞」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

guettais. ケテ 1 単半(guetter)v.t うかがった、待ち構える 「動詞」

Jamais ジャメ adv. 一度も～ない 「副詞」

mon oreille モン・オレイユ n.m 僕の耳は 「主語」

n'avait perçu ナガエ・ペルシュ 3 単半・完了形・否定(percevoir)v.t 聞き取らなかった 「動詞句」

tant de bruits, トン・トウ・ブリユイ pl(bruit).n.m これほどたくさんの物音を 「目的語」

distingué デイスタンゲ° 3 単半・完了形・否定(distinguer)v.t 聞き分けた 「動詞句」

de sons トウ・ソン pl(son).n.m 音を 「目的語」

de は否定の部分冠詞

si ténus. シ・テニュ adj(ténu).m.pl これほど微かな 「形容詞句」

もつとも、この期間中ずっと足音をまったく聞かずに済んだのだから、ある意味で僕は運がよかったと言える。

Je peux dire, d'ailleurs, que d'une certaine façon j'ai eu de la chance pendant toute cette période, puisque je n'ai jamais entendu de pas.

「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「目的語」, 「副詞節」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

peux dire, プ・テイル 1 単現・可能(pouvoir+不定詞)

v.t (que ～と) 言うことが出来る 「動詞句」

d'ailleurs, ダイェール adv. もつとも、ただし 「副詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

d'une certaine façon デュンヌ・セルテヌ・ファソン adv. ある意味では、いわば 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t. ～があった | 「動詞句」 |
| de la chance トゥ・ラ・シヨンス n.f 運が | 「目的語」 |
| pendant toute cette période, ポント・ン・トゥット・セツ・ペリオト | |
| adv. この期間の間ずっと | 「副詞句」 |
| puisque ビュイスキ conj. ～なのだから | 「副詞節」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'ai jamais entendu ネ・ジャメ・オントンジュ 1 単現・完了形・否定(entendre) | |
| v.t. まったく聞かなかった | 「動詞句」 |
| de pas. トゥ・パ n.m 足音を | 「目的語」 |
| de は否定の部分冠詞 | |

母さんはよく、人は完全に不幸になることはないと言っていた。

Maman disait souvent qu'on n'est jamais tout à fait malheureux.

| | |
|--|-------------------|
| | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」 |
| Maman マン n.f 母さんは | 「主語」 |
| disait ディヤ 3 単半(dire)v.t. 言っていた | 「動詞」 |
| souvent スグオン adv. よく、しばしば | 「副詞」 |
| qu' ク conj. ～ということを | 「目的語」 |
| on オン pron 人は | 「主語」 |
| n'est jamais ネ・ジャメ 3 単現・否定(être)v.i. ～で決していない | 「動詞句」 |
| tout à fait malheureux. トゥ・タ・フェ・マルルー adj. 完全に不幸な | 「補語」 |

空が明るくなり、新しい日の光が僕の独房に射し込む時、僕はその言葉は正しいと思った。

Je l'approuvais dans ma prison, quand le ciel se colorait et qu'un nouveau jour glissait dans ma cellule.

| | |
|---|---------------------------|
| | 「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」, 「副詞節」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l' ル pron (前文の言葉 mot の代用) その言葉を | 「目的語」 |
| approuvais アプルーヴェ 1 単半(approuver)v.t. 同意した | 「動詞」 |
| dans ma prison, トン・マ・プリゾン adv. 獄中で | 「副詞句」 |
| quand コン conj. ～する時に | 「副詞節」 |
| le ciel ル・シエル n.m 空が | 「主語」 |
| se colorait ス・コレ 3 単半・時制の一致(se colorer)v.pr 色づく | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| qu' ク conj. (lorsque の代用) ～する時に | 「副詞節」 |
| un nouveau jour アン・ヌヴ・オ・ジュール n.m 新しい日の光が | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

glissait グリッセ 3 単半・時制の一致(glisser)v.i (光が) 射し込む 「動詞」
 dans ma cellule. トン・マ・セリュール adv. 僕の独房の中へ 「副詞句」

なぜなら、もしかすると、僕は足音を聞きつけていたかも知れないし、その場合には僕の心臓は破裂していたかもしれないのだから。

Parce qu'aussi bien, j'aurais pu entendre des pas et mon coeur aurait pu éclater.

Parce qu' 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「主語」 「動詞句」

Parce qu' パルス・キ conj. なぜなら

aussi bien, オシ・ビヤン adv. 同様に 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais pu entendre オレ・ピュ・オントトル 条・1 単現・完了形・可能性(pouvoir+不定詞)

v.t 聞いていたかも知れない 「動詞句」

des pas テ・パ° pl(pas).n.m 足音を 「目的語」

et エ conj. そして

mon coeur モン・ケール n.m 僕の心臓は 「主語」

aurait pu éclater. オレ・ピュ・エクラテ 条・1 単現・完了形・可能性(pouvoir+不定詞)

v.i 破裂していたかも知れない 「動詞句」

条件法の独立用法による、仮定文のない帰結文

ほんの微かな摩擦音を、僕が足音と聞き間違えて戸口に駆け寄ったとしても、戸口の板に耳を押し当てて、狂ったように待ち続け、自分の呼吸の音が聞こえて、それがしゃがれていて、犬の喘ぎ声に良く似ていると気付いて怯えたとしても、結局の所、僕の心臓は破裂しない。僕はまた 24 時間儲けたのだ。

Même si le moindre glissement me jetait à la porte, même si l'oreille collée au bois, j'attendais éperdument jusqu'à ce que j'entende ma propre respiration, effrayé de la trouver rauque et si pareille au rôle d'un chien, au bout du compte mon coeur n'éclatait pas et j'avais encore gagné vingt-quatre heures.

「副詞節」, 「副詞句」 「主語」 「動詞句」 et 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Même si メム・シ conj. たとえ〜であっても 「副詞節」

le moindre glissement ル・ムワントル・グリスモン n.m ほんの微かな摩擦音が 「主語」

何かの擦れる音を、足音ではないかと聞き間違えたとしたら

me ム pron 僕を 「目的語」

jetait ジェテ 3 単半・仮定(jeter)v.t (場所に) 押しやった、駆けよらせた 「動詞」

à la porte, ア・ラ・ポルト adv. 戸口へ 「副詞句」

même si, メム・シ conj. たとえ〜であっても 「副詞節」

l'oreille オレイレ n.f (状態) 耳で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | | | |
|------------------------|----------------|---------------------------|-----------------------|--------|
| collée | コレ | adj(collé).f | ぴったりついた | 「形容詞」 |
| au bois, | オ・ブ | adv. | (戸口の) 木材に | 「副詞句」 |
| j' | ジュ | pron | 僕が | 「主語」 |
| attendais | アトデ | 1 単半・時制の一致(attendre)v.i | 待つ | 「動詞」 |
| éperdument | エペルジエモン | adv. | 狂ったように | 「副詞」 |
| jusqu'à | ジュスカ | prep | (時間) ～まで、(結果) そして～する | 「副詞句」 |
| ce que | スク | conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| entende | オントトゥ | 接・1 単現(entendre)v.t | 聞く | 「動詞」 |
| ma propre respiration, | マ・プロプル・レスピラシオン | | | |
| n.f | | | 自分の呼吸音を | 「目的語」 |
| effrayé | エフレイエ | 過去分詞・仮定・譲歩(effrayer) | | |
| adv. | | | 怯えたとしても | 「副詞句」 |
| de +不定詞 | | 不定詞・理由 | adv. ～して | 「副詞句」 |
| la | ラ | pron | (respiration の代用) それが | 「目的語」 |
| trouver | トゥルヴレ | 不定詞 v.t | ～と思う | 「動詞」 |
| rauque | ロキ | adj. | しゃがれた | 「補語」 |
| et | エ | conj. | そして | |
| si pareille | シ・パレイレ | | | |
| adj(pareil).f | | | とても良く似た | 「補語」 |
| au râle | オ・ラル | adv. | 喘ぎ声に | 「副詞句」 |
| d'un chien, | ダン・シヤン | adj. | 犬の | 「形容詞句」 |
| au bout du compte | オ・ブ・ジュ・コント | adv. | 結局、要するに | 「副詞句」 |
| mon coeur | モン・ケール | n.m | 僕の心臓は | 「主語」 |
| n'éclatait pas | ネクラテ・パ | 3 単半・否定・時制の一致(éclater)v.i | 破裂しない | 「動詞句」 |
| et | エ | conj. | そしえ | |
| j' | ジュ | pron | 僕は | 「主語」 |
| avais encore gagné | アヴィエ・オンコール・ガニエ | 1 単半・完了形(gagner)v.t | また儲けた | 「動詞句」 |
| vingt-quatre heures. | ヴァン・キヤトル・エール | pl(heure).n.f | 24 時間 | 「目的語」 |

昼間はずっと、上訴のことで頭が一杯だった。

| | |
|--|-----------------|
| <u>Pendant tout le jour, il y avait mon pourvoi.</u> | 「副詞句」「動詞句」「目的語」 |
| Pendant ポント`ン prep (時間) ～の間 | 「副詞句」 |
| tout le jour, トウ・ル・ジ`ユル n.m 昼すべて | 「目的語」 |
| il y avait イ・リ・アウ`ェ 3 単半・存在(il y avoir)v.t ～があった | 「動詞句」 |
| mon pourvoi. モン・プ`ルヴ`え n.m 上訴が | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はこの上訴という考えを最大限利用できたと思う。僕は自分に対する影響を計算し、その考察から最良の成果を獲得した。

Je crois que j'ai tiré le meilleur parti de cette idée. Je calculais mes effets et j'obtenais de mes réflexions le meilleur rendement.

「主語」「動詞」「目的語」

「主語」「動詞」「目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
 crois クルわ 1 単現(croire)v.t(que ～と) 思う 「動詞」
 que ク conj. ～ということを 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai tiré エ・チレ 1 単現・完了形(tirer)v.t (+parti de qch) ～を利用した 「動詞句」
 le meilleur parti ル・メイエル・パルティ n.m 最良の手段を 「目的語」
 de cette idée. トゥ・セット・イデ adj. この考えの 「形容詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 calculais カルキュレ 1 単半(calculer)v.t 計算した 「動詞」
 mes effets メ・セフェ pl(effet).n.m 自分に対する影響を 「目的語」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 obtenais オブトゥネ 1 単半(obtenir)v.t 獲得した 「動詞」
 de mes réflexions トゥ・メ・レフレクシオン adv. 僕の考察から 「副詞句」
 le meilleur rendement. ル・メイエル・ロントゥッモン n.m 最良の成果を 「目的語」

僕は常に上訴が却下されたという最悪の仮定をする。「ああ、それじゃあ、僕は死ぬんだな」

Je prenais toujours la plus mauvaise supposition : mon pourvoi était rejeté. «Eh bien, je mourrai donc.»

「主語」「動詞」「副詞」「目的語」：「主語」「動詞句」「感嘆」「主語」「動詞」「副詞」

Je ジュ pron 僕は 「主語」
 prenais プルネ 1 単半・時制の一致(prendre)v.t ～を採用する 「動詞」
 toujours トゥジュール adv. いつも 「副詞」
 la plus mauvaise supposition : ラ・プリュ・モヴァーズ・シュボジション n.f 最悪の仮定を 「目的語」
 mon pourvoi モン・プルーヴワ n.m 僕の上訴は 「主語」
 était rejeté. エ・ル・ゼ・エ 3 単半・受動・時制の一致(rejeter)v.t 却下される 「動詞句」
 «Eh bien, エー・ビヤン adv. ああ、しょうがない 「感嘆」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 mourrai ムレ 1 単末(mourir)v.i 死ぬんだな 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

donc.» トンク adv. それじゃあ

「副詞」

明らかに、他の人々よりもずっと早く。しかし、誰でも知っている通り、人生は生きる苦勞には値しないのだ。

Plus tôt que d'autres, c'était évident. Mais tout le monde sait que la vie ne vaut pas la peine d'être vécue. 「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 | Mais 「主語」「動詞」「目的語」

Plus tôt プリュト adv. ずっと早く

「副詞句」

que d'autres, クトートル adv. (比較) 他の人々よりも

「副詞句」

c' ス pron. これは

「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i. ~である

「動詞」

évident. エヴィトン adj. 明らかな

「補語」

Mais メ conj. しかし

tout le monde トウル・モンド pron. 誰もが

「主語」

sait セ 3 単現(savoir)v.t. 知っている

「動詞」

que ク conj. ~ということを

「目的語」

la vie ラヴィー n.f. 人生は

「主語」

ne vaut pas ヌヴォパ 3 単現・否定(valor)v.i. (苦勞に) 値しない

「動詞句」

la peine ラペイ n.f. 苦勞

「補語」

d'être vécue. テートル・ヴェキュ 不定詞・受動・同格 adj. 生きるという「形容詞句」

実際の所、30 歳で死のうが 70 歳で死のうが大した違いがないことは分かっている。どちらの場合でも、他の男や女は生き続けるだろうし、そのことは何千年も変わらないのだから。

Dans le fond, je n'ignorais pas que mourir à trente ans ou à soixante-dix ans importe peu puisque, naturellement, dans les deux cas, d'autres hommes et d'autres femmes vivront, et cela pendant des milliers d'années. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」

Dans le fond, ドン・ルフオン adv.(= au fond) 実際は、実は、結局の所

「副詞句」

je ジュ pron. 僕は

「主語」

n'ignorais pas ニヨレ・パ 1 単半・否定・時制の一致(ignorer)

v.t.(que ~のことを) 分かっている

「動詞句」

que ク conj. ~ということを

「目的語」

mourir ムール 不定詞 n. 死ぬことは

「主語」

à trente ans アトント・アン adv. 30 歳で

「副詞句」

ou ウ conj. または

à soixante-dix ans アスワント・デイス・アン adv. 70 歳で

「副詞句」

importe アンポルト 3 単現(importer)v.i. 重要である、(大きな) 違いがある「動詞」

peu プ adv. ほとんど~ない、あまり~ない

「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| puisque, ピュイスキ conj. (理由) ～なのだから | 「副詞節」 |
| naturellement, ナチュレルモン adv. 当然、やっぱり | 「副詞」 |
| dans les deux cas, ドン・レ・トゥ・カ adv. どちらの場合でも | 「副詞句」 |
| d'autres hommes et d'autres femmes トートル・ゾム・エ・トートル・ファム | |
| pl.n 他の男や女は | 「主語」 |
| vivront, ヴィヴロン 3 複末(vivre)v.i 生きるだろう | 「動詞」 |
| et エ conj. そして | |
| cela スラ pron このことは | 「主語」 |
| pendant ポントン prep (時間) ～の間 | 「副詞句」 |
| des milliers d'années. デ・ミリエ・サネ | |
| pl(année).n.f 何千年 | 「目的語」 |

要するに、これ以上明白なことは無い。それが今すぐだろうが 20 年後だろうが、死ぬのはいつでも僕自身なのだ。

Rien n'était plus clair, en somme. C'était toujours moi qui mourrais, que ce soit maintenant ou dans vingt ans.

| | |
|---|----------------------------------|
| | 「主語」「動詞」「補語」「副詞句」 「動詞」「補語」「主語」 |
| Rien リヤン pron 何も～ない | 「主語」 |
| n'était ネ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～でない | 「動詞」 |
| plus clair, プリュ・クレール adj. より明白な | 「補語」 |
| en somme. オン・ソム adv. 要するに、結局 | 「副詞句」 |
| C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降) | |
| était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| toujours moi トゥジュール・ムワ pron いつでも僕 | 「補語」 |
| qui キ pron (主語) ～する | 「形容詞節」 |
| mourrais, ムレ 条・1 単現・推量(mourir)v.i 死ぬことになるのは | 「動詞」 |
| que ク conj. ～ということは | 「主語」 |
| ce ス pron それ | 「主語」 |
| soit スワ 接・3 単現・假定(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| maintenant マントナン adv. 今 | 「補語」 |
| ou ウ conj. または | |
| dans ドン prep (時間) ～後に | 「補語」 |
| vingt ans. ドン・ヴァン・タン pl(an).n.m 20 年 | 「目的語」 |
| dans ドン prep (限定しの付かない数字の前で、現在を起点として) ～後に | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そこで、少し僕の推論を妨げるものは、これから先 20 年の人生を考える時に心のうちに感じる、この恐ろしいほどの動悸だ。

A ce moment, ce qui me gênait un peu dans mon raisonnement, c'était ce bond terrible que je sentais en moi à la pensée de vingt ans de vie à venir.

「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

A ce moment, ア・ス・モメン adv. その時、そこで 「副詞句」

ce ス pron それが 「主語」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

me ム pron 僕を 「直接目的語」

gênait ジェネ 3 単半・時制の一致(gêner)v.t 妨げる、邪魔する 「動詞」

un peu アン・プ adv. 少し 「副詞」

dans mon raisonnement, トン・モン・レソヌメン

adv. 僕の推論に対して 「間接目的語」

c' ス pron それは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

ce bond terrible ス・ボン・テリブル n.m この恐ろしい跳躍 「補語」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

sentais ソンテ 1 単半・時制の一致(sentir)v.t 感じる 「動詞」

en moi オン・ムわ adv. 自分の心の中に 「副詞句」

à la pensée de vingt ans ア・ラ・ポンセ・ド・ヴィン・タン

adv. (時点) 20 年を考える時に 「副詞句」

de vie à venir. ド・ヴィー・ア・ヴィニール adj. 来るべき人生の 「形容詞句」

それでも、その考えに至らなければならないとしても、20 年後でも自分の考えは同じだろうと想像することで、それを押し殺すしかなかった。

Mais je n'avais qu'à l'étouffer en imaginant ce que seraient mes pensées dans vingt ans quand il me faudrait quand même en venir là. Mais 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais ナヴェ 1 単半・否定 (avoir)v.t ～がなかった 「動詞句」

qu' + 不定詞 ク conj.(ne...que) ～しかない 「目的語」

avoir qu'à + 不定詞 「～するだけ」

à l'étouffer ア・レトウフェ 不定詞(à+étouffer+l')

v.t それを押し殺す 「動詞句」

l'は la pensée の代用

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|----------------|------------------------------|----------------|
| en imaginant | ヱ・イヅァン ジェロンディフ(imaginer)adv. | 想像しながら「副詞句」 |
| ce | ス pron | それを「目的語」 |
| que | ク pron (主語) ~する | 「形容詞節」 |
| seraient | スレ 条・3 複現・推量(être)v.i | ~だろう「動詞」 |
| mes pensées | メ・ポンス pl(pensée).n.f | 自分の考え「補語」 |
| dans vingt ans | ドン・ヴァン・タン adv. | 20 年後に「副詞句」 |
| quand | コン conj. | (仮定) ~する時「副詞節」 |
| il | イル pron | 非人称 |
| me | ム pron | 自分にとって「間接目的語」 |
| faudrait | フォドレ 条・3 単現・推量(falloir) | |
| v.h | (+不定詞) ~しなければならないだろう | 「動詞句」 |
| quand même | コン・メム adv. | それでも、やはり「副詞句」 |
| en | ヱ adv. | その考えに「間接目的語」 |
| venir | ヴァニール 不定詞 v.i | 至る「動詞句」 |
| là. | adv. | そこに「副詞」 |

人が死ぬときには、どのようにとかいつということは重要ではない。それは自明なのだ。それゆえ（そして、困難なことは、この「それゆえ」が表す推論の全体像を見失わないことである）、それゆえ、僕は上訴の棄却を受け入れなければならない。

Du moment qu'on meurt, comment et quand, cela n'importe pas, c'était évident. Donc (et le difficile c'était de ne pas perdre de vue tout ce que ce «donc» représentait de raisonnements), donc, je devais accepter le rejet de mon pourvoi.

「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞句」, 「主語」「動詞」「補語」

「副詞」(et 「主語」「動詞」「補語」), 「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」

| | | |
|----------------|------------------------------|---------------------------|
| Du moment | デュ・モン adv. | (条件・理由) その時には、その時だから「副詞句」 |
| qu' | ク conj. | (同格) ~する「形容詞節」 |
| on | ヱ pron | 人が「主語」 |
| meurt, | ムール 3 単現(mourir)v.i | 死ぬ「動詞」 |
| comment | コモン adv. | どのように「副詞」 |
| et | エ conj. | そして |
| quand, | コン adv. | いつ「副詞」 |
| cela | スラ pron | それは「主語」 |
| n'importe pas, | ナンポルト・パ 3 単現・否定(importer)v.i | 重要ではない「動詞句」 |
| c' | ス pron | それは「主語」 |
| était | エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i | ~である「動詞」 |
| évident. | エヴァイトン adj. | 自明の、明らかな「補語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|--------|
| Donc トンク adv. それゆえ | 「副詞」 |
| (et エ conj. そして | |
| le difficile ル・ディフィシル n.m 困難なことは | 「主語」 |
| c' ス pron それは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| de ne pas perdre トゥ・ヌ・パ・ペルトル 不定詞・否定 n. 見失わないこと | 「補語」 |
| de vue トゥ・ヴュ n.f 景観を | 「目的語」 |
| tout ce トゥ・ス adj. すべての | 「形容詞句」 |
| que ク pron (目的語) 〜する | 「形容詞節」 |
| ce «donc» ス・トン n.m この「それゆえ」が | 「主語」 |
| représentait ル・レヴァンテ 3 単半・時制の一致(représenter) | |
| v.t 表す | 「動詞」 |
| de raisonnements), トゥ・レゾンヌモン | |
| adj. 推論の | 「形容詞句」 |
| donc, トンク adv. それゆえ | 「副詞」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| devais accepter トゥ・ヴ・アセプテ 1 単半・義務・時制の一致(devoir+不定詞) | |
| v.t 受け入れなければならない | 「動詞句」 |
| le rejet ル・ルジェ n.m 拒絶、棄却を | 「目的語」 |
| de mon pourvoi. トゥ・モン・プルーワ adj. 僕の上诉于 | 「形容詞句」 |

その時、まさにその時にだけ、僕はいわば権利を手に入れる。僕は第二の仮定に取り組むためのいわば許可を自分自身に与える：僕が恩赦を与えられたという仮定だ。

A ce moment, à ce moment seulement, j'avais pour ainsi dire le droit, je me donnais en quelque sorte la permission d'aborder la deuxième hypothèse: j'étais gracié.

| | |
|--|-------|
| 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「目的語」: 「主語」「動詞句」 | |
| A ce moment, ア・ス・モン adv. その時 | 「副詞句」 |
| à ce moment seulement, ア・ス・モン・スモン adv. まさにその時 | 「副詞句」 |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais アヴ・エ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t 手に入れる | 「動詞」 |
| pour ainsi dire プール・アンシ・テイル adv. いわば、ほとんど | 「副詞句」 |
| le droit, ル・トゥワ n.m 権利を | 「目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| me donnais ム・トネ 1 単半・時制の一致(se donner)v.pr 自分に与える | 「動詞句」 |
| en quelque sorte オン・ケルク・ソルト adv. いわば、ほとんど | 「副詞句」 |
| la permission ラ・ペルミシヨン n.f 許可を | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

d'aborder タボルテ 不定詞・目的 v.t (問題に) 取り組むための 「形容詞句」
 la deuxième hypothèse: ラ・トゥジエム・イポテゼ n.f 第二の仮定 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais gracié. エテ・グラシエ 1 単半・受動 (gracier)v.t 恩赦を与えられた 「動詞句」

困ったことは、血と肉体の勢いが狂おしい歓喜によって高まり、僕の目を突き刺すのを鎮める必要があることだ。

L'ennuyeux, c'est qu'il fallait rendre moins fougueux cet élan du sang et du corps qui me piquait les yeux d'une joie insensée. 「主語」「動詞」「補語」

L'ennuyeux, ロンニュユ n.m 困ったことは 「主語」

c' ス pron それは 「主語」

est エ 3 単現(être)v.i ~である 「動詞」

qu' ク conj. ~ということ 「補語」

il fallait イル・ファレ 非人称・3 単半・時制の一致(il falloir+不定詞)

v.h ~することが必要である 「動詞句」

rendre ロントル 不定詞 v.t 回復させることが 「主語」

moins fougueux ムワソ・フジュ adj. より少なく激昂した 「形容詞句」

cet élan セット・エラン n.m この勢いを 「目的語」

du sang ジュ・ソ adj. 血の 「形容詞句」

et エ conj. そして

du corps ジュ・コール adj. 肉体の 「形容詞句」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

me ム pron 僕の 「間接目的語」

piquait ピケ 3 単半・時制の一致(piquer)

v.t 突き刺す 「動詞」

les yeux レ・ジユ pl(oeil).n.m 目を 「直接目的語」

d'une joie insensée. ジュヌ・ジュワ・アソソセ

adv. (手段) 狂おしい歓喜によって 「副詞句」

joie ジュワ n.f 喜び insensée アソソセ adj(insensé).f 常軌を逸した、狂ったような

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はこの叫びを減らすことに専念して、それをなだめる必要があった。

Il fallait que je m'applique à réduire ce cri, à le raisonner. 「動詞句」「主語」

Il fallait イル・ファレ 非人称・3 単半(il falloir)v.h(que ～が) 必要だった 「動詞句」

que ク conj. ～ということが 「主語」

非人称の il falloir に導かれる節は接続法を用いる

je ジュ pron 僕は 「主語」

m'applique à réduire マプ°リク・ア・レジュイール 接・1 単現・専念(s'appliquer à+不定詞 réduire)

v.t. ～を減らすことに専念する 「動詞句」

ce cri, ス・クリ n.m. この叫びを 「目的語」

à ...raisonner. ア...レゾネ 不定詞・1 単現・専念(s'appliquer à+不定詞 raisonner)

v.t. ～をさとす 「動詞句」

le ル pron それを 「目的語」

最初の仮定における僕の諦めをより本当らしくするために、この第二の仮定においても、僕は自然な態度でいる必要があった。

Il fallait que je sois naturel même dans cette hypothèse, pour rendre plus plausible ma résignation dans la première. 「動詞句」「主語」

Il fallait イル・ファレ 非人称・3 単半(il falloir+不定詞)v.h(que ～が) 必要だった 「動詞句」

que ク conj. ～ということが 「主語」

非人称の il falloir に導かれる節は接続法を用いる

je ジュ pron 僕は 「主語」

sois スわ 接・1 単現(être)v.i. ～である 「動詞」

naturel ナチュレル adj. 自然な 「補語」

même dans cette hypothèse, メム・ドン・セツト・イプ°テース

adv. この仮定においても 「副詞句」

pour rendre プール・ロントル 不定詞・目的

v.t(+O C OをCに) するために 「副詞句」

plus plausible プリュ・プロジブル adj. もっと本当らしく 「補語」

ma résignation マ・レジニヤシオン n.f. 僕の諦めを 「目的語」

dans la première. トン・ラ・プルミエール

adv. 最初の仮定における 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それが上手くできた時には、僕は1時間の静寂を手に入れることが出来た。これは、それでも考える値があった。

Quand j'avais réussi, j'avais gagné une heure de calme. Cela, tout de même, était à considérer. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 | 「主語」 「副詞句」 「動詞句」

Quand コン conj. ～する時 「副詞節」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

avais réussi, アヴェ・レシ 1 単半・完了形(réussir)v.i うまくできた 「動詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais gagné アヴェ・ガニエ 1 単半・完了形(gagner)v.t 獲得できた 「動詞句」

une heure エヌ・ウル n.f 1 時間を 「目的語」

de calme. ドゥ・カム adj. 静かな 「形容詞句」

Cela, スラ pron それは 「主語」

tout de même, トゥ・ドゥ・メム adv. それでも 「副詞句」

était à considérer. エテ・ア・コンシデレ 3 単半・価値(être à+不定詞)

v.i 考慮するに値した 「動詞句」

être à+不定詞 「～している、～されるべきである、～するに値する、～する予定だ」

再び司祭の訪問を断ったのは、そんな時だ。

C'est à un semblable moment que j'ai refusé une fois de plus de recevoir l'aumônier.

「動詞」 「副詞句」 「主語」

C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」

à un semblable moment ア・アン・ソンプラブル・モモン adv. (時点) そんな時に 「副詞句」

que ク conj. ～ということは 「主語」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

ai refusé エルフェゼ 1 単現・完了形(refuser)

v.t(de+不定詞 ～するのを) 断った 「動詞句」

une fois de plus エヌ・フワ・ドゥ・プリュ adv. もう一度、またも 「副詞句」

de recevoir トゥ・ルスヴ・ワル 不定詞 v.t ～を受け入れることを、迎える 「目的語」

l'aumônier. ロモニエ n.m 刑務所付きの司祭を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は横になっていた。空の色がいくらか黄金色に色づいてきたことから、僕は夏の夕暮れが近いことを感じていた。

J'étais étendu et je devinais l'approche du soir d'été à une certaine blondeur du ciel.

「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 私は

「主語」

étais étendu エテ・エトシジュ 1 単半・受動(étendre)v.t 横になっていた

「動詞句」

s'étendre セトトル v.pr 横になる、寝る

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は

「主語」

devinais トウガイネ 1 単半(deviner)v.t 想像していた、察していた

「動詞」

l'approche ラプ ロッシュ n.f 接近を

「目的語」

du soir ジュ・スワール adj. 夕暮れの

「形容詞句」

d'été テテ adj. 夏の

「形容詞句」

à une certaine blondeur ア・ユヌ・セルテーヌ・ブロンデル adv. (手段) 黄金色から

「副詞句」

certaine セルテーヌ adj(certain).f いくらかの

du ciel. ジュ・シエル adj. 空の

「形容詞句」

僕は上訴を放棄したばかりだった。僕の体内を血流が規則正しく循環するのが感じられた。

Je venais de rejeter mon pourvoi et je pouvais sentir les ondes de mon sang circuler régulièrement en moi.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」「補語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

venais de rejeter ヴネ・トウ・ルジュテ 1 単半・近接過去(venir de+不定詞 rejeter)

v.t 放棄したばかりである

「動詞句」

rejeter ルジュテ v.t 投げ捨てる、拒絶する

近接未来は、aller+不定詞

mon pourvoi モン・プルーワ n.m 上訴を

「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 私は

「主語」

pouvais sentir プラエ・ソナール 1 単半・可能・知覚動詞(pouvoir+不定詞)

v.t ～を感じられた

「動詞句」

les ondes レ・ザントウ pl(onde).n.f 波、流れが

「目的語」

de mon sang トウ・モン・ソン adj. 私の血の

「形容詞句」

circuler シルク 不定詞・ondes の動作 v.i 循環する、流れる

「補語」

régulièrement レギュリエルン adv. 規則正しく

「副詞」

en moi. オン・ムワ adv. 私の体内を

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は司祭に会う必要などなかった。

Je n'avais pas besoin de voir l'aumônier.

「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

n'avais pas ナヴェ・パ 1 単半・否定(avoir)v.t. ～がなかった

「動詞句」

besoin ブズ・ワソ n.m 必要が

「目的語」

de voir ドゥ・ヴ・ワール 不定詞・同格 v.t. 面会するという

「形容詞句」

l'aumônier. ロモニエ n.m 司祭に

「目的語」

avoir besoin de+不定詞 「～する必要がある、～したい、しないといけない」

avoir besoin de... 「～が必要だ」

avoir besoin que+接続法 「～ということが必要だ」

久しぶりに、マリーのことを考えた。

Pour la première fois depuis bien longtemps, j'ai pensé à Marie.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「間接目的語」

Pour la première fois プール・ラ・プルミエール・フワ adv. 初めて

「副詞句」

depuis bien longtemps, ドゥピュイ・ビヤン・ロントソ adv. かなり昔から

「副詞句」

→ 久しぶりに

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.i (à のことを) 考えた

「動詞句」

à Marie. ア・マリー adv. マリーのことを

「間接目的語」

何日も前から、彼女は僕に手紙をくれていない。

Il y avait de longs jours qu'elle ne m'écrivait plus.

「動詞句」「目的語」「副詞節」

Il y avait イ・リ・アヴェ 3 単半(il y avoir)v.t. ～があつた

「動詞句」

de longs jours ドゥ・ロン・ジュール pl(jour).n.m 何日も

「目的語」

qu' ク conj. ～してから

「副詞節」

elle エル pron 彼女が

「主語」

ne ...écrivait plus. ス...エクリヴァ・エ・フリユ 3 単半・否定(écrire)

v.t. もう手紙を書かない

「動詞句」

m' ム pron 僕に

「目的語」

il y a+時間+que+直説法 「～してから(時間)になる」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

その晩、僕はよく考えて、彼女は死刑囚の愛人であることにつかれたのだろうと思った。

Ce soir-là, j'ai réfléchi et je me suis dit qu'elle s'était peut-être fatiguée d'être la maîtresse d'un condamné à mort. 「副詞句」, 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Ce soir-là, ス・スワ・ル・ラ adv. その晩 「副詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai réfléchi エ・レフシ 1 単現・完了形(réfléchir)v.i よく考えた 「動詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis dit ム・シュイ・ディ 1 単現・完了形(se dire)v.pr 思った 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「目的語」

elle エル pron 彼女は 「主語」

s'était peut-être fatiguée セテ・プ・テートル・ファチゲ 3 単半・完了形(se fatiguer+ peut-être)

v.pr 恐らく疲れた 「動詞句」

d'être デートル 不定詞・理由 v.i ～でいることに 「副詞句」

la maîtresse ラ・メレス n.f 愛人 「補語」

d'un condamné タン・コンダムネ adj. 囚人の 「形容詞句」

à mort. ア・モル adj. (予定・義務) 死すべき 「形容詞句」

もしかすると彼女は病気なのか、あるいは死んだのかもしれないという考えも浮かんた。

L'idée m'est venue aussi qu'elle était peut-être malade ou morte.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「副詞」「主語」

L'idée リテ n.f 考えが、思いつき 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

est venue エ・ヴァニュ 3 単現・完了形(venir)v.i (考えが) 浮かんた 「動詞句」

aussi オシ adv. ～もまた 「副詞」

est venue を修飾する

qu' ク conj. (同格: idée) ～という 「形容詞節」

elle エル pron 彼女は 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

peut-être プ・テートル adv. もしかすると 「副詞句」

malade マラット adj. 病気の 「補語」

ou ウ conj. または

morte. モルト adj(mort).f 死んだ 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それは物事の道理だ。

C'était dans l'ordre des choses.

「主語」「動詞」「副詞句」

C' ス pron それは

「主語」

était エ 3 単半・存在(être)v.i ～にあった

「動詞」

dans トン prep (場所) ～の中に

「副詞句」

l'ordre ロトル n.m 秩序、(自然の) 道理、節理

「目的語」

des choses. テ・ショース adj.pl 物事の

「形容詞句」

一体どうやって僕がそれを知ることができただろうか、今では離れ離れになった二人の体の他には、何も僕たちを結びつけないし、お互いを思い出させるものは何も無いのだから。

Comment l'aurais-je su puisqu'en dehors de nos deux corps maintenant séparés, rien ne nous liait et ne nous rappelait l'un à l'autre.

「副詞」「目的語」「動詞句」「主語」, 「副詞節」

Comment コモン adv. どのように、どうやって

「副詞」

l' ル pron それを

「目的語」

aurais... su オー...ス 条・1 単現・完了形・推量(savoir)

v.t 知っただろう、知ることができただろう

「動詞句」

-je ジュ pron 僕が

「主語」

puisque' ビュイスキ conj. ～なのだから

「副詞節」

en dehors de オン・トゥオール・トゥ prep (除外) ～の他には、～を除いては 「副詞句」

nos deux corps ノ・トゥ・コール pl(corps).n.m 僕たち二人の体 「目的語」

maintenant マントナン adv. 今は

「副詞」

séparés, セパレ

adj(séparé).pl 離れた、離れ離れになった

「形容詞」

rien リャン pron 何も～ない

「主語」

ne ...liait ス...リエ 3 単半・否定・時制の一致(lier)v.t 結びつけない

「動詞句」

nous ヌ pron 僕たちを

「目的語」

et エ conj. そして

ne ...rappelait ス...ラブレ 3 単半・否定・時制の一致(rappeler)

v.t 思い出させない

「動詞句」

nous ヌ pron 僕たちに

「間接目的語」

l'un ラン pron 相手を

「直接目的語」

à l'autre. ア・ロトル adv. 残りの者に

「副詞句」

→ お互いを

DEUXIÈME PARTIE 第2部

この時から、マリーの思い出は僕にとってどうでもよいものになっていたのかも知れない。

A partir de ce moment, d'ailleurs, le souvenir de Marie m'aurait été indifférent.

「副詞句」、「主語」「間接目的語」「動詞句」「補語」

A partir de ア・パルティール・トゥ prep (開始時点) ～から 「副詞句」

ce moment, ス・モメン n.m この時 「目的語」

d'ailleurs, ダイェール adv. さらに、その上、そもそも、もっとも 「副詞句」

le souvenir ル・スヴニール n.m 思い出は 「主語」

de Marie トゥ・マリー adj. マリーの 「形容詞句」

m' ム pron 僕にとっては 「間接目的語」

aurait été オーレ・エ 条・1 単現・完了形・変化・推測(être)

v.i ～になっていたのかもしれない 「動詞句」

indifférent. アンディフェン adj. (à にとって) どうでもよい、重要性のない 「補語」

死んだのならば、彼女はもう僕の興味を引かない。

Morte, elle ne m'intéressait plus. 「副詞」、「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

Morte, モルト 過去分詞(mourir)adj.f (条件・仮定) 死んだのであれば 「副詞」

elle エル pron 彼女は 「主語」

ne ...intéressait plus. ス...アンテレス・プリュ 3 単半・時制の一致(intéresser)

v.t もう興味を引かない 「動詞句」

m' ム pron 僕の 「目的語」

僕の死後、人々が僕のことを忘れるのはもっともだと思ふのと同様に、それは普通のことだ。

Je trouvais cela normal comme je comprenais très bien que les gens m'oublient après ma mort.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

trouvais トゥルヴ ェ 1 単半・時制の一致(trouver)v.t ～と思う 「動詞」

cela スラ pron それは 「目的語」

normal ノマル adj. 正常な、普通の、当然の 「補語」

comme コム conj. (比較) ～のように 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

comprenais コンプレネ 1 単半・時制の一致(comprendre)

v.t 納得する、もっともだと思う 「動詞」

très bien トレ・ビヤン adv. よく 「副詞句」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

les gens レ・ジヨン pron.pl 人々は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

oublent ムブリ 3 複現(oublier)v.t 忘れる 「動詞」
 après ma mort. アプレ・マ・モール adv. 僕が死んだ後で 「副詞句」

彼らにとって、僕は用なしになる。

Ils n'avaient plus rien à faire avec moi. 「主語」「動詞」「目的語」
 Ils イル pron.pl 彼らは 「主語」
 n'avaient plus ナヴェ・プリュ 3 複半・否定(avoir)v.t もうない 「動詞句」
 rien リン pron 何も～ない 「目的語」
 à faire ア・フェール 不定詞・目的 adj. するべき 「形容詞句」
 avec moi. アヴェッキ・ムわ adv. 僕と 「副詞句」

僕は、そう考えると辛い、などと言うことさえ出来なくなる。

Je ne pouvais même pas dire que cela était dur à penser. 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne pouvais même pas dire ヌ・プヴァエ・メム・パ・ディール 1 単半・可能・否定・時制の一致
 (pouvoir+不定詞+ même)v.t 言うことさえ出来なくなる 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ を 「目的語」
 cela スラ pron それは 「主語」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 dur デュール adj. つらい 「補語」
 à penser. ア・ペンサル 不定詞・原因 v.t 考えると 「副詞句」

まさにこの時、司祭が入って来た。

C'est à ce moment précis que l'aumônier est entré. 「動詞」「補語」「主語」
 C' ス pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)
 est エ 3 単現(être)v.i ～である 「動詞」
 à ce moment ア・スモン adv. この時に 「補語」
 précis プレシ adj. ちょうど、まさに 「形容詞」
 que ク conj. ～ということは 「主語」
 l'aumônier ロモニエ n.m 司祭が 「主語」
 est entré. エ・オントレ 3 単現・完了形(entrer)v.i 入って来た 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼の姿を見て、僕は少し震えた。

Quand je l'ai vu, j'ai eu un petit tremblement. 「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Quand コン conj. ～する時、～して 「副詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

ai vu, エ・ヴィ 1 単現・完了形(voir)v.t 見た 「動詞句」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t (心身の状態) ～があった 「動詞句」

un petit tremblement. アン・プティ・トロンブルモン n.m 少しの震え 「目的語」

彼は、僕が震えていることに気付き、怖がらなくてもよいと言った。

Il s'en est aperçu et m'a dit de ne pas avoir peur.

「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 et 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

s'... est aperçu ス...エ・アペ ルジュ 3 単現・完了形(s'apercevoir)v.pr(de に) 気付いた 「動詞句」

s'apercevoir de qch ～に気付く

en オン adv. 僕が震えていることに 「間接目的語」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t(+de+不定詞 ～するように) 言った 「動詞句」

de ne pas avoir トゥ・ヌ・パ・アヴ わル 不定詞・否定形 v.t 持つな 「動詞句」

peur. ペール n.f 恐れ、恐怖 「直接目的語」

僕は彼に、今までは違う時間に来ていたはずだが、と言った。

Je lui ai dit qu'il venait d'habitude à un autre moment.

「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを 「直接目的語」

il イル pron 彼は 「主語」

venait ヴネ 3 単半・習慣(venir)v.i 来ていたものだ 「動詞」

d'habitude ダビチュート adv. いつもは、普通は 「副詞句」

à un autre moment. ア・アン・オートル・モン adv. 違う時間に 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、これは全く友好的な訪問で、自分は上訴のことは知らない、だから何も知らない、と僕に答えた。

Il m'a répondu que c'était une visite tout amicale qui n'avait rien à voir avec mon pourvoi dont il ne savait rien.

Il イル pron 彼は 「主語」

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a répondu ア・レポンス 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「直接目的語」

c' ス pron これは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

une visite ユンス・ヴィジット n.f 訪問、面会 「補語」

tout amicale トゥ・アミカル adj(amical).f まったく友好的な 「形容詞句」

qui キ pron 彼は 「主語」

n'avait ナヴェ 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ～がない 「動詞句」

rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」

à voir ア・ヴァール 不定詞・目的 v.t 見るべき、知るべき 「形容詞句」

avec mon pourvoi アヴェッキ・モン・フルヴ

adv. 僕の上訴について 「副詞句」

dont ドン conj. それで、だから 「副詞節」

il イル pron 彼は 「主語」

ne savait rien. ヌ・サヴァン 3 単半・否定・時制の一致(savoir)

v.t 何も知らない 「動詞句」

彼は僕のベッドの上に座って、僕にもっと近くに来るようにと促した。

Il s'est assis sur ma couchette et m'a invité à me mettre près de lui.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「目的語」「動詞句」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」

s'est assis セ・タン 3 単現・完了形(s'asseoir)v.pr 座った 「動詞句」

sur ma couchette シュール・マ・クシェット adv. 僕のベッドの上に 「副詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「目的語」

a invité ア・アンヴァテ 3 単現・完了形(inviter)

v.t(O à+不定詞) (O に～するように) 促した 「動詞句」

à me mettre ア・ムメトル 不定詞・m'の動作(se mettre)v.pr (ある場所に) 身を置く 「補語」

près de lui. プレ・ドゥ・リュイ adv. 彼の近くに 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は断った。それでも、彼の中にとっても優しい感じが感じられた。

J'ai refusé. Je lui trouvais tout de même un air très doux.

「主語」「動詞句」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」「直接目的語」

J' ジュ pron 私は 「主語」
 ai refusé. エ・ルフュゼ 1 単現・完了形(refuser)v.t 断った 「動詞句」
 Je ジュ pron 私は 「主語」
 lui リュイ pron 彼の中に 「間接目的語」
 trouvais トゥルグァエ 1 単半(trouver)v.t 見つけた、感じた 「動詞」
 tout de même トゥ・ドゥ・メーム adv. それにもかかわらず、それでも 「副詞句」
 un air très doux. アン・エール・トレ・ドゥ n.m とても優しい様子を、態度 「直接目的語」

彼は膝の上に腕を置き、うつむいて両手を見つめて、しばらく座っていた。

Il est resté un moment assis, les avant-bras sur les genoux, la tête baissée, à regarder ses mains.

「主語」「動詞句」「副詞句」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 est resté エ・レステ 3 単現・完了形(rester)v.i(+C) (状態) ~のままでいた 「動詞句」
 un moment ウン・モモン adv. しばらく 「副詞句」
 assis, アシ adj. 座っている 「補語」

以降は様態を表す副詞句

les avant-bras レ・サヴァン・ブラ pl.n.m 前腕は 「主語」
 sur les genoux, シュール・レ・ジュヌー adv. 膝の上に 「副詞句」
 la tête ラ・テット n.f 頭は 「主語」
 baissée, ベッセ 過去分詞・受動(baisser)adj.f 下げられた 「補語」
 à regarder アルギヤルテ 不定詞・同時 adv. 見つめながら 「副詞句」
 ses mains. セ・マン pl.n.f 両手を 「目的語」

その手は細くて、筋肉質だった。僕には2匹の敏捷な獣のように思われた。

Elles étaient fines et musclées, elles me faisaient penser à deux bêtes agiles.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「目的語」「動詞」「補語」

Elles エル pron.f.pl (mains の代用) その手は 「主語」
 étaient エテ 3 複半(être)v.i ~だった 「動詞」
 fines フィヌ adj(fin).f.pl 細い、華奢な 「補語」
 et エ conj. そして
 musclées, ミュスクレ adj(musclé).f.pl 筋肉質の、たくましい 「補語」
 elles エル pron.f.pl (mains の代用) その手は 「主語」
 me ム pron 僕に 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

faisaient フェ 3 複半・使役(faire)v.t(SVO+不定詞 O に～を) させた 「動詞」

penser ポンセ 不定詞・me の動作 v.i (à のことを) 思う 「補語」

à deux bêtes agiles ア・トゥ・ベ・ットゥ・アジル adv. 2 匹の敏捷な獣を 「間接目的語」

bêtes ベ・ットゥ pl(bête).n.f 獣 agiles アジル adj(agile).pl 敏捷な

彼はゆっくりと両手をこすり合わせた。

Il les a frottées lentement l'une contre l'autre. 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」

les レ pron (mains の代用) 両手を 「目的語」

a frottées ア・フテ 3 単現・完了形.f.pl(frotter)v.t こすった 「動詞句」

lentement ロントモン adv. ゆっくりと 「副詞」

l'une contre l'autre. エヌ・コントル・ロートル adv. 互いに相手側に 「副詞句」

過去分詞と直接目的語の性・数一致

複合時制では、過去分詞の前に置かれた「直接目的語」に性・数一致する

それから彼は、相変わらず頭を伏せた姿勢で座っていたが、あまり長かったので、僕は彼の存在を少しの間忘れていた気がする。

Puis il est resté ainsi, la tête toujours baissée, pendant si longtemps que j'ai eu l'impression, un instant, que je l'avais oublié.

「副詞」「主語」「動詞句」「補語」「副詞句」, 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」

Puis ピュイ adv. それから 「副詞」

il イル pron 彼は 「主語」

est resté エ・レステ 3 単現・完了形・状態維持(rester)v.i ～のままでいた 「動詞句」

ainsi, オンシ adv. そのような 「補語」

la tête ラ・テット n.f 頭は～の状態で 「副詞句」

toujours トウジュール adv. あいかわらず 「副詞」

baissée, ベッセ 過去分詞(baisser)adj.f 伏せた 「補語」

pendant si longtemps ポントン・シ・ロン adv. (理由) あまり長いので 「副詞句」

que ク conj.(si...que) (結果) ～する

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai eu エ・イ 1 単現・完了形(avoir)v.t ～を持った 「動詞句」

l'impression, ランプレション n.f 印象を 「目的語」

un instant, アン・アンストン adv. 一瞬の間 「副詞句」

que ク conj. (同格) ～という 「形容詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avais oublié. アヴェ・ズヴリエ 1 単半・完了形(oublier)

v.t 忘れていた

「動詞句」

しかし、彼は急に頭を上げて、僕の顔を見つめた。

Mais il a relevé brusquement la tête et m'a regardé en face:

Mais 「主語」「動詞句」「副詞」「目的語」 et 「目的語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

il イル pron 彼は

「主語」

a relevé ア・ルヴェ 3 単現・完了形(relever)v.t 上げた、持ち上げた

「動詞句」

brusquement ブリュスクモン adv. 急に、突然

「副詞」

la tête ラ・テット n.f 頭を

「目的語」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕を

「目的語」

a regardé ア・ルギャルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた

「動詞句」

en face: オン・ファス adv. (体の部位) 顔を

「副詞句」

「どうして」と、彼は僕に言った。「私の訪問を断るのですか？」

«Pourquoi, m'a-t-il dit, refusez-vous mes visites?»

《「副詞」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」, 《「動詞」「主語」「目的語」》

«Pourquoi, プルワイ adv. (理由) どうして

「副詞」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a... dit, ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

-t-il イル pron 彼は

「主語」

refusez- ルフゼ 2 複現(refuser)v.t 断る

「動詞」

vous ヴ pron あなたは

「主語」

mes visites?» メ・ヴィジット pl(visite).n.f 私の面会を、訪問を

「目的語」

僕は神を信じていない、と答えた。

J'ai répondu que je ne croyais pas en Dieu.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai répondu エ・レボンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne croyais pas ネ・クルワイ・パ 1 単半・否定・時制の一致(croire)

v.i 信じていない

「動詞句」

en Dieu. オン・ディユ adv. 神 (の存在) を

「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は、僕がそのことを確信しているのかと尋ねたので、それを自分自身に問いかける必要もないと答えた：それは僕にはどうでもよい問題に思われる。

Il a voulu savoir si j'en étais bien sûr et j'ai dit que je n'avais pas à me le demander: cela me paraissait une question sans importance.

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」:

「主語」「間接目的語」「動詞」「補語」

Il イル pron 彼は 「主語」
 a voulu savoir ア・ヴリュ・サヴ わル 3 単現・完了形・願望(vouloir+不定詞)
 v.i 知りたがった、尋ねた 「動詞句」
 si シ conj. ～かどうかということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 en オン adv. それについて 「副詞句」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 bien sûr ビヤン・シュール adj. 確信した 「補語」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 n'avais pas ナヴエ・パ 1 単半・必要・否定・時制の一致(avoir)v.t(à+不定詞)
 v.t ～する必要がある 「動詞句」
 à me le demander: ア・ム・ル・ト・ウモンテ 不定詞 v.t それを自分に問いかける 「動詞句」
 cela スラ pron それは 「主語」
 me ム pron 僕にとって 「間接目的語」
 paraissait パレッセ 3 単半・時制の一致(paraître)v.i ～のように思われる 「動詞」
 une question コンヌ・クエション n.f 問題 「補語」
 sans importance. ソン・アンポルトンス adj. 重要性のない 「形容詞句」

彼は後ろへのけ反り、壁にもたれかかって、両手は開いて腿の上に置いた。

Il s'est alors renversé en arrière et s'est adossé au mur, les mains à plat sur les cuisses.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞句」, 「副詞句」

Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est alors renversé セ・タロー・ロンヴェルセ 3 単現・完了形(se renverser+ alors)
 v.pr するとのけぞった 「動詞句」
 en arrière オン・アリエール adv. 後ろへ 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

et エ conj. そして

s'est adossé セ・アドッセ 3 単現・完了形(s'adosser)v.pr(à に) もたれかかった 「動詞句」

au mur, オ・ミュール adv. 壁に 「副詞句」

les mains レ・マン pl(main)n.f (様態) 手を～にして 「副詞句」

à plat ア・プラ adv. 平らに 「副詞句」

sur les cuisses. シュール・レ・キュイス adv. 腿の上に 「副詞句」

彼は、僕に話しかける様子をほとんど見せずに、時には人は自分が確信していると思い込むことがあるが、実際にはそうではないのだ、と指摘した。僕は何も言わなかった。

Presque sans avoir l'air de me parler, il a observé qu'on se croyait sûr quelquefois, et, en réalité, on ne l'était pas. Je ne disais rien.

「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Presque プレスキ adv. ほとんど 「副詞」

sans avoir ソン・アヴ ェール 不定詞・様態 v.t ~をもたずに 「副詞句」

l'air レール n.m 様子を 「目的語」

de me parler, トゥ・ム・パール adj. (同格) 僕に話すという 「形容詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

a observé ア・オブセルヴェ 3 単現・完了形(observer)v.t 指摘した、観察した 「動詞句」

qu' ク conj. ~ということ 「目的語」

on オン pron 人は 「主語」

se croyait ス・クルワイ 3 単半・時制の一致(se croire)

v.pr 自分は～だと思い込む 「動詞句」

sûr, シュール adj. 確信した 「補語」

quelquefois, ケルクワ adv. 時には、時々 「副詞」

et, エ conj. そして

en réalité, オン・リアリテ adv. 実際は、実の所 「副詞句」

on オン pron 人は 「主語」

ne ...était pas. ス...エテ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ~でない 「動詞句」

l' ル pron(le sûr) 確信した人 「補語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

ne disais ス・テイェ 1 単半・否定・時制の一致(dire)v.r 言わなかった 「動詞句」

rien. リヤン pron 何も～ない 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は僕をじっと見つめて、尋ねた：「これについてあなたはどのように思いますか？」僕は、それ
はありうる、と答えた。

Il m'a regardé et m'a interrogé: «Qu'en pensez-vous?» J'ai répondu que c'était possible.

「主語」「目的語」「動詞句」et「間接目的語」「動詞句」:

《「目的語」「副詞」「動詞」「主語」》「主語」「動詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」
m' ム pron 僕を 「目的語」
a regardé ア・ルガヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t じっと見つめた 「動詞句」
et エ conj. そして
m' ム pron 僕に 「間接目的語」
a interrogé: ア・アンテロジエ 3 単現・完了形(interroger)v.t 尋ねた 「動詞句」
«Qu' ク pron 何を 「目的語」
en オン adv.(= de cela) これについて 「副詞」
pensez ポンセ 2 単現(penser)v.i(de について) 思う、考える 「動詞」
-vous?» ウ pron あなたは 「主語」
J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
que ク conj. 何ということ 「目的語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i 〜である 「動詞」
possible. ポシブル adj. ありうる 「補語」

いずれにせよ、僕が何に本当に興味があるかについては多分確信がない。しかし、興味が無
いものについては完全に分かっている。

En tout cas, je n'étais peut-être pas sûr de ce qui m'intéressait réellement, mais j'étais
tout à fait sûr de ce qui ne m'intéressait pas.

「副詞句」「主語」「動詞」「補語」,mais「主語」「動詞」「補語」

En tout cas, オン・トウ・カ adv. いずれにせよ、ともかく 「副詞句」
je ジュ pron 僕は 「主語」
n'étais peut-être pas ネ・フトートル・パ 1 単半・否定・時制の一致(être+ peut-être)
v.i おそらく〜でない 「動詞」
sûr シュール adj. 確信がある 「補語」
de ce トゥ・ス adv. これについて 「副詞句」
qui キ pron (主語) 〜する 「形容詞節」
m' ム pron 僕の 「目的語」
intéressait アンテレス 3 単半・時制の一致(interesser)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| v.t 興味を引く | 「動詞」 |
| réellement, レエルモン adv. 本当に | 「副詞」 |
| mais メ conj. しかし | |
| j' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| étais エ 1 単半・時制の一致(être)v.i ~である | 「動詞」 |
| tout à fait トゥ・タ・フェ adv. 完全に、全く | 「副詞句」 |
| sûr シュール adj. 確信した | 「補語」 |
| de ce トゥ・ス adv. これについて | 「副詞句」 |
| qui キ pron (主語) ~する | 「形容詞節」 |
| ne ...intéressait pas. ス...アンテレッセ・パ° 3 単半・否定・時制の一致(interesser) | |
| v.t 興味を引かない | 「動詞句」 |
| m' ム pron 僕の | 「目的語」 |

そしてまさに、彼が僕に話していることには、僕は興味が無い。

Et justement, ce dont il me parlait ne m'intéressait pas.

Et 「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

| | |
|--|---------|
| Et エ conj. そして | |
| justement, ジュストゥモン adv. まさに、ちょうど、正確に、公正に | 「副詞」 |
| ce ス pron そのことは | 「主語」 |
| dont トン conj(de quoi の代用) (間接目的語) ~する | 「形容詞節」 |
| il イル pron 彼が | 「主語」 |
| me ム pron 僕に | 「直接目的語」 |
| parlait パル 3 単半(parler)v.i(de について) 話している | 「動詞」 |
| ne ...intéressait pas. ス...アンテレッセ・パ° 3 単半・否定・時制の一致(interesser) | |
| v.t(qn 人の) 興味を引かない | 「動詞句」 |
| m' ム pron 僕 (の興味) | 「目的語」 |

彼は目をそらして、相変わらず同じ姿勢で、僕は絶望のあまりにそのように言っているのではないか、と尋ねた。

Il a détourné les yeux et, toujours sans changer de position, m'a demandé si je ne parlais pas ainsi par excès de désespoir.

「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「副詞句」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」

| | |
|--|-------|
| Il イル pron 彼は | 「主語」 |
| a détourné ア・デトゥルネ 3 単現・完了形(détourner)v.t そらせた | 「動詞句」 |
| les yeux レ・ジユ pl(oeil).n.m 目を | 「目的語」 |
| et, エ conj. そして | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|---------|
| toujours トウジュール adv. あいかわらず | 「副詞」 |
| sans changer ソン・シヨンジエ adv. ～を変えずに | 「副詞句」 |
| de position, トゥ・ポジション n.f 姿勢を | 「目的語」 |
| m' ム pron 僕に | 「間接目的語」 |
| a demandé ア・トゥモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた | 「動詞句」 |
| si シ conj. ～かどうかということ | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| ne parlais pas ス・パル・パ 1 単半・否定・時制の一致(parler) | |
| v.i 言わない | 「動詞句」 |
| ainsi オンシ adv. そのように | 「間接目的語」 |
| par excès de désespoir. パール・エクセ・トゥ・デゼスプ わル | |
| adv. (原因) 絶望のあまりに | 「副詞句」 |

僕は絶望なんかしていない、と彼に説明した。

Je lui ai expliqué que je n'étais pas désespéré.

| | |
|--|-------------------------|
| | 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」 |
| Je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai expliqué エ・エクスプリケ 1 単現・完了形(expliquer)v.t 説明した | 「動詞句」 |
| que ク conj. ～ということ | 「直接目的語」 |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| n'étais pas ネ・パ 1 単半・否定(être)v.i ～でない | 「動詞句」 |
| désespéré. デゼスプレ adj. 絶望している | 「補語」 |

僕は怖いだけだ。ごく当然のことだ。

J'avais seulement peur, c'était bien naturel.

| | |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| | 「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「動詞」「補語」 |
| J' ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t ～がある | 「動詞」 |
| seulement スルモン adv. ただ～だけ、～だけ | 「副詞」 |
| peur, ペール n.f 恐怖 | 「目的語」 |
| c' ス pron これは | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| bien naturel. ビヤン・ナチュレル adv. ごく当然の | 「補語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「それでは、神があなたをお救いになるでしょう」と、彼は言った。「私が知っていたあなたと同じ立場の人たちは皆、神にすぎたものでした」

«Dieu vous aiderait alors, a-t-il remarqué. Tous ceux que j'ai connus dans votre cas se retournaient vers lui.»

《「主語」「目的語」「動詞」「副詞」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」,
《「主語」「動詞句」「間接目的語」》

«Dieu ディユ n.m 神が 「主語」
vous ヴェ pron あなたを 「目的語」
aiderait エドレ 条・3 単現・推量(aider)v.t 助けるだろう 「動詞」
alors, アロー adv. それでは、じゃあ 「副詞」
a... remarqué. ア...マルケ 3 単現・完了形(remarquer)v.t 言った、指摘した 「動詞句」
il イル pron 彼が 「主語」
Tous ceux トゥ・スー pron.pl すべての人達は 「主語」
que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」
j' ジュ pron 私が 「主語」
ai connus エ・コニュ 1 単現・完了形(connaître)v.t 知っていた 「動詞句」
dans votre cas ドン・ヴァオル・カー adv. あなたと同じ立場の 「副詞句」
se retournaient ス・ルトゥルネ 3 複半(se retourner)v.pr(ver に) 頼る、すぎる 「動詞句」
vers lui. ヴェール・リュイ adv. 神に 「間接目的語」

僕は、それはその人たちの自由だと認めた。それは同時に、彼らにそんなことをしている時間があつたという証拠だ。

J'ai reconnu que c'était leur droit. Cela prouvait aussi qu'ils en avaient le temps.

「主語」「動詞句」「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」
ai reconnu エ・ルコニュ 1 単現・完了形(reconnaître)v.t 認めた 「動詞句」
que ク conj. ～ということを 「目的語」
c' ス pron それは 「主語」
était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
leur droit. レール・ドゥアル n.m 彼らの権利 「補語」
Cela スラ pron それは 「主語」
prouvait プルヴエ 3 単半・時制の一致(être)v.t 証明している 「動詞」
aussi オシ adv. ～もまた、同時に 「副詞」
qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
ils イル pron 彼らは 「主語」
en オン adv. そのようなことをしている 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avaient アヴェ 3 複半 (avoir)v.t ～があった

「動詞」

le temps. ル・トン n.m 時間が

「目的語」

僕はどうかというと、人の手助けは求めない。そしてまさに、僕には関心のないものに興味を抱いている時間などないのだ。

Quant à moi, je ne voulais pas qu'on m'aidât et justement le temps me manquait pour m'intéresser à ce qui ne m'intéressait pas.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「副詞」 「主語」 「間接目的語」 「動詞」 「副詞句」

Quant à コンタ prep (関連) ～にかんしては、～はどうかというと

「副詞句」

moi, ムワ pron 僕

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

ne voulais pas ヌ・ヴレ・パ 1 単半・否定・時制の一致(vouloir)v.t 望まない

「動詞句」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

on オン pron 人が

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

aidât エタ 接・3 単半・推量(aider)v.t 手助けする

「動詞」

et エ conj. そして

justement ジュストゥモン adv. まさに

「副詞」

le temps ル・トン n.m 時間が

「主語」

me ム pron 僕には

「間接目的語」

manquait モンケ 3 単半・時制の一致(manquer)v.i 不足している

「動詞」

pour +不定詞 adv. (目的) ～するために

「副詞句」

m'intéresser マンテレッセ 不定詞・活用(s'intéresser)v.pr 興味を持つ

「動詞句」

à ce ア・ス adv. そのことに

「間接目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

ne ...intéressait pas. ヌ...アンテレッセ・パ 3 単半・否定・時制の一致(intéresser)

v.t(+qn の) 興味を引かない

「動詞句」

m' ム pron 僕の

「目的語」

その時、彼の手が苛立ちの仕草を見せたが、彼は姿勢を正して、法服のひだを整えた。

A ce moment, ses mains ont eu un geste d'agacement, mais il s'est redressé et a arrangé les plis de sa robe.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」, mais 「主語」 「動詞句」 et 「動詞句」 「目的語」

A ce moment, ア・ス・モン adv. その時

「副詞句」

ses mains セ・マン pl(main)n.f 彼の手が

「主語」

ont eu オン・イ 3 複現・完了形(avoir)v.t (動作を) した

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|--|---------|--------|
| un geste アン・ジェスト n.m | 身振り、仕草を | 「目的語」 |
| d'agacement, ダ・ガスマン adj. | 苛立ちの | 「形容詞句」 |
| mais メ conj. | しかし | |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| s'est redressé セ・ルト・レッセ 3 単現・完了形(se redresser)v.pr | 姿勢を正した | 「動詞句」 |
| et エ conj. | そして | |
| a arrangé ア・アロンジエ 3 単現・完了形(arranger)v.t | 整えた、直した | 「動詞句」 |
| les plis レ・プリ pl(pli).n.m | ひだを | 「目的語」 |
| de sa robe. トゥ・サ・ローブ adj. | 法服の | 「形容詞句」 |

法服

裁判官、検察官、弁護士、裁判所書記官、廷吏など、職務上法廷に立ち合う法曹関係者及び裁判所職員が法廷で着用する制服。

彼は身支度を終えると、僕のことを「友よ」と呼んで話しかけてきた。

Quand il a eu fini, il s'est adressé à moi en m'appelant «mon ami»:

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」 「副詞句」

| | | |
|--|------------|---------|
| Quand コン conj. | ～する時 | 「副詞節」 |
| il イル pron | 彼が | 「主語」 |
| a eu fini, ア・イ・フニ 3 単現・完了形・直前(finir)v.t | (身支度を) 終えた | 「動詞句」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| s'est adressé セ・外・レッセ 3 単現・完了形(s'adresser)v.pr | 話しかけた | 「動詞句」 |
| à moi ア・ムわ adv. | 僕に | 「間接目的語」 |
| en +現在分詞 オン ジェロンディフ adv. | (同時) ～しながら | 「副詞句」 |
| m' ム pron | 僕を | 「目的語」 |
| appelant アプ・ロン 現在分詞(appler)v.t | 呼ぶ | 「動詞」 |
| «mon ami»: モ・ナミ n.m | 友と | 「補語」 |

身支度 みじたく

ある行動の準備として身なりを整えること。

複複合過去 : 主節の直前に完了した行為を表す

複現在完了 : avoir の現在形+ (eu または été) +過去分詞

複半過去完了 : avoir の半過去形+ (eu または été) +過去分詞

条・現在完了 : avoir の条・現在形+ (eu または été) +過去分詞

など avoir の様々な活用に適用できる。

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼がこんな風に僕に話すのは、僕が死刑囚だからではない。彼の意見では、僕たち囚人は皆死刑囚だ。

s'il me parlait ainsi ce n'était pas parce que j'étais condamné à mort; à son avis, nous étions tous condamnés à mort.

「副詞節」, 「主語」「動詞句」「補語」; 「主語」「動詞」「補語」

s' シ conj. (事実の提示) conj. ～であるのは... だからだ 「副詞節」

il イル pron 彼が 「主語」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

parlait パル 3 単半・時制の一致(parler)v.i 話す 「動詞」

ainsi オシ adv. こんな風に 「副詞」

ce ス pron それは 「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～ではない 「動詞句」

parce que パルス・キ conj. ～という理由 「補語」

j' ジュ pron 僕が 「主語」

étais condamné エ・コンダムネ 1 単半・受動・時制の一致(condamner)

v.t 宣告されている 「動詞句」

à mort; ア・モール adv. 死刑を 「補語」

à son avis, ア・ソ・ナヴィ adv. 彼の意見では、彼によれば 「副詞句」

nous ヌ pron 僕たちは(囚人は) 「主語」

étions エ・オン 1 複半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

tous condamnés à mort. ト・コンダムネ・ア・モール pl(condamné).n.m 皆死刑囚 「補語」

しかし僕は彼を遮って言った。それは同じ事ではない。それに、それは決して慰めにはなり得ない。

Mais je l'ai interrompu en lui disant que ce n'était pas la même chose et que, d'ailleurs, ce ne pouvait être, en aucun cas, une consolation.

Mais 「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

Mais メ conj. しかし

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 彼を 「目的語」

ai interrompu エ・アンテロンビュ 1 単現・完了形(interrompre)v.t 遮った 「動詞句」

en lui disant オン・リュイ・ディゾン ジェロンディフ・結果・手段(dire)v.t ～と言って 「副詞句」

que ク conj. ～ということ 「目的語」

ce ス pron それは 「主語」

n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ～ではない 「動詞句」

la même chose ラ・メム・ショーズ n.f 同じ事 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---------------------------------|-----------------------------|-------|
| et エ conj. | そして | |
| que ク conj. | ～ということを | 「目的語」 |
| d'ailleurs, ダイェール adv. | それに、更に | 「副詞句」 |
| ce ス pron | それは | 「主語」 |
| ne pouvait être, ヌ・プ・ヴァ・エ・エートル | 3 単半・可能性・否定・変化(pouvoir+不定詞) | |
| v.i | ～になり得ない | 「動詞句」 |
| en aucun cas, オン・オカン・カス | | |
| adv. | どんな場合でも～ない、決して～ない | 「副詞句」 |
| une consolation. ムヌ・コンソラシオン n.f | 慰め | 「補語」 |

「確かに、その通りです」と、彼は同意した。「しかし、今日は死なないとしても、いずれあなたは死ぬことになるのです。その時にまた同じ問題に直面します。あなたはその恐ろしい試練にどのように取り組むつもりなのですか？」

«Certes, a-t-il approuvé. Mais vous mourrez plus tard si vous ne mourez pas aujourd'hui. La même question se posera alors. Comment aborderez-vous cette terrible épreuve?»

《「応答」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」,

《Mais 「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「副詞」「動詞」「主語」「目的語」》

| | | |
|--|-----------------|-------|
| «Certes, セルツィ adv. | (きどって) 確かに、その通り | 「応答」 |
| a... approuvé. ア...アプ・ルヴァ 3 単現・完了形(approuver)v.t | 同意した | 「動詞句」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| Mais メ conj. | しかし | |
| vous ヴ pron | あなたは | 「主語」 |
| mourrez ムレ 2 複未・運命(mourir)v.i | 死ぬことになる | 「動詞」 |
| plus tard プリュ・タル adv. | 将来、後に、いずれは | 「副詞句」 |
| si シ conj. | (譲歩) もし～であっても | 「副詞節」 |
| vous ヴ pron | あなたが | 「主語」 |
| ne mourez pas ヌ・ムレ・パ 2 単現・否定(mourir)v.i | 死なない | 「動詞句」 |
| aujourd'hui. オジュールトゥイ adv. | 今日 | 「副詞句」 |
| La même question ラ・メム・クエスチオン n.f | 同じ問題が | 「主語」 |
| se posera ス・ポ・ズラ 3 単未・推量・再帰受動(se poser)v.pr | 課せられるだろう | 「動詞句」 |
| alors. アロー adv. | その時に | 「副詞」 |
| Comment コモン adv. | (様態) どのように | 「副詞」 |
| aborderez アボルトゥレ 2 複未・疑問文(aborder)v.t | (問題に) 取り組みますか? | 「動詞」 |
| vous ヴ pron | あなたは | 「主語」 |
| cette terrible épreuve? セット・テリブル・エプルーヴァ n.f | その恐ろしい試練に | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

terrible テリーブル adj. 恐ろしい épreuve エプルーヴ n.f 試験、試練

僕は、今現在それに取り組んでいるのとまったく同様に組み込むだけだと答えた。

J'ai répondu que je l'aborderais exactement comme je l'abordais en ce moment.

「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que ク conj. ～ということを

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ラ pron (épreuve の代用) それを

「目的語」

aborderais アボルトゥアレ 条・1 単現・推量(aborder)v.t 取り組むだろう

「動詞」

exactement comme エグザクトゥモン・コム conj. まさに～するように

「副詞節」

je ジュ pron 僕が

「主語」

l' ラ pron (épreuve の代用) それを

「目的語」

abordais アボルトゥ 1 単半・時制の一致(aborder)v.t 取り組んでいる

「動詞」

en ce moment. オン・ス・モン adv. 今現在

「副詞句」

その言葉を聞いて、彼は立ち上がり、真っすぐに僕の目を覗き込んだ。

Il s'est levé à ce mot et m'a regardé droit dans les yeux.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「直接目的語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

s'est levé セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった

「動詞句」

à ce mot ア・ス・モ adv. (原因) その言葉を聞いて

「副詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕を

「直接目的語」

a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた

「動詞句」

droit トゥールワ adv. まっすぐに

「副詞」

dans les yeux. ドン・レ・ジウ adv. (部分) 目を

「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

この遊びなら、僕は良く知っている。エマニュエルやセレステとよく遊んだものだ。そして、大抵は、彼らの方が目を背けたものだ。

C'est un jeu que je connaissais bien. Je m'en amusais souvent avec Emmanuel ou Céleste et, en général, ils détournaient leurs yeux.

「主語」「動詞」「補語」 | 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」,

et 「副詞句」「主語」「動詞」「目的語」

| | | |
|---|----------------|---------|
| C' ス pron | これは | 「主語」 |
| est エ 3 単現(être)v.i | ～である | 「動詞」 |
| un jeu アン・ジュー n.m | ゲーム、遊び | 「補語」 |
| que ク pron | (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| connaissais コネ 1 単半・時制の一致(connaître)v.t | 知っている | 「動詞」 |
| bien. ビヤン adv. | よく | 「副詞」 |
| Je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |
| m'...amusais ム...アミゼ 1 単半・習慣(s'amuser) | | |
| v.pr | 楽しんだものだ、遊んだものだ | 「動詞句」 |
| en オン adv. | それをして | 「間接目的語」 |
| souvent スヴオン adv. | よく、しばしば | 「副詞」 |
| avec アヴェツキ prep | (同伴) ～と | 「副詞句」 |
| Emmanuel エマニュエル n.m | エマヌエル | 「目的語」 |
| ou ウ conj. | または | |
| Céleste セステ n.m | セレステ | 「目的語」 |
| et, エ conj. | そして | |
| en général, エン・ジエネラル adv. | 大抵は | 「副詞句」 |
| ils イル pron.pl | 彼らが | 「主語」 |
| détournaient デトルネ 3 複半・習慣(détourner)v.t | そらせた | 「動詞」 |
| leurs yeux. レール・ジウ pl(oeil).n.m | 目を | 「目的語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

司祭もこの遊びに長けていた。僕はすぐそれが分かった：司祭の視線が揺らがなかったから。

L'aumônier aussi connaissait bien ce jeu, je l'ai tout de suite compris: son regard ne tremblait pas.

「主語」「動詞句」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞句」: 「主語」「動詞句」
 L'aumônier aussi ロモニエ・オン n.m 司祭も 「主語」
 connaissait bien コネ・ビヤン 3 単半(connaître)v.t 知っていた 「動詞句」
 ce jeu, ス・ジュー n.m この遊びを 「目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron そのことを 「目的語」
 ai tout de suite compris: エ・トゥ・トゥ・シュイット・コンプリ 1 単現・完了形
 (comprendre+ tout de suite)v.t すぐに分かった 「動詞句」
 son regard ソン・ルギヤール n.m 彼の視線は 「主語」
 ne tremblait pas. ノ・トロンブレ・パ 3 単半・否定(trembler)v.i 揺らがなかった 「動詞句」

そして、彼が僕に話すときの声もまた震えていなかった。

Et sa voix non plus n'a pas tremblé quand il m'a dit: Et 「主語」「動詞句」「副詞節」
 Et エ conj. そして
 sa voix サ・ヴァ n.f 彼の声は 「主語」
 non plus ノン・プリュ adv. (否定の連続) もまた～でない 「副詞句」
 n'a pas tremblé ナ・パ・トロンブレ 3 単現・完了形・否定(trembler)v.i 震えてなかった 「動詞句」
 quand コン conj. ～する時 「副詞節」
 il イル pron 彼が 「主語」
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 a dit: ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 話した 「動詞句」

「それでは、あなたはどんな希望も持たず、肉体も精神もすべてが滅んでいくという考えを抱いて、生きているのですか?」「ええ」と、僕は答えた。

«N'avez-vous donc aucun espoir et vivez-vous avec la pensée que vous allez mourir tout entier? — Oui», ai-je répondu.

《「動詞句」「主語」「副詞」「目的語」 et 「動詞」「主語」「副詞句」》《「応答」》, 「動詞句」「主語」

«N'avez- サヴェ 2 単現・否定・疑問文(avoir)v.t 持たないのですか? 「動詞句」
 vous ヴ pron あなたは 「主語」
 donc ドンク adv. それでは 「副詞」
 aucun espoir オーカン・エスプワール n.m どんな希望も 「目的語」
 et エ conj. そして

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|---|----------|-------|
| vivez- 2 単現・疑問文(vivre)v.i | 生きているのか? | 「動詞」 |
| vous ヴ pron | あなたは | 「主語」 |
| avec la pensée アヴェッキ・ラ・ポンス adv. | 考えを持って | 「副詞句」 |
| que ク conj. | ～ということ | 「目的語」 |
| vous ヴ pron | あなたは | 「主語」 |
| allez mourir アレ・ムリール 2 単現・近接未来(aller+不定詞) | | |
| v.i | 死んでいく | 「動詞句」 |
| tout entier? トゥ・オンチエ adv. | まったく | 「副詞句」 |
| — Oui», ウィ adv. | ええ | 「応答」 |
| ai... répondu. エ...レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.i | 答えた | 「動詞句」 |
| je ジュ pron | 僕は | 「主語」 |

すると彼はうつむいて、また座った。それから僕を気の毒に思うと言った。

Alors, il a baissé la tête et s'est rassis. Il m'a dit qu'il me plaignait.

| | | |
|--|-------------|---------------------------------|
| | | 「副詞」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「動詞句」 |
| | | 「主語」 「間接目的語」 「動詞句」 「直接目的語」 |
| Alors, アー adv. | すると | 「副詞」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| a baissé エ・ベッセ 3 単現・完了形(baisser)v.t | 下げた、降ろした | 「動詞句」 |
| la tête ラ・テット n.f | 頭を | 「目的語」 |
| et エ conj. | そして | |
| s'est rassis. セ・ラシ 3 単現・完了形(se rasseoir)v.pr | 再び座った | 「動詞句」 |
| Il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| m' ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t | 言った | 「動詞句」 |
| qu' ク conj. | ～ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron | 彼は | 「主語」 |
| me ム pron | 僕を | 「目的語」 |
| plaignait. プレニエ 3 単半・時制の一致(plaindre) | | |
| v.t | 気の毒に思う、同情する | 「動詞」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それは一人の人間には耐えられない、と彼は考えた。

Il jugeait cela impossible à supporter pour un homme.

「主語」「動詞」「目的語」「補語」

Il イル pron 彼は

「主語」

jugeait シュジュエ 3 単半(juger)v.t(SVOC O が C だと) 判断した、考えた

「動詞」

cela スラ pron それを

「目的語」

impossible アンボシブル adj. 不可能な

「補語」

à supporter ア・シュポルテ 不定詞・限定 adv. 耐えることは

「副詞句」

pour un homme. プール・アン・ノム adv. (対象) 一人の人間にとって 「副詞句」

僕としては、彼が単に煩わしくなってきた。

Moi, j'ai seulement senti qu'il commençait à m'ennuyer.

「主語」「動詞句」「目的語」

Moi, j' ムわ・ジュ pron 僕は

「主語」

ai seulement senti エ・スルモン・ソンティ 1 単現・完了形(sentir)v.t ただ〜と感じた

「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということ

「目的語」

il イル pron 彼は

「主語」

commençait à ...ennuyer. コモンセ・ア...オンニユエ 3 単半・開始・時制の一致(commencer à+不定詞)

v.t うんざりさせている

「動詞句」

m' ム pron 僕を

「目的語」

今度は僕の方が顔をそむけて、天窓の下に移動した。

Je me suis détourné à mon tour et je suis allé sous la lucarne.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis détourné ム・シュイ・デトウルネ 1 単現・完了形(se détourner)v.pr 顔をそむけた

「動詞句」

à mon tour ア・モン・トゥール adv. 僕の順番で、僕のほうが

「副詞句」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は

「主語」

suis allé シュイ・ザレ 1 単現・完了形・移動(aller)v.i 行った

「動詞句」

sous la lucarne. ス・ラ・リュカルヌ adv. 天窓の下に

「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は肩を壁にもたせ掛けた。よく分からなかったが、彼が僕に尋問を再開する声が聞こえた。

Je m'appuyais de l'épaule contre le mur. Sans bien le suivre, j'ai entendu qu'il recommençait à m'interroger.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 | 「副詞句」, 「主語」「動詞句」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 m'appuyais マピュエイ 1 単半(s'appuyer)v.pr (de 自分の体の部位を) もたれさせた「動詞句」
 de l'épaule トゥ・レポール n.f 肩を 「目的語」
 contre le mur. コントル・ル・ミュール adv. 壁に対して 「副詞句」
 Sans +不定詞 ソン adv. (譲歩) ~しなかったが 「副詞句」
 bien ビヤン adv. よく 「副詞」
 le ル pron それを 「目的語」
 suivre, シューヴル v.t 分かる 「動詞」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai entendu エ・アントンジュ 1 単現・完了形(entendre)v.t 聞こえた 「動詞句」
 qu' ク conj. ~ということ 「目的語」
 il イル pron 彼が 「主語」
 recommençait à ...interroger. ルコモンセ・ア...アンテロジエ 3 単半・再開・時制の一致
 (recommencer à+不定詞)v.t 尋問を再開する 「動詞句」
 m' ム pron 僕を 「目的語」

その声は、不安げで緊張感があった。僕は彼が動揺していると分かったので、少し真剣に彼の話を聞くことにした。

Il parlait d'une voix inquiète et pressante. J'ai compris qu'il était ému et je l'ai mieux écouté.

「主語」「動詞」「副詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「目的語」「動詞句」
 Il イル pron 彼は、その声は 「主語」
 parlait パル 3 単半(parler)v.i 話していた 「動詞」
 d' トゥ prep (手段・様態) ~によって 「副詞句」
 une voix ユヌ・ヴァ n.f 声 「目的語」
 inquiète et pressante. アンキエット・エ・プレサント
 adj.f 不安げで緊張した 「形容詞句」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai compris エ・コンプリ 1 単現・完了形(comprendre)v.t 理解した 「動詞句」
 qu' ク conj. ~ということ 「目的語」
 il イル pron 彼は 「主語」
 était ému エテ・エミ 3 単半・受動(émouvoir)v.t 動揺していた 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

s'émouvait セムヴヱ 3 単半・再帰受動(s'émouvoir) 動揺した でも同じ意味になる
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 l' ル pron 彼の話 「目的語」
 ai mieux écouté. エ・ミ・エケ 1 単現・完了形(écouter+ mieux)
 v.t 今までより真剣に聞いた 「動詞句」

彼は確信していることを僕に言った：僕の上訴は恐らく受理されるだろうが、罪の重荷は抱え続けることになる。だからそれを取り除かなければならない、と。

Il me disait sa certitude que mon pourvoi serait accepté, mais je portais le poids d'un péché dont il fallait me débarrasser. 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 disait ティエ 3 単半(dire)v.t 言った 「動詞」
 sa certitude サ・セルチュート n.f 彼の確信を 「直接目的語」
 que ク conj. (同格) ～という 「形容詞節」
 mon pourvoi モン・プルヴワ n.m 僕の上訴は 「主語」
 serait accepté, スレ・アクセプテ 条・3 単現・受動・推量(accepter)
 v.t おそらく受理されるだろう 「動詞句」
 mais メ conj. しかし
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 portais ポルテ 1 単半・時制の一致・継続(porter)
 v.t (荷物を) 抱えている 「動詞」
 le poids ル・プワ n.m おもりを 「目的語」
 d'un péché タン・ペシェ adj. 罪の 「形容詞句」
 dont トン pron それを 「目的語」
 il fallait イル・ファレ 非人称・3 単半・時制の一致(il falloir+不定詞)
 v.h ～しなければならない 「動詞句」
 me débarrasser. ム・デバラッセ 不定詞(se débarrasser)
 v.pr(de を) 片付ける 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼によると、人間の正義は無であり、神の正義が全てである。

Selon lui, la justice des hommes n'était rien et la justice de Dieu tout.

「副詞句」, 「主語」「動詞」「補語」 et 「主語」「補語」

Selon スロ ン prep ーの言によれば

「副詞句」

lui, リュイ pron (il, ils の強勢形) 彼

「目的語」

la justice ラ・ジュステイス n.f 正義は

「主語」

des hommes デ・ゾム adj. (所有) 人間の

「形容詞句」

n'était ネ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i ーである

「動詞」

rien リヤ ン pron(ne...rien) 無、何もない

「補語」

et エ conj. そして

la justice ラ・ジュステイス n.f 正義は

「主語」

de Dieu トゥ・ディユー adj. 神の

「形容詞句」

tout. トゥ pron (不定代名詞・単数中性) すべて

「補語」

僕に死刑を宣告したのは人間の正義の方だ、と僕は指摘した。

J'ai remarqué que c'était la première qui m'avait condamné. 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は

「主語」

ai remarqué エルマルケ 1 単現・完了形(remarquer)v.t 指摘した

「動詞句」

que ク conj. ーということを

「目的語」

c' ス pron 仮の主語 (真の主語は qui 以降)

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ーである

「動詞」

la première ラ・プルミエール n.f (最初のもの) 人間の正義

「補語」

qui キ pron (主語) ーするものは

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

avait condamné. アヴァエ・コンダムネ 3 単半・完了形(condamner)

v.t 刑を宣告した

「動詞句」

だからと言って人間の正義では僕の罪を洗い流すことは出来ない、と彼は言った。

Il m'a répondu qu'elle n'avait pas, pour autant, lavé mon péché.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は

「主語」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a répondu ア・レポ ンジュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

qu' ク conj. ーということを

「直接目的語」

elle エル pron (la justice des hommes の代用) 人間の正義は

「主語」

n'avait pas, ...lavé ナヴァエ・パ ...ラヴァエ 3 単半・完了形・否定・慣例・時制の一致(laver)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t 洗い落とせない 「動詞句」
 pour autant, プール・オソ adv. だからと言って 「副詞句」
 mon péché. モン・ペシェ n.m (宗教上の) 罪を 「目的語」
 法律上の罪は、crime クリム n.m 犯罪、犯行、殺人

僕は何が罪なのか分からない、と彼に言った。

Je lui ai dit que je ne savais pas ce qu'était un péché.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne savais pas ヌ・サヴァ・パ 1 単半・否定・時制の一致(savoir)
 v.t 分からない 「動詞句」
 ce ス pron それを 「目的語」
 qu' ク pron (主語) 何が～する 「形容詞節」
 était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 un péché. アン・ペシェ n.m 罪 「補語」

僕は有罪であるとだけ告げられた。

On m'avait seulement appris que j'étais un coupable.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」
 On オン pron 人は 「主語」
 不特定の「主語」なので、受動態に翻訳する
 m' ム pron 僕に 「間接目的語」
 avait seulement appris アヴァ・エ・スルモン・アプリ 3 単半・完了形(apprendre+ seulement)
 v.t (que を) ～とだけ知らせた 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」
 un coupable. アン・クパブル n.m 有罪者 「補語」
 apprendre
 apprendre+qch 「～を学ぶ、聞く、知る」
 apprendre que+直説法 「～ということを知る、聞く」
 apprendre à+不定詞 「～することを学ぶ、覚える」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

apprendre qch à qn 「(人)に(何)を教える、知らせる」

apprendre à qn que+直説法 「(人)に～ということを知らせる、告げる」

apprendre à qn à+不定詞 「(人)に～することを教える」

僕は有罪だ。罪の償いはするつもりだ。それ以上求められるものはない。

J'étais coupable, je payais, on ne pouvait rien me demander de plus.

「主語」「動詞」「補語」, 「主語」「動詞」,

「主語」「動詞句」「直接目的語」「間接目的語」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais エ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

coupable, カパーブル adj. 有罪の 「補語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

payais, ペイ 1 単半・時制の一致(payer)v.t 償う 「動詞」

on オン pron 人は 「主語」

ne pouvait ...demander ス・プヴァン...ドゥマンド 3 単半・可能・否定・時制の一致(pouvoir+不定詞)
v.t 求めることは出来ない 「動詞句」

rien リン pron 何も～ない 「直接目的語」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

de plus. ドゥ・プリュ adv. これ以上 「副詞句」

この時、彼はまた立ち上がった。この狭い独房の中では、もし彼が体を動かそうとしても、
選択の余地がない、と僕は思った。A ce moment, il s'est levé à nouveau et j'ai pensé que dans cette cellule si étroite, s'il
voulait remuer, il n'avait pas le choix.

「副詞句」. 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

A ce moment, ア・ス・モン adv. この時 「副詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

s'est levé セ・ルヴェ 3 単現・完了形(se lever)v.pr 立ち上がった 「動詞句」

à nouveau ア・ヌヴォ adv. 再び、また 「副詞句」

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.t 思った 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

dans cette cellule トン・セツ・セリュル adv. この独房では 「副詞句」

si étroite, シ・エトルワット adj. とても狭い 「形容詞句」

s' シ conj. もし～ならば 「副詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

il イル pron 彼が 「主語」

voulait remuer, ヴァレ・ルミエ 3 単半・願望・時制の一致(vouloir+不定詞)

v.t (体の一部を) 動かそうとする 「動詞句」

il イル pron 彼は 「主語」

n'avait pas ナヴェ・パ 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t 〜がない 「動詞句」

le choix. ル・ショワ n.m 選択 「目的語」

座るか、立ち上がるかのどちらかだ。

Il fallait s'asseoir ou se lever. 「動詞句」

Il fallait +不定詞 イル・ファレ 非人称・3 単半・必要・時制の一致(il falloir+不定詞)

v. 〜しなければならない 「動詞句」

s'asseoir サスワ・ル 不定詞 v.pr 座る 「動詞句」

ou ウ conj. または

se lever. ス・ルヴェ 不定詞 v.pr 立ち上がる 「動詞句」

僕は床に視線を落としていた。

J'avais les yeux fixés au sol. 「主語」「動詞」「目的語」「補語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴェ 1 単半(avoir)v.t (〜の状態に) した 「動詞」

les yeux レ・ジウ pl(oeil).n.m 目を 「目的語」

fixés フィケ adj(fixé).pl 固定された 「補語」

au sol. オ・ソル adv. (建物の) 床に 「副詞句」

彼は僕の方へ1歩進んだが、まるでその気がないように、立ち止まった。

Il a fait un pas vers moi et s'est arrêté, comme s'il n'osait avancer.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」 et 「動詞句」「副詞節」

Il イル pron 彼は 「主語」

a fait ア・フェ 3 単現・完了形(faire)v.t (行動を) した 「動詞句」

un pas アン・パ n.m 1 歩、歩みを 「目的語」

vers moi ヴェール・ムワ adv. 僕の方へ 「副詞句」

et エ conj. そして

s'est arrêté, セ・タレテ 3 単現・完了形(s'arrêter)v.pr 立ち止まった 「動詞句」

comme s' コム・シ conj. まるで〜かのように 「副詞節」

il イル pron 彼は 「主語」

n'osait avancer. ノゼ・アヴェ・オンセ 3 単半・意志・否定・時制の一致(oser+不定詞)

v.t 敢えて進まない、進む気がない 「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼は鉄格子の付いた窓越しに空を眺めた。

Il regardait le ciel à travers les barreaux.

「主語」「動詞」「目的語」「副詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

regardait ルギヤルテ° 3 単半(regarder)v.t 眺めた

「動詞」

le ciel ル・シエル n.m 空を

「目的語」

à travers ア・トラヴェール prep ~を通して、~越しに

「副詞句」

les barreaux. レ・バロー pl(barreau).n.m 窓の格子

「目的語」

「あなたは間違えています。息子よ！」と、彼は僕に言った。「あなたはさらに求められるかもしれない」

«Vous vous trompez, mon fils, m'a-t-il dit, on pourrait vous demander plus.

《「主語」「動詞句」「呼びかけ」》, 「間接目的語」「動詞句」「主語」「動詞句」,

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」》

«Vous ヴァ pron あなたは

「主語」

vous trompez, ヴァ・トロンペ° 2 複現(se tromper)v.pr 間違えている

「動詞句」

mon fils, モン・フィス n.m 息子よ

「呼びかけ」

m' ム pron 僕に

「間接目的語」

a... dit, ア...ディ° 3 単現・完了形(dire)v.t 言った

「動詞句」

il イル pron 彼は

「主語」

on オン pron 人は

「主語」

pourrait ...demander plus. プレ...ドゥモンテ°・プリュ 条・3 単現・可能性(pouvoir+不定詞+plus)

v.t さらに求めるかもしれない

「動詞句」

vous ヴァ pron あなたに

「間接目的語」

「多分、あなたは求められるでしょう。---それじゃあ、一体なにを？」

On vous le demandera peut-être. — Et quoi donc?

《「主語」「間接目的語」「直接目的語」「動詞」「副詞句」---Et 「目的語」「副詞」》

On オン pron 人は

「主語」

vous ヴァ pron あなたに

「間接目的語」

le ル pron それを

「直接目的語」

demandera ドゥモンドラ 3 単末(demander)v.t 求めるだろう

「動詞」

peut-être. — プ°・テートル adv. 多分

「副詞句」

Et エ conj. そして

quoi クワ pron 何を

「目的語」

donc? ドンク adv. それじゃあ

「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「見ることを求められるでしょう。---何を見ろと？」

－ On pourrait vous demander de voir. — Voir quoi?»

《「主語」「動詞句」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」---「動詞」「目的語」》

－ On オン pron 人は 「主語」

pourrait ...demander プレ...ドゥモンデ 条・3 単現・可能性(pouvoir+不定詞)

v.t 求めるでしょう 「動詞句」

vous ヴァ pron あなたに 「間接目的語」

de voir. — ドゥ・ヴァール 不定詞 n. 見ることを 「直接目的語」

Voir ヴァール 不定詞・疑問文 v.t 見るのか? 「動詞」

quoi? クワイ pron 何を 「目的語」

彼は自分の周りを眺めてから答えた。僕は突然気付いたが、その声はひどく疲れていた。

Le prêtre a regardé tout autour de lui et il a répondu d'une voix que j'ai trouvée soudain très lasse: 「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

Le prêtre ル・プレートル n.m 司祭は 「主語」

a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 眺めた 「動詞句」

tout autour トゥ・オトゥール adv. 周囲全体を 「副詞句」

de lui トゥ・リュイ adj. 自分の 「形容詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

a répondu ア・レボンジュ 3 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」

d'une voix シュヌ・ヴァ adv. (手段) 声で 「副詞句」

que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai trouvée エ・トゥルヴェ 1 単現・完了形(f(trouver))

v.t 発見した、分った 「動詞句」

soudain スタシ adv. 急に、突然 「副詞」

très lasse: トレ・ラス adj(las).f ひどく疲れた 「補語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「この壁の石材はみな苦しみの汗をしみださせている。私にはそれが分かる。この壁を見るたびに、私は胸が締め付けられます」

«Toutes ces pierres suent la douleur, je le sais. Je ne les ai jamais regardées sans angoisse.

《「主語」「動詞」「目的語」, 「主語」「目的語」「動詞」
「主語」「動詞句」「目的語」「副詞句」》

«Toutes ces pierres トウト・セ・ピエール pl(pierre).n.f この壁の石材はみな 「主語」
suent スエ 3 複現(suer)v.t (壁が汗を) しみださせている 「動詞」
la douleur, ラ・ドゥレール n.f 苦しみを 「目的語」
je ジュ pron 私は 「主語」
le ル pron それを 「目的語」
sais. セ 1 単現(savoir)v.t 分かる 「動詞」
Je ジュ pron 私は 「主語」
ne ...ai jamais regardées ス...エ・ジヤメ・ルギヤルテ 1 単現・完了形.f.pl・否定(regarder)
v.t 一度も見たことがない 「動詞句」
les レ pron.f.pl (pierres の代用) 石材を 「目的語」
sans angoisse. ソン・オンク・オス adv. (胸を締め付ける) 苦悶なしに 「副詞句」

しかし、私は本当に知っています。あなたの内にある最も惨めなものは、闇の中から神の顔が現れるのを見たはずです。

Mais, du fond du coeur, je sais que les plus misérables d'entre vous ont vu sortir de leur obscurité un visage divin. Mais 「副詞句」, 「主語」「動詞」「目的語」

Mais, メ conj. しかし
du fond du coeur, ジュ・フォン・ジュ・ケール adv. 心の底から、本当に 「副詞句」
je ジュ pron 私は 「主語」
sais セ 1 単現(savoir)v.t 知っている 「動詞」
que ク conj. ～ということを 「目的語」
les plus misérables レ・プリュ・ミゼラブル pl.n 最も惨めなものは 「主語」
d'entre vous トントル・ウ adv. あなたの内にある 「副詞句」
ont vu オン・ヴェ 3 複現・知覚動詞・完了形(voir)v.t 見た 「動詞句」
sortir ソルチール 不定詞・visage の動作 v.i 出て来る 「補語」
de leur obscurité トゥ・レール・オブ・スキュリテ adv. 闇の中から 「副詞句」
un visage アン・ヴィザージュ n.m 顔が 「目的語」
divin. デイヴァン adj. 神の 「形容詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

あなたが見るように望まれているのは、その顔です。

C'est ce visage qu'on vous demande de voir. 「動詞」「補語」「主語」

C' ス pron 仮の主語（真の主語は qu'以降）

est エ 3 単現(être)v.i 〜である 「動詞」

ce visage ス・ウ・イザージュ n.m その顔 「補語」

qu' ク pron （目的語）〜するものは 「主語」

on オン pron 人々が 「主語」

受動態に翻訳する

vous ヴ pron あなたに 「目的語」

demande ドゥマントゥ 3 単現(demander)

v.t(de+不定詞 〜するのを) 望んでいる 「動詞」

de voir.」 トゥ・ウ・ワール 不定詞・vous の動作 v.t 見る 「補語」

僕は少し興奮して言った。何か月も前から、僕はこの壁を見てきた。

Je me suis un peu animé. J'ai dit qu'il y avait des mois que je regardais ces murailles.

「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」「目的語」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

me suis ...animé. ム・シュイ...アニメ 1 単現・完了形(s'animer)v.pr 興奮した、昂揚した 「動詞句」

un peu アン・フ adv. 少し 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

qu' ク conj. 〜ということを 「目的語」

il y avait des mois que イ・リ・アヴァエ・テ・ム・ワ・ク adv. 何か月も前から〜

je ジュ pron 僕は 「主語」

regardais ルギャルテ 1 単半・習慣(regarder)v.t 見ていた 「動詞」

ces murailles. セ・ミュライ pl(muraille).n.f この壁を 「目的語」

この世で、これより良く知っている物もなければ、人もいない。

Il n'y avait rien ni personne que je connusse mieux au monde. 「動詞句」「目的語」

Il n'y avait イル・ニ・アヴァエ 3 単半・存在・否定(il y avoir)v.t 〜がなかった、いなかった 「動詞句」

rien リャン pron 何も〜ない 「目的語」

ni personne ニ・ペルソヌ pron 誰も〜ない 「目的語」

que ク pron （目的語）〜する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕が 「主語」

connusse コニス 接・1 単半(connaitre)v.t 知っている 「動詞」

mieux ミュ adv. よりよく 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

au monde. オ・モントゥ adv. この世で

「副詞句」

多分、ずっと以前には、僕はそこに1つの顔を捜していた。

Peut-être, il y a bien longtemps, y avais-je cherché un visage.

「副詞句」, 「副詞句」, 「副詞」 「動詞句」 「主語」 「目的語」

Peut-être, フ・テートル adv. 多分

「副詞句」

il y a bien longtemps, イ・リ・ア・ビヤン・ロントン adv. (回想) ずっと以前には

「副詞句」

y イ adv. そこに

「副詞」

avais... cherché アヴ・ェ...シェルシェ 1 単半・完了形・仮定(chercher)v.t 捜していた

「動詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

un visage. アン・ウ・イザージュ n.m 1つの顔を

「目的語」

しかし、その顔は太陽の色と欲望の炎を発散していた：それがマリーの顔だ。

Mais ce visage avait la couleur du soleil et la flamme du désir: c'était celui de Marie.

Mais 「主語」 「動詞」 「目的語」: 「主語」 「動詞」 「補語」

Mais メ conj. しかし

ce visage ス・ウ・イザージュ n.m その顔は

「主語」

avait アヴ・ェ 3 単半・存在(avoir)v.t (特徴) があった

「動詞」

la couleur du soleil ラ・クレール・ジュ・ソレイユ n.f 太陽の色

「目的語」

et エ conj. そして

la flamme ラ・フラム n.f 炎

「目的語」

du désir: ジュ・デジール adj. 欲望の

「形容詞句」

c' ス pron それが

「主語」

était エテ 3 単半(être)v.i ~だった

「動詞」

celui de Marie. スリュイ・ドゥ・マリー n.m マリーの顔

「補語」

僕はそれを捜したが、無駄だった。今では、それは終わった。

Je l'avais cherché en vain. Maintenant, c'était fini.

「主語」 「目的語」 「動詞句」 「副詞句」 | 「副詞」 「主語」 「動詞句」

Je ジュ pron 僕は

「主語」

l' ル pron.m (visage の代用) それを

「目的語」

avais cherché アヴ・ェ・シェルシェ 1 単半・完了形(chercher)v.t 捜した

「動詞句」

en vain. オン・ヴァン adv. むなしく

「副詞句」

Maintenant, マントゥナン adv. 今では

「副詞」

c' ス pron さがすことは

「主語」

était fini. エ・フィニ 3 単半・完了形(finir)v.i 終わった

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そしてともかく、この石の汗から現れるものは、何も見たことがない。

Et dans tous les cas, je n'avais rien vu surgir de cette sueur de pierre.

Et 「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「補語」

Et エ conj. そして

dans tous les cas, トン・トゥ・レ・カー adv. とにかく、結局 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais ...vu ナヴェ...ヴ 1 単半・完了形・否定・知覚動詞(voir)v.t 見たことがない 「動詞句」

rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」

surgir シュルジール 不定詞・rien の動作 v.i 現れる 「補語」

de cette sueur トゥ・セツ・シュエール adj. この汗から 「副詞句」

de pierre. トゥ・ピエール adj. 石の 「形容詞句」

司祭は悲しげな様子で僕を見つめた。

L'aumônier m'a regardé avec une sorte de tristesse.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」

L'aumônier ロモニエ n.m 司祭は 「主語」

m' ム pron 僕を 「目的語」

a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t 見つめた 「動詞句」

avec アヴェッキ prep (様態) ～の様子で 「副詞句」

une sorte ユンス・ソルトゥ n.f 種類 「目的語」

de tristesse. トゥ・トリステス adj. 悲しみの 「形容詞句」

僕は今では完全に壁を背にしてもたれかかっていた。そして日の光が僕の額に向かって射し込んできていた。

J'étais maintenant complètement adossé à la muraille et le jour me coulait sur le front.

「主語」「動詞句」「副詞句」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞」「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étais ...adossé エ...アドッセ 1 単半・受動(adosser)

v.t (à を) 背にしてもたれかかっていた 「動詞句」

maintenant マントナン adv. 今は 「副詞」

complètement コンプレットゥモン adv. 完全に 「副詞」

à la muraille ア・ラ・ミュライユ adv. 壁を 「副詞句」

et エ conj. そして

le jour ル・ジュール n.m 日の光は 「主語」

me ム pron 僕に 「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

coulait クル 3 単半(couler)v.i 流れてきた、射し込んできた 「動詞」
 sur le front. シュール・ル・フロン adv. (方向) 僕の額に向かって 「副詞句」

彼は二言三言喋ったが、僕は聞き取れなかった。それからとても早口で、僕にキスすることを許してもらえらるだろうかと尋ねた：

Il a dit quelques mots que je n'ai pas entendus et m'a demandé très vite si je lui permettais de m'embrasser:

「主語」「動詞句」「目的語」et「間接目的語」「動詞句」「副詞句」「直接目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

a dit ア・ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」

quelques mots ケルク・モ pl(mot).n.m 二言三言 「目的語」

que ク pron (目的語) ～する 「形容詞節」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'ai pas entendus ネ・パ・オントジユ 1 単現・完了形・否定(entendre)

v.t 聞き取れなかった 「動詞句」

et エ conj. そして

m' ム pron 僕に 「間接目的語」

a demandé ア・ドゥァモンテ 3 単現・完了形(demander)v.t 尋ねた 「動詞句」

très vite トレ・ヴァイト adv. とても早口で 「副詞句」

si シ conj. ～かどうかということを 「直接目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」

permettais ペルメテ 1 単半・時制の一致(permettre)

v.t (à qn de+不定詞 ～するのを) 許す 「動詞」

de +不定詞 ドゥ 不定詞・lui の動作 「補語」

m' ム pron 僕に 「目的語」

embrasser: オンブラッセ 不定詞 v.t キスする 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「断ります」と、僕は答えた。彼は振り向いて、壁の方へ歩いて行き、壁の表面にゆっくりと彼の手を滑らせた。

«Non», ai-je répondu. Il s'est retourné et a marché vers le mur sur lequel il a passé sa main lentement:

《「応答」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」 | 「主語」「動詞句」 et 「動詞句」「副詞句」
「副詞句」「主語」「動詞句」「目的語」「副詞」

«Non», ノ adv. 断る 「応答」
ai... répondu. エ...レポソジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた 「動詞句」
je ジュ pron 僕は 「主語」
Il イル pron 彼は 「主語」
s'est retourné セ・ルトウルネ 3 単現・完了形(se retourner)v.pr 振り返った 「動詞句」
et エ conj. そして
a marché ア・マルシェ 3 単現・完了形(marcher)v.i 歩いて行った 「動詞句」
vers le mur ヴァ・エル・ル・ミユル adv. 壁の方へ 「副詞句」
sur lequel シュール・ルケル adv. その上を 「副詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
a passé ア・パッセ 3 単現・完了形(passer)v.t かすめた、拭いた、撫でた 「動詞句」
sa main サ・マン n.f 手を 「目的語」
lentement: ロントワモン adv. ゆっくり 「副詞」

「それでは、あなたはそれほどまでにこの世を愛しているのですか？」と、彼は呟いた。僕は何も答えなかった。

«Aimez-vous donc cette terre à ce point?» a-t-il murmuré. Je n'ai rien répondu.

《「動詞」「主語」「副詞」「目的語」「副詞句」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」
「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」

«Aimez エメ 2 単現・疑問文(aimer)v.t 愛しているのですか? 「動詞」
vous ヴァ pron あなたは 「主語」
donc ドソク adv. それじゃあ 「副詞」
cette terre セット・テール n.f この世を 「目的語」
à ce point? ア・スポワソ adv. (程度) それほどまでに 「副詞句」
a... murmuré ア...ミユルミユレ 3 単現・完了形(murmurer)v.t 呟いた 「動詞句」
il イル pron 彼は 「主語」
Je ジュ pron 僕は 「主語」
n'ai ...répondu. ネ...レポソジュ 1 単現・完了形・否定(répondre)v.t 答えなかった 「動詞句」
rien リヤン pron 何も～ない 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

彼はかなり長い間顔を背けていた。彼の存在が僕には重苦しくて、苛ついてきた。

Il est resté assez longtemps détourné. Sa présence me pesait et m'agaçait.

「主語」「動詞句」「副詞句」「補語」 | 「主語」「間接目的語」「動詞」 et 「目的語」「動詞」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 est resté エ・レステ 3 単現・完了形・持続(rester)v.i (～の状態のまま) でいた 「動詞句」
 assez longtemps アセ・ロントソ adv. かなり長い間 「副詞句」
 détourné. テ・トゥルネ 過去分詞・様態(se détourner)adj. 顔をそむけた、横を向いた 「補語」
 再帰動詞の過去分詞が状況を示す「補語」として使われる時は、再帰代名詞が消える
 Sa présence サ・プレザンス n.f 彼の存在が 「主語」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 pesait ペゼ 3 単半(peser)v.i 重くのしかかった 「動詞」
 et エ conj. そして
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 agaçait. アガセ 3 単半(agacer)v.t いらだたせた 「動詞」

彼にもう出て行って僕を放っておいてくれ、と言おうと考えていた。その時、突然、彼の中で何かが弾けたように、僕の方へ振り返って、叫んだ。

J'allais lui dire de partir, de me laisser, quand il s'est écrié tout d'un coup avec une sorte d'éclat, en se retournant vers moi:

「主語」「動詞句」「目的語」「補語」, 「副詞節」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」
 allais +不定詞 アル 1 単半・近接未来(aller+不定詞)v. ～しようとしていた 「動詞句」
 lui リュイ pron 彼に 「目的語」
 dire ティール 不定詞 v.t 言う 「動詞句」
 de partir, トゥ・パルティール 不定詞・lui の動作 v.i 立ち去る 「補語」
 de me laisser, トゥ・ム・レッセ 不定詞(laisser+me)・lui の動作 v.t 僕を放っておく 「補語」
 quand コン conj. その時～する 「副詞節」
 il イル pron 彼は 「主語」
 s'est écrié セ・テクリエ 3 単現・完了形(s'écrier)v.pr 叫んだ 「動詞句」
 tout d'un coup トゥ・ダン・クー adv. 突然 「副詞句」
 avec une sorte d'éclat, アヴェ・エッキ・ユヌ・ソルトゥ・テクラ
 adv. 何かが弾けたように 「副詞句」
 une sorte de... 「一種の～、～のようなもの」 éclat エクラ n.m 爆発音
 en se retournant オン・ス・ルトゥルソ ジェロンディフ(se retourner)
 adv. 振り返って 「副詞句」
 vers moi: ヴァ・エール・ムワ adv. 僕のほうへ 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「いや違う！あなたの言っていることは信じられない。あなただって、来世を願ったことがあると、確信している」

«Non, je ne peux pas vous croire. Je suis sûr qu'il vous est arrivé de souhaiter une autre vie.»

《「応答」, 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」 | 「主語」「動詞」「補語」》

«Non, ン adv. いや違う！

「応答」

je ジュ pron 私は

「主語」

ne peux pas ...croire. ヌ・プ・パ ...クルわ-ル 1 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)

v.t 信じられない

「動詞句」

vous ヴ pron あなたの言っていることを

「目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

suis シュイ 1 単現(être)v.i ~である

「動詞」

sûr シュール adj. 確信した

「補語」

être sûr que+直説法 「~であることを確信している、確かだと思う」

qu' ク conj. ~ということ

「形容詞節」

il ...est arrivé de souhaiter イル...エ・アリヴ・ェ・ト・ウ・ス・エテ 非人称・3 単現・完了形

v.t 願ったことがあった

「動詞句」

il arriver de+不定詞 à qn 「人に~することが起こる」

vous ヴ pron あなたにとって

「間接目的語」

une autre vie.》 ヌヌ・オートル・ヴィー n.f 別の世を、来世を

「直接目的語」

僕は彼に答えた。もちろん願うことはあるが、それは金持ちになりたいとか、速く泳げるようになりたいとか、口の形がもっと整っていればと願う以上の意味はないと。

Je lui ai répondu que naturellement, mais cela n'avait pas plus d'importance que de souhaiter d'être riche, de nager très vite ou d'avoir une bouche mieux faite.

「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Je ジュ pron 私は

「主語」

lui リュイ pron 彼に

「間接目的語」

ai répondu エ・レポ・ンジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた

「動詞句」

que ク conj. ~ということ

「直接目的語」

naturellement, ナチュレルモン adv. もちろん

「応答」

mais メ conj. しかし

cela スラ pron それは

「主語」

n'avait pas ナヴ・ェ・パ 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ~がない

「動詞句」

plus d'importance プリュ・ダンポ・ルトス n.f それ以上の重要性は

「目的語」

que ク conj. (比較) ~以上の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

de souhaiter d'être トゥ・スエ・テートル 不定詞

n. ～になりたいと願う事 「目的語」

riche, リッシュ adj. 金持ち 「補語」

de nager トゥ・ナジェ 不定詞

n. 泳げるようになりたい事 「目的語」

très vite トレ・ヴィット adv. とても速く 「副詞句」

ou ウ conj. または

d'avoir ダヴ・ワール 不定詞 (特徴)

n. ～であれば良いと思う事 「目的語」

une bouche ムヌ・ブッシュ n.f 口 「目的語」

mieux faite. ミュー・フェット

adj. もっと良く出来た 「形容詞句」

それは同じ序列の願望だ。

C'était du même ordre. 「主語」「動詞」「補語」

C' ス pron それは 「主語」

était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

du même ordre. ジュ・メム・オルドル adj. 同じ序列の願望の 「補語」

しかし、彼は僕の話に割り込んで、僕がその来世をどう見ているのかと尋ねた。

Mais lui m'a arrêté et il voulait savoir comment je voyais cette autre vie.

Mais 「主語」「目的語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

Mais メ conj. しかし

lui リュイ pron (il の強勢形) 彼は 「主語」

m' ム pron 僕を、僕の話 「目的語」

a arrêté ア・アルテ 3 単現・完了形(arrêter)v.t 止めた 「動詞句」

et エ conj. そして

il イル pron 彼は 「主語」

voulait savoir ヴレ・サヴ・ワール 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

v.t 知りたがった、尋ねた 「動詞句」

comment コモン adv. どのように～するかということを 「目的語」

je ジュ pron 僕が 「主語」

voyais ヴ・ワイ 1 単半・時制の一致(voir)v.t 見ている 「動詞」

cette autre vie. セット・オートル・ヴィー n.f その来世を 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それで、大声で言った：「ここでの生活を思い出せるような生活ですよ」、そしてすぐ、もうたくさんだ、と彼に言った。

Alors, je lui ai crié: «Une vie où je pourrais me souvenir de celle-ci», et aussitôt je lui ai dit que j'en avais assez.

「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」:

《「応答」》,et「副詞」「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」

Alors, アー adv. (接続詞的) それで 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai crié: エ・クリエ 1 単現・完了形(crier)v.t 大声で言った 「動詞句」
 «Une vie ムヌ・ヴィー n.f 生活である 「応答」
 où ウ adv. そこで～する 「形容詞節」
 je ジュ pron 僕が 「主語」
 pourrais me souvenir プレ・ム・スヴニール 条・1 単現・可能・願望(pouvoir+不定詞)
 v.pr(de を) 思い出せるだろう 「動詞句」
 de celle-ci, ソ・セル・シ adv. この生活を 「間接目的語」
 celle セル pron ここ、vie の代用
 et エ conj. そして
 aussitôt オト adv. すぐに 「副詞」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 lui リュイ pron 彼に 「間接目的語」
 ai dit エ・ディ 1 単現・完了形(dire)v.t 言った 「動詞句」
 que ク conj. ～ということを 「直接目的語」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 en エ adv. このような話は 「副詞」
 avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t (状態) ～である 「動詞」
 assez. アッセ adv. 十分な、もうたくさん、けっこうな 「補語」

彼はまだ僕に神について話そうとしたが、僕は彼の方へ進んで最後にもう一度、僕には少しの時間しか残されていない、と彼に説明しようとした。

Il voulait encore me parler de Dieu, mais je me suis avancé vers lui et j'ai tenté de lui expliquer une dernière fois qu'il me restait peu de temps.

「主語」「動詞句」「副詞」「間接目的語」「動詞句」「間接目的語」,

mais「主語」「動詞句」「副詞句」et「主語」「動詞句」「副詞句」「目的語」

Il イル pron 彼は 「主語」

voulait ... parler ヴレ...パル 3 単半・願望(vouloir+不定詞)

DEUXIÈME PARTIE 第2部

v.t(de について) 話そうとした 「動詞句」
 encore オンコール adv. さらに、なお 「副詞」
 me ム pron 僕に 「間接目的語」
 de Dieu, トゥ・ディユ adv. 神について 「間接目的語」
 mais メ conj. しかし
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis avancé ム・シュイ・アヴァンセ 1 単現・完了形(s'avancer)v.pr 前進した、進んだ 「動詞句」
 vers lui ヴェール・リュイ adv. 彼の方へ 「副詞句」
 et エ conj. そして
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai tenté エ・トンテ 1 単現・完了形・試行(tenter)v.t(de+不定詞) ～しようとした 「動詞句」
 de lui expliquer トゥ・リュイ・エクスプリケ 不定詞 v.t 彼に説明する 「動詞句」
 une dernière fois エヌ・デルニエル・フワ adv. 最後に一度 「副詞句」
 qu' ク conj. ～ということを 「目的語」
 il ...restait イル...レステ 非人称・3 単半・時制の一致 v.h 残されている 「動詞句」
 me ム pron 僕にとって 「間接目的語」
 peu de temps. フ・ト・オ・トン n.m 少しの時間しか～ない 「主語」

神の事で、貴重な時間を無駄にしたくない。

Je ne voulais pas le perdre avec Dieu. 「主語」「動詞句」「目的語」「動詞句」「副詞句」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 ne voulais pas ...perdre ヌ・ヴレ・パ ...ペ・ルトル 1 単半・願望・否定・時制の一致
 (vouloir+不定詞)v.t 無駄にしたくない、失いたくない 「動詞句」
 le ル pron (temps の代用) 貴重な時間を 「目的語」
 avec Dieu. アヴィ・エッキ・ディユ adv. (対人関係) 神に関わって、神の事で 「副詞句」

彼は話題を変えようとして、どうして僕が彼のことを「父よ」ではなく「～さん」と呼ぶのかと、僕に尋ねた。

Il a essayé de changer de sujet en me demandant pourquoi je l'appelais «monsieur» et non pas «mon père». 「主語」「動詞句」「間接目的語」「副詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 a essayé de changer ア・エッセイ・トゥ・シヨンジエ 3 単現・完了形・試行(essayer de+不定詞)
 v.i(de を) 変えようとした 「動詞句」
 de sujet トゥ・シュジエ adv. 話題を 「間接目的語」
 en me demandant オン・ム・トゥ・モン・トン ジェロンディフ・結果 adv. そして尋ねた 「副詞句」
 pourquoi フルクワ adv. どうした～かということを 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|---|-------|
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| l'ル pron 彼を (司祭を) | 「目的語」 |
| appelais アプレ 1 単半・時制の一致(appeler)v.t 呼ぶ | 「動詞」 |
| «monsieur» ムッシュー n.m ムッシュー (〜さん) | 「補語」 |
| et エ conj. そして | |
| non pas «mon père». ノン・パ・モン・ペール adv. 「父よ」ではなく | 「副詞句」 |

これを聞いて僕は腹がたち、あなたは僕の父親ではないと答えた：彼も普通の人間なのだ。

Cela m'a énervé et je lui ai répondu qu'il n'était pas mon père: il était avec les autres.

「主語」「目的語」「動詞句」 et 「主語」「間接目的語」「動詞句」「直接目的語」:
「主語」「動詞」「補語」

| | |
|---|---------|
| Cela スラ pron これは | 「主語」 |
| m'ム pron 僕を | 「目的語」 |
| a énervé ア・エネルグエ 3 単現・完了形(énervé)v.t いらだたせた | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| je ジュ pron 僕は | 「主語」 |
| lui リュイ pron 彼に | 「間接目的語」 |
| ai répondu エ・レポンスジュ 1 単現・完了形(répondre)v.t 答えた | 「動詞句」 |
| qu'ク conj. 〜ということを | 「直接目的語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| n'était pas ネ・パ 3 単半・否定・時制の一致(être)v.i 〜でない | 「動詞」 |
| mon père: モン・ペール n.m 僕の父親 | 「補語」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・存在・時制の一致(être)v.i 〜である | 「動詞」 |
| avec les autres. アヴェッキ・レ・ゾートゥ adv. 他の人達と一緒に | 「補語」 |

「それは違います、我が子よ」と、彼は僕の肩に手を置いて言った。

«Non, mon fils, a-t-il dit en mettant la main sur mon épaule.

《「応答」「呼びかけ」》, 「動詞句」「主語」「動詞句」「副詞句」

| | |
|--|--------|
| «Non, ノン adv. 違う | 「応答」 |
| mon fils, モン・フィス n.m 息子よ、我が子よ | 「呼びかけ」 |
| a... dit ア...ディ 3 単現・完了形(dire)v.t 言った | 「動詞句」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| en mettant オン・メツン ヘロンディフ・同時(mettre)v.t 〜を置いて | 「副詞句」 |
| la main ラ・マン n.f 手を | 「目的語」 |
| sur mon épaule. シュール・モン・エポール adv. 僕の肩の上に | 「副詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

「私はあなたと共にいます。しかし、あなたは心が盲いているので、そのことが分からないのです。私はあなたのために祈りましょう」

Je suis avec vous. Mais vous ne pouvez pas le savoir parce que vous avez un coeur aveugle. Je prierai pour vous.»

《「主語」「動詞」「副詞句」 | Mais 「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」
「主語」「動詞」「副詞句」》

Je ジュ pron 私は 「主語」
suis シュイ 1 単現・存在(être)v.i いる 「動詞」
avec vous. アヴェッキ・ヴ adv. あなたと一緒に 「副詞句」
Mais メ conj. しかし
vous ヴ pron あなたは 「主語」
ne pouvez pas ...savoir ス・フヴエ・パ ...サヴ わ-ル 2 単現・可能・否定(pouvoir+不定詞)
v.t. ～が分からない 「動詞句」
le ル pron それを 「目的語」
parce que パルス・キ conj. (理由) ～なので 「副詞節」
vous ヴ pron あなたは 「主語」
avez アヴェ 2 単現(avoir)v.t (状態) ～である 「動詞」
un coeur アン・ケール n.m 心 「目的語」
aveugle. アヴェーグル adj. 盲目の 「形容詞」
Je ジュ ジュ pron 私は 「主語」
prierai プリレ 1 単未・意志(prier)v.t 祈る 「動詞」
pour vous. プール・ヴ adv. あなたのために 「副詞句」

その時、理由は分からないが、僕の心の中で何かが弾けた。

Alors, je ne sais pas pourquoi, il y a quelque chose qui a crevé en moi.

「副詞」, 「主語」「動詞句」「目的語」, 「動詞句」「目的語」

Alors, アロー adv. その時 「副詞」
je ジュ pron 私は (挿入節) 「主語」
ne sais pas ス・セ・パ 1 単現・否定(savoir)v.t 分からない 「動詞句」
pourquoi, プルワイ n.m 理由が 「目的語」
il y a イ・リア 3 単現・存在・発生(il y avoir)v.t ～がある 「動詞句」
quelque chose ケルキ・ショーズ n.f 何か 「目的語」
qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」
a crevé ア・クレヴェ 3 単現・完了形(crever)v.i 破裂した、弾けた 「動詞句」
en moi. オン・ム adv. 僕の心の中で、僕の中で 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕は声を張り上げて叫び、彼を侮辱し、彼にもう祈るなど怒鳴りつけた。

Je me suis mis à crier à plein gosier et je l'ai insulté et je lui ai dit de ne pas prier.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「目的語」「動詞句」
et 「主語」「目的語」「動詞句」「補語」

Je ジュ pron 私は 「主語」
me suis mis ム・シュイ・ミ 1 単現・完了形(se mettre)v.pr (à+不定詞) ～し始めた 「動詞句」
à crier ア・クリエ 不定詞 v.i 叫ぶ、大声を出す 「動詞句」
se mettre à+不定詞 「～に着手する、し始める、にとりかかる」
à plein gosier ア・プラン・ゴジエ adv. (手段) 大声で、声を張り上げて 「副詞句」
et エ conj. そして
je ジュ pron 私は 「主語」
l' ル pron 彼を 「目的語」
ai insulté エ・アンシュルテ 1 単現・完了形(insulter)v.t 侮辱した、ののしった 「動詞句」
et エ conj. そして
je ジュ pron 私は 「主語」
lui リュイ pron 「目的語」
ai dit エ・ティ 1 単現・完了形(dire)v.t 命じた、言った 「動詞句」
de ne pas prier. ト・カ・ヌ・パ・プリエ 不定詞・否定形・lui の動作 v.t 祈らない 「補語」
dire à qn de+不定詞 「～するように言う、命じる」

僕は彼の法衣の襟をつかんだ。僕は彼に向かって、喜びと怒りが混ざり合い、膨れ上がった感情のすべてを彼にぶつけていた。

Je l'avais pris par le collet de sa soutane. Je déversais sur lui tout le fond de mon coeur avec des bondissements mêlés de joie et de colère.

「主語」「目的語」「動詞句」「副詞句」 | 「主語」「動詞」「副詞句」「目的語」

Je ジュ pron 私は 「主語」
l' ル pron 彼を 「目的語」
avais pris アヴ・ェ・プリ 1 単現・完了形(prendre)v.t つかんだ 「動詞句」
par le collet パール・ル・コレ adv. 襟あたりを 「副詞句」
de sa soutane. ト・カ・サ・スタヌ adj. 法衣の 「形容詞句」
Je ジュ pron 私は 「主語」
déversais テヴァールセ 1 単半(déverser)v.t 吐き出していた 「動詞」
sur lui シュール・リュイ adv. (方向) 彼に向かって 「副詞句」
tout le fond トゥール・フォン pron 奥のすべて 「目的語」
de mon coeur トゥ・モン・ケール adj. 心の 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

avec des bondissements アヴェッキ・デ・ボンティイモン

adv. (含有) 跳躍を含む、興奮

「副詞句」

mêlés メ adj(mêlé).pl 混ざった

「形容詞」

de joie et de colère. トゥ・ジュワ・エ・トゥ・コレール

adv. (手段) 喜びと怒りによって

「副詞句」

彼は余りにも確信がある様子じゃあないか？

Il avait l'air si certain, n'est-ce pas? 「主語」「動詞」「補語」, 「動詞句」「主語」「動詞句」

Il イル pron 彼は

「主語」

avait アヴェ 3 単半・時制の一致(avoir)v.t (心身の状態) ~である

「動詞」

l'air レール n.m 様子

「補語」

si certain, シ・セルタン adj. (強調) あまりにも確かな

「形容詞句」

n'est... pas? ネ...パ° 3 単現・否定・確認(être)v.i ~ではないか？

「動詞句」

ce ス pron それは

「主語」

けれども、彼の確信のどれ一つとして女の髪の毛1本の価値もない。

Pourtant, aucune de ses certitudes ne valait un cheveu de femme.

「副詞」「主語」「動詞句」「補語」

Pourtant, プルトン adv. けれども

「副詞」

aucune オキユン pron(aucun).f どれひとつとして~ない

「主語」

de ses certitudes トゥ・セ・セルティチュート adj. 彼の確信の

「形容詞句」

ne valait ヌ・ヴァレ 3 単半・否定・時制の一致(valoir) (価格を示す名詞は状況補語)

v.i ~だけの価値がない

「動詞句」

un cheveu アン・シュヴ° n.m 髪の毛1本

「補語」

de femme. トゥ・ファム adj. 女の

「形容詞句」

彼は死人のように暮らしているのだから、自分が生きていることにさえ確信できない。

Il n'était même pas sûr d'être en vie puisqu'il vivait comme un mort.

「主語」「動詞句」「補語」, 「副詞節」

Il イル pron 彼は

「主語」

n'était même pas ネ・メモ・パ° 3 単半・否定・強調・時制の一致(être)v.i ~でさえない「動詞句」

sûr シュール adj. 確信した

「補語」

d'être en vie テートル・オン・ヴィエ adv. (関連) ~生きていることについて

「副詞句」

être en vie 「生きている」

puisque' ビュイスキ conj. (理由) ~なのだから

「副詞節」

il イル pron 彼は

「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

vivait ヴィヴァエ 3 単半・時制の一致(vivre)v.i 暮らしている

「動詞」

comme un mort. コム・アン・モール adv. 死人のように

「副詞句」

僕はといえば、全くの手ぶらだ。

Moi, j'avais l'air d'avoir les mains vides.

「主語」「動詞」「補語」

Moi, j' ムワ・ジュ pron 僕はといえば

「主語」

avais アヴァエ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t (状態) ~である

「動詞」

l'air レール n.m 様子

「補語」

d'avoir ダヴァール 不定詞・同格 adj. (状態) ~であるという

「形容詞句」

les mains レ・マン pl(main).n.f 手を

「目的語」

vides. ヴィット adj(vide).pl からの

「形容詞」

les mains vides 「手ぶらで、何も持たずに」

しかし僕は自分の事は確信している。すべてを確信している。かれよりもっと確信している。

僕の命とやがてやって来るその死を確信している。

Mais j'étais sûr de moi, sûr de tout, plus sûr que lui, sûr de ma vie et de cette mort qui allait venir.

Mais 「主語」「動詞」「補語」

Mais メ conj. しかし

j' ジュ pron 僕は

「主語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ~である

「動詞」

sûr シュール adj.(de を) 確信している

「補語」

de moi, トゥ・ムワ adv. 自分自身について

「副詞句」

sûr シュール adj.(de を) 確信している

「補語」

de tout, トゥ・トゥ adv. すべて

を「副詞句」

plus sûr que lui, フリュ・シュール・クリュイ adv. (比較) 彼よりもっと確信している

「補語」

sûr シュール adj.(de を) 確信している

「補語」

de ma vie トゥ・マ・ヴィー adv. 僕の命を

「副詞句」

et エ conj. そして

de cette mort トゥ・セツ・モール adv. その命の死を

「副詞句」

qui allait venir. キアレ・ヴィニール

pron (半過去・近接未来) (主語) やがてやって来る

「形容詞節」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

そうだ、僕にはこれしかない。だが少なくとも、僕はこの真理を掴み続ける。真理が僕を掴み続けているように。

Oui, je n'avais que cela. Mais du moins, je tenais cette vérité autant qu'elle me tenait.

「自答」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Mais 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「目的語」 「副詞節」

Oui, ウー adv. そうだ 「自答」

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais ナヴェ 1 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t. ～がない 「動詞句」

que cela. ク・スラ pron.f(ne...que) これしか～ない 「目的語」

Mais メ conj. しかし

du moins, ジュ・ムワソ adv. 少なくとも、とにかく 「副詞句」

je ジュ pron 僕は 「主語」

tenais トネ 1 単半・時制の一致(tenir)v.t. つかんでいる 「動詞」

cette vérité セット・ヴェリテ n.f. この真理を 「目的語」

autant qu' オトン・ク conj. ～するのと同様に 「副詞節」

elle エル pron (vérité の代用) それが 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

tenait. トネ 3 単半・時制の一致(tenir)v.t. つかんでいる 「動詞」

僕は正しかった。僕は今でも正しい。僕はいつだって正しい。

J'avais eu raison, j'avais encore raison, j'avais toujours raison.

「主語」 「動詞句」 「目的語」,

「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」, 「主語」 「動詞」 「副詞」 「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais eu アヴェ・ジュ 1 単半・完了形(avoir)v.t. ～があった 「動詞句」

raison, レゾン n.f. 道理 「目的語」

avoir raison 「正しい」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t. ～がある 「動詞」

encore オンコール adv. 今でも 「副詞」

raison, レゾン n.f. 道理 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais アヴェ 1 単半・時制の一致(avoir)v.t. ～がある 「動詞」

toujours トゥジュール adv. いつでも 「副詞」

raison. レゾン n.f. 道理 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

僕はこんな風に生きてきたが、別の生き方だって出来たかもしれない。僕はこれをやったが、あれはやらなかった。

J'avais vécu de telle façon et j'aurais pu vivre de telle autre. J'avais fait ceci et je n'avais pas fait cela.

「主語」「動詞句」「副詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」

「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞句」「目的語」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais vécu アヴ`ェ・ヴ`ェキュ 1 単半・完了形(vivre)v.i 生きてきた 「動詞句」

de telle façon トゥ`・テル・ファツン adv. (様態) こんな風に 「副詞句」

telle テル adj(tel).f そのような façon ファツン n.f 仕方、やり方

et エ conj. そして

j' ジュ pron 僕は 「主語」

aurais pu vivre オレ・ピ`ユ・ヴァ`イヴル 条・1 単現・完了形・可能性・推量(pouvoir+不定詞)

v.i 生きることが出来たかもしれない 「動詞句」

de telle autre. トゥ`・テル・オートル adv. (様態) 別のやり方で 「副詞句」

autre オートル adj. (性別で不変) 別の (façon が省略されている)

J' ジュ pron 僕は 「主語」

avais fait アヴ`ェ・フェ 1 単半・完了形(faire)v.t 実行した 「動詞句」

ceci シ pron これを 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais pas fait ナヴ`ェ・パ`・フェ 1 単半・完了形・否定(faire)v.t 実行しなかった 「動詞句」

cela. ス pron あれを 「目的語」

僕は別の事はやったのに、そんなことはしなかった。

Je n'avais pas fait telle chose alors que j'avais fait cette autre.

「主語」「動詞句」「目的語」「副詞節」

Je ジュ pron 僕は 「主語」

n'avais pas fait ナヴ`ェ・パ`・フェ 1 単半・完了形・否定(faire)v.t 実行しなかった 「動詞句」

telle chose テル・ショーズ` n.f そんなことを 「目的語」

alors que アロ`・キ conj. ~であるのに 「副詞節」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais fait アヴ`ェ・フェ 1 単半・完了形(faire)v.t 実行した 「動詞句」

cette autre. セット・オートル pron 別のことを 「目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

それでどうだというんだ？僕はただ、その瞬間を、つまり僕の無罪が証明される、夜明けの瞬間を待っていたに過ぎない。

Et après? C'était comme si j'avais attendu pendant tout le temps cette minute et cette petite aube où je serais justifié. 「副詞句」「主語」「動詞」「補語」

Et après? エ・アプレ adv. それでどうだというんだ？、で、それから？ 「副詞句」

C' ス pron. これは 「主語」

était エ 3 単半・時制の一致(être)v.i. ～である 「動詞」

comme si コム conj. あたかも～のようなもの 「補語」

英語の as if に相当する。「動詞」は直説法半過去または大過去

j' ジュ pron. 私は 「主語」

avais attendu アヴ・ェ・アトジユ 1 単半・完了形(attendre)v.t. 待っていた 「動詞句」

pendant ポントソ prep (時間) ～の間 「副詞句」

tout le temps トゥ・ル・ソ n.m. 全ての時間、ずっと 「目的語」

cette minute セット・ミニユット n.f. その瞬間を 「目的語」

et エ conj. そして

cette petite aube セット・プチット・オーブ n.f. この明け方を 「目的語」

petite プチット adj(petit).f. いとしい、～の始め aube オーブ n.f. 夜明け

où ウ adv. その時～する 「副詞節」

je ジュ pron. 私が 「主語」

serais justifié. スレ・ジユスティフィエ 条・1 単現・受動・推量(justifier)

v.t. 無罪を証明されるだろう 「動詞」

「フランス語で読もう 異邦人」では

「ぼくが義とされる…」と翻訳している。しかし「義とされる」とは、「信仰によって、罪人の罪が清められる」ことを表すので、無信教の主人公の言葉とは思えない。

何も無い。重要なことなど、何もない。僕はそのわけを良く知っている。彼だってそのことを分かっているはずだ。

Rien, rien n'avait d'importance et je savais bien pourquoi. Lui aussi savait pourquoi.

「主語」, 「主語」「動詞句」「目的語」 et 「主語」「動詞」「副詞」「目的語」

「主語」「動詞」「目的語」

Rien, リヤン pron. 何も無い 「主語」

rien リヤン pron. 何も～ない 「主語」

n'avait ナヴ・ェ 3 単半・時制の一致・否定(avoir)v.t. ない 「動詞句」

d'importance ダンポ・ルトス n.f. 重要性が 「目的語」

et エ conj. そして

je ジュ pron. 私は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|-------|
| savais サヴヱ 1 単半・時制の一致(savoir)v.t 知っている | 「動詞」 |
| bien ビヤン adv. よく | 「副詞」 |
| pourquoi. プルクワ n.m わけを、理由を | 「目的語」 |
| Lui リュイ pron 彼は | 「主語」 |
| aussi オシ adv. ーも | 「副詞」 |
| savais サヴヱ 3 単半・時制の一致(savoir)v.t 知っている | 「動詞」 |
| pourquoi. プルクワ n.m わけを、理由を | 「目的語」 |

僕の未来の奥底から、僕が送って来たこの不条理な人生の間じゅうずっと、暗い息吹が僕の方へ、まだ訪れていない年月を飛び越して湧き上がってきた。そして、その息吹は僕が生きる、もはや現実ではないその年月において、僕に提示される全てを平滑にして通り抜けた。

Du fond de mon avenir, pendant toute cette vie absurde que j'avais menée, un souffle obscur remontait vers moi à travers des années qui n'étaient pas encore venues et ce souffle égalisait sur son passage tout ce qu'on me proposait alors dans les années pas plus réelles que je vivais.

| | |
|--|-----------------------------|
| | 「副詞句」, 「副詞句」, 「主語」「動詞」「副詞句」 |
| Du fond ジュ・フォン adv. 奥から、底から、下から | 「副詞句」 |
| de mon avenir, トゥ・モン・アヴニール adj. 僕の未来の | 「形容詞句」 |
| pendant ポントン prep (時間) ーの間ずっと | 「副詞句」 |
| toute cette vie トゥット・セット・ヴィー n.f この全人生 | 「目的語」 |
| absurde アブシュルト adj. 不条理な | 「形容詞」 |
| que ク pron (目的語.f) ーする | 「形容詞節」 |
| j' ジュ pron 僕が | 「主語」 |
| avais menée, アヴィエ・ムネ 1 単半・完了形(mener) | |
| v.t 送って来た | 「動詞句」 |
| un souffle アン・スフル n.m 息吹が | 「主語」 |
| obscur オフスキュール adj. 暗い | 「形容詞」 |
| remontait ルモンテ 3 単半(remonter)v.i 再び上がって来た | 「動詞」 |
| vers moi ヴェール・ムワ adv. 僕の方へ | 「副詞句」 |
| à travers ア・トラヴェール adv. ーを通して、通り抜けて | 「副詞句」 |
| des années テ・ザネ pl(année).n.f 年月を | 「目的語」 |
| qui キ pron (主語) ーする | 「形容詞節」 |
| n'étaient pas encore venues ネ・パ・オンコール・ヴニユ 3 複半・完了形・否定(venir) | |
| v.i まだ来ていない | 「動詞句」 |
| et エ conj. そして | |
| ce souffle ス・スフル n.m その息吹は | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-------------------------------------|----------------|---------|
| égalisait エガリゼ 3 単半(égaliser)v.t | 均等化した、ならした、揃えた | 「動詞」 |
| sur son passage シュール・ソン・パッサージュ adv. | 風の通り道に | 「副詞句」 |
| tout ce トゥ・ス pron | すべてを | 「目的語」 |
| qu' ク pron (目的語) ～する | | 「形容詞節」 |
| on オン pron | 人が | 「主語」 |
| me ム pron | 僕に | 「間接目的語」 |
| proposait プロポゼ 3 単半・時制の一致(proposer) | | |
| v.t | 示す、提示する | 「動詞」 |
| alors アール adv. | そこで | 「副詞」 |
| dans les années トン・レ・ザネ adv. | 年月の間に | 「副詞句」 |
| pas plus réelles パ・プリュ・レエル | | |
| adj. | もはや現実ではない | 「形容詞句」 |
| que ク pron (目的語) ～する | | 「形容詞節」 |
| je ジュ pron | 僕が | 「主語」 |
| vivais. ヴィヴェ 1 単半・時制の一致(vivre) | | |
| v.t | 生きる | 「動詞」 |

他人の死や母の愛が僕にとって重要だって？彼の神や人が決めた人生や人が選んだ運命が僕にとって重要だって？たった一つの運命が僕を選ばなければならず、僕と一緒に、彼みたいに僕の兄弟を自称する何十億もの特権者たちを選ばねばならないというのに！

Que m'importaient la mort des autres, l'amour d'une mère, que m'importaient son Dieu, les vies qu'on choisit, les destins qu'on élit, puisqu'un seul destin devait m'élire moi-même et avec moi des milliards de privilégiés qui, comme lui, se disaient mes frères.

Que 「間接目的語」「動詞」「主語」, que 「間接目的語」「動詞」「主語」, 「副詞節」
Que ク conj. (憤慨・不信・譲歩) ～だって！、～なんてことはない！

| | | |
|--------------------------------------|------------------|---------|
| m' ム pron | 僕にとって | 「間接目的語」 |
| importaient アンポルテ 3 複半(importer)v.i | 重要である | 「動詞」 |
| la mort des autres, ラ・モール・デ・ゾートル n.f | 他人の死が | 「主語」 |
| l'amour d'une mère, ラムール・ジユヌ・メル n.m | 母の愛が | 「主語」 |
| que ク conj. | (憤慨・不信・譲歩) ～だって！ | |
| m' ム pron | 僕にとって | 「間接目的語」 |
| importaient アンポルテ 3 複半(importer)v.i | 重要である | 「動詞」 |
| son Dieu, ソン・ディユ n.m | 彼の神が | 「主語」 |
| les vies レ・ヴィエ pl(vie)n.f | 人生が | 「主語」 |
| qu' ク pron (目的語) ～する | | 「形容詞節」 |
| on オン pron | 人が | 「主語」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | |
|--|--------|
| choisit, ショワジ 3 単遠(choisir)v.t 選んだ、決めた | 「動詞」 |
| les destins レ・デスタン pl(destin).n.m 運命が | 「主語」 |
| qu' ク pron (目的語) ～する | 「形容詞節」 |
| on オン pron 人が | 「主語」 |
| élit, エリ 3 単現(élire)v.t 選択する、選ぶ | 「動詞」 |
| puisque' ヒュイスキ conj. (理由) ～だから | 「副詞節」 |
| un seul destin アン・スル・デスタン n.m たった一つの運命が | 「主語」 |
| devait ...élire トゥヴァエ...エリール 3 単半・必要(devoir+不定詞) | |
| v.t 選ばなければならない | 「動詞句」 |
| m' ム 僕を | 「目的語」 |
| moi-même ムワ・メム pron 僕自身を | 「目的語」 |
| et エ conj. そして | |
| avec moi アヴ・エツキ・ムワ adv. 僕と一緒に | 「副詞句」 |
| des milliards de privilégiés テ・ミヤール・テ・プリヴィルジエ | |
| pl(privilégié).n.m 何十億の特権者を | 「目的語」 |
| qui, キ pron(主語) ～する | 「形容詞節」 |
| comme lui, コム・リュイ adv. 彼のように | 「副詞句」 |
| se disaient ス・ディゼ 3 複半・時制の一致(se dire) | |
| v.pr 自称する | 「動詞句」 |
| mes frères. メ・フレール pl(frère).n.m 僕の兄弟と | 「補語」 |

それじゃあ、彼は分かっているのか？誰にでも特権はあるのだ。逆に、特権者しかいない。
僕以外の者たちも同様に、いつか刑が宣告されるのだ。

Comprenait-il donc? Tout le monde était privilégié. Il n'y avait que des privilégiés. Les autres aussi, on les condamnerait un jour.

「動詞」「主語」「副詞」 | 「主語」「動詞」「補語」

「動詞句」「主語」 | 「副詞句」「主語」「目的語」「動詞」「副詞句」

Comprenait コンプレ 3 単半・疑問文・時制の一致(comprendre)

| | |
|---|-------|
| v.t 分かっているのか？ | 「動詞」 |
| il イル pron 彼は | 「主語」 |
| donc? トンク adv. それじゃあ | 「副詞」 |
| Tout le monde トゥル・モント n.m (単数扱い) 誰でも | 「主語」 |
| était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である | 「動詞」 |
| privilégié. プリヴィルジエ adj. 特権のある | 「補語」 |
| Il n'y avait que イル・ニ・アヴェ・ク 3 単半・時制の一致・存在・限定(il y avoir+ne...que) | |
| v.i ～しかない | 「動詞句」 |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

| | | |
|-----------------------------|----------------------------------|-------|
| des privilégiés. テ・プリアヴィルジエ | pl(privilégié).n.m 特権者 | 「主語」 |
| Les autres aussi, レ・ゾートル・オン | pron.pl 他の人達も同様に | 「副詞句」 |
| on オン | pron 人は | 「主語」 |
| | 受動態に翻訳する | |
| les レ | pron 彼らに | 「目的語」 |
| condamnerait | コンダヌル 条・3 単現・推量・時制の一致(condamner) | |
| | v.t 刑を宣告するだろう | 「動詞」 |
| un jour. アン・ジュール | adv. いつか、そのうちに | 「副詞句」 |

あの司祭だって同様に、刑を宣告されるのだ。彼が殺人容疑で告発され、母親の葬儀で泣かなかったという理由で処刑されたとしても、何ら不思議はない？

Lui aussi, on le condamnerait. Qu'importait si, accusé de meurtre, il était exécuté pour n'avoir pas pleuré à l'enterrement de sa mère?

| | | |
|---------------------------------|---|-------|
| | 「目的語」, 「主語」 「目的語」 動詞 「主語」 「動詞」, 「副詞節」 | |
| Lui aussi, リュイ・オン | pron 彼も同様に | 「目的語」 |
| on オン | pron 人は | 「主語」 |
| le ル | pron 彼に | 「目的語」 |
| condamnerait. | コンダヌル 条・3 単現・推量・時制の一致(condamner) | |
| | v.t 刑を宣告するだろう | 「動詞」 |
| Qu' ク | pron 何が | 「主語」 |
| importait | アンポルトゥ 3 単半・時制の一致・疑問文(importer)v.i 重要なのか? | 「動詞」 |
| si, シ | conj. (仮定) もし〜として | 「副詞節」 |
| accusé | アキュゼ 過去分詞・受動・条件(accuser)v.t 告発された | 「動詞」 |
| de meurtre, | ド・ウ・ムルトル adv. (理由) 殺人で | 「副詞句」 |
| il イル | pron 彼が | 「主語」 |
| était exécuté | エテ・エクゼキュテ 3 単半・受動(executer)v.t 処刑された | 「動詞句」 |
| pour n'avoir pas pleuré | プール・ナヴ・ワ・ル・パ・ブル adv. (pour+不定詞・完了形・否定) | |
| | adv (理由) 泣かなかったために | 「副詞句」 |
| à l'enterrement de sa mère? | ア・ロンテールモン・ド・ウ・サ・メル adv. 母親の葬儀で | 「副詞句」 |
| Qu'importe qu'il vienne ou non. | 彼が来ようと来まいと大したことではない。 | |
| Qu'importe ses objections. | 彼の反対などどうでもよい。 | |

DEUXIÈME PARTIE 第2部

サラマノの犬は、彼の妻と同じ価値がある。

Le chien de Salamano valait autant que sa femme. 「主語」「動詞」「補語」

Le chien ル・シヤン n.m あの犬は 「主語」

de Salamano ト・ウ・サラマノ adj. サラマノの 「形容詞句」

valait ヴァレ 3 単半・時制の一致(valoir)v.i ~だけの価値がある 「動詞」

autant que オ・ト・ン・ク prep (比較) ~と同じ 「補語」

sa femme. サ・ファミ n.d 彼の妻 「目的語」

あの機械仕掛けみたいな小柄な女だって、マソンが結婚したパリジャンとか僕が彼女と結婚することを望んでいたマリーと同様に有罪だ。

La petite femme automatique était aussi coupable que la Parisienne que Masson avait épousée ou que Marie qui avait envie que je l'épouse. 「主語」「動詞」「補語」

La petite femme ラ・プ・ウティット・ファミ n.f あの小柄な女は 「主語」

automatique オ・トマチック adj. 機械仕掛けのような 「形容詞」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ~である 「動詞」

aussi coupable オ・シ・クパ・ブル adj. 同様に有罪の 「補語」

que ク conj. (比較) ~のように 「副詞句」

la Parisienne ラ・パリジエンヌ n.f パリジャン 「目的語」

que ク pron (目的語) ~する 「形容詞節」

Masson マソン n.m マソンが 「主語」

avait épousée ア・ヴェ・エプ・ゼ 3 単半・完了形.f(épouser)

v.t 結婚した 「動詞句」

ou ウ conj. または

que ク conj. (比較) ~のように 「副詞句」

Marie マリー n.f マリー 「目的語」

qui キ pron (主語) ~する 「形容詞節」

avait ア・ヴェ 3 単半(avoir)v.t ~があつた 「動詞」

envie オ・ヴ・イェ n.f 願望 「目的語」

que ク conj. (同格) ~という 「形容詞節」

je ジェ pron 僕が 「主語」

l' ラ paron 彼女と 「目的語」

épouse. エプ・ス 1 単現(epouser)

v.t 結婚する 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

レーモンが彼より役に立つセレストと同様に僕の友達だからといって、何だと言うのか？

Qu'importait que Raymond fût mon copain autant que Céleste qui valait mieux que lui?

「補語」「動詞」「主語」

Qu' ク pron (感嘆) 何だ

「補語」

importait アンポルテ 3 単半・時制の一致・疑問文(importer)v.i 重要なのか？

「動詞」

Qu'importe! (感嘆・反語) 何が重要だと云うのか! 「どうでもよい、構わない!」

que ク conj. ～ということが

「主語」

Raymond レモン n.m レーモンが

「主語」

fût フュ 接・3 単半・仮定(être)v.i ～であるとする

「動詞」

mon copain モン・コパン n.m 僕の友達

「補語」

autant que オトソ・ク conj. ～と同様に

「副詞句」

Céleste セステ n.m セレスト

「目的語」

qui キ pron (主語) ～する

「形容詞節」

valait ヴァレ 3 単半・時制の一致(valoir)

v.i 役に立つ、価値がある

「動詞」

mieux ミュー adv. もっと

「副詞句」

que lui? ク・リュイ adv. (比較) 彼よりも

「副詞句」

マリーがきょう新たなムルソーに唇を与えたとして、それが何だというのだ？

Qu'importait que Marie donnât aujourd'hui sa bouche à un nouveau Meursault?

「補語」「動詞」「主語」

Qu' ク pron (感嘆) 何だ

「補語」

importait アンポルテ 3 単半・時制の一致・疑問文(importer)v.i 重要なのか？

「動詞」

Qu'importe! (感嘆・反語) 何が重要だと云うのか! 「どうでもよい、構わない!」

que ク conj. ～ということが

「主語」

Marie マリー n.f マリーが

「主語」

donnât ドナ 接・3 単半・仮定法(donner)v.t 与えるとして

「動詞」

aujourd'hui オジユルトゥイ adv. 今日

「副詞句」

sa bouche サ・ブーシュ n.f 彼女の唇を

「直接目的語」

à un nouveau Meursault? ア・アン・ヌヴ・ォ・ムルソー adv. 新しいムルソーに

「間接目的語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

一体、司祭はこの死刑囚のことなど分かっているのか？そして、僕の未来の奥から...

ここまで一気に叫んだので、僕は息が詰まってしまった。

Comprenait-il donc, ce condamné, et que du fond de mon avenir ... J'étouffais en criant tout ceci. 「動詞」「主語」「副詞」「目的語」,et「目的語」 | 「主語」「動詞」「副詞句」

Comprenait コンプルネ 3 単半・疑問文(comprendre)v.t 分かっているのか? 「動詞」

il イル pron 司祭は 「主語」

donc, トンク adv. 一体 「副詞」

ce condamné, ス・コンダムネ n.m この死刑囚(自分)のことを 「目的語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「目的語」

du fond de mon avenir ... ジュ・フォン・ドゥ・モン・アヴニール

adv. 僕の未来の奥から... 「副詞句」

J' ジュ pron 僕は 「主語」

étouffais エトウフェ 1 単半(étouffer)v.i 息が詰まった 「動詞」

en criant オン・クリン ジェロンディフ・原因(crier)adv. 叫んだために 「副詞句」

tout ceci. トゥ・シ adv. これを一気に 「副詞句」

しかしすでに看守たちは、僕の手から司祭を振りほどこうとして、僕を威嚇していた。

Mais, déjà, on m'arrachait l'aumônier des mains et les gardiens me menaçaient.

Mais 「副詞」, 「主語」「間接目的語」「動詞」「直接目的語」「副詞句」

et 「主語」「目的語」「動詞」

Mais, メ conj. しかし

déjà, デジャ adv. すでに 「副詞」

on オン pron 人々は 「主語」

m' ム pron 僕の 「間接目的語」

arrachait アラシェ 3 単半(arracher)v.t 振りほどいていた、剥ぎ取っていた 「動詞」

l'aumônier ロモニエ n.m 司祭を 「直接目的語」

des mains デ・マン adv. (場所) 手から 「副詞句」

et エ conj. そして

les gardiens ガルディアン pl(gardien)n.m 看守たちは 「主語」

me ム pron 僕を 「目的語」

menaçaient. ムケ 3 複半(menacer)v.t 威嚇していた 「動詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

しかしながら、司祭は看守たちをなだめ、少しの間、僕を無言で見つめた。

Lui, cependant, les a calmés et m'a regardé un moment en silence.

「主語」,cependant,「目的語」「動詞句」 et 「目的語」「動詞句」「副詞句」
 Lui, リュイ pron 彼は（司祭は） 「主語」
 cependant, スポントソ conj. しかしながら
 les レ pron.pl 彼らを 「目的語」
 a calmés ア・カルメ 3 単現・完了形(m.pl(calmer)v.t) なだめた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 m' ム pron 僕を 「目的語」
 a regardé ア・ルギヤルテ 3 単現・完了形(regarder)v.t) 見つめた 「動詞句」
 un moment アン・モモン adv. 一瞬、少しの間 「副詞句」
 en silence. オン・シロンス adv. 無言で 「副詞句」

彼の眼には涙が溢れていた。彼は顔をそむけ、出て行った。

Il avait les yeux pleins de larmes. Il s'est détourné et il a disparu.

「主語」「動詞」「目的語」 | 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 avait アヴエ 3 単半・特徴(avoir)v.t) ～をしていた 「動詞」
 les yeux レ・ジウ pl(oeil).n.m) 目を 「目的語」
 pleins de larmes. プラン・デ・ラルム adj. 涙で一杯の 「形容詞句」
 Il イル pron 彼は 「主語」
 s'est détourné セ・テトゥルネ 3 単現・完了形(se détourner)v.pr) 顔をそむけた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 il イル pron 彼は 「主語」
 a disparu. ア・テイスパリュ 3 単現・完了形(disparaître)v.i) いなくなった、出ていった 「動詞句」

彼が出て行くと、僕は平静を取り戻した。僕はひどく疲れたので、ベッドに飛び込んだ。

Lui parti, j'ai retrouvé le calme. J'étais épuisé et je me suis jeté sur ma couchette.

「副詞句」,「主語」「動詞句」「目的語」
 「主語」「動詞句」 et 「主語」「動詞句」「副詞句」
 Lui リュイ pron 彼が 「主語」
 parti, パルティ 過去分詞・原因 adv. 出て行ったので 「副詞句」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai retrouvé エ・ルトゥルヴエ 1 単現・完了形(retrouver)v.t) 取り戻した 「動詞句」
 le calme. ル・カラム n.m) 落ち着きを 「目的語」
 J' ジュ pron 僕は 「主語」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

étais épuisé エテ・エビュエ 1 単半・受動(éprouer)v.t ぐたくたに疲れた 「動詞句」
 et エ conj. そして
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis jeté ム・シユイ・ジュテ 1 単現・完了形(se jeter)v.pr(sur に) 飛び込んだ 「動詞句」
 sur ma couchette. シュール・マ・クシェット adv. 簡易ベッドに 「副詞句」

僕は眠ったと思う、それというのは、顔の上に星影を感じて目を覚ましたから。

Je crois que j'ai dormi parce que je me suis réveillé avec des étoiles sur le visage.
 「主語」「動詞」「目的語」
 Je ジュ pron 僕は 「主語」
 crois クルわ 1 単現(croire)v.t(que ～と) 思う 「動詞」
 que ク conj. ～ということ 「目的語」
 j' ジュ pron 僕は 「主語」
 ai dormi エ・ドルミ 1 単現・完了形(dormir)v.i 眠った 「動詞句」
 parce que パルス・キ conj. (理由) ～だから 「副詞節」
 je ジュ pron 僕は 「主語」
 me suis réveillé ム・シユイ・レヴェイエ 1 単現・完了形(se réveiller)
 v.pr 目を覚ました 「動詞句」
 avec des étoiles アヴェ・エツキ・デ・ゼトワール adv. (手段) 星によって 「副詞句」
 sur le visage. シュール・ル・ウイザージュ adv. 顔の上に 「副詞句」

田園のざわめきが僕のところまで立ち昇って来ていた。

Des bruits de campagne montaient jusqu'à moi. 「主語」「動詞」「副詞句」
 Des bruits デ・ブリユイ pl(bruit).n.m 騒音が、ざわめき 「主語」
 de campagne トゥ・コンパニユ adj. 田園の、田舎の 「形容詞句」
 montaient モンテ 3 複半(monter)v.i 昇って来ていた 「動詞」
 jusqu'à moi. ジュスクワ・ムワ adv. 僕のところまで 「副詞句」

夜と大地と汐の匂いが、僕のこめかみを冷やした。

Des odeurs de nuit, de terre et de sel rafraîchissaient mes tempes.
 「主語」「動詞」「目的語」
 Des odeurs デ・オデール pl(odeur).n.f 匂いが 「主語」
 de nuit, トゥ・ニユイ adj. 夜の 「形容詞句」
 de terre トゥ・テール adj. 大地の 「形容詞句」
 et エ conj. そして
 de sel トゥ・セル adj. 潮の、汐 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

rafraîchissaient ラフレシ 3 複半(rafraîchir)v.t 冷やした、冷ました 「動詞」
mes tempes. メ・トンブ° pl(tempes).n.f 僕のこめかみを 「目的語」

眠りについたこの夏の素晴らしい静けさが、潮のように僕の体内に沁み込んで来た。

La merveilleuse paix de cet été endormi entrain en moi comme une marée.

「主語」「動詞」「副詞句」

La merveilleuse paix ラ・メルヴ°エイユーズ°・ペ° n.f 素晴らしい静けさは 「主語」

merveilleuse メルヴ°エイユーズ° adj(merveilleux).f 素晴らしい paix ペ° n.f 静けさ

de cet été トゥ・セ・テ adj. この夏の 「形容詞句」

endormi オンドルミ 過去分詞・受動(endormir)adj. 眠っている 「形容詞」

entrain オントレ 3 単半(entrer)v.i 入って来た 「動詞」

en moi オン・ムワ° adv. 僕の体内に 「副詞句」

comme une marée. コム・ユヌ・マレ° adv. 潮のように 「副詞句」

この時、しかも夜の果てで、サイレンが鳴った。

A ce moment, et à la limite de la nuit, des sirènes ont hurlé.

「副詞句」 et 「副詞句」, 「主語」「動詞句」

A ce moment, ア・ス・モン° adv. この時、その時 「副詞句」

et エ conj. そして、しかも

à la limite ア・ラ・リミテ° adv. (場所) 限界で、果てで 「副詞句」

de la nuit, トゥ・ラ・ニユイ° adj. 夜の 「形容詞句」

des sirènes テ°・シレーヌ° pl(sirène).n.f サイレンが 「主語」

ont hurlé. オン・ユルレ° 3 複現・完了形(hurler)v.i 吠えた、鳴った 「動詞句」

それは、今となつては、僕には永遠に興味のない世界への出発を告げていた。

Elles annonçaient des départs pour un monde qui maintenant m'était à jamais indifférent.

「主語」「動詞」「目的語」

Elles エル pron.pl.f (sirènes の代用) それは 「主語」

annonçaient アノンセ° 3 複半(annoncer)v.t 告げていた 「動詞」

des départs テ°・デパ°ール° pl(départ).n.m 出発を 「目的語」

pour un monde プ°ール・アン・モント° adv. (目的語) 世界への 「副詞句」

qui キ pron (主語) ～する 「形容詞節」

maintenant マントゥナン° adv. 今では 「副詞」

m' ム pron 僕には 「間接目的語」

était エテ° 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

à jamais ア・ジャメ° adv. 永久に、永遠に 「副詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

indifférent. アンディフェロン adj. 興味の無い

「補語」

しばらくぶりに、僕は母さんのことを思った。

Pour la première fois depuis bien longtemps, j'ai pensé à maman.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「間接目的語」

Pour la première fois フール・ラ・フルミエール・フワ adv. 始めて

「副詞句」

depuis bien longtemps, トゥビュイ・ビヤン・ロトン adv. かなり以前から

「副詞句」

j' ジュ pron 僕は

「主語」

ai pensé エ・ボンセ 1 単現・完了形(penser)v.i (à のことを) 思った

「動詞句」

à maman. ア・マモン adv. 母さんのことを

「間接目的語」

人生の終わりになって、どうして母さんは「婚約者」を作ったり、どうして人生をやり直す
ふりをしたのか、僕には理解できる気がした。Il m'a semblé que je comprenais pourquoi à la fin d'une vie elle avait pris un «fiancé»,
pourquoi elle avait joué à recommencer.

「間接目的語」 「動詞句」 「主語」

Il イル pron 仮の主語 (真の主語は que 以降)

m' ム pron 僕には

「間接目的語」

a semblé ア・ソングレ 3 単現・完了形(sembler)v.i ~のように思われた

「動詞句」

que ク conj. ~ということは

「主語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

comprenais コンプレネ 1 単半・時制の一致(comprendre)v.t 分かる、理解できる 「動詞」

pourquoi フルクワ adv. どうして~かということ

「目的語」

à la fin d'une vie ア・ラ・ファン・ジユヌ・ヴィー adv. (時点) 人生の終わりに 「副詞句」

elle エル pron 彼女は

「主語」

avait pris アヴェ・プリ 3 単半・完了形(prendre)v.t ~を持った

「動詞句」

un «fiancé», アン・フィアンセ n.m 婚約者を

「目的語」

pourquoi フルクワ adv. どうして~かということ

「目的語」

elle エル pron 彼女は

「主語」

avait joué アヴェ・ジユエ 3 単半・完了形・ふり(jouer)

v.i (à+不定詞) ~するふりをした

「動詞句」

à recommencer. ア・ルモンセ 不定詞 v.i 人生をやり直す

「動詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

あそこでもまた、いくつもの命の火が消えていくあの養老院の周囲でもまた、夕暮れはわびしい休息の時だ。

Là-bas, là-bas aussi, autour de cet asile où des vies s'éteignaient, le soir était comme une trêve mélancolique. 「副詞句」, 「主語」 「動詞」 「補語」

Là-bas, là-bas aussi, ラバ・ラバ・オッシ adv. (強調) あそこでもまた 「副詞句」

autour de オウール・トゥ prep (場所) ～の周りでは 「副詞句」

cet asile セット・アジール n.m あの養老院 「目的語」

où adv. ～する 「形容詞節」

des vies デ・ヴィー pl(vie).n.f いくつもの命が 「主語」

s'éteignaient, セテニエ 3 複半・時制の一致(s'étendre)

v.pr (命の火が) 消えていく 「動詞句」

le soir ル・スワール n.m 夕暮れは 「主語」

était エテ 3 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

comme une trêve コム・ユヌ・トレウ adv. 休戦のような 「補語」

mélancolique. メランコリキ adj. わびしい 「形容詞」

死を間近にして、母さんはその養老院で解放されたと感じたに違いない、そして、人生を全てやり直す準備が出来たと思ったに違いない。

Si près de la mort, maman devait s'y sentir libérée et prête à tout revivre.

「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」 et 「補語」

Si près de シ・プレ・トゥ prep (時間) (si は強調) ～のとても近くで 「副詞句」

la mort, ラ・モール n.f 死 「目的語」

maman マモン n.f 母さんは 「主語」

devait s'y sentir トゥウ・エ・シ・ソニール 3 単半・可能性(devoir+不定詞 se sentir+y)

v.pr そこで自分を～と感じたに違いない 「動詞句」

libérée リバレ adj(libéré).f 解放された 「補語」

et エ conj. そして

prête プレット adj(prêt).f 準備のできた 「補語」

à tout revivre. ア・トゥ・ルヴィヴァール adv. (目的) 人生を全てやり直すために 「副詞句」

誰も、母さんを憐れんで涙する権利など無い。

Personne, personne n'avait le droit de pleurer sur elle. 「主語」 「動詞句」 「目的語」

Personne, personne ヘルソン・ヘルソヌ pron (強調) 誰も～ない 「主語」

n'avait ナヴェ 3 単半・否定・時制の一致(avoir)v.t ～がない 「動詞句」

le droit ル・ドゥワール n.m 権利 「目的語」

de pleurer トゥ・フル 不定詞・目的 v.i(sur のことで) 涙する 「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

sur elle. シュール・エル adv. 母さんのことで

「副詞句」

そして、僕自身も人生を全てやり直す準備が出来たと感じている。

Et moi aussi, je me suis senti prêt à tout revivre.

Et 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「補語」

Et エ conj. そして

moi aussi, ムわ・オシ adv. 僕自身も

「副詞句」

je ジュ pron 僕は

「主語」

me suis senti ム・シエイ・ソチ 1 単半・完了形(se sentir)v.pr 自分が〜と感じた

「動詞句」

prêt プレト adj. 準備が出来た

「補語」

à tout revivre. ア・トゥ・ルヴ・イーヴル

adv. (目的) 人生を全てやり直すために

「副詞句」

まるであの大きな怒りが僕の内にある悪を一掃し、前兆と星々で一杯のこの夜の前で、僕の希望を消し去ったかのように、僕は世界の優しい無関心に対して初めて心を開いた。

Comme si cette grande colère m'avait purgé du mal, vidé d'espoir, devant cette nuit chargée de signes et d'étoiles, je m'ouvrais pour la première fois à la tendre indifférence du monde.

「副詞節」, 「主語」 「動詞句」 「副詞句」 「間接目的語」

Comme si コム・シ conj. あたかも〜であるかのように

「副詞節」

cette grande colère セット・グロント・ウ・コレル n.f. あの大きな怒りが

「主語」

m' ム pron 僕の

「間接目的語」

avait purgé アヴィエ・ピュルジェ 3 単半・完了形(purger)v.t 一掃した

「動詞句」

du mal, ジュ・マル n.m (部分冠詞) 悪を

「直接目的語」

vidé ヴィテ 3 単半・完了形(vider)v.t 空っぽにした

「動詞句」

d'espoir, デスプ・ワル n.m (部分冠詞) 希望を

「直接目的語」

devant cette nuit トゥヴァン・セット・ニエイ adv. (位置) この夜の前で

「副詞句」

chargée シャルジェ adj. 一杯の

「形容詞句」

de signes トゥ・シニユ adv. (手段) 前兆で

「目的語」

et エ conj. そして

d'étoiles, テトゥワール adv. (手段) 星々で

「目的語」

je ジュ pron 僕は

「主語」

m'ouvrais ムヴレ 1 単半(s'ouvrir)v.pr 心を開いた

「動詞句」

pour la première fois プール・ラ・プルミエル・フワ adv. 初めて

「副詞句」

à la tendre indifférence ア・ラ・トントル・アンテフェロンス adv. 優しい無関心に対して 「間接目的語」

du monde. ジュ・モントゥ adj. 世界の

「形容詞句」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

世界がそれほど僕と似ていて、むしろまるで兄弟のようだと知って、僕は自分が幸福だったと、そして今でも幸福だと感じた。

De l'éprouver si pareil à moi, si fraternel enfin, j'ai senti que j'avais été heureux, et que je l'étais encore. 「副詞句」, 「主語」 「動詞句」 「目的語」 et 「目的語」

De +不定詞 トゥ 不定詞・原因 adv. ～して 「副詞句」

l' ル pron それを(世界) 「目的語」

éprouver エプルーヴェ 不定詞 v.t 身をもって知る 「動詞」

si pareil シ・パレイル adj. それ程よく似た 「補語」

à moi, ア・ムわ adv. 僕に 「副詞句」

si fraternel シ・フラテルネル adj. まるで兄弟のような 「補語」

enfin, アンファン adv. むしろ 「副詞」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

ai senti エ・ソチ 1 単現・完了形(sentir)v.t 感じた 「動詞句」

que ク conj. ～ということを 「目的語」

j' ジュ pron 僕は 「主語」

avais été アヴ・ゼテ 1 単半・完了形(être)v.i ～だった 「動詞句」

heureux, ウル adj. 幸せな、幸福な 「補語」

et エ conj. そして

que ク conj. ～ということを 「目的語」

je ジュ pron 僕は 「主語」

l' ル pron 幸せ 「補語」

étais エテ 1 単半・時制の一致(être)v.i ～である 「動詞」

encore. オンコール adv. 今もなお、今でもまだ 「副詞」

DEUXIÈME PARTIE 第2部

全てが成し遂げられるために、そして僕が孤独ではないと感じられるために、あとは、死刑執行の日に、大勢の見物人が集まり、僕を憎悪の叫びで迎えてくれることを願うだけだ。

Pour que tout soit consommé, pour que je me sente moins seul, il me restait à souhaiter qu'il y ait beaucoup de spectateurs le jour de mon exécution et qu'ils m'accueillent avec des cris de haine.

「副詞節」, 「副詞節」, 「間接目的語」 「動詞」 「主語」

Pour que +接続法 プール・ク conj. ～するために

「副詞節」

tout トゥ pron すべてが

「主語」

soit consommé, スワ・コンソメ 接・3 単現・受動(consommer)

v.t 成し遂げられる

「動詞句」

pour que +接続法 プール・ク conj. ～するために

「副詞節」

je ジェ pron 僕が

「主語」

me sente ム・ソントゥ 接・1 単現(se sentir)v.pr (自分が～だと) 感じる

「動詞句」

moins seul, ムワソ・スル adj. 孤独ではない

「補語」

il イル pron 非人称

me ム pron 僕には

「間接目的語」

restait レステ 3 単半・時制の一致(rester)v.i(+a+不定詞) ～することが残されている 「動詞」

→ あとは～をするだけだ

à souhaiter ア・スエテ 不定詞 n. ～を願うことが

「主語」

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

il y ait イ・リエ 接・3 単現・願望(il y avoir)v.t ～があつて欲しい

「動詞句」

beaucoup de spectateurs ボク・トゥ・スペクタール pl.n 沢山の見物人が

「目的語」

le jour de mon exécution ル・ジュール・トゥ・モン・エクゼキューション

adv. 死刑執行の日に

「副詞句」

et エ conj. そして

qu' ク conj. ～ということを

「目的語」

ils イル pron.pl 彼らが

「主語」

m' ム pron 僕を

「目的語」

accueillent アクイール 3 複現(accueillir)v.t 迎える

「動詞」

avec des cris アヴ・エッキ・デ・クリ adv. 叫び声で

「副詞句」

de haine. トゥ・エヌ adj. 憎悪の

「形容詞句」

FIN